

講義内容 2011

全学共通科目

「日本語」・「日本事情」科目

随意科目

教職課程・資格講座科目

講 義 内 容

目次案内

I	全 学 共 通 科 目	
1.	宗 教 教 育 科 目(2)
2.	教 養 教 育 科 目	
(1)	人 文 分 野(4)
(2)	社 会 分 野(7)
(3)	自 然 分 野(8)
(4)	総 合 分 野(10)
3.	外 国 語 科 目(11)
4.	保 健 体 育 科 目(24)
II	「日本語」・「日本事情」科目(29)
III	随 意 科 目(30)
IV	教 職 課 程 ・ 資 格 講 座 科 目(31)

※専門教育科目は、別冊になっています。

宗教教育
人文分野
社会分野
自然分野
総合分野
外国語
保健体育
日本語
日本事情
随意科目
教職課程
資格講座科目

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
坐禅	熊本 英人 池上 光洋 角田 泰隆	206401・206451・ 206501・206551	5
自然と宗教	小川 順敬	206101	5
社会と宗教	矢野 秀武	206201	6
仏教と人間	新井 一光	205101	6
仏教と人間	粟谷 良道	203001	6
仏教と人間	飯塚 大展	204001	7
仏教と人間	池上 光洋	205001・205121	7
仏教と人間	池田 道浩	204201	8
仏教と人間	池田 練太郎	204401	8
仏教と人間	池田 魯参	203601	9
仏教と人間	石井 修道	203801	9
仏教と人間	岩永 正晴	203501	9
仏教と人間	岡部 雅明	204701	10
仏教と人間	小川 順敬	202701	10
仏教と人間	片山 一良	203901	11
仏教と人間	金沢 篤	203401	11
仏教と人間	熊本 英人	202501	11
仏教と人間	熊本 英人	205601	12
仏教と人間	佐藤 秀孝	204301	12
仏教と人間	佐藤 憲昭	203201	13
仏教と人間	菅原 壽清	204501	13
仏教と人間	須藤 寛人	202801・203301	14
仏教と人間	竹内 弘道	203101	14
仏教と人間	館 隆志	205401	15
仏教と人間	角田 泰隆	205501	15
仏教と人間	程 正	204011	16
仏教と人間	永井 政之	203701	16
仏教と人間	長谷部 八朗	202601	17
仏教と人間	晴山 俊英	204101	17
仏教と人間	藤井 淳	205201	18
仏教と人間	藤井 淳	205301	19
仏教と人間	松田 陽志	204021	20
仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕	松本 史朗	341801	20
仏教と人間	村松 哲文	204801・205111	20
仏教と人間	矢野 秀武	202901	21
仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕	吉津 宜英	341901	21
仏教と人間	吉村 誠	204901	22
仏教と人間	渡部 正英	204601	22
仏教と人間〔再クラス〕	海老澤 早苗	205901	22
仏教と人間〔再クラス〕	奥野 光賢	205701	23
仏教と人間〔再クラス〕	木村 誠司	341601	23
仏教と人間〔再クラス〕	晴山 俊英	206001	24
仏教と人間〔再クラス〕	山本 元隆	205801	24

宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
文化と宗教	長谷部 八朗	206301	24

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
科学史〔科学と技術〕	高橋 秀裕	210401	29
科学史〔近代科学の成立と展開〕	高橋 秀裕	210501	29
キャリアを考えるⅠ	岡崎 洋	169611・169621・ 169631	30
キャリアを考えるⅡ	岡崎 洋	169661・169671・ 169681	31
芸術学〔音楽〕	浦本 裕子	208601	32
芸術学〔日本美術〕	北野 良枝	208401	32
芸術学〔西洋美術〕	矢野 陽子	208501	33
実務表現	内藤 寿子	360801	33
実務表現	萩原 義雄	360901	34
実務表現	湯浅 陽子	361001	36
宗教学〔世界観と儀礼〕	小川 順敬	211401	36
宗教学〔比較宗教文化〕	川上 新二	211201	37
宗教学〔生活と宗教〕	菅原 壽清	211511	38
宗教学〔聖と俗〕	田中 かの子	211301	39
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	342401	39
宗教学〔民俗宗教の諸相〕	宮田 義矢	211521	40
宗教学〔日本人の宗教〕	矢野 秀武	211501	40
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 修一	211901	41
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 慎悟	211801	41
人文地理学〔風土と文化〕	櫻井 明久	211701	42
人文地理学〔風土と文化〕	山口 太郎	211601	42
哲学〔西洋思想の源流〕	河谷 淳	208901	43
哲学〔現代文明と人間〕	久保 陽一	209501	43
哲学〔現代文明と人間〕	黒崎 剛	209301	44
哲学〔近代の人間観と世界観〕	小島 優子	209201	44
哲学〔西洋思想の源流〕	佐藤 暁	208801	45
哲学〔近代の人間観と世界観〕	佐藤 暁	209101・343201	45
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	343301	45
哲学〔西洋思想の源流〕	滝口 清栄	208701	46
哲学〔現代文明と人間〕	滝沢 正之	209401	46
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之	343101	47
哲学〔近代の人間観と世界観〕	古田 知章	209001	47
日本語文化基礎	萩原 義雄	358901	48
日本語文化基礎	湯浅 陽子	358911	49
日本語文化研究Ⅰ	萩原 義雄	170901	50
日本語文化研究Ⅰ	湯浅 陽子	215721	51
日本語文化研究Ⅱ	萩原 義雄	360601	52
日本語文化研究Ⅱ	湯浅 陽子	360701	53
日本文化基礎	小林 治	358401	54
日本文化基礎	坂口 博規	358101	54
日本文化基礎	佐原 作美	357901	54
日本文化基礎	鈴木 裕子	358001	55
日本文化基礎	藪部 幹生	358201	55

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本文化基礎	松田 直行	358501	55
日本文化基礎	湯浅 陽子	358301	56
日本文化基礎	湯浅 陽子	358601	57
日本文化研究ⅠA	坂口 博規	171101	58
日本文化研究ⅠA	佐原 作美	169701	58
日本文化研究ⅠA	鈴木 裕子	171201	59
日本文化研究ⅠA	藺部 幹生	172001	59
日本文化研究ⅠB	小林 治	170201・175501	60
日本文化研究ⅠB	内藤 寿子	215731	60
日本文化研究ⅠB	松田 直行	215711	61
日本文化研究ⅡA	坂口 博規	359201	61
日本文化研究ⅡA	佐原 作美	359001	62
日本文化研究ⅡA	鈴木 裕子	359101	62
日本文化研究ⅡA	藺部 幹生	359301	63
日本文化研究ⅡB	小林 治	359801	63
日本文化研究ⅡB	内藤 寿子	359951	64
日本文化研究ⅡB	松田 直行	359701・359901	64
日本文化テーマ研究A	佐原 作美	168901・168911	65
日本文化テーマ研究B	佐原 作美	169001	65
日本文化テーマ研究B	鈴木 裕子	169011	66
日本文化テーマ研究C	坂口 博規	169101	66
日本文化テーマ研究C	藺部 幹生	169111	67
日本文化テーマ研究D	坂口 博規	169201	67
日本文化テーマ研究D	藺部 幹生	169211	67
日本文化テーマ研究E	小林 治	169311	68
日本文化テーマ研究E	内藤 寿子	169301	68
日本文化テーマ研究F	小林 治	169411	69
日本文化テーマ研究F	内藤 寿子	169401	69
日本文化テーマ研究G (夏季集中)	松田 直行	169501	70
日本文化テーマ研究H	松田 直行	169601	70
フレッシュマンセミナー	小林 治	357701	71
フレッシュマンセミナー	坂口 博規	357401	71
フレッシュマンセミナー	佐原 作美	357201	72
フレッシュマンセミナー	鈴木 裕子	357301	72
フレッシュマンセミナー	藺部 幹生	357501	73
フレッシュマンセミナー	内藤 寿子	357001	73
フレッシュマンセミナー	萩原 義雄	357101	74
フレッシュマンセミナー	松田 直行	357801	75
フレッシュマンセミナー	湯浅 陽子	357601	76
フレッシュマンセミナー	湯浅 陽子	357811	77
文学〔日本文学〕	池田 大輔	342501	78
文学〔日本文学〕	伊藤 達氏	342701	78
文学〔フランス文学〕	小黒 昌文	207401	79
文学〔日本文学〕	川島 淳史	206701	79
文学〔日本文学〕	川島 淳史	342601	80
文学〔日本文学〕	坂口 博規	206901	80
文学〔日本文学〕	塩崎 真理子	206601	81
文学〔日本文学〕	鈴木 裕子	207001	81
文学〔英語文学〕	高野 秀夫	207301	82
文学〔日本文学〕	内藤 寿子	207701	82

人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
文学〔日本のことば〕	萩原 義雄	207201	83
倫理学〔価値観〕	麻生 享志	210801	84
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	210701・211111	84
倫理学〔東洋倫理〕	末木 恭彦	211101	85
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭彦	343701	85
倫理学〔制度とモラル〕	滝沢 清栄	211001	85
倫理学〔応用倫理学〕	滝沢 正之	210901	86
倫理学〔人間観〕	古田 知章	210601	86
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知章	343601	87
歴史学〔日本近世史〕	小高 昭一	208201	88
歴史学〔中国史概観〕	小林 惣八	342901	88
歴史学〔日本史〕	小松 寿治	208301	88
歴史学〔東アジア考古学〕	千葉 基次	207901	89
歴史学〔日本史〕	林 彰	342801	89
歴史学〔西洋近代史〕	土方 史織	208101	90
歴史学〔禅の歴史と地域社会〕	廣瀬 良弘	208001	90
歴史学〔日本中世史〕	鈴木 将典	207801	91
歴史学〔アジア史概観〕	高橋 康浩	343001	91
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	343501	92
論理学〔知の技法〕	伊古田 理	210001	93
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	343401	93
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	河谷 淳	210101	94
論理学〔知の技法〕	小島 優子	210201	94
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209601・209801	95
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	滝口 清栄	209901	95
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	山口 祐弘	209701	96

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教育学〔デス・エデュケーション〕	柳堀 素雅子	219501	99
教育心理〔大学生の心理〕	石橋 達也	219601	99
経済学〔現代経済と人間〕	貝塚 亨	219101・345001	100
経済学〔現代社会と市場経済〕	島中 貴	219001	100
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	福田 慎	219201	101
社会科学論〔社会認識の思想〕	枝松 正行	345101	102
社会科学論〔社会認識の思想〕	大石 雄爾	219401	103
社会学〔現代社会を考える〕	呉 炳三	215901・216001	104
社会学〔社会生活を考える〕	呉 炳三	216301	105
社会学〔現代文化を考える〕	武山 梅乗	216101	105
社会学〔社会生活を考える〕	武山 梅乗	216201	106
社会学〔現代社会を考える〕	南後 由和	215801・344201	106
社会学〔現代文化を考える〕	橋爪 敏	344301	107
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	白鳥 浩	218701	107
政治学〔政治システムと政治参加〕	富崎 隆	218801	108
政治学〔政治システムと政治参加〕	真下 英二	344801	109
政治学〔国際社会と日本〕	山崎 望	218901	110
政治学〔国際社会と日本〕	山村 恒雄	344901	110
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	216501・345201	111
統計学〔社会現象の統計的分析〕	田中 正光	216401	111
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山 明子	217301・217401	112
文化人類学〔社会変化と価値観〕	小川 順敬	217201	112
文化人類学〔文化と人間〕	加藤 之晴	216801	113
文化人類学〔文化と人間〕	川上 新二	344401	113
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	216901・344501	114
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	鈴木 一馨	217101	114
文化人類学〔文化と人間〕	森 雅文	216701	115
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	森 雅文	217001	116
法学・憲法〔法と権利〕	天野 聖悦	218501	116
法学・憲法〔法と国家〕	織田 晃子	218401	117
法学・憲法〔法と社会生活〕	鶏徳 啓登	217701	117
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218101・218201	118
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	217501・344701	118
法学・憲法〔法と権利〕	長谷川 日出世	217901	118
法学・憲法〔法と社会生活〕	柳瀬 昇	217801	119
法学・憲法〔法と社会生活〕	和知 恵一	217601	120
法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)	池田 実	218601	121

自然分野

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223201・223301	125
化学〔衣食住の化学〕	持丸 真里	223001・223101	125
科学基礎論	奥山 康男	220111	126
科学基礎論	熊坂 さつき	219701	126
科学基礎論	近藤 啓介	219901	126
科学基礎論	佐藤 昌憲	219801	127
科学基礎論	名古 安伸	220101	127
科学基礎論	原田 和正	220001	127
化学序論	山本 裕右	228001	128
基礎化学	原田 和正	227501	128
基礎数学	野口 勝	227701	129
基礎物理学	佐藤 昌憲 小川 雅生	227401	129
コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕	鳥居 竜三	225801・225901	130
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎	223601・224101	130
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小沢 誠	223701・224201	131
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	金尾 美穂	223801・224301	131
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	金尾 美穂	345701	132
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	金尾 美穂	345901	133
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	谷本 玲大	223401・223901	134
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	鳥居 竜三	225601・225701	135
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	鳥居 竜三	345801	136
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	鳥居 竜三	346001	136
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	223501	137
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	224001	138
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224801	138
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224901	139
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小沢 誠	225001	139
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小沢 誠	225201	140
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	谷本 玲大	224401	141
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	谷本 玲大	224601	143
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	長坂 浩史	224701	145
自然環境論〔地球・太陽系環境〕	金尾 美穂	221501	145
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	221801・221901・ 222001	146
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄	346301	146
自然環境論〔生命と環境〕	中村 敏枝	221701	147
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221301・221401・ 221601	147
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	221101・221201・ 346401	148
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 山縣 毅 持丸 真里 篠原 正雄	222201・222301	148
情報処理技術	近藤 啓介	227601	149
情報処理技術	近藤 啓介	227621	149
情報数学〔情報と論理〕	小沢 誠	222701・346501	150

自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	加藤 博己	226401	151
心理学〔人間関係を考える〕	加藤 博己	226801	152
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	杉山 雅美	226501	153
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	226701・226901・ 345401	154
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順一	345301	155
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	高橋 良博	226201	156
心理学〔人間関係を考える〕	高橋 良博	226601	156
心理学〔心を科学する〕	高橋 良博	227001	157
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	堀 直人	226301	157
心理学〔心を科学する〕	堀内 正彦	227101・227201	158
心理学〔心を科学する〕(夏季集中)	小室 央允	227301	158
人類学〔人類の進化〕	馬場 悠男	226001・226101	159
数学〔微積分学入門〕	小沢 誠	222401	160
数学〔線型代数学入門〕	小沢 誠	222501	161
数学〔現代数学入門〕	福田 賢一	222601	162
数学序論	近藤 啓介	227851	162
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	220201・220301・ 345501	163
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	220401・345601	163
生命科学	清水 善和	227901	164
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	市川 清士	220901・221001	164
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	220501・346101・ 346201	164
地球科学〔地球システムと人間圏〕	守屋 和佳	220701	165
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	山縣 毅	220601・220801	166
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222801・222901	166
物理学序論Ⅰ 物理学序論	鳥山 保	227801・227802	167
物理学序論Ⅱ	佐藤 昌憲	227811	167

総合分野

(4) 総合分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
総合Ⅰ〔仏教と社会〕	熊本 英人	228201	171
総合Ⅰ〔仏教と芸術〕	村松 哲文	228301	171
総合Ⅱ〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	清水 善和 山縣 毅 持丸 真里 篠原 正雄 小沢 誠 柳澤 紀夫 高橋 健太郎 出口 宏幸	228501	172
総合Ⅲ〔ドイツの森林〕	野島 利彰	228901	172
総合Ⅲ〔人権と社会問題〕	ピアス、 D. M.	228701	173
総合Ⅳ〔新市民社会論〕	西村 祐子	229101	174
総合Ⅳ〔現代アメリカ事情〕	林 明人	229001	175
総合Ⅴ〔イギリスの歴史と文化〕	石原 孝哉	229301	175
総合Ⅵ〔民族とは何か〕	大野 祐二	229601	176
総合Ⅵ〔フェミニズム・ジェンダー〕	早川 紀代	229801	176
総合Ⅵ〔都市論〕	内海 麻利 岡井 有佳 真鍋 陸太郎 早川 純貴 村上 暁信	230001	177
総合Ⅶ	休講	230201	

3. 外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英会話 I	ウェルズ、 J. K.	264201・264301・ 264401・264501	181
英会話 I	ミックエリゴット、 J. P.	264601・264701・ 265311	182
英会話 I	レイン、 R. V.	265201・265301	182
英会話 I	レーン、 C. M.	264901	183
英会話 I	ロビン、 G. F.	351201	184
英会話 I	ロンゴ、 T.	264801・265001・ 265101・265321	184
英会話 II	ミックエリゴット、 J. P.	287401・287601	185
英会話 II	ロビン、 G. F.	354301	186
英会話 II	ロンゴ、 T.	287501	187
英会話 III	ウェルズ、 J. K.	287701	188
英会話 III	レーン、 C. M.	287801	189
英語 I A	井伊 順彦	233711	189
英語 I A	飯沼 好永	238001	190
英語 I A	市川 仁	234201	190
英語 I A	井出 功一	234301・235001	190
英語 I A	伊藤 美代子	237931	190
英語 I A	岩永 祥恵	235101	191
英語 I A	岩屋 玉江	235301・237401	191
英語 I A	上田 倫史	236501	191
英語 I A	上田 倫史	239901	192
英語 I A	植村 恵子	234401	192
英語 I A	梅原 敏弘	236801	192
英語 I A	太田 雅子	234501・235201	193
英語 I A	大淵 利春	235701	193
英語 I A	尾形 重政	233801	193
英語 I A	尾形 重政	240101	194
英語 I A	落合 真裕	239101	194
英語 I A	風間 則比古	234601・235901	194
英語 I A	川崎 笑佳	235611	195
英語 I A	川崎 笑佳	237601・240011	195
英語 I A	川崎 浩太郎	237701	195
英語 I A	吉川 直澄	234701・236001	196
英語 I A	熊沢 和明	235401・237801・ 238511	196
英語 I A	熊沢 和明	238801	196
英語 I A	小泉 和弘	234001	196
英語 I A	古宮 猛	237911	197
英語 I A	笹倉 貞夫	238201・238901	197
英語 I A	佐藤 孝一	234801	197
英語 I A	芝田 興太郎	347001	198
英語 I A	白鳥 義博	237921	198
英語 I A	進藤 桃子	233901	199
英語 I A	進藤 桃子	237201・237941	199
英語 I A	相馬 美明	235501	200

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語ⅠA	相馬 美明	237901	201
英語ⅠA	相馬 美明 大庭 直樹	239301	202
英語ⅠA	高橋 佳江	240201	202
英語ⅠA	塚本 利男	236101	203
英語ⅠA	勅使河原 三保子	239801	203
英語ⅠA	手島 敬子	238301	203
英語ⅠA	照山 雄彦	347101	204
英語ⅠA	永野 光一	236201	204
英語ⅠA	西田 義和	233601・347201	205
英語ⅠA	西村 祐子	233701	206
英語ⅠA	萩原 輝	238401・239001・ 347211	206
英語ⅠA	濱口 真木	236301・240021	206
英語ⅠA	ピアス、 D. M.	236701	207
英語ⅠA	ピアス、 D. M.	239701	208
英語ⅠA	広川 治	238501	209
英語ⅠA	福田 一貴	234101・234901	209
英語ⅠA	本間 俊一	238101	210
英語ⅠA	前田 脩	239601	210
英語ⅠA	松堂 啓子	240031	210
英語ⅠA	真砂 久晃	235601	211
英語ⅠA	丸小 哲雄	239401	211
英語ⅠA	水崎 野里子	235621	211
英語ⅠA	水崎 野里子	237101	212
英語ⅠA	三輪 久恵	236601	212
英語ⅠA	三輪 久恵 大庭 直樹	237501	213
英語ⅠA	矢島 直子	239501	213
英語ⅠA	山口 晃	236401	214
英語ⅠA	吉沢 栄治郎	237001	214
英語ⅠA	渡部 孝治	235801	214
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	石原 孝哉	346901	215
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	上田 倫史	240221	215
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	大淵 利春	240231	215
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	落合 和昭	240211	216
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	飯沼 好永	291901・291902	217
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	伊藤 美代子	291601・291602	217
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	佐藤 江里子	292301・292302	217
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	芝田 興太郎	292001・292002	218
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB(会話)〔再クラス〕	杉本 誠	354901・354902	218
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	高野 秀夫	291501・291502	218
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	西村 祐子	291701・291702	219
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	塙 美智子	292601・292602	219
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕	前田 脩	354601・354602	220
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	丸小 哲雄	292701・292702	220
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕	水崎 野里子	354701・354702	220
英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕	吉沢 栄治郎	291801・291802	220
英語ⅠB	伊勢村 定雄	246301	221
英語ⅠB	伊勢村 定雄	246501	222

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語 I B	伊勢村 定雄	246731	222
英語 I B	伊良部 祥子	243801	223
英語 I B	伊良部 祥子	244101	223
英語 I B	伊良部 祥子	244401	223
英語 I B	尾形 重政	246201・246401	224
英語 I B	尾形 重政	246721	224
英語 I B	尾形 重政	246901	224
英語 I B	荻野 一成	348101	225
英語 I B	亀田 三重子	244701	226
英語 I B	亀田 三重子	245001	226
英語 I B	亀田 三重子	245501	226
英語 I B	木元 喜久子	244801	227
英語 I B	木元 喜久子	245101	227
英語 I B	木元 喜久子	245601	227
英語 I B	近藤 真彫	243401	228
英語 I B	佐藤 アヤ子	348201	228
英語 I B	白鳥 義博	240401・240601	229
英語 I B	杉村 初枝	244201	229
英語 I B	杉村 初枝	244501	230
英語 I B	杉本 誠	348301	230
英語 I B	高橋 明子	241201・241801・ 242001・246601	230
英語 I B	高橋 佳江	240411・240701・ 241301・242311・ 246801	231
英語 I B	塚本 利男	244601	231
英語 I B	塚本 利男	244621	231
英語 I B	勅使河原 三保子	240801・241501・ 241601	232
英語 I B	西村 祐子	243201	232
英語 I B	濱口 真木	243301・244301	232
英語 I B	濱口 真木	243901	233
英語 I B	濱口 真木	244641	233
英語 I B	林 孝憲	348401	233
英語 I B	樋渡 俊光	241401・242801・ 243701	234
英語 I B	樋渡 俊光	242321・244001	234
英語 I B	樋渡 俊光	244611・244631	234
英語 I B	福田 一貴	246101・246711	235
英語 I B	藤井 道行	245201	235
英語 I B	藤井 道行	245701	235
英語 I B	本間 章郎	241001・241901	236
英語 I B	本間 章郎	242101	237
英語 I B	増田 恵子	241101	237
英語 I B	増田 恵子	242201	238
英語 I B	増田 恵子	242401	238
英語 I B	増田 恵子	242901	238
英語 I B	丸小 哲雄	240901	239
英語 I B	丸小 哲雄	241701	239
英語 I B	海琳 泰子	244901	239

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語 I B	海琳 泰子	245211	240
英語 I B	海琳 泰子	245801	240
英語 I B	三芳 康義	242301	240
英語 I B	三芳 康義	242601	241
英語 I B	三芳 康義	243001	241
英語 I B	矢島 直子	246001	241
英語 I B	山口 晃	242501	242
英語 I B	吉沢 栄治郎	240301・240501	242
英語 I B	依田 里花	242701	242
英語 I B	依田 里花	243101	243
英語 I B [基礎英語特別クラス]	古富 猛	246921	243
英語 I B [基礎英語特別クラス]	佐々木 隆	348001	244
英語 I B [基礎英語特別クラス]	白鳥 義博	246951	244
英語 I B [基礎英語特別クラス]	藤井 道行	246931	245
英語 I B [基礎英語特別クラス]	三芳 康義	246911	245
英語 I B [基礎英語特別クラス]	矢島 直子	246941	245
英語 I B [再クラス] 英語 I C (会話) [再クラス]	岩井 洋美	293201・293202	246
英語 I B [再クラス] 英語 I C (会話) [再クラス]	江田 幸子	293401・293402	246
英語 I B [再クラス] 英語 I C (会話) [再クラス]	太田 美智子	293601・293602	247
英語 I B [再クラス] 英語 I C (会話) [再クラス]	川崎 笑佳 大庭 直樹	294201・294202	247
英語 I B [再クラス] 英語 I C (会話) [再クラス]	田中 靖子	294001・294002	248
英語 I B [再クラス] 英語 I C (会話) [再クラス]	本間 俊一	294101・294102	248
英語 I B [再クラス] 英語 I C (会話) [再クラス]	矢島 直子	293901・293902	249
英語 II A	足田 和人	251201	249
英語 II A	安齋 薫	248201	249
英語 II A	安齋 薫	254401	250
英語 II A	井伊 順彦	251301	250
英語 II A	石原 孝哉	349301	251
英語 II A	伊勢村 定雄	251101	252
英語 II A	岩井 洋美	250121	253
英語 II A	岩永 祥恵	253001	253
英語 II A	梅原 敏弘	252501	254
英語 II A	江田 幸子	248401	254
英語 II A	太田 美智子	250011	255
英語 II A	太田 由紀子	252601	256
英語 II A	大淵 利春	248501	256
英語 II A	大淵 利春	249901	256
英語 II A	大淵 利春	253801	257
英語 II A	萩野 一成	248701	257
英語 II A	落合 和昭	249601	258
英語 II A	落合 和昭	349201	259
英語 II A	落合 真裕	248921	260
英語 II A	小布施 圭佐三	250001	260
英語 II A	甲斐 捷子	248801・254461	261
英語 II A	風間 則比古	253201	261
英語 II A	小泉 和弘	251401	262
英語 II A	古富 猛	249701	262
英語 II A	古富 猛	250501	262
英語 II A	古富 猛	252701	262

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語Ⅱ A	近藤 真彫	250201	263
英語Ⅱ A	佐藤 江里子	249101	263
英語Ⅱ A	佐藤 江里子	254201	264
英語Ⅱ A	佐藤 孝一	251801	264
英語Ⅱ A	芝田 興太郎	349411	265
英語Ⅱ A	清水 雅夫	252201	265
英語Ⅱ A	進藤 桃子	249501・251601	265
英語Ⅱ A	菅原 典子	251901・252301	266
英語Ⅱ A	杉本 誠	248901・253101	266
英語Ⅱ A	鈴木 美貴子	250901・251701	266
英語Ⅱ A	高野 秀夫	250101	267
英語Ⅱ A	高橋 明子	249301	267
英語Ⅱ A	高見 陽子	252401	267
英語Ⅱ A	竹村 恵都子	251001	267
英語Ⅱ A	勅使河原 三保子	251971	268
英語Ⅱ A	照山 雄彦	248911・349401	268
英語Ⅱ A	外池 一子	249001	269
英語Ⅱ A	西田 義和	251951・254501	270
英語Ⅱ A	西原 克政	253301	270
英語Ⅱ A	萩原 輝	251961	271
英語Ⅱ A	塙 美智子	250401	271
英語Ⅱ A	藤井 道行	249201	271
英語Ⅱ A	堀 千和子	254101	272
英語Ⅱ A	前田 脩	248301・254001	272
英語Ⅱ A	松堂 啓子	248601・249401・ 250301	273
英語Ⅱ A	真砂 久晃	254301・254471	273
英語Ⅱ A	三幣 友行	254451	273
英語Ⅱ A	山口 晃	254601	274
英語Ⅱ A	吉江 正雄	250801	274
英語Ⅱ A	吉沢 栄治郎	253701	274
英語Ⅱ A	渡部 孝治	252411	275
英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ C (会話)〔再クラス〕	朝川 真紀	295301・295302	275
英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ C (会話)〔再クラス〕	上田 倫史	295501・295502	275
英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ B〔再クラス〕	梅原 敏弘	355201・355202	276
英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ C (会話)〔再クラス〕	国見 晃子 高野 秀夫	294601・294602	277
英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ C (会話)〔再クラス〕	久保 ひさ子	295601・295602	278
英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ C (会話)〔再クラス〕	竹村 恵都子	295001・295002	278
英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ B〔再クラス〕	ピアス、 D. M.	355301・355302	279
英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ C (会話)〔再クラス〕	堀 千和子	295401・295402	280
英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ B〔再クラス〕	本間 俊一	355401・355402	280
英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ C (会話)〔再クラス〕	吉江 正雄	295011・295012	281
英語Ⅱ B	足田 和人	258601	281
英語Ⅱ B	安齋 薫	255501	282
英語Ⅱ B	飯沼 好永	257401	282
英語Ⅱ B	石原 孝哉	255001	282
英語Ⅱ B	伊勢村 定雄	258701	283
英語Ⅱ B	市川 仁	256401	283

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語ⅡB	井出 功一 大庭 直樹	256301	284
英語ⅡB	伊藤 美代子	255601	284
英語ⅡB	岩永 祥恵	257551	284
英語ⅡB	植村 恵子	256601	285
英語ⅡB	植村 恵子	259301	285
英語ⅡB	江田 幸子	255701	286
英語ⅡB	太田 雅子	256701	286
英語ⅡB	太田 美智子	257301	287
英語ⅡB	太田 由紀子	254701・255011	288
英語ⅡB	大瀧 利春	257561	288
英語ⅡB	萩野 一成	350401	288
英語ⅡB	落合 真裕	259401	289
英語ⅡB	小布施 圭佐三	257201	289
英語ⅡB	吉川 直澄	256801	289
英語ⅡB	国見 晃子 欠島 直子	255801	290
英語ⅡB	小泉 和弘	258011	291
英語ⅡB	古富 猛	256001	291
英語ⅡB	近藤 真彫	256011	291
英語ⅡB	佐々木 隆	259901	292
英語ⅡB	佐々木 隆	350501	292
英語ⅡB	佐藤 アヤ子	350511	293
英語ⅡB	佐藤 江里子	259951	293
英語ⅡB	清水 雅夫	256901	293
英語ⅡB	進藤 桃子	258001	294
英語ⅡB	鈴木 美貴子	258801	294
英語ⅡB	高野 秀夫	259801	294
英語ⅡB	高見 陽子	258101	295
英語ⅡB	田中 靖子	254801	295
英語ⅡB	田中 靖子	259961	296
英語ⅡB	塚本 利男	259501	296
英語ⅡB	永野 光一	259701	297
英語ⅡB	西田 義和	258301	297
英語ⅡB	西原 克政	257571	298
英語ⅡB	埴 美智子	256101	298
英語ⅡB	林 孝憲	350301	298
英語ⅡB	樋渡 俊光	259811	299
英語ⅡB	本間 俊一	257501	299
英語ⅡB	前田 脩	254901	299
英語ⅡB	町田 成男	257801	300
英語ⅡB	町田 成男	258901	300
英語ⅡB	松堂 啓子 大場 直樹	259971・255901	300
英語ⅡB	水崎 野里子	256121	300
英語ⅡB	三幣 友行	257901	301
英語ⅡB	山口 晃	256501	301
英語ⅡB	渡部 孝治	258201	301
英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	安齋 薫	295901・295902	302
英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	川崎 浩太郎	296911・296912	302

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	古富 猛	296201・296202	302
英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	笹倉 貞夫	296901・296902	303
英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	進藤 桃子	296301・296302	303
英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	手島 敬子	296921・296922	303
英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	福田 一貴	296501・296502	304
英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕	松堂 啓子	295801・295802	304
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	朝川 真紀	261001	304
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	梅原 敏弘	260701	305
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	落合 真裕	261501	305
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	久保 ひさ子	261601	305
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	白鳥 義博	260901	306
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	進藤 桃子	260401	306
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	高野 秀夫	260501	307
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	手島 敬子	261801	307
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	福田 一貴	260601	307
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	丸小 哲雄	261711	308
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	三輪 久恵	261011	308
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	吉沢 栄治郎	260801	308
英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕	依田 里花	261701	309
英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕	小布施 圭佐三	262301	309
英語LLI	岩井 洋美	265401	310
英語LLI	上田 倫史	351301	310
英語LLI	甲斐 捷子	265501・266001	311
英語LLI	久保 ひさ子	266101	311
英語LLI	勅使河原 三保子	265601	312
英語LLI	外池 一子	265801	312
英語LLI	外池 一子	265901	313
英語LLI	ピアス、 D. M.	266111	314
英語LLI	真砂 久晃	265701	315
英語LLII	甲斐 捷子	288701	315
英語LLII	勅使河原 三保子	288601	316
英語LLII	西村 祐子	288501	316
英語LLII	林 明人	354401	317
英語LLIII	甲斐 捷子	289301	317
英語LLIII	西村 祐子	289401	318
英文講読	林 明人	284901	319
英文講読	前田 脩	285101	319
英文講読	矢島 直子	285001	319
現代を読むスペイン語	齊藤 明美	286301	320
現代を読む中国語	塩旗 伸一郎	286201	320
現代を読むドイツ語	野島 利彰	286001	321
現代を読むフランス語	小黑 昌文	286101	321
現代を読むロシア語	木村 英明	286401	321
時事英語研究	梅原 敏弘	285701	322
時事英語研究	落合 和昭	285901	323
時事英語研究	林 明人	285801	324
時事英語研究	町田 成男	285811	324
時事英語研究	矢島 直子	285911	325
スペイン語IA	上野 勝広	279611	325
スペイン語IA	大岩 功	353401	325

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
スペイン語ⅠA	齊藤 明美	280511	326
スペイン語ⅠA	佐藤 佐知	279401・279801	326
スペイン語ⅠA	中島 聡子	279601・280001	327
スペイン語ⅠA	真下 祐一	280501	327
スペイン語ⅠA	横藤田 稔泰	280521	327
スペイン語ⅠA	ルイズティノコ、 C.	279501・279901	328
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕	石井 登	302801・302802・302803	328
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕	大岩 功	302601・302602・302603	328
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕	萩野 恵	303001・303002・303003	328
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕	齊藤 明美	302701・302702・302703	329
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303011・303012・303013	329
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	356401・356402	329
スペイン語ⅠA（選）	中島 聡子	289901	330
スペイン語ⅠB	石井 登	281721	330
スペイン語ⅠB	上野 勝広	281701	330
スペイン語ⅠB	萩野 恵	280911	331
スペイン語ⅠB	栗林 ゆき絵	280901	331
スペイン語ⅠB	栗林 ゆき絵	281301	332
スペイン語ⅠB	佐藤 麻里乃	280701	332
スペイン語ⅠB	佐藤 麻里乃	281201	332
スペイン語ⅠB	真下 祐一	281711	333
スペイン語ⅠB	横藤田 稔泰	353601	333
スペイン語ⅠB	米田 博美	280801・281101	334
スペイン語ⅠB（選）	齊藤 明美	290501	335
スペイン語Ⅱ（選）	佐藤 麻里乃	291101	335
スペイン語ⅡA	石井 登	282111	335
スペイン語ⅡA	大岩 功	282121	336
スペイン語ⅡA	大岩 功	353701	336
スペイン語ⅡA	濱田 和範	282401	337
スペイン語ⅡA	真下 祐一	282101・282301	337
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕 スペイン語ⅡC（会話）〔再クラス〕	石井 登	303301・303302・303303	337
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕 スペイン語ⅡC（会話）〔再クラス〕	大岩 功	303201・303202・303203	338
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356501・356502	338
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕 スペイン語ⅡC（会話）〔再クラス〕	濱田 和範	303101・303102・303103	339
スペイン語ⅡB	石井 登	282511	339
スペイン語ⅡB	大岩 功	282501	340
スペイン語ⅡB	齊藤 明美	282621	340
スペイン語ⅡB	濱田 和範	282611	341
スペイン語ⅡB	真下 祐一	282631	341
スペイン語ⅡB	横藤田 稔泰	353801	342
スペイン語ⅡD スペイン語ⅡD〔再クラス〕	上野 勝広	282811	342
スペイン語ⅡD スペイン語ⅡD〔再クラス〕	真下 祐一	282801	342

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
スペイン語ⅢA スペイン語ⅢA〔再クラス〕	齊藤 明美	283001	343
スペイン語コミュニケーションⅠ	モラーレス、 ムニョ ス、 S.	288301	343
スペイン語コミュニケーションⅡ	モラーレス、 ムニョ ス、 S.	289101	343
スペイン語スキルアップ	上野 勝広	287201	344
中国語ⅠA	秋元 翼	272711	344
中国語ⅠA	秋元 翼	273311	344
中国語ⅠA	岩崎 皇	272601	345
中国語ⅠA	岩崎 皇	274211	345
中国語ⅠA	梅田 雅子	352601	346
中国語ⅠA	小栗山 恵	272301	347
中国語ⅠA	小栗山 恵	273201	347
中国語ⅠA	佐藤 普美子	272701	347
中国語ⅠA	佐藤 普美子	273301	348
中国語ⅠA	塩旗 伸一郎	272721	348
中国語ⅠA	塩旗 伸一郎	274401	348
中国語ⅠA	曹 泰和	274101	349
中国語ⅠA	根岸 政子	272201	349
中国語ⅠA	根岸 政子	272901	350
中国語ⅠA	橋本 幸枝	272401	350
中国語ⅠA	橋本 幸枝	273101	351
中国語ⅠA	本間 由香利	272501	351
中国語ⅠA	本間 由香利	273001	351
中国語ⅠA	三田村 圭子	274301	352
中国語ⅠA	宮本 厚子	274201	352
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会 話)〔再クラス〕	秋元 翼	300601・300602・ 300603	352
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会 話)〔再クラス〕	曹 泰和	301201・301202・ 301203	353
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会 話)〔再クラス〕	曹 泰和	301511・301512・ 301513	353
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会 話)〔再クラス〕	張 渭涛	301301・301302・ 301303	353
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会 話)〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301501・301502・ 301503	354
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会 話)〔再クラス〕	蘭 明	301401・301402・ 301403	354
中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕	蘭 明	356001・356002	354
中国語ⅠA(選)	岩崎 皇	289801	355
中国語ⅠA(選)	宮本 厚子	289811	355
中国語ⅠB	岩崎 皇	276611	355
中国語ⅠB	王 聡	352801	356
中国語ⅠB	小栗山 恵	275111	356
中国語ⅠB	小栗山 恵	275711	357
中国語ⅠB	佐藤 普美子	275101	357
中国語ⅠB	佐藤 普美子	275701	357
中国語ⅠB	塩旗 伸一郎	275121	358
中国語ⅠB	塩旗 伸一郎	275401	358
中国語ⅠB	下出 宣子	274601	359

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
中国語ⅠB	下出 宣子	275301	359
中国語ⅠB	曹 泰和	274901	360
中国語ⅠB	張 渭涛	274801	360
中国語ⅠB	張 渭涛	275501	360
中国語ⅠB	陳 洲拳	276801	361
中国語ⅠB	徳間 佳信	274701	361
中国語ⅠB	徳間 佳信	275601	361
中国語ⅠB	三田村 圭子	276501	362
中国語ⅠB	宮本 厚子	276601	362
中国語ⅠB	蘭 明	275001	362
中国語ⅠB	李 雲	276701	363
中国語ⅠB (選)	弘兼 加奈子	290401	363
中国語Ⅱ (選)	三田村 圭子	291001	364
中国語ⅡA	秋元 翼	277601	364
中国語ⅡA	岩崎 皇	277521	364
中国語ⅡA	上原 かおり	277201・277811	365
中国語ⅡA	梅田 雅子	277301・353001	366
中国語ⅡA	佐藤 普美子	277701	367
中国語ⅡA	弘兼 加奈子	277501	367
中国語ⅡA	宮本 厚子	277401	368
中国語ⅡA	李 雲	277511	368
中国語ⅡA	李 雲	277801	368
中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕 中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕	小栗山 恵	301901・301902・301903	369
中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356201・356202	369
中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕 中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕	本間 由香利	301801・301802・301803	369
中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕 中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕	李 雲	302001・302002・302003	369
中国語ⅡB	秋元 翼	278401	370
中国語ⅡB	岩崎 皇	278521	370
中国語ⅡB	上原 かおり	278001・278301	370
中国語ⅡB	梅田 雅子	278101	371
中国語ⅡB	王 聡	353111	372
中国語ⅡB	塩旗 伸一郎	278531	372
中国語ⅡB	弘兼 加奈子	278111	373
中国語ⅡB	本間 由香利	278511	373
中国語ⅡB	李 雲	278501	373
中国語ⅡD 中国語ⅡD〔再クラス〕	塩旗 伸一郎	278911	374
中国語ⅡD 中国語ⅡD〔再クラス〕	曹 泰和	278901	374
中国語ⅡD 中国語ⅡD〔再クラス〕	宮本 厚子	278801	375
中国語ⅢA 中国語ⅢA〔再クラス〕	王 聡	279101	375
中国語コミュニケーションⅠ	小川 隆	288201	376
中国語コミュニケーションⅡ	陳 洲拳	289001	376
中国語スキルアップ	張 渭涛	287101	377
朝鮮語ⅠA (選)	宋 美玲	290101	377
朝鮮語ⅠA (選)	白 寅英	290111	378
朝鮮語ⅠB (選)	白 寅英	290701	378
朝鮮語Ⅱ (選)	宋 美玲	291211	379
ドイツ語ⅠA	志真 斗美恵	266901	379

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ	
ドイツ語ⅠA	清水 修	351401	380	
ドイツ語ⅠA	杉本 正俊	266201・266701	380	
ドイツ語ⅠA	武田 利勝	266301	381	
ドイツ語ⅠA	武田 利勝	266501	381	
ドイツ語ⅠA	松岡 晋	266601	382	
ドイツ語ⅠA	森 公成	266401	382	
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕	堀内 美江	297411・297412・ 297413	383
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕	南 はるつ	297401・297402・ 297403	383
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕	本橋 右京	297101・297102・ 297103	384
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕	藪下 絃一	297201・297202・ 297203	384
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	藪下 絃一	355601・355602	384
ドイツ語ⅠA(選)		森 公成	289601	385
ドイツ語ⅠB		岡本 時子	267101	385
ドイツ語ⅠB		岡本 時子	267601	385
ドイツ語ⅠB		篠原 敏昭	351601	386
ドイツ語ⅠB		武田 利勝	267201・267401	386
ドイツ語ⅠB		野島 利彰	267301	387
ドイツ語ⅠB		野島 利彰	267501	387
ドイツ語ⅠB		松岡 晋	267801	388
ドイツ語ⅠB(選)		井村 行子	290201	388
ドイツ語Ⅱ(選)		志真 斗美恵	290801	388
ドイツ語ⅡA		飯塚 公夫	268111	389
ドイツ語ⅡA		清水 修	351801	389
ドイツ語ⅡA		野島 利彰	268301	390
ドイツ語ⅡA		松岡 晋	268101・268311	390
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕	武田 利勝	298001・298002・ 298003	391
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕	南 はるつ	298201・298202・ 298203	391
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕	本橋 右京	298101・298102・ 298103	392
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	藪下 絃一	355701・355702	392
ドイツ語ⅡB		飯塚 公夫	268401	393
ドイツ語ⅡB		篠原 敏昭	351901	393
ドイツ語ⅡB		松岡 晋	268511	394
ドイツ語ⅡB		藪下 絃一	268501	394
ドイツ語ⅡD	ドイツ語ⅡD〔再クラス〕	藪下 絃一	268701	394
ドイツ語ⅢA		野島 利彰	268801	395
ドイツ語コミュニケーションⅠ		小林 ゲアリンデ	288001	395
ドイツ語コミュニケーションⅡ		小林 ゲアリンデ	288801	395
ドイツ語スキルアップ		松岡 晋	286901	396
フランス語ⅠA		大野 英士	269901	396
フランス語ⅠA		小黒 昌文	269601	396
フランス語ⅠA		桑田 禮彰	269201・269611	397
フランス語ⅠA		佐藤 久美子	269101	397
フランス語ⅠA		佐藤 久美子	269501	398

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
フランス語ⅠA	高橋 明美	352001	398
フランス語ⅠA	遠山 博雄	269301	398
フランス語ⅠA	浜崎 設夫	269401	399
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC(会話)〔再クラス〕	大野 英士	299301・299302・ 299303	399
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC(会話)〔再クラス〕	小黒 昌文	299001・299002・ 299003	399
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC(会話)〔再クラス〕	谷川 かおる	299011・299012・ 299013	400
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕	長谷川 光明	355801・355802	400
フランス語ⅠA〔再クラス〕 フランス語ⅠB〔再クラス〕 フランス語ⅠC(会話)〔再クラス〕	浜崎 設夫	298801・298802・ 298803	401
フランス語ⅠA(選)	伊藤 なお	289711	401
フランス語ⅠA(選)	桑田 禮彰	289701	401
フランス語ⅠB	東 辰之介	270301・270901	402
フランス語ⅠB	木下 雄介	352201	402
フランス語ⅠB	桑田 禮彰	270101・270501	402
フランス語ⅠB	谷川 かおる	270201	403
フランス語ⅠB	谷川 かおる	270611	403
フランス語ⅠB	遠山 博雄	270601	404
フランス語ⅠB	長谷川 光明	270401	404
フランス語ⅠB(選)	小黒 昌文	290301	404
フランス語Ⅱ(選)	桑田 禮彰	290901	405
フランス語ⅡA	東 辰之介	271201	405
フランス語ⅡA	今関 アン	271401	405
フランス語ⅡA	小黒 昌文	271301	406
フランス語ⅡA	菅谷 暁	271211	406
フランス語ⅡA	高橋 明美	352401	406
フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC(会話)〔再クラス〕	東 辰之介	299801・299802・ 299803	406
フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC(会話)〔再クラス〕	今関 アン	299701・299702・ 299703	407
フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕	長谷川 光明	355901・355902	407
フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC(会話)〔再クラス〕	畑中 千晶	299601・299602・ 299603	407
フランス語ⅡB	今関 アン	271611	408
フランス語ⅡB	木下 雄介	352501	408
フランス語ⅡB	菅谷 暁	271501	408
フランス語ⅡB	畑中 千晶	271601	409
フランス語ⅡD フランス語ⅡD〔再クラス〕	伊藤 なお	271801	409
フランス語ⅢA フランス語ⅢA〔再クラス〕	東 辰之介	271901	409
フランス語コミュニケーションⅠ	ラリア 三倉、 M.	288101	410
フランス語コミュニケーションⅡ	ラリア 三倉、 M.	288901	410
フランス語スキルアップ	遠山 博雄	287001	410
マルチ・メディア	上田 倫史	286701	411
マルチ・メディア	梅原 敏弘	286601	411
マルチ・メディア	落合 和昭	286501	412
マルチ・メディア	白鳥 義博	286801	413

外国語科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
名文で味わうスペイン語	齊藤 明美	285501	413
名文で味わう中国語	佐藤 普美子	285401	414
名文で味わうドイツ語	武田 利勝	285201	414
名文で味わうフランス語	遠山 博雄	285301	415
名文で味わうロシア語	廣田 英靖	285601	415
ロシア語ⅠA	大須賀 史和	283601	415
ロシア語ⅠA	佐野 洋子	283401	416
ロシア語ⅠA	杉山 秀子	283301	416
ロシア語ⅠA	廣田 英靖	353901	417
ロシア語ⅠA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ロシア語ⅠB〔再クラス〕 ロシア語ⅠC(会話)〔再クラス〕	安德 ニーナ	303801・303802・ 303803
ロシア語ⅠA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ロシア語ⅠB〔再クラス〕 ロシア語ⅠC(会話)〔再クラス〕	木村 英明	303701・303702・ 303703
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	ロシア語ⅠB〔再クラス〕	杉山 秀子	356601・356602
ロシア語ⅠA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ロシア語ⅠB〔再クラス〕 ロシア語ⅠC(会話)〔再クラス〕	廣田 英靖	303501・303502・ 303503
ロシア語ⅠA(選)	クロチコフ、 Y.	290001	419
ロシア語ⅠB	木村 英明	284001	420
ロシア語ⅠB	廣田 英靖	283701	420
ロシア語ⅠB	廣田 英靖	283801	421
ロシア語ⅠB	廣田 英靖	354001	422
ロシア語ⅠB(選)	木村 英明	290601	422
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ、 Y.	291201	423
ロシア語ⅡA	木村 英明	284201	423
ロシア語ⅡA	杉山 秀子	284301	423
ロシア語ⅡA	廣田 英靖	354101	424
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ロシア語ⅡB〔再クラス〕 ロシア語ⅡC(会話)〔再クラス〕	安德 ニーナ	304101・304102・ 304103
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ロシア語ⅡB〔再クラス〕 ロシア語ⅡC(会話)〔再クラス〕	大須賀 史和	304001・304002・ 304003
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 C(会話)〔再クラス〕	ロシア語ⅡB〔再クラス〕 ロシア語ⅡC(会話)〔再クラス〕	クロチコフ、 Y.	303901・303902・ 303903
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	ロシア語ⅡB〔再クラス〕	杉山 秀子	356701・356702
ロシア語ⅡB	木村 敦夫	284501	426
ロシア語ⅡB	木村 英明	284401	426
ロシア語ⅡB	廣田 英靖	354201	427
ロシア語ⅡD	ロシア語ⅡD〔再クラス〕	クロチコフ、 Y.	284701
ロシア語ⅢA	ロシア語ⅢA〔再クラス〕	クロチコフ、 Y.	284801
ロシア語コミュニケーションⅠ	安德 ニーナ	288401	428
ロシア語コミュニケーションⅡ	安德 ニーナ	289201	428
ロシア語スキルアップ	クロチコフ、 Y.	287301	429

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習(室内球技)	鈴木 淳平	194501	433
健康・スポーツ実習(ジョギング)	内山 雅博	194501	433
健康・スポーツ実習(サッカー)	大森 西三郎	194501	434
健康・スポーツ実習(卓球)	下谷内 勝利	194501	434
健康・スポーツ実習(ダブルタッチ)	末次 美樹	194501	435
健康・スポーツ実習(空手道)	高橋 俊介	194501	435
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	館岡 儀秋	194501	436
健康・スポーツ実習(トレーニング)	光永 吉輝	194501	436
健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	柳 浩二郎	194501	437
健康・スポーツ実習(卓球)	下谷内 勝利	194601	437
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	内山 雅博	194601	438
健康・スポーツ実習(テニス)	江口 淳一	194601	439
健康・スポーツ実習(サッカー)	大森 西三郎	194601	439
健康・スポーツ実習(簡化太極拳)	末次 美樹	194601	440
健康・スポーツ実習(室内球技)	鈴木 淳平	194601	440
健康・スポーツ実習(空手道)	高橋 俊介	194601	441
健康・スポーツ実習(トレーニング)	光永 吉輝	194601	442
健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	柳 浩二郎	194601	442
健康・スポーツ実習(トレーニング)	光永 吉輝	194701	443
健康・スポーツ実習(ジョギング)	内山 雅博	194701	444
健康・スポーツ実習(テニス)	江口 淳一	194701	445
健康・スポーツ実習(サッカー)	大森 西三郎	194701	445
健康・スポーツ実習(卓球)	下谷内 勝利	194701	446
健康・スポーツ実習(キックボクササイズ)	末次 美樹	194701	446
健康・スポーツ実習(室内球技)	鈴木 淳平	194701	446
健康・スポーツ実習(空手道)	高橋 俊介	194701	447
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	館岡 儀秋	194701	447
健康・スポーツ実習(空手道)	高橋 俊介	194801	448
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)	岩本 哲也	194801	448
健康・スポーツ実習(テニス)	江口 淳一	194801	449
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	鈴木 淳平	194801	449
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	館岡 儀秋	194801	450
健康・スポーツ実習(室内球技)	牧野 茂	194801	450
健康・スポーツ実習(卓球)	山口 良博	194801	451
健康・スポーツ実習(室内球技)	鈴木 淳平	194901	451
健康・スポーツ実習(卓球)	秋田 浩一	194901	451
健康・スポーツ実習(サッカー)	岩本 哲也	194901	452
健康・スポーツ実習(テニス)	江口 淳一	194901	452
健康・スポーツ実習(トレーニング)	光永 吉輝	194901	453
健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	柳 浩二郎	194901	453
健康・スポーツ実習(室内球技)	牧野 茂	195001	454
健康・スポーツ実習(卓球)	秋田 浩一	195001	454
健康・スポーツ実習(空手道)	末次 美樹	195001	455
健康・スポーツ実習(トレーニング)	光永 吉輝	195001	455
健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	柳 浩二郎	195001	456
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	山口 良博	195001	456
健康・スポーツ実習(テニス)	江口 淳一	195011	457
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	鈴木 淳平	195011	457

保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習(空手道)	高橋 俊介	195011	458
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	館岡 儀秋	195011	458
健康・スポーツ実習(室内球技)	山口 良博	195011	458
健康・スポーツ実習(卓球)	秋田 浩一	195101	459
健康・スポーツ実習(室内球技)	坂尾 知昭	195101	459
健康・スポーツ実習(トレーニング)	柳 浩二郎	195101	459
健康・スポーツ実習(卓球)	秋田 浩一	195201	460
健康・スポーツ実習(トレーニング)	岩本 哲也	195201	460
健康・スポーツ実習(室内球技)	坂尾 知昭	195201	461
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	館岡 儀秋	195301	461
健康・スポーツ実習(室内球技)	岩本 哲也	195301	462
健康・スポーツ実習(卓球)	坂尾 知昭	195301	462
健康・スポーツ実習(トレーニング)	柳 浩二郎	195301	462
健康・スポーツ実習(テニス)	江口 淳一	195401	463
健康・スポーツ実習(サッカー)	秋田 浩一	195401	463
健康・スポーツ実習(卓球)	下谷内 勝利	195401	464
健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	竹田 幸夫	195401	464
健康・スポーツ実習(トレーニング)	光永 吉輝	195401	465
健康・スポーツ実習(室内球技)	山口 良博	195401	465
健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	竹田 幸夫	195501	466
健康・スポーツ実習(サッカー)	秋田 浩一	195501	466
健康・スポーツ実習(卓球)	下谷内 勝利	195501	467
健康・スポーツ実習(空手道)	高橋 俊介	195501	467
健康・スポーツ実習(室内球技)	牧野 茂	195501	468
健康・スポーツ実習(トレーニング)	光永 吉輝	195501	469
健康・スポーツ実習(卓球)	牧野 茂	195511	470
健康・スポーツ実習(トレーニング)	秋田 浩一	195511	470
健康・スポーツ実習(テニス)	江口 淳一	195511	471
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	下谷内 勝利	195511	471
健康・スポーツ実習(空手道)	高橋 俊介	195511	472
健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	竹田 幸夫	195511	472
健康・スポーツ実習(室内球技)	山口 良博	195511	473
健康・スポーツ実習(卓球)	下谷内 勝利	195601	473
健康・スポーツ実習(室内球技)	猪越 悠介	195601	473
健康・スポーツ実習(サッカー)	岩本 哲也	195601	474
健康・スポーツ実習(テニス)	坂井 利彰	195601	474
健康・スポーツ実習(ダブルダッチ)	末次 美樹	195601	475
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	柳 浩二郎	195601	475
健康・スポーツ実習(ダブルダッチ)	末次 美樹	195701	475
健康・スポーツ実習(屋外球技)	猪越 悠介	195701	476
健康・スポーツ実習(テニス)	坂井 利彰	195701	476
健康・スポーツ実習(卓球)	下谷内 勝利	195701	476
健康・スポーツ実習(室内球技)	山口 良博	195701	477
健康・スポーツ実習(ダブルダッチ)	末次 美樹	195801	477
健康・スポーツ実習(屋外球技)	岩本 哲也	195801	477
健康・スポーツ実習(テニス)	坂井 利彰	195801	478
健康・スポーツ実習(卓球)	柳 浩二郎	195801	478
健康・スポーツ実習(室内球技)	山口 良博	195801	478
健康・スポーツ実習(屋内球技)	山口 良博	195811	479
健康・スポーツ実習(屋外球技)	猪越 悠介	195811	479

保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習〔再クラス〕	竹田 幸夫	195901・196001・196201	479
健康・スポーツ実習〔再クラス〕	岩本 哲也	196101	480
健康・スポーツ実習〔再クラス〕	村松 誠	196301・196311	480
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	渡辺 一郎	196501・196502・196503・196504	480
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）	渡辺 一郎	196601・196602・196603・196604	481
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	渡辺 一郎	196701・196702・196703・196704・196901・196902・196903・196904	481
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	渡辺 一郎	196801・196802・196803・196804・197001・197002・197003・197004	482
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	村松 誠	197301・197302・197303・197304・197501・197502・197503・197504・197701・197702・197703・197704	482
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）	村松 誠	197401・197402・197403・197404・197601・197602・197603・197604・197801・197802・197803・197804	483
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	村松 誠	197101・197102・197103・197104	483
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	村松 誠	197201・197202・197203・197204	484
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	鈴木 淳平	198101・198102・198103・198104	484
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）	鈴木 淳平	198201・198202・198203・198204	485
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	鈴木 淳平	197901・197902・197903・197904	485
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	鈴木 淳平	198001・198002・198003・198004	485

保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	村松 誠	198301・198302・198303・198304	486
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	村松 誠	198401・198402・198403・198404	486
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	牧野 茂	198901・198902・198903・198904	487
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）	牧野 茂	199001・199002・199003・199004	487
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	牧野 茂	198701・198702・198703・198704	488
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	牧野 茂	198801・198802・198803・198804	488
生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎） 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用）	竹田 幸夫 下谷内 勝利 末次 美樹 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝 村松 誠 柳 浩二郎	199301・199302	489
生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎） 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 柳 浩二郎 山口 良博	199401・199402	490
健康・スポーツ論 1	柳 浩二郎	199901	491
健康・スポーツ論 1	江口 淳一	200101・200401	492
健康・スポーツ論 1	高橋 俊介	200201	492
健康・スポーツ論 1	秋田 浩一	200501	493
健康・スポーツ論 1	岩本 哲也	200601	493
健康・スポーツ論 1	山口 良博	200801	494
健康・スポーツ論 1	光永 吉輝	200901	494
健康・スポーツ論 1	下谷内 勝利	201111	495
健康・スポーツ論 2	村松 誠	201201	495
健康・スポーツ論 2	牧野 茂	201301	496
健康・スポーツ論 2	末次 美樹	201401	496
健康・スポーツ論 2	鈴木 淳平	201501	497
余暇学	竹田 幸夫	202001・202201	497
保健理論	黒子 幸一	202401	497
健康・スポーツ実習 健康・スポーツ実習〔再クラス〕	岩本 哲也	340201・340301	498

保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習 健康・スポーツ実習〔再クラス〕	末次 美樹	340501	498
健康・スポーツ論	村松 誠	341201	499
健康・スポーツ論	末次 美樹	341301	499
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）	休講	199501	
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）	休講	199601	

Ⅱ 「日本語」・「日本事情」科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本語Ⅰ a	佐野 典子	230611・230612	503
日本語Ⅰ a	多田羅 哲子	230631・230632	503
日本語Ⅰ b	佐野 典子	230621・230622	503
日本語Ⅰ b	多田羅 哲子	230641・230642	504
日本語Ⅱ a	佐野 典子	230711・230712	504
日本語Ⅱ a	多田羅 哲子	230721・230722	504
日本語Ⅱ b	佐野 典子	230811・230812	505
日本語Ⅱ b	多田羅 哲子	230821・230822	505
日本語Ⅲ a	多田羅 哲子	230911・230912	506
日本語Ⅲ a	湯村 礼子	230921・230922	506
日本語Ⅲ b	多田羅 哲子	231011・231012	507
日本語Ⅲ b	湯村 礼子	231021・231022	507
日本語Ⅳ a	鈴木 美希	231111・231112	508
日本語Ⅳ a	湯村 礼子	231121・231122	508
日本語Ⅳ b	鈴木 美希	231211・231212	508
日本語Ⅳ b	湯村 礼子	231221・231222	509
日本語Ⅴ a	多田羅 哲子	231321・231322	509
日本語Ⅴ a	湯村 礼子	231311・231312	509
日本語Ⅴ b	多田羅 哲子	231421・231422	510
日本語Ⅴ b	湯村 礼子	231411・231412	510
日本語Ⅵ a	鈴木 美希	231511・231512	510
日本語Ⅵ a	多田羅 哲子	231521・231522	511
日本語Ⅵ b	鈴木 美希	231611・231612	511
日本語Ⅵ b	多田羅 哲子	231621・231622	511
日本語入門Ⅰ a	鈴木 美希	230511・230512	512
日本語入門Ⅰ b	鈴木 美希	230521・230522	512
日本語入門Ⅱ a	鈴木 美希	230531・230532	513
日本語入門Ⅱ b	鈴木 美希	230541・230542	513
日本事情Ⅰ〔地理〕	高橋 健太郎	231701・231702	513
日本事情Ⅱ〔自然〕	清水 善和	231801・231802	514
日本事情Ⅲ〔歴史〕	井上 桂子	231901・231902	514
日本事情Ⅳ〔思想〕	佐藤 美奈子	232001・232002	515
日本事情Ⅴ〔社会〕	牛島 千尋	232101・232102	515
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹 直哉	232201・232202	516
日本事情Ⅶ〔文学〕	内藤 寿子	232301・232302	516
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	佐藤 美奈子	232401・232402	517
日本事情Ⅸ〔経済〕	瀬戸岡 紘	232501・232502	517
日本事情Ⅹ〔経営〕	高田 光明	232601・232602	518

Ⅲ 随 意 科 目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
宗教学概説	川上 新二	233101	521
宗教学概説	矢野 秀武	232901・233001	521
宗教人類学	佐藤 憲昭	075002	522
就業力基礎Ⅰ	中濟 光昭 矢野 浩一 長山 宗広 絹川 真哉	450002	523
就業力基礎Ⅱ	中濟 光昭 矢野 浩一 長山 宗広 絹川 真哉	450052	524
書道史	那須 隆吉	017302	525
哲学概説	久保 陽一	233301	525
哲学概説	末木 恭彦	233201	525
東洋思想史	末木 恭彦	016802	526
日本宗教文化史	小川 順敬	232701	526
日本仏教史	松本 信道	046602	526
日本民俗学	牧野 眞一	017102	527
比較思想特講	末木 恭彦	233501	527
美術史概説	北野 良枝	017802	527
編集実務	長谷川 孝	017202	528
民間信仰論	川上 新二	017902	528
民衆宗教成立史	鈴木 一馨	232801	529
倫理学概説	河谷 淳	233401	529
歴史哲学	久保 陽一	233551	530
英語（海外演習）	—	—	530
フランス語（海外演習）	—	—	530
中国語（海外演習）	—	—	530

IV 教職課程・資格講座科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
医療福祉論	宮本 博司	065822	533
インド仏教文化史	金沢 篤	003802	533
英語科教育法 I	佐藤 真二	031311	534
英語科教育法 I a	町田 尚子	438801	535
英語科教育法 I b	町田 尚子	438911	537
英語科教育法 II	佐藤 真二	031401	539
英語科教育法 II a	町田 尚子	439001	540
英語科教育法 II b	町田 尚子	439111	542
外国考古学概説	飯島 武次	044402	543
介護等体験	伊藤 茂樹	089151	544
介護等体験	遠藤 司	089161	544
介護等体験	大浜 幾久子	089181	545
介護等体験	北村 三子	089121・089141	545
介護等体験	豊田 千代子	089111	546
介護等体験	萩原 建次郎	089131	546
介護等体験	山本 敏子	089171	547
学習・発達論	飯田 都	214201・214601	548
学習・発達論	大浜 幾久子	213901・214001	549
学習・発達論	川原 誠司	213801	550
学習・発達論	角野 善司	214301・214401・ 214501	551
学習・発達論	藤原 善美	214101・344001	551
学習指導と学校図書館	松尾 不二夫	088101・088201	552
学校経営と学校図書館	松尾 不二夫	086901・087001	552
学校図書館メディアの構成	笠川 昭治	087601	553
学校図書館メディアの構成	源 昌久	087501	553
家庭福祉論	武山 梅乗	065102	554
教育課程論	大浜 幾久子	214901・215001	554
教育課程論	川原 誠司	214801	555
教育課程論	杉山 二季	215201・215601	556
教育課程論	角野 善司	215301・215401・ 215501	557
教育課程論	藤原 善美	215101・344101	557
教育関係法規	広沢 明	085101・085201	558
教育基礎論	伊藤 茂樹	212301・212401・ 212701	558
教育基礎論	北村 三子	212101・212201	559
教育基礎論	豊田 千代子	212001	559
教育基礎論	萩原 建次郎	212501	560
教育基礎論	山本 敏子	212601・343801	560
教育史	山本 敏子	085801	561
教育実習 I 教育実習 II	伊藤 茂樹	083601・083602・ 306201・306202	561
教育実習 I 教育実習 II	遠藤 司	083201・083202・ 083901・083902	562
教育実習 I 教育実習 II	大浜 幾久子	084151・084152	562
教育実習 I 教育実習 II	北村 三子	083501・083502・ 084101・084102	562

教職課程 資格講座

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	豊田 千代子	083101・083102・083801・083802	563
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	萩原 建次郎	083401・083402	563
教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	山本 敏子	083701・083702・084001・084002	564
教育社会学	伊藤 茂樹	085701	564
教育情報学	石橋 達也	085501	565
教育制度・環境論	伊藤 茂樹	213201・213301・213601	566
教育制度・環境論	北村 三子	213001・213101	566
教育制度・環境論	豊田 千代子	212901	567
教育制度・環境論	萩原 建次郎	213401	567
教育制度・環境論	山本 敏子	213501・343901	568
教育調査	鈴木 規夫	086001	568
教育哲学	北村 三子	085401	569
教育とメディア	石橋 達也	076801・076901・077001・077101・077201・077301・305501	569
教育とメディア	芝崎 順司	077401・077501・077601・077701	570
教育評価	大浜 幾久子	085301	570
教育臨床	遠藤 司	080401・080901・081001	571
教育臨床	川原 誠司	081101	572
教育臨床	慶野 遥香	305901	573
教育臨床	佐藤 尚人	080301・080701・080801	573
教育臨床	目良 秋子	080501・080601	574
教育臨床心理学	牟田 隆郎	085601	574
教職入門	天井 勝海	076711・305401	575
教職入門	藤木 篤典	076701	576
経済原論	浅野 克巳	090403	577
経済原論	荒木 勝啓	090303	578
経済原論	有井 行夫	089903	581
経済原論	畠中 貴	090103	582
経済原論	松井 柳平	090203	583
現代社会の諸問題と教育Ⅰ	鈴木 朋実	082901	584
現代社会の諸問題と教育Ⅱ	鈴木 朋実	086201	584
現代商業論	辰馬 信男	152651	585
現代美術	矢野 陽子	028602	585
考古学特講Ⅱ	酒井 清治	052812	586
考古学特講Ⅳ	小林 謙一	052922	586
考古学特講Ⅵ	寺前 直人	053022	587
考古学特講Ⅷ	矢野 和之	053042	587
公的扶助論	伊藤 秀一	065322	588
国語科教育法Ⅰ	久保田 實	022811	589
国語科教育法Ⅱ	久保田 實	022911	590
西域美術史	松平 美和子	053102	591
ジェンダーと教育Ⅰ	高井 葉子	082511	591

科目名	担当者名	履修コード	ページ
ジェンダーと教育Ⅱ	高井 葉子	082521	591
自然地理学概説	高木 正博	043201	592
自然地理学概説	早船 元峰	043101	592
自然地理学概説	角田 清美	304501	593
視聴覚教育	佐野 博彦	084901・085001	593
児童福祉論	村田 一昭	065622	594
社会科教育法Ⅰ	小川 光夫	088601・088801	595
社会科教育法Ⅰ	天井 勝海	306301	596
社会科教育法Ⅰ	二井 正浩	089001	597
社会科教育法Ⅰ	藤木 正国	088401	597
社会科教育法Ⅱ	小川 光夫	088701・088901	598
社会科教育法Ⅱ	天井 勝海	306401	598
社会科教育法Ⅱ	二井 正浩	089101	599
社会科教育法Ⅱ	藤木 正国	088501	599
社会科教育法Ⅲ (地理歴史)	生田 清人	042701	600
社会科教育法Ⅲ (地理歴史)	櫻井 明久	042901	601
社会科教育法Ⅲ (地理歴史)	藤木 正国	057301	602
社会科教育法Ⅳ (地理歴史)	生田 清人	042801	603
社会科教育法Ⅳ (地理歴史)	櫻井 明久	043001	604
社会科教育法Ⅳ (地理歴史)	藤木 正国	057401	605
社会科教育法Ⅴ (公民)	小川 光夫	134501	605
社会科教育法Ⅴ (公民)	橋爪 敏	062401・062601	606
社会科教育法Ⅴ (公民)	谷敷 正光	113401	607
社会科教育法Ⅵ (公民)	小川 光夫	134601	608
社会科教育法Ⅵ (公民)	橋爪 敏	062501・062701	608
社会科教育法Ⅵ (公民)	谷敷 正光	113501	609
社会学 (福祉)	武山 梅乗	066152	610
社会学原論	呉 炳三	133902	610
社会学原論	橋爪 敏	060002	611
社会教育行政	荒井 隆	086301	611
社会教育計画	萩原 建次郎	084401	612
社会教育施設	萩原 建次郎	085901	612
社会教育実習	豊田 千代子	084701	613
社会教育実習	萩原 建次郎	084801	613
社会心理学A	坪井 健	058332	614
社会体育Ⅰ	吉田 実生	086501	614
社会体育Ⅱ	吉田 実生	086601	614
社会福祉原論	伊藤 秀一	062802	615
社会福祉原論	船水 浩行	070701	615
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063902	616
社会保障論	長尾 譲治	065002	616
宗教科教育法Ⅰ	小山 一乗	011911	617
宗教科教育法Ⅱ	小山 一乗	012001	619
宗教学概説	川上 新二	233102	621
宗教学概説	須藤 寛人	305101・305201	621
宗教学概説	矢野 秀武	232902・233002	622
宗教教育	小山 一乗	007102	623
宗教人類学	佐藤 憲昭	075003	624
生涯学習概論Ⅰ	豊田 千代子	084501	624
生涯学習概論Ⅱ	豊田 千代子	084601	624

教職課程 資格講座

科目名	担当者名	履修コード	ページ
障害者福祉論	桐原 宏行	065422	625
商業科教育法	黒葛原 正展	113301	626
情報メディアの活用	笠川 昭治	087901	627
情報メディアの活用	源 昌久	087801	627
職業教育Ⅰ	塩川 正人	086701	628
職業教育Ⅱ	塩川 正人	086801	629
職業指導	洪 利志生	113801	629
女性福祉論	堀 千鶴子	065702	630
書道科教育法	那須 隆吉	023001	630
人文地理学概説	中村 剛	036901・037001	631
人文地理学概説	渡邊 盾夫	304401	631
心理学(福祉)	高橋 良博	066522	632
政治学原論	大塚 桂	324302	633
政治学原論	真下 英二	134801	634
政治学原論	山崎 望	134701	635
青少年指導演習	西村 寛子	006702	635
青少年文化	古関 すま子	086101	636
青少年問題研究	讃岐 真佐子	006602	637
成人学習論	荒井 隆	086401	638
生徒指導論(進路指導を含む)	遠藤 司	079401・079901・080001	638
生徒指導論(進路指導を含む)	川原 誠司	080101	639
生徒指導論(進路指導を含む)	慶野 遥香	305801	640
生徒指導論(進路指導を含む)	佐藤 尚人	079301・079701・079801	640
生徒指導論(進路指導を含む)	目良 秋子	079501・079601	641
西洋文化史	田中 佳	046912	641
世界史概説	井村 行子	044202	642
世界史概説	見城 光威	305001	642
世界史概説	小林 惣八	056502	642
禅美術	村松 哲文	006102	643
総合演習Ⅰ(環境・地域)	北村 和夫	081501・306001	643
総合演習Ⅰ(環境・地域)	北村 和夫	081601・306101	643
総合演習Ⅱ(生活・人権)	広沢 明	082101	644
総合演習Ⅱ(生活・人権)	広沢 明	082201	644
総合演習Ⅲ(福祉・ボランティア)	野中 弘敏	081901・082001	645
総合演習Ⅳ(健康・人間)	柳堀 素雅子	082301	645
総合演習Ⅳ(健康・人間)	柳堀 素雅子	082401	646
総合演習Ⅴ(国際理解・情報)	大浜 幾久子	082811・082821	646
第四紀学	鈴木 毅彦	041102	647
地域福祉論	川上 富雄	065902	648
地形学	平井 幸弘	039902	649
地誌学概説	川元 豊和	037101	649
地誌学概説	川元 豊和	304201	650
地誌学概説	山口 太郎	037301	650
地誌学概説	湯田 ミノリ	037201	651
地誌学概説	渡邊 盾夫	304301	651
中国仏教文化史	程 正	003902	652
哲学概説	久保 陽一	233302	652
哲学概説	小島 優子	305301	652

科目名	担当者名	履修コード	ページ
哲学概説	末木 恭彦	233202	653
道德教育の研究	井上 勝	078301・078401・ 305601	653
道德教育の研究	杉崎 洋一郎	078101・078201	654
道德教育の研究	藤木 篤典	077901・078001	654
東洋思想史	末木 恭彦	016803	655
読書と豊かな人間性	松尾 不二夫	087201・087301	655
特別活動論	井上 勝	079011・079111・ 305711	656
特別活動論	杉崎 洋一郎	078811・078911	657
特別活動論	藤木 篤典	078611・078711	658
日本考古学概説	酒井 清治	044302	658
日本史概説	菅野 洋介	304801	659
日本史概説	小泉 雅弘	056402	659
日本史概説	鈴木 雅晴	304901	659
日本史概説	野尻 かおる	056302	660
日本宗教文化史	小川 順敬	232702	660
日本仏教文化史	藤井 淳	004002	661
日本文化史	廣瀬 良弘	047112	661
日本民俗学	牧野 眞一	017103	662
博物館学Ⅰ（概論）	太田 喜美子	056701	662
博物館学Ⅱ（資料論）	岸上 興一郎	056801	662
博物館学Ⅲ（経営論・情報論）	岸上 興一郎	056901	663
博物館実習Ⅰ（館務）	湯淺 隆 太田 喜美子 寺前 直人	057001	663
博物館実習Ⅱ（収集）	太田 喜美子 佐々木 真 國見 徹 久保田 昌希 熊本 史雄 瀧音 能之 中野 達哉	057101	664
博物館実習Ⅲ（見学）	太田 喜美子 酒井 清治 松本 信道	057201	664
美術史概説	北野 良枝	017803	664
福祉科教育法	桐原 宏行	070801	665
仏教美術	村松 哲文	006202	666
仏教民俗学	佐藤 憲昭	006302	666
保健福祉論	山本 哲也	065202	667
民間信仰論	川上 新二	017903	667
民衆宗教成立史	鈴木 一馨	232802	668
民法Ⅰ	熊谷 芝青	127803	668
民法Ⅰ	竹中 智香	098302	669
リハビリテーション論	佐藤 将朗	064902	670
倫理学概説	河谷 淳	233402	670
老人福祉論	東條 光雅	065522	671
介護等体験指導	休講		
教育実習A 教育実習B	休講		

教職課程 資格講座

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教育実習指導	休講		
教職実践演習（中・高）	休講		
工業実習	休講		
考古学特講Ⅰ	休講		
考古学特講Ⅲ	休講		
考古学特講Ⅴ	休講		
考古学特講Ⅶ	休講		
国際社会福祉論	休講		
産業概説	休講		
社会心理学B	休講		
商業実習	休講		
職業科教育法Ⅰ 職業科教育法	休講		
職業科教育法Ⅱ	休講		
農業実習	休講		

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

履修コード	206401・206451・206501・206551
科目名	坐禅
担当者名	熊本 英人・池上 光洋・角田 泰隆

講義の到達目標(ねらい)

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積み重ね、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～ 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(前半は黙々と坐禅を行い、後半は道元禪師が坐禅の意義と作法について書かれた『普勧坐禅儀』の講義を聞きます)

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。抽選登録ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

適宜、プリントにて配布します。

『坐禅—講本—』(更生社)2,226円

講義の内容／
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

履修コード	206101
科目名	自然と宗教
担当者名	小川 順敬

講義の到達目標(ねらい)

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思えます。

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学の基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりの諸相を紹介していくことにしたいと考えています。

また、人間そのものも自然の一部といえるわけですから、人間そのものをどの様にとらえようとしてきたのか、仏教、キリスト教や伝統宗教などから事例を取り上げて紹介してゆきたいと考えています。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：この授業の進め方、第2～3回：アニミズム論について、第4～15回：人間の外なる自然。外なる自然と人間のつながりについて、山、太陽、月、海、等をテーマとして外から来るカミ概念について紹介。第16～27回：人間の内なる自然。人間という自然について、いのち、こころ、性、人格、等をテーマとして、仏教、キリスト教、伝統宗教から事例を紹介し、これに関連する宗教学上の概念を紹介する。第28～30回：再びアニミズム論について。

準 備 学 習

授業準備として次回授業で取り上げる内容について、関連資料のコピーに眼を通しておくこと。また、授業で行う小試験の内容は必ず復習しておくこと。

成績評価の方法

原則として、年8回の「小試験」(出席点として処理)が2割、夏期レポート(前期試験に相当します)が4割、年度末の筆記試験が4割として評価します。成績評価の具体的な方法、レポート課題の内容、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書／テキスト
参 考 書

関連資料のコピーを配布します。原則として教科書は用いません。

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	206201
科目名	社会と宗教
担当者名	矢野 秀武

講義の到達目標(ねらい) 宗教の信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域など、歴史的・文化的・社会的な影響を帯びているものもある。また、宗教は社会一般の制度と関わる公的側面を持っており、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。宗教を信じていない人でも、宗教に関する知識を持つことは重要であるということを知ってもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、宗教の社会的機能や宗教の様々な集団形態についてとりあげ(1～4)、具体的事例としてイスラム金融、日本の会社経営と宗教、宗教法人の活動、宗教団体による福祉活動などを紹介する(5～8)。またカルト問題や宗教がらみのテロリズムあるいは宗教紛争など、社会問題化する宗教についても考察する(9～15)。

履修上の留意点 後期は、政治と宗教の関係を主要テーマとする。まず政教分離という考え方について解説し、さらに日本における政教関係の歴史の変遷(16～19)、欧米やアジア諸国の政教関係(20～25)を紹介する。また政治と宗教の問題は、教育制度と宗教の関係にも大きく関わる問題なので、欧米諸国と日本の宗教教育制度についても比較を行なう(26～30)。

成績評価の方法 レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。前期レポート(40%、夏休み前に課題を提示・後期初回に提出)と後期の定期試験期間における筆記試験(60%)を総合して評価を行なう。

教科書／テキスト なし

参考書 授業時に随時紹介する。

履修コード	205101
科目名	仏教と人間
担当者名	新井 一光

講義の到達目標(ねらい) インド仏教の歴史と基本思想を概観する。仏教の基本的教義に関する知識を得るとともに、仏典及び古典インド文献の読解を通じて、仏教が何を真に主張するのか考察する。

講義の内容／授業スケジュール 仏教以前のインド及びインド仏教の歴史と基本思想を概観する。1-4 イントロダクション—「仏教学」について、5-7 仏教以前のインド(ヴェーダ、ウパニシャッド)、8-11 釈尊の伝記、12-16 原始仏教の思想(縁起説、無我説等)、17-20 部派仏教、21-24 大乘仏教、26～ 大乘仏教の展開。

履修上の留意点 授業は講義形式が進めるが、参加者に資料、テキストを読んでもらい質問を当てるので、積極的な取り組みが要求される。

成績評価の方法 年度末の試験及び教度のレポート、しばしば行う小テストによって総合的に評価する。

教科書／テキスト 最初の授業において指示する。

履修コード	203001
科目名	仏教と人間
担当者名	栗谷 良道

講義の到達目標(ねらい) 日本に伝承された仏教は、日本の文化と深く関わりながら、先祖供養や祈願祈祷などを行うことによって受け継がれてきました。お盆やお彼岸の先祖供養、お正月のご祈祷など、日本の仏教は人々の暮らしの中に定着している宗教と言えます。

講義の内容／授業スケジュール そのような日本の仏教を理解するには、日本の固有文化である習俗や慣習などの民俗を学ぶと同時に、インドから伝わる仏教の理念としての教義を学ぶ必要があります。

履修上の留意点 この授業では、まず、日本の仏教を理解するために、その基層となっている宗教について概説し、そして、日本の文化と交流しながら発展してきた日本の仏教について学びます。さらに、より深く仏教を理解するために、仏教の理念として伝承されてきた仏教の教義についても学びます。

成績評価の方法 前期は、はじめに(第1回)、宗教(第2～5回)、民俗宗教(第6～10回)、祖霊信仰、祖先祭祀(第11～15回)、などについて学びます。

教科書／テキスト 後期は、仏教の開祖である釈尊の生涯と教え、その後の仏教の流れ(第16～20回)、仏教の日本伝来と受容、日本仏教と神仏習合(第21～25回)、道元禅師の生涯と教え(第26～30回)、などについて学びます。

参考書 夏休み前に課すレポートは必ず提出してもらいます。また、学年末の試験問題は授業で配布するプリントの中から出す予定です。

成績評価の方法 成績はレポートと学年末の筆記試験で評価します。レポートの課題は夏休み前に出し、提出は夏休み明けの予定です。詳しくは授業の中で説明します。

教科書／テキスト その都度、プリントを配布します。

参考書 授業の中で適宜紹介します。

履修コード	204001
科目名	仏教と人間
担当者名	飯塚 大展 <small>いづか ひろのぶ</small>

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

履修上の留意点
成績評価の方法

教科書／テキスト
参 考 書

仏教について基本的な概念の理解に主眼を置く。
概説(1)、釈尊の生涯(2～5)、インドにおける仏教の展開(原始仏教、部派仏教、大乘仏教、6～10)、
仏教の伝播(南伝仏教、北伝仏教、東アジア圏における仏教受容、11～15)、日本仏教史(古代仏教史、
中世仏教史、近世仏教史、近代仏教史を順次講義、16～23、日本禅宗史24～30)。
本講義専用のノートを準備すること。
三分の二以上の出席を前提とする。平常点及び小テスト(50点配分)と期末試験(50点)を以て評
価する。
教科書は用いない。適宜プリントを配布する。
参考書は随時紹介する。

履修コード	205001・205121
科目名	仏教と人間
担当者名	池上 光洋 <small>いけがみ こうよう</small>

講義の到達目標(ねらい)

講義の内容／
授業スケジュール

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

現在の日本には「宗教」を毛嫌いする傾向が見られ、自身を「無宗教」と規定する人が多く存在す
る。しかし安易な宗教批判や宗教否定は、無批判な宗教肯定同様、実はそれ自身が「宗教的」であるこ
とが多い。
皆さんの学舎である本学は曹洞宗系の私学であり、「建学の理念」も仏教思想を背景としている。
講義を通して建学の精神を理解するとともに、仏教を学ぶことによって「正しくものを見る」ことを
身につけていただきたい。
前期は宗教について概観した後、仏教を開いた釈尊の教えとその後のインド仏教史を学んでいく。
後期は中国への仏教伝来から宋代禅までの歴史と展開、そして日本の道元禅について学習してい
きたい。
第1回 : 前期導入
第2～4回 : 宗教について
第5～6回 : 古代インド史
第7～10回 : 釈尊の生涯と思想
第11～14回 : インド仏教史
第15回 : 前期テスト
第16回 : 後期導入
第17～19回 : 中国仏教史
第20～23回 : 中国禅の歴史と展開
第24～25回 : 日本への仏教と禅の伝来
第26～29回 : 道元禅とその展開
第30回 : まとめ
専用のノートを用意すること。
小作文(不定期)・前期試験・後期試験を総合して評価する。
特になし。
プリントを配布。また、講義中に随時紹介する予定である。
私語・携帯電話・メール等厳禁、ひどい場合は退室を要請する。講義開始後30分以降は、特別の事
情が無い限り入室禁止。

履修コード	204201
科目名	仏教と人間
担当者名	池田 道浩

講義の到達目標(ねらい) 人間と動物の違いの一つに宗教的思考の有無がある。動物は本能的に死を恐れるが、「死後」を恐れることはない。自分自身が存在する理由を問うこともなく、神を求めることもない。しかし、人間は自らの有限性に耐えられず、何ほどか普遍的なものを想定せずにはいられない。宗教は人間だけの営みなのである。また、宗教は日常から離れたどこか遠い場所にあるのではなく、我々の日々の生活に密接に関わるものでもある。

講義の内容／授業スケジュール 本講義は、仏教とその他の諸宗教の歴史と思想を概説しつつ、現代社会における宗教のあり方を提示するものである。民俗学の知識も使用し、今日の社会や文化における宗教意識を理解することを目的とする。

履修上の留意点 (1~2)死後の世界：死んだらどうなるのか：『おくりびと』は何をどこにおくのか(3~4)死と葬送の宗教民俗とその思想(5~6)旧約聖書の世界(7~9)キリスト教(10~13)現代のユダヤ教とキリスト教(14)お盆とは何か(15)靖国神社(16~18)インド仏教(19)チベット仏教(20~22)中国の宗教と仏教(23~25)日本の宗教と仏教(26~27)イスラム教(28~30)現代の宗教

成績評価の方法 特に出席点と簡単な課題の提出、学年末の定期試験によって評価を行う。教科書／テキスト 特になし。参考書 講義中に随時紹介する。

履修コード	204401
科目名	仏教と人間
担当者名	池田 練太郎

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、駒澤大学の建学の理念に基づいておこなわれるものである。この講義を通して、仏教や禅に関する基本的な知識を身につけ、その思想や文化を理解したうえで、複雑・多岐にわたる現代社会のさまざまな問題において、仏教がどのような意義を持ち、いかなる役割を果たせるか考えていきたい。

講義の内容／授業スケジュール 講義では、世界の諸宗教と比較して仏教の独自性はどこにあるのかについて考え、その後、開祖であるブッダ(釈尊)の生涯とその思想、そして日本をはじめ世界各地に伝わった仏教の歴史的・思想的・文化的展開を概観し、さらに禅の歴史・思想を知った上で今日的な諸問題との関連を考えることにしたい。

履修上の留意点 授業はおおむね、第1回：宗教とは何か、第2~3回：世界の宗教、第4回：仏教の基本的な立場、第5~6回：仏教の起こり、第7~9回：ブッダの生涯、第10~13回：ブッダの思想、第14~16回：インドにおける仏教の展開、第17~20回：世界に広がった仏教(東南アジア、中国、チベット等)、第21~23回：日本仏教の歴史と特質、第24~25回：禅の歴史、第26~27回：禅の思想、第28~29回：道元禅師・瑩山禅師と曹洞宗、第30回：現代社会と仏教、という次第で進めていく予定である。

成績評価の方法 自分の専門領域と無関係だと決めつけず、自らの日常生活や社会問題との関わりをつねに意識しながら受講する姿勢で臨んでほしい。年度末におこなう筆記試験と出席等の平常点によって評価する。教科書／テキスト 特になし。参考書 必要に応じて随時紹介する。

履修コード	203601
科目名	仏教と人間
担当者名	池田 魯参

講義の到達目標(ねらい)

仏教はどのような宗教なのか。禅は何を教えるか。仏教を糧に生きた人びとや禅を実践した人びとは、どのような人生を実現し、どのような生涯を全うしたか。自分自身の来し方を反省し、これからの人生を設計していくために、禅仏教の強く美しい生き方のモデルを学んでもらう。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回仏教とは何か
第2回～6回 釈尊の生涯（生い立ち・出家・成道・説法・涅槃）
第7、8回 釈尊と出会った人びと
第9回～11回 釈尊滅後の展開（原始仏教・部派仏教・大乘仏教初期・中期・後期）
第12回 仏教の中国伝来と諸課題
第13回 格義仏教の超克
第14回 三蔵法師の活躍
第15回～19回 隋唐の仏教（天台宗・華嚴宗・法相宗・律宗・密宗・禪宗・浄土宗）
第20回～25回 日本の仏教（奈良・平安・鎌倉時代・道元・瑩山）

準備学習
履修上の留意点

授業中に紹介する参考書や新刊書をできるだけ多く読破すること。
「仏教と人間」のためにだけ使うノートを用意すること。できるだけ講義内容をメモすること。
しっかり聴いて疑問点があったら素直に質問すること。
学期末試験を主にし、夏休みの課題レポートの提出と、出席状況を加味して行う。
特に教科書を指定しない。
テーマ毎に参考書・必読書等を講義の中で紹介するので、できるだけ多く読書するようにして欲しい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

履修コード	203801
科目名	仏教と人間
担当者名	石井 修道

講義の到達目標(ねらい)

「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

仏教の教えを基本に、道元禅師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禅師は、中国の禅者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにしていきたい。

特に道元禅師の説かれる「坐禅」は、如何なる特色があるか、それがわれわれの生き方に何を教えているかを述べたい。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

(1) 宗教と自己との関係。(2) 釈尊の伝記と教え(七回)。(3) 中国禅者の個性と特色(六回)。(4) 日中交流と仏教(三回)。(5) 道元の伝記と思想(五回)。(6) 坐禅。(7) 曹洞宗(二回)。
「仏道をならうとは、自己をならうなり」(道元)をいかに主体的に考えるかを常に心がけて欲しい。

成績評価の方法

教科書の感想文のレポート(夏休み後に提出)20点と学期末試験80点満点で評価し、出席数も考慮する。

教科書／テキスト

鎌田茂雄『仏陀の観たもの』(講談社学術文庫)693円

履修コード	203501
科目名	仏教と人間
担当者名	岩永 正晴

講義の到達目標(ねらい)

仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料を提供したい、と考えています。

講義の内容／
授業スケジュール

本講義の目的を達成するため、本講義では以下のことを行いたいと思います。
まず、仏教の教主である釈尊と曹洞宗の両祖(道元禅師・瑩山禅師)のご生涯と教えを紹介する。その後、教科書によって釈尊から両祖にいたる仏教の歴史を説明する。

履修上の留意点

必修科目であるので、安易に欠席することなく、積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末に実施する試験(定期試験)によって成績評価を行う。

教科書／テキスト

松尾剛次『仏教入門』(岩波書店、岩波ジュニア新書322)780円

参 考 書

中村元『ブツガ入門』(春秋社)、平川彰『仏教入門』(春秋社)、梶山雄一『空入門』(春秋社)、柳田聖山『禅思想』(中公新書)、鏡島元隆『道元—正法眼蔵・永平広録 禅入門2』(講談社)、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』(日本放送出版協会・生活人新書041)等。その他は講義の中で適宜紹介する。

履修コード	204701
科目名	仏教と人間
担当者名	岡部 雅明 <small>おかべ まさあき</small>

講義の到達目標(ねらい)

仏教は、教義としての仏教や、人びとが実際に信仰として行っている仏教などさまざまなレベルの仏教があります。また、信仰に基づいた仏教として行われている活動にも、地域によるバリエーションが存在します。このような多様性に富む仏教について、他の信仰との関連なども含め、仏教の教義や生活に根ざした仏教の理解、さらには宗教一般についての理解を深めることを目的としたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

【1～5】現代日本の仏教諸相(葬祭仏教・檀信徒制度・年中行事・祈祷など) 【6～10】宗教現象の諸相(世界宗教・民俗宗教・シャーマニズムなど) 【11～15】宗教学の基礎理論(宗教起源説・呪術・宗教論など) 【16～20】初期仏教の歴史と教説(ブツタの生涯・教説など) 【21～25】インド仏教の歴史と教説(部派仏教・大乘仏教など) 【26～30】日本仏教の歴史と教説(仏教の受容・奈良仏教・平安仏教・鎌倉仏教など)

成績評価の方法

出席状況と学年末の筆記試験により評価しますが、場合によってはレポートを提出してもらい、総合的に評価します。

教科書／テキスト
参 考 書

特に指定しない。
水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)

履修コード	202701
科目名	仏教と人間
担当者名	小川 順敬 <small>おかわ としゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたと言っても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているのでしょうか。多くの場合、これらの法要や行事は仏教本来の教えとは異なっています。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるのです。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容していると考えられているのです。

講義の内容／
授業スケジュール

この講義では、私たちをとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。

準備学習

第1回～15回：日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。第1～5回：日本人の生死観(人生儀礼と年忌供養から)、第6～10回：彼岸と盆行事、第11～15回：日本人と仏教の関わり(仏教伝来に関わる記録や説話資料を用いて)。第16～30回：原始仏教とアジアへの仏教の広がりについて紹介していきます。第16～20回：原始仏教、第21～25回：中国・東南アジアの仏教、第26～30回：日本仏教の展開

成績評価の方法

授業準備として次回授業で取り上げる内容について教科書の該当箇所、もしくは事前に関連資料のコピーに眼を通しておくこと。また、授業で行う小試験の内容は必ず復習しておくこと。原則として、年8回の「小試験」(出席点として処理)が2割、夏期レポート(前期試験に相当)が4割、年度末の筆記試験が4割として評価します。成績評価の具体的な方法、レポート課題の内容、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書／テキスト

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院) 2,100円、および関連資料のコピーを配布します。

参 考 書

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	203901
科目名	仏教と人間
担当者名	かたやま いちろう 片山 一良

講義の到達目標(ねらい) 人間にとって宗教とは何かを考え、宗教としての仏教とは何かを考えたい。
 講義の内容／授業スケジュール 前半は宗教一般について、
 1. 価値観、2. 科学と宗教、3. 文化、4. 宗教学、5. 宗教、6. 聖と俗、
 7. 呪術、8. 神話、9. 儀礼、10. 民族宗教と世界宗教、などについて講じる。また、その各々について仏教の基本的な捉え方、見方を考える。
 後半は仏教の基本的な考え方について、
 1. 仏教の歴史と文化、2. 仏教の背景、3. 仏伝、4. 三宝、5. 四法印、6. 縁起、7. 四諦、
 8. 業と輪廻、9. 八正道と中道、10. 慈悲などについて講じる。また、大乘仏教、禅の教えと実践について触れる。
 準備学習 いずれも現代の我々に身近な問題の中で取り上げ、人間、自己について考えたい。
 履修上の留意点 心を静かに調えること。
 成績評価の方法 「人間学」として把握し、学ぶことが望まれる。
 教科書／テキスト レポート(夏期)、および年度末テストによる。
 参考書 とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。
 片山一良『ブッダのことは パーリ仏典入門』(大法輪閣) など。

履修コード	203401
科目名	仏教と人間
担当者名	かみざわ あつし 金沢 篤

講義の到達目標(ねらい) この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。
 講義の内容／授業スケジュール この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
 宗教について(5回)・世界の三大宗教(3～4回)・ブッダの生涯(2～3回)・ブッダの悟りと教え(2～3回)・インド仏教の展開(2～3回)・仏教東漸(インドから中国へ)(1回)・中国仏教の展開(3～4回)・中国禅宗の成立と展開(3～4回)・日本への仏教伝来とその展開(1～2回)・道元禅の成立と展開(1～2回)
 履修上の留意点 講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。
 成績評価の方法 夏休みの課題レポート(20点)、期末テスト(60点)、出席点(20点)の三つを総合的に評価する。
 教科書／テキスト プリント配布。
 参考書 適宜に紹介する。

履修コード	202501
科目名	仏教と人間
担当者名	くまもと えいじん 熊本 英人

講義の到達目標(ねらい) 「仏教と人間」は、仏教や禅の教えについての理解を深め宗教に対する正しい認識を身につけることを目標とする全学部共通の必修科目である。特に、これから仏教を専門として研究する仏教学部禅学科1年次生にとっては、この講座は、仏教の基礎を学ぶだけでなく、仏教に対する自分の問題意識とその研究方法を習得するための講座である。宗教について学ぶことの意味を考え、仏教と禅に関する諸問題や、文化や社会への影響を見ていくことで、本格的に仏教と禅について研究していくうえでの課題を発見してもらいたい。
 講義の内容／授業スケジュール 次の5つのテーマについて、順次講義する。
 1. 宗教を学ぶとは
 2. 民族宗教と世界宗教
 3. 仏教の歴史とその特質
 4. 禅仏教の歴史とその特質
 5. 曹洞宗の歴史とその特質
 成績評価の方法 年度末の筆記試験と平常点。
 教科書／テキスト テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。
 参考書 講義の中で随時紹介する。

履修コード	205601
科目名	仏教と人間
担当者名	くまもと 英人 熊本 英人

講義の到達目標(ねらい)	「仏教と人間」は、仏教や禪の教えについての理解を深め宗教に対する正しい認識を身につけることを目標とする全学部共通の必修科目である。日本人は、なぜ宗教に関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、自分にとって宗教とは何かをあらためて考えてもらいたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。インドにおける仏教の開祖ブッタの伝記や、仏教の歴史や人物などを取り上げながら、現代社会につながる話題として解説していく。 1～ 3 宗教を学ぶとは 4～1 2 ブッタの生涯と仏教の歴史 1 3～ 2 1 禅の歴史とその特質 2 2～ 3 0 日本仏教の歴史とその特質
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	年度末の筆記試験と平常点。 テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。 講義の中で随時紹介する。

履修コード	204301
科目名	仏教と人間
担当者名	さとう しゅうこう 佐藤 秀孝

講義の到達目標(ねらい)	仏教はインドのゴータマ・シッタッタ(釈迦牟尼仏)を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間(自己)の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところにある。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人(人生)とは如何にあるか」「人(人生)とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。
講義の内容／ 授業スケジュール	講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方(無常・縁起など)を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみよう。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅の人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。 具体的には、前期に宗教一般の中における仏教の特徴、仏教の開祖ゴータマ・ブッタの生涯に触れ、さらに四諦八正道や三法印など仏教の基本的なものの見方について論じる。 後期には仏教の中から特に禅宗について触れ、達磨(ダルマ)に始まる中国禅宗の特徴、中国・日本における禅宗の歴史の変遷について述べ、さらに仏教・禅宗における人間観・修行観・自然観などについて論じる。
成績評価の方法	年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。
教科書／テキスト	廣澤隆之『図解雑学・仏教』(ナツメ社) 1,400円、中尾良信『図解雑学・禅』(ナツメ社) 1,400円を使用したい。
参 考 書	奈良康明『仏教と人間』(東京書籍・東書選書)や松本史朗『仏教への道』(東京書籍・東書選書)などが有益であろう。

履修コード	203201
科目名	仏教と人間
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>

講義の到達目標(ねらい)

仏教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の諸宗教との関連のもとに考察する。日本人の多くは、宗教を信じていないとみずから認識している人たちが、その一方で、お盆や春秋のお彼岸にはお墓参りに行き、あるいは仏僧に読経を依頼するなど、仏教徒としての行動をとっていることが少なくない。こうした生活の中で展開している仏教は「民俗仏教」と呼ばれるが、これは縁起や空を説く「教義仏教」とは大きく異なっている。この講座では、仏教文化には、教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあることを学習するとともに、教義仏教の思想と行動について考えてみたい。

講義の内容／
授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

第1～3回 宗教学の視点と方法、第4～6回 風土と宗教、第7～9回 一神教と多神教の世界観、第10～12回 宗教文化の基盤、第13～15回 教義仏教と民俗仏教、第16～18回 原始仏教、第19～21回 上座部仏教と大乘仏教、第22～24回 禅仏教、第25～27回 曹洞宗、第28～29回 仏教徒の信仰対象、第30回 総括。

履修上の留意点

出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。なお、追試験は実施する。

教科書／テキスト
参 考 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）
授業中に適宜紹介する。

履修コード	204501
科目名	仏教と人間
担当者名	菅原 壽清 <small>すがわら としきよ</small>

講義の到達目標(ねらい)

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教・仏教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われまふ。そこで、本講義では「人間と宗教」という視点から、人間と宗教・仏教について、その営みをとらえてゆきます。

講義の内容／
授業スケジュール

授業は講義形式とし、前半は宗教をとらえてゆくための基礎的な講義を、後半では激動するアジアの今を宗教、仏陀の教え、その展開や伝播と変容、禅のこころなどを中心に、DVDやプロジェクターを用いて、ビジュアルな授業を進めてゆきます。

〈宗教へのアプローチ〉

1. 宗教と宗教学（宗教をとらえる視点）
2. 宗教学の研究領域（多様なアプローチ）

〈宗教の多様性〉

3. さまざまな宗教形態（アジアの宗教、その多様な形態）
4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）

〈人びとの暮らしと仏教〉

5. 仏陀の教え（仏陀の生涯と教え）
6. 仏教の伝播と変容（中国・チベット仏教）
7. 〃 （日本の仏教）
8. 〃 —神仏習合と分離—
9. 禅のこころ（道元禅師の教え）

（配付資料、講義中の映像などを全て Ye Study で公開します。また、国内や海外調査などで撮影した多数の写真を、ホームページで公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。）

準備学習

Ye Study で講義に関する、配付資料、授業ノート、映像を全て公開します。

履修上の留意点

Ye Study に積極的に登録して利用し、予習復習をして下さい。

成績評価の方法

必須科目なので、毎回出欠の確認を行います。

試験 + α + β （詳細は、講義の時説明）

α = 座席点（ABC で付け、積極的な授業参加を評価します）

β = レポート点（課題や参考書に基づいて提出したレポート、授業中に見た DVD の感想など、積極的な授業参加を評価します）

教科書／テキスト

特には指定しません。講義資料をプリントして配布します。

また、Ye Study でも、講義ノート、映像、参考図書などを掲載します。

講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

参 考 書

『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、なお可です。

Ye Study でも、講義ノート、映像、参考図書などを掲載します。

そ の 他

講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

特になし

履修コード	202801・203301
科目名	仏教と人間
担当者名	須藤 寛人

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、仏教をひとびととの関わりの中であらえます。つまりこの講義での仏教とは、ひとびとが実際に生きた仏教、ひとびとの暮らしの中での仏教です。そこで、インド大陸で生まれた仏教がどのように大きくなり、私たちの住む日本に伝えられてきたのかをこの講義では学んでいただきたいです。ひとびとがなにを仏教に求め、また仏教はひとびとに何を与えてきたのでしょうか。それは時代と場所によっては、生きる力であったり、こころの安らかさであったり、時には生活を規制するものであったかもしれません。仏教の全体的な歴史を学びながら現在の私たちの暮らしを見直していくといった姿勢が、本講義を通して養われることを期待します。

講義の内容／授業スケジュール

(1) 授業の評価と概要、(2) 仏教以前のインド、(3) 仏教誕生、(4) 仏弟子と仏教の広がり、(5、6) 中国の宗教と仏教、(7) 日本：仏教公伝とテラの発生、(8、9) 聖武天皇と神仏習合(10、11)、密教の成立と御霊信仰、(12) 末世と浄土・地獄、(13) 鎌倉以降、(14) 江戸時代の仏教と檀家制度、(15) 明治時代の仏教：開国と神仏分離、(16) 日本人は宗教的か？ 仏教的か？、(17、18、19) 葬儀とその問題点、(20) 日本文化における供養、(21) 日本人と先祖崇拝、(22、23、24) 宗教的職能者と仏教、(25～) まとめ。

履修上の留意点

予習はとくに必要ありませんが、この科目専用のノートを用意し、講義を筆記することを望みます。またレポートの提出をお願いしますが、ネット上の内容のコピーなどにならないように、自分自身で考えたレポートを作成してください。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。レポートの提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。目安として、試験80%、レポート17%、出席3%になります。

教科書／テキスト

プリントを配布します。教場によってはプロジェクターなどを用います。

参考書
その他の

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）
私語は厳禁です。欠席した分のノート、プリントについては自己責任で対処するように。

履修コード	203101
科目名	仏教と人間
担当者名	竹内 弘道

講義の到達目標(ねらい)

あなたは今、自分を取り巻く社会事象や世界の動きをどれだけ把握していますか？ 周囲のさまざまな問題に関心を寄せ、現代社会が抱える先端的なテーマに対しても自分なりの考えを持てるようになることが大学生としてのあるべき姿と考えます。

しかし、いざ自分の考えを表明しようにも、判断の指標となる自己の依って立つ「思想」がなければ、何の見解も導き出すことができません。

残念ながら高校までの日本の教育制度は、若者が政治や社会に対して意見を持ち、積極的に関わっていかうとする芽を育てようとはしていないように思われます。とりわけ、病的なまでに宗教を排除した戦後の教育のなかで形成された知性に、大きく欠けているものは、宗教に関する諸知識と宗教観であると思われます。

宗教が我々の文化に深くかつ広汎に関わってきたことは、歴史を振り返ればすぐに分かることです。それは世界の歴史も同様です。現代の日本もまた、宗教の百貨店といわれるほど、世界にも希な豊かな宗教文化を内包しているながら、そのことを自覚している人は決して多くはありません。

現代に固有と思われる、脳死・臓器移植・尊厳死などの問題も、自らの根底にあるべき宗教観が問われる場合が多く、自己の宗教的視点が定まっていないと、問題の本質が見えないばかりか、意見を述べることもむずかしくなります。

歴史学とは過去と現代の対話といわれています。単に歴史的事実や年号を覚えることが歴史学ではなく、過去の歴史的事実から現代に生きる我々が何を学ぶかということがテーマとなります。

授業では、仏教と禅に関する基本的知識を学び、それらが深く社会に浸透し展開した歴史を学ぶなかで、これまで自らに欠落していた宗教に関する視点を補い、併せて現代社会のさまざまな問題についても考えていきたいと思えます。

講義の内容／授業スケジュール

1、釈尊の生涯 2、仏教の基本理念 3、大乘仏教と部派仏教 4、大乘仏教の思想と代表的な経典 5、仏教の伝播 6、中国仏教の特徴 7、仏教の日本伝来と飛鳥仏教 8、古代日本仏教の謎 9、聖徳太子と飛鳥仏教 10、大化改新と飛鳥仏教 11、奈良仏教 12、奈良(南都) 仏教の矛盾 13、行基と民間仏教 14、平安仏教…最澄と空海 15、平安仏教の特徴と変質 16、鎌倉仏教 17、鎌倉仏教論の問題点 18、仏教の屈服 19、禅の起源発生 20、禅宗の初祖、菩提達磨 21、達磨の虚像と実像 22、敦煌文献の発見と達磨の実像 23、達磨の思想 24、東山法門…集団化のはじまり 25、南宗と北宗…『六祖壇経』の世界 26、南宗の陰の立て役者…荷沢神会 27、中国禅の展開と五家七宗 28、宋代の禅 29、日本の禅…日本曹洞宗の祖、道元禅師 30、仏教と現代…仏教と生命倫理

成績評価の方法

試験は、講義内容から指定したテーマについて、レポートを提出させ理解度を評価する。

教科書／テキスト
参考書

板書・プリント配布
参考書はその都度授業で紹介する。

履修コード	205401
科目名	仏教と人間
担当者名	たちりゅうし 隆志

講義の到達目標(ねらい) インド・中国・日本における仏教の歴史を概観し、あわせて、仏教や禅の教えについて考えることを目的とする。その上で、仏教に対する興味を抱いてもらい、より身近に感じる機会としてもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール 以下のテーマについて順次とりあげて行き、仏教に関する基礎的な知識を養うことを目指す。授業は、配布するプリントを中心に、スライドや映像を用い、実践を交えて進めていく。

「宗教」	仏教が宗教であることへの理解
「仏教の思想と歴史」	仏教の総合的な知識を得るため
「禅仏教の思想と歴史」	駒澤大学で禅仏教を学ぶ意義を考えてもらう
「日本仏教」	仏教をより身近な存在として捉えてもらう
「曹洞宗の歴史」	駒澤大学が曹洞宗を母体とする大学であったことを踏まえ
「寺院と僧侶」	有名な寺院と著名な僧侶についての知識を得ることによって身近に存在する仏教の知識を得る。

履修上の留意点 出席と授業態度を重視する。

成績評価の方法 出席状況、定期試験の結果を総合して評価する。

教科書／テキスト なし（授業中にプリントを配布する）

参 考 書 『図解雑学 仏教』ナツメ社、2002年、1400円

履修コード	205501
科目名	仏教と人間
担当者名	つのだ たいりゅう 角田 泰隆

講義の到達目標(ねらい) 仏教の歴史や教えについて講義し、仏教についての正しい認識を身につけることを目標とする。この講義では、便宜的に「人間」「世界」「環境」「自己」「現在」「生死」「教育」などの言葉を順次取り上げ、これらと関係させながら仏教を概説したい。

講義の内容／授業スケジュール

- 1～3 宗教とは何か
- 4～5 仏教の歴史
- 6～7 禅の歴史
- 8～9 日本の仏教
- 10～12 仏教の世界観
- 13～15 仏教の人生観
- 16～17 仏教と生死
- 18～19 仏教と環境
- 20～21 仏教と自己
- 22～22 仏教と現在
- 23～24 仏教と教育
- 25～26 禅の教え
- 27～30 道元禅と現代

履修上の留意点 教科書は用いないので、筆記用具を調べ、講義の内容をしっかりと記録すること。(定期試験には自筆ノートの持ち込みを許可する)

成績評価の方法 定期試験によって評価する。

教科書／テキスト 教科書はない。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 講義の中で随時紹介する。

履修コード	204011
科目名	仏教と人間
担当者名	程 正

講義の到達目標(ねらい)

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容／
授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
宗教について (1~2回)・ブッダの生涯 (2~3回)・ブッダの悟りと教え (3~4回)・インド仏教の展開 (2~3回)・仏教東漸 (インドから中国へ) (1回)・中国における仏教の受容 (3~4回)・中国仏教の展開 (2~3回)・中国禅宗の成立と展開 (4~5回)・日本への仏教伝来とその展開 (1~2回)・道元禅の成立と展開 (2~3回)

履修上の留意点
成績評価の方法

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。
期末試験 (60%)、授業中の小レポート (20%)、出席点 (20%) の三つを総合的に評価する。但し、場合によって点数配分の割合を変更することもあり得る。

教科書／テキスト
参 考 書

プリント配布。
適宜に紹介する。

履修コード	203701
科目名	仏教と人間
担当者名	永井 政之

講義の到達目標(ねらい)

入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母体になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな要件は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。

現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2,500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといってよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禅」の立場を考えてみたい。

なお、「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容／
授業スケジュール

そもそも「宗教」とは何なのか。人間にとってどのような意味があるのかを考えます。駒澤大学の「建学の理念」についても考えてみましょう (1~4)。そして、そもそもブッダによって説かれた「仏教」とはどんな教えなのか考えます (4~15)。その後、ダルマによって中国に伝えられたという禅とはどんな風に人間を捉えるのかを紹介しつつ (15~25)、道元の禅にまで論及したいと思います (26~30)。

準備学習

入学式当日に、駒澤大学の「建学の理念」が書かれたパンフレットが配られます。最初の授業で言及紹介しますので必ず持参してください。

履修上の留意点
成績評価の方法

まじめに授業をうけ、私語をつつむこと。
初めの授業で課題図書を出すので、所定の期限内にレポートを提出すること。期末には試験を行い、普段の授業態度などをふくめて、総合的に評価して成績とする。

教科書／テキスト

必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入することが望ましい。

履修コード	202601
科目名	仏教と人間
担当者名	長谷部 八朗

講義の到達目標(ねらい) 仏教の起源と伝播を概観した上で、仏教と他宗教との比較を行い、さらには、日本における歴史上の主要な仏教者の思想や行動を通して、人間の精神生活に果たす仏教・宗教の意義を考える。

講義の内容／授業スケジュール 以下のテーマに沿って、講義を進める予定である。
第1-3回：宗教の分類、第4-9回：仏教の起源と初期形態、第10-15回：大乘仏教の展開、第16-21回：仏教と他宗教との比較、第22-25回：日本仏教史概説、第26-28回：日本の主要な仏教者の言説と行動、第29-30回：まとめと補説

成績評価の方法 年度末の試験に加え、出席状況、授業時に数回書いてもらう予定の小論文などを勘案して総合的に評価する。

教科書／テキスト 使用しない。

参考書 授業時に適宜紹介する。

履修コード	204101
科目名	仏教と人間
担当者名	晴山 俊英

講義の到達目標(ねらい) 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容／授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 - 四諦八正道から六波羅蜜まで -
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 - 五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観 -
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 - 大乘仏教の特質と思想、大乘経典 -
- 第17回～第24回：中国仏教 - 伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立 -
- 第25回～最終回：日本仏教 - 伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代 -

履修上の留意点 上記、回数はあくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。

成績評価の方法 YeStudy に登録すること (Passは授業で告知)。

教科書／テキスト 期末試験に平常点を加味して評価する。

参考書 特になし。プロジェクトに概要を表示、および板書が中心となる。

その他 授業において適宜指示する。

試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

履修コード	205201
科目名	仏教と人間
担当者名	藤井 淳 <small>ふじい じゆん</small>

講義の到達目標(ねらい)

生きる上での苦しみの原因を探求し、それから解放される道を見出した釈尊とその流れをくむ高僧たちの教えについて大学生時代に本格的に触れておくことは、これからさまざまな出来事に会う可能性のある学生にとって有意義である。前期は仏教の開祖である釈尊（お釈迦様、仏陀、釈迦牟尼）の伝記とその教え、および日本の仏教と関係の深いお経について講義する。後期は本学の建学の理念となっている曹洞宗の教えについて理解を深めるために、日本の仏教について講義する。仏教はその始まりより人の生死の問題を正面から直視してきた。現代の医療現場では、つい五十年前とは違い、患者およびその家族が突然に人の死に直面するために多くの課題を抱えている。積極的な態度で授業に参加することによって将来に役立つ多くのものを得てほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

- (前期)
- 1 イントロダクション
 - 2～9 釈尊の伝記（八相成道）
 - 2 誕生, 3 青年期, 4 出家と修行, 5 降魔と成道, 6 転法輪, 7 釈尊の弟子, 8 涅槃, 9 三蔵
 - 10～12 釈尊の教え
 - 10 四諦・縁起, 11 無我 業と輪廻, 12 戒・定・慧 八正道
 - 13～15 大乘経典（法華経・維摩経・勝鬘経）
- (後期)
- 16～18 道元禅師の生涯
 - 19～20 曹洞宗の流れ
 - 21～28 日本の仏教
 - 21 聖徳太子と奈良時代の仏教, 22 伝教大師最澄と弘法大師空海
 - 23 天台宗と真言宗, 24 法華経信仰と浄土信仰
 - 25 法然上人と親鸞聖人, 26 日蓮聖人と一遍上人
 - 27 日本の禅宗, 28 現代日本と仏教
 - 29～30 宗教と医療をめぐる問題、後期のまとめ

準備学習

以上は目安です。進行状況によって適宜前後します。次回の授業について、教科書・参考書はいうまでもなく、ネットを含めて積極的に調べて予習しておくことにより、授業の理解が数倍も深まる。また予習の段階で疑問となることがあり、授業でも理解できなければ質問してほしい。

履修上の留意点

受講者の人数の関係上、授業は講義方式で進める。但し、自分の疑問点を整理して人前で発表する質問は、積極的に授業に参加する本人にとっても、他の受講者にとっても理解を深める上で有益であるので大いに歓迎する。

成績評価の方法

なお、授業中の私語、携帯電話の受信等は他の受講者への多大な迷惑行為となるので厳禁とする。指示を守れない人は退出させるので、あらかじめ留意しておいて欲しい。

学年末試験によって評価する。出席状況等も評価の対象とするがあくまで基本は学年末試験である。休暇中の課題として適宜、指定する映像資料を見たり、実際に寺院を訪れた上でレポートを提出してもらう。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

中村元、田辺和子『ブツダ物語』（岩波ジュニア新書）777円
松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）861円

「医療健康科学部」という性格に鑑み、時間的余裕があれば、「安楽死」「尊厳死」といった問題等についても考察してみたいと思う。

履修コード	205301
科目名	仏教と人間
担当者名	ふじい じゆん 藤井 淳

講義の到達目標(わらい)

生きる上での苦しみの原因を探求し、それから解放される道を見出した釈尊とその流れをくむ高僧たちの教えについて大学生時代に本格的に触れておくことは、これからさまざまな出来事に会う可能性のある学生にとって有意義である。前期は仏教の開祖である釈尊（お釈迦様、仏陀、釈迦牟尼）の伝記とその教え、および日本の仏教と関係の深いお経について講義する。後期は本学の建学の理念となっている曹洞宗の教えについて理解するために、日本の仏教について講義する。仏教はいずれの時代も最先端のメディアと関わりをもってきた。また日本の文化を海外に発信する上でその基礎となった仏教を理解することは必要不可欠である。積極的な態度で授業に参加することによって将来に役立つ多くのものを得てほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

(前期)
1 イントロダクション
2～9 釈尊の伝記（八相成道）
2 誕生,3 青年期,4 出家と修行,5 降魔と成道,6 転法輪,7 釈尊の弟子,8 涅槃,9 三蔵
10～12 釈尊の教え
10 四諦・縁起,11 無我 業と輪廻,12 戒・定・慧 八正道
13～15 大乘經典（法華経・維摩経・勝鬘経）
(後期)
16～18 道元禅師の生涯
19～20 曹洞宗の流れ
21～28 日本の仏教
21 聖徳太子と奈良時代の仏教,22 伝教大師最澄と弘法大師空海
23 天台宗と真言宗,24 法華経信仰と浄土信仰
25 法然上人と親鸞聖人,26 日蓮聖人と一遍上人
27 日本の禅宗,28 現代日本と仏教
29～30 仏教とメディア、後期のまとめ
以上は目安です。進行状況によって適宜前後します。

準備学習

次回の授業について、教科書・参考書はいうまでもなく、ネットを含めて積極的に調べて予習しておくことにより、授業の理解が数倍も深まる。また予習の段階で疑問となることがあり、授業でも理解できなければ質問してほしい。

履修上の留意点

受講者の人数の関係上、授業は講義方式で進める。但し、自分の疑問点を整理して人前で発表する質問は、積極的に授業に参加する本人にとっても、他の受講者にとっても理解を深める上で有益であるので大いに歓迎する。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。出席状況等も評価の対象とするがあくまで基本は学年末試験である。休暇中の課題として適宜、指定する映像資料を見たり、実際に寺院を訪れた上でレポートを提出してもらう。

教科書／テキスト
参考書
その他

中村元、田辺和子『ブツダ物語』（岩波ジュニア新書）777円
松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）861円
仏教の伝統が長くはない欧米における仏教入門書は生活と仏教との関連性が薄くなっている現代の日本人にはかえって理解しやすいこともある。関心のあるものには英文の入門書も勧めるので質問してほしい。

履修コード	204021
科目名	仏教と人間
担当者名	まつだ ようじ 松田 陽志

講義の到達目標(ねらい) お釈迦さま(釈迦牟尼世尊・釈尊)の生き方と教えを仏伝(釈尊の伝記)及び初期仏典の記述によって理解する。インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を理解するとともに、初期仏教と中国・日本に展開する大乘仏教との性格との違いについて考える。

講義の内容／授業スケジュール 仏教の開祖、釈迦牟尼世尊(釈尊)の生涯からその教えが説示される立場を仏伝の記述によって理解する。特にヒンドゥー文化圏の中での釈尊の教えの独自性を、仏教教団が仏伝の中で、どのように表わそうとしたのかを、具体的に検討する。

履修上の留意点 第1回：ガイダンス、第2～4回：ヒンドゥー教の性格と出家、第5回～7回：カースト制度と仏教、第8回～10回：大乘仏教のおこる要因と性格、第11回～12回：日本・中国の死生観、第13回～14回：〈釈尊伝〉誕生、第15回～16回：青年時代から出家、第17～19回：禪定・苦行、第20～21回：成道にあたって、第22～23回：成道の内容、第24～25回：十二縁起と無明、第26～27回：涅槃・入滅、第28～30回：予備

成績評価の方法 毎回出席し、配布資料を整理保存すること。何が重要なことかを考えながら、講義を聞くこと。重要な事項や興味関心を持った内容を、自分の言葉・文章で簡潔にまとめて受講票に書き込むこと。

教科書／テキスト 授業内容を簡潔にまとめた受講票による出席点と年度末試験によって評価する。

参考書 配布資料にしたがって講義する。
随時紹介する。

履修コード	341801
科目名	仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	まつもと しろう 松本 史朗

講義の到達目標(ねらい) 本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容／授業スケジュール 講義は、内容は、次の通り。(1～2) 仏教以前のインド思想、(3～10) 釈尊と原始仏教、(11～25) 大乘經典の思想、(26～28) チベット・中国・日本の仏教、(29・30) 禅宗と道元禅師

成績評価の方法 年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書／テキスト 松本史朗『仏教への道』(東京書籍) 1,400円 ISBN 4-487-72234-9

履修コード	204801・205111
科目名	仏教と人間
担当者名	むらまつ てつふみ 村松 哲文

講義の到達目標(ねらい) 東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容／授業スケジュール 釈尊の生涯(1～3)、釈尊の教え(4～8)、經典の内容(9～12)、仏教的世界観(13～14)、大乘仏教と小乗仏教(15・16)、中国の仏教受容(17)、中国仏教の展開(18)、日本の仏教受容(19)、日本仏教の展開(20)、仏像と仏画で見る仏教(21～30)

履修上の留意点 仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法 定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書／テキスト 適宜プリントを配布する。

参考書 講義中に紹介する。

履修コード	202901
科目名	仏教と人間
担当者名	矢野 ^の 秀武 ^{ひでたけ}

講義の到達目標(ねらい) 本講義の目的は、第1に、我々の身の回りにある仏教文化について正しい知識を身につけること、第2に、日本仏教の基本知識を身につけること、第3に諸外国の仏教について学び仏教の多様性や地域的特質を理解することにある。

講義の内容／授業スケジュール 前期では、まずお寺や仏像、お盆やお彼岸などの仏教習俗、お茶や精進料理などへの仏教の影響、駒澤大学の歴史など、身の回りにある仏教文化について幅広く紹介する(1~8)、その後仏教の源流に遡り、仏陀の思想をとりあげ(9~12)、さらに仏教関連の世界遺産を紹介しアジア各地への仏教伝播について考える(13~15)。

後期では、まずはスリランカ・東南アジア地域の上座仏教、チベット地域や東アジアに広まった大乘仏教など、アジア地域への仏教伝播の歴史や各地での仏教文化の特質を紹介する(16~20)。さらに、日本仏教の歴史や代表的な宗派と宗祖を紹介し(21~24)、日本における葬儀や戒名などの仏教的意味について解説する(25~26)。また仏教の関わる社会活動も紹介し(27~28)、最後にまとめを行う(29~30)。

履修上の留意点 試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説するので、必ず出席すること。

成績評価の方法 出席点(40%、各回提出のコメントシートの内容を踏まえた評価)、後期の定期試験期間における筆記試験(60%)を総合して評価を行なう。

教科書／テキスト なし

参考書 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院) 其他については、授業時に随時紹介する。

履修コード	341901
科目名	仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	吉津 ^{よしず} 直英 ^{よしので}

講義の到達目標(ねらい) この科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきます。仏教など宗教に対して、みなさんはどんなイメージを抱き、どんな意見をお持ちでしょうか。すでに特定の宗教と信じている方もありましょう。これまで宗教に無関心な方や、宗教への批判者もありましょう。私は宗教に肯定的な方にも、否定的な方にも、まず宗教や仏教への正しい知識を得てもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在します。一神や多神を信ずる宗教があり、仏教のように神や神々を信仰するのではなく、仏の教えを中心とした宗教もあります。なぜ人間は宗教を求めたのでしょうか。この講義では宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教が社会の中でどのような機能を果たしているかを考えます。また宗教をめぐるいろいろな問題点を取り上げます。宗教は人間の幸福を実現する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起り、多くの不幸な人たちが出ています。宗教は個人的に何かを信じ、他の人に迷惑をかけなければ良いと思いますが、教団を形成すると他の宗教を批判したり、目的のためには手段を選ばない行動を取り、公共の福祉に反することもあります。講義の全体を通じて、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えることをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール 第1回目は自己紹介もかねて、この講義の目的、進め方、注意事項などを説明します。前期は仏教以外の諸宗教の概説を行います。宗教類型論(2,3回)、一神教の中でユダヤ・キリスト教(4,5,6回)、イスラーム(7,8回)、多神教系でゾロアスター教(9回)、バラモン・ヒンズー教(10,11,12)、儒教・道教(13,14回)、日本の神道(15回)の内容です。後期は仏教の概説から始めます。釈尊(釈迦、お釈迦様)の教えの時代的背景(1回)、釈尊の伝記と教え(2,3,4,5回)、大乘仏教(6,7,8回)、中国仏教(9,10回)、朝鮮仏教(11回)、日本仏教(12,13回)、宗教の問題点(14,15回)です。講義内容はこの順序に行いますが、時間数は延長、短縮のあることをご了解下さい。

準備学習 強制ではありませんが、世界の諸宗教が全体的に俯瞰できるような何かの資料に眼を通していただければ幸いです。

履修上の留意点 この科目専用のノートを用意してください。講義内容を筆記すると共に、自分の意見や疑問を書きとめ、年間を通して受講と、それをめぐる思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法 毎回出席を取り、出席点を最優先します。定期試験があります。それらを総合して、評価します。

教科書／テキスト 特に使用しません。参考資料としてプリントを配布します。

参考書 講義中に適宜参考図書などを紹介します。

その他 講義中であっても、挙手して質問したり、意見を述べて下さい。私語は厳禁です。講義の開始時間から30分経過していたら、自主的に教場に入らないで下さい。

履修コード	204901
科目名	仏教と人間
担当者名	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>

講義の到達目標(ねらい) 駒澤大学の建学の理念である「仏教」について理解を深めてもらうための講義です。仏教が現代に生きる私たちにとっていかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすのかということを学問的見地から考察してゆきます。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点 (前期) (1) 仏教とは何か (2~8) ブッダとその教え (9~14) 大乘仏教の展開 (15) まとめ
(後期) (1) 東アジアへの仏教伝播 (2~7) 密教の宇宙観 (8~14) 禅の人間観 (15) まとめ
授業は講義形式なので、ノートの準備が必要です。また、講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してありますので、欠席しないようにしてください。

成績評価の方法
教科書／テキスト 出席状況と試験結果を総合して評価します。
最初の授業で指示します。

履修コード	204601
科目名	仏教と人間
担当者名	渡部 正英 <small>わたなべ まさひで</small>

講義の到達目標(ねらい) 宗教教育としての仏教をさぐる。日本人に馴染み深い仏教を科学的な視点をもって、人々の生活に宗教としてどの様に関わってきたかを知る。前期は宗教学、仏教学的に、歴史を通して話す。後期は仏教の実際の行事、儀礼などを参考に仏教と人々との関係を中心に話しをする。

講義の内容／
授業スケジュール
成績評価の方法 (1~6) 仏教と宗教学、(7~12) 歴史から見た仏教(仏教史、世界宗教として等)、(13~19) 仏教と人生(年中行事、通過儀礼などから)、(20~25) 仏教と祈り(仏像、巡礼などとの関わり)
各項目のまとめに授業内試験をする。更に最終講義の時に試験をして、総合評価をする。出席状況は考慮していく。

参 考 書 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)

履修コード	205901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	海老澤 早苗 <small>えびさわ さなえ</small>

講義の到達目標(ねらい) 「仏教と人間」は本学の宗教教育科目であり、建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生の皆さんに理解してもらうため、全学部学科に開講されています。

従って、本講義もその趣旨に則り、一仏両祖、つまり釈尊と高祖道元禅師、太祖瑩山禅師の伝記と教え・思想を中心に、仏教への理解を深める事を主眼とします。

講義の内容／
授業スケジュール (1) イントロダクション(一回)。(2) 仏教とは(一回)。(3) 釈尊の生涯と教え(七回)。(4) インドにおける仏教の展開(二回)。(5) 仏教の伝播(一回)。(6) 中国における仏教の展開(二回)。(7) 日本における仏教の展開(四回)。(8) 道元禅師の伝記と思想(六回)。(9) 瑩山禅師の伝記と思想、及び日本曹洞宗の展開について(六回)。
※スケジュールはあくまで目安として下さい。

履修上の留意点 本講義専用のノートを準備して下さい(学期末試験には、自筆ノート及び配布資料の持ち込みを許可します)。

成績評価の方法 平常点と学期末試験を以て評価します。
教科書／テキスト 教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。
参 考 書 授業において随時紹介します。

履修コード	205701
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>おくの みつよし</small> 奥野 光賢

講義の到達目標(ねらい)	<p>本学は仏教の教義、中でも曹洞宗の教えを建学の理念とする私立大学である。したがって、この講義が開講されている意義をまずしっかりと認識してもらいたい。講義は、仏教の基本的教義とその歴史の解説を中心とする。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>講義は、下記に指定する教科書によって進める。ただし、教科書のすべてを取り上げるのではなく、内容にしたがって重点的に解説するので、その点あらかじめお断りしておきたい。なお、教科書に入る前に、信教の自由といった問題や宗教学上における仏教の位置などを概説する。</p> <p>(前期)</p> <p>(1～2) 序論、信教の自由について (3～4) 宗教の分類 (5～6) さまざまな宗教 (7～9) 仏教の誕生—釈尊の伝記 (10～12) 釈尊の説いた道—四諦・八正道 (13～15) 縁起・三法印・四法印・いろは歌</p> <p>(後期)</p> <p>(14～15) 戒・定・慧、戒と律 (16～17) 仏教の流れ—原始仏教・部派仏教・大乘仏教 (18～19) 小乗仏教と大乘仏教 (20～21) 大乘仏教の教え—六波羅蜜 (22～23) 四摂法・四無量心について (24～25) 曹洞宗の歴史と教え (26～28) 『正法眼蔵随聞記』を読む (29～30) まとめ</p>
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	<p>講義形式ではあるものの、どんどん質問して答えてもらうため、積極的に参加する意欲が必要である。学年末試験に出席状況を加味して評価する。</p> <p>松本史朗『仏教への道』（東京書籍）を教科書とする。その他、プリントを適宜配布する。適宜指示する。</p>

履修コード	341601
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>きむら せいじ</small> 木村 誠司

講義の到達目標(ねらい)	<p>「仏教とは何か」ということに関しては、意外と誤解されていることも多い。本講義では、仏教についての誤解を解き、その真の姿を明らかにしていく。その際、インドの他宗派の事情にも触れ、釈迦の伝記等も一瞥する。</p> <p>文学や日常的な事柄からも仏教をみていきたい。</p> <p>受講者には、仏教の基本概念、例えば、空等について、正しい理解をしてもらいたい。また、各地の仏教に関しても、興味の持てる情報を提供したい。</p> <p>出来れば、日本の仏教、すなはち、大乘仏教のあり方も考えていきたい。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>第1～2回 仏教とは何か、第3～4回 釈迦の伝記、第5～6回 インド仏教の歴史、第7～10回 各地の仏教、第11～15 『般若心経』等 仏教の文献に触れる、第16～20回 日本仏教を考える、第21～25回 各地の仏教との比較、第26～30回 大乘仏教についての批判的見解。</p>
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	<p>特になし。</p> <p>出席状況、講義中の平常点、年度末の試験またはレポートにより、総合的に評価する。</p> <p>すべてコピーで配布する。</p> <p>適宜指示する。</p>

履修コード	206001
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	はれやま しゆんえい 晴山 俊英

講義の到達目標(ねらい) 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容／授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 - 四諦八正道から六波羅蜜まで -
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 - 五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観 -
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 - 大乘仏教の特質と思想、大乘経典 -
- 第17回～第24回：中国仏教 - 伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立 -
- 第25回～最終回：日本仏教 - 伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代 -

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

上記、回数はあくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。
YeStudy に登録すること (Pass は授業で告知)。
期末試験に平常点を加味して評価する。
特になし。プロジェクトに概要を表示・板書が中心となる。
授業において必要があれば適宜指示する。
試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

履修コード	205801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	やまもと げんりゆう 山本 元隆

講義の到達目標(ねらい) 本学建学の理念である「仏教」について理解を深めてもらうことを講義のねらいとする。講義を通して仏教や禅に関する基本的な知識を身に付け、その思想や文化を理解した上で、現代に生きる私たちにあって仏教がどのような意義を持ち、いかなる役割を果たせるか考えていきたい。

講義の内容／授業スケジュール ブツダの教えと日本をはじめ世界各地に伝わった仏教の歴史的・思想的・文化的な展開を概観し、さらに現代において仏教を学ぶ意義についても考えたい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

- (1) 宗教と仏教 (2) ブツダとその教え (3) インド仏教の展開
 - (4) 様々な経典 (5) 中国仏教の展開 (6) 中国禅宗の成立と展開
 - (7) 日本仏教の展開 (8) 道元禅の成立と展開 (9) 現代社会と仏教
- 自らの日常生活との関わりを意識しながら主体的に授業に参加してほしい。
年度末におこなう筆記試験と出席などの平常点によって評価する。
プリントを配布する。
必要に応じて授業の中で紹介する。

履修コード	206301
科目名	文化と宗教
担当者名	はせべ はちろう 長谷部 八朗

講義の到達目標(ねらい) 文化と宗教の関連をどのように理解したらよいかを検討し、それを踏まえて、我が国の近代以降、宗教が社会といかにかかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を与えてきたかを、仏教をはじめとする諸宗教を取り上げて学ぶ。

講義の内容／授業スケジュール

おおもね下記テーマに沿って進める予定である。
第1～2回：「文化」概念の捉え方、第3～4回：文化としての宗教、第5～7回：文化史研究における宗教の扱い、第8～10回：日本の近代化と神道、第11～15回：日本の近代化と仏教、第16～20回：日本の近代化とキリスト教、第21～23回：日本の近代化と新宗教、第24～25回：文化接触としてみた仏教とキリスト教の交渉、第26～28回：日本の近代化と文化・宗教教育、第29～30回：まとめと補説

成績評価の方法

年度末の試験に、出席状況、授業時に数回書いてもらう予定の小論文などを加味して総合的に評価する。

教科書／テキスト
参 考 書

使用しない。
授業の中で適宜紹介する。

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

履修コード	210401
科目名	科学史〔科学と技術〕
担当者名	高橋 ^{たかはし} 秀裕 ^{しゅうゆう}

講義の到達目標(ねらい)

今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

講義の内容／授業スケジュール

第1～4回：近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察する。第5～15回：近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探る。第16～20回：近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。第21～25回：科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上になせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのかを考察する。第26～30回：高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

履修上の留意点

いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカードを配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法

随時レポートによる平常点（40％）および定期試験（60％）の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書／テキスト

特に指定しない。

参 考 書

講義の際に適宜紹介する。

そ の 他

講義形式、随時プリント配布。YeStudyを活用する。

履修コード	210501
科目名	科学史〔近代科学の成立と展開〕
担当者名	高橋 ^{たかはし} 秀裕 ^{しゅうゆう}

講義の到達目標(ねらい)

今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

講義の内容／授業スケジュール

第1～4回：近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察する。第5～15回：近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探る。第16～20回：近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。第21～25回：科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上になせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのかを考察する。第26～30回：高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

履修上の留意点

いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカードを配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法

随時レポートによる平常点（40％）および定期試験（60％）の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書／テキスト

特に指定しない。

参 考 書

講義の際に適宜紹介する。

そ の 他

講義形式、随時プリント配布。YeStudyを活用する。

履修コード	169611・169621・169631
科目名	キャリアを考えるⅠ
担当者名	おかざき ひろし 岡崎 洋

講義の到達目標(ねらい)

・狙い
本講座では2年生という大切な節目に、卒業後の進路について考え、自分の夢・目標を実現するためにはどう学生時代を過ごすかをテーマにキャリア形成のための考え方と実践を学びます。

・到達目標
講義前半は「自己理解」に始まり「働く意義」「社会環境変化と職業理解」を学びます。次に自分ほどの職業に向いているのか、さまざまな職業を比較研究しながら、適職候補を模索していきます。講義後半は社会から求められている能力、特に文部科学省提唱の「就業力」の中でも①対人基礎力と②対課題基礎力③就業観の基本を身につけていきます。
卒業後の進路について考え、自分の夢・目標を実現するためにはどう学生時代を過ごすかをテーマにキャリア形成のための考え方と実践を学びます。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 「授業の理解」 この授業の目的を確認する
- 第2回 「自分のキャリアを考える」
- 第3回 「自己理解の意義と方法」
- 第4回 「社会環境の変化を知り、卒業後の進路を考える」
- 第5回 「社会が求める能力と発揮したい能力を考える」
- 第6回 「さまざまな職種を知り、適職を考える」
- 第7回 「対人コミュニケーションのしくみ」
- 第8回 「一方通行と双方向コミュニケーション」
- 第9回 「質問力によりアイデアを引き出す」
- 第10回 「話す力」をつける
- 第11回 「アサーションによる自己表現」
- 第12回 「文章による自己表現法」
- 第13回 「プレゼンテーションスキルを磨く」
- 第14回 「チームワークとリーダーシップ」
- 第15回 「キャリアデザイン」自分のキャリアを描いてみよう

準備学習

過去1週間の新聞から、将来の希望進路に関連する記事を収集し、整理する作業が有益、効果的な事前学習になります。
さらに予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業をより深く理解できるようになります。

履修上の留意点

日頃から、新聞、雑誌、インターネット、TV番組などで、社会環境や経済動向について関心を持つ。
この授業は「なりたい自分になるための知識や技能」を身につけるようワークショップを盛り込んだ体験型授業です。教員と受講者相互が切磋琢磨し合いながら進めていきますので、ワークには積極的に参加してください。

成績評価の方法

レポート評価(5割)及び授業内で提出を求める課題(5割)を基本に評価します。
総合評価の際、出席状況も重視します。

教科書/テキスト

「キャリアを考えるⅠ, キャリア形成のススメ」岡崎洋著(株)岡崎人事コンサルタント ¥1100+税 授業では教科書のワークシートを使いますので必ず購入してください。

参考書

岡崎洋他共著「楽しいキャリアデザイン」八千代出版社 ¥1400+税

関連リンク

ISBN978-4-8429-1491-6
<http://www.okazakinji.jp/>

履修コード	169661・169671・169681
科目名	キャリアを考えるⅡ
担当者名	おかざき ひろし 岡崎 洋

講義の到達目標(ねらい)

・狙い
前期に立てた卒業後の進路を見直して、自己のキャリア形成を進展させる科目です。さまざまな業種や職種を紹介するだけでなく、自分に合った仕事は何かを模索していきます。適職に就くための、就業力、自己表現力、面接対応力を磨いていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

・到達目標
多様な進路情報の中から自分に合った職業を選択するために仕事の種類と内容を紹介し、各職種について正しく理解します。そのうえで適職に就くための考え方や情報収集の具体的方法を学びます。グループワークを通じて、将来の方向性を考え、キャリアビジョン(目標)を実現するために行動化していきます。同時に自己表現力を高めるための文章表現、プレゼンテーション力を磨きます。

第1回 豊かな人生・キャリアの方向性について考えよう
第2回 業界、企業情報の調べ方と活かし方
第3回 さまざまな業界の現状と将来性①金融、商社、流通
第4回 さまざまな業界の現状と将来性②情報通信,コンテンツ,出版,旅行,ホテル,製造
第5回 さまざまな業界の現状と将来性③アパレル,化粧品,食品,運輸,住宅,不動産,教育
第6回 企業研究「自分に合う企業の見分け方」
第7回 職種研究「営業職,販売職,サービス職,教職,公務員」
第8回 やりたい仕事への適性を調べる
第9回 企業が求めている能力とは
第10回 言語力を磨こう
第11回 履歴書、エントリーシートでの自己表現
第12回 インターンシップで効果を上げるには
第13回 キャリア開発のための行動計画作成
第14回 面接対応力の基本
第15回 総合演習

準備学習

過去1週間の新聞から、将来の希望進路に関連する記事を収集し、整理する作業が有益、効果的な事前学習になります。
さらに予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業をより深く理解できるようになります。

履修上の留意点

日頃から、新聞、雑誌、インターネット、TV番組などで、社会環境や経済動向について関心を持つよう。
この授業は「なりたい自分になるための知識や技能」を身につけるようワークショップを盛り込んだ体験型授業です。教員と受講者相互が切磋琢磨し合いながら進めていきますので、ワークには積極的に参加してください。

成績評価の方法

レポート評価(5割)及び授業内で提出を求める課題(5割)を基本に評価します。

教科書／テキスト

総合評価の際、出席状況も重視します。
「キャリアを考えるⅡ学びがキャリアを開く」
(株)岡崎人事コンサルタント ¥1100+税 授業
「面接試験に成功する鉄則10」

参考書

岡崎 洋著 ¥1100+税 以上2冊を必ず購入してください。
岡崎洋他共著「楽しいキャリアデザイン」八千代出版社 ¥1400+税
ISBN978-4-8429-1491-6
岡崎洋他共著「ベテラン人事マンが書いた面接力をつける本」東洋経済新報社 ¥1500+税
ISBN4-492-22239-1

関連リンク

<http://www.okazakijinji.jp/>

履修コード	208601
科目名	芸術学〔音楽〕
担当者名	浦本 裕子

講義の到達目標(ねらい)

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが増えるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。
そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであるうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

前期：諸民族の音楽・1-3概論 4-7ヨーロッパ 8-15アジア

後期：西洋音楽史・1-2楽器 3-4中世・ルネサンス 5-7バロック 8-10古典派 11-13ロマン派 14-15近世

講義の内容／
授業スケジュール

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：試験またはレポート
後期：試験

教科書／テキスト

なし

参考文献

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）
藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）
久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）
岡田暁生 『西洋音楽史』

履修コード	208401
科目名	芸術学〔日本美術〕
担当者名	北野 良枝

講義の到達目標(ねらい)

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概観する。美術の歴史を理解するにあたって、作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画

- (1) ガイダンス
- (2) 絵画に関する基礎知識
- (3) ～ (7) 禅林の水墨画
- (8) 阿弥派
- (9) 関東水墨画
- (10) 土佐派
- (11) ～ (12) 狩野正信・元信
- (13) ～ (15) 狩野永徳と桃山画壇

後期 江戸時代の絵画

- (16) 江戸時代の狩野派
- (17) ～ (20) 琳派
- (21) ～ (22) 浮世絵
- (23) 南蘋派
- (24) 文人画
- (25) ～ (26) 秋田蘭画と司馬江漢
- (27) 伊藤若冲と曾我蕭白
- (28) 円山四条派
- (29) ～ (30) 江戸から明治へ

履修上の留意点

授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	208501
科目名	芸術学〔西洋美術〕
担当者名	矢野 陽子

講義の到達目標(ねらい)

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では、15世紀から18世紀末、19世紀初頭まで、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期までの西洋絵画を主な対象とします。前期は、時代の流れに沿って、毎回主要な作品を1点取り上げ、さまざまな角度から見ていきます。後期は、西洋絵画のジャンルや主題別に講義を進めます。特に伝統的な西洋絵画に数多く描かれてきた神話・宗教の主題を理解できるようになることを目指します。代表的な作品を分析し、表現様式や受容のされ方などに意識を向けることによって、私たちとは異なる文化から生まれてきた西洋美術をより深く理解することを目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス (2~4) 初期ルネサンスの絵画 (5~7) 盛期ルネサンスの絵画 (8~9) マニエリスムの絵画 (10~13) 17世紀の絵画 (14~15) 18世紀の絵画 (16~18) 神話画 (19~23) 宗教画 (24~25) 寓意画 (26~30) 肖像画、風俗画、風景画、静物画

履修上の留意点

作品の画像をスクリーンに映してそれを見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休み後に提出するレポートと学年末の筆記試験に出席状況を加えて評価します。レポートの課題や試験の形式などは授業中に説明します。

参考図書

高階秀爾(監修) カラー版『西洋美術史』美術出版社
ジェイムズ・ホール『西洋美術解説事典』河出書房新社

その他の

その他、授業中に適宜紹介します。
授業内容と関連するものに限りならず、開催される様々な美術展覧会を随時紹介する予定ですので、積極的に見に行ってください。

履修コード	360801
科目名	実務表現
担当者名	内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)

テーマ「メディアを読み解き、言語化する」

新聞やニュースなどを題材に、メディアを分析する力と日本語表現力を磨きます。

メディアを読み解き分析する力と、その分析を言語化する力は、大学生活においても、社会に出ても必要とされるものです。この授業では、新聞などの活字メディアをおもな分析対象とします。メディアを分析しながら、文章表現演習を積み重ね、実践的な日本語表現力を身につけることを目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) オリエンテーション、(2~7)「メディアを読む」とは、どのような行為か?、(8~13)新聞の実践的分析(新聞紙面の構成など)、(14~19)新聞記事の比較、(20~25)活字メディアと映像メディア(『クローズアップ現代』など)、(26~29)多メディア時代の可能性と問題点、(30)まとめ。

履修上の留意点

なお、最新のニュースを取り入れながら、講義をすすめます。その都度、進度や授業内容も調整していきます。

ほぼ毎回、授業中に課題や小テストをおこないます。通年で参加できる人、日本語表現力の基礎を真剣に身につけたい人のみ、登録してください。また、担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。

成績評価の方法

授業中に課題や小テストをおこないます。A:授業への参加度・授業内課題・小テスト(50%)、B:前期末のレポート(25%)、C:学年末の教場試験(25%)をあわせて、総合的に評価をします。

教科書／テキスト

指定なし。適宜プリントを配布します。

参考図書

適宜授業中に指示します。

履修コード	360901
科目名	実務表現
担当者名	萩原 義雄

講義の到達目標(ねらい)

広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に進めていく。

★駒澤大学 e-Education:YeStudy にログインし、「全学共通科目」のなかの「教養教育」に入って次に「実務表現(萩原)」にアクセスします。ここに休暇中における課題提出ができるようにしてありますので御利用願います。

0. 「デジタル・ブックA」1. 「デジタル・ブックB」の機能を知る。製作を实际担当した特別ゲスト講師をお呼びして、その機能性と将来性について、皆様方にも实际体験学習をしていただくことでその実感を学んでいただきます。

講義の内容／
授業スケジュール

01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明

「デジタル・ブック」の機能を知る。製作を实际担当した岡ベラさん(CSE社長)を特別ゲスト講師にお招きして、その機能性と将来性について、皆様方にも实际体験学習をしていただくことでその実感を学んでいただきます。

世界情報のキャッチと日本一「テレビジョン・ラジオ番組」の動向と未来

2008年、私はイタリアのローマ・ミラノ・ウルビノに約16日間滞在し、ここで四月から開始する講義資料の構想と展開をどう進めて行くのか日々練ってきました。

こうしたなかで、イタリアPC情報プログラムの世界で画期的な動きを見せているPC世界各国のラジオ&テレビ放送番組を皆さんにまず紹介していきましょう。

同じ地球上で人々が今何を考え、何を求めてどのような活動しようとしているのか、しているのかを知ることは、どの分野であっても上に立つ指導者として最も身につけておきたい大切な洞察能力ではないでしょうか？

報道は常に自由でなくてはならないという精神もときには腹立ち怒るものであれば人の愚かさを露呈するにすぎません。常に沈静清浄な心身で見ることが忘れてはなりません。

また、世界言語を学び、異国で活動する能力を身につけるにも最高の学習の場をここでは実にリアル・タイムで提供していると私は考えています。

さらに、言語の分野を「自然」「文化」「社会」の三基軸に分類して、個々の己自身が探求したい分野ごとの世界を幾つか選択して、且つ比較しながら進めて行くことも此処では可能でしょう。

その結果、一歩眺める視線を変えることが可能でしょう。芸術・文化活動の企画書・報告書のまとめにもきっと大いに役立つでしょう。

前置きはこのくらいにして実際のこの扱いサイトを見ていくことにしましょう。まず下記のサイトに入りましょう！

<http://www.guardatv.it/country/18>

では、始めていきましょうか。

02の講義内容 「D-BOOK」に寄せて

話すこと書くこと… 「D-BOOK(デジタル・ブック)」の世界にようこそ！。先回、講義概要に換えて「D-BOOK」について直接イタリア国の私の友人でもある一人のアーティストLisa Sottilisさんの一代物語を今年三月「D-BOOK」に編集された岡ベラさんに直接皆さん方に話しかけて貰いました。いかがでしたか？本日は、そのとき貴方が本当に何を思い何を感じたのか、そのあるがままを文章にして表現してみてください。岡さんはこのお話しで、皆さんに一つのテーマ課題をプレゼントしていただきました。それは「人を感動させること」……。

具体的には「小説・随筆集・詩集・名言集・写真集・画集・雑誌・写真集・絵本……」などという作品素材から今後貴方自身が見つけ出す作業が待っています。

また、先回出席できなかった方につきましては、駒澤大学 e-Education:YeStudy にログインし、「全学共通科目」のなかの「教養教育」に入っただき、次に「実務表現(萩原)」にアクセスしてその内容をご確認願います。

03の講義内容 ○で創る絵本 [PPT版]

04の講義内容 ●で創る絵本 —その2「実践編」フォーラム —

05の講義内容 ●で創る絵本 —その3「実践編」フォーラム —

07の講義内容 ●で創る絵本 —その4「実践編」フォーラム —

08の講義内容 異文化そして価値観 「●で創る絵本」集の公開 —その5「応用編」—

09の講義内容 感動を形にする(音楽編②) 駒澤大学 e-Education:YeStudy

—音楽をことばで表現する&色彩の効果について—

10の講義内容 もし私が絵本作家だったら 駒澤大学 e-Education:YeStudy

11の講義内容 日本語のリズム 駒澤大学 e-Education:YeStudy

12の講義内容 世界をも変える映画の力—その1喜劇王チャーリー・チャップリン編— [PDF版]

13の講義内容 映画は総合芸術である—その2喜劇王チャーリー・チャップリン編— [PDF版]

- 14の講義内容 お話を学ぶ・語る・伝える 「忘れられない贈り物」[PDF版]
 15の講義内容 日本の伝統芸能 その1 (能・狂言)
 16の講義内容 日本の伝統芸能 その2 (歌舞伎)
 17の講義内容 本を出版するための準備 「本のタイトルを命名する方法」PDF版
 各自、制作しようとする本のタイトルを提出します。
 ジャンル別にグループ分けをし、グループによるディスカッションを実施。
 18の講義内容 製作の段階にしたがった作業過程について
 手書き文字は、どうすれば巧く書けるようになるのか? PDF版
 19の講義内容 レイアウトの基本」の継続と応用理論
 20の講義内容 「レイアウトの基本」の継続と応用理論一本の表紙をデザインしましょうー
 パワーポイントの使用法〔基本編〕 PDF文書
 21の講義内容 本文の体裁及び編集—その1 作品を作る上でのアイデア ファイル—
 22の講義内容 本文の体裁及び編集—その2 ストーリー作りについて ファイル —
 23の講義内容 本文の体裁及び編集—その3 ファイル —
 24の講義内容 本文の体裁及び編集—その4 ファイル —
 25の講義内容 提出作品の公開セレモニーA D-BOOK版
 26の講義内容 提出作品の公開セレモニーB D-BOOK版
 27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめざそう。

準備学習

★駒澤大学 e-Education: YeStudy にログインし、「全学共通科目」のなかの「教養教育」に入って次に「実務表現 (萩原)」にアクセスします。ここに休暇中における課題提出ができるようにしてありますので御利用願います。

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めていきます。その仕上がり度合いを許に評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書/テキスト
その他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

「YeStudy」による講義実習活動を実施！情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

関連リンク

<http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	361001
科目名	実務表現
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>
講義の到達目標(ねらい)	本講義は、課題作成をとおして「文書作成・プレゼンに役立つ」ための実践的なスキルが身につけているかの確認を行いながら、自分の不足しているスキルに自ら気づき、それを自ら補う努力をすることによって、実社会において要求される「収集した情報を整理し他者に分かりやすく伝える能力(=ICT:情報コミュニケーション力)に更に磨きをかける」ことがねらいである。
講義の内容／授業スケジュール	第1回PC操作基礎力判定テスト 第2回受講許可者確認 Introduction 第3～7回Word活用術 第8～12回Excel活用術 第13～15回Word&Excel活用術 第16～20回PowerPoint活用術 第21～28回総合実践Drill 第29～30回その他
準備学習 履修上の留意点	タッチタイピング【キーボードを見ないで入力】(目標1500字/10分)練習をしておくこと。 この授業を受講するには、以下の3つの条件を満たしていることが必要である。 1. Word・Excel・PowerPointを活用できる基礎的スキルを持っていること 2. タッチタイピングが習得できておりKT2000テストで1250字以上/10分あること 3. 第1回目の授業に参加しYeStudyエントリー資格を得ること 第1回目の授業参加者が定員を超えた場合は、上記1&2の条件を満たしている者の中から受講許可者を決定し、YeStudyエントリー資格として「登録キー」を与える。 第1回目の授業を欠席して、許可を得ずに履修登録した者は4/16～4/21の訂正期間に「取消」が必要となる。
成績評価の方法	授業参加点(20%)、PC利活用率(40%)、提出された課題点(30%)および小テスト(10%)の合計点により算出する。
教科書／テキスト 参 考 書	『文書作成・プレゼンに役立つ!実践ドリルで学ぶOffice活用術 2010対応』 noa出版 1,212円 使用するファイル等:MS-Office 2010 (Word Excel PowerPoint)、Type Quick Professional、日本商工会議所パソコン操作技能認定試験(KT2000)問題
そ の 他	YeStudyを利用して授業当日の詳細や教材提示、課題提出等を行うため、自宅のPCがインターネット接続してあることが望ましい。その環境ができていない場合は、頻繁に総合情報センター自習室を利用し、授業前に指示等を確認しておくこと。 また、PC利活用率の向上を図るため、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターした後も自主練習に励み、2000字/10分を達成すること。

履修コード	211401
科目名	宗教学〔世界観と儀礼〕
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>
講義の到達目標(ねらい)	人間の「宗教行動」を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった「宗教行動」は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、「人間の行動」として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。 この講義では、宗教学の立場から儀礼(宗教行動)とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。
講義の内容／授業スケジュール	まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。 第1回:この授業の進め方、第2～6回:シャーマニズムについて、第7～15回:呪術と宗教について、第16～17回:儀礼論について、第18～22回:通過儀礼論について、第23～25回:いくつかの儀礼論について、第26～27回:演技と儀礼について、第28～29回:神話と儀礼について、第30回:まとめ
準備学習	授業準備として、次回授業で取り上げる内容について配布した関連資料に眼を通しておくこと。また、授業で行う小試験の内容は必ず復習しておくこと。
成績評価の方法	原則として、年8回の「小試験」(出席点として処理)が2割、夏期レポート(前期試験に相当)が4割、年度末の筆記試験が4割として評価します。成績評価の具体的な方法、レポート課題の内容、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
教科書／テキスト 参 考 書	関連資料のコピーを配布します。原則として教科書は用いません。 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	211201
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	川上 ^{かわかみ} 新二 ^{しんじ}

講義の到達目標(ねらい)	主に東アジア社会で見られるシャーマニズム(巫俗)を事例として取りあげ、それらを比較しながら、宗教学が提出してきた世界各地で展開する宗教文化に対する接近方法、見方、考え方を学びます。
講義の内容／ 授業スケジュール	以下の内容を実際の授業日数に配分して講義します。 1. 宗教学について：(1)宗教学とは、(2)宗教とは、(3)宗教文化とは、(4)シャーマニズム(巫俗)とは、など。 2. 韓国のシャーマニズム(巫俗)：(1)成巫過程、(2)守護霊、(3)儀礼、(4)中国・朝鮮族のシャーマニズム、など。 3. 日本のシャーマニズム(巫俗)：(1)東北地方の場合、(2)沖縄の場合、(3)都市のシャーマニズム、(4)仏教とシャーマニズム、(5)キリスト教とシャーマニズム、など。 4. 中国のシャーマニズム(巫俗)
準備学習	2回の筆記試験(持ち込み不可、講義内容を踏まえての記述式試験)で成績を評価しますので、日頃から講義の内容を十分に整理し、まとめておいてください。
成績評価の方法	前期末に授業時間内で実施する筆記試験(50%)と、学期末の試験期間内で実施する筆記試験(50%)とで評価します。また自主レポートも随時、受け付けます(講義内容を1200字以上でまとめる。字数厳守。氏名、題名は字数に含めない。一行20字もしくは30字もしくは40字のワープロで作成するか、手書きの場合には原稿用紙で作成のこと。レポート用紙などへの手書きのものは受理しない。授業時に提出。授業時以外は受理しない)。
教科書／テキスト 参考書	プリントを配布します。 川上新二『死者と正者の民俗誌』岩田書院、5900円、ISBN978-4-87294-668-0 C3039

履修コード	211511
科目名	宗教学〔生活と宗教〕
担当者名	<small>すかわら としよよ</small> 菅原 壽清

講義の到達目標(ねらい)

人間の精神世界の根源にあって、人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、日本やアジアの人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学について、その基礎的な概説を行います。次に、「日本のなかのアジア」「アジアのなかの日本」という視点から、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどを事例として、「生活と宗教」について展開します。

特に、アジアの山地社会における人々の宗教的営み、日本の山岳信仰などに注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開します。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

(1と2は前期授業、3と4は隔年で後期授業、と内容を変えています。今年度は「日本の人々の生活と宗教」として、日本の山岳宗教を取り上げ、次年度は「アジアの人々の生活と宗教」として、中国雲南の山地社会を取り上げます。勿論、呪術と宗教、シャーマニズムなど宗教学の理論も押さえながら、私たちの身近にある暮らしの中の宗教を捉えてみたいと思っています。)

準備学習

YeStudyで、授業中の配付資料、講義ノート、パワーポイントで作成した映像、動画など、全てを公開しますので、予習や復習に利用して下さい。

履修上の留意点

講義では、国内や海外調査で写した写真やビデオなどを、プロジェクターを用いて映しながら授業を行います。また、学内のホームページ、YeStudyには、授業中の配付資料、講義ノート、パワーポイントで作成した映像、動画など、全てを公開しますので、予習や復習に利用して下さい。

さらに、授業に関連した写真を私のホームページでも公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。さらに、DVDを用いて、授業に関連した映像も写します。広く、アジアの人々の暮らしや日本の山岳信仰に関心のある方は是非どうぞ。

成績評価の方法

試験 + α + β (詳細は、講義の時説明)

α = 座席点 (ABCで付け、積極的な授業参加を評価します)

β = レポート点 (課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します)

教科書／テキスト

特には、指定しません。講義資料をプリントして配布します。

参 考 書

講義資料をプリントして配布します。また、YeStudyでも公開します。

講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

そ の 他

『宗教学ハンドブック』(世界書院)

授業の方法—講義、ビデオ・DVD、プロジェクターを用いてスライドや動画を写しながら、ビジュアルな授業を展開します。国内や海外調査Field Workに関心のある方(社会・文化人類学、宗教人類学)は是非どうぞ。

履修コード	211301
科目名	宗教学〔聖と俗〕
担当者名	田中 ^{たなか} ^{かのこ} かのこ

講義の到達目標(ねらい) ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類(例:「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」)から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容／授業スケジュール 前期(1～15)は、ほかならぬ自らの「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期(16～30)は、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」について、教科書を縦横に駆使しながら探究する。

準備学習 教科書を通読し、関心のある箇所をチェックしておく、受講にも、課題や試験の準備にも役立ちます。

履修上の留意点 既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開きましょう。

成績評価の方法 独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポートと学年末試験。

教科書／テキスト 4月初旬、ガイダンスのプリントで詳細を指示します。プリントは、履修が確定するまでの期間、配布する予定ですが、重要な連絡はすべて初日に行ないます。

参考書 物事を多方面から捉えた柔軟な視点の著作(文学としても味読できるもの)を適宜、ご紹介いたします。
その他 講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用します。

履修コード	342401
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	田中 ^{たなか} ^{かのこ} かのこ

講義の到達目標(ねらい) 人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限らない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容／授業スケジュール 講義担当者の生活体験をともなう地域(インド・ヨーロッパ)を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。前期(1～15)は諸宗教に共通する人間文化の特徴、後期(16～30)は各宗教の個性と他宗教との関係を念頭に置きながら、その時々の世界情勢を踏まえたトピックを臨機応変に選んでいく。

準備学習 教科書を通読し、関心のある箇所をチェックしておく、受講にも、課題や試験の準備にも役立ちます。

履修上の留意点 板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにはすぎません。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしましょう。仏教と他宗教との関連性に注目。様々なページを開いて比較し、視野を広げる機会が多いので、教科書は必携です。

成績評価の方法 創意工夫や日本語の表現力を評価する課題、学年末試験、出席状況。
教科書／テキスト 4月初旬、ガイダンスのプリントで詳細を指示します。プリントは、履修が確定するまでの期間、配布する予定ですが、重要な連絡はすべて初日に行ないます。

参考書 「いのち」の輝きや、異文化間の交流を扱ったもの(書物、映画など)なら何でも。

その他 これまで通り、出席カードのウラ面を、受講生からの連絡事項や質問などの記入欄として活用します。

履修コード	211521
科目名	宗教学〔民俗宗教の諸相〕
担当者名	宮田 義矢 <small>みやた よしや</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>私たちは「宗教」という言葉を一つのレッテルとしてよく用います。しかし、そのレッテルの中身は、ある宗教、例えば新宗教なりキリスト教なり、イスラーム教なりについての、断片的な情報にしか基づいていないということが、往々にしてあります。果たしてそれは、どこまで確かなものなのでしょうか。</p> <p>本講義では、「宗教」というものが、どのようなものであったか、また現在どのようなものとしてあるかを理解し記述しようとする試み、すなわち宗教学について紹介するものです。宗教を理解するための様々な切り口に触れ、宗教学的な考え方について理解を深めていくことが本講義のねらいです。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>[01] はじめに。 [02～05] 宗教学の考え方について、「メディアと宗教」、「宗教心理学」などを題材に説明します。 [05～10] キリスト教やイスラーム教に共通する「聖典」、「契約の概念」などをテーマに世界の宗教を概観します。 [11～15] 「原理主義」や「スピリチュアリティ」を手がかりに、現代社会の諸問題と宗教の関わりを考えていきます。 [16～19] 「民俗宗教」という考え方について、中国の宗教を事例に論じます。 [20～24] 日本や中国の「民俗宗教」に関わるトピックをあげ、考察を加えていきます。 [25～29] 「生活の中の宗教」をテーマに、「養生法」や「シャーマニズム」などを題材にして考えていきます。 [30] おわりに。 リアクションペーパーを適宜提出してもらいます。</p>
履修上の留意点 成績評価の方法	<p>小レポート(30点)を一回、期末レポート(50点)を一回課します。これにリアクションペーパー・平常点(20点)を合わせ、総合的に評価します。レポートの内容および執筆の要領については講義中に指示します。</p>
教科書／テキスト 参 考 書	<p>特に使用しません。資料を適宜配布します。 近年の宗教学入門書として、次の2冊があります。 棚次正和・山中弘編著『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005年 島菌進[ほか]編『宗教学キーワード』有斐閣、2006年</p>
そ の 他	<p>そのほか、適宜授業時に紹介します。 詳細については、初回講義時に説明します。</p>

履修コード	211501
科目名	宗教学〔日本人の宗教〕
担当者名	矢野 秀武 <small>やの ひでたけ</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対する異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>前期はおもに、宗教学の基礎(1～2)、神道と仏教(3～7)、日本の宗教建築(8～9)、民俗宗教(10～15)など日本の伝統宗教について概説する。 後期では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。具体的には、日本のキリスト教や新宗教、日本宗教の海外布教や日本のイスラームなど国境を越えた宗教の移動(16～20)、特定の人物にスポットを当て近代日本における宗教者の思想(21～25)、その他、占いや統計など(26～30)といったトピックからも日本の宗教の特質を紹介する。</p>
履修上の留意点 成績評価の方法	<p>レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。 前期レポート(40%)、夏休み前に課題を提示・後期初回に提出)と後期の定期試験期間における筆記試験(60%)を総合して評価を行なう。</p>
教科書／テキスト 参 考 書	<p>なし 授業時に随時紹介する。</p>

履修コード	211901
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>

講義の到達目標(ねらい)

我々は日常生活の中の多くの場面で、地域環境に影響を受けつつ、個々の意思の基に行動する。ところが、その行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、地域や空間・距離がもつ意味をより深く理解して、それを説明できることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール

前期には、主に都市の分布や地域の結びつきについて、後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との関係を具体例を挙げながら説明する。

第1回：オリエンテーション、第2～4回：地図、第5～8回：都市の分布と立地、第9～12回：都市や地域の結びつき、第13～17回：都市の内部構造とその変化、第18～22回：人口変動と分布・人口移動、第23～27回：都市の居住構造の形成過程、第28・29回：都市と余暇活動、第30回：都市空間における知覚と認知

準備学習

講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考文献

講義期間中に実施される試験結果(80%)と出席状況(20%)から評価する。

高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

北川建次編『現代都市地理学』古今書院、2730円、ISBN4-7722-3044-0

富田和暁・藤井 正編『新版 図説 大都市圏』古今書院、3150円

ISBN 978-4-7722-4140-3

ノックス、P. ・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版 都市社会地理学』

古今書院、6090円、ISBN4-7722-5103-0

その他の

講義ではプリントを随時配布する。資料のバックナンバーの閲覧や急な連絡などはYeStudyを通じて行うので、履修者は開講後早めに登録を済ませること。

履修コード	211801
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 慎悟 <small>いとう しんご</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、地理学およびそれに関連する社会的問題における基礎的知識の習得を目的とし、地域的差異の発生と、その要因について議論する。今年度は、学問としての地理学の解説、そして各種分布図、資料の読み取りを行い、分析、考察を行う。

講義の内容／授業スケジュール

前期は、まず地理学という学問の位置づけや、その研究目的、研究意義について概説する。つぎに、主として日本国内を事例とし、文化や習慣の違い、産業に関する地域的な差異、あるいは昨今の社会問題についての講義を行う予定である。

後期は、都市問題、交通問題、人口問題をメインとし、分析手法の紹介や地域差発生要因について講義を行う予定である。

履修上の留意点

地理学の専門知識は必ずしも必要としないが、昨今の社会問題については普段から情報収集しておくことが望ましい。授業で取り上げた事例、地域について自分なりに調べておくことよい。また、板書形式の授業なので、ノートを必ず持参すること。ほぼ毎回、A4サイズの資料を配付するので、それを綴じられるバインダー等があると便利である。

成績評価の方法

前期中に行う中間試験と、年度末の期末試験（追試なし）、そしてほぼ毎回出される課題の内容や授業態度によって評価する。また、遅刻も評価対象とする。

教科書／テキスト
参考文献

とくに使用しない。高校などで使用した地図帳があると便利である。

とくになし。

履修コード	211701
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	櫻井 明久 <small>さくらい あきひさ</small>

講義の到達目標(わらい) 主に地理学科以外の一般の学生向けに、作業を通じて、風土と文化に関する人文地理学の見方や考え方を学ぶ。作業は、地形図の着色・読図、地図帳の利活用、ルポルタージュ作品の活用など。授業中の作業と取り組み・訓練が重要である。取り扱う地域については、日本とヨーロッパ(ドイツ農村、パリ大都市圏周辺農村)など櫻井が直接経験・調査した地域の事例を取り上げる。

講義の内容／授業スケジュール 詳細な計画は示しにくいですが、まず前期に、個人と地域との関係を考え、日常生活スケールの人文地理学をまず考えたい。2.5万分の1の旧版地形図などを利用して基本的な地図の見方を練習し(1~3)、着色作業しながら地形と土地利用の関係を学び、集落から都市レベルの地理を考えたい(4~14)。夏休みには、前期で学んだ作業方法を活用し、各自の身近な地域について着色作業し、レポートを作成する。この夏休みのレポートの配点が高い。後期は、北西ヨーロッパを扱い、より大きなスケールで、国、超国家スケールまでの人文地理学を考える。すなわち、まず、地図帳を使って旅行計画し、都市地図で探検のプランを計画して、地図の利用方法について学び(15~18)、ついで、地図帳を使いながら、ヨーロッパの概略を知るとともに、ヨーロッパの「食」「農業」「農村」を通じて、ヨーロッパの生活文化、風土と環境について考えたい(19~30)。また、後期の後半には、何人かに夏休みのレポートを簡単に発表してもらう予定である。

履修上の留意点 ほぼ毎授業、その時間内で作成した作品や地図、ミニレポートを提出する。次時にはそれらを反省したり、皆さんの疑問や質問を取り上げて、考察を深めたい。こうした作業活動型の授業を行うので、作業が滞る欠席・遅刻は厳しくチェックする。積極的な授業参加を望みたい。なお、着色作業のために、6色程度の色鉛筆を使ったり、中・高校時代に利用した地図帳などを利用することがあるので、指示する時間に持参すること。また、配付した資料も忘れずに持参する必要があり、こうした準備がないと授業に参加できないので十分に注意すること。

成績評価の方法 毎時のミニレポートないしは作品提出：50点(出席、授業内で作業を行うことが重要である)、夏休みレポート：30点、試験(前・後期)：計20点といったバランスで評価したい。

教科書／テキスト なし。
参 考 書 適宜紹介する。

履修コード	211601
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	山口 太郎 <small>やまぐち たろう</small>

講義の到達目標(わらい) 本講義では、都市、とりわけ東京を通じて地理的想像力を磨くこと、そして都市を批判的にみつめる力を養うことを目的とする。教室で学習した知識と、地理的想像力や批判精神といった感覚を、日常生活の場(所)や空間で活かすことができれば理想的である。

講義の内容／授業スケジュール 次の項目を予定している。
(1)~(3)東京の自然史(都市と緑、坂の町・東京、水の都・東京)、(4)~(8)東京の歴史地理(明治以降の通史、同潤会アパートの歴史、都市の観察法)、(9)(10)東京の社会・経済地理(社会地図、産業集積)、(11)~(14)都市の文化・社会地理(シカゴ学派、大阪の事例、都市の表象、情報と都市空間)(15)前期予備日、(16)(17)都市計画、(18)~(21)東京の文化地理(渋谷、秋葉原、代官山、下北沢、大久保、新宿など)、(22)~(25)東京郊外の文化・社会地理(世田谷区内各所、田園調布、「多摩田園都市」、多摩ニュータウンなど)、(26)~(29)都市の社会地理(都市空間と権力、時間地理学、都市空間とジェンダー、都市空間と故郷)(30)試験

準 備 学 習 主に東京23区を舞台として講義を進めるので、23区名や鉄道路線、駅名が分かる地図が手元にあると理解の助けとなるはずである。

履修上の留意点 出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課すことがある。
成績評価の方法 夏休み明けに提出していただくまち歩きレポートと、後期末に行なう試験を基本とし、授業内に行なう小レポートを若干加味する。なお、期限内に夏休みのレポートが提出されないと単位の認定はできない。

教科書／テキスト 特に定めない。プリントを配布する。
参 考 書 授業の中で紹介していく。
そ の 他 講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。また、町をぶらぶらしたり、いろいろな場所へ出かけたりすることを積極的に行なってほしい。

履修コード	208901
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	かわ谷 ^{あつし} 淳

講義の到達目標(ねらい) この授業では、西洋思想の二大源流であるギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げる。これらの二大源流は不連続性と連続性の両面を併せ持ちながら、複雑に分歧・合流を繰り返して近現代の思想へと流れ込んでいる。この意味では現代の私たちが古代・中世哲学について考えることは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。授業では、できるだけ身近で具体的な事例をあげながら、基本的な哲学用語について理解を深めてもらえるよう配慮したい。

講義の内容／授業スケジュール Aギリシア哲学（哲学の始まり）：序論(1.2)、ソクラテス以前の哲学(3～6)、ソクラテスの「無知の自覚」(7～9)、プラトンのイデア論(10～12)、アリストテレスの質料形相論(13,14)、ヘレニズム期の哲学(15)、Bキリスト教哲学（信仰と合理性）：アウグスティヌスの時間論(16)、神の存在証明（アンセルムス、トマス・アクィナス）(17,18)、普遍論争（唯名論と実在論）(19,20)、C近代哲学：大陸合理論（デカルト）(21～23)、イギリス経験論（ロック、バークリ、ヒューム）(24～26)、カント哲学（コペルニクス的転回）(27～29)、まとめ(30)

成績評価の方法 中間試験（前期最終授業日に実施）と期末試験（それぞれ40点満点）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書／テキスト 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社3200円

履修コード	209501
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	くぼ ^{よういち} 陽一

講義の到達目標(ねらい) 現代文明と人間の関係について反省し、われわれが現実に対しいかに対処すべきかを考える。現代の哲学では、一方で近代の科学技術では把握しきれない世界の真相を捉えようとする傾向や、他方で逆に科学的見方を尊重しつつも、「意識」による世界の根拠づけから「言語分析」へ転換しようとする傾向、また実践を重んじ社会のあり方を批判しようとする傾向がある。授業では近代哲学を踏まえた後で、これらの考え方を学び、現代文明における人間のあり方について考える力を養うことを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 前期：＜近代哲学の諸問題＞デカルト、心身問題、認識論、カント、ドイツ観念論（フィヒテ、シェリング、ヘーゲル）、＜現代哲学：人間と社会の在り方の探求＞ショーペンハウアー、ニーチェ、キルケゴール、ハイデッガー、マルクス、ウェーバー、フランクフルト学派、環境倫理学
後期：＜現代哲学：認識と言語のありかたの探求＞ベルクソン、デイルタイ、新カント派、フッサール、フレーゲ、ラッセル、論理実証主義、ムーア、クワイン、オースティン、物語の哲学

履修上の留意点 私語、途中退席をつつしむこと。ノートをよく取ること。分からないところは遠慮なく尋ねること。

成績評価の方法 成績は、出席、前・後期試験およびレポートによって評価する。

教科書／テキスト 久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社刊）3200円

参 考 書 久保陽一『ドイツ観念論への招待』（放送大学教育振興会）
久保陽一『生と認識』（知泉書館）
渡辺二郎『現代の哲学』（放送大学教育振興会）

そ の 他 哲学は、既に確定した知識があって、それを暗記すれば良いものではない。一人一人が主体的に自分の問題に取り組む姿勢が大事である。カントが言ったように、哲学の内容は――例えば、法律の条文とか物理学の法則を教えられるように、――教えることでできず、各自が主体的に「哲学する」ことの大切さを教えることができるのみである。とはいえ、素人がまったくゼロから自己流で始めることは困難であり、得策ではない。やはり、既に存在する過去の優れた哲学者の知識を「学ぶこと」は大切なことである。むしろ「学ぶこと」を通して初めて自主的に「哲学する」ことが少しづつ形成されるだろう。この点を肝に銘じて、くりかえし学習しつつ、思索や作文を試みてもらいたい。

履修コード	209301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>

講義の到達目標(ねらい)	近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。
講義の内容／ 授業スケジュール	以下のテーマを取り上げる予定 1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか 2. 「知識」は何のためにあるのか 3. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか 4. 近代的自由の類型：自己決定と自律 5. 人間と自然：人はなぜ自然に生きることができないのか 6. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか 7. 歴史哲学
履修上の留意点	近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。
成績評価の方法 教科書／テキスト	学年末試験を中心とし、受講態度および出席を加えて総合評価する。 教科書の代わりにプリントを配布。参考書は教場で紹介する。

履修コード	209201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	小島 優子 <small>こじま ゆうこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	近代における「人間中心主義」をテーマとする。現代における環境問題を考えるとき、われわれはすぐに人間中心主義の思想のもとに自然破壊が行われてきたことに思い至る。近代における科学技術の発展はわれわれの生活をたいへん便利なものとしてきた。しかし、人間中心主義がわれわれにもたらしたものはいったい何であろうか。このことを考察するために、まず自然と人間との関係は古代ギリシア以来、どのように考えられてきたか、そして近代人の特色とは何であるについて押さえる。
講義の内容／ 授業スケジュール	近代において人間中心主義が標榜されるようになったのは、中世のように神が人々にとって中心的な問題ではなくなったことに由来する。そもそもなぜ古来人間は神を信じてきたのか、さらに近代人にとって神とはどのような存在であるのかについて考えたい。近代においてはむしろ人間とは何であるかということが、歴史的状況、社会的状況のなかで問われるようになった。そして人間はいかに生きるべきか、人間とは何かということが問題とされる。講義を通して、人間とは何か、また人間が生きることの意味について学生諸君に考えてもらいたい。 1 哲学とは何か 2 近代以前の哲学 ① 古代ギリシア哲学の世界観－人間と自然・人間と国家との関係－ ② 中世哲学とキリスト教神学 3 近代哲学の特徴 ① キリスト教神学からの解放－近代人にとって神とは何か－ ② 自然科学の哲学への影響 ③ 人間中心主義の世界観
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	1 回の定期試験（中間試験）と、1回の学期末試験と平常点（出席状況）で評価する。 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社 小島優子著『最新哲学がよ〜くわかる本』秀和システム

履修コード	208801
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	佐藤 暁 <small>さとう あきら</small>

講義の到達目標(ねらい)

哲学という営みが世界史上初めて行われた古代ギリシャ及びその強い影響下にあった中世ヨーロッパで活躍した哲学者たちの議論に、なるべく具体的かつ丁寧に触れることによって、哲学的な問題とはどのようなものであり、哲学的に何かを論じるとは一般にどのようなことであるか、の理解を得ることを目的とします。また、一見現代の我々のものと異なって見えることもあるそれらの問題設定を知ることによって、我々が何かを考える際に自明と見なししている枠組みの相対性と普遍性を、結果的に吟味することにもなります。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 概論：哲学とはどのような学問か (2~9) ソクラテス以前の哲学 (10~15) ソクラテス・プラトン (16) ~ (20) アリストテレス (18~23) ヘレニズム期の哲学・教父思想とアラビア哲学 (23, 24) カロリング・ルネサンスと前期スコラ学 (25) ~ (28) 盛期スコラ学 (29, 30) 後期スコラ学

成績評価の方法
教科書／テキスト

学期末にレポートを提出してもらいます。
久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	209101・343201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	佐藤 暁 <small>さとう あきら</small>

講義の到達目標(ねらい)

科学が世界の基礎的な真相を記述している、という現代においても支配的な信念が初めて一般に共有されるようになった近代という時代の哲学は、それゆえ、現代の我々が普段何をしていることになるのか、あるいはどのような世界に住んでいるのか、といった哲学的な問いを考えるうえで必要となる道具立てのうち、最も基本的なものを作り上げた哲学と言えます。この授業では、近代の哲学者たちの議論に具体的に触れることによって、我々自身が哲学的に考えるうえで必要な思考方法にどのようなものがあるかを実際に知り、できればそれらのある程度使いこなせるようになることを目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール

以下の哲学者を中心に、各項目ごとの解説を行います。(1) 概論：人間と人間観、世界と世界観 (2) ~ (18) イギリス経験論 (ホブズ・ベーコン・ロック・ヒューム) (19~25) 大陸合理論 (デカルト、スピノザ) (26~30) カントとドイツ観念論 (カント・ヘーゲル)

成績評価の方法
教科書／テキスト

学期末にレポートを提出してもらいます。
久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社 3200円
ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	343301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義のねらいは、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題について徹底的に考え抜くという態度を受講者に身につけさせることである。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) プロローグ・(2) 問いの構造・(3・4) 懐疑論・(5・6) 意識・(7) 誤謬推理・(8・9) 他人の心・(10) ロボットと人間・(11) 意味・(12) 生命倫理・(13) 性・(14・15) 道徳と宗教・(16・17) 道徳に関する2つの見方・(18) 芸術の定義・(19) 知識・(20) 帰納法・(21・22) 時間・(23・24) 自由意志と決定論・(25・26) 功利主義・(27・28) 人格の同一性・(29・30) パラドクス

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習をして講義に出席すること。
成績は、出席状況・講義中の発表によって評価する。
開講時に指定する。

履修コード	208701
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝口 清栄

講義の到達目標(ねらい)	西洋思想は古代ギリシアで哲学的思索が始まってからすでに二千数百年の歴史をもっている。とかく現代では、目新しさを求める風潮が強くある。そしてさまざまな流行が私たちを囲んでおり、思想の世界もこの風潮を免れていない。しかし、この二千数百年の歴史は、けっして遺物の山なのではない。そうではなく、この歴史のなかでさまざまなテーマが多くの思想家たちによって提出されて、さまざまな応答がなされてきた。それらは、今日のさまざまな思想的論点の底流を形作っていると書いても、言い過ぎではないだろう。
講義の内容／ 授業スケジュール	西洋思想の源流として、古代ギリシア・ローマの諸思想、そして中世の思想を取り上げる。講義にあたっては、それぞれの思想の検討だけでなく、その思想の背景にある歴史的な事情や当時の文化のあり方にも目配りをおこなう。講義スケジュールは次のようにする。 前期 ① 万物のはじめをもとめて(ソクラテス以前の哲学者たちの思索を検討する)、② ポリスの思想家たち(ソクラテス、プラトン、アリストテレスなど) 後期 ① ヘレニズム時代のコスモポリートたち(エピクロス、初期ストア派の思想家たち)、② 中世の思想(アウグスチヌス、トマス・アクイナスなど)、③ 近代の幕開け 講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
履修上の留意点	中間テスト(前期の最終授業時)と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。
成績評価の方法 教科書／テキスト	久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』、公論社、3200円

履修コード	209401
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	滝沢 正之

講義の到達目標(ねらい)	現代哲学における重要な哲学者たちのうちから何人かをとりあげ、本人が書いたテキストの一部を(翻訳ではあるが)実際に読みつつ、その思想を紹介していく。 我々が生きている現代がさまざまな問題を抱えていることは誰でも知っている。哲学者たちの思考をたどることで、それらの問題を根本にまで立ち戻って考え直すことを試みたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典引用部分を丁寧に読み、解説していく。現代哲学の流れを紹介した後にアンケートを採り、受講者の問題関心にに応じて扱う哲学者を選択する。とくに要望がない場合は、こちらで重要と思われる哲学者をピックアップする。適宜プリントで内容の補足を行う。 ちなみに昨年度は、現代思想の概観を確認したのち、マルクス、ニーチェ、カント、キルケゴールなどを扱った。
準備学習 履修上の留意点	教科書の該当箇所にももって目を通しておくことが望ましい。 教科書を必ず入手しておくこと。
成績評価の方法	中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記試験とする。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
教科書／テキスト	久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。
参考書	講義中に適宜指示する。

履修コード	343101
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝沢 正之

講義の到達目標(ねらい)	西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心で紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。
講義の内容／授業スケジュール	ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないので、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。
履修上の留意点 成績評価の方法	本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目標とする。それと同時に、はるか昔の頭のよい？人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。
教科書／テキスト	下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。適宜プリントで補足を行う。
参 考 書	最初から順に扱っていく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。おおまかな目安としては、前期にタレスからプラトンまで、後期にアリストテレスからペーコンまでを検討することになると思われる。
	教科書を必ず入手しておくこと。
	中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
	久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。
	講義中に適宜指示する。

履修コード	209001
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	古田 知章

講義の到達目標(ねらい)	現代において我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。この我々の日常にも深く係わる西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。
講義の内容／授業スケジュール	教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。
成績評価の方法	[前期] 近代の人間観・世界観の源流 第1回：ガイダンス 第2～4回：哲学における基礎的な問題の整理 －人間と世界について問うこと－ 第5～7回：古代ギリシアの思想（1）－哲学的探究の始まり－ 第8～10回：古代ギリシアの思想（2）－哲学の基盤の成立－ 第11～13回：キリスト教思想と中世の哲学－思索の新たな展開－ 第14～15回：中世から近世への連続と変動－様々なルネサンス－ [後期] 近世・近代の人間観・世界観 第16回：前期のまとめ 第17～19回：ルネサンスから近世の思想－人間観・世界観の変革－ 第20～22回：科学の発展と世界観の変化との関係 －法則的世界と人間－ 第23～26回：《コギト（思惟する私）》としての人間存在 －思考の働きの能動性－ 第27～30回：現代の存在論 －見えるものを支える見えない枠組み－
教科書／テキスト	二回の定期試験（中間試験、年度末試験、各4割）と平常点（出席状況、夏期レポート、合計で2割）で評価する。
参 考 書	『原典による哲学の歴史』（公論社） 講義の際にその都度紹介する。

履修コード	358901
科目名	日本語文化基礎
担当者名	萩原 義雄

講義の到達目標(ねらい)

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化(仏教聲明・平曲・謡曲)と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明—しつらい—
02の講義内容 年中行事・お月見—日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い

03の講義内容 寺子屋に学ぶ—日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際—
04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果

その研究領域の一般活用と手続き
(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど)

05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1(中国と日本)

06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2(朝鮮半島と日本)

07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3(モンゴルと日本)

08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4(ベトナムと日本)

09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5(タイと日本)

10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6(インドネシアと日本)

11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に)

12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1(ギリシャ&トルコと日本)

13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2(イタリアと日本)

14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3(イスラエルと日本)

15の講義内容 期末課題レポートの提出

準備学習

日本語文化のキーワード…「しつらい」「年中行事」「往来物」「寺子屋」「世界地図」「風土」といったことばの重みを学んでおこう。

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

期末にレポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

随時、講義の前後にて報知します。

随時、講義の前後にて報知します。

※Y e s t u d y. による講義実習活動を実施！情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

<http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

関連リンク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>

履修コード	358911
科目名	日本語文化基礎
担当者名	湯浅 陽子

講義の到達目標(ねらい)	現代の情報化社会において、パソコンを使って情報を利用し、十分に活用する能力(情報利活用力)は、社会人としての必須能力となっている。 この授業の目的は、その「情報利活用力」の養成である。課題作成をとおして、自分の伝えたいことを伝えるために必要な国語力・文章力・PC表現力を身につける。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回PC操作基礎力測定 第2～5回PCでレポート作成(Wordのアウトライン機能の活用) 第6～9回アンケート結果の集計方法(Excelを駆使して) 第10～11回アンケート結果をレポートにする(WordとExcelの融合) 第12～13回アンケート結果をスライドにする(PowerPointの活用) 第14～15回その他
準備学習 履修上の留意点	タッチタイピング【キーボードを見ないで入力】(目標1200字/10分)練習をしておくこと。 当科目は、前期の同曜日・時限の「フレッシュマンセミナー」(1年次生のみ履修可能)と同様、初年次教育的性格が強い科目である。使用するテキストも、前期に使用したものを引き続き使用(活用編)する。 受講できる人数に限りがあるため、前期科目の「フレッシュマンセミナー(同曜日・時限)」第1回目の授業時に、下記の2段階方式で受講許可者を決定する。
成績評価の方法 教科書/テキスト	1. 前期科目「フレッシュマンセミナー(同曜日・時限のものに限る)」とセットで受講を希望する者を最優先 2. 1の条件で定員を超える場合は出席者に対してKT2000テストを実施し、スコアの降順で選出 3. 1 & 2の条件に残った者には「受講許可書」が発行され、これが受講許可の証となる。これを受け取った者のみWeb履修登録ができる。したがって許可を得ずに履修登録した者は4/16～4/21の訂正期間に「取消」が必要 なお、1の条件以外の受講希望者は、前期授業「フレッシュマンセミナー(同曜日・時限)」第1回目の授業の説明後(授業開始後およそ45分～時間内)に教場に来て、2～3の手順をクリアしなければ受講できない。
参考書 その他の	授業参加点(30%)、PC利活用力(40%)、および提出された課題点(30%)の合計点により算出する。 『身近なテーマで作って学ぶ!学生のためのOffice 2010 & 情報モラル』 noa出版 1,212円(前期「フレッシュマンセミナー」テキスト後半の“活用編”を使用) 使用するファイル等:MS-Office 2010(Word Excel PowerPoint)、Type Quick Professional、日本商工会議所パソコン操作技能認定試験(KT2000)問題 PC利活用力の向上を図るため、当科目はYeStudyを利用する。 また、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための授業外練習を課す。 総合情報センター自習室PCに入っている入力練習ソフトType Quick Professionalで各自練習を進めること。この授業では、時折実施するタッチタイピングレベル測定結果が評価に直結するので、TQの授業外練習をする/しないは、大きな点差となって顕れる。

履修コード	170901
科目名	日本語文化研究Ⅰ
担当者名	萩原 義雄

講義の到達目標(ねらい)

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する紙面である日本語資料の実態についての保管現況の把握が第一義となります。これをどう時代区分し、ことばの特徴づけがなされてきているのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化研究として、どのような重要性を有しているのか、どのように発展研究していくのかを受講者お一人おひとりに確実に認識していただきます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
日本文化の未来と古代をつなぐ
- 02の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について
文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語學資料へ
- 03の講義内容 「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たみにのうた」
- 04の講義内容 『伊勢物語』第九段「東下り」を読む
- 05の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 — 『吉備大臣入唐絵巻』 — PDF版
- 06の講義内容 「落書」 PDF版
- 07の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版
- 08の講義内容 文字の修得と習学 PDF版
かなについて 貴族階級とことば教育 佛教界とことば教育
- 09の講義内容 文字の運びと流れ PDF版
カタカナ文献資料について
— 『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一〇〇六年寫 —
- 10の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版
— 『今昔物語集』(京都大学附属図書館藏国宝、鈴鹿本) —
- 11の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版
— 鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ —
- 12の講義内容 連続連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版
— 徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字 —
夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)
- 13の講義内容 『作庭記』について PDF版
- 14の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる畳字踊り字「／＼」 PDF版
- 15の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版
- 16の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版
- 17の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版
- 18の講義内容 『蒙古襲來絵詞』について PDF版
- 19の講義内容 『太平記』について PDF版
- 20の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化についてPDF版
- 21の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版
- 22の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版
- 23の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版
- 24の講義内容 『仮名手本忠臣蔵』 PDF版
- 25の講義内容 十返舎一九編『東海道中膝栗毛』 PDF版
- 26の講義内容 樋口一葉『たけくらべ』 — 雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿 —
冬季課題の提出

準備学習

手書きの文章に目を向けておこう。活字文字の文章とは異なった自筆原稿の有効性をあなた自身で確かめておきたい。「感じる漢字」があなたの言語文化の歴史意識を引き出していく。

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。
※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

- 成績評価の方法 前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。
ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。
また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。
- 教科書/テキスト 紀田順一郎著『日本の書物』[勉強出版、3000円(税別)]
インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi/>]
- 参 考 書 今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(笠間書院) 3,800円(税別)
ISBN4-305-70307-6
- そ の 他 YeStudy、による講義実習活動を実施！ 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。
情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。
- 関 連 リ ン ク <http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	215721
科目名	日本語文化研究 I
担当者名	湯浅 陽子

講義の到達目標(ねらい) Wordは文書を作成するためのアプリケーションソフトで、ある程度使えるか?と問われればイエスと誰でも答えるだろう。しかしながら、Wordをフルに活用しているか?という問いかけには自信を持って「はい」とは言えないかもしれない。

この授業のねらいは、Wordをある程度使うことができている人を対象に、ビジネス文書やビジュアルな文書、更には論文形式の文書など、さまざまな文書を作成するための機能を駆使することにより、情報コミュニケーション力(書く力)を更に高めることにある。

第1回 オリエンテーション(授業の進め方、PC操作基礎力測定)

第2~3回 文書の作成と管理

第4~5回 一般的なビジネス文書の作成

第6~7回 記録や報告のためのシンプルな文書の作成

第8~9回 複数の宛先に送付する文書の作成

第10~11回 表で項目や数値を整理した文書の作成

第12~13回 イラストや図形を使ったビジュアルな文書の作成

第14~15回 図表やグラフで情報を伝える文書の作成

第16~17回 既存のデータを利用した文書の作成

第18~19回 読みやすいレイアウトの長文の作成

第20~21回 効率のよい長文の作成

第22~23回 長文の編集と加工

第24~25回 共同作業と文書の保護

第26~30回 まとめ・その他

準備学習 タッチタイピング【キーボードを見ないで入力】(目標1500字/10分)練習をしておくこと。

履修上の留意点 受講可能な人数に限りがあるため、希望する全員を受け入れることができない場合がある。その場合には第1回目の授業時にKT2000テストを実施し、スコアの高い者から順に受講許可者を選出する。受講許可を得た者にはその証として「受講許可書」が発行されると共に「YeStudy登録キー」が与えられる。この授業はYeStudyを使用するため、登録キーが無いと以後の授業の継続ができない。

残念ながら選に漏れてしまった者は4/16~4/21の履修登録訂正期間に「取消」が必要となる。

成績評価の方法 授業参加点(30%)、PC利活用率(40%)、および提出された課題点(30%)の合計点により算出する。【情報利活用 ワープロ】日経BPソフトプレス 1,200円+税 ISBN978-4-89100-786-7

教科書/テキスト 使用するファイル等: MS-Office 2010 (Word)、Type Quick Professional、日本商工会議所パソコン操作技能認定試験(KT2000)問題

参 考 書 PC利活用率の向上を図るため、当科目はYeStudyを利用する。

そ の 他 また、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための授業外練習を課す。総合情報センター白習室PCに入っている入力練習ソフトType Quick Professionalで各自練習を進めること。この授業では、時折実施するタッチタイピングレベル測定結果が評価に直結するので、TQの授業外練習をする/しないは、大きな点差となって顕れる。

履修コード	360601
科目名	日本語文化研究Ⅱ
担当者名	萩原 義雄

講義の到達目標(ねらい)

日本語文化研究Ⅰの「日本語の歴史」で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されています。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いなどを検証していくことにつながります。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知頭集』『神風知頭正義集』『伊勢物語惟清抄』など。『源氏物語』には『源氏物語抄』『紫明抄』『河海抄』など。『枕草子』には『春曙抄』。『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なく注釈書が存在します。この注釈書類を以て、日本語文化研究における国語資料としての位置づけを皆さんと一緒に正確に探っていく眼を養うことをめざします。本年第三次「グローバル・ジャパン・プログラム」に順って、現代日本漫画の巨匠と云われる手塚治虫全作品集に注釈は成立するか、どのような観点で注釈を施すのが良いのかをテーマにこの科目を進めていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
古典作品資料に於ける「古注釈」研究の領域と現代漫画の接度〔PDF版〕
- 02の講義内容 手塚治虫その人と作品集〔PDF版〕
- 03の講義内容 手塚治虫の作品—その1『アドルフに告ぐ』—〔PDF版〕
- 04の講義内容 手塚治虫の作品—その2『陽だまりの樹』—〔PDF版〕
- 05の講義内容 手塚治虫の作品—その3『ブツダ』—〔SWF版〕
- 06の講義内容 手塚治虫の作品—その4『旧約聖書物語』—〔SWF版〕
- 07の講義内容 手塚治虫の作品—その5『鳥人大系』—〔PDF版〕
- 08の講義内容 手塚治虫の作品における手書き文字—その1〔PDF版〕特別授業
- 09の講義内容 手塚治虫の作品における手書き文字—その2〔PDF版〕特別授業
- 10の講義内容 手塚治虫の作品—その6『どついたれ』—〔SWF版〕
- 11の講義内容 手塚治虫の作品—その7『きりひと讃歌』上・下—〔PDF版〕特別授業
- 12の講義内容 手塚治虫の作品—その8『人間昆虫記』—〔PDF版〕
- 13の講義内容 手塚治虫の作品—その9『ネオ・ファウスト』—〔PDF版〕
- 14の講義内容 手塚治虫作品集その10—『地球を呑む』1・2—〔SWF版〕
- 15の講義内容 手塚治虫作品集その11—『どろろ』四巻—〔PDF版〕
- 16の講義内容 手塚治虫作品集その12—『人間ども集まれ!』—〔PDF版〕
- 17の講義内容 手塚治虫作品集その13—『上を下へのジレッタ』—〔PDF版〕
- 18の講義内容 手塚治虫作品集その14—『ぼくの孫悟空』—〔PDF版〕
- 19の講義内容 手塚治虫作品集その15—『メトロポリス』—〔PDF版〕
- 20の講義内容 手塚治虫作品集その16—『魔法屋敷』—〔PDF版〕
- 21の講義内容 手塚治虫作品集その17—『ザ・クレーター』—〔PDF版〕
- 22の講義内容 手塚治虫作品集その18—『ブラック・ジャック』—〔PDF版〕
- 23の講義内容 手塚治虫作品集その19—『極めつき—〇〇〇ページ』—〔PDF版〕
- 24の講義内容 手塚治虫作品集その20—『MW』—〔PDF版〕
- 25の講義内容 手塚治虫作品集その21—『火の鳥』—〔PDF版〕
- 26の講義内容 手塚治虫—『手塚治虫物語』—〔PDF版〕

準備学習

「講義の事前事後の取り組み」→「駒澤大学 e-Education : YeStudy」をご利用願います。ここに、関連する事柄を学習する場を用意しました。取り組む取り組まないは貴方自身が決めることです。決めたからにはとことんやり抜く強い意志を持ちましょう。覚えるのではなく身につけていくことこそ言語文化修得の王道です。この掲載資料に関する質疑応答は確実に行ってまいります。是非ご参加ください。そして、参加される方は必ず受信送信の確実なご自分の携帯メールを登録しておきましょう。夏休み・春休み学校の登録アドレスだけでは見落とししたり、早急な取り組みがしにくいことが現実としてあります。

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう!また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

月毎に注釈書掲載のこぼ群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

手塚治虫全作品集

^YeStudy。による講義実習活動を実施！ 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

関 連 リ ン ク

<http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	360701
科目名	日本語文化研究Ⅱ
担当者名	湯浅 陽子

講義の到達目標(ねらい)

Excelは、主に表計算を行うためのアプリケーションソフトである。Wordと比べExcelは普段「数値」を扱わない学生にとっては馴染みがないので、あまり使い方を知らないことが多いが、ひとたび知ると、データをまとめる力、読み取る力および分析する力がつく。

この授業のねらいは、Excel初心者を対象に、Excelを使うことによって何ができるのかを系統立てて学び、情報コミュニケーション力を更に高めることにある。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回 オリエンテーション(授業の進め方、PC操作基礎力測定)

第2~3回 表作成の基本操作

第4~5回 表を見やすく使いやすくする編集操作

第6~7回 数式・関数を活用した集計表の作成

第8~9回 表示形式や関数を活用した表の作成

第10~11回 定型の表を作成する操作

第12~13回 グラフの基本

第14~15回 目的に応じたグラフの作成と編集

第16~17回 データベース機能の利用

第18~19回 データの抽出

第20~21回 条件を指定した集計・分析

第22~23回 ワークシート間の集計

第24~25回 集計作業の自動化

第26~30回 まとめ・その他

準備学習
履修上の留意点

タッチタイピング【キーボードを見ないで入力】(目標1250字/10分)練習をしておくこと。

受講可能人数に限りがあるため、希望する全員を受け入れることができない場合がある。第1回目の授業で受入可能人数を超えることが判明した場合は、KT2000テストを実施し、スコアの降順により受講許可者を決定する。

受講許可者には「受講許可書」が発行され、同時にYeStudy登録キーが渡される。実質後者が受講許可の証となり、これを受け取った者のみWeb履修登録ができる。

第1回目の授業を欠席して、許可を得ずに履修登録した者は4/16~4/21の訂正期間に「取消」が必要となる。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

授業参加点(30%)、PC利活用率(40%)、および提出された課題点(30%)の合計点により算出する。『情報利活用 表計算』 日経BPソフトプレス 1,200円+税 ISBN978-4-89100-781-2

使用するファイル等: MS-Office 2010 (Excel)、Type Quick Professional、日本商工会議所パソコン操作技能認定試験(KT2000)問題

PC利活用率の向上を図るため、当科目はYeStudyを利用する。

また、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための授業外練習を課す。総合情報センター自習室PCに入っている入力練習ソフトType Quick Professionalで各自練習を進めること。この授業では、時折実施するタッチタイピングレベル測定結果が評価に直結するので、TQの授業外練習をする/しないは、大きな点差となって顕れる。

履修コード	358401
科目名	日本文化基礎
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義の到達目標(ねらい) 宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さというところに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわられてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。

講義の内容／授業スケジュール 上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『シグナルとシグナレス』、『氷河鼠の毛皮』およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。
(1～3) 宮澤賢治の軌跡 (4～6) 『シグナルとシグナレス』の分析と読解 (7～9) 『氷河鼠の毛皮』の分析と読解 (10～12) 『どんぐりと山猫』の分析と読解 (13～15) 『水仙月の四日』の分析と読解

履修上の留意点 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書／テキスト 宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』(ちくま文庫)1,000円

参 考 書 その他、適宜プリントも配布する。
授業時に指示する。

履修コード	358101
科目名	日本文化基礎
担当者名	さかぐち ひろき 坂口 博規

講義の到達目標(ねらい) 日本文化を伝統的な日本人の美的精神・美意識というものから考察する。即ち、日本人はかつてどのようなことに感動し、またその感動をどのように表現してきたかを考える。古典文学に表された美的感動表現の歴史的展開を概観して、日本文化の諸相に対する関心を深める機会となれば幸いである。

講義の内容／授業スケジュール 日本の古典文学の作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。第1回：ガイダンス・日本文学のジャンル発生、第2～4回：古代前期の文学とその美意識、第5～8回：古代後期の文学とその美意識、第9～11回：中世の文学とその美意識、第12～15回：近世の文学とその美意識。

準備学習 半期の授業の限られた時間の中で古典文学に見る美的精神について網羅的に概観することは難しいので、美意識成立の背景となるそれぞれの時代の歴史を事前に確認していただければ幸いである。

履修上の留意点 日本文学における美的精神を理解する上では、それぞれの時代背景の理解が大切であり、また古典文学史の理解が必要ですので、高校で使用した文学史のテキストなどを目にしてほしい。

成績評価の方法 最終日に提出してもらったレポート評価(80%)に出席点(20%)を加えて評価する。

教科書／テキスト 必要に応じて適宜プリントを配布する。

参 考 書 授業内で紹介する。

履修コード	357901
科目名	日本文化基礎
担当者名	さきはら さくみ 佐原 作美

講義の到達目標(ねらい) 奈良・平安朝の古典文学をもとに、古代日本人の思想や精神生活のありようを広く探って行くことをテーマとした。

講義の内容／授業スケジュール 授業では、『古事記』や『万葉集』や『風土記』、さらに『竹取物語』や説話集などを対象として、前半は、古代人の物に対する見方や考え方たる「呪物信仰」の視点から5～6回に渡って見ていく。後半は、言葉に対する思想として「言霊(ことだま)信仰」の面から5～6回に渡って見ていきたい。物と言葉の両面から古代人の心性や思想に迫っていく。

準備学習 古代人の心性に迫るには、まず現代人としての先入観を捨てることが大切。それと同時に単純・素朴な感性をもって日常の中に古代人の痕跡を探して見ることが大切である。

履修上の留意点 現代は古代の延長線上にある。従って、現代人の中や日常の中に古代人の面影が随所に残っているはずである。まず、それらを探すなどしながら、古代人への関心と親しみの気持ちを持って接するようこころがけることが望ましい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)に約6割、出席状況などに約4割の配分で評価する。

教科書／テキスト 授業ではプリントの配布をもって行う。

参 考 書 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	358001
科目名	日本文化基礎
担当者名	鈴木 裕子

講義の到達目標(ならい)	日本の神話・伝説についての基礎知識を持つこと。「物語」として読む楽しさを味わいつつ、批判的精神をもって読み解くこと。
講義の内容／授業スケジュール	テーマ：日本の神話・伝説を読む 明治維新以降に為された所謂「神話教育」によって、日本の神話が歪んだ「民族意識」の形成に利用されたことを理解した上で、「物語」として読む楽しさを味わえるようにしたい。講義では古文（原文）を読むが、現代語訳を用意する。 スケジュール：(1) ガイダンス、(2～3) 神話・伝説とは何か、(4～7) 『古事記』『日本書紀』、(8～11) 『風土記』、(12～14) その他の神話や伝説、(15) 総括
準備学習履修上の留意点	予め配布するプリントに目を通しておくとよい。 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。なお、コメントの内容によっては出席点としてカウントしないこともある。
成績評価の方法	期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）60%、平常点（出席状況と毎回のコメントの内容）40%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。「代返」などの不正行為を行った場合は平常点を0点とする。
教科書／テキスト 参考書	プリント教材。 授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	358201
科目名	日本文化基礎
担当者名	蘭部 幹生

講義の到達目標(ならい)	真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。
講義の内容／授業スケジュール	1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4～5 自己認識の文化。6～9 衣食住の文化。10～11 宗教文化・スポーツ文化・原宿文化・テレビゲームの可能性と文化的展望。12～13 文化史としての日本文学と伝承芸芸。14 教場試験。15 まとめ。
準備学習履修上の留意点	必要に応じてその都度指示する。 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、ノート・参考書等の持込可）。また、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書／テキスト 参考書	必要に応じてプリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	358501
科目名	日本文化基礎
担当者名	松田 直行

講義の到達目標(ならい)	講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした日本近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合という観点から見た近現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。
講義の内容／授業スケジュール	(1-2) 基本の楽理 (3-4) 明治における西洋音楽の移入 (5-6) 浅草オペラとモダニズム (7-8) 流行歌の誕生 (9-10) 戦後の歌謡曲 (11-13) ビートルズとロックの時代 (14-15) 歌謡曲からJ-POPへ
準備学習履修上の留意点	音楽に関して、中学校の音楽の授業で学ぶ程度の基礎知識と楽譜の理解力が必要となる。 受動的に講義を聴くだけに終わらないようにするため、数名ずつのグループを編成し、各自の音楽体験に基づく感じ方の違いなどを比較する意見交換をした上で、自らの考えを深める「ワークショップ形式」で進める。2/3以上の出席がなければ単位を取得できない。遅刻の場合は出席と認めない。
成績評価の方法	定期試験期間中に筆記試験を行う。定期試験の点数を60%、授業での提出物による評価を40%として採点する。
教科書／テキスト 参考書	指定しない。授業でプリントを配布し、配布したプリントは定期試験に持ち込み可とする。 佐藤良明『J-POP進化論』平凡社新書

履修コード	358301
科目名	日本文化基礎
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、PC表現力を養うことを目的としている。

具体的には、授業は次のような展開になる。

- 1) 視覚情報(ビジュアル)プレゼンテーションに的を絞り、PowerPointの効果的なプレゼン資料の作成技法を学ぶ。
- 2) それと同時進行で「日本文化」に関する資料をWebや図書館等で各自情報収集を行う。
- 3) 最終的に、学んだPowerPointの技法を駆使し日本文化に関するプレゼン資料としてまとめ、皆の前で発表する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1~2) タッチタイピングの重要性 (TQ・KT2000について)
- 3~4) プレゼンテーションの企画・設計、「日本文化」に関する情報探索/収集開始
- 5~6) プレゼンテーション資料作成のためのノウハウ実習
 センスアップするレイアウトデザイン/視覚に訴えるチャート化
 訴求力を上げるカラー化/数値をアピールする表・グラフ活用
 イメージを伝えるイラスト・写真活用
- 7~8) プレゼンテーション準備・実施に関する注意事項
 発表で魅せるアニメーション/自信を高める万全な準備
 メッセージが伝わる発表スキル/信頼を得る質疑応答
- 9~10) プレゼン資料「日本の文化について」完成
- 11~13) プレゼン発表会
- 14~15) その他

準備学習
履修上の留意点

タッチタイピング【キーボードを見ないで入力】(目標1500字/10分)練習をしておくこと。
 当科目は、昨年度の「日本語文化研究Ⅰ」を受講した学生は、科目名が異なるものの、授業内容が殆ど同じなので履修できない。

また、一度に受講できる人数に限りがあるため、後期第1回目の授業時に受講希望者が定員を超えていることが判明した場合は、KT2000テスト(入力レベル測定)を実施し、そのスコアの降順(=上位~定員数)で受講許可者を決定し、YeStudy登録キーを渡すことにより「受講許可の証」とする。したがって第1回目の授業を欠席したり、入力スコアが低く「選抜」に漏れたりした場合は「受講許可の証」が無いので、以後の授業継続は不可能となる。もし本当に当授業を受けたいのであれば、前期中にタッチタイピング練習に励み、選に漏れぬよう準備をしておくこと。

なお、受講許可を得られなかった者は、9/26~27のWeb履修登録訂正期間に履修登録の「取消」が必要となる。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

KT2000テスト点(30%)、課題点(30%)、プレゼン発表点(40%)の合計点により算出する。
 『情報利活用 プレゼンテーション』日経BPソフトプレス 1,200円+税 ISBN978-4-89100-787-4
 使用するファイル等:MS-Office 2010(PowerPoint)、Type Quick Professional、日本商工会議所パソコン操作技能認定試験(KT2000)問題

そ の 他

PC利活用力の向上を図るため、当科目はYeStudyを利用する。
 また、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための授業外練習を課す。
 総合情報センター自習室PCに入っている入力練習ソフトType Quick Professionalで各自練習を進めること。この授業では、時折実施するタッチタイピングレベル測定結果が評価に直結するので、TQの授業外練習をする/しないは、大きな点差となって顕れる。

履修コード	358601
科目名	日本文化基礎
担当者名	湯浅 陽子

講義の到達目標(わらい)

本講義は、PC表現力を養うことを目的としている。
具体的には、授業は次のような展開になる。

- 1) 視覚情報(ビジュアル)プレゼンテーションに的を絞り、PowerPointの効果的なプレゼン資料の作成技法を学ぶ。
- 2) それと同時進行で「日本文化」に関する資料をWebや図書館等で各自情報収集を行う。
- 3) 最終的に、学んだPowerPointの技法を駆使して日本文化に関するプレゼン資料としてまとめ、皆の前で発表する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1~2) タッチタイピングの重要性 (TQ・KT2000について)
- 3~4) プレゼンテーションの企画・設計、「日本文化」に関する情報探索/収集開始
- 5~6) プレゼンテーション資料作成のためのノウハウ実習
センスアップするレイアウトデザイン/視覚に訴えるチャート化
訴求力を上げるカラー化/数値をアピールする表・グラフ活用
イメージを伝えるイラスト・写真活用
- 7~8) プレゼンテーション準備・実施に関する注意事項
発表で魅せるアニメーション/自信を高める万全な準備
メッセージが伝わる発表スキル/信頼を得る質疑応答
- 9~10) プレゼン資料「日本の文化について」完成
- 11~13) プレゼン発表会
- 14~15) その他

準備学習
履修上の留意点

タッチタイピング【キーボードを見ないで入力】(目標1200字/10分)練習をしておくこと。

当科目は、昨年度の「日本語文化研究Ⅰ」を受講した学生は、科目名が異なるものの、授業内容が殆ど同じなので履修できない。

また、受講できる人数に限りがあるため、前期の同曜日・時限の「フレッシュマンセミナー(1年次生のみ履修可能)」第1回目の授業時に、下記の2段階方式で受講許可者を決定する。

1. 前期科目「フレッシュマンセミナー(同曜日・時限のものに限る)」とセットで受講を希望する者を最優先する。「フレッシュマンセミナー(同曜日・時限)」第1回目の授業は本人の出席が必要(代理人または予約不可)

2. 1の条件で定員を超える場合はKT2000テストを実施し、スコアの降順で選出

3. 1&2の条件に残った者には「受講許可書」が発行され、これが受講許可の証となる。これを受け取った者のみWeb履修登録ができる。したがって許可を得ずに履修登録した者は4/16~4/21の訂正期間に「取消」が必要

なお、1の条件以外の受講希望者も、前期授業「フレッシュマンセミナー(同曜日・時限)」第1回目の授業の説明後(授業開始後およそ45分~時間内)に教場に来て、2~3の手順をクリアしなければ受講できない。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

KT2000テスト点(30%)、課題点(30%)、プレゼン発表点(40%)の合計点により算出する。

『情報利活用 プレゼンテーション』 日経BPソフトプレス 1,200円+税 ISBN978-4-89100-787-4

使用するファイル等: MS-Office 2010 (PowerPoint)、

Type Quick Professional、

そ の 他

日本商工会議所パソコン操作技能認定試験(KT2000)問題

PC利活用力の向上を図るため、当科目はYeStudyを利用する。

また、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための授業外練習を課す。

総合情報センター自習室PCに入っている入力練習ソフトType Quick Professionalで各自練習を進めること。この授業では、時折実施するタッチタイピングレベル測定結果が評価に直結するので、TQの授業外練習をする/しないは、大きな点差となって顕れる。

履修コード	171101
科目名	日本文化研究 I A
担当者名	さかぐち のぶと 坂口 博規
講義の到達目標(ねらい)	平安末期から鎌倉時代にかけて生きた一女性の和歌集をもとに、当時の女性の人生観である「契り(=前世からの約束事)」という宿世の認識を考察してもらう。平家全盛の時代、平清盛の娘建礼門院徳子に仕えた「右京大夫」と呼ばれた女房の個人歌集を通して、作品中に語られた二人の男性との恋愛交渉を中心に、作品を講読する。平安時代の一夫多妻の不安定な女性の生き方を通して、「契り」という宿命観を考察してほしい。
講義の内容／ 授業スケジュール	最初に女性の手になる白照文学の流れを概観し、特に日記文学に見る女性の自己観照のあり方を考えてもらい(第1～3回)、作者の閲歴や周辺人物の紹介(第4～6回)、以後前期において高倉天皇中宮徳子の宮廷で女房生活や、平資盛との出会いを中心に作品を読み(第7～15)、後期は似絵(肖像画)の名手で歌人の藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩する姿に「契り」の体験を考えてもらい(第16～20回)、やがて資盛との愛が再燃しても満たされぬ思いをするうちに、資盛が平家一門と共に都落ちや西海流浪の果て壇の浦で入水して死ぬという悲運に翻弄される姿や(第21～26回)、大原に徳子を訪問したり、後に後鳥羽天皇の宮廷に再出仕する後半生などを読解する(第27～30回)。
準備学習	通年で作品の内容を紹介するために古文読解をしてゆくの、授業の事前・事後いずれかにおいて、注釈書により口語訳を目にするなど作品内容の確認をしてほしい。
履修上の留意点	生涯結婚することなく平資盛の菩提を弔う生活を選択した作者の、「契り(=前世からの約束事)」という宿命に殉じて行く生き方を通して、この時代の女性の人生観を考察してほしい。なお、日本古典文学の作品を読解する授業であるので、古文の授業に関心のある諸君の積極的な受講を期待する。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらったレポートの評価80%に、出席点を20%に換算して加算対象にする。
教科書／テキスト 参 考 書	本位田重美編『校注建礼門院右京大夫集』(武蔵野書院)735円 授業時に適宜紹介する。

履修コード	169701
科目名	日本文化研究 I A
担当者名	さほう さくみ 佐原 作美
講義の到達目標(ねらい)	約4500首もの和歌を取めるわが国最古の歌集である『万葉集』の中から、特に異色の作風で知られる山上憶良の作品を読みながら、その人間像や思想を探究することを目的としたい。一人の人物に焦点を当てながら、同時に柿本人麻呂など他の歌人との比較を試みつつ、憶良という古代の巨人の生きざまを見ていきたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	憶良を理解するには、その全作品を精読することが第一。それとあわせ、時代や社会などその背景も視野に入れる必要がある。授業では、全77首の和歌のほか、漢詩や散文なども含めて、創作年代順に1年間を通して読んでいく。それとともに、和歌史上における憶良の位置なども考えていきたい。
準備学習	授業に先立って、予め作品に目を通しておくなど、予習した上で授業に出られる事が大切である。
履修上の留意点	古典文学を理解するには労を惜しまず、何度も繰り返し読むことが肝要である。味読することに心掛けてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)などに約6割、出席状況に約4割の配分をもって評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	土橋 寛編「作者別万葉集」(おうふう刊) 定価2,100円。 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	171201
科目名	日本文化研究 I A
担当者名	鈴木 裕子

講義の到達目標(ねらい)	代表的な歌物語である『伊勢物語』と『大和物語』を読みながら、歌物語の本質について理解する。あわせて『伊勢物語絵巻』など絵画資料についても触れるので、それらを通して、古典作品がどのように享受されてきたかを理解する。
講義の内容／授業スケジュール	テーマ：歌物語を読む スケジュール：(1) ガイダンス、(2～3) 「一代記」の始まり・伊勢初段、(4～6) 大和161段と伊勢3、76段、(7～11) 伊勢5段、123段と大和157、158段、伊勢23段と大和149段 (12～14) 伊勢6段・12段と大和155段、(15) 前期総括、(16～19) 伊勢24段と大和148段、伊勢60、62段、(20～21) 伊勢63段と大和156段、(22～24) 伊勢40段と大和64段、(25～27) 伊勢65段、69段と源氏物語、(28～29) 業平の終焉・伊勢124、125段と大和165段、(30) 総括
準備学習	授業では古文(原文)を読むが、予習用に現代語訳等のプリントを用意するので、予め目を通しておくとよい。
履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。なお、コメントの内容によっては出席点としてカウントしないこともある。
成績評価の方法	前期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示) 30%、後期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示) 50%、平常点(出席状況と毎回のコメントの内容) 20%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。「代返」などの不正行為を行った場合は平常点を0点とする。
教科書／テキスト 参考書	徳原茂実・青木賜鶴子編『王朝歌物語選』(和泉書院)、その他プリント教材。 授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	172001
科目名	日本文化研究 I A
担当者名	菌部 幹生

講義の到達目標(ねらい)	日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。
講義の内容／授業スケジュール	1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6～12 宇治拾遺物語の特徴と問題。13～23 編者論。24～28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。
準備学習	必要に応じてその都度指示する。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書／テキスト 参考書	中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫 『駒澤国文』26号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	170201・175501
科目名	日本文化研究ⅠB
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義の到達目標(ねらい)	現代文学の作家と映画の関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げ、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についても、ネオレアリズモ、シュールレアリズムなどの視点から取り上げる。
講義の内容／授業スケジュール	代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。 (1～3) 安部公房・作家活動の軌跡 (4～6) 安部公房の映画製作について (7～9) ネオレアリズモとの関わり (10～12) シュールレアリズムとの関わり (13～15) 映画『おとし穴』について (16～18) 映画『砂の女』について (19～21) 映画『他人の顔』について (22～24) SFの方法と小説『第四間水期』について (25～26) SFの歴史 (27～30) SF文学と映画の比較
履修上の留意点	授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と並行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず事前に読んでおくこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法 教科書／テキスト	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。 安部公房『他人の顔』(新潮文庫) 476円 その他、適宜プリントを配布する。
参 考 書	授業時に指示する。

履修コード	215731
科目名	日本文化研究ⅠB
担当者名	ないとう ひさこ 内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)	テーマ「日本の絵本文化入門」 日本の絵本文化について、具体的に作品を分析しながら学び、個々の作品の意義を考えていきます。
講義の内容／授業スケジュール	児童文学をとりまく日本の現状は複雑です。子どもの活字離れはつねに問題とされていますが、その一方で、「ハリーポッター・シリーズ」をはじめ、空前の売れ行きをみせる活字メディアも登場しています。また、「読みきかせ」がコミュニケーションの手段として注目されるなど、現在、児童文学を「読む」という行為は多様化しています。このような現状からは、児童文学というジャンルの特徴だけでなく、現在の子どもたちが直面している諸問題も浮かびあがってくるはずです。講義では、「現在」を意識しながら歴史をふりかえり、日本社会における児童文学(絵本)の位置を考えていきます。
履修上の留意点	(1) オリエンテーション、(2～7) 日本における絵本文化の特徴、(8～13) 物質としての絵本の特徴(『はらべこあおむし』ほか)、(14～19) 絵本の分類について考える、(20～25) 絵本と「タブー」、(26～29) 専門出版社が果たす役割(福音館書店ほか)、(30) まとめ。 授業中に課題をおこないます。通年で参加できる人のみ、登録してください。また、担当者の一方的な講義にならないよう、「見る」〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。
成績評価の方法 教科書／テキスト	適宜、授業中に課題をおこないます。A: 授業への参加度・授業内課題(50%)、B: 前期末のレポート(25%)、C: 学年末の教場試験(25%)をあわせて、総合的に評価をします。
参 考 書	指定なし。適宜プリントを配布します。 鳥越信編『はじめて学ぶ日本児童文学史』(ミネルヴァ書房 2001年) 鳥越信編『はじめて学ぶ日本の絵本史 1～3』(ミネルヴァ書房 2002年) このほか、授業中にも指示します。
そ の 他	「日本文化研究ⅠB」と「日本文化研究ⅡB」では、それぞれ異なる作品・題材を取りあげます。「日本文化研究ⅠB」を履修せずに、「日本文化研究ⅡB」だけを履修しても問題ありません。ただし、「日本文化研究ⅠB」を先に履修した方が、知識や理解が深まります。

履修コード	215711
科目名	日本文化研究ⅠB
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行

講義の到達目標(ねらい)	日本の伝統芸能についての理解を深め、その上で近代の芸能や現代演劇についても考察する。ジャンルの枠を超えた発想から、始原から現代に至るまでの日本の芸能の全体像を理解し、さらに西洋演劇との比較の視点から、文化事象に対する見識を広げることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1-2) 芸能とは何か (3-4) 舞楽・雅楽・神楽 (5-6) 民俗芸能 (7-8) 能と狂言 (9-11) 歌舞伎と文楽 (12-15) 忠臣蔵とは何か (16-17) 比較演劇の視点 (18-22) ゴーリキー『どん底』と歌舞伎『三人吉三』 (23-26) 近代の芸能 (27-30) 現代演劇を考える
履修上の留意点	古典芸能を扱うため、高校で履修する範囲の古典の理解力が必要となる。授業はPC教場ではない一般教場で行うが、YeStudy (e-Learningシステム) を使用するので、授業時間以外に各自でPCからYeStudyにアクセスする必要がある。予習・復習に役立てるほか、年に数回予定しているレポート課題の提出はこのシステムでのみ受け付ける。レポート課題を1度でも提出できなければ、その時点で単位取得はできなくなる。YeStudyのコース登録に必要な「登録キー」は、授業で伝達する。また受講人数にもよるが、数名ずつのグループを編成して意見を交換するワークショップ形式で進める場合もある。基本的に毎回きちんと出席することを前提とし、2/3以上の出席がなければ単位は取得できない。遅刻の場合は出席とみなさない。
成績評価の方法	YeStudyで提出するレポート課題の点数が30%、定期試験期間中に行う筆記試験(資料等持ち込み不可)の点数が40%、ほぼ毎回の授業で提出していただく小レポートによる点数が30%として配分し評価する。
教科書／テキスト その他の	指定しない。 この授業で扱う内容の専門性を深め、少人数によるワークショップ形式を取り入れた「日本文化研究ⅠB(松田)」も開講している。希望者はまずIBを先に履修してから、翌年度以降にさらに興味があればⅠBを履修していただきたい。

履修コード	359201
科目名	日本文化研究ⅡA
担当者名	さかぐち ひろゆき 坂口 博規

講義の到達目標(ねらい)	古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等に登場するの歌謡について考察する。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割(=古代的意義)を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割(=文学性)を担っているか、その二つの役割を理解してもらいたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	はじめ「ウタ・韻文学」の発生について考察し(1~3)、次いで古代歌謡の種類(4~6)や形態(7~8)や表現様式・歌体(9~15)などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って採用されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違いは『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず古代における修史事業の流れを概観し、『古事記』と『日本書紀』の成立について考察(14~17)、その上で記紀のヤマトタケル物語を読み解きたい(18~30)。
準備学習	古代史への関心は旺盛でも『古事記』や『日本書紀』や『風土記』の内容を知る者は少ない。本授業では歌謡の考察を通して古代の文学作品へ関心を持ってほしいと考えている。努めてこれらの作品を日にする機会をもってほしい。
履修上の留意点	特に後期において、記紀のヤマトタケル物語の比較を通して物語における歌謡の役割(=文学性)を考察するとともに、記紀の政治的主張の差異というものを確認してほしい。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらったレポートの評価80%に、出席点を20%に換算して加算対象とする。
教科書／テキスト 参考書	授業時において配布するプリントを教材とする。 授業時に適宜紹介する。

履修コード	359001
科目名	日本文化研究ⅡA
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	『古事記』『日本書紀』や『万葉集』などに見られる神話や伝承などを読みながら、古代人の心性や思想感情を考察するとともに現代人との関連性をもあわせ考えていく。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は、『古事記』の上巻を中心に「国生み神話」・「天の岩屋戸神話」・「八俣の大蛇退治」(各2～3回)などのほか、『万葉集』(3～4回)などを読む。後期は、『古事記』の中巻や『日本書紀』『風土記』『万葉集』(各3～4回)、さらには説話集(2～3回)などを対象に、「夢と古代人」をテーマにみていく。
準備学習	古典の理解には何度も繰り返し読むことが肝要。労を惜しまずに立ち向かう姿勢を持ち続けることが望ましい。
履修上の留意点	新しいテーマや課題に取り組むという気概と態度を持ち続けることが大切。骨惜しみをせず、着実に歩むことを心がけてほしい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)に約6割、出席状況に約4割の配分で評価する。授業ではプリントの配布をもって行う。授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	359101
科目名	日本文化研究ⅡA
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	古典の物語における和歌の役割について理解できるようになること。また、この授業では、『源氏物語』の名場面を特に和歌に着目して鑑賞するので、『源氏物語』についての理解を深めつつ古典和歌のおもしろさを味わうことができるとよい。なお、授業では原文を読むが、現代語訳も用意する。
講義の内容／ 授業スケジュール	テーマ：和歌で読む『源氏物語』 スケジュール：(1) ガイダンス、(2～4) 光源氏の父母の物語、(5～7) 光源氏の青春の物語・空蝉物語、(8～11) 光源氏の青春の物語・夕顔物語、(12～14) 光源氏の青春の物語・さまざまな女性の歌、(15) 前期の総括、(16) 和歌で読む紫の上の人生史・紫の上の登場、(17～19) 和歌で読む紫の上の人生史・紫の上の成長、(20～25) 和歌で読む紫の上の人生史・夫婦のゆくえ、そして紫の上の最後、(26～27) 光源氏の物語の終焉・死の準備、(28～29) 光源氏の物語の終焉その後、(30) 総括 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。
準備学習	予め配布するプリントに(現代語訳の部分だけでも)目を通しておくことよい。
履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。なお、コメントの内容によっては出席点としてカウントしないこともある。
成績評価の方法	前期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)40%、後期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)40%、平常点(出席状況と毎回のコメントの内容)20%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。「代返」などの不正行為を行った場合は平常点を0点とする。
教科書／テキスト 参 考 書	プリント教材。 参考書は、俵万智『愛する源氏物語』(文藝春秋社)、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』(角川叢書・角川書店)、『源氏物語入門』(角川選書・角川書店)その他、授業中に指示する。

履修コード	359301
科目名	日本文化研究Ⅱ A
担当者名	<small>そのへ みきお</small> 蘭部 幹生

講義の到達目標(ねらい) 『宇治拾遺物語』の編者が文章博士・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。

講義の内容／授業スケジュール 1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3～4 編者論。5～14 作中人物論。15～28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。

準備学習 必要に応じてその都度指示する。

履修上の留意点 日本文化研究ⅠAを履修済みであることが望ましい。できれば同一担当(蘭部幹生)者の日本文化研究ⅠAを単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。

成績評価の方法 また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

教科書／テキスト 毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

参考書 中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫
『駒澤日本文化』2号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	359801
科目名	日本文化研究Ⅱ B
担当者名	<small>こばやし おさむ</small> 小林 治

講義の到達目標(ねらい) 戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で辿ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。

講義の内容／授業スケジュール 同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということをあらためて対象化して考える出発点としていきたい。

履修上の留意点 第二次大戦直後の戦後文学の出発期から昭和三十年代に至るまでの戦後派文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たちどまって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する。なお、今年度は主に同人誌『近代文学』掲載の評論ならびに安部公房と島尾敏雄の短編小説を取り上げる予定。

成績評価の方法 (1～3) 戦後文学の特色について (4～6) 同人誌『近代文学』の役割 (7～9) 安部公房の軌跡 (10～11) 『デンドロカカリヤ』の分析と読解 (12～13) 『飢えた皮膚』の分析と読解 (14～15) 『闖入者』の分析と読解 (16～17) 『R62号の発明』の分析と読解 (18～19) 『死んだ娘が歌った』の分析と読解 (20～21) 『棒』の分析と読解 (22～24) 島尾敏雄の軌跡 (25～27) 『島の果て』の分析と読解 (28～30) 『出発は遂に訪れず』の分析と読解

教科書／テキスト 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

参考書 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
安部公房『水中都市、デンドロカカリヤ』(新潮文庫) 514円
安部公房『R62号の発明、鉛の卵』(新潮文庫) 552円
島尾敏雄『出発は遂に訪れず』(新潮文庫) 590円
その他、適宜プリントを配布する。
授業時に指示する。

履修コード	359951
科目名	日本文化研究ⅡB
担当者名	内藤 寿子 <small>ないとう ひさこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	テーマ「日本の児童文化探究」 絵本などを題材として日本の児童文化について学び、知識や理解を深めます。
講義の内容／授業スケジュール	文学作品には、作者の思想だけではなく、作品が生みだされた社会や時代の様相がはつきりと描きこまれています。それはもちろん、絵本においてもあてはまることなのです。義務教育などとおおして、絵本や児童文化にふれる機会は誰しもが持って来たはずです。しかし、自分が出会ってきた作品を直視し、その背景や意義について考察する機会は、あまりなかったのではないのでしょうか。講義では、絵本を中心に日本の児童文化が描いてきたテーマについて考えていきます。
履修上の留意点	(1) オリエンテーション、(2～7) 日本における児童文化(絵本ほか)のテーマ、(8～13) 「科学絵本」とは何か? (『はははのはなし』ほか)、(14～19) 「生と死の絵本」とは何か? (『こいぬがうまれるよ』ほか)、(20～25) 作家研究(加古里子ほか)、(26～29) 日本の児童文化の歴史と展開(映像作品ほか)、(30) まとめ。 授業中に課題をおこないます。通年で参加できる人のみ、登録してください。また、担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。
成績評価の方法	適宜、授業中に課題をおこないます。A: 授業への参加度・授業内課題(50%)、B: 前期末のレポート(25%)、C: 学年末の教場試験(25%)をあわせて、総合的に評価をします。
教科書／テキスト 参考書	指定なし。適宜プリントを配布します。 鳥越信編『はじめて学ぶ日本児童文学史』(ミネルヴァ書房 2001年) 鳥越信編『はじめて学ぶ日本の絵本史 1～3』(ミネルヴァ書房 2002年) このほか、授業中にも指示します。
その他の点	「日本文化研究ⅠB」と「日本文化研究ⅡB」では、それぞれ異なる作品・題材を取りあげます。「日本文化研究ⅠB」を履修せずに、「日本文化研究ⅡB」だけを履修しても問題ありません。ただし、「日本文化研究ⅠB」を先に履修した方が、知識や理解が深まります。

履修コード	359701・359901
科目名	日本文化研究ⅡB
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)	原則として「日本文化研究IB(松田)」(または国文学科の専門科目である「国文学史IIB」)を履修した学生を対象とし、日本と西洋のさまざまな舞台芸能を比較しながら、IBの授業で扱った内容をさらに深く掘り下げる。毎回全員が発言することを基本とする少人数のワークショップ形式により、意見交換をしながら授業を進め、広い視野から文化事象に対して自らの見識を持つことができるようになることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	(1-3) 演劇におけるリアルとは何か (4-6) メディアとパフォーマンス (7-9) インプロとシアター・ワークショップ (10-12) 現代演劇が指し示すもの (13-15) 諷刺とパロディの演劇 (16-30) 以降は受講者との議論の中から出てくる問題にかかわるものや、また受講者の希望にも応じて素材を選ぶことになる。
履修上の留意点	「日本文化研究IB(松田)」(または国文学科の専門科目である「国文学史IIB」)を受講したことがない場合は、まずそちらを先に履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。講義内容を把握せずに科目登録をしても、履修は認められない。基本的には毎回休まず出席する姿勢が必要となる。
成績評価の方法	授業時間のワークショップへの参加状況による評価を6割、授業の中で適宜提出を求めるレポートや発表等による評価を4割として判定する。
教科書／テキスト	指定しない。

履修コード	168901・168911
科目名	日本文化テーマ研究A
担当者名	佐原 作美

講義の到達目標(ねらい)	人間の住む現実世界に対し、神や妖怪など異類の住む世界を異界というが、人間とこの異類との交流をモチーフとするものが古典文学の中によく見られる。そこでそれらを読みながらその意義や背景などを考察していきたい。
講義の内容／授業スケジュール	授業では、その代表的な『竹取物語』の後半を中心に読んだ後（6～7回）、さらに『風土記』（2～3回）や『今昔物語集』（2回）やその他の関連する作品（2回）を読みながら、その文化史的社会的意味あいを考察していきたい。
準備学習履修上の留意点	よく知られている物語であるが、事前に作品の内容を確認しておかれることが大切である。漫然と授業に出るのではなく、目的意識と注意力をもってでほしい。作品が発するシグナルを的確にキャッチできるように努めてほしい。各自の感性を大切にしながらよく味読することに心掛けてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）に約6割、出席状況に約4割の配分をもって評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	授業はプリントの配布をもって行う。 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	169001
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	佐原 作美

講義の到達目標(ねらい)	奈良・平安時代の社会の底辺に生きた一般庶民は、日常の生活の中で何を願い、何を信じ、何を恐れたか等々、その思想や感情の一端にふれ、理解することを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	授業では、それらがよく描出されている『日本霊異記』や『今昔物語集』の説話をもとに、前半では観音・地藏・阿弥陀仏など現代人にも馴染みの深い諸仏信仰に関するもの（各2～3回）を読み、後半では、霊鬼や妖怪の話や古伝承（各2～3回）を読み進めながら上記の目標に迫っていく。
準備学習履修上の留意点	教材の理解には丹念に繰り返し読むことが大切。特に授業後に繰り返し読むことと、集中力を持って対処することが肝要である。説話は短く内容も単純であり、類話も多い。従って、教材だけでなく自主的に対象を広げていく努力が求められる。説話が発するメッセージを見逃さぬためにも、労を惜しまず丹念に読むという態度を養ってほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）に約6割、出席状況に約4割の配分をもって評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	授業にはプリントの配布をもって行う。 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	169011
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	鈴木 裕子

講義の到達目標(ねらい)	『とりかへばや物語』(抄出)を中心に取り上げながら、古典文学に描かれる〈男〉らしさ、〈女〉らしさの表現についての認識を深める。また、物語の中の〈暴力〉や〈差別〉などの問題について自分の意見を持ち、自分の言葉で表現できるようにする。
講義の内容／授業スケジュール	テーマ：古典文学で考える〈男〉の生き方・〈女〉の生き方 『とりかへばや物語』とそれ以外のいろいろな作品の一節を読み、毎回問題を提起していく。『とりかへばや物語』だけを講読する授業ではなく、多様な作品を読み、考えることが要求されるので、欠席すると授業内容を理解できなくなる可能性があるので注意すること。 スケジュール：(1) ガイダンス、(2) 『とりかへばや物語』について、(3～5) 〈異性装〉の主人公たち、(6～8) 物語における「出産」と親子関係、(9～10) 物語世界における〈異境〉、(11～14) 〈男〉／〈女〉らしさを考える、(15) 総括 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。
準備学習	後期半期科目なので、必ず夏休み中に教科書の現代語訳の部分だけでも通読し、あらすじを理解しておくこと。
履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメント等の提出を課する。なお、コメントの内容によっては出席点としてカウントしないこともある。
成績評価の方法	期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)60%、平常点(出席状況と毎回のコメントの内容)40%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。代返などの不正行為を行った場合は平常点を0点とする。
教科書／テキスト	ビギナーズ・クラシックス日本の古典『とりかへばや物語』(角川ソフィア文庫、角川書店、743円)及びプリント教材。
参考書	授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	169101
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	坂口 博規

講義の到達目標(ねらい)	日本文化の一つとして、昔話・民譚と称される伝承がある。その伝承の中から「異類怪婚譚」を取りあげる。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・草木のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという不思議な物語である。こうした伝承は世界各地にも伝えられる世界大物語であり、原始の時代から現代までそれぞれの時代の思想や観念を反映して、さまざまな伝承の型を示す。その諸相を学ぶことで、民間伝承への関心を持ってほしい。
講義の内容／授業スケジュール	今年度も異類女房譚を考える。異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地(森林・山野)」を郷土とする狐女房伝説の例などである。本年も羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説(1)、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく(2～6)。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、更にB系統から竜宮女房譚、C系統から狐女房譚の古伝承を取り上げる。
準備学習	講義の事前・事後において昔話など口承文学への関心を高めるため、郷土の昔話あるいは伝説などを、どのようなものがあるか調査することは大切である。必ずしも地域に伝承がなくとも日本や世界各地の伝説などを事典類で調査しておくことは関心も高まる。
履修上の留意点	「風土記」逸文における羽衣伝説の古伝承や平安時代の伝奇物語『竹取物語』などの物語の内容を理解する上で古文で作品を読解することが多いので、注釈書類で口語訳を確認して下されば幸いです。また異類怪婚譚は室町時代物語草子(御伽草子)の中に多く登場し、その考察は「日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下されば幸いです。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらうレポートの評価80%に、出席点を20%に換算して加算対象にする。
教科書／テキスト	授業において配布するプリントを教材とする。
参考書	授業において適宜紹介する。

履修コード	169111
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	<small>そのべ みきお</small> 菌部 幹生

講義の到達目標(ねらい) 日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた(散佚)『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書に紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割まで考察してみたい。

講義の内容／授業スケジュール 1 ガイダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他の文献における記事。7～10他の文献における受容。11～13実態と散佚に関する推定。14教場試験。15まとめ。

準備学習 必要に応じてその都度指示する。

履修上の留意点 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する(試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可)。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達(該当者・テーマ・提出期限等)を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書／テキスト プリントを配布する。

参考書 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169201
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	<small>さかぐち ひろき</small> 坂口 博規

講義の到達目標(ねらい) 室町時代物語草子(御伽草子)群には「異類怪婚物語(人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語)」が多く存在する。古代の『風土記』等に登場する古伝承とは自ずから違った室町時代の思想的背景をもとに成立したものである。民間伝承に取材した怪婚譚であっても室町時代特有の創造性が認められる。こうした中世期の怪婚譚の文学的特質を考察してもらいたい。受講生にはそうした作品から希望する作品を選んでもらい、研究レポートを作成してもらおう。

講義の内容／授業スケジュール 室町時代物語草子の中から異類怪婚物語を取り上げて、中世期特有の思想背景を考察する。室町時代物語草子の怪婚譚の特質や文学的意義を解説(1・2)、異類怪婚物語として『浦島太郎』(3～6)・『本幡狐』(7・8)・『鶴の草子』(9・10)を取り上げて読解する。最後に全くの創作小説である『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう(11～15)。

準備学習 『日本文化テーマ研究C』では「空」を郷土とする天人女房伝説(羽衣伝説)系統を中心に考察してきたが、「テーマD」ではその他の「海」や「陸地」を郷土とする異類女房譚を取り上げるので是非前期開講の「テーマC」を併せて受講していただくと幸いである。

履修上の留意点 室町時代物語草子のうち『浦島太郎』『木幡狐』『雁の草子』の4作品を読んで解説するが、古典作品あるから、あらかじめ注釈書で口語訳を目にしていただければ幸いである。

成績評価の方法 授業の最終日に提出してもらったレポートの評価80%に、出席点を20%に換算して加算対象とする。

教科書／テキスト 授業時にプリント教材を配布する。

参考書 授業において適宜紹介する。

履修コード	169211
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	<small>そのべ みきお</small> 菌部 幹生

講義の到達目標(ねらい) 日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを顕かにしたい。

講義の内容／授業スケジュール 1 歌徳説話の意味。2～5典型的な歌徳説話について。6～7 歌徳説話の形成。8～9 歌徳説話の精神的背景。10～13 亜流の歌徳説話。14 教場試験。15 まとめ。

準備学習 必要に応じてその都度指示する。

履修上の留意点 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する(試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可)。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達(該当者・テーマ・提出期限等)を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書／テキスト プリントを配布する。

参考書 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169311
科目名	日本文化テーマ研究E
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義の到達目標(ねらい)	宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」(『注文の多い料理店』 広告文)へ与えられるべき「すきとほつたほんたうのたべもの」(『注文の多い料理店』序)であることを願って書かれていることに異を唱える者はないだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」(『注文の多い料理店』 広告文)「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。
講義の内容／授業スケジュール	具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『ポラーノの広場』、『風の又三郎』など生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中みえていく予定。 (1~3) 宮澤賢治の軌跡 (4~7) 『なめとこ山の熊』の分析と読解 (8~11) 『ポラーノの広場』の分析と読解 (12~15) 『風の又三郎』の分析と読解
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法 教科書／テキスト	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。 宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』(ちくま文庫) 1,000円
参 考 書	その他、適宜プリントも配布する。 授業時に指示する。

履修コード	169301
科目名	日本文化テーマ研究E
担当者名	ないとう ひさこ 内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)	テーマ「映画『私は二歳』から考える」 1本の映画を窓口に、現代日本の諸問題について考えていきます。
講義の内容／授業スケジュール	講義では、映画『私は二歳』(市川崑監督 1962年)を題材に、「現代日本における子どものあり方」(「赤ちゃんの権利」など)について考えていきます。映画『私は二歳』は、ベストセラー新書を映像化したものであり、映像作品としての完成度が高いだけでなく、さまざまな問題提起を含んでいます。講義の目標は、この映画をとおして、受講者みなさんが、自分の力で「現代日本における子どものあり方」について考えられるようになることです。 なお、最新のニュースも取り入れながら、講義をすすめます。その都度、進度や授業内容を調整していきます。
履修上の留意点	(1) オリエンテーション、(2~5) 映画『私は二歳』の特徴、(6~9) 原作と映画の相違点、(10~14) 同時期の映像作品との比較(NHKドキュメンタリーほか)、(15) まとめ。 授業中に、実際の映像を見ながら、分析をしていきます。継続して参加できる人のみ、登録してください。また、担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。
成績評価の方法 教科書／テキスト	適宜、授業中に課題をおこないます。A: 授業への参加度・授業内課題(50%)、B: 学期末の教場試験(50%)をあわせて、総合的に評価をします。
参 考 書	指定なし。適宜プリントを配布します。 適宜授業中に指示します。

履修コード	169411
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義の到達目標(ねらい)

異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十一年(1956年)、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風来坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマニズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したすこぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既存の価値観をあざ笑うかの如きその突出したアンチヒューマニズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。

講義の内容／
授業スケジュール

具体的には上記の深沢の作家としての特徴を、『橋山節考』、『笛吹川』等の代表的作品の読解などによって明らかにしていきたい。

履修上の留意点

(1～3) 深沢七郎の軌跡(4～8) 小説『橋山節考』の分析と読解(9～13)『橋山節考』原作と映画(二度の映画化)の比較考察(14～15) 小説『笛吹川』の分析と読解

成績評価の方法
教科書／テキスト

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

参 考 書

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
深沢七郎『橋山節考』(新潮文庫)
その他、適宜プリントも配布する。
授業時に指示する。

履修コード	169401
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	ないとう ひさこ 内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)

テーマ「メディアに描かれた子ども」

メディアに描かれた子どもの姿を読み解きながら、現代日本の諸問題について考えていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

講義では、さまざまなメディアを具体的に分析しながら、「現代日本における子どものあり方」(「子ども虐待」をめぐるイメージなど)について考えていきます。たとえば、駒澤大学の卒業生である椎名篤子氏は、「子ども虐待防止」について精力的に取り組んでいるジャーナリストです。椎名氏の著作は、新聞記事やニュースでは伝えきれない現状を教えてください。講義の目標は、さまざまなメディアの分析をとおして、受講者みなさんが、「現代日本における子ども」について自分の意見をまとめられるようになることです。

履修上の留意点

なお、最新のニュースも取り入れながら、講義をすすめます。その都度、進度や授業内容を調整していきます。

(1) オリエンテーション、(2～5)「子ども虐待」をめぐるイメージ、(6～9)「こうのとりのゆりかご」とは?、(10～14) 映像化された「現代日本における子ども」、(15)まとめ。

成績評価の方法

授業中に、実際の映像を見ながら、分析をしていきます。継続して参加できる人のみ、登録してください。また、担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。

教科書／テキスト

適宜、授業中に課題をおこないます。A：授業への参加度・授業内課題(50%)、B：学期末の教場試験(50%)をあわせて、総合的に評価をします。

参 考 書

指定なし。適宜プリントを配布します。

そ の 他

適宜授業中に指示します。
2010年度「日本文化テーマ研究E」と内容が重なる可能性があります。2010年度に「日本文化テーマ研究E」を履修した人は注意してください。

履修コード	169501
科目名	日本文化テーマ研究G (夏季集中)
担当者名	まつだ なのゆき 松田 直行
講義の到達目標(ねらい)	「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素(表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など)を体験的に学ぶとともに、状況に応じて即座に、臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かすゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本のない即興でストーリーを生み出すことを目指す。コミュニケーション技術を学ぶとともに、本番で実力を発揮できる能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。
講義の内容/ 授業スケジュール	(1) 基本講義: ワークショップとは何か? (2-3) 講義: 心と体はつながっている (4-6) 実技: シアターゲーム (7-9) 実技: インプロの練習 (10-12) 実技: インプロのグループ発表 (13-15) まとめとレポート試験
履修上の留意点	集中授業なので4日間すべてに出席しなければ単位を取得できない。軽い運動をすることができる服装(靴はスニーカーなど)で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。
成績評価の方法	ワークショップへの参加状況による評価が60%、「インプロ」のグループ発表の結果が20%、最終日に教場で書いていただくレポート試験の結果が20%として算出する。
教科書/テキスト 参考書 その他	指定しない。 絹川友梨『インプロゲーム-身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円 授業日程: 8月1日の3~5限と、8月2日~8月4日のそれぞれ2~5限、合計4日間の15時間授業。予備日は8月5日の2~5限(台風による休講措置等があれば、予備日に発表・レポート試験を行うことになる)。

履修コード	169601
科目名	日本文化テーマ研究H
担当者名	まつだ なのゆき 松田 直行
講義の到達目標(ねらい)	講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言わしめるほど、近代という時代の「ものの見かた」と深くかかわってきた。映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考えながら、同時に映像作品によって語られた近代とはどのような時代なのかを考える。
講義の内容/ 授業スケジュール	(1-2) 映画とは何か (3-4) 映画の技術と歴史 (5-7) 映画の文法 (8-10) 映画の記号論 (11-13) 映画の中の日本 (14-15) シナリオの構造
履修上の留意点	実際に映像作品を授業で見ていただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。
成績評価の方法	授業で適宜提出を求める小レポートによる評価が50%、定期試験期間中に行う筆記試験が50%として算出する。
教科書/テキスト	ジェイムズ・モナコ『映画の教科書-どのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。各自あらかじめ購入して、初回の授業に持ってくること。定期試験は教科書持込可とするので、全員教科書を購入する必要がある。

履修コード	357701
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義の到達目標(ねらい)

山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中において、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廃墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。そのことはきっと、同時にフレッシュマンとして大学に入学したばかりの君たちが、今後、高度経済成長後の現代という時代に生きていく上で、どこにそのスタートラインを置くべきかを考える契機になることだろう。

講義の内容／授業スケジュール

上記の映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。

(1～2) 山田洋次へ連なるところの時代と人間を凝視する松竹出身映画監督の系譜 (3～5) 戦後高度経済成長の概要・その光と影 (6～7) 『家族』の分析 (8～9) 『故郷』の分析 (10～11) 『同胞』の分析 (12～13) 『幸福の黄色いハンカチ』の分析 (14～15) 『遙かなる山の呼び声』の分析

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
適宜プリントを配布する。
授業時に指示する。

履修コード	357401
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	さかぐち のりき 坂口 博規

講義の到達目標(ねらい)

殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的に過ごしていただき、充実した学生生活を送っていただくために手助けする科目です。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また学習したことを適切にまとめたレポートや論文が要求されることがありますので、適切な日本語表現が必要となります。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるためには、適切な言葉の伝達（日本語表現）が大切です。本授業で日本語表現と自己表現が一体のものだということを自覚する機会にしてほしいものです。

講義の内容／授業スケジュール

上記の目的に従って、はじめに授業のガイダンスをして、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（第1～3回）。またコミュニケーション論の一端として、言語の断絶による疎外状況を物語る「変身譚」を取り上げて、自己表現の大切さを学んでほしい（第4～8回）。更にレポートや小論文の書き方、作文に必要な技術や知識等について解説したい（第9～15回）。

準備学習

日常的にさまざまな種類の文章を読み要約する習慣や、自分の言葉で文章を書く習慣を身に付け、言葉による伝達の意義を自覚的に実践するように努めてほしい。

履修上の留意点

「日本語表現」の知的理解をしてほしい。また言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしい。日常目にする新聞などででてくる四字熟語や同音異義語や慣用表現などを関心をもってチェックする習慣を持ってほしい。

成績評価の方法

授業の最終日に提出してもらったレポートの成績評価80%に、出席点を20%に換算して加算対象にする。

教科書／テキスト
参 考 書

授業で配布するプリントを教材とする。
授業において必要に応じて紹介する。

履修コード	357201
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	佐原 作美

講義の到達目標(わらい)	読む力・書く力・考える力など、学生としてのみならず、将来の社会人として必要な基礎力を少しでも高めることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	授業では、日本の文字や諺などの慣用語（各2～3回）や、各種の文章作法などを学ぶとともに、日本の神話や和歌や物語（各2～3回）など古典への読解力と親近感を高めながら、その所感をレポートにまとめるなどによって前記の目標に一步でも近づきたい。
準備学習	古文や現代文にかかわらず、広く良く読み、その内容を考え要約するなど、日常生活の中での学習、トレーニングが大切であることを肝に銘じてほしい。
履修上の留意点	履修の目的を忘れずに、常日頃から平常心をもって学ぶようにしてほしい。特に、新聞や雑誌などに目を通すようにしてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）などに約6割、出席状況などに約4割の配分で評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	授業ではプリントの配布をもって行う。 授業の中で必要に応じて紹介する。

履修コード	357301
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	鈴木 裕子

講義の到達目標(わらい)	・この講座を通して、自分の言葉で積極的に表現するきっかけをつかむこと。 ・クラス内の多様な学部学科の新入生と積極的にコミュニケーションをとること。
講義の内容／ 授業スケジュール	テーマ：自己表現のためのレッスン 自分の考えをわかりやすく発言する力が不足している人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのために、大学での学びに必要な文章力、表現力を養う手助けをする。いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にまとまりある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。教材は、新聞記事、評論、手紙、歌詞、特に、今日的な問題を提起しているものを用意するが、受講生のニーズに柔軟に応じたい。
準備学習	スケジュール（予定）：(1) ガイダンス、(2～3) アイス・ブレイク、プレゼンテーションその1、(4～6) 身近な材料を読む・要約する・書く、(7～8) ディスカッションの方法と実践、(9～11) 調べて書く、プレゼンテーションその2、(12～14) 実用的な文章を書く、(15) 総括
履修上の留意点	授業時間内に書き終わらない場合には、自宅での作業となる。 受講生は、文章を次々と読み、課題を書き、報告することを要求されるので、履修の際にその点を留意すること。また、この授業の性格上少人数が望ましいので、人数制限をする場合もある。第1回目の授業時に履修許可証を渡すので、受講希望者は必ず最初から出席すること。なお、履修許可をもらわなかった場合は、WEB登録をしても単位を修得できないので注意すること。
成績評価の方法	毎回の授業時に課する課題で評価する。三分の一以上の欠席は不可。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。「代返」などの不正行為を行った場合は平常点を0点とする。
教科書／テキスト 参 考 書	プリント教材。 授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	357501
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>そのへ</small> 菌部 <small>みきお</small> 幹生

講義の到達目標(ねらい)

大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために、また、将来社会に巣立って行くために、心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1 ガイダンス。2～4 大学と大学生活。5～8 キャリアデザインとライフスタイル。9～13 表現法とレポートの書き方。14 レポート提出。15 まとめ。

準備学習
履修上の留意点

ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。

必要に応じてその都度指示する。

受講希望者が100名を超えた場合は抽選によって履修制限をするので、必ず初回の授業で担当教員の履修許可を受けること。履修許可を受けずにweb登録しても単位を修得することはできないので注意すること。

成績評価の方法

なお、本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。また、毎時限新聞記事のコピーをとって来ることを求めるので、そのことを承知のうえで履修すること。

出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追・再試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。

教科書／テキスト
参 考 書

必要に応じてプリントを配布する。

必要があればそのつど紹介する。

履修コード	357001
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>ないう</small> 内藤 <small>ひさこ</small> 寿子

講義の到達目標(ねらい)

テーマ「他者に通じる文章について学ぶ」

文章を書くことに対して、苦手意識や不安を抱いている人のための科目です。大学生活をおくるうえで基本となる、文章力や表現力を磨くことを目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール

自分の中に書く内容を探す方法を身につければ、簡単な言葉や知っている知識で、他者に通じる文章を書くことができるようになります。この授業では、書く内容を自分で見つけるトレーニングをし、みなさんが今持っている日本語力で、他者に通じる文章を書くことを目指します。

(1) オリエンテーション、(2～4) 読みやすい文章を書くための注意点、(5～7) 自己アピールの方法を学ぶ、(8～10) テーマの選択について学ぶ、(11～14) 内容の展開の方法について学ぶ、(15) まとめ。

履修上の留意点

なお、履修者の数や志向によって、内容やスケジュールを調整する可能性があります。その際は、授業時間内に連絡をします。

ほぼ毎回、授業中に課題に取り組んでもらいます。基礎力を真剣に身につけたい人のみ、登録してください。講義と演習を組み合わせた授業形態になりますので、人数制限をする場合があります。第1回目の授業時に履修許可証を渡しますので、受講希望者は必ず出席してください。なお、履修許可証がない場合は、WEB登録をしても、授業を受けられないので注意してください。

成績評価の方法

適宜、授業中に課題をおこないます。A：授業への参加度・授業内課題(50%)、B：学期末の教場試験(50%)をあわせて、総合的に評価をします。

教科書／テキスト
参 考 書

指定なし。適宜プリントを配布します。

適宜授業中に指示します。

履修コード	357101
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	はきはら よしあき 萩原 義雄

講義の到達目標(ねらい)

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマン・セミナー」ということになった。日本人である私にとってこのカタカナ文字は剩りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていない試行錯誤の状況にあることを茲に前置きする。いわば、何をどう教え何をどう見出すかの相互に確認しながら進めていく授業と云うことになる。換言すればこの科目の一教員である私と複数の学生との共同(=嚮導)授業になろう。私なりにその堂塔の心柱(しんばしら)ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に尤も大切な教養を育む時間になればと思う。

そこで、高等教育で「何を学んだのか」、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会(専門科目に細分類)といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、受講なさる方々は大学人として本学の門をくぐってきている。その査定実態の分析は総合的に委員会を通じて実施されているが、この高度な分析結果がどういふものとなっているのか、組織だって教員に伝達されているからこそこの科目の成立に結びついていると信じたい。

講義の内容/
授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
日本語の基礎について [PDF版]
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い [PDF版]
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際 [PDF版]
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果 [PDF版] その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かす—その1(手書きそして縦書き) [PDF版]
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かす—その2(手書きそして横書き) [PDF版]
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かす—その3(四種類の文字と融合) [PDF版]
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4(漢語と和語) [PDF版]
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5(洋語と日本語) [PDF版]
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6(東アジア漢文文化圏のことば)
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

準備学習

「講義の事前事後の取り組み」→「駒澤大学 e-Education : YeStudy」をご利用願います。ここに、関連する事柄を学習する場を用意しました。取り組む取り組まないは、貴方自身が決めることです。決めたならとことんやり抜く強い意志を持ちましょう。覚えるのではなく身につけていくことにこそ言語文化修得の道が開けています。この資料に関する質疑応答は確実に行っていきます。是非ご参加ください。そして、参加される方は、必ず受信・送信の確実なご自分の携帯メールを登録しておきましょう。休みに学校の登録アドレスだけでは見落とししたり、早急な取り組みがしにくいことがあります。

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう!また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、IIP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

レポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

随時、講義の前後に報知します。

随時、講義の前後に報知します。

`Y e S t u d y、による講義実習活動を実施！

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。<http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

関 連 リ ン ク

履修コード	357801
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>まつだ なおゆき</small> 松田 直行

講義の到達目標(ねらい)

大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新生を対象に、大学での学びの基本を身につけていただくことを目標とする。レポートの書き方など実務的な事項を確認しながら、〈読む／書く〉、〈話す／聞く〉の日本語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、「共に学ぶ」ためのコミュニケーション（ワークショップ）を体験する。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 大学で何をするか (2-3) コミュニケーションとは何か (4-5) 教養とは何か (6-7) キャリア意識と自己表現 (8-9) 「ケータイ」世代のコミュニケーション (10-11) 演劇を通して「社会と人間」の関係を考える (12-13) 論理的な思考と表現 (14-15) レポートの書き方

履修上の留意点

大学生活を始めるにあたって、授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、毎回休まずに出席することを前提とする。遅刻の場合は出席と認めない。

成績評価の方法

前期定期試験期間中に論述式の筆記試験を行う。その点数が60%、授業中の提出物による評価が40%として算出する。出席が2/3に満たない場合は単位を取得できない。

教科書／テキスト
そ の 他

指定しない。

初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。この授業は抽選科目ではないが、少人数制の指導を基本としているので、受講希望者が多い場合は初回の授業で「受講許可証」を発行して履修人数の制限を行う。この「受講許可証」を所持していない場合は、履修登録をしても単位を取得することはできない。なお、同じ時間帯の後期科目「日本文化基礎（松田）」はこの授業とは別の科目であり、両方を履修する必要はない（してもよい）。

履修コード	357601
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	湯浅 <small>ゆあさ</small> 陽子 <small>ようこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>大学は、何かを教えてもらうのではなく、「自分で学ぶ」ところである。大学で「学ぶ」ためには、聴く・書く・読む・調べる・整理する・考える・まとめる・表現する・伝えるという九つの力が必要である。</p> <p>当科目はあなたが「学ぶ」ためのスキル習得の手伝いをする。パソコンを道具として使う中で、自分に不足しているスキルを自覚し、それを補いながら、前述の九つの力を自分自身で獲得してほしい。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>第1回P C操作基礎力測定(履修希望者数が定員を超える場合は選別材料として使用) 第2回ファイルの取扱と管理 第3～5回Word基本操作[チラシ作成、レポートに必要な機能] 第6～8回Excel基本操作[関数活用、グラフ作成] 第9～10回PowerPoint基本操作[イベント案のスライド作成] 第11～12回情報を採る仕組みとデータベース[図書館ガイダンス] 第13～15回まとめ・その他</p>
準備学習 履修上の留意点	<p>タッチタイピング【キーボードを見ないで入力】練習(目標1200字/10分)をしておくこと。</p> <p>受講できる人数に限りがあるため、第1回目の授業時に、下記の2段階方式で受講許可者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後期科目「日本文化基礎(同曜日・時限のものに限る)」とセットで受講を希望する者を最優先する。第1回目の授業は本人の出席が必要(代理人または予約不可) 2. 1の条件で定員を超える場合はKT2000テストを実施し、スコアの降順で選出 3. 1 & 2の条件に残った者には「受講許可書」が発行され、これが受講許可の証となる。これを受け取った者のみWeb履修登録ができる。したがって許可を得ずに履修登録した者は4/16～4/21の訂正期間に「取消」が必要
成績評価の方法	<p>授業参加点(30%)、P C利活用力点(40%)、および提出された課題評価点(30%)の合計点により算出する。</p>
教科書／テキスト 参 考 書	<p>『身近なテーマで作って学ぶ! 学生のためのOffice 2010 & 情報モラル』 noa出版 1,212円</p> <p>使用するファイル等: MS-Office 2010 (Word Excel PowerPoint)、Type Quick Professional、日本商工会議所パソコン操作技能認定試験(KT2000)問題</p>
そ の 他	<p>P C利活用力の向上を図るため、当科目はYeStudyを利用する。</p> <p>また、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための授業外練習を課す。総合情報センター自習室P Cに入っている入力練習ソフトType Quick Professionalで各自練習を進めること。この授業では、時折実施するタッチタイピングレベル測定結果が評価に直結するので、T Qの授業外練習をする/しないは、大きな点差となって顕れる。</p>

履修コード	357811
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>大学は何かを教えてもらうのではなく、「自分で学ぶ」ところである。大学で「学ぶ」ためには、聴く・書く・読む・調べる・整理する・考える・まとめる・表現する・伝えるという九つの力が必要である。</p> <p>当科目はあなたが「学ぶ」ためのスキル習得の手伝いをする。パソコンを道具として使う中で、自分に不足しているスキルを自覚し、それを補いながら、前述の九つの力を自分自身で獲得してほしい。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>第1回PC操作基礎力測定(履修希望者数が定員を超える場合は選別材料として使用) 第2回履修可能者確認、ファイルの取扱と管理 第3～5回Word基本操作[チラシ作成、レポートに必要な機能] 第6～8回Excel基本操作[関数活用、グラフ作成] 第9～10回PowerPoint基本操作[イベント案のスライド作成] 第11～12回情報を探す仕組みとデータベース[図書館ガイダンス] 第13～15回まとめ・その他</p>
準備学習 履修上の留意点	<p>タッチタイピング【キーボードを見ないで入力】練習(目標1200字/10分)をしておくこと。</p> <p>受講できる人数に限りがあるため、第1回目の授業時に、下記の2段階方式で受講許可者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後期科目「日本語文化基礎(同曜日・時限のものに限る)」とセットで受講を希望する者を最優先する。第1回目の授業は本人の出席が必要(代理人または予約不可) 2. 1の条件で定員を超える場合はKT2000テストを実施し、スコアの降順で選出 3. 1 & 2の条件に残った者には「受講許可書」が発行され、これが受講許可の証となる。これを受け取った者のみWeb履修登録ができる。したがって許可を得ずに履修登録した者は4/16～4/21の訂正期間に「取消」が必要
成績評価の方法	<p>授業参加点(30%)、PC利活用力点(40%)、および提出された課題評価点(30%)の合計点により算出する。</p>
教科書／テキスト	<p>『身近なテーマで作って学ぶ！学生のためのOffice 2010 & 情報モラル』 noa出版 1,212円(後期の「日本語文化基礎」でも使用する)</p>
参 考 書	<p>使用するファイル等: MS-Office 2010 (Word Excel PowerPoint)、Type Quick Professional、日本商工会議所パソコン操作技能認定試験(KT2000)問題</p>
そ の 他	<p>PC利活用力の向上を図るため、当科目はYeStudyを利用する。</p> <p>また、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための授業外練習を課す。総合情報センター自習室PCに入っている入力練習ソフトType Quick Professionalで各自練習を進めること。この授業では、時折実施するタッチタイピングレベル測定結果が評価に直結するので、TQの授業外練習をする／しないは、大きな点差となって顕れる。</p>

履修コード	342501
科目名	文学〔日本文学〕
担当者名	池田 大輔

講義の到達目標(ねらい) 平安時代を代表する作り物語の『源氏物語』を扱う。講義の主眼は、『源氏物語』の流れと作品世界を学ぶこと、物語世界の土壌となった平安文化を学ぶことである。物語の流れだけではなく、作中人物の相関関係や巻名の由来、作中に詠まれた和歌など原文を鑑賞し、1000年もの間読み継がれてきた「ことば」によって紡ぎ出される豊かな世界観を味わう講義である。

また、『源氏物語』を通して、平安時代の文化や風習・風土などについても学び、日本人らしさの追求・発見を目的とし、豊かな社会人となるための知識・考える力を身に付けてもらいたい。更には、物語世界の中心となる京都への関心も高めてもらいたい。

扱う文章には、現代語訳を付けるので、古文単語が分からなくても大丈夫です。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1) ガイダンス
- 2) 源氏物語が作られた時代（平安時代）について
- 3) 紫式部と源氏物語
- 4) 源氏物語の概要
- 5) 「桐壺」巻（第1の巻、光源氏の誕生）
- 6) 「帯木」巻（第2の巻、恋の始まり）
- 7) 「空蟬」巻（第3の巻、光源氏の恋）

「須磨」巻（都から去る光源氏）

※以降、順次巻順に数場面ずつ取り上げて読み進める。

54帖全ては扱わない。「須磨」巻前後まで読み進める予定。

履修上の留意点

現代語訳や漫画（『あさきゆめみし』）などでよいので、事前に読んで内容を知っておくと原文の楽しさ豊かさをより深く知識として身に付けられる。また、学期末には試験を行うので、配布プリントを整理しておくこと。出席重視なので、授業中に私語をしている者は退出してもらう（出席扱いとして認めない）。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

出席状況（60%）と試験（40%）などにより評価します。

毎時間、プリントを配布します。

『源氏物語』（新編日本古典文学全集、小学館）（新日本古典文学大系、岩波書店）

（新潮日本古典集成、新潮社）など

三田村雅子『源氏物語 物語空間を読む』（ちくま新書）

秋山虔『源氏物語』（岩波新書）

履修コード	342701
科目名	文学〔日本文学〕
担当者名	伊藤 達氏

講義の到達目標(ねらい) この講義では松尾芭蕉の『奥の細道』を読むことにより、芭蕉の紀行文・作品中の俳句に対する理解を深め、芭蕉にとって旅とはどのような意義を持っていたのかということ考察の対象とする。また紀行文以外の芭蕉の作品も取り挙げ、芭蕉の創作のありようにも迫る。併せて芭蕉と同時代の俳人や江戸時代前期の文化についても紹介する。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：この講義のガイダンス、第2回：江戸時代の俳句（俳諧）、第3回：芭蕉の生い立ち、第4回：芭蕉の紀行文について、第5回：『奥の細道』の旅へ、第6回～第29回『奥の細道』を読む、第30回一年間のまとめ。

準備学習
履修上の留意点

講義で取り上げる部分を事前に読んでおくこと。

成績評価の方法

欠席が三分の一に達した者は単位を認定しない。疑問に思った事があれば積極的に質問して下さい。学期末のレポート（8割）を主とし、授業内で提出を求めるレポート（2割）を基本に評価する。出席状況も勘案する。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

萩原恭男校注『芭蕉おくのほそ道』岩波文庫、735円、ISBN4-00-302062-6

使用しない。適宜プリントと資料を配布する。

なし

履修コード	207401
科目名	文学〔フランス文学〕
担当者名	小黒 昌文

講義の到達目標(ねらい)	フランスという土壌において繰りひろげられてきた様々な文学的冒険に光を当て、その特質や意義について、具体的な作品とともに考えてゆきます。本年度の講義では、とりわけ19世紀後半以降20世紀を通じて産み落とされた小説作品に力点をおきます。フランス現代文学、とりわけ異国語としてのフランス語を表現手段として創作する作家たちの営みも射程に入ってくるでしょう。ルネサンスから古典主義、啓蒙の時代をへてロマン主義の開花へといたる流れのなかで輝き続ける作品についても紹介したいと思います。本講義の目的は、通史に関する知識や情報を整理することではありません。「フランス文学」というひとつの枠組みを出発点としながら、多彩な言葉によって紡がれた多様な作品群を発見し、再発見することで、自分たちをとりまく「世界」の圧倒的な広がりについて考える契機として下さい。そうした出会いや体験こそが、日々の営みにおける各自の経験の領域を押し広げてくれるはずですよ。
講義の内容／授業スケジュール	(1)オリエンテーション(2~4)フランス文学の冒険：その歴史的眺望と社会(5~9)「小説の時代」としての19世紀、そして世紀末へ(10~15)世紀転換期の芸術創造：ベル・エポックから第一次世界大戦へ(16~19)両大戦間期の文芸動向：「狂乱の歳月」とシュルレアリスム(20~23)戦後社会と文学：世界を前にした不条理(24~28)新たな小説言語と「新しい小説=ヌーヴォー・ロマン」(29~30)フランス文学の21世紀
準備学習	授業時に指示します。
履修上の留意点	講義で取り上げる作品については、かならず授業の前夜で時間を作って読んで下さい。フランス史を概観しておくこともおすすめします。
成績評価の方法	毎回、授業内容について各自が考えることや質問・感想を書いてもらい、それを平常点とします。また、前期末と学年末にレポートを課します。内訳は、平常点4割、レポート6割としますが、最終的な成績は出席状況や授業態度なども総合して評価します。
教科書／テキスト	加藤民男編「フランス文学 名作と主人公」自由国民社 ISBN 978-4-426-10821-2 1600円+税
参考書	適宜紹介します。

履修コード	206701
科目名	文学〔日本文学〕
担当者名	川島 淳史

講義の到達目標(ねらい)	日本の近代文学において小説様式が確立した明治三十年代後半から大正初期にかけての小説について講義する。この講義では、日露戦争以後の文壇・社会・文化・風俗・思想等にふれつつ、明治・大正期に活躍した文学者たちが、時代の流れをどのように見つめていたのか、読み解いていきたいと思う。
講義の内容／授業スケジュール	今年度は明治三十年代の自然主義の擡頭期から、大正初めの時期に焦点をあてて考察していく。講義の大まかな予定は以下の通りであるが、進度によって変更することがある。 (1)本講義のガイダンス、(2)~(5)前期自然主義の文学、(6)~(8)岡本独歩の文学、(9)~(14)夏目漱石の初期作品、(15)~(17)高浜虚子・伊藤左千夫の文学、(18)~(21)田山花袋・島崎藤村の文学、(22)~(27)反自然主義文学の諸相、(28)~(29)明治の終焉、(30)まとめ
準備学習	講義で予告された作品は、必ず読んでおく。文庫本で入手できるものは各自購入してもらう。入手困難なものについては、授業時にプリントを配布する。授業の中で作品を読んだ感想を書いてもらうこともあるので、出席する以上は必ず通読しておくこと。
履修上の留意点	欠席が三分の一に達した者は単位を認定しない。受講後は各自紹介された作品や文献に当たり、レポート作成の準備をしておく。授業中の私語は慎むこと。なお、授業中の無断退席は堅く禁ずる。
成績評価の方法	講義で問題提起した事柄を各自考察し、レポートを作成する。前期・後期のレポート提出と授業時に実施する小テスト、出席状況等によって評価する。レポートは提出期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。なお、授業態度の不真面目な者や私語の多い者は、レポートや出席状況がよくても単位不認定となることがある。
教科書／テキスト	詳しくは最初の時間に指示する。文庫本・プリントを用いる予定。
参考書	その都度、講義の中で指示する。

履修コード	342601
科目名	文学〔日本文学〕
担当者名	川島 淳史 <small>かわしま あつし</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本の近代文学はどのような変遷を経て成立したのか。明治初年代から二十年代にかけての歴史的背景と時代状況を見据えつつ、近代文学の成立過程を考察する。
講義の内容／授業スケジュール	今年度は明治十年代・二十年代の文学作品を通して、明治という時代をとらえ直してみたい。特に日清戦争前後の有名な作品を読み進めながら、日本の近代化における諸問題を明らかにしていきたいと考えている。また、近代国家の成立が国民の意識をどのように変えていったのかも、当時の社会的・文化的コンテクストの中から浮かび上がらせていきたい。したがって、小説だけではなく、当時の新聞や雑誌の記事なども随時読み進めていく予定である。なお、講義の大まかな流れは次の通りである。
準備学習	(1) ガイダンス、(2)～(4)啓蒙思想と戯作文学、(5)～(7)翻訳小説・政治小説、(8)～(10)坪内逍遙『小説神髓』、(11)～(12)二葉亭四迷『浮雲』、(13)～(16)森鷗外『舞姫』、(17)～(18)北村透谷の評論、(19)～(24)樋口一葉の小説、(25)～(29)観念小説・悲慘小説、(30)まとめ
履修上の留意点	講義ではテキストを通読したりはしないので、指示された作品は必ず読んでおくこと。作品の感想を書いて授業の終わりに提出してもらいたいことがある。
成績評価の方法	この講義では、可能な限り多くの作品を取り上げたいと考えている。当然のことながら、予告された作品や配布されたプリントは事前に読んでおき、受講する際は必ず携行してくること。また、受講後は各自紹介された文献に当たり、レポート作成の準備をしておくことが必要。授業中の私語・遅刻・退席は厳禁。
教科書／テキスト	講義で問題提起した事柄を各自考察し、レポートを作成する。年2～3回のレポートと出席状況(感想文も含む)、小テストで評価する。レポート提出の期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。欠席が3分の1に達した者は、レポートを提出しても単位を認定しない。また、授業態度の不真面目な者はレポートや出席状況がよくても単位不認定となることがある。
参考書	詳しくは最初の時間に指示する。必要に応じてプリントを配布するが、文庫本などの入手しやすいものは各自で購入してもらおう。
	その都度、講義の中で指示する。

履修コード	206901
科目名	文学〔日本文学〕
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本の古典文学の中でも「旅・旅人の文学」を取り上げる。特に「漂泊・漂泊者」の文学性を考察する。漂泊者たちとは疎外されて中央・都あるいは体制から脱落したり、あるいは自ら求めて中央・体制を脱出してゆく者たちであり、その「さすらいの旅・旅人像」を考察したい。各時代の代表的な旅人の考察を通して、その歴史的背景とか思想的背景とか旅人の意識の深層を理解してほしい。
講義の内容／授業スケジュール	はじめに古典文学における「旅・漂泊」の例を紀行文学の歴史を通して概観し(1・2)、漂泊者としてのヤマトタケル像(3～6)、ついで在原業平の東下り(7～9)、西行の旅(10～18)、阿仏尼の鎌倉下向(19～21)、後深草院二条の旅(22～26)、芭蕉の旅(27～30)等々を考察してもらおう。
準備学習	特に事前に準備することはないが、漂泊・彷徨・流浪など「さすらい」あるいは「さすらい人」への憧憬は洋の東西や時代の新古を問わず根強い伝統を形成しており、こうした漂泊者への関心も高い。ある者は異邦人として、ある者は求道者として漂泊生活に自己追求の方法を求めている。そうした自己追求の在り方なども理解するよう努めてほしい。
履修上の留意点	授業は適宜配布するプリント教材によって講義形式で行う。プリントはレポート作成の資料となるものであるから、出席に努めてほしい。古文作品をもとに授業をするので、注釈書で口語訳などを確認してほしい。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらったレポート評価80%に、出席点を20%に換算して加算対象とする。
教科書／テキスト	授業時に配布するプリントを教材とする。
参考書	授業時に適宜紹介する。

履修コード	206601
科目名	文学〔日本文学〕
担当者名	塩崎 真理子 <small>しおざき まりこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	中古文学を他の時代の様々な作品と比較しながら読む。「話型」をテーマとして、『大和物語』をはじめ『伊勢物語』『今昔物語集』『源氏物語』などの作品を、その後の時代の文学作品などと比較しながら講義を進めていく。「話型」という観点で幅広い時代の作品を読み、古典作品から見えてくるものとは何かを考えていく。
講義の内容／ 授業スケジュール	1) ガイダンス 2) 文学史 3) 生田川伝説 4) 蘆刈伝説 5) 采女入水譚 6) 龍田山伝説 7) 安積山伝説 8) 姨捨山説話 9) 三輪山伝説 10) 二人妻説話 11) 二人夫説話
履修上の留意点	古典文学の知識は必要ないが、各話型が現代の様々なジャンルの作品にどのように影響しているのか問題意識をもって授業にのぞんでほしい。また、身の回りにあふれている作品に対し関心を持っていることが、履修の最低条件である。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	出席状況と授業時の小レポート、課題レポートによって評価する。 授業時に、プリントを配布する。 適宜、教場で指示する。

履修コード	207001
科目名	文学〔日本文学〕
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本版シンデレラ物語と言うべき『落窪物語』(抄出)と『住吉物語』(抄出)を読みながら、現代につながる生き方の問題について考える。あわせて古典文学のおもしろさを味わい、現代の私たちが古典を読み継いでゆくことの意味を確認する。
講義の内容／ 授業スケジュール	テーマ：日本のシンデレラ物語を読む スケジュール：前期(1) ガイダンス・『落窪物語』について、(2～3) 落窪の姫君の生い立ち、(4～7) 継子いじめの展開、(8～11) 復讐の物語、(12～14) 『源氏物語』と『落窪物語』、(15) 前期の総括 後期(1) ガイダンス・『住吉物語』について、(2～3) 住吉の姫君の生い立ち、(4～6) 継子いじめの展開、(7～10) 姫君の流離と観音霊験譚、(11～14) 『源氏物語』の中の継子物語、(15) 後期の総括 予め配布するプリントに(現代語訳の部分だけでも)目を通しておくとよい。
準備学習 履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。なお、コメントの内容によっては出席点としてカウントしないこともある。
成績評価の方法	前期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示) 40%、後期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示) 40%、平常点(出席状況と毎回のコメントの内容) 20%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。「代返」などの不正行為を行った場合は平常点を0点とする。
教科書／テキスト 参 考 書	プリント教材。 新日本古典文学大系『落窪物語・住吉物語』(1989 岩波書店) 新編日本古典文学全集『落窪物語・堤中納言物語』(2000 小学館) 新編日本古典文学全集『住吉物語・とりかへばや物語』(2002 小学館) 角川ソフィア文庫『新版 落窪物語 上・下』(2004 角川書店) 武山隆昭『住吉物語の基礎的研究』(1997 勉誠社)など。 その他、授業時に指示する。

履修コード	207301
科目名	文学〔英語文学〕
担当者名	高野 秀夫

講義の到達目標(ねらい)	イギリス自然主義女流作家、ジョージ・エリオットの作品『サイラス・マーナー』を詳細に読んで、キリスト教社会に生きる主人公の様々な問題、孤独、神、金、慈愛、偶然等を取り上げ、人生と文学について考察します。また英語読解力の増強にも努めます。
講義の内容／授業スケジュール	主人公のサイラス・マーナーは親友、恋人、そして仲間にも裏切られ、さらに神をも信じられなくなる。そして長年住み慣れた故郷の町からラヴィロウ村に移る。金を貯めることが唯一の楽しみになり、ついに天涯孤独な守銭奴になる。16年後その金も盗まれ、絶望の淵をさ迷う。その時たまたま迷い兄が家に転がり込んでくる。サイラスはその兄をエビーと名付けて豊かな自然の大地の中で暮らす。一生懸命子供を育てることで村人たちの温かな心に触れ、生きることの素晴らしさを知る。そして素直で可愛い娘に成長したエビーと幸せな人生を送る。この物語を読みながら文学と人生について考察します。
準備学習	前期は主人公を中心に登場人物たちの様々な生き方を考えながらの作品講読。 後期はさらに作品を読み進め、最後にテーマごとのグループに分かれての口頭発表。 Natural Speed の英文の読みと聞き取り、平易な英文作成さらに英語による質疑応答があるので、予習はしっかりしておくこと。
履修上の留意点	ロンドンを中心とした現代イギリスの諸事情さらに英文の読み物に眼を向けて、より広い視野で社会の中で生きることの意義を問う機会を多く持つこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	レポート、口頭発表、平常点(出席、授業への取り組み等)による総合評価 『サイラス・マーナー』 岩波文庫 ISBN4-00-322361-6 授業時に適宜紹介します。 出席には、特に注意すること。

履修コード	207701
科目名	文学〔日本文学〕
担当者名	内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)	テーマ「近現代日本文学入門」 作品を具体的に分析しながら、近現代日本文学の特徴について学びます。
講義の内容／授業スケジュール	文学作品を読み解いていくことで、近現代日本におけるさまざまな問題について考えていきます。文学作品を読むことのむずかしさと楽しさを味わいながら、既知の言葉であるはずの日本語との新鮮な出会いを体験してもらえればと考えています。 (1) オリエンテーション、(2～7) 近現代日本文学と語り手(『吾輩は猫である』ほか)、(8～13) 近現代日本文学とメディア(『十二人の手紙』ほか)、(14～19) 近現代日本文学と流通(書店ほか)、(20～25) 近現代日本文学の物質的要素(装丁ほか)、(26～29) 近現代日本文学におけるテーマの諸問題、(30) まとめ。 なお、履修者の数や志向によって、内容やスケジュールを調整する可能性があります。その際は、授業時間内に連絡をします。
履修上の留意点	ほぼ毎回、授業中に課題や小テストをおこないます。抽選登録科目ですので、通年で参加できる人のみ、登録してください。また、担当者の一方向的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。
成績評価の方法	授業中に課題や小テストをおこないます。A：授業への参加度・授業内課題・小テスト(50%)、B：前期末のレポート(25%)、C：学年末の教場試験(25%)をあわせて、総合的に評価をします。
教科書／テキスト 参 考 書	指定なし。適宜プリントを配布します。 適宜授業中に指示します。

履修コード	207201
科目名	文学〔日本のことば〕
担当者名	萩原 義雄

講義の到達目標(ねらい)

広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に授業を進めていく。

講義の内容／
授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
国語・国文学作品に於ける研究とその展開
- 02の講義内容 和語と漢語
- 03の講義内容 漢字教育にみる日本語(「常用漢字表」の行方)
- 04の講義内容 国語辞書(近代国語辞書、大槻文彦編『大言海』)
- 05の講義内容 漢和辞書(近代漢和辞書、諸橋轍次編『大漢和辞典』)
- 07の講義内容 地名辞書(近代地名辞書、吉田東吾編『大日本地名辞書』)
- 08の講義内容 植物辞書(近代植物辞書、牧野富太郎編『日本植物大辞典』)
- 09の講義内容 和英辞書(近代英和辞書、ヘボン『和英語林集成』)
- 10の講義内容 明治近代語の研究、雑誌『太陽』を読む
- 11の講義内容 大正近代語の研究、芥川龍之介著作集を読む
- 12の講義内容 昭和現代語の研究、井上靖著作集を読む
- 13の講義内容 平成現代語の研究、村上春樹著作集を読む
- 14の講義内容 「パロディ」化の作品とは
- 15の講義内容 絵本と言語
- 16の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現
- 17の講義内容 書道と言語(唐顔真卿と明朝体文字)
- 18の講義内容 文字遊び(回文・逆さことば・しりとり等)
- 19の講義内容 文字の不思議さ(漢字=正字・通俗字、増画と省画、
欠字=『干禄字書』、かな(誕生と広がり)、ローマ字)
- 20の講義内容 豊富な語彙を学ぼう(『分類語彙表』)
- 21の講義内容 文法はグラグラと揺れている
- 22の講義内容 文章体の特徴を知ろう
- 23の講義内容 音韻を響きと弾み
- 24の講義内容 共通語と方言語はどう変容していくのか
- 25の講義内容 日本語の系統
- 26の講義内容 言語生活からみた新聞記事・雑誌
- 27の講義内容 愈々、独り立ち

準備学習
履修上の留意点

まず本を読もう！そして、知りたい聞きたい見たいものを見つけ出そう。
※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時間閲覧します。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価方法
月毎に上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し内容を発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。
『紀田順一郎著作集』第6巻—知の職人たち／生涯を賭けた一冊—〔三一書房1997刊〕
`Y e S t u d y.による講義実習活動を実施！ 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

関 連 リ ン ク

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。
<http://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	210801
科目名	倫理学〔価値観〕
担当者名	麻生 享志 <small>あさお たかし</small>

講義の到達目標(ねらい) 人間の生き方と密着する、また、学問としての「本当の倫理学、本物の倫理学」に近付くための案内をする。

講義の内容／授業スケジュール 自己の人生の問題を考えるきっかけを得る。そして、その追い求め方のヒントもさがす。倫理学や、人生を考える上で有益な書物を読む、読み方を説明する、など。
(1)倫理学とは何か(2-3)非実害非露見行為・不倫の「問題」(4-7)東洋哲学という謎・更なる謎 儒教・道教と仏教へ・西洋哲学の化けの皮(カントの光と闇)(8-12)サバイバルロタリー・脳死文化論・山のパラドックス・医療諸行為の語り方・自己の死(13-18)大学生としての自覚・囚人のジレンマ(合理的思考)・旅の思想・娯楽と快楽・住所「不定」の反対・結婚(性と恋愛)(19-23)もうけと労働(経済思想)・コンピュータ社会・神の存在証明・保守思想の可能性・民主主義社会の政治参加(24-27)「ピュリダンのロバ」から・倫理のリアルさ(交通の倫理)・都市(江戸期の「分」)・縁故存在を問う(28-30)虚無と絶望・生きがい論・基本2徳を「決める」(一年の講義のまとめ)

準備学習 講義に対する、その都度の準備学習は特にありません。

履修上の留意点 最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を“楽しんで”もらいたいと思っています。

成績評価の方法 成績は、出席等による平常点(約3分の1)、前・後期試験および5月連休明け提出レポートおよび夏休み明け提出のレポート(約3分の2)によって評価します。特に、2度の試験と2度のレポート提出の4条件を満たさない場合、単位は出ません。

教科書／テキスト 久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』(公論社刊)3200円

参考書 麻生著『ジョン・デューイにおけるプラグマティズムの真理観の研究』(コンテンツ・ワークス社「ブック・パーク」によるインターネットのオン・デマンド出版)は、講義の内容に直接に関係するものとしてご紹介します。その他講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。他に読むべきものは、講義中において詳細に紹介するので、自己の興味に合せて読み進められたい(下欄「その他」の説明も参照)、と思います。

その他 大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。
初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	210701・211111
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>

講義の到達目標(ねらい) 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容／授業スケジュール 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」: 自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点 課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法 レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。

教科書／テキスト 教科書: 黒崎剛著『生命倫理の勉強帳 2011年度版』、定価900円。紀伊国屋書店駒澤大学ブックセンターのみで取り扱い。参考書は教場で紹介する。

履修コード	211101
科目名	倫理学〔東洋倫理〕
担当者名	末木 恭彦 <small>すきま やすのこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。主として西洋の哲学の一部門として発達した。それに相当する思想は東洋の伝統的思想の中に生まれていた。近代に至って、西洋の学問の影響下、東洋の伝統を生かそうとする試みが行れた。そのような東西のはざままで苦心して考えられた、東洋の倫理思想を紹介し、我々自身の倫理思想を獲得する一助としたい。
講義の内容／授業スケジュール	今年度は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎の倫理学を紹介する。和辻倫理学の中でも『人間の学としての倫理学』を取り挙げて、一年かけてじっくりと読みたい。 (1)ガイダンス(2)和辻哲郎について(3～8)第一章一節～四節について(9)第一章五節(10～17)第一章六節～十一節について(18～28)第二章について(29～30)まとめと質疑応答
履修上の留意点	ノートをしっかり取る。
成績評価の方法	各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。
教科書／テキスト	和辻哲郎『人間の学としての倫理学』(岩波文庫)
参考書	和辻哲郎『倫理学』(一)～(四)(岩波文庫) 湯浅泰雄『和辻哲郎―近代日本哲学の運命』(ちくま学芸文庫) 坂部恵『和辻哲郎―異文化共生の形』(岩波現代文庫) 荻部直『光の領国 和辻哲郎』(岩波現代文庫)

履修コード	343701
科目名	倫理学〔人生と倫理〕
担当者名	末木 恭彦 <small>すきま やすのこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学の基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを旨とする。
講義の内容／授業スケジュール	今年度は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎を取り挙げ、その倫理学を紹介する。彼が「倫理学の意義と方法」を述べたとする『人間の学としての倫理学』をテキストとして、和辻の描く倫理学の見取図を描き出す。(1)ガイダンス(2)和辻哲郎について(3～8)第一章一節～四節について(9)第一章五節(10～17)第一章六節～十一節について(18～28)第二章について(29～30)まとめと質疑応答
履修上の留意点	ノートをしっかり取る。
成績評価の方法	各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。
教科書／テキスト	和辻哲郎『人間の学としての倫理学』(岩波文庫)(岩波全書版でも可)
参考書	和辻哲郎『倫理学』(一)～(四)(岩波文庫) 湯浅泰雄『和辻哲郎―近代日本哲学の運命』(ちくま学芸文庫) 坂部恵『和辻哲郎―異文化共生の形』(岩波現代文庫) 荻部直『光の領国 和辻哲郎』(岩波現代文庫)

履修コード	211001
科目名	倫理学〔制度とモラル〕
担当者名	滝口 清栄 <small>たきぐち きよさか</small>

講義の到達目標(ねらい)	人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返る。それは、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。
講義の内容／授業スケジュール	本講義では、西洋倫理思想史のなかで近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。 前期には、1、ホブズ、2、J.ロック、3、マンデヴィル、4、ヒューム、5、A.スミス 後期には、6、ベンサム、7、J.S.ミル、8、J.J.ルソー、9、カント、10、ヘーゲル、11、フォイエルバッハ、12、K.マルクス これらの哲学的思索を、学生のみなさんとともに確かめていく。
履修上の留意点	講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
成績評価の方法	中間テスト(前期の最終授業時)と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。
教科書／テキスト	久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

履修コード	210901
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	滝沢 正之

講義の到達目標(ねらい) 倫理学の一部門、応用倫理学について、その基本的な構成、重要な成果を紹介し、さらには限界を探っていく。我々の人間的な生にとって、なにが善いことでなにが悪いことなのか、といった道徳的な価値判断は本質的な契機をなしている。しかし、社会が複雑化し科学技術が極度に発展した現代においては、そのような価値判断のよりどころが判明でないような場面が多々出現するようになっている。物事の根本に立ち戻って哲学的に思考することによって、そのような場面に一定の見通しを与えることを試みる。

講義の内容／授業スケジュール

- [1回～4回] 倫理学と常識
- [5回～8回] 義務論とその限界
- [9回～12回] 功利主義とその限界
- [13回～16回] 倫理学と人間学
- [17回～20回] 生命倫理学の諸問題（中絶の問題、安楽死の問題、臓器移植の問題など）
- [21回～24回] 環境倫理学の諸問題（地球温暖化の問題、希少動物保護の問題など）
- [25回～28回] その他の諸問題（技術と倫理との関係など）

(※残りは予備日。また、あくまで目安である。)

履修上の留意点 講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。

成績評価の方法 学年末試験を行う。その他に、講義中に提出してもらった課題を評価の対象とする。具体的には中間レポート等を考えている。出席については受講者数をみてとるかどうかが決める。

教科書／テキスト 講義中に適宜指定する。

参 考 書 講義中に参照する過去の哲学説にかんしては、以下を参照のこと。久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他の文献については講義中に適宜指定する。

履修コード	210601
科目名	倫理学〔人間観〕
担当者名	古田 知章

講義の到達目標(ねらい) われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的な生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答、そして、われわれ自身の生きる目標としての人間観や自己像が提示されてきた。現代に生きるわれわれが、白らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容／授業スケジュール 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

- [前期] 人間観の形成の歴史とその伝統
 - 第1回：ガイダンス
 - 第2～4回：人間と倫理 -人間であるために-
 - 第5～8回：古代ギリシア思想における人間観の諸相
 - 第9～11回：中世キリスト教思想における人間観
 - 第12～15回：人間観の転換 -ルネサンスと宗教改革-
- [後期] 新しい時代の人間観
 - 第16回：前期のまとめ
 - 第17～20回：出発点としてのデカルト《コギト（思惟する私）》とパスカル「考える葦」
 - 第21～24回：自己の内面性と他者の問題 -自由と責任-
 - 第25～27回：人格 -ロックを手がかりに-
 - 第28～30回：人間存在と倫理

成績評価の方法 二回の定期試験（中間試験、年度末試験、各4割）と平常点（出席状況、夏期レポート、合計2割）で評価する。

教科書／テキスト 『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 講義の際にその都度紹介する。

履修コード	343601
科目名	倫理学〔現代と倫理〕
担当者名	<small>ふるた ともあき</small> 古田 知章

講義の到達目標(ならい) 今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性や価値基準が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、白らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上に立って、現代においての倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容／
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

〔前期〕 倫理的原理についての検討

第1回：ガイダンス

第2～5回：倫理学における問題の所在 - 倫理的であること -

第6～9回：古代ギリシアにおける様々な倫理思想

第10～12回：中世における宗教的倫理観

第13～15回：ルネサンスと宗教改革 - 個としての人間 -

〔後期〕 前期からの続きと応用倫理学の諸問題への基礎的な検討

第16回：前期のまとめ

第17～20回：近世の転換期における倫理思想

- 主体性と自由の問題 -

第21～23回：現代に生きる我々と倫理 - 他者との共存 -

第24～26回：生命の尊厳と人生の質

第27～28回：人間と環境との関係

第29～30回：情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験、各4割）と平常点（出席状況、夏期レポート、合計2割）で評価する。

教科書／テキスト
参 考 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

講義の際にその都度紹介する。

履修コード	208201
科目名	歴史学〔日本近世史〕
担当者名	<small>おだか しょういち</small> 小高 昭一

講義の到達目標(ねらい)

日本史のなかで江戸時代とはいかなる時代であったのか。また、世界史のなかで「近世」と呼ばれる時代もある。そして江戸時代と近世とはどんな関係があるのかも考えていきたい。特に、日本史上まれにみる「平和」な時代であったといわれる江戸時代、それがどのように成立し、どのような構造・内容、特徴を備えていたのか、それがどうして「近代」へと変わっていくのか、わかりやすく解説を加えていきたい。140年ほど前に終えんを迎えたとはいえ、江戸時代の社会のあり方は、近代以降にも影響を及ぼしたため、その点を念頭に置きつつ、話を進めていく。この授業が、歴史と向き合う貴重な「時間」になることを期待する。

講義の内容／
授業スケジュール

(講義の内容)

江戸時代の中央政権、江戸幕府は「公儀」と呼ばれる。なぜ公儀として江戸幕府が成立したのか。その公儀による支配の持続力は、260年あまりも続いたのだが、どのようにしてそのような持続力を保持することができたのだろうか。公儀支配のあり方、民間社会の成長と発展、経済・文化の密度などをみれば、歴史上に出現した世界的な文明社会のひとつと言えよう。しかし、それも東アジアにおける日本という当時の世界情勢の中で考える必要がある。こうした日本の近世社会について考える。

(1・2)授業のガイダンス(3・4)プロローグ(5~10)江戸幕府の成立と新しい国際関係(11~15)幕藩体制の社会と文化(16~20)十八世紀の改革政治と社会(21~25)江戸時代後半の文化(26~29)内憂外患の時代と復興意欲(30)エピローグ

準備学習

授業の際に次回の学習範囲を指示するので、必ずテキストの該当部分を熟読して授業に臨むこと。もちろん授業後の復習も行ってほしい。

履修上の留意点

積極的に講義に取り組むことで、近世という社会を理解すること。ただ、記憶するのではなく、授業を通して社会のしくみやその時代を生きた人々について考え、この時代から何かを得る機会としてほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

基本的には、年度末の定期試験を成績評価の対象とする。ただし、授業の出欠状況も参考とする。深谷克己著『江戸時代』(岩波ジュニア新書・日本の歴史6)岩波書店、740円(＋税)、ISBN4-00-500336-2

履修コード	342901
科目名	歴史学〔中国史概観〕
担当者名	<small>こばやし せいはち</small> 小林 惣八

講義の到達目標(ねらい)

経済発展のめざましい中国の歩みを世界史的立場に立って平易に講義する。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回~15回：中国史全般の歩みを、第16回~30回：ヨーロッパ諸国のアジアへの進出を扱い新生中国の誕生までを扱う。

準備学習

毎回レポート課題やディスカッションを取り入れて歴史の見方や考え方の定着を図る。

履修上の留意点

「継続は力なり」根気強く取り組む姿勢を求む。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。

教科書／テキスト

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他の

出席を重視する。

履修コード	208301
科目名	歴史学〔日本史〕
担当者名	<small>こまつ としはる</small> 小松 寿治

講義の到達目標(ねらい)

歴史学は様々な形で残る「史料」を検討することによってなりたつ科学です。各時代には、それぞれ基本となる史料が存在します。本講義ではそれらの史料の成り立ち、内容、考証するうえでの注意すべき点などを示すことにより歴史を学んでいけたらよいと考えています。

講義の内容／
授業スケジュール

講義形式を基本とし、以下のような時間配分で授業を進めたいと考えます。

準備学習

第1回ガイダンス、第2回~9回古代の史料、第10回~18回中世の史料、第19回~23回近世の史料、第24回~26回近代の史料、第27回~29回金石文、第30回まとめ

履修上の留意点

板書することが多いので、しっかりノートを作ることを進めます。定期試験と出席をあわせて総合的に評価します。

成績評価の方法

なし

教科書／テキスト

適宜プリント配布します。開講時に指示します。

参考書

履修コード	207901
科目名	歴史学〔東アジア考古学〕
担当者名	千葉 基次

講義の到達目標(ならい)	東北アジア地域の先史、原始時代の考古学的研究が授業内容。長城地帯から東北アジア地域で民族・特定文物・社会その他から、一年間で歴史の考古学的研究方法の概略を知ることが目標。
講義の内容／授業スケジュール	当科目は、通年で広範囲な学部・学科・学年を授業対象としている。そこで、授業内容は前期と後期に二分する。 前期は、1～2回で一内容とする、日本や文献史を含む学史・時代など広い範囲の事柄の話。 後期は、考古学的研究方法による一特定研究課題を選び、専科・専門の事柄の話。
準備学習	中国東北地方と朝鮮韓半島地域の主要都市名と位置を、一つでも多く知っておくことは、雑事としても有用と思う。 複写でも充分であり、考古学の授業に、当該地域の地図は必携の文具である。
履修上の留意点	板書事項が多くあり、B5判でも充分、専用の筆記帳を用意すること。
成績評価の方法	毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。試験・レポートについては出欠状況を見て決める。
教科書／テキスト	教科書的書籍は無いので、資料を随時配布する。
参考文献	授業の中で紹介する。 長城地帯から東北アジア地域に限ったとしても、考古学的研究法でたどれる歴史の形成は、多種多様の地域社会・文化の積み重ねから成り立っていると知れば、自国の歴史を見る目ともなろう。 隣接する東アジア世界・地域の歴史について、より多くの知識を得ることに努め、理解を深めることを望む。

履修コード	342801
科目名	歴史学〔日本史〕
担当者名	林 彰

講義の到達目標(ならい)	幕末のペリー来航後の通商条約により、世界資本主義体制の一環に組み込まれていく我が国は、明治維新期を経て確立する明治憲法体制・教育勅語体制により、ほぼ近代国民国家の成り立ちが整備されていく。この体制は、アジア太平洋戦争の敗戦により幕を閉じることになるが、講義では近代を通じて支配する体制側の動向と民衆側の歩みを中心にたどってみたい。そのさい、体制側の思想動向や体制側に抵抗ないしは同調しようとする民衆側の思想動向の把握、国内における衛生や病気などにより「隔離」される民衆の問題、アジア民衆への蔑視・差別の問題にも言及していくつもりである。
講義の内容／授業スケジュール	最初に、オリエンテーション、次に現在の日本に残存する過去の歴史の問題(在日朝鮮人問題など)を取り上げ、その要因が日本の近代にあることを検討する。次に、近代史の概説を体制側と民衆の動向をふまえて、幕末から敗戦までたどっていく。次に時間に余裕があれば、個人の人物(ある程度著名な人物の女性・男性)を取り上げて、近代史のなかで果たした役割をみていきたい。
履修上の留意点	幕末から多くの人物が登場し、それを講義においても紹介していく。歴史上のいろいろな「人物」の登場は、受講生にとっても、ためになり、将来の人生を歩んでいくための豊かな知識や経験となるであろう。そういう「人物」を、自ら調べて深めることは重要である。
成績評価の方法	前期は試験の代わりに、レポート提出(夏休みの課題レポート)。後期は定期試験。レポートを提出しない学生には、単位は上げない。定期試験は、追試験も実施する。
教科書／テキスト	大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史(上)』、大月書店、2002年。1800円+税 ISBN4-272-52068-7C0021
参考文献	講義中に適宜紹介する。

履修コード	208101
科目名	歴史学〔西洋近代史〕
担当者名	<small>ひしかた しおり</small> 土方 史織

講義の到達目標(ねらい) 近代ヨーロッパ史についての理解を深めることを目的とします。まずはその概観をつかみ、現代社会の「かたち」を形成した「近代」という時代がどのようなものであったのかを考察していきます。

講義の内容／授業スケジュール 以下の内容を講義形式で進めます。
前期：18世紀～19世紀 国民国家の建設(フランス革命～アメリカ独立～産業革命)
後期：19世紀～20世紀 帝国主義の展開(植民地主義～第二次大戦)
適宜プリントを配布し、プロジェクトなども使用して理解が深められるようにします。

準備学習 予備知識としてルネサンス期以降のヨーロッパ史を理解しておく必要があります。

履修上の留意点 地図帳や資料集などが手許にあると理解の助けになります。なお遅刻、途中退席、私語は厳禁。守れない人は履修しないで下さい。

成績評価の方法 試験と夏期課題、時々とる出席で総合的に判断します。

参考図書 大下尚一他編『西洋の歴史[近現代編]増補版』ミネルヴァ書房1998年。
近藤和彦編『西洋世界の歴史』山川出版社1999年。
井野瀬久美恵著『大英帝国という経験』(興亡の世界史 第16巻)講談社2007年。
『ヨーロッパ史入門』(全10冊) 岩波書店

その他の他 授業初回に詳細なガイダンスをおこなうので履修予定者は必ず出席して下さい。出席しないと履修できません。

履修コード	208001
科目名	歴史学〔禅の歴史と地域社会〕
担当者名	<small>ひろせ りょうこう</small> 廣瀬 良弘

講義の到達目標(ねらい) 日本の文化に大きな影響を与えた禅宗とその歴史、そして禅宗の展開と地域社会とのかかわりということをテーマに考えてみたいと思います。

講義の内容／授業スケジュール 日本の禅宗受容と禅宗の地方伝播(1～2)
禅の展開の時期と地域(3)
山岳信仰・地域神と禅僧(4～6)
禅僧と温泉(7～9)
在地武士と禅僧(10～11)
禅僧の法要と地域社会(12～13)
禅寺と地域社会の秩序(14～15)
禅と葬祭と人々の戒名(16～18)
授戒会の活動(18～21)
禅僧と戦国社会(22～24)
禅寺とアジール(避難所)(25～27)
禅と日本文化・生活文化(28)
江戸時代の葬祭と禅僧(29～30)

履修上の留意点 お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻・退室は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法 学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書／テキスト 講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。
参考図書 廣瀬良弘著 『禅宗地方展開史の研究』吉川弘文館
廣瀬良弘編著 『禅と地域社会』 吉川弘文館

履修コード	207801
科目名	歴史学〔日本中世史〕
担当者名	鈴木 将典 <small>すずき まさのり</small>

講義の到達目標(ねらい) 歴史学は、古文書や記録資料、遺物などを用いて、過去の事実を追究する学問である。特に、国や地域の文化は、長年にわたる歴史の上に成り立っており、それを学ぶことで、日本、あるいは世界の中で自己の立ち位置を明確にし、他者を理解することが可能となる。

かつて、日本の中世(鎌倉・室町・戦国時代)は「世界史の基本法則」の中で、古代(平安時代)や近世(安土桃山・江戸時代)との「断絶」が強調されてきた。しかし、近年では「中世」の範囲自体が見直されており、平安時代末期から江戸時代初期までを「中世」と評価する動きが見られる。また「東アジアにおける日本」「中世社会と民衆」などの新たな視点が提示され、地域権力(戦国大名)の成立から統一政権の誕生に至る、いわゆる「中近世移行期」をめぐる議論も盛んに行われている。

本講義では、日本の中世がどのような時代であったのかという点について、最新の研究動向を紹介しながら進めていく。受講生には自らが属する地域社会の成り立ちや文化に興味を持ち、歴史学の面白さを学んでほしい。

講義の内容／授業スケジュール 平安時代末期(武士の登場)から江戸時代初期(鎖国)までを範囲として、時代を追って講義を進めていくが、各回ごとに重要と思われるテーマを設定した上で、最近の知見を紹介する。

履修上の留意点 遅刻・途中退席は原則として認めない。私語や携帯電話など、他の受講生の迷惑になる行為は慎むこと。板書とプリント配布を併用するので、各自工夫してノートを作成すること。

成績評価の方法 出席状況(20%)、前期末のレポート(30%)、後期末の筆記試験(50%)の割合で総合的に評価する。特に定めない。随時プリントを配布する。

教科書／テキスト

参 考 書

講義中に随時紹介する。

履修コード	343001
科目名	歴史学〔アジア史概観〕
担当者名	高橋 康浩 <small>たかはし やすひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) アジア史の事例を通して、歴史的なものの方を知る。また日本とアジアとの関係を歴史上に考えることができるようになる。本講義ではとりわけ中国史を扱う予定である。古くから日本と中国は深い関係にあったが、今日、両国は「政冷経熱」という状況にあり、複雑な関係にあることは否めない。故に歴史を学び知る必要があり、それを以て、より正確なアジア理解へと繋げるものである。アジア史の中でも、古くから記録の残された中国史を基軸に、アジアと日本の歴史を考える。具体的には以下のスケジュールで講述する。

第1回：ガイダンス

第2回：新石器時代～殷

第3回：周

第4回-第5回：春秋戦国

第6回：秦

第7回-第9回：漢

第10回：三国志

第11回：西晋～五胡十六国

第12回-第14回：南北朝

第15回：隋

第16回-第18回：唐

第19回：五代十国

第20回-第22回：宋

第23回：元

第24回-第26回：明

第27回-第29回：清

第30回：総まとめ

準備学習

履修上の留意点

成績評価の方法

予習復習は必ず行うこと。

出席不良者の単位修得は認めない。

レポート50% (期末のレポート)

授業中の小テスト30% (不定期に行います)

出席20% (全体の3分の1以上を休んだ場合は、その時点で「不可」とします)

野口鐵郎編『資料中国史-前近代編-』(白帝社、1999年)

渡邊義浩著『宗教から見る中国古代史』(ナツメ社、2007年)

教科書／テキスト

参 考 書

他は授業内で適宜紹介し、またプリントを配布する。

履修コード	343501
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	あさお たかし 麻生 享志

講義の到達目標(わらい)

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな役割を果たしてきた。「論理とは何か」「正しさをどう説明すべきか」「真理をどのようなものとするか」といった諸問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。その論理学は、当時の諸学問がおかれた状況に影響を受けていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。これが現代論理学である。

このような論理学の歴史をふまえ、(1) 論理とは何かを考え、(2) 「進化」する論理学の各内容についての知識を持ち、(3) 日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理、帰納法論理、実験主義論理、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などを主な話題とします。

講義の内容／
授業スケジュール

(1-5) 論理学とは何か・文献・古代の論理学・ゼノン・論理学史(6-8) 「推理」小説・日常生活・逆説(9-12) 数理・パズル(および論理クイズ)・記号操作・真理函数(13-16) 原理・充足理由・矛盾・排中(17-21) 演繹・背理法と仮言的三段論法・推論と形式・偽というものの位置づけ・対偶と消去法(22-30) 後件肯定・科学・帰納・実験・方法・諸学・真理・対応説と二元論・まとめ、軽信の時代に特定の回に出題する「宿題」は、誠実にチャレンジして下さい。

準備学習
履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料(約60%)にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績(提出日、締切は絶対厳守)を加味します。

教科書／テキスト
参考書
その他の他

特になし。講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。

多数。講義内にて詳細に説明します。

講義と問題演習(ないし論述筆記)。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。

初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	210001
科目名	論理学 [知の技法]
担当者名	伊古田 理

講義の到達目標(ねらい)	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的ノウハウの習得を目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	(1)(2)「論理的」とはどういうことか (3)主張文の基本構成 (4)～(6)問題設定のしかた (7)～(9)根拠づけの考えかた (10)～(13)結論のつけかた (14)～(16)論証の基本原則 (17)(18)文献を使って文章を書く(1)－その意義 (19)～(22)文献を使って文章を書く(2)－文献を読む (23)～(28)文献を使って文章を書く(3)－文章を書く (29)(30)文章作成の倫理
準備学習	各授業ごとに、前回の講義の復習(および、やり残しの練習問題がある場合や、課題が課されている場合には、その問題演習ないし課題演習)が必要となる。
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れているが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめてくれない。
成績評価の方法	最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート試験(1月定期試験時提出)によって判定。このほか、随時課する小レポート(内容要約、など：期日厳守)をプラス材料として考慮する。定期試験はいっさい実施しない。
教科書／テキスト	本年度は、テーマとして「道徳の理由(なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか)」をとりあげる。 教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) 副読本：野欠茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書	そのつど指示する。
その他の	上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関係でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

履修コード	343401
科目名	論理学 [科学方法論と現代論理学]
担当者名	伊古田 理

講義の到達目標(ねらい)	現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。 具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで(時間の許すかぎり)こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。
講義の内容／授業スケジュール	本講義の狙いとして、コンピュータの「論理計算」のメカニズムへの理解の基礎が得られるはずである。こちらの方面の勉強を考えている諸君におすすめしたい。 (1)論理とはなにか (2)～(6)三段論法 (7)～(12)命題論理(1)－命題論理の意味論 (13)夏期中間試験 (14)～(19)命題論理の「証明」 (20)～(25)述語論理(1)－述語論理の記号表記 (26)～(30)述語論理(2)－述語論理の「推論」
準備学習	各授業ごとに、前回の復習と、課題が出ているときにはその課題演習が求められる。
履修上の留意点	この授業で扱う「論理」とは、コンピュータ技術に関連した「論理計算」のメカニズムであり、レポートや論文を「論理的」に構成する技法としてのそれではない。本授業担当者は、後者の「論理」についても「論理学(知の技法)」として開講している。どちらか一方しか履修できないので、履修にあたってはよく検討すること。
成績評価の方法	年2回の試験(夏期中間試験+年度末定期試験)を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題(年間通して計3回)を出す。これらによって総合的に評価する。
教科書／テキスト	野欠茂樹著『論理学』(東京大学出版会)

履修コード	210101
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	かわらに あつし 河谷 淳
講義の到達目標(ねらい)	論理学とは推論の正しさについて考える学である。この授業の目的は、三段論法、帰納、命題論理、述語論理についての講義を通じて「論理的である」とは一体どういうことなのかを考え、さらに、練習問題を解くことで様々なタイプの推論の妥当・非妥当性を判定するトレーニングをつんでもらうところにある。
講義の内容／授業スケジュール	序論(1,2)、A) 伝統的論理：(a) 論理学の基本概念(概念・命題・推論)(3,4)、(b) 演繹推理(定言・仮言三段論法の妥当性の判定)(5~9)、(c) 帰納推理(ミルの方法、仮説演繹法)(10~12)、(d) 虚偽論(13~15)、B) 現代論理(記号論理)入門：(e) 命題論理(日常言語の記号化と推論の証明)(16~22)、(f) 述語論理(日常言語の記号化と推論の証明)(23~29)、まとめ(30)
履修上の留意点	授業に連続して出席することは言うまでもないが、授業中あるいは授業後に各自が練習問題に積極的に取り組むことが望ましい。
成績評価の方法	中間試験(前期最終授業日に実施)と期末試験(それぞれ40点満点)ならびに出席状況との総合点によって評価する。

履修コード	210201
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	こじま ゆうこ 小島 優子
講義の到達目標(ねらい)	論理力は、自分の考えていることを他人に納得のゆくように筋道立てて説明するさいに、必要となる。そして論理的に文章を書くためには、論理学の構造を学ぶだけではなく、論理学の問題練習を行うことが必要である。そのために講義では毎回、問題演習を行う。いわゆる悪文と良文とはどこが異なるのか。わかりやすい文章、論理的につじつまの合う文章を書くために必要な事柄は何であるのか。講義では毎回、参考となる文章を取り上げて、論理的な文章を書き、論理的な構造を把握し身につけるためのトレーニングを行う。最終的には、論理的な力を身につけ、レポートや論文を書くための力を身につけることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	1 ガイダンス 論理学とは何か 2 さまざまな接続関係 3 接続の構造 4 議論の組み立て 5 論証の構造と評価 6 演繹と推測 7 価値評価 8 否定 9 条件構造 10 推論の技術 11 批判への視点 12 論文を書く
履修上の留意点	論理力を身につけるためには、論理力トレーニングが必要となるので、講義に出席することが大事である。このために出席を重視する。
成績評価の方法	一回の定期試験(中間試験)と、一回の学期末試験、および平常点(授業時に適宜与える課題)で評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書) そのつど指示する。

履修コード	209601・209801
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	鈴木 聡

講義の到達目標(ねらい)

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。論理学とは、妥当な論証と非妥当な論証との差異についての研究である。妥当な論証とは、前提から結論が帰結する論証である。前提から結論が帰結することを意味論的ならびに統語論的に表現することが論理学の主要課題である。妥当な論証を行う能力を身につけることは、いかなる分野を専攻する学生にとっても重要なことである。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) プロローグ・(2) 文論理における文の記号化・(3) 文論理の言語・(4~7) 文論理の意味論・(8~14) 文論理の統語論・(15) 中間試験・(16・17) 第一階量化論理の基本概念・(18・19) 第一階量化論理の言語など・(20・21) 多重量化・(22・23) 第一階量化論理の意味論・(24) 第一階量化論理のメタ論理・(25~29) 第一階量化論理の統語論・(30) 期末試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

数学が不得意な者は、単位取得が相当困難なので、履修をすすめない。
成績は、中間試験・期末試験で評価する。

鈴木 聡、『記号論理学入門講義』、DTP出版、1575円、ISBN: 978-4-86211-210-1

履修コード	209901
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	滝口 清栄

講義の到達目標(ねらい)

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。こう見るならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなからうか。ひとたびこの点に注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとし、思考の諸法則が身につくよう心がける。

講義の内容／
授業スケジュール

教科書はおもにそれぞれのテーマの理解を得るために使い、練習問題をそのつど配布する。形式論理学に重点をおいて授業を進めていく。

前期では、1、概念、2、命題、3、対当推理、4、変形推理、5、虚偽論

後期では 6、三段論法（定言三段論法、仮言三段論法、選言三段論法、両刀論法など）

7、帰納推理、8、記号論理学初歩

という順序で検討をすすめていく。それぞれのテーマの細かい内容については、講義時に話をすることとする。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解いて、論理的な思考回路が身につくように工夫する。出席を重視する。

成績評価の方法
教科書／テキスト

年間5回の小テストをおこなって、成績を出す。したがって、追試験はおこなわない。

山下太郎他著『新しい認識の論理』（公論社）3,200円

履修コード	209701
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	<small>やまぐち まさひろ</small> 山口 祐弘

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

論理学の基本思想を学ぶことによって、正しく思考し語る態度を身につける。

前期

- ①論理学の課題と目標
- ②思考の基本原則、同一律・矛盾律・排中律・理由律
- ③伝統的論理学と弁証法
- ④論理的思考の要素、概念・判断・推理
- ⑤推理の方法、直接推理
- ⑥推理の方法、間接推理
- ⑦蓋然的推理、帰納と類推
- ⑧誤謬論
- ⑨パラドックス
- ⑩論理と科学

後期

- ①記号論理学の起源
- ②命題論理学
- ③命題関数と真理表
- ④標準形
- ⑤命題論理の公理体系
- ⑥体系の無矛盾性と完全性
- ⑦命題の内部構造
- ⑧述語論理学の基本概念
- ⑨定理の演繹
- ⑩伝統的論理学の記号化

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

日常の思考と言語表現における論理性に注意をむけること。
中間および期末試験による。
山下太郎「新しい認識への論理」(公論社)

(2) 社会分野

履修コード	219501
科目名	教育学〔デス・エデュケーション〕
担当者名	柳堀 素雅子 <small>やなぎほり すかこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	人間の生と死の問題を多角的な視点から分析していく。人間は生と死の問題をどのように考えてきたのかを、歴史的な流れの中で哲学的視点、宗教的視点、文化的視点、民族的視点などさまざまな方向から見ていく。主なテーマの一つは、バイオエシックスを中心に医療的な問題からみた人間の生と死について考える。もう一つのテーマは戦争における生と死の問題について考える。講義終了時には、自分の死生観をしっかりと確立できるようにすることが目標である。
講義の内容／授業スケジュール	1～2回日本において死の問題がさかんに論じられるようになったのはなぜか？ 3～4回欧米におけるバイオエシックスやデス・エデュケーション成立の背景 5～6回日本の学校教育とデス・エデュケーション 7～8回バイオエシックスとは何か 9～11回アメリカのバイオエシックス、ヨーロッパのバイオエシックス、日本の生命倫理 12～15回討論と結論 16～17回夏休みの課題を踏まえて改めて生と死の問題を考える。 18～19回戦争と人間の死の問題 20～22回第二次世界大戦、ベトナム戦争、冷戦と終結 23～25回日本人と戦争の問題 26～27回アメリカ人と戦争の問題 28～29回ヨーロッパと戦争の問題 30回一年間の授業を通じて自分の死生観を再考する。
履修上の留意点	レポート課題や討論のために何冊も本を読んでもらうので、本を読みこなす気力と能力のない人は、受講しても意味がありません。
成績評価の方法	出席、レポート課題の内容、討論の状況など多角的な視点から総合的に評価する。欠席した場合は授業についていけなくなるので、自動的に不可になる。
教科書／テキスト 参 考 書	使用しない。 授業中に必要に応じて紹介する。

社会分野

履修コード	219601
科目名	教育心理〔大学生の心理〕
担当者名	石橋 達也 <small>いしばし たつや</small>

講義の到達目標(ねらい)	本授業では、大学生を中心とした青年期の心の在り方の特徴や問題点およびその発達上の課題について、教育心理学や教育臨床の観点からの理解を深め、青年期の発達課題の達成にも役立つ基礎知識を習得することを目指して学んでいく。
講義の内容／授業スケジュール	前期の授業では、主に心理発達の観点から青年期の位置づけと発達課題などについて学び、アイデンティティ確立の問題などを概観します。また後期の授業では、青年期の形成に関する要因とそれに関連した心理的問題について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴および心理社会的な要因などについて検討していきます。 第1回：講義の概要説明、第2回：教育心理学における青年の問題、第3～4回：生涯発達における青年期の意義と特徴、第5～7回：青年期に関する心理発達の要因と過程、第8～9回：青年期をめぐる主な心理学理論、第10回：日本の青年の戦後史と今後、第11～12回：青年期における自我への関心の高まり、第13～14回：青年期の発達課題としての自我の形成、第15回：前期末試験 第16～17回：青年期におけるジェンダー、第18～20回：青年期における家族関係、第21～22回：青年期における友人関係、第23回：青年期における恋愛・異性関係、第24～25回：青年期における社会・学校との関係、第26～27回：青年期における生き方と文化との関係、第28～29回：青年期における心理と行動の問題、第30回：後期末試験
準備学習	日頃から、マスメディア報道などで青年に関するニュースについて関心を持つこと。
履修上の留意点	履修学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。
成績評価の方法	成績の評価は、前期末と後期末の計2回の試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して総合的に行ないます。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	中里至正・松井洋・中村真「自己理解のための青年心理学」(八千代出版) 2,100円。 授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。 受講学生には、「学ぶ意欲」をしっかりと持って積極的に取り組むことを期待します。

履修コード	219101・345001
科目名	経済学〔現代経済と人間〕
担当者名	貝塚 亨

講義の到達目標(わらい)	経済学とは、モノと金を対象とした学問であると思われがちであるが、モノと金を媒介とした人間と人間との社会的な関係を明らかにするものである。そこで、本講義では、経済学の理論とともに、経済社会における人間のあり方を理解し、今後の経済社会を展望することを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	以下を予定している。 1回 講義概要 2回 経済学とは何か 3～4回 経済学の歴史 (1) 古典派経済学 5～8回 経済学の歴史 (2) 2つの流れと現代経済学 9～11回 商品・貨幣 12～15回 資本主義的生産 16～19回 金融と商業 20～23回 財政と政策 24～26回 貿易 27～29回 現代経済の課題 30回 まとめと展望
準備学習 履修上の留意点	日常的に、新聞を読むこと。 本講義では、毎回リアクションペーパーの提出を求めるので、受身ではなく積極的に講義に参加することを望む。
成績評価の方法	以下を合算して評価する。 リアクションペーパーの提出を含めた受講状況 夏期レポート 学年末テスト
教科書／テキスト 参 考 書	指定しない。 講義中に、適宜指示する。

履修コード	219001
科目名	経済学〔現代社会と市場経済〕
担当者名	畠中 貴

講義の到達目標(わらい)	諸々の経済現象をよりよく理解するための理論(ミクロ経済学・マクロ経済学)について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。
講義の内容／ 授業スケジュール	経済は家計、企業、政府の三種類の主体が行っている経済活動によって成り立っている。前期は家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、そして家計と企業が互いに影響を及ぼし合う場である市場について説明する。 後期は市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース(市場の失敗)、政府が行っている経済活動、国内総生産(GDP)、不況と失業、物価の変動、国際貿易について説明する。
履修上の留意点	講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するにはそれなりの労力と時間を必要とする。世界一頭のいい人であっても、テキストを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。受講者は、テキストを何度も読み返し、自分が理解できているのがどこまで、理解できていないのがどの部分なのかを確認するという地道な作業を、一年を通じて行わなければならない。分からない部分については分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。
成績評価の方法	基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。
教科書／テキスト	授業時に配布するプリントをテキストとする。

履修コード	219201
科目名	経済学〔現代経済理解へのガイド〕
担当者名	ふくだ しん 福田 慎

講義の到達目標(ならい)

現在社会は、経済と共に大きく動き続けている。経済学を理解することは社会科学の分野において非常に有意義なことであり、社会に出てからも役立つことが多いと考えられる。本講義は、基本的な経済理論を学び、実社会との対比を行うことで、経済学の役割を理解してもらうことを目的としている。特に、マクロ経済を扱う際には、日本経済を例に挙げ、これまでとこれからの日本経済について考えてもらえる講義を旨とする。

講義の内容／
授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンスと成績評価
2. 消費者理論 (1)
3. 消費者理論 (2)
4. 企業の行動 (1)
5. 企業の行動 (2)
6. 完全な労働市場
7. 資本市場
8. 競争市場の効率性 (1)
9. 競争市場の効率性 (2)
10. 独占、寡占、独占的競争 (1)
11. 独占、寡占、独占的競争 (2)
12. 競争の促進 (1)
13. 競争の促進 (2)
14. 不完全情報 (1)
15. 不完全情報 (2)

(後期)

1. マクロ経済学とは
2. マクロ経済学の基礎 (1)
3. マクロ経済学の基礎 (2)
4. 金融政策と財政政策 (1)
5. 金融政策と財政政策 (2)
6. 金融政策と財政政策 (3)
7. 物価の動きと失業 (1)
8. 物価の動きと失業 (2)
9. 経済政策の波及メカニズム (1)
10. 経済政策の波及メカニズム (2)
11. マクロ経済学と日本経済 (1)
12. マクロ経済学と日本経済 (2)
13. マクロ経済学と日本経済 (3)
14. マクロ経済学と日本経済 (4)
15. 後期の復習

履修上の留意点

数学の知識は特に必要としません。

成績評価の方法

試験60%、レポート40%で評価します。

教科書／テキスト

J. スティグリッツ『入門経済学第3版』東洋経済新報社

参 考 書

ミクロ経済学：J. ステグリッツ、C. ウォルシュ『ミクロ経済学第3版』東洋経済新報社

そ の 他

マクロ経済学：N. グレゴリー・マンキュー『マンキューマクロ経済学 I 入門編』、東洋経済新報社
事前に配布する資料と板書による講義形式です。

履修コード	345101
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	枝松 正行

講義の到達目標(わらい)	社会科学論とは社会科学の方法についての学である。講義では、社会科学史を学び、社会科学の方法を代表する二つの立場を統一的に理解して、1929年以後の世界金融危機にあえぐ現代社会の構造と変動の全体的把握の方法を探究する。同時に社会科学としての未来社会論についても考える。
講義の内容／ 授業スケジュール	社会科学論は個々の個別社会科学の成果と方法を分析・総合し、一つの総体としての生きた現実社会の運動・発展法則を解明する。この法則は、取り除くことも法令で禁止することもできないが、それを認識することによって、未来社会への分娩の苦痛を緩和することはできるからである。 前期講義と後期の前半までは、社会発展の総体的把握に不可欠な社会科学史上の方法理論を概説する。後期の後半からは、資本主義の発展諸段階のなかでこれを検証し、現代グローバル金融資本の「新世界秩序」と日本の「構造改革」や「世界金融危機」の現実を必然性の科学と合理性の科学という複眼思考で総括する。併せて、21世紀の国際社会と日本が直面する人類史的課題としての科学的な未来社会論の展望も試みる。 (1) ガイダンス (2) 社会科学論とはどういう学問か (3) 形而上学と論理学 (4～5) 形式論理学の三大原則と矛盾 (6) アフォリズムと弁証法 (7～9) 弁証法論理学の基本法則 (10) 経済的社会構成体の歴史理論と経済学批判 (11～13) 生産力・生産関係の弁証法と唯物史観 (14) 必然性の社会科学と土台・上部構造の社会理論 (15) 中間試験 (16) 宗教社会学と理解社会学 (17～18) 理念と利害状況の複眼思想的歴史観 (19) 動機理解の社会理論と合理性の社会科学 (20) 必然性の社会科学と合理性の社会科学の総合 (21～25) 世界資本主義の発展諸段階と20世紀革命史・虚構の検証 (26～28) 「新世界秩序」と「構造改革」の破綻としての「世界金融危機」 (29) アソシエーション社会への転換 (30) 期末試験
準備学習	教科書や参考書は各自読み進めておくこと。社会科学論の真の教科書は常に生成しつつある全体としての現実社会そのものであるから、現実社会の最新状況についてメディア等を通じて日頃から自分自身の意見や考えをまとめておくことも本講義に不可欠の予習となる。
履修上の留意点	また毎回のノートは必ず読み返して復習し、とくに専門用語は早期にマスターしておくこと。 本講義は、前半が理論編、後半が検証・応用編である。精励出席が前提であり、毎回出席を取る。講義は常に現実社会の動向を分析の俎上にのせながら進めるので質問や意見・要望があればカード等で積極的に提出すること。次回授業の冒頭に匿名で紹介・応答し、可能な限り講義内容にも反映させていく。必ずノートを取り、復習すること。専門用語については確認テストも随時行う。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席・平常点(20%)と前・後期末(計2回)の授業内試験(80%)等により総合的に評価する。
参 考 書	大塚久雄著『社会科学の方法』岩波新書 本山美彦著『金融危機後の世界経済を見通すための経済学』作品社 関岡英之著『拒否できない日本』文春新書 同 著『奪われる日本』講談社現代新書

履修コード	219401
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義の到達目標(ねらい)

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。アメリカに端を発した経済危機のなかで、経済格差と貧困の問題は深刻化しています。世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているとき、他方、中東などの地域では戦闘の火だねが拡大しています。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の発展にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 社会科学を始めるにあたって
- 2～3 思考する楽しみ
- 4～5 社会科学とは何か
- 6～12 社会の歴史的発展と社会思想
- 13～14 社会科学の生誕：ホッブスとロック
- 15～17 資本主義経済の把握：スミスとリスト
- 18～20 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
- 21～24 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
- 25～ 現代社会の思想的諸潮流

履修上の留意点

なお、現代社会の時事的諸問題については、折に触れてとり上げ解説する予定です。
1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。毎回出席し、丁寧にノートを取ることを勧めます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験の成績で評価します。

教科書／テキスト
参 考 書

- 特に指定しない。
- 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

履修コード	215901・216001
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	おびよんさん 呉 炳三

社会分野

講義の到達目標(わらい)	<p>社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>(前期) 社会学の基礎概念： (1)はじめに、(2)社会学とは、行為論として(3~4)社会学における行為、(5)行為者としての個人、(6)社会化と人間形成、(7~8)国民性についてグループ討議、(9)日本の行為論、集団論として(10)集団の概念、(11)集団の種類、(12)官僚制理論、小集団論、(13)日本の集団論、(14)おわりに、(15)前期テスト</p> <p>(後期) 現代社会の特徴的な諸相： (1)前期テストの解説、(2)家族とは、(3~4)家族の機能、(5)アダルトチルドレン・摂食障害についてビデオをみる、(6)現代における恋愛、(7)結婚、(8)自殺について班ごとのディベート、(9)少年犯罪についてビデオをみる、(10)少子・高齢、(11)フリーター・ニート・引きこもり、(12)格差社会に関する班ごとのディベート、(13)就職・転職・リストラ、(14)ジェンダーとフェミニズム(男らしさ・女らしさ)、(15)後期テスト</p> <p>以上、講義を予定しているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。</p>
履修上の留意点	<p>本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みや積極的にノートをとることが求められる。</p> <p>なお、辞書を使用するため必ず毎回持参することと、数回の宿題があるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。</p>
成績評価の方法	<p>本講義は、初回に重要な説明を行うため、必ず出席の方が望ましい。</p> <p>(1)出席状況(遅刻厳禁)、(2)前・後末に行う筆記試験、(3)宿題、(4)グループ討議やディベートの結果などより総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。</p>
教科書／テキスト 参 考 書	<p>教科書については、開講時に説明する。</p> <p>講義中に、その都度紹介する。</p>

履修コード	216301
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	呉 炳三 <small>ひょうさん</small>

講義の到達目標(ねらい) 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容／授業スケジュール (前期)社会学の基礎概念：
(1)はじめに、(2)社会学とは、行為論として(3~4)社会学における行為、(5)行為者としての個人、(6)社会化と人間形成、(7~8)国民性についてグループ討議、(9)日本の行為論、集団論として(10)集団の概念、(11)集団の類型、(12)官僚制理論、小集団論、(13)日本の集団論、(14)おわりに、(15)前期テスト

(後期)現代社会の特徴的な諸相：

(1)前期テストの解説、(2)家族とは、(3~4)家族の機能、(5)アダルトチルドレン・摂食障害についてビデオをみる、(6)現代における恋愛、(7)結婚、(8)自殺について班ごとのディベート、(9)少年犯罪についてビデオをみる、(10)少子・高齢、(11)フリーター・ニート・引きこもり、(12)格差社会に関する班ごとのディベート、(13)就職・転職・リストラ、(14)ジェンダーとフェミニズム(男らしさ・女らしさ)、(15)後期テスト

以上、講義を予定しているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点 本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みや積極的にノートをとることが望まれる。

なお、辞書を使用するため必ず毎回持参することと、数回の宿題があるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法 本講義は、初回に重要な説明を行うため、必ず出席の方が望ましい。
(1)出席状況(遅刻厳禁)、(2)前・後末に行う筆記試験、(3)宿題、(4)グループ討議やディベートの結果などより総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書／テキスト 教科書については、開講時に説明する。
参 考 書 講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216101
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	武山 梅乗 <small>たけやま うめのり</small>

講義の到達目標(ねらい) 「文化を語ることに社会学が何ができるのか？」という問いに対して答えることは、これまで社会学にとって最も重要な使命の一つであったし、世界が「文明の衝突」や環境破壊、グローバル経済の矛盾といった危機的状況を迎えている現在、社会学において文化をきちんと位置づけることは喫緊の課題であるといえるでしょう。本講義は、文化を射程におさめた社会学理論を学ぶことを通じて、人と人が共生する意義を把握すると同時に、それを援用して身近な文化について理解を深めることを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール 第1~3回：文化とアイデンティティの問題(私とは何か、自我の社会性、アイデンティティと脱アイデンティティ)、第4~7回：国家とエスニシティ(国民国家とは何か、人類館事件と方言論争、エスニシティとく沖縄)、大城立裕の作品にみる沖縄、第8~11回：ジェンダーと家族(ジェンダーとフェミニズム、女性美とダイエット、恋愛における男らしさ、ジェンダーと家族)、第12~15回：文化と逸脱(逸脱をめぐる諸理論、ラベリング理論、少年法しソーシャルインクルージョン、自殺をめぐる諸問題)、第16~19回：消費社会という文化(『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』、産業社会と消費社会、記号消費、消費社会における広告の意義、ブランドとCI)、第20~24回：組織における文化(組織と官僚制、官僚制の逆機能、世界のマクドナルド化)、第25~27回：文化的再生産(文化資本とハビトゥス、社会階層、格差の問題)第28~30回：文化をみる目-社会学における古典的な文化の理論-(文化の型、社会規範、知識社会学)

履修上の留意点 講義内容に興味関心があり、主体的に講義の臨み覚悟と気力のある学生だけが履修してほしいと思います。

成績評価の方法 出席状況を勘案した上で、毎回提出してもらうリアクションペーパーの内容(1割)、講義期間中に4回提出してもらう課題(4割)、学期末の定期試験(5割)などから総合的に評価します。

教科書／テキスト 武山梅乗・呉炳三『社会学の扉をノックする』学文社、1575円、ISBN978-4-7620-1969-2
参 考 書 坪井健編著『新しい社会学を学ぶ』学文社、その他の参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	216201
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	武山 梅乗 <small>たけやま うめのり</small>

講義の到達目標(ねらい) 一般的に社会学は難しい学問だと思われがちですが、必ずしもそうではありません。自分というもの、自分の家族というもの、自分が暮らしているこの国やこの地球に起こっていることを身近に引き寄せて考察の対象とする力が社会学にはあると思います。本講義は、社会学の方法や理論を学ぶことを通じて、人と人とがどうすれば共生できるのかを模索すると同時に、それを援用して自分、人間、そして社会なるものについて理解を深めることを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール 第1回:社会とは何か、第2～5回:わたしをめぐる現象(自我、アイとミー、アイデンティティとアイデンティティ・クライシス、脱アイデンティティ)、第6～8回:私とみんなをつなぐもの(社会的行為とダブルコンティンジェンシー、役割とドラマトゥルギー)、第9～12回:集団と組織(社会集団とそのタイプ、官僚制の逆機能)、第13～15回:合理化する世界(テイラーシステムとフォーディズム、マクドナルド化する世界)、第16～20回:消費社会と社会的性格(資本主義と産業社会、消費社会と社会的性格、記号消費と広告)、第21～24回:家族とジェンダー(核家族化、家族機能の変化、ジェンダーと家族、子どもと教育する家族)、第25～27回:地域社会の現在(コミュニティとは何か、国土計画と過疎過密、コミュニティとネットワーク)、第28～30回:国民国家とエスニシティ(日本における国民国家の形成、エスニシティと<沖繩>をめぐる問題)

履修上の留意点 講義内容に興味関心があり、主体的に講義の臨む覚悟と気力のある学生だけが履修してほしいと思います。

成績評価の方法 出席状況を勘案した上で、毎回の提出してもらうリアクションペーパーの内容(1割)、講義期間中に4回提出してもらう課題(4割)、学期末の定期試験(5割)などから総合的に評価します。

教科書／テキスト 武山梅乗・呉炳三『社会学の扉をノックする』学文社、1575円、ISBN978-4-7620-1969-2

参 考 書 坪井健編著『新しい社会学を学ぶ』学文社、その他の参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	215801・344201
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	南後 由和 <small>なんご よしかず</small>

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、普段何気なく目にしている光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとしています。そのことにより、現代社会の背後で起きている事象を広く見通す(まなざし)を養い、〈社会学する〉実践感覚をつかむことを目指します。

講義の内容／授業スケジュール (1) イントロダクション、新しい社会学のために(2～6) 親密性と公共性、相互行為と自己(7～10) 社会秩序と権力、組織とネットワーク(11～13) メディアとコミュニケーション、歴史と記憶(14～18) 空間と場所、環境と技術(19～22) 医療・福祉と自己決定、家族とライフコース(23～26) ジェンダーとセクシュアリティ、格差と階層化(27～29) 文化と再生産、社会運動と社会構想(30) 総括

準備学習 取り上げるトピック(章)は、多少変更の可能性がありますが。授業の進度に合わせて、事前に教科書の各章の内容を読んでおくようにして下さい。

履修上の留意点 教科書をベースに、具体的なトピックや映画を紹介しながら講義を進めます。

成績評価の方法 出席、授業毎の感想メモ、前・後期のレポートにより総合的に評価します。

教科書／テキスト 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣)3,500円

参 考 書 授業中に随時紹介します。

そ の 他 YeStudyを活用します。

履修コード	344301
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	橋爪 敏

講義の到達目標(ねらい)	この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。 前期1)～8)社会学とは何か、社会学の対象と方法、社会科学としての社会学9)～15)歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書的 sociology、マルクス主義の影響。 後期は16)～20)フランスにおける現代社会学への歩み21)～25)ドイツにおける現代社会学への歩み26)～30)現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にしたい。
成績評価の方法	成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社) 高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房) R. ニスベット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫) その他授業中に適宜指示したい。

履修コード	218701
科目名	政治学〔社会生活とデモクラシー〕
担当者名	白鳥 浩

講義の到達目標(ねらい)	「政治」とは何でしょうか。この講義においては、「政治」とは、「未来の選択である」とする視座に立ち、政治学の全体像を学んでもらいます。これは、しばしば「可能性のアート」とであるといわれるゆえんでもあります。そうした「未来の選択」、「可能性のアート」を扱う学問である「政治学」とは何か、どのように発展してきたのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。
講義の内容／ 授業スケジュール	以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。 I、序論 政治学の基礎概念 (1～4) II、古代の政治理論 (5～8) III、中世の政治理論 (9～11) IV、近代政治理論の形成 (12～15) V、近代批判の政治理論 (16～18) VI、現代の政治理論 (19～22) VII、国際政治の理論 (23) VIII、現代の政治過程理論 (24～26) IX、ワールド・ポリティカル・サイエンスの形成 (27) X、現代日本の政治分析 (28～30)
履修上の留意点	関心を持って、講義に出席してください。
成績評価の方法	試験を中心とするが、総合的に判断する。
教科書／テキスト 参 考 書	白鳥『都市対地方の日本政治：現代政治の構造変動』(芦書房)2009年 眞柄・井戸『比較政治学』(放送大学教育振興会)2004年 藤原『西洋政治理論史』(早瀬田大学出版部)1985年 授業内で適宜、指示します。

履修コード	218801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	<small>とみさき たかし</small> 富崎 隆

社会分野

講義の到達目標(ねらい)

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがあります。そして、米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったと議論されています。しかし、世界政治の方向性がはっきりとした訳ではありません。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通するようになってきました。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できません。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となります。政治学を学ぶ基本的な意義もここにあります。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したいと思います。講義全体としては、現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとします。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化の意味についても検討します。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～2) 講義のねらいと政治を学ぶ意義

(3～14) マクロ政治学—国家と自由民主主義体制の枠組み；

政治・権力・国家の意味

望ましい国家のあり方(国家の仕事の範囲・国家の運営方法)

民主制・自由民主主義体制の意味

国家の歴史的展開

民主化と体制変動

自由民主主義体制の比較枠組み

(15～26) ミクロ政治学—自由民主主義体制の作動メカニズム；

政権形態・執政部

政党と政党制

有権者の投票行動と選挙

官僚制と議会

利益集団とマスメディア

日本の民主政治

(27～30) 国際政治学；

国際政治の意味

国際政治の主要理論潮流

日本の外交政策

冷戦後の世界政治をみる視点

成績評価の方法

テスト及びレポート・出席など総合的に評価

教科書／テキスト

堀江湛編『政治学・行政学の基礎知識編』一藝社 2625円 ISBN-10: 4901253913

参 考 書

講義時、適時指示

履修コード	344801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	眞下 英二

講義の到達目標(ねらい)

そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容／
授業スケジュール

春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。

- (1)政治の本質について考える
- (2～3)権力とは何か
- (4～5)近代国家と現代国家
- (6)政治思想とイデオロギー
- (7)「自由」の持つ意味
- (8～9)民主主義について考える
- (10～11)近代政治の基本原理
- (12)議院内閣制と大統領制
- (13)各国の政治制度
- (14～15)現代国家と官僚制

秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

- (16)現代政治と政党システム
- (17)圧力団体
- (18)現代の政治過程
- (19)選挙
- (20)投票行動と政治意識
- (21)現代の大衆社会
- (22)政治的コミュニケーション
- (23～24)現代社会における住民運動と政治参加
- (25)地方自治と市民の政治参加
- (26～27)日本の政治
- (28)国際政治
- (29～30)政治学の理論

準備学習
履修上の留意点

普段から、新聞や雑誌などに目を通し、時事問題に対する関心を持つことを期待したい。この講義では、政治学や社会科学全般に関する知識は必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての最低限の知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。詳細については、講義中に指示する。特に指定しない。
加藤秀治郎『政治学 第2版』（芦書房）2006年
加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年
他は追って指示する。

履修コード	218901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	やまざき のぞむ 山崎 望

講義の到達目標(ねらい) 本講義の副題は「国際社会と日本」です。国内政治と国際政治の相違、そしてグローバル化に伴う世界秩序の再編について、基礎的な理論や考えを学ぶことが本講義の狙いです。

講義の内容／授業スケジュール 前期は近代の国際政治の仕組みの形成と、国内政治について論じます。
 (第1・2回) 近代社会の形成と変容
 (第3・4回) 政治と権力
 (第5～8回) ウェストファリア秩序、世界大戦1・2、植民地主義
 (第9～11回) 政治体制論、自由民主主義、政党論、
 (第12～15回) 格差社会論、グローバル経済と福祉国家
 「リーマンショック」と世界経済危機1・2
 について扱います。

後期はグローバル化時代の民族・宗教問題、世界秩序の再編を中心に扱います。
 (第16～20回) 国民国家、ナショナリズム、同化主義、多文化主義、移民
 (第21～26回) 「9・11」対米同時多発テロ以後のアメリカ、
 世界秩序の多極化、「イスラーム原理主義」
 人道的介入論とグローバル・テロリズム
 地域主義 (EUとアジア共同体構想)
 (第27～30回) 新しい民主主義、フェミニズム、市民社会論、
 国境を越える民主主義論

履修上の留意点 新聞や本を読み、インターネットなどで情報を集め、問題意識をもって出席してください。とくに基礎知識を得るためにも、毎日新聞を読む習慣を身につけてください。

成績評価の方法 年末の試験。(ただし、病欠や公欠席などの正当な理由なくしてレスポンスカードの提出率が5割を切る場合、試験を受けても単位の取得は認めない)

教科書／テキスト 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマ
ISBN 4-641-12168

参考書その他 講義中に適宜指摘します。
 講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定です。
 講義の後半10分にレスポンスカードを配るので、質問や感想を書いてください。
 翌週の講義の冒頭に簡易な応答を行います。

履修コード	344901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	やまむら つねあ 山村 恒雄

講義の到達目標(ねらい) 「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：政治とは何か、第2～4回：政治社会、国際政治と国内政治の違い、第5～7回：ウェストファリア・システムの成立と崩壊、現代の国際政治の特質、第8～10回：東西冷戦の形成と崩壊、その後の世界秩序、第11～13回：地球的問題群、第14～15回：地球環境破壊について、第16回：国際連合設立者の意図、第17～20回：国連改革の必要性和国際社会の対応について、第21～23回：国連改革に対する日本の対応、第24回：ハイレベルパネル報告書について、第25回：日本の国連中心主義について、第26～28回：国連が直面している問題について、第29～30回：21世紀の国連のあり方について

履修上の留意点 受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法 受講生の数にもよるが、人数が少ない場合は年2回のレポートで評価する。前期のレポートを提出した者だけが、後期レポートを提出することができるので、評価を必要とする人は、2回のレポートをそれぞれの期日までに提出すること。人数が多い場合は、前期レポート、後期筆記試験で評価する。その場合の割合は、等分とする。

教科書／テキスト 特定の教科書は使用しない。

参考書 授業中、随時指定。

履修コード	216501・345201
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	新行内 康慈

講義の到達目標(ねらい) 統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容／授業スケジュール
 前期
 1. 統計学の概要 2-4. 度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7. 確率 8. 演習I
 9-10. 確率変数と確率分布 11. 平均・分散と期待値 12. 標準化 13. 正規分布表 14. 演習II
 15. まとめ・補足
 後期
 16. 母集団と標本 17. 統計量と標本分布 18-19. 点推定と区間推定 20-21. 仮説検定
 22-24. その他の推定・検定 25. 演習III 26. 散布図と相関係数 27. 回帰分析
 28. クロス集計表と独立性の検定 29. 期末試験 30. まとめ・補足

履修上の留意点 統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法 以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。

①演習I～III：45%（各15%）＋期末試験55%

②期末試験：100%

教科書／テキスト
 参 考 書
 テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。
 石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN4-489-00407-9
 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN4-534-03036-3
 永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN4-8171-0266-7
 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN4-13-042065-8
 その他 配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。配布資料・説明資料等はYeStudyに公開します。

履修コード	216401
科目名	統計学〔社会現象の統計的分析〕
担当者名	田中 正光

講義の到達目標(ねらい) 現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出したり、自分の目的に適した分析をするためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々な場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容／授業スケジュール (1～4) 総和記号の使い方、代表値の計算 (5～6) データの散布度の計算 (7～9) 度数分布 (10～11) 相関係数 (12～13) 回帰分析 (14～16) 確率 (17) 確率変数 (18～24) 離散型確率分布、連続型確率分布 (25～26) 標本と標本分布 (27～28) 統計的推定 (29～30) 統計的仮説検定
 準備学習 各講義の前に、図書館などで「統計学」の入門書や統計学辞典で専門用語の最低限の意味を理解していれば理想的である。

履修上の留意点 通常の講義では電卓(関数電卓が望ましい)を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法 前期末と後期末に授業内で試験を行い、この両試験の点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。

教科書／テキスト
 参 考 書
 指定なし。
 稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』(共立出版)2004年
 室淳子・石村貞夫『Excelでやさしく学ぶ統計解析』(東京図書)2004年
 鳥居泰彦『はじめての統計学』(日本経済新聞社)2003年

そ の 他 東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』(東京大学出版会)1997年
 授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を取め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

履修コード	217301・217401
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	内山 ^{うちやま} 明子 ^{あきこ}

講義の到達目標(ねらい)	グローバル化により、近年、日本でも様々な文化をもつ人々との日常生活空間の共有化が進展する一方、排外的なナショナリズムの動きも拡大している。このような時代に自分たちと異なる人々とどう関係を築いていくのかを考え実践していくうえで、文化人類学は一つの指針になりうる。本講義では、これからますます加速化する多文化状況を様々な局面から柔軟に捉えていくための一助として文化人類学の基礎知識を提供していきたい。
講義の内容／授業スケジュール	(1)文化人類学とは (2~6)文化人類学の基本的枠組み：「未開」と「文明」、文化相対主義、フィールドワークと民族誌、オリエンタリズム、近代世界システム (7~11)狩猟採集民の世界：人類史の中での位置づけ、近代化以前の暮らし、近代化による変化と先住民としての権利 (12~15) 民族と人種：様々な民族概念、民族と国家、人種主義と優生学 (16~20)結婚と家族：インセスタブーと女性の交換、生殖医療の発展と家族研究、セックス、ジェンダー、セクシュアリティ (21~25) 儀礼と分類：分類と分類からはずれるもの、通過儀礼、コミュニタス (26~30) 国家と宗教：人類学による宗教研究概略、政教分離と信教の自由、宗教復興
準備学習	授業で紹介する参考文献等に事前に目を通しておいってください。
履修上の留意点	授業に関連するテーマを日々の生活の中で探し出し具体的に考えていくことで、授業の内容をより身近なものとして反芻していったほしい。
成績評価の方法	終講後に行う期末試験(筆記試験)を基本に、夏休みの課題レポートを加味して評価します。出席は取りませんが、授業内に行うビデオ鑑賞の感想文提出などを参考にします。
教科書／テキスト	指定しません。参考文献は授業内で随時紹介します。

履修コード	217201
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	小川 ^{おがわ} 順敬 ^{としゆき}

講義の到達目標(ねらい)	文化人類学(以下、人類学)とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。
講義の内容／授業スケジュール	人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15-6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。 この講義では、そのように変化し続ける異文化社会を、文化人類学はどの様に理解しようと試みてきたのか、文化人類学の学説の歴史をおって考えてみることにしたいと思います。
準備学習	第1回：この授業の進め方、第2~3回：文化人類学とその調査対象について、第4~5回：文化について、第6~7回：文化人類学の方法について、第8~9回：文化人類学の学説について、第10~15回：社会進化論と異文化、第16~21回：機能主義理論と異文化、第22~28回：文化相対主義と異文化、第29・30回：まとめ
履修上の留意点	授業準備として次回授業で取り上げる内容について教科書の該当箇所、もしくは事前に関連資料のコピーに眼を通しておくこと。また、授業で行う小試験の内容は必ず復習しておくこと。
成績評価の方法	原則として、年8回の「小試験」(出席点として処理)が2割、夏期レポート(前期試験に相当)が4割、年度末の筆記試験が4割として評価します。成績評価の具体的な方法、レポート課題の内容、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
教科書／テキスト	祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書560番 中央公論社)。また関連資料のコピーを配布します。
参考書	講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

履修コード	216801
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	加藤 之晴 <small>かとう ゆきはる</small>

講義の到達目標(ねらい) 文化人類学という学問では、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目します。

そして「フィールドワーク」と呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか?」といった問いを立て、その答えを探し求めていくなかで、人間存在についての理解を深めることを目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的な解説をおこないません。つぎに言語・身体・宗教・病い・食などのキーワードを挙げ、世界各地の具体的な事例をもとに、文化人類学の世界ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのかということをお勉強していきます。

- 第1回：ガイダンス
- 第2回～5回：文化人類学の視点と手法。
- 第6回～10回：文化変容とはなにか。
- 第11回～16回：「食」の文化人類学。
- 第17回～22回：人間と「境界」。
- 第23回～27回：文化人類学からみた「宗教」。
- 第28回～30回：まとめ。

履修上の留意点

・授業中・授業後の質問は大歓迎です。積極的な授業態度で臨んでくれると、こちらも張り合いが出来ます。

・原則的に板書はしません。パソコンのプレゼンソフトを用いて授業を進めていきます。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価しますが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とするかもしれません。

教科書／テキスト
参 考 書

特定の教科書は使いません。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布します。授業時に必要に応じて紹介します。

履修コード	344401
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	川上 新二 <small>かわかみ しんじ</small>

講義の到達目標(ねらい) 世界のさまざまな民族や社会を理解するために、さらには人間を理解するために文化人類学が提出してきた見方、考え方を学びながら、文化人類学による文化への接近方法を理解します。続いて、文化人類学の見方、考え方を通じて東アジアの各社会（日本、中国、韓国）を比較考察しながら、それら各社会に対する理解を目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

以下の内容を実際の授業日数に配分して講義します。

1. 文化人類学による文化への接近：(1) 文化人類学について、(2) 文化について、(3) 婚姻、(4) 「父」と「母」、(5) 家族、(6) 出自、(7) 呪術と宗教、(8) 妖術と邪術、(9) 憑依と脱魂、など。
2. 文化人類学による東アジア各社会への接近：(1) 婚姻、(2) 姓氏、(3) 家族、(4) 親族、(5) 相続と養子、(6) 出自集団、(7) 祖先祭祀、など。

準備学習

講義内容の整理を目的としたレポートを成績評価に加えますので、日頃から講義の内容を十分に整理し、まとめておいてください。

成績評価の方法

学期末試験（50%、持ち込み不可、講義内容を踏まえての記述式試験）と数回のレポート（50%。4～6回を考えています。講義内容を課題に応じて1200字以上でまとめる。字数および提出期限厳守。氏名、題名は字数に含めない。一行20字もしくは30字もしくは40字のワープロで作成するか、手書きの場合には原稿用紙で作成のこと。レポート用紙への手書きのものは受理しない）で評価します。課されたレポートをすべて提出した場合が成績評価の対象になります。レポートの課題や提出期限は授業の中で指示します。また自主レポートも随時、受け付けます（講義の内容を1200字以上でまとめる。様式等は上記のレポートと同じ）。

教科書／テキスト
参 考 書

プリントを配布します。
授業で紹介します。

履修コード	216901・344501
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	<small>すぎい じゆんいち</small> 杉井 純一

講義の到達目標(ねらい) さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解することの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容／
授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か、2. 文化人類学の歩み(1)、3. 文化人類学の歩み(2)、4. 文化とコミュニケーション、5. 環境と人間(1) 狩猟採集民、6. 環境と人間(2) 牧畜民、7. 環境と人間(3) 農耕民、8. ジェンダー、9. セクシュアリティ、10. 婚姻の形態、11. 家族の多様性、12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教、2. アニミズム、3. シャーマニズム、4. シンクレティズム、5. 儀礼の構造、6. コスモロジー、7. 神話、8. 政治組織、9. 民族とエスニシティ、10. 民族紛争と戦争、11. 開発と文化、12. 移動の民族誌

ビデオを見た感想を問うことがあります。

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円

山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円

佐々木宏幹・村武精一編『宗教学人類学』(新曜社)2,200円

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

そ の 他

履修コード	217101
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	<small>すぎき いつけい</small> 鈴木 一馨

講義の到達目標(ねらい) 文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性に基く「民族」、そして「コスモロジー(宇宙論)」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として東アジアに共有される中国的宇宙論を採り上げ、コスモロジーが現実世界とどのように関係しているのか、また人間社会がそれを持つことの意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、コスモロジーを通して自己の存在意義を説明できる能力を身に付けることを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

第1部. 文化人類学と民族

I. 「文化」と「文化人類学」(1~3)、II. 「民族」とはなにか(4~6)

第2部. 民族とコスモロジー

I. 「コスモロジー」とはなにか(7~8)、II. 世界の背景を読む(9~11)、III. 世界の断絶と連続(12~15)

第3部. 中国的宇宙論の世界

I. 中国的宇宙論の基礎(16~24)、II. 風水と東アジア社会(25~30)

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとついでに行けない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

期末試験(70%)と小テスト(30%)を主たる材料とする。ただし、講義中の質問に対する返答や任意レポートなどによる点数の加算も行なう。また出欠状況や受講態度なども考慮する。

教科書／テキスト
参 考 書

プリントを使用する。

祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』(中公新書560、1990年)840円、ISBN: 4121905601

鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』(講談社選書メチエ244、2002年)1,575円、ISBN: 4062582449

国立歴史民俗博物館編『異界談義』(光文社知恵の森文庫、2008年)724円、ISBN: 9784334785116

渡邊欣雄『風水思想と東アジア』(人文書院、1990年)1,995円、ISBN: 4409410482

履修コード	216701
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	もり まさみみ 森 雅文

講義の到達目標(ねらい)

人間はいかに世界を捉え、他者と向き合い、自己を築くのか。文化人類学は、人々に担われ創造される多様な文化の諸相を考察することで、比較の前提になる「人間とは何か」という問題に接近する。

この講義では、前半は進化的理解を主軸にして人類文化へのまなざしを、中盤は文化相対主義に基づく異文化理解の基礎的な枠組みを代表的なテーマとともに、後半は人間の存在様式についての文化論と多様性を前提とした他者理解の枠組みを民族誌的事例とともに講述する。

テクノロジーの発達にともなって人間の在り方は変貌し、人々が生きる文化のリアリティも刻々と変わっている。ヒトとサル、人間と機械のように、様々な既存の境界は曖昧になっている。地域や時代ごとの文化差だけではなく、多元化する人々の表現に真摯に向き合いながら、各所に立ち現れる「人間」という文化を見つめる柔軟な洞察力の養成を目指す。

【詳細は初講時に提示する。受講者の関心により一部の内容を変更する場合がある】

講義の内容／
授業スケジュール

人類学の潮流

(異文化の在処、人類と文化の概念、フィールドワークの手法)

人類の可能性と進化的理解

(サルからヒトへ、人種と民族、生業と社会：採集狩猟と牧畜・農耕、文化の伝播と地域性)

人間の社会化と文化

(家族・親族、人の一生、性差、贈与・交換と快楽)

文化的秩序と共同性

(言語とコミュニケーション、神話と儀礼、コスモロジー)

人間観とテクノロジー

(近代の個人、シャーマニズム、伝統医療のコスモロジー、科学技術と新しい人間像)

境界を越える

(越境・流転・混淆、異文化理解：環境と情報)

履修上の留意点
成績評価の方法

初回に伝達する履修上の注意事項を確認すること
期末の筆記試験(前期・後期)100%、平常点(授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容)15%までの加算点

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

使用しない

授業時に紹介する

必要に応じてVTR等の映像資料を使用する

履修コード	217001
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	もり まさみ 森 雅文

講義の到達目標(ねらい) 異文化を生きる人々のリアリティを理解するには、どのような方法や態度が必要だろうか。文化人類学は、多様な人間性の表現への妥当な理解を探り、そのまなざしを自文化にも向けながら、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に比較し考察する。

講義の内容／授業スケジュール この講義では、諸民族のコスモロジー（世界観）とアイデンティティに焦点を当てながら、多様性を前提とした他者理解の枠組みを考える。前半は異文化へのまなざし、中盤はコスモロジー理解の基礎的な枠組み、後半は民族や国家を含めたエスニシティの問題を、民族誌的事例とともに解説する。他者や異文化を規定する学問的営為への批判を乗り越えて、異文化とどのように繋がるのかという現在の問題意識も踏まえて、自己や他者に真摯に向き合う洞察力の養成を目指す。

【詳細は初講時に提示する。受講者の関心により一部の内容を変更する場合がある】
異文化理解の潮流

（異文化の在処、人類と文化の概念、フィールドワークの手法、文化と地域の類型的理解）

文化の諸理論：共同性の構築

（言語とコミュニケーション、贈与と交換、家族と親族、人の一生、性差）
コスモロジー

（空間評価のテクノロジー、神話と儀礼、聖地・巡礼、風景）

人間の存在様式

（近代の個人、アニミズム・シャーマニズムからサイボーグまで）

エスニシティ

（国家・民族・人種、植民地と観光、メディアとアイデンティティ、グローバリズムと多文化）

文化を越える

（越境・流転・混濁、文化摩擦と文明の衝突、異文化理解：翻訳と和解）

履修上の留意点 初回に伝達する履修上の注意事項を確認すること

成績評価の方法

期末の筆記試験（前期・後期）100%、平常点（授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容）15%までの加算点

教科書／テキスト

使用しない

参 考 書

授業時に紹介する

そ の 他

必要に応じてVTR等の映像資料を使用する

履修コード	218501
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	あまの せいふく 天野 聖悦

講義の到達目標(ねらい) 法学の基礎理論および憲法の重要事項を理解してもらう。

法学を含む社会科学においては「ことばの定義」が重要である。この定義に基づいて論理的に結論を導き出す思考力を身につけてもらう。

講義の内容／授業スケジュール

【法学】1：存在の法則と当為の法則、2-4：法の本質に関する学説（特に社会契約説）、5-9：法の淵源（憲法・法律・命令・条例・条約・慣習法・判例法・条理）、10-12：法の分類、13-14：法の効力（時・人・所）、15-16：法の解釈および適用、17-18：法律関係（権利および義務）

【憲法】19：日本憲法概史、20：天皇、21：戦争の放棄、22-23：国民の権利および義務、24-25：国会、26：内閣、27-28：司法、29：財政・地方自治・憲法改正・最高法規、30：講義の不足分を補う

準備学習

時事問題を扱うことがあるので、ニュース・新聞等に注目しておくこと。

成績評価の方法

原則として学年末試験による。但し、法学検定等の各種資格試験合格者（履修時、既に合格している者を除く）およびレポート提出者（任意提出）には別途加点する。

教科書／テキスト

青山武憲『法学・憲法講義』八千代出版、本体1748円 ISBN4-8429-0975-8

参 考 書

適宜紹介する。

履修コード	218401
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	織田 晃子

講義の到達目標(ねらい) 法とは何かに始まり、日本国憲法と人権について講義する。
 講義の内容／授業スケジュール (1) 法とは何か・法の目的 (2～10) 立法と司法・法の適用と解釈 (11～20) 日本国憲法と人権 (21～30) 法と社会生活・契約と損害賠償、不法行為と損害賠償、安全配慮義務等々
 履修上の留意点 六法は必ず持参すること
 成績評価の方法 期末試験の成績による
 教科書／テキスト 『判例法学』4版(有斐閣ブックス)、ポケット六法(有斐閣)
 その他 プリント配布

履修コード	217701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	鶏徳 啓登

講義の到達目標(ねらい) よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後60年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容／授業スケジュール 法学の講義は次の内容を中心として行う。
 (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
 (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
 (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。
 (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
 (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
 (6) 各種基本的人権の内容
 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
 (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法 出席状況と試験による。
 教科書／テキスト 小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版)3,500円
 参考書 『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種)及び参考書は教場にて説明致します。

履修コード	218101・218201
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	新田 浩司 <small>につた ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい) 法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義では、法学及び国家の根本法である憲法について、現実が発生する様々な問題にも言及しながら理解を深め、我々が国民として住民として生活する上で必要な法的思考(リーガル・マインド)を養うことを目的としている。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回目	ガイダンス	第14回目	国家の安全保障
第2回目	法学の基礎知識①	第15回目	精神的自由権①
第3回目	法学の基礎知識②	第16回目	精神的自由権②
第4回目	法学の基礎知識③	第17回目	経済的自由権
第5回目	法学の基礎知識④	第18回目	社会権
第6回目	法学の基礎知識⑤	第19回目	参政権
第7回目	法学の基礎知識⑥	第20回目	国務請求権
第8回目	憲法の基礎知識①	第21回目	統治機構①
第9回目	憲法の基礎知識②	第22回目	統治機構②
第10回目	日本国憲法の制定過程	第23回目	統治機構③
第11回目	日本国憲法の基本原理①	第24回目	統治機構④
第12回目	日本国憲法の基本原理②	第25回目	まとめ
第13回目	象徴天皇		

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題も多く、この講義を履修して法的思考を養い、それらの問題を考える知識を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。

教科書／テキスト

なお、適宜、小テスト及び授業の出席確認を予定している。
名雪健二『公法基礎入門』八千代出版 定価(2,400円+税)
(ISBN978-4-8429-1430-5)

参 考 書

小六法(何でも可)があれば持参することが望ましい。

履修コード	217501・344701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	長谷川 日出世 <small>はせがわ ひでよ</small>

講義の到達目標(ねらい) 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール

(1)講義に関する全段的説明、(2)社会秩序と法、(3)～(6)法概念の本質、(7)～(10)法の成り立ちとその分類、(11)～(12)法の解釈、(13)～(15)日本の裁判制度、(16)憲法とは何か、(17)近代憲法の構成原理、(18)日本の憲法史、(19)～(20)日本国憲法の基本原理、(21)～(26)基本的人権の保障、(27)国会、(28)内閣、(29)司法権、(30)一年間のまとめ

履修上の留意点

日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に、教科書を必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。

教科書／テキスト

長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN4-7923-0399-0

履修コード	217901
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	長谷川 日出世 <small>はせがわ ひでよ</small>

講義の到達目標(ねらい) 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール

(1)講義に関する全段的説明、(2)社会秩序と法、(3)～(6)法概念の本質、(7)～(10)法の成り立ちとその分類、(11)～(12)法の解釈、(13)～(15)日本の裁判制度、(16)憲法とは何か、(17)近代憲法の構成原理、(18)日本の憲法史、(19)～(20)日本国憲法の基本原理、(21)～(26)基本的人権の保障、(27)国会、(28)内閣、(29)司法権、(30)一年間のまとめ

履修上の留意点

日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に、教科書を必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。

教科書／テキスト

長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN4-7923-0399-0

履修コード	217801
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	柳瀬 昇 <small>やなせ のぼる</small>

講義の到達目標(ねらい)

この講義は、法の基礎理論、日本国憲法及び民法や刑法などの実定法の解釈論ならびに司法制度論の基礎を学ぶことを通じて、法的なものの考え方を養うことを目的とする。

現代社会に生きる私たちは、多くの法令に拘束される一方、法令によってさまざまな権利・自由を享受することができる。例えば、一般道路を歩行するにも、道路交通法を遵守しなければならないし、商品を購入するということは民法上の売買契約を締結することを意味する。このように、法令は、気づかないところでも、私たちの市民生活に関わっているのである。あるいは、交通反則金を納付しなかったために、刑事裁判を受けなければならなくなったり、悪質なセールスの被害にあってもクーリング・オフの期間を徒過してしまつたために、契約を解除できなくなるなど、法令の規定を知らなかったばかりに損をすることもある。したがって、基本的な法令の知識や法学の基本的な考え方を身につけておくことは、現代社会に生きる私たちにとって、きわめて重要なことである。

自律的な市民にとって有用な法令の解釈の手法を、この講義において、しっかりと身につけてほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

法の基礎理論、市民生活にとって身近な実定法の基礎的知識、わが国の司法制度の概要、日本国憲法の解釈論の基礎の4つについて、概括的に、かつ、平明に講述する。

第1回：法を学ぶ意義、第2回：法の基礎理論、第3-8回：実定法解釈論（家族と法、財産と法、犯罪と法）、第9-12回：司法制度論（民事裁判・刑事裁判の仕組み、国民の司法参加、法律をめぐる人たち）、第13-14回：憲法解釈論入門、第15回：前期の総括、第16-29回：憲法解釈論の基礎（憲法の私人間効力、公務員の人権、幸福追求権、法の下での平等、思想・良心の自由、信教の自由、表現の自由、学問の自由、職業選択の自由、生存権、教育を受ける権利、参政権、国会と内閣、裁判所）、第30回：後期の総括

準備学習

基本的には予習は必要ないが、その代わりに、必ず講義に出席し、復習に努めてほしい。ただし、憲法解釈論を扱う後半のうち数回は、教科書の指定されたページを読んだうえで講義に臨むことを求める。

履修上の留意点

講義の進行を妨げるような遅刻や早退は、厳に慎まれたい。講義を受講する意思のない学生に対しては、学期の半ばでも講義の受講を遠慮してもらうことがある。

成績評価の方法

期末に行う筆記試験（前期・後期各1回）や、授業時間中に適宜行う小テスト等に基づき、総合的に判断する。

90点以上の者を「S」、80点以上の者を「A」、70点以上の者を「B」、60点以上の者を「C」とし、60点未満の者を「F」と評価する。

教科書／テキスト

前半は、教科書を使用しない（授業担当者の作成したレジュメや資料を配布する）。憲法解釈論を扱う後半では、教科書として、佐々木幸寿・柳瀬昇『憲法と教育〔第2版〕』（学文社、2009年）を使用する。

どの出版社のものでもかまわないので、六法（法令集）は、必ず携行されたい。なお、六法については、第1回の講義で説明する。

参考書

前半の講義の参考書として、伊藤正己・加藤一郎＝編『現代法学入門〔第4版〕』（有斐閣、2005年）を挙げるほか、第1回の講義で説明する。

その他

講義の内容に関する質問や学生生活上の相談については、講義の前後またはオフィスアワーにおいて対応する。確実に時間を確保したい場合には、電子メール（noboru@komazawa-u.ac.jp）で事前に連絡をとることをすすめる。

履修コード	217601
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	和知 恵一

社会分野

講義の到達目標(ねらい)

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。六法を使いこなせるようになることも目的の一つとする。

講義の内容／
授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、裁判員裁判の判決が掲載されていたが、どんな事件であるのか、またどんな問題があるのか」など、より up to date な話題を提供したい。また毎回理解確認のための小テストを行う。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで、各項目に2～3時間を割り振ることで進めていく。場合によって順番が変更することがある。また、憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
 - 1 社会に存在する各種の規範
 - 2 法と道徳
 - 3 法とは何か
3. 法の体系と分類
 - 1 法の分類1
 - 2 法の分類2
 - 3 法の分類3
4. 法の目的
 - 1 法的安定性
 - 2 正義の実現
5. 裁判の基準（法源）
 - 1 成文法
 - 2 不文法
6. 法と裁判
 - 1 三審制度
 - 2 民事裁判の進行と原則
 - 3 刑事裁判の進行と原則
7. 法の解釈
 - 1 有権解釈
 - 2 学理解釈
8. 法と道徳をめぐる問題
9. 犯罪と刑罰

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する（全回出席をとります）。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとすることがある。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすいようになるべく前から着席すること。万一遅刻したときは、最前列に着席すること。

- 成績評価の方法 出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。理由なく欠席した者は、受験資格を失う。その試験の得点に、小テストなどの平常点を加味して評価する。
- 教科書／テキスト ○小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
○六法（『ポケット六法（平成23年版）』（有斐閣））
※すでに持っている六法があれば、それで構わない。ただし、特殊な六法（教育六法・医事六法など）や、古いものは授業で参照する条文が載っていないことがあるので、一般的なもの、なるべく新しいものを準備してほしい。試験の際は、六法を参照する出題をする予定。
- 参 考 書 ●茂野隆晴編『プライマリー法学～日本法のシステム～』（芦書房）
●大久保治男監修『トビックスくらしの法』（芦書房）
- そ の 他 その他授業の中で、随時紹介する。
最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

履修コード	218601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕（夏季集中）
担当者名	池田 実 <small>いけだ みのる</small>

- 講義の到達目標(ねらい) 家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。
- 講義の内容／授業スケジュール (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2) (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1) (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2) (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1) (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2) (30) 憲法改正
- 成績評価の方法 出席状況、受講態度その他の平常点、および授業時間内に行われる小テスト類により、総合的に評価します。
- 教科書／テキスト 池田実『憲法』（嵯峨野書院、2011年3月刊行予定）
*集中講義期間中、紀伊国屋書店駒澤大学ブックセンターは営業していません。教科書は年度のはじめに必ず入手しておくこと。
- 参 考 書 授業時に適宜指示します。
- そ の 他 授業日程：8月1日（月）～8月5日（金）・8月8日（月）
（土・日曜日除く）の1～5時限。
*初回（8月1日9:00）の授業では、履修に際しての重要事項を伝達するので、遅刻なく必ず出席すること。

(3) 自然分野

履修コード	223201・223301
科目名	宇宙科学〔星と銀河〕
担当者名	<small>しのはら まさあ</small> 篠原 正雄

講義の到達目標(ねらい)	現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。宇宙が不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しく進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙史の所産であることを知っていただきたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～6)宇宙の科学：宇宙、観測 (7～9) 宇宙観の歴史：天動説と地動説、ニュートン、アインシュタイン (10) 宇宙の階層構造 (11～15) 太陽系：太陽、惑星、小天体 (16～21) 恒星：分類、進化、死、元素合成 (22～26) 宇宙：銀河系、銀河、宇宙の起源、宇宙の進化、宇宙の大規模構造 (27～30) 宇宙と人類：系外惑星、SETI、地球システム
成績評価の方法	レポート形式の中間試験と学年末に行う筆記試験との平均点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は20点までの範囲で考慮する。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	福江純著『そこが知りたい天文学』（日本評論社）1,900円+税 講義の中で適宜紹介する。 講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。YeStudyを活用する。

履修コード	223001・223101
科目名	化学〔衣食住の化学〕
担当者名	<small>もちまる まり</small> 持丸 真里

講義の到達目標(ねらい)	現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の社会での適用について、正確な知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。前期には、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学・生化学の基礎について説明する。その後、衣食住の化学として、各論の説明を行う予定である。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) 有機化学・生化学の導入 (2～4) 物質の成り立ち—原子・分子・イオン・化学式・周期表などの解説 (5) 水の性質 (6～8) 有機化学の基礎 (9～10) 繊維 (11) 染料 (12～13) 洗剤と洗濯のしくみ (14) 合成洗剤と水質汚濁 (15) 中間試験 (16) 栄養の化学 (17～18) タンパク質—酵素・免疫を中心に (19～20) 遺伝子 (21) ゲノム (22～23) 遺伝子情報の社会への影響 (24～25) 遺伝子組み換え実験とは何か (26～27) 遺伝子組み換え食品 (28～29) 食品の安全性 (30) 化学物質の安全性評価
準 備 学 習	毎回の講義の後に、YeStudyで講義内容のキーワードを掲載する。欠席したときや復習の時に役立ててほしい。
履修上の留意点	「化学」の中には様々な分野があるが、本講義は生化学を中心とする(=生命科学との接点が多い)。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。講義は、化学の基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意して履修すること。
成績評価の方法	筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	なし。 講義内で随時紹介する。 YeStudyを補助的に利用するので、なるべくコース登録すること。

履修コード	220111
科目名	科学基礎論
担当者名	おくやま やすお 奥山 康男

講義の到達目標(ねらい) 診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる学習への意欲・姿勢、学習方法を身につけること。さらに、医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。取りわけ科学の世界では実験や観察事実 (evidence = エビデンス) を基にして、誰もが納得できる普遍的な真実を追究する。そして、その真実が個々の価値判断に偏らない普遍性を持つからこそ、公の場で事実認定 (合理的根拠) として使える。科学に「好き、嫌い」の問題が含まれると、科学は合理的な根拠として使えなくなり、学問ではなくなる。特に、医学 (医療) においては、治療や検査行為に対する価値判断を下すのは患者や家族であるから、科学的根拠に基づいた納得のいく説明を要望される。それらの前提として正しい科学 (エビデンス) が必要となり、そのエビデンスに基づいた医療の成り立ちなどの基礎学問を習得する。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回～ 3回：大学生及び医療人としての心構えについて
第4回～ 8回：大学での授業の受け方、レポートの書き方、ノートのまとめ方について
第9回～ 10回：大学図書館の利用法と文献の調べ方 (図書館で実技指導) について
第11回～15回：エビデンスの基礎と医療分野におけるリスクマネージメントについて
中学生時代に学習した理科において、生物・化学・物理・電気電子関連を復習しておくこと。
大学4年間で学習していく上での大切な基本内容であることを留意して授業に臨むこと。
授業出席状況、受講態度、前期・後期定期試験による総合評価にて決める。
特に指定しない。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

履修コード	219701
科目名	科学基礎論
担当者名	くまざか さつき 熊坂 さつき

講義の到達目標(ねらい) この授業では大学生になったばかりの新生入生に対する初年度教育の一環としての教育を行う。大学で必要となるスタディスキル、チューデントスキルを養う他、診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育を行う。なお、科学的な問題解決法では科学的発想や医療の取り組み方に関連したビデオ鑑賞や施設見学等を行う。

講義の内容/
授業スケジュール

(1～3) 診療放射線技師とは? 大学生、医療人としての心構え
(4) 図書館の利用法、文献の調べ方
(5～6) 授業の受け方、レポートの書き方
(7～15) 科学的な問題解決法
最初の数回は合同授業がある。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

課題を出しそれに対するレポートの評価を行う。また授業への取り組み方の姿勢で評価する。
プリント等を配布する。また、科学や医療のあり方を考察できるような視聴覚資料 (DVD、ビデオ等) を用いて問題提起をしながら討論授業を行って行く。

履修コード	219901
科目名	科学基礎論
担当者名	こんどう けいすけ 近藤 啓介

講義の到達目標(ねらい) 診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「未知な現象」として過去「超常現象」と思われた現象などを提示して、その現象の科学的な解明を試みる。

講義の内容/
授業スケジュール

(1～3) 診療放射線技師とは? 大学生、医療人としての心構え
(4～8) 授業の受け方、レポートの書き方
(9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方
(11～15) 科学的な問題解決法

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

積極的に受講すること。
レポートと授業への取り組み方で評価する。
必要によりプリントを配布する。

履修コード	219801
科目名	科学基礎論
担当者名	きとう まさのり 佐藤 昌憲

講義の到達目標(ねらい)	診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「放射線とは」、「放射線の測定」、「パソコンの活用法」などについて学習する。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え (4～8) 授業の受け方、レポートの書き方 (9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方 (11～15) 科学的な問題解決法
成績評価の方法 教科書／テキスト	レポートと授業への取り組み方で評価する。 必要によりプリントを配布する。

履修コード	220101
科目名	科学基礎論
担当者名	なご やすのぶ 名古 安伸

講義の到達目標(ねらい)	診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「放射線と放射能」、「医療被曝」などについて学習します。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え (4～8) 授業の受け方、レポートの書き方 (9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方 (11～15) 科学的な問題解決法
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト	探究心を持って始めましょう。そして、診療放射線技術学に親しみを持てるようになりましょう。 レポートと授業への取り組み方で評価します。 必要によりプリントを配布します。

履修コード	220001
科目名	科学基礎論
担当者名	はらだ かずまさ 原田 和正

講義の到達目標(ねらい)	診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「放射線と放射能」、「分子構造と結晶構造」などについて学習する。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え (4～8) 授業の受け方、レポートの書き方 (9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方 (11～15) 科学的な問題解決法
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参考文献	授業に対して積極的に取り組むことを望む。 レポートと授業への取り組み方で評価する。 必要によりプリントを配布する。 授業の中で指示する。

履修コード	228001
科目名	化学序論
担当者名	やまもと ゆうすけ 山本 裕右

講義の到達目標(ねらい) 高校で「化学」を履修していない学生、履修していてもきちんと理解できていない学生には、1年次の必修科目である「基礎化学」、および2年次の「放射化学」の講義を十分理解できないケースが多く見受けられる。ここでは、高校までの化学の学力が十分身につけていない学生のために、今後必要となる化学の基礎的事項、計算法について演習を行いながら平易に解説する。

講義の内容／授業スケジュール (1) 物質・元素・単体・化合物, (2) 原子・分子・イオン, (3~6) 電子配置・周期表, (7,8) 物質の量・モル質量, (9) 化学式・化合物の名前, (10,11) 化学反応式と化学量論, (12~15) 溶液の濃度計算

準備学習履修上の留意点 毎回、前回の授業に関する小テストを行うので、授業内容を復習し不明な点を解決しておくこと。高校で化学を履修しなかった学生、履修していても理解が不十分だと思っている学生、そして化学が苦手な学生、嫌いな学生を対象としています。高校までのただひたすら暗記する化学はここにはありません。不明なこと、理解できないことはどしどし質問してください。理解しようとする努力、知ろうとする意欲をもって臨んでいただければ、きっと新しい化学の世界が開けてくることでしょう。

成績評価の方法 平常の小テスト (30%)、定期試験 (70%) で評価する。

教科書／テキスト 使用しない

参考文献 ・乾 他著、『訂正 化学—物質の構造、性質および反応—』(化学同人)2,520円
・A.Sherman他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に—』(東京化学同人) 2,993円
・A.Sherman他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に— 問題と解答』(東京化学同人) 1,785円

履修コード	227501
科目名	基礎化学
担当者名	はらた かずまさ 原田 和正

講義の到達目標(ねらい) 本講義では「放射化学」、「生化学」、「画像工学概論Ⅰ」、「核医学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール (1~2) 序
(3~6) 原子・分子・モル
(7~10) 電子配置と周期表
(11~15) 化学結合
(16) 化学平衡
(17~19) 酸・塩基
(20~22) 酸化・還元
(23) 溶解度と溶解度積
(24) 気体の状態方程式
(25~27) 反応速度論
(28~30) 化学熱力学

成績評価の方法 中間試験35%、定期試験35%と平常点30%で評価する。

教科書／テキスト 使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考文献 A. Sherman他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に』(東京化学同人) 2,850円
A. Sherman他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に—問題と解答—』(東京化学同人) 1,700円

履修コード	227701
科目名	基礎数学
担当者名	野口 勝 <small>のぐち まさる</small>

講義の到達目標(ねらい)

本学部・学科の専門科目で必要となる基本的な数学(微分、積分)を学習する。またその際必要となるより基本的な数学知識(三角関数、指数・対数関数等)についても臨機に復習する。これにより、高校数学を完全に習得した上で、理系の大学数学への第一歩を踏み出すことを目標とする。

講義の内容/
授業スケジュール

理系の大学生にとって数学の基本である微分・積分を徹底的に学ぶ。必要に応じて高校数学の復習も行う。

1. 整式の微分・積分(第1～3回)
整式の微分、整式の積分等
2. 微分(第4～12回)
関数の極限・連続関数、微分の基本公式、三角関数、逆三角関数、指数関数・対数関数等
3. 微分の応用(第13～21回)
微分の応用、関数の増減、極値・凹凸、高次導関数等
4. 不定積分(第22～30回)
基本的な不定積分、置換積分・部分積分、三角関数の積分、有理関数・無理関数の積分等

準備学習
履修上の留意点

スケジュール表により、きょう勉強することは何か、をしっかりと意識して授業に臨んで欲しい。数学は基礎の積み重ねが重要である。したがって毎回行う演習に真剣に取り組み、今日学んだことは今日習得してしまう、という姿勢で臨むこと。ためておいて後でまとめてやろう、というやり方では身につかないことに注意すること。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他の

2～3回の理解度確認テスト、および学習態度の総合点による。
矢野・石原『微分積分 改訂版』(裳華房)、2,100円+税、ISBN978-4-7853-1071-4
必要に応じて資料を配付する。
「解を暗記するのではなく、考え方を理解する」ということが数学力向上のポイントである。この意識をしっかりと持とう!

履修コード	227401
科目名	基礎物理学
担当者名	佐藤 昌憲・小川 雅生 <small>さとう まさのり おがわ まさお</small>

講義の到達目標(ねらい)

われわれを取り巻く自然環境の中で、いろいろな物体の運動や波動現象、熱現象、および電磁気現象に遭遇する。本講義では、これらの現象が物理学の基礎理論によってどのように理解されるかを学び、日々の生活の中で科学的にものを考える習慣を身につけることに重点をおく。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) 物体の運動とエネルギー
(速度、加速度、運動量、力、物体の運動、仕事、運動のエネルギー、保存量)
- (2) 温度と熱
(熱の正体、温度、圧力、物質の集合状態、仕事と熱量、熱の伝導、熱的過程)
- (3) 波動
(波のいろいろ、波の伝播、音波と光波の性質)
- (4) 電磁気学
電界(真空中の静電界、導体系による電界、静電界におけるエネルギーと力) 磁界(静磁界、電流による磁界、電流に及ぼす作用と電磁誘導)
- (5) 電磁波
(自由空間における電磁波)

履修上の留意点

この科目は前期での集中授業である。基礎物理学Aでは、力学、波動性および熱力学を、基礎物理学Bでは、電磁気学と電磁波を中心に講義する。知識の単純記憶ではなく理論に基づいた思考過程を身につけてほしい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

基礎物理学A・Bの出席数、小テスト、定期試験により評価する。
基礎物理学B:『基礎物理学』(学術図書出版社)

履修コード	225801・225901
科目名	コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕
担当者名	<small>とりのい</small> 鳥居 <small>りゆうぞう</small> 電三

講義の到達目標(ねらい)	いくつかの代表的なプログラミング言語を用いて、PCや携帯電話で動くアプリケーションやゲームなどの制作ができるようになることを目的とします。 授業前半では、写真やCG、動画の加工・編集方法について解説していきます。 後半では、プログラミング言語の基本的な文法や構造について学び、実際にアプリケーションを作りながら授業を進めていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール 準備学習	(1～15) 写真やCG、動画の加工・編集 (16～) プログラミング言語について、およびゲームなどのコンテンツ制作 プログラミングに関しては1から始める学生を対象としています。パソコンの基本的な使い方は習得していることが望まれます。
履修上の留意点	また、プログラミングを進めていくにあたって、英語と数学の知識が少し必要になります。 毎回授業に出席して下さい。パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。講義後半では、各自アプリケーションを作成してもらいますので、予めテーマを決めてどのような内容にするか考えておいて下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書 その他	作成した課題やアプリケーションを評価の基準にします。授業への出席状況も考慮します。 プリントを配布し、適時紹介します。 授業で適宜紹介していきます。 授業のなかで理解できないところは、遠慮なく質問してください。

履修コード	223601・224101
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	<small>おがわ</small> 小川 <small>けんじろう</small> 健次郎

講義の到達目標(ねらい)	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	(1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mailの利用・マナー (7～15) HTML文書の作成 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法 その他	評価は授業時間中に出题する課題によって行う。 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

履修コード	223701・224201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

講義の到達目標(ねらい)	ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。
講義の内容／授業スケジュール	第1回から第7回にHTMLを、第9回から第15回にCSSを学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、第8回に無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。
準備学習	この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。
履修上の留意点	パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト	レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。 講義ノート[http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html#note]を教科書として使用します。
参考書 その他	リンク[http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html]を参照して下さい。 Yahoo! JAPAN[http://www.yahoo.co.jp/]、Google[http://www.google.co.jp/]等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html

履修コード	223801・224301
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	金尾 美穂 <small>かなお みほ</small>

講義の到達目標(ねらい)	現代社会においては、全ての人が多様な場・状況で情報処理システムと関わり合っている。正しく適切な対応をするためには情報およびその扱いに関する基礎的な素養が必要である。本講義では、文理系を問わず大学生に必要な科目として、講義と演習を通しコンピューターシステムとデータの枠組みに関する基礎的な知識を理解し、さらにコンピューターシステムを用いた資料作成などの基本的なスキルを習得し楽しむことを目的とする。機器の操作やソフトウェアの利用についての学習もこの目的に沿う形で行う。
講義の内容／授業スケジュール	<p>主な学習項目は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 計算機システムの概要－計算機の基本構成、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク ● コンピューターにおけるデータの扱いと操作 ● コンピューターリテラシー－著作権・セキュリティ・ネットワークと社会 ● 応用ソフトウェア－ネットワーク情報ブラウザ、描画システム、表計算システム等 <p>実習用の操作システムとしてはwindowsを用いる。計算機の仕組みや電子メールやインターネットを扱う際の基本的な事項と留意点について講義を行う。また、テキストエディタの編集やofficeを用いた簡単な計算やグラフ、レポート、プレゼンテーション資料の作成等の演習を行う。講義の後半では、簡単なプログラミングの例としてHTMLを用いたウェブサイトの作成に取り組む。</p> <p>スケジュール</p> <p>1回:ガイダンス 2回:コンピューターとファイル操作 3回:テキストエディタの使用法 4回:インターネット社会の落とし穴 5回:オフィスワードを用いたレポート(文書書類)作成法 6回:前半のまとめ、復習 7、8回:文系にも必要なエクセル計算と表・グラフの書き方 9回:描画システムの利用 10回:プレゼンテーション資料の作成 11回～:HTMLを用いたウェブサイト作成</p>
履修上の留意点	受講に際して総合情報センターにおいてコンピューターの利用を申請し、KOMAnet ID を取得することが必要です。IDやパスワードを忘れて再申請した場合には翌開講日からしか大学のコンピューターを使えませんので、講義の前日17時までに申請してください。
成績評価の方法	数回のレポートと出席等と併せて成績評価を行う。

履修コード	345701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	金尾 ^{かなわ} 美穂 ^{みほ}

自然分野

講義の到達目標(ねらい)

現代社会においては、全ての人が多様な場・状況で情報処理システムと関わり合っている。正しく適切な対応をするためには情報およびその扱いに関する基礎的な素養が必要である。本講義では、文理系を問わず大学生に必要な科目として、講義と演習を通しコンピューターシステムとデータの枠組みに関する基礎的な知識を理解し、さらにコンピューターシステムを用いた資料作成などの基本的なスキルを習得し楽しむことを目的とする。機器の操作やソフトウェアの利用についての学習もこの目的に沿う形で行う。

講義の内容／
授業スケジュール

主な学習項目は以下のとおりである。

● 計算機システムの概要－計算機の基本構成、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク

● コンピューターにおけるデータの扱いと操作

● コンピューターリテラシー－著作権・セキュリティ・ネットワークと社会

● 応用ソフトウェア－ネットワーク情報ブラウザ、描画システム、表計算システム等

実習用の操作システムとしてはwindowsを用いる。計算機の仕組みや電子メールやインターネットを扱う際の基本的な事項と留意点について講義を行う。また、テキストエディタの編集やofficeを用いた簡単な計算やグラフ、レポート、プレゼンテーション資料の作成等の演習を行う。講義の後半では、簡単なプログラミングの例としてHTMLを用いたウェブサイトの作成に取り組む。

スケジュール

1回:ガイダンス

2回:コンピューターとファイル操作

3回:テキストエディタの使用法

4回:インターネット社会の落とし穴

5回:オフィスワードを用いたレポート(文書書類)作成法

6回:前半のまとめ、復習

7、8回:文系にも必要なエクセル計算と表・グラフの書き方

9回:描画システムの利用

10回:プレゼンテーション資料の作成

11回～:HTMLを用いたウェブサイト作成

履修上の留意点

受講に際して総合情報センターにおいてコンピューターの利用を申請し、KOMAnet ID を取得することが必要です。IDやパスワードを忘れて再申請した場合には翌開講日からしか大学のコンピューターを使えませんので、講義の前日17時までに申請してください。

成績評価の方法

数回のレポートと出席等と併せて成績評価を行う。

その他

4月初回の授業に必ず出席して担当教員から許可を得てください。

履修コード	345901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	^{かなあ} 金尾 ^{みほ} 美穂

講義の到達目標(ねらい)

現代社会においては、全ての人が多様な場・状況で情報処理システムと関わり合っている。正しく適切な対応をするためには情報およびその扱いに関する基礎的な素養が必要である。本講義では、文理系を問わず大学生に必要な科目として、講義と演習を通しコンピューターシステムとデータの枠組みに関する基礎的な知識を理解し、さらにコンピューターシステムを用いた資料作成などの基本的なスキルを習得し楽しむことを目的とする。機器の操作やソフトウェアの利用についての学習もこの目的に沿う形で行う。

講義の内容／
授業スケジュール

主な学習項目は以下のとおりである。

- 計算機システムの概要－計算機の基本構成、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク
- コンピューターにおけるデータの扱いと操作
- コンピュータリテラシー－著作権・セキュリティ・ネットワークと社会
- 応用ソフトウェア－ネットワーク情報ブラウザ、描画システム、表計算システム等

実習用の操作システムとしてはwindowsを用いる。計算機の仕組みや電子メールやインターネットを扱う際の基本的な事項と留意点について講義を行う。また、テキストエディタの編集やofficeを用いた簡単な計算やグラフ、レポート、プレゼンテーション資料の作成等の演習を行う。講義の後半では、簡単なプログラミングの例としてHTMLを用いたウェブサイトの作成に取り組む。

スケジュール

- 1回:ガイダンス
- 2回:コンピューターとファイル操作
- 3回:テキストエディタの使用法
- 4回:インターネット社会の落とし穴
- 5回:オフィスワードを用いたレポート(文書書類)作成法
- 6回:前半のまとめ、復習
- 7、8回:文系にも必要なエクセル計算と表・グラフの書き方
- 9回:描画システムの利用
- 10回:プレゼンテーション資料の作成
- 11回~:HTMLを用いたウェブサイト作成

履修上の留意点

受講に際して総合情報センターにおいてコンピューターの利用を申請し、KOMAnet ID を取得することが必要です。IDやパスワードを忘れて再申請した場合には翌開講日からしか大学のコンピューターを使えませんので、講義の前日17時までに申請してください。

成績評価の方法
その他

数回のレポートと出席等と併せて成績評価を行う。
同曜日・時限の4月初回授業で担当教員から許可を得てください。

自然分野

履修コード	223401・223901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	たにもと さちのぶ 谷本 玲大

講義の到達目標(ねらい)

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

前半では情報検索とマナーについて学び、後半ではWord、Excelの基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPointにも触れたい。

講義の内容／
授業スケジュール

01:【ガイダンス】講義・演習内容の説明、履修許可/パスワードの扱い/パスワードの作り方/USBメモリの紹介

02:【パソコンの初歩(1)】起動～ログオン～終了/Windowsリファレンス(ウィンドウサイズの操作)/日本語入力/URLの仕組み/Web閲覧・検索/クリップボードの利用とテキスト・画像の貼り付け/ファイルの保存と提出

03:【パソコンの初歩(2)】スクリーンショットの活用/電子メールの送受信(学内からアクセス/学外からアクセス)/電子メールのマナー(CC、BCC、引用など)

04:【パソコンの初歩(3)】日本語入力とWord実習/ショートカットキー/書式のコピー/添付ファイル付きメールの送信/ファイルの種類と名前の変更/拡張子について

05:【Word実習(1)】中央揃え/右揃え/段組み/段区切り/改ページ/ページ設定/ヘッダーとフッター/印刷プレビュー

06:【パソコンの初歩(4)】フォルダの管理/圧縮ファイルの扱い/タイピング練習/USBメモリの使用方法

07:【情報倫理】ウイルス対策/迷惑メール対策/スパイウェア対策/不正侵入対策/暗号化など。【Word実習(2)】ワードアート/オートシェイプ/図形の調整/順序/グループ化/クリップアート/Wordでの挨拶状作成

08:【Word実習(3)】文書設定/原稿用紙設定/縦書きの設定/ルビ/行間設定/章立て/引用とインデントの設定/脚注と引用文献/割注/引用と著作権について

09:【Word実習(4)】文字種の変換/繰り返し符号、難しい漢字や発音記号の入力方法(記号と特殊文字)/表と行や列の挿入と削除/セルの大きさの設定/罫線の種類/表と行や列の挿入と削除/網掛け、印刷プレビュー

10:【Excelの基礎(1)】画面の各部分の説明/ブックとワークシート/ブックの作成と保存/文字列や数値の入力/セルの編集・コピー・切り取り・貼り付け/書式設定/書式のコピーと貼り付け/オートフィル/コメントの挿入/行の高さや幅の調整/表示と非表示/行・列・セルの挿入と削除/罫線/セルへの網掛け/ウィンドウ枠の固定/シートの挿入/削除/シート見出しの色変更

11:【Excelの基礎(3)】オートフィルタ/数式の基本/並べ替え/関数の利用/オートSUM/相対参照と絶対参照/グラフ作成/Wordへの貼り付け

12:【Excelの応用(1)】オートフィル/式の作成/関数の挿入/小数点桁位置の調節/シートの挿入とシート見出しの色変更//行列を入れ替えた貼り付け/グラフ作成

13:【Excelの応用(2)】ウィンドウ枠の固定/コメントの挿入/条件付き書式/関数の利用と式の作成

14:【Excelの応用(3)】式の自作

15:【半期のまとめ】

※進行に余裕があれば、PowerPointにも触れる。

※但し、進度により、多少の調整を行う場合がある。

※初回講義以降の予定については下記「関連リンク」にて指示する。

各回の復習、並びに課題を自身のスキルアップを目指して着実にこなすこと。

初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。

各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

自然分野

準備学習
履修上の留意点

成績評価の方法

(抽選で割り振られた各学期、各時限の)【初回講義で履修許可を行う】ので、必ず出席のこと。★初回講義欠席者は単位認定しない★(但し学習権は認める)。
 受講態度・授業内作業点・出席状況等の平常点(約40%)、課題・レポート等(約60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。
 遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。
 パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。公欠の扱いは、大学設置基準、中央教育審議会答申、文部科学省令、同施行規則並びに学則等による。但し、実習主体の科目特性上、★就職活動は公欠認定に一切含まない★点に注意。
 講義中に他学生の学習権を侵害するような行為があった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。
 他人のパスワードでログインして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。

教科書/テキスト

Web上に教材を用意する。

参 考 書

その他書籍などについては随時指示する。
 小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』
 (講談社現代新書1603) 2002/04刊、714円、ISBN-13:978-4061496033

そ の 他

※「インターネット活用編」や「新版」では【ない】点に注意。
 ※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禅に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと一つの如し。行の中に学あり。学の中に行あり。不二である。
 ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。
 ※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

関 連 リ ン ク

<http://www.tanimoto.to>

履修コード	225601・225701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	<small>とりい りゆうぞう</small> 鳥居 竜三

講義の到達目標(ねらい)

授業前半は、Webページを記述するための言語であるHTML(Hypertext Markup Language)を理解し、写真やアニメーション、その他の素材を用いたホームページを自分で開設出来るようになることを目的とします。
 後半では、WordやExcelの基本的な使い方から、PDFドキュメントの作成、およびPowerPointを用いたプレゼンテーションなどさまざまな知識を身につけます。

講義の内容/
授業スケジュール

(1~6) HTMLの基礎を学ぶ。CSSやFlashなどを用いたホームページの作成
 (7~9) WordやExcelの基本的な使い方、およびPDFドキュメントの作成
 (10~15) PowerPointを用いたプレゼンテーションの組み立て方

履修上の留意点

毎回授業に出席して下さい。パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。講義では、各自ホームページを作成してもらいますので、予めテーマを決めてどのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

作成したホームページやテンプレートを評価の基準にします。授業への出席状況も考慮します。

教科書/テキスト

プリントを配布し、適時紹介します。

参 考 書

加藤才智・佐藤知則 著『Web制作の基本がわかる本』(毎日コミュニケーションズ) 1,980円(税別) ISBN978-4-8399-3054-7

そ の 他

他、授業で適宜紹介していきます。
 授業のなかで理解できないところは、遠慮なく質問してください。

履修コード	345801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	<small>とりい りゆうぞう</small> 鳥居 竜三

講義の到達目標(ねらい)	授業前半は、Webページを記述するための言語であるHTML(Hypertext Markup Language)を理解し、写真やアニメーション、その他の素材を用いたホームページを自分で開設出来るようになることを目的とします。 後半では、WordやExcelの基本的な使い方から、PDFドキュメントの作成、およびPowerPointを用いたプレゼンテーションなどさまざまな知識を身につけます。
講義の内容／授業スケジュール	(1~6) HTMLの基礎を学ぶ。CSSやFlashなどを用いたホームページの作成 (7~9) WordやExcelの基本的な使い方、およびPDFドキュメントの作成 (10~15) PowerPointを用いたプレゼンテーションの組み立て方
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。講義では、各自ホームページを作成してもらいますので、予めテーマを決めてどのような内容にするか考えておいて下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	作成したホームページやテンプレートを評価の基準にします。授業への出席状況も考慮します。 プリントを配布し、適時紹介します。 加藤才智・佐藤知則 著『Web制作の基本がわかる本』(毎日コミュニケーションズ) 1,980円(税別) ISBN978-4-8399-3054-7
そ の 他	他、授業で適宜紹介していきます。 授業のなかで理解できないところは、遠慮なく質問してください。 4月初回の授業に必ず出席して担当教員から許可を得てください。

履修コード	346001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	<small>とりい りゆうぞう</small> 鳥居 竜三

講義の到達目標(ねらい)	授業前半は、Webページを記述するための言語であるHTML(Hypertext Markup Language)を理解し、写真やアニメーション、その他の素材を用いたホームページを自分で開設出来るようになることを目的とします。 後半では、WordやExcelの基本的な使い方から、PDFドキュメントの作成、およびPowerPointを用いたプレゼンテーションなどさまざまな知識を身につけます。
講義の内容／授業スケジュール	(1~6) HTMLの基礎を学ぶ。CSSやFlashなどを用いたホームページの作成 (7~9) WordやExcelの基本的な使い方、およびPDFドキュメントの作成 (10~15) PowerPointを用いたプレゼンテーションの組み立て方
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。講義では、各自ホームページを作成してもらいますので、予めテーマを決めてどのような内容にするか考えておいて下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	作成したホームページやテンプレートを評価の基準にします。授業への出席状況も考慮します。 プリントを配布し、適時紹介します。 加藤才智・佐藤知則 著『Web制作の基本がわかる本』(毎日コミュニケーションズ) 1,980円(税別) ISBN978-4-8399-3054-7
そ の 他	他、授業で適宜紹介していきます。 授業のなかで理解できないところは、遠慮なく質問してください。 同曜日・時限の4月初回授業で担当教員から許可を得てください。

履修コード	223501
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	山本 博信

講義の到達目標(ねらい)

現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル(訓練によって身につけることができる、技術上の能力)やコンセプト(全体を貫く「基本的な概念」のこと)・ケーパビリティ(能力、才能、可能性、将来性)を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Webページ作成、データベースの活用などの基本項目を、習熟度合いに応じて学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Webページ作成を実習を通して実施します。
アプリケーションソフトウェア(OFFICE2007)を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。

- 第1回 端末の利用方法と履修登録
- 第2回 ネットワークの歴史と仕組み
- 第3回 ネットワークの利用と電子メール
- 第4回 ネットワーク倫理と著作権
- 第5回 情報検索入門(1) 特許情報の検索
- 第6回 情報検索入門(2) 図書や雑誌の検索
- 第7回 情報検索入門(3) データベースの利用と学術論文の検索
- 第8回 課題1:ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第9回 課題1:ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第10回 課題1:ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第11回 課題2:表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習
- 第12回 課題2:表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習
- 第13回 課題2:DATABASE SOFTWARE(ACCESS2007)を用いた実習
- 第14回 課題2:DATABASE SOFTWARE(ACCESS2007)を用いた実習
- 第15回 講評・授業評価

※なお、実際の授業進行は適宜調整を行う。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法

以下の比率で総合的に評価します。

- ・課題 40%
- ・授業最終日に実施する確認試験 30%
- ・出席状況 30%

教科書／テキスト
参 考 書

授業の中で適宜紹介します。

『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣(実教出版)151P、¥1890 (ISBN4407301147)

そ の 他

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄(パーソナルユーザ利用出版社)237P、¥1680 (ISBN4894717220)
パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつでもやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

自然分野

履修コード	224001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	やまもと ひろのぶ 山本 博信

自然分野

講義の到達目標(ねらい)

現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル(訓練によって身につけることができる、技術上の能力)やコンセプト(全体を貫く「基本的な概念」のこと)・ケーパビリティ(能力、才能、可能性、将来性)を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Webページ作成、データベースの活用などの基本項目を、習熟度合いに応じて学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Webページ作成を実習を通して行います。

アプリケーションソフトウェア(OFFICE2007)を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。

- 第1回 端末の利用方法と履修登録
- 第2回 ネットワークの歴史と仕組み
- 第3回 ネットワークの利用と電子メール
- 第4回 ネットワーク倫理と著作権
- 第5回 情報検索入門(1) 特許情報の検索
- 第6回 情報検索入門(2) 図書や雑誌の検索
- 第7回 情報検索入門(3) データベース(Access 2007)の利用と学術論文の検索
- 第8回 課題1:ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第9回 課題1:ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第10回 課題1:ワードプロセッサソフトウェアを用いた実習
- 第11回 課題2:表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習
- 第12回 課題2:表計算ソフトウェアを用いた実習
- 第13回 課題2:DATABASE SOFTWARE(Access2007)を用いた実習
- 第14回 課題2:DATABASE SOFTWARE(Access2007)を用いた実習
- 第15回 講評・授業評価

履修上の留意点

※なお、実際の授業進行は適宜調整を行う。

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法

以下の比率で総合的に評価します。

- ・課題 40%
- ・授業最終日に実施する確認試験 30%
- ・出席状況 30%

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

授業の中で適宜紹介します。

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄(パーソナルユーザ利用出版社)237P、¥1680(ISBN4894717220)
パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアカウントの取得が必須です。いつどうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

履修コード	224801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	おがわ けんじろう 小川 健次郎

講義の到達目標(ねらい)

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

(1~3)ガイダンス、PCの基本操作(4~6)インターネット上のサービス、E-mailの利用・マナー(7~15)HTML文書の作成

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法
そ の 他

評価は授業時間中に出题する課題によって行う。

授業日程:8/1(月)~5(金)1~3時限

予備日:8/8(月)1~3時限

履修コード	224901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>

講義の到達目標(ねらい)	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	(1～3)ガイダンス、PCの基本操作(4～6)インターネット上のサービス、E-mailの利用・マナー(7～15)HTML文書の作成 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法 その他の	評価は授業時間中に出題する課題によって行う。 授業日程：8/1(月)～5(金) 4～6時限 予備日：8/8(月) 4～6時限

履修コード	225001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

講義の到達目標(ねらい)	ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回から第7回にHTMLを、第9回から第15回にCSSを学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、第8回に無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。
準備学習	この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。
履修上の留意点	パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト	レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。 講義ノート{ http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html#note }を教科書として使用します。
参考文献 その他の	リンク{ http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html }を参照して下さい。 Yahoo! JAPAN{ http://www.yahoo.co.jp/ }、Google{ http://www.google.co.jp/ }等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。 授業日程：8/1(月)～5(金) 1～3時限 予備日：8/8(月) 1～3時限
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html

履修コード	225201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	おだわ まこと 小沢 誠

自然分野

講義の到達目標(ねらい)	ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。
講義の内容／授業スケジュール	第1回から第7回にHTMLを、第9回から第15回にCSSを学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、第8回に無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。
準備学習	この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。
履修上の留意点	パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト	レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。 講義ノート[http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html#note]を教科書として使用します。
参考書 その他の	リンク[http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html]を参照して下さい。 Yahoo! JAPAN[http://www.yahoo.co.jp/]、Google[http://www.google.co.jp/]等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。 授業日程：8/1 (月)～5 (金) 4～6時限 予備日：8/8 (月) 4～6時限
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html

履修コード	224401
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	大谷本 美穂 鈴木大 美穂

講義の到達目標(ねらい)

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

前半では情報検索とマナーについて学び、後半ではWord、Excelの基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPointにも触れたい。

【第1日目】

01: 【ガイダンス】 講義・演習内容の説明、履修許可/パスワードの扱い/パスワードの作り方/USBメモリの紹介

02: 【パソコンの初歩(1)】 起動～ログオン～終了/Windowsリファレンス (ウィンドウサイズの操作) /日本語入力/URLの仕組み/Web閲覧・検索/クリップボードの利用とテキスト・画像の貼り付け/ファイルの保存と提出

03: 【パソコンの初歩(2)】 スクリーンショットの活用/電子メールの送受信 (学内からアクセス/学外からアクセス) /電子メールのマナー (CC、BCC、引用など)

【第2日目】

04: 【パソコンの初歩(3)】 日本語入力とWord実習/ショートカットキー/書式のコピー/添付ファイル付きメールの送信/ファイルの種類と名前の変更/拡張子について

05: 【Word実習(1)】 中央揃え/右揃え/段組み/段区切り/改ページ/ページ設定/ヘッダーとフッター/印刷プレビュー

06: 【パソコンの初歩(4)】 フォルダの管理/圧縮ファイルの扱い/タイピング練習/USBメモリの使用方法

【第3日目】

07: 【情報倫理】 ウイルス対策/迷惑メール対策/スパイウェア対策/不正侵入対策/暗号化など。【Word実習(2)】 ワードアート/オートシェイプ/図形の調整/順序/グループ化/クリップアート/Wordでの接ぎ状作成

08: 【Word実習(3)】 文書設定/原稿用紙設定/縦書きの設定/ルビ/行間設定/章立て/引用とインデントの設定/脚注と引用文献/割注/引用と著作権について

09: 【Word実習(4)】 文字種の変換/繰り返し符号、難しい漢字や発音記号の入力方法 (記号と特殊文字) /表と行や列の挿入と削除/セルの大きさの設定/罫線の種類/表と行や列の挿入と削除/網掛け、印刷プレビュー

【第4日目】

10: 【Excelの基礎(1)】 画面の各部分の説明/ブックとワークシート/ブックの作成と保存/文字列や数値の入力/セルの編集・コピー・切り取り・貼り付け/書式設定/書式のコピーと貼り付け/オートフィル/コメントの挿入/行の高さや幅の調整/表示と非表示/行・列・セルの挿入と削除/罫線/セルへの網掛け/ウィンドウ枠の固定/シートの挿入/削除/シート見出しの色変更

11: 【Excelの基礎(3)】 オートフィルタ/数式の基本/並べ替え/関数の利用/オートSUM/相対参照と絶対参照/グラフ作成/Wordへの貼り付け

12: 【Excelの応用(1)】 オートフィル/式の作成/関数の挿入/小数点桁位置の調節/シートの挿入とシート見出しの色変更/行列を入れ替えた貼り付け/グラフ作成

【第5日目】

13: 【Excelの応用(2)】 ウィンドウ枠の固定/コメントの挿入/条件付き書式/関数の利用と式の作成

14: 【Excelの応用(3)】 式の自作

15: 【半期のまとめ】

※進行に余裕があれば、PowerPointにも触れる。

※但し、進度により、多少の調整を行う場合がある。

※初回講義以降の予定については下記「関連リンク」にて指示する。

各回の復習、並びに課題を自身のスキルアップを目指して着実にこなすこと。

準備学習

自然分野

履修上の留意点

初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。

集中講義であるので、1日でも欠席すると結果的に実力養成ができず、単位認定は困難となる点に注意。

また、自身の受講クラスが1～3限のクラスなのか、4～6限のクラスなのか、各自で注意深く確認すること。割当外のクラスで受講しても出席扱いにはならない点にも留意のこと。

課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。

各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法

(抽選で割り振られた各学期、各時限の)【初回講義で履修許可を行う】ので、必ず出席のこと。★初回講義欠席者は単位認定しない★(但し学習権は認める)。

受講態度・授業内作業点・出席状況等の平常点(約40%)、課題・レポート等(約60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。

遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。

パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。公欠の扱いは、大学設置基準、中央教育審議会答申、文部科学省令、同施行規則並びに学則等による。但し、実習主体の科目特性上、★就職活動は公欠認定に一切含めない★点に注意。

講義中に他学生の学習権を侵害するような行為があった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。

他人のパスワードでログオンして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。

教科書/テキスト

Web上に教材を用意する。

参 考 書

その他書籍などについては随時指示する。

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』

(講談社現代新書1603) 2002/04刊、714頁、ISBN-13:978-4061496033

※「インターネット活用編」や「新版」では【ない】点に注意。

そ の 他

※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禪に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと一つの如し。行の中に学あり。学の中に行あり。不二である。

ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。

※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

授業日程：8/1(月)～5(金) 4～6時限

予備日：8/8(月) 4～6時限

関 連 リ ン ク

<http://www.tanimoto.to>

履修コード	224601
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	谷本 玲大

講義の到達目標(ならい)

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

前半では情報検索とマナーについて学び、後半ではWord、Excelの基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPointにも触れたい。

【第1日目】

01: 【ガイダンス】 講義・演習内容の説明、履修許可/パスワードの扱い/パスワードの作り方/USBメモリの紹介

02: 【パソコンの初歩(1)】 起動～ログオン～終了/Windowsリファレンス (ウィンドウサイズの操作)/日本語入力/URLの仕組み/Web閲覧・検索/クリップボードの利用とテキスト・画像の貼り付け/ファイルの保存と提出

03: 【パソコンの初歩(2)】 スクリーンショットの活用/電子メールの送受信 (学内からアクセス/学外からアクセス)/電子メールのマナー (CC、BCC、引用など)

【第2日目】

04: 【パソコンの初歩(3)】 日本語入力とWord実習/ショートカットキー/書式のコピー/添付ファイル付きメールの送信/ファイルの種類と名前の変更/拡張子について

05: 【Word実習(1)】 中央揃え/右揃え/段組み/段区切り/改ページ/ページ設定/ヘッダーとフッター/印刷プレビュー

06: 【パソコンの初歩(4)】 フォルダの管理/圧縮ファイルの扱い/タイピング練習/USBメモリの使用方法

【第3日目】

07: 【情報倫理】 ウィルス対策/迷惑メール対策/スパイウェア対策/不正侵入対策/暗号化など。【Word実習(2)】 ワードアート/オートシェイプ/図形の調整/順序/グループ化/クリップアート/Wordでの挨拶状作成

08: 【Word実習(3)】 文書設定/原稿用紙設定/縦書きの設定/ルビ/行間設定/章立て/引用とインデントの設定/脚注と引用文献/割注/引用と著作権について

09: 【Word実習(4)】 文字種の変換/繰り返し符号、難しい漢字や発音記号の入力方法 (記号と特殊文字)/表と行や列の挿入と削除/セルの大きさの設定/罫線の種類/表と行や列の挿入と削除/網掛け、印刷プレビュー

【第4日目】

10: 【Excelの基礎(1)】 画面の各部分の説明/ブックとワークシート/ブックの作成と保存/文字列や数値の入力/セルの編集・コピー・切り取り・貼り付け/書式設定/書式のコピーと貼り付け/オートフィル/コメントの挿入/行の高さや幅の調整/表示と非表示/行・列・セルの挿入と削除/罫線/セルへの網掛け/ウィンドウ枠の固定/シートの挿入/削除/シート見出しの色変更

11: 【Excelの基礎(3)】 オートフィルタ/数式の基本/並べ替え/関数の利用/オートSUM/相対参照と絶対参照/グラフ作成/Wordへの貼り付け

12: 【Excelの応用(1)】 オートフィル/式の作成/関数の挿入/小数点桁位置の調節/シートの挿入とシート見出しの色変更//行列を入れ替えた貼り付け/グラフ作成

【第5日目】

13: 【Excelの応用(2)】 ウィンドウ枠の固定/コメントの挿入/条件付き書式/関数の利用と式の作成

14: 【Excelの応用(3)】 式の自作

15: 【半期のまとめ】

※進行に余裕があれば、PowerPointにも触れる。

※但し、進度により、多少の調整を行う場合がある。

※初回講義以降の予定については下記「関連リンク」にて指示する。

準備学習

各回の復習、並びに課題を自身のスキルアップを目指して着実にこなすこと。

自然分野

履修上の留意点

初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。

集中講義であるので、1日でも欠席すると結果的に実力養成ができず、単位認定は困難となる点に注意。

また、自身の受講クラスが1～3限のクラスなのか、4～6限のクラスなのか、各自で注意深く確認すること。割当外のクラスで受講しても出席扱いにはならない点にも留意のこと。

課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。

各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法

(抽選で割り振られた各学期、各時限の)【初回講義で履修許可を行う】ので、必ず出席のこと。★初回講義欠席者は単位認定しない★(但し学習権は認める)。

受講態度・授業内作業点・出席状況等の平常点(約40%)、課題・レポート等(約60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。

遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。

パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。公欠の扱いは、大学設置基準、中央教育審議会答申、文部科学省令、同施行規則並びに学則等による。但し、実習主体の科目特性上、★就職活動は公欠認定に一切含まない★点に注意。

講義中に他学生の学習権を侵害するような行為があった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。

他人のパスワードでログオンして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。

教科書/テキスト

Web上に教材を用意する。

参 考 書

その他書籍などについては随時指示する。

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』

(講談社現代新書1603) 2002/04刊、714円、ISBN-13:978-4061496033

※「インターネット活用編」や「新版」では【ない】点に注意。

そ の 他

※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禅に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと一つの如し。行の中に学あり。学の中に行あり。不二である。

ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。

※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

授業日程：8/1(月)～5(金) 1～3時限

予備日：8/8(月) 1～3時限

関 連 リ ン ク

<http://www.tanimoto.to>

履修コード	224701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>ながさか ひろふみ</small> 長坂 浩史

講義の到達目標(ねらい)	Webページ作成 (HTML/XHTML、CSS入門) と、表計算ソフトを用いた基本的な統計処理 (統計量についての入門) の2つを中心に学ぶ。
講義の内容/ 授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的なファイル操作 (課題の提出方法も含む) の説明 … (第1回) ● 最終提出課題 (Webページ) の説明 … (第1回) ● Excelの基本操作 … (第2, 3回) ● Excelを用いた簡単な統計処理 (1,2次元データのさまざまな特性値の計算、相関・回帰分析、グラフ作成、曲面片の描画) … (第4, 5, 6回) ● HTML/XHTML、CSS入門 … (第7, 8, 9回) ● 自由課題 (Webページ) 作成 … (第10~15回)
準備学習	初心者を対象にした講義なのでとくに準備学習を要求しませんが、Windowsの基本操作 (ファイルの基本操作) やキーボード入力にはある程度慣れていることが望ましい。
履修上の留意点	初心者を対象にしていますが、Windowsの基本操作 (ファイルの基本操作) や、テキストファイルの扱いなどについては軽く触れる程度です。新規ファイルの作成、ファイルの更新・移動といったごく基本的な操作には慣れておいてください。 また実習形式の授業なので、教場のパソコンにログインできるようにユーザーID、パスワードの取得は済ませておいてください。
成績評価の方法	提出課題 (自由テーマによるWebページ&指定された様式のファイル・・・実習報告ファイル) を見て評価します。 ただし、欠席が1日でもあると課題を全部こなすのは困難になると思いますので、特別な事情がない限り5日間の全時限に出席すること。 指定しません。教場で課題ごとに簡単な説明ファイルを配布します。
教科書/テキスト 参考書 その他	同上 授業日程: 8/1(月)~8/5(金) の1~3時限 予備日: 8/8(金) 1~3時限

履修コード	221501
科目名	自然環境論〔地球・太陽系環境〕
担当者名	<small>かなお みほ</small> 金尾 美穂

講義の到達目標(ねらい)	本講義の目標は、多様な側面のある自然環境を地球惑星科学の観点から考察し理解することである。地球や太陽系についての見識を深めた上で、人間・生物の環境について考察する。
講義の内容/ 授業スケジュール	1年を通じて地球惑星科学の概論を学ぶ。地球を含む太陽系惑星の環境や誕生から現在までの歴史について解説する。さらに日本の宇宙開発の中でも特に惑星探査について講義する。最後に人間・生物の環境としての地球・太陽系について考察する。
準備学習	1. 自然環境と地球・太陽系 (1回) 2. 地球 (2~10回) 固体地球、海洋、大気圏・電離圏、プラズマ圏、磁気圏、太陽圏 3. 地球、太陽系惑星の成り立ち (11~17回) 地球、惑星及びそれを取り巻く環境の進化・発展過程 4. 太陽系惑星 (18~23回) 金星、火星、その他太陽系惑星の環境 5. 日本の惑星探査 (24~27回) 日本の宇宙開発と太陽系惑星探査 6. 地球・太陽系惑星の環境 (28~30回) 地球温暖化、太陽系惑星での生命の可能性 等
履修上の留意点	概論、入門的な講義なので、特に準備は必要としない。
成績評価の方法	基礎的な物理・化学の知識が必要な場合がある。
参考書	数回の出席を兼ねたレポートと後期の試験期間に行うテストまたはレポートを併せて評価する。 授業中の資料で理解できる事を目指すが、講義中に数冊指定する。

履修コード	221801・221901・222001
科目名	自然環境論〔生物の集団と環境〕
担当者名	<small>さかまき よしあき</small> 坂巻 義章

自然分野

講義の到達目標(ねらい)	地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを自ら考えられるようにしたい。
講義の内容／授業スケジュール	前期 (1) ガイダンス (2) 地球 (3) 気圏と水圏 (4) 環境とは何か (5) 生物とは何か (6) 生物界のなりたち (7) 地球生物の歴史と環境① (8) 地球生物の歴史と環境② (9) 地球生物の歴史と環境③ (10) 生物の進化 (11) 進化説 (12) 環境への適応① (13) 環境への適応② (14) 生物の分布 (15) 前期のまとめと試験 後期 (16) 食物連鎖 (17) エネルギー流 (18) 生態ピラミッド (19) 個体群 (20) 出生と死亡 (21) 競争と住み分け (22) 捕食 (23) 共生と寄生 (24) 土壌と分解者 (25) 物質循環 (26) 里山の生態系 (27) 人口問題と環境問題① (28) 環境問題② (29) 環境問題③ (30) まとめと試験
準備学習	生物や環境に関する本や新聞記事など科学一般の知識に興味を持って欲しい。生物学的な分野が中心になるが高校などでの生物の知識は特に無くても困らないように説明する。
履修上の留意点	スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。
成績評価の方法	筆記試験(前、後期の最終回を予定)を中心に出席点と合わせて行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。ただし、出席については登録人数がおおむね200人を超えた場合、時間的制約や信頼度の関係で取らないものとする。この場合は出席点がなくなるので最初の講義時にその変更を告知する。
教科書／テキスト	使用しない。プリントを配布する。
参考書	指定しない。関連する本などを広く読んで欲しい。
その他の他	講義形式の授業とする。

履修コード	346301
科目名	自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕
担当者名	<small>しのはら まさあ</small> 篠原 正雄

講義の到達目標(ねらい)	現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義する。個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたい。
講義の内容／授業スケジュール	(1~10) 宇宙と地球環境：自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成 (11~15) 地球環境の変動：宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動 (16~25) 地球環境問題：オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題 (26~30) 宇宙と地球の未来：文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI：地球外文明探査
成績評価の方法	中間試験(筆記試験かレポートか未定。講義の中で知らせる。)および学年末に行う筆記試験の平均点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は20点までの範囲で考慮する。
教科書／テキスト	木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』(東京教学社) 2,300円+税
参考書	小宮山宏「地球持続の技術」岩波新書647、660円+税
その他の他	その他講義の中で適宜紹介する。 「宇宙」に関する映像を使うことがある。教科書外の事項については適宜プリント等を配布する。YeStudyを活用する。

履修コード	221701
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	中村 敏枝

講義の到達目標(ねらい)	私たちは今後ますます環境に配慮した行動をとることを要求されるだろう。そのためには、生態系におけるヒトの位置と、生物としての限界を正しく認識して、生活活動、経済活動、経済利益と効率などを長期的な視野で考えることが肝要である。これを本講義のねらいとする。
講義の内容／授業スケジュール	(前期) 自然環境の改変 (1-6) 自然のしくみ (7-12) 自然の改変 (後期) 人間の活動と地球環境—食をめぐる問題 (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物 (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物 (23-25) 漁業—海外依存度
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書／テキスト	使用しません。
参 考 書	赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円 その他については授業時間内に随時紹介します。
そ の 他	授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	221301・221401・221601
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	持丸 真里

講義の到達目標(ねらい)	生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げていく。また、これらの事例を通して、生態系の保全や持続可能な人間社会のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 生化学・生態学の導入 (2-3) 生態系の成り立ち (4) 生物とは何か (5-6) 生物の進化と地球環境 (7-10) 地球温暖化 (11-12) 生態系内の物質循環 (13-14) 生産者の働きと生態系 (15) 中間試験 (16-17) 森林破壊 (18) 生物多様性 (19-20) 生態系の浄化作用 (21-22) 化学物質による生態系汚染 (23-24) ダイオキシン問題 (25-26) 環境ホルモン (27-28) オゾン層破壊 (29-30) 近代農業の問題
準 備 学 習	毎回の講義の後に、YeStudyで講義内容のキーワードを掲載する。欠席したときや復習の時に役立ててほしい。
履修上の留意点	上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。
成績評価の方法	筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。
教科書／テキスト	なし
参 考 書	講義内で随時紹介する。
そ の 他	YeStudyを補助的に利用するので、なるべくコース登録を行うこと。

履修コード	221101・221201・346401
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅

講義の到達目標(ねらい) 18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容／
授業スケジュール

- 〔地球表層の環境〕
1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)
 2. 気候の決定要因 (3~7回)
 3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)
- 〔人間活動による環境変化〕
1. 公害問題の変遷 (9回)
 2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)
 3. 大気汚染 (17回)
 4. 酸性雨 (18回)
 5. 光化学スモッグ (19回)
 6. オゾン層の破壊 (20回)
 7. 海洋汚染 (21, 22回)
 8. 廃棄物問題 (23, 24回)
 9. 資源とエネルギー (25~27回)
- 〔自然災害〕
1. 気候変動 (28回)
 2. 地震とその災害 (29回)
 3. 火山とその災害 (30回)

履修上の留意点

- (1) 講義は、板書と併せ、プロジェクターを使いながら進めていきます。
- (2) 7月に、PC教場でインターネットを利用した大気汚染に関する実習を行います。
学内でインターネットにアクセスするためのIDを持たない方は、総合情報センターで取得してください。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

成績は、定期試験とレポートにて評価します。
特になし。
講義中に紹介します。
講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	222201・222301
科目名	自然誌〔現代の自然像〕
担当者名	しみず よしかず やまがた たけし もちまる まり しのはら まさお 清水 善和・山縣 毅・持丸 真里・篠原 正雄

講義の到達目標(ねらい) 本講義では自然科学部門の4人の教員(天文学、地質学、生物学、化学)がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄って、宇宙の始まりから地球の形成、生命の起源、進化を経て人類の時代に至るまでの自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、現在私たちが直面している地球環境問題等についても紹介する。以上の講義を通じて総合的、統一的、現代的な自然像を養う。

講義の内容／
授業スケジュール

全体のガイダンス(1回):第1講 宇宙の進化と地球の起源(篠原正雄)(1)宇宙の構造と起源(2-3回)、(2)宇宙の進化と物質の進化(4-6回)、(3)太陽系の起源と進化(7-8回);第2講 地球の進化(山縣毅)(1)地球の形成(9-10回)、(2)大陸と海洋の形成(11回)、(2)地球と生命の共進化(12-14回)、(3)変動する地球(15-16回);第3講 生命の起源と進化(清水善和)(1)生命の起源(17-19回)、(2)生物の進化と進化論(20-21回)、(3)人類の進化(22回)、(4)生物多様性(23回);第4講 産業の発展と環境の変化(持丸真里)(1)人口増加とエネルギー消費の歴史(24回)、(2)エネルギー消費と「豊かさ」(25回)、(3)化石燃料の化学(26-27回)(4)大気環境の変化(古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ)(28-29回)(5)未来のエネルギー(30回)

履修上の留意点

本科目は1年間の講義を通して統一的・総合的な自然像を養うことを目的とするので、毎回の出席が困難な学生は履修を控えてほしい。教員ごとに計4回の評価(テストやレポート等)を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。定期試験・追試験は行わないので、各教員の指示に従って必ずそのつど評価を受けること。

教科書／テキスト
参 考 書

特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。
各教員がそれぞれの講義の中で適宜紹介する。

履修コード	227601
科目名	情報処理技術
担当者名	近藤 啓介

講義の到達目標(ねらい)

情報化社会において、コンピュータによる情報処理技術の習得は大変重要である。医療現場においても情報化が進みコンピュータの操作技術は必要不可欠なものとなっている。この授業では、コンピュータの基本的操作とインターネットの利用方法から、将来の卒業論文を書くにあたって必要な文章作成・編集・数式作成、表計算やグラフ作成が行えるように演習形式で授業を進める。

また、国家試験においてコンピュータやIT関連の問題が出題されるようになってきているので、情報処理関連の基礎知識も合わせて習得を目指す。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) 情報倫理
- (2) インターネットと電子メールの利用
- (3～4) 論文・レポートの作成方法
- (5～8) MS-Wordによる文書作成・編集・数式作成・図の作成
- (9～10) 表やグラフの書き方
- (11～12) MS-Excelによる表計算・関数の利用・グラフの作成
- (13～15) 通信技術とセキュリティ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

演習形式で行うので、積極的に受講すること。
取り組み姿勢・演習成績・レポート提出によって評価する。
プリントを配布する。
授業中に紹介する。

履修コード	227621
科目名	情報処理技術
担当者名	近藤 啓介

講義の到達目標(ねらい)

情報化社会において、コンピュータによる情報処理技術の習得は大変重要である。医療現場においても情報化が進みコンピュータの操作技術は必要不可欠なものとなっている。この授業では、コンピュータの基本的操作とインターネットの利用方法から、将来の卒業論文を書くにあたって必要な文章作成・編集・数式作成、表計算やグラフ作成が行えるように演習形式で授業を進める。

また、国家試験においてコンピュータやIT関連の問題が出題されるようになってきているので、情報処理関連の基礎知識も合わせて習得を目指す。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) 情報倫理
- (2) インターネットと電子メールの利用
- (3～4) 論文・レポートの作成方法
- (5～8) MS-Wordによる文書作成・編集・数式作成・図の作成
- (9～10) 表やグラフの書き方
- (11～15) MS-Excelによる表計算・関数の利用・グラフの作成

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

演習形式で行うので、積極的に受講すること。
取り組み姿勢・演習成績・レポート提出によって評価する。
プリントを配布する。
授業中に紹介する。

履修コード	222701・346501
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	小沢 誠 <small>あざわ まこと</small>

<p>講義の到達目標(ねらい)</p> <p>講義の内容／ 授業スケジュール</p> <p>準備学習 履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書 その他</p> <p>関連リンク</p>	<p>コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に付けることを目標とする。 教科書に従って以下の項目を解説する。 各節を2～3回かけて授業を行う。</p> <p>第1章 集合と論理 §1 集合 §2 論理</p> <p>第2章 関係と写像 §1 関係 §2 写像</p> <p>第3章 代数系 §1 代数系 §2 半群と群 §3 環と体</p> <p>第4章 順序集合と束 §1 順序 §2 束とブール代数</p> <p>第5章 グラフ §1 グラフ §2 平面グラフ §3 有限オートマトン</p> <p>講義の前に、予め教科書を読んでおくことをお薦めする。 毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。</p> <p>前期と後期の期末試験の結果で評価する。 石村園子著『やさしく学べる離散数学』共立出版 2,100円(税込) ISBN978-4-320-01846-4 適宜紹介する。 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。</p> <p>http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/jyoho.html</p>
---	--

履修コード	226401
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	加藤 博己

講義の到達目標(ねらい) 心理学は、基礎分野と応用分野に分けることができるが、この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し、132年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究方法、歴史）を概観することで、「心理学」とはどのような学問であるのかを理解し、心理学の基礎知識（代表的な理論、事項、人名など）を習得するとともに、科学的な視点を身につけることを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 前期：【オリエンテーション】講義の日標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認

【記憶】1.記憶の過程（記銘-保持-想起）、2.記憶の分類（感覚・短期・長期、意味・エピソード、手続き記憶）、3.記憶の仕方（集中・分散、リハーサル）、4.記憶の変容（目撃証言）、5.忘却の仕方（忘却曲線）と理由（自然崩壊説、干渉説、検索失敗説、抑圧説）

【感覚・知覚・認知】1.感覚（感覚のモダリティ、閾値、順応）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）

【学習・思考】1.レスポナント条件づけ（強化・消去・般化・分化）、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）、4.初期学習（刷り込み）

【動機づけ】1.動機づけの分類（欲求、要求、動因、マスローの欲求五段階説）、2.葛藤、3.コンプレックス

【情動】1.感情の生起（末梢起源説、中枢起源説、認知説）、2.感情の測定（SD法、一対比較法、生理的変化の測定）

後期

【発達】1.発達段階（フロイトの精神性発達理論、ピアジェの認知発達、エリクソンのライフサイクル）、2.発達要因（遺伝と環境）、3.愛着（母性的養育の欠如）、4.知覚の発達（視覚的選好法、視覚的断崖）、5.発達の研究方法（横断、縦断、コホート）

【パーソナリティ】1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定（信頼性、妥当性、標準化）、3.パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4.知能、5.知能の測定（ビネー式、ウェクスラー式）

【社会】1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論、アイヒマン実験）、2.相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論

【心理学論】1.「心理学」の語源、2.定義、3.心理学の分野、4.心理学の研究方法、5.心理学の歴史（構成主義、機能主義、ゲシュタルト心理学、精神分析学、行動主義、認知心理学、人間性心理学ほか）

準備学習 毎週実施される「ワーク」（前回の授業内容理解度を確かめる小テスト）に備えて、毎授業後に復習を怠らないこと。

履修上の留意点 この講義で、読心術や性格占い、心理ゲームといった「心理学」に属さないものや、犯罪心理学、カウンセリングなどの応用心理学に該当するものは学ぶことができない。

履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の日標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。初回授業から心理学の講義を行うので、遅刻・欠席をしないこと。また、毎週欠かさず復習を行う必要があり、単に授業に出席しているだけでは、単位の取得は望めない。

成績評価の方法 前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。いずれかが未受験の場合は単位は取得できない。詳細は初回のオリエンテーションで述べる。

教科書／テキスト 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃（編）2008年『心理学 第3版』東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-0

参考書 橋本泰子（編）2010年『ありがとう療法 入門編 幸せになる自己カウンセリング』おうふう 1,680円（本体1,600円＋税）ISBN978-4-273-03627-0

橋本泰子（編）2010年『ありがとう療法 実践編 幸せになる自己カウンセリング』おうふう 1,260円（本体1,200円＋税）ISBN978-4-273-03630-0

その他 その他、教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。他に必要に応じて紹介する。

主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査、調査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

自然分野

履修コード	226801
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	加藤 博己

自然分野

講義の到達目標(ねらい)

心理学は、基礎分野と応用分野に分けることができるが、この講義では、人間関係に重点を置きつつ、哲学から独立し、132年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論(語源、定義、分野、研究方法、歴史)を概観することで、「心理学」とはどのような学問であるのかを理解し、心理学の基礎知識(代表的な理論、事項、人名など)を習得するとともに、科学的な視点を身につけることを目指す。

講義の内容／授業スケジュール

前期：【オリエンテーション】講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認

【記憶】1.記憶の過程(記銘-保持-想起)、2.記憶の分類(感覚・短期・長期、意味・エピソード、手続き記憶)、3.記憶の仕方(集中・分散、リハーサル)、4.記憶の変容(目撃証言)、5.忘却の仕方(忘却曲線)と理由(自然崩壊説、干渉説、検索失敗説、抑圧説)

【感覚・知覚・認知】1.感覚(感覚のモダリティ、閾値、順応)2.知覚(図と地、群化、恒常性)、3.認知(心的回転)、対人認知(ハロー効果、ピグマリオン効果)

【学習・思考】1.レスポナント条件づけ(強化・消去・般化・分化)、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論(試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習)、4.初期学習(刷り込み)

【動機づけ】1.動機づけの分類(欲求、要求、動因、マズローの欲求五段階説)、2.葛藤、3.コンプレックス

【情動】1.感情の生起(末梢起源説、中枢起源説、認知説)、2.感情の測定(SD法、一対比較法、生理的変化の測定)

後期

【発達】1.発達段階(フロイトの精神性発達理論、ピアジェの認知発達、エリクソンのライフサイクル)、2.発達要因(遺伝と環境)、3.愛着(母性的養育の欠如)、4.知覚の発達(視覚的選好法、視覚的断崖)、5.発達の研究方法(横断、縦断、コホート)

【パーソナリティ】1.パーソナリティの分類(類型論・特性論・力動論)、2.パーソナリティの測定(信頼性、妥当性、標準化)、3.パーソナリティ検査(質問紙法、投影法、作業検査法)、4.知能、5.知能の測定(ビネー式、ウェクスラー式)

【社会】1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響(印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論、アイヒマン実験)、2.相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論

【心理学論】1.「心理学」の語源、2.定義、3.心理学の分野、4.心理学の研究方法、5.心理学の歴史(構成主義、機能主義、ゲシュタルト心理学、精神分析学、行動主義、認知心理学、人間性心理学ほか)

準備学習

毎週実施される「ワーク」(前回の授業内容理解度を確かめる小テスト)に備えて、毎授業後に復習を怠らないこと。

履修上の留意点

この講義で、読心術や性格占い、心理ゲームといった「心理学」に属さないものや、犯罪心理学、カウンセリングなどの応用心理学に該当するものは学ぶことができない。

成績評価の方法

履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。初回授業から心理学の講義を行うので、遅刻・欠席をしないこと。また、毎週欠かさず復習を行う必要がある、単に授業に出席しているだけでは、単位の取得は望めない。

教科書／テキスト

前期授業の最終日より1回前の授業(7月)に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。いずれかが未受験の場合は単位は取得できない。詳細は初回のオリエンテーションで述べる。

参考書

鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 2008年『心理学 第3版』東京大学出版会 2,520円(本体2,400円+税) ISBN4-13-012041-0

橋本泰子(編) 2010年『ありがとう療法 入門編 幸せになる自己カウンセリング』おうふう 1,680円(本体1,600円+税) ISBN978-4-273-03627-0

橋本泰子(編) 2010年『ありがとう療法 実践編 幸せになる自己カウンセリング』おうふう 1,260円(本体1,200円+税) ISBN978-4-273-03630-0

その他の他

その他、教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。他に必要に応じて紹介する。

主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査、調査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

履修コード	226501
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	すまやま まさみ 杉山 雅美

講義の到達目標(ねらい)

「心理学」は、その対象が「心」という、人間にとってもっとも身近なものであり、みなさんも日常のヒューマン・ウォッチングやさまざまな経験をもとに、各人各様の「心理学」を構築し、日々の生活のなかで応用していることと思います。また、書籍や雑誌、テレビ番組等メディアからの情報を通じて、心理テストやカウンセリングといった側面などから、「心理学」に対するイメージや興味だけでなく、すでに知識をもっている人も多いことでしょう。

一方、高校までの履修科目には「心理学」がないこともあってか、みなさんのイメージするその内容と、学問としての「心理学」との間には少なからず違いがありますし、科学的裏付けが希薄だったり、主観によるバイアスが含まれている場合も見受けられます。

本講義では、学問としての「心理学」の概論的内容について、身近な具体例を通して紹介していきます。それにより、自分や周囲の他者、ひいては人間の心・行動にまつわる諸現象に対する科学的視点からの理解を目的とします。

年間スケジュールと進捗状況による変更もありますが、概ね以下のように進める予定です。

第1回：ガイダンス・心理学とは何か、第2・3回：感覚・知覚、第4～6回：学習、第7・8回：記憶、第9・10回：思考・言語、第11・12回：情動・動機づけ、第13～15回：パーソナリティ、第16・17回：知能、第18・19回：発達、第20～25回：臨床、第26～29回：社会、第30回：心理学の歴史・研究法

各学習内容について、その現象・法則等が当てはまりそうな身近な具体例を自分なりに考えながら授業に臨んだり、日常生活をすごしたりすると、心理学が単なる知識だけでない、より実感のともなった理解や応用へとつながりますし、自分自身や周囲の他者の行動や動機等に対する客観的な捉え方のトレーニングにもなると思います。

講義の内容／
授業スケジュール

準備学習

履修上の留意点

履修するうえでとくに予習は求めませんが、そのぶん講義中は私語を慎しみ、集中して臨んで下さい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

年度末に行われる筆記試験の成績と出席状況により、総合的に評価します。

教科書はとくに指定しません。

講義の中で適宜紹介します。

自然分野

履修コード	226701・226901・345401
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	<small>すずき しゆんいち</small> 鈴木 順一

自然分野

講義の到達目標(ねらい)

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、文字通り問い学ぶことである。講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立てる。仮説の基にサーチライトをあて、実験や調査をして検証(反証)し、新たな仮説設定や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。

同時に体験と知識を統合するために、受動的聴講だけではなく能動的探求学習をしていただきます。問題意識を持ち検索・調査・探求・考察し、レポートにまとめていただく宿題が課せられます。

講義の内容／
授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]授業方針とオリエンテーション [2]グループ形成と集団規範 [3]エンカウンター(出会いと人間関係づくり) [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]精神分析(無意識の心の働き) [9]感覚・知覚・認知(環境を知る働き)

履修上の留意点

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自他肯定の人間関係 [13]relaxation法による心身の健康回復 [14]学習理論と行動療法

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただきます。毎回グループごとに自筆で出席表に記入し、起立していただいて本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範(①欠席をしないこと、②時間を守ること、③私語をしないこと等)を遵守することと、全回出席することが求められます。欠席した場合には、理由を問わず1欠席につき1冊の心理学参考図書を読み、レポートを提出する必要があります。

成績評価の方法

選択には、責任が伴います。せっかく履修選択してもルールを守れないために、途中で履修をあきらめ出席しなくなる人が、多数います。6人のグループを編成していますので、途中脱退者がいますと他のメンバーに迷惑をかけますので、自己の責任において、主体的に選択してください。事前登録(抽選登録)する場合には、登録する前にこのシラバスをよく読み、先輩等に調査確認をしてください。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修登録しないでください。

教科書／テキスト

出席状況と、予告なしに行われる平常時の数回の試験、レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

参考書
その他

使用しません。授業内で紹介する参考図書や、自分で文献検索した資料等を読み概念学習を進めていただきます。最低、5冊以上の文献を読む必要があります。

必要に応じて、授業内で指示します。
この授業だけではなく、すべての「心理学」の授業で、心理学卒業生年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

履修コード	345301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	鈴木 順一

講義の到達目標(ねらい)

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、文字通り問い学ぶことである。講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強することではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立てる。仮説の基にサーチライトをあて、実験や調査をして検証(反証)し、新たな仮説設定や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。

同時に体験と知識を統合するために、受動的聴講だけではなく能動的探求学習をしていただきます。問題意識を持ち検索・調査・探求・考察し、レポートにまとめていただく宿題が課せられます。

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

講義の内容/
授業スケジュール

【前期】 [1]授業方針とオリエンテーション [2]グループ形成と集団規範 [3]エンカウンター(出会いと人間関係づくり) [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]精神分析(無意識の心の働き) [9]感覚・知覚・認知(環境を知る働き)

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自他肯定の人間関係 [13]relaxation法による心身の健康回復 [14]学習理論と行動療法

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただきます。毎回グループごとに自筆で出席表に記入し、起立していただいて本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範(①欠席をしないこと、②時間を守ること、③私語をしないこと等)を遵守すること、全回出席することが求められます。欠席した場合には、理由を問わず1欠席につき1冊の心理学参考図書を読み、レポートを提出する必要があります。

成績評価の方法

選択には、責任が伴います。せっかく履修選択してもルールを守れないために、途中で履修をあきらめ出席しなくなる人が、多数います。6人のグループを編成していますので、途中脱退者がいますと他のメンバーに迷惑をかけますので、自己の責任において、主体的に選択してください。事前登録(抽選登録)する場合には、登録する前にこのシラバスをよく読み、先輩等に調査確認をしてください。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修登録しないでください。

教科書/テキスト

出席状況と、予告なしに行われる平常時の数回の試験、レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

使用しません。授業内で紹介する参考図書や、自分で文献検索した資料等を読み概念学習を進めていただきます。最低、5冊以上の文献を読む必要があります。

参考書
その他の

必要に応じて、授業内で指示します。
この授業だけではなく、すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

履修コード	226201
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	高橋 良博

講義の到達目標(ねらい)	心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。 特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間行動の対人行動やストレス・適応などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。 また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。
講義の内容／授業スケジュール	講義の予定としては、前期では、感覚・知覚・学習などの問題について学び、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の各研究領域に焦点をあててゆく。 各回ごとの講義予定は以下の通りである。 1 オリエンテーション(講義のねらい・成績の基準・評価履修上の注意など)、2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち、3 心理学研究法、4 感覚(1)、5 感覚(2)、6 感覚(3)、7 感覚(4)、8 感覚(5)、9 知覚(1)、10 知覚(2)、11 知覚(3)、12 知覚(4)、13 学習(1)、14 学習(2)、15 学習(3)、16 学習(4)、17 記憶(1)、18 記憶(2)、19 記憶(3)、20 動機づけ(1)、21 動機づけ(2)、22 感情と情動(1)、23 感情と情動(2)、24 ストレス・適応(1)、25 ストレス・適応(2)、26 ストレス・適応(3)、27 パーソナリティ(1)、28 パーソナリティ(2)、29 パーソナリティ(3)、30 試験
履修上の留意点	履修者は、講義中は私語をつつしむ静粛に講義を受講すること。講義の進行や、他の受講生への迷惑行為が目立つ者は、教室からの退出をもとめる場合がある。講義に関係の無い、教室内での携帯電話の使用やオーディオプレイヤー、パソコン等の使用者は在席していても欠席扱いとなる場合がある。
成績評価の方法	筆記試験の得点、レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを得点化して総合的に評価を行う。講義への出席は全講義回数の3分の2以上を前提とする。
教科書／テキスト 参 考 書	鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版) 2,000円税別 講義の中で指示する。

履修コード	226601
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	高橋 良博

講義の到達目標(ねらい)	心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。 特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。 また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。
講義の内容／授業スケジュール	講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義スケジュールは以下の通りである。 1 講義についてのオリエンテーション 2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち 3 心理学研究法 4 感覚(1) 5 感覚(2) 6 感覚(3) 7 感覚(4) 8 知覚(1) 9 知覚(2) 10 知覚(3) 11 知覚(4) 12 学習(1) 13 学習(2) 14 学習(3) 15 学習(4) 16 記憶(1) 17 記憶(2) 18 記憶(3) 19 動機づけ(1) 20 動機づけ(2) 21 感情と情動(1) 22 感情と情動(2) 23 ストレス・適応(1) 24 ストレス・適応(2) 25 ストレス・適応(3) 26 パーソナリティ(1) 27 パーソナリティ(2) 28 パーソナリティ(3) 29 パーソナリティ(4) 30 試験 (上記の講義スケジュールは、履修学生の理解度などを確認しながら、若干の時間調整を行う可能性もある。)
履修上の留意点	履修者は、講義中は私語をつつしむ静粛を保って受講すること。私語その他の迷惑行為が目立つ場合、教場外への退出をもとめる事がある。講義時間中、講義内容に無関係な携帯電話やオーディオ・プレイヤー、パソコンなどの使用者は、在席していても欠席扱いとなる場合がある。
成績評価の方法	筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを得点化して総合的に評価を行う。評価される講義への出席回数は原則的に全講義回数の3分の2以上を前提とする。
教科書／テキスト 参 考 書	鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版) 2,000円税別 講義中に指示する。

履修コード	227001
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	<small>たかはし ましひろ</small> 高橋 良博

講義の到達目標(ねらい)	<p>心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。</p> <p>特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。</p> <p>また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義予定は以下の通りに進めてゆく予定。</p> <p>1 講義についてのオリエンテーション 2 心理学の定義・心理学も領域・心理学の成り立ち 3 心理学研究法 4 感覚(1) 5 感覚(2) 6 感覚(3) 7 感覚(4) 8 感覚(5) 9 知覚(1) 10 知覚(2) 11 知覚(3) 12 知覚(4) 13 学習(1) 14 学習(2) 15 学習(3) 16 学習(4) 17 記憶(1) 18 記憶(2) 19 記憶(3) 20 動機づけ(1) 21 動機づけ(2) 22 感情と情動(1) 23 感情と情動(2) 24 ストレス・適応(1) 25 ストレス・適応(2) 26 パーソナリティ(1) 27 パーソナリティ(2) 28 パーソナリティ(3) 29 パーソナリティ(4) 30 試験</p> <p>(上記の予定は、履修学生の理解度などを考慮し、時間配分に若干の修正が加わる場合もある。)</p>
履修上の留意点	<p>履修者は、受講中は私語をつつし静粛を保つこと。講義の進行や他の受講生への迷惑行為に該当する行動が日立つ者には退出をもとめる場合がある。講義時間中、講義内容に関係のない携帯電話の使用や、オーディオ・プレイヤー、パソコン等の使用者は在席していても欠席扱いとする場合がある。</p>
成績評価の方法	<p>筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)など総合に得点化して、最終的な評価を行う。評価の対象となる出席は全講義回数の3分の2以上を原則とする。</p>
教科書／テキスト 参 考 書	<p>鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版)2,000円税別 講義中に指示する。</p>

履修コード	226301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	<small>ほり なおと</small> 堀 直人

講義の到達目標(ねらい)	<p>心理学とは、科学的な視点から「こころ」にアプローチする学問である。本講義の目的は、心理学の諸領域を概観することで、心と行動の理解につながる基礎知識を習得することである。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>(1) オリエンテーション (2~5) 心理学とは (6~10) 学習・記憶 (11~15) 感覚・知覚 (16~18) 思考・言語 (19~21) 情動・動機づけ (22~24) パーソナリティ (25~27) 社会行動 (28~30) 心理学の応用</p>
成績評価の方法	<p>定期試験および出席状況によって総合的に評価する。</p>
参 考 書	<p>鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 『心理学 第3版』 東京大学出版会 ISBN978-4-13-012047-0</p>
そ の 他	<p>心理学の実験や調査への参加をお願いすることがあります。</p>

履修コード	227101・227201
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	ほりうち まさひこ 堀内 正彦

講義の到達目標(ねらい)	人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、それ以外にも、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物事の捉え方や判断の仕方など、様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。
講義の内容／ 授業スケジュール	心理学の様々な分野を概観できるように、下記の内容、スケジュールで講義を進行する予定である。 第1回 オリエンテーション 第2～3回 心理学の視点 第4～6回 発達 - 環境と遺伝 - 第7～10回 学習 第11～13回 記憶 第14回 前期末試験 第15～17回 感覚・知覚 第18～21回 思考・言語 第22～24回 動機づけ・情動 第25～27回 個人差 第28～30回 社会行動
履修上の留意点	この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいふべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。
成績評価の方法 教科書／テキスト その他	試験の結果（前期の講義内と定期試験の計2回）による。 鹿取廣人・杉本敏夫（編）『心理学 第3版』（東京大学出版会） 私語については、厳格に対応します。授業の初回に行うオリエンテーションで詳細を説明しますので、必ず出席して下さい。また、年間を通して数回の実験や調査に参加していただく場合があります。

履修コード	227301
科目名	心理学〔心を科学する〕（夏季集中）
担当者名	こむら ひろよし 小室 央允

講義の到達目標(ねらい)	日常的に、自分や他人の行動に関心を持ち、その理由や原因を考える心理学的な興味は、誰もが持っているであろう。また、様々なメディアでも人の心理に関することが多く取り上げられ、心理学という言葉が身近に感じるようになっているのではないだろうか。しかし、学問的に心理学といった場合には、十分な理解はなされていないと思われる。 学問としての心理学とは、心を科学的な方法で解明しようとするものである。本講義では、その学問としての心理学を概観し、理解することを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	オリエンテーション(1)、心理学の歴史・研究法(2～3)、感覚・知覚(4～6)、動機づけ(7～9)、感情・情動(10～12)、学習(13～15)、記憶(16～18)、思考(19～21)、発達(22～24)、パーソナリティ(25～27)、社会(28～30) 進捗状況により変更あり。
履修上の留意点	私語は慎むこと。
成績評価の方法 その他	出席と授業内で行う小テストで評価する。 8月1日(月)～5日(金)・8日(月)の1～5限

履修コード	226001・226101
科目名	人類学〔人類の進化〕
担当者名	馬場 ^{ばば} 悠男 ^{ひさお}

講義の到達目標(ねらい)

ヒトとチンパンジーの共通祖先だった最初期の人類が、いつ、なぜ、どこで、どのような要因で現在の私たちになったかを知り、人間自身の本性を理解し、人類の将来を考える一助とする。楽しく考え、ためになる授業を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

1-5回：ヒトはどこまで動物か、ヒトはなぜゾウに似ているかなど。6-10回：立ち上がった猿人たちが、豊かな森林から厳しい草原へなど。11-15回：道具を作った原人と旧人、フロレス島のホビットなど。16-20回：サピエンスの世界戦略、5万年前の革命はあったかなど。21-25回：日本人はどこから来たか、縄文VS弥生など。26-28回：病いの起源、給食を正課にせよなど。29,30回：国立科学博物館見学。その他のトピックを扱うこともある。

履修上の留意点

人間や動物の形態・機能・行動・心理を観察し考える習慣を付ける。2回分は上野の国立科学博物館に見学に行く。私が企画・監修・出演したテレビ番組を活用する。

成績評価の方法

学期末の試験とともに授業中の小テストさらに出席点も加味して総合的に判断する。授業中、良い質問をすると、プラスアルファ。

教科書／テキスト
参 考 書

馬場悠男監修『学研まんが ヒトの進化の秘密』学習研究社880円 ISBN978-4-05-202931-8
馬場悠男編著訳『人間性の進化 700万年の軌跡をたどる』日経サイエンス社1,900円
ISBN4-532-51151-8：馬場悠男解説訳『ホモ・フロレシエンシス上下』NHKブックス・日本放送出版協会 上下各970円 ISBN978-4-14-091112-9C1345：馬場悠男・道方しのぶ訳『人類進化大全』悠書館12,000円 ISBN978-4-903487-18-2

自然分野

履修コード	222401
科目名	数学〔微積分学入門〕
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠

講義の到達目標(ねらい) 数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 教科書に従って以下の項目を解説する。各節を4～6回かけて授業を行う。

- 第1章 1変数関数の微分積分
 - §1 1変数関数
 - 1.1 1変数関数
 - 1.2 今までに学んだ1変数関数
 - 1.3 三角関数
 - 1.4 逆三角関数
 - 1.5 指数関数
 - 1.6 対数関数
 - §2 1変数関数の微分
 - 2.1 微分
 - 2.2 微分公式
 - 2.3 初等関数の導関数
 - 2.4 n次導関数
 - 2.5 平均値の定理と不定形の極限
 - 2.6 マクローリン展開
 - 2.7 関数の増減とグラフの凹凸
 - §3 1変数関数の積分
 - 3.1 不定積分
 - 3.2 初等関数の不定積分
 - 3.3 置換積分
 - 3.4 部分積分
 - 3.5 有理関数の積分
 - 3.6 定積分
 - 3.7 面積と回転体の体積
- 第2章 2変数関数の微分積分
 - §1 2変数関数
 - 1.1 2変数関数
 - 1.2 2変数関数の例
 - §2 2変数関数の微分
 - 2.1 偏導関数
 - 2.2 高次偏導関数
 - 2.3 全微分と接平面
 - 2.4 合成関数の微分
 - 2.5 2変数関数の極値
 - §3 2変数関数の積分
 - 3.1 累次積分
 - 3.2 重積分
 - 3.3 極座標への変数変換
 - 3.4 立体の体積

準備学習 講義の前に、予め教科書を読んでおくことをお勧めする。
履修上の留意点 毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法 前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書/テキスト 石村園子著『やさしく学べる微積分』共立出版 2,100円(税込) ISBN4-320-01633-5

参考書 適宜紹介する。

その他 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/biseki.html>

履修コード	222501
科目名	数学〔線形代数学入門〕
担当者名	おさわ まこと 小沢 誠

講義の到達目標(ねらい) 数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的な思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 教科書に従って以下の項目を解説する。各節を4～6回かけて授業を行う。

第1章 行列と行列式

§1 行列

- 1.1 行列の定義
- 1.2 行列の演算
- 1.3 正方行列と逆行列

§2 連立1次方程式

- 2.1 連立1次方程式
- 2.2 行基本変形
- 2.3 行列の階数
- 2.4 連立1次方程式の解
- 2.5 逆行列の求め方

§3 行列式

- 3.1 行列式の定義
- 3.2 行列式の性質
- 3.3 逆行列の存在条件
- 3.4 クラメールの公式

第2章 線形空間

§1 空間ベクトル

- 1.1 ベクトル
- 1.2 内積

§2 線形空間

- 2.1 線形空間の定義
- 2.2 n項列ベクトル空間
- 2.3 線形独立と線形従属
- 2.4 部分空間
- 2.5 基底と次元
- 2.6 線形写像

§3 内積空間

- 3.1 内積空間
- 3.2 正規直交基底
- 3.3 固有値と固有ベクトル
- 3.4 行列の対角化
- 3.5 2次曲線の標準形

準備学習

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト

参考書

その他の

関連リンク

講義の前に、予め教科書を読んでおくことをお勧めする。

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

前期と後期の試験の結果で評価する。

石村 園子著『やさしく学べる線形代数』（共立出版）2,100円（税込）ISBN4-320-01660-2

適宜紹介する。

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/senkei.html>

履修コード	222601
科目名	数学 (現代数学入門)
担当者名	福田 賢一

講義の到達目標(ねらい)	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。 また、情報環境、情報機器への理解を深めるため、その数理側面を充実させる。時間に余裕があれば、経済・金融等に必要とされる数理的基礎にも触れる。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期：3回 論理の基礎と言語、形式論理、推論形式 2回 情報理論の数理と論理、論理設計・論理回路、 2回 情報、通信機器の理解と数理 2回 線型代数とその応用、ベクトル、行列 2回 線型計画法とその応用 2回 関数の定義と処理、 2回 まとめ、演習 後期：2回 数列と級数 2回 級数の応用、金利と返済 2回 確率現象と社会現象、リスクの計算、保険の数理 2回 微分法の基礎 2回 積分法の基礎とその応用 2回 微分積分の応用 3回 社会・経済現象の数理トピックス、問題演習
準備学習	講義の前に、前回のノートを見直し、内容の確認をし、疑問点を放置しない事。 高等学校の教科書は処分せずに、折に触れ見直す事。
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要がある。 ノートをしっかり採ることが必要である。ノートの採り方、活用法等についても時間の許す限り指導する。
成績評価の方法	前後期試験の70%、レポート・問題演習30%とし評価する。 出席状況については、良好の場合1.1倍、平均的に1倍、平均を下回る場合は0.9倍とする。出席不足は単位認定の対象外。
教科書／テキスト	教科書は使用しない。教材、資料等を数時限に一回の割合で配布する。 また、内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。
参考書 その他の	参考文献等は配布する教材、資料等に明示する。 印刷教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。印刷教材は再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。 可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

履修コード	227851
科目名	数学序論
担当者名	近藤 啓介

講義の到達目標(ねらい)	診療放射線技師を目指す医療健康科学部の学生には、数学は必要不可欠のものである。そこで、高校の数学が苦手だった人や数学III・Cの単位を取っていない人に対して、大学の数学に進むための高校の数学の復習をして今後の放射線技師のための授業を容易に理解できるような基礎を学習する。範囲は、数学Ⅱ・数学Bから数学Ⅲの微分・積分の導入部分までとするので、1年生の間に基礎的な数学をしっかり身に付けて欲しい。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 指数関数、対数関数、複素数 (4～6) 三角関数 (加法定理、和積・積和の公式等) (7～9) 微分 (微分係数、導関数の定義) (10～11) 微分 (有理関数、合成関数、三角関数、指数関数、対数関数の微分など) (12～15) 積分 (不定積分と定積分、部分積分と置換積分、体積と面積)
履修上の留意点	演習を中心に行いますので、積極的に参加すること。
成績評価の方法	小テスト、レポート、授業への取り組み方から評価する。
教科書／テキスト	石村園子、「大学新入生のための数学入門」、共立出版、2100円、ISBN4-320-01769-2

履修コード	220201・220301・345501
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和

講義の到達目標(ねらい)	地球上には1000万種以上の多様な生物種が存在する(多様性)。一方で、遺伝子に代表される全生物に共通した仕組みがある(普遍性)。そして、その多様性と普遍性をつなぐのが、始原生物に端を発し、40億年にわたって連続と続いた生物の進化ある(歴史性)。本講義では「生物多様性」、「遺伝子」、「進化」の3つの言葉をキーワードに、生物の生態や進化を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	1章：遺伝子と進化(1-3回)、2章：40億年の生物進化(4-6回)、3章：系統と分類(7,8回)、4章：行動と進化(9,10回)、5章：動物の人口論(11,12回)、6章：共生と競争(13,14回)、7章：人類の進化(15-17回)、8章：進化論(18,19回)、9章：生態系(20,21回)、10章：物質の循環(22-24回)、11章：植生遷移(25,26回)、12章：生物多様性(27,28回)、13章：人為と生物(29,30回)
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期のレポート1回、後期の定期試験、通年の出席回数を総合して評価する。 講義内容を文章化した「web版テキスト」(清水執筆)を紹介する。受講者はYeStudyを利用してファイルを自由にダウンロードし、予習・復習に活用できる。
参 考 書 そ の 他	上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。 講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	220401・345601
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	中村 敏枝

講義の到達目標(ねらい)	地球上の生き物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然のおきてに逆らい、自分の歴史をつくらうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。
講義の内容／授業スケジュール	(前期) 生物の生活 (1) 地球の歴史と生命の起源 ・ 最初の生命・地球の歴史・極限環境生物 (2) 生命誕生 ・ いまここにいる奇跡・受精と発生 (3) 生命の維持 ・ なぜ食べるか・消化と吸収・排泄物のゆくえ・植物の光合成 (4) 生態系の物質循環とエネルギーの流れ ・ 陸と海をめぐるいのちの輪 (後期) 化学物質の功罪 (1) ゴミ処理とダイオキシン汚染 ・ ゴミ焼却とダイオキシン・ゴミの減量 Reduce Reuse Recycle ・ ゼロエミッションという考え方 (2) 人工化学物質の功罪 ・ 内分泌かく乱化学物質 - 環境ホルモン (3) 水俣病 ・ 有害物質の蓄積と濃縮 (4) 人工放射性核種 ・ 原発は温暖化を防ぐ救世主か・JCO 臨界事故 (5) まとめ 自然とともに生きる
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書／テキスト	赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
参 考 書 そ の 他	授業時間内に随時紹介します。 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	227901
科目名	生命科学
担当者名	清水 善和

講義の到達目標(ねらい) すべての生物の基本単位となる細胞には、生命の根元物質である遺伝子（DNA）が含まれており、遺伝子の情報に基づいて体が形作られ、また、遺伝子のコントロールのもとにあらゆる生命活動が実現されている。本講義では遺伝子の働きを中心に、現代生物学の主要な分野の基礎的な内容を学習する。

講義の内容／授業スケジュール 1章：生体を作る物質（1,2回）、2章：遺伝子（3,4回）、3章：細胞（5回）、4章：発生（6,7回）、5章：神経と脳（8,9回）、6章：免疫（10回）、7章：性と生殖（11,12回）、8章：遺伝（13,14回）、9章：人体（15回）

成績評価の方法 出席点と試験の点数を合算して評価する。

教科書／テキスト 講義内容を文章化した「web版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者はYeStudyを通じてファイルを自由にダウンロードし、予習・復習に利用できる。

参 考 書 上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。

そ の 他 講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	220901・221001
科目名	地球科学〔自然景観の成り立ち〕
担当者名	市川 清士

講義の到達目標(ねらい) 地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容／授業スケジュール (1) 地球科学とはどんな学問か？ (2～5) 地球の成り立ちと構造について (6～10) 大陸の成り立ちや造山運動【プレートテクトニクス】 (11～15) 地震および活断層について (16～19) 氷期と間氷期【気候変動】 (20～24) 地球温暖化と我々の生活 (25～30) 南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについて

履修上の留意点 日頃から新聞・雑誌・TVなどで地球環境について目を光らせていてください。また、高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。

成績評価の方法 授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書／テキスト 『地球学入門 ―惑星地球と大気・海洋のシステム―』（東海大学出版会）2,940円

参 考 書 参考書はその都度紹介します。

そ の 他 一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオ・DVDによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

履修コード	220501・346101・346201
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	加藤 潔

講義の到達目標(ねらい) 最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。災害から家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

講義の内容／授業スケジュール 本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

前期第1～2回：宇宙と地球の誕生、第3～4回：地球の内部構造、第5～6回：プレートテクトニクス・ブルームテクトニクス、第7～10回：地震、第11～15回：火山（地震と火山については、災害・予知も含む）、後期第16～17回：地殻の物質、第18～19回：造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、第20～24回：生命の歴史、第25～30回：環境問題（地球温暖化問題など）について触れます。

準 備 学 習 雑誌や新聞記事などから、予定される内容に関連した最新情報（災害を含む）を集めて、整理してみましょう。

履修上の留意点 地球科学は自然現象を総合的に説明する科学であり、実生活に根ざした科学でもあります。日頃から、ある自然現象に関して、時間軸を含めた因果関係及びその範囲を考えてみてください。

成績評価の方法 主に期末試験で評価されます。また、授業中に前・後期に3回ぐらいつつ、ビデオや映画鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを提出してもらいます（各5点程度）。

教科書／テキスト 特に定めない。適宜プリントを配布。

参 考 書 『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

そ の 他 プロジェクター、ビデオ等を使用します。

履修コード	220701
科目名	地球科学〔地球システムと人間圏〕
担当者名	もりや かずよし 守屋 和佳

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

地球科学の基礎を学び、私たちの生活と地球科学との関連、ならびに地球と生命の歴史を理解する。私たちが住む地球は、誕生以来約46億年の歴史を有し、今なおその進化を続けている。地球誕生初期には、地球の表面はマグマの海に覆われていたが、やがて大陸や海洋が形成され、海洋中では生命が誕生することとなった。前期には現在の地球のシステムや地球科学の基礎を学び、後期には地球と生命の歴史を学ぶ。

(前期)

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 生きている地球システム
- 第3回 造岩鉱物と岩石
- 第4回 生物多様性-1
- 第5回 生物多様性-2
- 第6回 環境と生命
- 第7回 地質年代と地層の対比
- 第8回 進化と化石記録
- 第9回 プレートテクトニクス
- 第10回 火山と噴火
- 第11回 地震と断層
- 第12回 化学物質の循環
- 第13回 エネルギーと地球資源
- 第14回 日本列島の生い立ち
- 第15回 まとめ

(後期)

- 第1回 太陽系と地球の誕生
- 第2回 海と大陸の誕生
- 第3回 初期生命の誕生と酸素の発生
- 第4回 全球凍結事件
- 第5回 <古生代>カンブリア大爆発
- 第6回 <古生代>植物と動物の“上陸”
- 第7回 <古生代>海洋の遊泳生物と陸上は虫類の誕生
- 第8回 <中生代>恐竜と哺乳類の出現
- 第9回 <中生代>被子植物の出現
- 第10回 <中生代>隕石衝突と大量絶滅
- 第11回 <新生代>哺乳類の台頭
- 第12回 <新生代>南極氷床の形成と海洋生物の進化
- 第13回 <新生代>人類の誕生
- 第14回 <現在と未来>地球温暖化と地球環境
- 第15回 まとめ

準備学習
履修上の留意点

特に必要としない
授業の前にYeStudy上に授業で配布予定のプリントのPDFファイルを掲載するので、各自事前に印刷して持参することが望ましい

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

定期試験(80%)、出席(20%)
毎回プリントを配布する。また、プリントはYeStudy上にも掲載する。
・酒井治孝著、地球学入門 惑星地球と大気・海洋のシステム、東海大学出版会(2003年)
・D.ディクソン、I.ジェンキンス、R.T.J.ムーディ、A.U.ジュラヴリョフ著(小島郁生監訳)、生命と地球の進化アトラス I, II, III, 朝倉書店(2003年)
・S.Stanley著、Earth System History, W.H.Freeman(2009年)
・E.Tarback and F.Lutgens著、Earth an Introduction to Physical Geology 9th ed., Pearson Education(2008年)

その他

オフィスアワー：授業後随時、講師室

履修コード	220601・220801
科目名	地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅

自然分野

講義の到達目標(ねらい)	地球科学は、地球の成り立ちやメカニズム、あるいは環境変遷を、地球自体から様々な方法で読み取ったデータを基に理解しようとする学問分野です。特に近年は、地球温暖化などの地球規模の環境問題の原因を明らかにする上で、過去の地球の環境変化やその要因の理解が重要になってきました。本講義では、地球の歴史を誕生した46億年前から現在まで辿りながら、地球環境を決定してきた要因や、環境変化による生物への影響を考えていきます。
講義の内容／授業スケジュール	〔地球の現在の姿〕 1. 地球の大きさ・形 (1、2回) 2. 地球の内部構造とプレームテクトニクス (3～5回) 3. 大陸移動とプレートテクトニクス (6～8回) 4. 火山活動とそのメカニズム (9、10回) 5. 地震とそのメカニズム (11、12回) 6. 気圏・水圏の構造と地球規模の熱循環 (13～15回) 〔地球環境の変遷〕 1. 地球環境の変動要因 (16、17回) 2. 地球の形成過程 (18、19回) 3. 環境変化と生物進化 (20～24回) 4. 生物の大量絶滅 (25、26回) 5. 人類の誕生と進化 (27～29回) 〔未来の地球の姿〕 1. 未来の地球環境の変遷 (30回)
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	講義は、板書と併せ、プロジェクターを使いながら進めていきます。 成績は、定期試験とレポートにて評価します。 特になし。 講義中に紹介します。 講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	222801・222901
科目名	物理学〔光と物質〕
担当者名	しのはら まさお 篠原 正雄

講義の到達目標(ねらい)	「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	(1-8)「光を光線で表す」光線 影 レンズ 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色 (9-15)「光は波である」波動 光波 音波・地震波・水の波 空の青 シャボン玉の色 (16-23)「光は電磁波である」電気と磁気 電場と磁場 電磁波 さまざまな電磁波 (24-30)「光は光子である」熱と温度 人体放射 原子と光 電磁波は粒子・電子は波 ブラックホール 光と宇宙
履修上の留意点 成績評価の方法	十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧める。数学・物理の予備知識はいらない。 期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。期末試験を含む数回のテストの合計で8割、ほぼ毎回の問題による平常点が2割となる基準点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを参考にするので、基準点と成績とは必ずしも一致しない。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	藤城敏幸著『生活の中の物理』(東京教学社)1,800円+税 講義の中で適宜紹介する。 理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらう。YeStudyを活用する。

履修コード	227801・227802
科目名	物理学序論Ⅰ 物理学序論
担当者名	とりやま たもつ 鳥山 保

講義の到達目標(ねらい)

高校で「物理」を履修していない学生や物理が苦手であった学生を対象とした補習的な科目である。本講義（物理学序論Ⅰ）では放射線技術を利用した診断を行う当り必須とされる基礎物理学の内で、力学と波動についての物理の基本的な法則や基礎的事項について演習をまじえて学び、理解を深める。特に、力学では診断・治療に用いられるX線、 γ 線、粒子線等の人体へのエネルギー付与について、波動では超音波診断（US Echo）検査で用いられる音波、ならびに磁気共鳴画像（MRI）検査で用いられるラジオ波、コンピュータ断層診断（CT）検査で用いられるX線、ポジトロン断層診断（PET）検査で用いられる γ 線等の電磁波についての物理的な説明ができるようになることを到達目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 物理学(1)//物理学とは・物理量の表し方・次元・小テスト1
2. 力学の基本(1)//力・運動の表し方・運動の法則・等速円運動・小テスト2
3. 力と運動(1)//放物運動・雨滴の落下・振動・仕事とエネルギー・運動量・小テスト3
4. 運動量とエネルギーの保存則(1)//保存力・弾性衝突と非弾性衝突・小テスト4
5. 波動(1)//波の種類と性質・小テスト5
6. 音波(1)//物質（気体・液体・固体）の音波・ドップラー効果・超音波・小テスト6
7. 電磁波（1）//ラジオ波・光波・X線・ γ 線・小テスト7
8. 到達度テスト
9. 物理学(2)//物理学とは・物理量の表し方・次元・小テスト1 & 8
10. 力学の基本(2)//力・運動の表し方・運動の法則・等速円運動・小テスト2 & 9
11. 力と運動(2)//放物運動・雨滴の落下・振動・仕事とエネルギー・運動量・小テスト3 & 10
12. 運動量とエネルギーの保存則(2)//保存力・弾性衝突と非弾性衝突・小テスト4 & 11
13. 波動(2)//波の種類と性質・小テスト5 & 12
14. 音波(1)//物質（気体・液体・固体）の音波・ドップラー効果・超音波・小テスト6 & 13
15. 電磁波（1）//ラジオ波・光波・X線・ γ 線・小テスト7 & 14

履修上の留意点

高校で履修しなかった学生を主とした授業であるので、4月、5月、6月はじめの2ヶ月と1週までに各週小テストを行いながら、一通り力学・波動を終えて、6月中旬に到達度テストを行う。その成績を見て、再度復習するクラスと授業への出席はせず、新たな小テストを提出して自習をしていくクラスに分離し、期末テストは別々に行う。

成績評価の方法
教科書／テキスト
その他の

出席、小テスト、到達度テスト、期末テストにより評価する。
原康夫著 第3版 基礎物理学 学習図書出版社
ttoriyam@komazawa-u.ac.jp

履修コード	227811
科目名	物理学序論Ⅱ
担当者名	さとう まさのり 佐藤 昌憲

講義の到達目標(ねらい)

高校で「物理Ⅱ」を履修していない学生や物理が苦手な学生を対象とした補習的な科目である。電気工学で必要となる電気回路の基本的な法則や基礎的事項について、演習をまじえて理解を深める。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 電気とは
2. 電流・電圧・起電力
3. オームの法則
4. 直流回路の計算
5. キルヒホッフの法則
6. ホイートストンブリッジ
7. 電池の接続法
8. 電力・電力量・効率
9. 電流による発熱作用
10. 発生熱量と温度上昇
11. 電気抵抗と抵抗率・導電率
12. 抵抗の温度係数
13. 電気の各種作用

履修上の留意点

この科目は、高校で物理を履修しなかった学生を対象とした選択科目であるが、基礎物理学や電気工学や放射線機器工学に継り基礎となる選択科目です。高校で物理を履修した学生も基礎知識の習得の為に履修してください。

成績評価の方法
教科書／テキスト

小テストと定期試験により評価する。
「電気基礎上」 （東京電機大学）

(4) 総合分野

履修コード	228201
科目名	総合Ⅰ〔仏教と社会〕
担当者名	くまもと 英人 熊本 英人

講義の到達目標(ねらい)	日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。 社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 はじめに 2～5 仏教と戦争 6～13 仏教と差別 14～17 仏教と女性 18～21 仏教と家族 22～29 仏教と生命倫理 30 おわりに
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	適宜レポートを課す。年度末の筆記試験またはレポートと合わせて評価する。 適宜プリントで配布する。 末木文美士編『現代と仏教』（佼成出版社、2006年）2,625円 その他、講義の中で随時紹介する。

履修コード	228301
科目名	総合Ⅰ〔仏教と芸術〕
担当者名	むらまつ 哲文 村松 哲文

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	〔前期〕 仏教美術の世界（1～2） インドの仏教美術（3～5） 西域の仏教美術（6～8） 初期の敦煌石窟（9～11） 後期の敦煌石窟（12～15） 〔後期〕 炳靈寺石窟（16～17） 麦積山石窟（18～20） 雲岡石窟（21～23） 龍門石窟（24～27） 朝鮮三国の仏教美術（28～30）
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。 博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。 出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。 プリントを配布する。 講義中に適宜参考書を紹介する。

履修コード	228501
科目名	総合Ⅱ〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕
担当者名	清水 善和・山縣 毅・持丸 真里・篠原 正雄・小沢 誠・柳澤 紀夫・高橋 健太郎・出口 宏幸

講義の到達目標(ねらい) 自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究方法の一部を実験することが重要である。本科目では、まず、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法等を学ぶ。次いで、夏休み(7月下旬-8月上旬)に駒澤大学富浦セミナーハウスにて、4泊5日の泊り込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の人と自然をトータルに理解することを試みる。これらの講義や実習を通して、自然の見方、接し方、自然科学的な考え方の基本を学ぶ。

講義の内容／授業スケジュール ●前期(半期):本校での講義(一部実習を含む)
(1)ガイダンス(1回)、(2)自然観察の方法(2回)、(3)植物の観察(3,4回)、(4)バードウォッチング(5,6回)、(5)地球科学的な見方(7-9回)、(6)化学的な自然の見方(10-12回)、(7)天体観測の方法(13,14回)、(8)富浦実習に向けて(15回)

履修上の留意点 ●富浦での講義と実習:7月30日(土)午後-8月3日(水)午前(4泊5日)
午前の講義、午後の実習(植物、地形・地質、地理・歴史)、夜の天体観測など。
●前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加できる者のみ履修すること。
●通年科目なので、9月卒業のための単位に加えることはできない。

成績評価の方法 ●富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費(1泊4000円×4日)は学生の自己負担とする。
●実習を伴う科目の性格上、履修人数は上限30名とする(超過の場合は抽選を行うので、受講希望者は初回の授業に必ず出席すること)。
各教員が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価点と出席点とを合算して最終的な成績の判定を行う。

教科書／テキスト 特になし。
参 考 書 特になし。各教員が必要に応じてプリント資料等を配布する。

総合分野

履修コード	228901
科目名	総合Ⅲ〔ドイツの森林〕
担当者名	野島 利彰

講義の到達目標(ねらい) ドイツの森林において自然と人間とがどのような関係にあったかを、前期は、人間と樹木との関係を通して、後期は人間と森林に生息する動物との関係を通して考察します。

講義の内容／授業スケジュール 1-3回 ドイツの森林、森の風景、森林の歴史と林業の歴史
4-6回 針葉樹(モミ、トウヒ、その他)、広葉樹(1)
7-9回 広葉樹(2)、森林の動物と昆虫、森林の利用(1)-林内放牧
10-12回 森林の利用(2)-薪、製塩業、ガラス製造
13-15回 森林枯死、自然保護と森林

履修上の留意点 16-18回 狩猟とは何か、現在の狩猟制度、狩猟法
19-21回 狩猟の方法、狩猟の歴史、宮廷狩猟
22-24回 宮廷狩猟と農民、狩猟職人、狩猟の慣習
25-27回 対象となる狩猟動物、狩猟の犯罪(密猟)、
28-30回 狩猟と動物保護、動物保護運動、ヨーロッパと日本

成績評価の方法 課題として、森林(前期)および野生動物(後期)に関する新聞記事(インターネット記事は不可)をA4の台紙に貼り、数行のコメントを付けて提出してもらいます(台紙の枚数はあまり隙間を空けない程度で10枚~15枚)。授業開始と同時に少しずつ記事を集めておいてください。

参 考 書 新聞記事集めとそのコメント、および前期末および後期末に課すレポート(テーマ未定)により評価します。

・ドイツの林業史に関しては
K.ハーゼル著、山県 光品訳『森が語るドイツの歴史』築地書館
・狩猟に関しては
野島利彰著『狩猟の文化』春風社
・その他、講義で必要に応じて紹介します。

履修コード	228701
科目名	総合Ⅲ〔人権と社会問題〕
担当者名	ピアス、 D. M.

講義の内容／
授業スケジュール

English will not be studied; academic topics will be studied in English. Lectures, compositions, and conversation practice will consist of social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. The history of economic and political thought, or of American sociology, may be used as lecture material.

The class will be conducted in the form of a discussion group. Emphasis is upon communication of opinions in spoken English.

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	rights	CLASS 16	abortion
CLASS 2	rights	CLASS 17	abortion
CLASS 3	rights	CLASS 18	abortion
CLASS 4	income	CLASS 19	racism
CLASS 5	income	CLASS 20	racism
CLASS 6	income	CLASS 21	racism
CLASS 7	income	CLASS 22	racism
CLASS 8	feminism	CLASS 23	suicide
CLASS 9	feminism	CLASS 24	suicide
CLASS 10	feminism	CLASS 25	suicide
CLASS 11	feminism	CLASS 26	suicide
CLASS 12	euthanasia	CLASS 27	war
CLASS 13	euthanasia	CLASS 28	war
CLASS 14	euthanasia	CLASS 29	war
CLASS 15	euthanasia	CLASS 30	war

総合
分野

成績評価の方法

ATTENDANCE: The student is allowed six absences in the year; Five absences will probably reduce the final grade by one letter.

教科書／テキスト

EXAMINATIONS: Essay-writing on each of our main topics. There will be no in-class examinations.

Sociological Investigation, Themis Research Group. In the first class meeting we will have a diagnostic test; do not buy the text until after the first class.

履修コード	229101
科目名	総合Ⅳ〔新市民社会論〕
担当者名	にしひら ゆうこ 西村 祐子

講義の到達目標(ならい)

- 前期予定
 (1) シアトルの自治体と草の根NPOのかかわりかたを日本と比較して市民社会とNPOについて考える。
 (2) JICA(国際協力機構)と協力して市民社会と国際協力に関して考える。

後期予定

- (1) 被差別マイノリティと草の根NPOについて日本とインドなどアジア社会を中心に考える。
 (2) 現在JICA草の根協力プロジェクトとして進行しているインドにおけるバイオトイレプロジェクトを中心に、環境、マイノリティ、被差別問題などを考える。
 (3) 国際NGOやJICAなどのODAを手がける機関でつかわれているPRA(participant Research Appraisal)とPDA(Project Design Matrix)を学び応用できるようにする。企業などでも役立つスキルとしてプロジェクトの立て方などを学んでゆく。

前期:

1. 市民社会とはなにか。日米比較
2. NGO,NPOの役割 日米比較:まちづくり研究
3. シアトルのNPOと自治体の連携:まちづくり研究
4. NPOと自治体の連携:日米比較
5. グローバル化現象と国際協力
6. 日本の国際協力と市民社会:JICAスタッフ講義
7. 国際協力の現状と日本:まとめ (1)
8. JICAスタッフ講義:海外協力隊の一員として
9. 草の根協力和開発途上国:まとめ (2)
10. JICAスタッフ講義:グローバル化と国際協力の実情
11. 草の根協力和開発途上国:まとめ (3)
12. 途上国社会と市民セクター:NGOの役割 (1)
13. 途上国社会と市民セクター:NGOの役割 (2)

後期:

1. PRAとはなにか(演習形式)
2. PRAの実践(演習形式)
3. PDAとはなにか(演習形式)
4. PDAの実践(演習形式)
5. インド事情研究:クラスとカースト:政治と宗教の側面から
6. インド事情研究:ジェンダー、宗教、マイノリティ集団
7. インドの市民社会とNGO
8. インド地縁組織とコミュニティ開発
9. 被差別カーストとコミュニティ開発
10. 行政とNPO,NGO:公衆衛生の実情
11. 公衆衛生とバイオトイレ:グローバルな環境問題の観点から
12. 公衆衛生と途上国:グローバルな観点から
13. マイノリティ・被差別・コミュニティ開発を考える
インターネットによる資料調査をおこなうので学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト

参 考 書

そ の 他

出席(25%)、毎回の小レポート内容(30%)、前期、後期それぞれのレポート(45%)。試験はない。
 草の根NPOのまちづくり:シアトルからの挑戦 勁草書房
 この他の補助テキストと資料はオンライン自習システムのYESTUDYで配布する。
 JICAに関しては <http://www.jica.go.jp/>
 南インドにおけるバイオトイレ事業,エコサントイレについては以下をみておく。
<http://www.blb2.org/EcoSan/index.htm>,
<http://jp.YouTube.com/watch?v=gPummZRR2Cg>,
<http://jp.YouTube.com/watch?v=6xPqyF9CVRE>,
<http://www.indiawaterportal.org/blog/category/ecosan/>
 本授業外活動として希望者は現在南インドで実施中の海外協力プロジェクト視察に参加できる(例年2月下旬実施)(交通費滞在費は自己負担)。
 本学でもちいているオンライン自習機能のYeStudyをつかって教材を配布し毎回コメントや授業のまとめを提出させる。またレポート提出もYeStudyをつかう。

履修コード	229001
科目名	総合Ⅳ〔現代アメリカ事情〕
担当者名	はやし あきと 林 明人

講義の到達目標(ねらい)

現代のアメリカが抱えている様々な問題を、具体的なキーワード(abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill等)を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。尚、初めの数時間でアメリカの歴史を大まかに学び、その後具体的なトピックに入りますが、その際古いアメリカの歴史等に触れることも多々ありますので、その点予め承知しておいてください。

講義の内容／
授業スケジュール

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1 世界史の中のアメリカ (1) | 16 Brady Bill (1) |
| 2 世界史の中のアメリカ (2) | 17 Brady Bill (2) |
| 3 世界史の中のアメリカ (3) | 18 Brady Bill (3) |
| 4 世界史の中のアメリカ (4) | 19 official English law (1) |
| 5 世界史の中のアメリカ (5) | 20 official English law (2) |
| 6 世界史の中のアメリカ (6) | 21 official English law (3) |
| 7 世界史の中のアメリカ小テスト | 22 euthanasia (1) |
| 8 abortion (1) | 23 euthanasia (2) |
| 9 abortion (2) | 24 euthanasia (3) |
| 10 abortion (3) | 25 hate crime (1) |
| 11 affirmative action (1) | 26 hate crime (2) |
| 12 affirmative action (2) | 27 hate crime (3) |
| 13 affirmative action (3) | 28 multiculturalism (1) |
| 14 political correctness | 29 multiculturalism (2) |
| 15 前期試験 | 30 後期試験 |

履修上の留意点
成績評価の方法

遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めません。
①試験(40%)②レポート(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書／テキスト

プリントを配布します。

総合分野

履修コード	229301
科目名	総合Ⅴ〔イギリスの歴史と文化〕
担当者名	いしはら こうざい 石原 孝哉

講義の到達目標(ねらい)

イギリス史の流れのなかで、イギリス文化がいかに形成されてきたかを考察します。

講義の内容／
授業スケジュール

日本と同じ島国でありながら、イギリスは異民族支配と異文化の同化を繰り返しながら独自の文化を形成してきました。プリント教材を中心に、映像、動画、ホームページなどを利用しながら、独自の文化の源泉をたどります。

前期授業計画：1、歴史の霧の彼方に 2、ローマ支配下のブリタニア 3、アングロ・サクソンの時代 4、キリスト教の布教 5、聖者伝説 6、アーサー王伝説 7、ノルマン人の征服 8、国王対諸侯、イギリスの民主主義 9、ウエールズとスコットランド

10、目を見張る教会建築 11、近代英語の登場 12、ばら戦争と中世の終焉 13、伝説・神話・文学

後期授業計画：1、テューダー王朝の成立 2、テューダー史観と歴史ブーム 3、イギリスの宗教改革 4、イギリスのルネッサンス 5、テューダー史観とシェイクスピアの歴史劇 6、内戦への道 7、禁欲から享楽へ 8、パブリックハウスの誕生 9、君臨すれども統治せず 10、イングリッシュ・ガーデン 11、風景庭園 12、文学からみたイギリス文化 13、作家の故郷を訪ねて 14、幽霊と暮らす風流人 15、文化遺跡を訪ねて

準・備 学 習
履修上の留意点

イギリスの歴史、文化、文学、芸術などに関する予備知識が多ければ多いほど理解が深まります。毎回プリントを配布するので欠席しないように。ホームページなどを参考にするのでコンピューターが使えると便利です。

成績評価の方法
教科書／テキスト

試験、前期レポート、夏休みレポート、後期レポートを総合的に評価します。

参 考 書

プリントを配布します。
必要に応じて教場にて指示します。

履修コード	229601
科目名	総合VI〔民族とは何か〕
担当者名	<small>おおの ゆうじ</small> 大野 祐二

講義の到達目標(ねらい)

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

履修上の留意点

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などの関連から考察を進める予定です。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）

吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）

李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

履修コード	229801
科目名	総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕
担当者名	<small>はやかわ のりよ</small> 早川 紀代

講義の到達目標(ねらい)

男性と女性、あるいは両性の関係は個人的にも、社会的にも、この20年の間に大きく変化してきている。ちょうど学生の皆さんが誕生し、成長してきた時代です。どのように変わり、またこれからのように変わっていくのか、あるいは変化しないものはなにかをとりあげて、一人ひとりの人間のあり方を考える場にしたい。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 a ジェンダーってなんだ？

私たちが何気なく思っていること、たとえば女は優しい、男は遅いといった感覚は根拠があるのかどうかということにメスをいれたのが、1990年代に日本にはいつてきたジェンダーという見方です。ジェンダーという理論がどのようにして成立し、理論が発展したかをとりあげ、女性学や男性学と人間学との関係を考えます。

b 労働とジェンダー

男女格差がもっとも明確にあらわれている被雇用者の労働をとりあげます。戦後の労務管理の歴史、経営者の労働政策、女性労働者運動、雇用機会均等法の変遷、育児・介護休業法などをとりあげ、働く意欲のある人間は誰でも働き、かつ家庭生活を楽しむ、人間としてのバランスがとれた生活を送ることができる条件はなにか、考えます。

後期 c 家族とジェンダー

私たちが無意識に過ごしている家族は、形や親子・夫妻の人間関係、家族一人ひとりの生き方も大きく変化しています。恋愛時代や結婚時代のカップルの関係はジェンダーが深く影響しています。また家族を創る人間関係もさまざまな形がでてきました。現在の家族をめぐる現象は暗いことが多いが、家族を共同生活と捉え、未来の家族のあり方を模索します。

d セクシュアリテイ

この20年間の変化のなかでもっとも深く大きいものは、人間の性にかんする考え方です。買春、心と身体の性が同じでない人びと、同性愛、レイプ、親しい間柄で起こる暴力などをとりあげて、性に関する固定観念から脱出する道を考えます。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

教員と学生、学生間のコミュニケーションを深めたいので、遅刻、お喋り、内職は厳禁です。

前期試験にかわる夏休み課題レポート 30%、後期試験 40%、日常点 30%

教科書は使用しない。参考資料を配布する。

履修コード	230001
科目名	総合Ⅶ〔都市論〕
担当者名	内海 麻利・岡井 有佳・真鍋 陸太郎・早川 純貴・村上 暁信

講義の到達目標(ねらい)

「都市」は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、環境問題、犯罪、景観紛争など、これらは、国際化や人口動態などを背景として独自のダイナミズムを持つ一方で、人々の意思決定により変容を繰り返し、都市社会が示す多様な表象としてかたちづくられ、人々の生活に強く影響を及ぼす。都市の変化や現状を政治学あるいは都市計画・まちづくり等の多角的視点から概観し、その将来を考える。

講義の内容／
授業スケジュール

5名の講師により、各々3回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

■ 内海麻利『都市論』ガイダンス (1回：4月)

■ 早川純貴「まちづくりと住民参加」(3回：4月・5月)

いわゆる迷惑施設や再開発をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

■ 岡井有佳「人にやさしい都市とバリアフリー」(6回：5月・6月)

高齢者や障害者を含め、誰もが快適に住める都市を構築するための手法である「バリアフリー」をとりあげ、その国内外における理念・政策の変遷と実態について考察し、人にやさしい都市のあり方を展望する。

■ 村上暁信「都市のランドスケープ」(6回：7月・9月)

都市のランドスケープを読み解く基本的な視座について、概念・歴史・関連する諸制度などの観点から概説する。また、ヒートアイランド現象をはじめとする都市の環境問題解決に向けた都市ランドスケープ保全のあり方について考察する。

■ 真鍋陸太郎「まちづくりと情報」(6回：10月・11月)

都市計画・まちづくりを考える際にまちに関する情報は欠かせない。情報の収集・蓄積・利活用自体がまちづくりの「活動」となることもある。都市計画・まちづくり分野に関わる「情報」の役割について最近の取り組みとその意義について論じる。

■ 内海麻利「都市計画法とその動向」(3回：12月)

都市計画法には、土地利用や道路・公園等の都市施設の整備、市街地開発など、都市をかたちづくるための様々なルールや仕組みが定められている。その課題や展望も含めて、社会情勢を踏まえ着目すべき法制度の変化と動向を考察することで、都市及びまちづくりのあり方を考える。

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

使用しない。

担当の各教員がその都度紹介する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

総合分野

3. 外 国 語 科 目

履修コード	264201・264301・264401・264501
科目名	英会話 I
担当者名	ウェルズ、 J. K.

講義の到達目標(ねらい)

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容 / 授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner(s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your acting skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN!

There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students on the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.

履修上の留意点

Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times.
There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!

成績評価の方法

Attendance: 50%
Tests: 25% (one test each semester)
Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書 / テキスト

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

The first class is VERY important, so please do not be absent!

*I am allowed only 40 students in a class, so if there are more than 40 students we will use 'kujibiki' to decide the students.

I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun!

SEE YOU IN CLASS SOON!

履修コード	264601・264701・265311
科目名	英会話 I
担当者名	ミックエリゴット、 J. P.

講義の到達目標(ねらい)

This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容/
授業スケジュール

Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, to be able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

履修上の留意点

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.

成績評価の方法
教科書/テキスト

Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.

参 考 書

GPA方式
Dale Fuller & Clyde Grimm著 New Airwaves Developing Better Listening Skills
Macmillan Language House ¥2,100
Bilingual dictionary

外
国
語

履修コード	265201・265301
科目名	英会話 I
担当者名	レイン、 R. V.

講義の到達目標(ねらい)

This course will: [1] help students use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, [2] help students speak English without translating from Japanese, and [3] improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容/
授業スケジュール

[1] Class introduction, including goals, textbook overview and student assigned seating. [2-14 & 16-28] During the first half of each class students work in pairs doing textbook speaking activities on a variety of language patterns and verb tenses. During the second half of each class students will give presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [15] Midterm exam using selected textbook drill activities. [29-30] Final exam using selected textbook activities.

準 備 学 習

In preparation for each class, students are expected to practice orally at home the textbook pages done in the previous week's class. Students are also expected to practice their presentation several times in preparation for the next class.

履修上の留意点

Students are expected to be prepared for each class and participate actively. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.

成績評価の方法

Students will be tested at the midterm and end of the year on selected textbook activities as well as graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書/テキスト

Author: Steven Molinsky and Bill Bliss
Title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4
Publisher: Longman
Date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

参 考 書
そ の 他

none
none

履修コード	264901
科目名	英会話 I
担当者名	レーン、 C. M.

講義の到達目標(ねらい)

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容/
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about skills and abilities.
- 3) Exchanging personal information politely.
- 4) Time and date.
- 5) Daily routines.
- 6) How often? Adverbs of frequency.
- 7) Who am I? Who are you? Your life story so far...
- 8) MOVIE #1 viewing and discussion of a movie's content.
- 9) Talking about likes and dislikes.
- 10) Where does it go? Prepositions of location.
- 11) Giving directions.
- 12) Favorite holidays and places.
- 13) Comparative adjectives and superlatives.
- 14) Review and practice exercises
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of the previous term's class topics and test questions.
- 17) Describing people.
- 18) Best friends.
- 19) Talking about family.
- 20) Favorite movies and actors/actresses.
- 21) MOVIE #2 viewing and discussion of a movie's content.
- 22) About tomorrow. Questions and answers about the future.
- 23) About yesterday. Talking about the past.
- 24) Do you remember when...? Conversation game.
- 25) In a restaurant. Food ordering role-plays.
- 26) What do you think of...? How to give and listen to opinions.
- 27) Looking ahead. Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course. There is no textbook, but students should have a good dictionary.

教科書/テキスト

履修コード	351201
科目名	英会話 I
担当者名	ロビン、 G. F.

講義の到達目標(ねらい) This topic-based course will develop speaking skills in English for students through interactive controlled pair and group communication projects. A variety of topic-oriented discussion, role-playing, dialogue, and drill activities will be used to enhance the students' ability to express themselves. A basic text will be used for warm-up speaking and other materials will be provided by the teacher to extend oral skill development. Students will be graded on classroom participation, homework assignments, and a speaking test at the end of term.

講義の内容/
授業スケジュール

Lesson 1 and 2: Abilities
Lesson 3 and 4: Time and Date
Lesson 5 and 6: Daily Routine
Lesson 7 and 8: Location and Moving Things
Lesson 9 and 10: Directions
Lesson 11 and 12: Personal Information
Lesson 13 Speaking test
Lesson 14 and 15: Family
Lesson 16 and 17: Likes and Dislikes
Lesson 18 and 19: About Tomorrow
Lesson 20 and 21: The Past
Lesson 22 and 23: Describing People
Lesson 24 and 25: In a Restaurant
Lesson 26 and 27: Making Comparisons
Lesson 28 Review
Lesson 29: Rehearsal for speaking test
Lesson 30: Speaking test

成績評価の方法

40% Attendance and participation in class
40% Speaking tests
20% Homework assignments

教科書/テキスト

Fifty-Fifty, Book 1
by Warren Wilson and Roger Bernard
Longmans

外国語

履修コード	264801・265001・265101・265321
科目名	英会話 I
担当者名	ロンゴ、 T.

講義の到達目標(ねらい) Students will have the opportunity to improve the four (4) skills necessary to communicate in English.

講義の内容/
授業スケジュール

Class1 Intro 4books, Part 1
Class2-7 U1~6 4books, Part 1
Class8 Review 4books, Part 1
Class9-14 U7~12 4books, Part 1
Class15 Review 4books, Part 1

履修上の留意点

Class16 Intro 4books, Part 2
Class17-22 U1~6 4books, Part 2
Class23 Review 4books, Part 2
Class24-29 U7~12 4books, Part 2
Class30 Review 4books, Part 2
Students must take responsibility for their education: prepare, work diligently and ask questions when necessary.

成績評価の方法

Maximum of 4 absences each semester. No tests, instead class participation is vital.

教科書/テキスト

1st semester, 4books, Part 1; 2nd semester, 4books, Part 2.

履修コード	287401・287601
科目名	英会話Ⅱ
担当者名	ミックエリゴット、 J. P.

講義の到達目標(ねらい)

This course will cultivate in students a higher level of natural and written English expression. Through this course, students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容/
授業スケジュール

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs and will ask each other questions and offer appropriate responses according to the theme in each chapter of the text. In addition, for each chapter there will be dictation practice.

履修上の留意点

Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation. Students should bring a dictionary and folder.

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

Student participation and quality of completed assignments will be evaluated weekly.
Dale Fuller and Corey Fuller, Face to Face, Macmillan Language House.
Bilingual dictionary

履修コード	354301
科目名	英会話Ⅱ
担当者名	ロビン、 G. F.

講義の到達目標(ねらい) This class is for everyone. Not only experienced speakers, but beginners as well, are encouraged to participate. Even if you have difficulty, making an effort will get you a good grade. This class will emphasize conversation, public speaking and discussion. This is not an information course, but a participation course. Therefore good attendance is necessary to get a passing grade. The course will focus on improving grammar, vocabulary, and fluency in speaking through topic-oriented materials. Various kinds of activities will be used to enhance your conversational skills, such as pair work, information gap, group discussion, language games, story-building, dictation and so on. As your conversation skills develop, you will then use them for the purpose of making a speech later in the course. Some work sheets will be given at that time to enhance your speech-making skills. A few homework assignments will also be given relating to your speaking projects. Enjoy and Learn!

外国語

講義の内容／授業スケジュール One unit every two weeks from the texts and other activities using other materials.
Week

- 1 Introduction
- 2 Asking Question
- 3 Unit 1
- 4 Unit 1
- 5 Unit 2
- 6 Unit 2
- 7 Unit 3
- 8 Unit 3
- 9 Unit 4
- 10 Unit 4
- 11 Unit 5
- 12 Unit 5
- 13 Review
- 14 Rehearsal for Speaking Test
- 15 Test
- 16 Unit 6
- 17 Unit 6
- 18 Unit 7
- 19 Unit 7
- 20 Unit 8
- 21 Unit 8
- 22 Unit 9
- 23 Unit 9
- 24 Unit 10
- 25 Unit 10
- 26 Review
- 27 Review
- 28 Conversation activities
- 29 Rehearsal
- 30 Test

履修上の留意点 1) Speak English whenever possible.
2) Do homework if assigned.
3) Attend all classes. If absent, bring a stamped note.
4) Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary.

成績評価の方法 40% Attendance and participation in class
40% Speaking tests

教科書／テキスト 20% Homework assignments

1) Inside English, High Beginner Student Book, Susan Kay et. al., (Longmans)

履修コード	287501
科目名	英会話Ⅱ
担当者名	ロンゴ、 T.

講義の到達目標(ならい) Students will have the opportunity to improve the four (4) skills necessary to communicate in English.

講義の内容／
授業スケジュール

Class1 Intro 4books,Part 1
Class2-7 U1~6 4books,Part 1
Class8 Review 4books,Part 1
Class9-14 U7~12 4books,Part 1
Class15 Review 4books,Part 1

Class16 Intro 4books,Part 2
Class17-22 U1~6 4books,Part 2
Class23 Review 4books,Part 2
Class24-29 U7~12 4books,Part 2
Class30 Review 4books,Part 2

履修上の留意点 Students must take responsibility for their education: prepare, work diligently and ask questions when necessary.

成績評価の方法
教科書／テキスト

Maximum of 4 absences each semester.No tests,instead class participation is vital.
1st semester,4books,Part 1;2nd semester,4books,Part 2.

履修コード	287701
科目名	英会話Ⅲ
担当者名	ウェルズ、 J. K.

講義の到達目標(ねらい) English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak freely.

講義の内容/
授業スケジュール

First Semester:
Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Current events ARE important!

Your grade will be determined by your participation in class as well as your attendance.

履修上の留意点

ATTENDANCE is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for JOB HUNTING. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

* It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this when we meet.

成績評価の方法

Attendance: 50%

Grading: Class participation evaluation and attendance

教科書/テキスト

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded.

Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 (A4 size) should be used.

Notebooks will be checked in the second class.

そ の 他

I am an older American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I.

If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class.

SEE YOU IN CLASS!

履修コード	287801
科目名	英会話Ⅲ
担当者名	レーン、 C. M.

講義の到達目標(ならい)	Students will have the opportunity to improve the four (4) skills necessary to communicate in English.
講義の内容／ 授業スケジュール	Class 1 Introduction 2-3 Food 4-5 Sport 6-7 Travel 8-9 Entertainment 10 Review 11-12 Things 13-14 Health 15 Review 16 Speech 17-18 Fashion 19-20 Likes + Dislikes 21-22 Time 23 Review 24-25 Illness 26-27 Music 28-29 People 30 Review
履修上の留意点	As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Also, students who are not prepared to give their opinions strongly might find this class difficult.
成績評価の方法	(A) Attendance 20% (B) Participation during class 50% (C) Individual presentation 10% (D) Group presentation 20%
教科書／テキスト	As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade. There is no textbook. However, students should have a good dictionary, and a file to keep handouts in.

外国語

履修コード	233711
科目名	英語 I A
担当者名	井伊 順彦

講義の到達目標(ならい)	現代のイギリス・アメリカ社会における実用的な文化を扱った教科書を用いて、かの地の文化に親しみながら、おもに英語を「書く」力と「聴く」力と「話す」力を伸ばすことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	毎回かなりの時間が、ネイティブスピーカーの音声を聴いて問題に答える（口頭もしくは筆記で）ことに費やされる。ときおりビジュアル教材を観て、英米の社会状況について具体的なイメージをつかむようにしたい。これは英語の聴き取り練習にもなる。 1回の授業での速度は、クラスの学力などの事情を考慮して柔軟に調整してゆく。
準備学習 履修上の留意点	小テストについても、十分に予告したうえで、年間で適度な間隔を置いておこなう。 教科書の付録を使い、自宅で予習することなどが考えられるが、詳しくは教室で指示する。
成績評価の方法	毎回おそらくクラス全体の半数ほどの学生が指名され、こちらからの質問になんらかのかたちで答えることになろう。積極的かつ真摯な勉学姿勢を強く求める。 ①年間で数回おこなう予定の小テストの成績、②授業中の質疑応答の出来、③出席数などを柱とするが、詳しくは教室で説明する。
教科書／テキスト	『ビジネス英会話入門』（ヤヌシュ・ブダほか著、南雲堂） （英名 Transactions Real Business Conversations）
参考書	場合に応じて教室で指示する。

履修コード	238001
科目名	英語ⅠA
担当者名	飯沼 好永 <small>いぬま えしなが</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語力を基礎とし、より正確な英語表現を身に付けることを目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール 大学生の日常生活に基づいた例文等が取り上げられているので、各自の実状に合った英文も作成できるように、基本的な英語表現を学びながら、応用的な英語表現の修得も目指します。テキストの各単元とプリントを2週単位で進みます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。

成績評価の方法 成績は、定期試験(6割)、出席状況、授業への取り組み方、課題(4割)を基本に行います。

教科書／テキスト 山村三郎、木下裕昭、小峰和子『Expanding Your Writing Skills』(朝日出版)
1,600円 ISBN4-255-15269-1

履修コード	234201
科目名	英語ⅠA
担当者名	市川 仁 <small>いちかわ ひとし</small>

講義の到達目標(ねらい) このクラスでは、文法の基本事項を確認し、英語表現の基礎を固めることを目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール テキストに従って、毎回各章の問題を消化していきます。

準備学習 受講生は、予習をしてクラスに出席していることが前提なので、クラスで演習問題の解答を発表してもらいます。

履修上の留意点 指定範囲を必ず予習してきてください。

成績評価の方法 語学のクラスなので、クラスには必ず出席すること。またクラスには、予習をしてテキストの演習問題を解いて、出席すること。

教科書／テキスト 成績は前・後期の定期試験(55%)と、平常点(出席数(20%)や授業中の発表(25%)など)を総合して評価します。全授業回数数の3分の2以上の出席を条件とします。

その他の他 岸野英治著『コミュニケーションのための英文法・英作文』英宝社
必ず辞書を持ってくること

履修コード	234301・235001
科目名	英語ⅠA
担当者名	井出 功一 <small>いで こういち</small>

講義の到達目標(ねらい) この講義のねらいは、良い英文をたくさん読んだり聞いたりして、そこに用いられている英語を正確に把握し、新たに英文を創造する力をつけることです。

講義の内容／
授業スケジュール 「プレミアムリーダー」というテキストを使用して、講義を進めていきます。このテキストは多様な話題と平易な文章を通して、学習者が楽しく英語力をつけるよう工夫されています。

履修上の留意点 本書のUnit1~Unit15を各2回ずつ行いますが、ときには時事に関する記事も使用する予定です。

成績評価の方法 全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。

教科書／テキスト 前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価。
『Premium Reader Elementary』金星堂

履修コード	237931
科目名	英語ⅠA
担当者名	伊藤 美代子 <small>いとう みよこ</small>

講義の到達目標(ねらい) コミュニケーションに必要な最低限の文法事項を、実際に「使う」ことを経験しながら学ぶ。文法の修得だけでなくスピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、発音矯正も行い、総合的な英語力の強化をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール できる限り英語を使用して実際に英語を使うことを経験する。ただし、構文等の説明には日本語を使用する。1単元を1回半の授業で終了する。

準備学習 予習が必須。予習しなければ授業内容の理解は不可能。

履修上の留意点 予習が絶対条件。また、公欠、忌引等正当な理由なく全出席数の3分の1以上欠席したものには単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法 各学期に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残り20%は平常点(出席率、小テスト、授業態度、提出物等)により評価する。

教科書／テキスト Living Grammar(成美堂)

履修コード	235101
科目名	英語ⅠA
担当者名	いわなが ましえ 岩永 祥恵

講義の到達目標(ねらい)

日本の社会では、実際の生活やビジネスにおいて、言葉としての機能、つまりコミュニケーションの手段として英語を使える人材が、これまで以上に強く求められているように感じます。そのような目標に少しでも近づくために、英語を基礎から総合的に学び直したいと思います。英語の総合的な基礎学力を確実なものにするためにも、この授業では、特に高校までの基本的な文法知識と語彙力を生かしながら様々な場面での会話表現に慣れていき、自分の意思を的確に表現する能力を伸ばしていきたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

使用する教材の内容に沿って、基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び、会話表現の習熟を図ります。スケジュールは以下のとおり。

第1回：イントロダクション、Greetings 第2～5回：Greetings, Asking for directions 第6回：これまでのまとめおよび小テスト 第7～10回：Requesting information, Making things clear 第12回：これまでのまとめおよび小テスト 第13～14回：Explaining what's wrong 第15回：前期試験 第16～19回：Going for a job interview, Making a phone call 第20回：これまでのまとめおよび小テスト 第21～24回：Reporting emergencies, Getting invited to a party 第25回：これまでのまとめおよび小テスト 第26～29回：Making complaints, Asking a favor 第30回：後期試験

準備学習
履修上の留意点

予習をすること。
授業には必ず予習をして臨み、辞書(電子辞書可)を持参し、テキストを忘れた場合はコピーを必ず準備しておいて下さい。

成績評価の方法

出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表、発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書／テキスト
参 考 書

Daily English 小野田栄他著、金星堂、2001年
『リーダーズ英和辞典』研究社

外国語

履修コード	235301・237401
科目名	英語ⅠA
担当者名	いわや たまえ 岩屋 玉江

講義の到達目標(ねらい)

英語の学習に不可欠な文法や構文などを確認しながら、英語表現力の向上を目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めていきますが、必要に応じてプリントも使用します。(1)ガイダンス(2～14)It's neither hot nor cold.(主語の選択)、Shall I take a message?(助動詞)など、(16～29)I enjoy reading on the train.(不定詞と動名詞)、You didn't tell me anything.(否定表現)など、(15と30)前期・後期試験

履修上の留意点

授業は発表形式で行います。予習をして授業に臨んでください。辞書は毎回持参してください。

成績評価の方法

前期・後期試験の結果、小テスト、出席状況(全授業回数の3分の2以上)、授業態度などを総合して評価します。

教科書／テキスト

木塚晴夫著 Writing Primer 音羽書房鶴見書店 ￥1800 ISBN978-4-7553-0354-8 C1082

履修コード	236501
科目名	英語ⅠA
担当者名	うえだ のりみ 上田 倫史

講義の到達目標(ねらい)

高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。

講義の内容／
授業スケジュール

6、7回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1：導入、2～7：国際語としての英語、8～14：フェアトレード。後期：さらにテーマを2つ。

準備学習

予習の段階で必要な英単語を調べる。また確認として、語彙テストを行う予定なので単語を繰り返し見直して覚えること。

履修上の留意点

授業には必ず辞書または電子辞書(携帯電話の辞書機能は不可)を持参すること。また授業回数3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失うので注意すること

成績評価の方法

中間・期末テスト(80%)、平常点(出席、授業態度等10%)、実力テスト2回を受験すること(5%)、確認小テスト(5%)

教科書／テキスト
参 考 書

配付物およびオンライン資料
必要に応じて、授業内で紹介していく。

履修コード	239901
科目名	英語ⅠA
担当者名	上田 倫史

講義の到達目標(ねらい) 高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。

講義の内容／授業スケジュール 6、7回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1：導入、2～7：国際語としての英語、8～14：フェアトレード。後期：さらにテーマを2つ。

履修上の留意点 授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。

成績評価の方法 中間・期末テスト(80%)、平常点(出席、授業態度等10%)、小テスト(5%) 実力テスト2回を受験すること(5%)

教科書／テキスト 配付物およびオンライン資料

その他の 実力テストの成績はこの科目の成績に反映されない。

履修コード	234401
科目名	英語ⅠA
担当者名	植村 恵子

講義の到達目標(ねらい) 日本の社会では、実際の生活やビジネスにおいて、言葉としての機能、つまりコミュニケーションの手段として英語を使える人材が、これまで以上に強く求められているように感じます。そのような目標に少しでも近づくために、英語を基礎から総合的に学び直したいと思います。英語の総合的な基礎学力を確実なものにするためにも、この授業では、特に高校までの基本的な文法知識と英文を構成する能力、基本的な語彙力などに重点を置き、復習も行いながら、英文を書いたり、聞き取って話したりする力を伸ばしていきたいと思っています。

講義の内容／授業スケジュール 使用する教材の内容に沿って、基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び、英文を書いたりする作業も行います。また、この授業を受講することによってTOEICなどの各種英語資格試験の受験対策としても役立つと思われるので、就職後必要と思われる人は是非チャレンジして下さい。

履修上の留意点 授業には必ず予習をして臨み、辞書(電子辞書可)を持参し、テキストを忘れた場合はコピーを必ず準備しておいて下さい。

成績評価の方法 出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表、発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書／テキスト プリント使用予定

参 考 書 『リーダーズ英和辞典』 研究社

履修コード	236801
科目名	英語ⅠA
担当者名	梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい) 英語で自己表現をするための基礎力を身につけることを目標とします。基本文法の知識、語法の知識の獲得に重点をおきます。

講義の内容／授業スケジュール [授業の内容]
日本人が間違いやすい、文法上の問題、語法を扱った教科書を順をおって勉強していきます。
[授業スケジュール]
前期：第1週 オリエンテーション： 第2週～14週 教科書前半部分の講読と表現演習
第15週 前期試験
後期：第16週 前期試験の結果発表： 第17週～第28週 教科書後半部分の講読と表現演習
第29週 後期試験：第30週 後期試験の結果発表
辞書をこまめにひいて、予習をしっかりとすること。
前期・後期の試験を中心に、授業内小試験、予習のし具合、出席状況等を総合的に検討して評価します。

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト 市川泰弘 著 「Get It Write」 桐原書店 1800円+税
ISBN4-342-54780-5 C1082

履修コード	234501・235201
科目名	英語 I A
担当者名	おわた まさこ 太田 雅子
講義の到達目標(ならい)	多くの英語を聞いて、その中から適切な表現を利用・応用して、英語による自己表現を学ぶ。
講義の内容／ 授業スケジュール	テキスト・テープ・ビデオ等を用いて、目・耳・口を多に使って英語を身につけていく。 原則、1回の授業でテキストの1章進む。
履修上の留意点	全授業の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他詳細については、第1回目の授業で説明するので必ず出席のこと。
成績評価の方法	毎回の出席点、小テスト。 前・後期各最後に総合テスト。
教科書／テキスト	未定

履修コード	235701
科目名	英語 I A
担当者名	おみふら としはる 大淵 利春
講義の到達目標(ならい)	英作文能力の向上を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	授業の最初に15分程度リスニングをウォーミングアップとして行い、その後テキストに取り組む。テキストはおよそ2時間で1章のスピードで進む予定。なるべく多くの英作文を行いたい。具体的な年間スケジュールは以下の通り。()内の数字は授業回数を示す。 前期 Course Introduction (1), I-1(2,3), I-2(4,5), I-3(6,7), I-4(8,9), I-5(10,11), I-6(12,13), Test/Review(14,15) 後期 Introduction (16), I-7(17,18), I-8(19,20), I-9(21,22), I-10(23,24), II-1(25,26), II-2(27,28), Test/Review(29,30)
準備学習	授業参加にはテキストの予習が必要。
履修上の留意点	辞書を持参してください。(電子辞書可)
成績評価の方法	前、後期試験の結果(7割)、課題、出席率、授業参加度等の平常点(3割)。
教科書／テキスト	山口俊治、Timothy Minton、『The Road from Writing to Speaking』成美堂、1600円 ISBN4-7919-5026-7 C1082

履修コード	233801
科目名	英語 I A
担当者名	おわた しげまさ 尾形 重政
講義の到達目標(ならい)	入学時の英語を基に英語の運用能力向上を目指します。文章表現の場合、文法を復習しながらセンテンス、さらにパラグラフへ、会話表現の場合、平易な日常基本表現から短いダイアログ、さらに様々な場面の会話表現の理解と運用能力を目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	テキストを読み進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいはTOEIC問題などを使用する場合があります。
準備学習	教科書学習範囲を①少なくとも3回は読む。 ②練習問題を解く。 ③知らない語句は辞書で確認しておく。
履修上の留意点	予習をしっかりしてくることを前提に授業を進めます。1時間に1レッスンを終わらせます。復習もすること；内容の確認と2回程度の読み。
成績評価の方法	積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日(夏休み直前)の試験1回、と後期中間試験と授業最終日(冬休み直前)の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。
教科書／テキスト	川田伸道 編著 『世界の常識』 朝日出版社 1600円 ISBN978-4255-15496-1
参考書	英和辞典を持参してください。
その他	全授業回数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となる；3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に気をつけてください。

履修コード	240101
科目名	英語 I A
担当者名	<small>おがた しげまさ</small> 尾形 重政

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基に英語の運用能力向上を目指します。文章表現の場合、文法を復習しながらセンテンス、さらにパラグラフへ、会話表現の場合、平易な日常基本表現から短いダイアログ、さらに様々な場面の会話表現の理解と運用能力を目指します。

講義の内容／授業スケジュール テキストを読み進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいはTOEIC問題などを使用する場合があります。

準備学習 教科書学習範囲を①少なくとも3回は読む。
②練習問題を解く。
③知らない語句は辞書で確認しておく。

履修上の留意点 予習をしっかりしてくる。予習してきていることを前提に授業は進めます。1時間に1レッスンを終わらせます。復習もすること；内容の確認と2回程度の読み。

成績評価の方法 積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日(夏休み直前)の試験1回、と後期中間試験と授業最終日(冬休み直前)の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。

教科書／テキスト Joseph Lauer 辻井栄滋 『アメリカの現在と未来』 南雲堂 1800円 ISBN978-4-523-17248-2

参考書 英和辞典を持参してください。

その他 全授業回数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となる；3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に気をつけてください。

外国語

履修コード	239101
科目名	英語 I A
担当者名	<small>おちあい まゆ</small> 落合 真裕

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上を目指します。これまで学んできた文法、語法、構文などを再確認しながら英語で自分の考えが表現できるようになることを目指します。

講義の内容／授業スケジュール 1回の授業で1~2Unit進めていきます。
【前期】 日常会話などで使われている口語表現を学び、うまく使いこなせるようにしていきます。
第1回：ガイダンス / 第2回~第14回：Unit1~Unit12 / 第15回：前期試験
【後期】 間違えやすい文法事項を復習しながら英語らしい英文、自然な英文が書けるような練習を行います。
第1回~第14回：Unit13~Unit24 / 第15回：後期試験

履修上の留意点 ・予習を前提に授業を進めていきますので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。
・辞書を必ず持参してください。
・授業の2/3以上の出席が必要です。
・遅刻3回で1回の欠席と計算します。

成績評価の方法 前期・後期試験、出席状況、課題、授業中の発表などから総合的に評価します。

教科書／テキスト 山村 三郎 他著、『Expanding Your Writing Skills』、朝日出版社、¥1,600、ISBN978-4-255-15269-1

履修コード	234601・235901
科目名	英語 I A
担当者名	<small>かざま のりこ</small> 風間 則比古

講義の到達目標(ねらい) 英語の運用能力を身につける。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、身近な事柄について自分の意見が書けるようになることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール パラグラフを創るのに必要な基本的知識や具体例を映画を鑑賞しながら学ぶ。1~3章ではアメリカの風土や生活を描いた作品を題材とする。4~14章ではさまざまなジャンルの作品を鑑賞し感想を英語で書いてもらう。1回目には授業の説明。15回目には前期試験、30回目には後期試験を実施します。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、毎回提出する授業内提出物、前・後期の試験に基づいて総合的に判断する。

教科書／テキスト Unique English Composition (1), 成美堂

履修コード	235611
科目名	英語 I A
担当者名	川崎 笑佳

講義の到達目標(ねらい)	入学時の英語能力を基盤として、英文による意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じて教員の用意したその他教材を使った指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEICやTOEFLなどの小テストも授業に取り入れる予定である。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：プリント使用の授業 第2～14回：UNIT 1～14 第15、16回：プリント使用の授業 第17～29回：UNIT 15～22 第30回：プリント使用の授業
履修上の留意点	学生全員が予習をしていることを前提として授業を進める。また、毎回授業の中で英作文を作成してもらうので辞書は必須。(電子辞書も可)
成績評価の方法	各ユニットの確認テストの点数、前期、後期における提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。また、全授業回数において最低でも3分の2以上出席をしていなければならない。
教科書／テキスト	黒川裕一 『SUBJECT: E-MAIL--Writing Effective Messages 大学生のEメール英作文』 (南雲堂) 1995円 ISBN4-523-17396-6

外国語

履修コード	237601・240011
科目名	英語 I A
担当者名	川崎 笑佳

講義の到達目標(ねらい)	入学時の能力を基盤として英語による意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じて教員の用意したその他の教材を用いて指導を行い、実用的な英語の総合能力を養ってもらうことを最終目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：プリント使用の授業 第2～14回：UNIT 1～UNIT 6 第15、16回：プリント使用の授業 第17～29回：UNIT 7～UNIT 12 第30回：プリント使用の授業
履修上の留意点	学生全員が予習をしていることを前提に授業を進める。事前の準備をしていない学生がいた場合出席とはみなさないでそのつもりで授業に臨むこと。
成績評価の方法	前期、後期の授業態度、発表内容、試験結果をもとに総合的に評価する。また、全授業回数において最低でも3分の2以上出席をしていなければならない。
教科書／テキスト	安藤誠祐 Richard S. Lavin 『Starting on the TOEIC Test--TOEICテストははじめの一步』(朝日出版社) 1800円 ISBN978-4-255-15500-5

履修コード	237701
科目名	英語 I A
担当者名	川崎 浩太郎

講義の到達目標(ねらい)	入学時の英語力を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、より効果的に自分の考えを表現できるようになることをめざします。 具体的には、E-mailや日常会話などで使われる口語的な表現を学び、日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってもらいます。また、教科書のUnitごとに適切な課題を出すので、それにしたがってE-mailを書いてももらいます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期―教科書 Unit1～11 後期―教科書 Unit12～22
履修上の留意点	毎時間必ず辞書を持ってくること。 常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。
成績評価の方法	出欠は必ず取る。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。 出席、発表、授業態度50%、レポート50%の割合で総合的に評価する。
教科書／テキスト	黒川 裕一 『Subject:E-Mail--大学生のEメール英作文』 南雲堂 ¥1900(税別) ISBN4-523-17396-6
その他の	適宜プリントを配布する。

履修コード	234701・236001
科目名	英語ⅠA
担当者名	吉川 直澄

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基にして、英語の運用能力を身につける。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、身近な事柄について自分の意見が書けるようになることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール パラグラフを創るのに必要な基本的知識や具体例を映画を鑑賞しながら学ぶ。本年度はアメリカの風土や文化、社会を描いた作品を鑑賞し、最終的には感想を英語で書いてもらう。1回目には授業の説明。15回目には前期試験、30回目には後期試験を実施します。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、毎回提出する授業内提出物、前・後期の試験に基づいて総合的に判断する。

教科書／テキスト 映画総合教材『ブラダを着た悪魔』松柏社 2200円 ISBN978-4-88198-636-3

履修コード	235401・237801・238511
科目名	英語ⅠA
担当者名	熊沢 和明

講義の到達目標(ねらい) 口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール 平易な英会話の教科書を使い、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

教科書／テキスト New Activator (金星堂)

その他の他 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

履修コード	238801
科目名	英語ⅠA
担当者名	熊沢 和明

講義の到達目標(ねらい) 口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール 平易な英会話の教科書を使い、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点 予習・復習重視、辞書持参。

成績評価の方法 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

教科書／テキスト New Activator (金星堂)

その他の他 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

履修コード	234001
科目名	英語ⅠA
担当者名	小泉 和弘

講義の到達目標(ねらい) テキストに従い、これまでに学んだ文法を確認しながら、英作文力を高める

講義の内容／授業スケジュール 第1回前期オリエンテーション、第2～11回Unit1～10まで一課ずつ進む、第12～14回パラグラフの書き方・Review、第15回前期試験、第16回後期オリエンテーション、第17～26回Unit11～20まで一課ずつ進む、第27～29回パラグラフの書き方・Review、第30回後期試験

準備学習 辞書をよくひきながら、予習・復習する

履修上の留意点 授業に必ず辞書(英和・和英)を持参し、よくひく

成績評価の方法 出席状況(出欠席・授業への姿勢)、前期・後期試験、提出物により総合的に評価する

教科書／テキスト Life and Health 『生活と健康』(鳳書房)

履修コード	237911
科目名	英語 I A
担当者名	古富 猛 <small>ことみ たけし</small>

講義の到達目標(ねらい)	物語を読むことにより、単語をふやし、文型を覚え、日本人に適切なやり方で、解釈や会話へ応用できる力をつけるのを、目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	(前期) 初回：ガイダンス（予習の仕方など） 第2回～：テキストのひとつのチャプターにつき3～4回のペースで進める。 最終回：期末試験 (後期) 前期と同じ。
履修上の留意点	授業中の活動に積極的に参加すること。
成績評価の方法	特に、予習にちからを、注いでほしい。 出席（3分の2以上）および平常点、授業内の各種テストの点、さらに期末試験の点などで総合的に評価する。
教科書／テキスト	教室にて、指示する。

履修コード	238201・238901
科目名	英語 I A
担当者名	笹倉 貞夫 <small>ささくら さだお</small>

講義の到達目標(ねらい)	近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに、英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～5) AMAZING ANIMALS、(6～10) YOUR AMAZING BODY、(11～14) OUR AMAZING UNIVERSE、(15) テスト、(16～20) AMAZING FIRSTS、(21～25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS、(26～29) AMAZING ODDS & ENDS、(30) テスト
履修上の留意点	予習・復習重視、辞書持参。
成績評価の方法	前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。
教科書／テキスト	M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』（太陽社）¥1,400

履修コード	234801
科目名	英語 I A
担当者名	佐藤 孝一 <small>さとう こういち</small>

講義の到達目標(ねらい)	英語学習は、基本的に単語力と文法の知識を基礎にして英文理解および英語表現を行う作業であるが、英語の“語法”を体系的に学ぶ機会が少ない。最近は特に、電子辞書を利用する学生が増え、単語の用法まで調べることが少ない。語法は英単語や表現を学ぶ上で重要な学習要因であるので、その点の中心に学んでいく。
講義の内容／ 授業スケジュール	教材は275ページあり、年間で終了するためには、一時間で10ページを消化していく必要がある。1ページ1学年に割り当てに発表してもらう予定である。
履修上の留意点	事前に発表者を決め、予習をする時間を与えます。発表した者には発表点がつきます。発表者は完璧に予習をしてくることで発表日には欠席しないことが大切です。授業には辞書を必ず持参すること。テキストを忘れた場合には借りてその日にやる章をコピーして出席するように。
成績評価の方法	前期・後期の学期末試験（8割）、発表（2割）で評価します。欠席と遅刻は減点制にします。但し、授業は全体回数3分の2以上出ない場合は評価の対象になりません。
教科書／テキスト	Basic English Usage by Michael Swan 出版社 Oxford University Press
参考書	英和辞書
その他の	特になし

履修コード	347001
科目名	英語 I A
担当者名	芝田 興太郎 <small>しばた こうたろう</small>

講義の到達目標(ねらい)	講義のねらい：これまで得た知識をふまえながら、さらに多くの練習問題を行うことによってより高度な英語の表現力や理解力等を高める指導を行い、基本的な表現から、より効果的な表現へと一段とステップアップすることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期・後期を通じて可能な限り、練習問題こなしてゆきたい。 年間の授業スケジュールは以下のとおり。 (事情により予定どおりに進まないこともありうる) 1 場所について語る・・・第1回～4回 2 時間について語る・・・第5回～8回 3 現在・過去・未来・・・第9回～12回 4 他人と自分の行動について述べる・・・第13回～15回 5 動詞を使って名詞を説明する・・・第16回～19回 6 「たら・れば」の話・・・第20回～23回 7 ～と思う、考える・・・第24回～27回 8 間違えやすい基本表現・・・第28～30回
履修上の留意点	予習や復習は必ずやってくることを、授業には教科書、ノート、そして辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	授業活動、提出物などすべてにわたる積極性とたしなみを評価対象にする。
教科書／テキスト	鈴木卓著 ヒントと例文で学べる表現英作文 松柏社 1,900円 ISBN 978-4-88198-648-6
参 考 書	必要に応じて指示する

外国語

履修コード	237921
科目名	英語 I A
担当者名	白鳥 義博 <small>しらとり よしひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)	社内公用語を英語にする企業が増えている現状を念頭に置いて、これからのキャリアに役立つ英語力、とりわけ単語力の増強を目指します。具体的にはTOEICテストをひとつのモデルとして、語彙を増やします。併せてリスニング教材を使用して、英語を書く力も高められればと考えています。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期： 1) ガイダンス 2) ～13) 各授業、前半45分間で単語の学習、後半45分間でリスニング・ディクテーションを行う 14) 復習とまとめ 15) 授業内テスト 後期： 16) テストの返却 17) ～28) 各授業、前半45分間で単語の学習、後半45分間でリスニング・ディクテーションを行う 29) 復習とまとめ 30) 授業内テスト
準備学習	1) 高校までの文法項目を簡単に復習しておくこと。 2) 何のために英語を学習するのか、目的意識を高めておくこと
履修上の留意点	遅刻や欠席の成績評価への(悪)影響については、共通のガイドラインに従うので、注意すること。
成績評価の方法	前期末試験(50%)および後期末試験(50%)の素点合計に、出席や授業中の態度に関して良い意味でも悪い意味でも顕著なポイントを加・減点する。
教科書／テキスト	初回到教場で指示する。

履修コード	233901
科目名	英語 I A
担当者名	進藤 桃子

講義の到達目標(ねらい)	入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上を目指します。英語の文章を正しく書けることや、英語でコミュニケーションをとり、自分の意思を伝えられるように努力しましょう。
講義の内容／授業スケジュール	(1～15週) Unit1～8 (16～30週) Unit9～15
準備学習	毎時間必ず辞書を持ってくること。 予習復習をきちんとすること。
履修上の留意点	出欠を重視します。
成績評価の方法	演習形式の授業なので、積極的に参加して下さい。熱意を高く評価します。 前期、後期末に行われるテスト（スピーキングテストを含む）が70% 出席と、授業内に行う小テストやレポートが30%
教科書／テキスト	Let's Enjoy English at Home and Abroad!—どこでも楽しく英会話！ 行時 潔／Antony J. Parker著 松柏社 ¥1900 ISBN 978-4-88198-644-8

履修コード	237201・237941
科目名	英語 I A
担当者名	進藤 桃子

講義の到達目標(ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
講義の内容／授業スケジュール	6、7回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1：導入、2～7：国際語としての英語、8～14：フェアトレード。後期：さらにテーマを2つ。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	中間・期末テスト（80%）、平常点（出席、授業態度等10%）、実力テスト2回*を受験すること（5%）
教科書／テキスト	配付物およびオンライン資料
その他の	*実力テストの成績はこの科目の成績に反映されない。

履修コード	235501
科目名	英語ⅠA
担当者名	<small>そうま よしあき</small> 相馬 美明

講義の到達目標(ねらい)

基本的に授業はリスニング主体で行なわれる。TOEFL・TOEICなどのリスニング・セクションの問題に加え、毎回、映画・音楽など多岐にわたる生の英語に触れながら聴解力を高めていく。また、プレゼンテーションを通じ、最終的には自らの考えを自らのことばで伝えることを学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) イントロダクション、年間計画、諸注意など
- (2) TOEFL Exercise 1 PART A, (True or False questions), Film ①
- (3) Film ①～②, Your Song (Background of the singer), Questions
- (4) TOEFL Exercise 2 PART B, Chimpanzee, (True or False questions), Film ③
- (5) TOEFL Exercise 3 PART C, Film ③～④
- (6) Film ④～⑤, Top of the world (Background of the singer), Questions
- (7) TOEFL Exercise 4 PART A, Halloween (True or False questions), Film ⑤～⑥
- (8) TOEFL Exercise 5 PART B, A certain story (True or False questions), Film ⑦
- (9) TOEFL Exercise 6 PART C, Film ⑧, レポート内容説明、指示
- (10) TOEFL Exercise 7 PART A, The sound of silence (Background of the singer), Film ⑧～⑨
- (11) TOEFL Exercise 8 PART B, Film ⑨
- (12) TOEFL Exercise 9 PART C, Film ⑨～⑩
- (13) TOEFL Exercise PART A-C, まとめ
- (14) Film まとめ、リスニングの最終確認、レポート提出
- (15) 学期末テスト
- (16) 後期予定確認, TOEFL Exercise 13 PART A, Wedding Ceremonies Expenses, We're All Alone
- (17) TOEFL Exercise 14 PART B, Excellent power of memory, Film ①
- (18) TOEFL Exercise 16 PART C, Coin changer, Film ①
- (19) TOEFL Exercise 17 PART A, Diplomacy, Film ①～②
- (20) TOEFL Exercise 18 PART B, プレゼンテーションについて指示、説明
- (21) TOEFL Exercise 19 PART C, Film ②, She's got a way.
- (22) TOEFL Exercise 20 PART A, Film ②～③
- (23) TOEFL Exercise 21 PART B, Film ③, The Story of O-TEI
- (24) TOEFL Exercise 22 PART C, Film ③～④
- (25) TOEFL Exercise PART A-C まとめ,力だめし
- (26) プレゼンテーション 1
- (27) プレゼンテーション 2
- (28) プレゼンテーション 3
- (29) 一年のまとめ、確認
- (30) 学期末テスト

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

学生は、自らの無限の可能性を信じ、積極的に授業に臨むこと。

出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を目ざしてもらいたい。
定期試験(40%)、レポート(10%)、出席・平常点(40%)、プレゼンテーション(10%)
それらを総合的に評価する。

教科書／テキスト
参考書

教科書は特に指定せず、毎回プリントを使用する。
必要に応じ、適宜指示する。

履修コード	237901
科目名	英語 I A
担当者名	相馬 美明 <small>そうま よしあき</small>

外国語

講義の到達目標(ねらい)	入学時の英語を基礎として、さまざまな英語の運用能力(発話、読解、聴解)を身につける。プリントを用いた文法問題、および教科書による読解問題などを通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、さまざまなリスニングの問題にも触れ、聴解力を高めていく。
講義の内容／授業スケジュール	<p>(1) オリエンテーション、年間計画について</p> <p>(2) Listen, Laugh and Learn EX 1, 1. Receiving a gift</p> <p>(3) Listen, Laugh and Learn EX 2, 1. Receiving a gift, Exercises</p> <p>(4) Listen, Laugh and Learn EX 3, 2. Introductions & greetings</p> <p>(5) Listen, Laugh and Learn EX 4, 2. Introductions & greetings</p> <p>(6) Listen, Laugh and Learn EX 5, 2. Exercises</p> <p>(7) Listen, Laugh and Learn EX 6, 3. Make yourself at home</p> <p>(8) Listen, Laugh and Learn EX 7, 3. Make yourself at home</p> <p>(9) 3. Exercises + a</p> <p>(10) 4. Embarrassing difficulties at the table</p> <p>(11) L,L and Learn EX 8, 4. Embarrassing difficulties at the table</p> <p>(12) L,L and Learn EX 9, 4. Exercises, 5. What to call professor</p> <p>(13) L,L and Learn EX 10, 5. What to call professor, Exercises</p> <p>(14) Listen, Laugh and Learn EX 11, まとめ</p> <p>(15) 学期末試験</p> <p>(16) 後期計画予定, テスト返却、まとめ, プリント, We're All Alone</p> <p>(17) Listen, Laugh and Learn EX 12, プリント 1, Eye contact</p> <p>(18) L,L and Learn EX 13, プリント 1-2, Eye contact, Exercises</p> <p>(19) Listen, Laugh and Learn EX 14, プリント 3, Silence</p> <p>(20) プリント 4, Silence, Exercises</p> <p>(21) Listen, Laugh and Learn EX 15, プリント 4, Japanese smiles</p> <p>(22) L, Laugh and Learn EX 16, プリント 5, Japanese smiles, Exercises</p> <p>(23) プリント 6, American smiles</p> <p>(24) L, Laugh and Learn EX 17, プリント 7, American smiles, Exercises</p> <p>(25) Listen, Laugh and Learn EX 18, プリント 8,</p> <p>(26) Drinking places, プリント 9</p> <p>(27) L,L and Learn EX 19, プリント 10, Drinking places, Exercises</p> <p>(28) What do Americans do after work?</p> <p>(29) What do Americans do after work?, Exercises, まとめ</p> <p>(30) 学期末試験</p>
準備学習	授業においては、できる限り音読を行う予定である。家庭においてもこれをぜひ習慣化してもらいたい。
履修上の留意点	予習が絶対条件となる。また、出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨してもらいたい。
成績評価の方法	前期・後期に行う定期試験(80%)、加えて授業で課すレポート、および授業態度(20%)などを総合的に評価する。一生懸命にがんばる人を応援したい。
教科書／テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・David A. Miller他 『Listen, Laugh and Learn』(SEIBIDO) 800円(税別) ・Hiroko Nishida他 『AMERICAN COMMUNICATION PATTERNS』(金星堂) 1,200円(税別)
参考書	必要に応じ、適宜指示する。

履修コード	239301
科目名	英語 I A
担当者名	相馬 美明・大庭 直樹

講義の到達目標(ねらい)

講義の内容／
授業スケジュール

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上をめざす。
リスニング、発音、日常英会話表現等、総合的に英語力をつけるようにする。
[1] Greetings～Asking Questions (1)～(6),
Requests～Appointments (7)～(14), (15) Examination

[2] ★後期プリント使用

- (16) イントロダクション、後期計画、諸注意など、We're All Alone
(17) TOEFL Exercise 1 PART A, (True or False questions), Film ①
(18) Film ①～②, Your Song (Background of the singer), Questions
(19) TOEFL Exercise 2 PART B, Chimpanzee, (True or False questions),
Film③
(20) TOEFL Exercise 3 PART C, Film ③～④
(21) Film ④～⑤, Top of the world (Background of the singer),
Questions
(22) TOEFL Exercise 4 PART A, Halloween (True or False questions),
Film⑤～⑥
(23) TOEFL Exercise 5 PART B, A certain story (True or False
questions), Film ⑦
(24) TOEFL Exercise 6 PART C, Film ⑧, レポート内容説明、指示
(25) TOEFL Exercise 7 PART A, The sound of silence (Background of the
singer), Film ⑧～⑨
(26) TOEFL Exercise 8 PART B, Film ⑨
(27) TOEFL Exercise 9 PART C, Film ⑨～⑩
(28) TOEFL Exercise PART A-C, まとめ
(29) Film まとめ、リスニングの最終確認、レポート提出
(30) 学期末テスト

準備学習

テキスト(1), (2)を1週おきに1課進む予定です。毎授業1課下読みをして出席すれば、授業をよく理解できるようになります。

履修上の留意点

授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。

成績評価の方法

必ず下調べをし、単語の意味なども調べて積極的な態度で授業に臨むこと。

授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、授業態度、出席状況等総合的に検討して評価します。

教科書／テキスト

- (1) 田中保他編著 Focus on Communication①—Through Sentences Pattern—
(『基本文型からコミュニケーションへ』朝日出版社 1,400円)
ISBN 978-4-255-15442-8
(2) 田中保他編著 Focus on Communication②—Through Pronunciation—
(『音の理解からコミュニケーションへ』朝日出版社 1,400円)
ISBN 978-4-255-15443-5

参考書

必要に応じ、適宜指示する。

履修コード	240201
科目名	英語 I A
担当者名	高橋 佳江

講義の到達目標(ねらい)

基本的な文法を理解しながらまとまった量の英文を書くことができるようになる。また、リスニングに慣れていく。

講義の内容／
授業スケジュール

概ね1回の授業で1課ずつ進んでいく。基本的な文法事項の復習、毎回の授業でリスニングの練習も併せて行う。必要に応じ小テストを行う。

準備学習

わからない単語などは予め調べておくこと。

履修上の留意点

教科書、ノート、辞書は必ず持ってくる。出欠に関する諸届けは忘れずに提出すること。

成績評価の方法

2/3以上出席をして前期後期の試験の点数の平均が原則60点以上の者を合格とする。授業時の発言点、小テストの点などの平常点も加味する。

教科書／テキスト

初回の授業時に指示する。

その他の

必ず復習をすること。

履修コード	236101
科目名	英語 I A
担当者名	塚本 ^{つかもと} 利男 ^{としお}

講義の到達目標(ねらい) 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、社会問題や環境問題などについて自分の意見が書ける基礎を習得することを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール パラグラフの書き方としていくつかの展開方法を章ごとに学びます。1回：オリエンテーション、2回：導入、序論の章でパラグラフとは何かを理解する、3回～14回：「列挙」、「原因・結果」、「比較」、など、16回～25回：「定義」、「意見」、「類推」など、26回～29回：パラグラフから発展してエッセイの書き方を学ぶ。15回と30回：前期と後期のテストを実施します。授業の総仕上げとして毎回、授業の最後に小論文（30分）を書き提出してもらいます。

準備学習 必ず予習をして出席すること。

履修上の留意点 出席を重視します。辞書（電子辞書）を持ってくること。

成績評価の方法 出席や発表などの平常評価（20%）、小論文（40%）、前期・後期試験（40%）の総合評価。

教科書／テキスト Writing Techniques for College Students【大学生の英語ライティング-センテンスからパラグラフへ】
山村三郎・兼頭満里子・小島章子著
(株) 金星堂 1,800円+税
ISBN978-4-7647-3835-5

外国語

履修コード	239801
科目名	英語 I A
担当者名	勅使河原 ^{てしがわら} 三保子 ^{みほこ}

講義の到達目標(ねらい) 高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。

講義の内容／授業スケジュール 6、7回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1：導入、2～7：国際語としての英語、8～14：フェアトレード。後期：さらにテーマを2つ。

履修上の留意点 授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。

成績評価の方法 中間・期末テスト（80%）、平常点（出席、授業態度等15%）、実力テスト2回*を受験すること（5%）

教科書／テキスト 配付物およびオンライン資料

その他の *実力テストの成績はこの科目の成績に反映されない。

履修コード	238301
科目名	英語 I A
担当者名	手島 ^{てしま} 敬子 ^{けいこ}

講義の到達目標(ねらい) 日常生活において、実際に活用できるより自然で正確な「ライティング」能力を習得することを目指します。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス 第2回～第14回：Chapter 1 からChapter 7 まで進める予定 第15回：前期末試験 第16回：答案返却と解説 第17回～第29回：Chapter 8 からChapter 15 の中から6～7のチャプターを取り上げて進める予定 第30回：後期末試験

準備学習 予習を前提に授業を進めていきます。受講者は、教室以外でも積極的に学習に取り組みなければなりません。

履修上の留意点 前期・後期末試験の受験と授業の2/3以上の出席が評価の必要条件となります。

成績評価の方法 前期・後期末試験（50～60%）、小テスト（30～40%）、出席状況、授業への参加度などに基づき、総合的に行います。

教科書／テキスト 安達一美ほか著 English Writing for Global Communication 【グローバル社会の英語作文】 金星堂 1,950円 ISBN 978-4-7647-3834-8

履修コード	347101
科目名	英語 I A
担当者名	照山 雄彦 <small>てるやま ゆうひこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本人と英米人の間には、概念の相違による思考、意志の表現に違いがあり、またそれぞれの生得の語感に異なった部分がある。本授業では英語を正しく理解するための基礎とその運用能力をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール (1) 講義の内容説明(2~15) 主語、動詞、目的語、補語、句、節、基本文型と重要構文(16~24) 注意すべき文型、Itを含む文型、to-不定詞を含む構文、分詞、假定、比較を表す構文、否定、名詞を中心とした構文

履修上の留意点 実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること、疑問点を用意し、辞書は必ず持参すること

成績評価の方法 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。

教科書／テキスト 授業の第1日めに教場にて紹介する。

参 考 書 授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	236201
科目名	英語 I A
担当者名	永野 光一 <small>ながの こういち</small>

講義の到達目標(ねらい) 英語による意志伝達(ライティングとスピーキング)の基礎的な力を養成。

講義の内容／
授業スケジュール Q&Aやペア／グループ・ワーク、ロール・プレイなどの聞く・話す活動や、センテンスやパラグラフを書く活動などを行う。(1) Orientation (2-8) Talking about Myself, A Day in My Life, My Family, My Town and Neighborhood, My Likes and Interests, Reflection & Writing 1, Oral Presentation 1, (9-15) Educational Issues, The Joy of Shopping, The Environment and Our Life, My Campus Life, Health and Dieting, Reflection & Writing 2, Oral Presentation 2 (16) Summer Vacation (17-23) My Kind of Career, Religions and Customs, Romance, Dating and Marriage, Marketing and Economics, Fashion and Trends, Reflection & Writing 3, Oral Presentation 3 (24-30) Society and Its Problems, Travel and Correspondence, Media and Journalism, Sports and Entertainment, Society in the Future, Reflection & Writing 4, Oral Presentation 4

準備学習 前回授業内容の復習をし小テストの準備をすること。

履修上の留意点 授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。

成績評価の方法 出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。小テストとライティングや発表などの課題の成績を入れて総合的に評価。

教科書／テキスト Adachi, Kazumi, Nakauye, Masahiko, Takeda, Akihiko and Umeda, Osamu. (2007), "English Writing for Global Communication" (金星堂) 1950円 ISBN978-4-7647-3834-8

履修コード	233601・347201
科目名	英語 I A
担当者名	にした よしかず 西田 義和

講義の到達目標(ならい)

英語学習の基本的な方法は英文を正しく読み、訳し、内容を理解することである。この授業ではテキストはそんなに難解ではないと思いますが、この本をきちんと学習すれば必ずといってよいほどその効果は出ると思っています。特に、この本に現れた語彙、表現、文法等に注意しながら英語の学習に取り組んでもらいたいと思います

講義の内容／
授業スケジュール

前期・後期とも同じテキストを使用して、多くの学生にやってもらい、その中でミスをしたり、また予習の結果生じた疑問等に答えていきたいと思っている。

なお、授業の計画として以下の方法でやりたいと思っている。

第1回と2回は文の攻略法
第3回と4回は動詞の構文攻略法
第5回と6回は時制の構文攻略法
第7回と8回は仮定法の構文攻略法
第9回と10回は態の構文攻略法
第11回と12回は不定詞の構文攻略法
第13回と14回は動名詞の構文攻略法
第15回は試験

後期

第1回と2回は助動詞の構文攻略法
第3回と4回は名詞の構文攻略法
第5回と6回は冠詞の構文攻略法
第7回は定冠詞の構文攻略法
第8回は固有名詞と一般に冠詞を用いない場合
第9回と10回は代名詞の構文攻略法
第11回と12回は形容詞の構文攻略法
第13回と14回は副詞の構文攻略法
第15回は後期の試験

履修上の留意点
成績評価の方法

予習や復習は必ずして、授業に参加してください。また、辞書は必ず持参すること。
出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価をする。単位取得には三分の二以上の出席を前提とする。

教科書／テキスト

西田義和著『英語の構文攻略法研究』
定価1900円(税別)文化書房博文社

履修コード	233701
科目名	英語ⅠA
担当者名	西村 祐子

講義の到達目標(ねらい) 英語で考えて口頭で表現する第一歩を踏み出す。

英語のプレゼンテーション能力向上に役立つパワーポイントをつかった素材づくりになれる。

自分の日常について英語で説明でき、基本的な口頭表現がつかえるようになる。

講義の内容/
授業スケジュール

英語で読み書く訓練を口頭でのプレゼンテーション能力につなげる。
授業は講師が自作するテキストのユニットごとに以下のテーマで音読、訳、ダイアログの制作とクラスメートとの対話練習、あるいはパワーポイント作品の発表をくりかえしていく。

- 4月 導入+参考英文をみながら自己紹介を制作し、英語で自己紹介する。
- 5月 英語の履歴書作りと自己紹介パワーポイントを使用して英語で自己アピールをする。
- 6月 日常のシーンを英語で書いて英語で説明する(料理と家事がテーマ)
- 7月 同上(日常生活の説明)
- 10月 英語でわがまちを語る
- 11月 英語でエクササイズを説明する
- 12月 英語で語る趣味と将来

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

出席は重要。全出席数の3分の1以上休むと成績がつかない。
英語のプレゼンテーション(4割)+出席率(2割)+課題提出(3割)+授業内テスト(1割)=100
教員の制作したテキストを授業中に配布する。
なし
本学のオンライン自主学習システムYESTUDYを毎回つかって宿題やレポートを提出してもらう。

履修コード	238401・239001・347211
科目名	英語ⅠA
担当者名	萩原 輝

講義の到達目標(ねらい) この授業では今までに学んできた、文法や構文の基礎を徹底させるとともに、英語特有の言い回しや日本語とのニュアンスの違いを具体的に学びながら、英語による意志伝達能力を向上させることをめざす。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

基本的には教科書の各章を授業2回から3回で進む。基本的な文法項目の説明や英作文の練習を数多くした後に、スピーチをしてもらう予定。

- ・必ず、英和・和英辞書を持参のこと。(電子辞書可)
- ・原則として、全授業数の三分の一以上を欠席すると単位を取得できません。

成績評価の方法

授業中の学習に取り組む姿勢を重視し、定期試験、授業での発表、出席率、提出物等を合わせて総合的に評価します。

教科書/テキスト

Moving ahead in the 21st Century:12 Forward-looking Companies
Brenda Hayashi 他著(松柏社)
ISBN978-4-88198-616-5

履修コード	236301・240021
科目名	英語ⅠA
担当者名	濱口 真木

講義の到達目標(ねらい) 高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。

講義の内容/
授業スケジュール

テキストは平易な教材を用い、発音や表現に注意しつつ基礎的な単語・熟語・構文などの習得を図る。
前期は第1回オリエンテーション、第2回～3回文型、第4回～5回名詞・冠詞、第6回～7回代名詞、第8回～10回未来形・進行形・完了形、第11回～13回助動詞、第14回前期テスト。後期は第1回～3回態、第4回～5回不定詞、第6回～7回分詞、第8回～9回動名詞、第10回～第11回比較・前置詞、第12回～13回関係詞・仮定法、第14回後期テスト。

履修上の留意点

授業は口頭による発表形式をとるので予習をしてくること。また英語の辞書(電子辞書でも可)を必ず持参すること。

成績評価の方法

前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。

教科書/テキスト

『リーディングのための英文法演習』(English Makeover)成美堂 1,800円+税
ISBN978-4-7919-3094-4

履修コード	236701
科目名	英語 I A
担当者名	ピアス、 D. M.

講義の到達目標(ねらい) The method of the course is to render students active throughout the ninety-minute period. Conversational practice in quotidian situations such as banking, telephone, and business will continuously introduce new vocabulary and appropriate speech patterns. There will be short lectures on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics.

講義の内容／
授業スケジュール

CLASS 1	Conversation	CLASS 16	wages
CLASS 2	Conversation	CLASS 17	marriage
CLASS 3	Ranking	CLASS 18	marriage
CLASS 4	Ranking	CLASS 19	youth
CLASS 5	Opinions	CLASS 20	youth
CLASS 6	Opinions	CLASS 21	Wealth
CLASS 7	Gratitude	CLASS 22	Wealth
CLASS 8	Gratitude	CLASS 23	Honesty
CLASS 9	Modesty	CLASS 24	Honesty
CLASS 10	Modesty	CLASS 25	Submission
CLASS 11	Politics	CLASS 26	Submission
CLASS 12	Politics	CLASS 27	Ambition
CLASS 13	Liberty	CLASS 28	Ambition
CLASS 14	Liberty	CLASS 29	Scholarship
CLASS 15	Wages	CLASS 30	Scholarship

成績評価の方法 ATTENDANCE: Speaking ability is directly proportional to the amount of practice. Six absences in the year are allowed, but the final grade will suffer starting from five absences. Please attend all of the classes.

EXAMINATIONS: Frequent small, unannounced exams will intensify long-term learning. Exam questions will be from the textbook which were previously practiced in class.

GRADING:

The final grade depends 70% on your improvement on comparison with your ability in the first class. Attendance is extremely important, and the examinations have subordinate effect on the final grade.

教科書／テキスト "Sociological Investigation", 2011, Themis Research Grpoup, Adam Pelagius

履修コード	239701
科目名	英語 I A
担当者名	ピアス、 D. M.

講義の到達目標(おらい) The course is career-oriented. Emphasis will be upon feeling comfortable when speaking English.

講義の内容／ SCHEDULE OF TOPICS

授業スケジュール

CLASS 1	Addressing people	CLASS 16	Consumption
CLASS 2	Addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	Social hierarchy	CLASS 18	Courtship
CLASS 4	Social hierarchy	CLASS 19	Adolescence
CLASS 5	Self expression	CLASS 20	Adolescence
CLASS 6	Self expression	CLASS 21	Social classes
CLASS 7	Gift-giving	CLASS 22	Social classes
CLASS 8	Gift-giving	CLASS 23	Candor
CLASS 9	Informality	CLASS 24	Candor
CLASS 10	Informality	CLASS 25	Authority
CLASS 11	News coverage	CLASS 26	Authority
CLASS 12	News coverage	CLASS 27	Employment
CLASS 13	Personal freedom	CLASS 28	Employment
CLASS 14	Personal freedom	CLASS 29	Politicians
CLASS 15	Consumption	CLASS 30	politicians

成績評価の方法

ATTENDANCE: Six absences are allowed, but the final grade will be adversely affected starting from five absences. Seminars, funerals, weddings, sickness, etc. are valid excuses for absence, but they are not exemptions from the 6-absence rule.

EXAMINATIONS: Small unannounced exams will mark the progress of learning. The exam questions will be from passages that we have already studied in the textbook.

教科書／テキスト

GRADING: The final grade depends 70% on your improvement over your ability in the first class. "Sociological Investigation", 2011, Themis Research Group, Adam Pelagius

履修コード	238501
科目名	英語 I A
担当者名	ひろかわ おさむ 広川 治

講義の到達目標(ねらい)

映画のセリフと歌の歌詞を教材として用い、英語表現を学び、英語に慣れ親しんでいくことを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

映画や歌のプリントを配布して授業を進める。何の映画、歌を取り上げるかについては、受講者の人数、男女比を確認し、初回にアンケートを行ってから決めて発表する。映画や演劇のレポートを課題とすることもある。

<前期>

1. ガイダンス、アンケート
2. 歌 3. 歌
4. 映画 (1) 5. 映画 (2) 6. 映画 (3) 7. 映画 (4) 8. 映画 (5)
9. 歌
10. 中間テスト (映画)
11. 歌 12. 歌
13. 期末テスト (歌)
14. 前期成績発表
15. 再テスト

<後期>

1. 歌 2. 歌
3. 映画 (1) 4. 映画 (2) 5. 映画 (3) 6. 映画 (4) 7. 映画 (5)
8. 歌
9. 中間テスト (映画)
10. 歌 11. 歌
12. 期末テスト (歌)
13. 歌
14. 年間成績発表
15. 再テスト

準備学習
履修上の留意点

必要に応じて授業時に指示する。

遅刻も欠席扱いとしてカウントしていくほか、授業中の居眠りなど、授業に集中して参加していない者は、欠席扱いとする。特に、隠れて携帯や他の授業の予習、読書などを行っている者は、出席と偽って参加していない不正行為、すなわちカンニング(cheat)に等しいので、発覚時点で出席停止、単位不可とするので注意。

成績評価の方法

前期・後期の試験。出席・遅刻状況。その他の受講態度。病気、あるいは部活動の大会等で欠席が増える場合でも、年間で3分の1の欠席まで。

教科書／テキスト

プリント配布。

履修コード	234101・234901
科目名	英語 I A
担当者名	ふくだ かずたか 福田 一貴

講義の到達目標(ねらい)

入学時の英語を基礎とし、英語運用能力の向上を目指す。まず、これまでに学んだことを用いて、英文を正確に読み取り、聴き取れるようにする。次に、読み取った英文を応用し、正確な英文を書くことができるようになることを目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

前期・後期4つずつ、こちらが配布する英文を読み、聴き取りの訓練を行う。その後、英文を応用して、自分で英文を作成していく。前期第1回：イントロダクション、第2回～第14回：上記の訓練をそれぞれ行う。第15回：前期末試験。後期第1回～第14回：上記の訓練を引き続き行う。第15回：後期末試験。

準備学習

必ずノートを用意してほしい。1つの英文を扱い終わる度に、ノートを提出してもらう。授業には、必ず辞書(電子辞書を含む)を持参すること。また、授業内で単語テストを行うので、復習をすること。授業回数の3分の2以上出席しないと試験の受験資格を失う。

履修上の留意点

期末テスト (80%)、平常点 (出席、授業態度等10%)、ノート提出 (5%)、授業内での小テスト (5%)

成績評価の方法

配付物

教科書／テキスト

なし

参考書

なし

履修コード	238101
科目名	英語 I A
担当者名	ほんま としかず 本間 俊一

講義の到達目標(ねらい) 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。

学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する表現能力を養えるようにする。

教材として、映画映像を利用し、音声で理解・表現する力を養う。

講義の内容/
授業スケジュール

4月 ガイダンス
4月中旬～7月 Text Unit1～Unit4 の学習
7月後半 前期授業内テスト
9～11月 Text Unit5～Unit11の学習
12月 後期授業内テスト

履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。

授業の出席は3分の2以上必要、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、授業外でもパソコン・ネットワークを利用して、提出可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書/テキスト
その他の

The Third Man『第三の男』(朝日出版社)1,800円 ISBN4-255-15335-3
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
USBフラッシュメモリを携帯すると便利です。

履修コード	239601
科目名	英語 I A
担当者名	まえだ おさむ 前田 脩

講義の到達目標(ねらい) 英語により、英米の思考方法を学び、英語圏の人々の文化の理解に役立てます。

講義の内容/
授業スケジュール

テキスト24日を一回に一課すすみます。その他自由英作を4回行います。また、日本文化に特徴的な言葉を英語で説明してもらう時間をとります。

準備学習

予習復習をよくしてきてください。

履修上の留意点

日ごろから英語に親しむように、英字新聞や、雑誌に目をとおしてください。テレビ等で英語ニュースを聞いてください。

成績評価の方法

日常評価を30%、前期テスト、小テストを20%、後期テストを50%の割合で評価します。

教科書/テキスト

1) 宍戸真 2) 「リーディング・エキスパート実践編」 3) 成美堂
4) ¥1,800 5) ISBN 978-4-7919-3113-2

その他の

出席には、特に気をつけること。

履修コード	240031
科目名	英語 I A
担当者名	まつどう ひろこ 松堂 啓子

講義の到達目標(ねらい) 学習したテーマについて、自分の考えを文章や言葉で表現できるようにします。

講義の内容/
授業スケジュール

授業二回でテキストを一章ずつ進めます。前期は一章から七章を後期は八章から十四章を学習します。音声教材を使用し、英語の特徴をつかみながら、語彙力、文法力を強化するエクササイズを繰り返します。

準備学習

開講時に指示します。

履修上の留意点

単位取得には三分の二以上の出席日数が必要です。

成績評価の方法

試験の結果と平常点で評価。

教科書/テキスト

『BBCドキュメンタリーの世界へようこそ』 成美堂 2,300円 ISBN978-4-7919-1085-4

履修コード	235601
科目名	英語 I A
担当者名	真砂 久晃

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	文法的に正しく、読み手に明確に伝わる言い方を選んで英文が書けることをねらいとしています。 (1) 年間計画、諸注意などのオリエンテーションを行う。テキストを購入しておくこと。 もしテキストが入荷していない場合は、注文しておくこと。 (2)～(13) テキストに沿って授業を行う。 (14) 前期のまとめ。 (15) 前期末テスト (16)～(28) テキストに沿って授業を行う。 (29) 後期のまとめ、確認 (30) 学年末テスト
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	言うまでもなく、テキストの予習と復習が重要であるが、特に予習は怠けずに行うこと。 出席が3分の2に満たない学生は単位を取得できない。 前期、後期共に100点満点で成績を出し、前期と後期の成績を足して2で割ったものが最終成績となる。前期、後期共に、平常点(25%) + テスト(75%) = 100%となる。 詳細は最初の授業で説明する。
教科書/テキスト	「Writing Updates—A Grammar-based Approach to English Writing—」 (金星堂) 1800円(税別)

外国語

履修コード	239401
科目名	英語 I A
担当者名	丸小 哲雄

講義の到達目標(ねらい)	広告の解読と理論を扱う。語彙を増やし、英語のヴァリエーション、ライティングのためのパラグラフの捉え方・作成の仕方に留意し、そしてコメント力の涵養に努めます。問題意識をもつために語彙リストと英字新聞・雑誌のコピーも配布します。
講義の内容/ 授業スケジュール	リスニングとリーディングを設け、基礎文法と語彙の増やし方に留意し、リーディング・タイムで自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。前期・後期にそれぞれライティングのレポート提出課題があります。
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。 積極的に発表できる態度で授業に臨むこと。私語は厳禁。 出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価
教科書/テキスト	・ A Shorter Course in TOEIC Test Listening 650 南雲堂 978-4-523-17553-7 ・ Decoding Advertisements 英宝社
参考書	参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

履修コード	235621
科目名	英語 I A
担当者名	水崎 野里子

講義の到達目標(ねらい)	入学時の英語力を基礎として実用英語の運用能力の向上を目指します。具体的には口語英作文の練習を積みみます。日常生活でこの状況には英語でどう対応するか?
講義の内容/ 授業スケジュール	テキストは一クラス一課を目標とします。口語英作文、日常会話の英語練習に励みます。前期は(1)オリエンテーション・教科書前半・前期試験、後期は引き続き教科書を学んで行き、最後は後期試験。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト	なお、教科書の進行具合では教授用DVDを使用します。映像と英語・日本語訳の確認練習、英語のヒアリング練習をします。 積極的な授業参加を希望します。辞書を必ず持ってきて下さい。 出席率・授業参加度・前期後期二度の試験・授業態度などを総合して評価します。 「コミュニケーションのための口語英作文」(成美堂)

履修コード	237101
科目名	英語 I A
担当者名	水崎 野里子

講義の到達目標(ねらい) 英語でコミュニケーションをするために必要な基礎的な例文の習得を目指します。
 講義の内容／ 〔講義内容〕
 授業スケジュール 教科書に基づいて、口語英語の理解・運用に不可欠な基本的表現を学習すると同時に、自由に応用出来る練習を積んでいきます。

[授業スケジュール]

前期：

第1週 Orientation

第2週～14週 教科書を一課ずつ学んでいきます。

第15週 前期試験

後期：

第15週～29週 教科書残り。応用練習。

第30週 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法

積極的な授業参加をお願いします。辞書は必ず持参してください。

成績評価は、前期・後期の学期末での二度の試験に出席率・授業態度・授業参加度などを総合して評価します。

教科書／テキスト
その他の他

「英会話の基本パターン」(松柏社)

授業の進行具合によってはDVDを使用します。日常会話の英語のヒアリングと日本語への転換を確認します。

履修コード	236601
科目名	英語 I A
担当者名	三輪 久恵

講義の到達目標(ねらい) テキストに添って、英語の総合力向上を目指します。語学能力と共に、あわせてコミュニケーションにおいて異文化の視点からものを見て、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違いを理解することの重要性を学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回選択するかどうかを決める為に、丁寧なガイダンスを行ないます。第2～3回：You and I are Equals. 第4回：Exercise 第5～6回：You and I are Close Friends 第7回：Exercise 第8～9回：You and I are Relaxed 第10回：Exercise 第11回：You and I are Independent 第12回：Exercise 第13回：People as Individuals 第14回：Exercise 第15回：中間試験 第16回：夏休み明けのミニレポート 第17～18回：First Thanksgiving Day 第19～20回：Columbus-From Hero To Fall Guy 第21～22回：The Dramatic Incidents Leading Up To The American Revolution 第23～24回：The Freedom Trail 第25回：ミニテスト 第26回：ビデオ使用 第27回：単語を日本語の単語で当てはめるのではなく概念として捉えたとさまざまな場面に応用がきく 第28回：1つの単語でもさまざまな意味を持つことがあり文章の中で判断する、文法をはずさない 29回：単なる訳のための訳ではなく、作者の言わんとすることを捉える 第30回：中間試験

履修上の留意点
成績評価の方法

テキストの予習等の準備が大切です、それだけは年間を通して忘れないように。

予習や授業への積極的な参加を求めます。授業中15分程度の小テスト・ミニレポート等の提出物が10回程度あります。課題は授業内容に添ったもので、授業を真面目に受けていれば取り組めるようなやさしい内容を心がけています。中間試験、定期試験も行なう予定です。そうした総合評価によって成績を出します。

教科書／テキスト

Polite Collision Nancy Sakamoto Kinseido 1250円 その他、進度に応じてhand outも使用します。

履修コード	237501
科目名	英語 I A
担当者名	^{みわ ひさえ} 三輪 久恵・ ^{おおば なおき} 大庭 直樹

講義の到達目標(ねらい)	<p>【前期】 このクラスの前期は、パラグラフの構造と英文を書くためのテクニックを効果的に学ぶことに重点をおく。このクラスで身につけた知識とテクニックを使ってライティングをすれば、英語らしく組み立てられたパラグラフが書けるようになるはずである。</p> <p>【後期】 テキストに添って、英語の基本項目を習得することをめざします。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>【前期】 前期に、興味深いトピックを題材にパラグラフライティングを、4回提出してもらうことになる。</p> <p>【後期】 この科目は、後期のみを三輪が担当します。前期に皆さんが努力した成績・結果をしっかりと引き継ぐ予定ですから、皆さんは何も心配する必要はありません。第1回目の授業の時に丁寧なガイダンスを行ないます、欠席しないようにして下さい。やむを得ず欠席する場合は、クラスメートからしっかりと情報を得るようにして下さい。私は常には、前期と後期とでは、テキストを変えやり方もがらりと変えて、授業を行なっています。今回も、前期の授業を考慮しながら、テキストを決める予定です。第1回目の授業の時に指示します、価格は1500円から2000円以内で、大学内の所定の書店で購入する事になります。第1回目の授業時には、辞書を忘れずに出席して下さい。</p>
履修上の留意点	<p>【後期】 語学は予習等の準備が大切です。毎回、予習すべき箇所を指示しますから、忘れないようにしましょう。</p>
成績評価の方法	<p>【前期】 前期の評価は、4回提出する課題と7月の中間試験を中心に成績評価をだすが、それに加えて出席と日常の発表なども考慮に入れて、総合的に判断する。</p> <p>【後期】 予習や授業への積極的な参加を求めます。授業中15分程度の小テスト・ミニレポート等の提出物が6回程度あります。課題は授業内容に添ったもので、授業を真面目に受けていれば取り組めるようなやさしい内容を心がけています。中間試験、定期試験も行なう予定で、そうした総合評価によって成績を出します。普段出席していない学生は、成績も記録されないことになりますから、気をつけて下さい。</p>
教科書／テキスト	<p>【前期】 Strategies for paragraph writing 読んで聞いて書くパラグラフ 英宝社 ISBN4-269-32029-X C1082</p> <p>【後期】 第1回目の授業の時に指示します。価格は1500円から2000円以内で、大学内の所定の書店で購入する事になります。</p>

履修コード	239501
科目名	英語 I A
担当者名	^{やじま なおこ} 矢島 直子

講義の到達目標(ねらい)	<p>高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>6、7回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1：導入、2～7：国際語としての英語、8～14：フェアトレード。後期：さらにテーマを2つ。</p>
履修上の留意点	<p>授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。</p>
成績評価の方法	<p>中間・期末テスト(85%)、平常点(出席、授業態度等10%)、実力テスト2回*を受験すること(5%)。</p>
教科書／テキスト	<p>配付物およびオンライン資料</p>
その他の	<p>*実力テストの成績はこの科目の成績に反映されない。</p>

履修コード	236401
科目名	英語 I A
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語力を基礎として、英語の運用力を養います。英吾による意思伝達を授業の中で考えていきます。

講義の内容／授業スケジュール 英文のテキストを毎回でいねいに検討していきます。

準備学習 プリントはあらかじめ配っておきますので、各自でまず一回予習してください。これはとても大切です。授業の中で、ほかの人の発表に耳を澄まし、自分の予習した内容との相違を考えてください。三分の二以上の出席が必要です。

履修上の留意点 授業には必ず英和・和英の辞書を持ってきてください。遅刻すると、発表の機会がなくなることもなりますので、遅刻のないようにしてください。

成績評価の方法 出席、発表、レポートによる総合評価をします。

教科書／テキスト プリントを配布します。

参考書 授業の中で、随時紹介します。

履修コード	237001
科目名	英語 I A
担当者名	吉沢 栄治郎 <small>よしざわ えいじろう</small>

講義の到達目標(ねらい) 短い和文を英訳してゆきます。和文英訳力を高めることをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール ごく日常的な日本語を英訳してゆきます。一回の授業につき大体10題の和文を英語に直す練習をしてゆきます。いろいろの訳例があるとおもいますが、そのうちの一つは確実に覚えるようにしたいものです。

履修上の留意点 和英辞典をこまめに使用して下さい。

成績評価の方法 ペーパーテスト、出席状況、レポート提出などで総合評価します。

教科書／テキスト 使用しません。

履修コード	235801
科目名	英語 I A
担当者名	渡部 孝治 <small>わたべ こうじ</small>

講義の到達目標(ねらい) 文法・構文の基礎を確認しながらライティングの力を伸ばし、それらの知識を英語でのコミュニケーションに活かす力を身につけることを目標とします。slash reading, slash listenigもマスターしていきます。

講義の内容／授業スケジュール 英語表現における考え方や文の構造について、読むこと・書くこと両面から理解を深めます。slash reading(意味のまとまりごとの読み方), slash li s tening(意味のまとまりごとの聞き方) もマスターしていきます。前期は基礎的なものを中心に行い、後期はその応用の発展を目指します。

履修上の留意点 毎回、辞書を必ず持参してください。授業時にできるだけ多くの人に当てていきますので、必ず全員が予習をやっていること。

成績評価の方法 前・後期末の試験の結果と小テストや授業への参加姿勢などの平常点を考慮し、総合的に評価します。全授業回数数の3分の2以上の出席を基本要件とします。

教科書／テキスト 開講時に指示する。

参考書 開講時に指示する。

履修コード	346901
科目名	英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	いしはら こうまゐ 石原 孝哉

講義の到達目標(ねらい)

基本英語に立ち返りながら、日常的に使っている平易な文章が英語で言えるようにし、「一人でも外国旅行ができる」ことを目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

さまざまな状況に応じた典型的な英語表現をビデオを通じて理解し、つぎに基本的な文章を覚えて、実際にそれが生かせるかどうかの練習をします。

前期授業計画：英文による自己紹介文を作ってもらい、プレゼンテーションとして発表してもらいます。教科書は、Dialogue 1-4までをCDを使って学習し、次にDialogue 5-15をビデオとCDを併用しながら学習します。5月と、7月にレポートの課題を提示します。7月に中間テストを行い、夏休みの課題を提示します。

後期授業計画：教科書のDialogue 16-29を前期と同じような方法で学習すると同時に、学生同士でペアを組み、会話を組み立てる練習を加えます。11月には、グループによるプレゼンテーションをしてもらいます。12月には冬休みの課題を提示します。期末試験は1月に予定しています。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

教科書をよく読み、基本的な文章を覚えてから出席してください。
授業中の発表やRole Playは評価の対象になります。積極的に参加してください。
中間試験、期末試験の成績のほか、平常テスト、レポート、Role Play、グループ発表、出席などを総合的に評価します。

教科書／テキスト
参考書

First Step Abroad 金星堂 2000円 (ISBN4-7647-3627-6)
必要に応じて教条にて指示します。

外国語

履修コード	240221
科目名	英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	うまた のりゆみ 上田 倫史

講義の到達目標(ねらい)

高校までの英語を見直すとともに、反復練習を通して、コミュニケーションに必要な語彙力、基本的文法力、表現の習得を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

テキストの内容をもとに読解を行うとともに、それに関連した、英語記事を読んだり、ビデオ等を見たりする。

テーマごとに必要な語彙や、文法の基礎的内容を適宜確認していく。

初回の授業では授業の進め方や勉強の仕方等についての説明を行う。

また、前期、後期とも2回ずつの確認テスト、及び期末テストを行う予定である。

語彙テストを含む小テストも行っていく。

準備学習

課ごとに必要となる英単語を事前に調べるのが必須である。

また、適宜課題を出す。

履修上の留意点
成績評価の方法

3分の1以上欠席したのものにはテストを受ける権利を失う。

授業中の活動(20%)、ペーパーテスト(4回、40%)、課題(25%)、小テスト(15%) 3分の1以上の欠席者には単位を認定しない。

教科書／テキスト

教科書：Premium Reader (pre-intermediate) [英語リーディングとの出会い準中級編]

筆者：Robert Juppe/ Yukio Umaba

出版社：金星堂

ISBN 978-4-7647-3909-3

履修コード	240231
科目名	英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	おれがら としほる 大淵 利春

講義の到達目標(ねらい)

基礎的な英文法と英作文を学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

毎回到授業のはじめにリスニングの練習をし、ウォームアップとする。その後、テキストの文法問題、英作文問題を解いていく。テキストはおおむね2時間で一課のペースで進めていく予定。すなわち、前期ではUnit1からUnit7、後期ではUnit8からUnit14を扱う。なお、前後期それぞれ最終時間(15回目、30回目)に試験を行う。

準備学習

テキストの予習が必要。

履修上の留意点
成績評価の方法

英語の辞書を持参すること。

前期・後期の試験。出席・遅刻状況。その他の受講態度を総合して評価する。

教科書／テキスト

Keiichiro Fukui, Nagaki Kitayama, Margaret Yamanaka著、『Scaffolding 基礎からはじめる英作文』成美堂、1900円 ISBN978-4-7919-1087-8

履修コード	240211
科目名	英語 I A [基礎英語特別クラス]
担当者名	おちあい かつあき 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

このクラスのレベルは英語の基礎から中級(英検三級、準二級、二級)程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を、リスニングを通して、学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英検等)の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容/
授業スケジュール

「講義の内容」: 講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する。(一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある)。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『大学生』の一課、
- 第三回 『日常生活』の一課
- 第四回 『大学生』の二課、
- 第五回 『日常生活』の二課

↓

※ 『大学生』は基礎編、『日常生活』は、やや応用編であるので、二種類のテキストを毎週交互に使用する。

- 第六回 『大学生』の三課

↓

- 第十回 『大学生』の五課、

- 第十四回 『日常生活』の七課、
- 第十五回 前期試験

↓

- 第十六回 『大学生』の八課、

↓

- 第二十回 『大学生』の十課、

↓

- 第二十三回 『日常生活』の十一課、

※ 第二十四回以降は、『大学生』のみを、一課ずつ進める。

- 第二十九回 『大学生』の十七課、
- 第三十回 後期試験

※ 『大学生』は『大学生の基礎リスニングテスト』、『日常生活』は『日常生活のリスニング・アップ』を指す。

準備学習

ほぼ毎回、クラスの初めに、まず前もって、その日の課の小テストを行うので、必ず、予習をしておくこと。

履修上の留意点

授業は、学生の予習を前提にして、徹底した演習形式を取るので、学生の積極的な参加を求める。なお、リスニングと発音練習は毎回行う。

成績評価の方法

「前期試験」、20%、「後期試験」、20%、「授業中の評価(課題・授業中の発表・小テスト等を含む)」、60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書/テキスト

- 1) 『大学生の基礎リスニングテスト』 ISBN4-7647-3672-1 金星堂 998円
- 2) 『日常生活のリスニング・アップ』 ISBN 4-269-44041-4 C1082 英宝社 1,200円
- 3) プリント

履修コード	291901・291902
科目名	英語 I A〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	飯沼 好永

講義の到達目標(ねらい) 日本語と英語の文章構造の違いを重視しながら、日常生活の様々な事柄を一つの短文から次第に複数の短文で表現できるようにしていきます。

講義の内容／授業スケジュール 基本的な英語の文法を踏まえ、日本語と英語の基本的な仕組みの違いを理解しながら、様々な英語表現の練習を行っていきます。テキストの各Unitとプリントを2週単位で進みます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。

成績評価の方法 成績は、定期試験(6割)、出席状況、授業への取り組み方、課題(4割)を基本に行います。

教科書／テキスト 登美博之／Gordon Bateson編著 English Writing Using Everyday Expressions
朝日出版社 1785円 ISBN 978-4-255-15456-5

履修コード	291601・291602
科目名	英語 I A〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	伊藤 美代子

講義の到達目標(ねらい) コミュニケーションに必要な最低限の文法事項を、実際に「使う」ことを経験しながら学ぶ。文法の修得だけでなくスピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、発音矯正も行い、総合的な英語力の強化をめざす。

講義の内容／授業スケジュール できる限り英語を使用して実際に英語を使うことを経験する。ただし、構文等の説明には日本語を使用する。1単元を1回半の授業で終了する。

準備学習 予習が必須。予習しなければ授業内容の理解は不可能。

履修上の留意点 予習が絶対条件。また、公欠、忌引等正当な理由なく全出席数の3分の1以上欠席したのものには単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法 各学期に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残り20%は平常点(出席率、小テスト、授業態度、提出物等)により評価する。

教科書／テキスト Living Grammar(成美堂)

履修コード	292301・292302
科目名	英語 I A〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

講義の到達目標(ねらい) 高校までの英語を基礎とし、英語の運用能力(特にWriting/Speakingによる意志の伝達)をより高めることをめざす。
テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。
その他に、補足プリントを配布し、基礎からTOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容／授業スケジュール (1)オリエンテーション・実力テスト、(2~13)Unit1~10、(14)総括、(15)前期テスト
(16)自由英作文・実力テスト、(17~28)Unit11~20、(29)総括、(30)後期テスト
※()内は授業回数、基本的に一回に1unitずつ進む。

準備学習 必ず予習をする。
わからない単語は辞書で調べておく。

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。
授業に関係ないこと(私語や他の教科をする、携帯を使う、寝るなどの行為)をした場合は欠席扱いとする。
授業中の携帯電話の使用は、一切認めない(辞書機能使用も不可)。
出席日数が全授業日数の3分の2以上に達している場合のみ、評価の対象となる。

成績評価の方法 年2回(前期後期)の定期試験(50%)と小テスト、提出物、課題、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。
定期試験には基準点があり、年2回の定期試験の平均が基準点を越えなければ、評価できない場合がある。
授業態度を重視する。

教科書／テキスト 履修上の留意点をきちんと守れない場合は、大幅な減点となる。
『スーパードictionaryと学ぶライティングとリスニング』(南雲堂)2,000円+税

履修コード	292001・292002
科目名	英語 I A (再クラス) 英語 I C (会話) [再クラス]
担当者名	芝田 興太郎

講義の到達目標(ねらい) 基礎英語(基礎文法)に立ち返りながら、語彙を増やし、句や節、パラグラフの把握の仕方・作成の仕方に留意し、英文表現力と発表力を高めることを目指します。時に現代の問題意識をもつために生の英字新聞・雑誌なども配布して、実際の実用英語を習得していきます。

講義の内容/
授業スケジュール

- 前期
1. 場所について語る (1回～4回)
 2. 時間について語る (5回～8回)
 3. 現在・過去・未来 (9回～12回)
 4. 他人と自分の行動について述べる (13回～15回)
- 後期
5. 動詞を使って名詞を説明する (16回～19回)
 6. 「たら・れば」の話 (20回～23回)
 7. ～と思う・考える (24回～27回)
 8. 間違えやすい基本表現 (28回～30回)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

課題を出しますので、準備するよう要請します。
辞書を持参すること。授業中の発表は評価の対象になります。積極的に質疑応答をしてください。
出席、平常テスト、レポート課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表は評価の対象になります。

教科書/テキスト

鈴木卓著 ヒントと例文で学べる表現英作文 松柏社 1,900円
ISBN978-4-88198-648-6

参考書

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事などのコピーも配布します。

外国語

履修コード	354901・354902
科目名	英語 I A (再クラス) 英語 I B (会話) [再クラス]
担当者名	杉本 誠

講義の到達目標(ねらい) 世界の文化、政治経済、情報、教育、科学、環境、娯楽、スポーツなどのあらゆる分野のニュースを通してReading, Listening, Speaking, Writingのバランスのとれた英語運用力を養うことを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

授業では英文を精読し、内容を理解し、特に読解力を身につけることに主眼をおきます。さらに、練習問題を通して総合的な英語能力の向上を目指します。授業はLesson 1～6を前期でおこない、Lesson 7～12を後期でおこないます。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

かならず毎時間の予習が必要である。
前・後期試験(50%)、小テスト(40%)、プレゼンテーションと出席率(10%)で評価する。
[1/2版: ニュースメディアの英語2011年度版] (朝日出版) 1,100円
ISBN978-4-255-15505-0

履修コード	291501・291502
科目名	英語 I A (再クラス) 英語 I C (会話) [再クラス]
担当者名	高野 秀夫

講義の到達目標(ねらい) プリントと教科書で授業を進めます。
プリントの英字新聞、雑誌、インターネット等の記事では、日常生活に役立つ英文を読み進めます。教科書では、イギリスのロンドンで展開される主人公の人生の物語を読み進めます。Natural Speedで英文を読み、聞き取り、逐語訳をしながら英語による質疑応答で本文の内容理解を図ります。いろいろな視点でイギリス文化についての知識を深め、英語の面白さを味わいながらリーディングの能力向上に努めます。

講義の内容/
授業スケジュール

プリントの授業では、毎回、世間で話題になっている英文記事をQ & Aで進めます。教科書の授業では、内容に沿って年間計画を立てています。前期は9～23ページ、後期は24～43ページまで進む予定です。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
その他

英語による質疑応答があるので予習は欠かせない。
普段から、興味深い英語の本や雑誌には積極的に眼を通すこと。
期末試験、平常点(出席、レポート等)
Mrs Dalloway(南雲堂) ISBN 0-14-081342-X
出席には、特に気をつけること。

履修コード	291701・291702
科目名	英語 I A〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	<small>にしむら</small> 西村 <small>ゆうこ</small> 祐子

講義の到達目標(ねらい)	Reading, Writing, Listening, Speakingの四つのスキルを総合的に伸ばす。 英語で考えて口頭で表現する第一歩を踏み出す。 英語のプレゼンテーション能力向上に役立つパワーポイントを使った素材作りに慣れる。 自分の日常について英語で説明でき、基本的な口語表現が使えるようになる。 英語で読んで書く練習を英語でのプレゼンテーション能力につなげる。
講義の内容／ 授業スケジュール	授業は講師が自作するテキストのユニットごとに以下のテーマで音読、訳、ダイアログの制作とクラスメートとの対話練習あるいはパワーポイント作品の発表を繰り返していく。 4月 導入＋参考英文をみながら自己紹介を制作し、英語で自己紹介する。 5月 英語の履歴書作りと自己紹介パワーポイントを使用して英語で自己アピールをする。 6月 日常のシーンを英語で書いて英語で説明する(料理と家事がテーマ) 7月 同上(日常生活の説明) 10月 英語でわがまちを語る 11月 英語でエクササイズを説明する 12月 英語で語る趣味と将来
準備学習 履修上の留意点	本学のオンライン自主学習コースYeStudyの使い方に慣れておく。 全出席数の3分の1以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻3回で欠席1回と数える。 出席重視、オンライン学習をYeStudyをつかっておこなうので出された課題はちゃんと提出すること。
成績評価の方法	英語のプレゼンテーションまたは対話形式による発表(4割)、出席率(2割) 課題提出(3割)、授業内テスト(1割)＝100
教科書／テキスト	教員の自作テキストあり

外国語

履修コード	292601・292602
科目名	英語 I A〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	<small>はなわ</small> 埴 <small>みちこ</small> 美智子

講義の到達目標(ねらい)	英語運用能力のしっかりした基礎を作ることを目的とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	[講義内容] 教科書に基づいて、口語英語の理解・運用に不可欠な基本的表現を学習すると同時に、Summaryの聞き取り等を通じて総合的な英語運用能力を高めていく予定です。 [授業スケジュール] 前期： 第1週 Orientation 第2週～14週 教科書の第1章から8章まで 第15週 前期試験 後期： 第15週～29週 9章から15章まで 第30週 後期試験
履修上の留意点	練習問題はアットランダムにあてますので、全員しっかり予習してください。
成績評価の方法	成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心とし、出席、小テスト、授業態度などの評価を加味して行います。年間授業回数3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。欠席が多い場合は減点の対象となります。
教科書／テキスト	What Should We Think About? 表現力を磨くためのリーディング&英作文 松柏社

履修コード	354601・354602
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	前田 脩 <small>まえだ おさむ</small>

講義の到達目標(ねらい) 英語を学んで日本と英米の思考過程、文化の違いを学びます。

講義の内容／授業スケジュール 一回に一章づつ進みます。英字新聞からのプリントも使用します。前期に二度、後期に二度自由英作文を行います。

準備学習 予習復習は必ず行ってください。

履修上の留意点 日ごろから英語に親しむように、英字新聞や雑誌に日を通してください。テレビなどで英語ニュースを聞いてください。

成績評価の方法 日常評価を40%、前期テスト20%、後期テスト、小テストを50%の割合で評価します。

教科書／テキスト 1) 宍戸真 2) 「リーディングーエキスパートー実践編ー 3) 成美堂
4) ¥1,800 5) ISBN 978-4-7919-3113-2

履修コード	292701・292702
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	丸小 哲雄 <small>まるこ てつお</small>

講義の到達目標(ねらい) 社会貢献の重要性を認識させる問題を取り扱う。基礎文法に留意しながら、語彙を増やし、パラグラフの展開の仕方とコメント力に重点を置き、グローバル・スタンダードの土俵に上がるための技術と同様に、英語コミュニケーションのための総合的な能力の向上を目指します。

講義の内容／授業スケジュール リスニングとリーディングを設け、基礎文法と語彙の増やし方に留意し、リーディング・タイムで自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。前期・後期にそれぞれライティングのレポート提出課題があります。

準備学習 質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。

履修上の留意点 積極的に発表できる態度で授業に臨むこと。私語は厳禁です。

成績評価の方法 出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価。

教科書／テキスト ・Your Ear for English 金星堂 4-7647-3672-1 C1082
・Making a Difference 南雲堂 978-4-523-17682-4

参 考 書 随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事のコピーも配布します。

履修コード	354701・354702
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	水崎 野里子 <small>みずさき のりこ</small>

講義の到達目標(ねらい) Eメール英作文のテキストを使用しつつ、実用的な英作文の運用力の向上を目指します。

講義の内容／授業スケジュール 【前期】第1週：ガイダンス 以降1クラスに教科書Unit1課ずつ、教科書Unit11まで予定。前期試験。
【後期】Unit12-Unit22まで予定。後期試験。

履修上の留意点 毎度Eメールの模範文を参考に、有用な基本英文の学習、挨拶や感謝の表現など実用的な日本語文章の英語変換・英語表現を学んでいきます。

成績評価の方法 授業には必ず辞書を持参してください。

教科書／テキスト 前期と後期の平常試験の成績と出席率・授業態度・授業参加度などを総合して評価します。
Yuichi Kurosawa; Subject E-Mail, Writing Effective Messages(NAN'UN=DO)
(大学生のEメール英作文：南雲堂)
¥1900

そ の 他 毎回例文のネイティブによる朗読を聴き、また例文を口に出して実際に読み・発音して行くことでヒアリング・英語発音・スピーキングの能力の向上も目指します。

履修コード	291801・291802
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	吉沢 栄治郎 <small>よしざわ えいじろう</small>

講義の到達目標(ねらい) 短い和文を順次、英訳してゆきます。和文英語力を高めることをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール ごく一般的な日本語を英訳してゆきます。一回の授業につき大体10題くらいの和文を英語に直す練習をしてゆきます。いろいろな訳例がありますが、一つだけ典型的な訳例を覚えて下さい。

履修上の留意点 和英辞典を積極的に使用して下さい。

成績評価の方法 ペーパーテスト、出席状況、レポート提出などで総合評価します。

教科書／テキスト 使用しません。

履修コード	246301
科目名	英語 I B
担当者名	伊勢村 定雄

講義の到達目標(おらい)

英文の基礎的な読み方を通して、辞書の引き方と読解を習得させる。かつ、語彙数では、あらたに1000語の範囲の語彙(熟語も含む)を理解可能にする。その副産物として、アメリカ社会の問題把握ができるようにする。

講義の内容/
授業スケジュール

1 回導入：全体の方針説明
2 回Higher Education：「アメリカの大学」に関わる語彙と表現を主眼として読みすすめる。音読、訳読。発音のための指針を出し、徹底をはかる。
3 回口語と文語の違いの導入をはかる。
4 回T.V. in Everyday Life：現代アメリカ社会の見方を「テレビの英語」を学び、理解できるようにする。
5 回用語を特に注意させる。かつ発音も指針に照らして直していく。(以下同じ)

6 回テレビ用の口語表現を学ぶ。

7 回Weights and Measures：「計る」という視点から英語をみる。

8 回「計測」の英語表現を読み、理解する。

9 回語彙テストを行なう。かつ口語の英語も読む。

1 0 回Ethnicity：人種問題を通して米語をみる。

1 1 回「人種構成」をNew York を例に挙げて理解させる。そのためのヒントも用意する。

1 2 回口語英語の視点からみるとどうい表現があるかを音読しつつさぐる。

1 3 回The Press：「アメリカのメディア」の実態をみる。

1 4 回口語英語の視点から、メディア英語をみる。

1 5 回期末考査のための質問時間をとる。

1 6 回後期の導入

The Internet：テキスト本文を音読しつつ、読みを確認する。

1 7 回インターネットの転換点における英語表現を学ぶ。

1 8 回インターネット関連の口語英語を学ぶ。

1 9 回Family：アメリカの「家族」の基本を英語で学ぶ。

2 0 回前回の継続と語彙のチェックをさせて、注意を向けさせる。

2 1 回この話題での口語英語を学ぶ。

2 2 回Greetings：アメリカの「挨拶」の仕方の概略。

2 3 回口語英語では挨拶はどうなっているのかを学ぶ。

2 4 回問題を解く。

2 5 回語彙及び読解のテスト

2 6 回Marriage：アメリカの「結婚」形態と社会の関係をみる。音読及び訳読。

2 7 回音読及び訳読。

2 8 回口語英語で結婚の問題を見る。

2 9 回Parties：アメリカの「パーティー」の形式を考える。

3 0 回パーティー関連を口語英語で見る。

準備学習

辞書で単語の意味を調べ、音も含めて、英文はすべて答えられるようにしておく。

履修上の留意点

予習不可欠。

出席はきちんとすること！

辞書持参のこと！

成績評価の方法

授業中は発言者に注意を向けることを常識とする。

前期末・後期末試験の他2回のテストをし、計4回試験をして、その平均で評価をつける。

60点未満は不合格となる。

他、出席が良好なものには、15点を上限に加えることがある。

全授業数の三分の一以上欠席すると、原則として受験資格がなくなる。

教科書/テキスト

Practice for Communicative English, Sadao Isemura & David W. Chapmon
私版(1500円) *初回に販売します。

外国語

履修コード	246501
科目名	英語 I B
担当者名	伊勢村 定雄

講義の到達目標(わらい) 高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。

講義の内容／授業スケジュール 6、7回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1：導入、2～7：言語とアイデンティティー、8～14：森林伐採。後期：さらにテーマを2つ。

準備学習 予習は、不可欠です。Y e s t u d y の事前チェックは必ずやっておくこと。バイディング用のファイルを必ず用意のこと！

履修上の留意点 必ず毎回、授業の予習をすること。辞書(電子辞書可)を持ってくること。

成績評価の方法 授業回数³の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。

教科書／テキスト 中間・期末テスト(80%)、平常点(出席、授業態度等10%)、実力テスト2回*を受験すること(5%)及び主席良好者にはとくに(5%)を与えることもある。
配付物およびオンライン資料

履修コード	246731
科目名	英語 I B
担当者名	伊勢村 定雄

講義の到達目標(わらい) (1) 英文にあわせた辞書の引き方を出来るようにする。
(2) 新たに1000語の語彙を増やす。
(3) 音読の仕方をマスターし、通じる英文朗読が出来るようにする。

講義の内容／授業スケジュール 第1回 導入と説明
～第3回 アメリカの学生生活を英語で読む。
第4回 学生が関わる仕事について。
～第6回
第7回 学生のファッションの英語を読む。
～第9回
第10回 (中間考査)*単語・熟語が主(一部変更あり)。
～第12回 学生達の男女交際を英語で読む。
第13回
～第14回 キャンプの英語を読む。
第15回 前期末考査*全体的
第16回 アメリカの食べ物や食事の英語を学ぶ。
～第18回
第19回 大学際や同窓会の話題を英語で読む。
～第21回
第22回 (中間考査)*単語・熟語が主(一部変更あり)。
～第25回 パーティーの英語を読む。
第26回
～第29回 スポーツの英語を読む。
第30回 後期末考査*全体的

履修上の留意点 授業には必ず辞書(電子辞書は可、携帯電話の辞書機能は不可)を持参こと。
必ず予習をすませて授業に臨むこと。

成績評価の方法 授業に積極的に参加した上で、出席率2/3 以上、考査の平均60%以上の2点を満たしたものを合格とする。なお、出席良好者(欠席が3回未満)は特に10～15%の範囲で加点することもある。

教科書／テキスト N.Harren+伊勢村+井上著、American CampusLife 『アメリカの学園生活』、英光社、1800円

履修コード	243801
科目名	英語 I B
担当者名	伊良部 祥子

講義の到達目標(ねらい)	英字新聞に掲載された世界のニュースを読むことを通して、高校英語を基礎として、より高度な構文の理解力を身につけます。時事英語を学ぶことにより、英字新聞や海外インターネット情報に慣れることを目標とします。また、豊富な語彙力も身につけたいと願います。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回オリエンテーション。第2回以降の授業はテキストを精読し、徐々に読むスピードを上げていきます。構文やパラグラフの構成についても学びます。テキストの内容についてはより深い解釈ができるように、単に英文を読むだけではなく激動の世界についても考えるようにしたいと思います。
準備学習	日本語で書かれた新聞を毎日読むことが大切です。世界で何が起きているか普段からアンテナを張っておきましょう。そうすることにより、英文記事の理解が容易になります。また、授業の前にテキストの単語は調べておきましょう。
履修上の留意点	この授業は演習科目であるので原則として3分の2以上の出席が必要です。また、積極的な授業参加、レポート、単語テストなどの課題を重視します。
成績評価の方法 教科書／テキスト	定期試験、授業中の口頭発表、出席率、小テストなどを総合評価します。 『1/2版: ニュースメディアの英語-演習と解説2011年度版』 朝日出版社、1100円、ISBN 978-4-255-15505-0C1082

履修コード	244101
科目名	英語 I B
担当者名	伊良部 祥子

講義の到達目標(ねらい)	さまざまなトピックの英文記事を読むことを通して、高校英語を基礎として、より高度な構文の理解力を身につけます。また、パラグラフ構成、リーディングスキルを学ぶことにより、速読・精読のスキルも身につけます。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：オリエンテーション。第2回以降の授業はテキストを読みながら構文についての解説やパラグラフリーディングの技術を学びます。トピックはUnit 1: Poor Little Laika, Unit 2: Where Did That Idiom Come From, Unit 3: Heroes from the Canine Kingdom 等です。はじめは時間をかけ、徐々に速読に移行する予定です。
準備学習	授業の前に自力で読んでみましょう。わからない単語は辞書を引いておきましょう。また、普段から新聞を読み、世界で何が起きているか関心を持ちましょう。
履修上の留意点	この授業は演習科目であるので原則として3分の2以上の出席が必要です。また、積極的な授業参加、レポートや小テスト等の課題を重視します。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前・後期定期試験、授業中の口頭発表、小テスト、出席などで総合評価します。 『Premium Reader Intermediate』 金星堂、1900円、ISBN978-4-7647-3910-9 C1082

履修コード	244401
科目名	英語 I B
担当者名	伊良部 祥子

講義の到達目標(ねらい)	様々なトピックの英文を読むことを通し、高校英語を基礎として、より高度な構文の理解力を身につけます。また、パラグラフ構成やリーディングスキルを学ぶことにより、正確に内容を把握できるようにします。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：オリエンテーション。第2回以降の授業はテキストを読みながら構文についての解説やパラグラフリーディングの技術を学びます。テキストの内容はアメリカの歴史を振り返りながら、現在のアメリカ社会が直面する問題について読み、未来のアメリカがどのような国になっていくか考えます。Unit 1:Pursuing the American Dream, Unit 2:America's Immigrant Roots, Unit 3: The Trail of Tears等です。
準備学習	授業の前にテキストの単語を調べておきましょう。 普段から新聞を読み、世界で何が起きているか関心を持ちましょう。
履修上の留意点	この授業は演習科目なので、原則として3分の2以上の出席が必要です。また、積極的な授業参加、レポートや小テスト等の課題を重視します。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前・後期の定期試験、小テスト、授業中の口頭発表、出席予習などを総合して評価します。 『American in Motion アメリカの過去・現在・未来を読む』成美堂 1800円+税 ISBN978-4-7919-3128-6 C1082

履修コード	246201・246401
科目名	英語 I B
担当者名	おがた しげまさ 尾形 重政

講義の到達目標(ならい) これまでの英語を基礎として、より高度な構文の理解を目指します。Reading Comprehension の場合、精読に加えて、さらに段落・文章等の大意の把握を目指します。Listening Comprehension の場合、聞きながら文章の大意の把握を目指します。

講義の内容／授業スケジュール テキストを読み進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいはTOEIC問題などを使用する場合もあります。

準備学習 教科書学習範囲を①少なくとも3回は読む。
②練習問題を解く。
③知らない語句は辞書で確認しておく。

履修上の留意点 予習をしっかりしてくる。予習してきていることを前提に授業は進めます。1時間に1レッスンを終わらせます。復習もすること；内容の確認と2回程度の読み。

成績評価の方法 積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日(夏休み直前)の試験1回、と後期中間試験と授業最終日(冬休み直前)の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。

教科書／テキスト Timothy Kiggell Katsuhiko Muto 『Prism Rose』 Macmillan Languagehouse 1500円 ISBN89585-532-7

参考書 英和辞典を持参してください。

その他 全授業回数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となる；3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に気をつけてください。

履修コード	246721
科目名	英語 I B
担当者名	おがた しげまさ 尾形 重政

講義の到達目標(ならい) これまでの英語を基礎として、より高度な構文の理解を目指します。Reading Comprehension の場合、精読に加えて、さらに段落・文章等の大意の把握を目指します。Listening Comprehension の場合、聞きながら文章の大意の把握を目指します。

講義の内容／授業スケジュール テキストを読み進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいはTOEIC問題などを使用する場合もあります。

準備学習 教科書学習範囲を①少なくとも3回は読む。
②練習問題を解く。
③知らない語句は辞書で確認しておく。

履修上の留意点 予習をしっかりしてくる。予習してきていることを前提に授業は進めます。1時間に1レッスンを終わらせます。復習もすること；内容の確認と2回程度の読み。

成績評価の方法 積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日(夏休み直前)の試験1回、と後期中間試験と授業最終日(冬休み直前)の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。

教科書／テキスト 若有保彦 編著 『Meet the World』 SEIBIDO 1900円 ISBN978-4-7919-3095-1

参考書 英和辞典を持参してください。

その他 全授業回数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となる；3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に気をつけてください。

履修コード	246901
科目名	英語 I B
担当者名	おがた しげまさ 尾形 重政

講義の到達目標(ならい) これまでの英語を基礎として、より高度な構文の理解を目指します。Reading Comprehension の場合、精読に加えて、さらに段落・文章等の大意の把握を目指します。Listening Comprehension の場合、聞きながら文章の大意の把握を目指します。

講義の内容／授業スケジュール テキストを読み進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいはTOEIC問題などを使用する場合もあります。

準備学習 教科書学習範囲を①少なくとも3回は読む。
②練習問題を解く。
③知らない語句は辞書で確認しておく。

履修上の留意点 予習をしっかりしてくる。予習してきていることを前提に授業は進めます。1時間に1レッスンを終わらせます。復習もすること；内容の確認と2回程度の読み。

成績評価の方法 積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日(夏休み直前)の試験1回、と後期中間試験と授業最終日(冬休み直前)の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。

教科書／テキスト 小泉和弘 小澤健志 編著 『生活と健康』 鳳書房 1800円 ISBN978-4-902445-17-5 c1082

参考書 英和辞典を持参してください。

その他 全授業回数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となる；3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に気をつけてください。

履修コード	348101
科目名	英語 I B
担当者名	おきの かずしげ 荻野 一成

講義の到達目標(ねらい)

入学時の英語力をさらにアップさせるため、Listening Comprehensionを中心に、大意を把握する能力を身に付けさせる。なお、最初に使用するテキストは比較的容易ものを用意した。終了後はこちらで別の教材を準備したものでさらにステップアップさせたい。時間内にできるだけ多くの作業をしてもらうようにしたい。

講義の内容／
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 補助教材+Lesson 1
3. 補助教材+Lesson 1～2
4. 補助教材+Lesson 2～3
5. 補助教材+Lesson 3
6. 補助教材+Lesson 3～4
7. 補助教材+Lesson 4
8. 補助教材+Lesson 5
9. 補助教材+Lesson 5～6
10. 補助教材+Lesson 6
11. 補助教材+Lesson 6～7
12. 補助教材+Lesson 7
13. 中間試験
14. 補助教材+Lesson 8
15. 補助教材+Lesson 8～9
16. 補助教材+Lesson 9
17. 補助教材+Lesson10
18. 補助教材+Lesson10～11
19. 補助教材+Lesson11
20. 補助教材+Lesson11～12
21. 補助教材+Lesson12
22. 補助教材
23. 補助教材
24. 補助教材
25. 補助教材
26. 補助教材
27. 補助教材
28. 補助教材
29. 補助教材
30. 補助教材 まとめテスト

準備学習

サブテキストも配付する予定なので、教科書と合わせて、予習はしっかりと行なうこと。授業中の活動は多くなる予定である。なお、リーディングについてはスピードよりもリズムを重視して下さい。

履修上の留意点
成績評価の方法

辞書等は必携。

出席（3分の2以上を原則）と授業中の活動、試験の結果の総合評価とする。考え方としては、出席と授業中の活動を200点、試験の結果を200点とし、それを4で除したもの。欠席が全体の3分の1以上をはるかに越えた場合には、試験の結果がよくても全体の評価は60点未満となるので要注意。

教科書／テキスト
参 考 書
関 連 リ ン ク

ブルスミス『Active Communication』南雲堂、1300円+税、ISBN4-523-17424-5 C0082
授業中に適宜紹介する。
<http://www.ssk.econfn.com>

外国語

履修コード	244701
科目名	英語 I B
担当者名	亀田 ^{かめだ} 三重子 ^{みえこ}

講義の到達目標(ねらい)	BBCの最近のニュースを聞き取り、内容把握に重点をおきます。それと同時に単語、熟語を学び、訳も行います。それによって内容を深める討論が少しでもできる事をめざします。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 講義の内容説明。英語で自己紹介。 2 Unit 1～Unit 7 (中間小テストあり) 3 前期試験 : (夏季休暇) 4 Unit 8～Unit 15 (中間小テストあり) 5 後期試験
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	語学の授業ですので必ず予習してきて下さい。 提出課題は必ず提出の事。辞書は必携の事。私語は慎む事。 前期、後期の試験、中間テスト、提出物を基本に評価します。又授業への取り組み方も考慮し、出席状況もみまます。
教科書／テキスト	BBC; Understanding the News in English (2011年度) 金星堂 ¥2400 (自宅用DVD付)

履修コード	245001
科目名	英語 I B
担当者名	亀田 ^{かめだ} 三重子 ^{みえこ}

講義の到達目標(ねらい)	最近の若者は海外に出たがらないと聞きますが、ここでは素晴らしい世界遺産をビデオで紹介し、listening, readingを行います。また単語や熟語を学び、英会話や作文に応用出来るようにします。世界の文化や自然の違いに触れ、少しでも海外に興味を持ち、英語を使おうと言う気になってくれる事を目標とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期：1、講義の内容説明。英語自己紹介。2、Chapter 1～7 (中間テスト) 3、前期試験 後期：1、Chapter 8～15 (中間テスト) 2、後期試験
準備学習 履修上の留意点	予習は必ずして来る事。 課題提出の事。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかならず携行の事(電子辞書も可)。私語厳禁。
成績評価の方法	前期・後期、中間試験、の結果および出席状況、授業中の参加度、学習意欲、等をかながみ評価する。
教科書／テキスト	Our World Heritage 成美堂 ¥1900 ISBN4-7919-4577-8

履修コード	245501
科目名	英語 I B
担当者名	亀田 ^{かめだ} 三重子 ^{みえこ}

講義の到達目標(ねらい)	最近のニュースのlistening, dictationを行い、内容の正確な把握の為に訳をします。又、文中で使われる単語や熟語を覚え、実際にそのtopicに関して発表したり討論する事を目標とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	第一日：講義のガイダンス。英語による自己紹介。 Unit 1～7 (中間テスト含む) 前期試験 Unit 8～15 (中間テスト含む) 後期試験
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	英語の授業なので必ず予習してくる事。 辞書必携の事。課題の提出。私語は慎む事。 前期、後期試験、中間テストの結果。提出物、授業への取り組み方も参考にします。出席状況もみまます。
教科書／テキスト	「DVDでBBCニュースを見て、聞いて考える8」 Understanding the News in English 8 金星堂 定価 本体 ¥2400 (自習用DVD付) ISBN978-4-7647-3916-1

履修コード	244801
科目名	英語 I B
担当者名	木元 ^{きもと} 喜久子 ^{きくこ}
講義の到達目標(ねらい)	アメリカの多様性に富んだ社会の断面を反映する人々や現在アメリカが直面する問題を紹介したリーディング教材を読みながら、アメリカ文化の多様性と奥深さに対する理解を深めると共に、日常生活や新聞・雑誌などの読み物で頻繁に使われる英語表現、実践的な英文読解スキルの習得をめざす。
講義の内容／授業スケジュール	前期：Ch. 1-6, Pursuing the American Dream, America's Immigrant Roots, The Trail of Tears, Harriet Tubman : An American Heroine, Jews and American Culture, The Japanese American Internment, 後期：Ch.7-13, The illegal Immigration Problem, The American "Gun Society", Barack Obama : Breaking Through the Glass Ceiling, Envy, Greed and Financial Collapse, The Tradition of American Philanthropy, American Megachurches, Interracial Marriages-Then and Now また、短いリスニング教材を使った聞き取り練習。
履修上の留意点	予習と積極的な授業参加・発表が求められる。毎回、辞書を必携のこと。
成績評価の方法	成績は出席率（全授業の3分の2以上）、授業中の課題、発表やリスニング小テストと前・後期の結果を総合して評価する。（欠試は不可）
教科書／テキスト	Gary Dendo, Masako Dendo（著者）, "American in Motion アメリカの過去・現在・未来を読む"（成美堂） ISBN978-4-7919-3218-6

履修コード	245101
科目名	英語 I B
担当者名	木元 ^{きもと} 喜久子 ^{きくこ}
講義の到達目標(ねらい)	現代日本が抱える、少子高齢化や若年労働者の不足、外国人労働者の受け入れなどの社会問題に鋭く切り込んだリーディング教材を読みながら、これらの困難を克服する道と一緒に考えると共に、実践的な英文読解スキルの習得をめざす。
講義の内容／授業スケジュール	前期：Ch.1 - 5 , Living in Japan today, Aging society, Whatever happened to lifetime employment, A word to remember: "precarious", Nursing and care workers from abroad, 後期：Ch.6, 9, 10, 11, 12, Do Asian countries have nurses to spare? Generations apart, How one 84-year-old lives alone in England, Partner-bots, Degrees of back-up: help, support and care. また、短いリスニング教材を使って、聞き取り練習。
履修上の留意点	予習と積極的な授業参加・発表が求められる。毎回、辞書は必携のこと。
成績評価の方法	成績は出席率（全授業の3分の2以上）、授業中の課題、発表やリスニングの小テストと前・後期試験の結果を総合して評価する。（欠試は不可）
教科書／テキスト	David Dykes, 角岡賢一（編著）, "Living in Japan Tomorrow 日本の未来を探る"（成美堂） ISBN978-4-7919-3129-3

履修コード	245601
科目名	英語 I B
担当者名	木元 ^{きもと} 喜久子 ^{きくこ}
講義の到達目標(ねらい)	アメリカの多様性に富んだ社会の断面を反映する人々や現在アメリカが直面する問題を紹介したリーディング教材を読みながら、アメリカ文化の多様性と奥深さに対する理解を深めると共に、日常生活や新聞・雑誌などの読み物で頻繁に使われる英語表現、実践的な英文読解スキルの習得をめざす。
講義の内容／授業スケジュール	前期：Ch. 1 - 6, Pursuing the American Dream, America's Immigrant Roots, The Trial of Tears, Harriet Truman : An American Heroine, Jews and American Culture, The Japanese American Internment, 後期：Ch. 7- 13, The Illegal Immigration Problem, The American "Gun Society", Barack Obama : Breaking Through the Glass Ceiling, Envy, Greed and Financial Collapse, The Tradition of American philanthropy, American Megachurches, Interracial Marriages- Then and Now また、短いリスニング教材を使って、聞き取り練習。
履修上の留意点	予習と積極的な授業参加、発表が求められる。毎回、辞書は必携のこと。
成績評価の方法	成績は出席率（全授業の3分の2以上）、授業中の課題、発表やリスニング小テストと前・後期の結果を総合して評価する。（欠試は不可）
教科書／テキスト	Gary Dendo, Masako Dendo（著者）" American in Motion アメリカの過去・現在・未来を読む"（成美堂） ISBN978-4-7919-3218-6

履修コード	243401
科目名	英語 I B
担当者名	近藤 眞彫

講義の到達目標(ねらい) 英字新聞記事の正確な読解力を養い、英語を通じて世界の動きを知る習慣を身につける。

講義の内容／授業スケジュール 【前期】第1週：ガイダンス 第2～13週：教科書にしたがって時事英語の読み方の基本を学ぶ。第14,15週：復習

成績評価の方法 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：前期で学んだことを確認しながらリアルタイムで様々な英字新聞の記事を読んでいく。第14,15週：復習

教科書／テキスト 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価する。

『時事英語の総合演習 - 2011年度版 - 』(朝日出版社) 1500円+税
ISBN978-4-255-15506-7

履修コード	348201
科目名	英語 I B
担当者名	佐藤 アヤ子

講義の到達目標(ねらい) 今まで学んだきた英文法をなんとなく分かっているいるが、なんとなく理解していない学生が多いです。そこで、英文法を基礎からしっかり学び直し、応用力まで養成することを到達目標とします。

講義の内容／授業スケジュール

- 1 文の要素
- 第1文型・第2文型・練習問題
- 2 第3文型・第4文型・練習問題
- 3 第5文型・練習問題
- 4 文の要素のまとめテスト
- 5 基本時制・練習問題
- 6 完了形・進行形・練習問題
- 7 時のまとめ・練習問題
- 8 受動態・練習問題
- 9 助動詞・練習問題
- 10 不定詞1・練習問題
- 11 不定詞2・練習問題
- 12 動名詞・練習問題
- 13 まとめ
- 14 まとめ
- 15 前期テスト
- 16 分詞・練習問題
- 17 分詞構文・練習問題
- 18 関係代名詞・練習問題
- 19 関係副詞・複合関係詞・練習問題
- 20 接続詞・練習問題
- 21 句と節・文の要素1・練習問題
- 22 句と節・文の要素2・練習問題
- 23 比較・練習問題
- 24 仮定法・練習問題
- 25 話法の転換・練習問題
- 26 名詞・冠詞・練習問題
- 27 代名詞・練習問題
- 28 形容詞・副詞・練習問題
- 29 前置詞・練習問題
- 30 後期テスト

履修上の留意点 かならず毎時間の復習が必要です。

成績評価の方法 前・後期試験、小テスト、出席率などを総合して評価します。

教科書／テキスト プリント使用。プリントは教科書ですから、しっかり保管すること。

その他の 辞書を持参すること。

履修コード	240401・240601
科目名	英語 I B
担当者名	<small>しらとり よしのぶ</small> 白鳥 義博

講義の到達目標(ねらい)	社内公用語を英語にする企業が増えている現状を念頭に置いて、これからのキャリアに役立つ英語力、とりわけ単語力の増強を目指します。具体的にはTOEICテストをひとつのモデルとして、語彙を増やします。併せてリスニング教材を使用して、英語を聴き取る力も高められればと考えています。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期： 1) ガイダンス 2) ～13) 各授業、前半45分間で単語の学習、後半45分間でリスニング・ディクテーションを行う 14) 復習とまとめ 15) 授業内テスト 後期： 16) テストの返却 17) ～28) 各授業、前半45分間で単語の学習、後半45分間でリスニング・ディクテーションを行う 29) 復習とまとめ 30) 授業内テスト
準備学習	1) 高校までの文法項目を簡単に復習しておくこと。 2) 何のために英語を学習するのか、目的意識を高めておくこと。
履修上の留意点 成績評価の方法	遅刻や欠席の成績評価への(悪)影響については、共通のガイドラインに従うので、注意すること。前期末試験(50%)および後期末試験(50%)の素点合計に、出席や授業中の態度に関して良い意味でも悪い意味でも顕著なポイントを加・減点する。
教科書／テキスト	初回に教場で指示する。

履修コード	244201
科目名	英語 I B
担当者名	<small>すぎむら はつる</small> 杉村 初枝

講義の到達目標(ねらい)	NHKのニュース特集で取り上げられた内容を、テキストのリーディングとDVDによるリスニングを通して学習していきます。入学時の英語力をさらに向上させること、日常的なリスニング力を高めることを目標に、構文、語彙に忠実な英文解釈と、大意を把握する速読の両面を取り入れて授業を進めていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	テキストの各課を、3回に分けて1回目リスニング、2回目英文解釈、3回目速読のスタイルで授業を進めます。 1回目オリエンテーション、2～4回1課、5～7回2課、8～10回3課、11回中間試験、12～14回4課、15～17回5課、18～20回6課、21回中間試験、22～24回7課、25～27回8課、28回中間試験、29回試験
準備学習	各課ごとに担当者を決め、発表、レポート提出をしてもらいます。担当者はあらかじめレポートをまとめ、授業後に提出してください。基本的に授業中の発表は全員にチャンスがあり、成績評価の対象となりますので、各自十分予習をし、また意欲的に授業に取り組んでください。
履修上の留意点	授業の出席回数が全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象となりません。出欠の確認は通常授業開始後に行いますので、遅刻をしないように注意してください。
成績評価の方法	出席しているも、授業態度に問題があると認められた場合は欠席扱いとします。授業時の平常点、レポート評価、試験の成績により総合的に評価します。詳しくは開講時に授業履修に関するマニュアルを配布し説明します。
教科書／テキスト	NEW YORK STREETS (金星堂) 2300円

履修コード	244501
科目名	英語 I B
担当者名	杉村 初枝

講義の到達目標(ねらい)	T Vのニュース特集で取り上げられた内容について、テキストのリーディング、ビデオのリスニングを通して学習していきます。入学時の英語力を向上させること、日常的に使えるリスニング力を鍛えることを目標に、テキストの精読、大意をつかむ速読を取り入れて、英文解釈力アップを目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	テキストの各課を3回に分けて、テキスト精読、リスニング、速読(大意把握)を行います。 1回目オリエンテーション、2～4回1課、5～7回2課、8～10回3課、11回中間試験、12～14回4課、15～17回5課、18～20回6課、21回中間試験、22～24回7課、25～27回8課、28回中間試験、29回試験
準備学習	各課ごとに担当者を決め、発表レポート提出をしてもらいます。授業中の発表は毎回全員にチャンスがありますので、各自予習をして積極的に授業に臨んでください。
履修上の留意点	授業への出席回数が全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象になりません。出欠の確認は基本的に授業開始後に行いますので、遅刻をしないよう注意してください。また、出席していても授業態度に問題があると認められた場合は欠席扱いとしますので各自意欲的に授業に参加してください。
成績評価の方法	授業時の平常点、レポート評価、試験の成績により総合的に評価します。詳細は開講時に履修に関するマニュアルを配布し説明します。
教科書／テキスト	Science World Vol.2 (朝日出版社) 1800円

履修コード	348301
科目名	英語 I B
担当者名	杉本 誠

講義の到達目標(ねらい)	21世紀をどのような時代にするかを考え、議論し、行動するには20世紀から引き継がれた問題を丹念に検討する必要があります。授業ではこれらの諸問題を11の読みやすい評論文の形で提示した総合英語のテキストから学ぶこととします。特に情報、文化、教育、環境、政治経済などの問題から重点的に学びます。
講義の内容／ 授業スケジュール	経済、環境、医療、福祉などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。授業はLesson 1～6を前期でおこない、Lesson7～11を後期でおこなう。
履修上の留意点	かならず毎時間の予習が必要である。
成績評価の方法	前・後期試験(50%)、小テスト(40%)、プレゼンテーションと出席率(10%)で評価する。
教科書／テキスト	『World Events』(オセアニア出版) 1,500円 ISBN4-87203-089-3 C1082

履修コード	241201・241801・242001・246601
科目名	英語 I B
担当者名	高橋 明子

講義の到達目標(ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
講義の内容／ 授業スケジュール	6、7回にわたり同一のテーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1:導入、2～7:言語とアイデンティティー、8～14:森林伐採。後期:さらにテーマを2つ。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	中間・期末テスト(80%)、平常点(出席、授業態度等15%)、実力テスト2回*を受験すること(5%)
教科書／テキスト	配付物およびオンライン資料
その他	*実力テストの成績はこの科目の成績に反映されない。

履修コード	240411・240701・241301・242311・246801
科目名	英語 I B
担当者名	高橋 佳江

講義の到達目標(ねらい) 基本的な文法を理解しながらまとまった量の英文を読むことができるようになる。また、リスニングに慣れていく。

講義の内容／授業スケジュール 概ね1回の授業で1課ずつ進んでいく。基本的な文法事項の復習、毎回の授業でリスニングの練習も併せて行う。必要に応じ小テストを行う。

準備学習 わからない単語などは予め調べておくこと。

履修上の留意点 教科書、ノート、辞書は必ず持ってくる。出欠に関する諸届けは忘れずに提出すること。

成績評価の方法 2/3以上出席をして前期後期の試験の点数の平均が原則60点以上の者を合格とする。授業時の発言点、小テストの点などの平常点も加味する。

教科書／テキスト 初回の授業時に指示する。

その他の他 必ず復習をすること。

履修コード	244601
科目名	英語 I B
担当者名	塚本 利男

講義の到達目標(ねらい) 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、出来るだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 1回：オリエンテーション、2回～14回：「大人」になる年齢、数字についての迷信、食事と健康、リサイクリングあれこれ、余暇の過ごし方など、16回～29回：人生とは、占数術とは、チョコレート効用、食生活と環境問題などの内容の英文を読みます。15回と30回：前期と後期のテストを実施します。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。

準備学習 必ず予習をして出席すること。

履修上の留意点 出席を重視します。辞書（電子辞書）を持ってくる。

成績評価の方法 出席や発表などの平常評価（25%）、テキストの小テスト（25%）、前期・後期試験（50%）の総合評価。

教科書／テキスト Intermediate Skills for Reading 『リーディングスキルの実践演習』
Neil J Anderson・川又正之著
ISBN4-7919-0069-3 成美堂 1,700円＋税

履修コード	244621
科目名	英語 I B
担当者名	塚本 利男

講義の到達目標(ねらい) 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、出来るだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目標とします。

講義の内容／授業スケジュール 1回：オリエンテーション、2回～14回：「大人」なる年齢、数字についての迷信、食事と健康、リサイクリングあれこれ、余暇の過ごし方など、16回～29回：人生とは、占数術とは、チョコレートの効用、食生活と環境問題など内容の英文を読みます。15回と30回：前期と後期のテストを実施します。毎回、授業の総仕上げとして、テキストの問題の小テストを行います。

準備学習 必ず予習して出席すること。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 年2回の学期試験（50%）、小テスト(25%)、出席の状況、発表などの平常点（25%）、を総合して評価します。

教科書／テキスト Intermediate Skills for Reading 『リーディングスキルの実践演習』
Neil J. Anerson・川又正之著
(株)成美堂 1,700円＋税
ISBN4-7919-0069-3

履修コード	240801・241501・241601
科目名	英語 I B
担当者名	てしかから みほこ 勅使河原 三保子

講義の到達目標(ねらい) 高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。

講義の内容／授業スケジュール 6、7回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1：導入、2～7：言語とアイデンティティー、8～14：森林伐採。後期：さらにテーマを2つ。

履修上の留意点 授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。

成績評価の方法 中間・期末テスト(80%)、平常点(出席、授業態度等15%)、実力テスト2回*を受験すること(5%)

教科書／テキスト 配布物およびオンライン資料。

その他 *実力テストの成績はこの科目の成績に反映されない。

履修コード	243201
科目名	英語 I B
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義の到達目標(ねらい) 英語で考えて口頭で表現する第一歩を踏み出す。
英語のプレゼンテーション能力向上に役立つパワーポイントをつかった素材づくりに慣れる。
自分の日常について英語で説明でき、基本的な口頭表現がつかえるようになる。
英語で読んで書く練習を口頭でのプレゼンテーション能力につなげる。

講義の内容／授業スケジュール 授業は講師が自作するテキストのユニットごとに以下のテーマで音読、訳、ダイアログの制作とクラスメートとの対話練習、あるいはパワーポイント作品の発表をくりかえしていく。
4月 導入+参考英文をみながら自己紹介を制作し、英語で自己紹介する。
5月 英語の履歴書作りと自己紹介パワーポイントを使用して英語で自己アピールをする。
6月 日常のシーンを英語で書いて英語で説明する(料理と家事がテーマ)
7月 同上(日常生活の説明)
10月 英語でわがまちを語る
11月 英語でエクササイズを説明する
12月 英語で語る趣味と将来

履修上の留意点 出席重視。オンライン学習をYeStudyをつかって行うのでだされた課題はちゃんとだすようにすること。(出席同様に重視する)。

成績評価の方法 英語のプレゼンテーション(4割)、出席率(2割)、課題提出(3割)、他のテスト(1割)

教科書／テキスト 教員が自作したテキストを用いる。教場で配布する。

履修コード	243301・244301
科目名	英語 I B
担当者名	はまぐち まさき 濱口 真木

講義の到達目標(ねらい) 様々な英文を読んでリーディング力やリスニングなどの強化を目指す。主に読解能力、重要な語彙の習得、パラグラフリーディングによる内容把握の能力などの向上を図る。

講義の内容／授業スケジュール 高校までの英語で培った読解能力を更に強化すると共に幅広い分野の英文を読むことで、できるだけ日本語を介さずにイメージで英文の意味を直接理解できる能力を身につける。
前期は第1回オリエンテーション、第2回～3回Chapter1、第4回～5回Chapter2、第6回～7回Chapter3、第8回～9回Chapter4、第10回～11回Chapter5、第12回～13回Chapter6、第14回前期テスト。後期は第1回～3回Chapter7、第4回～5回Chapter8、第6回～7回Chapter9、第8回～9回Chapter10、第10回～第11回Chapter11、第12回～13回Chapter12、第14回後期ラスト。

履修上の留意点 授業は口頭による発表形式をとるので予習をしてくること。また英語の辞書(電子辞書でも可)を必ず持参すること。

成績評価の方法 前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。

教科書／テキスト Insights 2011 金星堂 1,900円+税
ISBN978-4-7647-3913-0

履修コード	243901
科目名	英語 I B
担当者名	濱口 真木

講義の到達目標(ねらい)	読解力の向上、重要な語彙の習得、文章の大意を把握する能力の習得を主眼に、様々な分野の英文を読みこむ。
講義の内容／ 授業スケジュール	高校までの英語で培った読解能力を更に強化すると共に幅広い分野の英文を読むことで、できるだけ日本語を介さずにイメージで英文の意味を直接理解できる能力を身につける。 前期は第1回オリエンテーション、第2回～3回Unit1、第4回～5回Unit2、第6回～7回Unit3、第8回～9回Unit4、第10回～11回Unit5、第12回～13回Unit6、第14回前期テスト。後期は第1回～3回Unit7、第4回～5回Unit8、第6回～7回Unit9、第8回～9回Unit10、第10回～11回Unit11、第12回～13回Unit12、第14回後期テスト。
履修上の留意点	授業は口頭による発表形式をとるので予習をしてこむこと。また英語の辞書(電子辞書でも可)を必ず持参すること。
成績評価の方法	前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。
教科書／テキスト	『ニュースメディアの英語』(English through the News Media) 朝日出版 1,600円+税 ISBN978-4-255-15504-3

外国語

履修コード	244641
科目名	英語 I B
担当者名	濱口 真木

講義の到達目標(ねらい)	読解力の向上、重要な語彙の習得、文章の大意を把握する能力の習得を主眼に英文を読みこむ。
講義の内容／ 授業スケジュール	高校までの英語で培った読解能力を更に強化すると共にさまざまな英文を読むことで、できるだけ日本語を介さずにイメージで英文の意味を直接理解できる能力を身につける。 前期 第1回Orientation 第2回～9回Part1: Extracts from Famous English Speeches 第10回～13回Part2: Great English Speeches 第14回Examination 後期 第1回～9回Part2 Great English Speeches 第10回～13回Part3 The Nobel Prize Acceptance Speech 第14回Examination
履修上の留意点	授業は口頭による発表形式をとるので予習をしてこむこと。また英語の辞書(電子辞書でも可)を必ず持参すること。
成績評価の方法	前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。
教科書／テキスト	『英語名演説集』(Great English Speeches) 栄光社 1,800円+税 ISBN 978-4-87097-126-4

履修コード	348401
科目名	英語 I B
担当者名	林 孝憲

講義の到達目標(ねらい)	近年英字新聞で取り上げられる頻度が高いビジネスや社会問題を中心とする時事的な内容を取り扱い、正確に構文を理解して読んでゆく。リスニングはプリントを配布して行う。 特に精読を心掛けて進めてゆき、英字新聞を読む準備としたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	単語の意味調べなどの予習が必要になる。
準備学習	平常での発表・出席および前後期の試験結果を含め総合的に評価する。
成績評価の方法	
教科書／テキスト	『グリーンライフとビジネス』(南雲堂) 1900円+税 ISBN978-4-523-17663-3

履修コード	241401・242801・243701
科目名	英語 I B
担当者名	<small>ひわたり しゆんこう</small> 樋渡 俊光

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語力を基礎として、より高度な構文の理解と習得をはかり、参考文献として日本文学の翻訳本等にふれ、専門的興味をもたせる。

講義の内容／授業スケジュール 上記目標達成の為、大学生として色々な社会的一般教養を英文を通して学習する為に、興味ある内容とする。

履修上の留意点 世界の教育(1-6)社会学(7-12)健康・医学・医療(13-18)環境・資源(19-24)経済(25-30)

成績評価の方法 日頃から世界の情報に注意を払い、教材の予習をはかる。

教科書／テキスト 年2回の学期試験、予習の具合、出席状況にて評価します。

Shawn M. Clankie
VOA Special English
南雲堂 1785円(価格)
ISBN 978-4-523-17617-6 C0082

履修コード	242321・244001
科目名	英語 I B
担当者名	<small>ひわたり しゆんこう</small> 樋渡 俊光

講義の到達目標(ねらい) 国際人育成の為、国際人としての英語力を身につける為に高度な英語構文の理解とその習得をはかる。又副教材を通して基礎的なBusiness Englishの習得をはかる。

講義の内容／授業スケジュール 国際社会のさまざまな新事情を学ぶ内容とする。

履修上の留意点 AmericaのSchool ID Tags・他(1-6) Hackers・他(7-12) イギリスの話題・他(13-18) 認知症の問題・他(19-24) 南アフリカ問題・他(25-30)

成績評価の方法 副教材: Business English, Japan Times等を授業内に取り入れる。

教科書／テキスト 教材の予習、辞書持参

年2回の学期試験、予習具合、出席状況にて評価

Richard Best
The World at a Glance
南雲堂 1500円+税
ISBN4-523-17525-X C0082

履修コード	244611・244631
科目名	英語 I B
担当者名	<small>ひわたり しゆんこう</small> 樋渡 俊光

講義の到達目標(ねらい) 国際人としての英語力を身につける為に、高度な英語の構文の理解と習得をはかり、参考文献として英文で書かれた日本史にふれて専門的興味をもたせる。

講義の内容／授業スケジュール 色々な社会的分野に関して英文を通して興味ある内容とする。

履修上の留意点 水の問題・他(1-6) 健康問題・他(7-12) 学生生活・他(13-18) Levi物語・他(19-24) 女性の社会的地位・他(25-30)

成績評価の方法 又日本史に関する英文資料の利用

教科書／テキスト 日頃から新聞、テレビ等を通して世界の情報に興味をもち、教材の予習をはかる。

年2回の学期試験、予習の具合、出席状況にて評価。

Robert Hickling
Get Reading!
金星堂 1950円
ISBN 978-4-7647-3877-5

履修コード	246101・246711
科目名	英語 I B
担当者名	福田 一貴

講義の到達目標(ねらい) 高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。

講義の内容／授業スケジュール 6、7回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1：導入、2～7：言語とアイデンティティー、8～14：森林伐採。後期：さらにテーマを2つ。

履修上の留意点 授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。

成績評価の方法 中間・期末テスト(80%)、平常点(出席、授業態度等10%)、実力テスト2回*を受験すること(5%)
授業内での小テスト(5%)

教科書／テキスト 配付物およびオンライン資料

参考書 なし

その他 *実力テストの成績はこの科目の成績に反映されない。

履修コード	245201
科目名	英語 I B
担当者名	藤井 道行

講義の到達目標(ねらい) "Explore Your World"をテーマとしたテキストを使います。授業では、基本的な語彙・構文で書かれた多彩なトピックを、より速く、より正確にキャッチする訓練をします。テキストに掲載されている質の高い写真の数々は、リーディングの内容に対する興味を高め、理解を深めるためのスプリングボードです。

講義の内容／授業スケジュール 前期：第1回：授業説明 第2～6回：Unit 1～3 第7回：前期・中間試験
第8～14回：Unit 4～6 第15回：前期・期末試験
後期 第16～22回：Unit 7～9 第23回：後期・中間試験
第24～29回：Unit 10～12 第30回：後期・期末試験

準備学習 テキストに写真を多数提供している、NATIONAL GEOGRAPHIC のホームページを訪問してみましょう。http://www.nationalgeographic.com/

履修上の留意点 出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

成績評価の方法 年間4回行う試験の成果: 80%
授業内の活動: 20%

教科書／テキスト Paul MacIntyre
"Reading Explorer Book 2" (センゲージラーニング) 2,180円
ISBN: 978-1-4240-2934-1

履修コード	245701
科目名	英語 I B
担当者名	藤井 道行

講義の到達目標(ねらい) 経済のシステムと人間の感性・思考のシステムの意外な結びつきを、多様な切り口から具体的に論じているテキストを使います。授業では、平易な英文を、より速く、より正確にキャッチする訓練をします。また、英語をテンポよく読むためには欠かせない音声面の力を、ダイアログの聞きとり練習、テキストの音読を繰り返すことで無理なく上乗せしていきたいと思います。

講義の内容／授業スケジュール 前期：第1回：授業説明 第2～6回：Unit 1～4 第7回：前期・中間試験
第8～14回：Unit 5～8 第15回：前期・期末試験
後期：第16～22回：Unit 9～12 第23回：後期・中間試験
第24～29回：Unit 13～15 および補足 第30回：後期・期末試験

準備学習 授業の準備段階で辞書を使用する場合は、語の意味だけでなく、発音記号、例文まで丁寧に目を通すこと。

履修上の留意点 出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

成績評価の方法 年間4回行う試験の成果:80%
授業内の活動(発表、小テスト) 20%

教科書／テキスト Paul Stapleton
"Econosense" (CENGAGE Learning) 1785円
ISBN 978-4-86312-153-9 C3082

履修コード	241001・241901
科目名	英語 I B
担当者名	本間 <small>ほんま</small> 章郎 <small>あきお</small>

講義の到達目標(ねらい) 授業の目標は、英語の基本的な文法および構文を確認しながら、英文を的確に読むことのできる読解力の育成、英単語の語彙の増加、そしてTOEICに慣れることの3点です。使用する教科書は、環境問題、文化、教養、健康、ビジネス活動など、現代社会において関心の高いテーマを扱ったもので、比較的、読みやすい英文で書かれています。英文を読む上での基本的な構文を確認しながら、内容を的確に把握し、それぞれのテーマに関連する語彙を習得してもらいたいと思います。

講義の内容/
授業スケジュール

また、小テストとしてTOEIC用の問題を使用します。リスニング問題などに対して、特に抵抗感を感じる方もいるかもしれませんが、小テストを重ねることで、TOEICに頻出するビジネスに関連する語彙を学び、TOEICという試験自体に慣れてもらえればと思います。

第1回：授業ガイダンス
第2～15回：教科書1章～10章
第16～27回：教科書11章～20章
第28回：テスト
第29回：テストの返却および授業のまとめ
第30回：追試

教科書の進度は、1回から2回の授業で1つの章を終えたいと思います。進度に応じて、授業では扱わない章もあるので、気を付けてください。

準備学習

毎回、事前に教科書の予習が必要です。十分な時間をかけて、準備を行って授業に臨んでください。また、小テストをおこなった次の週には、質問をしながら解答を確認していくので、必ずテストの復習をおこなってください。

履修上の留意点

語学の授業ですので、毎回、出席を取ります。成績評価の対象になるには、最低限の出席回数が必要です。原則として、3分の2以上出席すること。

成績評価の方法

成績評価は次の諸点から総合的に判断します。
1. 教科書から出題する学年末テスト (成績評価全体の約80%)
2. 授業でおこなう小テスト (成績評価全体の約20%)

教科書/テキスト

ジョアン・ペロケティ他
Green Life and Business (『グリーンライフとビジネス』)
南雲堂
1900円+税
ISBN978-4-523-17635-0

履修コード	242101
科目名	英語 I B
担当者名	^{ほんま} ^{あきお} 本間 章郎

講義の到達目標(ねらい)	<p>授業の目標は、英語の基本的な文法および構文を確認しながら、英文を的確に読むことのできる読解力の育成、英単語の語彙の増加、そしてニュース英語を聞きながら、英語の音声に慣れることの3点です。</p> <p>使用する教科書は、BBCで放映された、さまざまな現代の社会問題などを扱ったニュースを編集した教科書です。実際にBBCで放映された映像と音声から、それぞれのニュースの内容を的確に把握し、英語の音声を聞き取ることを練習していきます。英語の音声を聞き取ることに抵抗感を感じる方もいるかと思いますが、教科書は段階的に内容を把握していくことができるように編集されているので、徐々に英語の音声に慣れていくことができるのではないかと思います。</p> <p>音声を聞き取る練習の後、英語の基本的な構文や重要な語彙を確認しながら、英文の内容を確認していきます。この授業が、的確に英文の内容を総合的に把握する力を育む機会になればと思います。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>第1回：授業ガイダンス</p> <p>第2～15回：教科書1章～8章</p> <p>第16～27回：教科書9章～15章</p> <p>第28回：テスト</p> <p>第29回：テストの返却および授業のまとめ</p> <p>第30回：追試</p> <p>教科書の進度は、2回から3回の授業で1つの章を終えたいと思います。進度に応じて、授業では扱わない章もあるので、気を付けてください。</p>
準備学習	<p>毎回、事前に教科書の予習が必要です。十分な時間をかけて、付属のDVDを聞いて空欄の単語の聞き取りに挑戦してみてください。また、わからない単語・表現を調べて、内容に関する質問に答えられるようにしてください。</p>
履修上の留意点	<p>語学の授業ですので、毎回、出席を取ります。成績評価の対象になるには、最低限の出席回数が必要です。原則として、3分の2以上出席すること。</p>
成績評価の方法	<p>成績評価は次の諸点から総合的に判断します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書から出題する学年末テスト（成績評価全体の約80%） 2. 授業でおこなう小テスト（成績評価全体の約20%）
教科書／テキスト	<p>小野田 榮他</p> <p>BBC Understanding the News in English 8 (『DVDでBBCニュースを見て、聞いて、考える8』)</p> <p>金星堂</p> <p>2520円</p> <p>ISBN978-4-7647-3894-2 C1082</p>

履修コード	241101
科目名	英語 I B
担当者名	^{ますだ} ^{けいこ} 増田 恵子

講義の到達目標(ねらい)	<p>英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指していきたいと思っています。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>第1回：ガイダンス。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は1～2回で1章を終える予定です（第2～7回、第9～14回、第16～21回、第23～28回）。第29回：講義のまとめ。テストは年4回（第8、15、22、30回）。</p>
準備学習	<p>授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。</p>
履修上の留意点	<p>3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。</p>
成績評価の方法	<p>年4回のテストに、授業参加度、発表や小テストなどの評価を加えて、総合的に授業全体の成績を算出します。</p>
教科書／テキスト	<p>Andrew E. Bennett 著 Reading Pass 1 南雲堂 2200円</p> <p>ISBN978-4-523-17608-4</p>

履修コード	242201
科目名	英語 I B
担当者名	増田 恵子 <small>ますだ けいこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指していきたいと思ひます。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は1～2回で1章を終える予定です(第2～7回、第9～14回、第16～21回、第23～28回)。第29回：講義のまとめ。テストは年4回(第8、15、22、30回)。

準備学習 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。

履修上の留意点 3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。

成績評価の方法 年4回のテストに、授業参加度、発表や小テストなどの評価を加えて、総合的に授業全体の成績を算出します。

教科書／テキスト 宍戸眞他著『リスニングラウンジ』成美堂2200円
ISBN978-4-7919-3091-3

履修コード	242401
科目名	英語 I B
担当者名	増田 恵子 <small>ますだ けいこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指していきたいと思ひます。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は1～2回で1章を終える予定です(第2～7回、第9～14回、第16～21回、第23～28回)。第29回：講義のまとめ。テストは年4回(第8、15、22、30回)。

準備学習 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。

履修上の留意点 3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。

成績評価の方法 年4回のテストに、授業参加度、発表や小テストなどの評価を加えて、総合的に授業全体の成績を算出します。

教科書／テキスト JACETリスニング研究会著 Forerunner to Power-Up English 南雲堂1900円
ISBN978-4-523-17624-4

履修コード	242901
科目名	英語 I B
担当者名	増田 恵子 <small>ますだ けいこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指していきたいと思ひます。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は1～2回で1章を終える予定です(第2～7回、第9～14回、第16～21回、第23～28回)。第29回：講義のまとめ。テストは年4回(第8、15、22、30回)。

準備学習 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。

履修上の留意点 3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。

成績評価の方法 年4回のテストに、授業参加度、発表や小テストなどの評価を加えて、総合的に授業全体の成績を算出します。

教科書／テキスト 深山晶子他著 First Steps to SciTech English Basic 桐原書店1900円
ISBN978-4-342-55000-3

履修コード	240901
科目名	英語 I B
担当者名	丸小 哲雄

講義の到達目標(ねらい)	日本文化論を扱う。語彙を増やし、英語のヴァリエーション、パラグラフの捉え方・作成の仕方に留意し、そして速読の要領とコメント力を得るように目指します。時に、語彙の構築と同時に、問題意識をもつために英字新聞・雑誌のコピーを配布して幅広い英文の読みの涵養も努めます。
講義の内容／授業スケジュール	ウォーミングアップとしてリスニング・タイムを設け、リーディング・タイムの読みのプロセスにおいて自己表現できるように発信型の能力も涵養してゆきます。前期・後期にそれぞれライティングのレポート提出課題があります。
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前条件です。積極的に発表できる態度で授業に臨むこと。私語は厳禁。 出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価。
教科書／テキスト	・ Short Listening 成美堂 4-7919-4507-7 ・ The Compact culture 英宝社 4-269-17012-3 C1082
参 考 書	随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事のコピーも配布します。

外国語

履修コード	241701
科目名	英語 I B
担当者名	丸小 哲雄

講義の到達目標(ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになります。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになります。
講義の内容／授業スケジュール	6、7回にわたり同一テーマの下に、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくります。前期1：導入：2～7：言語とアイデンティティ、8～14：森林伐採。後期：さらに2テーマの下に同じ要領で訓練を行います。
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前条件です。積極的に発表できる態度で授業に臨むこと。私語は厳禁。 出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価。
教科書／テキスト	配布物およびオンライン資料。
参 考 書	参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

履修コード	244901
科目名	英語 I B
担当者名	海琳 泰子

講義の到達目標(ねらい)	Reading-VOAのサイエンスピックを20編 編集したテキストを読む。 Listening-BBC World のニュースの聞き取り。
講義の内容／授業スケジュール	毎回 授業の始め20分間は BBC World のニュースの聞き取り。 1-2.地震 3-4.笑い 5. みつばち 6. 減量 7. 氷山 8. 社交性 9. 情報格差 10. 気候変動 11-12.南極海 13-14.うつ 15.まとめ テスト 16. 中古IT機器 17. 細胞の変化 18.マグロ漁 19. Low-Tech 20-21.ビタミン 22-23.電卓 24. 魚 25. 健康問題 26-27. EUの地球温暖化対策 28-29.土星 30. まとめ テスト
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	毎日 ニュースのヘッドラインをチェックすること。 毎日 Web上 テレビ 新聞等で 国際問題 科学 医療 環境問題のニュースに注目すること。 前後期末試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20%授業中の解答10%出席10%
教科書／テキスト	木塚晴夫 編註 World Today Reading VOA Science Topics 「世界が見えるーVOA サイエンスピックを読む」音羽書房鶴見書店 1700円 ISBN978-4-7553-0353-1
その他の	水曜日III限

履修コード	245211
科目名	英語 I B
担当者名	海琳 泰子

講義の到達目標(ねらい) Reading-最新の科学、医療、環境をテーマにした評論を読む。Listening-BBC World のニュースの聞き取り。

講義の内容／授業スケジュール 毎回授業の始め20分間はBBC World のニュースの聞き取り。1. 命 2. 恐竜 3. 種 4-5. 文明 6-7. 外来種 8-9. 磁気 10. 犬の脳 11-12. BSE 13-14. 心 15. まとめ、テスト 16. 輸血 17-18. 感染 19-20. 水 21-22. 森 23. 予知 24. 持続可能な成長 25. バイオ燃料 26. 風 27. 土壌汚染 28-29. 再生医療 30. まとめ、テスト

準備学習 毎日ニュースのヘッドラインをチェックすること

履修上の留意点 毎日、Web上、テレビ、新聞等で国際問題、科学、医療、環境問題のニュースに注目すること。

成績評価の方法 前後期末試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20% 授業中の解答10%出席10%

教科書／テキスト 永田博人 Bill Benfield編著 Science Views 「最新科学を知る」成美堂 1800円 ISBN 978-4-7919-3114-9

その他 水曜日 I 限

履修コード	245801
科目名	英語 I B
担当者名	海琳 泰子

講義の到達目標(ねらい) Reading-英語学習に不可欠なヨーロッパ文化について学ぶ。Listening-BBC World のニュースの聞き取り。

講義の内容／授業スケジュール 毎回 授業の始め20分間はBBC World のニュースの聞き取り。2010年8月私は、EU東方拡大で大きな変化をとげているポーランド、4年ぶりのプラハを訪れた。Firenzeでの生活体験のあるアメリカ人の描くヨーロッパ論を読む。1-2. EU EURO 3-4. 言語 5. イタリアと日本 6. 君主 7-8. 美 9-10. 食文化 11-12. ワイン 13-14. ヨーロッパとは 15. まとめ テスト 16-18. 家族 19-20. 医療 21-22. 年中行事 23-25. 個人 26-28. 教育 29. 未来 30. まとめ テスト

準備学習 毎日 ニュースのヘッドラインをチェックすること。

履修上の留意点 国際ニュースの中で特にEU、ヨーロッパに注目し 新聞 Web上 テレビ等で情報収集に努めること。EU東方拡大 Lisbon条約の行方 ヨーロッパ中央銀行の動向等

成績評価の方法 現在進行形の問題に焦点をあわせて最新の情報をとりいれていくこと。そのとき過去のヨーロッパ史に目を向けたいと理解できない問題があることにきづくことと思う。

教科書／テキスト 前後期末試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20% 授業中の解答10%出席10%

Joan McConnell 辻昌弘著 Appreciating European Culture 「生まれ変わるヨーロッパ」成美堂 1800円 ISBN 978-4-7919-1280-3

その他 水曜日 II 限

履修コード	242301
科目名	英語 I B
担当者名	三芳 康義

講義の到達目標(ねらい) TOEICやTOEFLのような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必修条件になっているため、要旨をつかむことに集中した速読に慣れることで、英語の語感を鋭敏にし、実践的な英語力をつける演習を行います。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、癖のないしっかりとした英文の構造や語法の解説に時間を割き、英文の「読み」を徹底的に訓練します。後期になるまでに、一応の文法事項の復習を修了させてから、後期の授業に臨む。とくに後期では、長文読解に力を入れ、内容の要旨を指摘する程度にとどめ、速読による大量の英文を読んでいく。同時に、会話文を中心にしたシャドーイングによるリスニングも行い、英語のリズムやイントネーションの基本を身につけることを目指します。

準備学習 普段から英字新聞や英文雑誌などを意識的に読むことを心掛けてください。同時に、音声言語としての英語に慣れるために、ラジオやテレビなどのメディアを通じて、たくさんの英語の音声を聴くように習慣づけることが大切です。

履修上の留意点 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書(電子辞書を含む)は必ず持参し、授業中であっても常に引くことを習慣づけること。

成績評価の方法 授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回から6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書／テキスト 『American Ways』編著者Maryanne Kearny Datesman/JoAnn Crandall/Edward N. Kearny 出版社ピアソン桐原(税込3087円) ISBN0-13-150086-4

履修コード	242601
科目名	英語 I B
担当者名	三芳 康義

講義の到達目標(ねらい)	TOEICやTOEFLのような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必修条件となっているため、とくに総合的な英文をたくさん読み、英語の語感を鋭敏にし、実用的な英語力の演習を行います。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は、癖のない、しっかりとした英文の構造や語法の解説に時間を割き、英語の「読み」を徹底的に訓練します。後期になるまでに、一応の文法事項の復習を修了させてから後期の授業に臨む。とくに後期では、長文読解に力点を置き、日本語の和訳は、要約程度にとどめ、速読による大量の英文を読んでいく。また、適宜American accentを中心に、プリントなどを併用してシャドーイングも行い、英語のリズムやイントネーションの基礎を身につけることでリスニング力を向上させることを目指します。
準備学習 履修上の留意点	英語辞書（電子辞書を含む）の持参を義務付けます。 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な発言による授業参加を求めます。
成績評価の方法	授業中の積極的な口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書／テキスト	『World of Reading 3』 著者 Joan Baker-Gonzalez/Eileen K. Blau 出版社 ビアソン桐原定価（税込 2,730円） ISBN978-0-13-600214-7

外国語

履修コード	243001
科目名	英語 I B
担当者名	三芳 康義

講義の到達目標(ねらい)	TOEICやTOEFLのような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必修条件になっているため、とくにさまざまな分野の英文をたくさん読み、英語の語感を身につけ、実用的な英語力の向上を目指すこととなります。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は、癖のない、しっかりとした英文を精読しながら、語法や文法事項の説明を再確認し、英語の「読み」を徹底的に訓練します。後期には、一応の文法事項の復習を修了させたうえで速読による長文読解に力点を置き、日本語和訳は要約程度にとどめ、要点を的確につかむ練習を行う。同時に、会話文を中心にしたシャドーイングによるリスニングも行い、英語のリズムやイントネーションの基本を身につけることを目指します。
準備学習	普段から英字新聞や英文雑誌などを意識的に読むことを心掛けてください。同時に、音声言語としての英語に慣れるために、ラジオやテレビなどのメディアを通じて、たくさんの英語の音声を聴くように習慣づけることが大切です。
履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書（電子辞書を含む）は必ず持参し、授業中であっても常に引くことを習慣づけること。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書／テキスト	『World of Reading 3』 著者 Joan Baker-Gonzalez/Eileen K. Blau 出版社ビアソン桐原 定価（税込 2,730円） ISBN978-0-13-600214-7

履修コード	246001
科目名	英語 I B
担当者名	矢島 直子

講義の到達目標(ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
講義の内容／ 授業スケジュール	6、7回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1：導入、2～7：言語とアイデンティティー、8～14：森林伐採。後期：さらにテーマを2つ。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	中間・期末テスト（85%）、平常点（出席、授業態度等10%）、実力テスト2回*を受験すること（5%）。
教科書／テキスト その他の他	配付物およびオンライン資料 *実力テストの成績はこの科目の成績に反映されない。

履修コード	242501
科目名	英語 I B
担当者名	山口 晃 <small>ひまぐち あきら</small>

講義の到達目標(ねらい) 入学時の英語を基礎にして、より深いreadingへとすすんでいきます。

講義の内容／授業スケジュール 英文のテキストを毎回ていねいに検討していきます。

準備学習 プリントはあらかじめ配っておきますので、めいめいでもまず一回予習をしておいてください。これはとても大切なことです。授業の中で、ほかの人の発表に耳を澄まし、自分が予習した内容との違いを考えてください。

履修上の留意点 三分の二以上の出席が必要です。授業では必ず英和・和英の辞書を持ってきてください。遅刻しますと、発表に当たらなくなることがありますので、遅刻のないようにしてください。

成績評価の方法 出席、発表、レポートによる総合評価です。

教科書／テキスト プリントを配布します。

参考書 授業の中で、随時紹介します。

履修コード	240301・240501
科目名	英語 I B
担当者名	吉沢 栄治郎 <small>よしざわ えいじろう</small>

講義の到達目標(ねらい) 高度な読解力達成をめざします。

講義の内容／授業スケジュール 小説を読んでゆきます。原文を板書していきますので、それをノートに筆写し、併せて参考訳も板書しますので、それも筆写していただきます。状況を思い描きながら読み進めていって下さい。なお、一回の授業について、原文2ページくらいを日進に進めてゆきます。

履修上の留意点 英和辞典を大いに使用して下さい。

成績評価の方法 ペーパーテスト、出席状況、レポート提出などで総合評価します。

教科書／テキスト 未定

履修コード	242701
科目名	英語 I B
担当者名	依田 里花 <small>よだ りか</small>

講義の到達目標(ねらい) この講義では、英語の基礎力を定着させるために、語彙・文法・構文等に関して、より確実に力をつけることを目標にします。また、読解力と同時に音声も重視し、文字と音の両面から英文を理解する力をつけていきます。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：オリエンテーション
第2回～13回：テキストから適切なUnitを選び授業を進めていきます。1Unitを2回で終わめますので、半期に計6Unitを学習する予定です。1Unit終わるごとに小テストを行います。
第14回：定期試験

【夏休み】
第15回：前期定期試験の返却と後期に向けたオリエンテーション
第16回～27回：テキストから適切なUnitを選び授業を進めていきます。1Unitを2回で終わめますので、半期に計6Unitを学習する予定です。1Unit終わるごとに小テストを行います。(前期同様)
第28回：定期試験

準備学習 毎回、授業の準備となる課題があります。具体的には、教科書のExercise、補充プリントのQ & Aや和訳等です。課題は授業内で発表してもらいます。

履修上の留意点 ・予習を前提に授業を進めるので、必ず準備をして授業に臨んでください。
・原則として、全授業数の2/3以上出席のこと(遅刻3回で1欠席)

成績評価の方法 ・毎回、辞書持参(電子辞書可)
・授業への取り組み(平常点)
・課題と授業内での発表(平常点)
・小テスト(10点×10回)
・前期と後期の定期試験(100点×2)

教科書／テキスト 出席を前提に、上記を総合的に判断して評価します。
Hisakazu Tsukano他著, Exploring World Heritage on DVD (DVDでめぐる世界遺産) 成美堂, ¥2,300, ISBN978-4-7919-3118-7

参考書 授業時に適宜紹介します。

履修コード	243101
科目名	英語 I B
担当者名	依田 ^{よだ} 里花 ^{りか}

講義の到達目標(ねらい)

この授業では、原書講読を通してアメリカの文化や社会を垣間見ながら、英語の読解力を高めることを目標にします。前期は、語彙・文法・表現・構文などに注意しながら、じっくりと内容を理解することに時間をかけていきます。後期は、多読することを目的に読み進めていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：オリエンテーション
第2回～第13回：学生による発表と教員による解説
第14回：前期定期試験

【夏休み－課題】

第15回：前期定期試験返却と後期に向けたオリエンテーション
第16回～第27回：学生による発表と教員による解説
第28回：後期定期試験

準備学習

毎回、予習となる課題があります。復習には小テストを行います。丹念に辞書を引くこと。これが外国語習得の一番の近道です。こつこつ積み上げて力をつけていきましょう。

履修上の留意点

- ・ 毎回、辞書持参のこと。(電子辞書可)
- ・ 原則として、全授業数の2/3以上出席のこと。(遅刻3回で1欠席になります)
- ・ 授業に取り組む姿勢(平常点)
- ・ 授業内での課題の発表(平常点)
- ・ 夏の課題
- ・ 小テスト
- ・ 前期後期定期試験(100点×2)

成績評価の方法

出席を前提に、上記を総合的に判断して評価します。

教科書／テキスト

Louis Sachar 著、HOLES(書名)、YEARLING(出版社)、
ISBN 978-0-440-41480-3(原書ペーパーバック)

参 考 書

適宜、授業で紹介します。

外国語

履修コード	246921
科目名	英語 I B [基礎英語特別クラス]
担当者名	古富 ^{ことみ} 猛 ^{たけし}

講義の到達目標(ねらい)

国際人としての英語力を身につける為に、高度な英語の構文の理解と習得をはかるため、主に、物語をよむ。単語と文型を、増やしてもらいたい。

講義の内容／
授業スケジュール

ガイダンスを、1-4にて行う。5-15、各自、予習を必要とする。前期試験。16-30、前期と同様。後期試験。

履修上の留意点

日頃から新聞、テレビ等を通して世界の情報に興味をもち、教材の予習をはかる。

成績評価の方法

年2回の学期試験、予習の具合、出席状況にて評価。

教科書／テキスト

教場にて、指示する。

履修コード	348001
科目名	英語 I B [基礎英語特別クラス]
担当者名	<small>ささき たかし</small> 佐々木 隆

講義の到達目標(ねらい)	<p>毎回教科書とプリントを併用しながら基礎英語力の確認を行う。特に、writingとlisteningに焦点を当てる。writingの補助教材については高校英語の復習をしながら、さらになる運用能力を高める。listeningについては毎回必ず行い、簡単なdictationを行う。英語は日々の積み重ねが重要であると共に、継続的な学習が必須である。この授業を通して英語の基礎力を養い、さらなる英語への学習意欲を高めることを到達目標とする。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>(1) 講義のねらい、授業の進め方の確認、(2)～(14)前期についてはそれぞれ教科書と補助教材を毎回行う。(15)夏期休暇前に確認の試験等を行う。(16)～(28)前期を踏まえ、それぞれ教材を進める。(29)～(30)確認の試験等を実施する。</p> <p>教科書の進路を次の通り。 「1 送迎の場合」「2 空港で」「3 入国審査」「4 両替」「5 部屋の予約」「6 友人に会う」「7 バスに乗る」「8 自転車」「9 チケット」「10 ショッピング」「11 電化製品の購入」「12 歯医者への予約」で進める。</p> <p>毎回、listening and writingを進める。</p>
準備学習	<p>質疑応答があるので予習は欠かせないこと。</p>
履修上の留意点	<p>出席や授業中における活動状況も評価等に含まれる。</p>
成績評価の方法	<p>出席(3分の2以上を原則)と授業中の活動、試験の結果の総合評価とする。考え方としては、出席と授業中の活動を200点、試験の結果を200点とし、それを4で除したもの。欠席が全体の3分の1以上をはるかに越えた場合には、試験の結果がよくても全体の評価は60点未満となるので要注意。</p>
教科書／テキスト	<p>Active Communication. クリストファー・ブルスミス／久能木利武・千葉剛・深澤清 南雲堂 定価(本体1300円+税) ISBN4-523-17424-5</p>
その他	<p>英語辞典の携帯は必須。紙媒体辞書、電子辞書でもよい。携帯電話の辞書機能では不足するので、必ず英語辞典を用意すること。</p>
関連リンク	<p>http://www.ssk.econfn.com</p>

外国語

履修コード	246951
科目名	英語 I B [基礎英語特別クラス]
担当者名	<small>しらより よしひろ</small> 白鳥 義博

講義の到達目標(ねらい)	<p>大学卒業以降に役立つ英語力とは何か?このような問題意識を持って、主に実用的な単語力の増強を目指すクラスです。極端な話、文法がめちゃくちゃでも、単語を並べるだけで意思の疎通が図れる場合もあります。具体的にはTOEICテストを念頭に置いて、実社会での生活で役立つ単語の習熟を目標とします。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>(前期) 初回：ガイダンス 第2回～：毎回、テキストのChapterを1つ進めてゆく。 最終回：期末試験 (後期) 前期と同じ *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。</p>
履修上の留意点	<p>授業中の活動に積極的に参加すること。</p>
成績評価の方法	<p>出席状況、平常点、授業中に行うテストの成績などから総合的に評価する。</p>
教科書／テキスト	<p>初回に教場で指定する。</p>

履修コード	246931
科目名	英語 I B [基礎英語特別クラス]
担当者名	藤井 道行

講義の到達目標(ねらい)	コースの設定意図に即して、英語の基礎力が身につくように工夫されたテキストを用います。授業では、リスニング・リーディング・文法の基本を再確認するための親切な問題の数々に、あせらず、じっくり取り組みます。テキストのユニットは、易しいものから難しいものへ段階的に並んでいます。コンスタントに授業に出席していれば、加速するテキストの流れに気づかないうちにうまく乗ることができると思います。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：授業説明 第2～7回：Unit 1～6 第8～14回：Unit 7～12 第15回：前期・期末試験 第16～23回：Unit 13～18 第24～29回：Unit 19～24 第30回：後期・期末試験
履修上の留意点	出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。具体的な内容については、1回目の授業で説明します。
成績評価の方法	前期末試験 30% 後期末試験 30% 授業内活動（発表、小テスト等）40%
教科書／テキスト	“Forerunner to Power-Up English” 総合英語パワーアップ（入門編） JACETリスニング研究会 南雲堂 1,900円 ISBN978-4-523-17624-4 C0082

外国語

履修コード	246911
科目名	英語 I B [基礎英語特別クラス]
担当者名	三芳 康義

講義の到達目標(ねらい)	TOEICやTOEFLのような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必須条件になっているため、とくに基礎的な英文を読み、多読をすることで英語の語感を鋭敏にし、実用英語の演習を行います。
講義の内容／授業スケジュール	前期は英文の構造を文法的な観点から解説し、正確な読みを心掛け、じっくり読むことを主眼とします。さらに、基礎的な会話英文などもしっかり読み、語法・文法・発音などをじっくり身につけます。後期は徐々に多読に重点を置いて、英語の語感を培うことを目指します。
準備学習	英語辞書（電子辞書を含む）の持参を義務付けます。
履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書／テキスト	『Cultural Encounters-American Campus Life』著者 西原俊明他 出版社 Cengage Learning 定価 1995円 ISBN978-4-86312-184-3

履修コード	246941
科目名	英語 I B [基礎英語特別クラス]
担当者名	矢島 直子

講義の到達目標(ねらい)	辞書を引いて、英語を読むことと聞き取りができるようになることが目標です。大学の初級レベルになります。
講義の内容／授業スケジュール	講義内容は、英文を聞き取り、読んで、問題に答えてもらい、英文が記憶に残るようにしてもらいます。 前期：1回目－授業の説明、2～11回－Units 1～5、12～14回－Units 6～7、15回目－前期末試験。後期：16回目－前期末試験の解説とUnit 8、17～26回－Units 8～12、27～29回－Units 13～15、30回目－後期末試験。
履修上の留意点	どんどん当てますから、英語を理解して問題を解いてくること。復習もしてください。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則的に受験資格がなくなります。
成績評価の方法	平常点と出席状況、および前期末・後期末試験の結果などから総合的に評価します。
教科書／テキスト	西谷恒志、他編著、『日常英語の総合トレーニング』、音羽書房鶴見書店、1800円、ISBN 9784755303593

履修コード	293201・293202
科目名	英語 I B〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	岩井 洋美

講義の到達目標(ねらい)	英文を読みながら文法事項を確認し、単語力を伸ばします。また、簡単なリスニングの練習と正確な発音やリズムで正しく読む練習をし、英語の基礎力を身につけます。
講義の内容／ 授業スケジュール	読む内容はスポーツ選手やスポーツに関するものが中心となります。テキストのほか、プリントを配布してリスニングやリーディングの練習問題、課題を行います。毎回テキストを1課進み、数回(3～4課)ごとに復習テストやリーディングテストを行います。
履修上の留意点	基本的な文法力のある人、スポーツに全く関心のない人には勧めません。毎回当てていくので、当日行う課の単語を調べ練習問題をやっておくこと。遅刻、欠席は減点していき、3分の1以上欠席した人は単位を取得できません。就職活動を控えている学生は第1回の授業で報告すること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期・後期の学期末試験(40%)、出席態度(30%)、クラス内のテストや課題(30%) 英語教育研究会著、English Learning with Athletes、開文社、1800円+税、978-4-87571-737-9
参 考 書	なし

履修コード	293401・293402
科目名	英語 I B〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	江田 幸子

講義の到達目標(ねらい)	このクラスは一年時の再履修クラスなので、基礎的な英語の習得を基本において、英語の読解力、及び聴解力の向上を目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	内容： ①出来るだけ平易に書かれた、今日的な会話文の英語(文)を扱います。 読解のクラスですが、一年時で基礎的な英語(文法も含む)習得につまずいていることが予想されます。なので、読解に必要な、基礎文法事項を確認しながら授業を進めていくこととなります。 ②易しい会話文の聴解が出来るようになりたいので、発音も重視し、発音指導も必要に応じて取り入れていきます。 ③演習問題ー基礎的な英語が習得されたかどうかの確認のためーを各課の終わりに必ず行う。 スケジュール： 初回：オリエンテーション、次回授業のプリント配布(発音指導用) 2回以降：一課を二時間ずつ終わるように授業を進めていきます。 最終回：平常授業内試験
履修上の留意点	予習をしてくること。英語の辞書を持参すること。
成績評価の方法	①前、後期試験の筆記試験の結果 ②出席重視 ③その他、発表状況、クラスへの貢献度、真摯な学習態度など、総合的に評価します。
教科書／テキスト	English Quest :Basic KIRIHARA SHOTEN

履修コード	293601・293602
科目名	英語 I B〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	おおた みろこ 太田 美智子

講義の到達目標(ならい) 英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。基礎をかためよう。

講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 オリエンテーション
	第2回 Unit 1
	第3回 Unit 1
	第4回 Unit 2
	第5回 Unit 2
	第6回 Unit 3
	第7回 Unit 3
	第8回 Unit 4
	第9回 Unit 4
	第10回 Unit 5
	第11回 Unit 5
	第12回 Unit 6
	第13回 前期のまとめ
	第14回 前期末試験
	第15回 後期オリエンテーション
	第16回 Unit 7
	第17回 Unit 7
	第18回 Unit 8
	第19回 Unit 8
	第20回 Unit 9
	第21回 Unit 9
	第22回 Unit 10
	第23回 Unit 10
	第24回 Unit 11
	第25回 Unit 11
	第26回 Unit 12
	第27回 後期のまとめ
	第28回 後期末試験

履修上の留意点 必ず授業参加すること。椅子に坐しているだけではいけない。

欠席は全出席数の3分の1が限界だが、基本的には休まない姿勢で臨もう。

また、遅刻2回で欠席1回に相当。遅刻と認定されるのは始業より30分まで。

成績評価の方法 授業への参加度合、提出物の達成度、期末試験、小テストなどによる総合評価。
教科書/テキスト Hot Beat listening マクミラン・ランゲージハウス ISBN4-7773-6112-8 C3082

履修コード	294201・294202
科目名	英語 I B〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	かわさき えみか おおば なおき 川崎 笑佳・大庭 直樹

講義の到達目標(ならい) 一年次の読解能力を基礎として、speed readingの上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にはテキスト中心に行っていく予定であるが学生の希望や要望に応じてTOEIC、TOEFLその他の教材を利用する。

講義の内容／
授業スケジュール 第1回：ガイダンスおよびプリント使用の授業

第2～14回：UNIT 1～13

第15回：前期試験

第16回：プリント使用の授業

第17～29回：UNIT 14～27

第30回：後期試験

履修上の留意点 学生全員が予習していることを前提として授業を進める。事前の準備をしていない学生がいた場合、出席とはみなさないのでもそのつもりで授業に臨むこと。

成績評価の方法 3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、試験の結果をもとに総合的に評価する。

教科書/テキスト 若有保彦『Meet the World - English through Newspapers 2011/2012 メディアで学ぶ日本と世界』(成美堂) 1900円 ISBN 978-4-7919-3095-1

履修コード	294001・294002
科目名	英語 I B〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	^{たなか} 田中 ^{やすこ} 靖子

講義の到達目標(ねらい)	旅行編と留学編から構成される視聴覚教材を使いながら、日常英会話の表現を習得していく。さらに授業内でのアクティビティを通して、実際の場面での対応力を高めていくことを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) クラスオリエンテーション(2) 教科書 Introduction (3) 教科書 Unit 1 (4) 教科書 Unit 2 (5) 教科書 Unit 3 (6) 教科書 Unit 4 (7) 教科書 Unit 5 (8) 前期中間テスト (9) 教科書 Unit 6 (10) 教科書 Unit 7 (11) 教科書 Unit 8 (12) 教科書 Unit 9 (13)教科書 Unit 10 (14)前期のまとめ (15) 前期試験 (16)前期試験返却 後期クラスオリエンテーション (17) 教科書 Unit 11 (18) 教科書 Unit 12 (19) 教科書 Unit 13 (20)教科書 Unit 14 (21)教科書 Unit 15 (22)後期中間テスト (23)教科書 Unit 16 (24)教科書 Unit 17 (25)教科書 Unit 18 (26)教科書 Unit 19 (27) 教科書 Unit 20 (28) 副教材を使って (29)後期のまとめ (30)後期試験
履修上の留意点	毎時、理解度のチェックのために、課題を出して提出してもらおう。教科書はもちろんのこと、辞書を持参すること。
成績評価の方法	1 以下のような基準で総合的に評価する。 前期テスト 30% 後期テスト 35% 前期中間テスト 10% 後期中間テスト10% 授業への参加状況 (授業内課題、授業への貢献度) 15% 2 前後期ともに3分の2以上の出席を必要としている。それに満たない場合は定期試験を受ける資格を失う。遅刻は3回で1回分の欠席となる。 授業開始45分以上遅れた場合は、欠席扱いとなるので、注意すること。 欠席を補う提出物はないので、くれぐれも遅刻、欠席しないように注意すること。 3 公的な欠席と認められるには、証明書の提出が必要である。
教科書/テキスト	1 書名 Viva! San Francisco 2 出版社 マクミラン ランゲージハウス 2000円 3 ISBN 978-4895-8527-53

外国語

履修コード	294101・294102
科目名	英語 I B〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	^{ほんま} 本間 ^{としかず} 俊一

講義の到達目標(ねらい)	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。 学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する表現能力を養えるようにする。
講義の内容／ 授業スケジュール	4月 ガイダンス 4月中旬～7月 Text Lesson1～Lesson7 の学習 7月後半 前期授業内テスト 9～11月 Text Lesson11～Lesson17の学習 12月 後期授業内テスト
履修上の留意点	毎回、textの全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。 授業の出席は3分の2以上必要、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、授業外でもパソコン・ネットワークを利用して、提出可能であるからその方法を習熟されたい。
教科書/テキスト	Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3717-5
その他	PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。 USBフラッシュメモリを携帯すると便利です。

履修コード	293901・293902
科目名	英語 I B〔再クラス〕 英語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	あじま なおこ 矢島 直子

講義の到達目標(ねらい) 辞書を引いて授業で扱う英文を読めるようになること。また、英語の聞き取りにも慣れること。

講義の内容／授業スケジュール 講義内容は、英語の長文を聞き、読んで意味を取って、問題に答えてもらうもの。
前期：1回目－授業全体の説明。2～14回目－1～12章。15回目－前期末試験。後期：16回目－前期末試験の解説と13章。17回目～29回目－13～24章。30回目－後期末試験。

履修上の留意点 どんどん当てますから、英語を読んで意味を取れるようにしておくこと。また、練習問題にも答えられるようにしてきてください。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則的に受験資格がなくなります。

成績評価の方法 平常点と出席状況、および前期末・後期末の試験の結果などから総合的に評価します。

教科書／テキスト 関口智子、編著、『幅広いトピックを楽しむリーディングブック』、松柏社、1700円、ISBN 978-4-88198-642-4

履修コード	251201
科目名	英語 II A
担当者名	あした かずひと 足田 和人

講義の到達目標(ねらい) 日常的な英文を、的確に作文できるよう練習を行う。また文章を組み立てて、ある程度の長さの英文を構成できるよう発展させる。音声教材を用いてオーラル・コミュニケーションへの展開をする。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：授業に関してのイントロダクションを行う。第2回～14回：プリントのレッスン(1～5)に従って、英文と文法を理解し、適切な英作文へ発展させる。第15回：前期試験。第16～29回：プリントのレッスン(6～10)に従って、発展的な文法を学び、作文力を伸ばす。第30回：後期試験。

準備学習 プリントの新出単語、表現など、各自で調べておくこと。

履修上の留意点 3分の2以上出席が必須である。

成績評価の方法 前後期の最後の授業で試験を行う(60%)。出席、遅刻、授業中に行う作業、授業態度など、総合的に評価(40%)。

教科書／テキスト 毎回、プリントを配布する。

履修コード	248201
科目名	英語 II A
担当者名	あんざい かおる 安齋 薫

講義の到達目標(ねらい) Speaking, Writing等、総合的な英語能力の向上とともに、バランスの良い運用能力の取得を目指す。

講義の内容／授業スケジュール 第1回 Introduction
第2, 3 kabuki:The Vision
第4, 5 Hideki Matsui
第6, 7 The Beauty of Taiwan
第8, 9 Plant
第10, 11 Addressing Environmental Problems
第12, 13 Diet
第14, 15 まとめ・テスト
第16, 17 Natto
第18, 19 Shoyu
第20, 21 Shuji Nakamura:Blue LED
第22, 23 Toyota
第24, 25 Cheap Air Travel
第26, 27 Manga Culture
第28, 29, 30 まとめ・テスト

準備学習 予習復習の準備は必ずしてください。

履修上の留意点 3分の2以上の出席が原則的に必要です。

成績評価の方法 出席状況(上記)、前後期試験、レポートで評価する。

教科書／テキスト Dynamic Business and The Environment 南雲堂 ¥1900 (税別) ISBN978-4-523-17532-2c0082

履修コード	254401
科目名	英語ⅡA
担当者名	安齋 薫

講義の到達目標(ねらい)	Writing, Speaking等、英語運用能力の向上を目指すとともに、総合的に運用できるようにしたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 Introduction 第2, 3回 Kabuki: The Vision 第4, 5回 The Beauty of Taiwan 第6, 7回 Plant 第8, 9回 Addressing Environmental Problems 第10, 11 Diet 第12, 13 Natto 第14, 15 まとめ・テスト 第16, 17 Hideki Matsui 第18, 19 Manga Culture 第20, 21 Shoyu 第22, 23 Blue LED 第24, 25 Toyota 第26, 27 Cheap Air Travel 第28, 29, 30 まとめ・テスト
準備学習	予習を行っておくこと。
履修上の留意点	出席は3分の2以上が原則的に必要。
成績評価の方法	出席状況(上記)、前・後期の試験の結果、レポート等で評価する。
教科書／テキスト	Dynamic Business and The Environment 南雲堂 ￥1900(税別) ISBN978-4-523-17532-2c0082

外国語

履修コード	251301
科目名	英語ⅡA
担当者名	井伊 順彦

講義の到達目標(ねらい)	当該学科に即応した教科書を用いて、現代のイギリス・アメリカ社会の状況について学びながら、おもに英語を「書く」力と「聴く」力と「話す」力を伸ばすことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	毎回かなりの時間が、ネイティブスピーカーの音声を聴いて問題に答える(口頭もしくは筆記)ことに費やされる。ときおりビジュアル教材を視て、英米社会の様々な問題について具体的なイメージをつかむようにしたい。これは英語の聴き取り練習にもなる。 1回の授業での速度は、クラスの学力などの事情を考慮して柔軟に調整してゆく。 小テストについても、十分に予告したうえで、年間で適度な間隔を置いておこなう。
準備学習	教科書の付録を使い、自宅で学習することなどが考えられるが、詳しくは教室で指示する。
履修上の留意点	毎回おそらくクラス全体の半数ほどの学生が指名され、こちらからの質問になんらかのかたちで答えることになろう。積極的かつ真摯な勉学姿勢を強く求める。
成績評価の方法	①年間で数回おこなう予定の小テストの成績、②授業中の質疑応答の出来、③出世数などを柱とするが、詳しくは教室で説明する。
教科書／テキスト	『リスニングで学ぶ現代の社会事情』(杉森直樹ほか著、成美堂) (英名 Social Issues in a Contemporary World)
参考書	場合に応じて教室で指示する。

履修コード	349301
科目名	英語ⅡA
担当者名	いしはら こうさい 石原 孝哉

講義の到達目標(ならい)
講義の内容/
授業スケジュール

英語による意志伝達のための総合的な英語運用能力の向上を目指します。
教科書とDVDを併用して授業を進めていきます。前期は教科書のChapter 1-8を、DVDのFurther Reading、Chapter 1-5を学んでいきます。7月に夏休みの課題を告示し、中間試験を実施します。

準備学習

後期は、教科書Chapter 9-16を、DVDのFurther Reading、Chapter 6-10を学んでいきます。グループ発表のための、Hand out作成練習、Power Point操作練習、11月、追加レポート受付。1月に期末試験を実施します。

履修上の留意点

授業中に指名して回答してもらいますので必ず予習して出席してください。なお、付属のDVDはコンピューターによって操作し、さまざまに応用できるようになっています。基本的にはDVDからプリントアウトしたプリントを配布しますが、コンピューターの基本的な扱いを習得しておくこと一層効果的な学習が可能です。

成績評価の方法

出席を重視し、毎回指名しますので、予習して出席してください。ときどきレポートの課題を出しますので、連続欠席をしないこと。

教科書/テキスト

中間試験、後期試験の結果、グループ発表の成果、レポート、平常点、出席状況等を総合的に検討して評価します。

Horrible Histories England
南雲堂 2000円

外国語

履修コード	251101
科目名	英語ⅡA
担当者名	伊勢村 定雄 <small>いせむら さだお</small>

講義の到達目標(ねらい) 英文の音読、暗唱をとおして、年間で200～250の英語表現を身につけることと、英語の発音、発声が無理なく出来るようにする。

講義の内容／
授業スケジュール

1回 導入(全体の説明) 発音プリント配布
2回 発音の基礎的訓練+Unit 1 (「アメリカの大学生生活の問題」)のテキストの音読、訳読を平行して行なう。(以下同じ)
3回 2種類のダイアログの練習とテストの準備+テストの説明。ダイアログは2人、または3人で行なうので、他の生徒に迷惑のないように協力すること。
<以下のUnitでも同じ>
4回 第1回ダイアログテスト。
5回 Unit 2 (「大学生の一日にハイライト」をあててみる)。
6回
7回 ダイアログの模擬テスト。
8回 第2回ダイアログテスト。
9回 Unit 3 (「交通手段についての話し」)。
10回
11回 ダイアログの準備。
12回 第3回ダイアログテスト。
13回 Unit 4 (「運転免許取得」について)。
14回
15回 第4回ダイアログテスト。
16回 後期の導入 Unit 5 (「チップ」にまつわる問題)。後期も前期と同じパターンでやるが、一部自分達でダイアログの台詞を書いて演じることもある。
17回
18回 第5回ダイアログテスト。
19回 Unit 6 (「トイレとバスルーム」)。
20回
21回 第6回ダイアログテスト。
22回 Unit 7 (「アメリカの家」について)。
23回
24回 第7回ダイアログテスト。
25回 Unit 8 (「シニア・プロム」のこと)。
26回
27回 第8回ダイアログテスト。
28回 Unit 9 (「ファッション」はどうか)。
29回
30回 第9回ダイアログテスト。

準備学習
履修上の留意点 英文は全てにわたって読めて、かつ発音できるようにしておく。
予習を前提として授業を進める。教科書、辞書(電子辞書でも可)を必ず持参のこと。欠席が授業全体の1/3を超えたら単位は認めない。

成績評価の方法 [ダイアログのテスト80%、授業参加態度10%、出席状態10%]という割合でです。
但し、出席状態が5回未満のみ10%を認めるものとする。

教科書／テキスト Some Common Knowledge of American Life 『アメリカ生活の常識と疑問』
Sadao Isemura & Dennis R. Kogge 著
(¥1500) 初回に買っていただきます。

履修コード	250121
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>いわい ひろみ</small> 岩井 洋美

講義の到達目標(ねらい)	DVDを通して様々な国の文化歴史の理解を深め、各国の人が話す英語も聞きながら語彙表現を増やし、自分自身や自分の意見を口述記述できるようにする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：イントロダクション、第2回～15回(前期)：インド、フィリピン、タイ、ベトナム、韓国、フランス、イタリア、デンマーク、第16回～30回(後期)：ポルトガル、トルコ、エジプト、南アフリカ、ブラジル、ペルー、グアテマラ
履修上の留意点	数回ごとにクラス内で復習テストと発表、学期末には定期試験を行う。 当日行方ところのDVDを見る、単語を調べるなど予習しておくこと。遅刻欠席は減点していき、3分の1以上欠席した場合は単位を取得できません。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期・後期試験(40%)、出席態度(20%)、クラス内の復習テストや発表(40%) Scott Berlin, World Adventures, 金星堂, 2415円(税込), 978-4-7647-3907-9

履修コード	253001
科目名	英語ⅡA
担当者名	<small>いわなが よしえ</small> 岩永 祥恵

講義の到達目標(ねらい)	英語の総合的な習得には聞く、話す、読む、書くの4つが必須であるが、ここでの授業は主に読解力を養いつつ、読んだ内容についてディスカッションを行い、自分の考えを表現できる能力の涵養を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1週：授業の概要説明 第2週～第3週：Venus and Adonis 第4週～第5週：Apollo and Hyacinthus 第6週～第7週：討論とその準備 第8週～第9週：Clytie and Apollo 第10週～第11週：Callisto 第12週～第13週：討論とその準備 第14週：Diana and Actaeon 第15週：前期試験 第16週～第17週：Philemon and Baucis 第18週～第19週：Apollo and Daphne 第20週～第21週：討論とその準備 第22週～第23週：The Sphinx 第24週～第25週：Medusa 第26週～第27週：討論とその準備 第28週～第29週：Perseus and Andromeda 第30週：後期試験
準備学習 履修上の留意点	予習を行うこと。 英文を正確に理解するためには文法の勉強も不可欠です。最低限の説明は授業で行ないませんが、自分でも、もう一度勉強しておいて下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト	成績は前、後期1度ずつの試験の結果と、平常点(出席数や授業態度、討論参加度)を総合して評価します。なお、出席回数は全授業回数の3分の2以上の出席を必要とします。 The Glory that was Greece 山田耕士編注、成美堂、1984年

履修コード	252501
科目名	英語ⅡA
担当者名	梅原 敏弘 <small>うめはら としのひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 英語で自己表現をするための基礎力を身につけることを目標とします。基本文法の知識、語法の知識の獲得に重点をおきます。

講義の内容／授業スケジュール [授業の内容]
日本人が間違いやすい、文法上の問題、語法を扱った教科書を順を追って勉強していきます。またときに音声ファイル付きハンドアウトを配布し、音声面での強化も図ります。

[授業スケジュール]
前期：第1週 オリエンテーション： 第2週～14週 教科書前半部分の解説と演習
第15週 前期試験
後期：第16週 前期試験の結果発表： 第17週～第28週 教科書後半部分の解説と演習：第29週 後期試験：第30週 後期試験の結果発表
辞書をこまめにひいて、予習をしっかりしてこること。
前期・後期の試験を中心に、授業内小試験、予習のし具合、出席状況等を総合的に検討して評価します。

履修上の留意点
成績評価の方法

教科書／テキスト 市川泰弘 著 「Get It Write」 桐原書店 1800円+税
ISBN4-342-54780-5 C1082

履修コード	248401
科目名	英語ⅡA
担当者名	江田 幸子 <small>えだ さちこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 英語運用能力、および聴解力の向上を目指します。

講義の内容／授業スケジュール ①日本語とは違う英語の言語システム＝文法事項や構文を理解する
②①を前提として、英語独自の表現法に馴染む
③最終的に語彙の習得が、聴解、運用には欠かせないので、語彙を覚える。
④①②③の習熟を確認するための演習問題を行う。
⑤音声 (dictation/listening)を適宜取り入れる

履修上の留意点
成績評価の方法 毎回I章を進めたい。しかし、各課(ユニット)の難易度に応じて差異がある。何よりも大切なのは学習者の理解度に即して授業展開することである。したがって、よりよく習得されていないと思われる項目を重点的/優先して取り上げたい。
予習をしてこること。辞書をもってこること。
前後期の定期試験、授業への参加度、課題提出などからの総合評価である。肝要なのは、授業中の真摯な姿勢である。
現時点では未定。

教科書／テキスト

履修コード	250011
科目名	英語ⅡA
担当者名	太田 ^{おおた} 美智子 ^{みちこ}

講義の到達目標(ねらい) IAを基礎として、より高度な英語運用能力習得を目指す。
多くのフレーズを覚え、応用できるようにする。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回 オリエンテーション
第2回 第1章
第3回 第1章
第4回 第2章
第5回 第3章
第6回 第3章
第7回 第4章
第8回 第4章
第9回 第5章
第10回 第5章
第11回 第6章
第12回 第6章
第13回 前期のまとめ
第14回 前期末試験
第15回 後期オリエンテーション
第16回 第7章
第17回 第7章
第18回 第8章
第19回 第8章
第20回 第9章
第21回 第10章
第22回 第11章
第23回 第11章
第24回 第12章
第25回 第12章
第26回 第13章
第27回 後期のまとめ
第28回 後期末試験

準備学習 辞書をひき、丁寧に予習しよう。

履修上の留意点 授業に参加することが肝要です。椅子に座っているだけではいけません。

成績評価の方法 授業への参加度合、提出物の有無やその到達度合、また小テスト、期末テスト等の総合評価

教科書／テキスト Hit Song listening 成美堂出版 ISBN4-4556-5 C1082
およびプリント

履修コード	252601
科目名	英語ⅡA
担当者名	太田 <small>おおた ゆきこ</small> 由紀子

講義の到達目標(ねらい) 正確で自然な英文を書いたり話したりするのに欠かせないこと。その一つは確かな文法理解と語彙力である。しかし、それと同時に言葉を文字としてだけでなく音として把握する必要がある。音として記憶された英語は再現が可能だからだ。映画に関する英文エッセイには音声テープが付属しているので上手に活用したい。また言葉は特定の状況と関連づけられた時、記憶にしっかりと定着する。よって現実を模した映画という媒体のメリットを最大限に活かしたい。文法的理解を基礎としながら音として言葉を覚え、状況に応じた会話を学んでいくことで、最終的にはディスカッションが可能となるまでの力を養う。

講義の内容／授業スケジュール テキストには20編の映画に関する英文エッセイが掲載されているが、授業では20編全てを同等に扱うわけではない。映画によって費やす授業時間が異なるが、詳細については授業時に指示したい。上映は基本的に映画の一部とする。字幕については日本語字幕と英語字幕を適宜切り替えてみたい。そこに展開する台詞および映画に関する英文エッセイの一部を再現してみる。それと共に映画の内容に関してディスカッションを行う。

準備学習 映画に関する英文エッセイを予め読み、あわせて掲載されている簡単な練習問題を行っておく。ところでテキストには映画とそこに登場する英詩との関係を記した和文エッセイも掲載されている。これは英文エッセイの内容把握に有用なばかりか、映画への理解を深めるのに役立つ。活用を是非お勧めする。

履修上の留意点 毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。
成績評価の方法 授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。
教科書／テキスト 松浦暢ほか『The Poetry of Film (『英詩で味わう映画』) 金星堂 1900円(税別) ISBN: 4-7647-0977-5

参 考 書 安井稔『英文法総覧』(開拓社) 江川泰一郎『英文法解説』(金子書房)

履修コード	248501
科目名	英語ⅡA
担当者名	大淵 <small>おおぶち としはる</small> 利春

講義の到達目標(ねらい) 英語ⅠAをふまえ、さらなる英語ライティング力の向上を目指す。
講義の内容／授業スケジュール 授業の最初に15分程度リスニングをウォーミングアップとして行い、その後テキストに取り組む。テキストはおよそ2時間で1章のスピードで進む予定。なるべく多くの英作文を行いたい。具体的な年間スケジュールは以下の通り。()内の数字は授業回数を示す。

前期
Course Introduction (1)、Unit1(2,3)、Unit2(4,5)、Unit3(6,7)、Unit4(8,9)、Unit5(10,11)、Unit6(12,13)、Test/Review(14,15)

後期
Introduction(16)、Unit7(17,18)、Unit8(19,20)、Unit9(21,22)、Unit10(23,24)、Unit11(25,26)、Unit12(27,28)、Test/Review(29,30)

準備学習 テキストの予習をしてくること。

履修上の留意点 英和辞書を持参すること。

成績評価の方法 前、後期試験の結果(7割)、課題、出席率、授業参加度等の平常点(3割)。

教科書／テキスト Yuri Komuro, Braven Smillie著、『Write Better with Patterns』金星堂、1900円 ISBN978-4-7647-3917-8

履修コード	249901
科目名	英語ⅡA
担当者名	大淵 <small>おおぶち としはる</small> 利春

講義の到達目標(ねらい) 英作文力の強化、向上を目標とする。
講義の内容／授業スケジュール 毎回授業のはじめに簡単なリスニングを行い、その後テキストの問題に取り組む。テキストはおおよそ3時間で1課のペースで進める予定。つまり、前期にはLesson1からLesson5まで、後期にはLesson6からLesson11までを扱う。なお、前後期それぞれ最終時間(15回目、30回目)に試験を行う。

準備学習 授業の予習が必要。

履修上の留意点 英語の辞書を持参すること。

成績評価の方法 前期・後期の試験の結果をベースとしながら、出席状況、受講態度、その他の平常点を加えて総合的に評価します。

教科書／テキスト Yumiko Ishitani著、『Point by Point トピック別エッセイの書き方』南雲堂 2000円 ISBN978-4-523-17652-7

履修コード	253801
科目名	英語ⅡA
担当者名	おねぶち としはる 大瀬 利春

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

英作文能力の向上を目指す。
スケジュール 授業の最初に15分程度リスニングをウォーミングアップとして行い、その後テキストに取り組む。テキストはおよそ2時間で1章のスピードで進む予定。なるべく多くの英作文を行いたい。

具体的な年間スケジュールは以下の通り。()内の数字は授業回数を示す。

前期

Course Introduction (1), Unit1(2,3), Unit2(4,5), Unit3(6,7), Unit4(8,9), Unit5(10,11), Unit6(12,13), Test/Review(14,15)

後期

Introduction(16), Unit7(17,18), Unit8(19,20), Unit9(21,22), Unit10(23,24), Unit11(25,26), Unit12(27,28), Test/Review(29,30)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

授業参加には予習が必要。

出席、遅刻は厳密にとります。出席に励んでください。英和辞書を持参すること。

前、後期試験の結果(7割)、課題、出席率、授業参加度等の平常点(3割)。

Yuri Komuro, Braven Smillie著、『Write Better with Patterns』金星堂、1900円

ISBN978-4-7647-3917-8

履修コード	248701
科目名	英語ⅡA
担当者名	おきの かずしげ 荻野 一成

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

英語IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につけることを到達目標とする。
特に作文能力の向上を図る。テキストに従い以下のトピックについてパラグラフライティングの基礎を定着させ、エッセイライティングに発展させる。

(1) イントロダクション、コンピュータ社会

(2) コンピュータ社会その2

(3)～(4) 森林破壊

(5)～(6) バイオテクノロジー

(7)～(8) 英語と国際化

(9)～(10) 地球温暖化

(11)～(12) いじめ

(13)～(14) 高齢化社会

(15) 前期試験

(16) 前期試験答案返却、人種差別

(17) 人種差別その2

(18)～(19) 年功序列

(20)～(21) 安楽死

(22)～(23) 大学教育

(24)～(25) フリーター

(26)～(27) 携帯電話

(28)～(29) まとめ

(30) 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

辞書は必携。予習は必須。

前期後期試験及び小テスト(70パーセント)、出席点(30パーセント)による総合評価。

Point by Point (南雲堂)

履修コード	249601
科目名	英語ⅡA
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の意味がわかるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英検等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は一章から七章を中心に、後期は八章から十五章を中心に学習していく。また、テーマの2、「講義の内容」：講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は慣用表現の英文を読む。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある）。

年間の授業計画は次の通りである。

第一回	オリエンテーション	
第二回	『イディオム』の一課、	『アカブルコ』の一課
第三回	『イディオム』の二課	『アカブルコ』の一課

※ 以上のように、『イディオム』は、毎回一課ずつ進め、『アカブルコ』は、二回で、一課ずつ進める。

第十回	『イディオム』の九課	『アカブルコ』の五課
第十五回	前期試験	
↓		
第二十回	『イディオム』の十七課	『アカブルコ』の九課
↓		
第二十五回	『イディオム』の二十二課	『アカブルコ』の十一課
↓		
第二十七回	『イディオム』の二四課、	映画台本に関するプリント教材
第二十八回	映画台本に関するプリント教材	
第二十九回	映画台本に関するプリント教材	
第三十回	後期試験	

※ 上記の『イディオム』は『イディオム書き取り練習帳』、『アカブルコ』は、『アカブルコ・パケージョン』を指す。

準備学習

ほぼ毎回、クラスの初めに、まず前もって、その日の課の小テストを行うので、必ず、予習をしておくこと。

履修上の留意点

授業は、学生の予習を前提にして、徹底した演習形式（学生参加形式）を取るなので、学生の積極的な参加を求める。なお、ヒヤリング及び発音練習は毎回行う。

成績評価の方法

「前期試験」、20%、「後期試験」、20%、「授業中の評価（課題・授業中の発表・小テスト等を含む）」、60%。出席率は、平常授業（前・後期試験を除く）、の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書／テキスト

- 1) 『イディオム書き取り練習帳』 鶴見書店 800円
- 2) 『アカブルコ・パケージョン』 ISBN978-4-523-17616-9 C0082 南雲堂 1,800円
- 3) プリント

履修コード	349201
科目名	英語ⅡA
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英検等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容／
授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はリスニングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

第一回 オリエンテーション
第二回 『決まり文句』 第一課 『会話作文』 第一課
第三回 『決まり文句』 第二課 『会話作文』 第二課

※ 以上のように、『決まり文句』と『会話作文』は、クラスで、一課ずつ進める予定であるが、『会話作文』の分量が多いので、同じ課を次週に持ち越す場合もある。

第五回 『決まり文句』 第四課 『会話作文』 第三課
↓
第十回 『決まり文句』 第九課 『会話作文』 第六課
↓
第十四回 『決まり文句』 第十三課 『会話作文』 第十課
第十五回 前期試験
第十六回 『決まり文句』 第十四課 『会話作文』 第十一課
↓
第二十回 『決まり文句』 第十八課 『会話作文』 第十四課
↓
第二十六回 『決まり文句』 第二十四課 『会話作文』 第十七課
第二十七回 『会話作文』 第十八課
第二十八回 『会話作文』 第十九課
第二十九回 『会話作文』 第二十課
第三十回 後期試験

※ 『決まり文句』は『決まり文句書き取り練習帳』、『会話作文』は『さあ始めよう会話作文』を指す。なお、ヒアリング及び発音練習は毎回行う。

準備学習

ほぼ毎回、クラスの初めに、まず前もって、その日の課の小テストを行うので、必ず、予習をしておくこと。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は、一回の量は少ないが、ほぼ毎日提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書／テキスト

- 1) 『決まり文句書き取り練習帳』 鶴見書店 800円
- 2) 『さあ始めよう 会話作文』 ISBN4-255-1539-9 C1082 朝日出版社
1,700円
- 3) プリント

履修コード	248921
科目名	英語ⅡA
担当者名	落合 真裕

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

英語ⅠAで培った英語力を基礎として、ライティングによる内容伝達力の向上を目指します。
1 Unitを1~2回の授業で進めていきます。
【前期】日本語を英訳するときに、和製英語にならないよう注意したい重要事項を確認し、英語らしい構文、表現を身につけていきます。
第1回：ガイダンス
第2回～第14回：第1部 英文を書くときに注意すべき重要事項 (Unit 1 「名詞表現」を用いて表現する～Unit 10 「省略」)
第15回：前期試験

履修上の留意点

【後期】例題を通してパラグラフの構成要素、アウトライン、展開方法を学び、目的に従ってある程度まとまった英文が書けるよう練習していきます。
第1回～第14回：第2部 パラグラフの書き方 (Unit 11 パラグラフライティングの基礎Ⅰ～Unit 18 意見・理山)、第3部 (各種書式の書き方)
第15回：後期試験
・ 予習を前提に授業を進めていきますので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。
・ 辞書を必ず持参してください。
・ 授業の2/3以上の出席が必要です。
・ 遅刻3回で1回の欠席と計算します。

成績評価の方法
教科書/テキスト

前期・後期試験、出席状況、課題、授業中の発表などから総合的に評価します。
山村三郎 他著、『Writing in English from Basics to Paragraphs』、成美堂 ¥1,600
ISBN978-4-7919-5037-9

履修コード	250001
科目名	英語ⅡA
担当者名	小布施 圭佐三

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

この講義のねらいは、パラグラフライティングのスキルを伸ばすことにあります。最終的には、自由英作文(700語程度)を年に4回提出してもらいます。
1.ガイダンス(授業を展開する上で) 2.品詞・文型(1) 3.品詞・文型(2) 4.句・節・文 5.名詞(1) 6.名詞(2) 7.代名詞 8.冠詞(1) 9.冠詞(2) 10.小テスト 11.形容詞(1) 12.形容詞(2) 13.副詞(1) 14.副詞(2) 15.中間テスト 16.比較(1) 17.比較(2) 18.動詞(1) 19.動詞(2) 20.動詞(3) 21.時制(1) 22.時制(2) 23.態 24.動名詞 25.小テスト 26.不定詞 27.分詞 28.接続詞 29.前置詞 30.期末テスト

履修上の留意点
成績評価の方法

進度は各課90分で消化。授業は演習形式で行います。英語の辞書持参のこと。
出席(30点)/レポート・授業貢献度(20点)/小テスト・中・期末テスト(50点)/などを加味して総合評価します。

教科書/テキスト

編著者：小中秀彦/Basic Grammar for College Students(大学生のための基礎英文法)(成美堂) 1,700円 ISBN4-7919-4909-9 C1082

履修コード	248801・254461
科目名	英語ⅡA
担当者名	甲斐 捷子

講義の到達目標(ねらい)

この授業では、サンフランシスコの街で生活する、様々な職種の人々とのインタビューを通して、これまでに身につけた英語の運用能力を、さらに高めることを目的としています。会話の臨場感を楽しみながら、その内容を正確に聞き取り、読み、話せるように学びます。多岐にわたるインタビューの内容を英語で学ぶことは、一般教養科目を英語で学ぶのと同等の効果があります。授業内容を確実に消化し得た場合、英米語圏で生活し、学ぶための十分な下地が築けるでしょう。

講義の内容／
授業スケジュール

1回目:Chapter1 2回目:Chapter1 3回目:Chapter2 4回目:Chapter2 5回目:Chapter3 6回目:Chapter3 7回目:Chapter4 8回目:Chapter4 9回目:Chapter5 10回目:Chapter5 11回目:Chapter6 12回目:Chapter6 13回目:Chapter7-8 14回目:Chapter8-9 15回目:Chapter9-10 16回目:Chapter11 17回目:Chapter11 18回目:Chapter12 19回目:Chapter12 20回目:Chapter13 21回目:Chapter13 22回目:Chapter14 23回目:Chapter14 24回目:Chapter15
25回目:Chapter15 26回目:Chapter16 27回目:Chapter16-17 28回目:Chapter17-18 29回目:Chapter18-19 30回目:Chapter20

準備学習

予習は特に必要ありませんが、ハンドアウトが配布されますから、しっかり復習なさることをお勧めします。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

授業、試験は、毎回の出席を前提として行います。大学が認める理由以外の欠席をしないことです。小テスト:30% 中・定期試験:各30% 平常評価としての出席:10% とします。

1) Timothy Kiggell著 2) Viva! San Francisco 3) マクミラン・ランゲージハウス 4) 2,000円 5) 978-4-89585-275-3

参考書

特になし。

外国語

履修コード	253201
科目名	英語ⅡA
担当者名	風間 則比古

講義の到達目標(ねらい)

英語の総合的な習得には聞く、話す、読む、書くの4つが必須であるが、ここでの授業は主に読解力を中心に行ない、練習問題で総合的な学習ができるようにした。

講義の内容／
授業スケジュール

第1週:授業の概要説明
第2週~第3週:Reminiscences of Childhood Readings
第4週~第5週:Metabolism: The Key to Energy
第6週~第7週:Vegetables from the Sea
第8週~第9週:Weight and Health
第10週~第11週:Frozen Foods
第12週~第13週:Milk: Nature's Miracle Food
第14週:Food Additives
第15週:前期試験
第16週~第17週:Bacteria: Friend or Fiend?
第18週~第19週:Stress and Aromatherapy
第20週~第21週:Fears of Aging
第22週~第23週:Big Bang
第24週~第25週:The Backbone of the Japanese Economy
第26週~第27週:Better Rice and Blue Flowers: Genetic Engineering
第28週~第29週:Local Beer
第30週:後期試験

履修上の留意点

英文を正確に理解するためには文法の勉強も不可欠です。最低限の説明は授業で行ないませんが、自分でも、もう一度勉強しておいて下さい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

成績は前、後期1度ずつの試験の結果と、平常点(出席数や授業態度など)を総合して評価します。千葉 剛、'Prosperous Life' (『豊かな生活』)、南雲堂

履修コード	251401
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	<small>こいすみ かずひろ</small> 小泉 和弘

講義の到達目標(ねらい) IAを基礎としてさらに高度な英語運用能力の向上を目的とします。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。
 講義の内容／授業スケジュール 具体的には、テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習した後で、エッセイライティングをおこなってもらいます。また、口語表現の学習のため、TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。
 準備学習 (1～15週) Unit1～6 (16～30週) Unit7～12
 履修上の留意点 毎時間必ず辞書を持ってくること。
 常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。
 出欠は必ず取る。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。
 英訳・和訳の際にWeb上の翻訳機能を使うことを禁止しないが、あくまでも不完全なものであることを理解した上で参考程度にとどめること。Web翻訳丸写しのレポートは一切評価しない。
 成績評価の方法 出席点、発表点50%、授業中のレポート50%の割合で評価する。
 教科書／テキスト Life and Health 『生活と健康』鳳書房 1,800円

履修コード	249701
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	<small>ことみ たけし</small> 古富 猛

講義の到達目標(ねらい) 物語を、読むことにより、単語と文型を、増やし、会話のちからを、つけるのが、目的である。
 講義の内容／授業スケジュール 1-5. ガイダンス。6-15. 各自、予習をしてください。前期試験。16-30. 前期と同じ。後期試験。
 履修上の留意点 We will use YeStudy in this class. You must have a computer login ID. If you have any trouble, contact the teacher for help.
 成績評価の方法 前期と後期の試験と、平常点で、評価する。
 教科書／テキスト 教場にて指示。
 関連リンク <https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	250501
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	<small>ことみ たけし</small> 古富 猛

講義の到達目標(ねらい) 正確な英文読解力を養うと同時に、自分の意見を英語で表現できるようにする。その方法として、物語を読み、単語と文型を、増やすことを目的とする。
 講義の内容／授業スケジュール 1-5. ガイダンス。6-15. 予習をしてください。各自、指名する。前期試験。16-30. 前期同様。後期試験。
 成績評価の方法 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価する。
 教科書／テキスト クラスにて、指示。

履修コード	252701
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	<small>ことみ たけし</small> 古富 猛

講義の到達目標(ねらい) 物語を読むことで、単語と文型を、増やし、会話の力をつけるのを、目的とする。
 講義の内容／授業スケジュール 1-5. ガイダンス。6-15. 各自予習を、してください。前期試験。16-30. 前期とおなじ。後期試験。
 履修上の留意点 必ず予習をして授業に出席すること。辞書を持ってくること。
 成績評価の方法 前期と後期試験、ならびに、平常点で評価する。
 教科書／テキスト 開講時に指示する。

履修コード	250201
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	近藤 真彰

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

正確な英文読解力を養うと同時に、自分の意見を英語で表現できるようにする。
【前期】第1週：ガイダンス 第2～13週：教科書にしたがって様々な社会問題を扱った英文を正確に読解し、それについての意見をセンテンスで述べる訓練をする。第14,15週：復習
【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：前期に続き教科書を読み進めながら、パラグラフでの意見の英作を行う。第14,15週：復習

成績評価の方法
教科書/テキスト

前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価する。
Gillian Flaherty 『賛否両論・英語で表現する社会問題・For and Against: Expressing opinions and exchanging ideas』成美堂 2200円+税
ISBN978-4-7919-4621-1

履修コード	249101
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	佐藤 江里子

講義の到達目標(ねらい)

IAを基礎とし、より高度な英語(Writing/Speaking)の運用能力を身につける。
テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。

講義の内容/
授業スケジュール

その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
(1)オリエンテーション・実力テスト、(2～7)『風と共に去りぬ』Unit1-4、
(8～13)『若草物語』Unit5-8、(14)総括、(15)前期テスト
(16)自由英作文・実力テスト、(17～22)『オズの魔法使い』Unit9-12、
(23～28)『アラバマ物語』Unit13-16、(29)総括、(30)後期テスト

準備学習

必ず予習をする。

履修上の留意点

わからない単語は辞書で調べておく。
必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。
授業に関係ないこと(私語や他の教科をやる、携帯を使う、寝などの行為)をした場合は欠席扱いとする。

成績評価の方法

授業中の携帯電話の使用は、一切認めない(辞書機能使用も不可)。
出席日数が全授業日数の3分の2以上に達している場合のみ、評価の対象となる。
年2回(前期後期)の定期試験(50%)と小テスト、提出物、課題、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。
定期試験には基準点があり、年2回の定期試験の平均が基準点を越えなければ、評価できない場合がある。

教科書/テキスト

授業態度を重視する。
履修上の留意点をきちんと守れない場合は、大幅な減点となる。
『American Spirits in Movies』(成美堂)2,400円(税別)

外国語

履修コード	254201
科目名	英語ⅡA
担当者名	佐藤 ^{さとう} 江里子 ^{えりこ}

講義の到達目標(ねらい)	IAを基礎とし、より高度な英語(Writing/Speaking)の運用能力を身につける。 テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。
講義の内容/ 授業スケジュール	その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。 (1)オリエンテーション・実力テスト、(2~7)『サイダーハウス・ルール』『グッド・ウィル・ハンティング』『17歳のカルテ』、(8~13)『エリン・プロコピッチ』『ミュージック・オブ・ハート』『ザ・ピーチ』、(14)総括、(15)前期テスト (16)自由英作文・実力テスト、(17~22)『セブン・イヤーズ・イン・チベット』『電話で抱きしめて』『マルコヴィッチの穴』、(23~28)『恋におちたシェイクスピア』『ボーイズ・ドント・クライ』『ショウシャンクの空に』、(29)総括、(30)後期テスト
準備学習	必ず予習をする。
履修上の留意点	わからない単語は辞書で調べておく。 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。 授業に関係ないこと(私語や他の教科をする、携帯を使う、寝るなどの行為)をした場合は欠席扱いとする。
成績評価の方法	授業中の携帯電話の使用は、一切認めない(辞書機能使用も不可)。 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達してる場合のみ、評価の対象となる。 年2回(前期後期)の定期試験(50%)と小テスト、提出物、課題、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。 定期試験には基準点があり、年2回の定期試験の平均が基準点を越えなければ、評価できない場合がある。 授業態度を重視する。
教科書/テキスト	履修上の留意点をきちんと守れない場合は、大幅な減点となる。 『感動のスクリーン・イングリッシュ』(南雲堂)1,800円+税

外国語

履修コード	251801
科目名	英語ⅡA
担当者名	佐藤 ^{さとう} 孝一 ^{こういち}

講義の到達目標(ねらい)	授業では、基本的に単語の正確な発音やリズムに注意しながら英文を正しく読む練習と、パラグラフに注目して読みながら、大まかな内容を把握をする習慣を養い、かつ理解力をつけていきます。
講義の内容/ 授業スケジュール	現在の社会・生活環境に関する最新の話題を学んでいきます。大学生に身近な話題を題材にしてあるので、興味や関心を持つことができます。全体で15章あります。基本的には1時間で1章を消化していきます。教科書が終了したら、二冊目の教科書を選定し、指示します。
履修上の留意点	事前に発表者を決め、予習をする時間を与えます。発表した者には発表点がつきます。授業には辞書を必ず持参すること。テキストを忘れた場合には借りてその日にやる章をコピーして出席するように。
成績評価の方法	前期・後期の学期末試験(6割)、発表(2割)、小テスト(2割)で総合的に評価します。欠席と遅刻は減点制にします。但し、授業は全体回数 ^の 3分の2以上出ない場合は評価の対象になりません。
教科書/テキスト	「Quality of Life - Making Smart, Healthy Choices」 南雲堂
参考書	なし

履修コード	349411
科目名	英語ⅡA
担当者名	芝田 興太郎

講義の到達目標(ねらい) 様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら、基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく。

講義の内容／
授業スケジュール a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに単元
b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表

- 1 場所について語る・・・第一回～四回
- 2 時間について語る・・・第五回～八回
- 3 現在・過去・未来・・・第九回～十二回
- 4 他人と自分の行動について述べる・・・第十三回～十五回
- 5 動詞を使って名詞を説明する・・・第十六回～十九回
- 6 「たら・れば」の話・・・第二十回～二十三回
- 7 ～と思う、考える・・・第二十四回～二十七回
- 8 間違えやすい基本表現・・・第二十八回～三十回

履修上の留意点 予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること。

成績評価の方法 エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価。

教科書／テキスト 鈴木卓著 Useful Hints and Examples on Basic English Writing
松柏社 1900円 ISBN978-4-88198-648-6

参考文献 必要に応じて指示する

履修コード	252201
科目名	英語ⅡA
担当者名	清水 雅夫

講義の到達目標(ねらい) 日本人が犯しやすい文法上、語法上の間違いを訂正するという作業を通して、英語における表現力の向上を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール 全20課をすべて学習する。5課ごとにテストを行う。授業では練習問題の答を尋ねる。練習問題の一部は宿題にする。

履修上の留意点 予習を欠かさないこと。教科書を忘れたときはコピーを準備すること。

成績評価の方法 評価は、テストおよび宿題80%、出席点20%、平常点±20%の割合で行う。授業実施時数の3分の2以上出席することが合格の最低条件である。

教科書／テキスト 木塚、ノースリッジ著『英作文の盲点200』第6版(マクミラン・ランゲージハウス) 1800円
ISBN978-4-7773-6359-9

履修コード	249501・251601
科目名	英語ⅡA
担当者名	進藤 桃子

講義の到達目標(ねらい) IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。
文章表現では起承転結のある文を、会話では自分の意思を英語できちんと伝えられるように努力する。

講義の内容／
授業スケジュール 前期 unit1～8
後期 unit9～15

準備学習 必ず辞書を持参すること。
予習復習をよくすること。

履修上の留意点 出欠を重視します。

成績評価の方法 演習形式の授業なので、積極的に参加すること。熱意を高く評価します。
前期、後期末に行うテスト(スピーキングテストを含む)が70%
出席、授業内に行う小テストやレポートが30%

教科書／テキスト Let's Learn Basic English for Communication - 基礎会話力をつけるためのコミュニケーション英作文
David E. Bramley/河合忠仁 著
松柏社 ¥1700 ISBN 978-4-88198-597-7

履修コード	251901・252301
科目名	英語ⅡA
担当者名	^{すがわら} 菅原 ^{のりこ} 典子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

楽しい短編を教材に、英語の運用能力向上をめざします。
テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。第1～3回：1～2課、第4～6回：3～4課、第7～9回：5～6課、第10～12回：7～8課、第13～15回：9～10課、第16～18回：11～12課、第19～21回：13～14課、第22～24回：15～16課、第25～27回：17～18課、第28～30回：19～20課

準備学習

必ず辞書をひいて予習をしてください。単語のみならず、発音・イディオム・例文などにも目を通す習慣をつけましょう。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

授業時には、辞書必携のこと。
前期、後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度などを入れて総合的に評価します。
L.A.Hill・安藤賢一『Witty Tales-Readings and Exercises』成美堂、1680円(税込)
ISBN 978-4-7919-4032-5

参考書
その他

特になし。
特になし。

外国語

履修コード	248901・253101
科目名	英語ⅡA
担当者名	^{すぎもと} 杉本 ^{まこと} 誠

講義の到達目標(ねらい)

現代社会は、オゾン層の破壊、熱帯雨林の伐採、温暖化現象、砂漠化といった多岐にわたる深刻な環境問題に直面している。このような状況下、「環境に優しい」を合言葉に環境保護に向けて様々な取り組みがなされ始めている。そこで、授業では『熱い地球2』のテキストを用いて、「第一部：修復へのシナリオ」「第二部：日常の環境保護」の各表題のもとに再利用、再生、脱化石燃料、省エネ、代替エネルギーなど12項目にわたって日常生活で我々が少しでも気を配れば、自然保護の一助と成り得る方法について学ぶことにする。

講義の内容/
授業スケジュール

各章は、それぞれWarm Up, Readingそれに続くListening, Vocabulary, Writing, Grammarの練習問題を通して、英語の総合的な能力を向上させるように構成されている。授業では英文を精読し、内容を理解し、特に読解力を身につけることに主題を置き、さらに練習問題を通して総合的な英語能力の向上を目的とする。授業はLesson 1～6を前期でおこない、Lesson 7～12を後期でおこなう。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

かならず毎時間の予習が必要である。
前・後期試験(50%)、小テスト(40%)、プレゼンテーションと出席率(10%)で評価する。
『Earth Day Volume 2』(オセアニア出版) 1,400円 ISBN4-87203-083-4 C1082

履修コード	250901・251701
科目名	英語ⅡA
担当者名	^{すずき} 鈴木 ^{みきこ} 美貴子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

イギリスに親しみ、日常生活の様々な場面に対する英語表現力を高める
第1回前期オリエンテーション、第2～13回Unit 1～6まで、二週で一つずつUnitを進む、第14回エッセイの書き方、第15回前期試験、第16回後期オリエンテーション、第17～28回Unit 7～12まで、二週で一つずつUnitを進む、第29回後期試験、第30回まとめ。随時こちらが用意したTOEIC練習問題やリスニング練習問題にも取り組んでいただく。

準備学習
履修上の留意点

辞書をよくひきながら、ダイアログを読み練習問題をやってみる
必ず辞書(英和・和英)を持参し、授業中もよくひくこと。自ら英語表現を考え覚えることに努めていただきたい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席状況(出欠席・授業への姿勢)、前期・後期試験、提出物により総合的に評価する
今泉志奈子『How to Succeed in Surviving Your First Month in London ロンドン最初の1ヶ月を生き抜く方法』(英宝社、1900円)
ISBN 978-4-269-43021-1

履修コード	250101
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	<small>たかの ひでお</small> 高野 秀夫

講義の到達目標(ねらい) 新聞、雑誌、インターネット等の記事を使い、日常生活の出来事を伝える英文で身近な英語表現能力の養成に努めます。また出来るだけ多くの明快な英文を読み、聞き、書き、話し、正確な英語表現能力の向上を目指します。

講義の内容／授業スケジュール プリントと教科書による授業。
毎回、世間で話題になっている英文の記事のプリントを使い、Q&Aで授業を進めます。教科書の内容に沿って年間計画を立てています。前期は1-10課、後期は11-20課まで進む予定です。

準備学習 英語による質疑応答があるので予習は欠かさないこと。
履修上の留意点 日常、普段から自分の思ったことを英語で表現するように努めること。
成績評価の方法 期末試験、平常点(出席、授業への取り組み等)
教科書／テキスト 20-Site Listening Tour (弓プレス) ISBN4-8034-1161-1 C1082
Unique English Composition Vol.1 (成美堂) ISBN4-7919-5020-8 C1082

その他 出席には、特に気をつけること。

履修コード	249301
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	<small>たかはし あきこ</small> 高橋 明子

講義の到達目標(ねらい) 世界遺産の映像を観ながら、英語表現に不可欠な語彙力やリスニング力を習得し、英文作成や会話の能力を養成します。

講義の内容／授業スケジュール テキストの各Unitを二回の授業を目安にして進めます。前期はUnit8まで、後期はUnit15までを学習します。また、テキストのほかにプリント教材によるリスニングを適宜取り入れます。

準備学習 テキストの下読みをして、わからない単語やイディオムを調べてください。
履修上の留意点 遅刻・欠席をしないよう心がけ、積極的な姿勢で授業に臨んでください。
成績評価の方法 平常点(出席状況や発表など50%)と前期・後期の試験結果(50%)で評価します。
教科書／テキスト 『Exploring World Heritage on DVD DVDでめぐる世界遺産』(成美堂) 2,300円+税 ISBN978-4-7919-3118-7

履修コード	252401
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	<small>たかみ ようこ</small> 高見 陽子

講義の到達目標(ねらい) 英語で表現する場合の考え方や文章構造について理解を深めながら、自分の意見を効果的に伝達するうえで必要となる英語表現、話の展開の仕方に慣れることを目標とします。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：イントロダクション(授業内容および評価方法、注意点の確認。基本会話表現) 第2~3回：グループワーク(実践コミュニケーション) 第4~9回：テキストによる参考文および文法事項の確認 第10回：スピーチ原稿準備 第11~13回：スピーチ(発表) 第14~15回：前期フィードバック 第16~23回：グループワーク、参考文および文法事項の確認 第24~25回：スピーチ原稿準備 第26~28回：スピーチ(発表) 第29~30回：後期フィードバック

準備学習 指定された箇所での予習は必ず行うこと。
履修上の留意点 必ず辞書を持参すること。全授業回数の3分の2以上の出席を必須条件とします。
成績評価の方法 前・後期末に実施する試験(50%)、前・後期に実施するスピーチ(30%)、平常点(20%)による総合評価とします。各項目の詳細および注意点については、初回授業で説明します。
教科書／テキスト 未定

履修コード	251001
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	<small>たけむら えつこ</small> 竹村 恵都子

講義の到達目標(ねらい) 基礎英語を再認識し、主としてSpeakingやWritingの英語運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。プリントも使用。
前期予定—オリエンテーション+Lesson 1~12 +テスト
後期予定—テスト結果発表+Lesson 13~24 +テスト
履修上の留意点 欠席・遅刻せず、予習を含め、積極的に授業参加をすること。
成績評価の方法 前・後期の試験を主とし、授業時の発表及び出席率などを考慮して総合的に評価します。
教科書／テキスト "Spotlight on Britain": Terry O'Brian, 他共著, 南雲堂
ISBN4-523-17509-8

履修コード	251971
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	^{てしがわら} 勅使河原 ^{みほこ} 三保子

講義の到達目標(ねらい) 1年次の英語学習を基に、ビジネスの場面で役に立つ英語コミュニケーション能力を養成する。

講義の内容／
授業スケジュール 海外のビジネス英語検定で問われるスキルを中心に、職場に必要な英語の運用能力を養う。毎回英語で読んだり聞いたりするものを基に英語で簡単に書いて答え、書いたメモを用いて話したりする活動を行う。EconomistやFinancial Timesの記事も扱う。

履修上の留意点 授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。YeStudyを用いて予復習を行うようにすること。

成績評価の方法 小テスト3回(60%)、プレゼンテーション1回(20%)、平常点(出席、授業態度等15%)、実力テスト2回*を受験すること(5%)

教科書／テキスト 配付物およびオンライン資料等

その他の 実力テストの成績はこの科目の成績に反映されない。

外国語

履修コード	248911・349401
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	^{てるやま} 照山 ^{ゆうのこ} 雄彦

講義の到達目標(ねらい) この授業で扱う英文は、文法を中心とした日常会話を中心として行う。初めに基本となる表現が文法的にどのようになっているのか解説をする。その英文一つ一つを実際の日常会話で役立つために暗記、応用して行く。

講義の内容／
授業スケジュール (1) 授業の内容説明、(2～15) 基本文型と重要構文、注意すべき文型、Itを含む文型、to—不定詞を含む構文、分詞、仮定、比較を表す構文、否定、名詞を中心とした構文

履修上の留意点 実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること。また疑問点を用意し、辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。

教科書／テキスト 授業の第1日めに教場にて紹介する。

参 考 書 授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	249001
科目名	英語ⅡA
担当者名	とのいけ かずこ 外池 一子

講義の到達目標(ねらい)

IAで身につけた英語力を基礎として、より高度な英語運用能力を身につけることをめざします。授業はテキストを中心に進めますが、会話に必要なリスニング能力の強化にも力を入れ、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざします。

講義の内容/
授業スケジュール

第1週：オリエンテーションと小作文
第2-14週（春学期）：毎週1Unitを目標にテキストを進みます。
第15週：春学期最終試験

第16週：前期試験の返却および復習
第17-29週（秋学期）：春学期よりもペースを上げて授業を進めます。
また、テキスト以外の教材も取り入れて、実際の英語の運用能力を試していきます。
第30週：秋学期最終試験

履修上の留意点

春学期・秋学期ともに最終試験以外に授業の進度に合わせて中間試験や小テストを行うことがあります。
必ず予習をして授業に出席すること。
辞書を持ってくること。

出席日数が3分の2以上の履修者のみが成績評価の対象となりますが、予習をしていない場合や、授業中に私語をする、携帯電話を使う、寝ているなどの場合は出席とみなしません。

春学期・秋学期ともに授業の進度に合わせて小テストを行う場合があるので、毎週復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

春学期と秋学期の2度の定期試験（70％）と、出席、小テスト、提出物、発表などの平常点（30％）から総合的に評価します。

特に出席状況や授業態度を重視し、出席日数が3分の2に満たない場合は定期試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書/テキスト
その他の

開講時に指示する。

コンピューター教室を利用する場合があるので、第1回目の授業からIDとパスワードを使えるようにしておくこと。忘れた場合は授業を受けられない可能性があるため、十分注意すること。

また、授業関連の連絡や練習問題、課題提出などにはYeStudyを利用するので、授業開始前に使い方を覚えておくこと。

外国語

履修コード	251951・254501
科目名	英語ⅡA
担当者名	にしだ よしかず 西田 義和

講義の到達目標(ねらい) 英語学習の基本的な方法は、英文を正しく読み、訳し、内容を理解することである。この授業ではこのような観点を踏まえ、全部(前期・後期)で20章からなっている英語の構文を用いて英文和訳、和文英訳等を行うことにより英語の学習の徹底をはかる。

講義の内容／授業スケジュール 前期・後期を通じて毎時間多くの学生にやってもらい、その後教師が説明し、また予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

次に具体的に講義の授業のスケジュール等について話をする。教科書を通じて毎時間多くの学生に練習問題をやってもらい、それに対して間違った箇所等があれば、説明をしたりして疑問の解明に答えていきたい。

授業では各項目の練習問題をするつもりです。学生の皆さんには各項目の練習問題の1の英文和訳の問題の箇所が私が和訳したものをプリントして配布しますので。諸君は練習問題の2から準備をしてください。そして時間的に余裕があれば、テープ等も使用して諸君の聞く力の向上にも多少ながらも役立つようにしたいと思っている。なお、授業の計画として以下の方法でやりたいと思っている。

第1回と2回は文の構造の練習問題をする。

第3回と4回は進行形の練習問題をする。

第5回と6回は完了形の練習問題をする。

第7回と8回は態の練習問題をする。

第9回と10回は仮定法の練習問題をする。

第11回と12回は不定詞の練習問題をする。

第13回と14回は動名詞の練習問題をする。

第15回は試験の練習問題をする。

後期

第1回と2回は分詞の構造の練習問題をする。

第3回と4回は分詞構文の練習問題をする。

第5回と6回は関係代名詞の構造の練習問題をする。

第7回と8回は関係副詞の構造の練習問題をする。

第9回と10回は冠詞の構造の練習問題をする。

第11回と12回は比較の構造の練習問題をする。

第13回と14回は無生物主語の構造の練習問題をする。

第15回は試験

履修上の留意点 予習や復習は必ずして、授業に参加してください。また、辞書は持参すること。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

教科書／テキスト

英語の構造研究 西田義和著

『英語の構造研究』文化書房博文社定価1900円(税別)

履修コード	253301
科目名	英語ⅡA
担当者名	にしはら かつまさ 西原 克政

講義の到達目標(ねらい) 身体の部位を用いた慣用表現を日常生活で使えることを目指す。

講義の内容／授業スケジュール

1. オリエンテーション 2. Lesson1:Reading 3. Lesson1:Writing 4. Lesson2: Reading 5. Lesson2:Writing 6. Lesson3:Reading 7. Lesson3:Writing 8. Lesson4:Reading 9. Lesson4:Writing 10. Lesson5:Reading 11. Lesson5: Writing 12. Lesson6:Reading 13. Lesson6:Writing 14. Lesson7:Reading 15. Lesson7:Writing 16. Lesson8:Reading 17. Lesson8:Writing 18. Lesson9:Reading 19. Lesson9:Writing 20. Lesson10:Reading 21. Lesson10:Writing 22. Lesson11:Reading 23. Lesson11:Writing 24. Lesson12:Reading 25. Lesson12:Writing 26. Lesson13:Reading 27. Lesson13:Writing 28. Lesson14:Reading 29. Lesson14:Writing 30. Lesson15:Reading

履修上の留意点 授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。ライティングなどの課題の発表を総合的に評価する。

教科書／テキスト

ジム・クヌーセン『身体で書く英作文』南雲堂 1890円

参考書

授業中に適宜指示する。

履修コード	251961
科目名	英語ⅡA
担当者名	萩原 輝

講義の到達目標(ねらい) IAを基礎として、より高度な英語の運用能力(ライティング・スピーキング)を身につけることを目標とする。自分の考えを英語で表現する練習を数多く行うことで、自信を持って英語での自己表現が出来るようになってもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール 基本的には、教科書の各章を授業2回から3回で進む予定。毎時間、英語で表現する練習を数多く行うことで英語表現のコツを身につけてもらう。

履修上の留意点 英和・和英辞典を持参すること。

成績評価の方法 授業に取り組む姿勢、レポート等の提出物、出席率、前期・後期試験の結果等の総合評価。

教科書／テキスト Front-runners in the 21st Century:12 Outstanding- Companies
Brenda Hayashi他・著(松柏社)
ISBN4-88198-576-0

履修コード	250401
科目名	英語ⅡA
担当者名	埴 美智子

講義の到達目標(ねらい) 英語ⅠAで行ったことを基に更に英語運用能力を高めていく。演習問題やプリント教材も行い、英語の実力を身につけることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール [講義内容]
教科書に基づいて、口語英語の理解・運用に不可欠な基本的表現を学習すると同時に、Summaryの聞き取り等を通じて総合的な英語運用能力を高めていく予定です。

[授業スケジュール]
前期：
第1週 Orientation
第2週～14週 教科書の第1章から8章まで
第15週 前期試験
後期：
第15週～29週 9章から15章まで
第30週 後期試験

履修上の留意点 復習と予習は必ず行う。練習問題や単語調べは予習しておくこと。

成績評価の方法 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心にし、出席、小テスト、授業態度などの評価を加味して行います。年間授業回数の3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。欠席が多い場合は減点の対象となります。

教科書／テキスト Science Square 成美堂

履修コード	249201
科目名	英語ⅡA
担当者名	藤井 道行

講義の到達目標(ねらい) 文法事項の整理、リーディング、リスニング、口頭英作文、スピーキングの等の課題にテンポよく取り組みながら、英語を発信する意欲を高め、その意欲を支える基本的なスキルを身につけることを目標とした授業です。テキストには、そうした授業の目標設定に無理なく挑戦できるものを選びました。

講義の内容／授業スケジュール 前期：1回目：ガイダンス
2～7回目：Module 1～3
8～14回目：Module 4～6
15回目：中間試験
後期：16回目～22回目 Module 7～9
23回目～29回目 Module 10～12
30回目：期末試験

履修上の留意点 出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

成績評価の方法 年間2度、前期・後期末の試験：80%
授業内の活動：20%

教科書／テキスト テキスト：New Cutting Edge Upper Intermediate
編著者：Sarah Cunningham, Peter Moor
(Pearson Longman) 2,646円
ISBN 9780582825253

履修コード	254101
科目名	英語ⅡA
担当者名	堀 千和子

講義の到達目標(ねらい)	自分の意見を英語で的確に書く技術を習得してもらいます。前期では、センテンス・レベルで、自分の伝えたいことを英語で書くことを、また、main idea, topic sentence, controlling idea, supporting sentencesによって有機的に構成されるパラグラフを書くことを目標に、英作文の練習をしていきます。後期には、5～6段落からなるエッセイを書くことを目標にして、その技術を学んでいきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) プリント使用の授業 (2)～(3) Brainstorming (4)～(5) Time order 自叙伝を書く (6)～(7) 空間的配列 (8)～(9) Picture composition (10)～(11) パラグラフの構造 (12)～(13) My Home Town 有機的なパラグラフを書く (14) 映画とプリント使用の授業 (15) 前期試験 (16)～(17) エッセイの構造 (18)～(19) Process writing (20)～(21) Explanation (statistics) (22)～(23) Definition (24)～(25) Classification (26)～(27) Comparison & Contrast (28) Cause & Effect (29) エッセイの提出に向けて (30) 後期試験 ・文法事項を復習し、それを応用しながら英作文をしてもらいます。ライティングだけでなく、全般的な英語の力をつけてもらう文法などのエクササイズも取り入れます。 ・毎時、授業中に勉強したことの理解度を見るために、簡単な提出物を出してもらいます。(平常点となる)
履修上の留意点	前期は、いつどのようなことを授業で扱ったかがわかる「出席シート」に記入をし、後期は、エッセイ・ライティングに備えて、文法の正確さを気にせずに制限時間内に多くの英語を書くフリー・ライティングをしてもらいます。 ・毎回授業中に英作文を書いてもらうので、辞書を用意すること。 ・最後に提出するエッセイのトピックは、自分の興味のある分野で書いてもらうので、平日頃から英語での情報を収集することを勧めます。
成績評価の方法	・前期中間テスト(5%)、前期試験(25%)、後期中間テスト(5%)、後期試験(30%)、前期レポート 2 回分(5%×2)、夏休みレポート(5%)、後期レポート(15%)、発表・発言などの授業への貢献度、適切な質問などの授業へのまじめな取り組み(5%)から総合的に判断する。 ・遅刻は3回で1回の欠席となります(授業開始30分以上たつて来た場合は欠席扱いとなる)。 ・欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とします。欠席を補う提出物はないので、くれぐれも欠席をしないこと。 ・公的な欠席と認められるのは、忌引き、体育会の試合当日、法定伝染病にかかった場合、教育実習などの実習である。 ・試験は、前期、後期と両方受験しなければ単位は取得できない。
教科書／テキスト	大井恭子、上村妙子、佐野キム・マリー 著 『ライティング・パワー』(研究社) 1850円、ISBN4-327-42130-8
その他の他	YeStudyを活用します。授業の連絡事項、授業に使用するプリント、レポートなどの提出にも使用します。各自、登録して、チェックするようにして下さい。

履修コード	248301・254001
科目名	英語ⅡA
担当者名	前田 脩

講義の到達目標(ねらい)	英語により、英米の思考方法を学び、英語圏の人々の文化の理解に役立ちます。
講義の内容／ 授業スケジュール	テキスト25課を一回の授業で一課ずつ進みます。その他自由作文を、前期2回後期2回おこないます。ほかに、日本文化に特徴的な言葉を英語で説明してもらいます。
準備学習	予習復習を必ずしてください。
履修上の留意点	日ごろから英語に親しむように、英字新聞や雑誌に日を通してください。テレビなどで英語ニュースを聞いてください。
成績評価の方法	日常評価を30% 前期テスト20% 後期テスト、小テストを50%の割合で評価します。
教科書／テキスト	1) 青木雅幸 2) 「世界ビジネス事情と文化」 3) 成美堂 4) ¥1,900 5) ISBN 978-4-7919-3085-2

履修コード	248601・249401・250301
科目名	英語ⅡA
担当者名	松堂 啓子

講義の到達目標(ねらい) 基本的な文法を確認しながら、語彙、表現力を固め、短い英文を書けることを目指します。

講義の内容／
授業スケジュール 二回の授業で、一章分テキストを進めていきます。

準備学習 開講時に指示します。

履修上の留意点 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。

成績評価の方法 年2回の定期試験と小テスト、発表などの平常点で評価します。

教科書／テキスト 『やさしい英語で学ぶB B Cドキュメンタリー』(成美堂) 2,300円 ISBN4-7919-1038-9

履修コード	254301・254471
科目名	英語ⅡA
担当者名	真砂 久晃

講義の到達目標(ねらい) 一年次の英語力をもとにライティングの更なるスキルアップを目指す。

講義の内容／
授業スケジュール (1) 年間計画、諸注意などのオリエンテーションを行う。テキストを購入しておくこと。
もしテキストが入荷していない場合は、注文しておくこと。
(2)～(13) テキストに沿って授業を行う。
(14) 前期のまとめ。
(15) 前期末テスト
(16)～(28)テキストに沿って授業を行う。
(29) 後期のまとめ、確認
(30) 学年末テスト

準備学習 言うまでもなく、テキストの予習と復習が重要であるが、特に予習は怠けずに行うこと。

履修上の留意点 出席が3分の2に満たない学生は単位を取得できない。

成績評価の方法 前期、後期共に100点満点で成績を出し、前期と後期の成績を足して2で割ったものが最終成績となる。前期、後期共に、平常点(25%) + テスト(75%) = 100%となる。
詳細は最初の授業で説明する。

教科書／テキスト 「English Writing for Global Communication」 (金星堂) 1950円(税別)

履修コード	254451
科目名	英語ⅡA
担当者名	三幣 友行

講義の到達目標(ねらい) 英語ⅠAで学んだ英語を基礎として、英語による意思伝達能力の更なる向上を目指すとともに、その際必要な文法表現も同時に強化していきたい。

講義の内容／
授業スケジュール 第1回～第2回 Lesson 1
第3回～第4回 Lesson 2
第5回～第6回 Lesson 3
第7回～第8回 Lesson 4
第9回～第10回 Lesson 5
第11回～第12回 Lesson 6
第13回～第14回 Lesson 7
第15回～第16回 Lesson 8
第17回～第18回 Lesson 9
第19回～第20回 Lesson 10
第21回～第22回 Lesson 11
第23回～第24回 Lesson 12
第25回～第26回 Lesson 13
第27回～第28回 Lesson 14
第29回～第30回 Lesson 15

準備学習 次回の授業でどのくらい進むかを予測し、予習をしておくこと。

履修上の留意点 予習を前提として授業を進める。教科書、辞書(電子辞書でも可)を毎回持参すること。欠席が授業全体の1/3を超えたら単位は認めない。

成績評価の方法 出席点、平常点、小テスト点、前期試験、後期試験を総合的に評価する。

教科書／テキスト 開講時に指示する。

履修コード	254601
科目名	英語ⅡA
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>

講義の到達目標(わらい)
講義の内容/
授業スケジュール
準備学習

IAでの勉強をさらに進める形で、英語による意思伝達を授業の中で考えていきます。
英文のテキストを毎回でいねいに検討していきます。

履修上の留意点

プリントはあらかじめ配っておきますので、めいめいでもまず一回予習をしておいてください。これはとても大切なことです。授業の中で、ほかの人の発表に耳を澄まし、自分が予習した内容との違いを考えてください。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

三分の二以上の出席が必要です。
授業ではかならず英和・和英の辞書を持ってきてください。
遅刻しますと、その日は発表ができなくなりますので、遅刻のないようにしてください。
出席、発表、レポートによる総合評価です。
プリントを配布します。
授業の中で、随時紹介します。

履修コード	250801
科目名	英語ⅡA
担当者名	吉江 正雄 <small>よしえ まさお</small>

講義の到達目標(わらい)

リスニングと日常使える英語表現を覚えることを目的とします。

講義の内容/
授業スケジュール

遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 Not to Be Should, but.. | 16 To Drain or Not to Drain |
| 2 Not to Be Should, but.. | 17 Coffin Nails |
| 3 Be My Valentine | 18 Coffin Nails |
| 4 Be My Valentine | 19 In Other Worlds |
| 5 Home Sweet Home | 20 In Other Worlds |
| 6 Home Sweet Home | 21 Chung-a-Lug |
| 7 Dating Game | 22 Chung-a-Lug |
| 8 Dating Game | 23 テスト |
| 9 テスト | 24 Don't Slurp Your Soup |
| 10 Trick or Treat | 25 Don't Slurp Your Soup |
| 11 Trick or Treat | 26 How it Sounds |
| 12 For Me? | 27 How it Sounds |
| 13 For Me? | 28 Tow Sides of the Same Coin |
| 14 To Drain or Not to Drain | 29 Tow Sides of the Same Coin |
| 15 前期試験 | 30 後期試験 |

準備学習
履修上の留意点

普段から英語ニュースや映画に慣れておくこと。
遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

成績評価の方法

①試験(40%)②発表(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①~②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、また③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書/テキスト
参考書

4月第1週に指示します。
おりにふれて教室で指示する。

履修コード	253701
科目名	英語ⅡA
担当者名	吉沢 栄治郎 <small>よしざわ えいじろう</small>

講義の到達目標(わらい)
講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

短い和文を英訳してゆきます。和文英語力を高めることをねらいとします。
一般的な日本語文を英訳してゆきます。一回の授業につきおよそ10題くらいの和文を英語に直す練習をしてゆきます。いろいろな訳例があるかどうかとおもいますが一つだけは確実に覚えて下さい。
和英辞典を大いに使用して下さい。
ペーパーテスト、出席状況、レポート提出などで総合評価します。
使用しません。

履修コード	252411
科目名	英語Ⅱ A
担当者名	<small>わたべ こうじ</small> 渡部 孝治

講義の到達目標(ねらい)	文法・構文を確認しながらライティングの力を伸ばし、それらの知識を英語でのコミュニケーションに活かす力を身につけます。
講義の内容／ 授業スケジュール	英語表現における考え方や文の構造について、読むこと・書くこと両面から理解を深めます。slash reading (意味のまとまりごとの読み方)、slash listening (意味のまとまりごとの書き方)もマスターしていきます。前期は基礎的なことを行い、後期はその応用を実践します。
履修上の留意点	毎回辞書を持参してください。授業時にできるだけ多くのひとに当てていきます。
成績評価の方法 教科書／テキスト	必ず全員が予習をやっていること。 前・後期末の試験と小テストや授業への参加姿勢などの平常点を考慮し、総合的に評価します。 開講時に指示する。

履修コード	295301・295302
科目名	英語Ⅱ A [再クラス] 英語Ⅱ C (会話) [再クラス]
担当者名	<small>あさかわ まき</small> 朝川 真紀

講義の到達目標(ねらい)	IAで身につけたspeaking、writing力をさらに高度に運用させる力を身につけていく。また、TOEICの問題などにも対応できる力を養っていく。
講義の内容／ 授業スケジュール	TOEICの出題形式や意図、解法に慣れ、ストラテジーを定着させていく。(1)オリエンテーション(2)～(14)可算名詞、不可算名詞、名詞の教え方、動詞、接頭辞、接尾辞などの文法知識を深め、5W1Hの疑問文に対する多様な答え方などのリスニング力を学んでいく。(15)中間試験(16)～(29)形容詞、副詞、動名詞、不定詞、分詞、仮定法、助動詞などの文法、依頼文、誘い文に対する答え方などのリスニングを学んでいく。(30)定期試験
準備学習 履修上の留意点	毎回予習を必ず行い、また、重要語句に関する小テストを行うので暗記をしてきてほしい。 必ず予習をしてこよう。また、出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を目ざしてもらいたい。欠席が全授業数の3分の1を超えた場合は単位を与えない。遅刻は授業開始30分以内まで認め、遅刻3回で1回欠席とする。
成績評価の方法	平常点(30%)、提出物(20%)、定期試験(50%)。平常点には予習状況、小テスト、授業中の態度などを含み、提出物は通年で4回レポート課題を与える。定期試験は前期と後期に2回行う。
教科書／テキスト	杉田麻哉著『ストラテジーで学ぶTOEICテスト』 成美堂 2000円 ISBN978-4-7919-3123-1

履修コード	295501・295502
科目名	英語Ⅱ A [再クラス] 英語Ⅱ C (会話) [再クラス]
担当者名	<small>うえだ のりみ</small> 上田 倫史

講義の到達目標(ねらい)	一年時の読解能力を基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。文章表現や会話表現の力を養うことを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	テキストをもとに、必要な文法項目、表現を練習していく。 また、適宜課題を与える。 前期は英語で話す練習をするとともに、簡単な英語による自己表現の練習を中心に実際に使う練習を行っていく。具体的には自己紹介や、他者の紹介等を英語でできるようになる訓練を行う。 また、徐々にいろいろなものを説明したり、紹介する練習を行う。 授業では英語によるスピーキングとライティングを両方行う練習をする。 それぞれが実際に一人、あるいはグループで課題に取り組んでもらう。 第1週目はオリエンテーションを行う。第2週目以降に具体的な活動に入っていく。 また、学期末に期末テストを行う。その他適宜小テスト等を行う予定である。
履修上の留意点	復習、予習を行うこと。
成績評価の方法	試験の結果(40%)、授業中の活動(30%)小テスト(15%)、課題(15%) 年間授業の3分の1以上を欠席したのものには単位は認定しない。
教科書／テキスト	教科書：Communication Builder 筆者：Noboru S. Yoshitomi 出版社：南雲堂 ISBN: 978-4-523-17632-9
参 考 書	開講時に指示します。

履修コード	355201・355202
科目名	英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ B〔再クラス〕
担当者名	<small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

英語の基礎力、言葉を換えて言えば基本的語彙力と文法力、を身につけることを目標とする。
[授業の内容]
多様なアメリカ社会の様々な側面を20のトピックスにまとめ、解説した教科書を読んでいます。
[授業スケジュール]
前期：第1週 オリエンテーション：第2週～14週 教科書前半部分の講読と表現演習
第15週 前期試験
後期：第16週 前期試験の結果発表：第17週～第28週 教科書後半部分の講読と
表現演習：第29週 後期試験：第30週 後期試験の結果発表
予習は必ずやってきました。やってこない場合はテストの点から減点ということになります。
前期・後期の試験を中心に、予習のし具合、出席状況等を総合的に検討して評価します。
Gary Dendo著 「America in Motion」 成美堂 1,800円
ISBN978-4-7919-3128-6

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

外国語

履修コード	294601・294602
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	国見 晃子・高野 秀夫

講義の到達目標(ねらい) この授業では、日常生活で十分に活用できる英語の運用能力を更に身につけていきます。

テキストを中心に、演習形式で授業を進めていきます。
 テキストに学生用のCD-ROMも付いていますので、
 自宅で十分に予習をして授業に臨むことも可能ですし、
 復習もできるので、自分のペースで繰り返し学んでいくことができます。

DVDなどの映像も使用しますので、身振りや顔の表情などのボディーランゲージも合わせて学んでいきます。

講義の内容/
 授業スケジュール

以下の内容を実際の授業日数に配分して講義を行います。

- 第1回：前期授業ガイダンス
 - 第2回～3回：Unit 1 New Friends, New Faces
 - 第4回～5回：Unit 2 Express Yourself!
 - 第6回～7回：Unit 3 What Do We Need?
 - 第8回：Review
 - 第9回～10回：Unit 4 Vacation!
 - 第11回～12回：Unit 5 Heroes
 - 第13回～14回：Unit 6 The Mind
 - 第15回：前期期末テスト
 - 第16回：後期授業ガイダンス
 - 第17回～18回：Unit 7 In the City
 - 第19回～20回：Unit 8 All About You
 - 第21回～22回：Unit 9 Change
 - 第23回：Review
 - 第24回～25回：Unit 10 Your Health
 - 第26回～27回：Unit 11 That's Amazing!
 - 第28回～29回：Unit 12 At the Movies
 - 第30回：後期期末テスト
- 担当教員に従って予習をしてきて下さい。
 担当教員の指示に従って予習をしてきて下さい。
 辞書は必ず用意して授業に出席してください。

準備学習
 履修上の留意点

遅刻3回（30分以内）で1回欠席と見なします。
 半期に欠席を5回した時点で、単位取得が不可能となります。
 欠席に関して正当な理由がある場合には、それを証明する書類を早めに提出してください。
 （必ずしもすべての書類が受理される訳ではありません。）

成績評価の方法

私語をしたり、寝ていたり、エクササイズを全くしない等、
 授業に参加していない場合には、出席とは見なしませんので、気を付けてください。
 成績は以下の配分で評価します。

- 前期期末テスト：30%
 - 後期期末テスト：30%
 - 小テスト、提出物、課題、授業内での発表：前期20%+後期20%
- 総合得点60%以上が単位取得となります。
 授業態度も重視しますので、授業に積極的に参加して下さい。

教科書/テキスト

Susan Stempleski
 World Link, Level 1
 (Student Book with Student CD-Rom)
 HEINLE CENGAGE Learning
 ¥2,680
 ISBN: 978-1-4240-6818-0

履修コード	295601・295602
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	久保 ^{くほ} ひさ子 ^{ひさこ}

講義の到達目標(ねらい) 西洋でも、東洋でも、現代行われている自然治療法を、BBC Documentary映像の英語字幕付のDVD教材を使用しながら学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 偶発的な外国語を獲得する。
- 2 発音・イントネーション・リズムの使い方を学習する。
- 3 練習問題を解く。
- 4 自然なスピードで読むと同時に、内容を理解し、応用できるようにする。

Herbal Medicine, Healing Foods,
Music Dance, Body chi, Yan&Yin,
Medicine Lines, Manipulation,
Yoga&Meditation, Homeopathy,
Dilutions, Scepticism,
Massage, Manipulation, Laughter

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

言葉の意味は前もって調べておく。
DVDを見る時はテキストやノートは見ないでDVD映像と音声だけに集中する。
Term-end-tests, Classwork & small tests の合計点
Steve Lia etc. /BBC Documentary Natural Remedies/ Longman Kirihara /2000+tax

外国語

履修コード	295001・295002
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	竹村 ^{たけむら} 恵都子 ^{えつこ}

講義の到達目標(ねらい) 基礎英語を再認識し、主としてSpeakingやWritingの英語運用能力を高め、四技能の達成を目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール

テキストを中心に、テープを使用しながら演習形式で授業を進めます。プリントも使用。
前期予定—オリエンテーション+Lesson 1～ +テスト

後期予定—テスト結果発表+Lesson 13～ +テスト

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

欠席・遅刻をせず、予習を含めて積極的に授業に取り組むこと。
前期・後期の試験を主とし、授業時の発表及び出席率などを考慮して総合的に評価します。
第一回目の授業で、指示します。

履修コード	355301・355302
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	ピアス、 D. M.

講義の到達目標(ならい) During most of the class period you will be talking to each other in groups or pairs. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. It is a process not of learning more English, but of learning to use what you already know. The English level you achieve should enable you to communicate in ordinary script exchanges: buying things, getting information, making reservations.

講義の内容／
授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1 addressing people	CLASS 16 Consumption
CLASS 2 addressing people	CLASS 17 Courtship
CLASS 3 social hierarchy	CLASS 18 Courtship
CLASS 4 social hierarchy	CLASS 19 adolescence
CLASS 5 self expression	CLASS 20 adolescence
CLASS 6 self expression	CLASS 21 social classes
CLASS 7 gift-giving	CLASS 22 social classes
CLASS 8 gift-giving	CLASS 23 candor
CLASS 9 Informality	CLASS 24 candor
CLASS 10 Informality	CLASS 25 authority
CLASS 11 news coverage	CLASS 26 authority
CLASS 12 news coverage	CLASS 27 employment
CLASS 13 personal freedom	CLASS 28 employment
CLASS 14 personal freedom	CLASS 29 politicians
CLASS 15 Consumption	CLASS 30 politicians

成績評価の方法

ATTENDANCE: Six absences in the year are permitted; five absences or more may be detrimental to the final grade. Weddings, funerals, sickness, sports events, seminars, etc. do not form exceptions to the 6-absence limit.

EXAMINATIONS: Frequent small, unannounced quizzes will focus on material just previously practiced. Exam questions are always drawn directly from parts of the textbook that we have recently covered.

GRADING: 70% of your final grade depends on your spoken English in class, evaluated by comparison with your ability in the first class meeting.

教科書／テキスト

"Sociological Investigation", 2011, Themis Research Group, Adam Pelagius. Do not purchase textbook until after the first class.

履修コード	295401・295402
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡC〔会話〕〔再クラス〕
担当者名	堀 千和子

講義の到達目標(ねらい)	授業は教科書中心で進めていきます。教科書は、外国人向けに開発されたイギリスのテレビ・ドラマを字幕なしで見て、内容を把握し、それを運用していくことを目標として作られたものです。扱う内容は基本的な英語表現ですが、それを基礎としてspeakingとwritingの運用能力を身につけることをめざします。また、listening能力の強化にも力を入れていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	・(1)オリエンテーションとウォーム・アップ、(2)～(14)(前期)：毎週、テキストの1 unit分を進めていく、(15)前期試験、(16)～(26)(後期)：毎週1 unitを目標にテキストを進める、(27)～(29)パラグラフの書き方、口頭でのプレゼンテーション、(30)後期試験。
履修上の留意点	・毎週、テキストを中心に授業を進めていく。授業で学んだことを確認するため、授業の最後に小テストを毎時、実施する。遅刻したり居眠りして勉強内容を聞き逃さないように、真剣に授業に臨むこと。毎時の小テストの配点は、成績評価の大きなウェイトを占める。
成績評価の方法	毎週、授業で学んだことを、授業最後に行う小テストで確認します。ですから、授業では真剣勝負となります。遅刻、居眠り、私語、内職などをしてしていると小テストで得点できずに、単位も取得することができなくなります。
教科書／テキスト	・毎時の小テスト(70%)、前期試験(5%)、後期試験(5%)、夏休みレポート(5%)、後期レポート(10%)、口頭でのプレゼンテーション(5%)から総合的に判断する。
そ の 他	・遅刻は3回で1回の欠席となる(授業開始後30分以上たつて来た場合は欠席扱いとなる)。 ・欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格となる。欠席を補う提出物はなく、その分の小テストの点数がなくなるのでくれぐれも欠席しないこと。 大八木廣人(共著) / 黄金井健夫(共著) / 滝本晴男(共著) / JanusZ Buda(共著) 『カズン・ウィリアム(1)』(成美堂) 1890円 ISBN 978-4-7919-4522-1 YeStudyを活用します。授業関係の連絡、レポートの提出などを行います。各自、登録してチェックするようにして下さい。

外国語

履修コード	355401・355402
科目名	英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	本間 俊一

講義の到達目標(ねらい)	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。
講義の内容／ 授業スケジュール	学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
履修上の留意点	副教材として、映画映像を利用し、スクリプトを音声で理解する力を養う。 4月 ガイダンス 4月中旬～7月 Text Chapter1～Chapter9の学習 7月後半 前期授業内テスト 9～11月 Text Chapter10～Chapter17の学習 12月 後期授業内テスト
成績評価の方法	毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
教科書／テキスト	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
そ の 他	Anne of Green Gables(講談社インターナショナル)693円 ISBN4-06-186057-7 授業外でもPCおよび携帯メールを利用した連携をとります。 USBフラッシュメモリを携帯すると便利です。

履修コード	295011・295012
科目名	英語Ⅱ A〔再クラス〕 英語Ⅱ C（会話）〔再クラス〕
担当者名	^{よしえ} 吉江 ^{まさお} 正雄

講義の到達目標(ねらい)	リスニングと日常使える英語表現を覚えることを目的とします。 遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。																																																												
講義の内容／ 授業スケジュール	<table border="0"> <tr><td>1</td><td>Not to Be Should, but..</td><td>16</td><td>To Drain or Not to Drain</td></tr> <tr><td>2</td><td>Not to Be Should, but..</td><td>17</td><td>Coffin Nails</td></tr> <tr><td>3</td><td>Be My Valentine</td><td>18</td><td>Coffin Nails</td></tr> <tr><td>4</td><td>Be My Valentine</td><td>19</td><td>In Other Worlds</td></tr> <tr><td>5</td><td>Home Sweet Home</td><td>20</td><td>In Other Worlds</td></tr> <tr><td>6</td><td>Home Sweet Home</td><td>21</td><td>Chung-a-Lug</td></tr> <tr><td>7</td><td>Dating Game</td><td>22</td><td>Chung-a-Lug</td></tr> <tr><td>8</td><td>Dating Game</td><td>23</td><td>テスト</td></tr> <tr><td>9</td><td>テスト</td><td>24</td><td>Don't Slurp Your Soup</td></tr> <tr><td>10</td><td>Trick or Treat</td><td>25</td><td>Don't Slurp Your Soup</td></tr> <tr><td>11</td><td>Trick or Treat</td><td>26</td><td>How it Sounds</td></tr> <tr><td>12</td><td>For Me?</td><td>27</td><td>How it Sounds</td></tr> <tr><td>13</td><td>For Me?</td><td>28</td><td>Tow Sides of the Same Coin</td></tr> <tr><td>14</td><td>To Drain or Not to Drain</td><td>29</td><td>Tow Sides of the Same Coin</td></tr> <tr><td>15</td><td>前期試験</td><td>30</td><td>後期試験</td></tr> </table>	1	Not to Be Should, but..	16	To Drain or Not to Drain	2	Not to Be Should, but..	17	Coffin Nails	3	Be My Valentine	18	Coffin Nails	4	Be My Valentine	19	In Other Worlds	5	Home Sweet Home	20	In Other Worlds	6	Home Sweet Home	21	Chung-a-Lug	7	Dating Game	22	Chung-a-Lug	8	Dating Game	23	テスト	9	テスト	24	Don't Slurp Your Soup	10	Trick or Treat	25	Don't Slurp Your Soup	11	Trick or Treat	26	How it Sounds	12	For Me?	27	How it Sounds	13	For Me?	28	Tow Sides of the Same Coin	14	To Drain or Not to Drain	29	Tow Sides of the Same Coin	15	前期試験	30	後期試験
1	Not to Be Should, but..	16	To Drain or Not to Drain																																																										
2	Not to Be Should, but..	17	Coffin Nails																																																										
3	Be My Valentine	18	Coffin Nails																																																										
4	Be My Valentine	19	In Other Worlds																																																										
5	Home Sweet Home	20	In Other Worlds																																																										
6	Home Sweet Home	21	Chung-a-Lug																																																										
7	Dating Game	22	Chung-a-Lug																																																										
8	Dating Game	23	テスト																																																										
9	テスト	24	Don't Slurp Your Soup																																																										
10	Trick or Treat	25	Don't Slurp Your Soup																																																										
11	Trick or Treat	26	How it Sounds																																																										
12	For Me?	27	How it Sounds																																																										
13	For Me?	28	Tow Sides of the Same Coin																																																										
14	To Drain or Not to Drain	29	Tow Sides of the Same Coin																																																										
15	前期試験	30	後期試験																																																										
準備学習 履修上の留意点	段から英語ニュースや映画に慣れておくこと。 履修上の留意点 遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。																																																												
成績評価の方法	成績評価の方法 ①試験（40%）②発表（30%）③出席（30%）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、また③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。																																																												
教科書／テキスト	教科書／テキスト 4月第1週に指示します。																																																												

外国語

履修コード	258601
科目名	英語Ⅱ B
担当者名	^{あしだ} 足田 ^{かずひと} 和人

講義の到達目標(ねらい)	日常的な英文を、素早く的確に読めるよう、精読と並行して速読の練習を行う。また文章の仕組みを理解し、内容全体をまとめて理解できるような力をつける。音声教材を用いてリスニングによる、内容把握のドリルなども行う。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：授業についてのイントロダクションを行う。第2回～14回：テキストのレッスン(1-5)に従って、英文を読み進め、精読から速読へ発展させる。第15回：前期試験。第16～29回：テキストのレッスン(6-10)に従って、英文を読み進め、速読力を伸ばし、内容理解を深める。第30回：後期試験。
準備学習 履修上の留意点	テキストの新出単語、表現など、各自で調べておくこと。 3分の2以上出席が必須である。
成績評価の方法	前後期の最後の授業で試験を行う（60%）。出席、遅刻、授業中に行う作業、授業態度など、総合的に評価（40%）。
教科書／テキスト	What's Up? 2010-11 Intermediate （桐原書店）

履修コード	255501
科目名	英語ⅡB
担当者名	あんざい かおる 安齋 薫

講義の到達目標(わらい) Reading, Listening能力の向上とともに、さらに使える習得を目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回 Introduction
第2.3回 Takeshi Kitano
第4.5回 Tadahito Iguchi
第6.7回 Tadao Ando
第8.9回 Kaguya
第10.11回 Two Important Museums
第12.13回 Japanese Agriculture
第14.15回 まとめ・テスト
第16.17回 Millet
第18.19回 Yacon
第20.21回 Black Vinegar
第22.23回 MOS Burger
第24.25回 Enterprise Mecca
第26.27回 Radio controlled watch
第28.29回 Forest Recycling
第30回 テスト

履修上の留意点 予習をしておくこと。

成績評価の方法 出席状況(2/3以上の出席が原則)、前後期試験、レポートで評価する。

教科書／テキスト Sustainable Life and Economics (南雲堂) ¥1900+税 ISBN978-4-523-17573-5

履修コード	257401
科目名	英語ⅡB
担当者名	いづま よしなが 飯沼 好永

講義の到達目標(わらい) IBを基礎として、より高度な英文を正確且つ速く理解する英語力を身に付けることを目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

基本的な文法事項も確認しながら、さまざまな内容の英文を読んでいきます。一つのプリントを2週で進む予定です。

履修上の留意点 予習を忘れず、積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法 成績は、定期試験(6割)、出席状況、授業への取り組み方、課題(4割)を基本に行います。

教科書／テキスト プリント使用

履修コード	255001
科目名	英語ⅡB
担当者名	いしはら こうざい 石原 孝哉

講義の到達目標(わらい) 日常的な英語を理解できるようにする。具体的には辞書を使って英字新聞、Web上の英語ニュースなどを読みこなすことができるようにする。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は20世紀の大きな歴史的事件を振り返りながら、身近な問題を英語で表現することを学ぶ。前期は教科書のはPart 1, 1~4, Part 2, 5~8, Part 3, 9~12, Part 4, 13~16を読む。7月に前期の試験実施。夏休みレポート課題告示。

後期は、英字新聞の読み方、Web Newsの読み方に続き、プリントにより英字新聞、Web Newsの講読。教科書はPart 5, 17~20, Part 6, 21~24, Part 7, 25~28を読む。後期末にグループによる研究発表会にむけて、プレゼンテーションの練習、Power Pointを使った発表の練習。追加レポート受付。1月に最終試験実施。

準備学習 毎回授業中に指名するので、必ず予習しておくこと。

履修上の留意点 出席を重視するので必ず予習して出席のこと。レポート提出や、研究発表など、積極的な授業への参加を期待する。

成績評価の方法 レポート、研究発表、平常点と各期末に行われる試験で総合的に判断する。

教科書／テキスト Looking Backward, Major Events of 20th Century
南雲堂 1800円

参考書 The Japan Times

関連リンク <http://www.cnn.com/studentnews/>

履修コード	258701
科目名	英語ⅡB
担当者名	伊勢村 定雄 <small>いせむら きたかみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	現代アメリカの社会をテーマとしてテキストを通して、英文読解だけでなくアメリカ社会の理解と英語の語彙を1000語ほど増やす。また辞書の引き方を徹底する。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 導入、全体の説明 ～第3回 アメリカの地理的な問題をテーマとする。 第4回 ～第7回 アメリカの人種の垣根の問題で英語を読む。 第8回 (中間テスト) ～第11回 カリフォルニアをテーマとして英語を読む。 第12回 ～第14回 犯罪 第15回 前期末考査 第16回 ～第18回 犯罪をテーマとして英語を読む。 第19回 ～第21回 アメリカン・ドリームをテーマとして英語を読む。 第22回 (中間テスト) ～第25回 健康をテーマとして英語を読む。 第26回 ～第29回 コンピューターをテーマとして英語を読む。 第30回 後期末考査
準備学習 履修上の留意点	必ず英文は音と意味が分かるようにしておくこと。一回で2～3ページ進みます。 毎回学生に対して、なんらかのかたちで指名し、解答してもらうので積極的に参加すること。 予習必須！ 辞書は毎回持参のこと！
成績評価の方法	期末、中間テストの成績、出席状況良好者(欠席3回未満)には10～15%の加算をすることもある。 また、積極的に授業参加するものもこれにあたる。
教科書／テキスト	The United States Now nad in the future ジョセフ・ラウアー、辻井栄慈(『アメリカの現在と未来』) 南雲堂 1800円

外国語

履修コード	256401
科目名	英語ⅡB
担当者名	市川 仁 <small>いちがわ のとし</small>

講義の到達目標(ねらい)	より多くの量の英文が読めるようになることを目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	予習を前提として授業を進めていきます。毎時間、各章ごとに読んでいきます。
準備学習 履修上の留意点	必ず予習をしてください。 授業に積極的に参加してください。
成績評価の方法	成績は前・後期の定期試験(55%)と、平常点(出席数(20%)や授業中の発表(25%)など)を総合して評価します。全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。
教科書／テキスト	石原孝哉他『事件でたどる20世紀』(南雲堂)

履修コード	256301
科目名	英語ⅡB
担当者名	井出 功一・大庭 直樹

講義の到達目標(ねらい)	テキストは世界各地の国民、民族、部族が何を、どのように料理し、どのような作法で食べているかを、比較文化の立場から現地調査して書いた食文化論です。 食文化は私たちの日常生活そのものです。そこに出てくる英文を十分に聞いたり、読んだりして、英語力の向上と食育について知識を深めることを目標とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	イギリスのお茶、中国のお茶、茶の湯、コーヒーの道、ナイフ・フォーク文化圏、手食文化圏、中華料理、フランス料理、日本料理、アメリカ料理、パン食文化圏、根栽農耕文化、世界の麺類、牛乳の文化、香辛料。これらをそれぞれ2回ずつ行う予定です。 なお、最近の話題の食料、例えばアンデス山脈からやってきた「ヤーコン」(Yacon)、通称キャブテン・クックのニュージーランドの探検からもたらされた「ツルナ」(New Zealand Spinach)、歴史の古い「蜂蜜酒」(Mead)、シベリヤ南部原産で16世紀にヨーロッパに導入された「ルバーブ」(Rhubarb)、フランス、イタリア原産で、サラダに最適のニュー野菜「トレビーズ」(Trevise)なども説明します。 ときには、時事に関する英文記事も使用する予定です。 全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。 前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価。
履修上の留意点	『A Global Tour of Dietary Culture』(世界の食文化)成美堂
成績評価の方法	
教科書／テキスト	

外国語

履修コード	255601
科目名	英語ⅡB
担当者名	伊藤 美代子

講義の到達目標(ねらい)	IBを基礎としてより高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。いわゆる「読解」ではなく、英語による理解を目的とする。リーディングだけでなくスピーキング、リスニング、ライティング、発音矯正も行い、総合的な英語力の強化をめざす。
講義の内容／ 授業スケジュール	原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できる限り英語を使用するが、構文等の説明には日本語を使用する。 1単元を1回半の授業で終了する。
準備学習	予習が必須。予習しなければ授業内容の理解は不可能。
履修上の留意点	予習が絶対条件。また、公欠、忌引以外に全出席数の3分の1以上欠席したものには単位を与えない。 遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残り20%は平常点(出席率、小テスト、授業態度、提出物等)により評価する。
教科書／テキスト	Global Trends in Business (金星堂)

履修コード	257551
科目名	英語ⅡB
担当者名	岩永 祥恵

講義の到達目標(ねらい)	平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英語の運用能力を目指した授業を行う。そのため多くの英文に触れ、リーディングの基本と展開を学び、より速く正確な読解能力の向上を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) 講義の内容説明 (2)~(6) Identifying the general topic, Identifying the topic sentence, Identifying supporting details (7) 小テスト (8)~(14) Identifying the main idea, Understanding transition signals, Recognizing exemplification (15) 前期試験 (16)~(20) Identifying definitions, Identifying similarities and differences, Scanning (21) 小テスト (22)~(26) Understanding reference, Identifying author's purpose, Making predictions (27)~(29) Making inferences (30) 後期試験
準備学習	予習を行うこと。
履修上の留意点	辞書は必ず持参すること。予習、復習は必ずすること。
成績評価の方法	出席状況を考慮し、前期末および後期末の試験と授業内に提出を求める課題、小テストの結果から総合的に評価する。なお、出席回数は全授業回数数の3分の2以上の出席が必要である。
教科書／テキスト	Think in English Nancy Stanley et.al. マクミランランゲージハウス、1998年
参考書	授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	256601
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>うぶむら けいこ</small> 植村 恵子

講義の到達目標(ねらい)	新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標としたい。(そのためにも今、日本や世界で何が起こっているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いて欲しい。)
講義の内容／授業スケジュール	使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連記事頻出用語を学び、次に2ページに渡るNewsを読んで内容を把握し、そしてExercise 1の問題を解きながら読み、最後にExercise 2でディクテーション(聞いて書き取る)を行なう、という作業を前期・後期を通じて進めていきたい。
履修上の留意点 成績評価の方法	授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。 出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。
教科書／テキスト	堀江・加藤他『時事英語の総合演習—2011年度版—』(朝日出版社) 1,500円 ISBN978-4-255-15506-7
参 考 書	『リーダーズ英和辞典』(研究社) 『現代用語の基礎知識』(自由国民社)

外国語

履修コード	259301
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>うぶむら けいこ</small> 植村 恵子

講義の到達目標(ねらい)	新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標としたい。(そのためにも今、日本や世界で何が起こっているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いて欲しい。)
講義の内容／授業スケジュール	使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連記事頻出用語を学び、次に2ページに渡るNewsを読んで内容を把握し、そしてExercise 1の問題を解きながら読み、最後にExercise 2でディクテーション(聞いて書き取る)を行なう、という作業を前期・後期を通じて進めていきたい。
履修上の留意点 成績評価の方法	授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。 出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。
教科書／テキスト	堀江・加藤他『時事英語の総合演習—2011年度版—』(朝日出版社) 1,500円 ISBN978-4-255-15506-7
参 考 書	『リーダーズ英和辞典』(研究社) 『現代用語の基礎知識』(自由国民社)

履修コード	255701
科目名	英語ⅡB
担当者名	江田 幸子

講義の到達目標(ねらい) どのような英語(文)に出会っても、理解(読解)できるようになること。さらに一歩進んで、精読、速読、が早くできるようになること。

講義の内容／授業スケジュール 左へ右へ、英語の流れに沿って読解(内容把握)できるようになること、を目標とする。
内容:①はじめは、構文把握を徹底して精読を重視する ②精読と同時に速読が出来るようになるためには、語彙力を伸ばすことは欠かせないので、その課で調べた語彙は覚えるようにします。(辞書を引く回数が多くなるほど読む速度が遅くなるため、語彙を取得することは精読＝速読には欠かせない)適宜、語彙テストを行います。
③出来るだけ正確な発音をこころがける。読解では疎かにされがちな項ですが、音声(リズム、イントネーション)が伴わない読解は内容把握においても効率が悪くなるので、音声を重視します。とくに日本語にはなく、発音しづらい音の発音指導を取り入れます。

外国語

スケジュール:
初回:ガイダンス、および次回授業に取り上げるプリント(発音指導用)の配布
第2回～:テキストの各Lessonにつき2回前後をかけて進める
最終回:期末試験(後期)
前期と同じ
*その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。
履修上の留意点 授業では、発表が必須です。あたってから辞書を引くと授業の進度が著しく遅くなりますので、自宅での予習段階で済ませておくこと。
成績評価の方法 出席状況、平常点、授業内試験の成績などから総合的に評価する。
教科書／テキスト 通年使用のテキストは現時点では未定。
初回はプリント使用します。

履修コード	256701
科目名	英語ⅡB
担当者名	太田 雅子

講義の到達目標(ねらい) 英文を上から順に理解していく訓練を行なう。
最初は精読、慣れてきたら速読の練習をする。原則1回の授業でテキストの1章進む。

講義の内容／授業スケジュール

履修上の留意点 予習は必須。

成績評価の方法 平常点と前期・後期試験

教科書／テキスト 未定

履修コード	257301
科目名	英語ⅡB
担当者名	太田 ^{あわた} 美智子 ^{みちこ}

講義の到達目標(わらい)
講義の内容/
授業スケジュール

IBを基礎として、より高度な英語運用能力の習得を目指す。

第1回 オリエンテーション
第2回 Unit 1
第3回 Unit 1
第4回 Unit 2
第5回 Unit 2
第6回 Unit 3
第7回 Unit 3
第8回 Unit 4
第9回 Unit 4
第10回 Unit 5
第11回 Unit 5
第12回 Unit 6
第13回 前期のまとめ
第14回 前期末試験
第15回 後期オリエンテーション
第16回 Unit 7
第17回 Unit 7
第18回 Unit 8
第19回 Unit 8
第20回 Unit 9
第21回 Unit 9
第22回 Unit 10
第23回 Unit 10
第24回 Unit 11
第25回 Unit 11
第26回 Unit 12
第27回 後期のまとめ
第28回 後期末試験

準備学習
履修上の留意点

予習と授業参加が絶対条件。座っているだけではいけない。
予習と授業参加が絶対条件。

正当な理由なく全出席数の3分の1以上欠席したものには単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。遅刻とみなすのは始業から30分までである。

成績評価の方法
教科書/テキスト

各学期毎の試験、小テスト、提出物の達成度合、授業態度等による総合評価
Smash Hit Listening マクミラン・ランゲージハウス ISBN4-89585-480-9 C3082

外国語

履修コード	254701・255011
科目名	英語ⅡB
担当者名	太田 <small>おおた</small> 由紀子 <small>ゆきこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 映画を鑑賞することで、その映画に関する英文エッセイをリアルな感覚で読んでもらう。そうすることで、楽しみつつ確かな内容把握を可能としたい。作品中に英詩が登場する様々な映画は、諸君を多元的な知の世界へ誘うであろう。愛、生そして死の主題などを考察する中で、背景となる歴史や文化などにも興味を持ってほしい。ところで映画はさまざまな場面により構成されているが、その中で発される台詞(せりふ)は、これまたリアルである。感情を伴いながら映画を視聴することで、台詞を深く記憶に留めてほしい。

講義の内容／授業スケジュール テキストには20編の映画に関する英文エッセイが掲載されているが、授業では20編全てを同等に扱うわけではない。映画によって費やす授業時間が異なるが、詳細については授業時に指示したい。上映は基本的に映画の一部とする。字幕については日本語字幕と英語字幕を適宜切り替えてみたい。上映後に英文エッセイを読む予定である。読解の際には、文法構造に注目しながら解説あるいは質問してゆく。

準備学習 映画に関する英文エッセイを予め読み、あわせて掲載されている簡単な練習問題を行っておく。ところでテキストには映画とそこに登場する英詩との関係を記した和文エッセイも掲載されている。これは英文エッセイの内容把握に有用なばかりか、映画への理解を深めるのに役立つ。活用を是非お勧めする。

履修上の留意点 毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。
成績評価の方法 授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。
教科書／テキスト 松浦暢ほか The Poetry of Film (『英詩で味わう映画』) 金星堂 1900円(税別) ISBN: 4-7647-0977-5

参考書 安井稔『英文法総覧』(開拓社)、江川泰一郎『英文法解説』(金子書房)

外国語

履修コード	257561
科目名	英語ⅡB
担当者名	大瀧 <small>おほたき</small> 利春 <small>としはる</small>

講義の到達目標(ねらい) 英語IBを基礎として、より高度な英文読解力の習得を目指す。
講義の内容／授業スケジュール 授業の前半で英語のヒットソングを聴き、リスニング力の向上を図る。後半では長文読解を行う。同時にTOEICの練習問題も解いていく。年間スケジュールに関しては、2時間で1章のペースで読み進めていきたい。具体的には前期で1～7章、後期で8～14章を読む予定である。なお、前後期それぞれ最後の授業で定期試験を行う。

準備学習 授業参加には予習が必要。
履修上の留意点 授業には必ず辞書(電子辞書でも可、携帯電話の辞書機能は不可)を持参すること。
成績評価の方法 前後期2回の定期試験の結果をベースとして、それに出席状況、授業参加度、その他の課題の結果などを加味し、総合的に評価する。

教科書／テキスト Teruhiko Kadoyama & Simon Capper著 English with Hit Songs『ポップスで学ぶ総合英語』成美堂、2100円(税別)、ISBN 978-4-7919-3086-9

履修コード	350401
科目名	英語ⅡB
担当者名	荻野 <small>おぎの</small> 一成 <small>かずしげ</small>

講義の到達目標(ねらい) 世界の文化、政治経済、情報、教育、科学、環境、娯楽、スポーツなどのあらゆる分野のニュースを通してReading, Listening, Speaking, Writingのバランスのとれた英語運用力を養うことを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 授業では英文を精読し、内容を理解し、特に読解力を身につけることに主眼をおきます。さらに、練習問題を通して総合的な英語能力の向上を目指します。授業はLesson 1～6を前期でおこない、Lesson 7～12を後期でおこないます。

履修上の留意点 かならず毎時間の予習が必要である。
成績評価の方法 前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。
教科書／テキスト [1/2版: ニュースメディアの英語2010年度版] (朝日出版) 1,100円 ISBN978-4-255-15483-1

履修コード	259401
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>おちあい まゆ</small> 落合 真裕

講義の到達目標(ねらい)	様々なジャンルの英文を読む力を養っていきます。また、速読の練習を通して素早く正確に英文を理解する力を身につけていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	写真や音声とともに、文化、社会学、旅、サイエンス、アドベンチャーなど、多彩な分野の英文を読んでいき、読解力とともに、頻出度の高い語彙の習得も図ります。 【前期】第1回：ガイダンス、第2回～第14回：Unit 1 Art Therapy ～ Unit 7 Genetically Modified Foods、第15回：前期試験 【後期】第1回～第14回：Unit 8 Empires of the Stars ～ Unit 15 A World Currency、第15回：後期試験
履修上の留意点	・予習を前提に授業を進めていきますので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。 ・辞書を必ず持参してください。 ・授業の2/3以上の出席が必要です。 ・遅刻3回で1回の欠席と計算します。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期・後期試験、出席状況、課題、授業中の発表などから総合的に評価します。 Andrew E. Bennett著、『Reading Fusion 2』、南雲堂 ¥2,200 ISBN978-4-523-17665-7

外国語

履修コード	257201
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>おふせ けいぞう</small> 小布施 圭佐三

講義の到達目標(ねらい)	ビジネスに関する英文の記事を読み、実社会で役立つ国際ビジネスの常識と基礎英語コミュニケーション能力を身につける。
講義の内容／ 授業スケジュール	1. ガイダンス (授業を展開する上で) 2. 第1章(What is Business?) 3. 第2章 4. 第3章 5. 第4章 6. 第5章 7. 第6章(Men's and Women's Roles) 8. 第7章 9. 第8章(Filing or Piling) 10. 小テスト 11. 第9章 12. 第10章 13. 第11章 14. 第12章 15. 中間テスト 16. 第13章(Time Difference) 17. 第14章(Offices are Evolving) 18. 第15章 19. 第16章 20. 第17章(When You Use the Phone) 21. 第18章 22. 第19章 23. 第20章 24. 第21章(Money in the Future) 25. 小テスト 26. 第22章 27. 第23章 28. 第24章 29. 第25章 30. 期末テスト
履修上の留意点	進度は各課90分で消化。受け身の授業ではなく、ペア・ワークを多用し、授業の活性化をはかります。音声指導に当たっては、テープレコーダーを使用します。
成績評価の方法	出席(30点) / レポート・授業貢献度(20点) / 小テスト・中・期末テスト(50点) / などを加味して総合評価します。
教科書／テキスト	著者：青木雅幸/監修：Peter Williams/The Globalized Business World (世界のビジネス事情と文化) (成美堂) 1,900円 ISBN978-4-7919-3085-2 C1082

履修コード	256801
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>きつかわ なおずみ</small> 吉川 直澄

講義の到達目標(ねらい)	英語IBを基礎として、大意の把握を心がけつつ、英文を正確に理解する技術を総復習する。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期15回で、テキストのLesson4まで学習し、前期試験を行ない。後期15回で、Lesson7(最終章)まで学習し、後期試験を行なう。
履修上の留意点	英語は演習科目に相当する。出席は、原則として、3分の2以上必要であり、授業内課題(宿題、小テスト等)は重視される。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席、課題、前期後期試験を総合的に検討して評価する。 Intensive Training for thr TOEIC Test 成美堂 2500円 (CD付き) ISBN-4-7919-1047-8
参 考 書	Elizabeth Bronfen, Home in Hollywood: Film and Culture, Columbia University Press, 2004. (ただし、購入の必要はない。)

履修コード	255801
科目名	英語ⅡB
担当者名	くじみ あきこ やしま なおこ 国見 晃子・矢島 直子

講義の到達目標(ねらい) この授業では、難関な長めの英文を複数回に分けて熟読する授業というよりは、比較的読みやすい英文を多読・速読する授業となります。使用するテキストには『ナショナル・ジオグラフィック』の記事と写真や映像が使われていますが、この授業で「一つの記事を一気に読む」のが苦でなくなる、また習慣になる、というのが目的の一つとなります。これを機に、授業だけでなく自ら英文の雑誌や新聞(サイトを含む)を読む機会が増えれば更にいいかと思います。

取り上げる英文の内容は、世界の文化や自然、人間や動物の持つ驚異の力、など多岐に渡ります。どの内容でも共通して言えることは、将来、日本人を含め、様々な国の方と交流する際に「会話のネタ」となるように、またその題材について「意見交換」ができるようになるのが、長期的な目標となります。「ただ授業で読んで終わり」ではなく、再度自分の英語で説明できるようにし、更にそれに対し自分の意見を述べたり、相手の意見を聞くことができるようになるのが、更なる目標としてお考えください。

以下の内容を実際の授業日数に配分して講義を行います。

第1回：前期授業ガイダンス
 第2回～3回：Unit 1 Sport and Fitness
 第4回～5回：Unit 2 Skin Deep
 第6回～7回：Unit 3 Animal in Danger
 第8回：Review
 第9回～10回：Unit 4 Violent Earth
 第11回～12回：Unit 5 Islands and Beaches
 第13回～14回：Unit 6 Ancient Mysteries
 第15回：前期期末テスト

第16回：後期授業ガイダンス
 第17回～18回：Unit 7 Global Addictions
 第19回～20回：Unit 8 Legendary Voyages
 第21回～22回：Unit 9 Stories of Survival
 第23回：Review
 第24回～25回：Unit 10 All in the Mind
 第26回～27回：Unit 11 Art and Life
 第28回～29回：Unit 12 Medical Challenges
 第30回：後期期末テスト

準備学習
履修上の留意点

必ず必ず予習をしてきて下さい。
 予習は絶対に必要です。
 遅刻3回(30分以内)で1回欠席とみなします。
 半期に欠席を5回した時点で、単位取得が不可能となります。
 正当な理由がある場合には、それを証明する書類を早めに提出して下さい。
 (必ずしもすべての書類が受理される訳ではありません。)

成績評価の方法

成績は以下の配分で評価します。
 前期期末テスト：40%
 後期期末テスト：40%
 予習状況・授業内での発表・出席率等：前期10%+後期10%
 総合得点60%以上が単位取得となります。

教科書/テキスト

Nancy Douglas
 Reading Explorer, Book 3
 (Student Book with Student CD-Rom)
 HEINLE CENGAGE Learning
 ¥2,850
 ISBN: 978-1-4240-2938-9

履修コード	258011
科目名	英語ⅡB
担当者名	こいずみ かずひろ 小泉 和弘

講義の到達目標(ねらい)	英語ⅡBを基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度をあげる。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。
講義の内容／ 授業スケジュール	1. ガイダンス 2. Parliament, Election 3. Money 4. Galileo, Newton 5. Einstein, Shakespeare 6. Novels 7. Leonardo da Vinci, Michelangelo 8. Music 9. Beethoven 10. Beatles 11. Clothes, Food 12. Houses 13. Baseball 14. 試験 15. 答案返却 16. イギリス 17. ドイツ(1) 18. ドイツ(2) 19. フランス(1) 20. フランス(2) 21. イタリア 22. アメリカ(1) 23. アメリカ(2) 24. カナダ 25. 中国 26. ロシア(1) 27. ロシア(2) 28. 日本 29. 試験 30. 答案返却
成績評価の方法 教科書／テキスト	試験60%,出席率及び授業態度40%。 前期: A Well Of Information 『知識の泉』(鳳書房) 1,800円 後期: Major Countries In The World 『世界の主要国』(鳳書房) 1,800円

履修コード	256001
科目名	英語ⅡB
担当者名	ことみ なげし 古雷 猛

講義の到達目標(ねらい)	物語を読むことで、単語と文型を、増やし、会話の力をつける。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)小テスト、(2~4)Unit1,2、(5~7)Unit3,4、(8~10)Unit5,6、(11~13)Unit7,8、(14~16)Unit9,10、(17~19)Unit11,12、(20~22)Unit13,14、(23~25)Unit15,16、(26~28)Unit17,18、(29~30)Unit19,20
準備学習	必ず予習をする。 わからない単語は辞書で調べておく。
履修上の留意点	予習をしてくること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期と後期の試験。平常点で評価する。 クラスにて、指示する。

履修コード	256011
科目名	英語ⅡB
担当者名	こみとう まほり 近藤 真彫

講義の到達目標(ねらい)	時事英語の正確な読解力を養い、英語を通じて世界の動きについて考える習慣を身につける。
講義の内容／ 授業スケジュール	【前期】第1週: ガイダンス 第2~14週: 主に英字新聞の記事を参照しながら、時事英語を読むための基礎を学ぶ。第15週: 復習 【後期】第1週: 前期試験の解答 第2~14週: 前期で学んだことをふまえてリアルタイムで様々な英文記事を読んでいく。第15週: 復習
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価する。 授業でプリントを配布する。

履修コード	259901
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>ささき たかし</small> 佐々木 隆

講義の到達目標(ねらい)	平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英語の実践的コミュニケーション能力を目指した授業を行う。できるかぎり英文で思考し、発音し、そしてライティングへと向かうことが必要である。そのために多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英語の表現方法を習得して行く。聞く、読む、訳す、さらには書くなどの分野を連動させながら進める。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 講義の内容説明、(2～14) テキスト等を順次行なう。なお、TOEICの練習問題等なども毎回行なう予定である。(15) 夏休み前に大きな試験を実施予定。(16～29) テキスト等を順次行なう。なお、英作文的な要素も取り扱う予定である。(30) まとめの試験を実施 *全体的にはテキストや補助教材を毎回コンスタントに進める。なお、補助教材はこちらで用意する。
準備学習	サブテキストも配付する予定なので、教科書と合わせて、予習はしっかりと行なうこと。授業中の活動は多くなる予定である。なお、リーディングについてはスピードよりもリズムを重視して下さい。
履修上の留意点 成績評価の方法	教科書、辞書は必ず持参すること。 出席(3分の2以上を原則)と授業中の活動、試験の結果の総合評価とする。考え方としては、出席と授業中の活動を200点、試験の結果を200点とし、それを4で除したものの。欠席が全体の3分の1以上をはるかに越えた場合には、試験の結果がよくても全体の評価は60点未満となるので要注意。
教科書／テキスト	Hiroko Katanoda / Thian Wong. TOEIC TEST LISTENING 450 南雲堂 定価(本体700円+税) ISBN978--523-17589-6
参 考 書	授業中に順次指示する
関 連 リ ン ク	http://www.ssk.econfn.com

履修コード	350501
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>ささき たかし</small> 佐々木 隆

講義の到達目標(ねらい)	平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英語の実践的コミュニケーション能力を目指した授業を行う。できるかぎり英文で思考し、発音し、そしてライティングへと向かうことが必要である。そのために多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英語の表現方法を習得して行く。聞く、読む、訳す、さらには書くなどの分野を連動させながら進める。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 講義の内容説明、(2～14) テキスト等を順次行なう。なお、TOEICの練習問題等なども毎回行なう予定である。(15) 夏休み前に大きな試験を実施予定。(16～29) テキスト等を順次行なう。なお、英作文的な要素も取り扱う予定である。(30) まとめの試験を実施 *全体的にはテキストや補助教材を毎回コンスタントに進める。なお、補助教材はこちらで用意する。
準備学習	補助教材の予習は必須である。
履修上の留意点 成績評価の方法	出席や授業中における活動状況も評価等に含まれる。 出席(3分の2以上を原則)と授業中の活動、試験の結果の総合評価とする。考え方としては、出席と授業中の活動を200点、試験の結果を200点とし、それを4で除したものの。欠席が全体の3分の1以上をはるかに越えた場合には、試験の結果がよくても全体の評価は60点未満となるので要注意。
教科書／テキスト	Hiroko Katanoda / Thian Wong. TOEIC TEST LISTENING 450 南雲堂 定価(本体700円+税) ISBN978--523-17589-6
そ の 他 関 連 リ ン ク	授業ではかならず辞書を携帯すること。なお、携帯電話の辞書では不足する。 http://www.ssk.econfn.com

履修コード	350511
科目名	英語ⅡB
担当者名	佐藤 ^{さとう} アヤ子 ^{あやこ}

講義の到達目標(ねらい)	アカデミック・リーディング及びアカデミック・ライティングの基本であるパラグラフについて学びます。パラグラフの構造を理解することは早読み、斜め読みにも通じます。また、日本語論文を書くときにも役立ちます。 パラグラフの構造を理解することは、TOEFL、TOEIC対策にもなります。 パラグラフの概念をしっかりと学びましょう。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期はChapter1-6まで学び、前期の最終授業日にテストを行います。 後期はChapter7-13を学びます。学期の終わりにテストを行います。 前の週に学んだ章の単語テストを毎回行います。
準備学習	サブテキストも配付する予定なので、教科書と合わせて、予習はしっかりと行なうこと。
履修上の留意点	教科書、辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席（3分の2以上を原則）、毎回の単語テスト、宿題レポート、前・後期試験の結果の総合評価とします。
教科書／テキスト	Get Your Message Across-Writing Communicative Paragraphs 神保尚武他著 南雲堂 定価（本体2000円＋税）ISBN978-4-523-17593-3 及び必要に応じてプリント使用
参考書	授業中に紹介。

履修コード	259951
科目名	英語ⅡB
担当者名	佐藤 ^{さとう} 江里子 ^{えりこ}

講義の到達目標(ねらい)	IB(Reading/Listening Comprehension)を基礎として、更なる多読・速読をめざす。 テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。 その他に、補足プリントを配布し、基礎からTOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)オリエンテーション・実力テスト、(2~13)Unit1~10、(14)総括、(15)前期テスト (16)自由英作文・実力テスト、(17~28)Unit11~20、(29)総括、(30)後期テスト ※（ ）内は授業回数、基本的に一回に1unitずつ進む。
準備学習	必ず予習をする。 わからない単語は辞書で調べておく。
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。 授業に関係ないこと（私語や他の教科をする、携帯を使う、寝などの行為）をした場合は欠席扱いとする。 授業中の携帯電話の使用は、一切認めない（辞書機能使用も不可）。 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達している場合のみ、評価の対象となる。
成績評価の方法	年2回（前期後期）の定期試験（50％）と小テスト、提出物、課題、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。 定期試験には基準点があり、年2回の定期試験の平均が基準点を越えなければ、評価できない場合がある。 授業態度を重視する。 履修上の留意点をきちんと守れない場合は、大幅な減点となる。
教科書／テキスト	『エコイノベーションと繁栄』（南雲堂）1,900円＋税

履修コード	256901
科目名	英語ⅡB
担当者名	清水 ^{しみず} 雅夫 ^{まさお}

講義の到達目標(ねらい)	環境への対応を重視するライフスタイルと、それに関連するビジネスについての文章を読みながら、読解力の向上（語彙を増やすこと、構文を把握する力を高めること）を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	全20章のうち12章を選び、各期に6章ずつ学習してゆく。3章ごとにテストを行う。授業では、本文の訳や練習問題の答を尋ねる。
履修上の留意点	予習をして来ること。テキストを忘れたときはコピーを準備すること。
成績評価の方法	評価は、テスト80％、出席点20％、平常点±20％の割合で行う。授業実施時数の3分の2以上出席することが合格の最低条件である。
教科書／テキスト	ペロケティ、千葉、他4名著『グリーンライフとビジネス』（南雲堂）1,900円 ISBN978-4-523-17663-3

履修コード	258001
科目名	英語ⅡB
担当者名	進藤 桃子

講義の到達目標(ねらい) IBを基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度を上げる。なるべく和訳せず、英語のまま理解するよう努力する。

講義の内容／授業スケジュール なるべく和訳しないで読みたいので、初めの内は1章を2～3回の授業で読む。慣れてきたらペースを上げる。

準備学習 辞書をよくひきながら、予習・復習する

履修上の留意点 出席を重視します。熱意を高く評価します。

成績評価の方法 前期、後期末に行うテストが70%
出席や、授業中に行う小テスト、レポートなどが30%

教科書／テキスト Mystery Tour with Sherlock Holmes - シャーロック・ホームズと巡るミステリーの旅
Atsuko Uemura and Miwako Yamashina
CENGAGE Learning ¥1785 ISBN 978-4-86312-113-3

履修コード	258801
科目名	英語ⅡB
担当者名	鈴木 美貴子

講義の到達目標(ねらい) 英文記事を読みながら、語彙をふやし英文読解力を高める

講義の内容／授業スケジュール 第1回前期オリエンテーション、第2～13回Unit 1～6まで、二週で一つずつUnitを進む、第14回Unit 7、第15回前期試験、第16回後期オリエンテーション、第17～28回Unit 8～13まで、二週で一つずつ進む、第29回後期試験、第30回まとめ。随時こちらが用意したTOEIC練習問題にも取り組んでいただく。

準備学習 辞書をよくひき、英文を読んでおく

履修上の留意点 予習必須。授業に必ず辞書を持参し、授業中もよくひくこと。

成績評価の方法 出席状況(出欠席・授業への姿勢)、前期・後期試験、提出物により総合的に評価する

教科書／テキスト 塩見佳代子『Global Trends in Business最新国際ビジネス事情』(金星堂、1900円)
ISBN 978-4-7647-3924-6 C1082

履修コード	259801
科目名	英語ⅡB
担当者名	高野 秀夫

講義の到達目標(ねらい) プリントと教科書で授業を進めます。
プリントの英字新聞、雑誌、インターネット等の記事では、日常生活に役立つ英文を読みます。いろいろな種類の読み物が載っている教科書では、Natural Speed で英文を読み、聞き、英語による質疑応答で物語の内容理解に努め、特に、英語の構文に焦点をあてならリーディングの能力養成を図ります。

講義の内容／授業スケジュール 今現在、世間で話題になっている英文記事のプリントを、Q&Aで読み進めます。教科書では、内容に沿って年間授業計画を立てています。前期は Unit 1 - 6、後期は Unit 7 - 12まで進む予定です。

準備学習 英語による質疑応答があるので予習は欠かさないこと。
興味深い英文の本や雑誌の記事には、普段から積極的に眼を向けること。

履修上の留意点 期末試験、平常点(出席、授業への取り組み等)

成績評価の方法 2 Cover to Cover (Oxford) ISEN 9780194758147

教科書／テキスト 出席には、特に気をつけること。

その他

履修コード	258101
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>たかみ ようこ</small> 高見 陽子

講義の到達目標(ねらい)	1年次までに学んだ速読の基礎を踏まえ、より多くの量の英文を的確に読みこなす力を身につけることを目標とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	テキストの英文を「理解しながら読み進める」ことに重点を置きます。(一文一文を整った日本語に訳しながら読むのではなく、頭から読み下していくことに慣れるよう練習します。)必要に応じて文法事項や構文に関する解説を加えます。 第1回：イントロダクション(授業内容および評価方法、注意点の確認。リーディング・スキルについて) 第2～3回：グループワーク 第4～13回：テキストによるリーディング演習 第14～15回：前期フィードバック 第16～17回：グループワーク 第18～28回：テキストによるリーディング演習 第29～30回：後期フィードバック
準備・学習 履修上の留意点	指定された箇所の予習は必ず行うこと。
成績評価の方法	必ず辞書を持参すること。全授業回数3分の2以上の出席を必須条件とします。 前・後期末に実施する試験(50%)、レポートおよび小テスト(30%)、平常点(20%)による総合評価とします。各項目の詳細および留意点については、初回授業で説明します。
教科書／テキスト	未定

外国語

履修コード	254801
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>たなか やすこ</small> 田中 靖子

講義の到達目標(ねらい)	外国のニュースをまとめた教材を使用しながら、読解力、語彙力、異文化理解力の向上を目的とする。英文を理解するために不可欠な基本的文法事項、語法を確実に習得する。音読を多く取り入れることにより、英文の語順のままに、頭から理解できることをめざす。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 クラスオリエンテーション 第2～7回 Unit 1～Unit6 第8回 前期中間テスト 第9回～13回 Unit 7～Unit 11 第14回 前期のまとめ 第15回 前期期末テスト 第16回 前期期末テストの返却 後期クラスオリエンテーション 第17回～22回 Unit 12～Unit 17 第23回 後期中間テスト 第24回～28回 Unit18～Unit 22 第29回 後期のまとめ 第30回 後期期末テスト
準備・学習 履修上の留意点	予告のあったところは必ず読んで、わからない語句は辞書で調べておくこと。 毎時、授業内の課題は提出してもらい平常点としていくので、教科書ともに辞書を持参すること。
成績評価の方法	1 以下のような基準で総合的に評価する。 前期テスト 30% 後期テスト 35% 前期中間テスト 10% 後期中間テスト10% 授業への参加状況 (授業内課題、授業への貢献度) 15% 2 前後期ともに3分の2以上の出席を必要としている。それに満たない場合は定期試験を受ける資格がなくなるので注意すること。 3 公的な欠席と認められるには、証明書の提出が必要である。
教科書／テキスト	1 書名 True Stories in the News 3 2 出版社 Pearson Longman 2840円 3 ISBN 978-0-13-615481-5

履修コード	259961
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>たなか やすこ</small> 田中 靖子

講義の到達目標(ねらい)	映画のストーリーをまとめたリーディング教材を用いて、読解力、語彙力の向上をめざす。まずは、英文を理解するために不可欠な基本的な文法、語法を確実に習得させ、さらに実際の映画映像を通して、生きた英語表現に触れる。そのような活動を通して、英文の内容を原文のままに理解していくような、英語の学習習慣を身につけさせたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) オリエンテーション (2) 映画視聴 (3) Unit 1 Introduction (4) Unit 2 (5) Unit 2 (6) Unit3 (7) Unit4 (8) 前期中間テスト (9) Unit4 (10) Unit5 (11) Unit 5 (12) Unit6 (13) unit7 (14) unit 8 (15) 前期期末テスト (16) 前期テスト返却 映画視聴 (17) Unit 9 (18) Unit 9 (19) Unit 10 (20) Unit 10 (21) Unit 11 (22) Unit 11 (23) Unit 12 (24) Unit 12 (25) Unit 13 (26) Unit 13 (27) Unit 14 (28) Unit 14 (29) 総復習 (30) 後期末テスト
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	事前に予告のあったところは、読んでわからない語句などは調べてから授業に臨むこと。 毎時、授業内の課題は提出してもらい平常点としていくので、教科書ともに辞書を持参すること。 1 以下のような基準で総合的に評価する。 前期テスト 30% 後期テスト 35% 前期中間テスト 10% 後期中間テスト10% 授業への参加状況 (授業内課題, 授業への貢献度) 15% 2 前後期ともに3分の2以上の出席を必要としている。それに満たない場合は定期試験を受ける資格がなくなるので注意すること。 3 公的な欠席と認められるには、証明書の提出が必要である。
教科書／テキスト	1 書名: 映画で学ぶ大学英語の基礎 (Step Up with Movie English) 2 出版社: 金星堂 2000円 3 ISBN: 978-4-7647-3897-3

外国語

履修コード	259501
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>つかもと としあ</small> 塚本 利男

講義の到達目標(ねらい)	1Bを基礎として、絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、出来るだけ多くの英文を速く、正確に読むことを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	現代社会のさまざまな問題に関する英文テキストを読み進め、大意の把握やより速く正確に英文を読む練習をする。(1) オリエンテーション (2-14) スフィンクス, 左利きき天才, ジェファニー・ロベス, 油漏れにご注意など, (16-29) スピードデート, メジャーリーグ, 砂丘を歩こう, 芸術は爆発だなどの内容の英文を読みます。(15と30) 前期と後期のテストを実施します。毎回、授業の総仕上げとして最後にテキストの問題を提出する。
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	必ず予習をして出席すること。 授業に積極的に取り組むこと。原則として3分の2以上出席すること。 出席, 発表などの平常評価 (25%), 小テスト (25%), 前期・後期のテスト (50%) により総合的に評価する。
教科書／テキスト	Casey Malarcher・森田彰・原田慎一, "Advanced Faster Reading (速読の発展演習)" 1,700円+税 (成美堂) ISBN978-4-7919-4625-9

履修コード	259701
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>ながの こういち</small> 永野 光一

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

IBを基礎として、より高度なリーディング力を養成。
現代社会のさまざまな問題に関する英文ニュースを読み進め、生きた英語を学びながら大意の把握やより速く正確に英文を読む練習をする。(1) Orientation (2-8) The Homeless World Cup, Herbivorous Boys, Animal Masters, Revolutionary TVs, It's a PIG World (9-15) Male-maid at Your Service, True Champion, Unhealthy Advertisements, Do You Like it Thick?, Ecological Coffins (16-23) Let's Ride!, Will of an A-Bomb Survivor, Death Match for the Tourist Industry, Fork in the Road, Illegal Ringtone (24-30) Mad for Buddhist Statues, Smart Energy, Elvis, the Star, Shaolin Monks Tackling Finance, A Secret Agreement Discovered

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

前回授業内容の復習をし小テストの準備をすること。
授業に積極的に取り組むこと。原則として3分の2以上出席すること。
出席と授業への積極的な取り組み、時事および基本英語表現の小テストを重視。中間・期期末テストと合わせ総合的に評価。

教科書/テキスト

Miyama, Akiko, Murao, Junko, Koga, Yuya and Fioni, William (2011), "Insights 2011 (世界を読むメディア英語入門2011)" (金星堂) 1900円 ISBN978-4-7647-3913-0

外国語

履修コード	258301
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>にしだ よしかず</small> 西田 義和

講義の到達目標(ねらい)

英語学習の基本的な方法は、英文を正しく読み、訳し、内容を理解することである。そうした中で高校と大学との接続面で、英語教育も現状に合わせた教材が必要となってきます。この教材は、各課に付けられた英文は、日米の異文化理解に役立つ内容である。特筆すべきことは、本教材の特色の一つが英語の総合演習のテキストであることです。

講義の内容/
授業スケジュール

前期・後期を通じて毎時間多くの学生にやってもらい、その後教師が説明し、また学生が自分の考えと違った場合等学生の疑問にきちんと答えていきたい。

次に授業の計画について示すこととする。
第1回と2回はUnit 1.基本文1 (5文型)
第3回と4回はUnit 2 基本文2(第5文型の応用)
第5回と6回はUnit 3 助動詞
第7回と8回はUnit 4 疑問・否定
第9回と10回はUnit 5 時制
第11回と12回はUnit 6 発音とアクセント
第13回と14回はUnit 7期本動詞の特性1
第15回は試験
後期
第1回と2回はUnit 8 基本動詞の特性2
第3回と4回はUnit 9名詞と代名詞
第5回と6回はUnit 10名詞と冠詞
第7回と8回はUnit 11英和辞書の使い方
第9回と10回はUnit 12 形容詞と比較
第11回と12回はUnit 13副詞
第13回と14回はUnit 14接続詞
第15回は後期の試験

履修上の留意点
成績評価の方法

予習や復習は必ずして、授業に参加してください。また辞書は持参してください。
出席状況、授業態度、発表の内藤、試験の結果等を総合して評価をおこなう。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

教科書/テキスト

『コミュニケーションのための大学英語入門』加藤忠明著その他数名定価1900円(税は別)南雲堂

履修コード	257571
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>にしはら かつまさ</small> 西原 克政

講義の到達目標(ねらい)	異文化を理解する際に、常に判断基準となるのは自国の文化との類似点と相違点であるのは、自然であるように思われます。アメリカのさまざまな変化を社会が抱える問題の現象として、われわれの文化と比較検討しその解決策を模索しようというのが、この講義のねらいです。21世紀を10年経た今から見た、10年前のアメリカの現状を比べてみたいと思います。
講義の内容／ 授業スケジュール	1.Orientation 2.Introduction:Sharing My Thoughts 3. Introduction:Sharing My Thoughts 4.The USA Looks Different 5.The USA Looks Different 5.Americans Look Different 6.TALK SHOW 7.Changing Attitudes Toward Work 8. Women, Work, and Marriage 9.TALK SHOW 10. Is There an American Family? 11. Are Schools Safe? 12. TALK SHOW 13.The Cult of Violence 13. The Responsibility of Media 14. TALK SHOW 15.Growing Old in a Youth Culture 16. Are Americans Physically (Un)Fit? 17. TALK SHOW 18. Altruism vs. Egoism 19. Technology and Communication 20. TALK SHOW 21. Reviving Responsibility 22. The Human Side of Education 23. TALK SHOW 24. Ethics Matter 25. Global Partnership 26. TALK SHOW 27.Looking at the USA 28.Looking at Japan 29.Comparing Different Cultures 30. Summary
準備学習	テキストを事前に学習し、新しい語彙を記憶に定着したうえで、授業に出ること。徐々に正確に把握出来るようになりますから、初めのうちは出来なくても気にせず、準備学習を継続させることです。
履修上の留意点	授業を休まないこと。授業回数の3分の1以上欠席すると、得点数が基準に達しないので、注意すること。中間試験、定期試験を休まないこと。出席と授業中のプレゼンの評価を重視する。
成績評価の方法	一応の目安として、平常評価としての出席10%（ただし、皆勤の場合）、中間試験30%、定期試験30%、授業でのプレゼンテーション30%とします。
教科書／テキスト	ジョン・マコンネル『今日のアメリカとそのゆくえ』金星堂 1838円 (ISBN)4-7467-3704-3
その他の	特になし。

履修コード	256101
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>はなわ みちこ</small> 塙 美智子

講義の到達目標(ねらい)	1年次の読解力を基礎として徐々にリーディングのレベルを深め、より高度な英語の運用能力を身につけることを目標とする。授業は基本的にテキストを中心に行う。
講義の内容／ 授業スケジュール	英語力を高めるために様々な話題や出来事について関心を抱くと同時に楽しく多面的な英語学習を行う。
履修上の留意点	出席は大切ですので重視します。語学の特質として持続の心構えが大切ですので宿題や課題提出を求めることがあります。
成績評価の方法	出席重視。レポート提出、小テスト、授業態度、前期、後期試験の総合評価で示します。
教科書／テキスト	Science World' Vol.2 朝日出版社
参考書	開講時に指示します。
その他の	欠席はなるべく避けて下さい。

履修コード	350301
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>はやし たかのり</small> 林 孝憲

講義の到達目標(ねらい)	速読の訓練を行うと同時に、正確に構文を理解して読んでゆく。パラグラフリーディングのスキルを身につけることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	中級の英文をできるだけ早く読めるようにし、必要に応じて精読も行う。内容は時事的な社会科学である。
準備学習	単語の意味調べなどの予習が必要となる。
成績評価の方法	平常での発表・出席及び前後期の試験の結果を含め、総合的に評価する。
教科書／テキスト	『skills for better reading (改訂版)』(南雲堂) 1700円+税 ISBN978-4-523-17603-9

履修コード	259811
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>ひわたり しゆんこう</small> 樋渡 俊光

講義の到達目標(ねらい) 国際人育成の為、国際人としての英語力を身につける為に高度な英語構文の理解とその習得をはかる。又副教材を通して基礎的なBusiness Englishの習得をはかる。

講義の内容／
授業スケジュール 国際社会のさまざまな新事情を学ぶ内容とする。
AmericaのSchool ID Tags・他(1-6) Hackers・他(7-12) イギリスの話題・他(13-18) 認知症の問題・他(19-24) 南アフリカ問題・他(25-30)
副教材：Business English, Japan Times等を授業内に取り入れる。

履修上の留意点 教材の予習、辞書持参

成績評価の方法 年2回の学期試験、予習具合、出席状況にて評価

教科書／テキスト 未定

履修コード	257501
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>ほんま としかず</small> 本間 俊一

講義の到達目標(ねらい) Textの英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。

学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

教材として、映画映像を利用し、スクリプトを音声で理解する力を養う。

講義の内容／
授業スケジュール 4月 ガイダンス
4月中旬～7月 Text Unit1～Unit5の学習
7月後半 前期授業内テスト
9～11月 Text Unit6～Unit10の学習
12月 後期授業内テスト

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。

授業の出席は3分の2以上必要、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、授業外でもパソコン・ネットワークを利用して、提出可能であるからその方法を習熟されたい。

教科書／テキスト Roman Holiday『ローマの休日』(英光社)2,000円 ISBN 978-4-87097-103-5
その他の他 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
USBフラッシュメモリを携帯すると便利です。

履修コード	254901
科目名	英語ⅡB
担当者名	<small>まへだ おさむ</small> 前田 脩

講義の到達目標(ねらい) 英文を読み解くことで、日本文化と英語圏文化の違いを学びます。

講義の内容／
授業スケジュール テキスト12課を2回の授業で1課づつ進みます。その他、新聞英語、ニュースウイークなどの記事をコピーしたものを使います。

準備学習 予習復習を必ずしてきてください。

履修上の留意点 日ごろから英語に親しむように、英文新聞雑誌等に目を通してください。

成績評価の方法 日常評価30% 前期テスト20% 後期テスト、小テスト50%の割合で評価します。

教科書／テキスト 1) 高橋優身 2) 「1/2版 ニュースメディアの英語」 3) 朝日出版社
4) ￥1,100 5) ISBN 978-4-255-15505-0

履修コード	257801
科目名	英語ⅡB
担当者名	町田 成男

講義の到達目標(ねらい) IBで学んだ英語力を基礎として、英語を理解する能力の向上を目的とします。リーディングに関しては、現代アメリカを理解する上で必要不可欠なトピックを紹介した英文を、より速く正確に読む訓練を行っていきます。リスニングに関しては、TOEICのリスニング問題等を毎時間行う予定です。(1~14週)Chapter1~7 (15週)テスト (16~29週)Chapter 8~15 (30週)テスト

講義の内容／授業スケジュール
準備学習 毎時間必ず辞書を持ってくること。
常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。

履修上の留意点 出欠は必ず取る。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。
毎時間全員を指名する予定なので、教科書の予習は不可欠。

成績評価の方法 出席、発表50%、テスト50%の割合で評価する。

教科書／テキスト 現在未定につき、一回めの授業で発表。

履修コード	258901
科目名	英語ⅡB
担当者名	町田 成男

講義の到達目標(ねらい) 英文に対しての思考方法を学び、運用能力を高める。また可能な場合、コンピュータを使用し、実践的な英文読解および、速読法を学ぶ。

講義の内容／授業スケジュール 1 イントロ (1) 2 英文の構成速読法 (2~12) 3 前期のまとめ (13~14) 4 前期試験 (15) 5 長文英語の読解法 (16~27) 6 後期のまとめ (28~29) 7 後期試験 (30)

履修上の留意点 出席しているだけでは評価されない。積極的な授業態度が求められる。

成績評価の方法 出席態度及び毎回授業中に課する小レポート、2回の学期末試験、その他の課題を総合的に判断し成績評価を行う。

教科書／テキスト 現在未定につき一回めの授業で発表。

履修コード	259971・255901
科目名	英語ⅡB
担当者名	松堂 啓子・大場 直樹

講義の到達目標(ねらい) パラグラフの大意を把握しながら、文章全体の論理的構成を理解することを目指します。

講義の内容／授業スケジュール テキストを一章から順番に読み進めます。また、中間試験を四回行う予定です。

準備学習 開講時に指示します。

履修上の留意点 単位取得には、授業日数三分の二以上の出席が必要。

成績評価の方法 試験の結果と平常点で評価します。

教科書／テキスト 『Design Makes the World Go 'Round』 トムソンコーポレーション 1,900円
ISBN978-4-902902-77-8

履修コード	256121
科目名	英語ⅡB
担当者名	水崎 野里子

講義の到達目標(ねらい) 英語で書かれた詩を読んで行くことで英語の読解力と平明・簡潔な英語の文章に慣れて行きます。

講義の内容／授業スケジュール 前期 1.ガイダンス 2~11 読解練習。前期試験。
後期 読解練習。後期試験。

履修上の留意点 積極的な授業参加を希望します。辞書は必ず持参のこと。

成績評価の方法 前期・後期二度の年末試験・出席点・授業態度・授業参加度によって総合評価します。

教科書／テキスト 最初の授業で指示します。
担当教師(水崎)から購入のこと。
場合に応じて指示・配布します。

参考書 テキストと別に英語資料プリントを配布します。
各自フォルダーを用意してください。

履修コード	257901
科目名	英語ⅡB
担当者名	三幣 友行

講義の到達目標(ねらい)	英語ⅡBで学んだ英語を基礎として、英語読解能力の更なる向上を目指すとともに、その際必要な文法表現も同時に強化していきたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回～第2回 Lesson 1 第3回～第4回 Lesson 2 第5回～第6回 Lesson 3 第7回～第8回 Lesson 4 第9回～第10回 Lesson 5 第11回～第12回 Lesson 6 第13回～第14回 Lesson 7 第15回～第16回 Lesson 8 第17回～第18回 Lesson 9 第19回～第20回 Lesson 10 第21回～第22回 Lesson 11 第23回～第24回 Lesson 12 第25回～第26回 Lesson 13 第27回～第28回 Lesson 14 第29回～第30回 Lesson 15
準備学習 履修上の留意点	次回の授業でどのくらい進むかを予測し、予習をしておくこと。 予習を前提として授業を進める。教科書、辞書（電子辞書でも可）を毎回持参すること。欠席が授業全体の1/3を超えたら単位は認めない。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席点、平常点、小テスト点、前期試験、後期試験を総合的に評価する。 開講時に指示する。

履修コード	256501
科目名	英語ⅡB
担当者名	山口 晃

講義の到達目標(ねらい)	IIBでの勉強をさらに進める形で、より深いreadingへと進んでいきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	英文のテキストを毎回でいねいに検討していきます。
準備学習	プリントはあらかじめ配りますので、めいめいで一回まず予習をしておいてください。これはとても大切なことです。授業の中ではほかの人の発表に耳を澄まし、自分の内容との相違を考えてください。
履修上の留意点	三分の二以上の出席が必要です。 授業ではかならず、毎回、英和・和英の辞書を持ってきてください。 遅刻するとその日は発表に当たりませんので、遅刻のないようにしてください。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席、発表、レポートによる総合評価です。
参考書	プリントを配布します。 授業の中で、随時紹介します。

履修コード	258201
科目名	英語ⅡB
担当者名	渡部 孝治

講義の到達目標(ねらい)	文法・構文の基礎を確認しながら、英文の読解力を伸ばすことを中心に授業を行います。スラッシュ・リーディング（意味のまとまりごとの読み方）、スラッシュ・リスニング（意味のまとまりごとの聞き方）をマスターさせていきたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	英文の読解力を伸ばすために、スラッシュ・リーディングをマスターさせていきます。前期は基礎的なものを中心に、後期はその応用を実践します。リスニングにも力を入れていきます。
履修上の留意点	初回の授業には必ず出席するよう、お願いします。 全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価。
参考書	開講時に指示します。

履修コード	295901・295902
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	安齋 薫 <small>あんさい かおる</small>

講義の到達目標(ねらい) Reading, Listening 能力向上とともに、バランスよく英語運用能力を習得する。

講義の内容／授業スケジュール

第1回 Introduction
 第2.3.4回 My heart will go on
 第5.6.7回 Open arms
 第8.9.10回 Oasis
 第11.12.13回 A whole new world
 第14.15回 まとめ・テスト
 第16.17.18回 Kiss of life
 第19.20.21回 Every time I close my eyes
 第22.23.24回 Life
 第25.26.27回 The stranger
 第28.29回 All I want for Christmas is you
 第30回 テスト

履修上の留意点 予習をしてくること。

成績評価の方法 出席状況（2／3以上の出席が原則）前後期試験、レポートで評価

教科書／テキスト English with Hit Songs（成美堂） ¥2100＋税 ISBN978-4-7919-3086-9

履修コード	296911・296912
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	川崎 浩太郎 <small>かわさき こうたろう</small>

講義の到達目標(ねらい) IBで学んだ英語力を基礎として、英語を理解する能力の向上を目的とします。リーディングに関しては、現代アメリカを紹介した英文を、より速く正確に読む訓練を行っていきます。リスニングに関しては、TOEICのリスニング問題等を毎時間行う予定です。

講義の内容／授業スケジュール (1～14週)Chapter1～7 (15週)テスト (16～29週)Chapter 8～15 (30週)テスト

履修上の留意点 毎時間必ず辞書を持ってくること。常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。

成績評価の方法 欠席は毎回必ず取る。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。また、初回授業から数えて3回目までの授業に出席していない履修者も名簿から抹消する。

教科書／テキスト 出席、発表50%、テスト50%の割合で総合的に評価する。
 Christopher J. Armstrong/Anthony Piccolo/板倉 巖一郎 『Reading Contemporary America:15 Critical Views of Culture and Society 問題意識を持って読むアメリカ 15のトピック』 松柏社 ¥2100(税別) ISBN978-4-88198-640-0

履修コード	296201・296202
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	古富 猛 <small>こみや たけし</small>

講義の到達目標(ねらい) 物語を読むことで、単語と文型を、増やし、会話の力をつけることを、目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 1－5. ガイダンス。6－16. 予習をしてくること。指名する。前期試験。
 17－30. 前期とおなじ。後期試験。

準備学習 英語による質疑応答があるので予習は欠かさないこと。

履修上の留意点 私語ばかり、しないこと。辞書を、なるべく使用すること。

成績評価の方法 平常点（出席、レポート）。前期、後期試験で、評価する。

教科書／テキスト 教場で、指示する。

その他 出席には、特に気をつけること。

履修コード	296901・296902
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	世倉 貞夫

講義の到達目標(ねらい) 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに、英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容／授業スケジュール (1～5) AMAZING ANIMALS, (6～10) YOUR AMAZING BODY, (11～14) OUR AMAZING UNIVERSE, (15) テスト, (16～20) AMAZING FIRSTS, (21～25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS, (26～29) AMAZING ODDS & ENDS, (30) テスト

履修上の留意点 予習・復習重視、辞書持参。

成績評価の方法 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書／テキスト M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』（太陽社）¥1,400

履修コード	296301・296302
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	進藤 桃子

講義の到達目標(ねらい) IBを基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度を上げる。なるべく和訳せず、英語のまま理解するよう努力する。

講義の内容／授業スケジュール なるべく和訳しないで読みたいので、初めの内は1章を2～3回の授業で読む。慣れてきたらペースを上げる。

準備学習 辞書をよくひきながら、予習・復習する

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 熱意を高く評価します。

前期、後期末に行うテストが70%

出席や、授業中に行う小テスト、レポートなどが30%

教科書／テキスト Mystery Tour with Sherlock Holmes - シャーロック・ホームズと巡るミステリーの旅
Atsuko Uemura and Miwako Yamashina
CENGAGE Learning ¥1785 ISBN 978-4-86312-113-3

履修コード	296921・296922
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	手島 敬子

講義の到達目標(ねらい) 本授業では、DVD教材を用い、語彙や基本的な文法事項の理解に留意しながら、映像と音声の面から、自然に無理なく英語力の強化を図ります。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス 第2回～第14回：Chapter 1からChapter 7の中から5～6のチャプターを取り上げて進める予定 第15回：前期末試験 第16回：答案返却と解説 第17回～第29回：Chapter 8からChapter 14の中から5～6のチャプターを取り上げて進める予定 第30回：後期末試験

準備学習 予習を前提に授業を進めていきます。受講者は、教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。

履修上の留意点 前期・後期末試験の受験と授業の2／3以上の出席が評価の必要条件となります。

成績評価の方法 前期・後期末試験（70～80%）、課題、出席状況、授業への参加度に基づき、総合的に行います。

教科書／テキスト 森田彰ほか著 BBC Short Clips on DVD『やさしい英語で学ぶBBCドキュメンタリー』 成美堂
¥2,300 ISBN 978-4-7919-1038-0

履修コード	296501・296502
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	福田 一貴

講義の到達目標(ねらい)	これまで学んだ英語を基礎とし、英語運用能力の向上を目指す。これまでに学習して曖昧だった点、わからなかった点を1つ1つ確認しながら復習していく。教材はこちらで用意するので、各自自分のできるところから確認をし、徐々に難易度の高いものへ挑戦していく。
講義の内容／授業スケジュール	前期第1回：イントロダクション、第2回～第14回：上記の演習をそれぞれ行う。第15回：前期末試験。
準備学習	後期第1回～第14回：上記の演習を引き続き行う。第15回：後期末試験。
履修上の留意点	必ずノートを用意してほしい。1つの英文を扱い終わる度に、ノートを提出してもらう。授業には、必ず辞書(電子辞書を含む)を持参すること。また、授業内で単語テストを行うので、復習をすること。
成績評価の方法	授業回数3分の2以上出席しないと試験の受験資格を失う。
教科書／テキスト	期末テスト(80%)、平常点(出席、授業態度等10%)、ノート提出(5%)、授業内での小テスト(5%)
参考書	配付物 なし

履修コード	295801・295802
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕 英語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	松堂 啓子

講義の到達目標(ねらい)	英語ⅡBの内容を踏まえ、英語リーディング力、リスニング力の向上を目指します。
講義の内容／授業スケジュール	毎回、一課ずつテキストを読み進めます。授業開始時に、前回の復習となる小テストを行う予定です。
準備学習	開講時に指示します。
履修上の留意点	単位取得には、3分の2以上の出席が必要です。
成績評価の方法	試験の結果と、課題、出席率、授業参加度等の平常点で評価。
教科書／テキスト	『Mystery Break—Surprising Six Short Stories』 センゲージラーニング 1890円 ISBN 978-4-86312-188-1

履修コード	261001
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	朝川 真紀

講義の到達目標(ねらい)	イギリス国内での法律問題を扱った英文を読み、より高度な読解力を養うとともに、法律に関する専門的な英語を習得していく。
講義の内容／授業スケジュール	毎回一話ずつやさしく読みやすい英語で書かれた法律相談を読んでいく。また、TOEIC形式のリスニング問題で、聞き取り練習を行う。(1)オリエンテーション(2)～(14)結婚・離婚に関する訴訟、近所トラブル、学校トラブル、医療ミスなどの問題をQ&A形式の英文で読んでいく(15)中間試験、(16)～(29)職場での差別問題、安楽死の問題、知的所有権などの法律問題を読んでいく。(30)定期試験
準備学習	法律用語に関する小テストを行うので毎回用語を覚えてきてほしい。
履修上の留意点	必ず予習をしてくること。また、出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨ざしてもらいたい。欠席が全授業数の3分の1を超えた場合は単位を与えない。遅刻は授業開始30分以内まで認め、遅刻3回で1回欠席とする。
成績評価の方法	平常点(30%)、提出物(20%)、定期試験(50%)。平常点には予習状況、小テスト、授業中の態度などを含み、提出物は通年で4回レポート課題を与える。定期試験は前期と後期に2回行う。
教科書／テキスト	ニコラ・チャールズ他著『暮らしの法律小百科Q&A』南雲堂 1600円 ISBN4-523-17361-3 塩見佳代子著『TOEICテストリスニングとキャリア体験』成美堂 900円 ISBN978-4-7919-1086-1
参考書	必要に応じ、適宜指示する。

履修コード	260701
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

英文で書かれた法律関係の文書を読むための基礎力の養成を目指します。
[授業の内容]
具体的な法律問題を扱った教材を順次読み進みながら、日米の司法制度や法律についての知識を深めると同時に、法律用語の英語表現を学習します。

[授業スケジュール]

前期：第1週 オリエンテーション：第2週～14週 教科書前半部分の講読と表現演習
第15週 前期試験

後期：第16週 前期試験の結果発表：第17週～第28週 教科書後半部分の講読と
表現演習：第29週 後期試験：第30週 後期試験の結果発表

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

予習は必ずやってください。やってこない場合はテストの点から減点ということになります。
前期・後期の試験を中心に、予習のし具合、出席状況等を総合的に検討して評価します。
岡雅子著 「Legal Matters」、発行 センゲージラーニング、2010年、定価2,100円
ISBN 978-4-86312-150-8

外国語

履修コード	261501
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>おちあい まゆ</small> 落合 真裕

講義の到達目標(ねらい)

社会科学系分野の英文を読みながらトピックに関する知識を深め、英文読解力を高めることを目標にします。語彙、文法、構文にも注意を払いながらある程度まとまった文章を正確に読み取る練習をしていきます。英文を一文一文和訳もしますが、英文を効率よく読めるように前から順に情報を読み取り、短時間で大意を把握できる練習もしていく予定です。

講義の内容/
授業スケジュール

1 Unitを1～2回の授業で進めていきます。

【前期】第1回：ガイダンス / 第2回～第14回：Unit1～Unit7 / 第15回：前期試験

【後期】第1回～第14回：Unit8～Unit13 / 第15回：後期試験

履修上の留意点

- ・予習を前提に授業を進めていきますので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。
- ・辞書を必ず持参してください。
- ・授業の2/3以上の出席が必要です。
- ・遅刻3回で1回の欠席と計算します。

成績評価の方法
教科書/テキスト

前期・後期試験、出席状況、課題、授業中の発表などから総合的に評価します。
Norma Reveler 他著、『Reading the World』、南雲堂、¥1,700、ISBN978-4-523-17678-7

履修コード	261601
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>くぼ ひさこ</small> 久保 ひさ子

講義の到達目標(ねらい)

健康、医療、看護に関する用語を覚える。たとえ、自分が、海外に居る場合でも、当地の医療機関も使いながら、自分の心身の健康は、自分で保つことができるのをねらいとする。

講義の内容/
授業スケジュール

教科書は閉じ、テキストは見ないで、テープを聴く方法を用いる。

準備学習

Designer Foods, Cancer, Depression, Heart Disease, The Art of Medicine

授業箇所は、一体、何(主語)が、何(目的語)をすると、述べているのか、細かい部分はさておき、概略を考えて、出席して欲しいです。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

後期は、なるべく本文の和訳をしないで、聞いている英語から、直接理解してしまう方法を目指す。
attendance, term-end tests, class works & small tests の合計点

瀬谷幸男他/Healthy Living/南雲堂/1165円

履修コード	260901
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD (再クラス)
担当者名	<small>しらとり よしひろ</small> 白鳥 義博

講義の到達目標(ねらい)	学生生活でおそらく最後の英語授業になるため、難易度の高い教材を使用して高度な読解力を養いたい。英語をスムーズに読むには十分な量の単語を知っていなければならない。そこで、具体的にはTOEFLテストに照準を合わせて、さまざまな学問分野で必須の基本的語彙の増強を図る。さらに、カナダとイギリスの風土や国民性に関する、難しい原典をテキストにして、語彙のさらなる増強と読解力-とりわけ難しい用語や内容を独力で読解する力-を錬成したい。
講義の内容／授業スケジュール	各授業、前半の40分を単語トレーニングに、後半の50分を読解トレーニングに充てる。 (A) 単語トレーニングのスケジュール 1) 基本動詞 2) 基本名詞 3) 基本形容詞 4) 基本副詞 5) 復習 6) 宇宙 (に関する語彙) 7) 気象 8) 地学 9) 環境 10) 生物 11) 復習 12) 動物 13) 生理学 14) 健康 15) 化学 16) 物理 17) 復習 18) 政治 19) 経済 20) 社会 21) 法律 22) 教育 23) 復習 24) 心理 25) 文学語学 26) 歴史 27) 文化 28) 芸術 29・30) 総復習 (B) 読解トレーニングのスケジュール 1) ~14) カナダの風土や国民性に関するプリント教材を読む。 15) テスト 16) ~29) イギリスの風土や国民性に関するプリント教材を読む。
履修上の留意点 成績評価の方法	遅刻や欠席については共通のガイドラインに従う。 前期末試験 (50%) および後期末試験 (50%) の素点合計に、出席や授業中の態度に関して良い意味でも悪い意味でも顕著なポイントを加・減点する。
教科書／テキスト	プリント教材を使用する。

外国語

履修コード	260401
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD (再クラス)
担当者名	<small>しんどう ももこ</small> 進藤 桃子

講義の到達目標(ねらい)	専門書を読むために必要な英文読解力の養成を目標とします。
講義の内容／授業スケジュール	論理的な文章を読みこなすためには正確で幅広い語彙力と同時にしっかりした構文に対する知識が不可欠です。それと同時に英語の思考方式に慣れることも必要です。英語の思考の流れにそって理解していけるよう、できる限り頭から訳していくよう指導していくつもりです。
履修上の留意点	前期 第1週 オリエンテーション 第2週-14週 教科書の前半部分の講読 第15週 前期試験 後期 第16週-29週 教科書の後半部分の講読 第30週 後期試験 出席を重視します。 予習はしっかりやってきてください。
成績評価の方法	必ず辞書を持参し、授業中もよく参照すること。 前期、後期末に行うテストが70% 出席や、小テストなどの提出物が30%
教科書／テキスト	Legal Matters - Dramatic Stories behind the Legal Scenes Masako Oka and Michael Howard Maesaka CENGAGE Learning ¥2100 ISBN 978-4-86312-150-8

履修コード	260501
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>たかの ひでお</small> 高野 秀夫

講義の到達目標(ねらい)

プリントと教科書で授業を進めます。
プリントによる英字新聞、雑誌、インターネット等の記事では、日常生活に役立つ英文を読みます。いろいろな種類の読み物が載っている教科書では、Natural Speedで英文を読み、聞き、英語による質疑応答で物語の内容理解に努め、特に英語の構文、活用に焦点を当てながらリーディングの能力養成を図ります。

講義の内容／
授業スケジュール
準備・学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
その他の他

今現在世間で話題になっている英文記事のプリントをQ&Aで読み進めます。教科書では内容に沿って年間授業計画を立てています。前期はUnit 1～6、後期はUnit 7～12まで進む予定です。英語による質疑応答があるので予習は欠かさないこと。
普段から、興味深い英文の本や記事には積極的に眼を通しておくこと。
期末試験、平常点(出席、レポート等)
1 Cover to Cover (Oxford) ISEN9780194758130
出席には、特に気をつけること。

履修コード	261801
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>てしま けいこ</small> 手島 敬子

講義の到達目標(ねらい)

本授業では、英語IBに引き続き、「読解力の向上」を目標に、語彙、文法に対する理解に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を、効率よく、かつ正確に読み取る練習を行います。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：ガイダンス 第2回～第14回：Unit 1からUnit 7の中から5～6のユニットを取り上げて進める予定 第15回：前期末試験 第16回：答案返却と解説 第17回～第29回：Unit 8からUnit 15の中から5～6のユニットを取り上げて進める予定 第30回：後期末試験

準備・学習

予習を前提に授業を進めていきます。受講者は、教室以外でも積極的に学習に取り組まなければいけません。

履修上の留意点

前期・後期末試験の受験と授業の2/3以上の出席が評価の必要条件となります。

成績評価の方法

前期・後期末試験(60～70%)、小テスト、課題、出席状況、授業への参加度などにに基づき、総合的にを行います。

教科書／テキスト

植田一三ほか著 Global Dynamics『世界情勢を英語で読む』 センテージ ラーニング
¥2,100 ISBN 978-4-86312-183-6

履修コード	260601
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>ふくだ かずたか</small> 福田 一貴

講義の到達目標(ねらい)

法律に関する英文を読むための読解力と単語力の養成を目指す。基本的な単語をしっかりと押さえながら、徐々に難易度の高い英文を読むことができるようにする。同時に、法律に関する会話の聴解の訓練も行う。

講義の内容／
授業スケジュール

こちらで用意した教材を用いて、最初はゆっくりと読解に必要な単語や知識を確認していく。(教材のレベルは教室の要望などを踏まえて随時変更することができるものとする。)その後、徐々に難易度の高い英文に挑戦していく。

準備・学習

前期 第1回：イントロダクション、第2回～第14回：読解と聴解の訓練、第15回：前期末試験、後期第1回～第14回：読解と聴解の訓練、第15回、後期末試験

履修上の留意点

単語の確認を含めた復習を必ず行うこと。
授業回数分の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。必ず辞書(電子辞書を含む)を持参すること。

成績評価の方法

前期・後期の試験(80%)、平常点(出席、遅刻状況、受講態度など)(10%)、授業内に行う単語テスト(10%)

教科書／テキスト

配布物

履修コード	261711
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	丸小 哲雄

講義の到達目標(ねらい) 文化の多様性と多元性の問題を扱う。そのための基礎英語(基礎文法)と語彙の構築、パラグラフの捉え方・作成の仕方に留意しつつ、英文の読みとそのコメント力のためのライティングを重視していきます。時に、語彙のリストと英字新聞・雑誌のコピーを配布して「実用英語は内容である」ことを目指します。

講義の内容／授業スケジュール リスニングとリーディングを設け、基礎文法と語彙の増やし方に留意し、リーディング・タイムで自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。前期・後期にそれぞれライティングのレポート提出課題があります。

準備学習 質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。

履修上の留意点 積極的に発表できる態度で授業に臨むこと。私語は厳禁。

成績評価の方法 出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価。

教科書／テキスト ・Score Goals in TOEIC Test Listening 600 松柏社 978-4-88198-572-4
・Multicultural Japan 南雲堂 978-4-523-17644-2

参考書 随時指示し、語彙のリスト及びタイムリーな時事英語ニュース記事もコピーも配布します。

履修コード	261011
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	三輪 久恵

講義の到達目標(ねらい) テキストに添って、英語の総合力向上を目指します。語学能力と共に、あわせてコミュニケーションにおいて異文化の視点からものを見て、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違いを理解することの重要性を学びます。

講義の内容／授業スケジュール 第1回選択するかどうかを決める為に、丁寧なガイダンスを行ないます。第2～3回：You and I are Equals. 第4回：Exercise 第5～6回：You and I are Close Friends 第7回：Exercise 第8～9回：You and I are Relaxed 第10回：Exercise 第11回：You and I are Independent 第12回：Exercise 第13回：People as Individuals 第14回：Exercise 第15回：中間試験 第16回：夏休み明けのミニ・レポート 第17～18回：First Thanksgiving Day 第19～20回：Columbus-From Hero To Fall Guy 第21～22回：The Dramatic Incidents Leading Up To The American Revolution 第23～24回：The Freedom Trail 第25回：ミニ・テスト 第26回：ビデオ使用 第27回：単語を日本語の単語で当てはめるのではなく概念として捉えるときさまざまな場面に応用がきく 第28回：1つの単語でもさまざまな意味を持つことがあり文章の中で判断する。文法をはずさない 29回：単なる訳のための訳ではなく、作者の言わんとすることを捉える 第30回：中間試験

履修上の留意点 テキストの予習等の準備が大切です、それだけは年間を通して忘れないように。

成績評価の方法 予習や授業への積極的な参加を求めます。授業中15分程度の小テスト・ミニレポート等の提出物が10回程度あります。課題は授業内容に添ったもので、授業を真面目に受けていれば取り組めるようなやさしい内容を心がけています。中間試験、定期試験も行なう予定です。そうした総合評価によって成績を出します。

教科書／テキスト Polite Collision Nancy Sakamoto Kinseido 1250円 その他、進度に応じてhand outも使用します。

履修コード	260801
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	吉沢 栄治郎

講義の到達目標(ねらい) 高度な読解力達成をめざします。

講義の内容／授業スケジュール 評論文等を中心に読んでゆきます。原文を板書しますので、それを筆写してもらい、併せて参考訳も板書しますのでそれも筆写してもらいます。むつかしい内容のものもあるかとおもいますが、気にしないでやっていって下さい。一回の授業につき中文、3題くらいを目途に進めてゆきます。

履修上の留意点 英和辞典をまめに使用して下さい。

成績評価の方法 ペーパーテスト、出席状況、レポート提出などで総合評価します。

教科書／テキスト 使用しません。

履修コード	261701
科目名	英語ⅡD 英語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	依田 ^{よだ} 里花 ^{りか}

講義の到達目標(ねらい) 本授業は購読を中心にしたもので、文法や構文、表現などに注意しながら、内容を的確に理解し、英語の読解力を高めることを目標にします。また、ジャパントイムズやデイリー読売などの英字新聞から、法律や政治に関連した記事を取り上げて、日々話題にも触れていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：オリエンテーション
第2回～13回：
テキストから適切なUnitを選び授業を進めていきます。1Unitを2回で終える予定です。
Unitが終わるごとに小テストを行います。
第14回目：定期試験

【夏休み】

第15回：前期定期試験の返却と後期に向けたオリエンテーション
第16回～27回：
テキストから適切なUnitを選び授業を進めていきます。1Unitを2回で終える予定です。
Unitが終わるごとに小テストを行います。

準備学習

第28回目：定期試験
毎回、予習となる準備課題があります。丹念に辞書を引いてください。外国語習得の一番の近道です。こつこつ力をつけていきましょう！

履修上の留意点

- ・毎回、辞書持参のこと（電子辞書可）
- ・原則として、全授業数の2/3以上出席のこと（遅刻3回で1欠席）

成績評価の方法

- ・授業への取り組み（平常点）
- ・毎回の課題と授業内での発表（平常点）
- ・小テスト（10点×10回）
- ・前期と後期の定期試験（100点×2）

教科書／テキスト

出席を前提に、上記を総合的に判断して評価します。
英米文化学会英語教育研究部会編『WORDS TO REMEMBER — Great Speeches, Letters and Diaries 心に残る言葉』桐原書店、563円＋税、ISBN 978-4-342-73780-0

参考書

適宜、授業で紹介します。

外国語

履修コード	262301
科目名	英語ⅢA 英語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	小布施 ^{おふせ} 圭三 ^{けいぞう}

講義の到達目標(ねらい) この講義のねらいは、単なる英文和訳ではなく、読むためのスキルとして語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めることにあります。

講義の内容／
授業スケジュール

1. ガイダンス（授業を展開する上で） 2. 第1章(My English, Your English, Our English) 3. プリント（補足） 4. プリント（補足） 5. 第2章(Style and Fashion 1) 6. 第2章—(2) 7. 第2章—(3) 8. 第2章—(4) 9. 第2章—(5) 10. 小テスト 11. 第3章 (Making the Modern World) 12. 第3章—(2) 13. 第3章—(3) 14. 第3章—(4)、(5) 15. 中間テスト 16. 第4章 (Food and Drink 1) 17. 第4章—(2) 18. 第4章—(3) 19. 第4章—(4) 20. プリント（補足） 21. プリント（補足） 22. 第5章(Sports, Games & Entertainment 1) 23. 第5章—(2) 24. 第5章—(3)、(4) 25. 小テスト 26. 第5章—(5) 27. 第5章—(6) 28. 第5章—(7) 29. プリント（補足） 30. 期末テスト

履修上の留意点

進度は各課90分で消化。受け身の授業ではなく、ペア・ワークを多用し、授業の活性化をはかります。

成績評価の方法

音声指導に当たっては、テーブルコーダーを使用します。
出席(30点)/レポート・授業貢献度(20点)/小テスト・中・期末テスト(50点)/などを加味して総合評価します。

教科書／テキスト

著者：島村法夫/A. Sellick/J. Barton: Made in Britain(イギリスの底力) (成美堂) 1,800円
ISBN978-4-7919-1091-5 C1082

履修コード	265401
科目名	英語 L L I
担当者名	岩井 洋美
講義の到達目標(ねらい)	英語の発音を学んだことがないが上達させたいという人を対象に、個々の音(母音・子音)やアクセント、リズムなどをひとつひとつ学び、より良い発音を身につけます。同時にリスニングの力を伸ばし簡単な会話ができるようにすることを目標とします。
講義の内容／授業スケジュール	第1回:イントロダクションと実力テスト、第2回～15回(前期):母音・子音、音節、綴りと発音、日常生活をテーマとしたリスニングとスピーキング、16回～30回(後期):アクセント、音の変化、リズム、イントネーション、日常生活をテーマとしたリスニングとスピーキング。毎回テキストを1～2課ずつ進めていき、数回ごとに復習テストや個人での発表、ペアでの会話テストを、期末に定期試験を行います。
履修上の留意点	授業でも家でも意欲的に声を出して練習をし、恥ずかしがらずに発話、発表する学生を望みます。遅刻欠席は減点していき、3分の1以上欠席した人は単位を取得できません。第1回の授業では実力テストを行い、人数が多い場合は人数制限をしますので必ず出席のこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前後期学期末試験(30%)、出席態度(30%)、その他クラス内テスト課題(40%) 角岡賢一、デイビッド・ダイクス著、英語が好きになる英音法、英宝社、1000円、978-4-269-63012-3、 Practical Situations for the TOEIC Test Listening、成美堂、1000円、978-4-7919-3093-7

履修コード	351301
科目名	英語 L L I
担当者名	上田 倫史
講義の到達目標(ねらい)	英語の発音、アクセント、イントネーション等を徹底的に指導し、外国人が聞いて分かる明確な英語を話すことが出来るようになる。
講義の内容／授業スケジュール	第一回目の授業で小テストを実施する。(受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う) 前、後期を通じて、音声聞き取り、書き取りおよび発音、会話の訓練を行う。 前、後期の学期の真ん中でそれぞれ1回ずつ、学期末にそれぞれ1回ずつ、計4回の確認テストを行う予定である。
履修上の留意点	また、小テストも適宜行う。 ネット上の課題にも取り組んでもらう。 全員コンピュータIDを習得しておくこと。 【受講制限について】 受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。初回の授業で受講の可否を判定しますので、必ず出席すること。
成績評価の方法	授業中の活動:30% 小テスト、課題提出:30% 試験:40%
教科書／テキスト	3分の1以上の欠席者には単位を認めない。 教科書: Listening Partner: An intermediate course 筆者: Osamu Takeuchi, Graeme Todd, ROger Palmer 出版社: 金星堂 ISBN 978-4-7647-3878-2
参 考 書 そ の 他	教場で指示。 ウェブ上でおこなう宿題はYeStudyなどをつかい、電子データでの音の持ち帰りもできる。フラッシュメモリー (USB)、自宅での吹き込み用簡易ヘッドセット(マイクつき)などを用意しておくことと便利。

履修コード	265501・266001
科目名	英語LLI
担当者名	甲斐 捷子

講義の到達目標(ねらい)

私のLLI-Iのコースは、アメリカ英語の発音を学ぶ機会がなかった方を対象に、発音の基礎から、アメリカ英語の特色であるリエゾンまでを、みっちり学びます。1年間の学習の終わりには、ニュース英語のリスニングと、スピーキングの入り口まで、到達できるでしょう。前期は、アルファベットの各音を含む発音の基礎を、画像を確認しながら、スキットの練習をも交えて行い、リエゾンの入り口まで到達します。後期は、アメリカ英語の発音の上級コースであるリエゾンを、みっちり学びます。このことによって、日本人には聞き取りにくい、発話される文章の、谷間になる部分の音声は、ハッキリ聞き取れるようになるでしょう。ニュース英語で、1年間の仕上げをします。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：1回目：Lesson1-2・2回目：Lesson2-3・3回目：Lesson4-5・4回目：Lesson6-7・5回目：Lesson8-9・6回目：Lesson10-11・7回目：Lesson12-13・8回目：Lesson14-15・9回目：Lesson16-17・10回目：Lesson18-19・11回目：Lesson20-21・12回目：Lesson22-Appendix1・13回目：Appendix2・14回目：ニュース英語・15回目：ニュース英語2

準備学習

後期：1回目：ネイティブ発音への道 2回目：英語のアクセントとリズム 3回目：ナチュラルな発音を目指して 4回目：母音の発音 5回目：Tの発音 6回目：Lの発音 7回目：Rの発音 8回目：長い語句のアクセント 9回目：応用練習 10回目：V, TH, S, Zの発音 11回目：M, N, NGの発音 12回目：H, K, G, NGの発音 13回目：長い文をリズムカルに読む 14回目：イントネーション 15回目：最後に
前期は、希望者はUSBをお持ち下さい。復習の際、便利です。後期は、付属のCDを予復習に活用されることをお勧めします。

履修上の留意点

授業、試験は、毎回の出席を前提として行います。大学が認める理由以外の欠席をしないことです。受講希望者多数の場合、抽選を行います。

成績評価の方法

小テスト：30% 中間・定期試験：各30% 平常評価としての出席：10% とします。

教科書／テキスト

前期：1) Hisako Murakawa著 2) Sounds Right! Sounds Good! 3) マクミラン・ランゲージハウス 4) 2,000円 5) 4-89585-304-7

後期：1) Atsushi Mishima著 2) Sounds Like American 3) センゲージ・ラーニング 4) 2,000円 5) 978-86312-117-1

注意事項：教科書は3月、4月の時点で、2冊とも購入して下さい。後期になると、手に入らなくなる可能性があります。

参考書

特になし。

外国語

履修コード	266101
科目名	英語LLI
担当者名	久保 ひさ子

講義の到達目標(ねらい)

海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容／
授業スケジュール

旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。

準備学習

教科書右ページの解説文を前もって読んでおく。

履修上の留意点

クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようお願い致します。オリエンテーション初回日に入室順に履修学生が決定されます。

成績評価の方法

前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点

教科書／テキスト

マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂 ¥1,200

履修コード	265601
科目名	英語L L I
担当者名	勅使河原 ^{てしかわら} 三保子 ^{みほこ}

講義の到達目標(ねらい) 英語による口頭コミュニケーション力を養成する。英語のリズムに慣れ、聴解力を向上させ、口頭での応答に、より自信を持てるようになる。

講義の内容／授業スケジュール 毎回授業時間の半分ほど英語のリズムに関する口頭練習を行い、残りを今日的なテーマに関するオンライン視聴覚資料等を用いて聞き取り、書く、話す訓練に充てる。また、ペア・グループによる会話練習も行う。前後期2回ずつ大小の英語による個人・グループプレゼンテーションをする。

履修上の留意点 できるだけ英語で授業を行いたいため、特に聞き取りが苦手な人は配付物、本学E-learningシステムYeStudyを活用してよく復習するように。また、1年の授業を通して、少々内容がわからなくても躊躇しない度胸を養ってほしい。

成績評価の方法 プレゼンテーション4回 (80%)、平常点 (授業態度、出席、YeStudy活用20%)

教科書／テキスト 配布物およびオンライン資料。

その他 PC教場に収容できない人数が集まった場合はその場で抽選を行うので、第1回の授業には遅れないこと。

履修コード	265801
科目名	英語L L I
担当者名	外池 ^{とおいけ} 一子 ^{かずこ}

講義の到達目標(ねらい) リスニングに欠かせない英語の音声変化と聞き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後英語のニュースを中心に、比較的短いモノローグやダイアローグなどを正確に聞き取れるようになることを目指します。

講義の内容／授業スケジュール 1. 春学期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。
 (1) 個音 (母音・子音) の識別、発音記号
 (2) 連結
 (3) リダクション (機能語の弱形・縮約形)
 (4) 脱落・同化
 (5) リズム、イントネーション

2. 秋学期は実際の聞き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。
 (1) ニュース
 (2) ドキュメンタリー
 (3) 映画、ドラマ
 (4) インターネット

準備学習 授業が始まる前に発音記号を読めて書けるようになっていることが望ましい。

履修上の留意点 授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、第1回日の授業からユーザーIDとパスワードを用意しておくこと。パスワードを忘れた場合などは授業に参加できません。

また、初回に受講の可否を判定するためのテストを行いますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法 授業には必ず予習をして出席すること。予習をしていない場合は出席とみなしません。また、コンピューターを使うため、遅刻をすると授業の進行の妨げになるので遅刻をしないこと。授業の進捗に合わせて行う試験70%、出席・予習など平常点30%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。出席時に指示します。

教科書／テキスト 開講時に指示します。

その他 授業関連の連絡や練習問題・課題提出などにYeStudyを使いますから、コンピューターやメール (携帯は不可) にあまり慣れていない人は授業開始までに練習しておくこと。わからないことがある場合は情報センターのヘルプデスクなどを利用しましょう。

関連リンク <https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	265901
科目名	英語L L I
担当者名	<small>そのいけ かずこ</small> 外池 一子

講義の到達目標(ねらい)

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聞き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後英語のニュースを中心に、比較的短いモノログやダイアログなどを正確に聞き取れるようになることを目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 春学期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。

- (1) 個音 (母音・子音) の識別、発音記号
- (2) 連結
- (3) リダクション (機能語の弱形・縮約形)
- (4) 脱落・同化
- (5) リズム、イントネーション

2. 秋学期は実際の聞き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。

- (1) ニュース
- (2) ドキュメンタリー
- (3) 映画、ドラマ
- (4) インターネット

準備学習
履修上の留意点

授業が始まる前に発音記号を読めて書けるようになっていることが望ましい。

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、第1回日の授業からユーザーIDとパスワードを用意しておくこと。パスワードを忘れた場合などは授業に参加できません。

また、初回に受講の可否を判定するためのテストを行いますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

授業には必ず予習をして出席すること。予習をしていない場合は出席とみなしません。

また、コンピューターを使うため、遅刻をすると授業の進行の妨げになるので遅刻をしないこと。

授業の進度に合わせて行う試験70%、出席・予習など平常点30%。

出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書／テキスト
その他

開講時に指示します。

授業関連の連絡や練習問題・課題提出などにYeStudyを使いますから、コンピューターやメール (携帯は不可) にあまり慣れていない人は授業開始までに練習しておくこと。わからないことがある場合は情報センターのヘルプデスクなどを利用しましょう。

関連リンク

<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

外国語

履修コード	266111
科目名	英語 L L I
担当者名	ピアス、 D. M.

講義の到達目標(ねらい) During most of the class period you will be talking to each other in groups or pairs. You will not be learning English, but using the English you already know. Simple conversations in mundane activities (banking, restaurants, shopping, etc.) will introduce appropriate vocabulary and speech patterns.

講義の内容/
授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	Courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	Courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	Candor
CLASS 9	Informality	CLASS 24	Candor
CLASS 10	Informality	CLASS 25	Authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	Authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	Politicians
CLASS 15	Consumption	CLASS 30	Politicians

成績評価の方法

ATTENDANCE: Six absences in the year are allowed, but five absences will be detrimental to the final grade. Weddings, funerals, sickness, seminars, etc. do not form exemptions from the maximum of 6 absences.

EXAMINATIONS: There will be frequent unannounced small exams to focus attention on the material of each class. Questions will be from parts of the textbook that we have already practiced in class.

GRADING: 70% of the final grade depends on your speaking ability, in comparison with your ability in the first class.

教科書/テキスト

"Sociological Investigation". Themis Research Group, 2011, Adam Pelagius. In the first class meeting we will have a diagnostic test; do not buy the text until after the first class.

外国語

履修コード	265701
科目名	英語 L L I
担当者名	真砂 久晃

講義の到達目標(ねらい)	英語による口頭コミュニケーション力の基礎を養成する。 前期は、平易な英文のリズムに慣れ、リスニング力を向上させることを目標にし、 後期は、前期に養った能力の発展を目指す。
講義の内容/ 授業スケジュール	(1) 年間計画、諸注意などのオリエンテーションを行う。テキストを購入しておくこと。 もしテキストが入荷していない場合は、キャンパス内の書店で注文しておくこと。 (2)～(13) テキストに沿って授業を行う。 (14) 前期のまとめ。 (15) 前期末テスト (16)～(28) テキストに沿って授業を行う。 (29) 後期のまとめ、確認 (30) 学年末テスト
準備学習	このクラスでは予習より復習が重要になる。 自宅学習では、授業中に学んだ発音やイントネーションを練習し、 CDを聞いてリスニング力の向上に努めること。
履修上の留意点 成績評価の方法	出席が3分の2に満たない学生は単位を取得できない。 前期、後期共に100点満点で成績を出し、前期と後期の成績を足して2で割ったものが 最終成績となる。前期、後期共に、平常点(25%) + テスト(75%) = 100%となる。 詳細は最初の授業で説明する。
教科書/テキスト	「Hear It! Say It!」 (金星堂) 1800円(税別)

外国語

履修コード	288701
科目名	英語 L L II
担当者名	甲斐 捷子

講義の到達目標(ねらい)	私のL L - I Iのコースでは、今年度、即効性があり、飛躍的な会話能力の向上が見込まれる、発話のトレーニングを行います。中学校レベルの英語の「置き換え」と「変形ドリル」ですから、どなたでも参加できる上、英語学習の基本である中学校基礎英文法の復習にもなります。私のL L - I Iのコースで行う、ニュース英語のスピーキングの下地作りとしても欠かせないものです。発音の矯正も順次行いますので、特にL L - I履修者でなくても結構です。英語の運用能力を、特に発話に重点を置いて、ニュース英語の入り口のレベルまで高めることが、ねらいです。
講義の内容/ 授業スケジュール	1回目: 瞬換トレーニング初級1-3 2回目: 初級4-5 3回目: 初級6-7 4回目: 瞬換トレーニング中級8-9 5回目: 中級10-11 6回目: 12-13 7回目: 14-15 8回目: 瞬換トレーニング上級16-17 9回目: 上級18-19 10回目: 上級20-21 11回目: 上級22-23 12回目: 上級24-25 13回目: 瞬換トレーニング発展26-27 14回目: 発展28-29 15回目: 発展30-31 16回目: 発展32-33 17回目: 発展34 18回目: 瞬換トレーニング・ランダム1-3 19回目: ランダム4-6 20回目: ランダム7-9 21回目: ランダム10-12 22回目: ランダム13-15 23回目: ランダム16-18 24回目: ランダム19-21 25回目: ランダム22-24 26回目: ランダム25-27 27回目: ランダム28-30 28回目: ランダム31-33 29回目: ランダム34-36 30回目: ランダム37-40 注意事項: 授業スケジュールは、クラスの性格と授業の進捗状況により、多少の変化が見込まれることをお断りしておきます。
準備学習	前後期を通して、付属のCDを予復習に活用されることをお勧めします。
履修上の留意点	授業、試験は、毎回の出席を前提として行います。大学が認める理由以外の欠席をしないことです。受講希望者多数の場合、抽選を行います。
成績評価の方法	小テスト: 30% 中・定期試験: 各30% 平常評価としての出席: 10% とします。
教科書/テキスト	1) 長尾和夫&マケール英著 2) 英会話瞬換トレーニング 3) DHC 4) 1,800円 5) 9784887244702
参考文献	特になし。

履修コード	288601
科目名	英語 L I II
担当者名	<small>としがわら みほこ</small> 勅使河原 三保子

講義の到達目標(ねらい)	LLIあるいはIA、IBで培った英語力を基礎とし、英語による口頭コミュニケーション力をさらに養成する。聞いたり読んだりした内容を基に自分の考えをまとめ、英語によるディスカッションで発言できるようにする。
講義の内容／ 授業スケジュール	今日的で、受け取る人の立場によって賛否両論の意見が出そうな話題に関するオンライン視聴覚資料等を用いて、聞く、読む練習をする。次に、聞いたり読んだりしたことを基に自分の考えを英語で書いてまとめ、書いたものを基に英語でディスカッションを行う。前期初めのテーマは「喫煙」(予定)。
履修上の留意点	授業時間中にしっかり活動することが成績に反映されるので、本学の出席基準を満たすのはもちろんのこと、授業に出席し真面目に取り組むこと。
成績評価の方法	ディスカッションにおけるパフォーマンス・貢献度、それに関わる提出物(80%)、平常点(授業態度、出席、YeStudy活用20%)
教科書／テキスト その他	配付物およびオンライン資料 少なくとも授業の半分程度は英語で行いたいので、特に聞き取りが苦手な人は配布物、YeStudyを活用してよく復習するように。

履修コード	288501
科目名	英語 L I II
担当者名	<small>にしむら ゆうこ</small> 西村 祐子

講義の到達目標(ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> TOEIC判定で750以上のスキル獲得に加え、自己アピールを英語でできるようにする。 レベル1で学んだ基礎的な英語での発表スキルを向上させ、英語で時事問題などをサマリーし発表できる力を養う。 インターネット上で提供される英語の情報を速やかに読み取り内容を英文で要約し、自分の意見を英語で表現できる。 パワーポイントなどをつかって自己アピールのスキルを磨く。
講義の内容／ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 振り分けテスト 2-13 ペアワーク、小グループスタディを活用、オンライン上の教材を選択し、英語によるサマリーとディスカッション。 14 小テスト (TOEIC形式) 15 英語による発表 (前期テスト) 16-20 英語による小エッセイを書き、英語で発表。 21-30 ペアワーク、小グループスタディを活用、オンライン上の教材を選択し、英語によるサマリーとディスカッション。
準備学習	オンライン上で英語の吹き込み課題があるのでヘッドセットを用意しておく。(自宅からの吹き込み用)。
履修上の留意点	授業はすべて英語でおこなう。質問(メール含)も英語で。 LL1の基礎レベルを終了程度であることが望ましい。(振り分けテストで落ちた場合はLL1をすすめる)。 少人数でおこないたいので履修は15名以下にする。
成績評価の方法	YeStudyを毎回使用するので課題提出が多い。 <ol style="list-style-type: none"> 出席率 (20%) 小テスト (30%) YeStudyによる課題提出 (30%) 発表 (20%)
教科書／テキスト 参考書	インターネット上での英語教材を使用。(BBC, VOA, YouTube, The Japan Timesなど)。 インターネット上の英字新聞の定期的な講読をすすめる。 The Japan Times, The Herald Tribune, The New York Times, BBC, VOAなど。

履修コード	354401
科目名	英語L L II
担当者名	林 明人

講義の到達目標(ねらい) リスニング用のテキストを使用します。CDがテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをし
てきて下さい。

講義の内容/ 授業スケジュール	1	ユニット1	(問題1, 2)	16	ユニット5	(問題5, 6)
	2	ユニット1	(問題3, 4)	17	ユニット6	(問題1, 2)
	3	ユニット1	(問題5, 6)	18	ユニット6	(問題3, 4)
	4	ユニット2	(問題1, 2)	19	ユニット6	(問題5, 6)
	5	ユニット2	(問題3, 4)	20	ユニット7	(問題1, 2)
	6	ユニット2	(問題5, 6)	21	ユニット7	(問題3, 4)
	7	ユニット3	(問題1, 2)	22	ユニット7	(問題5, 6)
	8	ユニット3	(問題3, 4)	23	ユニット8	(問題1, 2)
	9	ユニット3	(問題5, 6)	24	ユニット8	(問題3, 4)
	10	ユニット4	(問題1, 2)	25	ユニット8	(問題5, 6)
	11	ユニット4	(問題3, 4)	26	ユニット9	(問題1, 2)
	12	ユニット4	(問題5, 6)	27	ユニット9	(問題3, 4)
	13	ユニット5	(問題1, 2)	28	ユニット9	(問題5, 6)
	14	ユニット5	(問題3, 4)	29	ユニット10	(問題1, 2)
	15	前期試験		30	後期試験	

準備学習 普段から英語ニュースや映画に慣れておくこと。

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法 試験(30%)②発表(40%)③出席(30%)で総合評価するが、①~②のそれぞれの評価が一つでも

教科書/テキスト 4月に教場で指示します。

履修コード	289301
科目名	英語L L III
担当者名	甲斐 捷子

講義の到達目標(ねらい) 私のニュース英語のクラスでは、昨年度、本格的なスピーキングを導入しました。今年度、L L - I
I Iのクラスでは、教科書のタイトル通り、グローバルなニュースを題材に、リスニングとスピーキ
ングのD u a lトレーニングを行って、英語の運用能力をさらに高めたいと思っています。私のL
L - I、L L - I I修了者を優先します。

講義の内容/
授業スケジュール 1回目:政治一新大統領 2回目:銃所持権利 3回目:カストロ引退 4回目:経済一住宅法案
5回目:金利 6回目:医療費 7回目:戦争紛争一グルジア紛争 8回目:戦争犯罪 9回目:戦
死者数 10回目:災害一地震 11回目:サイクロン 12回目:洪水 13回目:開発一エイズ
会議 14回目:視力 15回目:コンピュータ 16回目:教育一留学 17回目:通学日 18
回目:国際学校 19回目:健康一ビタミンD 20回目:幹細胞 21回目:脳動脈瘤 22回目:
環境一緑の屋根 23回目:絶滅危惧動物 24回目:緑の路地 25回目:農業一バイオ炭 26
回目:植樹 27回目:カリフォルニアの植物 28回目:科学一地震予知 29回目:鳥インフル
エンザ 30回目:火星に水水発見

準備学習 前後期を通して、付属のCDを予復習に活用されることをお勧めします。

履修上の留意点 授業、試験は、毎回の出席を前提として行います。大学が認める理由以外の欠席をしないことです。
受講希望者多数の場合、抽選を行います。

成績評価の方法 小テスト:30% 中・定期試験:各30% 平常評価としての出席:10% とします。

教科書/テキスト 1)ケリー伊藤著 2)ニュース英語リスニング&スピーキングD u a lトレーニング 3)DHC
4)1,800円 5)9784887244849

参 考 書 発話力を高めるため、教科書とは別に、ワークシートを使いますが、これはハンドアウトとして配布
します。

外国語

履修コード	289401
科目名	英語LⅢ
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義の到達目標(ねらい) インターネット上でえられる情報を利用して時事問題を討論する。
 欧米の大学レベルでの基礎的な情報整理の訓練を英語でおこなう。
 前期は英語による情報収集、サマリー、ディスカッションに主軸をおく。
 後期はエッセイライティング、プレゼンテーションを中心に読み書き話す英語力をやしなう。1年間の受講の後、社会問題について自分の考えが明確に英語で表現できるような英語力をつける。
 授業はすべて英語でおこなう。質問(メール含む)もすべて英語でおこなう。

講義の内容／
授業スケジュール

- 前期：
- (1) 自己紹介、The Japan Timesの記事にもとづくディスカッション
 - (2) Herald Tribuneの記事を選び各自プレゼンテーション
 - (3) The Japan Times上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
 - (4) 自主選択テーマによる発表とディスカッション(1)
 - (5) 自己選択テーマによる発表とディスカッション(2)
 - (6) ゲストレクチャーを交えたディスカッション(1)
 - (7) 英語によるノートテイキングの基礎とエッセイの書き方(1)
 - (8) 同上 (2)
 - (9) Herald Tribuneの記事によるプレゼンテーションとディスカッション
 - (10) The Japan Timesの記事によるプレゼンテーションとディスカッション
 - (11) まとめと英語サマリー提出
 - (12) 小テスト
 - (13) プレゼンテーションとディスカッション

後期

- (1) 夏休み課題のまとめ：ディスカッションとプレゼンテーション
- (2) Herald Tribuneの記事を選び各自プレゼンテーション
- (3) The New York Times上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
- (4) まとめと小テスト
- (5) Herald Tribuneより記事を選びプレゼンテーションとディスカッション
- (6) テーマにそったまとめと英語サマリー提出
- (7) 小テスト
- (8) まとめとディスカッション(2)
- (9) The New York Timesの記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (10) 小テストと英語サマリー提出
- (11) 関連トピックをオンラインで検索、英語でサマリーをする。
- (12) TOEIC形式模擬試験 (1)
- (13) TOEIC形式模擬試験 (2)

履修上の留意点

本クラスの受講者は例年TOEICで750点以上のレベルなので、英語力がこれ以下である場合はレベルIIを推奨する。

成績評価の方法
教科書／テキスト

発表を含む平常点(40%)、提出物40%、小テストスコア(20%)など。

オンラインで入手できる英字新聞(The Japan Times, Herald Tribune, The New York Timesなど)および教場にある英語学習ソフト、YouTubeなどのオンラインによるビデオ教材。

参 考 書
そ の 他

教場で指示する。

PC教場にある英語学習ソフトも使用するので持ち帰り用としてUSBメモリースティックや家庭学習用に簡易ヘッドセット(マイクつき)を用意しておくとうい。

履修コード	284901
科目名	英文講読
担当者名	はやし あきと 林 明人

講義の到達目標(ねらい) 現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

講義の内容／ 授業スケジュール	1 pp.1-2	プリント (1) 配布	16 pp.1-2	プリント (2) 配布
	2 pp.3-4	(試訳提出)	17 pp.3-4	(試訳提出)
	3 pp.5-6		18 pp.5-6	
	4 pp.7-8		19 pp.7-8	
	5 pp.9-10		20 pp.9-10	
	6 pp.11-12	(試訳提出)	21 pp.11-12	(試訳提出)
	7 pp.13-14		22 pp.13-14	
	8 pp.15-16		23 pp.15-16	
	9 pp.17-18		24 pp.17-18	
	10 pp.19-20		25 pp.19-20	
	11 pp.21-22	(試訳提出)	26 pp.21-22	(試訳提出)
	12 pp.23-24		27 pp.23-24	
	13 pp.25-26		28 pp.25-26	
	14 pp.27-28		29 pp.27-28	
	15 前期試験		30 後期試験	

履修上の留意点
成績評価の方法 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。
①試訳(40%)②試験(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書/テキスト 教員が作成したものを uses。

履修コード	285101
科目名	英文講読
担当者名	まえだ むねむ 前田 脩

講義の到達目標(ねらい) イギリス庭園についての知識を身に付け、ある程度鑑賞できるようにしたいと思います。ただし基本的に購読の時間ですから、英文を丁寧に読み進めます。

講義の内容／
授業スケジュール 一回にテキスト二章ずつ進みます。テキストが終わったのち、The Formal Garden の中からプリントを配布します。

準備学習 西洋風庭園や日本庭園を実際あるいは写真で見てください。

履修上の留意点 あくまでも購読の時間ですから予習が重要です。

成績評価の方法 日常評価を40%、前期テストを20%、後期テストを40%の割合で評価します。

教科書/テキスト English Garden (イギリス庭園) 南雲堂 ¥1,200
ISBN4-523-18506-9

履修コード	285001
科目名	英文講読
担当者名	やしま なおこ 矢島 直子

講義の到達目標(ねらい) 2002年にロンドンで観たイギリス人劇作家の戯曲を読みます。辞書を引いて英語を理解することと、現実に近い英語会話と戯曲の読み方・理解の仕方を学びます。大人の喜劇ですから、楽しいだけではありませんが、面白い作品です。

講義の内容／
授業スケジュール 戯曲を読んで意味を言ってもらい、こちらで訂正したものを言います。

授業スケジュール 前期:1回目-授業の説明、2~14回目-各回2~4ページずつ進む。15回目-前期末試験。後期:16回目-前期末試験の解説と戯曲を少し読む、17~29回目-各回2~4ページずつ進む。慣れれば進度をあげます。30回目-後期末試験。

準備学習 少なくとも一冊は日本語の戯曲を読んでください。

履修上の留意点 教科書に使うのが、イギリスに注文して印刷してもらう方法の戯曲のため、50冊のみ注文した関係で、50名までしか授業に参加できません。したがって、一回目の授業に出て、履修を決めたらすぐに教科書を購入してください。

どんどん当てますから、必ず予習をしてください。辞書で英単語の意味を調べるだけでなく、一回の授業で扱う範囲全体の意味を理解してください。

成績評価の方法 全出席数の3分の1以上欠席すると、原則的に受験資格がなくなります。

教科書/テキスト 平常点と出席状況に加えて前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

Anthony Neilson, The Lying Kind, A&C Black, imprint Methuen Drama, 9.99 pounds, ISBN 9780413773142

履修コード	286301
科目名	現代を読むスペイン語
担当者名	齊藤 明美

講義の到達目標(ねらい) 初級文法および基本語彙を復習しながら、現代のスペイン語圏の政治・社会、文化についての簡単なテキストを読んでいきます。さらにインターネット等を利用した実践的な情報収集能力、情報発信力を高めます。

前期終了時には、簡単な記事を理解したり、ネットを使つての旅行の計画や現地の友人とメールのやり取りができるようになります。

後期が終了するころには、新聞記事を理解する力やインターネット等を利用して現地で住居や仕事を探せる力がついていることでしょう。またフォーマルな文書も書けるようになります。

講義の内容/
授業スケジュール

前期

- (1) オリエンテーション(コース説明、辞書紹介、スペイン語キーボード) (1)
- (2) スペイン語圏の食習慣、レシピ等 (1-3)
- (3) スペイン語圏の余暇(旅行(交通手段、ホテル予約)、スポーツ等) (4-7)
- (4) 職業と賃金に関する簡単な記事を読んでみよう (8-10)
- (5) 近況報告レター(読解、メール、インフォーマルレターの書き方) (11-13)
- (6) 映画を通したスペイン社会(批評記事の読解+鑑賞+感想) (14-15)

後期

- (7) スペインの住宅事情(記事の読解と物件の検索) (16-17)
- (8) 新聞記事(若者と格差社会) (18-20)
- (9) スペイン人学生の就職活動(面接風景のビデオ) (21-22)
- (10) 求人サイト検索、スペイン語履歴書作成、フォーマルレター作成 (23-25)
- (11) スペインで活躍する日本人紹介記事+応援レター作成 (27-28)
- (12) 映画を通したラテンアメリカ社会 (29-30)

準備学習
履修上の留意点

この授業ではYeStudyを使用します。

成績評価の方法

初級文法修了者対象。

出席3分の2以上を求めますがやむおえない理由の欠席は考慮します。

教科書/テキスト

出席(20点)+授業中の発言・態度(30点)+各テーマの演習問題(20点)+夏休み課題(15点)+後期定期試験または課題(15点)によります。

参考書
その他の

GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スベ単ライト』朝日出版社 1200円

テキストは毎回配布します。

推薦辞書:『西和中辞典』(小学館)『アエルタ新スペイン語辞典』(研究社)等

講義内容の順序が前後する場合があります。

オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。

履修コード	286201
科目名	現代を読む中国語
担当者名	塩旗 伸一郎

講義の到達目標(ねらい) 日中間にはしばしば摩擦が起きる。「世界の多元化と経済のグローバル化」の中でそれは避けがたいことではあるが、お互いが相手のことをよく知らぬまま、誤解と思いこみから性急に行動したり判断停止に陥ったりするケースがままある。先方に合わせるばかりが能ではないが、日本の地理的位置にあつて安寧と幸福を享受しようと思えば、どうしても異なる隣人と平和共存を謀らなければならない。それにはまず相手を知ることが第一歩だ。

講義の内容/
授業スケジュール

彼我の違いの背景にある歴史・文化・社会事情を踏まえて人間行動を理解する力は、国籍や体制にとらわれぬ「国際人」に必要な教養である。

この授業は、中国現代史における重要なエポックとなったテキストを原文で読み、中国語読解力を養うとともに、中国現代史の学習を通じて、国際人としての平和共存力を高めることを目標とする。

原則としてテーマ別学習と史料講読に1週、練習問題と史料の補足に1週を充てる。

準備学習

第1~15週:第1課~第7課

第16~30週:第8課~第13課

履修上の留意点

毎課の第1週はテーマ別学習への解答ならびに史料の音読と翻訳の準備、第2週は練習問題への解答の準備が必要である。

履修には2年間もしくはそれに準ずる中国語学習歴を必要とする。

成績評価の方法

毎回の予習と出席が必須であり、結果は成績に反映する。

教科書/テキスト

平常点100%

参考書

三浦正道・松田徹『現代中国の軌跡——史料と演習』(金星堂 2500円+税)

中日辞典は必携。以下の「辞書案内」を参照のこと。

関連リンク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho/>

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/>

履修コード	286001
科目名	現代を読むドイツ語
担当者名	野島 利彰 <small>のじま としあき</small>

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語圏の新聞を読み、ドイツ並びに世界各国が抱えている問題を知り、その原因と対処の仕方を学びます。

講義の内容／授業スケジュール 訳読は原則として希望者に任せますが、少人数クラスなので一回の授業で必ず一度は順番が回って来ることを予定してください。なお記事中の難しい文法事項、単語などを前もって解説し、辞書を引きやすいようにします。

1-5回 環境問題
6-10回 EU
11-15回 排外主義
16-20回 動物保護
21-25回 緑の党
26-30回 若者と政治

履修上の留意点 文を読む上で必要なことは、正確な文法知識です。1年次の文法教科書を持ってきて下さい。

成績評価の方法 少人数なので試験を行いません。毎回の授業がいわば試験です。どれだけ予習をしたか、どれだけ内容を把握しているか、そしてどれだけ率先して訳を行ったかなどが評価の基準です。

教科書／テキスト ドイツ語圏の新聞のコピーを配布します。

その他 ドイツ語の新聞を読むためには記事の内容を前もって知っておくことが、最短の道です。日本語で知識があればあるほどドイツ語の記事は簡単に読めます。日本の新聞・雑誌あるいは新書などでヨーロッパに関する知識を入れておいて下さい。

外国語

履修コード	286101
科目名	現代を読むフランス語
担当者名	小黒 昌文 <small>おぐろ まさみ</small>

講義の到達目標(ねらい) フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。フランス語で綴られた比較的平易な文章の読解を通して、フランス語圏の文化・社会に対する関心を広げていってください。

講義の内容／授業スケジュール 比較的平易な時事フランス語の文章を読み進めてゆきます。講読が中心となりますが、発音に対する意識も高めてゆきます。既習の文法事項については適宜確認しながら進めます。

(1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)(3) まずはバカロレア！ (4)(5) エコロジックな大使館 (6)(7) 二頭の馬？ (8)(9) 日本人パリジェンヌ (10)～(15) 顔のないエレクトロ・グループ etc (16)～(29) わたしがモード：麗しの鳥コルシカ：モナリザ盗まれる！ etc (30)一年間のまとめ

履修上の留意点 授業での積極的な発言を期待します。

成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書／テキスト ミシェル・サガズ、加藤晴久共著『時事フランス語 2011年度版』(朝日出版社)

参考書 本体1,900円＋税 ISBN978-4-255-35216-9
適宜紹介します。

履修コード	286401
科目名	現代を読むロシア語
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義の到達目標(ねらい) 21世紀のロシアは、豊かな天然資源を基盤に、新興国BRICSの一角を担って著しい経済成長維持している。また、天然資源のみならず、長い歴史と多様な民族、そして人的資源にも恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、人類の文化創造に向けて秘める潜在力は看過できないものがある。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容／授業スケジュール ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点 前期(4-7月) 新聞や雑誌の記事をもとに様々なスタイルのロシア語を読む。

成績評価の方法 後期(9-12月) 現在のロシアが直面する社会的課題と政治の対応に焦点を当てた論文を読み解く。

教科書／テキスト 各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。

参考書 試験は行わず、平常点で評価する。

プリントを配布する。

辞書：研究社露和辞典、岩波ロシア語辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	285701
科目名	時事英語研究
担当者名	<small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

新聞英語、放送英語、インターネットの英語に慣れることを主眼にします。
[授業の内容]
新聞等で話題になったニュースをハンドアウトもしくはファイルの形で配布し、読んでいきます。
放送英語に慣れるために音声付きのニュースを利用し、シャドーイングの練習もします。

[スケジュール]

前期：第1週 オリエンテーション：第2週～第14週 配布資料の講読及び

シャドーイングの練習：第15週 前期試験

後期：第16週 前期試験の結果発表：第17週～第28週 配布資料の講読及び

シャドーイングの練習：第29週 後期試験：第30週 後期試験の結果発表

準備学習

配布された資料の英文を辞書をこまめにひいてしっかり予習してきてください。なお取り上げられているニュースに関する情報を新聞やインターネットを利用して得ておく、英文の理解が容易になります。情報の収集に努めてください。

履修上の留意点

予習は必ずしてきてください。アットランダムにあてて訳をやってもらいます。やってこない場合はテストの点から減点ということになります。

[履修制限について] 受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。

初回の授業で受講の可否を判定しますので、必ず出席すること。

成績評価の方法

前期・後期の試験及びシャドーイングの試験を中心に、予習のし具合、出席状況等を総合的に検討して評価します。

教科書/テキスト
その他の

教科書は使用しません。資料を配布します。

資料としてファイルを配布しますので、USBメモリーを初回の授業時に持参すること。

外国語

履修コード	285901
科目名	時事英語研究
担当者名	おちあい かづあき 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

このクラスのレベルは英語の中級から上級(英検二級、準一級、一級)程度とし、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ、テレビ等で使用されている英語を読み、聞き取ることを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、書き取りをする。第三段階は、リスニングで聞いたニュースの意味を、文字を通して確認する。

年間の授業計画は次の通りである。

第一回 オリエンテーション

第二回 『企業』 chapter 1

第三回 『企業』 chapter 2

第四回 『企業』 chapter 3

第五回 『企業』 chapter 4

第六回 『企業』 chapter 5

第七回 『企業』 chapter 6

第八回 『企業』 chapter 7

第九回 『企業』 chapter 8

第十回 『企業』 chapter 9

第十一回 『企業』 chapter 10

第十二回 『企業』 chapter 11

第十三回 『企業』 chapter 12

第十四回 プリントによる応用問題

第十五回 前期試験

第十六回 『企業』 chapter 1

第十七回 『企業』 chapter 2

第十八回 『企業』 chapter 3

第十九回 『企業』 chapter 4

第二十回 『企業』 chapter 4

第二十一回 『企業』 chapter 5

第二十二回 『企業』 chapter 6

第二十三回 『企業』 chapter 7

第二十四回 『企業』 chapter 8

第二十五回 『企業』 chapter 9

第二十六回 『企業』 chapter 10

第二十七回 プリントによる応用問題

第二十八回 プリントによる応用問題

第二十九回 プリントによる応用問題

第三十回 後期試験

※ 上記の『企業』は『躍進する企業 時代を見抜くビジネスの先鋒』、『CNN』は『CNN:ビデオで見る世界のニュース(12)』を指す。

準備学習

ほぼ毎回、クラスの初めに、まず前もって、その日の課の小テストを行うので、必ず、予習をしておくこと。

履修上の留意点

授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式(学生参加形式)を取り、学生の積極的な参加を求める。また、最初の授業で、教場の座席数以上の履修希望者いた場合、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生は、このクラスを受講できない可能性がある。なお、クラスでは、ヒアリングは毎回行う。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書／テキスト

- 1) 『躍進する企業 時代を見抜くビジネスの先鋒』 ISBN978-4-88198-616-5 C3082 松柏社 2, 000円
- 2) 『CNN:ビデオで見る世界のニュース(12)』 ISBN978-4-255-15494-7朝日出版社 2, 000円
- 3) プリント

外国語

履修コード	285801
科目名	時事英語研究
担当者名	林 明人

講義の到達目標(わらい)
講義の内容/
授業スケジュール

ニュース英語に慣れることを目標とします。
[講義内容] できる限り現在話題になっている英文記事を英字新聞、英語雑誌、インターネットなどから選び講読します。少し難しめのものを読もうと思っています。下記がスケジュールですが、途中にミニテストを行う予定です。尚、事前に記事の試訳を提出して頂きます。

[授業スケジュール]

- 第1週 オリエンテーション
- 第2週-14週 英文記事の購読
- 第15週 前期試験
- 第16週-29週 英文記事の購読、
- 第30週 後期試験

履修上の留意点

予習は不可欠です。英文記事を理解するためには英語の知識だけではなく背景的知识も欠かせません。普段から時事問題に関心を持つようにしてください。尚、原則として遅刻は認めません。

成績評価の方法

成績評価は、試訳40%、テスト40%、出席20%です。年間授業回数の3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。試訳、及びテストの年間の結果が30%を超えていない場合も単位取得は認められません。

教科書/テキスト

ハンドアウトを配布します。

参 考 書

学習者用の英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary EnglishやOxford Advanced Learner's Dictionary of Current English等) を利用してください。

外国語

履修コード	285811
科目名	時事英語研究
担当者名	町田 成男

講義の到達目標(わらい)

海外の雑誌からの記事や社説を読みます。少し手ごわい内容になるかもしれませんが、そういうものに慣れていただければと思っています。詳しくは4月第1週の授業で指示します。
遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

講義の内容/
授業スケジュール

1	ユニット1	16	ユニット5
2	ユニット1	17	ユニット6
3	ユニット1	18	ユニット6
4	ユニット2	19	ユニット6 (テスト)
5	ユニット2	20	ユニット7
6	ユニット2	21	ユニット7
7	ユニット3	22	ユニット7
8	ユニット3	23	ユニット8
9	ユニット3 (テスト)	24	ユニット8
10	ユニット4	25	ユニット8
11	ユニット4	26	ユニット9
12	ユニット4	27	ユニット9
13	ユニット5	28	ユニット9 (テスト)
14	ユニット5	29	ユニット10
15	前期試験	30	後期試験

準備学習

日本の新聞や雑誌でいろいろな記事に触れておくこと。

履修上の留意点

遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

成績評価の方法

①試訳(40%)②テスト(30%)③出席(20%)④発表(10%)で総合評価するが、①、②、④のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、また③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書/テキスト

現在未定につき一回めの授業で発表。

履修コード	285911
科目名	時事英語研究
担当者名	矢島 直子

講義の到達目標(ねらい)

辞書を引いて英文のニュースを読めるようになることと、聞き取りができるようになることが目標です。昨年に続き今年度も、教科書で扱うのは日本の英字新聞で、日本事情が中心ですが、教科書を終えたら、英米の新聞記事(またはオンラインニュース)を取り上げます。教科書で英語のニュースの読み方を学び、その後注釈のない英米の新聞記事を読む練習をすることになります

講義の内容/
授業スケジュール

講義内容は、英語の記事を聞き、読んで意味を取ってもらい、問題を解くもの。

授業スケジュール

前期:1回目-授業の説明。2,3回目-1章、4,5回目-2章、6~14回目-3~9章、15回目-前期末試験。後期:16回目-前期末試験解説と10章、17,18回目-10,11章、19~28回目-12~20章、29回目-英米の最近の記事を使つての授業、30回目-後期末試験。

履修上の留意点

どんどん当てる意味を取ってもらい問題に答えてもらいますから、必ず予習して授業に臨むこと。1回目の授業から出席して下さい。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験資格がなくなります。

成績評価の方法
教科書/テキスト

平常点と出席状況に加えて前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。
深山晶子、他、『Insights 2011』、金星堂、1,900円、ISBN 978-4-7647-3913-0

履修コード	279611
科目名	スペイン語 I A
担当者名	上野 勝広

講義の到達目標(ねらい)

スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容/
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課~5課まで、後期は6課~10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行います。

前期(1)導入、アルファベット(2~5)文字と発音、主語の人称代名詞、動詞ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞hay、位置を表す表現、など(6~10)動詞estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など(11~15)疑問詞の使い方、動詞ir、yoの活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など

後期(16~20)語根母音も変化する動詞、querer、poderの使い方、その他の不規則動詞、動詞gustarの使い方、gustar型の諸動詞、など(21~25)比較の表現、関係代名詞que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など(26~30)100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。

年間4回のテスト結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社)2,500円
初回の授業で紹介しします。

履修コード	353401
科目名	スペイン語 I A
担当者名	大岩 功

講義の到達目標(ねらい)

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容/
授業スケジュール

前期15回 第1回 オリエンテーション、第2回~第5回 名詞と形容詞の性・数、第6回~第9回 動詞serとestar、第10回~第14回 規則活用と所有形容詞・代名詞、第15回 前期理解度の確認
後期15回 第16回~第19回 目的語の代名詞、第20回~第23回 過去分詞と完了形、第24回~第26回 動詞tener、poder、quererの用法 第27回~第29回 不規則活用動詞 第30回 後期理解度の確認(スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)

準備学習
履修上の留意点

次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。

必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法

前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。出席回数が全授業回数の2/3に満たない場合は評価の対象外とします。

教科書/テキスト

『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社

参 考 書

※教科書とは別に、文章読解用の教材を配布します。

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	280511
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	齊藤 明美

講義の到達目標(ねらい) 基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。

前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや自己紹介、また道を聞いたりすることができるようになります。後期が終わるころにはスペイン料理店で自信を持って注文したり、スペイン語圏の友人と簡単なやりとりができるようになります。スペイン語検定試験では6級合格レベルになります。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) オリエンテーション：アルファベット、簡単な挨拶(1)
- (2) 1課：駅で、(発音、アクセント、数、名詞の性・数、冠詞など)、
2課：タクシーで(ser動詞) 3課：ロレンソの家で(estar動詞、所有形容詞) 小テスト(2-7)
- (3) 4課：家族(直説法現在、規則動詞、数字1) 5課：家での食事(不規則動詞1)
6課：買い物(haber、数字2) (8-14)
- (4) 中間試験(15)
- (5) 7-11課：時間、キオスクで、科学の町、バルにて、大聖堂で(不規則動詞1、時刻、日付、目的語、Ir, querer, poder, saberなど)小テスト(16-23)
- (6) 12-15課：病院で、お店で、食べましょう、火祭り(気候、目的語、色、義務、gustar型動詞、身体)(24-29)
- (7) 定期試験(30)

準備学習
履修上の留意点

YeStudyを使用しますので予習・復習に役立ててください
出席三分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。

この授業ではペアなどによる発話練習をたくさん行いながら、基礎文法や生活に密着した語彙を習得します。
恥ずかしがらずに大きな声を出しましょう！

成績評価の方法

授業中の携帯や授業に関係ないおしゃべり等厳禁。
出席、授業態度・積極性、YeStudy使用(20%) + 7月中間試験(25%) + 12月期末試験(30%) + 小テスト(15%) (5月と11月各一回) + 月複数回の語彙ミニテスト(10%)

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他
関 連 リ ン ク

※語彙ミニテスト：挨拶、数字、人称代名詞、国籍、職業、性格・特徴の形容詞、家族、場所、位置、Ser, Estar活用、よく使う動詞、日用品、天候、曜日、月、日付、食べ物、身体などに関する語彙を中心に上げます
ルルデス ドメネク『バレンシアの休日 Vacaciones en Valencia』同学生社 2500円
講義中に推薦する辞書の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
オフィスアワーは毎週火・木曜日12：15～13：00です。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	279401・279801
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	佐藤 佐知

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の初級文法を学ぶ。テキストに沿って文法を習得し、口頭練習や作文練習を通してスペイン語の運用能力を養う。

講義の内容/
授業スケジュール

(1～2) 表記法・発音・アクセント(3～8) SER/ESTAR、一般規則動詞の現在形の活用と用法(9～15) 一般不規則動詞の活用と用法、表現練習(16～23) 目的格代名詞、比較表現、点過去形の活用と用法(24～30) 線過去形の活用と用法、過去時制の使い分け

履修上の留意点

授業中に文意の解釈や作文など作業をするので、必ず辞書を持ってくること(初回の授業で辞書の紹介をします)。語学の習得を目標とするため、授業には積極的に参加すること。

成績評価の方法

期末試験と平常点(出席状況・提出物・小テスト)を総合的に判断して評価する。
平常点(出席・課題等)30点、試験の点数70点

教科書/テキスト

福寛教隆『動く!スペイン語』("Español Dinámico") 2008(朝日出版社) 2600円

履修コード	279601・280001
科目名	スペイン語 I A
担当者名	<small>なかじま さとこ</small> 中島 聡子

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

前期(1)導入、アルファベット(2～5)文字と発音、主語の人称代名詞、動詞ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞hay、動詞estar、所有詞、指示詞など(6～10)規則動詞の活用、不規則動詞の活用など(11～15)語根母音変化動詞の活用、動詞gustarの使い方、gustar型の諸動詞、目的語の人称代名詞 など

後期(16～20)比較表現、線過去など(21～25)点過去、現在分詞、不定語・否定語など(26～30)過去分詞、現在完了、再帰動詞など

履修上の留意点 外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。

成績評価の方法 テスト結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。

教科書／テキスト

1. 動く!スペイン語 Español dinámico (朝日出版社)
2. 西和辞書(「西和中辞典」小学館、あるいは「現代スペイン語辞典 改訂版」白水社 電子辞書も可)

参 考 書

初回の授業で紹介します。

そ の 他

授業では毎回辞書を使います。必ず持参すること。

外国語

履修コード	280501
科目名	スペイン語 I A
担当者名	<small>ましもと ゆういち</small> 真下 祐一

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の初歩を学ぶ。文法知識および語彙の習得だけではなく、正しい発音の定着、場面に即した会話力の養成を目指す。

講義の内容／授業スケジュール

(1～5)導入、名詞に関して、直説法現在規則活用動詞(6～8)動詞SERとESTAR、形容詞(9～14)直説法現在不規則活用動詞、目的格人称代名詞(15)試験(16～20)GUSTAR型動詞、再帰動詞(21～25)現在完了形、受動態(26～29)無人称文、現在分詞(30)試験

準備学習

授業中に学んだことをしっかりと復習しておく。

履修上の留意点

しっかりと声を出して練習に参加する。遅刻・欠席をしないよう心がける。

成績評価の方法

2回の試験の結果60%、出席および授業参加40%

教科書／テキスト

田村さと子 『アノモ!』 白水社 2200円+税

履修コード	280521
科目名	スペイン語 I A
担当者名	<small>よこふじた としやす</small> 横藤田 稔泰

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の基礎を学んでいきます。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるといふ物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地(マドリード、セビーリャ、バルセローナなど)を訪れることとなりますが、みなさんもいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。

講義の内容／授業スケジュール

スペイン語の基本文法を教科書に沿って学習していきます。授業内容の目安は次のようになります。

前期:マドリードとセビーリャ(アルファベット・発音、名詞・形容詞の性と数、serとestar、基数と時刻の表現、基本動詞の活用など)

後期:セビーリャとバルセローナ(語根母音変化動詞、目的格人称代名詞、gustar型動詞、再帰動詞、点過去と線過去など)

履修上の留意点

授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。

成績評価の方法

試験70%(前期と後期の二回実施)出席等30%

教科書／テキスト

福茂教隆『スペインの宝』同学社、2500円

参 考 書

推奨辞書 『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)

履修コード	279501・279901
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	ルイズティノコ、 C.

講義の到達目標(ねらい) この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の基本的な構造と会話能力を身につけることを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 前期は発音、簡単なあいさつ、規則動詞、不規則動詞、現在完了、再帰動詞、点過去、線過去まで学ぶ予定である。(第1～15回)
後期は、未来形、過去未来、接続法、命令形などを学ぶ予定である(第16～30回)。ビデオを見ることもある。

履修上の留意点 毎回の練習は重要なので積極的に参加して下さい。出席を重視する。

成績評価の方法 前期と後期の試験(70%)と授業参加の状態(30%)で評価する。

教科書／テキスト 『やさしくくわしいスペイン語の基礎』 西川喬 第三書房

履修コード	302801・302802・302803
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	石井 登

講義の到達目標(ねらい) スペイン語の基本的な文法を修得することを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール 教科書は全12課からなっており、前期は1～6課、後期は7～12課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション(2～5)名詞、冠詞、ser、estar動詞、形容詞など、(6～10)直説法現在の規則動詞・不規則動詞など、(11～15)目的語の人称代名詞、gustar動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。
後期は(16～20)点過去、線過去、現在分詞など、(21～25)過去分詞、再帰動詞など、(26～30)関係詞、接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書／テキスト 福嶋教隆『動く!スペイン語』朝日出版社2600円978-4-255-55023-7

履修コード	302601・302602・302603
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	大岩 功

講義の到達目標(ねらい) 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容／授業スケジュール 前期15回 第1回 オリエンテーション、第2回～第5回 名詞と形容詞の性・数、第6回～第9回 動詞serとestar、第10回～第14回 規則活用と所有形容詞・代名詞、第15回 前期理解度の確認
後期15回 第16回～第19回 目的語の代名詞、第20回～第23回 過去分詞と完了形、第24回～第26回 動詞tener、poder、quererの用法 第27回～第29回 不規則活用動詞 第30回 後期理解度の確認(スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)

準備学習 次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。出席回数が全授業回数の2/3に満たない場合は評価の対象外とします。

教科書／テキスト 『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社
※教科書とは別に、文章読解用の教材を配布します。

参 考 書 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	303001・303002・303003
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	荻野 恵

講義の到達目標(ねらい) スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて読説力を培う。

講義の内容／授業スケジュール テキストにそって、文法の説明と練習を進める。
前期:名詞形容詞の性数変化、規則動詞の活用など。
後期:不規則動詞、再帰動詞など。

成績評価の方法 成績は出席(2割)、テスト(8割)を総合して評価する。

教科書／テキスト 荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』(大学書林)

外国語

履修コード	302701・302702・302703
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	さいとう あけみ 齊藤 明美

講義の到達目標(ねらい)

基礎文法を楽しく勉強しながら、スペイン語の初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけ、日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。7月には簡単なあいさつや自己紹介、レストランで注文ができ、12月には場所を尋ねたり、自分の願望や日常生活について簡単な会話ができ、さらに西検6級の力がついているでしょう。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) オリエンテーション(アルファベット 簡単な挨拶など) (1)
(2) 1課: あいさつ(発音の仕組み、名前)、2課: 飲み物の注文(名詞の性・数、冠詞、形容詞、数字1)、3課: 学校生活(主語、現在形規則動詞、否定、疑問文、学問と言語など)小テスト、(2-10)
(3) 5課: 自己紹介(Ser、特徴、性質の形容詞、国籍、国など)、6課: 時刻、曜日、日付、値段(指示詞、月、数字2など)(11-14)
(4) 中間試験(15)

(5) 7課: 場所の説明(estar, hay 施設、場所、位置、状態の形容詞、4課: 一週間の行動(不規則動詞1、前置詞、曜日、時など) 8課: したいこと、なりたい職業(不規則動詞2 querer、衣類、小物、色)(16-23) 小テスト
(6) 9-10課: 許可や依頼の表現、持ち家や家族のこと(Poder, tener, 家族)(24-29)
(8) 期末試験(30)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

YeStudyを使用しますので各自、予習・復習に役立ててください。
出席3分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。
出席、授業態度・積極性(25%) + 7月中間試験(25%) + 12月期末試験(30%) + 小テスト(15%)(5月後半、11月前半各一回) + 毎回の授業の確認テスト(YeStudy上)(5%)

教科書／テキスト
参考書
その他の

辻本千栄子(つじもと ちえこ)『やあ、元気? Hola!¿Qué tal? 1』朝日出版社1900円
講義時に推薦する辞書の中から一番使いやすいと思うものを選び、活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。
オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。

関連リンク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

外国語

履修コード	303011・303012・303013
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕 スペイン語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	さいとう まりの 佐藤 麻里乃

講義の到達目標(ねらい)

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容／
授業スケジュール

プリントにそって教員が解説を行い、その後受講者は関連する練習問題を解いて提出する。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

プリントと辞書を毎回必ず持参すること。授業時の提出物の出来具合により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

試験は行わず、毎回の授業内で提出する課題の点数により評価する。やむをえない事情で欠席した場合は、(それを証明できる文書等を提出した場合に限り)後日課題を提出すればその点数の80%をもって評価する。

教科書／テキスト

プリント配布

履修コード	356401・356402
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	さいとう まりの 佐藤 麻里乃

講義の到達目標(ねらい)

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容／
授業スケジュール

プリントにそって教員が解説を行い、その後受講者は関連する練習問題を解いて提出する。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

プリントと辞書を毎回必ず持参すること。授業時の提出物の出来具合により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

試験は行わず、毎回の授業内で提出する課題の点数により評価する。やむをえない事情で欠席した場合は、(それを証明できる文書等を提出した場合に限り)後日課題を提出すればその点数の80%をもって評価する。

教科書／テキスト

プリント配布

履修コード	289901
科目名	スペイン語ⅠA (選)
担当者名	中島 聡子

講義の到達目標(わらい) スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。
前期(1)導入、アルファベット(2～5)文字と発音、主語の人称代名詞、動詞ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞hay、動詞estar、所有詞、指示詞など(6～10)規則動詞の活用、不規則動詞の活用など(11～15)語根母音変化動詞の活用、動詞gustarの使い方、gustar型の諸動詞、目的語の人称代名詞 など
後期(16～20)比較表現、線過去など(21～25)点過去、現在分詞、不定語・否定語など(26～30)過去分詞、現在完了、再帰動詞など

履修上の留意点 外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。

成績評価の方法 試験結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。

教科書／テキスト 1. 動く!スペイン語 Español dinámico (朝日出版社)
2. 西和辞書(「西和中辞典」小学館、あるいは「現代スペイン語辞典 改訂版」白水社 電子辞書も可)

参 考 書 初回の授業で紹介いたします。

そ の 他 授業では毎回辞書を使います。必ず持参すること。

外国語

履修コード	281721
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	石井 登

講義の到達目標(わらい) スペイン語の基本的な文法を修得することを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール 教科書は全12課からなっており、前期は1～6課、後期は7～12課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション(2～5)名詞、冠詞、ser、estar動詞、形容詞など、(6～10)直説法現在の規則動詞、不規則動詞など、(11～15)目的語の人称代名詞、gustar動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。
後期は(16～20)点過去、線過去、現在分詞など、(21～25)過去分詞、再帰動詞など、(26～30)関係詞、接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書／テキスト 福駕教隆『動く!スペイン語』朝日出版社2600円978-4-255-55023-7

履修コード	281701
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	上野 勝広

講義の到達目標(わらい) スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。
前期(1)導入、アルファベット(2～5)文字と発音、主語の人称代名詞、動詞ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞hay、位置を表す表現、など(6～10)動詞estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など(11～15)疑問詞の使い方、動詞ir、yoの活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など
後期(16～20)語根母音も変化する動詞、querer、poderの使い方、その他の不規則動詞、動詞gustarの使い方、gustar型の諸動詞、など(21～25)比較の表現、関係代名詞que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など(26～30)100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点 少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法 年間4回のテストの結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。

教科書／テキスト 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社)2,500円

参 考 書 初回の授業で紹介いたします。

履修コード	280911
科目名	スペイン語 I B
担当者名	おきの めぐみ 荻野 恵

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	<p>スペイン語の基礎文法、初級講読、リスニングをバランスよく身につけていきます。</p> <p>前期</p> <p>1 文字と発音</p> <p>2～4 主語人称代名詞・定冠詞・動詞活用</p> <p>5～7 不定冠詞・複数形の作り方</p> <p>8～10 目的格人称代名詞・形容詞</p> <p>11～13 gustar型動詞・所有詞</p> <p>14～15 まとめと試験</p> <p>後期</p> <p>1～2 点過去形・過去を表わす副詞</p> <p>3～4 再帰動詞・時間表現・比較表現</p> <p>5～6 線過去形・現在完了形</p> <p>7～8 未来形・現在分詞・天候の表現</p> <p>9～10 命令形・感嘆文</p> <p>11～12 命令形・知覚動詞</p> <p>13～14 接続法現在形・過去未来形</p> <p>15 試験</p>
履修上の留意点	辞書については授業中に紹介します。辞書と親しみながら予復習を心がけ、積極的な姿勢で授業に臨んでください。
成績評価の方法 教科書/テキスト	各学期最終授業日に実施する試験(8割)と出席状況(2割)を総合して評価します。 小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語—マドリッド編』(朝日出版社)

履修コード	280901
科目名	スペイン語 I B
担当者名	くろばやし ゆきえ 栗林 ゆき絵

講義の到達目標(ねらい)	基本的な単語や挨拶のほか、基本的な文法事項を整理してスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。
講義の内容/ 授業スケジュール	授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期(1-15回)は名詞句と現在形の文法、後期は過去形(1-8回)および再帰動詞(9-15回)の文法を中心に学習する。学期の中間に小テスト(活用・単語・作文)を実施。
履修上の留意点	前後期各1回程度中間テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。
成績評価の方法	中間テスト20%(日程は授業中に指示)、前後期の期末試験80%。半期で5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。
教科書/テキスト	栗林ゆき絵ほか著 「エストレリータ スペイン語入門コース」(朝日出版社、2,200円) ISBN 978-4-255-55034-3
参 考 書	〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)ISBN4-09-515522-1 ポケット版『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』でも可(小学館 2,800円) ISBN4-09-506131-6

履修コード	281301
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	栗林 ゆき絵

講義の到達目標(ねらい) 前期60文、後期60文、年間で計120文程度の基本表現と、挨拶・数字・時間表現等の基本語彙を身につける。

講義の内容／授業スケジュール 1年間で下記教科書の第1課～第10課を中心に学習する。
前期は、挨拶・数字と発音(1-2回)、現在形(3-10回)、復習(11-15回)、の予定。
後期は、目的語代名詞・好き嫌いの文(1-2回)、過去形(3-10回)、基本動詞(*)の現在形・過去形を用いた自己紹介の表現(11-12回)、復習(13-15回)の予定。
毎回、初回に簡単な復習問題(表現集・会話練習の)の単語・活用形)を実施する予定。
(基本動詞20=hablar, comer, vivir, conocer, ver, tener, poder, querer, ser, ir, hacer, estar, venir, salir, llamarse, levantarse, decir, leer, dormir, dar + gustar)

準備学習 毎回授業の最初に小テストを行う。前回の復習をしておくこと。

履修上の留意点 平常点を重視するので、積極的に参加すること。考えたうえで間違えるのは構わないが、やる気のない者は出席扱いにはしない。

成績評価の方法 平常点50%(小テスト40%/出席・授業態度10%)、前後期の期末試験50%とする。

教科書／テキスト 栗林ゆき絵ほか著 「エストレリータ スペイン語入門コース」(朝日出版社、2,200円) ISBN 978-4-255-55034-3

参考書 <辞書>『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)ISBN4-09-515522-1
ポケット版『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』でも可(小学館 2,800円) ISBN4-09-506131-6

外国語

履修コード	280701
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	佐藤 麻里乃

講義の到達目標(ねらい) 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容／授業スケジュール 教科書にそって解説と練習を行う。発音とアクセント、性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞などを主に扱う。

準備学習 語学は積み重ねなので、習ったことをしっかり理解することが重要。予習の必要はないが、復習をするとよい。

履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。

成績評価の方法 試験(前期・後期各1回の予定) 80%、出席率20%を原則とする。

教科書／テキスト 泉水浩隆『スペイン語キックオフ』白水社

参考書 『デイリーコンサイス西和・和西辞典』三省堂

履修コード	281201
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	佐藤 麻里乃

講義の到達目標(ねらい) 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容／授業スケジュール 教科書にそって解説と練習を行う。発音とアクセント、性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞などを主に扱う。

準備学習 語学は積み重ねなので、習ったことをしっかり理解することが重要。予習の必要はないが、復習をするとよい。

履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。

成績評価の方法 試験(前期・後期各1回の予定) 80%、出席率20%を原則とする。

教科書／テキスト 飯野・松行共著『はじめまして!スペイン語』白水社

参考書 『デイリーコンサイス西和・和西辞典』三省堂

履修コード	281711
科目名	スペイン語 I B
担当者名	^{よしも ゆういち} 真下 祐一

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語の初歩を学ぶ。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていながら、正確な発音で生き活きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語運用能力の開発を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) スペイン語圏について、文字と発音 (4・5) 動詞SER (6・7) 動詞ESTAR (8・9) 動詞HABER (10・11) 指示詞、疑問詞 (12～14) 規則活用動詞 (15) 試験 (16・17) 不規則活用動詞① (18・19) 不規則活用動詞② (20・21) 不規則活用動詞③ (22・23) 所有詞 (24・25) 目的語代名詞 (26・27) GUSTAR型動詞 (28・29) 再帰動詞 (30) 試験
準備学習 履修上の留意点	授業中に学んだことをしっかりと復習しておく。 学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していること。しっかりととはっきりと話す習慣が身に着くよう積極的な姿勢で授業に参加する。
成績評価の方法 教科書／テキスト	2回の試験60%、出席および授業参加40% 山道佳子、他 『スペイン語でお願いします!』 同学社 2500円+税

履修コード	353601
科目名	スペイン語 I B
担当者名	^{よこふじた としやす} 横藤田 稔泰

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語の基礎を学んでいきます。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるという物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地(マドリード、セビーリャ、バルセローナなど)を訪れることとなりますが、みなさんもいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。
講義の内容／ 授業スケジュール	スペイン語の基本文法を教科書に沿って学習していきます。授業内容の目安は次のようになります。 前期：マドリードとセビーリャ(アルファベット・発音、名詞・形容詞の性と数、serとestar、基数と時刻の表現、基本動詞の活用など) 後期：セビーリャとバルセローナ(語根母音変化動詞、目的格人称代名詞、gustar型動詞、再帰動詞、点過去と線過去など)
履修上の留意点	授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	試験70% (前期と後期の二回実施) 出席等30% 福嶋教隆『スペインの宝』同学社、2500円 推奨辞書 『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)

履修コード	280801・281101
科目名	スペイン語 I B
担当者名	米田 ^{よねだ} 博美 ^{ひろみ}

講義の到達目標(ねらい)	現代世界のグローバル化により、ますます二国間・多国間・地域間関係が緊密化しています。(一例として2010年11月、横浜で開催されたAPECで、スペイン語圏から、メキシコ、ペルー、チリが参加)グローバル化のもたらす影響は大きく、経済面でも日本と豊富な資源をもつスペイン語圏諸国との交流は確実に深化しています。グローバル化が進むなか、スペイン語の重要性を認識し、「神が話す言葉」と言われる美しい言語の発音、文法の基礎、文章読解の方法を中心に学び、スペイン語圏世界の文化の多様性をDVD(世界遺産)やCD(音楽)で鑑賞し、スペイン語への関心を高めること。
講義の内容／ 授業スケジュール 準備学習	年間スケジュールとして、下記テキストの1～6課までを前期に、7～10課の範囲を後期に学習します。(必要に応じて、先の課を説明することもあれば、補足的に適宜、プリント資料を配布します)スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、テキストの予習やNHKの語学講座などで補完すると、より高い関心をもつことができ講義の理解が深まります。
履修上の留意点	授業の初めには前週の講義内容の復習を若干しますが、自習や復習を心がけてください。講義内容がよく理解できれば、スペイン語を学ぶ楽しさ、意欲が倍増します。語学学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、出席を重視します。最初の数回の授業は欠席しないように。特に最も大切な基礎が理解できないと、以後の授業の理解が難しくなります。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	成績は、出席、授業への積極的な参加の態度、小テスト、期末テストなどにより総合的に判断します。 教科書：「英語からスペイン語へ」(細川幸夫他著、弘学社) 辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、「現代スペイン語辞典」(白水社)を初めとして、「和西中辞典」(小学館)、「新スペイン語辞典」(研究社)、「クラウン西和辞典」などを推薦しておきます。
そ の 他	文法的事項の説明は一方的なものとならないよう、インターアクティブな授業形態をとり、発音も重視します。

履修コード	290501
科目名	スペイン語ⅠB (選)
担当者名	齊藤 明美

講義の到達目標(ねらい) 基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。

講義の内容/
授業スケジュール

前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや自己紹介、また道を聞いたりすることができるようになります。後期が終わるころにはスペイン料理店で自信を持って注文したり、スペイン語圏の友人と簡単なやりとりができるようになります。スペイン語検定試験では6級合格レベルになります。

- (1) オリエンテーション：アルファベット、簡単な挨拶(1)
- (2) 1課：駅で、(発音、アクセント、数、名詞の性・数、冠詞など)、
2課：タクシーで(ser動詞) 3課：ロレンソの家で(estar動詞、所有形容詞) 小テスト(2-7)
- (3) 4課：家族(直説法現在、規則動詞、数字1) 5課：家での食事(不規則動詞1)
6課：買い物(haber、数字2) (8-14)
- (4) 中間試験(15)

準備学習
履修上の留意点

- (5) 7-11課：時間、キオスクで、科学の町、バルにて、大聖堂で(不規則動詞1、時刻、日付、目的語、Ir, querer, poder, saberなど)小テスト(16-23)
- (6) 12-15課：病院で、お店で、食べましょう、祭り(気候、目的語、色、義務、gustar型動詞、身体)(24-29)
- (7) 定期試験 (30)

成績評価の方法

YeStudyを使用しますので各自予習・復習に役立ててください
出席3分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。やむをえない理由で欠席する場合は証明書等を提出すること。
出席、授業態度・積極性、YeStudy使用(20%) + 7月中間試験(25%) + 12月期末試験(30%) + 小テスト(15%) (5月と11月各一回) + 月複数回の語彙ミニテスト(10%)

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

※語彙ミニテスト：挨拶、数字、人称代名詞、国籍、職業、性格・特徴の形容詞、家族、場所、位置、Ser, Estar活用、よく使う動詞、日用品、天候、曜日、月、日付、食べ物、身体などに関する語彙を中心に取上げます

ルルデス ドメネク『バレンシアの休日 Vacaciones en Valencia』同学社 2500円
初回の授業で推薦する辞典の中から各自使いやすいものを選び活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。
オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。

関連リンク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	291101
科目名	スペイン語Ⅱ (選)
担当者名	佐藤 麻里乃

講義の到達目標(ねらい) 原語でまとまった量の文章を読むことに慣れ、スペイン語の持つ諸特徴への理解を深める。

講義の内容/
授業スケジュール

受講者はあらかじめテキストの文章を予習しておき、授業時に音読と和訳をする。教員は必要に応じてこれに解説を加える。

準備学習
成績評価の方法

毎回必ず予習(わからない単語は辞書で調べ、全文を和訳できるように)してくること。
試験(前期・後期各1回の予定) 70%、平常点(出席率と予習状況) 30%。

教科書/テキスト

プリント配布

履修コード	282111
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	石井 登

講義の到達目標(ねらい) すでに学んできたスペイン語文法の復習と平易な文章の読解を通じて、スペイン語力を高めます。

講義の内容/
授業スケジュール

教科書は全20課からなっており、前期は1~10課、後期は11~20課を学びます。

履修上の留意点
成績評価の方法

前期は(1)オリエンテーション、(2~5) ser, estarの用法、直説法現在の活用(6~12) gustar動詞、再帰代名詞を伴う動詞、人称代名詞(13~15) 点過去など。
後期は(16~20) 線過去、過去分詞、現在完了、過去完了など。(21~23) 直説法未来・過去未来、(24~27) 接続法現在、命令文(28~30) 接続法過去、接続法の用法など。

授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。
木村琢也『スペイン語の基礎』朝日出版社2100円978-4-255-55038-1

履修コード	282121
科目名	スペイン語Ⅱ A
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール 準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト 参考書	スペイン語Ⅰで学習した知識を活用して長文読解能力を養い、スペイン語を話す地域の生活や文化、考え方への理解を深めることをねらいとします。 前期15回 スペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習しつつ、平易な文章の読解力を身につけます。第1回オリエンテーション 第2回～第4回 文法復習と文章講読(1)、第5回～第7回 文法復習と文章講読(2)、第8回～第10回 文法復習と文章講読(3)、第11回～第13回 文法復習と文章講読(4) 第14回 予備日、第15回 前期理解度の確認 後期15回 新しい文法項目を学習しながら、長文の読解力を養います。第16回～第20回 点過去時制の導入と文章講読、第21回～第23回 点過去・線過去を用いた文章講読、第24回～第26回 過去時制と完了時制の理解と文章講読、第27回～第29回 未来時制と過去未来時制の理解と文章講読、第30回 後期理解度の確認 (スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります) 次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。出席回数が全授業回数数の2/3に満たない場合は評価の対象外とします。 『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 ※教科書とは別に、長文読解用の教材を配布します。 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)
---	--

外国語

履修コード	353701
科目名	スペイン語Ⅱ A
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール 準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト 参考書	スペイン語Ⅰで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、読解力を養うことをねらいとします。 前期15回 第1回オリエンテーション 第2回～第4回 動詞estarと指示代名詞、第5回～第7回 estarと直接目的語の代名詞、第8回～第10回 不規則動詞の形と用法、第11回～第13回 間接目的語の代名詞とgustar型の動詞、第14回 総復習、第15回 前期理解度の確認 後期15回 第16回～第20回 再帰動詞の形と用法、第21回～第23回 復習と応用練習問題、文の読解、第24回～第26回 過去分詞と現在完了時制、第27回～第29回 点過去時制の導入、第30回 後期理解度の確認 (スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります) 次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。出席回数が全授業回数数の2/3に満たない場合は評価の対象外とします。 『AVENTURA』立岩礼子他著 同学社 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)
---	---

履修コード	282401
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	はまだ かずのり 濱田 和範

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語Iで学習した基礎を確認しつつ、さらなる文法の理解を深めます。前期は主に既習事項の復習に当てます。初歩的な文法知識を一通りマスターし、会話や読解の実践につながる総合的な力をつけることが目標です。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期 (第1回) オリエンテーション、一年の学習範囲の確認・復習 (第2～5回) 名詞・冠詞・形容詞の変化、ser, estarの活用、hay...の文など (第6～9回) 直説法現在の動詞活用、基本的な前置詞、代名詞など (第10～15回) 再帰代名詞、直説法点過去・線過去の活用など 後期 (第16回) 前期学習事項の復習 (第17～21回) 現在分詞・過去分詞、現在完了、関係詞など (第22～25回) 過去完了、未来形、過去未来形、感嘆文など (第26～30回) 接続法現在・過去形、命令表現など 随時、練習問題やその他の課題を課します。
準備学習 履修上の留意点	漫然と話を聞いているだけでは、語学は習得できません。頭と口をフルに使い、積極的にスペイン語を吸収することが求められます。各課のスキット部分や練習問題などでは随時指名して音読や回答をしてもらいます。
成績評価の方法	定期テスト(年2回)……50%、出席点(授業への参加態度を含む)……30%、小テスト・提出課題等(不定期)……20%
教科書／テキスト その他	初回授業にて連絡します。 一年次の進度および受講者の理解度をみながら進めるので、上記授業スケジュールには多少の変更が生じることがあります。

履修コード	282101・282301
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	ましむ ゆういち 真下 祐一

講義の到達目標(ねらい)	一年次で学んだスペイン語の基礎を充実させ、以降の学習につなげていく。読む、書く、聞く、話す、四つの能力の総合的な発展を促す。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 一年次の復習 (4～9) 線過去、点過去 (10～12) 完了形、関係詞 (13・14) 前期の復習 (15) 試験 (16～19) 未来形、分詞、比較、再帰動詞 (20～22) 過去未来形 (23・24) 接続法現在 (25・26) 命令 (27～29) 接続法過去 (30) 試験
準備学習 履修上の留意点	授業中に学んだことをしっかり復習しておくこと。 授業に積極的に参加する。学習の動機を育てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	試験の結果60%、出席・授業参加40%
教科書／テキスト	東京大学教養学部スペイン語部会 『ディメロ ースペイン語初級ー』 朝日出版社 2200円+税

履修コード	303301・303302・303303
科目名	スペイン語ⅡA [再クラス] スペイン語ⅡB [再クラス] スペイン語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	いしい のぼる 石井 登

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語文法の基礎を復習し、修得することを目的とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	教科書は全20課からなっており、前期は1～10課、後期は11～20課を学びます。 前期は(1)オリエンテーション(2～5)名詞、冠詞、ser, estarなどの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6～10)直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級、最上級など、(11～15)点過去、線過去など。 後期は(16～20)現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21～26)未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27～30)接続法など。
履修上の留意点	授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
成績評価の方法	前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。
教科書／テキスト	福駕教隆『生き活きスペイン語』朝日出版社2000円978-4-255-55013-8

履修コード	303201・303202・303203
科目名	スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕 スペイン語ⅡC〔会話〕〔再クラス〕
担当者名	<small>おおいわ いさお</small> 大岩 功

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語Iで学習した知識を活用して長文読解能力を養い、スペイン語を話す地域の生活や文化、考え方への理解を深めることをねらいとします。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期15回 スペイン語Iで学習した文法項目を復習しつつ、平易な文章の読解力を身につけます。第1回オリエンテーション 第2回～第4回 文法復習と文章講読(1)、第5回～第7回 文法復習と文章講読(2)、第8回～第10回 文法復習と文章講読(3)、第11回～第13回 文法復習と文章講読(4) 第14回 予備日、第15回 前期理解度の確認 後期15回 新しい文法項目を学習しながら、長文の読解力を養います。第16回～第20回 点過去時制の導入と文章講読、第21回～第23回 点過去・線過去を用いた文章講読、第24回～第26回 過去時制と完了時制の理解と文章講読、第27回～第29回 未来時制と過去未来時制の理解と文章講読、第30回 後期理解度の確認 (スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)
準備学習 履修上の留意点	次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。出席回数が全授業回数 $\frac{2}{3}$ に満たない場合は評価の対象外とします。
教科書／テキスト	『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 ※教科書とは別に、長文読解用の教材を配布します。
参考書	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)

外国語

履修コード	356501・356502
科目名	スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	<small>くりほやし ゆきえ</small> 栗林 ゆき絵

講義の到達目標(ねらい)	現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。 教科書で会話表現を年間100程度学習し、それを応用してさまざまな口頭会話・作文表現ができるようになることを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	辞書と活用表の見方に習熟することも本授業の目標である。 前期は現在形復習(1-4回)、点過去・線過去(5-10回)、再帰動詞(11-12回)、復習と応用(13-15回目)の予定。 後期は、現在完了(1-2回)、分詞(3回)、未来と過去未来(4-5回)、接続法(6-8回)、命令文(9-10回)、読み物(11-13回)、復習(14-15回)、の予定。 応用会話の教材は別途プリント配布の予定。 希望があれば、スペインや中南米に関する新聞記事等の購読も行いたい。 最終授業時は作文と和訳の試験を実施する。
履修上の留意点	最初は難しく感じると思うが、できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。 提出課題として、前回の内容の復習の作文を毎回授業のはじめに実施する。 日々の授業で地道に力をつけていってほしい。 いかなる理由でも、試験のみ受験、あるいは課題のみ提出の受講者には単位を認めない。
成績評価の方法	辞書(和西単語集つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。 平常点(授業中の課題および出席)50%、期末試験50%
教科書／テキスト	会話練習を多く行うので出席を重視する。毎回提出課題あり。 栗林ゆき絵ほか著「エストレリータ スペイン語入門コース」(朝日出版社、2,200円) ISBN 978-4-255-55034-3
参考書	〈辞書〉『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

履修コード	303101・303102・303103
科目名	スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕 スペイン語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	<small>はまだ かずのり</small> 濱田 和範

講義の到達目標(ねらい) スペイン語Iで学習した基礎を確認しつつ、さらなる文法の理解を深めます。前期は主に既習事項の復習に当てます。初歩的な文法知識を一通りマスターし、会話や読解の実践につながる総合的な力をつけることが目標です。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～8課まで、後期は9課～15課を学習します。

前期

- (第1回) オリエンテーション（アルファベット、あいさつ文）
- (第2～4回) 名詞・冠詞・形容詞の変化、serの用法、人称代名詞など
- (第5～9回) 数詞、estarの用法、動詞の活用、所有詞、年齢の表現など
- (第10～15回) 数詞（100まで）、直接目的語、不規則変化する動詞の活用、前置詞など

後期

- (第16回) 前期学習事項の復習
- (第17～21回) 再帰動詞、疑問文、比較級など
- (第22～26回) 直説法点過去・線過去の活用など
- (第27～30回) 不定詞、現在分詞・過去分詞、受身、直説法未来形活用など

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

随時、練習問題やその他の課題を課します。
各課のスキット部分や練習問題などは随時指名して音読や回答をしてもらいます。
テスト（年2回）……50%、出席点（授業への参加態度を含む）……30%、小テスト・提出課題等（不定期）……20%

教科書／テキスト
その他

木村琢也『¡Bienvenidos al español!』同人社、2500円（ISBN:978-4-8102-0376-9）
理解度をみながら進めるので、上記授業スケジュールには多少の変更が生じることがあります。

外国語

履修コード	282511
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	<small>いしい のぼる</small> 石井 登

講義の到達目標(ねらい) スペイン語文法の基礎を復習し、修得することを目的とします。
講義の内容／授業スケジュール 教科書は全20課からなっており、前期は1～10課、後期は11～20課を学びます。
前期は、(1)オリエンテーション、(2～5)名詞、冠詞、ser、estarなどの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6～10)直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など、(11～15)点過去、線過去など。

後期は、(16～20)現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21～26)未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27～30)接続法など。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
前期と後期の試験（50%）と出席や課題提出などの平常点（50%）で評価します。
福嶋教隆『生き活きスペイン語』朝日出版社2000円978-4-255-55013-8

履修コード	282501
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

外国語	講義の到達目標(ねらい)	スペイン語Iで学習した内容を発展させ、長文読解能力を身に着けます。日本人に身近なトピックについてスペイン語で書かれた文章を読みながら、スペイン語を話す人々の物の見方、考え方への理解を深めることをねらいとします。
	講義の内容／授業スケジュール	前期15回 スペイン語Iで学習した文法項目を復習しつつ、平易な文章の読解力を身につけます。第1回オリエンテーション 第2回～第4回 文法復習と文章講読(1)、第5回～第7回 文法復習と文章講読(2)、第8回～第10回 文法復習と文章講読(3)、第11回～第13回 文法復習と文章講読(4) 第14回 予備日、第15回 前期理解度の確認 後期15回 新しい文法項目を学習しながら、長文の読解力を養います。第16回～第20回 点過去時制の導入と文章講読、第21回～第23回 点過去・線過去を用いた文章講読、第24回～第26回 過去時制と完了時制の理解と文章講読、第27回～第29回 未来時制と過去未来時制の理解と文章講読、第30回 後期理解度の確認 (スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります) 次回の授業までに予習する範囲を毎回告知します。必ず予習していただくことを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
	準備学習履修上の留意点	前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。出席回数が全授業回数の2/3に満たない場合は評価の対象外とします。
	成績評価の方法	『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 ※教科書とは別に、長文読解用の教材を配布します。
	教科書／テキスト	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)
	参考書	

履修コード	282621
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	さいとう あけみ 齊藤 明美

外国語	講義の到達目標(ねらい)	一年次で学習した基礎文法を復習しながら、過去形、現在完了形、再帰動詞や日常よく使われる口語表現などをDVD付きの教材などを通して学びます。 7月にはスペイン語圏の友人に自分の思い出話を語ったり、簡単なEメールを書いたり、12月には短期語学留学に無理なく参加できる力が付いていることでしょうか。西検5級合格(努力次第で4級)の実力が付いているでしょう。
	講義の内容／授業スケジュール	前期 (1)オリエンテーション・自己紹介(1) (2)7課:過去のことを語る1(点過去、疑問詞)(2-5) (3)8課:過去のことを語る2・買い物(線過去、haber、連結、数字)(6-9) (4)9課、電子メール(現在分詞、hacer、季節、不定語、否定語など)(10-14) (5)中間試験(15) 後期 (6)10課 パーティー(過去分詞、受動文、現在完了形、再帰動詞)(16-19) (7)11課 ミニ観光(再帰動詞2、受動文2、命令法、関係詞、不定詞)(20-23) (8)12課 テスト(接続法現在、命令文、動詞のまとめ、序数詞など)(24-27) (9)一年間のまとめ(28、29) (10)定期試験(30)
	準備学習履修上の留意点	YeStudyを使用します。毎回の授業の予習・復習に役立ててください 出席3分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。
	成績評価の方法	出席、授業態度・積極性(20%) + 7月中旬試験(30%) + 12月期末試験(30%) + 小テスト(15%)(5月後半、11月前半1回ずつ) + 毎回の授業の確認テスト(YeStudy上)(5%)
	教科書／テキスト	福富(ふくしま)『Español Dinámico 動く!スペイン語』朝日出版社、2600円
	参考書	講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
	その他の	学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。 オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15～13:00)です。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku/	

履修コード	282611
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	濱田 和範

講義の到達目標(ねらい) スペイン語Iで学習した基礎を確認しつつ、さらなる文法の理解を深めます。前期は主に既習事項の復習に当てます。初歩的な文法知識を一通りマスターし、会話や読解の実践につながる総合的な力をつけることが目標です。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用い、前期は1課～8課まで、後期は9課～14課を学習します。

前期

- (第1回) オリエンテーション、一年次の学習範囲の確認・復習
- (第2～5回) 冠詞・形容詞の変化、ser、estarの用法、直説法現在の活用など
- (第6～8回) 代名詞、gustar型動詞の用法 など
- (第9～15回) 直説法点過去・線過去の活用、比較級など

後期

- (第16回) 前期学習事項の復習
- (第17～21回) 現在分詞・過去分詞、現在完了、関係詞など
- (第22～25回) 再帰動詞、過去完了、未来形、過去未来形、感嘆文など
- (第26～30回) 接続法現在・過去形、命令表現など

準備学習
履修上の留意点

随時、練習問題やその他の課題を課します。
漫然と話を聞いているだけでは、語学は習得できません。頭と口をフルに使い、積極的にスペイン語を吸収することが求められます。各課のスキット部分や練習問題などでは随時指名して音読や回答をしてもらいます。

成績評価の方法

定期テスト(年2回)……50%、出席点(授業への参加態度を含む)……30%、小テスト・提出課題等(不定期)……20%

教科書／テキスト
その他の

栗林ゆきえ他『La estrellita』朝日出版社、2200円 (ISBN:978-4-255-55034-3)
一年次の進捗および受講者の理解度をみながら進めるので、上記授業スケジュールには多少の変更が生じることがあります。

外国語

履修コード	282631
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	真下 祐一

講義の到達目標(ねらい) 一年次で学んだことを基礎に、スペイン語の文章表現に親しむ。語学の勉強を通して、スペイン語圏文化の特異性、多様性、自国文化との相違についての関心を抱いてもらう。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～3) スペインに着いて (4～6) 日本で (7～9) スペインでの体験 (10～12) 体育の日 (13・14) スペインの地方 (15) 試験 (16～18) 鎌倉へ (19～21) サラマンカで (22～24) 春の到来 (25～27) 火祭り (28・29) 歴史の授業 (30) 試験

準備学習
履修上の留意点

かならず予習をして授業に参加する。
学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

2回の試験の結果60%、出席・授業参加40%

教科書／テキスト

エデルミラ・アマット、他 『文化の違いを超えて』 白水社 2100円+税

履修コード	353801
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	横藤田 稔泰

講義の到達目標(ねらい) 1年時に学習した内容の復習と新しい文法事項(再帰動詞、点過去・線過去、現在完了、接続法現在)の習得をめざします。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるという物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地(マドリード、セビーリヤ、バルセロナなど)を訪れることとなりますが、みなさんもいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。

講義の内容／授業スケジュール 前期は1年時の文法項目の復習が中心となります。後期は新しい文法事項を中心に学習していきます。もちろん、受講者のみなさんの習得度、理解度に応じて、柔軟に進度を変えていきますが、目安としては次のようになります。

履修上の留意点 前期:バルセロナとパンブローナ(不規則動詞、gustar型動詞、再帰動詞、現在完了)
後期:サン・セバスティアンとラ・コルーニャ(点過去、線過去、未来形、接続法現在)
授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。

成績評価の方法 試験70%(前期と後期の二回実施)出席等30%

教科書／テキスト 福島教隆『スペインの宝』同学社、2500円

参考書 推奨辞書『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)

履修コード	282811
科目名	スペイン語ⅡD スペイン語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	上野 勝広

講義の到達目標(ねらい) スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課~10課まで、後期は11課~20課を学習します。必要な文法事項を補充し、口頭および筆記の練習をしてゆきます。

履修上の留意点 スペインの諸文化を話題にした文章を通じて、読解力だけでなく平易なスペイン語での表現力向上も図りましょう。

前期(1)オリエンテーション (2~5)直説法現在、など (6~10)現在完了、点過去など(11~15)線過去、比較など
後期(16~20)関係詞、など(21~25)接続法現在、など(26~30)接続法現在完了、接続法過去完了、など

休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文やプリントで補充される練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法 年間4回のテストの結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。

教科書／テキスト 西川喬、セフェリーノ・プエブラ『改訂版 スペインを知るために』(第三書房)2,200円

履修コード	282801
科目名	スペイン語ⅡD スペイン語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	真下 祐一

講義の到達目標(ねらい) 一年次に学習したことを復習しながら、実際の場面で役に立つ表現を習得する。文法の基礎を確かにしつつ、以降各学習者が勉強を続けていくための土台の完成を目指す。

講義の内容／授業スケジュール (1)導入 (2~4)存在文、位置の表現 (5~7)SERとESTAR、時間 (8~10)直説法現在、許可を求める、依頼する、GUSTAR型動詞 (11~13)不定詞、命令 (14)復習 (15)試験 (16~18)再帰動詞 自己紹介(19~22)完了、接続法現在 (23~25)点過去、線過去 (26~28)比較、関係詞、未来 (29)復習 (30)試験

準備学習 授業中に学んだことをしっかりと復習しておく。

履修上の留意点 積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 2回の試験の結果60% 出席・授業参加40%

教科書／テキスト 坂東省次、他『《三訂版》コミュニケーションのためのスペイン語』第三書房 2300円+税

履修コード	283001
科目名	スペイン語ⅢA スペイン語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	齊藤 明美

講義の到達目標(ねらい)	三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基礎を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくために必要な土台の完成に努めます。文法は勿論のこと専用問題集を利用して幅広い語彙習得やヒアリング能力を高めます。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 現在形の復習(1-3) (2) 再帰動詞、比較、現在完了、受け身、無人称の復習(4-6)、(3) 点過去の復習(7, 8) (4) 線過去の復習(9, 10) (5) 未来形、過去未来(11, 12) (6) 命令形(13) (7) 復習(14) (8) 中間試験(15) (9) 接続法現在①(16-18) (10) 接続法現在②(19-21) (11) 接続法現在③(22-24) (12) 接続法過去(25・26) (13) 条件文(27・28) (14) まとめ(29) (15) 後期試験(30)
履修上の留意点	新聞記事などスペイン語の短い読み物も随時配布する予定です。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席(20%) + 授業内の発言、態度(20%) + 前期・後期試験(それぞれ25%) + 小テスト(10%) GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト』朝日出版社1200円 テキストは毎回配布します。
参 考 書 そ の 他	参考書 講義中に推薦する辞書から自分に合うもの活用しましょう。 オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。

外国語

履修コード	288301
科目名	スペイン語コミュニケーションⅠ
担当者名	モラーレス、ムニョス、S.

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語を用いて平易な日常会話が可能となるよう、必須の語彙を蓄えつつ、基礎文法の習得を目指す。同時にスペイン語圏についての知識を深める。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 世界の中のスペイン語・発音とアルファベット (2) 自己紹介をする・動詞SERとESTAR (3) 自己紹介における形容詞の用い方・所有形容詞 (4) 場所と位置関係の表現 (5) 直説法現在規則活用動詞 (6-7) 曜日と月・数詞 (8-9) 再帰動詞 (10) 直説法現在不規則活用動詞 (11) HABERとESTAR (12) 動詞GUSTAR (13) 食事について (14) 天候の表現 (15) 前期試験 (16) 命令法(規則活用) (17) 依頼の表現 (18) 現在進行形 (19) 約束をするときの表現 (20) 点過去規則活用 (21) 買い物をする (22) 目的語代名詞 (23-24) 身体各部の名称・病院で動詞DOLER (25-26) 点過去不規則活用 (27) 線過去 (28-29) 現在および過去の習慣について (30) 後期試験
履修上の留意点	積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席(20%)、短い作文、発話(30%)、2回の口頭試験(50%)。 Francisca Castro Viúdez, et al. 『Español en marcha 1, A1. (Libro del alumno)』(S.G.E.L.)

履修コード	289101
科目名	スペイン語コミュニケーションⅡ
担当者名	モラーレス、ムニョス、S.

講義の到達目標(ねらい)	スペイン語のやさしい言い回しで心情などが表現できるようにする。過去の出来事の語り方や、未来の計画の立て方を学ぶ。現代のテーマについてスペイン語で意見を述べられるようにする。
講義の内容／授業スケジュール	(1-3) 自分について話す (4-6) 評伝を読む (7-9) 習慣と行事 (10-12) 未来の事柄 (13-14) 過去と現在 (15) 前期試験 (16-18) 比較 (19-21) 広告文・求人・買い物 (22-24) 助言をする (25-27) 自由時間・世界のお祭り (28-29) 未来の計画 (30) 後期試験
履修上の留意点	以前に学んだ文法の復習をしっかりとっておくこと。積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席(20%)、短い作文、発話(30%)、2回の口頭試験(50%)。 Francisca Castro Viúdez 『Español en marcha 2, A2. (Libro del alumno)』(S.G.E.L.)

履修コード	287201
科目名	スペイン語スキルアップ
担当者名	上野 勝広

講義の到達目標(ねらい)	このクラスでは、スペイン語検定試験(3級・4級)に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。
講義の内容／授業スケジュール	作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。 前期(1)オリエンテーション(2~5)自動詞・再帰動詞・他動詞の構文、など(6~10)連結動詞の構文、など(11~15)関係節、など 後期(16~20)副詞節、など(21~25)受動構文、など(26~30)比較構文、など
履修上の留意点	「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期末・学年末試験の結果(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。 小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』(第三書房)2,500円

外国語

履修コード	272711
科目名	中国語ⅠA
担当者名	秋元 翼

講義の到達目標(ねらい)	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に、読めるが聞き取れないと言う弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容／授業スケジュール	○内容 I Aでは課文の音読・日訳、定着のための問題演習を行う。I Bでは文法の説明、入れ替え練習を行う。 ○スケジュール 前期：発音、第1課(是)、第2課(名詞述語文)、第3課(動詞述語文)、第4課(形容詞述語文、主述述語文)、第5課(有、量詞)、第6課(在、方位詞)、第7課(能願動詞一想・要)、第8課(能願動詞一会・能) 後期：第9課(様態補語一得)、第10課(了)、第11課(二重目的語文)、第12課(動態助詞一過、動量補語)、第13課(結果補語、可能補語)、第14課(方向補語、可能補語)、第15課(処置文、受身文)、第16課(使役文)、第17課(存現文、着、是~的)、第18課(才・就)
準備学習	予習・復習をきちんとすること。特に、学習済みの課文・例文はCDを大いに活用し、暗記できるまで繰り返し聞き、復習するように。
履修上の留意点	土曜日2時限「中国語ⅠB(小栗山恵先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスも休まずに出席すること。授業中は大きな声で発音練習をすること。
成績評価の方法 教科書／テキスト 関連リンク	試験の成績(6割)、出席状況・授業中の取り組み・提出物(4割)等により総合的に評価する。 余慕・小栗山恵・綾部武彦『中文学習基礎篇』南雲堂フェニックス 2500円+税 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	273311
科目名	中国語ⅠA
担当者名	秋元 翼

講義の到達目標(ねらい)	発音・文法・表現において中国語がどんな言語であるかという入門的な理解を得る。特に、読めるが聞き取れないと言う弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容／授業スケジュール	○内容 I Aでは課文の音読・日訳、定着のための問題演習を行い、I Bでは文法の説明、入れ替え練習を行う。 ○スケジュール 前期：発音、第1課(是)、第2課(名詞述語文)、第3課(動詞述語文)、第4課(形容詞述語文、主述述語文)、第5課(有、量詞)、第6課(在、方位詞)、第7課(能願動詞一想・要)、第8課(能願動詞一会・能) 後期：第9課(様態補語一得)、第10課(了)、第11課(二重目的語文)、第12課(動態助詞一過、動量補語)、第13課(結果補語、可能補語)、第14課(方向補語、可能補語)、第15課(処置文、受身文)、第16課(使役文)、第17課(存現文、着、是~的)、第18課(才・就)
準備学習	予習・復習をきちんとすること。特に、学習済みの課文・例文はCDを大いに活用し、暗記できるまで繰り返し聞き、復習するように。
履修上の留意点	土曜日1時限「中国語ⅠB(小栗山恵先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。授業中は大きな声で発音練習をすること。
成績評価の方法 教科書／テキスト 関連リンク	試験の成績(6割)、出席状況・授業の取り組み・提出物(4割)等により総合的に評価する。 余慕・小栗山恵・綾部武彦『中文学習基礎篇』南雲堂フェニックス 2500円+税 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	272601
科目名	中国語 I A
担当者名	<small>いわさき ひろし</small> 岩崎 皇

講義の到達目標(ねらい)	初めて中国語を学ぶ人を対象に、中国語という言語を体験してもらうことが主な目的です。それは同時に、使える中国語を習得するための基礎作りをして行くことにもなります。とりわけ発音は重要ですから、繰り返し練習します。
講義の内容／ 授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。この授業は土曜日2限の「中国語1B」と連続した授業になります。最初6回～8回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後、前半(20課分に相当)は1つの課を1.5回～2回で、後半(16課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語1Aと1Bそれぞれで、6回を越えた場合は原則として単位取得はできません。 この授業は必ず、蘭明先生担当の「中国語1B」(土曜日2限)とセットで履修してください。片方だけの履修では単位取得は出来ません。
成績評価の方法 教科書／テキスト 関連リンク	上記の出席を満たした上で、中国語1Aと1Bをあわせて年間4～6回行う試験で判断します。 遠藤光暁「北京物語」(朝日出版社)2,500円(本体) http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

外国語

履修コード	274211
科目名	中国語 I A
担当者名	<small>いわさき ひろし</small> 岩崎 皇

講義の到達目標(ねらい)	初めて中国語を学ぶ人を対象に、中国語という言語を体験してもらうことが主な目的です。それは同時に、使える中国語を習得するための基礎作りをして行くことにもなります。とりわけ発音は重要ですから、繰り返し練習します。
講義の内容／ 授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。この授業は月曜日1限の「中国語1B」と連続した授業になります。最初6回～8回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後、前半(20課分に相当)は1つの課を1.5回～2回で、後半(16課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語1Aと1Bそれぞれで、6回を越えた場合は原則として単位取得はできません。 この授業は必ず、岩崎担当の「中国語1B」(月曜日1限)とペアで履修してください。片方だけの履修では単位取得は出来ません。
成績評価の方法 教科書／テキスト 関連リンク	上記の出席を満たした上で、中国語1Aと1Bをあわせて年間4～6回行う試験で判断します。 董燕・遠藤光暁『北京物語』(朝日出版社/2500円+税) http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	352601
科目名	中国語 I A
担当者名	梅田 雅子

講義の到達目標(ねらい)

- ・ピンインを正確に読めるようになる。知らない単語もピンインを見れば発音できるようになる。
- ・身の周りのことなどについて、中国語で話すことができるようになる。
- ・文法に基づいて、中国語の文章を作れるようになる。

講義の内容／
授業スケジュール

ピンイン(中国式ローマ字表記)で発音の基礎を学んでから、簡単な文法や基本的な表現を学ぶ。一課につき、主に梅田が前半(文法と本文の確認)を、王が後半(発音練習と応用練習、教科書の練習問題)を担当する。

■年間スケジュール(予定) ※理解度により多少前後する

【前期】

- 1回目：発音練習
- 2回目：発音練習
- 3回目：1課前半
- 4回目：2課前半①
- 5回目：2課前半②
- 6回目：3課前半
- 7回目：4課前半①
- 8回目：4課前半②
- 9回目：5課前半①
- 10回目：5課前半②
- 11回目：6課前半
- 12回目：7課前半①
- 13回目：7課前半②
- 14回目：期末試験

【後期】

- 1回目：答案返却+8課前半
- 2回目：9課前半①
- 3回目：9課前半②
- 4回目：10課前半①
- 5回目：10課前半②
- 6回目：11課前半①
- 7回目：11課前半②
- 8回目：12課前半①
- 9回目：12課前半②
- 10回目：13課前半①
- 11回目：13課前半②
- 12回目：自己紹介
- 13回目：学年末試験
- 14回目：試験予備日+答案返却+解説

準備学習
履修上の留意点

小テストについては事前に予告するので、自宅で準備してくること。

★中国語1B(金曜：王聡 担当)も必ず合わせて履修すること。

- ・4分の3以上の出席を要する。
- ・授業中は積極的に声を出して発音練習をすること。
- ・恥ずかしがらずに何度もチャレンジすること。

成績評価の方法

■成績評価の方法

平常点(小テストの平均点・平常の出席状況・学習態度・理解度)および期末テスト(前期後期)の成績で総合的に評価する。

■成績の割合

- ・平常点30%+期末試験(前期後期)70%
- ・無断で欠席するごとに-2点
- ・遅刻3回=欠席1回

教科書／テキスト
その他の
関連リンク

尹景春・竹島毅『《最新版》中国語ははじめの一步』白水社、2200円+税
・欠席した場合は、クラスメートに宿題や小テストの有無を確認すること。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	272301
科目名	中国語 I A
担当者名	小栗山 恵 <small>おぐりやま けい</small>

講義の到達目標(ねらい) 発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容／授業スケジュール 内容 IAでは文法の説明、入れ替え練習を主に行い、IBでは課文の音読・日訳、定着のために問題演習を行う。スケジュール 前期：発音、第一課(是)、第二課(名詞述語文)、第三課(動詞述語文)、第四課(形容詞述語文、主述述語文)、第五課(有、量詞)、第六課(在、方位詞)、第七課(能願動詞“想”“要”)、第八課(能願動詞“会”“能”) 後期：第九課(様態補語“得”)、第十課(“了”)、第十一課(二重目的語文、介詞)、第十二課、(動態助詞“过”、動量補語)、第十三課(結果補語)、第十四課(方向補語)、第十五課(処置文、受け身文)、第十六課(使役文)、第十七課(存現文、“着”“是～的”)、第十八課(“才”“就”)

準備学習 与えられた課題は、家で時間をかけて暗記してくる。暗記した内容を、ほぼ毎回の授業で口頭試験をする。

履修上の留意点 土曜日2時限「中国語 I B (徳間佳信先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物(3割)等により総合的に評価する。

教科書／テキスト 余慕 小栗山恵 綾部武彦『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

外国語

履修コード	273201
科目名	中国語 I A
担当者名	小栗山 恵 <small>おぐりやま けい</small>

講義の到達目標(ねらい) 発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容／授業スケジュール IAでは文法の説明、入れ替え練習を主に行い、IBでは課文の音読・日訳、定着のために問題演習を行う。スケジュール 前期：発音、第一課(是)、第二課(名詞述語文)、第三課(動詞述語文)、第四課(形容詞述語文、主述述語文)、第五課(有、量詞)、第六課(在、方位詞)、第七課(能願動詞“想”“要”)、第八課(能願動詞“会”“能”) 後期：第九課(様態補語“得”)、第十課(“了”)、第十一課(二重目的語文、介詞)、第十二課、(動態助詞“过”、動量補語)、第十三課(結果補語)、第十四課(方向補語)、第十五課(処置文、受け身文)、第十六課(使役文)、第十七課(存現文、“着”“是～的”)、第十八課(“才”“就”)

準備学習 与えられた課題は、家で時間をかけて暗記してくる。暗記した内容を、ほぼ毎回の授業で口頭試験をする。

履修上の留意点 土曜日1時限「中国語 I B (徳間佳信先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物(3割)等により総合的に評価する。

教科書／テキスト 余慕 小栗山恵 綾部武彦『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	272701
科目名	中国語 I A
担当者名	佐藤 普美子 <small>さとう ふみこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：導論およびアンケート。第2～5回：発音の基礎固め。第6～14回：教科書第1課～10課。第15回：前期末試験。第16～29回：教科書第11課～21課。第30回：後期末試験。生活の中の主な場面(前後期合わせて7ユニット)で必要になる基本的表現を学びます。週2回(I A、I B)の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。

準備学習 予習として、その日に習う課の本文をCD(教科書付属)で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。

履修上の留意点 土曜日2限のI B(佐藤担当)と必ずセットで履修して下さい。発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかります。

成績評価の方法 出席点(最低、4分の3以上の出席が必要)と試験成績(前期末・後期末試験+通年4～5回の小テスト)を総合して評価を行います。

教科書／テキスト 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友 トータル版』(朝日出版社)2500円+税

ISBN : 978-4-255-45167-1

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	273301
科目名	中国語 I A
担当者名	佐藤 普美子

講義の到達目標(ねらい) 初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：導論およびアンケート。第2～5回：発音の基礎固め。第6～14回：教科書第1課～10課。第15回：前期末試験。第16～29回：教科書第11課～21課。第30回：後期末試験。生活の中の主な場面（前後期合わせて7ユニット）で必要になる基本的表現を学びます。週2回（I A、I B）の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。

準備学習 予習として、その日に習う課の本文をCD（教科書付属）で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。

履修上の留意点 土曜日1限のI B（佐藤担当）と必ずセットで履修して下さい。発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。

成績評価の方法 出席点（最低、4分の3以上の出席が必要）と試験成績（前期末・後期末試験＋通年4～5回の小テスト）を総合して評価を行います。

教科書／テキスト 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友 トータル版』（朝日出版社）2500円＋税
ISBN：978-4-255-45167-1

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	272721
科目名	中国語 I A
担当者名	塩旗 伸一郎

講義の到達目標(ねらい) 外の世界を知ることは楽しい。それは自らを豊かにすることでもある。日本語と最も縁の深い中国語を学ぶことは、日本語をより深く知ることにもなる。ことばと映像で中国各地を旅しながら中国語を楽しむ学ぼう。

講義の内容／授業スケジュール 中国語 I B（土曜第2時限）と連続して進みます。
第1～2週：発音篇
第3～14週：第1課～第8課
第15週：前期末試験
第16～29週：第9課～第20課
第30週：後期末試験

準備学習 中国語は意味はわかりやすいが音に表わすのが難しい。付属のCDをよく聞いて口まねを繰り返すこと。

履修上の留意点 課ごとの練習問題は宿題となります。中国語 I B（土曜第2時限 塩旗）とひと続きの授業です。必ず両方とも受講してください。外国語の学習は毎回の出席と参加が肝腎です。授業中の私語、通話、メール、睡眠は出席と見なしません。欠席が6回を超えた場合は評価の対象から外します。

成績評価の方法 前期中間試験（30％）＋前期末試験（30％）＋前期小テスト（20％）＋平常点（20％）

教科書／テキスト 楊凱榮・張麗群『旅して学ぶ中国語』（朝日出版社 2500円＋税）

参考書 辞書の購入は義務ではないが、学習に楽しみと広がりを与えるためにお勧めします。以下の「辞書案内」を参照のこと。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho>

履修コード	274401
科目名	中国語 I A
担当者名	塩旗 伸一郎

講義の到達目標(ねらい) 中国語という言葉を経験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。

講義の内容／授業スケジュール 中国語基礎文法を主として講義します。発音段階は4回で終わらせます。月曜日第1時限の「中国語 I B」と木曜日第4時限の「中国語 I A」は連続した授業となります。前半(10課分に相当)は2回に1課の割合で、後半(10課分に相当)は、ほぼ1回に1課進みます。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、中国語 I A、I Bとも各6回を越えた場合は単位取得ができません。

成績評価の方法 この授業は必ず、月曜日第1時限「中国語 I B」（陳先生担当）とペアで履修してください。欠席が6回を超えないことを前提とした上で、中国語 I A と I B をあわせて年間5～6回行う試験で判断します。

教科書／テキスト 林正人『楽しい初級中国語』（隆美出版 2000円＋税）

その他 MP3プレイヤー等を利用して、テキストの録音を繰り返し聞くことを勧めます。

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	274101
科目名	中国語 I A
担当者名	曹 泰和

講義の到達目標(ねらい)	発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。
講義の内容/ 授業スケジュール	①発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。 (授業:1回目~14回目; 15回目:前期期末テスト。) ②文法は教科書の展開に従い、句型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。 (授業:16回目~29回目; 30回目:後期期末テスト。) ③半期15回、通年30回
履修上の留意点	月曜日1限のI B(三田村担当)と必ずセットで履修すること。 出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。 授業態度も成績に加味するので、私語厳禁。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参考書 関連リンク	前期と後期の中間試験、期末試験は80%;出席、授業態度20% 楊凱榮・張麗群『旅して学ぶ中国語』朝日出版社 2500円 授業開始時に説明する。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

外国語

履修コード	272201
科目名	中国語 I A
担当者名	根岸 政子

講義の到達目標(ねらい)	中国語の発音と基本文法を学びます。
講義の内容/ 授業スケジュール	(前期) 第1回:ガイダンス 第2回~第4回:発音 第5回:動詞述語文 第6回:「有」と「在」第7回:形容詞述語文 第8回:連動文 第9回:選択疑問文 第10回:中間試験 第11回:完了の「了」第12回:時点と時間・助動詞「会」 第13回:前置詞・助動詞「能」 第14回:期末試験 (後期) 第15回:存現文・様態補語 第16回:経験表現 第17回:結果補語・是~的 第18回:方向補語 第19回:兼語文 第20回:中間試験 第21回:比較表現 第22回:受身表現 第23回:複合方向補語 第24回:使役表現・進行の「在」 第25回:並列表現・ことわざ 第26回:「把」構文・可能補語 第27回:強調構文 第28回:期末試験
履修上の留意点	この中国語 I Aと中国語 I Bの授業と各1回ずつ(合わせて週2回)の授業で教科書を1課ずつ進むことを目安としますが、進捗の状況によって多少ずれることがあります。中国のさまざまな土地の風景や人々の暮らしの様子を見ることのできるDVDつきの教科書をつかいます。興味を持ったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきっと楽しくなるはずですよ。 土曜第2時限「中国語 I B(下出宣子先生)」と必ずセットで履修すること。 同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。 教室でも、家で復習するときも大きな声を出して発音練習しましょう。試験が近くなってからあわてて復習するのでは遅いので、毎日こつこつ単語を覚えましょう。
成績評価の方法	中間・期末試験の成績(70%)に、出席状況・小テスト・授業への取り組みや発言など平常点(30%)を総合して評価します。成績はI A、I Bの担当教員がそれぞれ評価します。
教科書/テキスト 関連リンク	楊凱榮・張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社)2,500円+税 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	272901
科目名	中国語ⅠA
担当者名	根岸 ^{ねがし} 政子 ^{まさこ}

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国語の発音と基本文法を学びます。

(前期)

第1回：ガイダンス 第2回～第4回：発音 第5回：動詞述語文 第6回：「有」と「在」 第7回：形容詞述語文 第8回：連動文 第9回：選択疑問文 第10回：中間試験
第11回：完了の「了」 第12回：時点と時間・助動詞「会」 第13回：前置詞・助動詞「能」
第14回：期末試験

(後期)

第15回：存現文・様態補語 第16回：経験表現 第17回：結果補語・是～的
第18回：方向補語 第19回：兼語文 第20回：中間試験 第21回：比較表現
第22回：受身表現 第23回：複合方向補語 第24回：使役表現・進行の「在」
第25回：並列表現・ことわざ 第26回：「把」構文・可能補語 第27回：強調構文
第28回：期末試験

履修上の留意点

この中国語ⅠAと中国語ⅠBの授業と各1回ずつ(合わせて週2回)の授業で教科書を1課ずつ進むことを目安としますが、進度の状況によって多少ずれることがあります。中国のさまざまな土地の風景や人々の暮らしの様子を見ることのできるDVDつきの教科書をつかいます。興味を持ったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきっと楽しくなるはずです。

成績評価の方法

土曜第1時限「中国語ⅠB(下出宣子先生)」と必ずセットで履修すること。
同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。
教室でも、家で復習するときも大きな声を出して発音練習しましょう。試験が近くなってからあわてて復習するのでは遅いので、毎日こつこつ単語を覚えましょう。

教科書/テキスト
関連リンク

中間・期末試験の成績(70%)に、出席状況・小テスト・授業への取り組みや発言など平常点(30%)を総合して評価します。成績はⅠA、ⅠBの担当教員がそれぞれ評価します。
楊凱榮・張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社)2,500円+税
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	272401
科目名	中国語ⅠA
担当者名	橋本 ^{はしもと} 幸枝 ^{さちえ}

講義の到達目標(ねらい)

まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。

講義の内容/
授業スケジュール

前期第1回目～第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は中間テスト、第10・11回目は第3課、第12・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は期末テスト。
後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は中間テスト、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第11回目は第12課、第12回目は第13課、第13回目は第14課、第14回目は第15課、第15回目は期末テスト

準備学習

発音を身につけるには繰り返しの練習が必要です。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積んで下さい。単語やピンインもよく復習し、覚えて下さい。

履修上の留意点

二人の教師が連携して授業を進めます。土曜日2限のⅠB(張先生担当)と必ずセットで履修して下さい。

成績評価の方法

わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかりと身につけて下さい。
試験(中間・期末)の成績を75%、宿題や小試験、出席状況、授業中の態度を25%とし、これ等を総合して評価します。

教科書/テキスト
関連リンク

趙秀敏・冨田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社)2,700円+税
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	273101
科目名	中国語 I A
担当者名	橋本 幸枝

講義の到達目標(ねらい)	まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期第1回目～第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は中間テスト、第10回目・11回目は第3課、第12回目・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は期末テスト。 後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は中間テスト、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第12回目は第13課、第14回目は第15課、第15回目期末テスト。
準備学習	発音を身につけるには繰り返しの練習が必要です。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積んでください。単語やピンインもよく復習し、覚えて下さい。
履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進めます。土曜1限のIB(張先生担当)と必ずセットで履修して下さい。
成績評価の方法	わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかりと身につけて下さい。 試験(中間・期末)の成績を75%、宿題や小試験、出席状況、授業中の態度を25%とし、これ等を総合して評価します。
教科書／テキスト 関連リンク	趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

外国語

履修コード	272501
科目名	中国語 I A
担当者名	本間 由香利

講義の到達目標(ねらい)	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容／ 授業スケジュール	単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。
履修上の留意点	土曜日2限のIB(曹先生担当)と必ずセットで履修すること。 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
成績評価の方法	出席を重視し、平常点(授業態度)、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。
教科書／テキスト 参考書 関連リンク	内田慶市・奥村佳代子ほか『中国語への道 近きより遠きへ』(金星堂) 2,380円+税 授業の中で紹介する。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	273001
科目名	中国語 I A
担当者名	本間 由香利

講義の到達目標(ねらい)	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容／ 授業スケジュール	単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。
履修上の留意点	土曜日1限のIB(塩旗先生担当)と必ずセットで履修すること。 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
成績評価の方法	出席を重視し、平常点(授業態度)、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。
教科書／テキスト 参考書 関連リンク	内田慶市・奥村佳代子ほか『中国語への道 近きより遠きへ』(金星堂) 2,380円+税 授業の中で紹介する。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	274301
科目名	中国語ⅠA
担当者名	三田村 圭子

講義の到達目標(ねらい) 発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚える。学習1年間終了時には、簡単な会話や文章の基本表現を習得することを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。(第1～7回)
②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。(第8～14回)
第15回 試験
③文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。(第16～29回)
第30回 試験

準備学習 聴き取りの練習問題等、事前の準備をしてほしい。

履修上の留意点 出欠や授業に積極的に参加しているかは、成績に加味する。欠席の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法 前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって総合評価する。欠席が4分の1を超える学生は評価対象としない。

教科書／テキスト 内田慶市著『中国語への道 近きより遠きへ』金星堂 2380円 978-4-7647-0659-0

参考書 授業開始時に説明する。

その他 李雲先生(IB)と三田村(IA)のペアであることに注意すること。

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	274201
科目名	中国語ⅠA
担当者名	宮本 厚子

講義の到達目標(ねらい) 発音、文法の基礎を学ぶ。
習得の難しい発音を繰り返し練習し、ピンイン(中国語の発音記号)を見れば、自分で読めるようにする。

講義の内容／授業スケジュール 基本的な単語を習得し、文法に沿って、簡単な文が作れ、話せるようにする。
1～4回 発音
以降は、1週間に1課のペースで進める。
前期はUnit4まで。
復習テストを随時行う。

準備学習 予習は必ずしも必要ではないが、復習は必ず行うこと求める。

履修上の留意点 月曜第1限「中国語ⅠB(宮本厚子担当)」と必ずセットで履修すること。

成績評価の方法 語学は積み重ねが重要なので、真摯に取り組んでもらいたい。

教科書／テキスト 前後期の中間、期末の4回のテストの平均(70%)と平常点(30%)で評価する。

参考書 董燕・遠藤光暁『北京物語』2500円+税(朝日出版社)
辞書、参考書は授業の中で適宜紹介する。

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	300601・300602・300603
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	秋元 翼

講義の到達目標(ねらい) 発音や文法を丁寧に説明し、再履修の学生が初級中国語を挫折しないで最後まで学び終わられるようにする。

講義の内容／授業スケジュール 発音、初級文法・初級表現を学ぶ。前期はピンイン・四声をしっかり学び直し、「是」「有」「在」の文など初級文法の前半(発音から第6課まで)を勉強する。後期は引き続き発音練習を重視しながら助動詞・介詞・補語など初級文法の後半(第7課から第12課まで)を学び終える。

準備学習 先ず、再履修になった原因を克服するように、今年度は履修の心構えをしっかりと作ること。その上で、予習・復習をきちんとし、最後までやりきるように。課文、例文は暗記できるまでCDを聞き、発音練習をすること。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要する。今年度は絶対に単位を落とさないという気持ちで授業に臨んで欲しい。授業中は積極的に声を出して発音練習すること。

成績評価の方法 平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書／テキスト 本間史・孟広学『中国語ポイント42』白水社、2100円+税

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	301201・301202・301203
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	曹 泰和

講義の到達目標(わらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国語の発音、初級文法を修得する
 (1) 発音表記の仕方と発音練習 (1~4)
 (2) 人称代名詞、指示代詞。動詞、形容詞述語文等 (5~7)
 (3) 数詞、時間詞、動量詞。名詞述語文等 (8~10)
 (4) 助動詞、動態助詞等 (11~13)
 (5) 補語 (1)、比較文等 (14~16)
 (6) 補語 (2)、“把”構文等 (17~19)
 (7) 受身、使役文等 (20~22)
 (8) 存現文、関連詞等 (23~25)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
関連リンク

遅刻早退欠席をしない。授業の予習復習を必ず行う。
 授業内テスト+出席+課題および授業態度の総合評価
 山下輝彦著『入門中国語の小窓』2011年発行(同学社)2300円
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	301511・301512・301513
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	曹 泰和

講義の到達目標(わらい)
講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

中国語・中国に興味と関心を持ってもらうこと。
 基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。(半期15回、通年30回)
 元気よく、積極的に授業に参加すること。ただし、私語厳禁。出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
関連リンク

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
 竹島金吾監修 尹 景春・竹島 毅著『中国語はじめての一步』(白水社)2200円+税
 開講時に説明する。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	301301・301302・301303
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	張 潤涛

講義の到達目標(わらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国人講師について中国語をゼロから学び直します。発音と会話の練習を繰り返し、語順と文法を丁寧に説明して、挫折せず最後まで修得できるよう指導します。
 第1-3回：名前の音読と声調、ピンイン、音節表。
 第4回：発音小テストと解説。
 第5-7回 (1-2-3課)
 第8-10回前半 (4-5課)
 第10回後半：前期中間テストと解説。
 第11-12回前半 (6課)
 第12回後半-14回 (7課)
 第15回：前期末試験。

準備学習
履修上の留意点

第16回：前期末試験解説、発音と第1-7課の総復習。
 第17-19回 (8課)
 第20-21回前半 (9課)
 第21回後半-24回前半 (10課)
 第24回後半：後期中間テストと解説。
 第25回-26回前半 (11課)
 第26後半-29回 (12課)
 第30回：後期末試験(試験終了後、解答配布)。
 予習、復習すること。
 4分の3以上の出席を求めます。今年度は絶対に単位を落とさないという気持ちで授業に臨んで欲しい。初級は音声の習得が第一なので、授業中は積極的に声を出して練習すること。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とし、年間3回小テストの成績(4割)と、前後期末試験の成績(6割)により総合的に評価する。

教科書/テキスト
そ の 他
関連リンク

山下輝彦『入門中国語の小窓』(同学社2011年2月初版発行、CD付き、2300円+税)
 基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や歴史、文化、流行に関わることを紹介する予定です。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	301501・301502・301503
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	弘兼 加奈子

講義の到達目標(ねらい) 当初は、発音や基本的な文法の確認を行います。テキストは文法、会話文、練習問題から構成されています。

講義の内容／
授業スケジュール

一年を通じ、バランスの取れた学力向上を目指していきます。

- 第1回 発音・声調確認 他
- 第2回～第14回 本文・練習問題等
(うち1回は中間試験)
- 第15回 前期試験
- 第16回～第29回 本文・練習問題等
(うち1回は中間試験)
- 第30回 後期試験

履修上の留意点

課が終了するごとに、チェック用のプリントを配る予定です。
理解度の目安にしてください。
中国語Ⅰは、中級中国語の基礎となるものなので、出席しているだけでは単位は取れません。ある程度の成績を取めるようにしてください。

成績評価の方法
教科書／テキスト
関連リンク

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価、出欠によって総合的に判断します。
渡辺晴夫 他 『フレッシュ中国語』 白水社 2000円+税 ISBN4-560-01744-1
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	301401・301402・301403
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 中国語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	蘭 明

講義の到達目標(ねらい) 初めて中国語を学ぶ人、または再度ははじめからチャレンジする人を対象に、中国語を体験してもらうことが主な目的です。正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。最初4回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後はほぼ1.5回で1課進みます。

欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。

成績評価の方法
教科書／テキスト
関連リンク

出席、小テスト（朗読・暗誦・会話のプレゼンテーション）と年間2回行う試験で判断します。
遠藤光暁『北京物語』（朝日出版社）2,500円（本体）
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	356001・356002
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	蘭 明

講義の到達目標(ねらい) 初めて中国語を学ぶ人、または再度ははじめからチャレンジする人を対象に、中国語を体験してもらうことが主な目的です。正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール
準備学習
履修上の留意点

ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。最初4回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後はほぼ1.5回で1課進みます。

予習、復習すること。
欠席しないこと。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。

成績評価の方法
教科書／テキスト
関連リンク

出席、小テスト（朗読・暗誦・会話のプレゼンテーション）と年間2回行う試験で判断します。
遠藤光暁『北京物語』（朝日出版社）2,500円（本体）
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	289801
科目名	中国語 I A (選)
担当者名	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい)	初めて中国語を学ぶ人を対象に、中国語の会話に必要な技能を身につけるための練習をしていきます。
講義の内容／授業スケジュール	テキストに沿って練習していきます。最初の4～5回は集中的に発音の説明と練習を行います。その後12課ある本文を1課につき1.5～2回のペースで進んでいきます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は原則として単位取得はできません。 なお、就職活動を行う学生はそのつど状況を報告してください。場合により上記の制限を多少緩和することがあります。
成績評価の方法	上記の出席を満たした上で、年間3～4回行う試験の成績により評価します。ただし、試験に2回以上欠席すると評価ができません。
教科書／テキスト	劉穎『1年生のコミュニケーション中国語』(白水社) 2,200円(本体)
その他の関連リンク	MP3プレイヤー等を利用して、テキストの録音を繰り返し聞くことを勧めます。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	289811
科目名	中国語 I A (選)
担当者名	宮本 厚子 <small>みやもと あつこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	中国語の基礎を学ぶ。 習得の難しい発音を繰り返し練習する。 基本的な文法や語彙を習得し、簡単な文が聞いて理解でき、話せるように、訓練する。
講義の内容／授業スケジュール	1～4回は発音。 それ以降は、1課を2回位のペースで進んでゆく。 前期は5課まで。
履修上の留意点	必ず復習すること。 適宜小テストを行うので、それに備えることが復習になるはずである。
成績評価の方法	後期の中間、前後期の期末の3回のテストの成績の平均(70%)と平常点(30%)とで評価する。
教科書／テキスト	八木章好他『おぼえる中国語』(朝日出版社) 2200円(+税)
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	276611
科目名	中国語 I B
担当者名	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい)	初めて中国語を学ぶ人を対象に、中国語という言語を体験してもらうことが主な目的です。それは同時に、使える中国語を習得するための基礎作りをして行くことになります。とりわけ発音は重要ですから、繰り返し練習します。
講義の内容／授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。この授業は木曜日4限の「中国語 I A」と連続した授業になります。最初6回～8回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後、前半(20課分に相当)は1つの課を1.5回～2回で、後半(16課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語 I A と I B それぞれで、6回を越えた場合は原則として単位取得はできません。 この授業は必ず、岩崎担当の「中国語 I A」(木曜日4限)とペアで履修してください。片方だけの履修では単位取得は出来ません。
成績評価の方法	上記の出席を満たした上で、中国語 I A と I B をあわせて年間4～6回行う試験で判断します。
教科書／テキスト	董燕・遠藤光暁『北京物語』(朝日出版社/2500円+税)
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	352801
科目名	中国語 I B
担当者名	王 聡

講義の到達目標(わらい)	ピンインを正確に読めるようになる。知らない単語もピンインを見れば発音できるようになる。身の回りのことなどについて、中国語で話すことができるようになる。
講義の内容／授業スケジュール	文法に基づいて、中国語の文章を作れるようになる。 一課につき、主に梅田が前半・文法を、王が後半・応用練習を担当する。 ★前期 第1回：ガイダンス。第2～6回：発音(ピンイン)。第7～9回：第1～2課(名前の言い方、疑問文など)。第10～12回：第3～4課(移動に関する表現、所有に関する表現、お金の言い方など)。第13～14回：第5課(実現や完了に関する表現、所在に関する表現、食事の表現など)。第15回：テスト。 ★後期 第1回：復習。第2～4回：第6～7課(曜日、時間、家族、存在などに関する表現)。第5～7回：第8～9課(職業、時間量、経験などに関する表現)。第8～10回：第10～11課(料理、食品、能力、可能性、程度、興味、動作の進行などに関する表現)。第11～13回：第12～13課(名所、比較などに関する表現、簡単な文章)。第14回：決まり文句。第15回：テスト
準備学習	1. 予習すること。 2. 宿題を完成すること。
履修上の留意点	1. 4分の3以上の出席を要する。授業中積極的に声を出して発音練習をすること。 2. 中国語 I A (火曜、梅田雅子担当)も合わせて履修すること。 3. 積極的会話練習に参加する習慣を身につけること。
成績評価の方法	前期テスト35%、後期テスト35%、平常点(出席状況・学習態度・理解度)30%。
教科書／テキスト	尹景春・竹島毅『《最新版》中国語はじめの一步』白水社、2200円+税
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

外国語

履修コード	275111
科目名	中国語 I B
担当者名	小栗山 恵

講義の到達目標(わらい)	発音・文法・表現において、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容／授業スケジュール	内容 IBでは文法の説明、入れ替え練習を主に行い、IAでは課文の音読・日訳、定着のために問題演習を行う。スケジュール 前期：発音、第一課(是)、第二課(名詞述語文)、第三課(動詞述語文)、第四課(形容詞述語文、主述述語文)、第五課(有、量詞)、第六課(在、方位詞)、第七課(能願動詞“想”“要”)、第八課(能願動詞“会”“能”) 後期：第九課(様態補語“得”)、第十課(“了”)、第十一課(二重目的語文、介詞)、第十二課(動態助詞“过”、動量補語)、第十三課(結果補語)、第十四課(方向補語)、第十五課(処置文、受け身文)、第十六課(使役文)、第十七課(存現文、“着”“是～的”)、第十八課(“才”“就”)
準備学習	与えられた課題は、家で時間をかけて暗記してくる。暗記した内容を、ほぼ毎回の授業で口頭試験をする。
履修上の留意点	火曜日3時限「中国語 I A (秋元翼先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物(3割)等により総合的に評価する。
教科書／テキスト	余慕 小栗山恵 綾部武彦『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	275711
科目名	中国語 I B
担当者名	小栗山 恵 <small>おぐりやま けい</small>

講義の到達目標(ねらい)	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
講義の内容／授業スケジュール	IBでは文法の説明、入れ替え練習を主にを行い、IAでは課文の音読・日訳、定着のために問題演習を行う。スケジュール 前期：発音、第一課(是)、第二課(名詞述語文)、第三課(動詞述語文)、第四課(形容詞述語文、主述述語文)、第五課(有、量詞)、第六課(在、方位詞)、第七課(能願動詞“想”“要”)、第八課(能願動詞“会”“能”)、第九課(様態補語“得”)、第十課(“了”)、第十一課(二重目的語文、介詞)、第十二課、(動態助詞“过”、動量補語)、第十三課(結果補語)、第十四課(方向補語)、第十五課(処置文、受け身文)、第十六課(使役文)、第十七課(存現文、“着”“是～的”)、第十八課(“才”“就”)、
準備学習	与えられた課題は、家で時間をかけて暗記しておくこと。暗記した内容を、ほぼ毎回の授業で口頭試験をする。
履修上の留意点	火曜日4時限「中国語 I A (秋元翼先生)」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物(3割)等により総合的に評価する。
教科書／テキスト	余慕 小栗山恵 綾部武彦『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

外国語

履修コード	275101
科目名	中国語 I B
担当者名	佐藤 普美子 <small>さとう ふみこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：導論およびアンケート。第2～5回：発音の基礎固め。第6～14回：教科書第1課～10課。第15回：前期末試験。第16～29回：教科書第11課～21課。第30回：後期末試験。生活の中の主な場面(前後期合わせて7ユニット)で必要になる基本的表現を学びます。週2回(I A、I B)の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。
準備学習	予習として、その日に習う課の本文をCD(教科書付属)で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。
履修上の留意点	火曜日3限のI A(佐藤担当)と必ずセットで履修して下さい。発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。
成績評価の方法	出席点(最低、4分の3以上の出席が必要)と試験成績(前期末・後期末試験+通年4～5回の小テスト)を総合して評価を行います。
教科書／テキスト	董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友 トータル版』(朝日出版社)2500円+税 ISBN: 978-4-255-45167-1
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	275701
科目名	中国語 I B
担当者名	佐藤 普美子 <small>さとう ふみこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：導論およびアンケート。第2～5回：発音の基礎固め。第6～14回：教科書第1課～10課。第15回：前期末試験。第16～29回：教科書第11課～21課。第30回：後期末試験。生活の中の主な場面(前後期合わせて7ユニット)で必要になる基本的表現を学びます。週2回(I A、I B)の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。
準備学習	予習として、その日に習う課の本文をCD(教科書付属)で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。
履修上の留意点	火曜日4限のI A(佐藤担当)と必ずセットで履修して下さい。発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。
成績評価の方法	出席点(最低、4分の3以上の出席が必要)と試験成績(前期末・後期末試験+通年4～5回の小テスト)を総合して評価を行います。
教科書／テキスト	董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友 トータル版』(朝日出版社)2500円+税 ISBN: 978-4-255-45167-1
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	275121
科目名	中国語 I B
担当者名	<small>しおはた しんいちろう</small> 塩旗 伸一郎

講義の到達目標(わらい)	<p>外の世界を知ることは楽しい。それは自らを豊かにすることでもある。 日本語と最も縁の深い中国語を学ぶことは、日本語をより深く知ることにもなる。 ことばと映像で中国各地を旅しながら中国語を楽しく学ぼう。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>中国語 I A (火曜第3時限) と連続して進みます。 第1～2週：発音篇 第3～8週：第1課～第4課 第9週：前期中間試験 第10～15週：第5課～第8課 第16～22週：第9課～第14課 第23週：後期中間試験 第24～30週：第15課～第20課</p>
準備学習	<p>中国語は意味はわかりやすいが音に表わすのが難しい。附属のCDをよく聞いて口まねを繰り返すこと。 課ごとの練習問題は宿題となります。</p>
履修上の留意点	<p>中国語 I A (火曜第3時限 塩旗) とひと続きの授業です。必ず両方とも受講してください。 外国語の学習は毎回の出席と参加が肝腎です。 授業中の私語、通話、メール、睡眠は出席と見なしません。 欠席が6回を超えた場合は評価の対象から外します。</p>
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	<p>後期中間試験 (40%) + 後期末試験 (40%) + 平常点 (20%) 楊凱栄・張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社 2500円+税) 辞書の購入は義務ではないが、学習に楽しみと広がりを加えるためにお勧めします。以下の「辞書案内」を参照のこと。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho</p>

外国語

履修コード	275401
科目名	中国語 I B
担当者名	<small>しおはた しんいちろう</small> 塩旗 伸一郎

講義の到達目標(わらい)	<p>発音 (ピンイン=中国語の表音ローマ字) と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>①発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。 (授業：1回目～14回目；15回目：前期期末テスト) ②文法は教科書の展開に従い、句型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。 (授業：16回目～29回目；30回目：後期期末テスト) ③半期15回、通年30回</p>
履修上の留意点	<p>火曜日第4時限の I A (本間先生) と必ずセットで履修すること。 出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。 授業態度も成績に加味するので、私語厳禁。</p>
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書 関連リンク	<p>前期と後期の中間試験、期末試験は80%；出席、授業態度20% 内田慶市ほか『中国語への道 近きより遠きへ』 金星堂 2380円+税 授業開始時に説明する。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/</p>

履修コード	274601
科目名	中国語 I B
担当者名	<small>しらいで のぶこ</small> 下出 宣子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国語の発音と基本文法を学びます。
(前期)
第1回：ガイダンス——中国語とはどんな言葉か
第2～4回 発音の基礎を学ぶ (声調と単母音、複合母音・子音・鼻母音、発音の規則)
第5～14回 文法を学ぶ
第1課：人称代名詞・動詞述語文、第2課：名詞述語文・動詞「有」と「在」、第3課：形容詞述語文・正反疑問文、第4課：時刻の言い方・連動文、第5課：選択疑問文、第6課：数量表現・時点と時間の幅、第7課：助動詞「会」・主述述語文、第8課：前置詞「在」・助動詞「能」
(後期)
第15～28回 さらに文法を学ぶ
第9課：存現文・様態補語、第10課：「要～了」・経験表現、第11課：結果補語・「是～的」、第12課：単純方向補語・兼語文、第13課：比較表現、第14課：前置「往」・受身表現、第15課：前置詞「从」・複合方向補語、第16課：使役表現・進行の「在」・持続表現、第17課：「除了～以外」・並列表現、第18課：「把」構文・可能補語、第19課：接続詞・「一～就」、第20課：近未来表現

外国語

履修上の留意点

この中国語1Bと中国語1Aの授業各1回ずつ(あわせて週2回)の授業で教科書を1課ずつ進むことを目安としますが、進捗の状況によって多少ずれることがあります。
中国のさまざまな土地の風景や人々の暮らしの様子を見ることができるDVDつきの教科書を使います。興味を持ったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきっと楽しくなるでしょう。
同一の教科書を使って、二人の教員が連携して授業を進めます。火曜日3限の1A(根岸担当)と必ずセットで履修して下さい。

成績評価の方法

教室でも、家で復習するときも、大きな声を出して発音練習しましょう。試験が近くなってからあわてて復習するのでは遅いので、毎日こつこつと単語を覚えましょう。
中間・期末試験の成績(70%)に出席状況・小テスト・授業への取り組みや発言など平常点(30%)を総合して評価します。成績は1A、1Bの担当教員がそれぞれ評価します。

教科書/テキスト
関連リンク

楊凱榮、張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社)2,500円+税
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	275301
科目名	中国語 I B
担当者名	<small>しらいで のぶこ</small> 下出 宣子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国語の発音と基本文法を学びます。
(前期)
第1回：ガイダンス——中国語とはどんな言葉か
第2～4回 発音の基礎を学ぶ (声調と単母音、複合母音・子音・鼻母音、発音の規則)
第5～14回 文法を学ぶ
第1課：人称代名詞・動詞述語文、第2課：名詞述語文・動詞「有」と「在」、第3課：形容詞述語文・正反疑問文、第4課：時刻の言い方・連動文、第5課：選択疑問文、第6課：数量表現・時点と時間の幅、第7課：助動詞「会」・主述述語文、第8課：前置詞「在」・助動詞「能」
(後期)
第15～28回 さらに文法を学ぶ
第9課：存現文・様態補語、第10課：「要～了」・経験表現、第11課：結果補語・「是～的」、第12課：単純方向補語・兼語文、第13課：比較表現、第14課：前置「往」・受身表現、第15課：前置詞「从」・複合方向補語、第16課：使役表現・進行の「在」・持続表現、第17課：「除了～以外」・並列表現、第18課：「把」構文・可能補語、第19課：接続詞・「一～就」、第20課：近未来表現

履修上の留意点

この中国語1Bと中国語1Aの授業各1回ずつ(あわせて週2回)の授業で教科書を1課ずつ進むことを目安としますが、進捗の状況によって多少ずれることがあります。
中国のさまざまな土地の風景や人々の暮らしの様子を見ることができるDVDつきの教科書を使います。興味を持ったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきっと楽しくなるでしょう。
同一の教科書を使って、二人の教員が連携して授業を進めます。火曜日4限の1A(根岸担当)と必ずセットで履修して下さい。

成績評価の方法

教室でも、家で復習するときも、大きな声を出して発音練習しましょう。試験が近くなってからあわてて復習するのでは遅いので、毎日こつこつと単語を覚えましょう。
中間・期末試験の成績(70%)に出席状況・小テスト・授業への取り組みや発言など平常点(30%)を総合して評価します。成績は1A、1Bの担当教員がそれぞれ評価します。

教科書/テキスト
関連リンク

楊凱榮、張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社)2,500円+税
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	274901
科目名	中国語 I B
担当者名	曹 泰和

講義の到達目標(ねらい)	発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。
講義の内容/ 授業スケジュール	①発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。 (授業:1回目~14回目:15回目:前期期末テスト) ②文法は教科書の展開に従い、句型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。 (授業:16回目~29回目:30回目:後期期末テスト) ③半期15回、通年30回
履修上の留意点	火曜日3限のIA(本間担当)と必ずセットで履修すること。 出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。 授業態度も成績に加味するので、私語厳禁。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書 関 連 リ ン ク	前期と後期の中間試験、期末試験は30%;出席、授業態度20% 内田慶市ほか『中国語への道 近きより遠きへ』金星堂 2380円+税 授業開始時に説明する。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

外国語

履修コード	274801
科目名	中国語 I B
担当者名	張 涓滄

講義の到達目標(ねらい)	まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期第1回目~第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は中間テスト、第10・11回目は第3課、第12・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は期末テスト。後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は中間テスト、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第11回目は第12課、第12回目は第13課、第13回目は第14課、第14回目は第15課、第15回目は期末テスト
準 備 学 習	発音を身につけるには繰り返し練習が必要です。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積んで下さい。単語やピンインもよく復習し、覚えて下さい。
履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進めます。火曜日3限のIA(橋本先生担当)と必ずセットで履修して下さい。
成績評価の方法	わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかりと身につけて下さい。 試験(中間・期末)の成績を75%、宿題や小試験、出席状況、授業中の態度を25%とし、これ等を総合して評価します。
教科書/テキスト 関 連 リ ン ク	趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社)2,700円+税 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	275501
科目名	中国語 I B
担当者名	張 涓滄

講義の到達目標(ねらい)	まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期第1回目~第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は中間テスト、第10回目・11回目は第3課、第12回目・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は期末テスト。後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は中間テスト、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第12回目は第13課、第14回目は第15課、第15回目期末テスト。
準 備 学 習	発音を身につけるには繰り返し練習が必要です。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積んでください。単語やピンインもよく復習し、覚えて下さい。
履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進めます。火曜日4限のIA(橋本先生担当)と必ずセットで履修して下さい。
成績評価の方法	わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかりと身につけて下さい。 試験(中間・期末)の成績を75%、宿題や小試験、出席状況、授業中の態度を25%とし、これ等を総合して評価します。
教科書/テキスト 関 連 リ ン ク	趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社)2,700円+税 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	276801
科目名	中国語 I B
担当者名	陳 洲 拳 <small>ちん しゅうきよ</small>

講義の到達目標(ねらい) 中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。

講義の内容／授業スケジュール テキストに沿って練習していきます。月曜日1限の「中国語 I B」と木曜日4限の「中国語 I A」は連続した授業となります。前半(10課分に相当)は2回で1課の割合で、後半(10課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語 I A と I B それぞれで、6回を越えた場合は単位取得はできません。

成績評価の方法 この授業は必ず、木曜日4限「中国語 I A」(塩旗先生担当)とペアで履修してください。4分の3以上の出席を前提とした上で、中国語 I A と I B をあわせて、年間5～6回行う試験で判断します。

教科書／テキスト 林 正人「楽しい初級中国語」隆美出版(2000円+税)

その他 MP3プレイヤー等を利用して、テキストの録音を繰り返し聞くことを勧めます。

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	274701
科目名	中国語 I B
担当者名	徳間 佳信 <small>とくま よしのぶ</small>

講義の到達目標(ねらい) 発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容／授業スケジュール 内容 IAでは课文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音(1. 2回)、第一課から第八課“是”構文、助動詞(3から12回)、第九課から第十八課副詞、存現文(13回～)

準備学習 予習、復習を常に行うこと。

履修上の留意点 火曜日3限のIA(小栗山担当)と必ずセットで履修して下さい。休まず出席し、大きな声で発音して下さい。

成績評価の方法 試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等(以上3割)により総合的に評価する。

教科書／テキスト 余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	275601
科目名	中国語 I B
担当者名	徳間 佳信 <small>とくま よしのぶ</small>

講義の到達目標(ねらい) 発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容／授業スケジュール 内容 IAでは课文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音(1～2回) 第一課から第八課“是”構文、助動詞(3～12回)、第九課から第十八課 副詞“在”、存現文(13回～)

準備学習 予習、復習を常に行うこと。

履修上の留意点 火曜日4限のIA(小栗山担当)と必ずセットで履修して下さい。休まず出席し、大きな声で発音して下さい。

成績評価の方法 試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等(以上3割)により総合的に評価する。

教科書／テキスト 余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	276501
科目名	中国語 I B
担当者名	三田村 圭子

講義の到達目標(ねらい)	発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚え、学習1年間終了後には、簡単な会話や文章の基本表現を習得することを到達目標とする。また付属のDVDを観ることで本文の内容について理解を深める。
講義の内容/ 授業スケジュール	①発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。(第1回~14回) 第15回 試験 ②文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。(第16回~29回) 第30回 試験
履修上の留意点 成績評価の方法	出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。 前期と後期の中間試験・期末試験は80%、授業態度と出席などの平常点を20%とし、総合評価する。
教科書/テキスト	楊凱榮・張麗群著『旅して学ぶ 中国語』朝日出版社 2500円 ISBN978-4-255-45184-8 C1087
参 考 書 そ の 他 関 連 リ ン ク	授業開始時に説明する。 必ずIA(曹 泰和)とIB(三田村 圭子)をセットで履修すること。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	276601
科目名	中国語 I B
担当者名	宮本 厚子

講義の到達目標(ねらい)	発音、文法の基礎を学ぶ。 習得の難しい発音を繰り返し練習し、ピンイン(中国語の発音記号)を見れば、自分で読めるようにする。 基本的な単語を習得し、文法に沿って、簡単な文が作れ、話せるようにする。
講義の内容/ 授業スケジュール	1~4回 発音 以降は、1週間に1課のペースで進める。 前期はUnit4まで。 復習テストを随時行う。
準 備 学 習 履修上の留意点	予習は必ずしも必要ではないが、復習は必ず行うこと求める。 木曜第4限「中国語 I A(宮本厚子担当)」と必ずセットで履修すること。 語学は積み重ねが重要なので、真摯に取り組んでもらいたい。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書 関 連 リ ン ク	前後期の中間、期末の4回のテストの平均(70%)と平常点(30%)で評価する。 董燕・遠藤光暁『北京物語』2500円+税(朝日出版社) 辞書、参考書は授業の中で適宜紹介する。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	275001
科目名	中国語 I B
担当者名	蘭 明

講義の到達目標(ねらい)	初めて中国語を学ぶ人を対象に、中国語という言語を体験してもらうことが主な目的です。それは同時に、使える中国語を習得するための基礎作りをして行くことにもなります。とりわけ発音は重要ですから、繰り返し練習します。
講義の内容/ 授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。この授業は火曜日3限の「中国語 I A」と連続した授業となります。最初6回~8回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後、前半(20課分に相当)は1つの課を1.5回~2回で、後半(16課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語 I Aと I Bそれぞれで、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。この授業は必ず、岩崎先生担当の「中国語 I A」(火曜日3限)とセットで履修してください。片方だけの履修では単位取得は出来ません。
成績評価の方法 教科書/テキスト 関 連 リ ン ク	上記の出席を満たした上で、中国語 I Aと I Bをあわせて年間4~6回行う試験で判断します。 遠藤光暁『北京物語』(朝日出版社) 2,500円(本体) http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	276701
科目名	中国語 I B
担当者名	李 雲 ^{り うん}

講義の到達目標(ねらい)	発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚える。学習1年間終了時には、簡単な会話や文章の基本表現を習得することを目的とする。
講義の内容/ 授業スケジュール	①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。(第1～7回) ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。(第8～14回) 第15回 試験 ③文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。(第16～29回) 第30回 試験
履修上の留意点	出欠や授業に積極的に参加しているかは、成績に加味する。欠席の多い学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって総合評価する。欠席が4分の1を超える学生は評価対象としない。
教科書/テキスト 参 考 書 そ の 他 関 連 リ ン ク	内田慶市著『中国語への道 近きより遠きへ』金星堂 2380円 978-4-7647-0659-0 授業開始時に説明する。 李雲先生(IB)と三田村(IA)のペアであることに注意すること。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

外国語

履修コード	290401
科目名	中国語 I B (選)
担当者名	弘兼 加奈子 ^{ひろかね かなこ}

講義の到達目標(ねらい)	中国語の基礎(発音、基本文法、文型、慣用句など)を確実に習得し、会話力や文章読解力を養うとともに、中国に対する認識や理解を深めていくことを目指します。
講義の内容/ 授業スケジュール	第1-3回 : 自己紹介 連絡事項 中国語について 発音 四声 他 第4-8回 : 動詞述語文、名詞述語文、疑問文、形容詞述語文、助動詞 他 第9-14回 : 日付・曜日・時刻の言い方、完了形、前置詞、存現文、様態補語 他 第15回 : 前期試験。 第16-21回 : 結果補語、方向補語、兼語文、受け身表現 他 第22-29回 : 使役表現、程度補語、持続形、可能補語、二重目的文 他 第30回 : 後期試験 ★前後期とも中間テストがあります。中間テスト終了後も授業があります。 授業にはすべて出席することが前提です。 やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、4分の3以上出席してください。 成績は年間約4回の試験と、教場での平常評価、出欠によって総合的に判断します。
履修上の留意点	渡辺晴夫 他 『フレッシュ中国語』 白水社 2000円+税 ISBN 4-560-01744-1
成績評価の方法	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
教科書/テキスト 関 連 リ ン ク	

履修コード	291001
科目名	中国語Ⅱ (選)
担当者名	三田村 圭子

講義の到達目標(ねらい) 基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。後期は、実際に作文や口頭の練習を行うことで、1年間の学習終了時には、中国語検定3級程度の力を修得することを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。主に基礎で学習した内容の応用と発音練習をする。(第1回～14回)
第15回 試験
②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、簡単な文章を書けるように練習する。また、4・3級程度の検定問題にも取り組む。(第16回～29回)
第30回 試験

準備学習 できるだけラジオ・テレビの中国語講座などを利用してほしい。

履修上の留意点 欠席は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。
欠席が4分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法 前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。
本文の暗記も点数に加算する。

教科書／テキスト 楊凱榮・張麗群著 『スリム版 表現する中国語Ⅱ』 (白帝社) 2400円

参考書 辞典や参考書については、授業開始時に説明する。

その他 辞典を持っていることが望ましい。

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	277601
科目名	中国語Ⅱ A
担当者名	秋元 翼

講義の到達目標(ねらい) Iで学んだ文法事項を復習し、確実に基礎力を定着させながら、応用レベルに進む力を養う。

講義の内容／授業スケジュール ○講義の内容：テキストには、現代中国の話題が会話体と文章体の両方で載っており、会話及び講読の両面において基礎力を固めることができる。発音練習を重視しながら、課ごとの練習問題をきちんとやって応用力を高めていく。
○スケジュール：前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで進む予定。

準備学習 中国語Iで学んだ基礎をしっかりと復習しておくことが必要。必ず辞書で単語を調べておくこと、練習問題も事前にやっておき、授業で答えを確認するように。予習・復習をきちんとし、疑問があれば積極的に質問をすること。また、付属のCDを活用し、ヒヤリング練習も怠らないように。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要する。授業中、積極的に声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 出席を重視し、平常の学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書／テキスト 内田慶市・奥村佳代子他『中国語への道【準中級編】』金星堂 2300円+税

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	277521
科目名	中国語Ⅱ A
担当者名	岩崎 皇

講義の到達目標(ねらい) 一年次の会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習をします。教科書の内容は、駒澤大学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況と一致しているので、ぜひ実際に中国へ行ってみて、学習したことを試してもらいたいと思っています。

講義の内容／授業スケジュール 授業はテキストに沿って進めていきますが、テキスト全16課のうちの12課分をやる予定です。授業は音読練習を中心に、2回の授業で1つの課が終わります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は原則として単位取得はできません。

成績評価の方法 上記の出席を満たした上で、試験の成績により評価します。
試験はおおよそ80%が音を聞いての単語書き取りです。この書き取りは原則として半分以上できなければなりません。
試験は授業時間内に前期2回、後期2回行います。

教科書／テキスト 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版) 2,000円

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	277201・277811
科目名	中国語ⅡA
担当者名	上原 ^{うえはら} かわり ^{かわり}

講義の到達目標(ねらい)	一年次に学んだ発音と基礎文法を復習しつつ、中級程度の語彙・文法の習得と読解力を養成します。
講義の内容／ 授業スケジュール	中国の生活やキャンパスライフに関する内容の会話文や文章が盛りこまれた教科書を使います。全12課あり、前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで進む予定です。
準備学習	付属CDを頻繁に聞き、自分なりに本文の音読や読解を試みたくうえで出席すると、より深く理解でき、身につきます。
履修上の留意点	4分の3以上の出席を求めます。部・サークルの試合等の活動は公欠とはなりません。恥ずかしがらず、あきらめず、授業に参加してください。
成績評価の方法	前期・後期の試験の平均(約70%)、出席状況と課題・授業への取り組み(約30%)によって総合的に評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	内田慶市、奥村佳代子ほか『中国語への道—浅きより深きへ—』(金星堂)2300円+税 中日辞典(授業の時に必ず携帯すること)。辞書については下記サイト参考のこと http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhjisho
そ の 他 関 連 リ ン ク	千里之行、始于足下。まずは単語を覚えましょう。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	277301・353001
科目名	中国語Ⅱ A
担当者名	梅田 雅子

講義の到達目標(ねらい)

■ねらい

この授業では、中国文化について書かれた文章を読んでいきます。
本文の内容を足掛かりにして、日中の文化の違いについて理解を深めて行きましょう。

■出来ること

- ・ピンインの書いていない言葉も調べられるようになる。
- ・中国語の簡体字を読んで意味がわかるようになる。
- ・中国語の音を聞いて意味を理解できるようになる。
- ・ピンインをきれいに発音できるようになる。
- ・中国の文化についての文章を通して、中国を理解し、さらに日本への理解も深化させることができるようになる。

講義の内容／
授業スケジュール

一課ごとの授業の流れ

- 1：ウォーミングアップ 文章を読む前の自分の考えを確認
- 2：「新出語句」+分からない単語・文型の確認
(ピンインと日本語の意味を調べてくる)
- 3：本文確認(日本語の意味)と発音練習
- 4：本文内容理解の確認
(教科書を見ないで、本文の音を聞き、中国語によるQ&A)
- 5：読後の感想
思い込みはなかったか。偏りはなかったか。知らなかったことはなかったか。
前後で意見の変化はあったか等)

6：まとめの単語テスト

★2回で1課進む予定

準備学習

- ・小テストなどは事前に予告するので必ず自宅で準備してくること。

満点を狙いましょう。

履修上の留意点

- ・ピンインは必ず調べてくること。その場で発音してもらいます。

・3/4以上の出席が必要

・読み間違いやすいピンインに注意!

子音：q、x、c

母音：ian (yan)、siのiなど

成績評価の方法

- ・前期と後期期末試験70パーセント
- ・平常点(出席、小テスト)30パーセント
- ・欠席1回ごとに-2点
- ・3回遅刻=1回欠席

教科書/テキスト

適宜プリントを配布

【内容】

- ・「はい」は中国語で何と言うか?
- ・「いただきます」は中国語(英語も可)で何と言うか?
- ・「お腹空かない?」と聞かれたら、どう答えるか?
- ・魚の骨をどこに置くか?
- ・餃子は主食かおかずか?
- ・タブーについて

参考書

などを予定

- ・辞書を必ず教室に持ってくること。
- ・電子辞書がお勧め。★ピンインのついていない文章を読むから
- ・紙の辞書を買うときは、日本漢字音から引ける機能が付いたものがよい。
- ・自分の持っている辞書に該当する単語が載っていない場合は、図書館で大きめの辞書を調べる。
- ・電子辞書を買わない場合は、インターネットの辞書を活用すること(使い方は授業で説明)

そ の 他

■授業進度等で質問がある場合は梅田までメールにて連絡すること。

hanyu555@komazawa-u.ac.jp

■文化比較の時の注意点

異文化と自文化を比較する際に、注意して貰いたい事が一つあります。

それは、相対的な視点です。人はとかく自文化を絶対視しがちです。

最近のマスコミでは、一方的で感情的な中国報道が目立ちます。

しかし周りから見ると、自分の尺度が実は特殊であることもしばしば有ります。

異文化と向き合う時、単に自文化中心主義の視点から優劣を競うのではなく、

相対的な視点から判断できるよう努力してみてください。

また本文には中国文化について書かれていますが、同時に日本のことの理解も深められるように意識してみてください。

関 連 リ ン ク

http://www.excite.co.jp/dictionary/chinese_japanese/

履修コード	277701
科目名	中国語ⅡA
担当者名	佐藤 普美子

講義の到達目標(ねらい)

中国の若者に関する最新のトピックを通して、日本との比較を中心にした短い「会話」文と長めの「課文」(文章語)の表現を学びます。「要点」では1年次の既習文法を確認する他、新たな文法事項を学び、単語チェック・リスニング問題・練習問題」でその課の総合的復習をします。同時代中国の若者の考え方や生活スタイルに触れながら、「読む・聞く・話す」ための基礎的な力を総合的に養うことを目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール

テキストは全8課。2回もしくは3回の授業で1つの課を進める予定です。

第1回：導論 2～4回：第1課(80後と90後)、5～7回：第2課(いまどきの大学生)、8～10回：第3課(若者と住宅問題)、11～13回：第4課(中国人とお金)、14回：前期末試験、15～17回：第5課(金持ちだから豊かとはかぎらない)、18～20回：第6課(中国人の面子)、21～23回：第7課(あるハリー族)、24～26回：第8課(ジェネレーション・ギャップ)、27回：総復習、28回：学期末試験

準備学習
履修上の留意点

毎回の予習は必須です。

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由により欠席した場合でも、全授業回数

成績評価の方法

の四分の一を越えた場合は試験を受けることができません。

四分の三以上の出席を前提とした上で、平常点(予習の有無)と学期末試験の成績により総合的に評価します。

教科書／テキスト

張国璐・池上貞子『ときめき中国——はくらの新“漢流”生活——』(朝日出版社)2,100円

ISBN978-4-255-45198-5

関 連 リ ン ク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	277501
科目名	中国語ⅡA
担当者名	弘兼 加奈子

講義の到達目標(ねらい)

やや長めの文章を読んでいきます。

一歩進んだ語学力を身につけ、中国に対する理解を深めることを目標としていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

全8課の内、2課ごとにテストを行います。(1課は6頁あります)

年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で2課ずつ進むこととなります。

教科書の学習がすべて終わった場合は、こちらでプリントを用意し、少し難しい文にチャレンジします。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。

成績評価の方法

成績は、年間約4回の試験と教場での平常評価、出欠によって総合的に判断します。

教科書／テキスト

池上貞子 他 『中国ってこんな国!』朝日出版社 1900円

ISBN978-4-255-45154-1 C 1087

関 連 リ ン ク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

外国語

履修コード	277401
科目名	中国語ⅡA
担当者名	宮本 厚子 <small>みやもと あつこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 教科書に沿って、1年生で学んだ知識を復習しつつ、更に高度な表現を身につけていく。
 講義の内容／ 教科書はPoint lesson→Skit→Drillの順に進めるが、内容を理解した後、Drillに進む前に、何度も読み、口からすらすら出るようにする時間を設ける。
 授業スケジュール ・各課を2回ぐらいで終える。
 ・復習テストを行う。
 準備学習 予習は必ずしも必要ではないが、授業を受けてみて、知らない単語が多い場合、事前に調べておいてほしい。
 履修上の留意点 必ず復習をすること。
 成績評価の方法 宿題もあるので取り組んで欲しい。
 教科書／テキスト 前後期ともに、中間、期末の試験を行う。その試験の成績(70%)と平常点(30%)で評価する。
 参考書 胡金定・吐山明月 中級中国語『新 会話スキット』同学舎(2600円+税)
 関連リンク 辞書や参考書については、授業の中で適宜紹介する。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	277511
科目名	中国語ⅡA
担当者名	李 雲 <small>り うん</small>

講義の到達目標(ねらい) あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちっと読めるようになることを目指します。その為に既習の文法を復習しながら、更に補語や複文表現を学んでいきます。また新しい単語をどんどん覚えていきます。
 講義の内容／ 発音についても、より正確に美しく発音できるよう練習します。
 授業スケジュール 前期：第1回目・第2回目は第1課、第3回目・第4回目は第2課、第5回目・第6回目は第3課、第7回目は復習、第8回目・9回目は第4課、第10回目・11回目は第5課、第12回目・13回目は第6課、第14回目は復習、第15回目は期末テスト。
 後期：第1回目・第2回目は第7課、第3回目・第4回目は第8課、第5回目・第6回目は第9課、第7回目は復習、第8回目・9回目は第10課、第10回目・11回目は第11課、第12回目・13回目は第12課、第14回目は復習、第15回目は期末テスト。
 準備学習 何度も復習したり、練習したりしないと身につけませんので、とにかくよく復習をするようにして下さい。
 履修上の留意点 欠席しないこと。出された宿題をきちっとやってくること。
 成績評価の方法 テストの成績を75%、出席状況、宿題、授業中の態度を25パーセントとし、これ等を総合して判断します。
 教科書／テキスト 八木章好ほか『おぼえる中国語』(朝日出版社)2200円+税
 関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	277801
科目名	中国語ⅡA
担当者名	李 雲 <small>り うん</small>

講義の到達目標(ねらい) 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。
 講義の内容／ 全16課の内、4課ごとにラストを行います。年間30回の授業では、ラストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。
 授業スケジュール 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。
 履修上の留意点 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。
 成績評価の方法 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税
 教科書／テキスト 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税
 関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	301901・301902・301903
科目名	中国語Ⅱ A〔再クラス〕 中国語Ⅱ B〔再クラス〕 中国語Ⅱ C（会話）〔再クラス〕
担当者名	小栗山 恵

講義の到達目標(ならい)	中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：発音等含む小テスト 第2-4回：発音の復習、数字にまつわる会話、まとめのテスト、第5-8回：是字句、名詞述語文、動詞述語文、まとめのテスト、第9-13回：形容詞述語文、主述述語文、まとめのテスト、第14-15回：有、量詞、前期試験。第16-21回：在、方位詞、能願動詞、様態補語“得”、まとめのテスト、第22-27回：“了”、“着”、“过”、数量補語、結果補語、方向補語、第28-30回：処置文、兼語文、存現文、後期試験。
準備学習	与えられた課題は、家で時間をかけて暗記してくる。暗記した内容を、ほぼ毎回の授業で試験をする。
履修上の留意点	中国語を学ぶ意義を心得、つねに意欲的、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物(3割)等により総合的に評価する。
教科書／テキスト	開講時に提示する。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

外国語

履修コード	356201・356202
科目名	中国語Ⅱ A〔再クラス〕 中国語Ⅱ B〔再クラス〕
担当者名	弘兼 加奈子

講義の到達目標(ならい)	いろいろなシーンで中国語が使えるように、学習を進めていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	一歩進んだ語学力を身につけ、中国に対する理解を深めることを目標としていきます。 全12課のテキストです。 本文、文法の要点、練習問題から構成されています。 特に練習問題が充実しています。
履修上の留意点	やむをえない場合を除き、4分の3以上の出席を心がけてください。
成績評価の方法	出席、教場での平常点、年4回の試験により、総合的に評価します。
教科書／テキスト	『中国語さらなる一歩』 白水社 2200円＋税 ISBN978-4-560-06910-3
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	301801・301802・301803
科目名	中国語Ⅱ A〔再クラス〕 中国語Ⅱ B〔再クラス〕 中国語Ⅱ C（会話）〔再クラス〕
担当者名	本間 由香利

講義の到達目標(ならい)	中国語の基本である発音の訓練と語順を覚えることを重視し、各自が運用できるようにする。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は発音訓練、発音矯正を重視します。さらに単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにします。次に難しい文章を読んだり書いたりするのではなく、必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。
履修上の留意点	必ず出席をし、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	授業に出席していることを前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。
教科書／テキスト	『学ビテ時ニ之ヲ習ウ 中国語入門』 好文出版 2,400円
参考書	授業内で指示します。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	302001・302002・302003
科目名	中国語Ⅱ A〔再クラス〕 中国語Ⅱ B〔再クラス〕 中国語Ⅱ C（会話）〔再クラス〕
担当者名	李 雲

講義の到達目標(ならい)	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書／テキスト	八木章好ほか『おぼえる中国語』（朝日出版社）2200円＋税
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	278401
科目名	中国語ⅡB
担当者名	秋元 翼 <small>あきもと たすく</small>

講義の到達目標(ねらい) Iで学んだ文法事項を復習し、確実に基礎力を定着させながら、応用力を養う。特に音声面での基礎力を養うことを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール ○講義内容:Iで学んだ文法事項を復習しながら、実践的に応用ができるよう、ヒヤリングと発音を繰り返し練習する。

準備学習 ○スケジュール:前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで進む予定。中国語Iで学んだ基礎をしっかりと復習しておくこと。その上で、予習・復習をきちんとするように。特に、ヒヤリングの練習問題は必ず事前にCDを聞いてやっておくこと。また、既習部分は繰り返しCDを聞き、暗記できるまでにする。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要する。授業中、積極的に声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 出席を重視し、平常の学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書／テキスト 高橋良行・村上公一・陸明『楽しい中国語コミュニケーション 改訂版』同友社、2100円+税

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku/>

履修コード	278521
科目名	中国語ⅡB
担当者名	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい) 一年次の学習のうち、音声に関する部分の仕上げを目指します。具体的には、個々の音節を聞き分けること、一文を即座に記憶できること、この二つのことを目標に練習をします。

講義の内容／授業スケジュール PC教場を使い、パソコンに中国語を入力するという作業を通して、練習していきます。

準備学習 キーボードのタイピングには慣れておいてください。ブラインドタッチが出来るると理想的です。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、急引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は原則として単位取得はできません。

成績評価の方法 上記の出席を満たした上で、年間4回以上行う試験で評価します。

教科書／テキスト 教材はファイルの形で提供します。

その他の他 第一回目の授業では、授業の手順を説明するので、必ず出席してください。

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	278001・278301
科目名	中国語ⅡB
担当者名	上原 かわり <small>うえはら かわり</small>

講義の到達目標(ねらい) 一年次に学んだことを基に、簡単な内容を声や文字で表現する能力を育成します。

講義の内容／授業スケジュール 日常表現を中心とする会話体の教科書を使います。

準備学習 全12課あり、前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで進む予定です。

履修上の留意点 付属CDを頻繁に聞き、本文の基本会話を声に出して何度も読み、暗記すると、実際の表現力につながります。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を求めます。部・サークルの試合等の活動は公欠とはなりません。恥ずかしがらず、あきらめず、授業に参加してください。

教科書／テキスト 前期・後期の試験の平均(約70%)、出席状況と課題・授業への取り組み(約30%)によって総合的に評価します。

参考書 塚本慶一監修、劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社)2200円+税

その他の他 中日辞典(授業の時に必ず携帯すること)。辞書については下記サイト参考のこと

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho>
千里之行、始于足下。まずは単語を覚えましょう。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	278101
科目名	中国語ⅡB
担当者名	梅田 雅子 <small>うめだ まさこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

- ・文字に頼らず、ぱっと中国語が発音できるようになる (反応力)
- ・自分の力で中国語を話せるようになる (自発能力)
- ・教科書にない言い方もできるようになる (応用力)
- ・会話の最中に困ったことがあっても解決できる (問題解決能力)
- ・恥ずかしがらずに話すことができる (積極性)

講義の内容／
授業スケジュール

授業の流れ：1課を一回または二回で終わらせる。
前期は1～7課、後期は8～12課を予定。

一課の具体的な流れ

- 1：ひとこと会話（よく使うフレーズ練習）
- 2：その課で使う単語の発音練習（絵カード・文字カードを使って）
- 3：文型発音練習（置き換え練習）
- 4：Q&A（ペア練習またはクラス全体で行うグループ練習）
- 5：ペアごとに発表。もしくはリレー式に発表。
- 6：教科書の練習問題

準備学習

- ・小テストは事前に予告するので、必ず自宅準備すること。
- ・必ず復習すること

履修上の留意点

- 3/4以上の出席が必要。
- 積極的に練習する。
- 辞書（日中・中日）持参。
- 添付のCDを何度も聞くこと。
- 適宜単語を補充する（教科書の単語がとても少ないため）
- ★特に学生諸君に求めること
- 1：ぱっと中国語で言ってみる（反応力）
- 2：シャイな気持ちを乗り越える（積極性）
- 3：会話中に何か問題が起きても、とにかく何か言うまたは行動を起こす（問題解決能力の育成）
- 4：問いかけには必ず反応する（コミュニケーションの基本です）

成績評価の方法

前期・後期試験70パーセント

平常点（出席・小テストなど）30パーセント

教科書／テキスト
参 考 書

山下輝彦『你好！中国語』金星堂 2200円＋税

日中・中日辞典を持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

そ の 他

■なぜ中国語が話せるようにならないのでしょうか？

- ①1課あたりの学習項目（単語・文法）が多く、未消化のまま次の課に進んでいたから。
- ②いつも先ず日本語で考えてから中国語に直していたから。
- ③いつも先生（またはCD）の後について発音していたから。
- ④いつも教科書の文字を見ながら発音していたから。
- ⑤オリジナルの中国語を考える練習が少なかったから。

★この授業ではこれらの問題を克服しながら進めていきます。

関連リンク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	353111
科目名	中国語ⅡB
担当者名	おう そう 王 聡

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

1年次に習得した内容を復習しながら、中国語の実用会話・基本文法を学んでいく。

(前期)

第1回 ガイダンス・復習

第2回 復習

第3回～第13回 会話：休み期間の旅行計画・北京について、中国のお茶、友達を作る、長城に登る、長城の歴史、漢字について、日中漢字の違い、買い物をする、中国の軽食

文法：助動詞「可以」「要」・主述述語文・接続詞「因為」「可是」・文末の助詞いろいろ・連動文・「是～的」の文・「了」の3つの用法・副詞「就」・結果補語(1)・副詞「有点儿」・接続詞「要是」・存現文・「又～又」「一辺児～一辺児」

第14回～第15回 復習と前期テスト

(後期)

第1回 復習

第2回～第13回 会話：映画を見る、中国の芸能人、お土産を買う、中華料理、食事会、カラオケ、太極拳、ジョギングをする、中国の小説、春節のいろいろ、手紙

文法：アスペクト助詞「着」・副詞「再」・部分否定・方向補語・使役の「讓」・疑問詞の不定用法・可能補語・強調表現・目的を表す「為了」・助動詞「会」・時間量を表す補語・結果補語(2)・受身の「被」・「快～了」の用法・前置詞「把」

第14回～第15回 復習と後期テスト

1年次の学習内容を復習すること。

辞書を用意し、予習・復習や宿題をちゃんとする。

前期テスト35%、後期テスト35%、平常点(出席状況・授業態度・理解度)30%。

尹景春他『中国語さらなる一歩』、白水社、2200円+税

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

外国語

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
関連リンク

履修コード	278531
科目名	中国語ⅡB
担当者名	しおなた しんいちろう 塩旗 伸一郎

講義の到達目標(ねらい)

中国語を書くのは難しい。

わたしたち外国人にとってはなおさらだが、正しい語法を身につけるうえで、難しいけれども絶好の方法として、書く練習は重んじられてきた。

他方、初級を終えたレベルの大学生にとって、中国語を書くこと自体の実用性は、留学や文通などの環境にめぐりあわぬ限り、けっして高いとはいえなかった。

昨今、ブログ、ツイッター、翻訳ツール等の出現により、言語の壁が低くなった結果、民間レベルで国籍や体制を越えた交流の条件が広がりつつある。

タブーや国益、ナショナリズムから自由な意見交換が、誤解の解消や相互理解につながることもある。この授業では、中国語を学んだ大学生として、必要と意欲を感じたとき、多少つたなくとも直接交流できる力を身につけることを目標とする。

原則として2週に1課すすむ。

第1～15週：第1課～第8課

第16～30週：第9課～第16課

講義の内容/
授業スケジュール

準備学習

毎課の第1週は例分の穴埋めとモデル文朗読ならびに質問への答えの準備、第2週は所定のテーマに基づく作文(150～250字)の提出が必要である。

履修上の留意点

毎回の予習と出席、2週に1本の作文提出が必要。

成績評価の方法

平常点100%。

欠席が6回を超えた者、課題提出が欠けている者は評価の対象としない。

教科書/テキスト

蘇氷・山内智恵美・黒坂満輝『作文の達人』(白帝社 1600円+税)

参考書

中日および日中辞典は必携。以下の「辞書案内」を参照のこと。

関連リンク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho>

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho>

履修コード	278111
科目名	中国語ⅡB
担当者名	弘兼 ^{ひろかね} 加奈子 ^{かなこ}

講義の到達目標(ねらい) 色々なシーンで中国語が使えるように、学習を進めていきます。
 一年次で学んだ事を生かしながら、バランスの取れた学力向上を目指します。
 講義の内容／
 授業スケジュール テキストは全12課で、本文と文法の要点、練習問題から構成されています。
 特に練習問題が充実しています。
 年間30回の授業は、授業2、3回で1課ずつ進むペースになります。
 前後期の期末試験の他に、中間試験があります。
 成績評価の方法 成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断します。
 教科書／テキスト 竹島 毅 他 《新版》『中国語 さらなる一歩』 2200円+税
 ISBN978-4-560-06910-3
 関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	278511
科目名	中国語ⅡB
担当者名	本間 ^{ほんま} 由香利 ^{ゆかり}

講義の到達目標(ねらい) 比較的簡単なテキストを用い、基本文法を系統立てて整理し、復習します。
 朗読目標：発音矯正と安定の為の訓練を行い、単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにすること。
 文法目標：必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。
 テキストには新語や中国事情の紹介等も有るので言語以外の知識も学べます。
 講義の内容／
 授業スケジュール 先ずは発音訓練と矯正、1年次既習の単語、フレーズの聞き取り練習をします。次に中国語の基本構文の復習と理解を通じて自分で簡単な会話ができるようにします。
 履修上の留意点 必ず出席し、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 授業出席を前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。
 教科書／テキスト 『キャンパス中国語 会話コース』平井勝利ほか 白帝社 2,400円
 参 考 書 授業内で指示する。
 関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	278501
科目名	中国語ⅡB
担当者名	李 ^り 雲 ^{うん}

講義の到達目標(ねらい) 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
 講義の内容／
 授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。1-7回は中国語Iで習った文型と単語の復習に重点を置く。8-14回は助動詞の使いわけ、「不」と「没有」の違いなどを練習する。15回日は試験。16-29回は「介詞」の使いわけ、受身、使役などを練習する。30回日は試験。
 履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。4分の1以上の欠席がある場合、評価しない。
 成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
 教科書／テキスト 八木章好ほか『おぼえる中国語』(朝日出版社)2200円+税
 参 考 書 授業中で指示する。
 そ の 他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
 関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	278911
科目名	中国語ⅡD 中国語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>しおはた しんいちろう</small> 塩旗 伸一郎

講義の到達目標(ねらい)	調査によると、日中両国民の相互好感度は最低の水準にある。 どの国の政府も都合の悪い事は隠す。他国を隠れ蓑にする。調査結果は両国の隠しごとが奏功していることの証でもある。 好悪は個人の自由であるから、嫌いであること自体に問題はない。 しかし「嫌い」な理由が、自国の常識や自ら頼む「国際基準」に合わないことにあり、それを以て相手を全否定してかかるとしたら、あやういことである。 「世界の多元化と経済の全球化」の中で、日本人が安寧と幸福を享受するためには、どうしても異なる隣人と平和共存を謀らなければならないからだ。 相手に合わせるばかりが能ではない。違いの実相を知り、背景にある歴史・文化・社会事情を踏まえて人間行動を理解する力は、国籍や体制にとらわれぬ国際人に必要な教養である。 この授業は、(1)一人の若者の成長物語を講読し、中級程度の読解力を養うこと(2)中国現代社会への理解を深め、国際人としての平和共存力を高めること——を目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	原則として本文講読に1週、現代社会解説と練習問題に1週を充てる。 第1～14週：第1課～第7課 第15週：前期末試験 第16～29週：第8課～第15課 第30週：後期末試験
準備学習	毎課の第1週はほぼ段落ごとに指名し、本文の音読と翻訳を求める。 第2週は現代社会解説について前週に配布した問いならびに練習問題への解答を求める。
履修上の留意点	毎回の予習と出席が必要であり、結果は成績に反映する。
成績評価の方法	平常点40%、前期試験30%、後期試験30%
教科書／テキスト	相原茂・蘇明『阿強的故事——中国現代社会論』(好文出版 2000円+税)
参考書	中日辞典は必携。以下の「辞書案内」を参照のこと。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

外国語

履修コード	278901
科目名	中国語ⅡD 中国語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	<small>そう たいわ</small> 曹 泰和

講義の到達目標(ねらい)	中国社会への関心に応える文章に慣れ親しみ、原文を読むための基礎作りをする。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) 上海万博 (2～3) (2) 大陸からの観光客と値段交渉 (4～5) (3) 曹操の墓は本物か (6～7) (4) 中国の端午の節句 (8～9) (5) 新しい世代の農民労働者 (10～11) (6) 大風の歌、高らかに (12～13) (7) 辛亥革命百周年 (2～3) (8) 桂由美さんのウェディングドレス (4～5) (9) 芭石鉄道の魅力 (6～7) (10) 中国サッカー、応援したくても… (8～9) (11) 大都市こぼれ話 (10～11) (12) 移民—安心を求めて (12～13)
履修上の留意点	遅刻早退欠席をしない。授業の予習復習を必ず行う。
成績評価の方法	授業内テスト+出席+課題および授業態度の総合評価
教科書／テキスト	三浦正道・陳祖蓓『2011年版時事中国語の教科書』2011年刊(朝日出版)1,900円
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	278801
科目名	中国語ⅡD 中国語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	宮本 厚子 <small>みやもと あつこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 中国語の平易な文章を読んでゆく。
辞書を引けば、自分で中国語の文章を読めるよう、読むための基礎を身につける。
講義の内容／ 1課を2回のペースで進めてゆく。
授業スケジュール 前期は6課まで。
準備学習 辞書を引いて本文を日本語に訳し、ノートの書いてくるという予習は必ずしてから、授業に臨むこと。
履修上の留意点 授業の時に必ず辞書を携帯すること。
成績評価の方法 前後期の中間・期末テストの平均(70%)と平常点(30%)で評価する。
教科書／テキスト 張国璐・池上貞子『ときめき中国語』(朝日出版社) 2000円+税
参考書 辞書・参考書については、授業の中で紹介する。
関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	279101
科目名	中国語ⅢA 中国語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	王 聡 <small>おう そう</small>

講義の到達目標(ねらい) 中国文化を学びながら、中国語の読解力の向上を目的とする。
講義の内容／ 前期
授業スケジュール 第1回 ガイダンス・復習
第2回～第13回 話題:「あいさつの話」・「中国茶の話」・「接客の話」・
「十二支の話」・「外国語学習の話」・「外来語の話」・「方言の話」
文法:「要是」・前置詞の「給」・「一～就～」・兼語文・受身文・比較文・結果補語・
可能補語など。
第14回～第15回 復習と前期テスト
後期
第1回 復習・練習問題
第2回～第13回 話題:「漫画の話」・「趣味の話」・「色の話」・「お土産の話」・
「天気の話」・「環境の話」・「映画の話」・「休日の話」
文法:「会」・「能」・「把」構文・動詞の重ね型・動作の進行・使役文など
第14回～第15回 復習と後期テスト
履修上の留意点 辞書を用意し、予習と復習をちゃんとする事。
成績評価の方法 前期テスト35%、後期テスト35%、平常点(出席状況、授業態度、理解度)30%。
教科書／テキスト 相原茂他著『ドリル式中国語テキストII—日本と中国』、くろしお出版、1,800円+税、
ISBN4-87424-098-4 C3087
参考書 特に指定がありません。
関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

外国語

履修コード	288201
科目名	中国語コミュニケーションⅠ
担当者名	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>

講義の到達目標(ねらい)	初級の語彙と語法を使って、中国語による簡単なコミュニケーションができるようになることを目指す。難しいことを新しく学ぶのではなく、初級の段階で学修した事項を使いこなし、習慣や制度の違いにも配慮しながら、活きた異文化コミュニケーションができるようになることが目標である。かつて中国語ⅠA・ⅠBを履修した、でも、その内容が身につけているわけではない、という現状の受講生を標準とする。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。
講義の内容／授業スケジュール	大量の口頭練習を行いながら、発音と文法を基礎から復習し、徹底的に身につける。予習は必要ないが、毎回の学習内容を必ず次の週に暗誦してもらう。 (1)～(3) 発音とピンインの総復習。 (4)～(15) 下記教科書の前半を1回約2課のペースで進める。 (16)～(18) 前期学習内容の復習。 (19)～(27) 下記教科書の後半を1回約1課のペースで進める。 (28)～(30) 後期学習内容の復習。
準備学習	次にやる課の映像を前もって教科書付録のDVDで見しておくこと。授業終了後は毎回の学習内容をすべてピンインで書けるようにすることを要求する。また授業と平行してテレビ・ラジオの中国語講座を視聴してほしい。
履修上の留意点 成績評価の方法	受講希望者が多い場合、履修制限をする可能性がある。 成績は平常点評価。授業中に見られる中国語コミュニケーションの習熟度と不定期に行う授業時間内の小テストの点数を総合して評価する。出席回数が授業回数の4分の3以上に達していない者は評価の対象にしない。出席不足の者、授業への積極的な取り組みの見られない者は、学期途中で受講を止めてもらう。
教科書／テキスト	董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友』トータル版(朝日出版社) ¥2500+税 ISBN978-4-255-45167-1
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

外国語

履修コード	289001
科目名	中国語コミュニケーションⅡ
担当者名	陳 洲琴 <small>ちん しゅうきよ</small>

講義の到達目標(ねらい)	中国語を用いて意思疎通を円滑に進める能力を養う。日常会話表現を口でスムーズに応答できるように習得する。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。
講義の内容／授業スケジュール	割とやさしい教科書を使い、学んだ内容を理解し、暗誦できる程度まで繰り返し音読し、そして今まで憶えた単語や文型など活用して、日常的な会話を練習する。5課ごとに1回自由会話をを行う。
準備学習	教科書のCDをよく聞き、繰り返し音読すること。
成績評価の方法	中間テストと期末テストの成績で評価する。
教科書／テキスト	陳洲琴他『中国語耳留学』CD2枚つき 隆美出版 2600円+税
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	287101
科目名	中国語スキルアップ
担当者名	張 涓滄

講義の到達目標(ねらい)

中国語で話したり書いたりして意思疎通を円滑に進めるコミュニケーション能力を養うと同時に、個人のレベルにふさわしい受験対策を行い、HSKや中国語検定試験への合格を目指します。HSK・中検を受験する学生はもちろん、短期・長期の留学に興味がある学生や、中国語の実用レベルをアップしたい学生も、大歓迎します。

講義の内容/
授業スケジュール

1、前期は日常生活をテーマとして、毎回受講者一人ひとりに課題作文を添削のうえ発表してもらい、既習の文法と文型、表現を活用してスムーズに話したり書いたりできるように訓練します。
2、後期はHSKや中国語検定試験の受験対策を中心に、過去の問題集の解説や模擬試験を通じ、リスニング、語彙と文法、読解、作文などの受験能力を強化します。
3、ネイティブとのコミュニケーション能力を鍛えるため、毎回テキストの中から類出基本構文を10個指定し、暗唱テストを行います。

準備・学習
履修上の留意点

毎回提出するテーマ課題作文と発表、毎回行う暗唱テストの準備が必要です。
中国語を最低一年間履修していることが必要です。

成績評価の方法

4分の3以上の出席、中国人とコミュニケーションする欲求、失敗を懼れない果敢さ、旺盛な好奇心を求めます。遅刻厳禁。
4分の3以上の出席を前提とし、課題作文(4割)、課題の発表(3割)、暗唱テスト(3割)によって総合的に評価します。

教科書/テキスト

暗唱テキスト：本問史『中国語の文法 基本例文暗唱ドリル』(アルク出版、2200円+税)
テーマ課題のプリントを随時配布します。

参考書

後期用のHSKや中国語検定試験の問題集を夏休み前に紹介します。
辞書や役立つ検定対策教材・読み物・サイトなどは、教場で紹介します。

その他の
関連リンク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhujisho> (辞書案内)
自主的な家庭学習を促すべく、教師とのメール連絡を積極的に活用します。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho>

外国語

履修コード	290101
科目名	朝鮮語ⅠA(選)
担当者名	宋 美玲

講義の到達目標(ねらい)

朝鮮語ⅠAとⅠBの授業は、それぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。韓国語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、外国語としての韓国語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。なお、多様な資料をもって韓国の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容/
授業スケジュール

ⅠAのクラスは話し言葉中心、ⅠBのクラスは書き言葉中心ではあるが、初歩的な学習事項はⅠAとⅠBクラスほぼ同様である。後期からⅠAのクラスでは、口頭練習を通じた会話能力の養成に力を注いでいく。

準備・学習
履修上の留意点

第1回：オリエンテーション及びハングルについて 第2～6回：韓国語の文字と発音 第7回：小テスト(文字)及び単語の読み 第8～9回：発音の変化と日本語のハングル表記 第10～11回：第9課と小テスト及び韓国を紹介するDVD鑑賞 第12～13回：第10課～第11課 第14回：テスト及び韓国情報 第15回：前期のまとめ 第16回：小テスト-前期の内容 第17～19回：第12課～第13課及び小テスト 第20～24回：第14課～第16課及び小テストと応用練習 第25回：映画鑑賞 第26～28回：第17課～第18課及び応用練習 第29回：テスト及び韓国情報 第30回：後期のまとめ

成績評価の方法

約2週ごとに暗記及び暗誦などの小テストを実施するため、毎回授業の復習と予習が重要である。
最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
暗誦・暗記などの小テストの成績(70%)、出席(20%)・授業への参加度(10%)により、総合的に評価する。

教科書/テキスト

ⅠA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)2,400円+税

履修コード	290111
科目名	朝鮮語 I A (選)
担当者名	白 寅英

講義の到達目標(ねらい) 朝鮮語IAとIBの授業は、それぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。韓国語のの文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、外国語としての韓国語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。なお、多様な資料をもって韓国の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容／
授業スケジュール IAのクラスは話し言葉中心、IBのクラスは書き言葉中心ではあるが、初歩的な学習事項はIAとIBクラスほぼ同様である。後期からIAのクラスでは、口頭練習を通じた会話能力の養成に力を注いでいく。

第1回:オリエンテーション及びハングルについて 第2～6回:韓国語の文字と発音 第7回:小テスト(文字)及び単語の読み 第8～9回:発音の変化と日本語のハングル表記 第10～11回:第9課と小テスト及び韓国を紹介するDVD鑑賞 第12～13回:第10課～第11課 第14回:テスト及び韓国情報 第15回:前期のまとめ 第16回:小テスト-前期の内容 第17～19回:第12課～第13課及び小テスト 第20～24回:第14課～第16課及び小テストと応用練習 第25回:映画鑑賞 第26～28回:第17課～第18課及び応用練習 第29回:テスト及び韓国情報 第30回:後期のまとめ

準備学習
履修上の留意点

約2週ごとに暗記及び暗誦などの小テストを実施するため、毎回授業の復習と予習が重要である。最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

暗誦・暗記などの小テストの成績(70%)、出席(20%)・授業への参加度(10%)により、総合的に評価する。

教科書／テキスト

IA:長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)2,400円+税

外国語

履修コード	290701
科目名	朝鮮語 I B (選)
担当者名	白 寅英

講義の到達目標(ねらい) 朝鮮語IAとIBの授業は、それぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。韓国語のの文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、外国語としての韓国語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。なお、多様な資料をもって韓国の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容／
授業スケジュール

IBのクラスは書き言葉中心で、IAのクラスは話し言葉中心ではあるが、初歩的な学習事項は両クラスほぼ同様である。後期からIBのクラスでは、文法事項による書きと読みを中心にする。

第1回:オリエンテーション及びハングルについて 第2～6回:韓国語の文字と発音 第7回:小テスト(文字)及び単語の読み 第8～9回:発音の変化と日本語のハングル表記 第10～11回:第9課と小テスト及び韓国を紹介するDVD鑑賞 第12～13回:第10課～第11課 第14回:テスト及び韓国情報 第15回:前期のまとめ 第16回:小テスト-前期の内容 第17～19回:第12課～第13課及び小テスト 第20～22回:第14課～第15課及び小テストと応用練習 第23～24回:第16課及び小テストと応用練習 第25回:映画鑑賞 第26～28回:第17課～第18課及び応用練習 第29回:テスト及び韓国情報 第30回:後期のまとめ

準備学習
履修上の留意点

約2週ごとに暗記及び暗誦などの小テストを実施するため、毎回授業の復習と予習が重要である。最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

暗誦・暗記などの小テストの成績(70%)、出席(20%)・授業への参加度(10%)により、総合的に評価する。

教科書／テキスト

IB:長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(読んで書こう1)』(白帝社)2,400円+税

履修コード	291211
科目名	朝鮮語Ⅱ (選)
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョク</small>

講義の到達目標(ねらい)

基本的な文法内容をふまえ、日常生活の会話が話せるよう表現能力を養成するとともに、新聞や手紙文などの書き言葉の学習を通して、読解力をも強化していく。なお、多様な資料をもって韓国文化との触れ合いを試みる。

講義の内容／
授業スケジュール

テキストを中心に基本的な文法や語彙を学習し、会話文は完全に暗誦すること。また、口頭練習とともに聞き取り及び書き取りの能力を養成し、応用練習を通してより豊かな表現力を強化していく。
第1回～第5回(第6課～10課)は初級の復習を行う。第6回からはテキストの内容に沿って進めていくが、新しい課が終わると次回の授業では、前回の会話内容を暗誦・暗記する小テストを行う。
第6回～第8回：第11課～12課及び小テスト 第9回～第11回：第13課～14課及び小テスト
第12回～第13回：11～14課の応用練習及び小テスト 第14回～第15回：読解及び文化とのふれあい 第16回～第17回：前期の復習及び小テスト 第18回～第20回：第15課～16課及び小テスト 第21回～第23回：第17課～18課及び小テスト 第24回～第25回：読解及び文化とのふれあい 第26回～第28回：第19課～20課及び小テスト 第29回～第30回：ドラマを通して表現と文化を学ぶ。

準備学習
履修上の留意点

ほとんど毎週暗誦及び暗記などの小テストを行うため、毎週復習と予習が重要である。
この授業は、朝鮮語IAやIBを受講した人、または、韓国語の初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、初めての人は朝鮮語IAかIBのほうを受講すること。受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

小テストの成績(70%)、出席(20%)、授業への参加度(10%)により総合的に評価する。
浜之上幸 監修 姜英淑ほか5人共著『楽しく学ぶハングル1』白帝社 2,400円+税

外国語

履修コード	266901
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	志真 斗美恵 <small>シマ トミエ</small>

講義の到達目標(ねらい)

ドイツ語の初級文法を1年間でマスターし、辞書をつかってドイツ語の文章を理解できるようになることを目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール

同時に、現代ドイツの日常や文化を知る側面にも力をおき、発音練習をくりかえし、簡単な会話ができるようになることを目指します。

はじめてドイツ語を学ぶ方のためのクラスです。ABCの発音からはじめて接続法まで、ドイツ語の初級文法を学びます。また、DVDの映像や各課の「見てみよう」のページを通して、視覚的にもドイツの日常と文化に触れていきます。

準備学習

1回目:アルファベット・つづりと発音
2回目:発音の復習・挨拶・曜日・月
3～14回目:1～5課
15回目:前期テスト
16～26回目:5～10課
27～30回目:文法の補足(受動・接続法)
語学をマスターするには復習が大切です。前回学習した内容の練習問題を通して、それまで学習したことを確認しておきましょう。

履修上の留意点

かならず出席して、積極的に授業に参加し、毎回の内容を自分のものにしてください。語学は積み重ねが大切です。前期・後期試験のほかに、随時小テストを行ないます。

成績評価の方法

小テストおよび平常点(出席)・前期試験・後期試験の成績を、1:1:1の割合とし、総合的に評価します。

教科書／テキスト

- 1) 小野寿美子・中川明博・西巻文児著
- 2) 『クロイツング・ネオ』
- 3) 朝日出版社
- 4) 2500円+税
- 5) ISBN978-4-255-25345-9 C1084

履修コード	351401
科目名	ドイツ語 I A
担当者名	清水 修 <small>しみず おさむ</small>

講義の到達目標(ねらい)	ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。
講義の内容／授業スケジュール	ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。
履修上の留意点	必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。 早川東三著『完全ドイツ文法(改訂版)』(朝日出版社) ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)

履修コード	266201・266701
科目名	ドイツ語 I A
担当者名	杉本 正俊 <small>すぎもと まさとし</small>

講義の到達目標(ねらい)	ドイツ語をまったく学んだことのない学生に、ドイツ語の基礎を教える。ドイツ語 I A では、文法的観点から、ドイツ語を学ぶが、発音、文字表記など、基礎の基礎から丁寧に学んでもらう。またひとつの外国語を学ぶことを通じて、人間の多様なありかたの一面を知っていただけたらと思う。もうひとつのドイツ語の授業(B)と関連を持たせるために「50語単語集」を配布し、もうひとつの授業(B)と共通で使うことにする。
講義の内容／授業スケジュール	それぞれの言語はそれぞれ、独自の個性を持った存在でもある。文法的観点から「ドイツ語」らしさとはどんなものかを、感じて頂きたい。 初回の発音と文字表記(アルファベット)はプリントを使用する。三日目の授業あたりから簡単な文の構造を説明しながら、所定の教科書(「教科書/テキスト」欄参照)にしたがって進み、夏休み前までに、単純な文の現在形の表現の主な規則および助動詞を使った表現を学ぶ。 夏休み以降、動詞の「3基本形」とともに、過去形、現在完了、複雑な文の構造などを学ぶ。「30動詞の3基本形」のプリントを配布、秋のいずれかの時点で、「3基本形」テストを行う。 ここまでの基礎をしっかりと固めたうえで、順次、受動態、関係代名詞、接続法を学ぶ。
準備学習 履修上の留意点	前回学んだことをしっかりと自分のものにして次の授業に臨む。 配布するプリントをなくさないように、しっかりと管理してください。初回授業時に作成する「出席簿」をもとに毎回出席を取ります。3回以上連続して休まねばならない理由がある時には、それを教員に伝えてください。また遅刻者は授業終了時に申し出ること。
成績評価の方法	成績配点の目安は、基礎出席点(必ずしも全出席でなくてもよいが、必ず授業についてゆくことが必要。出席できる時は出席すること)20%、「3基本形テスト」などの小さいテストを含めた平常点25%、学年末定期試験55%とする。
教科書／テキスト	成績評価の全体の前提として、平常点の存在は重要である。 大谷弘道・Ursula Otani著「新・問いかけるドイツ語」(改訂版) - 初級表現練習読本一 発行所: 三修社 ¥2600 ISBN978-4-384-12237-4
参 考 書	配布プリント

履修コード	266301
科目名	ドイツ語 I A
担当者名	武田 利勝

講義の到達目標(ねらい)	1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身につけてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。
講義の内容／授業スケジュール	(1)オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3)発音の練習 (4～6)動詞の変化、その1 (7～10)名詞の格変化のいろいろ (11～15)数詞、疑問詞、前置詞など (16～20)動詞の変化、その2 (21～23)接続詞、受動文、zu不定詞など (24～26)形容詞、序数 (27～28)関係代名詞と関係文 (29～30)非現実話法、まとめ
履修上の留意点	外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないと。もちろん、出席し続けること！とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的な参加が望まれます。具体的には、ノートをしっかり取る、そして考える、学んだことをすぐに実践する——これが、真剣な学びの場を楽しむために皆さんがすべきことです。
成績評価の方法	各学習事項についての小テストのスコアを平常点とし、前期・後期にそれぞれ行う期末試験のスコアと合わせて評価します。配分は平常点5割・期末試験5割とします。「平常点」はあくまでも小テストの点数です。「出席点」ではありません。
教科書／テキスト	『Kreuzung Neo (クロイツング・ネオ)』朝日出版社 ISBN978-4-255-25345-9 定価2500円
参考書	独和辞典は必ず購入して下さい。初回授業時に案内します。
その他の他	各回の学習事項をしっかり復習し、知識を構築・発展させて行くのが小テストの意義です。小テストは授業開始時に行います。遅刻者・欠席者の受験は認めません。どうしても出席できない場合は、あらかじめ届けること。

外国語

履修コード	266501
科目名	ドイツ語 I A
担当者名	武田 利勝

講義の到達目標(ねらい)	1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身につけてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。
講義の内容／授業スケジュール	(1)オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3)発音の練習 (4～6)動詞の変化、その1 (7～10)名詞の格変化のいろいろ (11～15)数詞、疑問詞、前置詞など (16～20)動詞の変化、その2 (21～23)接続詞、受動文、zu不定詞など (24～26)形容詞、序数 (27～28)関係代名詞と関係文 (29～30)非現実話法、まとめ
履修上の留意点	外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないと。もちろん、出席し続けること！とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的な参加が望まれます。具体的には、ノートをしっかり取る、そして考える、学んだことをすぐに実践する——これが、真剣な学びの場を楽しむために皆さんがすべきことです。
成績評価の方法	各学習事項について的小テストのスコアを平常点とし、前期・後期にそれぞれ行う期末試験のスコアと合わせて評価します。配分は平常点5割・期末試験5割とします。「平常点」はあくまでも小テストの点数です。「出席点」ではありません。
教科書／テキスト	教科書／テキスト 『Kreuzung Neo (クロイツング・ネオ)』朝日出版社 ISBN978-4-255-25345-9 定価2500円
参考書	初回の授業で適切な独和辞典を紹介しますので、毎回それを持参してください。

履修コード	266601
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	週一回、一年間の授業でドイツ語の初級文法をマスターすることを目標とします。 第1回:ドイツ語のアルファベット、発音規則の説明 第2~3回:人称代名詞(1)・動詞の現在人称変化 第4~5回:名詞の性と格変化 第6~7回:語順・前置詞 第8~9回:名詞の複数形・不規則動詞 第 10~11回:定冠詞類・不定冠詞類 第12回:形容詞 第13~14回:人称代名詞(2)・再帰代名詞 第15~16 回:分離動詞・zu不定詞 第17~18回:語法の助動詞・命令形 第19~21回:過去形・現在完了形 第 22~23:受動態 第24~25回:形容詞の比較変化 第26~28回:関係文 第29~30回:接続法
履修上の留意点	文法の学習は積み重ねですから、定期的出席が前提条件です。また、初回の授業のさいに中型の「独 和辞典」を何種類か紹介いたしますので、そのうちの一つを入手し、以降つねに持参してください。
成績評価の方法	期末試験(7月)、学年末試験(1月)以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点(出席率、 授業中に指名された時の口頭練習の結果など)を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点 の成績評価に占める割合は7:3であると考えてください。
教科書/テキスト その他	在間進ほか著『明るく楽しくドイツ語を! (三訂版)』三修社、2100円、ISBN 384-11264-5 実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度 か配布いたします。

外国語

履修コード	266401
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	もり こうせい 森 公成

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	はじめてドイツ語を学ぶ学生を対象とし、1年間で文法の基礎を身につけます。 (前期) 第1回:オリエンテーション 第2回:発音 第3回~第13回:教科書1課~7課 第14回:教科書1課~7 課の復習 第15回:前期末試験 (後期) 第16回:前期の復習 第17回~第28回:教科書8課~14課 第29回:教科書8課~14課までの復習 第 30回:後期末試験
準備学習 履修上の留意点	毎週、次回までの課題を指示しますので、必ず自宅から授業にのぞんでください。 授業への積極的な参加を希望します。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップを はかります。わからないことがあれば、どんどん質問してください。 出席は重視します。半期3回以上欠席した場合は、原則として、単位の習得はできません。 なお遅刻は30分以内のみ認め、遅刻は2回で欠席1回に換算します。やむをえない事情での欠席や遅 刻は必ず申し出てください。
成績評価の方法	定期試験(年2回)、授業時間内での小テスト、平常点(出席状況や授業への取り組み)等から総合的に 判断し、評価します。
教科書/テキスト	森・渡辺著『クヴェレ・ドイツ文法』同学社 2200円 ISBN978-4-8102-0871-9

履修コード	297411・297412・297413		
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	堀内 美江		

講義の到達目標(ねらい)	音楽や哲学など、ヨーロッパの文化において重要な役割を果たしてきた一方、現代でもなお優れた環境および技術的水準を保つドイツという国を、言葉を通して体験しましょう。 いちからゆっくりと丁寧に、そして着実にドイツ語を学習していきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	学期末に ①ドイツ語らしい発音ができる ②短い文章が書ける ③簡単なドイツ語が聞き取れたり読み取れたりできる、というようになれるといいですね。 以下のスケジュールは皆さんの学び具合によって多少変更することがあります。 前期 第1回：オリエンテーション 第2回：発音 第3回～第13回：教科書1課から5課まで 第14回： 期末試験・前期のまとめ 第15回：解答返却・前期のふりかえり 後期 第16回：休暇明けの復習時間 第17～第28回：教科書6課から10課まで 第29回：期末試験・後 期のまとめ 第30回：解答返却・一年のふりかえり
準備学習 履修上の留意点	予習よりも復習の時間が作れるとよいですね。一か月もたてばその効果が実感できるでしょう。 ゆっくりじっくり、皆さんのペースで授業を進めていきますから、安心して参加してください。授業 中は間違っても結構。間違えながら覚えていきましょう。質問は大歓迎ですので、小さなこと、すで に習ったことでも遠慮なく尋ねてください。
成績評価の方法 教科書／テキスト	皆さんさまざまな理由でこの授業に出席なさるはずですが、履修に対して何か問題が生じた場合であ ってもできるかぎり対応したいと思っていますから、遠慮なく早めに相談しにきてください。 テスト：平常点(出席、発言、課題等)＝5：5の割合で評価する予定です。 三宅恭子他『ドイツ語コンパクト』三修社 ISBN987-384-12266-4C1084

外国語

履修コード	297401・297402・297403		
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	南 はるつ		

講義の到達目標(ねらい)	会話表現、文法事項に関する比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけると ともに、ドイツ文化についても学びます。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期 第 1 回：オリエンテーション 第 2 回：発音 第 3～4 回：冠詞 第 5～6 回：動詞の現在人称変化(規則動詞) 第 7～9 回：冠詞類 第10～11回：不規則動詞 第12～13回：前置詞、命令形 第14～15回：復習 後期 第 1～2 回：助動詞 第 3 回：中間試験 第 4～5 回：複合動詞 第 6～7 回：接続詞 第 8 回：動詞の三基本形 第 9～11回：過去形・現在完了形 第12～14回：形容詞、関係代名詞 第 15 回：試験
履修上の留意点	きちんと出席をして文法項目を学習し、宿題を忘れずにやってくるのが重要です。
成績評価の方法	夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して 評価します。
教科書／テキスト	小野・中川・西巻『クロイツング・ネオ』(朝日出版社)2500円+税 ISBN978-4-255-25345-9 C1084

履修コード	297101・297102・297103		
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	もとほし とうきょう 本橋 右京		

講義の到達目標(ねらい) 伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得します。

講義の内容／授業スケジュール 文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものとしします。(1)オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2-3)発音の練習 (4-6)動詞の変化、その1 (7-10)名詞の格変化のいろいろ (11-15)数詞、疑問詞、前置詞など (16-20)動詞の変化、その2 (20-23)接続詞、受動文など (24-26)形容詞、序数 (27-28)関係代名詞と関係文 (29-30)まとめ

履修上の留意点 予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書／テキスト 諏訪田 清著『新訂・ドイツ文法18歩』(同学社)2004年刊 2300円+税
ISBN978-4-8102-0839-7

履修コード	297201・297202・297203		
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕
担当者名	やぶした こういち 数下 紘一		

講義の到達目標(ねらい) もう一度初級文法を復習しドイツ語IIAにつなげる事。

講義の内容／授業スケジュール 第1・2回、動詞の現在人称変化。2・3・4回、様々な疑問文。5・6・7回、名詞の性、数、格と不定冠詞類。8・9回、定冠詞類。10・11回前置詞の格支配。12・13回、人称代名詞の格変化。14・15回、話法の助動詞と副文。16・17回、分離動詞と形容詞。18・19回、動詞の3基本形と過去形。20・21回、現在完了形、未来形。22・23・24回、zu不定詞(句)、再起動詞、形容詞の名詞化。25・26回、受動態、関係代名詞。27・28回、接続法第2式。29・30回、総復習。

履修上の留意点 ドイツ語は決して難しくはありません。きちんと法則にしたがって構成されています。積み重ねが大事です。欠席をするとわからなくなるのは当然ですので、必ず出席してください。

成績評価の方法 平常点50点。前期、後期25点満点の試験をする。

教科書／テキスト 増本：やさしいドイツ語入門、白水社、
ISBN978-4-560-06461-6、c3884、2200円+税。

履修コード	355601・355602		
科目名	ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	
担当者名	やぶした こういち 数下 紘一		

講義の到達目標(ねらい) 再び初級ドイツ語文法を学び基礎を一応覚える事。

講義の内容／授業スケジュール 第1回つづりの読み方。第2・3・4回動詞の現在人称変化(1)・定動詞の位置(1)、5・6回名詞の性・複数形・格、7・8回、冠詞類の変化・現在人称変化(2)9・10回、前置詞・人称代名詞。11・12回、複合動詞・命令・定動詞の位置(2)13.14回、形容詞の格変化と名詞化。15・16回、話法の助動詞・未来形。17・18回、動詞の3基本形と過去形。18・19回、完了形20・21回、比較。22・23回、再起動詞・非人称動詞。24・25回、指示代名詞・不定代名詞など。26・27回、関係代名詞。28・29回、受動文。30回、接続法・不定詞・分詞。

準備学習 特に復習をしてください。

履修上の留意点 理解できるためには予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 前期・後期共に50点満点の試験をする。出席点も考慮する。

教科書／テキスト 椿・成田：新訂・入門初級ドイツ文法、同学社、
ISBN4-8102-0954-0 C1084 ¥2100+税。

その他の他 外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

履修コード	289601
科目名	ドイツ語 I A (選)
担当者名	森 公成

講義の到達目標(わらい)	はじめてドイツ語を学ぶ学生を対象とし、1年間で文法の基礎を身につけます。
講義の内容／ 授業スケジュール	(前期) 第1回：オリエンテーション 第2回：発音 第3回～第13回：教科書1課～7課 第14回：教科書1課～7課の復習 第15回：前期末試験 (後期) 第16回：前期の復習 第17回～第28回：教科書8課～14課 第29回：教科書8課～14課までの復習 第30回：後期末試験
準備学習 履修上の留意点	毎週、次回までの課題を指示しますので、必ず自宅ですんでから授業にのぞんでください。授業への積極的な参加を希望します。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。わからないことがあれば、どんどん質問してください。 出席は重視します。半期3回以上欠席した場合は、原則として、単位の習得はできません。 なお遅刻は30分以内のみ認め、遅刻は2回で欠席1回に換算します。やむをえない事情での欠席や遅刻は必ず申し出てください。
成績評価の方法	定期試験(年2回)、授業時間内での小テスト、平常点(出席状況や授業への取り組み)等から総合的に判断し、評価します。
教科書／テキスト	森・渡辺著『クヴェレ・ドイツ文法』同学社 2200円 ISBN978-4-8102-0871-9

外国語

履修コード	267101
科目名	ドイツ語 I B
担当者名	岡本 時子

講義の到達目標(わらい)	初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、実用的なドイツ語の運用能力を身につけることを目標とするクラスです。ドイツ語そのものに関する知識のみならず、ドイツ語圏の文化や歴史・地理などについても学びながら、言語を理解するとはどんなことなのかも併せて考えていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は音声から始め、ドイツ語をきちんと発音・音読できるように練習し、簡単な会話ができるようにします。後期は辞書を使いながら、自分で平易な文を読めるようになることを目標に授業を進めていきます。また並行するIAの授業と前期後期ともに提携しながら、語彙や文法項目の習得を図る予定です。
履修上の留意点	初修語学は、一回ごとに学んだ内容の上に次回の授業を積み重ねていきますので、毎回出席することが肝心です。語学学習には努力も必要ですが、新しいことを学ぶことは楽しいことです。一緒に頑張りましょう！
成績評価の方法	基本的には、前期と後期それぞれ期末試験を行い、その試験の結果と出席で成績は評価しますが、授業に対する意欲や積極性も前向きに考慮します。
教科書／テキスト 参 考 書	保阪良子著『ドイツ・サラダ』朝日出版 必要に応じて授業中紹介します。

履修コード	267601
科目名	ドイツ語 I B
担当者名	岡本 時子

講義の到達目標(わらい)	初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、実用的なドイツ語の運用能力を身につけることを目標とするクラスです。ドイツ語そのものに関する知識のみならず、ドイツ語圏の文化や歴史・地理などについても学びながら、言語を理解するとはどんなことなのかも併せて考えていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は音声から始め、ドイツ語をきちんと発音・音読できるように練習し、簡単な会話ができるようにします。後期は辞書を使いながら、自分で平易な文を読めるようになることを目標に授業を進めていきます。また並行するIAの授業と前期後期ともに提携しながら、語彙や文法項目の習得を図る予定です。
履修上の留意点	初修語学は、一回ごとに学んだ内容の上に次回の授業を積み重ねていきますので、毎回出席することが肝心です。語学学習には努力も必要ですが、新しいことを学ぶことは楽しいことです。一緒に頑張りましょう！
成績評価の方法	基本的には、前期と後期それぞれ期末試験を行い、その試験の結果と出席で成績は評価しますが、授業に対する意欲や積極性も前向きに考慮します。
教科書／テキスト 参 考 書	清野智明著『ドイツ語の時間』朝日出版 必要に応じて授業中紹介します。

履修コード	351601
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	<small>しのはら としあき</small> 篠原 敏昭

講義の到達目標(ねらい) 簡単なドイツ語を耳で聞き、目で見、口に出して言う、さらに手を使って書くことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用い、DVD教材を使った授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

前期

第1～2回 アルファベットと発音の原則 第3～6回 動詞の現在人称変化

第7～10回 名詞の性、定冠詞／不定冠詞 第11～14回 名詞の複数形、不規則動詞

第15回 前期末試験

後期

第16～19回 分離動詞、接続句と語順 第20～23回 冠詞類、前置詞

第24～27回 話法の助動詞、現在完了形 第28～29回 復習と応用

第30回 後期末試験

履修上の留意点
成績評価の方法

欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

『モデル1 問題発見のドイツ語(改訂版)』(三修社)2,600円

辞書・参考書は授業の中で指示します。

DVDやCDを活用した授業をおこなう予定です。

外国語

履修コード	267201・267401
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	<small>たけだ としかつ</small> 武田 利勝

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語ⅠAで学習した文法事項を、練習問題や読解を通じて応用的に実践し、理解を深めます。前期はⅠAと協同して文法学習を進め、後期からはグループによるドイツ語長文の読解作業にシフトしていきます。

講義の内容／授業スケジュール

前期(1～2)オリエンテーション、発音練習 (3～4)動詞の現在人称変化Ⅰ

(5～6)名詞の性と格変化 (7～8)さまざまな冠詞類 (9～10)動詞の現在人称変化Ⅱ、代名詞の格変化 (11～12)前置詞、話法の助動詞 (13～14)分離動詞、動詞3基本形、現在完了

後期(15)復習テスト (16～18)前期までの学習事項を用いた作文練習

(19～28)ⅠAでの学習事項と並行しつつ、ドイツ語長文読解

履修上の留意点

前期はほぼ毎回小テストを行います。出席はもちろん、必ず学習事項の復習を怠らないように。後期は、少人数でのグループ作業を中心に授業を進めますので、積極的な授業参加が不可欠となります。チームワーク力をみがくための、いい練習にもなるはずです。

成績評価の方法

前期各授業時の小テスト、また後期第1回目の中間テスト、後期期末テストの総合点での評価となります。比率はそれぞれ3分の1とします。小テストは授業開始時に行いますが、出席状況確認も兼ねています。くれぐれも遅刻はしないこと、また欠席の場合は予め届け出ること。

教科書／テキスト

前期に用いる教科書は、ドイツ語ⅠAと同じ(『クロイツング・ネオ』朝日出版社)です。

参 考 書

後期の読解授業の際には、こちらで配布プリントを準備します。

初回授業時にご案内します。

履修コード	267301
科目名	ドイツ語 I B
担当者名	野島 利彰 <small>のじま としあき</small>

講義の到達目標(ねらい) テキストの文章は日常会話的で、会話の訓練になります。後半では文章がかなり長くなり、将来的に専門的な文章を読む際の練習になります。会話と読解の両者を目標とします。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1-3回 ドイツ語の発音・現在人称変化(1)
- 4-6回 名詞の性・格変化・冠詞の変化(1)
- 7-9回 現在人称変化(2)・冠詞の変化(2)
- 10-12回 語法の助動詞・前置詞
- 13-15回 複合動詞・従属接続詞・形容詞の格変化、
- 16-18回 基本動詞と複合動詞の三基本形
- 19-21回 過去人称変化・現在完了形、
- 22-24回 受動態・形容詞の比較
- 25-27回 関係代名詞・再帰動詞・非人称動詞
- 28-30回 zu不定詞・分詞・接続法

履修上の留意点
成績評価の方法

なお1-12回までは毎回、巻末の動詞変化表を使って発音練習をします。
外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。
提出された宿題の点数(30%)、小テスト(10%)、七月と一月の試験の成績(50%)、および授業中、質問にどれだけ答えたか(10%)が成績評価の基準になります。1/3以上欠席した者は評価の対象になりません。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

佐藤・Pinnau・中村著『新ドイツに行ってみませんか』、郁文堂、2500円+税
必要に応じて紹介します。辞書については教場で説明します。
外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

外国語

履修コード	267501
科目名	ドイツ語 I B
担当者名	野島 利彰 <small>のじま としあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 臨場感ある音声付き推理小説テキストを中心に、さまざまな分野のテキスト(CD付き)を読み、耳からのドイツ語と、読んで理解するドイツ語の両方を学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1-3回 ドイツ語の発音・現在人称変化・名詞の性と格変化
- 4-6回 不規則動詞・名詞の複数形
- 7-9回 前置詞・副文・人称代名詞
- 10-12回 再帰動詞・非人称動詞・冠詞類・否定文
- 13-15回 zu不定詞句・分離動詞と非分離動詞
- 16-18回 語法の助動詞・未来形・動詞の三基本形
- 19-21回 過去人称変化・現在完了形・受動態
- 22-24回 形容詞の格変化・形容詞の比較・関係代名詞
- 25-27回 命令形・分詞
- 28-30回 接続法

履修上の留意点
成績評価の方法

なお1-12回までは毎回、巻末の動詞変化表を使って発音練習をします。
外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。
提出された宿題の成績(30%)、小テスト(10%)、七月と一月の試験の成績(50%)、および授業中、質問にどれだけ答えたか(10%)が成績評価の基準になります。1/3以上欠席した者は評価の対象になりません。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

清野・須藤・合田『ドイツ語の時間-読解編』朝日出版 2300円+税
辞書については教場で説明します。
外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

履修コード	267801
科目名	ドイツ語 I B
担当者名	まつおか すずむ 松岡 普

講義の到達目標(ねらい)	平行して行なわれる文法の授業で得られた知識を活用しながら、口頭練習、平易なドイツ語の文章の読解に取り組みます。一年後には、独和辞典を用いて新聞、雑誌などの現代文をなんとか理解できるようになりたいものです。
講義の内容／授業スケジュール	第1～2回:ドイツ語のアルファベットと発音の規則 第3～4回:人称代名詞と動詞の基本的変化に関する文章 第5～6回:名詞の性と格変化を含む文章 第7～8:動詞の位置に関する例文 第9～10回:前置詞に関する文章 第11～12回:幹母音の変化する動詞とその例文 第13～15回:定冠詞類・不定冠詞類に関連した文章 第16～17回:再帰動詞を含む文章 第18～19回:分離動詞・zu不定詞句とその例文 第20～21回:話法の助動詞・命令形とその例文 第22～24回:過去形・完了形に関する例文 第25:受動態を含む文章 第26～27回:関係代名詞とその例文 第28～30回:接続法とその例文
履修上の留意点	初回の授業で紹介する中型の「独和辞典」を入手し、それを毎回の授業のさいに必ず持参して下さい。定期的出席が単位取得の前提条件です。
成績評価の方法	期末試験(7月)、学年末試験(1月)以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点(出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など)を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は7:3であると考えてください。
教科書／テキスト 参 考 書	なし(授業担当者が用意したプリントを配布します) 初回の授業で独和辞典を数種類、紹介いたします。

外国語

履修コード	290201
科目名	ドイツ語 I B (選)
担当者名	いむら ゆきこ 井村 行子

講義の到達目標(ねらい)	基本的なドイツ語を身につける
講義の内容／授業スケジュール	第1～2回 アルファベットと発音 第3～4回 第1課 挨拶をする、出身地や住所を言う 第5～7回 第2課 専攻・国籍・職業を言う(現在人称変化) 第8～9回 第3課 自分の持ち物を言う、100まで数える(名詞の性、複数形) 第10～11回 第4課 レストランで注文する(定冠詞、不定冠詞の4格) 第12～14回 第5課 家族を紹介する(所有冠詞、人称代名詞) 第15～16回 第6課 趣味を言う、人を誘う(不規則動詞、命令形) 第17～18回 第7課 休暇の予定を言う(話法の助動詞) 第19～21回 第8課 贈り物をする、服を買う(3格) 第22～23回 第9課 道を尋ねる(前置詞) 第24～25回 第10課 時刻を言う(分離動詞、再帰動詞、zu不定詞) 第26～28回 第11課 体の状態を説明する、過去のことを語る(過去形、現在完了) 第29～30回 第12課 天候のことを話す(従属接続詞、比較表・最上級、非人称主語)
履修上の留意点	欠席しないこと／宿題を必ずやってくること
成績評価の方法	各課ごとに行なう小テストの成績
教科書／テキスト	『ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語』(第三書房)

履修コード	290801
科目名	ドイツ語 II (選)
担当者名	しま とみえ 志真 斗美恵

講義の到達目標(ねらい)	ひととおりドイツ語を学んだ方が、ワンランク上の読解力と文法、そして表現力を身につけることを目標とします。
講義の内容／授業スケジュール	初級文法を復習しながら、現代ドイツの日常生活・社会について書かれた文章を読みます。また、聞き取りや発音練習を通して、発信するためのドイツ語・表現力を身につけていきます。 1 回目:オリエンテーション・ドイツ語で挨拶と自己紹介 2～1 4 回目:1～6 課 1 5 回目前期試験 1 6～2 9 回目:7～1 2 課 3 0 回目:後期試験
準備学習	テキストの本文・練習問題の予習をかならずした上で出席してください。
履修上の留意点	語学力は反復練習によって身につきます。毎回かならず出席して積極的に授業に参加してください。
成績評価の方法	前期・後期の試験と平常点で総合的に評価します。
教科書／テキスト	1) 橋本政義・Bernhard Neuberger 橋本淑恵著 2) 『グレードアップドイツ語——初級から中級へ [新訂版]』 3) 郁文堂 4) 2 4 0 0 円+税 5) ISBN978-4-261-01225-5 C1084

履修コード	268111
科目名	ドイツ語ⅡA
担当者名	<small>いづか きみお</small> 飯塚 公夫

講義の到達目標(わらい)	一年と同じようなことをやっても意味があるとも思えないし面白くないので、実際の文章を読みながら文法や表現に慣れることが目的です。そのためには自分で辞書を引いて、声に出して読んで、自分で考えて訳して内容を理解できるようになってもらいたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	春学期 初回：オリエンテーション（出席者にテキストを読んでもらい、こちらが訳し時々文法事項を尋ねて、理解度を確認して、これからのやり方を判断します。） 第2回～14回 教材を読んでいきます。まずこちらが読んで、問題点を指摘したのち、テープを聴き、出席者に読んで訳をつけてもらい、最後にこちらがまとめるという形になります。折に触れて文法事項をまとめ問題を出して確認することもあります。（あらかじめ当てておくことはしません。） 最終回：春学期末筆記試験 秋学期 第16回～29回 教材を読んでいきます。前期と同じ形で行います。 第30回：秋学期末筆記試験
準備学習 履修上の留意点	当たり前のことですが、テキストを読んで、単語を調べて、訳を考えておくこと。 辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。予習していなくても当たればその場で辞書を引いてやってもらいます。はじめから辞書を引く気のない人は成績評価の対象になりませんから、出ても時間の無駄になるだけです。受講しない方がいいと思います。
成績評価の方法	学期末の筆記試験の成績と発表点。割合は、筆記試験の平均点によって変動します。筆記試験の点が高ければ、こちらの割合が多くなり、悪ければ、発表点の割合が多くなります。
教科書／テキスト	Rolf Kralovitz著「ブーヘンヴァルト10090」（同学社）1500円。4月に学内で行われる教科書販売の期間に購入してください。
参考書 関連リンク	なし。 http://www.buchenwald.de

外国語

履修コード	351801
科目名	ドイツ語ⅡA
担当者名	<small>しみず おさむ</small> 清水 修

講義の到達目標(わらい)	ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。
講義の内容／ 授業スケジュール	最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。テキストには日本のマンガのドイツ語訳やグリム童話、料理のレシピなどを使用する予定です。
履修上の留意点	ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。
成績評価の方法	主に平常点で評価します。
教科書／テキスト	プリントを用意します。
参考書	授業中に指示します。

履修コード	268301
科目名	ドイツ語ⅡA
担当者名	野島 利彰 <small>のしま としあき</small>

講義の到達目標(ねらい) リライトしたグリム童話を使い、ドイツ語の読み方を訓練します。
 講義の内容／ テキストには詳しい注が付いていますが、文法的に難しい箇所については事前に解説します。辞書は
 授業スケジュール 電子辞書でなく、普通の紙の辞書が望ましいです。授業の中で辞書の引き方を指導します。毎回訳
 を提出してもらいます。24回以降は毎回新しいプリントを渡し、それをその場で辞書を使って訳し、
 提出してもらいます。

- 1- 4回 プレーメンの音楽隊
- 5- 9回 盗賊の花婿
- 10-16回 ハンスはりねずみ
- 17-23回 つぐみ髭の王様
- 24-30回 プリント訳読

履修上の留意点 語学は予習が大切です。予習をして分からないことを授業で解決し、もし解決できなければ質問する、といった積み重ねが必要です。必ず予習をして授業に出て下さい。また1年次で使用した文法の教科書を持参してください。

成績評価の方法 毎回、提出してもらった訳の成績(50%)と七月と一月の試験の成績(50%)の合計が成績評価となります。
 教科書／テキスト S. ヴント・本橋右京著『グリム童話で学ぶドイツ語 part II』郁文堂、2600円+税
 参考書 必要があれば教場で説明します。
 その他 外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

外国語

履修コード	268101・268311
科目名	ドイツ語ⅡA
担当者名	松岡 晋 <small>まつおか すすむ</small>

講義の到達目標(ねらい) 一年次に学んだ文法知識を基礎にして、平易なドイツ語の文章を読みます。教科書の各課には文法事項のまとめも記されていますので、適宜、文法の説明・復習も行います。教科書の読章の部分は内容が徐々にレベル・アップしてゆきます。

講義の内容／ (1)第1課Rätsel: Was ist das?/Grüß Gott! (2)第2課Europa ist ein Kontinent./Das Planetarium.
 授業スケジュール (3~4)第3課EU/Im Restaurant (5~6)第4課"Du" oder "Sie"?/Ich möchte auch nach Liechtenstein fahren. (7)文法の復習: 分離動詞・zu不定詞・命令文 (8~9)第5課Einige Tips./Karl holt mich mit dem Auto ab. (10~11)文法の復習: 動詞の三基本形・過去時制 (12~13)第6課Das Alphabet./Es war einmal... (14)文法の復習: 完了時制 (15~16)第7課Europas Grenzen./Ich habe heute noch nicht gefrühstückt. (17)文法の説明: 形容詞について (18~19)第8課"Je mehr, desto besser" oder "Je weniger, desto lieber"? (20)文法の復習: 再帰動詞・非人称のes (21)第9課Im Café (22)文法の説明: 関係代名詞 (23~24)第10課 Multikulturelle Gesellschaft. (25~26)第11課 Deutschsprachige Medien und Internet. (27)文法の説明: 受動態 (28)第12課Der Klammeraffe. (29)文法の説明: 接続法 (30)第13課Japan und Europa.

準備学習 各課の読章にあらかじめ目を通して、疑問点を把握しておいてください。それらを授業中に質問してください。回答いたします。

履修上の留意点 定期的な出席と課題の忠実な実行が望まれます。なお授業に際しては、つねに独和辞典を携帯してください。

成績評価の方法 一年間に数度行う筆記試験に、平常点(出席の度合い、授業中の課題の実行の具合など)を加味して成績評価いたします。筆記試験と平常点の割合は7対3と考えてください。

教科書／テキスト 諏訪功ほか著『文法読本---ヨーロッパとは何か 新訂版』、郁文堂、¥2,000
 ISBN 4-261-01189-1

参考書 特になし。

履修コード	298001・298002・298003		
科目名	ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	武田 利勝		

講義の到達目標(ねらい)	ドイツ語1A/1Bで学習した文法事項を復習しながら、ドイツ語長文読解の基礎を身につけます。この読解授業の目標は、「単語の意味・必要な文法事項をそのつど必要に応じて適確に把握するための問題解決力・調査力を養うこと」だと思ってください。
講義の内容／授業スケジュール	前期 1) オリエンテーション、発音の復習 2～4) 動詞の現在人称変化・名詞の格変化の復習 5～7) 前置詞、副文、各種代名詞の復習 8～9) 冠詞類・分離動詞・助動詞の復習 10～14) 過去時制・受動態、形容詞の用法、関係代名詞の復習 15) 前期期末試験
履修上の留意点	後期 1) 前期学習事項のまとめ 2～14) 配布プリントを用いた長文読解の練習 15) 後期期末試験 ほぼ毎回の授業開始時に、前回学習事項を範囲とした小テストを実施します。したがって復習は必須です。なお、遅刻者の受験は認めないので、注意してください。また、読解はグループ作業を中心に進めます。チームワーク力を涵養する良い機会になるでしょう。積極的な授業参加が望まれます。毎回、独和辞典は必携のこと。
成績評価の方法	小テストのスコアを平常点とし、前期・後期期末試験の点数とあわせて評価する。配分は平常点・期末試験それぞれ5割とする。平常点には出席点は含まれないので注意すること。
教科書／テキスト	『Meine Deutschstunde. Lesen mit Strategie. ドイツ語の時間―読解編』朝日出版社、定価2300円。ISBN978-4-255-25341-1
参 考 書	指定教科書が終了次第、配布プリントで読解を進める。 独和辞典は必ず持参すること。

外国語

履修コード	298201・298202・298203		
科目名	ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	南 はるつ		

講義の到達目標(ねらい)	これまで習得してきた文法的な知識を生かし、文法事項の復習をするとともに、簡単な文章を読みながら、総合的なドイツ語の力を身につけます。
講義の内容／授業スケジュール	前期 第 1 回：オリエンテーション 第 2～3 回：Katze und Maus in Gesellschaft 1 第 4～5 回：Katze und Maus in Gesellschaft 2 第 6～7 回：Katze und Maus in Gesellschaft 3 第 8～9 回：Katze und Maus in Gesellschaft 4 第 10～11 回：Katze und Maus in Gesellschaft 5 第 12～13 回：Der gestiefelte Kater 1 第 14～15 回：Der gestiefelte Kater 2 後期 第 1～2 回：中間試験 第 2～3 回：Der gestiefelte Kater 3 第 4～5 回：Der gestiefelte Kater 4 第 6～7 回：Der gestiefelte Kater 5 第 8～9 回：Der gestiefelte Kater 6 第 10～11 回：Der gestiefelte Kater 7 第 12～13 回：Hänsel und Gretel 第 14 回：総復習 第 15 回：試験
履修上の留意点	きちんと予習をして授業に出席してください。
成績評価の方法	夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
教科書／テキスト	本橋右京、シュテファン・ヴント著『グリム童話で学ぶドイツ語』 ISBN:978-4-261-01184-5 郁文堂 2100円
参 考 書	随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	298101・298102・298103
科目名	ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	もとはし うきよう 本橋 右京

講義の到達目標(ねらい) 平易な読章を読みながら、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得して行きます。基本的な表現は使えるようになります！

講義の内容／授業スケジュール 初級文法に準拠して、各項目を練習問題で確認しながら学んでいきます。テキストも、それぞれに相応したレベルで構成されたいです。練習問題と読章を通して、ドイツ語の基本的な単語と仕組みを反復的に身につけることを目指します。

全体の構成を記しておきますが、各章2ないし3週かけて取り組む予定です。

1) Deutschland 2) Fußball 3) Die EU 4) Mahlzeit 5) Gute Besserung 6) Marina (Ingeborg Bachmann) 7) Das doppelte Lottchen (Erich Kästner 8) Momo (Michael Ende) 9) Die Sommerzeit 10) Die Verwandlung (Franz Kafka) 11) Momo (M. Ende) 12) Die unendliche Geschichte (M. Ende)

履修上の留意点

テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法
教科書／テキスト

前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
清野・須藤・會田『ドイツ語の時間-読解編-』(朝日出版社) 2011年刊 2,300円+税
ISBN978-4-255-25341-1

外国語

履修コード	355701・355702
科目名	ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	やぶした こういち 藪下 紘一

講義の到達目標(ねらい) 中級程度のドイツ語を辞書を使って読めるようになる事

講義の内容／授業スケジュール

第1、2回誕生、第3、4回学校、第5、6回社会の青少年、第7、8回青少年と余暇、第9、10回祝日と休暇、第11、12回卒業と職業教育、第13、14回職業、第15、16回ドイツの大学、第17、18回若い人と住まい、第19、20回結婚、第21、22回家族、第23、24回家政、第25、26回職場、第27、28回社会生活の諸相、第29、30回人生のたそがれ

準備学習

家で必ず予習しておいて下さい。どしどしあてて、読んで訳して貰います。お客さんにならないように。

履修上の留意点

1回に2ページのつもりで読んでいきましょう。

成績評価の方法
教科書／テキスト

平常点=50点、前期と後期の試験各25点で、合計100点満点となります。
Deutschland im Laufe des Lebens(ドイツ人の一生)、A. Raab, T. Ishii, 朝日出版、ISBN4-255-25233-5 c1084,1900円と税。

履修コード	268401
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	^{いいつか きみお} 飯塚 公夫

講義の到達目標(ねらい) 一年と同じようなことをまた繰り返してやっても意味があるとも思えないし、面白くないので、実際の表現に接しながら、自ら辞書を引いて文法や言い回しや意味を理解し、それに慣れるようになってもらうことをめざします。

講義の内容／
授業スケジュール

春学期
初回：オリエンテーション（まず映画の予告編と頭の部分を見てもらいます。それから出席者にテキストを読んでもらい、こちらが訳し時々文法事項を尋ねて、理解度を確認して、これからのやり方を判断します。）
第2回～14回 教材を読んでいます。まず映画を見てもらい、当該シーンのセリフを読んで訳していきます。手順はおおよそ以下の通りです。①映画を見る②教師が読んで、問題点を指摘する③映画を再び見る④出席者に読んで訳をつけてもらう⑤教師がまとめる。また、折に触れて文法事項をまとめて、その問題を出して確認することもあります。（あらかじめ当てておくことはしません。）
最終回：春学期末筆記試験

準備学習
履修上の留意点

秋学期
第16回～29回 教材を読んでいます。前期と同じ手順で進めていきます。
最終回：秋学期末筆記試験
毎回、次のシーンを見せますので、そのシーンを頭に入れておいて、予習しておくといいいでしょう。辞書を毎回持ってくる（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。予習していなくても当たればその場で辞書を引いてやってもらいます。はじめから辞書を引く気のない人は、成績評価の対象になりませんから、出ても時間の無駄になるだけです。受講しない方がいいと思います。

成績評価の方法

学期末の筆記試験の成績と発表点。割合は、筆記試験の平均点によって変動します。筆記試験の点が高ければ、こちらの割合が多くなり、悪ければ、発表点の割合が多くなります。

教科書／テキスト
関連リンク

ドイツ映画「Am Ende kommen Touristen」(2007)より、セリフだけ抜き出したプリント教材。
<http://www.x-verleih.de/de/filmdatenbank/null/AM-ENDE-KOMMEN-TOURISTEN>,
<http://en.auschwitz.org.pl>, <http://www.mdsm.pl/index.php?lang=de>

外国語

履修コード	351901
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	^{しのはら としあき} 篠原 敏昭

講義の到達目標(ねらい) 1年次で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、聞き取り、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。

講義の内容／
授業スケジュール

下記のテキストを用い、DVD教材を使って授業をおこないますが、ドイツ人の行動様式や考え方も学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験(4級)の受験も勧めています。希望があれば後期には検定試験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

前期
第1～2回 1年次学習内容の復習確認 第3～6回 西暦の読み方、序数、動詞の過去形
第7～10回 形容詞の格変化、形容詞の比較変化 第11～14回 再帰動詞、zu不定句
第15回 前期末試験
後期
第16～19回 受動文、werdenの用法 第20～23回 関係代名詞、接続法Ⅱ式
第24～27回 接続法Ⅱ式の用法 意見の述べ方 第28～29回 復習と応用
第30回 後期末試験

履修上の留意点
成績評価の方法

課題を必ずこなしてくる、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくる。毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

『CD付き モデル2』(三修社)2,700円
授業の中で指示します。
DVDやCDを活用する授業をおこなう予定です。

履修コード	268511
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	まつおか すずむ 松岡 普

講義の到達目標(ねらい) 一年次に学んだドイツ語の基礎知識を活用して、平易でアクチュアルなドイツ語(ニュース記事など)を読んでみることにします。適宜、文法事項の復習も行います。

講義の内容／授業スケジュール 第1～3回: Kapitel 1(冬季五輪2010年) 第4～6回: Kapitel 2(サッカーワールドカップ2010年) 第7～9回: Kapitel 3(ノーベル文学賞) 第10～12回: Kapitel 4(ユーロヴィジョン歌謡大賞) 第13～15回: Kapitel 5(ギリシャの財政危機) 第16～18回: Kapitel 6(自動車企業) 第19～21回: Kapitel 7(大統領の辞任) 第22～24: Kapitel 8(アフガン派兵軍) 第25～27: Kapitel 9(児童虐待問題) 第28～30: Kapitel 10(テレビ番組)

履修上の留意点 定期的出席が前提条件です。また、独和辞典を毎回、必ず持参してください。

成績評価の方法 期末試験(7月)、学年末試験(1月)以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点(出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など)を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は7:3であると考えてください。

教科書／テキスト 石井寿子著『時事ドイツ語2011年版』朝日出版者、1900円 ISBN 978-4-255-25344-2

その他 必要に応じて文法事項や語句の説明のためのプリントを配布いたします。

履修コード	268501
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	やぶした こういち 数下 紘一

講義の到達目標(ねらい) 中級ドイツ語を辞書を引ながら訳せるようにする事。

講義の内容／授業スケジュール 第1回～第3回 一目惚れ、4. -6.愛する事と愛される事、7. -9.私たちは誰を愛するのか、10. -12. 物語の中の愛、13. -15. 結婚証明書なしの愛、16. -18. 愛が死んだとき、19. -21. 同性愛、22. -24. インターネットでの愛、25. -27. 母性愛、28. -30. L. L e n y a とK. Weill作:あるカップル家で必ず辞書を引いてきてください。お客さんにならないように。

準備学習 毎時間指名して1文ずつ読み、訳してもらいます。毎回試験をしているようなものです。出席重視。

履修上の留意点 1回3ページぐらいのつもりでいてください。

成績評価の方法 平常点50点、前、後期各25点満点の試験を実施。

教科書／テキスト U. Richter, S. 小川著: Immer wieder die Liebe(愛について考える)、同学社、ISBN4-8102-0312-3、1600円+税。

履修コード	268701
科目名	ドイツ語ⅡD ドイツ語ⅡD [再クラス]
担当者名	やぶした こういち 数下 紘一

講義の到達目標(ねらい) 1年次に学習したドイツ語の知識を丁寧に総復習しながら、さらにワンランク上の、読む・聞く・話す・書く能力を深めていくことを目標としています。テキストをつうじて、ドイツの日常生活や文化にも触れていきたいと思っています。これくらいのテキストは自分でドシドシ訳していけるようにしたい。

講義の内容／授業スケジュール 第1. 2.3回、トイレでノックするな。4. 5.6回ドイツ人はケチ。7. 8.9回ドイツ人のジョーク。10.11回、割り勘。12.13回、ドイツ人とサンドイッチ。14.15回、ドイツ人の時間感覚。16.17回保守と革新。18.19回客はどこへ座らせる? 20.21.22回、遅れてきたら、どのように着席するのか? 23. 24.25回使いやすい表現と使いにくい表現。26. 27.28回働いてばかりはいられない。29.30回、終章プロポーズの言葉も公表

準備学習 予習が絶対に欠かせません。ドシドシ当てます。

履修上の留意点 聞き取り、書き、声に出して言うことを、一人ひとりが積極的に取り組む授業にしたいと思っています。かならず予習をしたうえで、辞書を持って授業に臨んでください。出席重視。

成績評価の方法 平常点50点、前期、後期に各25点満点の試験を実施する。その点数によく学んだか、サボったか、が表れます。

教科書／テキスト 大谷弘道・大谷ウルスラ: 新・ドイツ語詠み方教室、三修社、Isbn978-4-384-13088-IC1084. ¥2100 +税。

履修コード	268801
科目名	ドイツ語ⅢA
担当者名	野島 利彰 <small>のしま としあき</small>

講義の到達目標(ねらい) CD付きの教科書を使います。CDを聞き、繰り返し音読し、ドイツ語の音に慣れ、自然にドイツ語の文章が口から出るようにします。

講義の内容／授業スケジュール まず各課のテキストを音読させます。次に各課の練習問題に沿って文法事項を復習します。その上でテキストに戻り内容をざっと説明してもらい、テキストおよび練習問題の文を使った口頭練習をします。

- 1-3回 第1課・第2課 (1) 発音の基本、動詞の人称変化
- 4-6回 第2課(2)・第3課 名詞の格変化
- 7-9回 第4課・第5課(1) 前置詞、動詞の位置
- 10-12回 第5課(2)・第6課 再帰動詞、冠詞類
- 13-15回 第7課 zu不定詞、複合動詞
- 16-18回 第8課 話法の助動詞、未来形、
- 19-21回 第9課 動詞の三基本形、過去形、完了形、受動態
- 22-24回 第10課 形容詞の格変化・形容詞の比較・関係代名詞
- 25-27回 第11課 命令形・分詞
- 28-30回 第12課 接続法

準備学習 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習、ことに音読練習をしておいて下さい。教科書に添付されているCDを何度も聞いてください。

履修上の留意点 小テスト(20%)、七月と一月の試験の成績(50%)、および授業中、質問にどれだけ答えたか(30%)が成績評価の方法

教科書／テキスト 清野・須藤・合田『ドイツ語の時間－読解編』朝日出版 2300円＋税

外国語

履修コード	288001
科目名	ドイツ語コミュニケーションⅠ
担当者名	小林 げありん <small>こばやし げありん</small>

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

講義の内容／授業スケジュール (1～4) LektionI こんにちは、私の名前は (5～8) LektionII 家族と友だち (9～12) LektionIII 食物と飲食 (13～16) LektionIV 私の家 (17～20) LektionV 私の一日 (21～24) LektionVI くつろぎの時 (25～29) LektionVII 生涯学習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口頭対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書／テキスト Kursbuch + Arbeitsbuch "Schritte international I" (Hueber)

その他の他 ビデオ、カセットを使用する。

履修コード	288801
科目名	ドイツ語コミュニケーションⅡ
担当者名	小林 げありん <small>こばやし げありん</small>

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語を1年次(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げること目標とする。

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

講義の内容／授業スケジュール (1～3) お互いに知り合う (4～6) 電話での会話 (7～9) コーヒーショップで (10～12) ヨーロッパ旅行 (13～15) 買い物 (16～19) 自由時間 (20～23) 家族と親戚 (24～28) 衣服・百貨店 (29) 復習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口頭対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書／テキスト 当面はプリントを配布する。開講時に指示する。

その他の他 ビデオを使用する。

履修コード	286901
科目名	ドイツ語スキルアップ
担当者名	まつおか すすむ 松岡 晋

講義の到達目標(ねらい) これまで1～2年間学んできた初等ドイツ語の知識を基礎にして、ドイツ語で「読む」・「書く」・「話す」ための訓練をスタートしようというのがこの授業の目標です。

講義の内容／授業スケジュール 第1～3回: Ankunft 第4～6回: Bei der Zimmervermittlung 第7～8回: Im Hotel 第9～11回: Im Restaurant 第12～15回: Einkaufen 第16～18回: Wohnungssuche 第19～21回: Ausflug 第22～24回: Eine Einladung 第25～27回: Beim Arzt 第28～30回: Ein Brief

準備学習 予習よりも、復習に力を注いでください。

履修上の留意点 少人数の授業となることが予測されます。したがって受講者はほぼ毎回、和訳、例文に基づく作文、口頭練習等を担当することになります。予習はさほど必要ありませんが、学んだ事柄の復習および授業中での課題への意欲的取り組みが求められます。

成績評価の方法 筆記試験は行わず、平常点(出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など)で成績評価をいたします。

教科書／テキスト 大谷弘道著『新 ドイツ語話しかた教室---表現練習読本---』三修社、2500円
ISBN 978-4-384-13091-1

履修コード	269901
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	おのの ひでし 大野 英士

講義の到達目標(ねらい) 一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。授業終了時に仏検5級～4級程度の文法・語彙力の養成を目指します。

講義の内容／授業スケジュール 1)～3) 受講上の諸注意/Alphabetと発音の基礎 4)～14) 文法の基礎(名詞の性と数/冠詞/形容詞/動詞の現在形/近接未来・近接過去/命令形/疑問代名詞など) 15) 中間試験 16)～29) 文法の発展(比較級/目的語人称代名詞/動詞の過去形・未来形/関係代名詞など) 30) 復習と今後のフランス語学習について(中級に向けて)
※毎回、発音練習・教科書巻末の文法練習問題(提出してもらい成績の一部として勘案します)に取り組みます。

準備学習 教科書を読み、わからない単語を辞書で調べ、各課の練習問題を解いておくこと。

履修上の留意点 基本的に出席を重視しますがそれだけでは十分ではありません。欠かさず予習して積極的に参加して下さい。毎回与えられる課題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法 前期末授業内試験(40%)と学年末試験(40%)、小テスト(20%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書／テキスト 斉藤昌三著『新版 ル・フランセ』(白水社)1750円+税

参考書 授業開始時にプリントをくばって指示します。特に辞書の使用が絶対的に必要です。電子辞書ではなく紙の辞書(ブチ・ロワイヤル仏和辞典、クラウン仏和辞典、ディコ仏和辞典等)の使用を強く推奨します。

その他 最近、スマート・フォンを含めて、携帯搭載のフランス語辞書を使用する学生を見かけるが、授業における使用は禁止します。

履修コード	269601
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	おのの まさみ 小黒 昌文

講義の到達目標(ねらい) 一年を通してフランス語の初歩を勉強します。基礎文法と発音の習得が第一の目標ですが、同時にフランス語圏の文化・社会への関心をひろげるきっかけにしてください。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス: 履修上の注意事項 (2)～(15) 初級文法への誘い [導入編]: 名詞の性・数/冠詞/動詞の直説法現在/否定文/所有形容詞 etc. (16)～(29) 初級文法への誘い [発展編]: 比較級・最上級/疑問代名詞/複合過去/目的語人称代名詞 etc. (30) 一年間のまとめ

履修上の留意点 授業での積極的な発言を期待します。必ず仏和辞典持参で出席すること(辞典は初回に紹介します)。

成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。

教科書／テキスト 大木充 他『グラメル アクティーフ ---文法で複言語・複文化---』朝日出版社 2500円+税
ISBN978-4-255-35210-7

参考書 適宜紹介します。

履修コード	269201・269611
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	桑田 禮彰 <small>くわた のりあき</small>

講義の到達目標(ねらい)	フランス語初級。文法中心総合基礎クラス。文法を中心としながら、発音・解釈・会話・練習問題・文化的説明など総合的に指導・学習が行なわれます。
講義の内容／ 授業スケジュール	まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。 (1)受講上の諸注意/alphabet (2)～(4)発音の基本 (5)～(15)文法の基礎(名詞・冠詞・形容詞／主語人称代名詞／動詞の直説法現在など) (16)～(29)文法の発展(各種の代名詞／各種の不規則動詞／動詞の過去・未来時制／数など) (30)復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)
履修上の留意点	*毎回、発音練習・練習問題を行ないます。 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	春木仁孝著『DVDフランス文法』(朝日出版社)本体2,500円+税 ISBN978-4-255-35212-1 そのつと授業で指示します。

外国語

履修コード	269101
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	佐藤 久美子 <small>さとう くみこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、1年間で文法の基礎を習得する。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：フランス語の概略、発音の基本、アルファベット；第2～4回：名詞の性、名詞の複数形、不定冠詞、定冠詞、部分冠詞、主語の人称代名詞、動詞être, avoir、練習問題；第5～7回：第1群規則動詞、否定形、疑問文、前置詞+定冠詞、形容詞、第2群規則動詞、練習問題；第8～10回：補遺1、動詞aller, venir、複合過去；第11～13回：指示形容詞、所有形容詞、受動態、練習問題；第14～16回：動詞partir, attendre, faire、命令法、比較級・最上級、指示代名詞1、疑問形容詞、練習問題；第17～19回：動詞pouvoir, vouloir, dire、疑問代名詞1、半過去、関係代名詞1、練習問題；第20～22回：動詞devoir, voir, prendre、単純未来、疑問副詞、人称代名詞、練習問題；第23～25回：代名動詞、非人称動詞、練習問題；第26～28回：中性代名詞、疑問代名詞2、指示代名詞2、練習問題；第29～30回：条件法、ジェロンディフ、練習問題
準備学習 履修上の留意点	単語を調べておく下準備が不可欠。付属CDもあらかじめ聞いておくこと。 出席と授業での積極性を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価に重大な影響があると思ってもらいたい。
成績評価の方法	授業への参加度を含む平常点40%、前・後期の試験の結果30%、課題の提出状況30%を日安として総合的に判断する。
教科書／テキスト	山崎、入江、照木、弓、佐藤著『新・フランス語の広場』(第三書房) ISBN978-4-8086-2040-0 2,000円+税
参 考 書 そ の 他	仏和辞典(初回の授業で紹介)を授業時に必ず持参すること。 教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に活用すること。

履修コード	269501
科目名	フランス語 I A
担当者名	佐藤 久美子

講義の到達目標(ねらい) フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：フランス語の概略、発音の基本、アルファベット；第2～4回：名詞の性と数、不定冠詞、定冠詞、部分冠詞；第5～7回：所有形容詞、指示形容詞、主語人称代名詞、動詞être；第8～10回：冠詞の縮約、数詞、形容詞、複数不定冠詞の変形、代名詞の強勢形；第11～13回：動詞avoir、否定文、非人称構文、第一群規則動詞、比較級・最上級；第14～16回：疑問文、疑問詞、命令文；第17～19回：動詞aller, venir、第二群規則動詞、近接未来・近接過去、直接目的補語、間接目的補語；第20～22回：動詞devoir, pouvoir, vouloir、代名動詞、現在分詞とジェロンディフ；第23～25回：複合過去形、半過去形；第26～28回：関係代名詞、単純未来形；第29～30回：条件法、受動態

準備学習 単語を調べておく下準備が不可欠。付属CDもあらかじめ聞いておくこと。

履修上の留意点 出席と授業での積極性を重視する。年間授業回数^の三分の一以上欠席した場合は評価に重大な影響があると思ってもらいたい。

成績評価の方法 授業への参加度を含む平常点40%、前・後期の試験の結果30%、課題の提出状況30%を目安として総合的に判断する。

教科書／テキスト 小畑、寺家村、久保著『超快速フランス語』（駿河台出版社） ISBN978-4-411-00770-4 2,200円＋税

参考書 仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。

その他 教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に活用すること。

履修コード	352001
科目名	フランス語 I A
担当者名	高橋 明美

講義の到達目標(ねらい) 初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

講義の内容／授業スケジュール 前期（第1回～第15回）：（1）発音と読み方のルール（2）名詞の性・数（3）基本動詞（4）形容詞（5）否定文・疑問文（6）近接未来・近接過去（7）疑問詞
後期（第16回～第30回）：（1）比較級・最上級（2）さまざまな不規則動詞（3）命令法（4）非人称構文（5）複合過去（6）目的語人称代名詞（7）関係代名詞（8）代名動詞

履修上の留意点 積極的に講義に参加すること。極力欠席を避けること。宿題と復習を怠らないこと。

成績評価の方法 期末に行う試験のほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書／テキスト 『ビエールとユゴー』小笠原洋子著 白水社 2500円

履修コード	269301
科目名	フランス語 I A
担当者名	遠山 博雄

講義の到達目標(ねらい) 文法の初歩と発音の基礎を学ぶこと。

講義の内容／授業スケジュール （1～7）授業方針の説明、音の単位の紹介、発音基礎、名詞、冠詞、最基本不規則動詞と規則動詞の現在形、形容詞の使い方、否定・疑問表現；（8～15）所有・指示形容詞、不規則動詞の現在形、疑問詞、形容詞・副詞の比較級・最上級；（16～24）命令形、動詞の過去形、動詞の目的語の代名詞、関係代名詞；（25～30）代名動詞、動詞の未来形、中性代名詞、動詞の過去形のつづき、受動態、現在分詞。//はじめに詳しい説明をし、後で練習問題をやります。プリントによる補足もありません。

準備学習 宿題をやってくること。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。声を出すこと。

成績評価の方法 3回の筆記試験（40点＋20点＋40点）をします。さらに、最終的に平常点を考慮します。

教科書／テキスト 小野ゆり子・村松エマニュエル：『マ・グラメール（改訂版）』、白水社、2300円＋税、ISBN978-4-560-06103-9

その他 最初の授業で辞書のガイダンスをします。

履修コード	269401
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	はまき せつお 浜崎 設夫

講義の到達目標(ねらい)	一年を通してフランス語の初歩を勉強します。基礎文法の習得が第一の目標ですが、同時にフランス語圏の文化事情・社会事情への関心をひらくきっかけになればと考えています。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)～(15) 初級文法への誘い [導入編]：アルファベ・挨拶・自己紹介／動詞の活用／疑問文／名詞の性・数／形容詞 etc. (16)～(29) 初級文法への誘い [発展編]：比較級・最上級／動詞の活用／命令法／複合過去／直接目的語・間接目的語代名詞 etc. (30) 一年間のまとめ
履修上の留意点	授業での積極的な参加・発言を期待しています。仏和辞典はかならず持参すること(初回の授業で紹介しします)。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・予習・発表内容・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。
教科書／テキスト	山下 浩、内藤陽哉著『カイエ・ドゥ・フランセ』駿河台出版社、1400円+税 ISBN 4-411-00806-8 c1085
参考書	適宜紹介。
その他の	NHK教育テレビのフランス語の番組を視聴することをお勧めします。ラジオ放送もあります。

外国語

履修コード	299301・299302・299303
科目名	フランス語ⅠA [再クラス] フランス語ⅠB [再クラス] フランス語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	おおの ひでし 大野 英士

講義の到達目標(ねらい)	フランス語の基礎を学習しなおし、実用に適した知識を身につけます。一年の終わりにまでに仏検5級に合格できる実力の涵養を目指します。
講義の内容／授業スケジュール	1)～3) 受講上の諸注意/Alphabetと発音の基礎 4)～14) 文法の基礎 0課～7課まで(名詞/冠詞/形容詞/前置詞と定冠詞の縮約/人称代名詞強勢形/動詞現在形/近接未来・近接過去など)と会話練習および読解 15) 中間試験 16)～29) 文法の発展 8課～14課まで(補語人称代名詞/命令法/比較級/中性代名詞/動詞過去形・未来形など)と会話練習および読解の発展 30) 復習と今後のフランス語学習について(中級に向けて)
準備学習	教科書を読んで、わからない単語を辞書で調べ、練習問題を解いておくこと。これを怠って、授業がわからないとは言わせません。
履修上の留意点	積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。辞書は必ず持参して下さい。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。なお、授業内あるいは宿題の形で適宜小テストを実施し、その点数を総合成績に加味します。
教科書／テキスト	添田里子・後藤美和子著『プティ・フランセ』(早美出版社) 本体2400円+税 この他に補充の練習問題をプリントして配布します。
参考書	授業開始時にプリントで指示します。辞書は絶対に必要です。電子辞書よりも紙の辞書(プティ・ロワイヤル仏和辞典、クラウン仏和辞典、ディコ仏和辞典等)を強く推奨します。
その他の	最近、スマート・フォンを含め、携帯搭載の仏和辞典を使用する学生を見かけますが、授業中の使用は禁止します。

履修コード	299001・299002・299003
科目名	フランス語ⅠA [再クラス] フランス語ⅠB [再クラス] フランス語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	おのの まさみ 小黒 昌文

講義の到達目標(ねらい)	一年を通してフランス語の初歩を学びます。基礎文法の習得が第一の目標ですが、フランス語圏の文化・社会への関心をひらくきっかけにもできればと考えています。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)～(15) 初級文法への誘い [導入編]：名詞の性・数／冠詞／主語と動詞／形容詞／否定文・疑問文 etc. (16)～(29) 初級文法への誘い [発展編]：疑問形容詞・所有形容詞／命令法／比較級・最上級／人称代名詞／複合過去／代名動詞／関係代名詞 etc. (30) 一年間のまとめ
履修上の留意点	授業への出席はもちろん、積極的な発言を期待します。仏和辞典はかならず持参すること(初回の授業で紹介しします)。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。
教科書／テキスト	石上亜紀子 他『アトリエ・フランセ 見聞きフランス語文法』朝日出版社 2100円+税 ISBN 978-4-255-35184-1
参考書	適宜紹介します。

履修コード	299011・299012・299013
科目名	フランス語 I A〔再クラス〕 フランス語 I B〔再クラス〕 フランス語 I C (会話)〔再クラス〕
担当者名	谷川 ^{たにかわ} ^{かおる} かおる

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

初歩的な会話を覚えながら、フランス語初級文法をゆっくりと復習する。

- 第1回 フランス語の歴史。発音の第一歩
- 第2回 発音の規則
- 第3回 初めての挨拶
- 第4回 カフェでの注文の仕方
- 第5-6回 国籍・職業の言い方、聞き方
- 第7-8回 家族、好きなものの言い方
- 第9-10回 年齢の言い方、紹介の仕方
- 第11回 着ている服は?
- 第12-13回 誉める表現
- 第14回 どこに行く?
- 第15回 前期試験
- 第16-17回 どうやって行く?
- 第18-19回 道の聞き方
- 第20-21回 部分冠詞の使い方
- 第22-23回 時間の表現
- 第24-25回 過去の表現(1)
- 第26-27回 過去の表現(2)
- 第28-29回 過去の表現(3)
- 第30回 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法

積極的に参加・発言すること。

前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本にし、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書/テキスト
参 考 書

伊勢晃、谷口千賀子著、『サヴァ?』、早美出版社、ISBN4-86042-052-9 C3085 2400円
授業中に指示する。

履修コード	355801・355802
科目名	フランス語 I A〔再クラス〕 フランス語 I B〔再クラス〕
担当者名	長谷川 ^{はせがわ} ^{みつあき} 光明

講義の到達目標(ねらい)

初級文法の復習を中心としつつ、フランスを初めて旅行するのに最低限必要な会話表現を身につけることを目標とします。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) 受講上の諸注意/アルファベ (2) つづり字の読み方 (3-30) 名詞の性と数/冠詞・形容詞/指示形容詞・所有形容詞・疑問形容詞/第一群規則動詞の活用/代名動詞/不規則動詞/複合過去/疑問文/否定文/命令法/目的語人称代名詞/強勢形/比較級/最上級
* 毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期末と後期末計二回行います。

準 備 学 習

「宿題」をきちんとやってくることはもちろんですが、毎回、予定されている各課の項目にも目を通し、不明な単語については辞書を引き調べて授業に出席することで、より効果的な学習となります。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本にし、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書/テキスト

内村瑠美子他『フランス語でサバイバル!』(白水社) 2,000円 ISBN978-4-560-06090-2

履修コード	298801・298802・298803
科目名	フランス語 I A [再クラス] フランス語 I B [再クラス] フランス語 I C (会話) [再クラス]
担当者名	浜崎 設夫

講義の到達目標(ねらい)	一年を通してフランス語の初歩を勉強します。基礎文法の習得が第一の目標ですが、同時にフランス語圏の文化事情・社会事情への関心をひらくきっかけになればと考えています。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)～(15) 初級文法への誘い [導入編]：アルファベ・挨拶・自己紹介／動詞の活用／疑問文／名詞の性・数／形容詞 etc. (16)～(29) 初級文法への誘い [発展編]：比較級・最上級／動詞の活用／命令法／複合過去／直接目的語・間接目的語代名詞 etc. (30) 一年間のまとめ
履修上の留意点	授業での積極的な参加・発言を期待しています。私和辞典はかならず持参すること(初回の授業で紹介しします)。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・予習・発表内容・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。
教科書／テキスト	大田浩一、前田保他著『フランス語文法の《基礎》—新装版—』駿河台出版社、2500円+税 ISBN 978-4-411-00765-0 c1085
参考書	適宜紹介。
その他の	NHK教育テレビのフランス語の番組の視聴をお勧めします。ラジオ放送もあります。

外国語

履修コード	289711
科目名	フランス語 I A (選)
担当者名	伊藤 なお

講義の到達目標(ねらい)	フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。一年かけてフランス語文法の基礎を習得し、実際に運用できるようになるための基礎固めをします。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 受講上の諸注意／Alphabet (2)～(4) 発音の基礎・綴り字の読み方 (5)～(15) 文法の基礎(名詞の性・数／主語人称代名詞／冠詞、疑問文・否定文・命令文／形容詞／冠詞の縮約／動詞の現在時制／比較など) (16)～(29) 文法の発展(目的語人称代名詞／中性代名詞／代名動詞／関係代名詞／動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について
履修上の留意点	毎回出席し、与えられる課題を必ずして授業に臨んでください。辞書は毎回持参して下さい。
成績評価の方法	前期末授業内試験(40%)＋学年末試験(40%)＋小テスト(10%)＋夏休み課題(10%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書／テキスト	伊勢晃 谷口千賀子『ヴワラ!』(早美出版社 2100円+税) ISBN4-86042-025-x

履修コード	289701
科目名	フランス語 I A (選)
担当者名	桑田 禮彰

講義の到達目標(ねらい)	フランス語初級。文法中心総合基礎クラス。文法を中心としながら、発音・解釈・会話・練習問題・文化的説明など総合的に指導・学習が行なわれます。
講義の内容／授業スケジュール	まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。 (1) 受講上の諸注意／alphabet (2)～(4) 発音の基本 (5)～(15) 文法の基礎(名詞・冠詞・形容詞／主語人称代名詞／動詞の直説法現在など) (16)～(29) 文法の発展(各種の代名詞／各種の不規則動詞／動詞の過去・未来時制／数など) (30) 復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)
履修上の留意点	* 毎回、発音練習・練習問題を行ないます。 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書／テキスト	春木仁孝著『DVDフランス文法』(朝日出版社) 本体2,500円+税 ISBN978-4-255-35212-1
参考書	そのつど授業で指示します。

履修コード	270301・270901
科目名	フランス語 I B
担当者名	あづま たつゆきの 東 辰之介

講義の到達目標(ねらい) フランス語初級文法の習得と、基礎的な会話力の養成を目的とします。発音も重視します。

講義の内容／授業スケジュール (1)受講上の諸注意 (2)～(15)基本的表現(挨拶／自己紹介／好きなものを言う／持っているものを言う／場所について説明する、など) (16)～(29)発展的表現(過去のことを語る／誰かを誘う、など) (30)今後のフランス語学習について

準備学習 授業時に説明します。

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。

成績評価の方法 小テスト (30%)、前期末授業内試験 (35%)、学年末試験 (35%) を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。

教科書／テキスト 『スピラルー日本人初心者のためのフランス語教材』(ピアソン・エデュケーション) 2,450円＋税 ISBN978-4-89471-923-1

履修コード	352201
科目名	フランス語 I B
担当者名	きのした ゆうすけ 木下 雄介

講義の到達目標(ねらい) フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容／授業スケジュール 教科書の章立てにそって授業を行います。
第1回 一般的な説明、辞書の紹介、発音。
第2回～第30回 2回で1課のペースで授業を進める。

準備学習 予習のさいには、きちんと辞書をひき、単語の意味ばかりでなく、品詞名や構文といった文法的な事項もノートに記入してくること。

履修上の留意点 初めて学ぶ外国語ですから、もちろん予習復習が必要です。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりなので、きちんと勉強していれば、修得は難しくありません。学生諸君の努力に期待します。

成績評価の方法 前期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書／テキスト クリスチャン・ボームルー、高橋信良『サン・ファッソン』(朝日出版社、2625円、ISBN978-4-255-35180-3)

参 考 書 仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は初心者には向かないので使用しないこと。
・『ジュネス仏和辞典』(大修館)
・『クラウン仏和辞典』(三省堂)
・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)

履修コード	270101・270501
科目名	フランス語 I B
担当者名	くわた のりあき 桑田 禮彰

講義の到達目標(ねらい) フランス語初級。総合基礎クラス。文法・発音・解釈・会話・練習問題・文化的説明など総合的に指導・学習が行なわれます。

講義の内容／授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点 (1)受講上の諸注意／alphabet (2)～(4)発音の基本 (5)～(15)文法の基礎(名詞の性・数／不定冠詞・定冠詞／形容詞／主語人称代名詞／動詞の直説法現在など) (16)～(29)文法の発展(部分冠詞／縮約／目的語人称代名詞／関係代名詞／動詞の過去・未来時制など) (30)復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)
*毎回、発音練習・練習問題を行ないます。
発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書／テキスト 小笠原洋子著『ピエールとユゴー』(白水社) 本体2,500円＋税 ISBN978-4-560-06100-8

参 考 書 そのつと授業で指示します。

履修コード	270201
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	谷川 ^{たにかわ} かのる

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

初歩的な会話を覚えながら、フランス語初級文法を習得する。

- 第1回 フランス語の歴史。発音の第一歩
- 第2回 発音の規則
- 第3回 初めての挨拶
- 第4回 カフェでの注文の仕方
- 第5-6回 国籍・職業の言い方、聞き方
- 第7-8回 家族、好きなものの言い方
- 第9-10回 年齢の言い方、紹介の仕方
- 第11回 着ている服は？
- 第12-13回 誉める表現
- 第14回 どこに行く？
- 第15回 前期試験
- 第16-17回 どうやって行く？
- 第18-19回 道の聞き方
- 第20-21回 部分冠詞の使い方
- 第22-23回 時間の表現
- 第24-25回 過去の表現(1)
- 第26-27回 過去の表現(2)
- 第28-29回 過去の表現(3)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

第30回 後期試験
宿題をやってくること。

必ず仏和辞典持参で出席すること。積極的に参加・発言すること

前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本にし、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書/テキスト

伊勢晃、谷口千賀子著、『サヴァ?』、早美出版社、ISBN4-86042-052-9 C3085 2400円

外国語

履修コード	270611
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	谷川 ^{たにかわ} かのる

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

初歩的な会話を覚えながら、フランス語初級文法を習得する。

- 第1回 フランス語の歴史。発音の第一歩
- 第2回 発音の規則
- 第3回 初めての挨拶
- 第4回 カフェでの注文の仕方
- 第5-6回 国籍・職業の言い方、聞き方
- 第7-8回 家族、好きなものの言い方
- 第9-10回 年齢の言い方、紹介の仕方
- 第11回 着ている服は？
- 第12-13回 誉める表現
- 第14回 どこに行く？
- 第15回 前期試験
- 第16-17回 どうやって行く？
- 第18-19回 道の聞き方
- 第20-21回 部分冠詞の使い方
- 第22-23回 時間の表現
- 第24-25回 過去の表現(1)
- 第26-27回 過去の表現(2)
- 第28-29回 過去の表現(3)

履修上の留意点
成績評価の方法

第30回 後期試験
積極的に参加・発言すること

前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本にし、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書/テキスト

伊勢晃、谷口千賀子著、『サヴァ?』、早美出版社、ISBN4-86042-052-9 C3085 2400円

履修コード	270601
科目名	フランス語 I B
担当者名	遠山 ^{とやま} 博雄 ^{ひろお}

講義の到達目標(ねらい) 文法の初歩を重ねて学び、それを応用して簡単なスケッチを読み取り、発音すること。

講義の内容／授業スケジュール (1～7) 授業方針の説明、音の単位の紹介、発音の基礎。名前・国籍・職業・年齢・家族・好きな物・持ち物をいう。友達についていう。(8～15) 尋ねる。近い過去・未来をいう。時間・天候をいう。数量を表す。紹介する。(16～24) 一日を語る。頼む・命令する。未来のことを語る。過去のことを語る I。(25～30) 過去のことを語る II。人やものについて語る。比較する。受身の形を使う。//はじめに詳しい説明をします。その後、練習問題や本文に各自取り組みます。

準備学習 宿題をやってくること。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。声を出すこと。

成績評価の方法 3回の筆記試験(40点+20点+40点)をします。さらに、最終的に平常点を考慮します。

教科書／テキスト 藤田裕二他:『新・東京一歩、初飛行[新装改訂版]』、駿河台出版社、2,200円+税、ISBN N978-4-411-01114-5 C1085

その他 最初の授業で辞書のガイダンスをします。

履修コード	270401
科目名	フランス語 I B
担当者名	長谷川 ^{はせがわ} 光明 ^{みつあき}

講義の到達目標(ねらい) この授業では、フランス語の基礎を総合的に学習してゆきます。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習します。フランス語の音やフランス文化に親しみながら、入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容／授業スケジュール (1) 受講上の諸注意/Alphabet (2)～(4) 発音の基礎 (5)～(15) 文法の基礎(主語人称代名詞/名詞の性・数/冠詞/冠詞の縮約/疑問文・否定文/命令文/形容詞/疑問詞/動詞の現在時制/非人称構文など) (16)～(29) 文法の発展(補語人称代名詞/代名動詞/中性代名詞/比較文/動詞の過去・未来時制/条件法・接続法/関係代名詞・強調構文など) (30) 復習と今後のフランス語学習への橋渡し

準備学習 「宿題」をきちんとやってくることはもちろんですが、毎回、予定されている各課の項目にも目を通し、不明な単語については辞書を引き調べて授業に出席することで、より効果的な学習となります。

履修上の留意点 毎回、「小テスト」を行います。「辞書」は必ず持参してください。ただし、電子辞書やポケット版辞書は不可とするので注意すること。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験と平常点(出席状況・小テストなど)によって評価します。

教科書／テキスト 小笠原洋子著『ビエールとユゴー』2010年刊(白水社)2,500円+税 ISBN978-4-560-06100-8

参考書 授業中に指示します。

その他 出席を重視します。

履修コード	290301
科目名	フランス語 I B (選)
担当者名	小黒 ^{こぐろ} 昌文 ^{まさふみ}

講義の到達目標(ねらい) 一年を通してフランス語の初歩を勉強します。基礎文法と発音の習得が第一の目標ですが、同時にフランス語圏の文化・社会への関心を深めるきっかけになればと考えています。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス:履修上の注意事項 (2)～(15) 初級文法への誘い [導入編]:フランス語の読み方/名詞と冠詞/動詞の活用[1]・肯定形と否定形/指示形容詞と所有形容詞/動詞の活用[2]・疑問文/形容詞 etc. (16)～(29) 初級文法への誘い [発展編]:動詞の活用[3]/比較級・最上級/命令法/疑問形容詞・疑問副詞/目的語人称代名詞/複合過去 etc. (30) 一年間のまとめ

履修上の留意点 授業での積極的な発言を期待しています。仏和辞典はかならず持参すること(初回の授業で紹介されます)。

成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。

教科書／テキスト 中島万紀子、一條由紀『ヴィルジニー!』早美出版社 2,200円+税 ISBN 978-4-86042-063-5

参考書 適宜紹介します。

履修コード	290901
科目名	フランス語Ⅱ (選)
担当者名	桑田 禮彰 <small>くわた のりあき</small>

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読みます。発音の基本を確認しつつ文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終った人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

(1)受講上の諸注意 (2)(3)バカロレアを取ってからにしてください！(4)(5)エコロジックな大使館(6)(7)ファーストレディはシンガー・ソングライター (8)(9)日本人パリエンス (10)～(29)二頭の馬？、他 (30)復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点
成績評価の方法

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書/テキスト

ミシェル・サガズ、加藤晴久共著『時事フランス語 2011年度版』(朝日出版社)

参 考 書

本体1,900円+税 ISBN978-4-255-35216-9
そのつと授業で指示します。

外国語

履修コード	271201
科目名	フランス語Ⅱ A
担当者名	東 辰之介 <small>あづま たつゆけ</small>

講義の到達目標(ねらい)

長文読解(主に名画の鑑賞文)と対話文の書き取りを通じて、フランス語能力のレベルアップを図ります。発音も重視します。

講義の内容/
授業スケジュール

(1)受講上の諸注意/発音の復習 (2)～(15)初級文法の復習と、初級レベルの長文読解(アングル、ルノワール、セザンヌ等の絵画について) (16)～(30)文法未習事項の学習と、中級レベルの長文読解(ゴッホ、モネ、マネ等の絵画について)

準備学習

授業時に説明します。

履修上の留意点

授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。授業には必ず仏和辞典を持参してください。
前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。

成績評価の方法

教科書/テキスト

中山眞彦著『オルセー美術館にて』(朝日出版社) 2,500円+税 ISBN4-255-35128-7

参 考 書

仏和辞典が必要です。

履修コード	271401
科目名	フランス語Ⅱ A
担当者名	今関 アン <small>いまぎき あん</small>

講義の到達目標(ねらい)

1年次に習得した初級文法を復習しながら、少し読み応えのある文章を読んでいく。
文法に関する練習問題を通じて、読む力と書く力、発音なども同時に伸ばすつもりである。

講義の内容/
授業スケジュール

教科書のテーマは、フランコフォニー(フランス語圏)を扱っており、フランス語を使用する諸国についての幅広い知識も身につけていきたい。

前期:(1)ガイダンス、座席決め (2～5)冠詞、主要動詞の活用1、世界におけるフランコフォニー、フランスの言語、ヨーロッパにおけるフランス語(6～10)主要動詞の活用2、北米のフランス語(11～14)不規則動詞、カリブ海のフランス語(15)前期授業内試験

後期:(1～7)補語人称代名詞、過去時制1、マグレブのフランス語、アフリカのフランス語(8～11)過去時制2、アジアのフランス語、太平洋のフランス語(12～14)未来の時制、接続法、条件法(15)後期授業内試験

履修上の留意点

漫然と机に座っているだけでは出席と認めない。

成績評価の方法

積極的に授業に参加する必要があるので、予習して授業に臨むように。
平常点(小テスト、訳読、練習問題)40%+定期テスト(前期30%+後期30%)

教科書/テキスト

『フランコフォニーへの旅』駿河台出版社

履修コード	271301
科目名	フランス語Ⅱ A
担当者名	小黒 昌文

講義の到達目標(ねらい) 初級から中級への橋渡しのクラスです。平易な文章の読解を中心としながら、すでに学習した文法事項を復習し、文法の基礎固めと運用能力向上を目指します。フランスの風土・文化についての関心を深める契機としてください。

講義の内容／授業スケジュール (1)ガイダンス：履修上の注意事項 (2)～(15)中級への橋渡し [導入編]：初級文法の復習および応用 (16)～(29)中級への橋渡し [実践編]：未習文法事項の学習と実習 (30)一年間のまとめ

履修上の留意点 授業での積極的な発言を期待します。仏和辞典は必ず持参すること。

成績評価の方法 前期末授業内試験 (50%)と学年末試験 (50%)を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。

教科書／テキスト 野村二郎『フランス 言葉と文化の旅』第三書房
2600円+税 ISBN 978-4-8086-2067-7

参 考 書 適宜紹介します。

履修コード	271211
科目名	フランス語Ⅱ A
担当者名	菅谷 暁

講義の到達目標(ねらい) フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化について理解を深めること、言葉に対する感覚を磨くことを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール 教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課あるので、1課を1回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験によります。

教科書／テキスト ポームルー著『セレクション・時事フランス語Ⅲ』(朝日出版社)1,890円

履修コード	352401
科目名	フランス語Ⅱ A
担当者名	高橋 明美

講義の到達目標(ねらい) 初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

講義の内容／授業スケジュール 出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。前期(第1回～第15回)：1年次の文法の復習、代名動詞、不規則動詞の活用、中性代名詞、半過去、受動態、現在分詞とジェロンディフ、条件法
後期(第16回～第30回)：接続法、文章読解

成績評価の方法 出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書／テキスト 『ヴィルジニー』中島万紀子 一條由紀 著 早美出版社 2200円

履修コード	299801・299802・299803
科目名	フランス語Ⅱ A [再クラス] フランス語Ⅱ B [再クラス] フランス語Ⅱ C (会話) [再クラス]
担当者名	東 辰之介

講義の到達目標(ねらい) フランス語中級文法の習得と、基礎的な読解力の養成を目的とします。発音も重視します。

講義の内容／授業スケジュール (1)受講上の諸注意／発音の復習 (2)～(15)初級文法の復習と、初級レベルの長文読解 (16)～(29)中級文法の学習と、中級レベルの長文読解 (30)今後のフランス語学習について

準備学習 授業時に説明します。

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。授業には必ず仏和辞典を持参してください。

成績評価の方法 前期末授業内試験 (50%)と学年末試験 (50%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。

教科書／テキスト 授業開始時に、受講者と相談のうえ決定。

参 考 書 仏和辞典が必要です。

履修コード	299701・299702・299703
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	今関 <small>いませき</small> アン <small>あん</small>

講義の到達目標(ねらい) 2年次に習得できなかったフランス語を確実に身につけることを目的とする。辞書の引き方から徹底的に学び、初級文法を復習しながら、ストーリー性のある物語を読んでいく。
フランス語検定4級程度の実力を目指す。

講義の内容／授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス (2～7) 第1課～第4課「ある愛の物語」発音、文型、辞書の引き方、動詞活用、名詞、冠詞、主要動詞、命令法、近接未来(8～14) 第5課～第8課「友達、四つのスケッチ」疑問文、否定文、現在分詞とジェロンディフ、関係代名詞、受け身(15) 前期授業内試験
後期：(1～7) 第9課～第12課「歌と踊りでミュージカル！」代名動詞、直説法の時制、間接話法、接続法、非人称構文(8～14) 第13課～第14課「なかなか死なない」条件法、所有代名詞、総復習、補遺(15) 後期授業内試験

準備学習 履修上の留意点 YeStudyに予習範囲、宿題、課題など随時告知するから、必ず確認して準備するように。課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。欠席者は指示された課題をやってきてください。

成績評価の方法 小テスト40%+定期テスト60%

教科書／テキスト 『フランス語はじめての文とわかる文ぼう』野呂康著 朝日出版社 ISBN978-4-255-36214-5

外国語

履修コード	355901・355902
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	長谷川 <small>はせがわ</small> 光明 <small>みつあき</small>

講義の到達目標(ねらい) フランス語初級文法の基本事項をおさらいしつつ、簡単な仏作文の練習を重ねます。最終的には、日本についてフランス語で説明できるようになること、これがこの授業の目標です。

講義の内容／授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／つづり字の読み方の復習(2～20) 初級・中級文法の復習(自分と家族の紹介／街の紹介／趣味／日本の行事／クラブ活動／日本の料理／観光案内／おみやげ／日本の習慣)(21-30)より高度な作文
*毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期と後期二回行います。

準備学習 「宿題」をきちんとやってくることはもちろんですが、毎回、予定されている各課の項目にも目を通し、不明な単語については辞書を引き調べて授業に出席することで、より効果的な学習となります。

履修上の留意点 基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのため、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本にし、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書／テキスト 足立和彦他『ブリュム・ア・ラ・マン 新フランス語作文』(駿河台出版社)1800円 ISBN978-4-411-01168-8

履修コード	299601・299602・299603
科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕 フランス語ⅡC(会話)〔再クラス〕
担当者名	畑中 <small>はたなか</small> 千晶 <small>ちあき</small>

講義の到達目標(ねらい) やさしいフランス語で書かれた笑い話を読みます。日本語に訳す必要はありません。どのような人物が出てきて、何が起こったのか、結果は、というように、物語の流れをつかみ取る読み方を目指します。フランス語の問いにフランス語で答えることで、語彙・文法・コミュニケーション力などを総合的に伸ばしていきます。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス/L1 (2)～(6) L2-4 (7) 復習 (8)～(13) L5-7 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出/L8 (17)～(21) L9-11 (22) 復習 (23)～(27) L12-14 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験

準備学習 ほぼ毎回、それほど負担にはならない分量で宿題を出します。それに取り組むほかは、特別な準備は要りません。

履修上の留意点 ①毎回、辞書を持参してください。②基本的に予習は不要。その代わりに宿題を出します(平常点としてカウント)。

成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点30%、夏休みの課題10%

教科書／テキスト リリアヌ・ラタンジオ/村松定史『続・小さなコント—読解からコミュニケーションへ—(CD付)』2004年刊(駿河台出版社)2,500円+税

参考書 西村牧夫・曾我祐典・田島宏『コレクション フランス語3 文法』1990年刊(白水社)

履修コード	271611
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	今関 ^{いまげき} アン

講義の到達目標(ねらい)	1年次に学んだことを確認しながら、ディクテを中心に実践的なフランス語運用能力(仏検4級レベル)を身につけていく。ディクテの内容は「フランスの祭り」「生活」「食文化」など文化的テーマを扱っているので、フランス語のみならずフランスそのものを知る点でも有意義である。単なる訳読の授業ではなく、総合的な理解を目指す。
講義の内容/ 授業スケジュール	(1) アンケート、ガイダンス、席決め (2-4) 発音、L.1. 名詞・形容詞 (5-6) L.2. 動詞の活用 (7-8) L.3. 冠詞 (9-10) L.4. 前置詞 (11-13) L.5. 複合過去・半過去(14) 前期復習 (15) 前期試験 (16-17) L.6. 疑問詞 (18-19) L.7. 目的語人称代名詞 (20-21) L.8 単純未来 (22-23) L.9. 量をいう表現 (24-25) L.10. 比較級・最上級 (26-27) L.11. 受動態 (28-29) L.12. 条件法現在 (30) 後期試験 最初に文法事項を説明してからディクテを行う。一課毎に簡単な試験(文法、内容把握、聴き取りなど)を行い、学習事項の習得を確認する。
準備学習 履修上の留意点	聴き取り(ディクテ)が中心の授業なので、必ず自宅でCDを聴き、フランス語の音に慣れること。仏和辞典持参、自宅ではCDをよく聴き、復習が欠かせない。
成績評価の方法	前・後期試験(30%+30%)、授業内小テストを含む平常点(40%)の合計点で60点以上を単位修得とする。
教科書/テキスト	『シヴィ・ラングー ディクテ中心に学ぶフランス語と文化-』, Michel Sagaz, 中里まき子著, 駿河台出版社, 2500円

外国語

履修コード	352501
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	木下 ^{きのした} 雄介 ^{ゆうけい}

講義の到達目標(ねらい)	1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。
講義の内容/ 授業スケジュール	平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。 第1回 テキストの紹介・全般的な説明。 第2回～第30回 説明をまじえながら、テキストを読み進める。
準備学習	予習のさいには、きちんと辞書をひき、単語の意味ばかりでなく、品詞名や構文といった文法的な事項もノートに記入してくる。
履修上の留意点	予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。
成績評価の方法	平常点を重視し、前期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。
教科書/テキスト	最初の授業のときにプリントを配布します。

履修コード	271501
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	菅谷 ^{すがや} 暁 ^{あきら}

講義の到達目標(ねらい)	フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化について理解を深めること、言葉に対する感覚を磨くことを目的とします。
講義の内容/ 授業スケジュール	教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課あるので、1課を1回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験によります。
教科書/テキスト	ポームルー著『セレクション・時事フランス語 1997-2002』(朝日出版社) 1,890円

履修コード	271601
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	はたなか ちあき 畑中 千晶

講義の到達目標(ねらい)	繰り返しCDを聞くことで、語彙や表現を増やし、聞き取り能力を次第に上げていくことを目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) ガイダンス／詩の暗唱 (2)～(8) 1-1～3-2 (9) 復習、ビデオ視聴 (10)～(12) 4-1／4-2 (13) 会話 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出 (17)～(21) 5-1～7-2 (22) 復習 (23)～(27) 8-1～9-2 (28) 復習／発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験
準備学習 履修上の留意点	課題用のプリントに取り組んでください。 毎回課題を出すので、必ず取り組んでください。課題は提出した分がすべて得点になります(内容を点数化することはありません。参加することに意義がある、というものです)。締切厳守(欠席した場合のみ、次回提出可)。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期末試験30%、学年末試験30%、宿題など平常点30%、夏休みの課題10% 中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』1998年刊(白水社) 1,800円+税
参考書 その他の	西村牧夫・曾我祐典・田島宏『コレクション フランス語3 文法』1990年刊(白水社) YeStudyの当該コースに自宅学習用の課題(クラスで配布するプリントと同じもの)をアップします。欠席した場合は、この課題をダウンロードして使用してください。

外国語

履修コード	271801
科目名	フランス語ⅡD フランス語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	いとう なお 伊藤 なお

講義の到達目標(ねらい)	少なくとも一年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生が対象です。 フランス語の読解に関しては、初級文法の復習と未習の文法事項を学習しながら、平易に書かれた対話文と時事的文章を読みます。一年の学習の後に、簡単な内容なら辞書を使わずともテーマと概要を把握でき、難易度が多少高い場合には辞書を用いてフランス語を正しく理解できるようにします。題材としては、今日のフランスが抱えるさまざまな問題を取り上げ、フランスの社会が置かれている状況についての理解を深めます。テーマによってはできるだけ詳しい情報を提供したいと考えています。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)～(2)受講上の諸注意／綴り字と発音・動詞現在形の復習。(3)～(14)パリ住宅事情、ストライキとデモ、騒音、ヴァカンス、演劇祭と演劇従事者、盗難。(15)前期試験。(16)～(28)地球温暖化、若者の同棲、結婚、郊外問題、荒れる学校、非宗教性。(29)総復習。(30)後期試験。
履修上の留意点	単に辞書を用いて訳すだけでなく、CDを活用して何度も声に出して読むこと、さらに対話文などはテキストを見ずにCDと一緒に発話する(シャドーイング)練習を自宅でも怠らぬようにして下さい。また難しい訳しにくい箇所は予め自分できちんと日本語に訳してから授業に臨んで下さい。授業に必ず出席するのは当然のこと、予習も全員必須です。辞書は必ず持って来て下さい。電子辞書は避けるようにして下さい。
成績評価の方法	前期末授業内試験(40%)+学年末試験(40%)+小テスト(10%)+夏休み課題(10%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書／テキスト	北山研二著『レサマン』(朝日出版社 2400円+税) ISBN4-255-35175-9 その他プリント使用

履修コード	271901
科目名	フランス語ⅢA フランス語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	あづま たつゆけ 東 辰之介

講義の到達目標(ねらい)	フランス語中級文法の習得と、基礎的な読解力の養成を目的とします。発音も重視します。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)受講上の諸注意／発音の復習 (2)～(15)初級文法の復習と、初級レベルの長文読解 (16)～(29)中級文法の学習と、中級レベルの長文読解 (30)今後のフランス語学習について
準備学習 履修上の留意点	授業時に説明します。 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。授業には必ず仏和辞典を持参してください。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。
教科書／テキスト	授業開始時に、受講者と相談のうえ決定。
参考書	仏和辞典が必要です。

履修コード	288101
科目名	フランス語コミュニケーションⅠ
担当者名	ラリア・三倉、 M.

講義の到達目標(ねらい) 教科書の内容に沿ってフランス語コミュニケーションの聴く、話す、読む実力が自然とついてくる授業にします。

講義の内容／授業スケジュール あくまで全くの初心者にフランス語のコミュニケーション力の基礎を習得させる内容になっています。
(1) Alphabet／興味を持たせるための簡単な会話と表現／フランス語発音練習 (2)～(4) Leçon 1 (5)～(7) L2 (8)～(10) L3 (11)～(13) L4 (14)～(16) L5 (17)～(19) L6 (20)～(22) L7 (23)～(25) L8 (26)～(28) L9 (29)～(30) L10

履修上の留意点 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。

成績評価の方法 成績評価は講義で学生の各々の能力を見極める通常点で評価します。試験はいたしません。

教科書／テキスト 高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』第三書房
ISBN 4-8086-2136-3

履修コード	288901
科目名	フランス語コミュニケーションⅡ
担当者名	ラリア・三倉、 M.

講義の到達目標(ねらい) フランス語の基礎力が備わった学生向けのフランス人講師による授業です。

講義の内容／授業スケジュール ビデオを使って視聴覚中心の授業をいたします。
(1) 受講上の諸注意／à l'Aéroportの1回目 (2)～(4) à l'Aéroport (5)～(7) à l'hôtel (8)～(10) Paris, la nuit (11)～(13) Au café (14)～(16) Le train (17)～(19) Le téléphone (20)～(22) invitations (23)～(25) les courses (26)～(28) Au Restaurant (29)～(30) まとめと復習

履修上の留意点 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。

成績評価の方法 試験はいたしません。通常評価で採点します。

教科書／テキスト 教材は“BIENVENUE EN FRANCE”よりプリントして学生に渡します。

履修コード	287001
科目名	フランス語スキルアップ
担当者名	とわやま ひろお 遠山 博雄

講義の到達目標(ねらい) 既習の知識を確認しながら、きちんとした発音と基礎的な文字表現力を身につけること。(初級文法の復習授業ではありません。)

講義の内容／授業スケジュール (1～7) 自分と家族を紹介する；街を紹介する；趣味についてのアンケート；(8～15) 日本の行事を紹介する；過去の出来事を語る；クラブ活動を紹介する；レシピを書く；(16～23) 観光案内；お土産を勧める；日本の習慣について助言する；(24～30) より高度な作文へのステップ；人物について話す；留学について問い合わせる；フランス語でスピーチする。

履修上の留意点 続けて出席すること。(既使用の)文法教科書持参が望ましい。

成績評価の方法 平常点(出席点にあらず)を原則とし、総合的に評価します。

教科書／テキスト 足立和彦他:『プリュム・ア・ラ・マン!』、駿河台出版社、1, 800円+税、ISBN 978-4-411-01168-8

履修コード	286701
科目名	マルチ・メディア
担当者名	<small>うえだ のりふみ</small> 上田 倫史

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	ICTを活用して、実用的な英語力の育成を目指す [授業内容] 1. パワーポイントを使い、プレゼンテーションを行う技術を身につける。 2. インターネットを活用し、情報を検索する能力を身につける。 3. ワードを使って、レポートなどを書く英語力を身につける。 4. ビデオやDVDを活用し、リスニング力を向上させる。 具体的には、自己紹介を英語で行ったり、グループで観光地のプレゼンテーションなどをおこなったり、英語での質疑応答の練習を行う。また、DVDの内容に関する聞き取りなども行う。 第1週はオリエンテーションをおこない、第2週以降は、それぞれの課題に一人で、あるいはグループで取り組んでもらうこととなる。
履修上の留意点	3分の1以上欠席をすると単位は認定されないため注意すること 【受講制限について】 受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。初回の授業で受講の可否を判定しますので、必ず出席すること。
成績評価の方法	授業中の活動(30%)、試験(プレゼンテーション等を含む)(40%)、課題(30%)年間授業回数の3分の1以上欠席した場合は単位取得はできない。
教科書/テキスト	使用しません。

外国語

履修コード	286601
科目名	マルチ・メディア
担当者名	<small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘

講義の到達目標(ねらい)	映画を観賞しながら口語英語に慣れることを目標とします。具体的にはこの映画で使われている多くの有用な口語表現に習熟することが主目標になります。
講義の内容/ 授業スケジュール	[授業の内容] 今年度はイギリスの推理小説作家 Agatha Christie 原作の The Murder of Roger Ackroyd を映画化したものをとりあげ、ミステリーを楽しみながら様々な英語表現を学習していきます。この作品はセリフ集などは刊行されていないので、学生諸君はDVDの英語字幕の筆写を通して、内容の理解につとめることとなります。字幕の筆写は楽な作業ではありませんが、様々な表現を学ぶ上で有効な手段です。 [授業スケジュール] 前期：第1週 オリエンテーション： 第2週～14週 映画前半部分の観賞と表現演習 第15週 前期試験 後期：第16週 前期試験の結果発表： 第17週～第28週 映画後半部分の観賞と表現演習： 第29週 後期試験：第30週 後期試験の結果発表 復習をしっかりとすること。学習した表現を使った英作文の課題を提出することも必要となります。この映画にはセリフ集などはないので、毎回授業に出てセリフを筆写しないと、授業についていけなくなります。また試験でよい成績をとることも不可能になります。毎回出席できることが履修の条件となります。 [履修制限について] 受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。初回の授業で受講の可否を判定しますので、必ず出席すること。
準備学習 履修上の留意点	前期・後期の試験を中心に、課題の提出、授業態度、出席状況等を総合的に検討して評価します。
成績評価の方法	

履修コード	286501
科目名	マルチ・メディア
担当者名	<small>おちあい かずあき</small> 落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)

このクラスに副タイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級から上級(二級、準一級、一級)程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英検等)の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、リスニングの向上をはかる。

講義の内容/
授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、リスニングを向上させる。第二段階は、会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞(せりふ)を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

年間の授業計画は次の通りである。

第一回	オリエンテーション	第十六回	『口語』 1 2
第二回	『口語』 第1課	第十七回	『映画』 3
第三回	『口語』 2	第十八回	『口語』 1 3
第四回	『口語』 3	第十九回	『映画』 4
第五回	『口語』 4	第二十回	『口語』 1 4
第六回	『口語』 5	第二十一回	『映画』 5
第七回	『口語』 6	第二十二回	『口語』 1 5
第八回	『口語』 7	第二十三回	『映画』 6
第九回	『口語』 8	第二十四回	『口語』 1 6
第十回	『口語』 9	第二十五回	『映画』 7
第十一回	『口語』 1 0	第二十六回	『口語』 1 7
第十二回	『映画』 1	第二十七回	『映画』 8
第十三回	『口語』 1 1	第二十八回	『口語』 1 8
第十四回	『映画』 2	第二十九回	『映画』 9
第十五回	前期試験	第三十回	後期試験

※ 上述の『口語』は『コミュニケーションのための口語ヒヤリング』、『映画』は「映画総合教材『グッド・ウィル・ハンティング』」を指す。

準備学習

ほぼ毎回、クラスの初めに、まず前もって、その日の課の小テストを行うので、必ず、予習をしてください。

履修上の留意点

このクラスを受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、少々、つらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40数名しか入れないLL教場を使用するので、それ以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。なお、リスニングは毎回行う。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験は20%、その他(課題、小テスト、授業中の発表等)は60%とする。出席率は、前・後期試験を除いた、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」となる。

教科書/テキスト

- 1) 『コミュニケーションのための口語ヒヤリング』 成美堂 ISBN978-4-79149-4508-5 1, 600円
- 2) 「映画総合教材『グッド・ウィル・ハンティング』」 松柏社 1, 995円
- 3) プリント

履修コード	286801
科目名	マルチ・メディア
担当者名	白鳥 義博 <small>しらとり よしのり</small>

講義の到達目標(ねらい)

難易度の高い英語のリーディングとリスニングのトレーニングを行う。具体的にはTOEFLテストを念頭において、2年生までの必修英語クラスより単語などのレベルがはるかに高い英文の読解と聞き取りに挑戦する。TOEFLテストをモデルとして使うので、読む・聞く英文の内容は主にアカデミックなものであるが、留学準備や対策に特化した授業ではないから、留学を志さない学生の履修も歓迎する。ただし、単語テストやPCを使用したリサーチなどを通して知的な語彙力と読解力を向上させることを目指すので、森羅万象さまざまなトピックへの知的好奇心が旺盛であることが最低条件となる。英文の内容に応じて臨機応変にさまざまな課題が追加されるであろうが、怯まず積極的に取り組んでほしい。例えば後期には、歴史上の人物に成りきって英語でスピーチを行う練習なども取り入れる予定。

講義の内容／授業スケジュール

・各回前半30分を単語の練習に、中程30分をリーディング・リスニングの練習に、最後の30分を解説に充てる予定。

・重要な学問的語彙やトピックについて、頻繁にリサーチの課題を出す。

・後期には、歴史的に著名な人物の仮定のスピーチを課題とする予定。

・前期末と後期末には大きいテストを行う。

準備学習
履修上の留意点

高校レベルまでの文法知識を各自でもう一度よく復習しておくこと。

必修の授業ではないので、受講態度については厳格に対応する。扱う英文の内容に対して旺盛な知的好奇心を持ってない学生の履修は、まったくお勧めできない。授業中の私語や睡眠は、決して許されない。即興で様々な課題が課されると思うが、そのすべてに積極的に反応するやる気が不可欠である。

成績評価の方法

小テスト、および期末テストの成績を基本とし、そこに出席点や授業中の態度などから算出されるポイントを加・減点する。

教科書／テキスト

プリント教材を使用する予定。

外国語

履修コード	285501
科目名	名文で味わうスペイン語
担当者名	齊藤 明美 <small>さいとう あけみ</small>

講義の到達目標(ねらい)

辞書の力を借りながら内容を理解する力をつけ講読を通して基礎文法の復習と語彙力の増加を目指します。前期では、直説法現在形、未来形、過去形(点過去、線過去)の復習を、後期は接続法現在などの中級文法習得も視野に入れます。スペイン語圏を代表する名曲の歌詞を題材にしヒヤリング力と発音の向上も図ります。また映画、小説などの一幕も随時鑑賞します。講義が終わるころにはスペイン語の小説を辞書をたよりに読める実力がついているでしょう。西検4級合格も目指せます。

講義の内容／授業スケジュール

(1)スペイン語ポップスの名曲に親しむ(1-7)

(2)カリブのリズム(サルサ・メレンゲなど)を感じる(8-14)

(3)メキシコ、アンデス音楽を楽しむ(15-23)

(4)スペインの民謡(フラメンコ、クリスマスの歌など)を味わう(24-30)

履修上の留意点

初級文法修了者を対象とします。

出席3分の2以上を求めますが、やむをえない理由の欠席は考慮します。

成績評価の方法

平常点 出席(20%) + 授業態度、発言(30%) と年二回の演習課題(各25%)によります。

教科書／テキスト

GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト』朝日出版社1200円

テキストは毎回配布します。

参考書
その他

推薦辞書：『西和中辞典』(小学館) 『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)

講義内容の順序が前後する場合があります。

オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。

関連リンク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	285401
科目名	名文で味わう中国語
担当者名	佐藤 普美子

講義の到達目標(ねらい) さまざまなジャンルの古今の名文を精読し、中国語の書き言葉の特色と魅力を探る。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：導論とウォーミングアップ。第2～5回：エッセイ（文学関連）。第6回～9回：エッセイ（社会科学関連）。第10～13回：短編小説。第14～17回：詩歌。第18～21回：演説。第22～25回：手紙文。第26～29回：評論。第30回：学期末試験。

準備学習 授業は演習形式で進めるので、担当時は特に予習を十分にを行い、音読できるようにしておくこと。

成績評価の方法 学期末試験（30点×2）＋平常点（40点）を合わせて総合的に評価します。ただし、「平常点」≠「出席点」。

教科書／テキスト 随時プリントを配布します。

参考書 辞書は必携。下記URLを参考にしてください。

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhujisho>
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

外国語

履修コード	285201
科目名	名文で味わうドイツ語
担当者名	武田 利勝

講義の到達目標(ねらい) 〈ドイツ語が読める〉ということは、もしかしたら——もちろん辞書と取り組みあいながらではあれ——、ゲーテやヘッセやケストナーやエンデやカフカの書いた物語の世界、さらにはカントやニーチェやヘーゲルやハイデッガーの構築した哲学の世界に、彼らが考えた言葉そのままに分け入っていくことができる、ということかもしれません。上に並んだ名前のどれかにビーンときた人／ほんもののドイツ語に触れてみたい人／言葉と一緒に自分の世界を広げてみたい人／翻訳に興味のある人の参加を心待ちにしています。

講義の内容／授業スケジュール 初回の授業時に皆さんから意見や希望を募り、授業で読んでいく作品・作家のリストを作ります。もちろんこちらからもいくつか提案するつもりです。例えばカフカの寓話／ヘッセの短編小説／ニーチェのアフォリズム（箴言）／グリム童話など。できるだけ多くのものを読んでいきたいので、長編小説からは有名な場面や情景を選ぶ、という形になるはずですが、具体的なスケジュールはリストが出来上がってからになるわけですが、それではシラバスにならないので、一応次のようにしておきます。もちろん暫定的に。

履修上の留意点 1) オリエンテーション 2～6) エッセイを読む 7～10) グリム童話を読む 11～17) 短編小説／寓話を読む 18～20) 詩を読む 21～25) 長編小説の名場面を読む 26～30) 思想・哲学書を読む
 受講人数にもよりますが、基本的にグループ形式への授業となります。各自必ず (!) 予習をしてください。授業時にはまずグループ内で訳読を進め、最後にクラス全体で確認します。予習の際には、もちろん既出の翻訳を参考にしても構いませんが、決して鵜呑みにしないように。「なぜこんな日本語になるんだろう？」という、批判的な読み方を忘れないこと！各テキストの背景等については、こちらで解説するか、あるいは提案者から発表してもらおうか、いずれかにします。とにかく疲れる授業になるでしょう。90分の授業が終わって、笑顔で「疲れた～」と伸びをするとき、皆さんはいわば「翻訳の楽しみ」を味わっているわけです。

成績評価の方法 グループ作業・全体授業での積極性、出席率などを勘案し、これを平常点とします。また前期・後期にそれぞれ期末試験を実施します。全体評価における平常点と期末試験の比率は、各50%です。

教科書／テキスト 読みものについては毎回こちらでプリントを準備し、配布する予定です。

参考書 読解に必要な文法参考書として、『必携 ドイツ文法総まとめ』（白水社 ISBN978-4-560-00492-0、定価1600円）を挙げておきます。予習に欠かせないアイテムです。

毎回、独和辞典は必ず持参のこと。

履修コード	285301
科目名	名文で味わうフランス語
担当者名	<small>とみやま ひろお</small> 遠山 博雄

講義の到達目標(ねらい) 口語的で読みやすいヴァシーリ・アレクサキスのショートショートをはじめに読み、なれてから、平明な文体をもつ魅力的なミシェル・トゥルニエの短編とエッセイを熟読することによって、現代フランス文学に親しむこと。

講義の内容／授業スケジュール まず受講者がテキストの音読と、日本語訳をします。(理解できた範囲で可)。その後、教員がチェックと詳しい解説をします。授業スケジュールは受講者のレベルを考慮して調整しますが、さしあたり以下のように考えています。(1)～(3)「プラティニのフリーキック」；(4)～(15)「パパ」(以上アレクサキス)；(16)～(22)「アマンディーヌもしくは二つの庭」；(23)～(30)「イデーの鏡」(以上トゥルニエ)

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で授業に出席すること。(既使用の)文法教科書持参が望ましい。

成績評価の方法 平常点(出席点にあらず)を原則とし、総合的に評価します。

教科書／テキスト プリントを用意します。

履修コード	285601
科目名	名文で味わうロシア語
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい) ロシアの各メディアのホームページをパソコン画面で見渡すと、エネルギー関係を含むその豊富な天然資源のもとで、ロシアの経済発展が極めて著しいと感じられます。さらに、ロシア語で検索すると、様々な情報がリアルタイムに入手でき、日本の国土の約45倍もの広大な領土で生活するロシア人の科学、文化、芸術等の分野での思考方法、獨創性、奥深さが伝わってきます。

本授業では、近年のグローバル化、多極化したIT時代の状況をも踏まえ、PCルームにてインターネットなどの機能を活用し、膨大な情報の山に秘められている、簡潔で、温かみのある短文、詩、歌などの入手手順も分かりやすく説明し、五感を生かし、きらりと光る“ロシア語”を楽しく、内容豊かに学びます。気分転換もかね、『千と千尋の神隠し』などのアニメ作品で有名な宮崎駿監督など、日本を代表する多数の映画監督も、その若き日に、感銘や影響を受けたソ連時代のロシアアニメやビデオ映画を鑑賞します。

講義の内容／授業スケジュール インターネットを活用し、発音、基本文法を復習しつつ、平明なロシア語講義を行います。

4-7月 ○基礎文法の復習と
○中級文法の導入
○ロシア語版のソフトになれるようにする

9-12月 ○インターネットを駆使し様々なロシア関係の知識を集積し深める。

履修上の留意点 PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用して学習に役立ちます。

成績評価の方法 積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

教科書／テキスト 試験は行わず、平常点で評価します。
教場にてプリント配布。

履修コード	283601
科目名	ロシア語ⅠA
担当者名	<small>おおすか ふみかず</small> 大須賀 史和

講義の到達目標(ねらい) ロシア語人口はまだまだ日本では少ないが、国連の6つの公用語(英語、中国語、スペイン語、フランス語、アラビア語、ロシア語)のうちのひとつである。21世紀は個性化時代。ロシア語をやって他の学生と差異化をはかろう。

講義の内容／授業スケジュール 1～5回：文字と発音、6～10回：ロシア語の簡単な文と名詞の表現、11～15回：動詞を使った文、16～20回：動詞の過去と形容詞などを使った表現、21～25回：色々な動詞表現、26～30回：数詞を使った表現など

準備学習 新しい言語を学ぶ時にもっとも有効で確実な方法は「予習・復習」をすることです。一度学習した内容を「使える」ようにするためです。語学に限らず、何かを勉強したい時にもっとも効果がある方法なので、大学で学ぶためのトレーニングと考えるとよいでしょう。

履修上の留意点 初級段階では辞書が重要です。電子辞書もありますが、説明の詳しい初級用辞書から始める方が安くて効果があります。

成績評価の方法 平常点(5割)と期末試験(5割)で総合的に評価します。

教科書／テキスト 安德ニーナ他『21世紀のロシア語』大学書林

参考書 米重文樹編『パスポート初級ロシア語辞典』白水社

関連リンク <http://www.jade.dti.ne.jp/~osuka/21rus/>

履修コード	283401
科目名	ロシア語 I A
担当者名	佐野 洋子

講義の到達目標(ねらい) この授業は、初めてロシア語を学ぶ人を対象としたクラスで、一年間で、標準ロシア語文を読む上で必要な文法を習得していきます。最終的には、辞書と文法表を用いれば、平易なロシア語文を自力で読める読解力をつけることが本授業の目標です。

講義の内容／授業スケジュール 前期は発音・文法を中心に、後期は訳読を中心に進めていきます。

準備学習 早いうちから辞書に慣れてもらうため、宿題を課します。前期の後半あたりから、予習が必要となります。

履修上の留意点 語学が苦手な人でも、誰でも理解できるよう心がけて説明しますので、気楽に受講してください。まずは文字と音に慣れること、そして文法項目は暗記するのではなく、文法体系を全体から理解・把握することに重点を置いてください。

成績評価の方法 平常点——小テスト、課題の発表、出席状況などを総合して判断します。

教科書／テキスト プリントを配布します。

参考書 『露和辞典』が必要になりますが、初回の授業で説明します。

履修コード	283301
科目名	ロシア語 I A
担当者名	杉山 秀子

講義の到達目標(ねらい) ロシア語は国連の6つの公用語(英語、中国語、スペイン語、ロシア語、フランス語、アラビア語)のうちの一つで、面白い文字を持った独特な言葉です。宇宙では近じかアメリカのスペース・シャトルの引退予定後もロシアのソユーズが堂々40年以上の現役を続投する予定です。ソユーズで行われる宇宙飛行士の訓練用語はすべてロシア語でおこなわれますのでまさに今後も目が離せない注目度の高い言語といえます。

本講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセントや、基本的イントネーションの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。

講義の内容／授業スケジュール 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらビデオを使い更に理解度を深めてもらうようにします。4、5、6月はイントネーションや発音に力点をおき、やさしいロシア語文を声を出して読めるようにします。7、9、10、11、12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

準備学習 複式呼吸に馴れるように心がける。

履修上の留意点 声を大きく出す習慣をつける。

成績評価の方法 背筋を伸ばし、姿勢を正す。

教科書／テキスト 正しい発声のために口の周りの筋肉をゆっくり、大きく動かす運動をあらかじめしておきましょう。

参考書 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

その他の他 『21世紀のロシア語』(大学書林)

博友社『露和辞典』、『コンサイス露和辞典』

最初の授業のときに説明し、実物を見せます。

YeStudy 出来るだけ早く登録をし、個人学習に役立ててください。

履修コード	353901
科目名	ロシア語 I A
担当者名	廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション(ISS)に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年春にも退役予定のためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。

4—9月はイントネーションや発音に力点をおき、10—12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用して学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。

ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。

試験は行わず、平常点で評価します。

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

『露和辞典』

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

外国語

履修コード	303801・303802・303803
科目名	ロシア語 I A [再クラス] ロシア語 I B [再クラス] ロシア語 I C (会話) [再クラス]
担当者名	安徳 ニーナ

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語とともに国連の公用語に指定されていて母語話者は2億6千万人で世界で5番目に多くの人が話します。また、欧州地域でも話者人口が多い言語でもあります。ロシア語を学習することは、学問や芸術の理解を深めるだけでなく、ビジネスなど実用的な見地からも大きな意義があります。

この授業では、ロシア文字の読み方、発音から始まり、基本的な文法と表現の習得を目指します。

教科書に基づいて講義を進めます。

前期(4—7月) 文字と発音、イントネーションなどロシア語の音に慣れることから初め、挨拶、受け答えなどを初級文法を使った簡単な会話を練習します。

後期(9—12月) 初級文法の事項を確認しながら、徐々に語彙を増やしてやや長い文の読み書き、会話の受け答えを学びます。

要点は必ず繰り返し自分で声を出して復習してほしい。

講義の中で時々行う練習問題への取り組み方、日ごろの学習態度など平常点を重視します。

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)

必要に応じてその都度資料を配布します。

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

履修コード	303701・303702・303703		
科目名	ロシア語ⅠA〔再クラス〕	ロシア語ⅠB〔再クラス〕	ロシア語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	木村 英明		

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並び、国連の6つの公用語のひとつに認定されています。また、ユーラシア大陸全域で幅広く通じる言語です。ロシア語の学習を通して、ロシアの政治や経済、文化にアプローチする足がかりを作ると同時に、ますますグローバル化する社会において、コミュニケーションツールとしても、受講者の将来に役立つ言葉の習得を目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

前期(4月-7月)は、キリル文字(ロシア文字)の読み方・書き方と発音、文のイントネーションを集中的に学びながら、挨拶表現や初級の文法を使った短い文を作る練習を重ねます。

後期(9-12月)は前期に学習した項目を復習し、さらに文法項目と語彙の拡充をはかりながら、少しずつ長めの文章を読み、理解できるようにしていきます。実用的でコミュニケーション例文を用い、音声面に十分な注意を払っていくようにします。そのために、時間の許す限り、AV資料も用いたいと思います。

履修上の留意点

受講者には毎回ロシア語を発音してもらいますが、間違いを恐れず、楽しく声を出して授業に参加してください。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

授業の出席と平常の受け答えを重視し、年2回の定期試験の結果も加味して評価します。
『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
『露和辞典』

外国語

履修コード	356601・356602		
科目名	ロシア語ⅠA〔再クラス〕	ロシア語ⅠB〔再クラス〕	
担当者名	杉山 秀子		

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション(ISS)に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが近い将来退役予定なためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。

履修上の留意点

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。

成績評価の方法

4-6月はイントネーションや発音に重点をおき、7-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

教科書／テキスト

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

参 考 書

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。

その他の

ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。

参 考 書

試験は行わず、平常点で評価します。

参 考 書

『21世紀のロシア語』(大学書林)

参 考 書

『露和辞書』

参 考 書

YeStudy 参考にしてください。

履修コード	303501・303502・303503
科目名	ロシア語 I A〔再クラス〕 ロシア語 I B〔再クラス〕 ロシア語 I C(会話)〔再クラス〕
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい)

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

4—7月はイントネーションや発音に力点を置き、9—12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

試験は行わず、平常点で評価します。

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円
『露和辞典』

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

外国語

履修コード	290001
科目名	ロシア語 I A(選)
担当者名	クロチコフ、 Y.

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) 簡単な挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容を聞き取りによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初級文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、受け答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

4-7月は発音やアクセントに重点を置き、9-12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。

出席を重視します。

試験は一週間に一度簡単なテストを行います。

期末試験は行わず、平常点で評価します。

『21世紀のロシア語』の後半

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。その他プリント配布。コンピューター、ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

成績評価の方法
教科書／テキスト

参 考 書

そ の 他

露和辞典(博友社)

コンサイス露和辞典

YeStudyも参考にしてください。

履修コード	284001
科目名	ロシア語ⅠB
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義の到達目標(わらい)

ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並び、国連の6つの公用語のひとつに認定されています。また、欧州地域ではもっとも話者人口の多い言語でもあります。ロシア語の学習を通して、ロシアの政治や経済、文化にアプローチする足がかりを作ると同時に、コミュニケーションツールとして受講者の将来に役立つ言葉の習得を目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。

前期(4月-7月)は、キリル文字(ロシア文字)の読み方・書き方と発音、文のイントネーションを集中的に学びながら、挨拶表現や初級の文法を使った短い文を作る練習を重ねます。

後期(9-12月)は前期に学習した項目を復習し、さらに文法項目と語彙の拡充をはかりながら、少しずつ長めの文章を読み、理解できるようにしていきます。実用的でコミュニケーションな例文を用い、音声面に十分な注意を払っていくようにします。そのために、時間の許す限り、AV資料も用いるようにします。

履修上の留意点

受講者には毎回ロシア語を発音してもらいますが、間違いを恐れず、楽しんで声を出して授業に参加してください。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

授業の出席と平常の受け答えを重視し、定期試験の試験結果も加味して評価します。

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税

『露和辞典』

履修コード	283701
科目名	ロシア語ⅠB
担当者名	廣田 英靖 <small>ひろた ひでやす</small>

講義の到達目標(わらい)

ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション(ISS)に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年春にも退役予定なためロシアの"ソユーズ"だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいようにします。

4-6月は発音、イントネーションに重点をおき、7-12月はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

PC場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。

ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書／テキスト
参 考 書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

『露和辞典』

履修コード	283801
科目名	ロシア語 I B
担当者名	<small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション (ISS) に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年春にも退役予定なためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。

4-6月は発音、イントネーションに重点をおき、7-12月はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。

ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

『露和辞典』

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

成績評価の方法

教科書/テキスト
参 考 書

履修コード	354001
科目名	ロシア語 I B
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション (ISS) に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年春にも退役予定なためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。

4—6月はイントネーションや発音に力点をおき、7—12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用して学習に役立ちます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。

ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますの積極的にアクセスすること。

試験は行わず、平常点で評価します。

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

『露和辞典』

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

外国語

履修コード	290601
科目名	ロシア語 I B (選)
担当者名	きむら ひであき 木村 英明

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は国連の公用語であるだけでなく、欧州地域では最も話者人口の多い言語です。ロシア語の習得は、世界とコミュニケーションするための有効なツールといえます。アジアからヨーロッパにかけて広がるロシアは、100に及ぶ民族を抱え、歴史的、文化的に多様な、世界の縮図のような国家です。ソ連崩壊後の1990年代は社会的にとっても混迷しましたが、今世紀に入ってから再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも確実に高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思います。

講義の内容/
授業スケジュール

この授業では、前期(4月-7月)はロシア文字の読み方・発音、文のイントネーションなど音声面に力を入れながら、挨拶文などを中心に短い日常表現を練習します。後期(9月-12月)では簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用していく予定です。

履修上の留意点

外国語の学習は、その外国語を使う国や人々、文化への関心が継続の意欲につながります。受講者各自が、授業を通じて、それぞれの関心と出会えるような能動的な参加を望みます。

成績評価の方法
教科書/テキスト

試験は行わず、平常点で評価します。

黒田龍之介『ニューエクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

参 考 書

学生の関心に応じて、適宜紹介するようにします。

辞書：白水社パスポート露和辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	291201
科目名	ロシア語Ⅱ (選)
担当者名	クロチコフ、 Y.

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。 以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	ロシア語を通して世界を広げていきましょう。 4-7月 発音・会話を学ぶ。 9-12月 会話力を一層高める。 出席を重視します。
成績評価の方法 教科書／テキスト	試験は一週間に一度簡単なテストを行います。 期末試験は行わず、平常点で評価します。
参 考 書	『21世紀のロシア語』の後半、 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』 大学書林、定価1751円。 その他プリント配布。コンピューター、ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。
そ の 他	露和辞典 (博友社) コンサイス露和辞典 YeStudyも参考にして下さい。

外国語

履修コード	284201
科目名	ロシア語Ⅱ A
担当者名	木村 英明

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、さまざまなトピックを取り上げた文章を講読しながら、ロシア語Ⅰで学習した文法事項を再確認し、さらに中級文法の習得へと歩を進める。たんにロシア語を日本語に置き換えていくだけでなく、国連の公用語として言わば「世界語」であるロシア語を使ってコミュニケーションでできる力を身につけることにも十分留意したい。
講義の内容／ 授業スケジュール	教科書にそって、前期(4月-7月)は自己紹介、ユーモラスな小話、ロシアの地理や天候についてなどの比較的短い文章を、ロシア語Ⅰの初級文法を復習しながら読み進める。後期(9月-12月)はロシアの伝統料理、お伽噺などのやや長い文章に挑戦しながら、中等文法を学んでいく。前後期ともに、実用的な例文を作りながら、文法事項を確認していくことにする。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト	毎回、受講者にはロシア語を発声してもらうので、積極的な参加を望む。 出席と平常点を重視する。
参 考 書	『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。
そ の 他	『露和辞典』 適宜プリント配布を配布する。

履修コード	284301
科目名	ロシア語Ⅱ A
担当者名	杉山 秀子

講義の到達目標(ねらい)	1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
講義の内容／ 授業スケジュール	4月-7月 ○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 9月-12月 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ○中等文法のエッセンスを勉強します。
準 備 学 習	一年で習った初級文法を復習して自分の頭のなかで整理しておこう。
履修上の留意点	1から20までの数はスラスラ言えるように復習しておこう。 出席は重視します。 塵も積もれば山となることわざがあるように少しでも毎日ロシア語にふれるようにする。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席と平常点を重視します。
参 考 書	『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林) 露和辞典は用意して下さい。コンサイスか博友社のものを用意して下さい。『パスポート』は簡潔でいいですが、2年生用には語彙が足りませんので要注意。
そ の 他	プリント配布。教場にて指示します。 YeStudy はかならず目をとおすこと。

履修コード	354101
科目名	ロシア語Ⅱ A
担当者名	<small>ひろた ひでゆき</small> 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文(関係代名詞、形動詞、副動詞など)をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。 授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、またWindowsで日本語ワープロソフトWordを用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。
講義の内容／授業スケジュール	4月、5月、6月、7月—パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、 9月、10月、11月、12月—インターネットによるニュースなどから平易で、興味の持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。
履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用して学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。 『21世紀のロシア語』(大学書林)の後半および 『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,800円
参 考 書	『露和辞書』

外国語

履修コード	304101・304102・304103
科目名	ロシア語Ⅱ A [再クラス] ロシア語Ⅱ B [再クラス] ロシア語Ⅱ C (会話) [再クラス]
担当者名	<small>あんどくにーな</small> 安徳 ニーナ

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は関連の公用語として、英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並び、国際社会で重要な位置を占める言語です。ユーラシア大陸全域で広く通じる言葉でもありEU内でも8番目に多く使用される言語で3千5百万人程の市民がロシア語についてある程度の能力を持っていると言われていています。今後日本人がロシア語を学ぶ意義はますます増大するはずです。 この授業では、ロシア語Ⅰで学習した初級文法をもとに、よりコミュニケーションがとれるロシア語のスキルを高めることを目標とします。 教科書と配布資料に基づいて講義を進めます。
講義の内容／授業スケジュール	前期(4—7月) 日常の会話表現に重点を置きながら、ロシア語Ⅰで習得した文法事項を復習します。 後期(9—12月) 比較的平易なテキストの読解と、その内容についての受け答えを通して会話練習をします。
履修上の留意点	日々の学習の積み重ねが大切です。要点の復習は必ずしてほしい。 繰り返し声を出して復習をすることは語学学習では大切なことです。
成績評価の方法 教科書／テキスト	授業の中で時々行う練習問題や会話練習など、平常の学習態度を重視します。
参 考 書	杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	304001・304002・304003
科目名	ロシア語Ⅱ A [再クラス] ロシア語Ⅱ B [再クラス] ロシア語Ⅱ C (会話) [再クラス]
担当者名	<small>おおすか ふみかず</small> 大須賀 史和

講義の到達目標(ねらい)	発音や初級文法から見直して、きちんとしたロシア語が使えるようにします。
講義の内容／授業スケジュール	1~10回:発音・初級文法の復習、11~15回:初級文法の発展、16~20回:初級文法の完成、21~30回:やさしいロシア語文章の読解
準備学習	新しい言語を学ぶ時にもっとも有効で確実な方法は「予習・復習」をすることです。一度学習した内容を「使える」ようにするためです。語学に限らず、何かを勉強したい時にもっとも効果があるので、そのためのトレーニングと考えるとよいでしょう。
履修上の留意点	言語の学習は少しずつコツコツと行えば、必ず結果がでます。語学学習を通して確実性や安定性を身につけましょう。
成績評価の方法 教科書／テキスト	平常点(5割)と期末試験(5割)で総合的に評価します。 安徳ニーナ他『21世紀のロシア語』大学書林 笹尾道子他『やさしいロシア語読本』大学書林 木村彰一他編『博友社ロシア語辞典』博友社
参 考 書	http://www.jade.dti.ne.jp/~osuka/21rus/
関 連 リ ン ク	

履修コード	303901・303902・303903		
科目名	ロシア語ⅡA〔再クラス〕	ロシア語ⅡB〔再クラス〕	ロシア語ⅡC（会話）〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ、 Y.		

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。 以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
講義の内容／ 授業スケジュール 履修上の留意点	ロシア語を通して世界を広げていきましょう。 4—7月 発音、会話を学ぶ。 9—12月 会話力を一層高める。 出席を重視します。
成績評価の方法 教科書／テキスト	試験は一週間に一度簡単なテストを行います。 期末試験は行わず、平常点で評価します。 『21世紀のロシア語』の後半、 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林 定価1751円、 その他プリント配布。コンピューター、ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。
参 考 書	露和辞典（博友社） コンサイス露和辞典
そ の 他	YeStudyも参考にして下さい。

外国語

履修コード	356701・356702	
科目名	ロシア語ⅡA〔再クラス〕	ロシア語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	杉山 ^{すぎやま} 秀子 ^{ひでこ}	

講義の到達目標(ねらい)	1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。 ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
講義の内容／ 授業スケジュール	○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ○中等文法のエッセンスを勉強をします。 ○4-7月 基礎文法の復習 ○9-12月 中等文法を学び多様なロシア語文に馴れるようにする。
履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席と平常点を重視します。 既習の教科書と文法表。
参 考 書	『露和辞書』
そ の 他	プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284501
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	木村 敦夫

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

新聞記事なり、簡単な読み物なりといった、ロシア語で書かれた文章を読めるようになるう！
基本的に前半15回は文法事項の復習・学習に当て、後半15回で、ロシア語テキストを読みつつ、さらに学習を深めていくこととする。
以下におおよその学習scheduleの目安を示しておく。

- 第1回～3回：名詞の「格変化」
- 第4回～6回：形容詞の「格変化」
- 第7回～9回：動詞の時制（過去形・現在形・未来形）
- 第10回～12回：動詞の「体」（完了体と不完了体）
- 第13回～15回：前置詞、接頭辞

文法の学習とは言え、文法事項をただ並べ立てるだけではない。干からびた文法事項の講義を想定している向き（このシラバスを読んでいきのことだぞ）には、目から鱗が落ちることを確約しておこう。ロシア語の表現の奥深さ、すばらしさを実感できるような授業を展開する。

準備学習
履修上の留意点

第16回～30回：教科書に収録されている話しをいくつか選び出し、各話2～3回ほどで読んでいく。各話に登場する文法事項を再び復習しつつ、各話に登場するロシア文化の解説なども交えて、ロシアの一端に触れていく。諸君も、これで、「ロシア通」だ。
前回までに学習したこと（少なくとも、直前前に学習したこと）を復習して、頭に入れておく。
学習意欲をもって、授業に出ること。（当たり前の話だが）

成績評価の方法

「意欲」さえあれば、無限の可能性を秘めたみんなのことだ、何でもできる!!
授業は、とにかく楽しい。期待していきなさい。
授業に出るのは当たり前。
授業に出て、どれくらい貢献したか（質問なり、コメントなり、なんらかの発表なり）、と、期末試験の成績によって評価を下す。

教科書／テキスト
参考書

授業への貢献とは、具体的にどうすることなのか、なにをどうしたらよいのかは、各自が自分なりに考えて、判断し、実際行動に移してほしい。諸君がどう貢献してくれるか、教員も、楽しみにしているぞ。教員の度肝を抜くようなすばらしい貢献を披露してくれ。
『やさしいロシア語読本：26の短いおはなし』（大学書林）定価1751円
中級以上のロシア語学習には、辞書があったほうがよい。どの辞書がいいかについては授業中に指示する。

その他の

1に「やる気」、2に「熱意」、3に「意欲」、4,5に「楽しい授業」というstepsを経て1年後には、諸君は、ロシア語のexpertだ！

履修コード	284401
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	木村 英明

講義の到達目標(ねらい)

ロシア語は日本の隣国の言葉であることに加えて、国連の公用語として国際社会で広く使われている言葉でもある。この授業では、ロシア語Ⅰで学んだ初級文法事項を再確認し、さらに語彙を増やしながら中級文法の習得を目指す。基本的に講義形式の授業であるが、実用的な例文を用いて文法の練習を行い、コミュニケーションに役立つロシア語が身につくように配慮する。

講義の内容／
授業スケジュール

教科書にそって、前期（4月-7月）は自己紹介、ユーモラスな小話、ロシアの地理や天候についてなどの比較的短い文章を、ロシア語Ⅰの初級文法を復習しながら読み進める。後期（9月-12月）はロシアの伝統料理、お伽噺などのやや長い文章に挑戦しながら、中等文法を学んでいく。前後期ともに、実用的な例文を作りながら、文法事項を確認していくこととする。

履修上の留意点
成績評価の方法

各受講者に毎回ロシア語を発声してもらうが、間違いを恐れず、積極的な参加を望む。
基本的に平常点で評価する。

教科書／テキスト
参考書

『やさしいロシア語読本』（大学書林）。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。
『露和辞典』

その他の

適宜プリントを配布する。

履修コード	354201
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語IBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドート(小話)や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。
講義の内容／授業スケジュール	4月、5月、6月、7月—パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、9月、10月、11月、12月—インターネットによるニュースなどから平易で、興味の持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。
履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。 『21世紀のロシア語』の後半および 『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,800円
参 考 書	『露和辞書』

外国語

履修コード	284701
科目名	ロシア語ⅡD ロシア語ⅡD〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ、 Y.

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
講義の内容／授業スケジュール	ロシア語を通して世界を広げていきましょう。 4-7月 発音、イントネーション 9-12月 文法と会話に力を入れる
履修上の留意点	出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法 教科書／テキスト	期末試験は行わず、平常点で評価します。 『21世紀のロシア語』の後半 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。その他プリント配布。 コンピューター、ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。
参 考 書	露和辞典(博友社) コンサイス露和辞典
そ の 他	YeStudyも参考にして下さい。

履修コード	284801
科目名	ロシア語ⅢA ロシア語ⅢA〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ、 Y.

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。以前に学習した発音、文法、会話の復習。以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
講義の内容／授業スケジュール	以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。 4-7月 会話とイントネーションに力を入れる。 9-12月 応用会話を展開する。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
教科書／テキスト	期末試験は行わず、平常点で評価します。 『21世紀のロシア語』の後半 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。その他プリント配布。
参 考 書	コンピューター、ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。
そ の 他	露和辞典(博友社) コンサイス露和辞典 YeStudyも参考にして下さい。

履修コード	288401
科目名	ロシア語コミュニケーションⅠ
担当者名	<small>あんどく にーな</small> 安徳 ニーナ

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並んで国連の6つの公用語のひとつです。日本の隣国でもあり、日本人がロシア語を学ぶ意義は大きいものがあります。この授業ではロシア語Ⅰ、Ⅱで学んだ文法や語彙を復習しながら、初歩的な会話表現を学習することになります。徐々に平易な文章も読みこなせるようにしていきます。音声に重点を置きながら、実用的なロシア語の習得を目指します。
講義の内容／授業スケジュール	教科書にそって、会話中心の授業を進めます。前期ではロシア語の簡単な受け答えを学び、後期には徐々に長い文章も読み、聞き、話せるようにしていきます。
履修上の留意点	会話中心の授業なので、間違いを恐れずに積極的にロシア語を話してください。
成績評価の方法	通常定期試験は行わず、授業で行う練習問題を主として、学習意欲を参考に、平常点で評価します。
教科書／テキスト	杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)
参 考 書	必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	289201
科目名	ロシア語コミュニケーションⅡ
担当者名	<small>あんどく にーな</small> 安徳 ニーナ

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並んで、国連の6つの公用語のひとつです。日本の隣国の言語でもありながら、日本では授業がない大学がほとんどです。ロシア語を学ぶことは、学生の皆さんの将来にとってもきっと役立つはず。この授業では、平易な日常的話題に始まり、さまざまな社会的な話題についても一定の表現ができることを目指します。徐々に、新聞や雑誌の内容も理解できるようにしていきます。
講義の内容／授業スケジュール	資料にもとづいて、会話練習に重点を置いた授業を進めます。4月から7月の前期の授業では、比較的平易なロシア語の日常会話をモデルに、応用練習を重ねます。9月から12月の後期の授業では、新聞や雑誌の記事などを参考に、より語彙や表現を広げた会話を練習していきます。
履修上の留意点	会話中心の授業なので、間違いを恐れずに、積極的にロシア語を話すようにしてください。
成績評価の方法	通常定期試験は行わず、授業で行う会話練習を主として、学習態度も参考に、平常点で評価します。
教科書／テキスト	新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します(学生の関心対象、希望も考慮します)。学生のレベルにあわせて、その他の資料を用います。
そ の 他	授業の内容に応じ、ビデオ等を使用しつつ、現在のロシアの様子やロシア語についても話をします。

履修コード	287301
科目名	ロシア語スキルアップ
担当者名	クロチコフ、 Y.

講義の到達目標(ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。 会話練習。 簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。 講読した内容について自由会話を行う。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
講義の内容／ 授業スケジュール	4—7月 初歩の会話を学ぶ。 9—12月 会話力を高めながら同時にロシア語の文章の理解力を深める。
履修上の留意点	出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。 期末試験は行わず、平常点で評価します。
成績評価の方法	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。
教科書／テキスト	プリント配布。 学生の要望も考慮してテキストを選びます。コンピューター、 ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。
参 考 書	露和辞典(博友社) コンサイス露和辞典
そ の 他	YeStudyも参考にして下さい。

4. 保 健 体 育 科 目

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	すずき じゆんべい 鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、バレーボール・バスケットボール・バトミントン等の室内競技種目を教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。毎時間ゲームを行い、種目特有の技術・戦術等を体得し、身体運動の楽しさを感じつつ、体力の維持・増進を図ることを主なねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール
1 時限目はオリエンテーションを行う。
2～5 時限目 バスケットボール
6～9 時限目 バレーボール
10～13 時限目 バトミントン
14・15 時限目 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点 運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの清潔な室内用シューズで受講すること。積極的に運動すること。

成績評価の方法 授業に出席して実技を実践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（ジョギング）
担当者名	うちやま まさひろ 内山 雅博

講義の到達目標(ねらい) 健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約30年になろうとしている比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容／
授業スケジュール
1 時限目：諸注意・心拍数測定・体重測定
2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩、12分/kmで歩く）
3 時限目：々
4 時限目：ゆっくりとしたジョギング（時間走、距離走、12分/kmで走る）
5 時限目：々
6 時限目：々
7 時限目：12分間走
8 時限目：ジョギング（10分/kmでの時間走、距離走）
9 時限目：々
10 時限目：々
11 時限目：々
12 時限目：ジョギング（10分/km～6分/kmのペースで自由走）
13 時限目：々
14 時限目：12分間走
15 時限目：まとめ

履修上の留意点 服装：実技のできる服装とする。シューズ：ランニングシューズ、トレーニングシューズに限る。陸上競技用のスパイクシューズはトラック保護の立場から不可とする。

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと。給水を怠らないことなど）ジョギングによって相当量の発汗を伴うための着替えの用意が必要である。

成績評価の方法 出席を重視する。積極性、平常点（授業への参加度）を加味する。

その他の他 雨天時は歩行・走運動のための補助（技術を高める）・補強運動（筋力等を高める）を実施する。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	おおもり 西三郎 大森 西三郎

講義の到達目標(ねらい) ボールを通じたコミュニケーションでの仲間作り、そして、その仲間と楽しみながらサッカーを実施することでの健康作りを目的に実施していきます。具体的な実施内容としては、世界でもっとも愛されているスポーツであるサッカーを楽しむための基本技術（ドリブル、ボールコントロール、キック）トレーニング、また、その習得の場としてミニゲーム（1V1～5V5）を実施し、段階的に11人制のゲームへと発展させて行きます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、事業内容の説明
- 2 時限目：基本技術トレーニング（インサイドキック、リフティング）、ゲーム
- 3 時限目：基本技術トレーニング（1V1の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 4 時限目：基本技術トレーニング（2V2の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 5 時限目：基本技術トレーニング（3V3の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 6 時限目：基本技術トレーニング（4V4の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 7 時限目：基本技術トレーニング（5V5の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 8 時限目：基本技術トレーニング（ゴールキーパーの基礎）、ゲーム
- 9 時限目：基本技術トレーニング（8V8の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 10 時限目：基本技術トレーニング（11V11の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 11 時限目：リーグ戦1
- 12 時限目：リーグ戦2
- 13 時限目：リーグ戦3
- 14 時限目：リーグ戦4
- 15 時限目：リーグ戦5

履修上の留意点

服装：サッカーができる一般的な運動服装とする。
シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること
(取替え式スパイクは使用不可)

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

保健
体育

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	しもやら かつとし 下谷内 勝利

講義の到達目標(ねらい) この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形、簡易ゲーム
- 3 時限目：フォアハンドドライブの打ち方、簡易ゲーム
- 4 時限目：バックハンドの打ち方、簡易ゲーム
- 5 時限目：カットの打ち方、返球の方法、カット&カット、シングルスゲーム
- 6 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 7 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 8～9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方、ダブルスゲームの練習
- 11～13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：スキルテスト
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。用具は貸与するが、持参しても構わない。

成績評価の方法

実技科目であることから授業に出席して、積極的に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。

教科書／テキスト
そ の 他

特に指定はしないが、卓球のルールは予習しておいてもらいたい。
グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい) ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3 時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転・スピード
- 8 時限目：ビデオ学習
- 9 時限目：連続跳び
- 10～15 時限目：応用

履修上の留意点
成績評価の方法

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。
出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習 (空手道)
担当者名	高橋 俊介

講義の到達目標(ねらい) 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	たておか よしあき 館岡 儀秋

講義の到達目標(ねらい) ゴルフゲームは、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである。楽しく・安全に、ラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 週目：オリエンテーション
- 2 週目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）
- 3～5 週目：打撃練習（ピッチングウエッジ・9アイアン）
- 6～8 週目：打撃練習（9アイアン・7アイアン・1ウッド）
- 9～10 週目：打撃練習（アプローチショット）
- 11～12 週目：パッティング（ゴルフコースおよびゴルフクラブの解説）
- 13～14 週目：ラウンドプレー（模擬コース）（マナー、エチケットの解説）
- 15 週目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

保健
体育

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	みつるが よしひろ 光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい) トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

講義の内容／
授業スケジュール

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなど行う。

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

- 1 時限：オリエンテーション
- 2 時限：体力測定
- 3 時限：最大筋力測定
- 4 時限：トレーニング開始
毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。
- 5 時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング
- 6 時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング
- 7 時限：ストレッチ（立位）実行と解説 トレーニング
- 8 時限：ストレッチ（座位）実行と解説 トレーニング
- 9 時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング
- 10 時限：トレーニング
- 11 時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング
- 12 時限：トレーニング
- 13 時限：トレーニング・最大筋力測定
- 14 時限：体力測定
- 15 時限：まとめ

<授業の内容は前後する場合があります。>

履修上の留意点

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録用紙に記入）、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

そ の 他

器具の足りないトレーニング方法（一人で、対人で）などを講義する。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	柳 浩二郎 <small>やなぎ こうじろう</small>

講義の到達目標(ねらい)	「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操を実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）の習得をめざす。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2時限目～3時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4時限目～6時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10時限目：鉄棒、トランポリン／ 11時限目～14時限目：発展技の練習、自主練習／ 15時限目：まとめと評価
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。
成績評価の方法	成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はの中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。
その他	授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ（DVD）を観る。

保健
体育

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	下谷内 勝利 <small>しもやち かつとし</small>

講義の到達目標(ねらい)	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形、簡易ゲーム 3時限目：フォアハンドドライブの打ち方、簡易ゲーム 4時限目：バックハンドの打ち方、簡易ゲーム 5時限目：カットの打ち方、返球の方法、カット&カット、シングルスゲーム 6時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 7時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 8～9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームのやり方、ダブルスゲームの練習 11～13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：スキルテスト 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。用具は貸与するが、持参しても構わない。
成績評価の方法	実技科目であることから授業に出席して、積極的に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。
教科書／テキスト	特に指定はしないが、卓球のルールは予習しておいてもらいたい。
その他	グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	内山 <small>うちやま まるひろ</small> 雅博

講義の到達目標(ならい)	ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。また高等学校の体育実技の授業においては、3学年の選択授業の種目として取り上げられることが多い。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。また、「レクリエーションの延長として気軽に実施出来る種目」として実践するとともに、危険の予知・防止能力、安全管理能力を高めるよう努力したい。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他） 2 時限目： 3 時限目：試合（勝ち点制） 4 時限目： 5 時限目： 6 時限目： 7 時限目： 8 時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審） 9 時限目： 10 時限目：試合（勝ち点制） 11 時限目： 12 時限目： 13 時限目： 14 時限目： 15 時限目：まとめ
履修上の留意点	用具：貸与する。（各自の用具を持参することも許可する）服装：ユニフォームの着用の必要はないが、実技のできる服装とする。シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは人工芝保護の立場から不可。
成績評価の方法 そ の 他	出席を重視する。積極性、平常点、試合毎の勝ち点も加えて評価する。 雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。また、施設使用の条件によっては、他のスポーツ種目、トレーニング等を行う。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 淳一 <small>えぐち じゆんいち</small>

講義の到達目標(ねらい)

テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。

また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。

さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1：オリエンテーション、授業目標の説明
- 2：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5：フォアハンド・バックハンドボレー
- 6：スマッシュ、サーブの基本技術
- 7：ラリーの応用練習
- 8～10：半面でのシングルスゲーム
- 11：ダブルスのルールと戦術
- 12～14：ダブルスのゲーム
- 15：まとめ

準備学習：体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。

履修上の留意点

- ①履修者の技術レベルは問わない。
- ②服装は一般的な運動服装とする。
- ③ラケットは貸与する。

成績評価の方法
その他

出席状況、授業参加態度、運動参加状況、技術習熟度などから総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である

保健
体育

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	大森 西三郎 <small>おおもり せいざぶろう</small>

講義の到達目標(ねらい)

ボールを通じたコミュニケーションでの仲間作り、そして、その仲間と楽しみながらサッカーを実施することでの健康作りを目的に実施していきます。具体的な実施内容としては、世界でもっとも愛されているスポーツであるサッカーを楽しむための基本技術（ドリブル、ボールコントロール、キック）トレーニング、また、その習得の場としてミニゲーム（1V1～5V5）を実施し、段階的に11人制のゲームへと発展させて行きます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、事業内容の説明
- 2時限目：基本技術トレーニング（インサイドキック、リフティング）、ゲーム
- 3時限目：基本技術トレーニング（1V1の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 4時限目：基本技術トレーニング（2V2の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 5時限目：基本技術トレーニング（3V3の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 6時限目：基本技術トレーニング（4V4の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 7時限目：基本技術トレーニング（5V5の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 8時限目：基本技術トレーニング（ゴールキーパーの基礎）、ゲーム
- 9時限目：基本技術トレーニング（8V8の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 10時限目：基本技術トレーニング（11V11の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 11時限目：リーグ戦1
- 12時限目：リーグ戦2
- 13時限目：リーグ戦3
- 14時限目：リーグ戦4
- 15時限目：リーグ戦5

履修上の留意点

服装：サッカーができる一般的な運動服装とする。

シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること
(取替え式スパイクは使用不可)

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（簡化太極拳）
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい) 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分そう・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右とう脚・双峰貫耳・轉身左とう脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身撒らん捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11～14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

服装：上下とも身軽に動きやすいものがよい。基本的に裸足で行うが、シューズを用意しても構わない。

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

保健
体育

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、バレーボール・バスケットボール・バトミントン等の室内競技種目を教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。毎時間ゲームを行い、種目特有の技術・戦術等を体得し、身体運動の楽しさを感じつつ、体力の維持・増進を図ることを主なねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目はオリエンテーションを行う。
- 2～5 時限目 バスケットボール
- 6～9 時限目 バレーボール
- 10～13 時限目 バトミントン
- 14・15 時限目 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点

運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの清潔な室内用シューズで受講すること。積極的に運動すること。

成績評価の方法

授業に出席して実技を実践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	たかはし しゆんすけ 高橋 俊介

講義の到達目標(ねらい)

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

保健
体育

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

講義の内容／
授業スケジュール

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなど行う

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

1 時限：オリエンテーション

2 時限：体力測定

3 時限：最大筋力測定

4 時限：トレーニング開始

毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。

5 時限：有酸素運動と心拍数の関係の解説 トレーニング

6 時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング

7 時限：ストレッチ（立位）実行と解説 トレーニング

8 時限：ストレッチ（座位）実行と解説 トレーニング

9 時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング

10 時限：トレーニング

11 時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング

12 時限：トレーニング

13 時限：トレーニング・最大筋力測定

14 時限：体力測定

15 時限：まとめ

<授業の内容は前後する場合があります。>

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内用）を用意すること。

出席、トレーニング内容（毎時間記録用紙に記入）、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

履修上の留意点

成績評価の方法

その他

器具のいないトレーニング方法（一人で、対人で）などを講義する。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい)

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操を実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）の習得をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2 時限目～3 時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4 時限目～6 時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7 時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8 時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9 時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10 時限目：鉄棒、トランポリン／ 11 時限目～14 時限目：発展技の練習、自主練習／ 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。

成績評価の方法

成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ（DVD）を観る。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	みつなが よしてき 光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

講義の内容／
授業スケジュール

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなど行う。

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

- 1 時限：オリエンテーション
 - 2 時限：体力測定
 - 3 時限：最大筋力測定
 - 4 時限：トレーニング開始
毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。
 - 5 時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング
 - 6 時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング
 - 7 時限：ストレッチ（立位）実行と解説 トレーニング
 - 8 時限：ストレッチ（座位）実行と解説 トレーニング
 - 9 時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング
 - 10 時限：トレーニング
 - 11 時限：『せほね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング
 - 12 時限：トレーニング
 - 13 時限：トレーニング・最大筋力測定
 - 14 時限：体力測定
 - 15 時限：まとめ
- <授業の内容は前後する場合があります。>

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内用）を用意すること。
出席、トレーニング内容（毎時間記録用紙に記入）、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

その他の他

器具のいらないトレーニング方法（一人で、対人で）などを講義する。

保健
体育

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（ジョギング）
担当者名	うちやま ままひろ 内山 雅博

講義の到達目標(ねらい) 健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約30年になろうとしている比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：諸注意・心拍数測定・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩、12分/kmで歩く）
- 3 時限目：ク
- 4 時限目：ゆっくりとしたジョギング（時間走、距離走、12分/kmで走る）
- 5 時限目：ク
- 6 時限目：ク
- 7 時限目：12分間走
- 8 時限目：ジョギング（10分/kmでの時間走、距離走）
- 9 時限目：ク
- 10 時限目：ク
- 11 時限目：ク
- 12 時限目：ジョギング（10分/km～6分/kmのペースで自由走）
- 13 時限目：ク
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装：実技のできる服装とする。シューズ：ランニングシューズ、トレーニングシューズに限る。陸上競技用のスパイクシューズはトラック保護の立場から不可とする。

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと。給水を怠らないことなど）ジョギングによって相当量の発汗を伴うための着替えの用意が必要である。

成績評価の方法
そ の 他

出席を重視する。積極性、平常点（授業への参加度）を加味する。

雨天時は歩行・走運動のための補助（技術を高める）・補強運動（筋力等を高める）を実施する。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	えぐち じゅんいち 江口 淳一

講義の到達目標(ねらい) テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。

また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。

さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1：オリエンテーション、授業目標の説明
- 2：ラケットイング、ボレー、ミニストローク
- 3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5：フォアハンド・バックハンドボレー
- 6：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7：ラリーの応用練習
- 8～10：半面でのシングルスゲーム
- 11：ダブルスのルールと戦術
- 12～14：ダブルスのゲーム
- 15：まとめ

準備学習：体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。

履修上の留意点

- ① 履修者の技術レベルは問わない。
- ② 服装は一般的な運動服装とする。
- ③ ラケットは貸与する。

成績評価の方法
その他の

出席状況、授業参加態度、運動参加状況、技術習熟度などから総合的に判断する。
雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習 (サッカー)
担当者名	おおもり ゆうごろう 大森 西三郎

講義の到達目標(ねらい) ボールを通じたコミュニケーションでの仲間作り、そして、その仲間と楽しみながらサッカーを実施することでの健康作りを目的に実施していきます。具体的な実施内容としては、世界でもっとも愛されているスポーツであるサッカーを楽しむための基本技術（ドリブル、ボールコントロール、キック）トレーニング、また、その習得の場としてミニゲーム（1V1～5V5）を実施し、段階的に11人制のゲームへと発展させて行きます。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、事業内容の説明
- 2時限目：基本技術トレーニング（インサイドキック、リフティング）、ゲーム
- 3時限目：基本技術トレーニング（1V1の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 4時限目：基本技術トレーニング（2V2の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 5時限目：基本技術トレーニング（3V3の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 6時限目：基本技術トレーニング（4V4の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 7時限目：基本技術トレーニング（5V5の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 8時限目：基本技術トレーニング（ゴールキーパーの基礎）、ゲーム
- 9時限目：基本技術トレーニング（8V8の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 10時限目：基本技術トレーニング（11V11の攻防での技術・戦術）、ゲーム
- 11時限目：リーグ戦1
- 12時限目：リーグ戦2
- 13時限目：リーグ戦3
- 14時限目：リーグ戦4
- 15時限目：リーグ戦5

履修上の留意点

服装：サッカーができる一般的な運動服装とする。
シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること
(取替え式スパイクは使用不可)

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	下谷内 勝利 <small>しもやち かつとし</small>

講義の到達目標(ねらい)	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形、簡易ゲーム 3 時限目：フォアハンドドライブの打ち方、簡易ゲーム 4 時限目：バックハンドの打ち方、簡易ゲーム 5 時限目：カットの打ち方、返球の方法、カット&カット、シングルスゲーム 6 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 7 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 8～9 時限目：シングルスゲーム 10 時限目：ダブルスゲームのやり方、ダブルスゲームの練習 11～13 時限目：ダブルスゲーム 14 時限目：スキルテスト 15 時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。用具は貸与するが、持参しても構わない。
成績評価の方法	実技科目であることから授業に出席して、積極的に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。
教科書／テキスト その他	特に指定はしないが、卓球のルールは予習しておいてもらいたい。 グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（キックボクササイズ）
担当者名	末次 美樹 <small>すえつぐ みき</small>

講義の到達目標(ねらい)	キックボクササイズとは、キックボクシング・ボクシング・空手道・ムエタイ・マーシャルアーツなどの動きを取り入れ、アップスピードな曲と動きを一体化する運動である。持久力強化・腹筋強化・シェイプアップなどに効果があり、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション 2 時限目：拳の握り方、基本姿勢の説明 3 時限目：ストレート、フック、アッパーの練習 4 時限目：キックの練習 5 時限目：コンビネーション 6 時限目：フットワークの練習 7 時限目：コンビネーション（音楽に合わせる） 8～14 時限目：総合 15 時限目：まとめ
履修上の留意点	服装：上下とも動きやすいものが良い。裸足でも良いが、なるべくシューズ（室内専用）があったほうが良い。
成績評価の方法	出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゆんぺい</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、バレーボール・バスケットボール・バトミントン等の室内競技種目を教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。毎時間ゲームを行い、種目特有の技術・戦術等を体得し、身体運動の楽しさを感じつつ、体力の維持・増進を図ることを主なねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目はオリエンテーションを行う。 2～5 時限目 バスケットボール 6～9 時限目 バレーボール 10～13 時限目 バトミントン 14・15 時限目 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの清潔な室内用シューズで受講すること。積極的に運動すること。
成績評価の方法	授業に出席して実技を実践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 ^{たかはし} 俊介 ^{しゅんすけ}

講義の到達目標(ねらい)

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技を掛け合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

保健
体育

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	館岡 ^{たねおか} 儀秋 ^{よしか}

講義の到達目標(ねらい)

ゴルフゲームは、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである。楽しく・安全に、ラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 週目：オリエンテーション
- 2 週目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）
- 3～5 週目：打撃練習（ピッチングウエッジ・9アイアン）
- 6～8 週目：打撃練習（9アイアン・7アイアン・1ウッド）
- 9～10 週目：打撃練習（アプローチショット）
- 11～12 週目：パッティング（ゴルフコースおよびゴルフクラブの解説）
- 13～14 週目：ラウンドプレー（模擬コース）（マナー、エチケットの解説）
- 15 週目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	たかはし しゆんすけ 高橋 俊介

講義の到達目標(ねらい) 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）
担当者名	いわもと てつや 岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい) ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成りたっている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係作りを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10 時限目～14 時限目：ゲーム
- 15 時限目：まとめ

※受講者数によっては卓球に変更する。

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
評価は出席点 70%、総合評価 30%で行う。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	えぐち じゅんいち 江口 淳一

講義の到達目標(ねらい)	<p>テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。</p> <p>本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。</p> <p>また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。</p> <p>さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>1：オリエンテーション、授業目標の説明</p> <p>2：ラケットイング、ボレー、ミニストローク</p> <p>3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>5：フォアハンド・バックハンドボレー</p> <p>6：スマッシュ、サービスの基本技術</p> <p>7：ラリーの応用練習</p> <p>8～10：半面でのシングルスゲーム</p> <p>11：ダブルスのルールと戦術</p> <p>12～14：ダブルスのゲーム</p> <p>15：まとめ</p>
履修上の留意点	<p>準備学習：体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。</p> <p>①履修者の技術レベルは問わない。</p> <p>②服装は一般的な運動服装とする。</p> <p>③ラケットは貸与する。</p>
成績評価の方法 その他	<p>出席状況、授業参加態度、運動参加状況、技術習熟度などから総合的に判断する。</p> <p>雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である</p>

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	すずき じゅんぺい 鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい)	<p>ゴルフゲームは、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである。楽しく・安全に、ラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>1週目：ガイダンス</p> <p>2週目：ゴルフスイングの基礎（グリッパ、アドレス、スイング）</p> <p>3～5週目：打撃練習（ピッチングウエッジ・9アイアン）</p> <p>6～8週目：打撃練習（9アイアン・7アイアン・1ウッド）</p> <p>9～10週目：打撃練習（アプローチショット）</p> <p>11～12週目：パッティング（ゴルフコースおよびゴルフクラブの解説）</p> <p>13～14週目：ラウンドプレー（模擬コース）（マナー、エチケットの解説）</p> <p>15週目：実技テスト</p>
履修上の留意点	<p>1. 服装は、一般的な運動服装とする。</p> <p>2. シューズは、運動靴とする。</p> <p>3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。</p>
成績評価の方法	<p>授業に出席して実技を実践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。</p>

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	たておか よしあき 館岡 儀秋

講義の到達目標(ねらい)	ソフトボールにおける「打つ」「捕る」「投げる」といった基本動作を習得し、ゲームを中心とした実践練習でゲームの進め方、ルールを学習する。また、授業を通じて生涯スポーツの基盤を築き、豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 週目：オリエンテーション、授業内容の説明 2～3 週目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、ゲーム 4～5 週目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム 6～9 週目：総合練習、ゲーム 10～14 週目：ゲーム（リーグ戦1） 15 週目：実技テスト
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装とする。 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズ可。スパイクは不可とする。
成績評価の方法	授業に出席して実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。
その他	雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

保健
体育

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明 (バスケットボール) 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ） 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ） 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1次リーグ） 6 時限目：フルコート3対2、ゲーム（2次リーグ） 7 時限目：フルコート4対3、ゲーム（2次リーグ） 8 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ） 9 時限目：ハーフコート4対4、ゲーム（2次リーグ） (バドミントン) 10 時限目：ラケットイング、ストロークの基本技術、ドライブ 11 時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム 12 時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム 13 時限目：サービス、ロブ、ブッシュ、シングルスゲーム 14 時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム 15 時限目：ダブルスゲーム
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	山口 <small>やまぐち よしのぶ</small> 良博

講義の到達目標(ねらい)	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 オリエンテーション、授業内容の説明 第2回 フォアハンドのストローク、フォアハンドゲーム 第3～5回 フォアハンド、バックハンドのストローク、スマッシュ、シングルスゲーム 第6～8回 カットの打ち方と返球、シングルスゲーム（リーグ戦） 第9～11回 ダブルスでの攻防、ダブルスゲームの練習 第12～15回 ダブルスゲーム（リーグ戦）
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。ラケットは貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	鈴木 <small>すずき じゆんべい</small> 淳平

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、バレーボール・バスケットボール・バトミントン等の室内競技種目を教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。毎時間ゲームを行い、種目特有の技術・戦術等を体得し、身体運動の楽しさを感じつつ、体力の維持・増進を図ることを主なねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目はオリエンテーションを行う。 2～5時限目 バスケットボール 6～9時限目 バレーボール 10～13時限目 バトミントン 14・15時限目 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの清潔な室内用シューズで受講すること。積極的に運動すること。
成績評価の方法	授業に出席して実技を実践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性を総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	秋田 <small>あきた こういち</small> 浩一

講義の到達目標(ねらい)	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の楽しさを知ってもらいたい。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎を築くことを目的としたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容及び服装等の説明 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11～13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：スキルテスト 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。実技点は実技テストにて判定する。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	岩本 ^{いわもと} 哲也 ^{てつや}

講義の到達目標(ねらい)	サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2 時限目：リフティング、インサイドキック、ゲーム 3 時限目：インサイドキック、トラッピング、ゲーム 4 時限目：浮き球のトラッピング、ゲーム 5 時限目：インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム 6 時限目：インフロントキック、ゲーム 7 時限目：オフサイドルールの理解、ゲーム 8～10 時限目：基本技術の応用1・2・3、ゲーム 11～15 時限目：ゲーム（リーグ戦）
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装とする。 シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること （取替え式スパイクは不可）
成績評価の方法	評価は、出席点 70 点、実技点 20 点、平常点 10 点とする。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 ^{えぐち} 淳一 ^{じゆんいち}

講義の到達目標(ねらい)	テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。 本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。 また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。 さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	1：オリエンテーション、授業目標の説明 2：ラケットティング、ボレー、ミニストローク 3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術 4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術 5：フォアハンド・バックハンドボレー 6：スマッシュ、サービスの基本技術 7：ラリーの応用練習 8～10：半面でのシングルスゲーム 11：ダブルスのルールと戦術 12～14：ダブルスのゲーム 15：まとめ
履修上の留意点	準備学習：体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。 ①履修者の技術レベルは問わない。 ②服装は一般的な運動服装とする。 ③ラケットは貸与する。
成績評価の方法 その他	出席状況、授業参加態度、運動参加状況、技術習熟度などから総合的に判断する。 雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	みつなが ましてる 光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなど行う

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

1 時限：オリエンテーション

2 時限：体力測定

3 時限：最大筋力測定

4 時限：トレーニング開始

毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。

5 時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング

6 時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング

7 時限：ストレッチ（立位）実行と解説 トレーニング

8 時限：ストレッチ（座位）実行と解説 トレーニング

9 時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング

10 時限：トレーニング

11 時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング

12 時限：トレーニング

13 時限：トレーニング・最大筋力測定

14 時限：体力測定

15 時限：まとめ

<授業の内容は前後する場合があります。>

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内用）を用意すること。

出席、トレーニング内容（毎時間記録用紙に記入）、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

履修上の留意点

成績評価の方法

その他

器具のいないトレーニング方法（一人で、対人で）などを講義する。

保健体育

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	やなぎ こうじろう 柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい)

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操を実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）の習得をめざす。

講義の内容／

授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2 時限目～3 時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4 時限目～6 時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7 時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8 時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9 時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10 時限目：鉄棒、トランポリン／ 11 時限目～14 時限目：発展技の練習、自主練習／ 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。

成績評価の方法

成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ（DVD）を観る。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	まさの しげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい) バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1次リーグ）
- 6 時限目：フルコート3対2、ゲーム（2次リーグ）
- 7 時限目：フルコート4対3、ゲーム（2次リーグ）
- 8 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 9 時限目：ハーフコート4対4、ゲーム（2次リーグ）
(バドミントン)
- 10 時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11 時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12 時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13 時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム
- 14 時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15 時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。
評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の楽しさを知ってもらいたい。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎を築くことを目的としたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11～13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：スキルテスト
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。実技点は実技テストにて判定する。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、空手道の基本・形・組手を修得し、身体各部を有効かつ均等に使い、様々な技を身につけることを目的としている。突き・蹴り・受けなど技は、護身術としての力も発揮するため、自分の身体を自分で護る護身術にも繋がっていく。また、それらの技を反復し行うことで、自然と正しい姿勢、呼吸法などが身につくため、現在および将来の健康の保持増進が期待できる授業である。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受 6～8時限目：総合的に反復する 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手、形（平安初段） 10時限目～14時限目：総合的に反復する 15時限目：実技試験
履修上の留意点	服装：上下共に、動きやすい服装（一般的なスポーツウエア）を用意する。空手道衣を持っている者は着用する。シューズは履かず、裸足で行う。
成績評価の方法	出席率、授業への参加意欲、授業態度、実技試験などで、総合的に評価する。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい)	トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。
講義の内容／ 授業スケジュール	近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。 初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなど行う。 ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。
履修上の留意点	1時限：オリエンテーション 2時限：体力測定 3時限：最大筋力測定 4時限：トレーニング開始 毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。 5時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング 6時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング 7時限：ストレッチ（立位）実行と解説 トレーニング 8時限：ストレッチ（座位）実行と解説 トレーニング 9時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング 10時限：トレーニング 11時限：『せばね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング 12時限：トレーニング 13時限：トレーニング・最大筋力測定 14時限：体力測定 15時限：まとめ <授業の内容は前後する場合があります。> 服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内用）を用意すること。
成績評価の方法	出席、トレーニング内容（毎時間記録用紙に記入）、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。
その他の	器具のいないトレーニング方法（一人で、対人で）などを講義する。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	やなぎ こうじろう 柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい)	「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操を実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）の習得をめざす。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2時限目～3時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4時限目～6時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10時限目：鉄棒、トランポリン／ 11時限目～14時限目：発展技の練習、自主練習／ 15時限目：まとめと評価
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。
成績評価の方法	成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。
その他	授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ（DVD）を観る。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	やまぐち よしひろ 山口 良博

講義の到達目標(ねらい)	ソフトボールを行うための「投げる」「捕る」「打つ」といった基礎技術の習得を目指し、ゲームを中心とした実践練習においてルール等ゲームの進め方を学習する。 また、毎時間ゲームを行うことにより、チームプレーを通して協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	第1回 オリエンテーション、授業内容の説明 第2～4回 キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 第5～7回 シートノック、フリーバッティング、ゲーム 第8～9回 総合練習、ゲーム 第10～15回 ゲーム（リーグ戦）
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（スパイクは不可）の着用を厳守すること。用具は貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。
その他	雨天時でも、室内にて運動する場合がありますので、常に運動着は準備すること。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 淳一 <small>えぐち じゆんいち</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。</p> <p>本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。</p> <p>また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。</p> <p>さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>1：オリエンテーション、授業目標の説明</p> <p>2：ラケットイング、ボレー、ミニストローク</p> <p>3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>5：フォアハンド・バックハンドボレー</p> <p>6：スマッシュ、サービスの基本技術</p> <p>7：ラリーの応用練習</p> <p>8～10：半面でのシングルスゲーム</p> <p>11：ダブルスのルールと戦術</p> <p>12～14：ダブルスのゲーム</p> <p>15：まとめ</p>
履修上の留意点	<p>準備学習：体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。</p> <p>①履修者の技術レベルは問わない。</p> <p>②服装は一般的な運動服装とする。</p> <p>③ラケットは貸与する。</p>
成績評価の方法 その他	<p>出席状況、授業参加態度、運動参加状況、技術習熟度などから総合的に判断する。</p> <p>雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。</p>

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゆんぺい</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>ゴルフゲームは、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである。楽しく・安全に、ラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>1週目：ガイダンス</p> <p>2週目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）</p> <p>3～5週目：打撃練習（ピッチングウエッジ・9アイアン）</p> <p>6～8週目：打撃練習（9アイアン・7アイアン・1ウッド）</p> <p>9～10週目：打撃練習（アプローチショット）</p> <p>11～12週目：パッティング（ゴルフコースおよびゴルフクラブの解説）</p> <p>13～14週目：ラウンドプレー（模擬コース）（マナー、エチケットの解説）</p> <p>15週目：実技テスト</p>
履修上の留意点	<p>1. 服装は、一般的な運動服装とする。</p> <p>2. シューズは、運動靴とする。</p> <p>3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。</p>
成績評価の方法	<p>授業に出席して実技を实践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。</p>

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	たかはし しのぶ 高橋 俊介

講義の到達目標(ねらい) 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点 服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
成績評価の方法 授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	たておか よしあき 館岡 儀秋

講義の到達目標(ねらい) ソフトボールにおける「打つ」「捕る」「投げる」といった基本動作を習得し、ゲームを中心とした実践練習でゲームの進め方、ルールを学習する。また、授業を通じて生涯スポーツの基盤を築き、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 週目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2～3 週目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、ゲーム
- 4～5 週目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム
- 6～9 週目：総合練習、ゲーム
- 10～14 週目：ゲーム（リーグ戦Ⅰ）
- 15 週目：実技テスト

履修上の留意点 服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：ランニングシューズ、アップシューズ可。スパイクは不可とする。
成績評価の方法 授業に出席して実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。
その他 雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	やまぐち よしひろ 山口 良博

講義の到達目標(ねらい) バスケットボール、バレーボール、バドミントンを中心に、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。

さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション、授業内容の説明
- 第2～5回 バスケットボール（基礎練習、ゲーム）
- 第6～9回 バレーボール（基礎練習、ゲーム）
- 第10～13回 バドミントン（基礎練習、ゲーム）
- 第14～15回 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点 スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（十足厳禁）。
成績評価の方法 授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195101
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	秋田 浩一

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の楽しさを知ってもらいたい。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎を築くことを目的としたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ (3 球目)、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11～13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：スキルテスト
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること (土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点 70 点、実技点 20 点、平常点 10 点とする。実技点は実技テストにて判定する。

保健体育

履修コード	195101
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	坂尾 知昭

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、バレーボール・バスケットボール・バドミントン等の室内で行なわれる種目を教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。基本的に毎時間ゲームを行い、各種目特有の技術・戦術の体得、体力の維持増進、身体運動の楽しさの体感を主なねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目はガイダンスを行う。
- 2～5 時限目 バスケットボール
- 6～9 時限目 バレーボール
- 10～13 時限目 バドミントン
- 14・15 時限目 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点

授業出席を重視します。遅刻や欠席をせず、且つ積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアを着用し、凹凸の少ないフラットなソールの“清潔な”室内用シューズで受講してください。

成績評価の方法

出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の 80% とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。

履修コード	195101
科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング)
担当者名	柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい) トレーニングは、特定の運動によって体の運動遂行能力を向上させることである。近年、科学の著しい発展に伴う社会環境の変化により、日常生活における筋肉運動量が減り、さらには栄養の過剰摂取による肥満傾向もみられ、日々の身体運動の必要性が盛んに論じられている。授業におけるトレーニングでは、その目的を明確にしながら、筋力や持久力、瞬発力の計画的な向上を図り、生涯にわたり自分の体力を維持・向上するための方法を知ることがねらいとされる。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の説明、体力測定 / 2 時限目～3 時限目：カイザーカム II による最大筋力の測定 / 4 時限目～7 時限目：トレーニング開始 (毎時間、最大筋力の 1 / 3～2 / 3 の負荷を選定して 5～8 種類のマシンを利用したトレーニングを 2～3 セット行う) / 8 時限目～11 時限目：負荷のアップ (男子は 2 kg、女子は 1 kg アップ) / 12 時限目～14 時限目：負荷のアップ (男子は 2 kg、女子は 1 kg アップ) / 15 時限目： 体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なトレーニングウェア、スポーツウェアとする。シューズは、室内用シューズを用意すること。

成績評価の方法

講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点 70%、実技点 30% で評価を行う。実技点には、トレーニング内容や態度も含めて評価する。

履修コード	195201
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の楽しさを知ってもらいたい。また、スポーツの中で最も簡単だとされるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎を築くことを目的とした。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11～13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：スキルテスト
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点 70 点、実技点 20 点、平常点 10 点とする。実技点は実技テストにて判定する。

保健
体育

履修コード	195201
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	いわもと てつや 岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容／
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2・3 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の 1 / 3～2 / 3 の負荷を各自で選び 5～8 種類のマシンを、2～3 セット行なう
- 5～7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は 2 kg up、女子は 1 kg up
- 9～11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は 2 kg up、女子は 1 kg up
- 13・14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席点 70%、実技点 30%とする。実技点はトレーニング内容（毎時間記録する）。授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

履修コード	195201
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	坂尾 知昭 <small>さかお ちろあき</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、バレーボール・バスケットボール・バトミントン等の室内で行なわれる種目を教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。基本的に毎時間ゲームを行い、各種目特有の技術・戦術の体得、体力の維持増進、身体運動の楽しさの体感を主なねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目はガイダンスを行う。 2～5時限目 バスケットボール 6～9時限目 バレーボール 10～13時限目 バトミントン 14・15時限目 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	授業出席を重視します。遅刻や欠席をせず、且つ積極的に運動することを心がけること。運動に適した一般的なスポーツウェアを着用し、凹凸の少ないフラットなソールの“清潔な”室内用シューズで受講すること。
成績評価の方法	出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	舘岡 儀秋 <small>たておか ぎあき</small>

講義の到達目標(ねらい)	ゴルフゲームは、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである。楽しく・安全に、ラウンドプレーをする為の基礎知識、技術、およびマナーを身につける。
講義の内容／ 授業スケジュール	1週目：オリエンテーション 2週目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）たておか よしあき3～5週目： 打撃練習（ピッチングウエッジ・9アイアン） 6～8週目：打撃練習（9アイアン・7アイアン・1ウッド） 9～10週目：打撃練習（アプローチショット） 11～12週目：バッティング（ゴルフコースおよびゴルフクラブの解説） 13～14週目：ラウンドプレー（模擬コース）（マナー、エチケットの解説） 15週目：実技テスト
履修上の留意点	1. 服装は、一般的な運動服装とする。 2. シューズは、運動靴とする。 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。
成績評価の方法	授業に出席して実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。
そ の 他	雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボール、バドミントンなどを教材とし、各種目を楽しむための基本技術やルールを学び、各種目の理解を深める。また、ゲームを通して健康・体力を維持し、豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 (バスケットボール) 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、ゲーム 3時限目：パス（チェスト、オーバー、アンダー、バウンドパス）、ゲーム 4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム 5・6時限目：ゲーム(リーグ戦1・2) (バドミントン) 7時限目：グリップの理解、ストロークの基本技術、ゲーム 8時限目：サーブ、スマッシュ、ゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲーム 11時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム 12時限目：パス、トラップ、シュート 13時限目：基本技術の応用、ゲーム 14時限目：ゲーム(リーグ戦1・2)
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装とする。 シューズ：必ず体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	坂尾 知昭

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、身体運動学習の教材として卓球を用い、技術・戦術を体得し、同時に体力の維持増進を図ることを主なねらいとする。基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係の構築を副次的なねらいとする。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目はガイダンスを行う。 2～5時限目 基礎技術・戦術練習、基本的な戦略についての学習 6～9時限目 応用技術・戦術練習、リーグ戦、審判法の習得 10～13時限目 複合技術・戦術練習、リーグ戦、試合運営の習得 14・15時限目 総合練習、リーグ戦
履修上の留意点	運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの室内用シューズで受講すること。遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動すること。
成績評価の方法	出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加算評価する。

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい)	トレーニングは、特定の運動によって体の運動遂行能力を向上させることである。近年、科学の著しい発展に伴う社会環境の変化により、日常生活における筋肉運動量が減り、さらには栄養の過剰摂取による肥満傾向もみられ、日々の身体運動の必要性が盛んに論じられている。授業におけるトレーニングでは、その目的を明確にしながら、筋力や持久力、瞬発力の計画的な向上を図り、生涯にわたり自分の体力を維持・向上するための方法を知ることがねらいとされる。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業の説明、体力測定／ 2時限目～3時限目：カイザーカムIIによる最大筋力の測定／ 4時限目～7時限目：トレーニング開始（毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を選定して5～8種類のマシンを利用したトレーニングを2～3セット行う）／ 8時限目～11時限目：負荷のアップ（男子は2kg、女子は1kgアップ）／ 12時限目～14時限目：負荷のアップ（男子は2kg、女子は1kgアップ）／ 15時限目： 体力測定、まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なトレーニングウェア、スポーツウェアとする。シューズは、室内用シューズを用意すること。
成績評価の方法	講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。実技点には、トレーニング内容や態度も含めて評価する。

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 淳一 <small>えぐち じゆんいち</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。</p> <p>本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と態度を養うことを目標とする。</p> <p>また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。</p> <p>さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>1：オリエンテーション、授業目標の説明</p> <p>2：ラケットイング、ボレー、ミニストローク</p> <p>3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>5：フォアハンド・バックハンドボレー</p> <p>6：スマッシュ、サービスの基本技術</p> <p>7：ラリーの応用練習</p> <p>8～10：半面でのシングルスゲーム</p> <p>11：ダブルスのルールと戦術</p> <p>12～14：ダブルスのゲーム</p> <p>15：まとめ</p>
履修上の留意点	<p>準備学習：体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。</p> <p>①履修者の技術レベルは問わない。</p> <p>②服装は一般的な運動服装とする。</p> <p>③ラケットは貸与する。</p>
成績評価の方法その他	<p>出席状況、授業参加態度、運動参加状況、技術習熟度などから総合的に判断する。</p> <p>雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である</p>

保健
体育

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明</p> <p>2時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング（グランダー）</p> <p>3時限目：インサイドキック、練習ゲーム</p> <p>4時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1</p> <p>5時限目：インステップキック、リーグ戦2</p> <p>6時限目：インフロントキック、リーグ戦3</p> <p>7時限目：オフサドルールの理解、リーグ戦4</p> <p>8時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5</p> <p>9～12時限目：基礎技術の応用練習 リーグ戦6～9</p> <p>13・14時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦</p> <p>15時限目：まとめ</p>
履修上の留意点	<p>服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手のものがよい。</p>
成績評価の方法	<p>評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。</p>

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	<small>しもやち かつとし</small> 下谷内 勝利

講義の到達目標(ねらい)	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形、簡易ゲーム 3時限目：フォアハンドドライブの打ち方、簡易ゲーム 4時限目：バックハンドの打ち方、簡易ゲーム 5時限目：カットの打ち方、返球の方法、カット&カット、シングルスゲーム 6時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 7時限目：スマッシュ (3球目)、シングルスゲーム 8～9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームのやり方、ダブルスゲームの練習 11～13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：スキルテスト 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウエアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。用具は貸与するが、持参しても構わない。
成績評価の方法	実技科目であることから授業に出席して、積極的に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。
その他 教科書／テキスト	グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。 特に指定はしないが、卓球のルールは予習しておいてもらいたい。

保健
体育

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)
担当者名	<small>たけだ ゆきお</small> 竹田 幸夫

講義の到達目標(ねらい)	「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操、体のバランスを矯正するための体操、セルフマッサージを実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび (バック転) の習得をめざす。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2時限目～3時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4時限目：セルフマッサージ法／ 5時限目～6時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10時限目：鉄棒、トランポリン／ 11時限目～14時限目：発展技の練習、自主練習／ 15時限目：まとめと評価
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウエアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。
成績評価の方法	成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。
その他	授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ (DVD) を観る。

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	みつなが よしてる 光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

講義の内容／
授業スケジュール

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなど行う

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

- 1 時限：オリエンテーション
- 2 時限：体力測定
- 3 時限：最大筋力測定
- 4 時限：トレーニング開始
毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。
- 5 時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング
- 6 時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング
- 7 時限：ストレッチ（立位）実行と解説 トレーニング
- 8 時限：ストレッチ（座位）実行と解説 トレーニング
- 9 時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング
- 10 時限：トレーニング
- 11 時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング
- 12 時限：トレーニング
- 13 時限：トレーニング・最大筋力測定
- 14 時限：体力測定
- 15 時限：まとめ

<授業の内容は前後する場合があります。>

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内用）を用意すること。
出席、トレーニング内容（毎時間記録用紙に記入）、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

その他の

器具のいないトレーニング方法（一人で、対人で）などを講義する。

保健
体育

履修コード	195401
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	やまぐち よしのぶ 山口 良博

講義の到達目標(ねらい)

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを主な種目とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。

さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション、授業内容の説明
- 第2～5回 バスケットボール（基礎練習、ゲーム）
- 第6～9回 バレーボール（基礎練習、ゲーム）
- 第10～13回 バドミントン（基礎練習、ゲーム）
- 第14～15回 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点
成績評価の方法

スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。
授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	竹田 <small>たけだ</small> 幸夫 <small>ゆきお</small>

講義の到達目標(ねらい) 「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操、体のバランスを矯正するための体操、セルフマッサージを実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）の習得をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2時限目～3時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4時限目：セルフマッサージ法／ 5時限目～6時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10時限目：鉄棒、トランポリン／ 11時限目～14時限目：発展技の練習、自主練習／ 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセッティングされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。

成績評価の方法

成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。

その他の

授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ（DVD）を観る。

保健
体育

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	秋田 <small>あきた</small> 浩一 <small>こういち</small>

講義の到達目標(ねらい) サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容／
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
2時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング（グランダー）
3時限目：インサイドキック、練習ゲーム
4時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1
5時限目：インステップキック、リーグ戦2
6時限目：インフロントキック、リーグ戦3
7時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
8時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5
9～12時限目：基礎技術の応用練習 リーグ戦6～9
13・14時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	下谷内 勝利 <small>しもやち かつとし</small>

講義の到達目標(ねらい)	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形、簡易ゲーム 3 時限目：フォアハンドドライブの打ち方、簡易ゲーム 4 時限目：バックハンドの打ち方、簡易ゲーム 5 時限目：カットの打ち方、返球の方法、カット&カット、シングルスゲーム 6 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 7 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 8～9 時限目：シングルスゲーム 10 時限目：ダブルスゲームのやり方、ダブルスゲームの練習 11～13 時限目：ダブルスゲーム 14 時限目：スキルテスト 15 時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。用具は貸与するが、持参しても構わない。
成績評価の方法	実技科目であることから授業に出席して、積極的に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。
その他 教科書／テキスト	グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。 特に指定はしないが、卓球のルールは予習しておいてもらいたい。

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 俊介 <small>たかはし しゅんすけ</small>

講義の到達目標(ねらい)	空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：空手道の歴史と技の説明 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打 7 時限目：総合的に反復して練習 8 時限目：総合的に反復して練習 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。 11 時限目：総合的に反復して練習 12 時限目：総合的に反復して練習 13 時限目：総合的に反復して練習 14 時限目：総合的に反復して練習 15 時限目：実技試験
履修上の留意点	服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
成績評価の方法	授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい)

バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明

(バスケットボール)

2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け

3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム（1 次リーグ）

4 時限目：ハーフコート 3 対 2、ゲーム（1 次リーグ）

5 時限目：ハーフコート 4 対 3、ゲーム（1 次リーグ）

6 時限目：フルコート 3 対 2、ゲーム（2 次リーグ）

7 時限目：フルコート 4 対 3、ゲーム（2 次リーグ）

8 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム（2 次リーグ）

9 時限目：ハーフコート 4 対 4、ゲーム（2 次リーグ）

(バドミントン)

10 時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ

11 時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム

12 時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム

13 時限目：サービス、ロブ、ブッシュ、シングルスゲーム

14 時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム

15 時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。

評価は出席点 70 点、実技点 30 点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60 点以上を合格とする。

履修コード	195501
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	みつなが ましてる 光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓、など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。

講義の内容／
授業スケジュール

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、かつまた進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まってきている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなど行う

ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

1 時限：オリエンテーション

2 時限：体力測定

3 時限：最大筋力測定

4 時限：トレーニング開始

毎時間、1／4～3／4の負荷を選び5～8種類のマシンを、2～3セット行う。

5 時限：有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング

6 時限：トレーニングの間隔と効果の解説と実行 トレーニング

7 時限：ストレッチ（立位）実行と解説 トレーニング

8 時限：ストレッチ（座位）実行と解説 トレーニング

9 時限：運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング

10 時限：トレーニング

11 時限：『せぼね』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング

12 時限：トレーニング

13 時限：トレーニング・最大筋力測定

14 時限：体力測定

15 時限：まとめ

<授業の内容は前後する場合があります。>

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内用）を用意すること。

出席、トレーニング内容（毎時間記録用紙に記入）、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価をする。

その他の

器具のいらないトレーニング方法（一人で、対人で）などを講義する。

保健体育

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	牧野 茂 <small>まきの しげる</small>

講義の到達目標(ねらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、ダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、生涯スポーツの一つとして、継続して実施できるような基盤を作ることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方 シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方、バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：ダブルスゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。
評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

保健
体育

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>

講義の到達目標(ねらい)

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容／
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカム II という空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2・3 時限目：カイザーカム II 最大筋力測定
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5～7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9～11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13・14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。
出席点70%、実技点30%とする。実技点はトレーニング内容（毎時間記録する）。授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 淳一

講義の到達目標(わらい)	<p>テニスは、プロスポーツから、ファミリーテニスまでさまざまな技術レベルによって楽しむことができ、生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。</p> <p>本実習においては、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなどの基本打球技術の習得と、ゲームに関するルールとマナーを学ぶことで、生涯を通じて楽しくテニスが出来る能力と態度を養うことを目標とする。</p> <p>また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。</p> <p>さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>1：オリエンテーション、授業目標の説明</p> <p>2：ラケットイング、ボレー、ミニストローク</p> <p>3：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>4：バックハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>5：フォアハンド・バックハンドボレー</p> <p>6：スマッシュ、サービスの基本技術</p> <p>7：ラリーの応用練習</p> <p>8～10：半面でのシングルゲーム</p> <p>11：ダブルスのルールと戦術</p> <p>12～14：ダブルスのゲーム</p> <p>15：まとめ</p> <p>準備学習：体育実技なので、体調を整えて、フルに動けるようにすること。</p>
履修上の留意点	<p>①履修者の技術レベルは問わない。</p> <p>②服装は一般的な運動服装とする。</p> <p>③ラケットは貸与する。</p>
成績評価の方法 その他	<p>出席状況、授業参加態度、運動参加状況、技術習熟度などから総合的に判断する。</p> <p>雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。</p>

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	下谷内 勝利

講義の到達目標(わらい)	<p>ソフトボールを行うための基礎技術を学習した後、ゲームを行うことにより、ソフトボールというスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション</p> <p>2時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティングの練習</p> <p>3～5時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム</p> <p>6～10時限目：ゲーム（第1回リーグ戦）</p> <p>11～15時限目：ゲーム（第2回リーグ戦）</p>
履修上の留意点	<p>スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（金属製スパイクは不可）の着用を厳守すること。用具は貸与する。</p>
成績評価の方法	<p>実技科目であることから授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。</p>
教科書／テキスト その他	<p>特に指定はしないが、ソフトボールのルールは予習しておいてもらいたい。</p> <p>雨天時等の場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。</p>

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 俊介

講義の到達目標(ねらい) 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点 服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
成績評価の方法 授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	竹田 幸夫

講義の到達目標(ねらい) 「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。健康体操については、ストレッチ体操、体のバランスを矯正するための体操、セルフマッサージを実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）の習得をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明／ 2 時限目～3 時限目：健康体操とストレッチ体操／ 4 時限目：セルフマッサージ法／ 5 時限目～6 時限目：ストレッチ体操、マット、トランポリン／ 7 時限目：男子あん馬、女子平均台、トランポリン／ 8 時限目：男子つり輪、女子平均台、トランポリン／ 9 時限目：男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン／ 10 時限目：鉄棒、トランポリン／ 11 時限目～14 時限目：発展技の練習、自主練習／ 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。

成績評価の方法 成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。

その他 授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ（DVD）を観る。

履修コード	195511
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	山口 <small>よしまぐち</small> 良博 <small>よしひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) バスケットボール、バレーボール、バドミントンを中心に、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。
さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール
第1回 オリエンテーション、授業内容の説明
第2～5回 バスケットボール（基礎練習、ゲーム）
第6～9回 バレーボール（基礎練習、ゲーム）
第10～13回 バドミントン（基礎練習、ゲーム）
第14～15回 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点
成績評価の方法
スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。
授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	下谷内 <small>しもやち</small> 勝利 <small>かつとし</small>

講義の到達目標(ねらい) この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール
1時限目：オリエンテーション
2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形、簡易ゲーム
3時限目：フォアハンドドライブの打ち方、簡易ゲーム
4時限目：バックハンドの打ち方、簡易ゲーム
5時限目：カットの打ち方、返球の方法、カット&カット、シングルスゲーム
6時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
7時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
8～9時限目：シングルスゲーム
10時限目：ダブルスゲームのやり方、ダブルスゲームの練習
11～13時限目：ダブルスゲーム
14時限目：スキルテスト
15時限目：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。用具は貸与するが、持参しても構わない。
実技科目であることから授業に出席して、積極的に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。

教科書／テキスト
その他の
特に指定はしないが、卓球のルールは予習しておいてもらいたい
グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	猪越 <small>いのこし</small> 悠介 <small>ゆうすけ</small>

講義の到達目標(ねらい) バスケットボール、バドミントンなどの室内球技を教材とし、競技規則、役割、マナー等のスポーツルールを身につける。また自己の年齢、体力、環境に応じた運動を実施することにより生涯の健康管理につなげる事を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール
第1回目：オリエンテーション、第2回目～第5回目：バスケットボール、第6回目～第9回目：バドミントン、第10回目～第13回目：ミニサッカー、第14・15回目：学生の希望に応じて決定。

履修上の留意点
服装は一般的なスポーツウェア、シューズは運動に適した体育館シューズを準備する。服装やシューズなどに不備があり、運動に適していないと判断した場合には授業への参加は認めない。出席人数によっては種目を変更することもある。

成績評価の方法
授業出席率を重視するため出席点80%、総合評価（授業態度・積極性・授業への協力度など）20%。

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい)	サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2 時限目：リフティング、インサイドキック、ゲーム 3 時限目：インサイドキック、トラッピング、ゲーム 4 時限目：浮き球のトラッピング、ゲーム 5 時限目：インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム 6 時限目：インフロントキック、ゲーム 7 時限目：オフサイドルールの理解、ゲーム 8～10 時限目：基本技術の応用 1・2・3、ゲーム 11～15 時限目：ゲーム（リーグ戦）
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装とする。 シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること （取替え式スパイクは不可）
成績評価の方法	評価は、出席点 70 点、実技点 20 点、平常点 10 点とする。

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	坂井 利彰

講義の到達目標(ねらい)	テニスの楽しさを体感しながら、しっかりと基本を身に付けて最終的には実践も交えた練習を行います。授業を通して、よりテニスを好きになってほしいと思います。また、明るく楽しいテニスと接して参加者同士のコミュニケーションも深めてほしいと思います。
講義の内容／ 授業スケジュール	以下の予定ですが、履修者の技術水準等を考慮して変更する場合があります。 1～2 回目：ボールとラケットに親しみための練習 2～6 回目：ストローク、ボレー、スマッシュ、サービスの基本練習（球出し中心） 7 回目以降 15 回目まで：ポイント形式練習、ダブルス試合形式練習
履修上の留意点	テニスシューズ（ハードコート用又はオールコート用）、テニスラケット、運動に適した服装
成績評価の方法	出席点が 60 点。技術点 10 点。態度点 15 点。理解度 15 点。とする。
その他	質問がありましたら、坂井までメールでご連絡ください。 sakai.toshiaki@gmail.com
教科書／テキスト	特になし
参考書	特になし

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習（ダブルダッチ）
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい) ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付き、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6時限目：5回跳び・10回跳び
- 7時限目：ターナーの回転・スピード
- 8時限目：ビデオ学習
- 9時限目：連続跳び
- 10～15時限目：応用

履修上の留意点
成績評価の方法

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。
出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	195601
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい) ソフトボールの基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、ソフトボールは、手軽に実践できるスポーツであり、生涯スポーツにも適している。授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業の説明
- 2時限目～3時限目：キャッチボール、捕球の基本技術、トスバッティング、ゲーム
- 4時限目～5時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム
- 6時限目～9時限目：チームごとの総合練習、ゲーム
- 10時限目～15時限目：ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとする。シューズは、ランニングシューズ等、運動に適したものを持参する。なお、スパイクは不可とする。

成績評価の方法

講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。

その他の

雨天時は、室内において他の種目を行うか、あるいは教場においてルールの説明、ビデオ観戦とする。その際には、第2体育館入口付近に場所・教場を掲示する。

履修コード	195701
科目名	健康・スポーツ実習（ダブルダッチ）
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい) ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付き、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6時限目：5回跳び・10回跳び
- 7時限目：ターナーの回転・スピード
- 8時限目：ビデオ学習
- 9時限目：連続跳び
- 10～15時限目：応用

履修上の留意点
成績評価の方法

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。
出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	195701
科目名	健康・スポーツ実習（屋外球技）
担当者名	猪越 悠介 <small>いのこし ゆうすけ</small>

講義の到達目標(ねらい)	サッカーやソフトボールなどの屋外球技を教材とし、競技規則、役割、マナー等のスポーツルールを身につける。また自己の年齢、体力、環境に応じた運動を実施することにより生涯の健康管理につながる事を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回目：オリエンテーション、第2回目～14回目：ルール説明・基本技術・ゲーム、第15回目：まとめ
履修上の留意点	服装は一般的なスポーツウェア、シューズは運動に適したスポーツシューズを準備する。服装やシューズなどに不備があり、運動に適していないと判断した場合には授業への参加は認めない。
成績評価の方法	授業出席率を重視するため出席点80%、総合評価（授業態度・積極性・授業への協力度など）20%。
その他	天候によっては屋外で運動を実施することができない場合もあるので掲示に注意する。

履修コード	195701
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	坂井 利彰 <small>さかい としあき</small>

講義の到達目標(ねらい)	テニスの楽しさを体感しながら、しっかりと基本を身に付けて最終的には実践も交えた練習を行います。授業を通して、よりテニスを好きになってほしいと思います。また、明るく楽しいテニスと接して参加者同士のコミュニケーションも深めてほしいと思います。
講義の内容／ 授業スケジュール	以下の予定ですが、履修者の技術水準等を考慮して変更する場合があります。 1～2回目：ボールとラケットに親しみための練習 2～6回目：ストローク、ボレー、スマッシュ、サービスの基本練習（球出し中心） 7回目以降15回目まで：ポイント形式練習、ダブルス試合形式練習
履修上の留意点	テニスシューズ(ハードコート用又はオールコート用)、テニスラケット、運動に適した服装
成績評価の方法	出席点が60点。技術点10点。態度点15点。理解度15点。とする。
その他	質問がありましたら、坂井までメールでご連絡ください。 sakai.toshiaki@gmail.com
教科書／テキスト	特になし
参考書	特になし

履修コード	195701
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	下谷内 勝利 <small>しもやち かつとし</small>

講義の到達目標(ねらい)	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形、簡易ゲーム 3時限目：フォアハンドドライブの打ち方、簡易ゲーム 4時限目：バックハンドの打ち方、簡易ゲーム 5時限目：カットの打ち方、返球の方法、カット&カット、シングルスゲーム 6時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 7時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 8～9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームのやり方、ダブルスゲームの練習 11～13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：スキルテスト 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。用具は貸与するが、持参しても構わない。
成績評価の方法	実技科目であることから授業に出席して、積極的に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。
教科書／テキスト	特に指定はしないが、卓球のルールは予習しておいてもらいたい。
その他	グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	195701
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	山口 良博 やまぐち よしひろ

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボール、バレーボール、バドミントンを主な種目とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。 さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 オリエンテーション、授業内容の説明 第2～5回 バスケットボール（基礎練習、ゲーム） 第6～9回 バレーボール（基礎練習、ゲーム） 第10～13回 バドミントン（基礎練習、ゲーム） 第14～15回 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195801
科目名	健康・スポーツ実習（ダブルダッチ）
担当者名	末次 美樹 すえつぐ みき

講義の到達目標(ねらい)	ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付き、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い 6時限目：5回跳び・10回跳び 7時限目：ターナーの回転・スピード 8時限目：ビデオ学習 9時限目：連続跳び 10～15時限目：応用
成績評価の方法	服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。 出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	195801
科目名	健康・スポーツ実習（屋外球技）
担当者名	岩本 哲也 いわた てるや

講義の到達目標(ねらい)	球技スポーツを教材とし、各種目を楽しむための基本技術やルールを学び、各種目の理解を深める。また、ゲームを通して健康・体力を維持し、豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明（サッカー） 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム 4・5時限：基礎技術の応用練習、ゲーム 6・7時限目：ゲーム（ソフトボール） 8時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 9時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 10時限目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム 11・12時限目：総合練習、ゲーム 13～15時限目：ゲーム（リーグ戦）
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装とする。 シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意する。 （取替え式スパイクは不可）
成績評価の方法	評価は、出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。

履修コード	195801
科目名	健康・スポーツ実習 (テニス)
担当者名	坂井 利彰 <small>さかい としあき</small>

講義の到達目標(ねらい)	テニスの楽しさを体感しながら、しっかりと基本を身に付けて最終的には実践も交えた練習を行います。授業を通して、よりテニスを好きになってほしいと思います。また、明るく楽しいテニスと接して参加者同士のコミュニケーションも深めてほしいと思います。
講義の内容／授業スケジュール	以下の予定ですが、履修者の技術水準等を考慮して変更する場合があります。 1～2回目：ボールとラケットに親しみための練習 2～6回目：ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブの基本練習（球出し中心） 7回目以降15回目まで：ポイント形式練習、ダブルス試合形式練習
履修上の留意点	テニスシューズ(ハードコート用又はオールコート用)、テニスラケット、運動に適した服装
成績評価の方法その他	出席点が60点。技術点10点。態度点15点。理解度15点。とする。 質問がありましたら、坂井までメールでご連絡ください。 sakai.toshiaki@gmail.com
教科書／テキスト	特になし
参考書	特になし

保健体育

履修コード	195801
科目名	健康・スポーツ実習 (卓球)
担当者名	柳 浩二郎 <small>やなぎ こうじろう</small>

講義の到達目標(ねらい)	卓球の基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、卓球は、手軽に実践できるスポーツであり、生涯スポーツにも適している。授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。
講義の内容／授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業の説明／ 2時限目：ラケットの説明、フォアハンドの基本技術、ミニゲーム／ 3時限目：バックハンドの基本技術、ミニゲーム／ 4時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、サーブの基本技術／ 5時限目～8時限目：シングルスゲーム／ 9時限目：シングルスゲームの説明、ゲーム 10時限目～13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：トーナメント試合／ 15時限目：トーナメント試合
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとする。室内用のシューズを用意すること。
成績評価の方法	講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。

履修コード	195801
科目名	健康・スポーツ実習 (室内球技)
担当者名	山口 良博 <small>やまぐち よしのぶ</small>

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボール、バレーボール、バドミントンを主な種目とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。 さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	第1回 オリエンテーション、授業内容の説明 第2～5回 バスケットボール (基礎練習、ゲーム) 第6～9回 バレーボール (基礎練習、ゲーム) 第10～13回 バドミントン (基礎練習、ゲーム) 第14～15回 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	スポーツウェア (上下)、体育館シューズの着用を厳守すること (土足厳禁)。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195811
科目名	健康・スポーツ実習（屋内球技）
担当者名	山口 良博 <small>やまぐち よしのぶ</small>

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボール、バレーボール、バドミントンを主な種目とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学習する。 さらには、毎時間ゲームを行うことにより、協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 オリエンテーション、授業内容の説明 第2～5回 バスケットボール（基礎練習、ゲーム） 第6～9回 バレーボール（基礎練習、ゲーム） 第10～13回 バドミントン（基礎練習、ゲーム） 第14～15回 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、授業態度及び実技点30%の割合で評価する。

履修コード	195811
科目名	健康・スポーツ実習（屋外球技）
担当者名	猪越 悠介 <small>いのこし ゆうすけ</small>

講義の到達目標(ねらい)	サッカーやソフトボールなどの屋外球技を教材とし、競技規則、役割、マナー等のスポーツルールを身につける。また自己の年齢、体力、環境に応じた運動を実施することにより生涯の健康管理につながる事を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回目：オリエンテーション、第2回目～14回目：ルール説明・基本技術・ゲーム、第15回目：まとめ
履修上の留意点	服装は一般的なスポーツウェア、シューズは運動に適したスポーツシューズを準備する。服装やシューズなどに不備があり、運動に適していないと判断した場合には授業への参加は認めない。
成績評価の方法	授業出席率を重視するため出席点80%、総合評価（授業態度・積極性・授業への協力度など）20%。
その他の	天候によっては屋外で運動を実施することができない場合もあるので掲示に注意する。

履修コード	195901・196001・196201
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕
担当者名	竹田 幸夫 <small>たけだ ゆきお</small>

講義の到達目標(ねらい)	室内で行われるスポーツ、とくにバドミントンと卓球を中心にした実技を行う。本講義では、各種目の基本技術や戦術、ルールを理解して、身体運動の実践を通して動くことの楽しさ、仲間と協調してゲームを楽しむことを知ることが大きなねらいである。また、バドミントンや卓球は、手軽に実践できるスポーツであるとともに運動量も多い種目である。生涯スポーツにも適しているため、授業における実技を毎回実践することにより、生涯スポーツを実践する習慣の基盤をつくりたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業の説明／ 2時限目～3時限目：(バドミントン)サーブとシングルの基本技術、簡易ゲーム／ 4時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、ダブルスゲーム／ 5時限目～9時限目：ダブルスゲーム／ 10時限目：シングルスゲームの説明、ゲーム 11時限目～13時限目：シングルスゲーム 14時限目：トーナメント試合／ 15時限目：トーナメント試合／ 16～18時限目：(卓球)授業の説明・サーブの基本技術、簡易ゲーム／ 19時限目：ルール及びゲーム展開の仕方の説明、ダブルスゲーム／ 20時限目～23時限目：ダブルスゲーム／ 24時限目：シングルスゲームの説明、ゲーム／ 25時限目～28時限目：シングルスゲーム／ 29時限目：トーナメント試合／ 30時限目：トーナメント試合
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとする。室内用のシューズを用意すること。
成績評価の方法	講義のねらいを達成するためには、毎回授業に出て実技を実践することが大切である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%で評価を行う。

履修コード	196101
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕
担当者名	岩本 ^{いわもと} 哲也 ^{てつや}

講義の到達目標(ねらい)

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成りたっている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係作りを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション
2 時限目～5 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
6 時限目～10 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
11 時限目～20 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
21 時限目～29 時限目：ゲーム、リーグ戦
30 時限目：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

※受講者数によっては卓球に変更する。
服装は一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
評価は出席点 70%、総合評価 30%で行う。

保健体育

履修コード	196301・196311
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕
担当者名	村松 ^{むらまつ} 誠 ^{まこと}

講義の到達目標(ねらい)

バスケットボール、バレーボールなどを主な教材とし、基礎的な技術、ルールを学習しながら、他の参加者と協力しつつ、ゲーム運営をすることを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション、2 時限目：バスケットボールのボールハンドリングとシュート、3 時限目：班分けとゲーム、4 時限目：パスワークとゲーム、5 時限目：対人技能とゲーム、6～10 時限目：リーグ戦、11 時限目：バレーボールの班分けと基礎技術練習、12 時限目：スパイクとゲーム、13 時限目：サーブとゲーム、14 時限目：リーグ戦、15 時限目：前期のまとめ、16～19 時限目：リーグ戦(前期からの続き)、20～29 時限目：その他の球技、30 時限目：まとめ

履修上の留意点

動きやすいスポーツウェア、室内用スポーツシューズを用意すること。特にボールを扱うため、手の爪を危険が無いように短く切っておくこと。

成績評価の方法

実技科目のため、出席点を重視する。他の人達と協力して、ゲームを円滑に進行することが出来るようになることは、重要な評価項目とする。

その他の

その他の球技は、バドミントン、卓球などの中から受講者の状況を見て決定する。

履修コード	196501・196502・196503・196504
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)
担当者名	渡辺 ^{わたなべ} 一郎 ^{いちろう}

講義の到達目標(ねらい)

運動不足病が深刻な社会問題となっている現在、運動実践の機会および知識の獲得を教育の一環として確保されることは大学生にとって重要であり、不可欠である。健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の向上・育成をねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：ガイダンス
第2回～4回：卓球 基本的ストローク(フォア、バック)ドライブ、カット、ショート、サーブ、シングルス、ダブルスゲーム
第5回～8回：バレーボール パス、レシーブ、トス、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム
第9回～12回：バスケットボール パス、シュート、速攻、3オン3、5人ゲーム
第13回～15回：フットサル パス、シュート、ゲーム

準備学習
履修上の留意点

各種目のルールを十分理解すること。
運動をするにふさわしい服装(トレーニングウェア)ならびに体育館用シューズを準備すること。積極的な態度で授業に臨むこと。授業実施回数3分の2以上の出席が必要となる。

成績評価の方法

平常点 60%…積極性等授業への取り組み状況、出席 30%、技能 10%

教科書／テキスト

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

履修コード	196601・196602・196603・196604	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎	

講義の到達目標(ねらい)	運動不足病が深刻な社会問題となっている現在、運動実践の機会および知識の獲得を教育の一環として確保されることは大学生にとって重要であり、不可欠である。健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の向上・育成をねらいとする。
講義の内容/ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス 第2回～4回：卓球 基本的ストローク（フォア、バック）ドライブ、カット、ショート、サーブ、シングルス、ダブルスゲーム 第5回～8回：バレーボール パス、レシーブ、トス、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム 第9回～12回：バスケットボール パス、シュート、速攻、3オン3、5人ゲーム 第13回～15回：フットサル パス、シュート、ゲーム 各種目のルールを十分理解すること。
準備学習 履修上の留意点	運動をするにふさわしい服装（トレーニングウェア）ならびに体育館用シューズを準備すること。積極的態度で授業に臨むこと。授業実施回数の3分の2以上の出席が必要となる。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参考書	平常点 60%…積極性等授業への取り組み状況、出席 30%、技能 10% 特に指定しない。 特に指定しない。

履修コード	196701・196702・196703・196704・196901・196902・196903・196904	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎	

講義の到達目標(ねらい)	運動不足病が深刻な社会問題となっている現在、運動実践の機会および知識の獲得を教育の一環として確保されることは大学生にとって重要であり、不可欠である。健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の向上・育成をねらいとする。
講義の内容/ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス 第2回～4回：卓球 基本的ストローク（フォア、バック）ドライブ、カット、ショート、サーブ、シングルス、ダブルスゲーム 第5回～8回：バレーボール パス、レシーブ、トス、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム 第9回～12回：バスケットボール パス、シュート、速攻、3オン3、5人ゲーム 第13回～15回：フットサル パス、シュート、ゲーム 各種目のルールを十分理解すること。
準備学習 履修上の留意点	運動をするにふさわしい服装（トレーニングウェア）ならびに体育館用シューズを準備すること。積極的態度で授業に臨むこと。授業実施回数の3分の2以上の出席が必要となる。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参考書	平常点 60%…積極性等授業への取り組み状況、出席 30%、技能 10% 特に指定しない。 特に指定しない。

履修コード	196801・196802・196803・196804・197001・197002・197003・197004	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）
担当者名	わたなべ いらろう 渡辺 一郎	

講義の到達目標(ねらい) 運動不足病が深刻な社会問題となっている現在、運動実践の機会および知識の獲得を教育の一環として確保されることは大学生にとって重要であり、不可欠である。健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の向上・育成をねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール
第1回：ガイダンス
第2回～4回：卓球 基本的ストローク（フォア、バック）ドライブ、カット、ショート、サーブ、シングルス、ダブルスゲーム
第5回～8回：バレーボール パス、レシーブ、トス、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム
第9回～12回：バスケットボール パス、シュート、速攻、3オン3、5人ゲーム
第13回～15回：フットサル パス、シュート、ゲーム
各種目のルールを十分理解すること。

準備学習
履修上の留意点 運動をするにふさわしい服装（トレーニングウェア）ならびに体育館用シューズを準備すること。積極的態度で授業に臨むこと。授業実施回数の3分の2以上の出席が必要となる。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書 平常点60%…積極性等授業への取り組み状況、出席30%、技能10%
特に指定しない。
特に指定しない。

履修コード	197301・197302・197303・197304・197501・197502・197503・197504・197701・197702・197703・197704	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠	

講義の到達目標(ねらい) ゴール型ボールゲームを題材とし、ボールの扱い方などを学び、いろんなタイプのボールゲームへと発展させる。さらに、基礎技術・戦術をゲームの中で活かせるようにする。また、審判、オフィシャルなど、他の受講者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール
1時限目：オリエンテーション
2時限目：ボールを使ったトレーニング
3時限目：ボールを使った戦術トレーニング
4時限目：シュートゲーム
5時限目：基礎ゲーム
6時限目：基礎ゲーム
7時限目：ゲームⅠ
8時限目：ゲームⅡ
9時限目：ゲームⅢ
10時限目：ゲームⅣ
11時限目：ゲームⅤ
12時限目：ゲームⅥ
13時限目：ゲームⅦ
14時限目：ゲームⅧ
15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアとする。安全のため、室内履きスポーツシューズを必ず用意すること。ボールを手で扱うため、手の爪は必ず短く切っておくこと。

成績評価の方法 出席点と共に、積極的にゲームに参加することを評価する。また、講義のねらいを達成できることを、重要な評価項目とする。

履修コード	197401・197402・197403・197404・197601・197602・197603・197604・197801・197802・197803・197804	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠	

講義の到達目標(ねらい) ゴール型ボールゲームを題材とし、ボールの扱い方などを学び、いろんなタイプのボールゲームへと発展させる。さらに、基礎技術・戦術をゲームの中で活かせるようにする。また、審判、オフィシャルなど、他の受講者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション
2 時限目：ボールを使ったトレーニング
3 時限目：ボールを使った戦術トレーニング
4 時限目：シュートゲーム
5 時限目：基礎ゲーム
6 時限目：基礎ゲーム
7 時限目：ゲームⅠ
8 時限目：ゲームⅡ
9 時限目：ゲームⅢ
10 時限目：ゲームⅣ
11 時限目：ゲームⅤ
12 時限目：ゲームⅥ
13 時限目：ゲームⅦ
14 時限目：ゲームⅧ
15 時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアとする。安全のため、室内履きスポーツシューズを必ず用意すること。ボールを手で扱うため、手の爪は必ず短く切っておくこと。

成績評価の方法 出席点と共に、積極的にゲームに参加することを評価する。また、講義のねらいを達成できることを、重要な評価項目とする。

保健体育

履修コード	197101・197102・197103・197104	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠	

講義の到達目標(ねらい) ゴール型ボールゲームを題材とし、ボールの扱い方などを学び、いろんなタイプのボールゲームへと発展させる。さらに、基礎技術・戦術をゲームの中で活かせるようにする。また、審判、オフィシャルなど、他の受講者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション
2 時限目：ボールを使ったトレーニング
3 時限目：ボールを使った戦術トレーニング
4 時限目：シュートゲーム
5 時限目：基礎ゲーム
6 時限目：基礎ゲーム
7 時限目：ゲームⅠ
8 時限目：ゲームⅡ
9 時限目：ゲームⅢ
10 時限目：ゲームⅣ
11 時限目：ゲームⅤ
12 時限目：ゲームⅥ
13 時限目：ゲームⅦ
14 時限目：ゲームⅧ
15 時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアとする。安全のため、室内履きスポーツシューズを必ず用意すること。ボールを手で扱うため、手の爪は必ず短く切っておくこと。

成績評価の方法 出席点と共に、積極的にゲームに参加することを評価する。また、講義のねらいを達成できることを、重要な評価項目とする。

履修コード	197201・197202・197203・197204		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）	
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠		

講義の到達目標(ねらい)	ゴール型ボールゲームを題材とし、ボールの扱い方などを学び、いろんなタイプのボールゲームへと発展させる。さらに、基礎技術・戦術をゲームの中で活かせるようにする。また、審判、オフィシャルなど、他の受講者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボールを使ったトレーニング 3時限目：ボールを使った戦術トレーニング 4時限目：シュートゲーム 5時限目：基礎ゲーム 6時限目：基礎ゲーム 7時限目：ゲームⅠ 8時限目：ゲームⅡ 9時限目：ゲームⅢ 10時限目：ゲームⅣ 11時限目：ゲームⅤ 12時限目：ゲームⅥ 13時限目：ゲームⅦ 14時限目：ゲームⅧ 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとする。安全のため、室内履きスポーツシューズを必ず用意すること。ボールを手で扱うため、手の爪は必ず短く切っておくこと。
成績評価の方法	出席点と共に、積極的にゲームに参加することを評価する。また、講義のねらいを達成できることを、重要な評価項目とする。

履修コード	198101・198102・198103・198104		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）	
	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	
担当者名	すずき じゆんへい 鈴木 淳平		

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、バトミントンを教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。毎時間ゲームを行い、種目特有の技術・戦術等を体得し、身体運動の楽しさを感じつつ、体力の維持・増進を図ることを主なねらいとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目はガイダンスを行う。 2～5時限目 基礎技術・戦術練習、基本的な戦略についての学習 6～9時限目 応用技術・戦術練習、リーグ戦、審判法の習得 10～13時限目 複合技術・戦術練習、リーグ戦、試合運営の習得 14・15時限目 総合練習、リーグ戦
履修上の留意点	運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの清潔な室内用シューズで受講すること。積極的に運動すること。
成績評価の方法	授業に出席して実技を実践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。

履修コード	198201・198202・198203・198204	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）
担当者名	すずき じゆんべい 鈴木 淳平	

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、バドミントン教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。毎時間ゲームを行い、種目特有の技術・戦術等を体得し、身体運動の楽しさを感じつつ、体力の維持・増進を図ることを主なねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール
1 時限目はガイダンスを行う。
2～5 時限目 基礎技術・戦術練習、基本的な戦略についての学習
6～9 時限目 応用技術・戦術練習、リーグ戦、審判法の習得
10～13 時限目 複合技術・戦術練習、リーグ戦、試合運営の習得
14・15 時限目 総合練習、リーグ戦

履修上の留意点 運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの清潔な室内用シューズで受講すること。積極的に運動すること。

成績評価の方法 授業に出席して実技を实践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性を総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。

履修コード	197901・197902・197903・197904	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）
担当者名	すずき じゆんべい 鈴木 淳平	

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、バレーボール教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。毎時間ゲームを行い、種目特有の技術・戦術等を体得し、身体運動の楽しさを感じつつ、体力の維持・増進を図ることを主なねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール
1 時限目はガイダンスを行う。
2～5 時限目 基礎技術・戦術練習、基本的な戦略についての学習
6～9 時限目 応用技術・戦術練習、リーグ戦、審判法の習得
10～13 時限目 複合技術・戦術練習、リーグ戦、試合運営の習得
14・15 時限目 総合練習、リーグ戦

履修上の留意点 運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの清潔な室内用シューズで受講すること。積極的に運動すること。

成績評価の方法 授業に出席して実技を实践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性を総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。

履修コード	198001・198002・198003・198004	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）
担当者名	すずき じゆんべい 鈴木 淳平	

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、バレーボール教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。毎時間ゲームを行い、種目特有の技術・戦術等を体得し、身体運動の楽しさを感じつつ、体力の維持・増進を図ることを主なねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール
1 時限目はガイダンスを行う。
2～5 時限目 基礎技術・戦術練習、基本的な戦略についての学習
6～9 時限目 応用技術・戦術練習、リーグ戦、審判法の習得
10～13 時限目 複合技術・戦術練習、リーグ戦、試合運営の習得
14・15 時限目 総合練習、リーグ戦

履修上の留意点 運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの清潔な室内用シューズで受講すること。積極的に運動すること。

成績評価の方法 授業に出席して実技を实践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性を総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価する。

履修コード	198301・198302・198303・198304	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠	

講義の到達目標(わらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。そして、審判、用具の準備、後片付けなど、他の受講者と協力し円滑なゲーム進行が出来るようにする。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容／授業スケジュール
 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：ラケットイングと基礎技術
 3 時限目：シングルルールとリードアップゲーム
 4 時限目：リーグ戦 1
 5 時限目：リーグ戦 2
 6 時限目：リーグ戦 3
 7 時限目：リーグ戦 4
 8 時限目：リーグ戦 5
 9 時限目：ダブルスルールとリードアップゲーム
 10 時限目：ダブルスゲーム 1
 11 時限目：ダブルスゲーム 2
 12 時限目：ダブルスゲーム 3
 13 時限目：ダブルスゲーム 4
 14 時限目：ダブルスゲーム 5
 15 時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、運動しやすいスポーツ服装とする。また、室内履きスポーツシューズを必ず用意すること。

成績評価の方法 素足でのプレーは、安全のため認めない。競技用具は貸与するが、自分のものを使用しても良い。実技科目のため出席を重視する。ゲームへの参加態度、協力は重要な要素とする。

履修コード	198401・198402・198403・198404	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠	

講義の到達目標(わらい) 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。そして、審判、用具の準備、後片付けなど、他の受講者と協力し円滑なゲーム進行が出来るようにする。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容／授業スケジュール
 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：ラケットイングと基礎技術
 3 時限目：シングルルールとリードアップゲーム
 4 時限目：リーグ戦 1
 5 時限目：リーグ戦 2
 6 時限目：リーグ戦 3
 7 時限目：リーグ戦 4
 8 時限目：リーグ戦 5
 9 時限目：ダブルスルールとリードアップゲーム
 10 時限目：ダブルスゲーム 1
 11 時限目：ダブルスゲーム 2
 12 時限目：ダブルスゲーム 3
 13 時限目：ダブルスゲーム 4
 14 時限目：ダブルスゲーム 5
 15 時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、運動しやすいスポーツ服装とする。また、室内履きスポーツシューズを必ず用意すること。

成績評価の方法 素足でのプレーは、安全のため認めない。競技用具は貸与するが、自分のものを使用しても良い。実技科目のため出席を重視する。ゲームへの参加態度、協力は重要な要素とする。

履修コード	198901・198902・198903・198904	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂	

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びゲームを楽しみながら体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、スポーツを生涯にわたって生活の中に取り入れ実践していく、基礎的能力をも養うことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、2マン・パストドリル 3時限目～5時限目： フルコート・パストドリル（2マン、3マン） ハーフコート2対1、ハーフコート3対2、ミニゲーム 6時限目～9時限目： ファースト・ブレイク・ドリル フルコート2対1、フルコート3対2、フルコート4対3、 5対5ゲーム 10時限目～12時限目： マンツーマン・オフense ハーフコート2対2、ハーフコート3対3 5対5ゲーム 13時限目～15時限目： 総合練習、5対5ゲーム
履修上の留意点	(1) 定員は40名とする。 (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、総合評価(受講態度、服装など)30点。60点以上を合格とする。

保健
体育

履修コード	199001・199002・199003・199004	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂	

講義の到達目標(ねらい)	バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びゲームを楽しみながら体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、スポーツを生涯にわたって生活の中に取り入れ実践していく、基礎的能力をも養うことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、2マン・パストドリル 3時限目～5時限目： フルコート・パストドリル（2マン、3マン） ハーフコート2対1、ハーフコート3対2、ミニゲーム 6時限目～9時限目： ファースト・ブレイク・ドリル フルコート2対1、フルコート3対2、フルコート4対3、 5対5ゲーム 10時限目～12時限目： マンツーマン・オフense ハーフコート2対2、ハーフコート3対3 5対5ゲーム 13時限目～15時限目： 総合練習、5対5ゲーム
履修上の留意点	(1) 定員は40名とする。 (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、総合評価(受講態度、服装など)30点。60点以上を合格とする。

履修コード	198701・198702・198703・198704	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂	

講義の到達目標(ねらい) バスケットボールを教材とし、基本的な技術の復習をするとともに、高度な技術の習得を目指す。また、戦術や審判法などを学ぶことによって、より質の高いゲームを実施することができる能力を養うことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：ボール・ハンドリング、ハーフコート 2 対 1、3 対 3 ゲーム
 3 時限目：2 ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3 対 3 ゲーム
 4 時限目～6 時限目：
 フルコート・ファースト・ブレイク・ドリル
 2 対 1、3 対 2→3 対 3、4 対 3→4 対 4
 5 対 5 ゲーム
 7 時限目～9 時限目：
 マンツーマン・オフENSE
 ハーフコート 2 対 2、ハーフコート 3 対 3
 5 対 5 ゲーム
 10 時限目～12 時限目：
 モーション・オフENSE
 ハーフコート 2 対 2、ハーフコート 3 対 3、ハーフコート 4 対 4
 5 対 5 ゲーム
 13 時限目～15 時限目：
 総合練習、5 対 5 ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は 40 名とする。
 (2) 駒沢キャンパス第 1 体育館で実施する。
 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
 成績評価の方法 出席点 70 点、総合評価(受講態度、服装など) 30 点。60 点以上を合格とする。

履修コード	198801・198802・198803・198804	
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）
	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂	

講義の到達目標(ねらい) バスケットボールを教材とし、基本的な技術の復習をするとともに、高度な技術の習得を目指す。また、戦術や審判法などを学ぶことによって、より質の高いゲームを実施することができる能力を養うことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：ボール・ハンドリング、ハーフコート 2 対 1、3 対 3 ゲーム
 3 時限目：2 ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3 対 3 ゲーム
 4 時限目～6 時限目：
 フルコート・ファースト・ブレイク・ドリル
 2 対 1、3 対 2→3 対 3、4 対 3→4 対 4
 5 対 5 ゲーム
 7 時限目～9 時限目：
 マンツーマン・オフENSE
 ハーフコート 2 対 2、ハーフコート 3 対 3
 5 対 5 ゲーム
 10 時限目～12 時限目：
 モーション・オフENSE
 ハーフコート 2 対 2、ハーフコート 3 対 3、ハーフコート 4 対 4
 5 対 5 ゲーム
 13 時限目～15 時限目：
 総合練習、5 対 5 ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は 40 名とする。
 (2) 駒沢キャンパス第 1 体育館で実施する。
 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
 成績評価の方法 出席点 70 点、総合評価(受講態度、服装など) 30 点。60 点以上を合格とする。

履修コード	199301・199302
科目名	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎） 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用）
担当者名	竹田 幸夫・下谷内 勝利・末次 美樹・館岡 儀秋・牧野 茂・光永 吉輝・村松 誠・柳 浩二郎

講義の到達目標(ねらい)

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

1. オリエンテーション:

1回目 4月 9日(土) 12:10~12:40 1-202 教場

2回目 4月 16日(土) 12:10~12:40 9-280 教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。

1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。

2. 事前授業: 7月 16日(土) 13:00~16:10 2研-209 教場「ゴルフの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1日目 9月 5日(月)

講義: 9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎 玉川校舎 306 教場

実技: 13:00~17:30 打撃練習

※注意: 1日目は、玉川キャンパスで実施する。

2日目 9月 6日(火) 実技・講義: 13:00~17:00 打撃練習・ゴルフの規則1、その他

3日目 9月 7日(水) 実技・講義: 8:00~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフの規則2

4日目 9月 8日(木) 実技・講義: 8:00~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括

5日目 9月 9日(金) 実技・講義: 8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉講式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程: 平成23年 9月5日(玉川キャンパス)・9月6日~9日(現地: 3泊4日)

2. 場 所:

宿泊・コース: サンコー72カントリークラブ

〒370-2131 群馬県高崎市吉井町岩崎2179

電話 027-388-2800 FAX 027-388-2195

練習場 : 観音山ゴルフ倶楽部

〒370-0867 群馬県高崎市乗附町2670

電話 027-325-1901

3. 定員: 40名

4. 集合解散:

(1) 集合 9月5日(月) 午前 9時 玉川校舎306教場

9月6日(火) 午後12時30分 高崎駅

(2) 解散 9月9日(金) 午後13時30分(予定) サンコー72カントリークラブ

5. 受講料: 40,000円(左記金額には、交通費は含まれない。)

6. 納入期間: 平成23年 5月16日(月)~5月28日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を第2研究館1階総合事務室に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。

7. 服装・用具:

(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)。

(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。

(3) グローブは、必ず各自で用意すること。

(4) ゴルフクラブ、キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法
その他

成績は、出席状況、ゴルフの技術的向上、授業態度を総合的に判断して評価する。

都合で参加できなくなった場合は、早急に第2研究館総合事務室に連絡すること。なお、その場合には受講料の一部は、返却されないことがあります。

保健
体育

履修コード	199401・199402
科目名	生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎） 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）
担当者名	鈴木 淳平・秋田 浩一・岩本 哲也・江口 淳一・下谷内 勝利・末次 美樹・竹田 幸夫・ 柳 浩二郎・山口 良博

講義の到達目標(ねらい)

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。本演習では、実習および講義による基礎技術の習得、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めることを目標とする。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 日程

1) オリエンテーション

1回目 4月 9日(土) 12:10～12:40 1-202教場

2回目 4月16日(土) 12:10～12:40 9-280教場

※ 種目決定と受講許可書発行を行います。

1回目で定員に達しない場合、2回目を実施します。

2) 事前授業 「スノースポーツの基礎知識」

平成24年1月17日(火) 13:00～16:00 2研-209教場

3) 現地実習

平成24年1月31日(火)～2月4日(土)の4泊5日

2. 現地実習および講義内容

1日目 午後：現地集合、班別実習

講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」

2日目 午前・午後：班別実習

講義「スノースポーツの応用技術解説」

3日目 午前・午後：班別実習

講義「スノースポーツと環境」

4日目 午前・午後：班別実習

講義「本実習の反省とまとめ」

5日目 午前：班別実習、午後、現地解散

3. 実習・宿泊場所

上越国際スキー場 ホテルグリーンプラザ上越

〒949-6431 新潟県南魚沼市樺野沢112-1

TEL. 025-782-1030(代)

履修上の留意点

1. 定員：スキー 20名 スノーボード 30名

2. 受講の手続き方法

1) オリエンテーション出席、受講許可証の受領

2) 履修登録

3) 受講料納付

受講料：50,000円

ただし、その他の必要経費を徴収する場合がある。

現地集合・解散とし、交通費は各自が別途負担する。

現地への交通手段等については事前授業にて説明する。

納入期間：平成23年5月16日(月)～5月28日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を

第2研究館1階総合事務室に提出する。期間内に納入しない場合は、

受講することができないので注意して下さい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

1) 本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

2) 用具：用具は現地レンタル可能(有料)。

3) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

履修コード	199901
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	柳 ^{やなぎ} 浩 ^{こうじろう} 二郎

講義の到達目標(ねらい) 「健康」あるいは「スポーツ」をテーマに、科学的知識や問題を総合的にとりあげ基礎知識を理解することを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 授業内容の説明
2. スポーツとは
3. 競技スポーツと生涯スポーツ
4. スポーツの歴史
5. スポーツの心と体
6. 運動技能の構造
7. 運動技能向上の理論
8. トレーニング方法について
9. 実力発揮の条件
10. メンタルトレーニング
11. 体力トレーニング
12. ッ
13. スポーツ事故と応急処置
14. 心肺蘇生法
15. まとめ

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

健康、スポーツについてどのように考えているのか自分なりの意見を構築しておいて欲しい。
配布プリントに沿って板書することが多くあることから、ノート整理が重要である。
小テスト数回、期末テストあるいはレポートによって総合的に評価する。
特に指定はしない(授業において、プリントを配布する)
配布プリントに記載されている参考文献参照のこと。
基本的に講義形式で行うが、必要に応じてワークショップを行う。

保健
体育

履修コード	200101・200401
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	<small>えぐち じゆんいち</small> 江口 淳一

講義の到達目標(ねらい)

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な弊害を生んできた。本講義では、現代社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自律的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。

また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of life を実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤である。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを享受する能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1：講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2：ゆとり時代の LIFE STYLE (To have or To be)
- 3：生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4：現代社会と健康・スポーツ（余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因）
- 5：健康と体力の概念
- 6：人体 1) 骨格の構造
- 7： 2) 筋肉の構造
- 8： 3) 運動と呼吸循環器系
- 9： 4) 運動と代謝
- 10： 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11：スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12：スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13：運動処方計画のための基礎（パワートレーニング、エアロビクストレーニング）
- 14：スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15：まとめ—学生自身による授業評価—

成績評価の方法
参 考 書

出席状況、授業中に行うレポート、小テストの結果から総合的に判断する。
配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。

- 『運動処方』（朝倉書店）3,500円
『運動生理学 20 講』（朝倉書店）2,884円
『「ゆとり」時代のライフスタイル』（日本経済新聞社）1,300円

履修コード	200201
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	<small>たかはし しゆんいち</small> 高橋 俊介

講義の到達目標(ねらい)

健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、また現在のスポーツがどのような変革の道を進んで今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立てるものである。

講義の内容／
授業スケジュール

- I 1時限目：運動はなぜ必要か
- 2時限目：人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
- 3時限目：一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
- 4時限目：体育によってどのような教育が考えられるか
- 5時限目：学校体育による教育
- 6時限目：社会体育による教育
- 7時限目：生涯体育による教育
- 8時限目：現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
- 9時限目：実用の面から生まれてきた運動
- 10時限目：健康の面から生まれてきた運動
- 11時限目：ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II “レポート提出”授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。
- 12時限目：(例) スポーツの文化性、芸術性について
- 13時限目：(例) スポーツマン精神について
- 14時限目：(例) 大衆スポーツ論
- 15時限目：(例) スポーツと政治

成績評価の方法

出席を重視し、特にペーパーテストは行なわれないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

履修コード	200501
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	秋田 浩一

講義の到達目標(ねらい)	健康を保持することは、人間の願望である。健康は心と体の両面が大切である。現代社会において心の問題は深刻である。学生時代は、生涯の健康的な生活を築くチャンスである。心の悩みや体の悩みを解決する方法を考え、自己を確立し自立できる環境(人的、物的)を学習する。
講義の内容/ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：健康の成立条件 3時限目：人間の健康(心と体) 4時限目：人間の健康(心の問題) 5時限目：学生の健康(心の問題) 6時限目：学生の健康(日常生活) 7時限目：学生の健康(栄養と食事) 8時限目：学生の健康(栄養と食事) 9時限目：学生の健康(エイズと性の問題) 10時限目：学生の健康(酒とたばこ) 11時限目：学生の健康(酒とたばこ) 12時限目：学生の健康(精神的自立) 13時限目：学生の健康(自立について) 14時限目：運動障害と救急法(突き指、捻挫、脱臼、骨折等) 15時限目：まとめ
履修上の留意点	①「小テスト、レポート」を3、4回講義中に実施提出する。 ②「レポート」提出
成績評価の方法 教科書/テキスト その他	「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。 特に指定しない。 授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

履修コード	200601
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	岩本 哲也

講義の到達目標(ねらい)	生涯にわたり、健康で充実した生活を送るためにどのような要因が必要であるかの理解を深める。 さらにスポーツ活動時に発生する障害とその対策についての知識を深める事を目的とする
講義の内容/ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：健康とは 3時限目：栄養と食生活 4時限目：喫煙と健康 5時限目：飲酒と健康 6時限目：薬物と健康 7時限目：スポーツとは 8時限目：スポーツ外傷と障害 9時限目：スポーツ外傷と障害の予防 10時限目：救急処置法 11時限目：スポーツと人間形成・心身の関係 12時限目：体力とは 13時限目：トレーニング理論① 14時限目：トレーニング理論② 15時限目：まとめ
成績評価の方法 教科書/テキスト	出席状況、授業内に行う小テストの結果から、総合的に評価する。 特に指定しない。必要に応じてその都度提示する。

履修コード	200801
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	山口 良博

講義の到達目標(ねらい) 現代社会では、生活様式の大変な変容に伴い身体活動の機会が減少し、体力の低下、生活習慣病やストレスの増大、生活の質的充実の追求などを背景に、かつてないほど健康やスポーツに対する関心と欲求が高まっている。

本講義では、健全で充実した学生生活を送るために必要な自己の健康や体力に対する認識、さらにはスポーツに関する知識を深めることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 講義内容の説明
2. 健康とは
3. 生活習慣と健康
4. 運動の果たす役割
5. 栄養の果たす役割
6. 飲酒と喫煙
7. ストレス
8. 感染症
9. 体力とは
10. トレーニング理論①
11. トレーニング理論②
12. スポーツ障害と救急法
13. スポーツの歴史・発展
14. 現代スポーツ
15. まとめ

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席状況、及び数回の小テストとレポートによって総合的に評価する。
特に指定しない。参考図書についてはその都度提示する。

保健
体育

履修コード	200901
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	光永 吉輝

講義の到達目標(ねらい) 健康と長寿を願う心は、人類普遍の願望であるが、日常生活においては自分が現在健康であることを意識して行動している人は少ないのではないだろうか？

病气や怪我をしてはじめて健康の重要性を知るのではなく、日頃から健康を意識し健康に関心の目を向ける必要がある。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化から、日常での運動が少なくなり加えて栄養の過剰により肥満傾向となっている。日常生活以外に運動を行わないでいると、成長発育期では、体格の発育に体力が伴わない体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹ったりしている。

先進国においては、文明病と思われる疾病や様々な健康障害が報告されている。これらの健康障害について、スポーツ医学の面から、人間の骨格、韧带、筋肉と解剖し、各部の特徴や欠点を見つけながらスポーツ障害や運動と健康について講義する。

自己や他人の生命そして健康は何物にもまして大切なものである事の理解を深めることを目的とするものである。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 時限 講義の概要説明
2. 時限 人体と障害 1) 頭部の外傷
3. 時限 " 2) 上肢の障害
4. 時限 " 3) 下肢の障害
5. 時限 " 4) "
6. 時限 " 5) 脊柱と障害
7. 時限 " 6) 脊柱の障害
8. 時限 身体運動と健康
9. 時限 運動不足の害
10. 時限 運動の効果・骨と健康
11. 時限 トレーニング論 (1)
12. 時限 トレーニング論 (2)
13. 時限 運動と栄養
14. 時限 健康管理
15. 時限 まとめ

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

< 講義の内容は、前後したり変更する事もあります。 >
筆記試験によって行います。また、出席、授業への取り組み態度も評価する。
資料を配布する。
医学面での人体解剖図など必要な資料は配布する。

履修コード	201111
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利

講義の到達目標(ねらい)	「健康」あるいは「スポーツ」をテーマに、スポーツ科学が教える基礎知識を理解することを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容の説明 2. 健康とは 3. スポーツとは 4. 健康・スポーツを究明するスポーツ科学とは 5. からだと環境 1 適応について 6. “ ” 2 生活習慣病について 7. “ ” 3 運動の必要性について (日常生活と運動) 8. 骨の構造と機能 (骨格、関節の種類、関節の動きなど) 9. 身体構造に規制される動き 10. 筋肉 (骨格筋の種類、筋収縮の仕組みなど) 11. 筋収縮エネルギー (ATP - PC 機構、乳酸性機構、非乳酸性機構、スポーツ競技との関連など) 12. 有酸素運動 13. 無酸素運動 14. ワークショップ 15. まとめ
準備学習 履修上の留意点	健康、スポーツについての自分の意見を構築しておいて欲しい。 配布プリントに沿って板書することが多くあることから、ノート整理が重要である。
成績評価の方法	小テスト数回、期末テストあるいはレポートによって総合的に評価する。
教科書／テキスト	特に指定はしない (授業において、プリントを配布する)
参考書 その他	配布プリントに記載されている参考文献参照のこと。 基本的に講義形式で行うが、必要に応じてワークショップを行う。

履修コード	201201
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠

講義の到達目標(ねらい)	現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。
講義の内容／ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 時限目：オリエンテーション 2 時限目：健康観の変遷 3 時限目：現代の健康観 4 時限目：健康の成立要因 5 時限目：健康の成立条件 6 時限目：病気の原因 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防 8 時限目：現代の感染症 9 時限目：喫煙・飲酒と健康 10 時限目：ストレスと健康 (その1) 11 時限目：ストレスと健康 (その2) 12 時限目：食べ物と健康 13 時限目：運動と健康 14 時限目：環境と健康 15 時限目：まとめ
成績評価の方法	数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
教科書／テキスト その他	特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。 学習の補助として、YeStudyを活用する。

履修コード	201301
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義の到達目標(ねらい) 現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活をめぐる生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 アンケートとその解説
- 2 時限目～4 時限目：健康とは何か
語源・定義・性格、身体的健康、精神的健康、社会的健康
- 5 時限目：恒常性と適応・ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件
- 7 時限目～8 時限目：健康の保持増進
科学的研究、健康教育、保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：WHO の総合健康指標
- 10 時限目～12 時限目：日常生活と健康
運動・栄養、休養・睡眠、嗜好品と健康
- 13 時限目～14 時限目：感染症について
インフルエンザ、結核、性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法
教科書/テキスト

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。60 点以上を合格とする。
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書

「健康科学-知っておきたい予防医学-」(丸善)
「ライフスタイルと健康の科学」(不昧堂出版)
他は、講義のなかで紹介する。

保
健
体
育

履修コード	201401
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	すえつく みき 末次 美樹

講義の到達目標(ねらい) 「健康」であるとはどのような状態なのか？
また、どのようにして「健康」を維持していくのか？

講義の内容/
授業スケジュール

さまざまな情報が飛び交う現代社会において、自身の「健康観」を確立することは非常に重要なことである。

本講義では、「スポーツと健康」をテーマにし「健康であるとはどのような状態をなのか」について、考えていく。学生生活および生涯にわたって、健康で豊かなライフスタイルを過ごしていくために必要な基礎知識を理解することを目的とする

- ①オリエンテーション
- ②健康とは何か？
- ③健康観の変遷・現代の健康観について
- ④スポーツと健康
- ⑤スポーツの概念
- ⑥スポーツの歴史
- ⑦現代スポーツの捉え方
- ⑧文化としてのスポーツ
- ⑨スポーツと教育
- ⑩スポーツと健康についてのまとめ
- ⑪心とからだの健康について
- ⑫休養・リラクゼーション・ストレッチの重要性 I
- ⑬休養・リラクゼーション・ストレッチの重要性 II
- ⑭自身の健康についての把握と確立
- ⑮テスト

成績評価の方法
教科書/テキスト
その他の

受講者数によるが、数回のレポート小テストなどを加味して、総合的に評価する。
特に指定はないが、必要に応じてプリント等を配布する。
基本的に講義形式で行うが、必要に応じて、グループによるワークショップや発表等を行う。

履修コード	201501
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	すずき じゆんべい 鈴木 淳平

講義の到達目標(ねらい)	健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめる。将来の社会生活に有用な、科学的・医学的知識を得ることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、分類について 4 時限目：スポーツと体力の関係について 5 時限目：運動能力発達の原理 6 時限目：運動能力の領域 7 時限目：運動能力の構造 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析 9 時限目：総合体力の定義と要素 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について 11 時限目：トレーニング理論全般 12 時限目： 13 時限目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際 14 時限目： 15 時限目：まとめ
成績評価の方法	出席を重視する。出席点は遅刻や欠席の減点法で計算し評点の70%とする。レポート提出は必須とし、評点の30%とする。

保健
体育

履修コード	202001・202201
科目名	余暇学
担当者名	たけだ ゆきお 竹田 幸夫

講義の到達目標(ねらい)	「余暇」に関する基礎的な知識と考え方についての講義を行う。大学生の年代は、将来における自分のライフスタイルの基礎を確立する大切な時期である。この講義を聞いて、自分の「余暇」に関する考え方を確立してほしい。授業の進行状況に応じて、「健康体操」や「ストレッチ」等の実践も行う。
講義の内容／ 授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション／ 2 時限目：余暇のある生活 / 3 時限目：余暇の意味 / 4 時限目：新しい余暇概念 / 5 時限目：余暇に関する考え方（日本と海外） / 6 時限目：地域社会と余暇の関わり / 7 時限目～8 時限目：余暇と健康 / 9 時限目：健康体操・ストレッチの実践（実技） / 10 時限目～11 時限目：余暇とスポーツ / 12 時限目～13 時限目：自分自身の余暇の設計 / 14 時限目：まとめ / 15 時限目：筆記試験
履修上の留意点	講義は教場で行い、実技は体育館2階「競技フロア」で行う。実技の場合は、運動着と体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席状況、授業中に作成・提出してもらったレポート（自分自身の余暇の設計）の内容、ならびに授業最後に行う筆記試験によって総合的に評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	とくに指定しない。講義内容に関する資料を毎回配布する。 とくになし。講義内容に関連して、受講生に読んでほしい図書については、講義の中で随時紹介する。

履修コード	202401
科目名	保健理論
担当者名	くろこ こういち 黒子 幸一

講義の到達目標(ねらい)	保健一般について医療の現場で行われているプライマリケア、緩和ケアを理解することを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	医療に従事する上で必要な事項を理解するため、医療倫理については患者の人権・自己決定権、インフォームドコンセント、安楽死・尊厳死、蘇生とDNR、体外受精、遺伝子医療を考える、このほか3大疾患、生活習慣病、禁煙活動、メンタルヘルスについて理解する。
履修上の留意点	小テスト、レポート提出を実施する。
成績評価の方法	定期試験、小テスト、レポート、出席状況により評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	『シンプル衛生公衆衛生学』（南江堂）2,400円 『臨床緩和ケア』（青海社）2,800円 『医療倫理』（勤草書房）3,000円
そ の 他	授業方式は講義形式を主にビデオ学習、グループディスカッション、ロールプレイを行う。プリント配布、講義スライド資料配布予定

履修コード	340201・340301
科目名	健康・スポーツ実習 健康・スポーツ実習〔再クラス〕
担当者名	^{いわもと} 岩本 ^{てつや} 哲也

講義の到達目標(ねらい) ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係作りを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目～5 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 6 時限目～10 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 11 時限目～20 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 21 時限目～29 時限目：ゲーム、リーグ戦
- 30 時限目：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

※受講者数によっては卓球に変更する。
服装は一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
評価は出席点 70%、総合評価 30%で行う。

保健
体育

履修コード	340501
科目名	健康・スポーツ実習 健康・スポーツ実習〔再クラス〕
担当者名	^{すえつぐみ} 末次 美樹

講義の到達目標(ねらい) 室内で行う球技(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール・卓球等)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション
- 2 時間目：＜バスケットボール＞パス、ドリブル等の基本技術・応用・ゲーム
- 3～5 時間目：ゲーム
- 6 時間目：＜バレーボール＞サーブ、レシーブ等の基本技術・応用・ゲーム
- 7～9 時間目：ゲーム
- 10 時間目：＜ドッジボール＞ルールの説明、キャッチボール等の基本技術・ゲーム
- 11～13 時間目：ゲーム
- 14 時間目：＜バドミントン＞基本的な説明・ラリー練習、ゲーム(シングルス)
- 14～16 時間目：ゲーム(シングルス)
- 17～19 時間目：ゲーム(ダブルス)
- 20 時間目：＜卓球＞基本的な説明・ラリー練習、ゲーム(シングルス)
- 21～23 時間目：ゲーム(シングルス)
- 24～26 時間目：ゲーム(ダブルス)
- 27～30 時限目：学生の希望に応じて種目を決定する。

履修上の留意点
成績評価の方法

実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。
受講者数・出席者人数によっては、種目を変更する場合もある。
出席率 70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など) 30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	341201
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	村松 真誠

講義の到達目標(ねらい) 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ（テスト）

成績評価の方法 受講者数の状況を見て決定するが、数回のレポート、小テストなどを加味し、総合的に評価をする。
教科書／テキスト 特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。
その他の 学習の補助として、YeStudyを活用する。

履修コード	341301
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	末次 美樹

講義の到達目標(ねらい) 日常生活を送る上で最も必要であると言われる「健康」。様々な情報が飛び交う現代社会で、どのようにして自分の「健康」を維持していくのか。
本講義では、「健康とスポーツ」をテーマにし、「スポーツとは何か」、「健康とは何か」という観点から、「健康であるとはどのような状態をなのか」について、考えていく。
学生生活および生涯にわたって、健康で豊かなライフスタイルを過ごしていくために必要な基礎知識を理解することを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- ①オリエンテーション
- ②健康について
- ③スポーツの概念
- ④スポーツの歴史
- ⑤現代スポーツの捉え方
- ⑥文化としてのスポーツ
- ⑦スポーツと教育
- ⑧スポーツと健康
- ⑨スポーツと健康についてのまとめ
- ⑩心とからだの健康について
- ⑪休養・リラクゼーション・ストレッチの重要性Ⅰ
- ⑫休養・リラクゼーション・ストレッチの重要性Ⅱ
- ⑬自身の健康についての把握と確立
- ⑭まとめ
- ⑮テスト

成績評価の方法 数回の小テスト、期末テストあるいはレポートによって評価する。
教科書／テキスト 特に指定はしない。必要に応じてプリントを配布する。
その他の 基本的に講義形式で行うが、必要に応じて、グループによるワークショップや発表等を行う。

Ⅱ 「日本語」・「日本事情」科目

日本語
日本事情

履修コード	230611・230612
科目名	日本語 I a
担当者名	佐野 ^{さの のりこ} 典子

講義の到達目標(むらい)
講義の内容/
授業スケジュール

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
15回の授業で4作品を取り上げる予定。
授業の初めに、語彙リストを配布する。新出語の説明後、映画の一部分(毎回30分くらい)を見る。その後、登場人物の会話を把握する。理解問題シートに、書き取り、提出する。
最終授業において、語彙と内容把握の試験を行う。
教材は、担当者が用意する。
成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修上の留意点
成績評価の方法

履修コード	230631・230632
科目名	日本語 I a
担当者名	多田羅 ^{ただら あきこ} 哲子

講義の到達目標(むらい)
講義の内容/
授業スケジュール

いろいろな分野ごとの語彙・表現・漢字の読み方などを勉強し、日本語の理解力を高めると同時に豊かな表現力を身につける。
日常生活によく使われている言葉を
①食べ物・料理
②服装・ファッション
③住まい・毎日の生活
④体・病気・病院
⑤性格・人柄・長所、短所
などの分野ごとに学習する。

漢語・和語・カタカナ語・擬態語、擬音語・省略語・慣用表現などを知り、日本語の知識を高めると同時に、漢字の音読み訓読みの復習もする。

それらの使われたビデオを見る、文章を読む、習った言葉を使って作文を書く、などを通して、しっかり理解し豊かな表現ができるようにする。
出席率・平常点(小テスト・提出物・授業への参加度)と期末試験から総合的に評価する。
プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

日本語
事情

履修コード	230621・230622
科目名	日本語 I b
担当者名	佐野 ^{さの のりこ} 典子

講義の到達目標(むらい)
講義の内容/
授業スケジュール

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
15回の授業で、4作品を取り上げる予定。
授業の初めに、語彙リストを配布する。新出語の説明後、映画の一部分(毎回30分くらい)を見る。その後、登場人物の会話を把握する。理解問題シートに書き取り、提出する。
最終授業において、語彙と内容把握の試験を行う。
教材は、担当者が用意する。
成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修上の留意点
成績評価の方法

履修コード	230641・230642
科目名	日本語Ⅰb
担当者名	多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。
日本語Ⅰaに続き、現在日本でよく使われている言葉を

- ⑥政治
- ⑦法律
- ⑧経済
- ⑨文化
- ⑩社会問題

などの分野ごとに、漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現などを学習し、日本語の知識や表現力を高める。

成績評価の方法
教科書/テキスト

各分野に関連したニュースを見る、文章を読む、習った言葉を使って作文を書くなどを通して、よりしっかり理解し豊かな表現ができるようにする。

出席率・平常点(小テスト・提出物・授業への参加度)と期末試験から総合的に評価する。

プリントを配布する。

辞書を持ってくること。

履修コード	230711・230712
科目名	日本語Ⅱa
担当者名	佐野 典子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

15回の授業で、連続ドラマ2作品を取り上げる予定。

授業の始めに語彙リストで、新出語を確認し、その後ドラマを見ながら、登場人物の台詞を把握し、理解問題シートに書き取る。授業の終わりに理解問題シートを提出する。

最終授業において、語彙と内容把握の試験を行う。

教材は、担当者が用意する。

履修上の留意点
成績評価の方法

成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230721・230722
科目名	日本語Ⅱa
担当者名	多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい)

話す練習Ⅰ

日常の出来事やさまざまなテーマについて日本語で紹介・説明・情報交換をし、わかりやすく話す練習をする。

話す練習Ⅱ

ビジネスなど日本語で社会生活がうまくできるよう上下・親しさ・お互いの立場などを意識した会話の練習をする。スピード、イントネーションなどが自然に身につくまで練習する。

講義の内容/
授業スケジュール

話す練習Ⅰ

自己紹介紹介・さまざまなテーマについてグループ内での話し合い・情報提供の小スピーチ、質意見交換などをを行う。

話す練習Ⅱ

① 電話をかけて約束を取り付ける

はじめと終わりの挨拶、丁寧な言葉遣い、前置き、用件の切り出し方、あいづちなどに注意して相手が気持ちよく会ってくれるように持っていく。

② 挨拶、世間話、お互いの立場の主張、譲歩、返事の保留などを通して自分に有利な方向に話を持っていく。

そのつど指示する。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

授業活動が大切なので出席して授業に積極的に参加することが条件。

平常点(出席、授業への参加度、提出物など)を最重視する。

必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230811・230812
科目名	日本語Ⅱ b
担当者名	佐野 ^{さの} のりこ 典子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。
15回の授業で、連続ドラマ2作品を取り上げる予定。
授業の初めに語彙リストで、新出語彙を確認し、その後ドラマを見ながら、登場人物の台詞を把握し、理解問題シートに書き取る。授業の終わりに、理解問題シートを提出する。
最終授業において、語彙と内容把握の試験を行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

教材は、担当者が用意する。
成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230821・230822
科目名	日本語Ⅱ b
担当者名	多田 ^{ただ} 羅 ^{あきこ} 哲子

講義の到達目標(ねらい)

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。

1 話す練習Ⅰ

さまざまなテーマについて自分の意見を述べる練習をする。
自分の考えを、正しく適切な表現を用いて効果的に説得力を持って相手に伝えることを目指す。

2 話す練習Ⅱ

ビジネスなど日本語を使って社会生活がスムーズにできるようさまざまな表現を身につける。(日本語Ⅱaの続き)

1 話す練習Ⅰ

興味のあるテーマについて字ビンの考えを話す。
その内容について質問、意見交換、討論をする。

2 話す練習Ⅱ

苦情やトラブルの処理、謝り方、断り方などの練習
相手を傷つけないクレームのつけ方、言葉に細心の注意を払いながらの説明、信用を損なわず効果的な受け答えの仕方、謝り方、断り方などを練習する。

そのつど指示する。

授業活動が大切なので出席して、積極的に授業に参加することが条件。

平常点(出席、授業への参加度、提出物など)を重視する。

必要に応じてプリントを配布する。

講義の内容/
授業スケジュール

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

日本語
事情

履修コード	230911・230912
科目名	日本語Ⅲ a
担当者名	<small>たたら あきこ</small> 多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい)	<p>① 聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。 まず、ビデオの内容を聞き取る練習をして、言葉の使い方や日本語の表現を豊かにする。</p> <p>② 聞き取った内容を文章として書く練習をする。 話し言葉と書き言葉の違いを意識し、レポートや論文などを書く練習の第一歩とする。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>① 聞き取り ビデオでドラマ・講演などの内容を聞き取る練習をして、日本人が普通に話すスピードに慣れる。 語彙表を使って新しい言葉も知り豊かな表現を身につける。</p> <p>② 書き言葉入門 聞き取った内容を文章に書いて表現する。 その際、話し言葉と、改まった表現の書き言葉との違いを意識し、レポートや論文などの文章の練習をする。</p> <p>③ 日本語の復習 書いた文章の間違いを見直したり、より適切な表現を考えたりしながら、日本語文法、助詞の使い分け、意味の似た言葉の使い分けなどを復習する。 渡された語彙表の言葉の意味を調べておく。 毎時間の活動（聞き取る、書く、書いた文章の訂正、文法等の練習）などを中心に評価する。 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。</p>
準備学習 成績評価の方法 教科書／テキスト	

履修コード	230921・230922
科目名	日本語Ⅲ a
担当者名	<small>ゆむら れいこ</small> 湯村 礼子

講義の到達目標(ねらい)	<p>これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。</p>
履修上の留意点	<p>授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べてくる宿題が出る。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。</p>
成績評価の方法	<p>小レポート、小テスト、授業活動 50% 期末試験 50%</p>
教科書／テキスト	<p>最初の授業時に指定する。</p>

履修コード	231011・231012
科目名	日本語Ⅲ b
担当者名	多田 <small>たたら</small> 羅 <small>あさこ</small> 哲子

講義の到達目標(ねらい)

① 聞き取り練習
語意表参照しながら、聞き取ることに中心に日本語の総合的能力を強化する。

② 書き言葉の練習
書き言葉でしっかりとした文章が正しく書けることを目指す。

③ 文法、語彙や表現の使い分け、などの復習
正しく的確な文章表現ができることを目指す。

講義の内容/
授業スケジュール

① 聞き取り
ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。

② レポート等改まった文章を書く練習
聞き取った事柄の中で必要な内容を文章に書き表す。
文章の構成を意識した段落、数字・グラフ・表を使った説明、人の言葉の引用の仕方、記号・符号の使い方なども練習をする。

準備学習
成績評価の方法
教科書/テキスト

③ 書いた文章を見直し、日本語の文章表現として適切か考える。
語彙表の言葉を調べておく。
毎時間の活動（聞き取る、その内容を書く、書いた文章の訂正、練習など）を中心に評価する。
ビデオを準備して、必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

日本語
事情

履修コード	231021・231022
科目名	日本語Ⅲ b
担当者名	湯村 <small>ゆむら</small> 礼子 <small>れいこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本語Ⅲ aの続きとして、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容/
授業スケジュール

Ⅲaと同様に教材を調べながら読み進めるが、Ⅲbでは担当を決め、調査して発表してもらう。担当者は教材を辞典や事典、他の資料を使って調べて理解し、分かりやすく説明する事がもためられる。発表後には、意見を出し合い討論をして、さらに、認識を深め、最後に小レポートを提出する。一学期中に十の題材を扱う予定。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べて来て発表することがある。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法

小レポート、小テスト、授業活動 50%

教科書/テキスト

期末試験 50%

最初の授業時に指定する。

履修コード	231111・231112
科目名	日本語Ⅳ a
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美希 ^{みき}

講義の到達目標(ねらい)	中級レベルの日本語学習(日本語能力試験N2程度)を修了した学生を対象とし、日本語で書いて表現する力を伸ばす。 (1)日常生活の中で感じていることや考えていることを、読み手にわかりやすく伝える。 (2)社会で起きている出来事に対する自分の意見を、資料を引用しながら論理的に書けるようになる。
講義の内容／ 授業スケジュール	比喩を使って表現する、詩を書く、体験したことを書く、マスコミの情報を使って書く、他の人の書いた文章を読んで感想を書く、自己PR文を書くなど。 書き言葉のルール(文体・接続詞・引用)について学ぶ。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。 ◆講義はペアワークやグループワークを取り入れて進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
成績評価の方法	平常点(授業への参加度・提出物)70%、期末試験30%を基本に、総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト 参考書 その他	プリント教材を配布する。 『TAEによる文章表現ワークブック』図書文化 辞書を持ってくること。

履修コード	231121・231122
科目名	日本語Ⅳ a
担当者名	湯村 ^{ゆむら} 礼子 ^{れいこ}

講義の到達目標(ねらい)	文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。 (1~5)文章の基本—文・段落・構成—、(6~10)レポートの方法—主題・材料・アウトライン等—、(11~15)レポートの形式—表紙・序論・本論・結論・参考文献—
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1・第2週の授業を続けて欠席した者は、履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	提出物・小テスト・授業活動(授業での発言、授業態度など) 50% 期末試験 50%
教科書／テキスト	教科書は授業時に指定する。

履修コード	231211・231212
科目名	日本語Ⅳ b
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美希 ^{みき}

講義の到達目標(ねらい)	中級レベルの日本語学習(日本語能力試験N2程度)を修了した学生を対象とし、一人である程度まとまった内容の話をする力を伸ばす。 (1)資料を基に、情報をわかりやすく説明できるようになる。 (2)説得力のある意見が言えるようになる。
講義の内容／ 授業スケジュール	学期前半は、発表のアウトラインや発表資料の作り方、話し方など、プレゼンテーションの方法について学ぶ。後半は、各学生が、今の日本社会で問題となっていることの中からテーマを設定し、プレゼンテーションを行う。
準備学習	自分のプレゼンテーションのテーマを決めるために、日ごろから新聞やテレビのニュースを見て、情報を集めておく。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。 ◆プレゼンテーションの準備段階は、学生同士がお互いに評価し合う。また、プレゼンテーションのときは質疑応答を行うので、学生同士の活発な意見交換を望む。
成績評価の方法	平常点(授業への参加度・提出物)50%、発表50%を基本に、総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト	プリント教材を配布する。

履修コード	231221・231222
科目名	日本語Ⅳb
担当者名	湯村 礼子

講義の到達目標(ねらい)	文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	レポート、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。
履修上の留意点	(1～7) レポートを書く、(8～15) 意見文の書き方、実践 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	提出物・小テスト・授業活動(授業での発言、授業態度など) 50% 期末試験 50%
教科書／テキスト	教科書は授業時に指定する。

履修コード	231321・231322
科目名	日本語Ⅴa
担当者名	多田 羅 哲子

講義の到達目標(ねらい)	読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。 特に今、日本の社会を中心に話題になっていることを知り、ニュース記事を読んだり説明したり自分の意見を述べたりする力をつける。
講義の内容／ 授業スケジュール	① 読解 各種の新聞記事など時事問題を中心に読む。 見出しから内容を推測したり、わかる言葉から大体の内容を推測してみる。さらに自分で調べながら細部まで読みとり、全体を把握する。
履修上の留意点	② 復習 記事の読解の後、漢字の読み方、語彙・表現の意味、内容などに関する質問に答えて、提出する。
成績評価の方法	③ 表現 読んだ内容に関して説明したり、自分の意見を言ったり、自分の考えやその理由を文章にまとめた りする。 平常点(小テスト・提出物・授業の参加度)を重視する。期末テストも行う。
教科書／テキスト	プリント配布する。 辞書を持ってくること。

日本語
事情

履修コード	231311・231312
科目名	日本語Ⅴa
担当者名	湯村 礼子

講義の到達目標(ねらい)	文献や資料を読み取る読解力をさらに高め、分かりやすく説明・発表ができるようになることをめざす。また、自分の意見を明確に述べられるようになることも目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	文献・資料の読みから発表までのプロセスを学ぶことから始める。内容は(1-2) 文献・資料を読む、(3-4) 要約する、(5-6) 構成を考える、(7-8) レジューメを作る、(9-10) 発表での話し方、を講義を聞いて個々に行い提出する。そして、(11-15) 発表を行う。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。提出物は、必ず期限までに提出すること。なお、第一週・第二週の授業を続けて欠席した場合は履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	毎時間の授業活動、提出物、クイズ、発表、期末試験を総合的に評価する。
教科書／テキスト	授業時に指定する。
その他の留意点	受講態度を重視する。

履修コード	231421・231422
科目名	日本語V b
担当者名	多田羅 哲子

講義の到達目標(ねらい) 読むことを通して日本語の読解力、表現力も高める。
今、話題になっている時事的問題について読んで内容をつかむ力を養う。
それらに関して話す、書くことによって、日本語で説明したり自分の考えを述べる力を養う。
関心のある新聞記事等を持ってきてみんなで読む。

講義の内容／
授業スケジュール その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法
教科書／テキスト 復習プリントを提出する。
平常点(小テスト・発表・提出物・授業への参加度)を重視する。期末テストも行う。
プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231411・231412
科目名	日本語V b
担当者名	湯村 礼子

講義の到達目標(ねらい) 分かりやすい説明・発表をし自分の意見を述べることで、また、発表を聞いて質問したり意見を述べたりすることが、自信を持ってできるようになることをめざす。

講義の内容／
授業スケジュール 日本語Vaの続きとして、発表、質疑応答、意見交換を行う。日本語の文法、発音、イントネーション、話し方などにも留意しながら進める。内容については第一週に相談して決めたい。
準備学習 発表のために、資料を読み、発表の準備をする。
履修上の留意点 授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。また、発表するための記事を選ぶことから、レジュメを作成して発表するまでは各自で準備することになる。授業では活発な発言、意見交換が望まれる。

成績評価の方法 発表(レジュメ・発表メモなどを含む)、授業活動(発言、授業態度など)、小テスト、提出物などを総合的に評価する。

教科書／テキスト 特になし。授業中にプリントなどを配る。
その他の他 受講態度を重視する。辞書を持ってくること。

日本語
事情

履修コード	231511・231512
科目名	日本語VI a
担当者名	鈴木 美希

講義の到達目標(ねらい) あるテーマに関する資料を読むことを通じて読解力を伸ばし、自分の意見を持つ。
(1)文章中の表現と文章全体の内容を正確に理解する。
(2)読んだ内容を自分の言葉で説明し、それに対する自分の意見を述べるができる。

講義の内容／
授業スケジュール 「消費」を大きいテーマとし、「食品輸入」「大量消費」「マーケティング」などに関する資料を読み、学生同士で読んだ情報を交換する。また、DVDを視聴して、テーマに対する理解を深め、意見交換を行う。

準備学習
履修上の留意点 配布資料に関する宿題(漢字・ことば・文法・意見を書く)を出します。
◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず最初の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
◆ペアワークやグループワークを多用するので、学生同士の活発な情報交換・意見交換を望む。

成績評価の方法 平常点(授業への参加度・提出物)60%、期末試験40%を基本に総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書／テキスト 授業中にプリント教材を配布する。
参考書 辞書を持ってくること。

履修コード	231521・231522
科目名	日本語VI a
担当者名	多田 ^{たたら} 羅 ^{あきこ} 哲子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に、現代の日本人の考え方にふれる。
① 読解
最新のビジネス雑誌を中心にさまざまな人の文章を読み、今よく使われている言葉や表現を知り、その内容を把握する。
現在よく使われているカタカナ語、慣用句など語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自辞書やネットで調べて確認しながら、細部まで理解して読む。

② 今問題になっていること、人などに関して自分の考えを述べる。

③ 練習シートの提出

学習した内容の復習
平常点(提出物・小テスト・授業への参加度)、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

成績評価の方法
教科書/テキスト

履修コード	231611・231612
科目名	日本語VI b
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美 ^{みき} 希

講義の到達目標(ねらい)

あるテーマに関する資料を読むことを通じて読解力を伸ばし、自分の意見を持つ。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) 文章中の表現と文章全体の内容を正確に理解する。
(2) 読んだ内容を自分の言葉で説明し、それに対する自分の意見を述べることができる。
「学生から社会人へ」を大きいテーマとし、「教育」「若者」「就職」などに関する資料や小説を読み、学生同士で読んだ情報を交換する。また、DVDを視聴して、テーマに対する理解を深め、意見交換を行う。

準備学習
履修上の留意点

配布資料に関する宿題(漢字・ことば・文法・意見を書く)を出します。
◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず最初の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法

◆ペアワークやグループワークを多用するので、学生同士の活発な情報交換・意見交換を望む。
平常点(授業への参加度・提出物)60%、期末試験40%を基本に、総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書/テキスト
参 考 書

授業中にプリント教材を配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231621・231622
科目名	日本語VI b
担当者名	多田 ^{たたら} 羅 ^{あきこ} 哲子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
ビジネス雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。
今、社会でよく使われているカタカナ語、慣用句など語句の意味や使い方を知る。
漢字の読み、文法事項等についても復習し確認しながら細部まで理解して読んでいく。
記事の内容について自分の感想や意見を述べる。

準備学習
成績評価の方法
教科書/テキスト

配布したプリントでわからない言葉があれば調べておくこと
平常点(提出物・小テスト・授業への参加度)、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230511・230512
科目名	日本語入門Ⅰa
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美希 ^{みき}

講義の到達目標(ねらい)	日本語学習歴が150時間～300時間程度の学生が、初級文法の中で大切なポイントとなる文法の整理をし、使えるようになる。また、漢字・ことばの力をのばす。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：レベルチェック、第2～4回：自動詞・他動詞、比較など、第5～7回：原因・理由、目的、受身など、第8回：中間テスト、第9～10回：手段・方法、敬語など、第11～14回：例を示す、助詞、接続詞、副詞など、第15回：期末テスト
準備学習	毎回、その日に学習したことに関する宿題を出します。また、1つの課が終わったら、文法・漢字・ことばの小テストをするので、準備をして授業に参加してください。
履修上の留意点	◆非漢字圏の学生で、初級レベルの文法の学習を必要とする学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。 ◆「日本語入門Ⅱa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰa」と「日本語入門Ⅱa」は同時に受講することが望ましい。 ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点(授業への参加度・小テスト・提出物)50%、中間テスト・期末テスト50%を基本的に総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト	『中級へ行こう』スリーエーネットワーク その他、プリント教材を使用する。
その他	辞書を持ってくること。

日本語
事情

履修コード	230521・230522
科目名	日本語入門Ⅰb
担当者名	鈴木 ^{すずき} 美希 ^{みき}

講義の到達目標(ねらい)	日本語学習歴が150～300時間程度の学生が、初級文法の中で大切なポイントとなる文法の整理をし、使えるようになる。また、ことば・漢字の力をのばす。
講義の内容／授業スケジュール	「日本語入門Ⅰa」の続きとして講義を行う。第1回：レベルチェック、第2～4回：助詞、たとえるなど、第5～7回：伝聞表現、「もの」と「こと」、名詞修飾など、第8回：中間テスト、第9～10回：使役、使役受身など、第11～14回：「～べき」、「～はず」、「～わけ」、「こ・そ・あ」など、第15回：期末テスト
準備学習	毎回、その日に学習したことに関する宿題を出します。また、1つの課が終わったら、文法・漢字・ことばの小テストをするので、準備をして授業に参加してください。
履修上の留意点	◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。 ◆「日本語入門Ⅰa」「日本語入門Ⅱa」を受講した学生を前提とするが、日本語のレベルが適当であれば受講を認める。 ◆「日本語入門Ⅱb」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰb」と「日本語入門Ⅱb」は同時に受講することが望ましい。 ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点(授業への参加度・小テスト・提出物)50%、中間テスト・期末テスト50%を基本的に総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト	『中級へ行こう』スリーエーネットワーク その他、プリント教材を使用する。
その他	辞書を持ってくること。

履修コード	230531・230532
科目名	日本語入門Ⅱ a
担当者名	鈴木 美希

講義の到達目標(ねらい)	日本語学習歴が150～300時間程度の学生を対象とし、「日本語入門Ⅱa」で学んだことをもとに、「読む」「書く」「話す」「聞く」活動を通じて、日本語の総合力を高める。
講義の内容／授業スケジュール	「日本語入門Ⅱa」で学習したことと関連のある資料を読んだり聞いたりしたあと、作文を書いて、その内容を発表する。次の5つのトピックを扱う。「地震」「インターネットの利用」「日本人の発明」「あいづち」「ことばの使い方」
準備学習 履修上の留意点	授業でとりあげるトピックに関することばの学習と、発表の準備(作文・資料作成)。 ◆非漢字圏の学生で、初級レベルの文法の学習を必要とする学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。 ◆「日本語入門Ⅱa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅱa」と「日本語入門Ⅱa」は同時に受講することが望ましい。 ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点(授業への参加度・小テスト・提出物)30%、作文・発表40%、期末テスト30%を基本的に総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト	『中級へ行こう』スリーエーネットワーク
その他の他	その他、プリント教材を使用する。 辞書を持ってくること。

履修コード	230541・230542
科目名	日本語入門Ⅱ b
担当者名	鈴木 美希

講義の到達目標(ねらい)	日本語学習歴が150～300時間程度の学生を対象とし、「読む」「書く」「話す」「聞く」活動を通じて、日本語の総合力を高める。
講義の内容／授業スケジュール	「日本語入門Ⅱb」で学習したことと関連のある資料を読んだり聞いたりしたあと、作文を書いて、その内容を発表する。次の5つのトピックを扱う。「ファストフード」「最近の子ども」「睡眠」「リサイクルとフリーマーケット」「男の仕事・女の仕事」 トピックに関する簡単な調査をし、結果をクラスで報告する。
準備学習 履修上の留意点	授業でとりあげるトピックに関することばの学習と、発表の準備(作文・資料作成・調査活動)。 ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。 ◆「日本語入門Ⅱa」「日本語入門Ⅱa」を受講した学生を前提とする。 ◆「日本語入門Ⅱb」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅱb」と「日本語入門Ⅱb」は同時に受講することが望ましい。 ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点(出席率・授業への参加度・小テスト・提出物)と30%と、作文・発表40%、期末試験30%を基本的に総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書／テキスト	『中級へ行こう』スリーエーネットワーク
その他の他	その他、プリント教材を配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231701・231702
科目名	日本事情Ⅰ〔地理〕
担当者名	高橋 健太郎

講義の到達目標(ねらい)	人々の生活や地域社会の特徴と変化を、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：オリエンテーション、第2回：日本の行政区分、第3～4回：日本の文化や生活の地域性、第5～8回：各都道府県の地理的特徴(受講生の発表)、第9回：校外見学、第10～12回：東京大都市圏の特徴と変容、第13回：校外見学、第14～15回：日本の農山村地域の特徴と変容。
準備学習 履修上の留意点	すべての受講生が最低1回、各都道府県の地理的特徴について授業中に発表する。事前の資料収集と発表準備が必要である。 第1回目に授業の案内を行なうので必ず出席のこと。また、校外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。
成績評価の方法	毎回教場で作成する小レポート、授業中の討論への参加状況、発表の内容、校外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。なお、この授業は1年次から履修可能であることから、成績評価の際、就職活動等を理由とする長期欠席は考慮しない。

履修コード	231801・231802
科目名	日本事情Ⅱ〔自然〕
担当者名	<small>しみず よしかず</small> 清水 善和

講義の到達目標(ねらい) 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜熱帯の沖縄から温帯の本土を通り亜寒帯の北海道まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて学習する。

講義の内容／授業スケジュール 1章：位置（国土の範囲、行政区分、位置の特徴：1,2回）、2章：気候（気候帯、海流、気候の特徴、気団と季節、気象観測、気候と文化：3-7回）、3章：地質・地形（弧状列島、変動の歴史、多様な地形、火山、地震、自然災害：8-11回）、4章：生物（植生帯、生物多様性、生物地理区、里山、帰化生物：12-14回）、5章：自然保護（レッドデータ、国内の法律、国際条約：15回）

成績評価の方法 講義期間中に課す2回のレポート（各35点）と出席点（30点）に基づいて評価する。

教科書／テキスト 講義内容を文章化した「web版テキスト（日本語版）」を紹介する。受講者は指定のHPからファイルを自由にダウンロードして利用できる。

参 考 書 講義の中で適宜紹介する。講義に必要な図表をまとめたプリント資料を毎回配布する。

そ の 他 講義は日本語で行うが、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著した「web版テキスト（English version）」を紹介する。

日本語
日本事情

履修コード	231901・231902
科目名	日本事情Ⅲ〔歴史〕
担当者名	<small>いのうえ けいこ</small> 井上 桂子

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのように交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール

1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点 第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法 出席回数と課題レポートで評価します。

教科書／テキスト 必要に応じてプリントを配布します。

参 考 書 授業のなかで適宜紹介します。

そ の 他 希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

履修コード	232001・232002
科目名	日本事情Ⅳ〔思想〕
担当者名	佐藤 ^{さとう} 美奈子 ^{みなこ}

講義の到達目標(ねらい)

明治維新によって江戸幕府は倒れ、日本は新しく近代国家としての道を歩み始めました。新しい時代を迎えて、日本社会はどう変わったのでしょうか。その時、人々は何を考え、どのようにして「新しい日本」を作りだそうとしたのでしょうか。本授業では、「福沢諭吉」という思想家の人生を軸にしながら、この時期の社会と思想を学びます。現代日本の出発点と言われるこの時期の社会と思想を知ることにより、皆さんの日本に対する理解は深まることでしょう。

講義の内容／
授業スケジュール
準備学習

なお授業を理解する上では、常識程度の日本史の知識が必要となります。よって、中学生レベルの日本史についても授業では学ぶことにします。

ガイダンス(1)、江戸時代の社会と思想(2~4)、幕末の変化(5~7)、東京オリンピックと戦後日本(8~9、学外研修を含む)、明治維新と文明開化の思想(10~12)、自由民権の思想(13~14)、まとめ(15)。授業で扱う時代の日本史について、事前に概略を把握しておいてください。また小テストの準備も兼ねて、授業の復習は欠かせないでください。

履修上の留意点

毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席・遅刻が多い場合は、単位が取得できません。毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。もし授業を履修する場合は、4月中に必ず一度授業に出席して上記の点を確認してください。

成績評価の方法

毎回、授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席・遅刻の場合、点数は与えられません。

教科書／テキスト
参考書
その他の他

特に指定しません。
授業時に適宜、紹介します。
講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

日本語
日本事情

履修コード	232101・232102
科目名	日本事情Ⅴ〔社会〕
担当者名	牛島 ^{うしじま} 千尋 ^{ちひろ}

講義の到達目標(ねらい)

日本事情Ⅴは、日本の首都「東京」とそれに連なる東京圏の中心都市と郊外について、空間構造、地域社会構造、生活構造の側面について留学生の皆さんに理解を深めてもらい、街を歩く時やさまざまな場所を訪れる時、これまでとは異なる社会学的視点で街を見ることの面白さを知ってもらうことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 オリエンテーション(第1回)
- 2 近代化と東京の歴史(第2回~第4回)
- 3 第二次大戦後の東京の発展と都市問題(第5回~第7回)
- 4 世界都市としての東京と一極集中(第8回~第10回)
- 5 バブル経済崩壊後の東京圏の変容(第11回~第12回)
- 6 都心回帰と東京の都市開発(第13回~第14回)

履修上の留意点

受講生は、積極的に街を歩き、観察をして欲しい。

成績評価の方法

出席、授業中の発言、最終レポートから総合的に判断する。

教科書／テキスト

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

参考書

適宜、紹介する。

その他の他

講義、質問の受付などすべて日本語で行う。また、最終レポートなどもすべて日本語で行う。

履修コード	232201・232202
科目名	日本事情Ⅵ〔政治・法律〕
担当者名	<small>みたけ なかや</small> 三竹 直哉

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。
下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎日本のマイノリティ
- ◎日本の移民政策

準備学習
履修上の留意点

特にありませんが、日本の政治についての新聞報道やニュースに触れておいたほうがよいです。
日本の政治について考える授業ですから、日本の政治に関心がなかったり、政治について学ぶ気がない学生は履修すべきではありません。

授業参加を重視します。参加人数によって授業のやり方は変わります。人数が少なければ討論中心になりますので、発言することが重要になります。

期末テストによります。
指定する予定はありません。

成績評価の方法
教科書/テキスト
その他

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese. Students who chat in English during the sessions are not welcome. You need to be able to read newspaper articles in Japanese (with dictionaries) in order to register.

最新の情報はYeStudyで確認してください。

日本語
日本事情

履修コード	232301・232302
科目名	日本事情Ⅶ〔文学〕
担当者名	<small>かいとう ひさこ</small> 内藤 寿子

講義の到達目標(ねらい)

テーマ「文学・文化から学ぶ日本社会の姿」
文学作品や映像などを題材に、近現代の日本社会に対する知識や理解を深めます。講義と演習を組み合わせ、日本語運用能力の向上を目指します。

講義の内容/
授業スケジュール

講義では、様々なメディアを具体的に分析しながら、近現代日本社会の様相について考えていきます。また、受講者のみなさんにも、日本語を使い、文章や口頭で意見を発表してもらいます。実用的な日本語運用能力を身につける練習もします。

(1) オリエンテーション、(2～5) 短編小説から考える日本社会(阿刀田高ほか)、(6～9) 子ども向けメディアから考える日本社会(松谷みよ子ほか)、(10～14) 映像メディアから考える日本社会(テレビドラマほか)、(15) まとめ。

履修上の留意点

なお、履修者の教や志向によって、内容やスケジュールを調整する可能性があります。その際は、授業時間内に連絡をします。

第1回目の授業時に、みなさんの日本語運用能力を確認します。受講希望者は必ず出席してください。また、担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈調べる〉〈発表する〉などの形で、みなさんに参加してもらいます。

成績評価の方法

適宜、授業中に課題をおこないます。A: 授業への参加度・授業内課題(50%)、B: 学期末の教場試験(50%)をあわせて、総合的に評価をします。

教科書/テキスト
参考書
その他

指定なし。適宜プリントを配布します。
適宜授業中に指示します。

授業では、日本語のみを使用します。随時、相談や質問を受けつけますが、日本語運用能力にとくに不安がある人は、オリエンテーション時に相談にきてください。

履修コード	232401・232402
科目名	日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕
担当者名	佐藤 美奈子 <small>さとう みなこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いに答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」が時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからでしょう。

本授業では、この曖昧な「日本文化」をいくつかの手がかりをもとに考えていこうと思います。手がかりにするのは、「天皇」「神社」など。日本社会・文化に深い関わりをもつこれらのキーワードと、それにまつわるエピソードを学びながら、「日本文化」の常識や新しい知識を学んでいきましょう。

なお授業を理解する上では、常識程度の日本史の知識が必要となります。よって、授業では中学生レベルの日本史についても学びます。

講義の内容／
授業スケジュール
準備学習

オリエンテーション(1)、天皇とは何か(2～4)、天皇と神話(5～7)、天皇と日本の歴史(8～10)、神社と神道(11～14)、学外研修を含む)、まとめ(15)。

授業で扱う時代の日本史について、事前に概略を把握しておいてください。また小テストの準備も兼ねて、授業の復習は欠かせないでください。

履修上の留意点

毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席・遅刻が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。

成績評価の方法

毎回、授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席・遅刻の場合、点数は与えられません。

教科書／テキスト
参考書
その他

特に指定しません。
授業時に適宜、紹介します。
講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232501・232502
科目名	日本事情Ⅸ〔経済〕
担当者名	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本という国の特質について、その生成期から現代までのすべての歴史をふりかえることで、みなさんと考えます。受講者のみなさんが、おのおの自分の出身国と比較して、この国の特質がどんなところにあるか、語れるようになることを目標とします。

つぎの項目について、それぞれ1～2回の講義のなかでとりあげます。

日本の自然(日本の山/日本の海) / 日本語の特質 / 日本における古代国家の形成 / 日本の封建制度 / 日本の近代国家の形成 / 現代日本の経済と経営 / 日本の文化と日本人の生活感覚 / その他日本にかんすることがら

準備学習

日本についてよく考え、毎回の講義には質問を用意してきてください。講義の当日、みなさんの質問に答えます。

履修上の留意点

日本について知りたい人は、どしどし受講してください。質問には、日本語のほか、必要なら英語でもお答えします。

成績評価の方法

平常点により、評価します。平常点とは、毎回の授業において、どれくらい質問したか、自分の質問にたいして授業のなかでどれくらい理解したか、などを総合的に評価したものをいいます。

教科書／テキスト

みなさんのまわりにある日本についての情報のすべてが、いわば教科書です。日本にかんする新聞や雑誌の記事、ラジオやテレビの番組、書物や映画などに可能なかぎり注目するように心がけてください。

その他

より進んで日本について学習したいみなさんのために、ピクニックや小旅行などを企画することもあります。また、いっそう多くの日本の学生と知り合いたい人たちのために、その希望をかなえるための機会を用意することもあります。すべて、受講生のみなさんの希望にしたいがいます。

履修コード	232601・232602
科目名	日本事情X〔経営〕
担当者名	<small>たかだ みつあき</small> 高田 光明

講義の到達目標(わらい) 日本の社会は、現在、大きく変化しつつある。どのような方向に変化しているかは、企業に目をむけると見えてくる。

業績が思わしくない企業が多く見受けられる中で、元気のよい企業もある。そのような企業に共通しているのは、価格競争に巻き込まれない製品を生み出していることである。価格競争に巻き込まれない製品は、なぜそうした立場でいられるかという、企業において創造された専門的知識に裏付けられた機能やデザインなどにより、他社が容易には追随できない製品になっているからである。企業業績に貢献する主要な源泉が、元手となるカネや設備といったモノから、高度な専門的知識へと比重が移ってきている。

このように高度な専門的知識が果たす役割が大きくなった社会を、知識基盤社会とっている。この授業では、知識基盤社会を迎えて、日本の企業は、どのように変わってきているのか、そしてどのように変わる必要があるのかを検討する。こうした内容の授業を通して、日本の企業について理解する手掛かりをつかんで頂きたい。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回 オリエンテーション

第2回から第5回 知識基盤社会の到来

第6回から第10回 知識基盤社会における企業のあり方

第11回から第15回 日本企業の実際の動き

履修上の留意点

適宜、質問したり意見を求めるといった双方向的形式を取り入れて授業を行う。したがって、授業で進める範囲に前もって目を通しておくことを、授業出席の前提条件とする。

成績評価の方法
教科書／テキスト

原則として、課題レポートにより評価する。受講者が多い場合は、筆記試験も実施する。使用する教材は、授業のつど指示する。

Ⅲ 随意科目

履修コード	233101
科目名	宗教学概説
担当者名	川上 ^{かわかみ} 新二 ^{しんじ}

講義の到達目標(ねらい)	宗教を研究対象とする宗教学という学問の理解、世界の多くの人々に受け伝えられているさまざまな宗教についての理解、さらには既習の講座「仏教と人間」を踏まえて、駒沢大学がよってたつ仏教のさらなる理解、という三点を目指します。
講義の内容／ 授業スケジュール	以下の内容を実際の授業日数に配分して講義します。 1. 宗教学の理解：(1)宗教学とは、(2)宗教とは、(3)宗教の分類、(4)宗教の原初形態、(5)呪術と宗教、など。 2. 世界の宗教の理解：(1)ユダヤ教、(2)キリスト教、(3)イスラム教、(4)ヒンズー教、(5)道教、(6)儒教、(7)神道、など。 3. 仏教のさらなる理解（とくにキリスト教との比較を通じて）：(1)実在観、(2)人間観、(3)世界観、(4)実践、など。
準備学習	講義内容の整理を目的としたレポートで成績を評価しますので、日頃から講義の内容を十分に整理し、まとめておいてください。
成績評価の方法	数回（4～6回くらいを考えています）のレポート（講義内容を課題に応じて1200字以上でまとめる。字数および提出期限厳守。氏名、題名は字数に含めない。一行20字もしくは30字もしくは40字のワープロで作成するか、手書きの場合には原稿用紙で作成のこと。レポート用紙などへの手書きのものは受理しない）で評価します。課されたレポートのすべてを提出した場合が成績評価の対象になります。レポートの課題や提出期限は授業の中で指示します。
教科書／テキスト 参考書	プリントを配布します。 水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院 脇本平也『宗教学入門』講談社学術文庫

履修コード	232901・233001
科目名	宗教学概説
担当者名	矢野 ^{やの} 秀武 ^{ひでたけ}

講義の到達目標(ねらい)	世界には様々な宗教があり、多様な思想・体験・集団・活動が見られる。また特定の集団には関わらないが宗教的と言える現象などもある。そして宗教は歴史・地理・政治・経済・社会・芸術・異文化理解など多様な分野にまたがるものである。さらに、自分は無宗教だと思っている人でも、なんらかの宗教的感性をもっていることは多い。 そのような点を踏まえ、本講義は、宗教を多様な側面から捉え理解する能力を、身につけることを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	また、教職科目の一環として、人前で話すこと・伝えることについて経験を積むことも、めざす。 前期では、まず授業内容やスケジュールについての概要を述べ（1～2）、その後、世界の諸宗教についての歴史と思想について学び（3～15）、宗教についての基礎知識と具体的なイメージを身につけることを目的とする。
履修上の留意点	後期では、さらにこれらの諸宗教の思想や実践に見られる共通性と相違、あるいは自分たちの信念や慣習との異同等を、比較を通じて考える（16～30）。また、各受講者の課題発表も行う。 本講義は講師による講義だけでなく、各受講者による課題発表・質疑応答も行う。 また、授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説するので、必ず出席すること。
成績評価の方法	出席と学習意欲（20%）、課題発表（40%）、試験（40%）を総合して評価を行なう。
教科書／テキスト 参考書	なし 授業時に随時紹介する。

履修コード	075002
科目名	宗教人類学
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとうのりあき</small>

講義の到達目標(ねらい)

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な文化のひとつに数えられている憑霊（ひょうれい）文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは、神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の考え方を学習した後に、日本を含むアジアの諸地域で生起している憑霊文化を取り上げ、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして、憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容／
授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

第1～2回 宗教人類学の学問的特徴、第3～4回 憑きもの研究と憑霊研究、第5～7回 憑霊研究とシャーマニズム研究、第8～10回 憑霊文化と脱魂文化、第11～13回 人間の憑霊と事物の憑霊、第14～16回 憑霊の連鎖現象、第17～21回 憑霊と民俗宗教・民俗仏教、第22～26回 憑霊型シャーマニズム、第27～29回 憑霊現象と社会組織、第30回 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、追試験は実施する。

教科書／テキスト
参 考 書

使用しない。

授業中に適宜紹介する。

履修コード	450002
科目名	就業力基礎Ⅰ
担当者名	なかすみ みつあき やの こういち ながやま むねひろ きめかわ しんや 中 済 光 昭 ・ 矢 野 浩 一 ・ 長 山 宗 広 ・ 絹 川 真 哉

講義の到達目標(ねらい)

本科目は、産業界等との連携による実学的専門教育を含む、学生の卒業後の社会的・職業的自立を目的とし、1年次から4年次まで行われる就業力育成科目群の1年次科目です。1年次では、皆さんが大学内外で勉強を始めとする様々な活動を行うことが、社会へ出た時どのような意義を持つか理解し、充実した大学生活を設計できることを目標としています。

この科目で、皆さんに考えてほしいことは、仕事の面から見た「人生そのもの」といえます。ですからこの科目が目指すものは、単に優れた就職先にみなさんが採用されればいいというものではありません。「人生をどう生きていくのか」「そもそも自分はなぜ生まれてきたのか」「何をすべきなのか」を考え、それに基づいて職業を考えるということなのです。

講義の内容／
授業スケジュール

- ① 4/3・5オリエンテーション
- ②・③ 4/14・21 自己紹介(自己ワークシート)・アイスブレイク ポートフォリオ (PDCA)
- ④ 4/28 システムの使い方および大学生活における自分史をつくる GWの課題提示
- ⑤ 5/12 課題を受けてのグループディスカッション
- ⑥ 5/19 キャリア講座に参加
- ⑦ 5/26 キャリア講座を受けて ワークシートを使って
- ⑧ 6/2 図書館を使ってキャリアに関する文献を探す
- ⑨ 6/9 学長特別講座
教員と会って話す(コラム掲載の教員等) ワークシートを使って
- ⑩ 6/16 グループディスカッション
- ⑪ 6/23 ケーススタディ①:駒大生A君とBさんのキャリア 高校の部活動・大学のサークル・バイトを元に。
- ⑫ 6/30 グループディスカッション
- ⑬ 7/7 ケーススタディ②:駒大生A君とBさんのキャリア 高校の部活動・大学のサークル・バイトを元に。
- ⑭ 7/14 グループディスカッション
- ⑮ 7/21 夏休みの課題提示

履修上の留意点

- ポートフォリオ(行動計画)は前週の反省を踏まえ毎週行う。
- 1) この科目では、社会人として必要な力を理解し、大学生活からいかにそれを身につけるかを、人材開発会社と共同で開発したテキストを使って学ぶ。積極的に知識を吸収することを期待している。
 - 2) この科目はグループ単位で自習形式で課題に取り組む。その際先輩(学生サポーター)がアドバイスする。学生サポーターの指示に従い、きちんと課題に取り組むこと。
 - 3) 課題に取り組むための教室を使って木曜6時限に課題を行う。したがって木曜6時限には他の講義などを入れないこと。なおこの曜日時限に数回程度科目担当者(先生)が指導を行う。
 - 4) 2年次以降の履修はできないので注意すること。
 - 5) 定期試験および追試験は行わない。
 - 6) この科目は、経済学部は、基礎ゼミ(商・現代応用)や基礎情報処理、情報入門と連携した内容になっています。経済学部の学生はこれらの講義にも必ず出席すること。
 - 7) この科目は、GMS学部は、グローバルメディアスタディーズ概論、情報リテラシー、情報リテラシー実習と連携した内容になっています。GMS学部の学生は、これらの講義にも必ず出席すること。
 - 8) 授業時間内に就業力を測定するためのテストを行う予定である。
 - 9) 講義期間中に学長による講座を実施する予定である。

成績評価の方法

授業時間中の課題、グループで取り組む課題、就職ガイダンス等の課外活動の結果から総合的に評価する。

教科書／テキスト

開講時に配布。

参考書

必要に応じて紹介する。

その他

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

履修コード	450052
科目名	就業力基礎Ⅱ
担当者名	中濟 光昭・矢野 浩一・長山 宗広・網川 真哉

講義の到達目標(ねらい)

本科目は、産業界等との連携による実学的専門教育を含む、学生の卒業後の社会的・職業的自立を目的とし、1年次から4年次まで行われる就業力育成科目群の1年次科目です。1年次では、皆さんが大学内外で勉強を始めとする様々な活動を行うことが、社会へ出た時どのような意義を持つかを理解し、充実した大学生活を設計できることを目標としています。

この科目では、企業研究、職種についての理解、ケーススタディを通じて仕事に対する心構えや希望する進路に就くために何をすべきかなどについて考え、自ら準備を進められるようにサポートをしていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

- ① 9/22 夏休みの課題発表
- ② 9/29 企業研究の視点についてと事例紹介
(身近な企業、身近な製品の研究を通じて、業界の生産流通構造・取引関係・競争関係、企業組織の構造・バリューチェーンを理解する)
- ③ 10/6 企業研究 (web等で分かる範囲) グループ単位
- ④ 10/13 企業研究 (web等で分かる範囲) グループ単位
- ⑤ 10/20 企業研究 (web等で分かる範囲) の発表 グループ単位
- ⑥ 10/27 企業研究 (web等で分かる範囲) の発表 グループ単位
- ⑦ 11/10 職種について ケーススタディを基に 資格紹介 副読本・教材提示
(総合職・一般職・専門職、〇〇士、起業家、公務員 等)
- ⑧ 11/17 職種について (キャリア講座を受けて)
- ⑨ 11/24 職種について
- ⑩ 12/1 ケーススタディ①: 駒大生A君とBさんのキャリア
職場で活躍する人材のイメージ、必要なスキルを知る
- ⑪ 12/8 グループディスカッション ワークシートを使って
- ⑫ 12/15 ケーススタディ②: 駒大生A君とBさんのキャリア
職場で活躍する人材のイメージ、必要なスキルを知る
- ⑬ 12/22 グループディスカッション ワークシートを使って
- ⑭ 1/12 まとめ

履修上の留意点

- ポートフォリオ(行動計画)は前週の反省を踏まえ毎週作成します。
- 1) この科目では、社会人として必要な力を理解し、大学生活からいかにそれを身につけるかを、人材開発会社と共同で開発したテキストを使って学ぶ。積極的に知識を吸収することを期待している。
 - 2) この科目はグループ単位で自習形式で課題に取り組む。その際先輩(学生サポーター)がアドバイスをする。学生サポーターの指示に従い、きちんと課題に取り組むこと。
 - 3) 課題に取り組むための教室を使って木曜6時限に課題を行う。したがって木曜6時限には他の講義などを入れないこと。なおこの曜日時限に数回程度科目担当者(先生)が指導を行う。
 - 4) 2年次以降の履修はできないので注意すること。
 - 5) 定期試験および追試験は行わない。
 - 6) この科目は、経済学部は、基礎ゼミ(商・現代応用)や基礎情報処理、情報入門と連携した内容になっています。経済学部の学生は、これらの講義にも必ず出席すること。
 - 7) この科目は、GMS学部は、グローバルメディアスタディーズ概論、情報リテラシー、情報リテラシー実習と連携した内容になっています。GMS学部の学生は、これらの講義にも必ず出席すること。

成績評価の方法

授業時間中の課題、グループで取り組む課題、就職ガイダンス等の課外活動の結果から総合的に評価する。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

開講時に配布。
必要に応じて紹介する。
1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

随意科目

履修コード	017302
科目名	書道史
担当者名	那須 隆吉

講義の到達目標(ねらい) 東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容／
授業スケジュール
前期(1)ガイドランス(文字と書体について)
(2)漢字の発生(甲骨文字の発見)
(3)(4)甲骨文字の内容・解説・書風の変遷
(5)(6)(7)青銅器の文字、金文について
 の銘文の内容、解説、書風
(8)(9)篆書の時代(始皇帝の文字統一)
(10)(11)(12)隷書のはじまり
(13)最古の文字の解説書「説文解字」について
(14)(15)草書の完成
後期(16)(17)(18)魏晋南北朝時代の文字について
(19)(20)隋の統一と楷書の発展
(21)(22)(23)唐の書法
(24)宋の書法
(25)(26)元の書法
(27)(28)明の書法
(29)(30)清の書法

履修上の留意点 遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。
成績評価の方法 出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。
教科書／テキスト 伏見冲敬著『書の歴史』(二玄社)
参 考 書 随時紹介する。

履修コード	233301
科目名	哲学概説
担当者名	久保 陽一

講義の到達目標(ねらい) 哲学は常識や科学と異なっており、世界についてその全体像を問う学問であると同時に、世界の中で人間がいかに生きるべきか、人生の目標や意義を究明しようとするものでもある。我々は日常たえず意識しているとは限らないが、人生のふしぶしでそのような根本的な問題につきあたらざるをえない。しかし、その問題に対して、一義的な正解が見つかるとは限らない。講義では、少なくとも、その問題を考える視野を広げることをめざす。

講義の内容／
授業スケジュール
前期では、哲学とはどういう探求か、また東洋と西洋における哲学思想の歴史について概観を得るために、渡辺二郎「哲学入門」を読みながら、解説することにする。
後期では、一層特殊なテーマ(正義、歴史など)を取り扱うことにする。
履修上の留意点 色々な本を読み、自分でものごとを考え、文章でまとめるようにすること。
成績評価の方法 出席数、試験(前期と年度末)、レポートなどによって評価する。
教科書／テキスト 渡辺二郎「哲学入門」(日本放送出版協会)
参 考 書 久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)
久保陽一「生と認識」(知泉書館)

履修コード	233201
科目名	哲学概説
担当者名	末木 恭彦

講義の到達目標(ねらい) 哲学とはいかなる学問か理解をはかる。哲学は西洋の独占物でない。西洋に啓発されてであるが、東洋にも独自の哲学の試みはなされている。本講義は、そのような東洋哲学を考察する。

講義の内容／
授業スケジュール
近代中国の哲学の試みの中から、馮友蘭の新理学を取りあげ、その著『新知言』を紹介する。
(1~2)中国の近現代哲学の概観(3~6)馮友蘭の生涯(7~10)『新理学』概観(11)緒論(12)形而上学の方法を論ず(13)プラトンの弁証法(14)スピノザの反観法(15)予備(16)カントの批判法(17)ウィーン学派の形而上学に対する見方(18)新理学の方法(19)分析命題を論ず(20)約定説を論ず(21)禅宗の方法(22)詩を論ず(25~27)新理学の展開(28~29)質疑応答(30)予備ノートを確実にとる。

履修上の留意点 学年末の試験、もしくはレポートによる。
成績評価の方法 『新知言』(講師の作成した抄訳をコピーして配布する)
教科書／テキスト 『馮友蘭自伝』(吾妻重二訳)全2冊、平凡社
参 考 書

履修コード	016802
科目名	東洋思想史
担当者名	末木 恭彦 <small>すえき やすひこ</small>

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国の伝統思想、特に儒教のあり様について理解を深めることを目指す。
直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文獻(経)についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することとする。手掛りとしては、江戸時代の儒者荻生徂徠の『経史子要覧』を用いる。『経史子要覧』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深めていく。
(1) ガイダンス (2) 荻生徂徠について (3~5) 経総論 (6~9) 詩・書 (10~12) 礼記・易 (13) 春秋 (14~15) 予備 (16~18) 論語・孝経 (19) 経まとめ (20~21) 子総論 (22~23) 孟子 (24) 荀子 (25~27) 老荘列 (28) 子まとめ (29・30) 質疑応答

履修上の留意点

予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。

成績評価の方法

平常の受講態度と学年末レポートによる。(受講人数によっては、試験にすることもある。) 追試はしない。

教科書/テキスト
参 考 書

『経史子要覧』(コピーを配布する)
関口順『儒学のかたち』(東大出版会)

履修コード	232701
科目名	日本宗教文化史
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は(われわれの文化ばかりではありませんが)自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生き、いかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。(現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。)

随意科目

講義の内容/
授業スケジュール

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

準備学習
成績評価の方法

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

教科書/テキスト
参 考 書

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事(祭礼や儀礼)、寺院行事、また物語、芸能などを題材(ビデオ等使用する予定)として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

第1回:この授業の進め方、第2~3回:日本人の靈魂観について、第4~5回:山岳信仰について、第6~10回:山岳信仰と地獄極楽、第11~15回:浄土信仰と臨終行儀について、第16~20回:来迎会の諸相、第21~25回:補陀洛渡海について、第26~28回:再び山岳信仰について、第29・30回:現代社会と他界

配布する関連資料に必ず眼を通してください。
年度末レポートおよび出席状況で評価します。
教科書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。
参考書はその都度紹介することにした。

履修コード	046602
科目名	日本仏教史
担当者名	松本 信道 <small>まつもと のぶみち</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) ガイダンス、(2)~(5) インド・中国・朝鮮仏教の成立、(6)~(10) 日本への仏教伝来と受容、(11)~(15) 飛鳥仏教の成立と展開、(16)~(25) 奈良仏教の成立と展開、(26)~(30) 平安仏教の成立と展開

成績評価の方法
教科書/テキスト

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

参 考 書

随時、プリントにて配布します。
速水侑『日本仏教史 古代編』(吉川弘文館)

履修コード	017102
科目名	日本民俗学
担当者名	牧野 眞一 <small>まきの しんいち</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～2) 民俗学の多様性 (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～9) 食をめぐる民俗 (10～11) 村と町のなりたち (12～13) 若者と一人前 (14～15) 婚姻と出産・子育ての民俗 (16～17) 女性・子ども・老人の民俗 (18～20) 葬送儀礼と先祖祭祀 (21～22) 里と海・山のなりわい (23～25) 祭りと年中行事 (26～28) 民俗宗教の諸相 (29～30) 北海道民俗・沖縄民俗の特徴

履修上の留意点
成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書／テキスト

谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊(八千代出版)
2,100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

参 考 書

講義内容を発展させるための参考文献は講義の中で紹介していきたい。

履修コード	233501
科目名	比較思想特講
担当者名	末木 恭彦 <small>すえき やすひこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

この講義では、東西の比較思想に関わる書籍を一冊選び、それを読み込むことで、東洋における哲学の持つ問題を理解してゆく

講義の内容／
授業スケジュール

哲学は、古代ギリシアに生まれた。これに対して、中国・日本には生まれず、近代に西欧から輸入され、翻訳されて発生する。然し、中国や日本の哲学者は、単なる翻訳に止まらず、独自の哲学の形成に進んだ。この東アジアの哲学は、哲学の未来に問題を投げかけている。中島隆博「哲学」(岩波書店)を読んで、上記の問題を考える。

準備学習
成績評価の方法

(1) ガイダンス (2) 始めに (3～10) 哲学はどのように生まれたか (11～15) 哲学と翻訳そして救済 (16～22) 哲学と政治 (23～28) 哲学の未来 (29～30) まとめ
教科書をあらかじめ深く読み込んでくること。

教科書／テキスト

平常点とレポートにより判定する。
中島隆博「哲学(ヒューマニティズ)」(岩波書店)

参 考 書

主要な参考書は教科書に載っている。それ以外は、適宜授業中に指示する。

履修コード	017802
科目名	美術史概説
担当者名	北野 良枝 <small>きたの よしえ</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 平安時代から室町時代の絵画
(1) ガイダンス
(2) 絵画に関する基礎知識
(3)～(5) 仏教絵画
(6)～(8) 絵巻物
(9)～(10) 肖像画
(11)～(15) 室町時代の水墨画
後期 室町末から江戸時代の絵画
(16)～(20) 狩野派
(21)～(24) 琳派
(25)～(26) 浮世絵
(27)～(28) 南蘋派と洋風画
(29)～(30) 江戸から明治へ

履修上の留意点
成績評価の方法

授業中の私語は厳禁。
学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

随意科目

履修コード	017202
科目名	編集実務
担当者名	はせがわ たかし 長谷川 孝

講義の到達目標(ねらい) 編集とは、事象や物事から「何か」に気付き、その意味をつかみとり、取捨選択(評価)し、再構成し表現の形を整えて、受け手に引き渡す(伝える)という、一連の過程に自覚的にかかわる作業です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考え、自らの問いを立てるなどの力が、「実務」には求められます。そのための自分なりの「目のつけどころ」(視点)をつくり、批判力・疑問力と評価力(自らの問いを立て、問い返し、自分なりの答えを紡ぎ、再考できる力)を身につけるなど、いわば《知的基礎体力》を養うことが目標です。

講義の内容／
授業スケジュール

また、編集というのはたつきは、生活の中で誰もが日常的に行っていることです。ですから、それを自覚的(意識的)に適用してみることで、「編集力」や情報へのリテラシーの力を育て、情報が氾濫する情報化(渦・渦)の社会で、情報を主体的に読み取り選択して活用できるようになることを目指します。

新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、「編集という仕事」について考えます。

前期は、①編集作業の流れや関係の知識・技能の概略、②編集の意味や企画の役割、③編集の社会的な役割と責任、④記事の読み比べと取材のあり方、⑤視点のあり方や形成、⑥表現や添削の姿勢と責任——などを、編集論的に取り上げます。

後期は、①編集の姿勢とマインド、②データやテキストの読みとり方とその役割、モチーフの取り立て方と表現、③原稿の執筆や直し(添削)の実際、④見出しやリードの意味と実際に書いてみる、⑤レイアウトの概要や企画の実際、⑥編集を行う主体性と自律性——などを知識・技能に即して実践的に取り上げます。

生活の中の情報と編集についても、前・後期を通して取り上げます。また、関係する新聞記事の切り抜きなどを、随時、印刷して配布します。

なお、現役のライターのみ講義、編集現場への訪問の機会の設定なども予定しています。

準備学習

新聞に目を通すこと。できれば、複数の新聞や、テレビのニュース、インターネットの伝え方、その違いにも注目してみてください。

履修上の留意点

授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えでの参加を。そこに、多くの編集的な過程(作業)が含まれているので、編集の実践にもなると考えています。

また、授業で「取材」して「自分なりに感じ気づき考えた」こと(意見や異見)を、毎時、短い文章にまとめて提出してもらいます(「イケン文」と呼ぶ)。疑問や批判の提起を大切にします。「イケン文」の提出をもって出席表に代えます。

成績評価の方法

自己評価点を重視します。それと、「イケン文」など平常の提出物および課題作品(B4版2つ折り4ページの個人紙・誌の制作を予定)によります。

教科書／テキスト

毎時、印刷物を配布します。

参考書

適宜、紹介します。

随意科目

履修コード	017902
科目名	民間信仰論
担当者名	かわかみ しんじ 川上 新二

講義の到達目標(ねらい) まずは、先学たちが民間信仰を如何にとらえようとしてきたのかについて検討し、それを通じて民間信仰と呼ばれるものの様相を理解することに努めます。続いて、民間信仰を一般庶民、民衆の間で営まれる宗教文化ととらえて、韓国の古典文学や文献を通じて韓国の人々の信仰の様相を理解すること、また、我が国で見られる諸事例を通じて我が国の民間信仰の具体的な姿を理解することを目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

以下の内容を実際の授業日数に配分して講義します。

1. 民間信仰とは
2. 韓国での民間信仰の様相
3. 我が国での民間信仰の様相

準備学習

講義内容の整理を目的としたレポートで成績を評価しますので、日頃から講義の内容を十分に整理し、まとめておいてください。

成績評価の方法

数回(4~6回くらいを考えています)のレポート(講義内容を課題に応じて1200字以上でまとめる。字数および提出期限厳守。氏名、題名は字数に含めない。一行20字もしくは30字もしくは40字のワープロで作成するか、手書きの場合には原稿用紙で作成のこと。レポート用紙などへの手書きのものは受理しない)で評価します。課されたレポートをすべて提出した場合が成績評価の対象になります。レポートの課題や提出期限は授業の中で指示します。

教科書／テキスト

必要に応じてプリントを配布します(韓国の古典文学や文献を使用する場合には、日本語訳のものを使用します)。

参考書

授業で紹介します。

履修コード	232801
科目名	民衆宗教成立史
担当者名	鈴木 一馨

講義の到達目標(ねらい)

民衆宗教は、世俗の中に生きるひとびとが既成宗教の体系にとらわれずに、そのさまざまな願望に
応じたものごとを取り入れながら形成したものである。それがゆえに、無秩序で「いいがけんなもの」
とイメージされやすいが、実はそうではなく、取り入れた要素を独自の論理で編成しオリジナリティ
溢れる体系を作り上げている。

この講義では、日本の民衆宗教の形成と深く関係する陰陽道を探り上げ、前期に陰陽道の形成とそ
れを支える中国的宇宙論について基礎的な知識を講説し、後期はその基礎に立って陰陽道の実像と
民衆宗教との関係について講説する。そして、両者を併せて民衆宗教の形成のされ方と、同時に自分
達がどのように民衆宗教と関わっているのかについて説明できる能力を身に付けることを目標とす
る。

講義の内容/
授業スケジュール

前期：I. 陰陽道と「陰陽」の宇宙論

1. 「陰陽寮」と「陰陽道」(1～5)、2. 「陰陽」の理論と世界観(6～10)、3. 暦と世界の変化
(11～15)

後期：II. 陰陽道と民衆宗教

1. 平安貴族の日常と陰陽道(16～20)、2. 呪術者としての陰陽師(21～25)、3. 民衆宗教と陰
陽道(26～30)

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとつ
いて行けない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カー
ドの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

期末試験を主たる材料とする。ただし、講義中の質問に対する返答や任意レポートなどによる点
数の加算も行なう。また出欠状況や受講態度なども考慮する。

教科書/テキスト

鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』(講社社選書メチエ244、2002年)1,575円、

ISBN: 4062582449

参 考 書

林淳・小池淳一編『陰陽道の講義』(嵯峨野書院、2002年)3,150円、ISBN: 4782303610

高埜利彦編『民間に生きる宗教者』(吉川弘文館、2000年)2,940円、ISBN: 4642065512

随
意
科
目

履修コード	233401
科目名	倫理学概説
担当者名	河谷 淳

講義の到達目標(ねらい)

「大人であれば他人に危害(迷惑)を及ぼさない限り何を自己決定してもよい」という主張がしばしば
なされることがある。だが、このような「他者危害(迷惑)の原則」はあくまでひとつの倫理的立
場であるにすぎない。この是非を考えるにあたっては他の倫理的立場と併せて検討する必要がある。
そこで本講義は次のような二段構えの構成を採る。前期は(a)西洋思想史における様々な倫理観を
取り上げ現代との関係を考え、後期は(b)応用倫理とりわけ生命倫理の諸問題とそのアプローチを
取り上げ私たちに身近なことから「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにし
たい。

講義の内容/
授業スケジュール

序論(1,2)、(A)西洋倫理思想史:徳倫理学:プラトン、アリストテレス、幸福な人とはどのような
人か(3～7)、義務論:カント、定言命法としての道徳原則、なぜ嘘はいけないのか(8～11)、功利主
義:ベンサム、ミル、「最大多数の最大幸福」(12～15)、(B)生命倫理を中心とした応用倫理の諸問題
(生老病死をめぐる倫理):生命倫理序論(16,17)、インフォームド・コンセントをめぐる問題(18～20)、
安楽死・尊厳死の是非をめぐる問題(21,22)、脳死と臓器移植をめぐる問題(23,24)、クローン技術の
ヒトへの適用の是非をめぐる問題(25～28)、まとめ:自己決定権をめぐる問題(29,30)

成績評価の方法

中間試験(前期最終授業日に実施)と期末試験(それぞれ40点満点)ならびに夏休みレポートと出席
状況の総合点で評価する。

履修コード	233551
科目名	歴史哲学
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ しょういち</small>

講義の到達目標(ねらい) 歴史を知ることは、いったいどういうことなのだろうか。確かに歴史の知識(例えば「1789年にフランス革命が起こった」)は存在する。しかし、どのようにして我々は、自分では体験することも思い出すこともできない過去の「出来事」について「知っている」と言えるのだろうか。実は「出来事」は個々の断片的事実と同じではない。「出来事」は、われわれが個々の事実を加工し、或る脈絡をもって「物語る」ことを抜きにしては、意味をもたない。そして「物語る」ことは、その時々の実況やそれをめぐる語り手の関心や意向によって制約される。そこで歴史認識における客観的な面と主観的な面との関連はどのようにになっているのかを、種々の文献をもとに考えることにしたい。

講義の内容／授業スケジュール 福沢諭吉「文明論の概略」、ヘーゲル「歴史哲学」、マルクス・エンゲルス「ドイツ・イデオロギー」、カー「歴史とは何か」、ガダマー「真理と方法」、野家啓一「物語の哲学」などを読みながら、いかに歴史認識は行われるべきかについて考える。

履修上の留意点 予備知識は必要が無いが、歴史に対する関心を持つようにはほしい。

成績評価の方法 出席状況とレポート

参考文献 渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』(放送大学教育振興会)

履修コード	—
科目名	英語(海外演習)
担当者名	—

講義の内容／授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるクィーンズランド大学(オーストラリア)、ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)、エクセター大学(イギリス)、カリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ)における短期語学セミナーでの約1ヶ月間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春季クィーンズランド大学(オーストラリア)のセミナーに関しては、4年次生は受講できません。

成績評価の方法 現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他の他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

随意科目

履修コード	—
科目名	フランス語(海外演習)
担当者名	—

講義の内容／授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学(フランス)における短期語学セミナーでの約1ヶ月間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法 現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他の他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語(海外演習)
担当者名	—

講義の内容／授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学(中国)における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法 現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他の他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

IV 教職課程・資格講座科目

履修コード	065822
科目名	医療福祉論
担当者名	みやもと ひろし 宮本 博司

講義の到達目標(ねらい)

保健医療サービスにおいて、生活相談・援助を行う社会福祉士を医療ソーシャルワーカーと定義している。医療福祉論では、医療ソーシャルワークの歴史、理論、技術について学び、医療ソーシャルワークのあり方について理解を深め、医療ソーシャルワーカーがどのような倫理観・価値観に基づいて、ソーシャルワーク実践を重ねているか。また、他専門職との連携・協働、保健医療サービスを支える制度・施設・資格、チームアプローチの理論と実践事例を学ぶことを目的としている。また、現場を目指す学生にとって、保健医療の現場における現実や課題を理解し、考察できるような授業を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

保健医療サービス体系と施策

- ① 保健医療サービスの構成要素と推移、医療法の改正
- ② 医療法・保健医療政策における医療施設の機能・類型
- ③ 診療報酬における医療施設の機能・類型
- ④ 医療保険制度と診療報酬体系

医療ソーシャルワーク

- ① 医療ソーシャルワーカーの歴史と業務の枠組み
- ② 医療ソーシャルワーカーの業務内容
- ③ 医療ソーシャルワークの課題

保健医療サービスにおける理論と実践

- ① 医療ソーシャルワーク実践事例
(急性期・回復期リハビリテーション・慢性期・ターミナルケア等)
- ② 保健医療サービスの連携の理論と実践
(チームアプローチ・クリティカルパス・ケアマネジメント等)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

授業への主体的な参加を望む。
定期試験、課題レポート、授業出欠等により評価。
新・社会福祉士養成講座17「保健医療サービス」 中央法規出版
開講時に指示する。

履修コード	003802
科目名	インド仏教文化史
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤

講義の到達目標(ねらい)

インド生まれの仏教を、広範で多岐多様なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解読を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頹にまつわる文化的トピックを論究する。

講義の内容／
授業スケジュール

- ◎インド仏教文化史とは？(1～3) 日本人、日本文化と仏教
- ◎文化的側面より見たインド仏教とその展開(4～8) 他宗教と仏教の比較の視点から
- ◎仏教の起源と仏教出現の背景(9～15) 仏教哲学の成立 ヒンドゥー教と仏教 仏教の独自性
- ◎仏教の変容と展開(16～22) 哲学から宗教へ 仏教哲学の革新と宗教理論の確立
- ◎インド仏教文化史・むすび(23～)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
年度末試験などで総合的に判断する。
渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円
教場で適宜紹介する。

履修コード	031311
科目名	英語科教育法 I
担当者名	佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい) 中学校及び高等学校において、英語教師として授業を行うために必要な事項を学ぶとともに実際に教壇に立ち、教えることに慣れることを目標とする。英語科教育法Iでは、高校の内容を中心とする。

講義の内容
授業スケジュール

- 第1回 英語教育と英語科教育
- 第2回 主な教授法 (1) 20世紀中旬まで
- 第3回 主な教授法 (2) 20世紀中旬以降
- 第4回 言語材料等とその指導 (1) 音声
- 第5回 言語材料等とその指導 (2) 文法、語彙、文字
- 第6回 言語活動 (1) 読む
- 第7回 言語活動 (2) 書く
- 第8回 言語活動 (3) 聞く、話す
- 第9回 授業の展開 学習指導案の作成 (1) 授業計画のあり方
- 第10回 授業の展開 学習指導案の作成 (2) 指導のあり方
- 第11回 英語 I の授業
- 第12回 英語 II の授業
- 第13回 オーラル・コミュニケーションの授業
- 第14回 リーディングの授業
- 第15回 ライティングの授業
- 第16回 指導形態
- 第17回 模擬授業 高校1年 中学復習
- 第18回 模擬授業 高校1年 基本文型
- 第19回 模擬授業 高校1年 時制
- 第20回 模擬授業 高校2年 受身を含む文中心
- 第21回 模擬授業 高校2年 関係代名詞を含む文中心
- 第22回 模擬授業 高校2年 分詞を含む文中心
- 第23回 模擬授業 高校2年 現在完了を含む文中心
- 第24回 模擬授業 高校2年 過去完了を含む文中心
- 第25回 模擬授業 高校2年 現在完了進行形を含む文中心
- 第26回 評価とテスト 評価の種類と方法
- 第27回 評価とテスト テスト作成の注意点
- 第28回 評価とテスト テスト作成
- 第29回 教育機器の利用
- 第30回 教師と学習者

履修上の留意点

自分が、近い将来、実際に教壇に立ち、生徒を前にして授業を行うことになるのだということを念頭におき、積極的に取り組んで欲しい。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

前期末・後期末のレポートのほか、授業内の発表も評価に加える。

教科書/テキスト

『新英語科教育の展開』(英潮社)

参 考 書

『学習指導要領』、『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』(2008、岩波書店) その他教場にて指示する。

そ の 他

授業の方法は、教壇に立ち、授業を行うことに慣れるという目標を踏まえ、模擬授業を多く取り入れてゆく。また、本講義の中で学ぶ事項に関しても、担当の学生が、予習をしてまとめたうえで、他の学生に発表し、説明するという形式をとる予定である。それによって、人前で話し教えることに馴染んで欲しいと願う。

履修コード	438801
科目名	英語科教育法 I a
担当者名	<small>まちだ なおこ</small> 町田 尚子

講義の到達目標(ねらい)

グローバル・メディア学科の専門英語教育で修得した実践的な英語力を生かし、高校生、中学生に英語で教えることができる教授法への導入を目標とします。さらに、日本語を母語とする中学生、高校生が、さまざまな言語を話す人たちと意思疎通し、理解しあうための「共通語としての英語」を教える英語教師という認識を持つことを狙いとしています。

講義の内容/
授業スケジュール

授業の概要

英語科教育法Iaは中学校、高等学校英語免許状取得を目指す学生全員の必修科目であり、英語教師としての基礎知識として、まず、学習指導要領・外国語(英語)の歴史を概観した後、日本の英語教育の指導目標と指導の概要をつかみます。さらに、高等学校英語に特化して、新学習指導要領で求められている英語による授業力を修得するための教授法を第2言語教授法にも範囲を広げ、考察します。

授業計画

第1回：世界の英語教育

第2回：日本の中等教育における外国語・英語教育

第3回：学習指導要領(外国語・英語)研究：1947年から1998年・1999年まで

第4回：The Course of Study for Foreign Languages (現行学習指導要領中学・高校外国語学習指導要領英語版)

第5回：新学習指導要領(外国語・英語)研究(1)高校外国語(英語)の改訂指導要領研究

第6回：現行指導要領(外国語・英語)と新(改訂)指導要領(外国語・英語)の比較研究

第7回：How to teach Japanese High School students English in the language

第8回：Contemporary Standard English and Varieties of English

第9回：General American and Received Pronunciation

第10回：Introduction to Meta-language: linguistic terms

第11回：Grammatical items that should be focused on

第12回：Tense and Aspect in English

第13回：English Teaching Methods

第14回：e-learning

第15回：教科書研究

定期試験

履修上の留意点

①Iaの履修がIIa, Ib, IIb履修の前提となります。

②教場でInternetにアクセスし、資料等をwebsitesからdownloadするのでPCを持参すること。

③GMSの授業支援サイトの英語科教育法Iaページにハンドアウト等必要な情報を掲載するので毎回必ず確認すること。

成績評価の方法

授業中の課題発表と小テスト50%、定期試験として課す小論文50%の割合で成績評価をしますが、e-learningを含め、グローバル・メディア学科で学んだ英語教師としてどのような創意工夫が可能かを研究し、積極的な提案がなされているか、どうかを評価の基準とします。

教科書/テキスト

GMS授業支援サイト(moodle)に掲載します。

学習指導要領(学部授業支援システムの科目ページに指示してある文科省サイトのリンク先からダウンロード)

参 考 書

- 『世界の外国語教育政策』大谷泰照（他）編著 東信堂出版 2004年
大谷泰照 『日本人にとって英語とは何か』大修館書店 2007年
白井恭弘 『外国語学習に成功する人、しない人：第二言語習得理論への招待』
岩波科学ライブラリー100 岩波書店 2004年
白井恭弘 『外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か』
岩波新書1150 岩波書店 2008年
小寺茂明・吉田晴世 編著 『英語教育の基礎知識：教科教育法の理論と実践』
大修館書店 2005年
高梨庸雄 編著 『英語の「授業力」を高めるために：授業分析からの提言』
三省堂 2005年
鷹家秀史・須賀廣 『実践コーパス言語学：英語教師のインターネット活用』
桐原ユニ/桐原書店 1998年
望月昭彦 編著 『英語科教育法』大修館書店 2001年
米山朝二 『英語教育指導法事典』研究社 2003年
Close, R. A. A Reference Grammar for Students of English.
Longman, 1975.
Close, R. A. A Teachers' Grammar: The Central Problems of English.
Language Teaching Publications, 1992. Reprinted 1994, 1998. First
published under the title of English as a Foreign Language (3rd
edition) Longman, 1981
Crystal, David Rediscover Grammar. Pearson/ Longman 2004.
Greenbaum, S & G. Nelson An Introduction to English Grammar.
Pearson/ Longman 2002.
デニス・キーン、松浪有 Problems in English: An Approach to the Real
Life of the Language (『英文法の問題点: 英語の感覚』) 研究社 1969年初
版、2005年30刷発行
池上嘉彦 『<英文法>を考える』ちくまライブラリー56(1991年)、ちくま学芸文庫(1995
年) 筑摩書房 ISBN4-480-08230-1
<https://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/moodle/>

関連リンク

履修コード	438911
科目名	英語科教育法 I b
担当者名	町田 尚子

講義の到達目標(ねらい)

高等学校で英語を教えるための準備と位置付け、50分の模擬授業を自ら行うとともに、級友の模擬授業を観察することによって、英語を教えるとはどういうことかを考察できる力をつけ、かつ英語で教えられる授業展開を目指します。

講義の内容/
授業スケジュール

授業の概要

授業計画の作成指導、模擬授業を行うに当たっての留意点の指示、グループ分け等を行った後、各受講者は学期中に50分の模擬授業を2回行います。担当者は授業計画案 (teaching plan) を担当模擬授業の1週間前までに作成、提出し、修正等の指導を受けます。最終版の指導案はGMS学部の授業支援システムの当該科目ページに掲載します。担当者が模擬授業実施中の50分は、他の受講者は生徒役であると同時に、授業の観察者の役割も果たします。模擬授業後、実施あるいは観察した授業について各自が評価等のコメントをまとめ、30分間議論し、講評しあいます。

授業計画

第1回

英語教授法と「英語で教える」という課題に取り組む。Iaで考察した、英語の教授法およびe-learning をプラスした英語教育の方法から、理想とする教授法を提起してみる。特に、「英語で教える」という課題に取り組むにはどのような工夫が必要かを考えてみる。

第2回

模擬授業 に向けて (1) 英語教科書の選定と教材研究: 模擬授業で使用使用する英語教科書の選定と教材研究。文科省website: 高等学校用教科書目録を参照する。また、教育実習先の高校で使用予定の教科書を調べ、教科書の「年間カリキュラム案」を教科書会社のサイトからダウンロードし、教科書全体の構成を調べる。

第3回

模擬授業に向けて (1) 授業の準備・組み立て方: 授業案、指導案の作成に取り組む。1時限(50分)の授業をどのように行うかを示す授業案をあらかじめ準備し書いておく。必要な項目は ①教材の提示、②授業の主な狙い、その教材で何を教えたいのか、その教材の内容を通して生徒に何を伝えるのか、言語材料で取り扱う文法項目の明示等の教材観 ③当該授業が単元のどの部分に相当するか ④担当する授業時の指導計画: 1時間の授業を「導入」→「展開」→「まとめ」に分けて、授業の流れを把握しておく。さらに、授業で教える生徒の英語学習意欲の度合、生徒が教師をどのようにみているか等も配慮し、授業計画案を作成する。

以下にあげる、担当する授業時の指導案の一般的な構成要素: 中心となる7要素と時間配分を参考とする。

- ① Warm-up (3 to 5 min)
- ② Review (5 to 10 min)
- ③ Introduction to new material (10 to 15 min)
- ④ Practice (10 to 15 min)
- ⑤ New Words (5 to 10 min)
- ⑥ Reading (10 to 15 min)
- ⑦ Consolidation (3 to 5 min)

(2) 模擬授業担当一覧表の作成。

- 第4回: 模擬授業 (1) グループAとその講評
- 第5回: 模擬授業 (2) グループBとその講評
- 第6回: 模擬授業 (3) グループCとその講評
- 第7回: 模擬授業 (4) グループDとその講評
- 第8回: 模擬授業 (5) グループEとその講評
- 第9回: 模擬授業 (6) グループFとその講評
- 第10回: 模擬授業 (7) グループGとその講評
- 第11回: 模擬授業 (8) グループHとその講評
- 第12回: 模擬授業 (9) グループIとその講評
- 第13回: 模擬授業 (10) グループJとその講評
- 第14回: 模擬授業の総括
- 第15回: 教育実習に向けての取り組みについて

定期試験

教職課程
模擬授業科目

履修上の留意点	①英語科教育法Iaが履修済みであることを前提とします。 ②教場でInternetにアクセスするのでPCを持参すること。 ③GMSの授業支援サイトの英語科教育法Ibのページを毎回必ず確認して授業に臨むこと。
成績評価の方法	授業中の模擬授業を70%、定期試験として課す小論文30%の割合で成績評価をします。模擬授業70%の内訳は①準備：教材研究、授業計画案・指導案作成20%②模擬授業30%③模擬授業協力と授業講評20%とします。また、e-learningを含め、グローバル・メディア学科で学んだ英語教師として、どのような創意工夫が可能かを研究し、積極的な提案がなされているか、どうかも評価の基準とします。
教科書/テキスト 参 考 書	GMS学部授業支援システムの英語科教育法Ibのページに掲載します。 Ia、IIaで挙げたもののうち、特に以下の参照が役立ちます。

- ・白井恭弘 『外国語学習に成功する人、しない人：第二言語習得理論への招待』岩波科学ライブラリー100 岩波書店 2004年
- ・白井恭弘 『外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か』 岩波新書1150 岩波書店 2008年
- ・望月昭彦 編著 『英語科教育法』大修館書店 2001年
- ・米山朝二 他 『英語科教育実習ハンドブック(改訂版)』大修館書店 2002年
- ・米山朝二 『英語教育指導法事典』研究社 2003年
- ・小寺茂明・吉田晴世 編著 『英語教育の基礎知識:教科教育法の理論と実践』大修館書店 2005年
- ・高梨庸雄 編著 『英語の「授業力」を高めるために：授業分析からの提言』三省堂 2005年
- ・鷹家秀史・須賀廣 『実践コーパス言語学：英語教師のインターネット活用』桐原ユニ/桐原書店 1998年

使用教科書に関する情報については、以下のURLから検索できます。

<http://www.textbook.or.jp> (社団法人 教科書協会)

<http://www.textbook.mext.go.jp>

<https://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/moodle/>

関 連 リ ン ク

履修コード	031401
科目名	英語科教育法Ⅱ
担当者名	佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい)

中学校及び高等学校において、英語教師として授業を行うために必要な事項を学ぶとともに実際に教壇に立ち、教えることに慣れることを目標とする。英語科教育法Ⅱでは、中学の内容を中心とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 英語教育と英語科教育
- 第2回 主な教授法と経験した教え方(中学)
- 第3回 主な教授法と経験した教え方(高校)
- 第4回 言語材料等とその指導 中学校での注意点
- 第5回 言語活動と指導上の注意点 (1) 読む
- 第6回 言語活動と指導上の注意点 (2) 書く
- 第7回 言語活動と指導上の注意点 (3) 聞く、話す
- 第8回 授業の展開 学習指導案の作成 warm up
- 第9回 授業の展開 学習指導案の作成 復習
- 第10回 授業の展開 学習指導案の作成 導入
- 第11回 授業の展開 学習指導案の作成 展開
- 第12回 中学1年生の授業 入門期
- 第13回 中学1年生の授業 入門期以後
- 第14回 中学2年生の授業
- 第15回 中学3年生の授業
- 第16回 指導形態
- 第17回 模擬授業 中1 一般動詞
- 第18回 模擬授業 中1 一般動詞疑問文
- 第19回 模擬授業 中2 不定詞
- 第20回 模擬授業 中2 比較級
- 第21回 模擬授業 中2 最上級
- 第22回 模擬授業 中3 現在完了
- 第23回 模擬授業 中3 現在完了 疑問文
- 第24回 模擬授業 中3 関係代名詞 主格
- 第25回 模擬授業 中3 関係代名詞 所有格・目的格
- 第26回 評価とテスト 種類
- 第27回 評価とテスト 作成の注意点
- 第28回 評価とテスト 作成練習
- 第29回 教育機器の利用
- 第30回 教師と学習者

履修上の留意点

自分が、近い将来、実際に教壇に立ち、生徒を前にして授業を行うことになるのだということを念頭におき、積極的に取り組んで欲しい。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

前期・後期末のレポートおよび、授業内の発表で評価する。

教科書/テキスト

『新英語科教育の展開』(英潮社)

参考文献

「学習指導要領」、『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』(2008、岩波書店)その他教壇にて指示する。

その他の参考

教壇に立ち、授業を行うことに慣れるという目標を踏まえ、模擬授業を取り入れてゆく。また、本講義の中で学ぶ事項に関しても、担当の学生が、予習をしまとめたうえで、他の学生に発表し、説明するという形式をとる予定である。それによって、人前で話し教えることに馴染んで欲しいと願う。

履修コード	439001
科目名	英語科教育法Ⅱa
担当者名	<small>まさだ なつこ</small> 町田 尚子

講義の到達目標(ねらい) 英語科教育法Iaと合わせて履修することを前提とし、IIaは中学校英語免許状取得を目指す学生全員の必修科目として、特に中学生の理解力を基準として、グローバル・メディア学科の専門英語教育で修得した実践的な英語力を生かして、英語によるコミュニケーションの機会を増やし、可能な限り英語を使用して教えることができる教授法への導入を目標とします。

講義の内容/
授業スケジュール

授業の概要

英語科教育法Iaで学習・研究する学習指導要領・外国語(英語)の歴史および、日本の英語教育の指導目標と指導の概要の理解にたつて、中学生に英語を教えることの重要性・留意点の考察をします。2011年から全面実施の小学校の外国語活動を視野に入れ、中学校での導入方法の工夫を考えてみます。特に、英語特有の発音・リズム・イントネーションを自らマスターし生徒に指導できるようになること、音と文字の対応関係の指導の工夫、教室での生徒の言語活動への関心を高める工夫、コミュニケーション力を伸ばすためのペアワーク、グループ作業等の指導方法も考えます。

授業計画

第1回：現行学習指導要領(現行英語版Elementary and Secondary Education: The Course of Study for Foreign Languages for Lower Secondary School)

第2回：初修外国語教育

第3回：新しい学習指導要領中学校外国語(英語)

第4回：小学校5・6年からの外国語(原則として英語)活動について：英語ノート

第5回：現行学習指導要領と新しい学習指導要領の比較研究

第6回：発音・音声指導について(1)母音・二重母音、子音

第7回：発音・音声指導について(2)弱強リズム、文のリズム、イントネーション

第8回：発音・音声指導について(3)音の連結・脱落、句切り

第9回：音と文字の対応について

第10回：中学生英語指導のための音韻、語彙、形態、文法の基礎知識

第11回：初修・導入のための英語教授法研究(1)英語を母語とする場合

第12回：初修・導入のための英語教授法研究(2)英語を第2言語とする場合

第13回：初修・導入のための英語教授法研究(3)英語を外国語とする場合

第14回：Team teaching研究

第15回：教科教育法IIbでの模擬授業に向けての教科書研究

定期試験

履修上の留意点

①Iaの履修を前提とする。

②教場でInternetにアクセスし、資料等をwebsitesからdownloadするのでPCを持参すること。

③GMSの授業支援サイトの英語科教育法Iaページにハンドアウト等必要な情報を掲載するので毎回必ず確認すること。

成績評価の方法

授業中の課題発表と小テスト50%、定期試験として課す小論文50%の割合で成績評価をしますが、e-learningを含め、グローバル・メディア学科で学んだ英語教師として、どのような創意工夫が可能かを研究し、積極的な提案がなされているかどうかを評価の基準とします。

教科書/テキスト

GMS学部授業支援サイト(moodle)の英語科教育法IIaのページに掲載します。

学習指導要領(学部授業支援システムの科目ページに指示してある文科省サイトのリンク先からダウンロードする)

参 考 書

- ・『世界の外国語教育政策』大谷泰照（他）編著 東信堂出版 2004年
 - ・大谷泰照 『日本人にとって英語とは何か』大修館書店 2007年
 - ・白井恭弘 『外国語学習に成功する人、しない人：第二言語習得理論への招待』岩波科学ライブラリー100 岩波書店 2004年
 - ・白井恭弘 『外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か』岩波新書1150 岩波書店 2008年
 - ・小寺茂明・吉田晴世 編著『英語教育の基礎知識:教科教育法の理論と実践』大修館書店 2005年
 - ・高梨庸雄 編著 『英語の「授業力を」高めるために：授業分析からの提言』三省堂 2005年
 - ・鷹家秀史・須賀廣 『実践コーパス言語学：英語教師のインターネット活用』桐原ユニ/桐原書店 1998年
 - ・土屋澄男・広野威志 『新英語科教育法入門』研究社 2000年
 - ・望月昭彦 編著 『英語科教育法』大修館書店 2001年
 - ・米山朝二 『英語教育指導法事典』研究社 2003年
 - ・ジョセフ・クラボッタ、ほか 『英語の発音 楽しい練習長』 英光社 2007年 第7刷
 - ・伊藤雄二 「教科書の活用」金谷憲・谷口幸夫(編)『英語教師の四十八手』1 研究社 1995年、2009年 第6刷
 - ・『英語ノート 1』文部科学省
 - ・『英語ノート 2』教育出版 (文部科学省)平成21年
- <https://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/moodle/>

関 連 リ ン ク

履修コード	439111
科目名	英語科教育法Ⅱb
担当者名	町田 尚子 <small>また なおこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 中学校で英語を教えるための準備と位置付け、模擬授業によって、授業の実践を修得していきます。小学校での「外国語活動」を体験している1年生を想定した指導方法も外国語導入教育のテーマとします。

講義の内容／
授業スケジュール

授業の概要

授業計画の作成指導、模擬授業を行うに当たっての留意点の指示、グループ分け等を行った後、各受講者は学期中に50分の模擬授業を2回(各中学1年英語と中学2年英語)行います。担当者は授業計画案(teaching plan)を担当模擬授業の1週間前までに作成、提出し、修正等の指導を受けます。最終版の指導案はGMS学部の授業支援システムの当該科目ページに掲載します。担当者が模擬授業実施中の50分は、他の受講者は生徒役であると同時に、授業の観察者の役割も果たします。模擬授業後、観察あるいは実施した授業について毎回各自が評価等のコメントを評価表に記入後、発表し、講評しあいます。

授業計画

第1回

英語教授法Ⅱaで考察した、英語の教授法およびe-learningをプラスした英語教育の方法から、理想とする教授法を提起してみる。特に、「英語で教える」という課題に取り組むにはどうするかを考える。

第2回

模擬授業に向けて(1)英語教科書の選定と教材研究: 模擬授業に使用する英語教科書の選定と教材研究。中学校英語教科書6種類(Sunshine English Course, New Horizon English Course, New Crown English Series, One World English Course, Columbus 21 English Course, Total English)18冊を比較検討してみる。また、教育実習先の中学校で使用予定の教科書を調べ、教科書の「年間カリキュラム案」を教科書会社のサイトからダウンロードし、教科書全体の構成を調べてみる。

第3回

模擬授業に向けて(2)授業の準備・組み立て方: teaching plan, lesson plan(授業案、指導案)の作成に取り掛かる。1時限(50分)の授業をどのように行うかを示す授業案をあらかじめ準備し書いておく。

必要な項目は ①教材の提示、②授業の主な狙い、その教材で何を教えたのか、その教材の内容を通して生徒に何を伝えるのか、言語材料で取り扱う文法項目の明示等の教材観 ③当該授業が単元のどの部分に相当するか ④担当する授業時の指導計画: 1時間の授業を「導入」→「展開」→「まとめ」に分けて、授業の流れを把握しておく。さらに、授業で教える生徒の英語学習意欲の度合、生徒が教師をどのようにみているか等も配慮し、授業計画案を作成する。

担当する授業時の指導案の一般的な構成要素: 中心となる7要素と時間配分を参考とする。

- ① Warm-up (3 to 5 min)
- ② Review (5 to 10 min)
- ③ Introduction to new material (10 to 15 min)
- ④ Practice (10 to 15 min)
- ⑤ New Words (5 to 10 min)
- ⑥ Reading, Dialog (10 to 15 min)
- ⑦ Consolidation (3 to 5 min)

模擬授業担当一覧表の作成。

第4回: 模擬授業	中学1年英語	(1)	グループAとその講評
第5回: 模擬授業	中学1年英語	(2)	グループBとその講評
第6回: 模擬授業	中学1年英語	(3)	グループCとその講評
第7回: 模擬授業	中学1年英語	(4)	グループDとその講評
第8回: 模擬授業	中学1年英語	(5)	グループEとその講評
第9回: 模擬授業	中学2年英語	(1)	グループAとその講評
第10回: 模擬授業	中学2年英語	(2)	グループBとその講評
第11回: 模擬授業	中学2年英語	(3)	グループCとその講評
第12回: 模擬授業	中学2年英語	(4)	グループDとその講評
第13回: 模擬授業	中学2年英語	(5)	グループEとその講評
第14回: 模擬授業の総括			
第15回: 教育実習に向けての取り組みについて			
定期試験			

履修上の留意点

- ①英語科教育法Ia,IIaが履修済みで、Ibを履修中であることを前提とします。
 ②教場でInternetにアクセスするのでPCを持参すること。
 ③GMSの授業支援サイトの英語科教育法IIbのページを毎回必ず確認して授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業中の模擬授業を70%、定期試験として課小論文30%の割合で成績評価をします。模擬授業70%の内訳は①準備：教材研究、授業計画案・指導案作成20%②模擬授業30%③模擬授業協力と授業講評20%とします。また、e-learningを含め、グローバル・メディア学科で学んだ英語教師として、どのような創意工夫が可能かを研究し、積極的な提案がなされているか、どうかも評価の基準とします。

教科書/テキスト

中学校英語検定教科書 (New Crown English Series, One World English Course, New Horizon English Course, Columbus21 English Course, Sunshine English Course, Total English 各I, II, III) を利用します。
 詳細はGMS学部授業支援システムの英語科教育法IIbのページに掲載します。

参 考 書

Ia, IIaで挙げた参考書のうち、特に以下の参照が役立ちます。

- ・白井恭弘 『外国語学習に成功する人、しない人：第二言語習得理論への招待』岩波科学ライブラリー100 岩波書店 2004年
- ・白井恭弘 『外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か』岩波新書1150 岩波書店 2008年
- ・望月昭彦 編著 『英語科教育法』大修館書店 2001年
- ・米山朝二 他 『英語科教育実習ハンドブック(改訂版)』大修館書店 2002年
- ・米山朝二 『英語教育指導法事典』研究社 2003年
- ・小寺茂明・吉田晴世 編著 『英語教育の基礎知識：教科教育法の理論と実践』大修館書店 2005年
- ・高梨麻雄 編著 『英語の「授業力」を高めるために：授業分析からの提言』三省堂 2005年
- ・鷹家秀史・須賀廣 『実践コーパス言語学：英語教師のインターネット活用』桐原ユニ/桐原書店 1998年

使用教科書に関する情報については、以下のURLから検索できます。

<http://www.textbook.or.jp> (社団法人 教科書協会)
<http://www.textbook.mext.go.jp>

その他は教場で指示します。

関 連 リ ン ク

<https://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/moodle/>

履修コード	044402
科目名	外国考古学概説
担当者名	飯島 武次

講義の到達目標(ねらい)

「中国の考古学」について講義をおこなう。考古学専攻生として中国考古学の常識的知識を身につけてもらう。

講義の内容/
授業スケジュール

これまでの中国考古学の学史的流れを把握し、各時代の様相を考古学の視点から見ていきたい。あつかう時代は、旧石器から新石器・青銅器時代、および秦・漢から隋・唐くらいまでを予定している。

前期は学芸員課程のための履修者もいることから、考古学の研究法から開始する(第1回)。その後中国考古学の歴史(第2,3回)、旧石器時代～青銅器時代(第4～10回)、夏・商・周(第11～15回)を予定している。

後期は北方系青銅器文化(第16～20回)、秦・漢(第21～24回)、魏晋から隋唐(第25～30回)を予定している。

準 備 学 習

必要に応じて、海外調査・学会動向などの情報にも触れる予定である。

授業終了時に次回の授業内容を紹介するので、予習をしてくること。授業終了後はノートをもとめること。

履修上の留意点

授業に積極的な姿勢で臨むことを希望する。

成績評価の方法

学年末試験の成績によって判断する。合格は60点以上。

教科書/テキスト

特になし。

参 考 書

飯島武次、2003、『中国考古学概論』(同成社)。

そ の 他

授業は講義が中心となる。できるだけスライドや映像などを用い、内容の理解を深められるよう努めたい。

履修コード	089151
科目名	介護等体験
担当者名	伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい)	中学校教諭免許を取得する者に課せられている「介護等体験」を今年度に行う学生を対象とする事前事後指導である。介護等体験をより有意義なものにすることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	介護等体験の前には、全般的な注意事項を伝えるとともに、体験の意義や目的を理解し、体験先である特殊教育諸学校と社会福祉施設について概要を学ぶ。体験の後には、各自が体験したことや学んだこと、考えたことを報告し合って共有し、今後教職課程でさらに学んでいくうえで生かせるよう、ディスカッションなどを通じて深めていく。
履修上の留意点	(1～5) 介護等体験の意義と目的、(6～8) 体験にあたっての具体的な注意事項、(9～20) 各自の体験の報告と共有、(21～25) 介護等体験の総括、(26～30) 教育実習に向けて 第一回の授業で概要を説明する。第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は、事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修は認められないので注意すること。
成績評価の方法	「介護等体験」という実際の活動を中心とした授業であるため、主体的、積極的に参加すること。 「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年講義の授業への参加度、学期末のレポートの内容等を総合して評価する。
教科書／テキスト	全国特殊学校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート-社会福祉施設-』 なお、教科書は授業時間中に配布する。
その他の	授業の出席率が著しく低い場合：6月末までに4回以上欠席した場合（ただし、教育実習で欠席した場合は除く）、また、事務手続きに関して著しく問題がある場合には、体験中止になることもあるので、十分に注意すること。

履修コード	089161
科目名	介護等体験
担当者名	遠藤 司

講義の到達目標(ねらい)	本講義は、当該年度に「介護等体験」を行う学生を対象とし、事前・事後指導を通して「介護等体験」をより有意義なものとするための学びを行うことを目的とする。教職に携わる人間として極めて重要なことを学ぶ機会である「介護等体験」に向けての意識を高め、体験で学んだことを自らの中に位置づけるための機会とする。
講義の内容／授業スケジュール	前期 1. ガイダンス：介護等体験の基礎を学ぶ(1～2) 2. 特別支援学校について学ぶ(3～5) 3. 社会福祉施設について学ぶ(6～8) 4. 介護等体験の事前の準備に必要なことを学ぶ(9～14) 5. 前期のまとめ(15) 後期 1. 後期授業のガイダンス(16) 2. 介護等体験の振り返り：体験終了者の発表、体験を通して学んだことを基にした討論(17～29) 3. 全体のまとめ(30)
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。受講希望者は第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者はこの授業の履修を認めない(成績評価の対象としない)。「介護等体験」という実際の活動を中心とした授業であるため、主体的・積極的に参加すること。
成績評価の方法	介護等体験日誌などの体験の記録、授業への出席・参加度、学期末のレポート等を総合して評価する。
教科書／テキスト	全国特殊学校長会編『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート-社会福祉施設-』
その他の	授業の出席率が著しく低い場合：6月末までに4回以上欠席した場合（ただし、教育実習で欠席した場合は除く）、また、事務手続きに関して著しく問題がある場合には、体験中止になることもあるので、十分に注意すること。

履修コード	089181
科目名	介護等体験
担当者名	おおはま きくこ 大浜 幾久子

講義の到達目標(ねらい)	今年度「介護等体験」を行う学生のための必修科目である。事前・事後指導を通して「介護等体験」をより有意義なものとする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1) 事前指導:「介護等体験」の意義や目的を理解し、「体験」に臨むための注意事項を学ぶ。2日間の「体験」を行う諸学校と5日間の「体験」を行う諸社会福祉施設の教育内容・業務内容を学び、それに相応しい準備をする。(1~11) 2) 事後指導:自らの「体験」をまとめグループによる討論をする。 3) 各人の「体験」の日程にあわせ、体験先に応じた個別あるいはグループでの事前指導・事後指導の日時を設定する。なお「体験」は、おおむね5月下旬に始まり、遅い場合には3月になることもあるので、6月末以降の授業スケジュールは、各人の「体験」日程が通知された時点で順次、決めていくことになる。(12~24) 4) 年度末、(ほぼ) 全員の「体験」が終了した時点で、「介護等体験から学んだこと、考えたこと」を全員で討論する。とりわけ「介護される人の心理」について考察を深めたい。(25~30) 2年次までの教職課程の科目をきちんと履修していること。 第1回の授業で、年間のスケジュール等を確認する。やむを得ない理由で出席できない者は、必ず事前に連絡をすること。
準備学習 履修上の留意点	「介護等体験」に取り組む真剣さ、『体験日誌』などの記録、学年末のレポート提出等を総合して評価する。
成績評価の方法	全国特殊学校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック：フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート：社会福祉施設』 なお、教科書は4月の授業時に配布する。
教科書／テキスト	必要に応じ紹介する。 次のような場合には、体験中止になります。充分に注意すること。①前期の授業出席率が著しく低い場合(「教育実習」以外の理由で6月末までに4回以上欠席の場合)。②事務手続きに関して著しく問題がある場合。
参考文献 その他の	

履修コード	089121・089141
科目名	介護等体験
担当者名	きたむら みつこ 北村 三子

講義の到達目標(ねらい)	本年度中に「介護等体験」を行う学生を対象に、事前事後指導を通じて、「介護等体験」をより有意義なものにすることを目的とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	事前指導においては、「介護等体験」の目的や意義、特殊教育諸学校および社会福祉施設の概要などを学び、「体験」への意識を高めます。「体験」後は、「体験」で得たものを他の受講生と分かち合い、深めていきます。 スケジュールは受講者数等によって変わる可能性があります。概ね次のようになります。 1回 授業について 2回 介護等体験入門 3回 社会福祉施設での介護等体験(『マニュアルノート』を中心に) 4回 特別支援学校での介護等体験(『フィリア』を中心に) 5~6回 特別支援学校の様子 7回 障害者の可能性 8回 視覚障害について 9回 ユニバーサルデザインと点字 10回 聴覚障害について 11回 異文化としての手話 12回 車いす体験 13回 老いることとその意味 14回 老人介護について 15回 特別支援教育 16~24回 介護等体験の報告・ディスカッション 25~29回 体験を深める(福祉および教育に関する発展的研究) 30回 まとめ
履修上の留意点	初回に授業の進め方などの説明をしますので、必ず出席してください。やむをえない理由で欠席する場合には事前に連絡してください。
成績評価の方法	「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年授業への参加度、学期末のレポートの内容を総合して評価します。
教科書／テキスト	全国特殊学校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック フィリア』、社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート—社会福祉施設—』(教科書は配布されません。)
その他の	授業の出席率が著しく低い場合(6月末までに4回以上欠席した場合、ただし、教育実習で欠席した場合を除く)、また、事務手続きに関して著しく問題がある場合には、体験中止になることもあるので、充分に注意してください。

履修コード	089111
科目名	介護等体験
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい)	「介護等体験」を有意義なものとするために、必要とされる基礎的知識や態度等を学ぶとともに、各自の体験をもとにさまざまなテーマについて考え合っていくことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	【前期】(1) ガイダンス、介護等体験の目的と意義 (2～3) 介護等体験の心がまえ (4～6) 特別支援学校における介護等体験 (7～9) 社会福祉施設における介護等体験 (10～12) 障害児についての理解 (13～15) 高齢者・障害者についての理解 【後期】(16) 体験報告の方法等について (17～29) 体験報告とディスカッション (30) まとめ * 各回とも、授業の始めに、福祉や教育に関する新聞記事をもとにグループで話し合いを行う。 初めに授業の概要等を説明するため、必ず出席すること。やむを得ない理由で欠席する場合には、事前に連絡をすること。
履修上の留意点	「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、学期末のレポートの内容、通年授業への参加度等を総合して評価する。
成績評価の方法	全国特殊学校校長会編『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート—社会福祉施設—』 授業の出席率が著しく低い場合：6月末までに4回以上欠席した場合（ただし、教育実習で欠席した場合は除く）、また、事務手続きに関して著しく問題がある場合には、体験中止になることもあるので、十分に注意すること。
教科書／テキスト	
その他の	

履修コード	089131
科目名	介護等体験
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい)	本授業は介護等体験を有意義なものとし、今後の教育実践に生かすため、教育の基底にある自己と他者とのかかわりの質（コミュニケーションの在りよう）を問い直すことを目的としている。 他者(学習者)との関係性は教育に携わる人間として常に問われることであり、教育の質を規定する重要な要素となっている。そのため本授業では、さまざまなアクティビティを通じて、自己と他者とのかかわりの質を体感しつつ、考える機会をもちたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	①介護等体験前には、事前指導として、教科書をもとに体験の目的や意義を学ぶ。また、体験先となる社会福祉施設や特別支援学校の実際についてビデオなどを交えて、体験する際の心構えを学ぶ。(第1回～第4回) ②事後指導においては、介護等体験をふりかえり、そこで学んだことや気づきをまとめ、受講生同士で共有しあう機会を持つ。他の受講生の体験と交流することを通じて、自らの体験をより深くふりかえる視点をつかむきっかけとしたい。(随時) ③また年間を通して自己と他者、自然、物とのかかわりの質を問うための多様なアクティビティ(体験学習)を実施したり、障がい者青年学級との交流会なども行なう予定。(第5回～第27回) ④後期の後半には次年度教育実習を見据え、教育実習体験生(4年生・科目等履修生)との体験交流や、教育実習に向けての事前学習を行なう。(第28回～第30回)
履修上の留意点	介護等体験を中心とした体験学習、参加型の学習なので、受講生の意欲的な参加が求められる。軽度の身体運動が求められることが多いので、動きやすい服装で参加すること。教場が体験内容に応じて変更される場合があるので注意すること。
成績評価の方法	介護等体験に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年講義の授業への参加度、学期末のレポートの内容等を総合して評価する。
教科書／テキスト	全国特殊学校校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート—社会福祉施設—』 なお、教科書は授業時間中に配布する。
その他の	授業の出席率が著しく低い場合、とくに6月末までに4回以上欠席した場合（ただし、教育実習で欠席した場合は除く）、また、事務手続きに関して著しく問題がある場合には、体験中止になることもあるので、十分に注意すること。

履修コード	089171
科目名	介護等体験
担当者名	山本 ^{やまもと} 敏子 ^{としこ}

講義の到達目標(わらい)

今年度に「介護等体験」を行う学生（中学校免許取得希望者）を対象に、事前・事後指導を通して「介護等体験」をより有意義なものとするための学びを行うことを目的とします。共に生きる人間としての尊厳を大切に、ノーマライゼーションやインクルージョンの思想を深め、他者との生命的な応答関係について体験しながら理解していきたいと思ひます。

講義の内容／
授業スケジュール

事前指導においては「介護等体験」の意義や目的、特別支援学校および社会福祉施設の概要、全般的注意事項を学び、体験後には体験で学んだことを相互に共有しながら深めていきます。体験直後の簡単な報告は随時入れます。

- (1) 序-授業の概要説明と進め方についての相談
- (2) 介護等体験の意義と目的
- (3~5) 社会福祉施設での介護等体験（マニュアルノート）
- (6~8) 特別支援学校での介護等体験（フィリア）
- (9) 事前の学び① 知的障害・身体障害のある子ども
- (10) 事前の学び② 自閉症や学習障害等への理解を深める
- (11) 事前の学び③ 視覚障害者（子どもを含む）と点字
- (12) 事前の学び④ 聴覚障害者（子どもを含む）と手話
- (13) 事前の学び⑤ 高齢者との交流、介護・介助
- (14) 事前の学び⑥ 認知症への理解を深める
- (15) 前期のまとめ
- (16) 障害児・障害者・高齢者を取り巻く社会の諸問題
- (17~23) 介護等体験を振り返っての発表と討論
- (24~29) 介護等体験を教育実践にいかす（文献購読を含む）
- (30) 全体のまとめ

履修上の留意点

初回に一年間の授業の概要を説明しますので、必ず出席してください。履修を希望しながら、やむを得ない事情で欠席する場合には、事前の連絡が必要です。「介護等体験」という実際の活動を中心とする授業なので、主体的・積極的に参加してください。

成績評価の方法

「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、一年間の授業への参加度、年度末レポート等を総合的に評価します。

教科書／テキスト

全国特殊学校長会編『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』
社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート-社会福祉施設-』

その他の他

平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行なう中学校免許取得希望者は必ず履修登録をすること。授業の出席率が著しく低い場合（6月末までに4回以上欠席した場合、ただし、教育実習で欠席した場合を除く）、また、事務手続きに関して著しく問題がある場合には、体験中止になることもあるので、十分に注意すること。

教職課程
資格講座
科目

履修コード	214201・214601
科目名	学習・発達論
担当者名	飯田 都

講義の到達目標(ねらい) 人間は、親兄弟、友人、そして教師といった、多くの他者との多面的なかかわりの中で成長し、「自己」を見つけつくりあげていきます。教職を志す者は他者の成長発達に深く関わる立場にあります。人の発達・学習に関わる基本的な心理学的知識を学び、学校教育の意義をはじめ、教師や大人に求められる資質、“教える”“学ぶ”ということの意味についての考えを深め、自らの役割を問い直していくことを目指します。

講義の内容／授業スケジュール 前半においては主に発達分野に焦点を当て、人間が生来的に有している他の動物とは異なる発達の意味合いと、周囲の者からの関わり合いのもたらす意義について解説します。後半の学習分野においては、学習行動の仕組み及び学習観の移り変わりについて言及すると共に、私たちが一般に抱いている学習にまつわる誤った信念について、学習心理学的知見をもとに考察を行います。

<授業スケジュール>

- 第1回 講義の概要説明
- 第2回 発達・教育・学習の関連性
- 第3回 乳児期の発達
- 第4回 幼児期の発達
- 第5回 児童期の発達
- 第6回 青年期の発達
- 第7回 青年期の問題行動と理解
- 第8回 学習の理論と学習観の歴史の変遷
- 第9回 学習論(1) 有意味学習と機械的学習
- 第10回 学習論(2) 学習者の認知構造
- 第11回 学習論(3) 知識の種類と構造
- 第12回 学習論(4) 技能と知識の獲得
- 第13回 動機づけ(1) 内発的動機づけと外発的動機づけ
- 第14回 動機づけ(2) 学習者の原因帰属スタイルとパフォーマンスの関連性
- 第15回 学習課程・学習理論の教育への応用

履修上の留意点 聴いたことを受身的に自らの思想とするのではなく、講義の内容にヒントを得て、自分自身の自分らしい考えを創り出していくことを期待しています。

成績評価の方法 中間試験、期末試験、および毎授業ごとの課題の成果（単純な出席点ではありません）を総合して評価します。ただし、出席が基準に満たない場合には、単位の取得はできないと考えてください。

教科書／テキスト 特に使用しません。授業時に資料を配布します。

参 考 書 西林克彦 『間違いだらけの学習論』 新曜社
川島一夫 『図でよむ心理学「発達」』 福村出版

履修コード	213901・214001
科目名	学習・発達論
担当者名	おおほま きくこ 大浜 幾久子

講義の到達目標(ねらい)

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のように基本的な問題をめぐる諸研究を学び、21世紀の新しい教育観を考えてみたい。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回：導入「6歳から学校教育が始まるのは何故だと思いますか？」

第2～7回：発達段階理論をめぐって

- ①エリクソンの発達段階
- ②生涯発達
- ③アイデンティティの形成
- ④ピアジェの認知発達段階
- ⑤感覚運動知能から表象的思考へ
- ⑥前操作から操作的思考へ

第8～10回：発達と学習の理論（言語習得から考える）

- ①スキナーの行動分析学
- ②チョムスキーの生成文法
- ③ピアジェの発生的心理学

第11～14回：初期環境の貧困による発達遅滞・障害と回復

- ①事例研究
- ②愛着の成立
- ③感覚運動知能と言語習得
- ④学校教育の役割

第15回：発達と学習と学校教育（知育と徳育）

毎回、次回のテーマに関わるリアクションペーパーを提出すること。

後期に、同一時間の「教育課程論」を履修することを原則とします。

学期末のレポートを中心とした評価の予定。

指定なし。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

藤永保 他（著）『人間発達と初期環境』有斐閣 1987

他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

履修コード	213801
科目名	学習・発達論
担当者名	川原 誠司

講義の到達目標(わらい)

●教育心理学において、「発達」と「学習」の要素は生徒に向き合う際に非常に重要なものである。本授業では、発達心理学や学習心理学を中心とした教育心理学の基礎的な知識を習得し、学校教員として生徒に向き合う場合にどのような活用できるかを実感してもらうことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

●正式なスケジュールは、授業期間や受講生数が定まってから、下記のもの(予定)を調整していきますので、必ず授業時の指示に従ってください。

- 第1回 初回ガイダンス
- 第2回 身体的発達〔健康、性的発達、脳神経系〕
- 第3回 認知的発達(1)〔ピアジェの理論〕
- 第4回 認知的発達(2)〔ピアジェの理論の発展〕
- 第5回 社会的発達〔対人関係と集団構造の理解〕
- 第6回 人格的発達(1)〔フロイトとエリクソンの理論〕
- 第7回 人格的発達(2)〔前回の続きと他理論の整理〕
- 第8回 心理療法的視点〔精神分析と認知療法〕
- 第9回 カウンセリング〔クライアント中心療法〕
- 第10回 知能検査と性格検査
- 第11回 学習理論と条件づけ
- 第12回 記憶や注意の問題
- 第13回 教授＝学習理論と学習の方法
- 第14回 教育評価
- 第15回 発達障害など現代的な問題

準備学習

●事前知識等は特に要求しません(標準的(?)な学力や思考力は求めますが)。それよりは授業を聴く姿勢と態度とを求めます。

履修上の留意点

●最初の授業で受講人数を把握して、できるだけ班編制を行う予定ですので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。講義形式だけにとどまらないようにさまざまな形態で授業を進めていくことを考えています。

●本授業はe-Learning (YeStudy) を用いて予習、復習を実施するので、その操作の意志があること。
●授業に出席すること、授業をしっかりと聴くことのみならず、班作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加すること。なお、携帯電話の使用は禁止しますのでカバンなどにしまってください(机に出したり、机の下で隠れて操作しないこと)。

成績評価の方法

●授業の最初に出席を兼ねた確認小課題を実施しますので、事前の指示に従ってください。

●「試験(持ち込みは一切不可)＋平常点等」を考えています。

●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。また、配点の比率については正式には授業を進めていく中で決定しますが、「試験：平常点等＝10：3～4」くらいを考えています。

教科書／テキスト

●教科書を指定するか考慮中です。指定する場合にはその旨案内します。特定の本一冊を使用する形をとらない場合でも、毎週必要な文献を読んだり、調べてくる課題等が出ますので、何も読まなくてもよいということではありませんので、十分に注意してください。

参考書
その他

●必要なものがあれば、授業中に呈示します。

●後期の授業まで通年登録する学生もいると思います。しかし、他の授業での授業アンケート結果をみると、満足しない学生もいるようです。大変な授業と思うからでしょうか。「授業に出さえすれば教職単位は何とかなる」と思っている学生には決して向きませんので、履修登録の際には十分にご注意ください。

履修コード	214301・214401・214501
科目名	学習・発達論
担当者名	<small>すみの ぜんじ</small> 角野 善司

講義の到達目標(ねらい)

教育心理学は、教育場面において、教師が生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどのようにしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものである。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てて講義を進めていく。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしい。

到達目標： 1.人間の発達の基本原理および発達に影響を及ぼす諸要因の働きについて理解を深める。 2.人間の学習、とりわけ動機づけ過程について理解を深める。 3.障害児の発達・学習の過程について理解を深める。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：教育心理学とは 第2～3回：発達観の変遷 第4～5回：発達の規定因 第6回：教育の最適期
第7回：発達段階と発達課題 第8回：学習への動機づけ 第9回：内発的動機づけ 第10回：原因帰属
第11回：学習性無力感 第12～14回：障害児（知的障害・肢体不自由・発達障害）の発達と学習 第15回：まとめ

準備学習

前回の授業内容を十分に理解していなければ、次の授業は理解できない。毎回の小テストに合格するためにも、授業外学習を欠かさないこと。

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講される。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨むように。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいかない。
成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う。小テストは、授業で取り上げた内容から出題して、全問正解した場合に限り合格とする。合格した回数が授業回数の半分に満たなければ、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しない。

教科書／テキスト
参 考 書

使用しない。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進める。
講義の進行に合わせ、適時紹介する。

履修コード	214101・344001
科目名	学習・発達論
担当者名	<small>ふじわら よしみ</small> 藤原 善美

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、発達と学習の心理学を、体系的に学習します。「発達」とは、人がその誕生、あるいは受胎から死亡するまでの間に示す身体的、行動的、認知的な変化のことです。発達の諸理論におけるキーワードにふれながら、基礎的な知識の理解を目指します。また、経験による比較的永続的な行動変化のことをさす「学習」について、主な学習理論や動機づけ理論を学び、学校教育への応用を考えることを目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール

授業計画

- 第1回：オリエンテーション（本講義の目的、概要、構成）
第2回：学習（1）（古典的条件づけ）
第3回：学習（2）（道具的条件づけ）
第4回：学習（3）（観察学習）
第5回：学習理論の応用（行動療法、認知行動療法）
第6回：動機づけ（1）（動機づけとは、統制感、原因帰属、学習性無力感）
第7回：動機づけ（2）（内発的動機づけ、外発的動機づけ）
第8回：動機づけ（3）（様々な動機づけ理論、欲求の階層説）
第9回：情動の理論
第10回：発達（発達理論、言語の発達、認知の発達）
第11回：発達（社会的行動の発達、パーソナリティーの発達）
第12回：胎生期・乳児期・幼児期
第13回：児童期・青年期
第14回：成人期から老年期を含む生涯発達
第15回：特別支援教育（学習障害、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群）
定期試験

履修上の留意点

学習意欲の高い学生の受講を望みます。

成績評価の方法

成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。3分の1以上（6回以上）欠席した場合は、評価の対象外とします。

教科書／テキスト

特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業に応じて授業中に紹介します。

履修コード	088101・088201
科目名	学習指導と学校図書館
担当者名	松尾 ^{まつお} ^{ふじお} 不二夫

講義の到達目標(ねらい) 学校教育では、基礎的・基本的な知識や技能の習得はもちろんのことだが、児童・生徒が「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用し活用できる能力の育成を図らなければならない。それは知識基盤社会を担う子どもたちにとって必要な能力である。そうした能力を身につけるために学校図書館が果たすべき役割は大きい。

この科目では、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関して、理解と認識を、学校図書館を利用した効率のよい学習方法と情報の扱い方を身につけることができるようにする。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) ガイダンス (2) 教育課程の展開と学校図書館
(3・4) 教育課程の編成と学校図書館 (5) メディア活用能力の育成の意義と目的
(6・7) メディアの活用能力の育成の指導内容 (8) メディアの活用能力の育成の実際
(9～11) 課題探求型学習の実際 (12) 学校図書館における情報サービス
(13) ビデオ (14) 教師への支援と働きかけ (15) 全体のまとめ

履修上の留意点

講義回数の70%以上出席でき(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。

教科書／テキスト
参 考 書

教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。
特に指定しない。随時プリントを配布。

「シリーズ学校図書館学」編集委員会編『学習指導と学校図書館』

(全国学校図書館協議会 1,600円)

『学習指導・調べ学習と学校図書館』(大串夏身編著 青弓社 1,800円)

ISBN4-7872-0028-3

そ の 他

講義・ビデオ

履修コード	086901・087001
科目名	学校経営と学校図書館
担当者名	松尾 ^{まつお} ^{ふじお} 不二夫

講義の到達目標(ねらい)

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディアの構築のあり方、学校図書館活動の実際・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。その上で、学校教育の中核とならねばならない学校図書館の運営及び司書教諭の職責についての基本的な知識を説明することができる。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 学校経営と学校図書館の授業の前に(ガイダンス) (2) 学校図書館の理念と教育的意義
(3・4) 教育行政と学校図書館～学校図書館法の成立まで～
(5) 学校図書館法の内容と学校図書館の役割 (6) 学校図書館の経営
(7) 司書教諭の任務と職責と校内協力体制 (8・9) 学校図書館メディアの構築
(10) 学校図書館の現状と課題(学校図書館調査報告) (11) 学校図書館の施設・設備と備品
(12) 図書館の相互協力とネットワーク (13) ビデオ (14) 学校図書館の評価
(15) 全体のまとめ

履修上の留意点

講義回数の70%以上出席ができ、(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスに必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。

教科書／テキスト
参 考 書

教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。
特に指定しない。随時プリントを配布。

「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館学Ⅰ：学校経営と学校図書館』

(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2233-6

全国学校図書館協議会編『司書教諭の任務と職務』

(全国学校図書館協議会 2,800円) ISBN4-7933-0048-0

そ の 他

講義・ビデオ

履修コード	087601
科目名	学校図書館メディアの構成
担当者名	かまがわ しょうじ 笠川 昭治

講義の到達目標(ねらい)

学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を旨すとともに、司書教諭としての基本的な知識を獲得することを目的とする。

- (1) 高度情報社会における学習環境の変化にともなうメディアの教育的意義と役割、各種メディアの種類と特性を説明する。
- (2) 学校図書館メディアの構築のために、資料・情報の選択と収集・提供することの意義について学ぶ。
- (3) メディアの組織化に関しては、その目的・意義とプロセスを理解する。

講義の内容／
授業スケジュール

1. メディアの知識と技術 (1) - (2)
 - (1) 学校図書館におけるメディアの教育的意義と役割
 - (2) 学習環境の変化と学校図書館メディア
2. 学校図書館におけるメディアの種類と特性 (3) - (5)
 - (1) 学校図書館メディアの種類
 - (2) 学校図書館メディアの特性と学習への活用
3. 学校図書館メディアの構築 (6) - (10)
 - (1) 学校図書館メディアの構築の基本
 - ① 図書館業務の基本
 - ② コレクション構築の方法
 - ③ 学校教育の中の学校図書館
 - (2) 学校図書館メディアの選択と収集方針
 - ① 学校図書館図書標準
 - ② 選択と収集
 - (3) 学校図書館メディアの選択のための情報源
 - (4) 学校図書館メディアの維持と発展 (更新・廃棄を含む)
4. 学校図書館メディアの組織化 (11) - (15)
 - (1) 学校図書館メディアの組織化
 - (2) 学校図書館メディアの配架
 - (3) 学校図書館メディアの組織化の新しい展開
 - ① カード目録からコンピュータ目録へ
 - ② 地域総合目録と相互協力
 - ③ 全国総合目録
 - (4) 学校図書館メディアの目録
 - ① 目録の意義と機能
 - ② 目録の構成と種類
 - ③ コンピュータによる目録管理
 - (5) 学校図書館メディアの目録法
 - ① 学校図書館の目録制作、目録作業、目録の水準
 - ② 学校図書館のための目録 [規則]
 - ③ MARCの利用
 - (6) 学校図書館メディアの分類

成績評価の方法
参 考 書

レポートと出席状況にもとづいて評価します。
小田光宏編『学校図書館メディアの構成』樹村房, 1,400円, ISBN978-4883670918

教職課程
資格課程

履修コード	087501
科目名	学校図書館メディアの構成
担当者名	みなもと しょうきゅう 源 昌久

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る事を目的としている。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1) 本講義のオリエンテーション 2) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 3)～7) 分類法(表)の解説・演習 8)～12) 目録の解説・演習 13) 資料組織の機械化 14) 多様な学習環境と学校図書館メディアの配置 15) まとめ

普段の日常生活においても、分類・目録概念がいかになされているかを注意しておいて下さい。予習・復習をしっかりと行ってほしい。特に、問題演習は、十二分に理解に努めて下さい。

準備学習
履修上の留意点

平常点および試験の成績を併せて評価する。

成績評価の方法

『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価6,000円

教科書／テキスト

『日本目録規則 1987年版 改訂3版』(日本図書館協会) 3,675円

参 考 書

必要に応じて、DVD,ビデオを活用する。

その他の

履修コード	065102
科目名	家庭福祉論
担当者名	武山 梅葉

講義の到達目標(ねらい) 家族の諸問題を女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、〈家族〉という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール
 I. 家庭福祉の視点 第1回：家庭福祉の視点、第2回：世帯構造と核家族化、第3～4回：家族制度とは、第5回：核家族の機能と構造、第6回：家族周期とライフコース、第7回：イエ制度、第8回：〈近代家族〉とは
 II. 女性と家庭福祉 第9～11回：フェミニズムからみた家族—母性、専業主婦、中絶、第12～13回：女性労働と育児、第14回：一人親家庭の諸問題、第15回：夫婦別姓と婚姻の意義
 III. 子どもと家庭福祉 第16～17回：児童福祉の体系にみる〈こども〉観、第18回：消費としての子育てと〈地域〉における子育て、第19～20回：児童虐待と家庭
 IV. 高齢者と家庭福祉 第21回：ライフサイクルの変化にみる高齢者の諸問題、第22～23回：家族と高齢者介護、第24～25回：高齢者にとっての居住福祉
 V. 国家・地域と家庭福祉 第26回：日本における家族政策と福祉国家論、第27回：在宅福祉と〈地域〉、第28回：家庭—地域福祉という枠組み
 VI. 民間社会福祉と家庭福祉 第29回：家庭福祉の市場性、第30回：非営利セクターと家庭福祉—配食サービスを事例として

成績評価の方法 出席状況を勘案した上で、講義期間中に複数回提出を求める課題（2割）、夏休み明けに提出を求める小レポート（3割）、学年末の定期試験（5割）から総合的に評価します。

教科書／テキスト 教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参 考 書 参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	214901・215001
科目名	教育課程論
担当者名	大浜 幾久子

講義の到達目標(ねらい) はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

講義の内容／授業スケジュール
 第1回：日本の学校制度と学校カリキュラムの歴史
 第2回：「学習指導要領」の変遷
 第3回：新しい「学習指導要領」
 第4回：学生が学んだ小学校の「学習指導要領」と教科書
 第5回：学生が学んだ中学校の「学習指導要領」と教科書
 第6回：学生が学んだ高等学校の「学習指導要領」と教科書
 第7回：小学校「算数」のカリキュラム（幼稚園・幼児教育との連携）
 第8回：「国語」と「外国語」のカリキュラム（言語教育と文学教育）
 第9回：小学校から「英語」を始めることの是非（小学校・中学校教育の連携）
 第10回：「総合的な学習の時間」
 第11回：総合学習を展開する学校
 第12回：学校制度とカリキュラムの国際比較 ①フランスの学校制度とカリキュラム
 第13回：学校制度とカリキュラムの国際比較 ②国際共通教科書作成の試み
 第14回：学校制度とカリキュラムの国際比較 ③隠れたカリキュラムと教師文化
 第15回：カリキュラム論（付：レポートの作成法）
 毎回、次回のテーマに関わるリアクションペーパーを提出すること。
 前期に、同一時間の「学習・発達論」を履修することを原則とします。
 期末のレポート提出を中心とした評価の予定である。
 指定なし。

準 備 学 習 履修上の留意点 教科書／テキスト 参 考 書 『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省) その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

履修コード	214801
科目名	教育課程論
担当者名	かわはら せいじ 川原 誠司

講義の到達目標(ねらい)

●カリキュラム（教育課程）というものは、学習にあたって陽に陰に必要なものと言え、その形式的な組み立てや整理は、効果的な学習においては欠かせないものと言える。しかし、その一方で「仏作って魂入れず」というような形骸化したものに終わってしまえば、無用の長物ともなりうる危険性もはらんでいる。カリキュラムとはどのような意味を持ち、どのような考えで行われ、今の日本ではどのように設定され、諸外国ではどのようになっているか、といったことを、カリキュラムの外側にある教育制度との関連も視野に入れながら学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

●正式なスケジュールは、授業期間や受講生数が定まってから、下記のもの（予定）を調整していきますので、必ず授業時の指示に従ってください。

- 第1回 初回ガイダンス
- 第2回 カリキュラムというもの - その光と影 -
- 第3回 カリキュラムの考え方について (1)
- 第4回 カリキュラムの考え方について (2)
- 第5回 日本の教育カリキュラムについて (1)
- 第6回 日本の教育カリキュラムについて (2)
- 第7回 カリキュラムの詳細 [学習指導要領の検討] (1)
- 第8回 カリキュラムの詳細 [学習指導要領の検討] (2)
- 第9回 自らの取得免許に関するカリキュラムの理解 (1)
- 第10回 自らの取得免許に関するカリキュラムの理解 (2)
- 第11回 諸外国の教育カリキュラムについて (1)
- 第12回 諸外国の教育カリキュラムについて (2)
- 第13回 通常の公的教育制度の外にあるカリキュラムや制度について
- 第14回 カリキュラムというものを実際に活かすために必要なこと
- 第15回 討論会 - 私のカリキュラム論 -

準備学習

●事前知識等は特に要求しません（標準的(?)な学力や思考力は求めますが)。それよりは授業を聴く姿勢と態度とを求めます。

履修上の留意点

●最初の授業で受講人数を把握して、できるだけ班編制を行う予定です。受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。講義形式だけにとどまらないようにさまざまな形態で授業を進めていくことを考えています。

●本授業はe-Learning (YeStudy) を用いて予習、復習を実施するので、その操作の意志があること。
●授業に出席すること、授業をしっかりと聴くことのみならず、班作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加すること。なお、携帯電話の使用は禁止しますのでカバンなどにしまってください（机に出したり、机の下で隠れて操作しないこと）。

成績評価の方法

●授業の最初に出席を兼ねた確認小課題を実施しますので、事前の指示に従ってください。

●「試験（持ち込みは一切不可）+平常点等」を考えています。

●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。また、配点の比率については正式には授業を進めていく中で決定しますが、「試験：平常点等=10：3~4」くらいを考えています。

教科書／テキスト

●授業全体について特定の本一冊を使用する形はとらない予定です。しかし、毎週必要な文献を読んだり、調べてくる課題等が出ますので、何も読まなくてもよいということではありませんので、十分に注意してください。

参考書
その他

●ただし、授業中盤に使用する学習指導要領に関しては、総則や教科ごとの解説など自らに関連するものを購入してもらいます。受講生の取得予定免許科目がわからないと細かい指示が出せないで、授業が始まってから指示します。

●必要なものがあれば、授業中に呈示します。

●後期の登録は前期に行うでしょうから、前期時の履修登録の際には、上記の説明を読んで十分にご注意ください。前期の生徒指導論のシラバスでも書きましたが、「授業に出さえすれば教職単位は何とかなる」と思っている学生には決して向きません。

履修コード	215201・215601
科目名	教育課程論
担当者名	すきやま ふたき 杉山 二季

講義の到達目標(ねらい)

本授業は、カリキュラムや子どもの学習をめぐる理論や知見を理解すること、授業実践を観察・検討するための多様な観点を身につけること、子どもの学びを豊かにするためのカリキュラムデザインについて考察することを目指すものである。これらの学習を通して、学生たちがこれまでに授業を受ける立場から築いてきた教育観・授業観・教師観を見直し、授業を組み立てる教師の立場から考えられるようになってほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

講義は受講者の理解を踏まえながら、以下のスケジュールで進める予定である。

- (1) カリキュラムとは何か
- (2) カリキュラムの理論1：子ども中心主義のカリキュラム
- (3) カリキュラムの理論2：効率主義のカリキュラム
- (4) カリキュラムの理論3：認知・学習科学にもとづくカリキュラム
- (5) 授業と学習1：授業ビデオ視聴
- (6) 授業と学習2：授業の検討
- (7) 日本の近現代カリキュラム史1：明治期から戦前まで
- (8) 日本の近現代カリキュラム史2：学習指導要領の変遷
- (9) 日本の近現代カリキュラム史3：新しい学習指導要領
- (10) 学力と知識：「ゆとり」教育の再考
- (11) かくれたカリキュラム1：かくれたカリキュラムとは何か
- (12) かくれたカリキュラム2：ジェンダー
- (13) かくれたカリキュラム3：階級・階層・人種
- (14) まとめ
- (15) 補論

準備学習

講義はワークシートを用いながら進めるので、講義中に理解できなかった部分や用語などがあった場合には、配布プリント、参考資料などをもとに自分で調べておくことよい。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は講義形式で進めるが、受動的に聞くだけでなく能動的に考えながら参加してほしい。

本授業は免許・資格取得に関わる科目であるため、評価は厳正に行う。

授業への参加（出席カードと授業中の課題の提出状況）と期末のレポート試験の内容によって評価する。授業中の課題とは、その日の講義を聞いて考えたことや感じたことを書くものであり、全講義中に2～3回程度課す。期末レポート試験は講義内容を踏まえた記述式の課題であり、課題の意味の理解、事実の正確な把握、構成力、表現力等を総合的に評価する。

なお、出席が全講義回数の3分の2に満たない場合は不可とする。

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。

教科書／テキスト
参 考 書

文部科学省「(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領」

[http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.html]

そのほかの参考資料については講義中に適宜紹介する。

履修コード	215301・215401・215501
科目名	教育課程論
担当者名	^{すみの} 角野 ^{ぜんじ} 善司

講義の到達目標(ねらい)	教育課程(カリキュラム)の編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどのように規定し、導いていくかを検討していく。この科目での学習をもとに、これからの教育がどのような教育課程で行われていくべきかを、各自考えてほしい。 到達目標： 1.教育課程に関する基本理論・概念について理解を深める。 2.各学校で編成・実施される教育課程と、その基準となる学習指導要領について理解を深める。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：教育課程の意義 第2回：教育課程に関する法制 第3回：教育課程編成の原則 第4回：学習指導要領改訂の歴史 第5～7回：平成10年学習指導要領改訂 第8～10回：平成15年学習指導要領一部改正 第11～14回：平成20年学習指導要領改訂 第15回：まとめ
準備学習	前回の授業内容を十分に理解していなければ、次の授業は理解できない。毎回の小テストに合格するためにも、授業外学習を欠かさないこと。
履修上の留意点	この科目は、教職課程の科目として開講される。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨むように。
成績評価の方法	免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいかない。 成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う。小テストは、授業で取り上げた内容から出題して、全問正解した場合に限り合格とする。合格した回数が授業回数の半分に満たなければ、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しない。
教科書／テキスト	日本教材システム編集部「ひと目でわかる2色刷 中学校学習指導要領新旧対照表 平成10年版×平成20年版」教育出版 文部科学省「中学校学習指導要領解説 総則編 平成20年9月」ぎょうせい
参考書 その他	講義の進行に合わせ、適時紹介する。 YeStudyを活用する。

履修コード	215101・344101
科目名	教育課程論
担当者名	^{ふじわら} 藤原 ^{よしな} 善美

講義の到達目標(ねらい)	教育内容の全体的計画である教育課程(カリキュラム)について、授業=学習過程のなかでの特徴や、教育目的・教育方法との関連性を、日本の教育制度に基づいて学ぶことを目的とします。また、学校教育の実際、および発達障害の特徴と特別支援教育についての理解を目指し、教育現場の諸問題について、どのような解釈、対処があるかを考えるきっかけとなれればと思います。
講義の内容／ 授業スケジュール	授業計画 第1回：カリキュラムとは何か 第2回：日本の教育制度(1)明治前期における近代学校創設と教育課程の確立 第3回：日本の教育制度(2)明治後期から大正期にかけての教育課程の近代化 第4回：日本の教育制度(3)昭和戦時下の教育課程 第5回：日本の教育制度(4)戦後の民主主義社会の形成を目的とする経験主義的教育課程への転換 第6回：日本の教育制度(5)現代日本の教育課程の歩み 第7回：学習指導要領 第8回：教授法(1)発見学習・受容学習 第9回：教授法(2)プログラム学習・適正処遇交互作用 第10回：教育評価(1)評価の基準 第11回：教育評価(2)評価の方法、よいテストとは？ 第12回：教育評価(3)知能を知るテスト、性格を知るテスト 第13回：学級(1)教師と生徒の関係 第14回：学級(2)生徒間関係 第15回：学校教育の実際と今後の課題 定期試験
履修上の留意点	学習意欲の高い学生の受講を望みます。
成績評価の方法	成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。3分の1以上(6回以上)欠席した場合は、評価の対象外とします。特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業中に紹介します。
教科書／テキスト	

履修コード	085101・085201
科目名	教育関係法規
担当者名	ひろさわ あきら 広沢 明

講義の到達目標(ねらい)	教員志望者にとって教育法規に関する知識は必要不可欠である。本講義においては、教育法の理念と内容に関する基礎的知識の習得を目標とする。具体的には、憲法・教育基本法・学校教育法・地方教育行政法・私立学校法・教育公務員特例法などの教育法規について概説するとともに、学校現場に生起している具体的事例(判例・行政実例等)を取り上げ、将来教員をめざす者に応用力の効く法的思考力が身につくよう留意したい。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：イントロダクション 第2回：教育を受ける権利 第3～4回：教育の機会均等 第5～6回：教育を受けさせる義務 第7回：義務教育の無償 第8回：教育権の所在 第9回：教師の教育の自由 第10～13回：教育行政 第14回：住民・父母・生徒参加 第15回：中間試験 第16～17回：学校の公共性 第18～19回：教職員法制 第20～22回：懲戒と校則 第23回：宗教と教育 第24回：教育情報の開示 第25回：教育法の法源 第26～28回：教基法の改正 第29回：まとめ 第30回：学年末試験
準備学習	授業後に、授業で使用したテキスト・六法・プリントの該当箇所を確認し、ノートを整理することが必要である。
履修上の留意点	教職科目の憲法及び教育基礎論を履修していることが望ましい。履修前の場合は、入門書等で学習しておくこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	試験により評価する。 姉崎洋一ほか編『ガイドブック教育法』(三省堂)、『解説教育六法2011』(三省堂)。 永井憲一編『憲法と教育人権』(日本評論社)、藤田英典編『誰のための「教育再生」か』(岩波書店)、米沢広一『憲法と教育15講(改訂版)』(北樹出版)、結城忠編『教育法規300の基礎知識』(明治図書)。

履修コード	212301・212401・212701
科目名	教育基礎論
担当者名	いとう しげき 伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい)	私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 本講義の目的と内容説明 第2回 学校教育という制度 第3回 学校という空間 第4回 学校教育の機能(1)社会化 第5回 学校教育の機能(2)選抜と配分 第6回 学校教育の機能(3)正当化 第7回 近代日本の学校教育－森有礼の構想 第8回 明治期における学校の誕生 第9回 学校教育への民衆の態度(1)学校破壊と反発 第10回 学校教育への民衆の態度(2)立身出世 第11回 学校教育への民衆の態度(3)学歴主義の誕生 第12回 戦前から戦後へ(1)複線型と単線型の学校系統 第13回 戦前から戦後へ(2)進学率の上昇 第14回 戦前から戦後へ(3)学校と家庭の関係 第15回 まとめ
履修上の留意点	自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。
成績評価の方法 教科書／テキスト	学期末試験により評価する。 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	212101・212201
科目名	教育基礎論
担当者名	北村 三子

講義の到達目標(ねらい)

「教育」という営みへの理解を深めつつ、近代的教育思想・理念の諸相とその特徴を理解する。最終的には、受講者が教育の歴史的な流れを踏まえ、教育観を深めるとともに、それをどのように教育実践に活かしていったらよいかも考えられるようになることを目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

教育の理念と歴史を総論的に扱った後、生活の中に教育機能が埋め込まれていた近代以前の人間形成のあり方と比較しながら、西洋近代の自覚的な教育理念や思想について考察する。さらに、日本の学校教育に大きな影響を与えてきた教育思想や理念のいくつかを、時代背景や教育実践との関係にも注意を払いながら検討する。

履修上の留意点

スケジュールは、概ね次のようになる。第1回：講義のねらい・概要 第2回：教育の理念と歴史（西洋を中心に） 第3回：教育の理念と歴史（東洋を中心に） 第4回：遊牧民の生活と人間形成 第5回：日本の伝統的な農村生活と人間形成 第6回：江戸時代の教育機関 第7回：イタリアルネサンスの教育思想 第8回：北方ルネサンスの教育思想 第9回：「子供の発見」（近代的子ども観の成立） 第10回：ルソーの教育経験と『エミール』 第11回：ペスタロッチの教育思想と教育方法 第12回：モントリオール・システムと現代の学校 第13回：公教育の思想 第14回：デューイの教育思想と実験学校 第15回：デューイの教育思想と現代（まとめとして）

成績評価の方法
教科書／テキスト

この科目は教職の専門科目なので、新聞を読むなどして、日頃から教育への関心を高めることが望ましい。

参 考 書

出席状況とレポートによる。
John Dewey, "My Pedagogic Creed" (School Journal LIV, January, 1897) (コピーを配布する。
講義で取り上げるその他の文献資料についても同様。)
教場で指示。

履修コード	212001
科目名	教育基礎論
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい)

教育の理念や思想及びそれらの歴史の流れを把握する。また、近代学校教育における手仕事の意味を理解するとともに、職人の人間形成のあり方と対比しつつ、学校教育の特質について理解する。

講義の内容／
授業スケジュール

第 1 回：ガイダンス（講義のねらい、概要等）
第 2 回：教育の理念と歴史（1）西洋の教育
第 3 回：教育の理念と歴史（2）東洋の教育
第 4 回：学校教育と手仕事（1）ルソーの教育思想
第 5 回：学校教育と手仕事（2）デューイの教育思想
第 6 回：学校教育と手仕事（3）シュタイナーの教育思想
第 7 回：学校教育と手仕事（4）ガンジーの教育思想
第 8 回：職人の仕事と人間形成—学校教育と比較して（1）職人たちの手仕事
第 9 回：職人の仕事と人間形成—学校教育と比較して（2）野鍛冶、柿葺き
第 10 回：職人の仕事と人間形成—学校教育と比較して（3）杞柳細工、葛布織り
第 11 回：宮大工の修業
第 12 回：宮大工による弟子の育成
第 13 回：修業方法としての徒弟制度
第 14 回：人間形成と徒弟制度
第 15 回：まとめ

履修上の留意点

資料を読んだりビデオを見た感想を話し合ったりするため、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法
教科書／テキスト

レポートと出席状況により総合的に評価する。

参 考 書

初回の授業時に指示する。
適宜紹介する。

教職課程
履修科目目録

履修コード	212501
科目名	教育基礎論
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(わらい) 本授業では、近代教育への批判的思考力を身につけることがねらいである。そのために第一に自分自身の教育体験を言語化することを通して対象化すること。第二に自身の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方に触れると共に、教育に対する自分の視点や考え方の傾向がどこにあるのかを対象化すること。第三に各自の体験知だけにとどまらず、暗黙のうちに了解してきた「学習」「子ども」「発達」といった近代教育(学)の基礎概念を、「経験」「他者」「身体」といった視点から問い直すこと。これらの作業を通して、教育の基礎概念を人間形成の本質構造と結びつけながら、より深く理解する試みを行ないたい。

講義の内容/
授業スケジュール

- ①自らの教育体験をふりかえる(第1回～第3回)
- ②学習の基底としての<経験>の意味を問う(第4回～第6回)
- ③経験における<他者>の意味を問う(第7回～第9回)
- ④教育関係における他者の喪失と<他者>としての子ども(第10回～第12回)
- ⑤人間形成の思想としての<発達>という概念装置(第12回～第13回)
- ⑥学びの母胎としての<身体>(第14回～第15回)

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習になっている。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意してほしい。また、コメントを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。
特に使用しない。

- 高橋勝・望月重信他編著『最新教育キーワード』(時事通信社)
高橋勝『子どもの自己形成空間』(川島書店)
清真人『経験の危機を生きる-応答の絆の再生へ-』(青木書店)

履修コード	212601・343801
科目名	教育基礎論
担当者名	山本 敏子

講義の到達目標(わらい) 教育についての見方・考え方(教育理念への理解)を深め、成長していく生きた人間の全体像に対する豊かな洞察に支えられて子どもたちと関わり合うことのできる実践力の養成を目指して、近代教育思想とその歴史にヒントを得ながら、教育の基礎理論を学びます。

講義の内容/
授業スケジュール

近代の教育思想と学校教育(公教育)の歴史を人間形成史の大きな流れの中で押さえる一方、特に何人かの教育思想家に焦点を絞り、その思想を深く掘り下げて考察する予定です。

- (1) 序-「教育基礎論」への招待
- (2) 子ども・若者の現在と教育(学)の課題
- (3) 「教育」という概念と人間形成の歴史
- (4) 近代公教育成立以前の人間形成の諸相
- (5) 近代公教育の登場・普及と人間形成の変容
- (6) 近代教育思想に学ぶ① コメニウス
- (7) 近代教育思想に学ぶ② ルソー
- (8) 近代教育思想に学ぶ③ ペスタロッチ、フレーベル
- (9) 近代教育思想に学ぶ④ コンドルセ、マン
- (10) 近代教育思想に学ぶ⑤ ヘルバルト
- (11) 近代教育思想に学ぶ⑥ シュタイナー
- (12) 近代教育思想に学ぶ⑦ デューイ
- (13) 教育における実践と省察① 学校教育の現在
- (14) 教育における実践と省察② 実践例から考える
- (15) 全体のまとめ

履修上の留意点

初回に受講者の皆さんと相談の上、演習の要素を取り入れた参加型の授業にすることがあります。授業への意欲的な取り組みを期待いたします。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

学期末レポートおよび授業内の小レポート・発表等を総合的に評価します。
特に使用せず、必要に応じて資料を配布します。
適宜紹介します。

履修コード	085801
科目名	教育史
担当者名	やまもと としこ 山本 敏子

講義の到達目標(ねらい)

日本型近代学校システムの成立史を長い歴史時間の中で見ていくことにより近代学校の性格についての理解を深めるとともに、その成立以前に広く民衆文化の中に豊かに息づいていた人間形成と教育に関わる「技」、「知恵」を掘り起こし、これからの教育のあり方について考えます。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：「日本型近代学校システム成立史」に焦点化した教育史通史の講義

後期：「働くこと・学ぶこと・生きること」をテーマに文献購読演習

- (1) 序－「教育史」への招待
- (2) 教育基礎論としての教育史の方法と課題
- (3) 民俗学の明らかにした民衆の教育システム
- (4) 学校の起源と日本における学校発達の概観
- (5) 文字社会の成立と新しい「教育」意識の発生
- (6) 江戸時代の教育システム－多様な「学舎 (School)」の展開
- (7～8) 学制発布と近代学校システムへの模索
- (9～10) 天皇制国家体制の形成と日本型近代学校システムの確立
- (11) 「日本」の領土確定・拡大と植民地の教育
- (12) 「教育家族」の登場と大正自由教育、中・高等教育の拡充整備
- (13) 戦時下の「教学刷新」と皇国民「錬成」
- (14) 戦後教育改革と憲法・教育基本法制の成立
- (15) 前期のまとめ
- (16) 後期の演習テーマの提示と進め方の相談
- (17～18) 働くことと生きることの現在
- (19～24) 宮本常一『家郷の訓』を読む
- (25～26) 人間形成と教育に関わる民衆文化の「技」、「知恵」
- (27～29) 現代教育を再考する
- (30) 全体のまとめ

準備学習

前期については、参考書を事前に読んで授業に参加すると理解が深まります。後期の演習は、毎回テキストを必ず読んでくることを前提に進めます。

履修上の留意点

受講される皆さんの主体的な参加を期待いたします。

成績評価の方法

学期末レポートおよび授業内の小レポート・発表等を総合的に評価します。

教科書／テキスト

前期：特に使用せず、必要に応じて資料を配布します。

後期：宮本常一『家郷の訓』岩波文庫（1984年刊）、760円＋税

参考書

片桐芳雄・木村元編著『教育から見る日本の社会と教育』八千代出版（2008年刊）、2,400円

教職課程
資格取得科目

履修コード	083601・083602・306201・306202
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	いとう しげき 伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい)

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容／
授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関しての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験を報告により共有したうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

第一回の授業で概要を説明する。第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は、事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修は認められないので注意すること。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書／テキスト

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	083201・083202・083901・083902
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	えんどう つかさ 遠藤 司

講義の到達目標(ねらい)	教職課程での学びの総仕上げとしての「教育実習」を意義深いものとするための学びをすることがこの授業の目的である。実習前には、実習に向けての準備を万全なものとするために、実習することの意義を理解し、具体的な準備をするための学びを行う。実習後には実習の体験をより深めるために、自らの実習体験を振り返りながら、教育についての様々な問いを共有し、参加者とともに考えを深め合うための学びを行う。以上のことを通して、教育実習を自らの人生の中での意義深い体験とすることが、この授業を通して目指されることとなる。
講義の内容／授業スケジュール	前期 1. ガイダンス：教育実習の基礎を学ぶ（1～2） 2. 事前準備のための学び（3～5） 3. 模擬授業・学習指導案作成（6～11） 4. 教育実習の報告・振り返り（12～14） 5. 前期のまとめ（15） 後期 1. 実習体験から発生した問いについて考える（16～25） 2. 教職課程での学びを振り返る（26～29） 3. 全体のまとめ（30）
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。受講希望者は第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者はこの授業の履修を認めない（成績評価の対象としない）。「教育実習」という実際の活動を中心とした授業であるため、後期の事後指導の部分も含めて、主体的・積極的に参加すること。
成績評価の方法	実習校からの評価、実習ノートなどの実習の記録、授業への出席・参加度、学期末のレポート等を総合して評価する。
教科書／テキスト	特定の教科書は用いない。参考書は適宜紹介する。

履修コード	084151・084152
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	おおほら きくこ 大浜 幾久子

講義の到達目標(ねらい)	中学校・高等学校における教育実習では、学生でありながら教師としての仕事を要求される。この難しい課題に取り組むにあたって必要とされる諸側面の準備をする。さらに実習を終えた時点で各人の体験を発表しあい、学校教育を教師の側からとらえるための討論を積み重ねていきたい。
講義の内容／授業スケジュール	前期：①実習の概要（1～3）、②学習指導案作成・模擬授業（4～6）、③個別またはグループ指導（7～10）、④実習の報告（11～15）。 後期：学校教育をめぐる様々な論文を読み、討論を重ねる。とりあげる論文は、受講者の関心、提案により決定したい。なお、英語力を高めるために、英語論文の提案を歓迎する。（1～14）。まとめ（15）。
準備学習 履修上の留意点	前年度までに、教職課程の科目をきちんと履修してきていることが必要。 実習前に必須なのは教材研究を充実させることである。さらに、実習後の授業にも積極的な参加が必要である。
成績評価の方法	①実習校からの評価、『実習ノート』等の実習記録、②授業への参加度、③学年末のレポート、を総合した評価。
教科書／テキスト	使用しない。必要に応じ参考書や他の文献を紹介する。

履修コード	083501・083502・084101・084102
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	きたむら みつこ 北村 三子

講義の到達目標(ねらい)	中学・高校での教育実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題であろう。実習生とはいえ教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、実習のための準備と、実習体験を他の人々と共有し深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、以下に述べるような様々なことを試みたい。また実習後は、教える立場から新たに見えてきた学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を考え合いたい。
講義の内容／授業スケジュール	内容・スケジュールはおおむね以下の通り。 1回 本授業について 2～3回 実習の概要と注意(ビデオを含む) 4～6回 学習指導案作成・発表 7～10回 個別指導 11～15回 実習の報告とディスカッション 16～29回 実習体験を深めるために、教育関係の雑誌論文等を読みあい、考えあう(内容は参加者と相談の上決定) 30回 まとめ 実習の準備としては、教材研究を各自よくやること。後半は積極的に参加すること。 実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテストによる。
履修上の留意点	
成績評価の方法	

履修コード	083101・083102・083801・083802
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	豊田 ^{とよた} 千代子 ^{ちよこ}

講義の到達目標(ねらい)	中学・高校での教育実習を充実させるための準備を行うことと、実習をとおして見えてきた教育のさまざまな課題について、ともに考えることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	【前期】(1)ガイダンス、実習の目的と意義、実習の心がまえ (2)生徒指導、教科指導について (3)指導案作成について (4～6)模擬授業 (7～10)個別指導 (11～15)実習の報告
履修上の留意点	【後期】(16)教育の現状 (17～29)教育をめぐる諸問題についての検討 (30)まとめ 初回に授業の概要等を説明するため、必ず出席すること。やむを得ない理由で欠席する場合には、事前に連絡をすること。ともに考え合うことを大事にする授業のため、主体的、積極的な参加が望まれる。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	実習ノート、実習校からの評価、実習報告、レポート、授業への参加度により総合的に評価する。 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。 適宜紹介する。

履修コード	083401・083402
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	萩原 ^{はぎわら} 建次郎 ^{けんじろう}

講義の到達目標(ねらい)	事前指導・教育実習・事後指導を通し、教育実践体験の意味を受講者同士で探究し、教育の意味を深くつかんでいく感性と知性を磨いていきたい。
講義の内容／授業スケジュール	①第1回～第10回：実習までの1ヶ月間で学習指導案作成を中心とした実習前の最終確認を通しながら、実習への心がまえを学ぶ。とくに指導案作成は中学・高校別にチームを編成し、チームで生徒の成長・学びの支援を考える姿勢を養う。 ②第11回～第15回：実習後は実習前に作成した学習指導案と実習中に作成した指導案を比較検討し、どのような点を改善すべきか話し合い、具体的に何に留意して指導案を作成すべきか個人レベルとチームレベルでチェックしあい、共有する。 ③実習後には2週間以内に各自実習のふりかえりレポート提出する。 ④第16回～第30回：後期は、各実習生の実習体験をベースに事例をとり上げ、さまざまな角度から教育実践を共同で省察しあう。基本的に、検討内容は発表者にゆだねられるが、生徒へのかかわり方や学習指導の在り方、いじめ・不登校などの教育問題への理解などをめぐって、実際の体験にもとづき検討しあう。それらを通じて教師としての心構えと教育への理解をより一層深める時間としたい。
準備学習	第一研究館5階の教職課程資料室に、過去3年分の教育実習生による研究指導案綴りが保管されています。各自、先輩たちの研究指導案を参考に、指導案の作り方を研究するように。詳細は第1回目の授業で説明するので、必ず出席のこと。
履修上の留意点	教育実習を中心とした参加型学習のため、受講者の主体的な参加が求められる。とくに留意すべきは＜事前指導＞＜教育実習＞＜事後指導＞の3つがセットとなって構成されている年間授業であること。そのため教育実習前後の授業の無断欠席等による不参加は単位として認められない点に気をつけるように。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。 教科書・参考書等はそのつど指示する。 教科書・参考書等はそのつど指示する。

履修コード	083701・083702・084001・084002
科目名	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
担当者名	山本 ^{やまもと} 敏子 ^{としこ}

講義の到達目標(ねらい) 教職課程での学びの総仕上げとしての「教育実習」を実り豊かなものとするために、実習前には実習のための準備に取り組むこと、実習後には実習の体験を他の実習者と共有しながら省察し課題を深めることを目的とします。教師としての仕事に求められる人間理解を相互に深め合い、子どもたちとの生命的な応答関係とはどのようなものかを考えていきたいと思ひます。

講義の内容/
授業スケジュール

前期：教育実習の意義や目的を理解し、その準備を行う
後期：教育実習の体験を相互に共有し、課題を深める

- (1) 序-授業の概要説明と進め方についての相談
- (2) 教育実習の概要と心構え① 中学校
- (3) 教育実習の概要と心構え② 高等学校
- (4) 事前準備のための学び① 学習指導を中心に
- (5) 事前準備のための学び② 生徒指導を中心に
- (6~11) 指導案作成(教材研究を含む)と模擬授業、個別指導
- (12~14) 教育実習の報告と課題の共有
- (15) 前期のまとめ
- (16) 教育実践の場を取り巻く社会の諸問題
- (17~23) 実習体験を想起・省察し、浮かび上がった課題を深める
- (24~29) 優れた教育実践の記録に学ぶ(文献購読を含む)
- (30) 全体のまとめ

履修上の留意点

教育実習という教師としての本番の仕事・現場に関わる授業なので、一年間を通して、無遅刻・無欠席は当たり前のことで真摯かつ謙虚な姿勢で授業に参加することが必要最低限の条件となります。初回の授業で概要を説明しますので、必ず、出席してください。

成績評価の方法

実習校からの評価や実習ノート等の実践記録、授業への参加度(実習報告を含む)、年度末レポート等によって総合的に評価します。

教科書/テキスト
参 考 書

特に使用せず、必要に応じて資料を配布します。
適宜紹介します。

履修コード	085701
科目名	教育社会学
担当者名	伊藤 ^{いとう} 茂樹 ^{しげき}

講義の到達目標(ねらい) 教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内での人間関係や相互作用といったマイクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちががとすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたいうえで、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

講義の内容/
授業スケジュール

(1~5) 教育社会学の対象と方法、(6~9) 学校の歴史と機能、(10~13) 教育制度の類型と発展、(14~17) 学校における相互作用、(18~22) 情報化社会と子ども、(23~30) 現代の教育問題と教育改革

履修上の留意点

授業への積極的な参加を求める。

成績評価の方法

課題とレポートにより評価する。

教科書/テキスト

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	085501
科目名	教育情報学
担当者名	石橋 達也

講義の到達目標(ねらい)

今日の情報社会の状況における情報と情報メディアについて、その特質や活用について主に教育的観点から理解を深めていく。とくに、コンピュータとインターネットの技術面の進歩を理解すると共に、それらの活用に対する応用レベルの実習を取り入れて、より進んだ情報活用に関する知識と実践的な情報活用技能の習得を目指し、あわせて新たな教授学習法への応用を探る。

講義の内容/
授業スケジュール

授業はパソコン教場で行ない、テーマについての講義とパソコン実習を組合わせて進める。

前期では、情報科学の基礎、パソコン利用の基本、インターネットの利用（閲覧と検索、ファイルの加工、プログラムの取込み）、パソコンとインターネットの教育的活用について学ぶ。

後期では、インターネットの新たな形態と教授学習、表計算ソフトによる情報の統計処理、社会的統計情報の活用、汎用的プログラミングの基礎、情報とデータベースなどについて学ぶ。

第1回：前期授業のガイダンス

第2～3回：情報と情報メディアの基礎（デジタル情報の特徴）

第4～5回：パソコンの基本的な利用（1）文書ファイル処理

第6～7回：パソコンの基本的な利用（2）表計算ファイル処理

第8～9回：パソコンの基本的な利用（3）プレゼンファイル処理

第10～12回：インターネット利用（1）Web閲覧と検索・情報の加工

第13～14回：インターネットの利用（3）ダウンロード・オンライン学習

第15回：前期末テスト

第16回：後期授業のガイダンス

第17～18回：インターネットの新たな教育的活用

第19～21回：Excelによる統計処理（1）基本的な統計処理

第22～23回：Excelによる統計処理（2）検定処理・ネット上の統計情報の活用

第24～25回：汎用的プログラミング（1）LOGOによる描画機能

第26～27回：汎用的プログラミング（3）LOGOによる応用機能

第28～29回：情報とデータベース（映像情報のデータベースの利用）

第30回：後期末テスト

準備学習
履修上の留意点

日頃から、教育関連のパソコンやインターネット活用に対して、広く関心を持っておくこと。

履修する学生は、パソコンの実習には継続と反復練習が大切であることを自覚した上で、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むこと。

成績評価の方法

成績評価は、前期末と後期末の計2回の試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点および課題の提出などを加味して行なう。

教科書/テキスト

教科書は使用せず、必要に応じて資料プリントを配布して授業を進めていく。

参考書

授業中の中で、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していく。

その他

受講学生には、「学ぶ意欲」をもって積極的に授業に取り組むことを期待する。

教職課程
資格講座科目

履修コード	213201・213301・213601
科目名	教育制度・環境論
担当者名	伊藤 茂樹

講義の到達目標(ねらい) 学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 本講義の目的と内容説明
- 第2回 戦後日本の教育問題の変遷(1)進学率の推移
- 第3回 戦後日本の教育問題の変遷(2)少年非行とは何か
- 第4回 戦後日本の教育問題の変遷(3)少年非行の量的推移
- 第5回 戦後日本の教育問題の変遷(4)学校の意味の変化
- 第6回 現代日本の教育問題(1)児童生徒の暴力
- 第7回 現代日本の教育問題(2)いじめ
- 第8回 現代日本の教育問題(3)不登校
- 第9回 現代日本の教育問題(4)体罰
- 第10回 現代日本の教育問題(5)少年による凶悪犯罪
- 第11回 教育問題の社会的背景
- 第12回 近年の教育改革の経緯
- 第13回 教育改革の方向性
- 第14回 教育改革の問題点
- 第15回 まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。
学期末試験により評価する。
教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	213001・213101
科目名	教育制度・環境論
担当者名	北村 三子

講義の到達目標(ねらい) 学校教育の社会的機能に関する原理的な理解を深める。あわせて、日本の学校制度の現状を知りその課題について考えられるようになることも目指す。

講義の内容/
授業スケジュール

日本の学校制度の成立・発展に関する基本的な事実に触れた後、学校教育の社会的な機能について、その理念と現実を見ていく。次いで、近年の日本の教育改革の流れ、欧米諸国の教育改革、OECDの教育政策などについて理解を深めつつ、日本の教育制度の今後を考える。日本の学校現場の具体的な課題についても検討する。

授業スケジュールは、概ね次の通り。第1回：講義のねらい・概要 第2回：日本における近代学校制度の発展(概観) 第3回：学校の社会的機能 (1) 民主的な社会における学校教育の役割 第4回：(2) 現状と課題：不登校とフリースクール 第5回：(3) 現状と課題：社会統合 第6回：(4) 現状と課題：社会的選抜と格差の広がり 第7回：1980年代以降の世界の教育改革の動向 (1) 米英型の教育制度改革 第8回：(2) 北欧型の教育制度改革 第9回：(3) OECDの教育政策 第10回：(4) PISAと日本の教育 第11回：現代日本の教育改革と教育現場 (1) 1980年代以降の教育改革の流れ 第12回：(2) 学校経営と評価 第13回：(3) 教員の仕事と評価 第14回：(4) 教員の労働状況・精神衛生 第15回：まとめ

履修上の留意点

この科目は教職課程の必修科目なので、日頃から教育への関心を高め、自覚的に学習に取り組むことが望まれる。

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席状況とレポートによる。

J・デュイ著『民主主義と社会』岩波文庫(講義に必要な個所はコピーを配布。その他のテキストも同様。)

参 考 書

D・S・ライチェン、L・Hサルガニク編著『キー・コンピテンシー』明石書店 3800円。授業でも適宜紹介する。

履修コード	212901
科目名	教育制度・環境論
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい) 日本の近代学校教育制度及び教育改革の動向を理解する。また、これらとの関連で現代の学校教育の課題について、「身体」を中心に理解する。併せて、今後の教育のあり方を「身体」を軸に考えていく。

講義の内容／
授業スケジュール

第 1 回：ガイダンス（講義のねらい、概要等）
 第 2 回：日本の近代社会と学校教育
 第 3 回：近代学校教育制度と身体（1）規律・訓練
 第 4 回：近代学校教育制度と身体（2）表現・創造
 第 5 回：現代社会と子どもの身体
 第 6 回：現代社会と教員の身体
 第 7 回：1980年代以降の教育改革の動向（1）フィンランドの教育政策
 第 8 回：1980年代以降の教育改革の動向（2）OECDの教育政策
 第 9 回：1980年代以降の教育改革の動向（3）日本の教育政策
 第 10 回：学校教育の課題—身体感覚とコミュニケーション（1）他者との関係
 第 11 回：学校教育の課題—身体感覚とコミュニケーション（2）自然との関係
 第 12 回：学校教育の課題—身体感覚とコミュニケーション（3）自分の身体への気づき
 第 13 回：学校教育の課題—身体感覚とコミュニケーション（4）身体感覚と自己形成
 第 14 回：子どもの身体をひらく教育に向けて
 第 15 回：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

新聞を読むなどして、ふだんから教育について考えることが望まれる。
 レポートと出席状況により総合的に評価する。
 初回の授業時に指示する。
 適宜紹介する。

履修コード	213401
科目名	教育制度・環境論
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい) 本授業では、「子ども・若者の居場所」を切り口とし、現代の子ども・若者の人間形成の在りよう、大人と子どもの関係性の変容、子ども・若者の育成環境としての地域コミュニティや社会構造の変容といった諸問題を互いの関連性において、理解していくことをねらいとしている。

以上から、広く子ども若者が大人と共に育つ包括的なコミュニティの創出に向けた、「子ども・若者の居場所づくり」という視角から、近代教育制度の問題性と今後の方向性を探っていくことになる。

本授業を通し、受講生自身のそれまでの教育体験のふりかえりも含め、今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での他者との学びと交流の場づくりに構想していく視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

①「子ども・若者の居場所」が語られる社会的背景（第1回～第3回）
 ②子ども・若者の人間形成空間と社会構造の変容（第4回～第6回）
 ③子ども・若者にとっての「居場所」の意味を読み解く（第7回～第9回）
 ④子ども・若者の人間形成空間をデザインする（第10回～第12回）
 ⑤子ども・若者の居場所に関わる支援者の力量（第13回）
 ⑥子どもの居場所論と子どもの参加・参画論（第14回～第15回）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

本授業は講義だけではなく参加型学習も取り入れているため、積極的な参加姿勢が求められる。またリアクションペーパーを通して、受講生と教員との相互コメントをできるかぎり実施したい。
 小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

とくに指定しない
 萩原元昭編著『子どもの参画—参画型地域活動支援の方法—』（学文社）
 清真人『創造の生へ—小さいけれど別な空間を創る—』（はるか書房）
 高橋勝『文化変容の中の子ども』（東信堂）

履修コード	213501・343901
科目名	教育制度・環境論
担当者名	やまもと としこ 山本 敏子

講義の到達目標(ねらい)

今日の学校教育が抱える様々な問題を解決していくための力量の養成を目指して、現行教育制度について、その成り立ちを前近代社会の多様な教育システムとの関わりで考察することにより、近代学校システムの特質や公教育原理を理解するとともに、よりよい改革の方向性を模索します。

講義の内容／
授業スケジュール

前半は講義を中心に、後半は受講者がレポーターとなって全員で討議する等、演習の要素を取り入れたものにしたと思っています。

- (1) 序-「教育制度・環境論」への招待
- (2) 前近代社会における年齢階梯制教育システム
- (3) 前近代社会における徒弟制教育システム
- (4) 近代国民国家の成立と近代学校システムの特質・社会的機能
- (5) 日本型近代学校システムの確立と展開-戦後教育改革を軸に
- (6) 国際的な「子どもの権利」論の潮流と戦後日本の憲法・教育基本法制
- (7) 公教育制度の基本原則① 公教育の概念と教育法
- (8) 公教育制度の基本原則② 現代公教育制度と教育権
- (9) 公教育制度の基本原則③ 義務性・無償性・中立性
- (10) 現代の教育問題と教育改革① 1980年代以降の教育改革動向を概観する
- (11) 現代の教育問題と教育改革② 子どもの人間形成空間(身体を含む)の視点から
- (12) 現代の教育問題と教育改革③ イギリスの教育制度・環境に学ぶ
- (13) 現代の教育問題と教育改革④ 北欧の教育制度・環境に学ぶ
- (14) 現代の教育問題と教育改革⑤ よりよい学校経営を模索して
- (15) 全体のまとめ

準備学習

新聞記事を読んだり、自分自身の教育体験を省察したり、子どもや若者の生活世界に起こっている様々な出来事に関心をもって調べたりしながら授業に臨むと、理解が深まります。

成績評価の方法

学期末レポートおよび授業内の小レポート・発表等を総合的に評価します。

教科書／テキスト

特に使用せず、必要に応じて資料を配付します。

参 考 書

適宜紹介します。

履修コード	086001
科目名	教育調査
担当者名	すずき のりお 鈴木 規夫

講義の到達目標(ねらい)

人間行動を科学的方法によって研究するための方法論(統計理論)を学ぶとともに、研究を進めていく上で欠かすことのできないコンピュータ利用技術の習得をめざす。また、実際のデータの解析を通じて、どのようにしてデータがまとめられていくかを学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

【前期】調査の方法とEXCEL

調査に係る基本的な手段とその内容について概説し、その後、EXCELを使った図表の作成やデータ処理等の演習を行う。主な内容は以下の通りである。

- (1) 調査の方法
 - ①調査の考え方 ②調査表の設計(項目、変数、尺度等) ③調査結果の分析(基礎的な統計)
- ④報告書の作成
- (2) EXCELによる統計処理
 - ①データの入力 ②基礎的な統計処理(平均、標準偏差、比率) ③表の作成とデータのソート ④図の作成とプレゼンテーション

【後期】統計理論とSPSSによるデータ解析

統計理論について講義するとともに、教育調査に関連したデータの解析を行い、どのようにしてデータがまとめられていくかを学ぶ。

- (1) 統計理論
 - ①データの特徴の記述 ②関係の強さの記述 ③大小関係の比較 ④主成分分析等
- (2) SPSSによるデータ解析
 - ①データの入力 ②変数の変換等 ③図の作成 ④分析方法の利活用

履修上の留意点

学習内容は積み重ねによって学ぶよう構成されているので、履修する方はできるだけ欠席しないようにしてください。

成績評価の方法

演習を主体とした授業のため、課題の提出状況と出席状況によって評価する。

教科書／テキスト

特に指定しない。授業に必要なテキストを授業初日に配布する。

履修コード	085401
科目名	教育哲学
担当者名	北村 三子

講義の到達目標(ねらい) 本授業の目的は、受講者が自分の教育観を鍛えてゆくための手助けをすることであるが、本年度は、国連の推奨する教育としても知られているシュタイナー教育とその思想的基礎を築いたルドルフ・シュタイナーについて取り上げる。シュタイナーは学校教育だけでなく、農業、医療、経済等、様々な分野で影響力を持っており、教育の考察はどのような広がりをもちうるかを考えることができるだろう。また、シュタイナー教育は芸術を基盤とした教育でもあるので、その教育実践に学びながら、自分達の感受性をどのように育てていけるかも探っていきたい。

講義の内容／授業スケジュール 第1回 オリエンテーション 第2回 芸術としての教育 第3回 教育と社会 第4回 教育の原点としての障害児教育 第5回 農業共同体 第6回 医療と金融 7～10回 テキストを読む(『シュタイナー入門』第1章：シュタイナー教育の実際) 11～13回 同(第2章：シュタイナーの生涯) 14～19回 同(第3章：シュタイナーの基礎理論) 20～23回 同(第4章：思想史のシュタイナー) 24～29回 感受性を育てる(色・形・数・音・動き・詩など) 30回 まとめ

履修上の留意点 ゼミ形式で行う。毎回テキストを読んでおくことが必要である。

成績評価の方法 出席状況、発表、レポートによる。

教科書／テキスト 西平直『シュタイナー入門』1999年 700円(税別) ISBN-09-149458-9

履修コード	076801・076901・077001・077101・077201・077301・305501
科目名	教育とメディア
担当者名	石橋 達也

講義の到達目標(ねらい) 本授業では、情報社会での学校教育におけるパソコンを中心とするデジタル情報機器、及びインターネットを活用した教育実践の状況と今後の課題について理解し、教員として必要な情報メディア活用に関する知識と基本技能の習得を目指して学んでいく。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：講義の概要説明／PC演習：文書処理①文書作成の基本
第2回：デジタル情報社会と教育／PC演習：文書処理②一般的な文書編集
第3回：教育の情報化推進の意義と実践／PC演習：文書処理③文書編集の応用
第4回：小学校の教育の情報化(1)従来の状況／PC演習：文書処理④Webとの連動
第5回：小学校の教育の情報化(2)今後の課題／PC演習：インターネットの利用
第6回：情報ネットワーク社会の倫理／PC演習：表計算①表作成とデータ操作
第7回：中学校教育の情報化(1)従来の状況／PC演習：表計算②文書ファイルとの連動
第8回：中学校教育の情報化(2)今後の課題／PC演習：表計算③関数処理と応用
第9回：高等学校教育の情報化(1)従来の状況／PC演習：表計算④ネットとの連動
第10回：高等学校教育の情報化(2)今後の課題／PC演習：プレゼン①スライド作成の基本
第11回：授業の情報化と教師の役割変化／PC演習：プレゼン②スライド作成の応用
第12回：外国の教育の情報化(1)従来の状況／PC演習：プレゼン③教材作成への応用
第13回：外国の教育の情報化(2)今後の課題／PC演習：ネット活用①検索と提示の工夫
第14回：教育の情報化の新たな動向／PC演習：ネット活用②オンライン学習
第15回：前期のまとめ

準備学習 日頃から、教育に関連したパソコンやインターネットの活用に対して関心を持つておくこと。

履修上の留意点 履修する学生は、この授業が「教職」を目指す上で必要な科目であることをしっかり自覚して、授業に真面目に出席して意欲的に取り組むこと。

成績評価の方法 成績評価は定期試験の得点を中心に、授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行なう。

教科書／テキスト 教科書は使用せず、必要に応じてプリント資料を配布して授業を進めていく。

参考書 授業の中で、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介する。

その他の他 履修する学生には「学ぶ意欲」をもって積極的に取り組むことを期待する。

教職課程
資格講座
科目

履修コード	077401・077501・077601・077701
科目名	教育とメディア
担当者名	芝崎 順司 <small>しばさき じゆんじ</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講義の到達目標は、1)教育におけるメディアの役割の重要性について、提示機能とコミュニケーション機能の両面から、具体的事例に基づき、説明できるようになること、2)教員としてメディアを活用する基礎的技能、教材作成技能を身につけること、である。
講義の内容／授業スケジュール	1 学校教育・社会教育におけるマルチメディア・ネットワーク利用の目的・方法について具体的に検討する。 2 プレゼンテーションなどが必要な教育場面を設定し、基本的なアプリケーションを活用して、コンテンツを作成する。 3 情報教育や情報システム、情報倫理など教員として必要な知識・技能を身につける。
準備学習 履修上の留意点	特になが、キーボードの操作等基礎的なコンピュータの技能は有していることを前提とする。 YeStudy他の学習システムを利用する。コンピュータ等を活用した講義や実習を多く取り入れる。現在進行中の内容を扱うため、問題提起も多く含む。授業への積極的参加を期待する。必要に応じて宿題を課す。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	評価は授業中に行い毎回提出する課題と最終課題を総合的に評価しておくこと。 授業中に紹介する。 必要に応じて、授業中に紹介する。

履修コード	085301
科目名	教育評価
担当者名	大浜 幾久子 <small>おおはま いくこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。さらに、教員になったときに「よいテスト」を作成し実施できるよう、実践力を身につける。
講義の内容／授業スケジュール	はじめに、教育心理学の研究手法(実験・観察・調査・テスト)の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究実習を行う。実習においては、必要に応じてパソコンも活用していく。 前期 第1回:「教育評価」とは 第2回:日常生活における測定 第3～6回:心理学研究における測定法の展開 第7回:性格テスト実習 第8回:知能テスト実習 第9～11回:統計学入門:パソコンソフトの活用方法 第12～15回:研究実習 後期 第1～3回:前期の研究実習のプレゼンテーション。 第4～6回:学校とテスト 第7～10回:よいテストとは:テスト理論入門 第11～15回:テスト作成の研究実習
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	実習に必要なデータを得ること。 ゼミ形式で進める。討論、実習への積極的参加が不可欠である。 2回の研究実習レポートを主に、ゼミ討論への参加状況などを加味した総合評価。指定なし。 資料等は随時、準備し指示する。また、受講生からの提案も歓迎する。

履修コード	080401・080901・081001
科目名	教育臨床
担当者名	えんどう つかさ 遠藤 司

講義の到達目標(ねらい)	心の教育が重視されている現在の教育現場において、カウンセリング的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業では、将来教職に就くことを目指している人間がカウンセリングについて学ぶことの意味を考え、双方向の対話を基に教師—生徒関係を生きようとしつつ、なおかつ指導する人間としての教師をも生きようとするこの意味を考えることを通して、自らの教師観をより豊かに深めていくことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 教育相談について学ぶ：理論について 3. 教育相談について学ぶ：方法について 4. カウンセリングについて学ぶ：概観 5. カウンセリングについて学ぶ：理論について（その1） 6. カウンセリングについて学ぶ：理論について（その2） 7. カウンセリングについて学ぶ：まとめ 8. 教師としてカウンセリングを学ぶことについて考える：概観・問題提起 9. 教師としてカウンセリングを学ぶことについて考える：カウンセリングの必要性について（その1） 10. 教師としてカウンセリングを学ぶことについて考える：カウンセリングの必要性について（その2） 11. 教師としてカウンセリングを学ぶことについて考える：まとめ 12. 対話について考える：概観 13. 対話について考える：授業での対話について（その1） 14. 対話について考える：授業での対話について（その2） 15. 全体のまとめ
履修上の留意点	主体的・積極的に授業に参加すること。授業時に授業者により発せられる様々な問いに対して自分の言葉で考えようとする。ほぼ毎回の授業で授業者の問いについて考えたことを書く機会を作るが、それに対しては誠実に真剣に考え、自分の言葉で文章にすること。要するに、考えることを厭わない学生の参加を望む。
成績評価の方法	授業時間内の試験またはレポート（50点）、および学期末のレポート（50点）により成績評価を行う。なお、授業への参加の仕方の積極度、また、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。
教科書／テキスト	特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

履修コード	081101
科目名	教育臨床
担当者名	かわはら せいし 川原 誠司

講義の到達目標(ねらい)	● 4つの心理療法（精神分析的療法、行動療法、認知〔論理〕療法、クライエント中心療法）の概要を学び、その基本的な考え方や知識、治療方法を理解した上で、それらの観点が学校という場所で子どもに接する場合にどのような形で援用できるかということ学ぶ。これによって、教師として子どもの指導や相談に関わる際に、視点の広がりや深まりをもってもらうことを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	● 正式なスケジュールは、授業期間や受講生数が定まってから、下記のもの（予定）を調整していきますので、必ず授業時の指示に従ってください。 第1回 ガイダンス 第2回 学校現場に心理療法的観点を活かすことがなぜ必要なのか 第3回 精神分析的療法の概説 第4回 精神分析的療法の補足・詳説 第5回 精神分析的療法的観定の学校現場への適用 第6回 行動療法の概説 第7回 行動療法の補足・詳説 第8回 行動療法的観定の学校現場への適用 第9回 認知（論理）療法の概説 第10回 認知（論理）療法の補足・詳説 第11回 認知（論理）療法的観定の学校現場への適用 第12回 クライエント中心療法の概説 第13回 クライエント中心療法の補足・詳説 第14回 クライエント中心療法的観定の学校現場への適用 第15回 まとめ
準備学習	● 事前知識等は特に要求しません（標準的（？）な学力や思考力は求めますが）。それよりは授業を聴く姿勢と態度とを求めます。
履修上の留意点	● 最初の授業で受講人数を把握して、できるだけ班編制を行う予定ですので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。講義形式だけにとどまらないようにさまざまな形態で授業を進めていくことを考えています。 ● 本授業はe-Learning（YeStudy）を用いて予習、復習を実施するので、その操作の意志があること。 ● 授業に出席すること、授業をしっかり聴くことのみならず、班作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加すること。なお、携帯電話の使用は禁止しますのでカバンなどにしまってください（机に出したり、机の下で隠れて操作しないこと）。
成績評価の方法	● 授業の最初に出席を兼ねた確認小課題を実施しますので、事前の指示に従ってください。 ● 「試験（持ち込みは一切不可）＋平常点等」を考えています。 ● 平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。また、配点の比率については正式には授業を進めていく中で決定しますが、“試験：平常点等＝10：3～4”くらいを考えています。
教科書／テキスト	● 特定の本一冊を使用する形はとらない予定です。しかし、毎週必要な文献を読んだり、調べてくる課題等が出ますので、何も読まなくてもよいということではありませんので、十分に注意してください。
参考書	● 必要なものがあれば、授業中に呈示します。
その他	● 後期の登録は前期に行うでしょうから、前期時の履修登録の際には、上記の説明を読んで十分にご注意ください。前期の生徒指導論のシラバスでも書きましたが、「授業に出さえすれば教職単位は何とかなる」と思っている学生には決して向きません。

履修コード	305901
科目名	教育臨床
担当者名	慶野 遥香 <small>(けいの はるか)</small>

講義の到達目標(ねらい)

教育臨床とは、教育領域におけるさまざまな「個」や「集団」の問題の解決を目的として、臨床実践や研究を行うことである。この講義では、教育の現場が抱える困難に取り組み克服できる力を身につけることが目標である。具体的には、教育相談の考え方やところで発達における「障害」の基本的な知識を習得し、実習を通して「共感的な聴き方」を体験的に学ぶことを目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：イントロダクション、第2回～3回：教育臨床とは何か、第4回～第7回：こころの理解（精神医学的な問題、発達障害、行動上の問題）、第8回～第10回：話すことと聴くこと（共感的な聴き方の実習）、第11回～12回：心理療法の方法、第13回：保護者対応・関係機関との連携、第14回：事例研究、第15回：教員のメンタルヘルスと自己理解

準備学習
履修上の留意点

各回の授業内容の復習を行っておくこと。
教職課程であるため、出席は毎回とります。授業は講義形式が基本ですが、学生同士が話し合ったり、ワークをする時間も取り入れますので、積極的な参加を望みます。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

学期末試験（7割）とレポート（3割）を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。教科書は指定しません。授業の中で、関連のある書籍を適宜紹介します。

履修コード	080301・080701・080801
科目名	教育臨床
担当者名	佐藤 尚人 <small>(さとう なおと)</small>

講義の到達目標(ねらい)

教師が、教育の現場で出会うであろうさまざまな問題について毎回取りあげていきます。それぞれの問題について、特に相談的あるいはカウンセリング的な理解や対応について、参加する学生一人ひとりが「自分が教師の立場に立った時どうするか」をできるだけ具体的に考えていくことを目標とします。受け身の姿勢で参加する講義ではなく「自分（たち）が材料を準備してきて、討論をとおして学ぶかたち」をめざします。①資料を探してまとめることを学びます。②自分の考えを自分の言葉で表現することを学びます。③自分の考えを他者に伝え他者の考えを聞き理解することを学びます。④さまざまな考えを材料に討論することを学びます。以上、体験をとおして教師に求められる資質を理解し、その力を養ってください。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回 はじめに：授業の進行や参加の条件、成績評価などについての説明 第2回～第14回 各回に次のような問題（テーマ）を取り上げていきます。「不登校」「非行・犯罪」「いじめ」「学力低下」「学級崩壊（不適応児童）」「体罰」「教師のストレス・精神衛生」「モンスターペアレント（保護者や地域との連携・協力）」「発達・学習の障害（特別支援教育）」など。各回のグループでの討論と発表だけでなく、全体でのダイアログなどもおこない、カウンセリングマインドの活用方法を説明します。第15回 まとめ

準備学習
履修上の留意点

履修上の留意点をよく確認してください。
授業は、「参加学生が毎回準備してくる課題をグループ内で互いに発表し・まとめ・全体に報告すること」「授業時間の最後にまとめとして、教員が解説・コメントする」形で進めます。参加学生は毎回必ず課題を作成してくる。その際、①インターネット上の情報だけに頼らず、本や資料など複数のものを比較検討しながらまとめること、②提言（結論）として、自分のことばで自分の考えをきちんと表現すること、を求めます。図書館を積極的に利用してください。課題をやってこない場合は、出席には扱いません。

成績評価の方法

毎回の出席を評価の前提とします（4回以上欠席した場合は、原則として評価の対象から除外します）。毎回、作成した課題を持って授業に出席すること。課題はグループ討議での材料とする一方、教員に提出し内容を評価されます。授業では、「課題をもってこる」「グループでの討論に参加すること」「発表すること」が評価を受ける条件です。筆記試験は行わず、提出された課題の内容・発表・討論への参加を総合して評価を行います。

教科書／テキスト
参考書

使用しません。
毎回の課題の作成に際して、各自工夫してください。なお、どのような参考書（資料）を探し用いるかも、評価の際のポイントになります。

教職課程
資格講座科目

履修コード	080501・080601
科目名	教育臨床
担当者名	目良 秋子

講義の到達目標(ねらい)	この授業では教育現場における臨床活動の現状と諸問題をスクールカウンセラーと教員の相互視点に立ち考察しながら、児童・生徒の諸問題について理解を深めていきます。また、主に不登校の事例を通して具体的なスクールカウンセラーと教師の子どもへの対応や、学校内および家庭との連携、子どもとの間で生じる葛藤や問題の扱い方などについてもみていきます。
講義の内容／授業スケジュール	1～2回目：ガイダンス及び教育臨床概説 子どもの問題と教育臨床の現状 3～5回目：教育相談の理論と方法 理論、歴史（日本とアメリカ）、教育現場と病院臨床の比較から 6～7回目：児童期・青年期の心の問題 不登校・いじめ・その他の不適応と発達障害との関連 8～11回目：学校における臨床活動 スクールカウンセラーと教師・カウンセリングと心理療法 12回目：事例研究—不登校生徒に対するスクールカウンセラーの対応— 13回目：事例研究—不登校生徒の変化と親の変化— 14回目：事例研究—不登校以外の諸問題を抱える生徒への対応— 15回目：総括
履修上の留意点	教職課程科目であるため出席は毎回とり、評価においても重視します。また、授業期間内に数回のレポート提出があります。
成績評価の方法	学期末試験（8割）と授業内レポート課題（2割）を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。
教科書／テキスト	必要に応じて資料を配布します。
参 考 書	必要に応じて紹介します。
そ の 他	授業は講義形式で行います。

履修コード	085601
科目名	教育臨床心理学
担当者名	牟田 隆郎

講義の到達目標(ねらい)	この講義は、まず人間の成長や人間関係・社会関係の変化に伴う「心のゆれ」の成立メカニズム究明に取り組む。ついで、「心のゆれ」のマイナスの結果としての「心の不安定・不調」であるとか、「人間関係上の諸困難」の様相と、それらへの対応法について考える。つまり全体としては、人間が人生で出会う諸経験が、人間形成をどのように後押しするのかしないのか、その過程を明らかにしていく。
講義の内容／授業スケジュール	前期 1 本講義のねらい 2～3 人間における不思議なこと・謎 4～5 完全な人間はいるか・本当の自分はあるか 6～7 自分と他者の間 8～10 心の成り立ち・意識の成り立ち 11～14 人間や社会における光と影 15 まとめ 後期 1～3 心の無意識の「やりくり」 4～5 家族や集団における自分のあり方 6～8 成長・発達の様相・課題と心の不調 9～10 身体性と心の関連 11～14 事例を通して人間形成を考える 15 まとめ
準 備 学 習	前回講義の内容を吟味し、そこで示された様々な捉え方に対して、異なる捉え方ができるかどうかを考察しておく。
履修上の留意点	「自ら考える」ということを大切にしたいので、問いかけを頻繁にいたします。自分の考えや思いを積極的に発言すること。また、よい意味で批判的に講義を聴き、これまた積極的に質問をすること。
成績評価の方法	各回の小レポートと出席状況によって評価する。小レポートは70%、出席状況は30%の割合で総合評価する。
教科書／テキスト	プリントを配布する。
参 考 書	適宜紹介する。

履修コード	076711・305401
科目名	教職入門
担当者名	<small>てんじょう かつみ</small> 天井 勝海

講義の到達目標(ねらい)

今日の生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等は極めて多様化している。また、生徒を取り巻く教育環境は、国際化・情報化・高齢化・少子化などの著しい進展や生涯学習社会への移行など急激に変化している。このことを踏まえ、これからの学校教育や教育職員としての在り方などについて具体的な課題を取り上げ考察し、教員に求められている基本的な資質や能力及び実践的な指導力等を育成する。

講義の内容／
授業スケジュール

今日の児童生徒の特性等は極めて多様化している。また、現在の児童生徒や学校を取り巻く教育環境も急速に変化している。このことなども深くかかわって、これまでの教員に求められる資質や能力、あるいは指導力や対応力なども見直しが必要である。講義の1～4においてはこのことに関する認識を明確にさせる。また、これからの教員には実践的な指導力が極めて重要であるので、5～13では、具体的な教育課題の把握や理解をさせるとともにそれらを通して実践的な指導力や対応力を特に育成する。14～15では、改めて教員に求められる資質や能力や、学校という組織の中で働く職責を含めて教員としての職責や自覚を高めさせる。生徒や保護者あるいは地域の方々から信頼され尊敬される教員の育成を目指す。

また、進路選択に関して多様な機会について理解を深める。

- 1 教職入門ガイダンス・講義のねらいとその内容及び評価方法について
- 2 学校組織と教職の内容・教員研修と服務及び身分保障等
(教育基本法等の法律を踏まえて)
- 3 学校を取り巻く環境の変化とその対応
- 4 新しい学習指導要領と教育課程の編成
- 5 「生きる力」と総合的な学習の時間
- 6 授業力の向上と指導内容・方法の改善
- 7 健全育成と生徒指導
- 8 生徒指導上の課題とその対応(1)―生徒指導のねらいと指導の在り方―
- 9 生徒指導上の課題とその対応(2)―いじめ問題や不登校問題とその対応の在り方―
- 10 キャリア教育と進路指導
- 11 学級経営やホームルーム経営の在り方
- 12 教育法規とその内容―教育基本法や学校教育法の改正―
- 13 学校における接遇の実際と地域に開かれた学校づくり
- 14 教員に求められる資質・能力及び進路選択の多様な機会
- 15 教職の意義及び教員の役割と責任・教職入門のまとめ

成績評価の方法

後期末試験、授業中の提出物、レポート、小テストなどのほかに、授業への参加の状況(出欠席の状況)なども重視し、総合的に評価します。

なお、後期末試験結果の評価全体に占める割合は6割程度です。提出物・レポート・小テスト・出席状況などは評価全体の4割程度を占めます。

教科書／テキスト
参 考 書

現代実践教職入門(学事出版) 著者名 天井勝海 価格2200円

教育小六法・学習指導要領及び解説(総則編)・その他必要なものは授業の際に紹介する。また、参考となる資料は、プリントして配付します。

教職課程
資格
科目
目録

履修コード	076701
科目名	教職入門
担当者名	藤木 篤典 <small>ふじき あつのり</small>

講義の到達目標(ねらい)

高度消費社会のもと、国際化・情報化の進展、過密・過疎、少子化、近年の不況の中、多様化した生徒をどう教育するか。日本の教育界は、価値観の多様化、生徒間の「いじめ」や不登校等の多くの問題を抱えている。

それらの問題を解決するための力量が教師に求められる。制度面でも多様な高校（通信制、昼夜間定時制、全・定単位制、総合学科）が設立されている。

この講義では、教師になるための勉強の第一歩として、必要な知識を学びます。生徒は、教師の接し方、アドバイス等で大きく変化します。

講義の内容／
授業スケジュール

- ・教育について
 - ・教育機関・制度
 - ・法体系について
 - ・教育法規
 - ・教師の身分（採試、常勤、期限付、非常勤）
 - ・教育免許状
 - ・職務と身分（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、実習助手、事務職、私学）
 - ・特別活動
 - ・教育内容（学習指導要領の法的拘束）
 - ・教育課程
 - ・『児童の権利条約』と学校の指導
 - ・校務分掌について
 - ・中央教育審議会の動向と教育の変化について
 - ・教育関係の時事問題について
 - ・その他（学校評議員制度、関係諸団体、研修、国際交流、障害児教育、生徒指導等）
- 採用試験に向けて、自己の進路として受けとめて学んでほしい。
出席状況、レポートの提出など総合的に評価する。
教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

履修コード	090403
科目名	経済原論
担当者名	あさの かつみ 浅野 克巳

講義の到達目標(ねらい)

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。

新聞その他のメディアで日常的に使われる経済用語や基本的な考え方をしっかりマスターすることがこの授業の第1の目標だ。さらに、公務員試験その他の国家試験で必須の経済学の受験対策としても通用するようなレベルを目指したい。

講義の内容／
授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
- 2～3. 国民経済計算と国民所得の考え方
- 4～5. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
- 6～7. 独立支出の変化とGDPの関係
- 8～9. 消費と投資
- 10～11. IS-LMモデルと財政金融政策
- 12～13. インフレとデフレについて
- 14～16. グローバル経済と国際貿易
- 17～18. 政府の経済的役割
- 19～20. 総需要と総供給
21. 労働市場の働き
- 22～23. 資産市場
24. 貨幣とマクロ経済
- 25～26. 金融政策と金融システム
27. 為替市場と金融政策
- 28～30. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよ。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立つ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。

成績評価の方法

定期試験（年度末）と授業内試験（5～7回実施予定）、およびレポート（1～2回）の成績を総合評価する。

教科書／テキスト

テキストおよび参考書については最初の授業で詳しく説明します。

参 考 書

公務員試験の過去問などの国家試験の受験対策にも十分通用するようできる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

そ の 他

授業中の問題点などあったら、オフィスパワーを設けていますので利用してください。

教職課程
資格課程
科目

履修コード	090303
科目名	経済原論
担当者名	荒木 勝啓

講義の到達目標(わらい)

現代の経済活動は、ミクロ的に見ると財やサービスを作って売る、買うという活動すなわち市場経済活動の集まりであるが、一国全体としてマクロ的に見ると、家計、企業、政府という経済活動の集計的主体が、相互依存しつつ連携し、それらがあたかも人体の血液循環の如くのダイナミックな所得の循環を引き起こすような、「国民経済」としてとらえることができる。国家が人体だとすると、流れる血液が所得であり、その所得循環の働きまたは総体がすなわち国民経済であると言える。その仕組みと、定常的な所得の流れである均衡国民所得の決定の様子を理解することが、講義の第一の目標であり、下記の第一部、講義1から10までがこれに相当する。

国民経済は人類の歴史とともにあったわけではなく、国内の自律的な所得循環を生み出す原動力としての大量生産をもたらした産業革命以降に登場した。国家も経済も昔からあったが、国民経済は産業革命によって近代以降に新たに生み出されたのである。

ちなみに国民経済の図式に相当する簡単な循環図式を、フランスの産業革命以前に、「経済表」として定式化したのは、当時ようやく認知され始めた血液循環説の信奉者であった、18世紀フランスの医師フランソワ・ケネーである。またそうした循環がうまく機能しない(有効需要不足の場合)に、不足を補う役割として政府が必要とされる、と説いたのが20世紀のJ.M.ケインズである。ケネーは、農民が生み出した所得が、貴族や僧侶による現代的に言うところの漏出のために、農民のもとに還流せず、国内に於いても貧血のような所得循環の障害が生じ、そのためにフランス絶対王政国家の衰退と疲弊をもたらされた、と主張したが、ケインズは、高度に発達した資本主義社会の下でも、というよりむしろ経済が高度化するほど、所得増加とともに貴族ならぬ家計の貯蓄増加という形で漏出が増えていくために、所得の還流不足すなわち有効需要不足が生まれると考えた。

現代日本において「貯蓄のパラドックス」とも呼ばれるケインズのこの懸念は現実化し、「豊かさの中の貧困」あるいは金余りの中の失業、そして有効需要不足を埋めるべく膨らむ一方の財政赤字といった問題が、話題とならない日々はないほどである。本講義も折に触れこれらの問題に言及する。

下記第一部の7からは所得循環に介入し流れを変える要因を導入する。その1は政府で、流れの一部を税金などで吸収し、政府支出によって注入する。政府は主として民間の営利活動や市場活動によっては満たされない公共的な経済活動の主体であるが、公共投資や社会福祉支出などの形で追加の有効需要の供給源となる。すなわち政府は公共経済活動を行う過程で漏出と注入の両方の役割を果たす。その2が輸出入の導入である。輸入は国民所得の漏出(Leakage)の一部を成し、輸出は注入(Injection)の一部を成す。これら2つの要因を組み込むことにより、均衡国民所得成立のための貯蓄・投資均等式が、漏出=注入という形に一般化され、拡大された形式で完成する。

第二部11から15は乗数理論とその応用としてのビルト・イン・スタビライザーおよび成長理論、景気循環論の計算と図式である。乗数理論は、経済が、もととなるシード(種)からいかに拡大波及していくかを解く鍵であり、その理解が本講義の第二の目標である。

第三の目標は、貨幣と実物の相互作用により経済がどのように変化するか、あるいは貨幣が実物経済にどのように影響するかを古典派経済学とケインズ経済学との対比において検討することである。またIS-LM分析の手法により財政政策と金融政策の働きが図式的に理解される。そしてなぜ有効需要不足により失業が生まれるのか、といったマクロ経済の重要テーマの解答がこの目標のもとに達成されるであろう。第三部16から26までが講義の細目である。

第四の目標は、さらに進んで、期待理論、物価、国際経済との関連といった応用的かつ現実的な経済現象と経済理論を学習することである。下記講義27から30までがそれに当たる。

第一部: 国民所得の理解

1. 国民経済の成立

産業革命によりいかに国民経済が成立したかを理解する。

2. 所得の循環図式

生産活動によって生まれた所得がどのように経済主体に分配され処分され、そして再び総需要として戻ってくるかという所得循環図式を理解する。

3. 国民所得の概念

GNP、GDPなどの国民所得(National Income)をめぐる概念的・定義的な理解を進める。特に付加価値合計としての国民所得という概念を徹底する。

4. 貯蓄・投資の均衡および注入・漏出均等条件と金融組織

所得循環からの漏出が「消費されざる所得」としての貯蓄であり、その漏出を循環体系に引き戻し、企業の投資という形で注入させる組織が金融機関である。その役割を解説する。

5. 消費関数とその役割

ケインズにより導入された消費関数を定義し、家計の消費が国民所得の循環の中でどのような役割を果たすかを理解する。また後に提唱された、ケインズタイプ以外の様々な消費関数を紹介する。

6. 国民所得の決定その1

所得循環の定常的な流れとしての所得すなわち均衡国民所得の決定を簡単な計算式により行う。

7. 政府の導入

所得循環の流れの中の公共的な経済活動の主体としての政府の役割を理解する。

8. 輸出入の導入と拡大された貯蓄・投資の均等図式

漏出としての輸入と注入としての輸出を導入し、政府と輸出入が組み込まれた、拡大された貯蓄・投資均衡図式を完成する。そして図式の変形からなぜ貯蓄過剰と経常収支の黒字が関係するのかなどを理解する。

9. 国民所得の決定その2--定額税の場合--

政府と輸出入が導入された場合の国民所得を計算する。ただし税金は定額税を仮定する。

10. 国民所得の決定その3--累進課税の場合--

税金は、制度的に所得が高くなると税金も増えていくような累進課税が現実的である。累進課税をモデルとする税金関数(Tax Function)を導入しそのもとでの国民所得を計算する。

第二部: 乗数効果とその応用

11. 乗数理論その1--波及過程としての乗数過程--

「太平記」にある有名な青砥藤網銭拾いの一節。藤網がある夜、滑川に10文の銭を落とした。藤網は50文の銭で松明を買い、その明かりで家来に川底を探させ、ようやく10文の銭を拾った。人がそれは損失ではないかと問うと、藤網曰く、「10文の銭をなくすことは自分にとっては小損だが天下にとっては貨幣の損失であり、使われた50文は人のためになるではないか」と。乗数理論とはこの説話の現代版であり、所得循環の流れに需要(貨幣)が投じられると、巡り巡ってその何倍の所得を生み出す、という理論である。なぜ何倍にも拡大するのかの理由はまさしく所得が「循環するから」である。所得は所得を呼ぶのである。あるいは需要は需要を呼ぶともいう。漏出し減衰しつつもその効果は波及していき、全体として何倍にも膨れ上がる。この理解こそがマクロ経済理解の核心であるといってもよい。

12. 乗数理論その2--一般化--

政府と輸出入が存在する場合に乗数理論を拡大する。

13. ビルト・イン・スタビライザー

累進課税が存在する場合乗数効果が弱められるが、反面そのことにより景気変動の波が安定化する。この効果を財政のビルト・イン・スタビライザー(自動安定化装置)機能という。

14. 経済成長理論の基礎--ハロッド=ドーマー・モデル

のちにノーベル経済学賞を受賞したロイ・ハロッドは短期的なケインズの貯蓄・投資均等式から長期的な経済成長の基本公式が導かれることを示した。この回では、その公式の導出と意味を考える。

15. 景気循環理論の基礎--乗数・加速度モデルを中心に--

景気は4年、10年といった周期で循環することが知られているが、その理論的説明として最も基礎となる乗数・加速度モデルを解説する。

第三部: 貨幣と実物の相互作用

16. 貨幣とは何か

日銀の貨幣博物館では、貨幣として使われた、あるいは今でも使われているものが展示されている。例えば貝、石、木、骨、茶などなど。骨などはそれ自体無価値であるにもかかわらず、貨幣となる。また身近なものでは印刷された紙(原価50円ほど)が一万円もの額面の紙幣として使われている。それはなぜか。この回では貨幣の本質に迫る。

17. 信用通貨の成立

金匠手形から現代の電子マネーに至る信用通貨の歴史をたどり、通貨の裏打ちは結局信用にあるということを理解する。

18. 信用創造理論その1

現金から銀行組織全体に最大どのくらい信用創造がなされるかの公式(フィリップス公式)を、漏出がない場合について導出する。

19. 信用創造理論その2

漏出がある場合の信用創造公式を導く。

20. 貨幣数量説と古典派学説

貨幣数量説、セー法則、完全雇用の三位一体からなる古典派学説を理解する。

21. 流動性選好説とLM曲線

ケインズは古典派の貨幣数量説では把握できない「貨幣の投機的動機にもとづく需要」を導入することにより、現代金融理論の源流となる流動性選好説を唱えた。その理論をそもそも債券とは何かということから解説する。流動性選好説を図式化したものがLM曲線である

22. IS曲線の導出

ケインズの有効需要理論はIS曲線により図式化される。

23. IS=LM曲線による均衡実質国民所得の決定

両曲線の交点において均衡実質国民所得と均衡利子率が決定されるが、その点が労働市場の需給均衡点すなわち完全雇用から生み出される完全雇用実質国民所得に達しているかどうかは保証されない。もし達していなければ非自発的失業が生まれるであろう。

24. 財政政策

非自発的失業を解消するひとつの方法は政府支出の増加によりIS曲線をシフトさせ、IS=LM曲線の交点で決まる均衡国民所得を完全雇用国民所得へと近づけることである。しかし、その財源が税収で得られない場合は財政赤字が生じ、禁断の赤字国債の発行を余儀なくされる。日本を始め先進国が目下直面している問題は、その累積問題である。解決策は果たしてあるのか、これが本講義で学生が様々な解を求めて主体的に考えるべき点であり、この回は解説というよりも問題提起の回となる。または、その関連で少子高齢化、年金、温暖化対策、高度福祉または医療なども考えるべき現代の問題として取り上げる予定である。

25. クラウディング・アウト

政府活動水準の増大は財政赤字化の他に、政府活動が結果的に民間経済活動を阻害して、本来の効果を削いでしまうというマイナス効果も引き起こす可能性がある。これをクラウディング・アウトという。

26. 金融政策

3大金融政策を具体的に解説し、LM曲線のシフトで表される金融緩和と金融引き締め効果を図式的に理解する。またゼロ金利に代表されるリキディティ・トラップ(流動性の罠)の問題を扱う。

第四部: 応用編

27. 期待理論

もし人々が政府や日銀の政策について合理的な期待をすでに有しているならば、期待通りの政策が行動に織り込まれており、政策の効果が十分に発揮されないであろう。政策は人々の予想外の、意外な(Surprising)政策でなければ、通用しないかもしれない。そうした効果をもたらすと考えられる期待理論を解説する。

28. 物価と総供給・総需要理論

物価は総供給曲線と総需要曲線の交点で決定され、もし完全雇用が達成されていれば、総需要曲線の右方シフトはダイヤモンド・プラインフレーションをもたらすであろう。またデフレーションはその左方シフトということで理解される。

29. BP曲線の導出

国際経済が導入された「開放体系」の下では、IS曲線、LM曲線のほかにBP曲線を重ね合わせることで、国内経済と国際経済の関係が図式的に理解可能となる。

30. 国内の政策が国際収支と為替相場に及ぼす影響あるいはその反作用

IS=LM=BP曲線のシフトを用いることにより、財政政策、金融政策が国際経済(あるいは国際収支)や為替相場への作用の反作用としての国内経済へのより複雑な影響を調べることが可能となる。この回の講義まで理解できれば、マクロ経済学の基本はほぼ網羅されたといえる。新古典派的成長理論、より多様な景気循環理論、よりテクニカルな期待理論、投資関数の導出といった高度なテーマについては是非他の授業や専門書で学んでいただきたい。

特に前提となる学習は必要ないが、産業革命前後と大恐慌前後の世界史の知識を踏まえていれば、講義内容の背景の理解がより容易になるとと思われる。

ノートを取ることを肝要。授業中に頻出する例題を自分で計算してみることで、マクロ経済学の基礎を体得できるはずである。例題は多くの場合1種国家公務員試験程度の難易度に相当するが、解き方は詳しく解説するので、自分で解けるように練習すること。

主として授業中の例題から数値を変えて作られた計算問題から成る定期試験100点満点により評価する。テストをすると当然のことであるが、100点の答案と0点に近い答案が両方とも多い。言うまでもないが、授業にきちんと出た学生は100点を取って当然と言い、出ていなかった学生は全く解くことができなかったと言う。例えば、「銀行組織全体からの資金流出が存在せず、各銀行の準備率が5%のとき、1億円の本源的預金から最大いくらの貸出総額が可能か」という問題は、例題を練習した学生なら、おそらく10秒もかけずに19億円と答えるであろうが、信用創造の仕組みを学ばなかった学生にとっては永遠に解けないままであろう。要するに本講義の成績評価は誰が評価しても同じになるような客観評価で行う。計算ミスによる誤答を避けるために試験に電卓を持ち込んでもよい。

準備学習

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト
参 考 書

特に指示しない。
適宜紹介する。取えて1冊というならば雑誌の「エコノミスト」が推奨される。定期的に読むこと
で、最新の経済情報が得られる。

履修コード	089903
科目名	経済原論
担当者名	有井 行夫 <small>ありい ゆきお</small>

講義の到達目標(わらい)

経済のエネルギーとは、水力や火力、電力、原子力など自然力一般ではなく、人間自身のエネルギー、すなわち労働力です。地中における諸資源の地質学的生成、原生林や大気の生成など、人間エネルギーの関与しない自然的生成は経済関係を構成しません。経済システムとは、人間自身のエネルギーを組織しバランスよく発揮させている仕組みなのです。そして今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業の商品生産にもとづいて実現されています。

さて、企業のかぎりない利潤追求を意味づけているのは、利潤の再投資運動、すなわちお金を産むお金の運動です。この運動のことを資本といいます。資本こそは、現代の経済システムの編成原理です。経済理論Aは、資本の存在と意味について、経済活動の原点から掘り下げます。なお、経済理論Bは、資本の意義の理解を前提して資本による社会的諸制度の意味づけをとらえる経済理論Aの発展コースです。また、ミクロ経済学、マクロ経済学は、おなじく現代経済システムの構造を原理的に考察しますが、経済理論A、Bとはアプローチの方法がちがいます。

講義の内容／
授業スケジュール

【前期】(第1週-第4週)第1章=経済学の対象と方法。(第5週-第13週)第2章=商品と貨幣。
【後期】(第13週-第22週)第3章=資本と剰余価値。(第23週-第26週)第4章=資本の蓄積。(第27週)第5章=結論。

履修上の留意点
成績評価の方法

骨格的内容の理解に時間を集中します。
授業中にアンダーラインを指示した箇所から出題した実力試験で7割、秋のレポートで3割の評価をします。

教科書／テキスト
参 考 書

大谷禎之介『図解社会経済学』(桜井書店)3,000円
有井行夫著『マルクスはいかに考えた—資本の現象学』

履修コード	090103
科目名	経済原論
担当者名	ほたなか たかし 島中 貴

講義の到達目標(ねらい)

ミクロ経済学は様々な経済分析の基礎となる理論の一つである。この講義では、ミクロ経済学の基礎的な内容を一通り説明する。数学は議論を単純化し論理の厳密性を実現する上でとても有益な道具であり、ミクロ経済学の醍醐味を味わうためには、ぜひとも初歩的な数学をマスターする必要がある。したがって、初歩的な数学(関数、微分)の説明も併せて行う。

この講義の目標とするところは、次の二点である。

- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための技術を身につける。
- (ii) 筋道立ててものを考える力をつける。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回: ガイダンス、市場と3種類の主体(家計、企業、政府) 第2回: 消費計画とベクトル 第3回: 市場と一物一価の法則 第4回: 市場における需要量と供給量 第5回: 完全競争市場とプライス・テイカー 第6回: 完全競争市場を成り立たせるための条件 第7回: 完全競争市場以外の市場とプライス・メイカー、数と集合 第8回: 消費計画に対する選好と効用、実数全体の集合とその部分集合 第9回: 選好に関する仮定と無差別曲線の形状、2次元ベクトル全体の集合とその部分集合 第10回: 無差別曲線上の点の移動、1変数関数 第11回: 需要量の増減と需要量に影響を及ぼす要因 第12回: 経済学における関数の使われ方、関数のグラフ 第13回: 需要の価格弾力性 第14回: 直線と予算制約線 第15回: 予算制約線の傾きと相対価格、関数の値と極限

第16回: 前期のまとめと前期末試験 第17回: ある条件を満たす数の集合、2次元ベクトルの集合 第18回: 相対価格または予算の変化と予算制約線の変化、集合の表し方 第19回: 予算の範囲内で実行可能な消費計画の集合 第20回: 曲線上の2点を結ぶ直線の傾き、曲線の傾き 第21回: 投入物(生産要素)、生産関数 第22回: 固定費用と可変費用、費用関数 第23回: 微分係数と導関数 第24回: 平均費用と限界費用、微分の公式 第25回: 利潤の最大化と限界費用、限界収入 第26回: プライス・テイカーの行動と供給関数 第27回: 家計の行動と需要関数 第28回: 所得効果と代替効果 第29回: 厚生経済学の基本定理、市場メカニズム 第30回: 市場の失敗、後期のまとめ

履修上の留意点

経済学の説明も数学の説明もすべて一から行うので、この講義を受講するにあたって前提とする知識は何もない。高校時代にあまり数学の勉強をしてこなかった人も積極的に受講して欲しい。ただし、講義の内容は抽象的で頭に入りにくい上、一旦理解できたと思った内容も日が経つと忘れてしまうのが通常であるから、一年を通して根気よく予習・復習を継続する必要がある。テキストは熟読しなくてはならない。前に説明したことの上に新しい内容を組み立てていくから、前にやったことがよく理解できていないと今やっていることが分からないということが起こるので、注意して欲しい。分からない部分があったら、分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にすること。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書/テキスト

授業時に配布するプリントをテキストとする。

履修コード	090203
科目名	経済原論
担当者名	まつい ちゆうへい 松井 柳平

講義の到達目標(ねらい)

理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして講義する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか理論的に考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。ミクロ経済学の理論を基に、具体的な経済事象について経済理論と関連付けて主体的に考察する能力と習慣を養う。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第 1 回：ガイダンス
- 第 2 回：あるパン屋の話（固定費用と可変費用）
- 第 3 回：あるパン屋の話（需要と供給）
- 第 4 回：あるパン屋の話（価格の決定）
- 第 5 回：戦略形表現
- 第 6 回：ナッシュ均衡
- 第 7 回：ナッシュ均衡の練習問題
- 第 8 回：展開形表現とサブゲーム
- 第 9 回：バックワード・インダクション
- 第 10 回：展開形表現と戦略形表現
- 第 11 回：市場における交換と経済学的余剰
- 第 12 回：最後通牒ゲーム
- 第 13 回：2段階交渉ゲーム
- 第 14 回：最後通牒ゲームの練習問題
- 第 15 回：前期のおさらいとまとめ
- 第 16 回：2段階交渉ゲームの練習問題
- 第 17 回：さまざまな取引における価格の決定
- 第 18 回：競売とセカンドプライス・オークション
- 第 19 回：競争入札
- 第 20 回：消費者余剰の比較
- 第 21 回：機会費用、サンクコスト
- 第 22 回：予算制約線と効用関数
- 第 23 回：最適消費点と無差別曲線
- 第 24 回：限界効用と需要曲線
- 第 25 回：寡占とクールノー競争
- 第 26 回：クールノー均衡
- 第 27 回：銀行借入れ
- 第 28 回：株式の新規発行
- 第 29 回：モディリアーニ=ミラーの定理
- 第 30 回：おさらいとまとめ

定期試験

準備学習

事前に、中学時代の数学の計算問題等について、理解と計算能力を完全にしておくこと。講義プリントを、YeStudyから事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

履修上の留意点

この講義の履修においては、小学校・中学校・高校での算数・数学について、その基本的な部分の理解がきちんとできていることが前提となる。こうした算数、初等的な数学について自信のない受講生は、算数や中学時代の数学の教科書・参考書を事前によく自学自習し復習した上で授業に臨んでもらう必要がある。

具体的には、

◎小学校の算数における「数と計算」（個数を数える・比べる、加法・減法・乗法・除法、小数・分数の計算、約数・倍数、約分・通分）、「数量関係」（表やグラフ、交換法則、結合法則や分配法則、比、比例）

◎中学校の数学における「数と式」（正の数と負の数・その四則計算、一元一次方程式、文字を用いた式の四則計算、連立二元一次方程式、式の展開や因数分解、等）、「数量関係」（比例・反比例の関係、変数・変域、一次関数、等）

◎高校の「数学I」における「方程式と不等式」、「二次関数」

また、受講生の予習と復習を前提とし、授業中に学生に答えを尋ねる場合が多々ある。したがって、受講生はYeStudyに登録し、講義プリントを、YeStudyから事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、公共経済学、経済政策などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法 成績評価は基本的に、定期試験（年度末）に基づく。なお、授業中に自ら手を上げて練習問題を自発的に発表し、その発表内容がよかった場合には成績評価に加味する。また、夏期休暇中に小レポート課題を課す場合がある（レポート課題の有無は7月の授業中にアナウンスする）。

教科書／テキスト
参 考 書
梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』（日本評論社）ISBN4-535-55202-9
岩田 規久男『経済学を学ぶ』（筑摩書房）（ちくま新書）ISBN4-480-05602-5
武藤 滋夫『ゲーム理論入門（日経文庫：経済学入門シリーズ）』（日本経済新聞社）ISBN：4532108292
渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）ISBN：4816337458
渡辺 隆裕『ゼミナール ゲーム理論入門』（日本経済新聞出版社）ISBN：4532133467

そ の 他
受講生の予習と復習を前提として講義を進める。授業を欠席しても困らないように、授業で友人をつくっておくこと。そして友人同士で教え合いながら理解を深めること。

履修コード	082901
科目名	現代社会の諸問題と教育 I
担当者名	鈴木 朋実

講義の到達目標(ねらい) この講義は、現代社会の諸問題のなかでも、子どもの発達の基盤として重要な意味をもつ家族について、今日の諸問題を取り上げ、教育の観点から、その実態、背景、原因を解明し、有効な問題解決の方策をさぐることをねらいとしています。社会性の発達の遅れなど子どもの発達をめぐる問題、不登校・いじめ・校内暴力など学校における問題、その他の非行問題が社会的に憂慮されていますが、その背景には少子高齢化とともに大きく変容しつつある現代家族の在り方をめぐる問題があります。この点を十分に理解し、こうした問題にどのように対応すればよいかを考察するところに講義のポイントをおいています。

講義の内容／
授業スケジュール

講義は、次の4セクションに分けて行う予定です。
第1セクション：「家族集団と子どもの発達」（第1～4回）
第2セクション：「産業の発展にともなう家族の変容と教育機能の衰退」（第5～8回）
第3セクション：「現代の家族をめぐる問題の諸相と人間形成」（第9～12）
第4セクション： グループによるプレゼンテーション（第13～15回）

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

家庭教育・学校教育に関する新聞記事をスクラップしておくことによいでしょう。
新聞などで取り上げられている家族問題への関心を持つことが望まれます。
授業への積極性を重視した上で、出席状況・プレゼンテーション・試験により、総合的に評価します。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

適宜、資料を配布します。
授業中に紹介します。
授業方法はディスカッションを中心に構成しています。また、7月にはテーマを設定し、グループあるいは個人でプレゼンテーションを行なっていただきます。

履修コード	086201
科目名	現代社会の諸問題と教育 II
担当者名	鈴木 朋実

講義の到達目標(ねらい) 現代の社会は急激な変化に伴って解決の難しい多くの問題を発生させていますが、これらの問題は、教育の在り方に直接的、間接的に重大な影響をおよぼしています。わが国の場合、社会的変化は、とりわけ、1960年代の経済成長政策以降、テンポを速め、激しさを増しています。

講義の内容／
授業スケジュール

この講義では、わが国の高度経済成長期以降の社会的変化の過程で生じた重要な問題と教育との関係を明らかにして、将来を展望し、問題解決の方途を探ることをねらいとしています。

準備学習

講義は、次の4セクションに分けて行う予定です。
第1セクション：「高度経済成長にともなう社会の諸問題と教育」（第1～4回）
第2セクション：「情報化にともなう問題と生涯学習」（第5～8回）
第3セクション：「自由化をめぐる問題と教育」（第9～12回）
第4セクション：グループごとのプレゼンテーション（第13～15回）
終戦後、現在に至るまで、学習指導要領が7回改訂されました。その内容、また、その時代の社会的背景について調べてみてください。

履修上の留意点
成績評価の方法

新聞に目を通し、社会問題・教育問題への関心を高めるとよいでしょう。
グループごとに、テーマを設定し、プレゼンテーションを行います。
授業への積極性を重視したうえで、出席状況・プレゼンテーション・試験により、総合的に評価します。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

プリントを配布します。
授業中に紹介します。
12月には、個人またはグループでプレゼンテーションを行っていただきます。

履修コード	152651
科目名	現代商業論
担当者名	辰馬 ^{たつま} 信男 ^{のぶお}

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、第2次世界大戦後に著しい変化を遂げたわが国の商業（小売業・卸売業）について、その変化の過程を各種資料に基づきながら、また商業機構の形成に大きな影響を及ぼしている流通政策をも視野に入れながら、明らかにすることを狙いととしています。なお、わが国の商業機構の特徴をより明らかにするために、諸外国のそれとの比較を取り入れたいと考えています。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：はじめに一業種と業態一、第2回～4回：現代商業を理解するための統計資料の紹介と解題、第5回～7回：ここ1年間（2009年）の商業の動向、第8回～10回：第2次世界大戦後の経済復興と百貨店の復活、第11回～13回：高度経済成長期におけるGMS型スーパーの台頭と大規模小売店舗法の制定、第14回～16回：諸外国における商業機構の展開、第17回～20回：現代商業を学ぶためのいくつかの基礎理論の検討、第21回～23回：低経済成長期における業態の多様化—ディスカウトストア・コンビニエンスストア・食品スーパーの発展—、第24回～25回：バブル経済期における商業機構、第26回～28回：1990年代以降の商業機構(1)—新業態の展開・競争の激化・流通政策の新展開—、第29回～30回：1990年代以降の商業機構(2)—卸売業の再編—

準備学習

一般紙の経済面のなかの商業にかかわる記事に日ごろから慣れておくようにしてください。さらにすずんで、『日経MJ（流通新聞）』（週3回発行）や『日経ビジネス』（週刊）などを読むと理解がもっと深まります。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

特にありません。
出席、授業中の質問や発言、などを総合的に判断して評価します。
特にありません。
授業内容に応じて適宜紹介します。

履修コード	028602
科目名	現代美術
担当者名	矢野 ^{やの} 陽子 ^{ようこ}

講義の到達目標(ねらい)

この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げます。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきました。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているかも考察していきます。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス (2～4) 19世紀後半の美術 (5～7) 世紀転換期の美術 (8～13) フォーヴィスムとキュビスムおよびその他の20世紀初頭の動向 (14～17) ダダからシュルレアリスムへ (18～19) 抽象主義 (20～21) バウハウスなど (22～24) 抽象表現主義からポップ・アートへ (25～30) 戦後の様々な動向

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れるように心がけてください。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

夏休みの課題レポートと学年末の筆記試験、出席率、授業態度を合わせて評価します。
講義時にプリントを配布します。
美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円

その他の

そのほか授業中適宜紹介します。
授業は毎回、画像を見ながら進めます。

教職課程
資格講座

履修コード	052812
科目名	考古学特講Ⅱ
担当者名	酒井 清治

講義の到達目標(ねらい)	5世紀初頭に朝鮮半島から伝わった須恵器は、古墳時代の大和政権あるいは各地の首長層と密接な関連があり、古墳時代あるいは古代を考える重要な土器である。この須恵器は全国各地で詳細な編年が出来ており、考古学的な年代決定の重要な資料となっている。また、生産跡である窯跡や工房が発見されており、消費地との需給関係が分かる。さらに須恵器生産は古墳時代においてきわめて政治的に生産が開始されており、須恵器生産跡から生産体制を解明する材料となっている。
講義の内容／ 授業スケジュール	当時の手工業史としての須恵器生産史や流通史を解明することにより、須恵器から古墳時代、古代を考える。また、朝鮮半島の土器生産と比較し、土器から見た生産体制の違いを考える。 須恵器や窯跡に関する論文を紹介しながら、須恵器生産・流通・歴史的背景を概観する。(1~3)で焼き物の歴史の中で須恵器とは何かを考える。(4~7)で製作技法について、(8~10)で生産技術を、(11~13)で須恵器の源流について、(14~16)器種と用途、(17~19)須恵器編年、(20~23)年代論、(24~26)須恵器の地域色、(27~29)須恵器の役割、(30)まとめ
準備学習 履修上の留意点	博物館などで授業に関する資料を見るようにすること。 遅刻をしないこと。授業内容は考古学専攻生を対象とした特講の授業であるため、やや難しいが解説を加えるようにする。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	レポートと出席など平常点 授業の中で適宜紹介するが購入する必要はない。資料を配付する。 中村浩『須恵器』(ニュー・サイエンス社) 中村浩『和泉陶器窯の研究』(柏書房) 中村浩『泉北丘陵に広がる須恵器窯』(新泉社) 山田邦和『須恵器生産の研究』(学生社)
そ の 他	授業はOHPを利用して講義するが、遺物の観察法についても実物資料を見ながら解説する。

履修コード	052922
科目名	考古学特講Ⅳ
担当者名	小林 謙一

講義の到達目標(ねらい)	文字史料のない先史時代はもとより、歴史を構築するためには、物質文化による再構成の手段である考古学的手法が必要である。考古学研究を志す者は当然だが、歴史研究を志す者にとっても必要不可欠と言える考古学的研究法を理解してもらう目的で、日本先史時代である縄紋時代の土器研究、集落研究を中心に「縄紋時代の考古学」を講義する。同時に炭素14年代測定法など、自然科学的な研究法についても概説し、考古学的課題への応用を議論する。具体的なケーススタディは日本先史時代を中心とするが、必要に応じ近世・近現代考古学研究まで紹介する。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)日本先史考古学概論、(2)縄紋時代概論(3-4)縄紋時代考古学史、(5-7)縄紋研究方法論 型式・層位・発掘、(8)縄紋集落遺跡を題材とした遺跡調査法、(9-10)年代測定法・自然科学的分析、(11-13)縄紋時代土器研究法、(14-15)貝塚・低湿地遺跡研究、(16-19)縄紋セトルメント研究と縄紋時代の地域交流、(20-21)縄紋社会論への炭素14年代測定の利用、(22-27)旧石器時代～縄紋時代の時期区分・縄紋・弥生・古墳年代論、近世・近現代考古学、(28-30)先史考古学研究の応用、先史考古学の課題・まとめ
準備学習	博物館見学や概説書などによって、旧石器時代、縄紋時代、弥生時代について、予備的な知識を習得しておいて欲しい。
履修上の留意点	博物館見学や、夏期休暇中に発掘見学をおこなう可能性があるが、実施するかどうかは講義の実施状況により、受講者とも相談の上決めたい。その場合には交通費等の実費負担がある。
成績評価の方法	夏期レポート(40%)・前期後期の小テスト(40%)・ミニレポートなど平常点(20%)の総合評価。なお夏期レポートとして、参考書にあげる文献一つを選び関連するテーマをまとめて貰う課題を課す。
参 考 書	小林謙一『縄紋社会研究の新視点—炭素14年代測定の利用—』六一書房(2008年新装版) 小林謙一編『縄紋集落研究の新天地(続)—竪穴住居・集落調査のリサーチデザイナー—』考古学リーダー15、六一書房(2008年) 小林謙一『縄紋文化のはじまり—上黒岩岩陰遺跡』新泉社(2010年)
そ の 他	講義で紹介する発掘調査事例については、下記のホームページを参照

履修コード	053022
科目名	考古学特講VI
担当者名	<small>てらまえ なおと</small> 寺前 直人

講義の到達目標(ねらい)

日本列島における武器の出現とその歴史的意義を論じる。日本列島において多様な武器が登場する弥生時代の資料をおもに取り上げる。比較のために縄文時代や古墳時代の資料などを取り上げることもある。実証的な遺物研究を中心にこれまでの研究史との比較検討し、多様な武器が用いられた社会的背景を理解する。そこから、時期、地域ごとに異なる弥生社会が形成されていたことを学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 講義の概要説明
- 第2～4回 武器をめぐる考古学的議論
- 第5～8回 武器の伝来(磨製石鏃・石製短剣の登場と展開)
- 第9・10回 弥生時代開始期における武器の特質
- 第11～13回 金属器の導入とその影響
- 第14・15回 金属器時代の武器
- 第16～18回 石製短剣と社会
- 第19～23回 武器の地域性(日本列島における武器の多様性とその背景)
- 第24～27回 武器と儀礼
- 第28～30回 武器と社会
- 第30回 今後の展望

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

私語厳禁
平常点と年数回のテスト
とくにないが毎回資料を配布する。
寺前直人『武器と弥生社会』大阪大学出版会 2010年

履修コード	053042
科目名	考古学特講VII
担当者名	<small>やの かずゆき</small> 矢野 和之

講義の到達目標(ねらい)

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画または歴史を生かしたまちづくりを担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容／
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
- ・国際憲章
- ・日本建築史(古代)概要
- ・遺構とその上部構造体の復元
- ・保存計画概論
- ・保存科学、保存工学概論
- ・まちづくりと文化財
- ・計画策定の実務
- ・国内の事例
- ・海外の事例、文化財保存の国際機関、世界遺産

以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。
試験、演習提出物
コピー配布
適宜指示
講義は、スライド、ビデオ(保存工事の記録等)を使用する。

教職課程
資格講座科目

履修コード	065322
科目名	公的扶助論
担当者名	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講の中心的テーマは、わが国の社会保障制度体系における生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。このような問題意識のもとに、慈恵的救済から権利的保障へと歩んできた公的扶助の歴史をはじめ、現行法の目的、原理、原則、組織機構、行政運営等を体系的に講述する。また、近年、注目されている権利擁護、社会的排除等にも言及する。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：開講に当たって、第2回：貧困概念をめぐって、第3回：公的扶助の概念と社会保障制度下の位置と役割、第4～8回：イギリス及びわが国の公的扶助制度の歴史的展開、第9～12回：生活保護制度の概要(目的、原理、原則、扶助の種類、保護施設等)、第13回：生活保護の争訟制度とイギリスの福祉権活動、第14回：低所得対策、第15回：まとめ
準備学習	授業の最後に、次回の講義で扱うテーマ・問題を指示するので、事前にテキストの該当箇所を目配りしておく。できれば、疑問点や質問事項をまとめておく。
履修上の留意点	指定されたテキスト以外の参考文献や新聞記事等を活用しながら学習を深め、「学生参加」型の授業を心がけたいと考えているので、貧困問題に対する関心をもってほしい。
成績評価の方法 教科書／テキスト	評価は、定期試験と出席状況を勘案して行う。 伊藤秀一編著『低所得者に対する支援と生活保護制度(社会福祉士シリーズ16)』弘文堂、2008年、2500円+税
参 考 書 そ の 他	随時紹介する。 視聴覚教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

履修コード	022811
科目名	国語科教育法Ⅰ
担当者名	<small>くぼた りのる</small> 久保田 實

講義の到達目標(ねらい)

中学校・高等学校の国語教育の成立・意義・目標・内容などについて学び、しっかりとした教員としての自覚を持つように指導する。国語の具体的な授業に関する指導法について学びながら、実際の教材によって、教材研究・指導事項・指導方法等についての基礎を学ぶ。模擬授業を通じて体験的に具体的に指導法を深めながら、指導力を育成する。

講義の内容／
授業スケジュール

授業の概要

前期は、講義形式で、国語教育の意義や、内容などを考えながら、教員としてあるべき姿勢を身につける。また先人の国語教育の方法や考えを学びながら、国語の指導及び指導案のあり方や作り方などを考える。後期は、模擬授業をしながら、具体的な授業のポイントや、授業評価などを体験する。

授業計画

- (第1回)：国語科教育法Ⅰの指導の目標・年間予定
- (第2回)：小テスト(動詞活用表を思い出そう)教師の力・話す力
- (第3回)：教科「国語」の全体イメージを探る・国語の成立について考える
- (第4回)：国語=ことば・文学を学ぶことの意義
- (第5回)：垣内松三・西尾實・安西迪夫の国語教育理論
- (第6回)：国語の全体像・国語科教育の今日的課題
- (第7回)：国語科教育の目標と内容
- (第8回)：国語概念の混在性・国語科教育の内容・区分・方法など
- (第9回)：国語科授業の教育課程と教材研究
- (第10回)：学習指導計画について
- (第11回)：学習指導案の定義・目的・意義
- (第12回)：学習指導案の工夫
- (第13回)：教材研究の意義
- (第14回)：教材研究の方法
- (第15回)：高等学校での指導事項の基本の復習と前期のまとめ
- (第16回)：模擬授業班の決定
- (第17回)：国語教師の心得と「わかる」授業について
- (第18回)：実際の授業での話し方と机間巡視の重要性
- (第19回)：模擬授業①と発声訓練
- (第20回)：模擬授業②と授業評価
- (第21回)：模擬授業③と机間巡視
- (第22回)：模擬授業④と板書
- (第23回)：模擬授業⑤と発問
- (第24回)：模擬授業⑥とほめる指導
- (第25回)：模擬授業⑦と見せる授業
- (第26回)：模擬授業⑧と考えさせる授業
- (第27回)：模擬授業⑨と作業する授業
- (第28回)：模擬授業⑩と発展する授業
- (第29回)：模擬授業⑪と全体評価
- (第30回)：模擬授業の振り返りと教壇に立つ時の注意事項のまとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

出席・課題提出・模擬授業の積極的参加を重視する。
定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加(出席)の状況等の観点も加えて総合的に評価する。

教科書／テキスト

全国大学国語教育学会編新訂中学校・高等学校『国語科教育研究』(学芸図書株式会社)
2,310円(税込み)

参 考 書

その都度指示する。

履修コード	022911
科目名	国語科教育法Ⅱ
担当者名	久保田 實 <small>くぼた みのる</small>

講義の到達目標(ねらい)

「国語科教育法Ⅰ」の講義を受けて、国語教育の過去・現在を見つめ、教材研究・教材分析を中心に、指導事項・指導方法・指導過程等の多様性や今後の可能性について考える。また情報化社会を見すえながら、国語の授業の構想力・教材開発力を育成する。

講義の内容／
授業スケジュール

授業の概要

前期は、①中学校(高等学校)の国語科の現状を確認し、国語教育のあり方を考察する。②江戸時代から現代に至る国語教育の豊かな過去に学びながら、授業のありようを考察する。後期は、③国語の指導技法の視点から、多様な過去の技法に学びながら、新しいコンピュータやインターネットの利用も視野に入れた教材開発力、授業展開力を考える。

授業計画

- (第1回)：国語科教育法Ⅱの講義の概要
- (第2回)：最近の教育問題について
- (第3回)：図書館のデータベースを使う。資料収集の方法を学ぶ。レポートの書き方
- (第4回)：レポートを書く「最近の国語教育問題について」
- (第5回)：国語という現実・現場
- (第6回)：教育関連法と現実・現場
- (第7回)：授業成立の3要素
- (第8回)：国語教科書の歴史と教育権
- (第9回)：ビデオ「明治の教育」を見る
- (第10回)：江戸の教育の中の国語に学ぶ
- (第11回)：江戸の教育の多様性を考える
- (第12回)：「日本を切り開く私塾1」の国語に学ぶ
- (第13回)：「日本を切り開く私塾2」の国語に学ぶ
- (第14回)：梅檀林の国語に学ぶ
- (第15回)：前期の検討事項の確認とまとめ。
- (第16回)：明治学制の中の国語
- (第17回)：コメニウス・ペスタロッチの教育法から学ぶ
- (第18回)：ヘルバルトの教育法から学ぶ
- (第19回)：教育技法を活かすPowerPoint教材開発[実習①]ページを作る
- (第20回)：PowerPointの教育的応用技術[実習②]画像を張り、動きをつける
- (第21回)：PowerPointの教育的応用技術[実習③]分岐コースを作る
- (第22回)：PowerPointによる教材開発[実習④]設問と発問形式の工夫
- (第23回)：大正の教育から学ぶ
- (第24回)：昭和の国語教育技法①形象理論
- (第25回)：昭和の国語教育技法②形象理論の発展
- (第26回)：戦後の国語教育技法
- (第27回)：現代の国語教育技法紹介
- (第28回)：現代の国語教育研究会を紹介する
- (第28回)：現代の国語教育研究会についてレポートする
- (第30回)：国語科教育法の多様性のまとめと、これからの教育法について考察

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。なお、中学校・高等学校で使用した教科書・副読本を手元に置いて必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

出席状況、授業の参加態度、提出物、随時の小テスト等により総合的に評価する。
新訂中学校・高等学校『国語科教育研究』（「国語科教育法Ⅰ」で使用のものと同じ）
その都度指示・紹介する。

履修コード	053102
科目名	西域美術史
担当者名	まつだいら みわこ 松平 美和子

講義の到達目標(ねらい) シルクロードの十字路アフガニスタンとペルシアを中心に東西美術工芸の交流を考えることを目的とします。古代から東西交流の要衝として栄えたアフガニスタンは、1979年の旧ソ連軍侵攻に続く内戦のため荒廃し、その貴重な遺跡や遺宝は破壊され、あるいは行方不明となりました。失われた遺跡や遺宝を画像で再現し、その豊かな芸術の歴史と最新情報を検討します。後期は西アジア芸術をリードしてきた古代ペルシアの装飾性の強い美術を時代に沿って見ていきます。また、年間を通して美術館や美術展の情報を提供し、その美術展カタログ(図録)の魅力と活用法についても考えてみたいと思います。

講義の内容/
授業スケジュール

前期 (1)美術展とカタログ(図録)について、(2)アフガニスタンの歴史と遺宝、(3)ラピスラズリの交流、(4~5)パーミヤンの芸術、(6~7)ペグラムの遺宝、(8)アフガニスタンのローマングラス、(9~10)ハッタの遺跡、(11~12)ガンダーラの芸術、(13~14)アフガニスタン遺宝の最新情報、(15)まとめ

後期 (1)日本におけるペルシア美術展、(2~3)古代ペルシアの芸術、(4~5)アケメネス朝ペルシアの芸術、(6~9)ササン朝ペルシアの芸術、(10)ソグドの芸術、(11~14)イスラム芸術、(15)まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

講義中に紹介するシルクロード関係の美術展をはじめ、各種の美術展へ行く機会を持って欲しい。

前期のレポートとテスト、後期のレポートとテストに出席状況を加味して総合的に評価する。

松平美和子著『シルクロード美術鑑賞への誘い』(芙蓉書房出版、2007)2800円

(ISBN 978-4-8295-0401-7)

松平美和子編『シルクロード美術展カタログ内容総覧』(芙蓉書房出版、2009)

参 考 書
そ の 他

レポートの提出期限は厳守すること。

履修コード	082511
科目名	ジェンダーと教育Ⅰ
担当者名	たかい ようこ 高井 葉子

講義の到達目標(ねらい) 本コースは、社会教育主事の資格取得を目指す学生を対象に、広く教育に関する問題をジェンダーという観点から学ぶコースである。前期の授業では、「貧困」、「開発」、「ジェンダー」を中心テーマとし、広く国内外の課題と取り組みの現状について学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

授業は、上記の3つのテーマを細分化し学生自らが与えられたトピックについて調べたことを発表する形で進められる。

第1週~第3週:「貧困」の現状と取り組み;女性と貧困

第4週~第7週:「人間開発」;女性と教育

第8週~第11週:日本における貧困問題;具体的な事例から。

第12週~第14週:国内外における援助の現状

第15週 まとめ

成績評価の方法
教科書/テキスト

成績評価は、出席状況、発表、レポートによって行います。試験は行いません。

使用しません。必要に応じて授業で指示します。

履修コード	082521
科目名	ジェンダーと教育Ⅱ
担当者名	たかい ようこ 高井 葉子

講義の到達目標(ねらい) 本コースでは、社会教育主事の資格取得を目指す学生を対象に、広く「子ども」、「家族」、「学校」に関する問題を取り上げる。

講義の内容/
授業スケジュール

授業は、上記3つのテーマを細分化し学生自らが与えられたトピックについて発表する形式で進められる。

第1週~第3週:「子ども」をとりまく現代的課題と取り組みの現状。

第4週~第8週:「家族」をとりまく諸現象、諸問題。

第9週~第12週:「学校」をとりまく諸問題と取り組みの現状。

第13週~第15週:「性」をめぐる諸問題と取り組みの動向。

成績評価の方法
教科書/テキスト

成績評価は、出席状況、発表、レポートに基づいて行う。

使用しません。必要に応じて授業で指示します。

履修コード	043201
科目名	自然地理学概説
担当者名	<small>たかぎ まさひろ</small> 高木 正博

講義の到達目標(ねらい)	自然地理学の分野のうち、河川や地下水など水にかかわる地理学を中心に講ずる。近年、河川環境や地下水の汚染・保全などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の水文特性について、地域事例をもとに説明する。
講義の内容／ 授業スケジュール	年間の授業内容は次の通り予定している。 1-2自然地理学と水文学、3-4水文循環と水収支、5-6河川の流域とは、7-8日本の河川と洪水、9-10河川の侵食・運搬・堆積作用、11-12地形と災害、13-14都市の河川と水害、15-16自然湖沼と人造ダム湖、17-18地下水とは、19-21地下水と河川水、22-23地下水の利用、24-26地下水の汚染、27-30都市の水環境と地下水など 地域事例を紹介する際、地形図や空中写真なども利用して説明する。
準備学習	授業ではプリントを用意するが、そこに記載されている参考文献を活用して授業内容を復習しておくこと。
履修上の留意点	講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。地域概要を把握するために、地図帳や地形図を利用してほしい。
成績評価の方法	年度末の定期試験(40%)と夏休みの課題レポート(30%)に重点を置いて評価するが、授業中に随時実施する課題(30%)なども加算する。
教科書／テキスト 参 考 書	授業時間にプリントを配布する。 配布プリントをとおし随時紹介する。

履修コード	043101
科目名	自然地理学概説
担当者名	<small>はやふね げんぽう</small> 早船 元峰

講義の到達目標(ねらい)	人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかにあるべきかを災害などの環境問題を通して考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人間と自然とのかかわりあい(人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ)を主に環境地誌的立場から論じる。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1~6) ・地形図とは、主題図の作成方法・読図 (7~12) ・山麓における土地利用 (13~17) ・山麓における環境保全 (18~20) ・気温と湖水温の垂直分布の季節的変化と人間とのかかわり (21~23) ・北海道本部の気候地形 (24~27) ・関東平野の地形発達史(東京の地形の成り立ち) (28~30) ・ビオトープ(学校ビオトープ、緑の回廊、自然工法)
履修上の留意点	国土地理院発行の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業(高度別着色・地形断面図など)をして、理解を一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレーズ紙・硬質色鉛筆・黒色水性ペンを各自用意すること。
成績評価の方法	課題・レポート・出席状況などによる平常点。

履修コード	304501
科目名	自然地理学概説
担当者名	角田 清美

講義の到達目標(ねらい)

- ・地理の基本的な知識を習得する。
- ・教員採用試験に合格するための学力を習得する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1・2回 地震・震災・断層地形・立川断層
- 第3・4回 火山活動と火山地形・関東ローム層
- 第5・6回 世界の大地形とプレートテクトニクス説
- 第7・8回 地形図の読図と作業
- 第9・10回 地形を作る営力・乾燥地方の地形
- 第11・12回 山地の地形・寒冷地の地形
- 第13・14回 カルスト地形・教材研究・授業の展開事例
- 第15回 教員採用試験対策
- 第16・17回 世界の水文環境
- 第18・19回 地下水
- 第20・21回 河岸段丘・扇状地
- 第22・23回 氾濫低地の地形
- 第24・25回 海岸地形
- 第26・27回 海底地形・サンゴ礁
- 第28・29回 世界の土壌・教材研究
- 第30回 授業の展開事例・教員採用試験対策

準備学習

- ・予習は必要ないが、授業に関する図書を年間に8冊以上熟読し、そのレポートを作成・提出する。
- ・授業で得た知識を定着させるため、作業図を7～8回、提出する。

履修上の留意点

- ・教員採用試験に合格することを前提に授業を行うため、①出席状況の重視、②課題等の提出状況を重視して、授業を展開する。

成績評価の方法
教科書/テキスト

- ・高校で使用する地図帳を、必ず持参すること。新しく購入する場合、出版社は問わないが、東京書籍の『新高等地図』（1,300円程度）が見やすいので推薦する。
- ・出席・課題の提出状況・レポートの内容を総合的に評価し、学期末試験は実施する。
- ・なし。毎回、プリントを配布する。

参考文献

- ・授業の展開に合わせ、授業で参考図書を紹介する。
- ・授業内容・研究内容・教員採用などに関する質問は、FAX（0428-31-8538）で受け付ける。

教職課程
資格
科目

履修コード	084901・085001
科目名	視聴覚教育
担当者名	佐野 博彦

講義の到達目標(ねらい)

視聴覚教育は、映像などの視聴覚メディアがもたらす教育効果を重要視する教育方法である。本講義では以下を目的とする。すなわち、視聴覚メディアを利用した教育の多様性とそれぞれの特性を認識することによって、教育現場におけるメディア利用に対処していくための基礎力を身につけること。具体的には、以下の知識と考え方を習得する。(1)視聴覚教育の思想的基礎、(2)映像と言語それぞれの特徴、(3)テレビ利用教育の方法と意義、(4)メディア・リテラシーの重要性の認識、(5)コンピュータ利用教育の方法と意義、(6)インターネット利用教育の方法と考え方、(7)高度情報化社会に対応する教育の在り方、(8)デジタル時代の新しいメディアと教育利用の方法。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回 視聴覚教育とは何か、第2回～4回 学校教育の成立とメディア、第5回～7回 映像教育の登場とその特質 第8回～9回 放送メディアの登場とその影響 第10回～15回 放送の教育利用とその思想 第16回～18回 メディア・リテラシーの重要性、第19回～20回 コンピュータの教育利用とその思想 第21回～22回 インターネットの教育利用とその思想、第23回～24回 高度情報化社会の現実、第25回～28回 学校における情報教育の在り方、第29回～30回 新しいメディアの登場と教育利用

準備学習

教科書の該当部分を予習してくる。

履修上の留意点

「視聴覚教育」の学習は単に方法を学ぶものではなく、教育という人間の営みについての基本的な理解のうえに成り立つものであるから、「教育原理」または「教育方法論」に関する科目を学んだ上で履修してほしい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

レスポンスシート記入内容（50%）、レポート（50%）で評価する。
佐賀啓男編著『視聴覚メディアと教育』（樹村房）2002年、¥1,890、ISBN 4-88367-095-3

履修コード	065622
科目名	児童福祉論
担当者名	村田 ^{むらた かずあき} 一昭

講義の到達目標(ねらい)

1989年に国連で子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。

そこでこの授業は、子どもと家庭を取り巻く現状を踏まえながら、子どもと家庭のウェルビーイング(well-being)をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組とソーシャルワーク実践に関する理解を深めることを目標にしています。

講義の内容
授業スケジュール

1. 子ども家庭福祉の理念
 - ①ウエルフェアからウェルビーイングへ (第1回)
 - ②子どもの権利条約 (第2回)
 - ③児童福祉法の基本原理 (第3回)
2. 子どもと家庭をめぐる最近の動向
 - ①少子化の動向と対策 (第4回)
 - ②子ども虐待の実態と対応 (第5回)
 - ③少年非行・少年犯罪の動向と対応 (第6回)
3. 子ども家庭福祉の法体系
 - ①児童福祉法 (第7回)
 - ②児童福祉六法 (第8回)
 - ③関連法 (第9回)
4. 子ども家庭福祉の実施体制
 - ①子ども家庭福祉行政の仕組み (第10回)
 - ②子ども家庭福祉の実施機関 (第11～12回)
5. 子ども家庭福祉への歩み (第13回)
6. 子ども家庭福祉施策の現状と課題 (第14回)
7. 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際 (第15回)

履修上の留意点

可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や感想などをリアクションペーパーに積極的にコメントしてください。

成績評価の方法

課題レポートと期末試験に平常点(出席およびリアクションペーパー)を加味して評価します。

教科書/テキスト

高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク(第3版)」(社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論) 有斐閣 ¥2,000

参 考 書
そ の 他

※授業内容により、プリントを配布します。

随時、紹介します。

- ①授業はパワーポイントを使用
- ②各テーマ終了時に小テスト実施
- ③YeStudy利用

履修コード	088601・088801
科目名	社会科教育法Ⅰ
担当者名	小川 ^{あがわ} 光夫 ^{みつお}

講義の到達目標(ねらい) 『中学校学習指導要領解説・社会科編』を活用して、中学校学習指導要領の改訂の経緯、及び社会科の

講義の内容／
授業スケジュール

- 目標と内容、その取り扱い等について考察し、授業づくりについて追究する。
- 第1回 中学校学習指導要領改訂の経緯（1）知識基盤社会の到来と社会科教育
 - 第2回 中学校学習指導要領改訂の経緯（2）PISA調査と我が国の教育的課題
 - 第3回 教育基本法の改正と教育目標
 - 第4回 中学校学習指導要領改正のポイント及び社会科改訂の趣旨
 - 第5回 中学校社会科の目標及び各分野の要点
 - 第6回 平成11年度及び平成20年度中学校学習指導要領社会科の目標と内容
 - 第7回 中学校社会科の各分野の目標及び内容
 - 第8回 地理的分野の目標及び内容：大項目及び中項目
 - 第9回 歴史的分野の目標及び内容：大項目及び中項目
 - 第10回 公民的分野の目標及び内容：大項目及び中項目
 - 第11回 社会科各分野の内容の取り扱い
 - 第12回 社会科各分野の指導計画の作成上の配慮事項
 - 第13回 社会科各分野の資料等の活用と作業的、体験的な学習
 - 第14回 政治及び宗教に関する事項の取り扱い
 - 第15回 社会科各分野の学習指導案の作成及び社会科の授業づくり

準備学習
履修上の留意点

必要なことは授業時に随時指示をする。
しばらくの間、プリント授業を行うが『中学校学習指導要領解説・社会科編』は必ず購入し学習しておくこと。また中学校の「地理的分野」「歴史的分野」「公民的分野」の平成23年度使用の教科書、及び資料集も準備すること。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

定期試験、レポート、出席状況等で総合的に評価する。
文部科学省『中学校学習指導要領解説・社会科編』日本文教出版 175円
必要な参考書は授業時に随時指示をする。
レポート課題については授業時に説明する。

履修コード	306301
科目名	社会科教育法 I
担当者名	てんじよう かつみ 天井 勝海

講義の到達目標(ねらい)

中学校学習指導要領及びその解説書に示された「社会」の目標、地理的分野と歴史的分野の目標と内容、内容の取扱い、及び指導計画の作成と内容の取扱いを取り上げ、実際の指導目標や内容・方法などを考察し、実践的な指導を行う上で必要とされる資質や能力を育てる。

講義の内容／
授業スケジュール

教育基本法の改正や学習指導要領の改訂を踏まえ、中学校「社会」の新しい学習指導要領とその解説などを考察する。次に、地理的分野と歴史的分野の具体的な授業で取り上げる内容のあり方について、学習指導要領やその解説及びこれまでの授業の実践事例などをもとに調査・研究・考察する。これらの学習の成果をもとに、実際に中学校で実施される学習内容を検証し、各項目(単元)ごとに指導計画の作成を行い、模擬授業を実施する。

第1回：社会科教育法のガイダンス・講義のねらいとその内容及び評価の方法について

第2回：学習指導要領と中学校社会の改訂の趣旨及びその要点

第3回：学習指導要領と地理的分野の目標及びその内容

第4回：世界の様々な地域とその指導計画 I

(世界の地域構成・世界各地の人々の生活と環境)

第5回：世界の様々な地域とその指導計画 II

(世界の諸地域・世界の様々な地域の調査)

第6回：日本の様々な地域とその指導計画 I

(日本の地域構成・世界と比した日本の地域的特色)

第7回：日本の様々な地域とその指導計画 II (日本の諸地域・身近な地域調査)

第8回：模擬授業の実施 (1)

第9回：模擬授業の実施 (2)

第10回：学習指導要領と歴史的分野の目標及びその内容

第11回：歴史のとらえ方・古代までの日本とその指導計画

第12回：中世の日本・近世の日本とその指導計画

第13回：近代の日本と世界・現代の日本と世界とその指導計画

第14回：模擬授業の実施 (3)

第15回：授業力向上を目指した授業の工夫と改善・社会科教育法 I のまとめ

成績評価の方法

試験や指導計画の作成、発表、模擬授業の成果などのほかに、授業への参加の状況(出欠席の状況)なども重視し、総合的に評価します。なお、試験結果の評価全体に占める割合は約6割です。提出物・発表・模擬授業・出席の状況や授業への取り組みの評価は全体の約4割です。

教科書／テキスト
参 考 書

中学校学習指導要領(文部科学省)、中学校学習指導要領解説 社会編(文部科学省)
授業の際に、ワークシートや資料などのプリントを配布します。

履修コード	089001
科目名	社会科教育法 I
担当者名	二井 正浩

講義の到達目標(ならい)

社会科教育法では、中学校「社会科」の原理（社会科とは何のために、何を、どのように教える教科なのか）と方法（一定の内容を教えるために、どのような授業を設計し、実践し、評価すればよいのか）について学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

前期（社会科教育法 I）では、中学校社会科の学習指導要領、代表的な社会科論や授業実践などについて考察し、社会科教育の現状と課題を明らかにする。

- 第 1 回：講義の概要説明
 - 第 2 回：社会科教育法の意義
 - 第 3 回：社会科の基本的性格
 - 第 4 回：アメリカにおける社会科の成立
 - 第 5 回：日本における社会科の成立
 - 第 6 回：日本における社会科の変遷
 - 第 7 回：問題解決を原理とした社会科（1）授業分析
 - 第 8 回：問題解決を原理とした社会科（2）社会認識の質の特徴
 - 第 9 回：系統学習を原理とした社会科（1）授業分析
 - 第 10 回：系統学習を原理とした社会科（2）社会認識の質の特徴
 - 第 11 回：探求を原理とした社会科の可能性
 - 第 12 回：中学校社会科地理的分野のカリキュラムの特徴
 - 第 13 回：中学校社会科歴史的分野のカリキュラムの特徴
 - 第 14 回：中学校社会科公民的分野のカリキュラムの特徴
 - 第 15 回：前期のまとめ
- 定期試験

成績評価の方法

レポート・出席等による総合評価とする。

教科書／テキスト

原田智仁編著『社会科教育のフロンティア』保育出版社

参 考 書

森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、2,620円＋税

森分孝治、片上宗二編『社会科 重要用語300の基礎知識』明治図書、2,660円＋税

文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』

履修コード	088401
科目名	社会科教育法 I
担当者名	藤木 正国

講義の到達目標(ならい)

中学校社会科の教員として、自ら授業を組み立て、実践できる能力を養うことを目標とする。特に授業を行うための基礎・基本となる学習指導案の作成や教材研究の方法、及び模擬授業を重点的に行い、直接的には次年度の教育実習に備える。また、その前提として学習指導要領に示されている社会科の目標や内容についての認識を深めるための講義を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 学習指導要領に見る中学校社会科の歴史の変遷 (1回)
- 2 学習指導案の作成と評価の方法 (2回)
- 3 教材研究の仕方と模擬授業の方法 (1回)
- 4 学習指導要領地理的分野の目標と内容構成 (1回)
- 5 学習指導要領歴史的分野の目標と内容構成 (1回)
- 6 学習指導要領公民的分野の目標と内容構成 (1回)
- 7 グループ別の模擬授業 (8回)

準 備 学 習

学習指導案の作成や教材研究及び模擬授業が重点的になりますので、その教材となる中学校社会科3分野（地理・歴史・公民）の教科書を用意し、教科書の体裁や内容を読んでおくことが効果的な事前学習となります。

履修上の留意点

実践的指導力を高めることが主な目標であるので、教材の研究と開発を常に心懸ける。特に模擬授業を行うにあたっては事前の努力と創意工夫に努めること。尚、授業計画上、後期の社会科教育法Ⅱと連続して履修することが望ましい。

成績評価の方法

出席（4回以上欠席した場合は、評価の対象外とする）、提出物（自作の学習指導案・模擬授業の感想文等）、試験の3点を総合的に評価する。

教科書／テキスト

文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』（日本文教出版）175円

参 考 書

中学校社会科各分野の教科書を用意すること。教科書については授業の際に指示する。

長谷川・工藤監修『中学校社会科授業のリ・デザイン』（東洋館出版社）

佐伯・澁澤・堀井編著『生徒の心を揺さぶる社会科教材の開発』（三晃書房）

桑原敏典著『社会科の指導計画作成と授業づくり』（明治図書）

そ の 他

1～7回は講義中心、8～15回は模擬授業と授業研究で行う。

講義はテキストとプリントを配布して行う。

履修コード	088701・088901
科目名	社会科教育法Ⅱ
担当者名	小川 光夫

講義の到達目標(ねらい) 様々な授業実践事例を示しながら先進的・魅力的な授業方法について考察し、年間指導計画と観点別評価を踏まえたバランスの取れた学習指導案を作成する。また模擬授業を通してより実践的な指導力を養う。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 学習指導案の作成及び模擬授業について
- 第2回 各分野の先進的な学習指導案事例についての紹介及び検討
- 第3回 各分野の先進的な事業実践報告事例の紹介及び検討
- 第4回 各分野のシラバスの作成と観点別評価について
- 第5回 教材研究と学習指導案の作成について
- 第6回 学習指導案づくり(レポート提出)
- 第7回 班別模擬授業づくり
- 第8回 学習指導案にもとづく模擬授業及び討議1(A班) 各班による評価
- 第9回 学習指導案にもとづく模擬授業及び討議2(B班) 各班による評価
- 第10回 学習指導案にもとづく模擬授業及び討議3(C班) 各班による評価
- 第11回 学習指導案にもとづく模擬授業及び討議4(D班) 各班による評価
- 第12回 学習指導案にもとづく模擬授業及び討議5(E班) 各班による評価
- 第13回 学習指導案にもとづく模擬授業及び討議6(F班) 各班による評価
- 第14回 学習指導案にもとづく模擬授業及び討議7(G班) 各班による評価
- 第15回 各班の学習指導案の再提出と模擬授業に関する意見交換

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

必要なことは授業時に随時指示をする。
実践的な力量形成を図ることが目的であり、意欲的・積極的な取り組みを行うこと。
出席状況、模擬授業、レポート、学習指導案等で総合的に判断する。
文部科学省『中学校学習指導要領解説・社会科編』(日本文芸出版 175円)及び平成23年度使用の公民科各科目の教科書。なお公民科各科目の教科書については別途受講時に指示する。

参考書
その他

必要な参考書は授業時に随時指示をする。
受講者は学習指導案を作成し、模擬授業を行う。

履修コード	306401
科目名	社会科教育法Ⅱ
担当者名	天井 勝海

講義の到達目標(ねらい) 中学校学習指導要領及びその解説書に示された「社会」の目標、公民的分野の目標と内容、内容の取扱い、及び指導計画の作成と内容の取扱いを取り上げ、実際の指導目標や内容・方法などを考察し、実践的な指導を行う上で必要とされる資質や能力を育てる。

講義の内容／
授業スケジュール

中学校「社会」の新しい学習指導要領とその解説などを考察する。次に、公民的分野の具体的に授業で取り上げる内容のあり方について学習指導要領やその解説及びこれまでの授業の実践事例などを調査・研究・考察する。これらの学習の成果をもとに、実際に中学校で実施される学習内容を検証し、各項目(単元)ごとに指導計画の作成を行い、模擬授業を実施する。

- 第1回：中学校社会科(公民的分野)の学習指導要領改訂の趣旨とその要点
- 第2回：学習指導要領と公民的分野の目標及びその内容
- 第3回：私たちと現代社会とその指導計画
- 第4回：私たちと経済とその指導計画
- 第5回：私たちと政治とその指導計画
- 第6回：私たちと国際社会の諸課題とその指導計画
- 第7回：指導計画の作成と内容の取扱い
- 第8回：指導計画の作成とその配慮事項
- 第9回：資料等の活用と作業的、体験的な学習の実際と配慮事項
- 第10回：授業改善と指導内容・方法の工夫
- 第11回：模擬授業(1)
- 第12回：模擬授業(2)
- 第13回：模擬授業(3)
- 第14回：模擬授業を終えて—授業力向上を目指した授業の工夫と改善—
- 第15回：社会科教育法Ⅱのまとめ

成績評価の方法

試験や指導計画の作成、発表、模擬授業の成果などのほかに、授業への参加の状況(出欠席の状況)なども重視し、総合的に評価します。なお、試験結果の評価全体に占める割合は約6割です。提出物・発表・模擬授業・出席の状況や授業への取り組みの評価は全体の約4割です。

教科書／テキスト
参考書

中学校学習指導要領(文部科学省)、中学校学習指導要領解説 社会編(文部科学省)
授業の際に、ワークシートや資料などのプリントを配付します。

履修コード	089101
科目名	社会科教育法Ⅱ
担当者名	<small>にい まさひろ</small> 二井 正浩

講義の到達目標(ねらい)

社会科教育法では、中学校「社会科」の原理（社会科とは何のために、何を、どのように教える教科なのか）と方法（一定の内容を教えるために、どのような授業を設計し、実践し、評価すればよいのか）について学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

後期（社会科教育法Ⅱ）では、教材研究、授業設計、指導案作成および評価の実践的能力を身に付ける。

- 第1回：講義の概要説明
 - 第2回：教材研究とは何か
 - 第3回：指導案とは何か、指導案の種類
 - 第4回：教科書を使った授業作り
 - 第5回：教科書をもとにした個別的知識を工夫した授業作り
 - 第6回：教科書をもとにした概念・解釈・理論を工夫した授業作り
 - 第7回：事実に基づく知識探求型授業の分析
 - 第8回：概念・解釈・理論的知識探求型授業の分析
 - 第9回：価値的・規範的知識探求型授業の分析
 - 第10回：社会科授業の類型化とそれぞれの特徴
 - 第11回：社会科学力論の検討
 - 第12回：社会科における評価の変革
 - 第13回：生徒観察による評価
 - 第14回：ペーパーテストの工夫
 - 第15回：後期のまとめ
- 定期試験

成績評価の方法

レポート・出席等による総合評価とする。

教科書／テキスト

原田智仁編著『社会科教育のフロンティア』保育出版社

参 考 書

森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、2,620円＋税

森分孝治、片上宗二編『社会科 重要用語300の基礎知識』明治図書、2,660円＋税

文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』

教職課程
資格講座科目

履修コード	088501
科目名	社会科教育法Ⅱ
担当者名	<small>ふじき まさくに</small> 藤木 正国

講義の到達目標(ねらい)

中学校社会科の教員として、自ら授業を組み立て、実践できる能力を養うことを目標とする。特に授業を行うための基礎・基本となる学習指導案の作成や教材研究の方法、及び模擬授業を重点的に行い、直接的には次年度教育実習に備える。授業の事例研究や実践を通して社会科の教員として備えべき指導方法や指導技術の習得を図る。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 中学校学習指導要領総則の解説 (1回)
- 2 各分野の観点別評価を踏まえた学習指導案と授業の事例研究 (3回)
- 3 年間指導計画の作成と配慮事項 (1回)
- 4 単元の指導計画の作成と評価の観点 (2回)
- 5 グループ別模擬授業 (8回)

準備学習

前期の社会科教育法Ⅰで行った模擬授業の学習指導案などの資料を検討し、事前に教材研究や学習指導案の作成などを勉強しておくことが効果的な事前学習となります。

履修上の留意点

実践的指導力を高めることが主な目標であるので、教材の研究と開発を常に心懸ける。特に模擬授業を行うにあたっては事前の努力と創意工夫に努めること。高、授業計画上、前期の社会科教育法Ⅰと連続して履修することが望ましい。

成績評価の方法

出席（4回以上欠席した場合は、評価の対象外とする）、提出物（単元別学習指導案、模擬授業の感想文等）、試験の3点を総合的に評価する。

教科書／テキスト

文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』（日本文教出版）175円

中学校社会科各分野の教科書を用意すること。教科書については授業の際に指示する。

参 考 書

長谷川・工藤監修『中学校社会科授業のり・デザイン』（東洋館出版社）

佐伯・澁澤・堀井編著『生徒の心を揺さぶる社会科教材の開発』（三見書房）

桑原敏典著『社会科の指導計画作成と授業づくり』（明治図書）

そ の 他

1～7回は講義中心、8～15回は模擬授業と授業研究で行う。

講義はテキストとプリントを配布して行う。

履修コード	042701
科目名	社会科教育法Ⅲ (地理歴史)
担当者名	生田 清人

講義の到達目標(ねらい) 地理と歴史の授業をつくるために、私たちは、教師としてどのような力量(考え方・知識・技術など)を形成することが求められているのでしょうか。
この授業では、この大きな課題を底流に、教師の仕事とは何か、学習とはどういう行為か、カリキュラムをつくるにはどのような考え方があるか、教材はどのようにつくるか、学力・評価とはどのように進めればいいのかなどについて、毎回、具体的な実践例を使って展開する予定です。
また、この授業(社会科教育法Ⅲ)では、「授業をつくる」を一つ一つ分析する方向で展開し、後期・社会科教育法Ⅳではそれらを総合化する形で模擬授業や野外実習などの演習を中心に展開する、ひと続きの学習プログラムになっています。

講義の内容／
授業スケジュール

この授業は、まず、教育実習を成功させることを目標とし、さらに自分が調べたものを有効な方法で人(生徒に限らない)に伝えることと向き合っていくことを目標としています。それが、学校教育で必要とされる基本的な力量の形成だからです。

(1) 高校生に「地理・歴史を教える」しごととはどのようなものか、高校生に教える地理と歴史はどのような科目か、それぞれ具体的な事例をあげながら考えていきます。

(2) 「授業をつくる」とはどのようなことか、まずコンセプトマップを使って授業のしくみ・構造を分析してみます。つぎに、教材研究を進めるために、地理と歴史の教科書を分析的に読むことを具体的な例や演習によって学習します。最後にそれらのまとめとして単元を構成したり学習指導案を作成したり、カリキュラムについて考えます。

(3) 地理と歴史の授業で使う教材について、実際に教材プリントを作成しながら、学習内容や方法について考えていきます。また、「歴史新聞」・「空想旅行記」などのロールプレイングゲームや「遊牧民ゲーム」などのシミュレーションゲームなどを取り入れた授業についても実際にゲームをしながら考えていきます。

(4) 地理と歴史の単元テストについて、実際に確認テストを作成しながら、学習内容や評価についてのさまざまな考え方と関連づけて考えていきます。また、それを発展させ、学校の地理と歴史の学力とは何かを考えます。さらに、生徒の評価だけでなく教師間で行なう教育評価や授業を改善する方法についても考えていきます。

(5) 「総合的な学習の時間」に地理と歴史はどのようにつきあえばよいのか。具体的な実践例を紹介しながら考えます。後期(社会科教育法Ⅳ)には、演習をする予定です。

成績評価の方法

レポート(学習指導案・教材プリント・単元テストなどを作成する)の到達度評価と出席状況などによる評価を総合して行います。定期試験期間での試験は実施しません。詳細は、第1回の講義において説明します。

教科書／テキスト

授業では毎回教材(プリント)を配布する予定ですが、前年度に授業のレポートとして受講生がつくった授業案・教材プリントなどをまとめた『地理と歴史の授業研究』を資料集として使います。資料集の購入・扱い方などについては第1回の授業で説明します。

その他の

また、次の①と②を教科書(指定図書)、③と④を参考図書とします。参考になる図書は、これ以外にも授業の中で随時紹介します。

- ① 社会認識教育学会編『改訂新版 地理歴史科教育』(学術図書出版)
- ② 社会認識教育学会編『改訂新版 中学校社会科教育』(学術図書出版)
- ③ 臼井嘉一・柴田義松編『社会・地歴・公民科教育法』(学文社)
- ④ 加藤西郷・吉岡真左樹編『社会・地歴・公民科教育論』(高学出版)

高校で自分が使用した世界史・日本史・地理の教科書および参考書類を準備してください。授業で使用しますが、その時期などについては第1回の授業で説明します。

履修コード	042901
科目名	社会科教育法Ⅲ (地理歴史)
担当者名	桜井 明久

講義の到達目標(ねらい)

中学校社会科の地理的分野・歴史的分野と、高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について学ぶことを主眼とする。その際、主に地理教材の取り扱いを通じて、マイクロティーチング(模擬授業)を行うなどして、実践的な授業方法の習得に努めたい。なお、この授業は後期に行われる桜井担当の社会科教育法Ⅳとセットで授業計画がなされているので、あわせて受講すること。

〈マイクロティーチング〉 ・生徒の前で話す ・5分用の教材を作る
 〈模擬授業〉 ・授業を計画する ・指導案という形式にまとめる
 ・教材の良さを吟味して授業を作る

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：講義「地理教育とは」、マイクロティーチングとは
- 第3回：「地理教育とは」続き2 学問と教科
- 第4回：「地理教育とは」続き3 地理的見方や考え方
- 第5回：「地理教育とは」・第1章に関するレポート締め切り(質問・意見)
- 第6回：マイクロティーチング1 一人5分間×学生11人程度(声を届ける)
- 第7回：マイクロティーチング2 (視線を送る)
- 第8回：マイクロティーチング3 (顔を向けさせる)
- 第9回：マイクロティーチング4 (関心を引く教材・導入教材)
- 第10回：第1章への質問や意見に対する回答
- 第11回：指導案の作成と授業の基本的な形(導入、展開、終末)
- 第12回：問答で成り立つ授業(朝倉授業ビデオ視聴)、様々な授業(教材と資料作り)、
- 第13回：夏休みの宿題(指導案作成)説明・様々な授業2(地図帳を使って)
- 第14回：様々な授業3(身近な文書教材を使って)
- 第15回：第3章へのレポート(質問・意見)への回答

履修上の留意点

各自マイクロティーチングを試み、(前期のみの受講生は加えて模擬授業を行うことになるので事前に申し出ること)など、実際に授業を試みてもらうので、責任ある積極的な参加が必要である。まずは、学期最初3回の授業には必ず出席し、授業計画を確認するとともに担当日時を割り振りを受けること。特にこの間に教育実習で欠席することが確実な場合には、最初の授業で指示を行うので注意すること。学期はじめに休まざるを得ないときには、事前に連絡を取ること。また、担当部分の放棄、担当日の欠席は許されないので、とくに注意すること。分担日に不都合が予想できるなどの場合は、事前(2週間以上前)に連絡し、相談すること。仲間の授業を観察し、反省に参加することが非常に重要であるので、出欠は厳しい。教科書を読み、それをもとにレポートを作成し、意見交換を行う。レポート提出期限は厳守すること。

成績評価の方法

授業・討論への参加、模擬授業の成果など 50点
 教科書読書レポート 20点 指導案作成20点 期末試験 10点
 桜井明久『地理教育学入門』1999年(古今書院)全242頁
 文科省『学習指導要領解説』など

教科書/テキスト
参 考 書

教職課程
資格講座
科目

履修コード	057301
科目名	社会科教育法Ⅲ (地理歴史)
担当者名	藤木 正国

講義の到達目標(ねらい)	高等学校地歴科(特に日本史・世界史)の教師として、自ら授業を組み立て、実践できる能力を養う。学習指導案の作成・教材研究の方法や模擬授業などを重点的に行い、直接的には次年度の教育実習に備える。また、その前提として日本教育制度の変遷(古代から明治)や『高等学校学習指導要領』—地理歴史編—の解説も講義する。												
講義の内容／ 授業スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>1 日本教育制度の変遷(古代から明治)</td> <td>(3回)</td> </tr> <tr> <td>2 学習指導案の作成</td> <td>(1回)</td> </tr> <tr> <td>3 教材研究の仕方と模擬授業の方法</td> <td>(1回)</td> </tr> <tr> <td>4 高等学校学習指導要領の内容と特徴の解説</td> <td>(1回)</td> </tr> <tr> <td>5 高等学校地歴科の目標と日本史・世界史の内容解説</td> <td>(1回)</td> </tr> <tr> <td>6 グループ別の模擬授業</td> <td>(8回)</td> </tr> </table>	1 日本教育制度の変遷(古代から明治)	(3回)	2 学習指導案の作成	(1回)	3 教材研究の仕方と模擬授業の方法	(1回)	4 高等学校学習指導要領の内容と特徴の解説	(1回)	5 高等学校地歴科の目標と日本史・世界史の内容解説	(1回)	6 グループ別の模擬授業	(8回)
1 日本教育制度の変遷(古代から明治)	(3回)												
2 学習指導案の作成	(1回)												
3 教材研究の仕方と模擬授業の方法	(1回)												
4 高等学校学習指導要領の内容と特徴の解説	(1回)												
5 高等学校地歴科の目標と日本史・世界史の内容解説	(1回)												
6 グループ別の模擬授業	(8回)												
準備学習	学習指導案の作成と教壇での授業が重点となりますので、その教材となる高等学校『日本史B』・『世界史B』の教科書を用意し、常日頃から教科書を読むことにより、教科書の体裁や歴史の大まかな流れをつかんでおくことが効果的な事前学習となります。												
履修上の留意点	受講する以上は、教員を目指し努力すること。安易な単位修得は考えない。教職を目指すが故、出席状況と提出物は特に重視する。また、模擬授業を行うにあたっては常に努力と創意工夫とを忘れぬよう。尚、模擬授業を重視した講座ですので授業計画上、後期の社会科教育法Ⅳ(地理歴史)と連続して履修することが望ましい。												
成績評価の方法	出席(4回以上欠席した場合は、評価の対象外とする)、提出物(自作の学習指導案・模擬授業の感想等)、試験の3点を総合して評価する。												
教科書／テキスト	文部科学省『高等学校学習指導要領解説・地理歴史編』(教育出版)410円 高等学校『詳説日本史B』『詳説世界史B』(山川出版)の教科書を用意すること。												
参 考 書	堀松武一編『日本教育史』(国土社) 天野正輝著『教育課程編成の基礎研究』(文化書房博文社) 山住正己著『日本教育小史—近・現代—』(岩波新書)												
そ の 他	1～7回は講義中心、8回～15回は模擬授業と授業研究で行う。 講義はテキストとプリントを配布して行う。												

履修コード	042801
科目名	社会科教育法Ⅳ（地理歴史）
担当者名	生田 清人 <small>いくた きよと</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>地理と歴史の授業をつくるために、私たちは、教師としてどのような力量(考え方・知識・技術など)を形成することが求められているでしょうか。</p> <p>この授業では、この大きな課題を底流に、社会科教育法Ⅲで学習したことを総合化する形で、模擬授業と演習を中心に展開する予定です。また、社会科学習でよくおこなわれる野外実習についても実際に野外実習を行って学習する予定です。</p> <p>この授業は、まず、教育実習を成功させることを目標とし、さらに、自分が調べたことをどのようにすれば他者に伝わるのかということと向き合うことを目標としています。それが、学校教育で必要とされる基本的な力量の形成につながるからです。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>(1) 高校生に地歴を教えることと中学生に社会科を教えることはどのようにちがうのか。まず、高校地歴と中学社会の学習指導要領を読みくらべたり、実際に行った教育実践の実践例を使って展開します。</p> <p>(2) これまでの授業の総合化の形として模擬授業を行います。年度によって回数は異なりますが、例年8～9回行います。また、毎回、授業者と生徒役に授業・学習の評価ポイントを設定して実施します。評価のポイントは、次のようなものです。</p> <p>(a) 学習指導案を作成し、それにもとづいて授業を展開できるか。</p> <p>(b) 教材プリントを作成し、それを使って授業を展開できるか。</p> <p>(c) ゲーム教材・歴史新聞・新聞記事を使った授業を計画・実施できるか。</p> <p>(d) 効果的な単元テストを作成し、学習評価ができるか。</p> <p>(3) 課題学習・野外実習など、教室での授業とは異なる学習形態での教科指導・学習指導や調べ学習・発表学習などの進め方や評価について、具体的な実践例を使って展開します。また、「総合的な学習の時間」についても、実際に野外学習を行い学習する予定です。</p> <p>(4) 模擬授業では、互いに評価しあって、授業を改善する方法について考えます。これは教師間で行う教育評価だけでなく、教育実習での研究授業にも応用できるものです。</p>
成績評価の方法	<p>レポート(学習指導案・教材プリント・単元テストなどを作成する)の到達度評価と出席状況、模擬授業などの演習の評価などによる評価を総合して行います。定期試験期間での試験は実施しません。詳細は、前期・後期の第1回の授業において説明します。</p>
教科書／テキスト	<p>この授業では、模擬授業を中心に展開するので、毎回、模擬授業者が作成する学習指導案と教材プリントを資料として配布します。社会科教育法Ⅲ(前期)で教科書とした①・②とは別に、この授業では④を教科書とし、①～③を参考図書とします。また、これ以外にも随時授業の中で紹介します。</p> <p>① 社会認識教育学会編『改訂新版 地理歴史科教育』(学術図書出版)</p> <p>② 社会認識教育学会編『改訂新版 中学校社会科教育』(学術図書出版)</p> <p>③ 白井嘉一・柴田義松編『社会・地歴・公民科教育法』(学文社)</p> <p>④ 加藤西郷・吉岡貞左樹編『社会・地歴・公民科教育論』(高峯出版)</p>
その他	<p>また、前期に資料集として購入してもらおう『地理と歴史の授業研究』は、この授業ではテキストとしての役割が大きくなると思います。</p> <p>高校で自分が使用した世界史・日本史・地理の教科書および参考書類を準備してください。授業で使用しますが、その方法などは第1回の授業で説明します。</p> <p>実習校との打ち合わせをもとに学習すると教育実習につながる学習ができるので、後期が始まる前から実習校・担当教諭と打ち合わせを進めておくことが望ましい。</p>

履修コード	043001
科目名	社会科学教育法Ⅳ（地理歴史）
担当者名	桜井 明久 <small>さくらい あきひさ</small>

講義の到達目標(ねらい) 中学校社会科の地理的分野・歴史的分野と、高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について学ぶことを主眼とする。その際、主に地理教材の取り扱いを通じて、模擬授業を行うなどして、実践的な授業方法の習得に努めたい。なお、この授業は前期開講の桜井担当の社会科学教育法Ⅲとセットになるように授業計画を組んでいる。前期から引き続き連続して授業をとるよう工夫すること。

- 〈マイクロティーチング〉 ・生徒の前で話す
 ・目標に合わせて幾つもの教材を組み合わせえる
 〈模擬授業〉 ・授業を計画する ・指導案という形式にまとめる
 ・目標に合わせて授業を作る

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回：夏休みの宿題の提出・グループごとの指導案の情報交換と模擬授業計画
 第2回：様々な授業4（模擬授業意見交換）
 第3回：様々な授業5（授業の基本形：講義・問答やワーク）
 第4回：様々な授業6（応用：調べ活動や討論）
 第5回：模擬授業1：統計図表を利用して
 第6回：模擬授業2：地図帳を利用して
 第7回：模擬授業3：視聴覚教材を利用して
 第8回：模擬授業4：ニュースや新聞を使って
 第9回：模擬授業5：物語・文書資料を使って
 第10回：模擬授業6：地形図（身近な地域）を使って
 第11回：模擬授業7：シミュレーション学習
 第12回：模擬授業8：ディベート学習（討論型学習）
 第13回：様々な授業（追加説明1・模擬授業の反省から）
 第14回：様々な授業（追加説明2・新しい授業の提案）
 第15回：第4・5章への質問・意見、最終全体質問・意見に対する回答

履修上の留意点

前期からの継続受講が基本である。後期からだけ受講する際には、特に、最初の授業第1回目に必ず出席すること。それは、授業第1回目に分担・グループとしての担当授業と担当日時を決めるからである。出席が不可能な場合には事前に、前期のうちに連絡すること。

グループで模擬授業を行うなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。また、担当日の欠席、担当の放棄等は仲間達へ迷惑を掛けるので、責任を持ってあたること。それが避けられないと予想される場合は、事前（2週間以上前）に連絡し、相談すること。また、仲間の授業を観察し、反省に参加することも非常に重要であるので、出欠は厳しく、授業の導入部への参加も重要なので遅刻についても厳しくチェックするので注意すること。

成績評価の方法

授業・討論への参加、模擬授業の成果など 50点
 教科書読書レポート 20点 指導案作成20点 期末試験 10点
 桜井明久『地理教育学入門』1999年（古今書院）全242頁
 文科省『学習指導要領解説』など

教科書／テキスト
参 考 書

履修コード	057401
科目名	社会科教育法Ⅳ（地理歴史）
担当者名	藤木 正国

講義の到達目標(ねらい)	高等学校地歴科（特に日本史・世界史）の教師として、自ら授業を組み立て、実践できる能力を養う。学習指導案の作成・教材研究の方法や模擬授業などを重点的に行い、直接的には次年度の教育実習に備える。また、その前提として日本教育制度の変遷（大正から終戦直後）や学習指導要領の変遷等も講義する。
講義の内容／授業スケジュール	日本教育制度の変遷（大正時代から終戦直後まで）（3回） 学習指導要領の変遷（1947年度版～2009年度版）（4回） グループ別の模擬授業（8回）
準備学習	前期の社会科教育法Ⅲで行った模擬授業などの資料を検討し、事前に教材研究や学習指導案の作成などを勉強しておくことが効果的な事前学習となります。
履修上の留意点	受講する以上は、教員を目指して努力をすること。安易な単位修得は考えない。実践的な指導力を高めることが主な目的であるので、教材の研究と開発を常に心懸ける。特に模擬授業を行うにあたっては事前の努力と創意工夫に努めること。教職を目指すか故、出席状況と提出物は特に重視する。尚、模擬授業を重視した講座ですので授業計画上、前期の社会科教育法Ⅲ（地理歴史）と連続して履修することが望ましい。
成績評価の方法	出席（4回以上欠席した場合は、評価の対象外とする）、提出物（課題レポート・模擬授業の感想等）、試験の3点を総合して評価する。
教科書／テキスト	文部科学省『高等学校学習指導要領解説・地理歴史編』（教育出版）410円 高等学校『詳説日本史B』『詳説世界史B』（山川出版）の教科書を用意すること。
参考書	堀松武一編『日本教育史』（国上社） 天野正輝著『教育課程編成の基礎研究』（文化書房博文社） 山住正己著『日本教育小史－近・現代－』（岩波新書）
その他	1回～7回は講義中心、8回～15回は模擬授業と授業研究で行う。 講義はテキストとプリントを配布して行う。

履修コード	134501
科目名	社会科教育法Ⅴ（公民）
担当者名	小川 光夫

講義の到達目標(ねらい)	社会科・公民教育の変遷について考察するとともにその課題を主体的に追求し、人間としての在り方生き方について考える力を育成する。また『高等学校学習指導要領解説・公民編』の趣旨及び要点並びに各科目の目標、指導内容の要点並びに各科目の目標、指導内容の取り扱い等について考察する。
講義の内容／授業スケジュール	第1回： 社会科・公民科教育の変遷（1）戦前の公民科教育 第2回： 社会科・公民科教育の変遷（2）社会科の成立と意義 第3回： 社会科・公民科教育の変遷（3）社会科の変遷と公民科教育 第4回： 戦後の高等学校社会科の変遷と経緯 第5回： 学習指導要領の改訂の経緯と趣旨 第6回： 公民科の目標と科目編成 第7回： 公民科各科目の基本的性格と目標 第8回： 公民科各科目の構成 第9回： 公民科各科目の内容の取り扱い 第10回： 公民科各科目の指導計画の作成と指導上の配慮事項 第11回： 各科目にわたる内容の取り扱い 第12回： 公民科各科目の課題と内容 第13回： 公民科各科目の教材研究と授業研究の方法 第14回： 公民科各科目の学習指導案づくり（1）「現代社会」 第15回： 公民科各科目の学習指導案づくり（2）「倫理」、「政治・経済」
準備学習	必要なことは授業時に随時指示をする。
履修上の留意点	高等学校公民科の基礎知識が必要なので予め23年度使用の「現代社会」「政治・経済」及び「倫理」の教科書及び資料集を購入し、予習をしておくこと。 定期試験、レポート、出席状況等で総合的に評価する。
成績評価の方法	文部科学省『高等学校学習指導要領解説・公民編』（教育出版）を購入する。336円
教科書／テキスト	必要な参考書は授業時に随時指示をする。
参考書	レポート課題については授業時に説明する。
その他	

履修コード	062401・062601
科目名	社会科教育法Ⅴ（公民）
担当者名	はしづめ さとし 橋爪 敏

講義の到達目標(ねらい)

講義の内容／
授業スケジュール

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

この授業は、高等学校公民科(現代社会、政治経済、倫理)教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献講読を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、公民科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

第1回：「社会科教育法Ⅴ(公民)」とはなにか。

第2回：課題レポートの決定、教科書の検討、参加学生の自己紹介。

第3回：20世紀社会科の脱構築－内容の報告と検討

第4回：21世紀社会科の実践課題－内容の報告と検討

第5回：21世紀社会科の挑戦－内容の報告と検討

第6回：市民社会科の構想－内容の報告と検討

第7回：社会問題科の内容編成原理－内容の報告と検討

第8回：社会形成科の内容編成原理－内容の報告と検討

第9回：多文化社会科の内容編成原理－内容の報告と検討

第10回：新しい社会科学科の構想－内容の報告と検討

第11回：社会科学科地理のカリキュラム－内容の報告と検討

第12回：社会科学科歴史のカリキュラム－内容の報告と検討

第13回：社会科学科社会のカリキュラム－内容の報告と検討

第14回：新しい問題解決学習の構想－内容の報告と検討

第15回：前回までの内容を総合的に検討して、後期の授業に続ける。

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。

社会認識教育学会編『社会科教育のニューバースペクティブ』明治図書

森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書 他、適宜必要に応じて指示する。

履修コード	113401
科目名	社会科教育法V (公民)
担当者名	やしき ただみつ 谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい)

本講は、高等学校社会科公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、第一には「教育とは」「社会科公民科教育とは何か」といった社会科公民科教育の基本理念について、第二には「学習指導要領」を中心に、初期社会科から今日(平成20年度版)にいたる社会科公民科の教科構造の特質と理念について詳細に考察します。第三には自分が実際に社会科公民科の授業を行うことを想定して、社会科公民科の「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計や教材研究・教材発掘法から学習指導案の作成まで詳細に検討します。本講は社会科公民科の学習指導案が書け、社会科公民科の授業ができることをねらいにしています。できれば、前後期の履修をのぞみます。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 公民科教育ガイダンス
- 第2回 教育の意義
- 第3回 社会科・公民科の意義と社会科の原点
- 第4回 高等学校の教育課程と社会科・公民科
- 第5回 社会科の成立 公民科・社会科委員会
- 第6回 初期社会科の教科構造
- 第7回 社会科の教科構造第3期 融合科目・系統科目
公民科の授業設計、学習指導案の意義と作成
- 第8回 社会科の教科構造第4期 経験主義から系統主義へ
学習指導案単元の目標・本時の指導目標・指導計画の意義と作成
- 第9回 社会科の教科構造第5期 教育内容の現代化と社会科
公民科授業の動機づけと「導入」の意義・作成
- 第10回 社会科の教科構造第6期 融合科目「現代社会」「ゆとりカリキュラム」
公民科授業の展開過程「学習内容」の意義と作成
- 第11回 社会科の教科構造第6期
公民科授業の展開過程「学習活動」の意義と作成
- 第12回 社会科の教科構造第7期 新学力観と「地理歴史科」「公民科」「生活科」
公民科授業の展開過程「指導上の留意点」「資料」「時配」の意義と作成
- 第13回 社会科の教科構造第8期 「生きる力」「総合的学習の時間」
公民科授業の「むすび」・評価・確認テストの意義と作成
思考力を育む公民科の授業
- 第14回 社会科の教科構造第9期 脱「ゆとり」と「問題解決的学習」の見直し
公民科授業の板書計画・教材研究の意義、教材の発掘
- 第15回 公民科の教育評価と公民科学習指導案の完成・提出
公民科前期授業総括・小テスト
公民科教員採用試験の準備と心構え、「特別演習」「サブゼミ」について

準備学習

日頃よりTVニュースを見たり、新聞・雑誌に目を通し、学校教育や児童生徒の動向を把握するとともに、社会科の専門に関わる政治・経済・社会の動向にも関心を持つこと。

履修上の留意点

(1) 教材としてプリントを配布します。必ずその時間に受け取って下さい。

成績評価の方法

(1) 各種の課題提出、学習指導案の作成、小テストなどで総合的に評価します。

教科書/テキスト

- (2) 定期試験、追試は行いません。小テストは授業中に実施します。
- (1) 毎時間、単元別に「プリント」を配布し、「教科書」の代わりとします。
- (2) 高等学校で使用している教科書 『改訂版 現代社会』実教出版、570円。
(教科書の検定番号は、「7実教 現社019」です)。
- (3) 『平成20年度版高等学校学習指導要領 公民編』教育出版、336円。

参考書

- 以下の参考書は講義の参考にして下さい。
- (1) 『平成20年度版中学校学習指導要領』『平成20年度版高等学校学習指導要領』(文部科学省)は授業でも使用します。(2) 槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)、(3) 谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)、(4) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)、(5) 谷敷正光他『社会科教育研究』(梓出版)(6) 福山憲市『資料提示の技術』(明治図書)、(7) 高元厚憲『高校生と政治教育』(同成社)、(8) 木村博一『日本社会科の成立理念とカリキュラム構造』(風間書房)、(9) 小林洋一郎『学習指導体制の研究 授業と発問』(酒井書店)、(10) 広瀬敏雄『生きる力としての問題解決力を育む授業』(黎明書房)、(11) 井原政純『社会・地歴・公民科基礎論—教科指導の研究』(多賀出版)、(12) 授業技術研究会『指導細案の作成と実践』(学習研究社)、(13) 教育実習を考える会『教育実習のための学習指導案作成教本 社会、地歴、公民科』(蒼丘書林)、(14) 鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』(明治図書)、(15) 大濱徹也『現在問われている世界 社会科』(同成社)。

履修コード	134601
科目名	社会科教育法Ⅵ (公民)
担当者名	小川 光夫 <small>おがわ みつお</small>

講義の到達目標(ねらい) 様々な授業実践事例を示しながら学習指導案の作成について考察する。また模擬授業を通して公民科の実践的な指導力を養う。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回: 学習指導案の作成及び模擬授業について
- 第2回: 先進的な学習指導事例についての紹介及び検討
- 第3回: 先進的な授業実践報告事例の紹介及び検討
- 第4回: 各科目のシラバスの作成と観点別評価について
- 第5回: 教材研究と学習指導案の作成について
- 第6回: 学習指導案づくり (レポート提出)
- 第7回: 班別模擬授業づくり
- 第8回: 学習指導案にもとづく模擬授業及び質疑1 (A班) 各班による評価
- 第9回: 学習指導案にもとづく模擬授業及び質疑2 (B班) 各班による評価
- 第10回: 学習指導案にもとづく模擬授業及び質疑3 (C班) 各班による評価
- 第11回: 学習指導案にもとづく模擬授業及び質疑4 (D班) 各班による評価
- 第12回: 学習指導案にもとづく模擬授業及び質疑5 (E班) 各班による評価
- 第13回: 学習指導案にもとづく模擬授業及び質疑6 (F班) 各班による評価
- 第14回: 学習指導案にもとづく模擬授業及び質疑7 (G班) 各班による評価
- 第15回: 各班の学習指導案の再提出と模擬授業に関する意見交換

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

必要なことは授業時に随時指示をする。
実践的な力量形成を図ることを目的としているので、意欲的・積極的な取り組みを行うこと。
出席状況、模擬授業、学習指導案、レポート等で総合的に評価する。
文部科学省『高等学校学習指導要領解説・公民編』(教育出版 336円)及び平成23年度使用の公民科各科目の教科書。なお高等学校で使用している「現代社会」「政治・経済」「倫理」の教科書については別途受講時に指示をする。

参考書
その他の

必要な参考書は授業時に随時指示をする。
受講者は学習指導案を作成し、模擬授業を行う。

履修コード	062501・062701
科目名	社会科教育法Ⅵ (公民)
担当者名	橋爪 敏 <small>はしづめ さとし</small>

講義の到達目標(ねらい) この授業は、高等学校公民科(現代社会、政治・経済、倫理)教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容/
授業スケジュール

本授業は、前期の社会科教育法Ⅴ(公民)を受けて行うものである。
授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献講読を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、社会科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

- 第1回: 後期の授業の方針。前期レポートについてのコメント並びに若干の質疑。
- 第2回: 後期レポート課題の決定。前期レポートの相互批判検討の指示。
- 第3回: 子どもが追求する社会科授業-内容の報告と検討
- 第4回: 学びの共同体を育成する社会科の授業-内容の報告と検討
- 第5回: 子どもの発達を促進する社会科の授業-内容の報告と検討
- 第6回: 21世紀社会科の内容の変革-内容の報告と検討
- 第7回: 社会科におけるジェンダー学習-内容の報告と検討
- 第8回: 社会科における環境学習-内容の報告と検討
- 第9回: 社会科における多民族学習-内容の報告と検討
- 第10回: 社会科における新時代の国家・社会学習-内容の報告と検討
- 第11回: 21世紀社会科の方法の革新-内容の報告と検討
- 第12回: インターネットを活用した社会科授業-内容の報告と検討
- 第13回: シミュレーションゲームにもとづく社会科授業-内容の報告と検討
- 第14回: デベートにもとづく社会科授業-内容の報告と検討
- 第15回: 1年間の授業を振り返り、まとめとする。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。
最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。
社会認識教育学会編『社会科教育のニューパースペクティブ』明治図書
森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書 他、適宜必要に応じて指示する。

履修コード	113501
科目名	社会科教育法Ⅵ (公民)
担当者名	谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい)

後期は、授業実践に必要な授業展開の仕方、発問の仕方、板書法などの基本的指導技術や教材開発など実際的能力を身につけ、各自が立てた授業設計・学習指導案をもとに公民科の模擬授業を実践します。授業実践を通じて基本的な授業技術を学び、教育実習に備えるとともに社会科公民科教師としての資質・力量形成につとめます。

本講は前期、後期の授業で公民科の学習指導案が書け、社会科公民科の授業ができることをねらいにしています。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 社会科公民科教育ガイダンス
高等学校公民科のねらい
- 第2回 高等学校公民科「現代社会」の内容構成と授業の配慮事項
- 第3回 高等学校公民科「政治経済」の内容構成と授業の配慮事項
- 第4回 高等学校公民科「倫理」の内容構成と授業の配慮事項
公民科の学習形態
- 第5回 公民科授業技術 机間巡視・机間指導法
- 第6回 公民科授業技術 教材開発と教材の活用法
- 第7回 公民科授業技術 板書計画と板書法
- 第8回 公民科授業技術 発問の仕方と問答法
- 第9回 模擬授業の意義と学習指導案の立案
(授業研究)模擬授業の実施方法と諸注意・実施要領
(授業研究)4年生の模範授業
- 第10回 (授業研究)模擬授業実践と感想意見の集約
- 第11回 (授業研究)模擬授業実践と感想意見の集約
- 第12回 (授業研究)模擬授業実践と感想意見の集約
- 第13回 (授業研究)模擬授業実践と感想意見の集約
- 第14回 (授業研究)公民科教師による模範授業(予定)
- 第15回 実践した模擬授業の評価、後期授業の総括と小テスト、教育実習と公民科の授業、高等学校公民科教師論、公民科の教員採用試験の準備、「特別演習」と「サブゼミ」について

準備学習

日頃よりTVニュースを見たり、新聞・雑誌に目を通し、学校教育や児童生徒の動向を把握するとともに、社会科の専門に関わる政治・経済・社会の動向にも関心を持つこと。

履修上の留意点

- (1) 教材としてプリントを配布します。必ずその時間に受け取って下さい。
- (2) ビデオ、DVD教材を使用します。

成績評価の方法

- (1) 各種課題の提出、模擬授業の実践、小テストなど総合的に評価します。
- (2) 定期試験、追試は行いません。小テストは授業中に実施。

教科書／テキスト

- (1) 毎時間、単元別に「プリント」を配布し、「教科書」の代わりとします。
- (2) 高等学校で使用している教科書『改訂版 現代社会』実教出版、570円。
(教科書の検定番号は、「7実教 現社019」です)。
- (3) 『平成20年度版高等学校学習指導要領 公民編』教育出版、336円。

参考書
その他の

- 参考書
以下の参考書は講義の参考にして下さい。
- (1) 『平成20年度版中学校学習指導要領』『平成20年度版高等学校学習指導要領』(文部科学省)は授業でも使用します。(2) 上条晴夫『図解・よくわかる授業上達法』(学陽書房)(3) 加藤辰雄『板書のしかた・ノート指導』(学陽書房)、(4) 上条晴夫『教師の話術』(たんぼ出版)、(5) 槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)、(6) 関根正明『教師のちょっとした口のきき方』(学陽書房)、(7) 大西忠治『発問上達法』(民衆社)、(明治図書)、(8) 浜上薫『発問づくりの技術』(明治図書)、(9) 小林洋一郎『学習指導体制の研究 授業と発問』(酒井書店)、(10) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)、(11) 井原政純『社会・地歴・公民科基礎論—教科指導の研究』(多賀出版)、(12) 授業技術研究会『指導細案の作成と実践』(学習研究社)、(13) 教育実習を考える会『教育実習のための学習指導案作成教本 社会、地歴、公民科』(蒼丘書林)、(14) 鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』(明治図書)、(15) 大濱徹也『現在問われている世界 社会科』(同成社)。

履修コード	066152
科目名	社会学(福祉)
担当者名	武山 梅乗 <small>たけやま うめのり</small>

講義の到達目標(ねらい)	社会福祉士(及び精神保健福祉士・社会福祉主事)を目指す学生を対象として、社会学の基礎的な知識(社会理論)を提示し、現代社会における今日的な諸問題や生活、及び人と社会との関係について理解することを通じて、より広い視点から「社会福祉」を展望する視点を養ってもらうことを目的としています。
講義の内容／ 授業スケジュール	I 社会学の基礎概念(1~6回) 第1回:自我の社会性、第2回:アイデンティティと脱アイデンティティ、第3回:役割論、第4回:印象操作とドラマトゥルギー、第5回:集団と組織、第6回:官僚制の逆機能 II 現代社会論(7~10回) 第7回:ジェンダーとフェミニズム、第8回:女性らしさとダイエット、第9回:ラベリング理論とソーシャルインクルージョン、第10回:医療化と差別論 III 地域社会論(11~13回) 第11回:アーバンイズムとコミュニティ、第12回:国土計画と過疎過密、第13回:コミュニティからネットワークへー孤族を乗り越える途ー IV 社会変動論(14~15回) 第14回:近代化とは何か、第15回:消費社会と情報化社会 教科書は講義開始前に一読しておいてください。また、試験までには講義期間中に随時指示する参考書等にも目を通しておけばより理解が深まります。
準備学習	出席状況を勘案した上で、学期末の試験(8割)と講義期間中に数回提出を求める課題(2割)から総合的に評価します。
成績評価の方法	武山梅乗・呉炳三『社会学の扉をノックする』学文社、1575円、ISBN978-4-7620-1969-2 参考書は講義期間中に随時紹介します。
教科書／テキスト 参考書	

履修コード	133902
科目名	社会学原論
担当者名	呉 炳三 <small>お びょうさん</small>

講義の到達目標(ねらい)	社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす社会問題を分析する手法として、社会学の基礎的な概念や理論の使い方を学ぶこと。またはその身近な社会問題を認識、理解することを通じて、現代社会を展望する視点を養ってもらうことを本講義の目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は以下の内容について、社会学の方法や理論を中心に講義を行う。 (1)はじめに、(2)社会学とは、(3~4)個人と社会(社会的行為、社会化と人間形成、パーソナリティ・社会的自我)、(5~6)現代家族論(配偶者選択、結婚、家族の構造と機能、家族の現代的課題)、(7~8)組織論、官僚制(専門職)、(9~10)職業、労働(職場や人間関係、就職・転職・リストラ、フリーター・ニート)、(11~12)若者の犯罪(ラベリング理論、加害者と被害者の関係、犯罪の原因)、(13~14)自殺と社会(自殺の歴史、自殺の背景、自殺の最近の情報)、(15)社会階層など 後期は、受講生の関心テーマについての発表や班ごとにディベートを行う。前年度や前々年度のディベートや発表の主な内容は以下である。 (1)教員免許更新制度、(2)若者文化、(3)少年法改正、(4)出会系サイト、(5)自殺といじめ、(6)家族の変容、(7)高齢者や児童虐待、(8)格差社会、ワーキングプア、(9)草食男子・肉食女子、(10)婚活・恋活、(11)新聞や書籍の電子化、(12)代理出産、(13)小学生や中学生の携帯電話におけるインターネット利用、(14)児童手当など 以上、講義を予定しているが、受講生の人数などによって、講義内容を変更することがある。出席状況(遅刻厳禁)、発表やディベートの内容と授業態度、簡単なレポートなどを総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。
成績評価の方法	特に指定しない。
教科書／テキスト 参考書	講義中に、その都度紹介する。

履修コード	060002
科目名	社会学原論
担当者名	橋爪 敏

講義の到達目標(ねらい) 本講義の対象は社会学科の2・3・4年生、ならびに「中学校社会科、高等学校地・歴科、公民科」にかかわる教職科目の受講者である。したがって、「社会学」とは何か、いかなる学問かにはじまり、さらに「中学校社会科、高等学校地・歴科、公民科」の基礎をなす学問としての、<社会科学としての「社会学」>とは何かにかかわる問題を取り上げたい。

いずれにせよ、社会的なモノの見方、考え方を理解し、それを踏まえて、社会現象を理解し、説明する<社会科学>についての認識を深めたい。

講義の内容／授業スケジュール 前期1)～8)社会科学とは何か、社会科学の対象と方法、社会科学としての社会学9)～15)歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書的 sociology、マルクス主義の影響。後期は16)～20)フランスにおける現代社会学への歩み21)～25)ドイツにおける現代社会学への歩み26)～30)現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にしたい。

成績評価の方法 学年末の定期試験で評価する。

教科書／テキスト 安藤喜久雄ほか著『社会学概論』学文社

参 考 書 適宜指示する。

履修コード	086301
科目名	社会教育行政
担当者名	荒井 隆

講義の到達目標(ねらい) 社会教育行政現場で長く経験を積んできた立場からの講義により、実践的な社会教育の見方の習得を目指します。市民生活に直結する基礎自治体を取り巻くさまざまな社会の動きと絡めて社会教育の諸側面を行政の立場からとらえ、多角的に解説していきます。理論的な課題とともに体験に基づくリアリティある話を織り交ぜ、社会教育行政に関する認識を深めます。

講義の内容／授業スケジュール 第1～2回：私の社会教育行政の体験談、第3～6回：社会教育行政の法体系と仕組み（社会教育行政を規定する各種法体系、行政組織）、第7～14回：地方ごとの社会教育行政の多様性（法規定と地方ごとの施策）、第15～20回：東京の社会教育行政の特徴（公民館不在の地、青年館建設計画、社会教育委員設置率の低さ、障害者の社会教育の充実）、第21～25回：社会教育主事の職務（企画立案の仕事、「求めに講じた助言指導」とは？、社会教育行政の専門的リーダーシップ）、第26～30回：最近の社会教育行政の動向（行政改革との関連、首長部局移管問題、学校教育との連携、協働理念の具体化、市町村合併と社会教育）

準備学習 ホームページで興味ある市町村の社会教育関連内容を閲覧することを勧めます。

履修上の留意点 この授業は、少人数のメリットを生かし、対話形式を随時取り入れます。この方法により、積極的なコミュニケーション能力の向上が図れると思います。常に問題意識をもって講義に参加すれば、授業により興味が湧き、社会教育の世界に目が開かれると思います。

成績評価の方法 社会教育は実践の世界ですから、この授業は社会教育の実践的な見方を習得するよい機会となります。授業では、社会教育行政の実際に触れる機会を作ります。自分で見聞きしたことをプレゼンテーションすることで社会とのかかわりをもつチャンスとなりますので、就職を考えるきっかけにもなると思います。

教科書／テキスト 授業内試験、通年レポート、出席と授業態度（各3割）、夏季課題（1割）をもとに総合的に評価します。

参 考 書 特に使用しません。

そ の 他 講義に関係する参考書を随時紹介します。アットホームな雰囲気をもとに心が通いあう授業にしていきます。

履修コード	084401
科目名	社会教育計画
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい) 社会教育・生涯学習という営みは、個人の学びと成長、あらゆる立場の人々の参加と共生の地域・社会づくりにむけた、学習活動の支援や学習環境づくりを目的としている。そうした理念と実際を学ぶため、社会教育・生涯学習で展開する参加型学習方法を体験的に学び、社会教育活動・事業計画の実際に触れ、社会教育・生涯学習の基礎的知識を習得することを第一の目標としている。また、自分達の力で社会教育・生涯学習活動計画を作成し、チーム間でコンペを行なうことで、企画力・プレゼンテーション力・実践力を養うことが第二の目標である。本授業は授業の枠を越えて、多様な地域資源・社会資源ともつながり、他者と協働していく力がつくという意味で、さまざまな社会活動の領域で応用可能な授業内容となっている。

講義の内容／
授業スケジュール

- 内容構成を以下のように考えている。
- ①社会教育・生涯学習計画の内容と構造 (第1回～第2回)
 - ②社会教育・生涯学習の学習方法 (グループワーク) を学ぶ (第3回～第30回)
 - ③社会教育・生涯学習の事業・実践の内容・方法を理解する (第6回～第15回)
 - ④行政における社会教育・生涯学習計画の特徴を考察する (第16回～第20回)
 - ⑤社会教育・生涯学習活動 (若者によるまちづくりアクションプラン) を計画する (第21回～第30回)

履修上の留意点

なお、後期のアクションプランづくりにおいては、NPOや小学校、社会教育行政職員、地域の方々をお招きしての、コンペと審査会を実施する予定。

本授業は次年度の「社会教育実習」を履修するための基礎科目であり、本授業とあわせて「生涯学習Ⅰ」「生涯学習Ⅱ」を履修し、単位取得していることが実習派遣の前提となっている。忘れずに「生涯学習Ⅰ」「生涯学習Ⅱ」もあわせて履修登録すること。

また本授業は年間を通して参加型学習で行われる。そのため、受講者の参加意欲が学習成果に反映されることを心にとめておいて欲しい。チームで作業することが多いため、チームメンバーとしての協力的な姿勢が求められる。結果として出席も重視される。

成績評価の方法
教科書／テキスト

レポート、授業への参加度、出席状況などを総合して判断する。

廣瀬隆人、澤田実、林義樹、小野美津子『生涯学習支援のための参加型学習のすすめ方』(ぎょうせい) 1,429円

そ の 他

授業方法はグループワーク中心だが、必要に応じて講義も行う。

履修コード	085901
科目名	社会教育施設
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい) 社会教育・生涯学習 (関連) 施設の歴史と理念、目的と機能を学びながら、現在多様に展開している社会教育・生涯学習 (関連) 施設の現状や取り組みを理解し、課題と展望を考察していく。また、具体的な実践事例にできるだけ多く触れながら、社会教育・生涯学習の理念と実践内容・方法の奥深さを感じ取っていくことをねらいとしている。

講義の内容／
授業スケジュール

- ①社会教育・生涯学習 (関連) 施設の種類と概要 (第1回～第5回)
- ②社会教育・生涯学習 (関連) 施設の現代的状況と課題 (第6回～第10回)
- ③公民館の理念と歴史・仕組み (第11回～第13回)
- ④公民館の実践事例から社会教育・生涯学習の意義を学ぶ (第14回～第20回)
- ⑤社会教育・生涯学習 (関連) 施設・事業の新たな取り組み (第21回～第25回)
- ⑥地域に根ざす社会教育・生涯学習活動の実際 (第26回～第30回)

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

平常点、レポートにより評価する。

そのつど紹介する。

そのつど紹介する。

履修コード	084701
科目名	社会教育実習
担当者名	豊田 千代子

講義の到達目標(ねらい)	公民館をはじめとするさまざまな社会教育施設や教育委員会等での実習をとおして、社会教育についての理解を深めることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	【前期】(1)ガイダンス、実習の目的と意義 (2)実習の心がまえ (3)社会教育の今日的動向 (4~14)社会教育実践事例の検討 (15)実習に向けての総括 【後期】(16)実習報告の方法等について (17~28)実習報告とディスカッション (29)実習からみる社会教育の現在 (30)まとめ
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	グループでの学習を中心に授業を進めるため、積極的な参加が求められる。 実習ノート、実習報告、レポート、授業への参加度により総合的に評価する。 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。 適宜紹介する。

履修コード	084801
科目名	社会教育実習
担当者名	萩原 建次郎

講義の到達目標(ねらい)	社会教育・生涯学習関連施設や教育委員会での実習をとおして、社会教育・生涯学習の実践に触れるとともに、社会教育・生涯学習への理解を深めることを目的としている。
講義の内容／ 授業スケジュール	①実習への事前指導として社会教育・生涯学習実践の事例を紹介し、社会教育・生涯学習の具体的なイメージをつかみつつ、実習の意義や心がまえについての理解を深める。(第1回～第5回) ②社会教育実践の手法を体験する機会を設ける。(第6回～第12回) ③実習中には可能な限り個別訪問指導をおこなう予定である。 ④実習の事後指導として実習ノートと体験レポートをもちより、お互いの体験を共有し、深め合う場をつくりたい。その中から「社会教育職員の役割や専門性」「学習課題」「学習者理解」などテーマを抽出して、社会教育への理解を深めていきたいと考えている。(第13回～第19回) ⑤以上の①～④を踏まえ、各自研究テーマを定め、研究レポート集づくりを行う。(第20回～第30回) 出来上がった研究レポート集は、お世話になった実習先にも配布予定。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	実習ノートの作成提出、実習報告内容、研究レポート、授業への参加度などを総合して判断する。 教科書・参考書はそのつど提示する。 教科書・参考書はそのつど提示する。

履修コード	058332
科目名	社会心理学 A
担当者名	坪井 健

講義の到達目標(ねらい) この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学 A (前期)では、対人関係、集団的影響などの具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて、身近な日常テーマの役立つ授業を展開したいと考えている。

講義の内容／
授業スケジュール

1. はじめに —講義の方針と受講の仕方—
2. 対人認知と印象形成 —未知の人をどう認知するか—
3. 対人関係と自己開示 —オタクと日本人の自己開示—
4. 親密性の社会心理学 —若者の友人関係—
5. 日本人の対人関係戦略 —安心社会から信頼社会へ①—
6. 日本人の対人関係戦略 —安心社会から信頼社会へ②—
7. 自信の社会心理学 —あなたは自分に自信がありますか—
8. 対人関係と対人魅力 —対人魅力の条件とは何か—
9. 恋愛の社会心理学 —恋愛と友情は違うのか—
10. 援助行動抑制要因の研究 —何故、人は見て見ぬふりをするのか—
11. 社会的な手抜きと社会的促進の研究 —みんなと一緒に食事はずむ—
12. 同調行動と集団的意志決定 —集団の意志決定とその危険性—
13. カウラ事件とその社会心理学的考察 —集団脱走はなぜ起こったか—
14. 同調行動と頻度依存行動 —いじめの心理—
15. まとめ

履修上の留意点

ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

成績評価の方法

平常点 (出席+リアクションペーパーの内容+参加度) 50%、課題レポート50%

教科書/テキスト

授業中、プリントを配布する。

参 考 書

その都度指示する。

教職課程
資格取得
科目

履修コード	086501
科目名	社会体育 I
担当者名	吉田 実生

講義の内容／
授業スケジュール

横になる、座る、立つ、歩く、等の動きを通して、今、自分に起きている (生まれている) 感覚に注意を向けて行きます。そして、そこからどんな可能性がひらかれるかを体験して行きます。

履修上の留意点

実習が主となりますので、からだをしめつけない楽な服装で出席して下さい。

成績評価の方法

出席日数及びレポート

履修コード	086601
科目名	社会体育 II
担当者名	吉田 実生

講義の内容／
授業スケジュール

横になる、座る、立つ、歩く、等の動きを通して、今、自分に起きている (生まれている) 感覚に注意を向けて行きます。そして、そこからどんな可能性がひらかれるかを、体験して行きます。

履修上の留意点

実習が主となりますので、からだをしめつけない楽な服装で出席して下さい。

成績評価の方法

出席日数及びレポート

履修コード	062802
科目名	社会福祉原論
担当者名	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>

講義の到達目標(ねらい)

社会福祉は、かつて、慈善事業、社会事業と呼ばれていたものが、今日では、社会を構成する「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日的貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉の理念、概念、歴史、制度等広く概観することを目的とする。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、社会福祉の基礎知識を整理するとともに、制度的改革の続く社会福祉の今日的な動向と課題についても把握する。

講義の内容/
授業スケジュール

[前期]

第1回：ガイダンス、第2～4回：社会福祉の理念と概念、第5～10回：社会福祉制度の発展過程(イギリス及び日本)、第11～13回：社会福祉のしくみ、第14・15回：学生による意見発表会とまとめ

[後期]

第1・2回：福祉政策におけるニーズと資源、第3～10回：福祉政策の課題(視聴覚機材による各分野の動向把握を含む)、第11・12回：福祉政策の構成要素、第13・14回：福祉政策と関連政策及び相談援助活動、第15回：総括

準備学習

授業の最後に、次回の講義で取り上げるテーマ及びテキストでの該当箇所を指定するので、事前に目配りしておく。できれば疑問点や質問事項を用意されたい。

履修上の留意点

講義の内容は極めて広範囲にわたるので、指定されたテキスト以外の参考文献等を活用しながら各自学習を深めてほしい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

評価は、前期・年度末の定期試験と出席状況を勘案して行う。

塩野・福田編著『現代社会と福祉(社会福祉上シリーズ4)』弘文堂、2009年、2500円+税

随時紹介する。

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

履修コード	070701
科目名	社会福祉原論
担当者名	船水 浩行 <small>ふなみず ひろゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)

現代社会における「社会福祉」は、各国の文化、社会・経済状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるが、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の制度となってきている。

従って、「社会福祉」という用語はともポピュラーなものとなっており、新聞やテレビ等のマスコミにもしばしば登場し、選挙があれば多くの候補者がその充実を公約に掲げる。

しかし、改めて「社会福祉とは」と問いかげられたとき、上手く答えることができる人は少ないのではないだろうか。

この授業では、こうしたことから、「社会福祉」とはなぜ人々の生活にとって不可欠な社会的な仕組みとなってきたのかを踏まえつつ、わが国社会福祉がどのように構築されてきたのかを概観し、主要ないくつかの制度を取りあげて現状と課題を考察していく(その際には、履修者の多くが「社会福祉主事」任用資格取得希望者であることを念頭におく)。

講義の内容/
授業スケジュール

社会福祉主事とは、現代社会における社会福祉の意義と役割(第1～2回)

社会福祉の理念と制度の展開過程～欧米(第3～4回)

社会福祉の理念と制度の展開過程～わが国(第5～6回)

わが国社会福祉の戦後の枠組みの特徴と課題(第7～10回)

社会保障構造改革、社会福祉基礎構造改革等の具体化

・介護保険の創設と実施(第11～14回)

・社会福祉基礎構造改革と障害者自立支援法(第15～16回)

貧困層の拡大、地方分権の推進等と生活保護、福祉事務所(第17～24回)

これからのわが国の社会福祉に求められるもの(第25～26回)

今後の社会福祉主事(主に社会福祉行政)に求められるもの(第27～29回)

定期試験(第30回)

履修上の留意点

授業で取りあげる内容は、一人一人の生活の問題でもあります。自身の問題として考察してください。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

定期試験(筆記、持ち込み不可)80%、その他(出席、レポート等)20%

使用しない。

随時紹介する。

履修コード	063902
科目名	社会福祉発達史
担当者名	堀 千鶴子

講義の到達目標(ねらい) 我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

講義の内容/ 授業スケジュール	1 社会福祉の歴史と人物史 1	13 人物史 4
	2	14 〃 4
	3 慈善・救済の時代	15 〃 4
	4 人物史 1	16 社会事業・社会福祉の時代
	5 〃 1	17 人物史 5
	6 〃 1	18 〃 5
	7 〃 2	19 〃 5
	8 〃 2	20 〃 6
	9 〃 2	21 〃 6
	10 〃 3	22 〃 6
	11 〃 3	23 社会事業に生きた女性
	12 〃 3	24 地域の歴史

履修上の留意点 出席を重視する。テキスト必ず持参。
成績評価の方法 授業内レポート(10%)、授業内試験(20%)、夏期課題(30%)、学期末レポート(40%)にて総合的に評価を行う。

教科書/テキスト 室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円ISBN4-623-04519-6

履修コード	065002
科目名	社会保障論
担当者名	長尾 譲治

講義の到達目標(ねらい) 本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、ソーシャルワーカーを目指す皆さんにとって必要で十分な社会保障制度に関する実践的知識を習得すること、及びソーシャルワークの現場においてその知識を生かす応用能力を身につけることを第一の目的としている。

社会保障制度は、一見すると複雑・多岐にわたっており、わかりづらいと感じる学生が多いのも事実である。しかし、社会保障は人間の基本的なニーズに対応したものであって、原理・原則は単純明快である。社会保障論の学習にあたっては、まずその原理・原則を理解した上で、制度上の例外を身につける方法が有効である。

講義では、マンガやドラマに出てくるおなじみの登場人物とその生活場面などの身近な事例に当てはめ、そこで出てくる社会保障制度を解説するなど、具体例を通じて実践的な社会保障の知識を身につけていく。また、社会保障の各制度の現状はどうなっているのか、これからどうしていきべきなのかについて、国民の福祉の維持・推進の役割を担う福祉専門職の立場から、考察していきたい。

- (1) 社会保障とは(社会保障の必要性、日本の社会保障制度の体系など)(1回目)
(2) 各制度の詳細な解説
①医療保険制度(2~5回目) ②年金保険制度(6~11回目) ③労働保険制度(雇用保険、労災保険)(12~16回目) ④介護保険制度(17~20回目) ⑤民間の保険(生命保険、損害保険、その他の保険)(21回目)
(3) こんなときどうする? - 私たちのライフサイクルと社会保障 -
①就職したら(22回目) ②妊娠・出産・育児とその支援(23~24回目) ③病気や障害状態になったら(25~26回目) ④寝たきりや認知症になったら(27回目) ⑤ターミナル・ケアを受けるには(28回目)
(4) 各国の社会保障制度(29回目)
(5) 社会保障制度の現状と課題(30回目)

成績評価の方法 学年末試験の成績に、出席状況等を加味して評価する。
教科書/テキスト 特に指定しないが、必要に応じて参考書等を紹介する(授業は毎回の詳説プリントを通じて行う)。週刊社会保障編集部編『社会保障便利事典』(法研) その他、随時紹介する。

履修コード	011911
科目名	宗教科教育法Ⅰ
担当者名	こやま かずのり 小山 一乗

講義の到達目標(ねらい)

いわゆる中等教育の、高等学校及び中学校の、教科「宗教」の教育職員を目指す学生が、宗教科教育及び宗教教育に関する、基礎的・基本的な知識・技能を学習するとともに、実際の宗教科の教育職員として心得ておくべき、法的思考と教育的思考、教科内容構造、教科指導計画作成方法、学習指導案作成の理論と実際、授業展開方法、授業展開技術、教材・教具の理論と活用方法を習得する。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回：いわゆる宗教教育の意義、宗教科教育の意義、及び、宗教教育の教授概念
- 第2回：宗教の諸定義(「超自然性(超越性)」、「究極的関心」、「聖と俗」)
教育の定義(教育目的定義：人格一般の本質的理論的考察、時代・社会における社会的課題の考察、世界観や哲学的考察)
教育観—助成か伝達か、開発か注入か、自力か他力か
宗教は教えられるのか、否か。TellとTeach
- 第3回：宗教教育・宗教科教育の法的考察
宗教教育と宗教科教育の草創と歴史的変遷、日本国憲法施行下における宗教科教育の草創
教職員免許法施行規則明示の免許教科「宗教」と学習指導要領上の位置づけ
対日米国占領政策
大日本帝国憲法73条と日本国憲法
日本国憲法立法制定と宗教教育
日本国憲法と教育基本法(昭和22年3月31日公布・施行。以下、旧教育基本法)と宗教教育
旧教育基本法と学校教育法改正変遷
教育職員免許法変遷と免許教科「宗教」設定までの経緯
教育基本法(改正：平成18年12月22日公布・施行。以下、新教育基本法)と宗教教育
新教育基本法と学校教育法(改正：平成19年6月27日公布・平成20年4月1日施行。)
高等学校の目的(新学校教育法第50条)と中学校の目的(新学校教育法第45条)
中学校の目的と小学校の目的(新学校教育法第29条)
小学校教育の目標(新学校教育法30条)と中学校教育の目標(新学校教育法46条)
義務教育の教育目標(新学校教育法第21条) 規定一～十
高等学校教育の目標(新学校教育法51条)と中学校教育の目標
- 第4回：新学校教育法と学校教育法施行規則(改正：平成21年3月9日。以下、新学校教育法施行規則)
小学校の教育課程の編成(新学校教育法施行規則50条2)
中学校の教育課程編成への準用(学校教育法施行規則79条)
中学校の教育課程の編成(学校教育法施行規則第72条3)
中学校の教育課程の基準(新学校教育法74条)・・・中学校学習指導要領
高等学校の教育課程の編成(新学校教育法83条)
高等学校の教育課程の基準(新学校教育法84条)・・・高等学校学習指導要領
前回(現行)中学校学習指導要領の理解と「宗教科」の位置づけ
前回(現行)高等学校学習指導要領の理解と「宗教科」の位置づけ
改正中学校学習指導要領の理解と「宗教科」の位置づけ
改正高等学校学習指導要領の理解と「宗教科」の位置づけ
中学校及び高等学校の教員の「宗教」の教科についての普通免許状の効力
普通免許状の効力(教育職員免許法第9条)・・・「普通免許状は、(中略)すべての都道府県(中学校及び高等学校の教員の宗教の教科についての免許状にあっては、国立学校又は公立学校の場合を除く。次項及び第3項において同じ)において効力を有する。」について。
- 第5回：私立の小学校・中学校の道徳と宗教との関係
中学校・高等学校の各学習指導要領と各学校学習指導要領解説各編から、「宗教科」指導方法案出
- 第6回：平成21年度からの教育課程
平成21年度からの宗教科教育
- 第7回：宗教科教育の学習指導目標と学習指導内容

教職課程
講義科目

履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト

参 考 書

そ の 他

- 第8回：宗教科教育の学習指導方法と学習指導技術と評価・評価の観点
 中学校3年間及び高等学校3年間の学習指導計画から年間学習指導計画案
 学習指導案の作成の原理と教育観
 学習指導案様式における基礎的・基本的項目、本時の学習指導展開と節目・評価
 の観点
- 第9回：教科書及び教材研究—1（学習指導要領の各教科等と宗教の教科書、教材観）
- 第10回：教科書及び教材研究—2（宗教の分類）
- 第11回：教科書及び教材研究—3（キリスト教）
- 第12回：教科書及び教材研究—4（イスラーム教）
- 第13回：教科書及び教材研究—5（神道、そのほかの宗教）
- 第14回：教科書及び教材研究—6（仏教：シッタールタ、ブッダ、仏教の流れ）
- 第15回：教科書及び教材研究—7（日本仏教：聖徳太子、最澄、空海、法然、親鸞、
 栄西、道元、瑩山）
- 第16回：模擬授業・授業分析・討議—世界の宗教
- 第17回：模擬授業・授業分析・討議—イエスの教え
- 第18回：模擬授業・授業分析・討議—イスラームの教え
- 第19回：模擬授業・授業分析・討議—神道とアニミズム、神仏習合
- 第20回：模擬授業・授業分析・討議—ブッダの苦悩
- 第21回：模擬授業・授業分析・討議—ブッダの教え
- 第22回：模擬授業・授業分析・討議—最澄、空海
- 第23回：模擬授業・授業分析・討議—法然
- 第24回：模擬授業・授業分析・討議—道元の生い立ちと疑問
- 第25回：模擬授業・授業分析・討議—道元の教えと只管打坐
- 第26回：模擬授業・授業分析・討議—瑩山の生い立ちと出家修行
- 第27回：模擬授業・授業分析・討議—瑩山の教えと教化救済・平常心是道
- 第28回：模擬授業・授業分析・討議—「宗教に関する一般的教養」・「神仏習合事象」
- 第29回：宗教科の教育実習
- 第30回：宗教科の教員採用試験に向けて
- 入学年度毎の履修上の指示に注意すること。幼小中高での、各教科・領域等及び総合的学習の時間
 等に連関する題材を広く深く視野に入れ、かつ、生涯学習の観点からも留意すること。
 模擬授業及び学習指導案（細案）作成状況、出席状況、レポートなどによって、総合評価。
 『仏教概論 わかりやすい仏教』、曹洞宗宗務庁
 現行『中学校学習指導要領』、現行『高等学校学習指導要領』。
 改正『中学校学習指導要領』、改正『高等学校学習指導要領』。
 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』（大法輪閣、1,600円）、「常用漢字表」（平
 成22年11月30日、内閣告示第2号）その他は授業中適宜指示。
 資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業。

履修コード	012001
科目名	宗教科教育法Ⅱ
担当者名	こやま かずのり 小山 一乗

講義の到達目標(ねらい)

いわゆる中等教育のなかの、「義務教育の目標」の規定をうける中学校の、教科「宗教」の教育職員を目指す学生が、宗教科教育及び宗教教育に関する、基礎的・基本的な知識・技能を学習するとともに、実際の宗教科の教育職員として心得ておくべき、法的思考と教育的思考、教科内容構造、教科指導計画作成方法、学習指導案作成の理論と実際、授業展開方法、授業展開技術、教材・教具の理論と活用方法を習得する。

本授業は、これに先行しての履修が前提となる「宗教科教育法・宗教科教育法Ⅰ」を承けて、授業を進める。学校教育法第21条に定める義務教育の目標に関して、中学校と小学校との接続(articulation)関係、及び、高等学校との接続関係とを、全体として俯瞰できる知識・技能を習得する。

講義の内容 / 授業スケジュール

- 第1回：中学校における、宗教教育の意義、宗教科教育の意義、宗教教育の教授概念
文献にみる宗教の諸定義(「超自然性(超越性)」、「究極的関心」、「聖と俗」)
- 第2回：教育史における教育目的観、及び、教育名言
教育観一助成か伝達か、開発か注入か、自力か他力か
- 第3回：宗教教育・宗教科教育の法的考察
宗教教育と宗教科教育の草創と歴史の変遷、日本国憲法施行下における宗教科教育の草創
教職員免許法施行規則明示の免許教科「宗教」と学習指導要領上の位置づけ
対日米国占領政策
大日本帝国憲法73条と日本国憲法
日本国憲法立法制定と宗教教育
日本国憲法と教育基本法(昭和22年3月31日公布・施行。以下、旧教育基本法)と宗教教育
旧教育基本法と学校教育法改正変遷
教育職員免許法変遷と免許教科「宗教」設定までの経緯
教育基本法(改正：平成18年12月22日公布・施行。以下、新教育基本法)と宗教教育
新教育基本法と学校教育法(改正：平成19年6月27日公布・平成20年4月1日施行。)
- 高等学校の目的(新学校教育法第50条)と中学校の目的(新学校教育法第45条)
中学校の目的と小学校の目的(新学校教育法第29条)
小学校教育の目標(新学校教育法30条)と中学校教育の目標(新学校教育法46条)
義務教育の教育目標(新学校教育法第21条) 規定一～十
高等学校教育の目標(新学校教育法51条)と中学校教育の目標
- 第4回：新学校教育法と学校教育法施行規則(改正：平成21年3月9日。以下、新学校教育法施行規則)
小学校の教育課程の編成(新学校教育法施行規則50条2)
中学校の教育課程編成への準用(学校教育法施行規則79条)
中学校の教育課程の編成(学校教育法施行規則第72条3)
中学校の教育課程の基準(新学校教育法74条)・・・中学校学習指導要領
高等学校の教育課程の編成(新学校教育法83条)
高等学校の教育課程の基準(新学校教育法84条)・・・高等学校学習指導要領
前回(現行)中学校学習指導要領の理解と「宗教科」の位置づけ
前回(現行)高等学校学習指導要領の理解と「宗教科」の位置づけ
改正中学校学習指導要領の理解と「宗教科」の位置づけ
改正高等学校学習指導要領の理解と「宗教科」の位置づけ
中学校及び高等学校の教員の「宗教」の教科についての普通免許状の効力について
普通免許状の効力(教育職員免許法第9条)について
「普通免許状は、(中略)すべての都道府県(中学校及び高等学校の教員の宗教の教科についての免許状にあっては、国立学校又は公立学校の場合を除く。次項及び第3項において同じ)において効力を有する。」に関して
- 第5回：私立の小学校・中学校の道徳と宗教との関係について
・義務教育の「小学校の教育課程の編成」(新学校教育法施行規則50条2)について、「私立の小学校の教育課程を編成する場合は、前項の規定にかかわらず、宗教を加えることができる。この場合においては、宗教をもって前項の道徳に代えることができる。」という規定について

教職課程
資格講義科目

・義務教育の「中学校の教育課程編成」への準用規定(学校教育法施行規則79条)により、新学校教育法施行規則50条2項は「中学校に準用する。」という規定に関して

- 第6回：平成21年度からの教育課程
平成21年度からの宗教科教育
中学校学習指導要領と同学習指導要領解説各編から、「宗教科」学習指導の要領・指導方法案出
- 第7回：宗教科教育の学習指導目標と学習指導内容
- 第8回：宗教科教育の学習指導方法と学習指導技術と評価・評価の観点
中学校3カ年間及び高等学校3カ年間の学習指導計画から年間学習指導計画案
学習指導案の作成の原理と教育観
学習指導案様式における基礎的・基本的項目、本時の学習指導展開と節目・評価の観点
- 第9回：教科書及び教材研究—1(学習指導要領の各教科等と宗教の教科書、教材観)
‘Tell’と‘Teach’とによる、教授概念検討
- 第10回：教科書及び教材研究—1(宗教の分類及び宗教の諸定義、他界観・来世観、宗教と世界史・日本史)
- 第11回：教科書及び教材研究—2(イエス・キリストの生涯、旧約聖書と新約聖書、キリスト教の行事・儀式、聖地・建築、ローマ帝国とキリスト教、十字軍の遠征、プロテスタントの誕生、フランシスコ・ザビエル、現代日本のキリスト教)
- 第12回：教科書及び教材研究—3(ユダヤ教、アブラハムの契約、立法とタルムード、エルサレム、『ヴェニスの商人』、世界にひろがるユダヤ人)
- 第13回：教科書及び教材研究—4(イスラーム教、ムハンマドの生涯、イスラーム教の行事・礼拝・聖地・建築、マッカ巡礼、イスラームの文化)
- 第14回：教科書及び教材研究—5(シッダールタ、ブッダの生涯、解脱と四法印、仏教の流れ、仏教の行事・聖地・建築、上座部仏教と大乘仏教、インド仏教、中国仏教と儒教・道教、出家、チベット仏教、三国伝来の仏教、現代の仏教)
- 第15回：教科書及び教材研究—6(ヒンドゥー教の教義・神々、儒教の歴史・教義、道教の教義・神々)
- 第16回：教科書及び教材研究—7(神道の歴史、古神道、アニミズム、本地垂迹説、反本地垂迹説、神仏習合、神宮寺、垂加神道、復古神道、教派神道、国家神道、神社神道、神道指令、神社の構造と様式、神道の行事)
- 第17回：教科書及び教材研究—8(日本の仏教：飛鳥・奈良時代の仏教、最澄と空海、法然、鎌倉新仏教、室町時代の仏教、江戸時代の仏教、廃仏毀釈、明治時代の仏教、昭和20年以降の日本仏教)
- 第18回：模擬授業・授業分析・討議—(世界の宗教、分類の諸相)
- 第19回：模擬授業・授業分析・討議—(神道とアニミズム、神仏習合)
- 第20回：模擬授業・授業分析・討議—(ブッダの苦悩・教え)
- 第21回：模擬授業・授業分析・討議—(聖徳太子と17条の憲法)
- 第22回：模擬授業・授業分析・討議—(最澄、空海、唐風文化、国風文化)
- 第23回：模擬授業・授業分析・討議—(法然)
- 第24回：模擬授業・授業分析・討議—(道元の生い立ちと疑問)
- 第25回：模擬授業・授業分析・討議—(道元の教えと只管打坐)
- 第26回：模擬授業・授業分析・討議—(瑩山の生い立ちと出家修行)
- 第27回：模擬授業・授業分析・討議—(瑩山の教えと教化救済・平常心是道)
- 第28回：模擬授業・授業分析・討議—(日常用語になった仏教語、または、神仏習合事象)
- 第29回：宗教科の教育実習に向けて(質疑・討議)
- 第30回：これからの宗教科教育職員の意義について討議
教員採用試験に向けての心得

履修上の留意点

個々の宗教・宗派の独自性について、生徒たちが、客観的捕捉、主観的捕捉の両方が自在に出来るような指導が出来るかの自己点検をすること。教える題材は、各教科等の随所に既存していることに留意し、また、地域や学校の特色、生徒の興味・関心の特性、国際理解、情報、環境、福祉、健康にも留意すること。

成績評価の方法

模擬授業及び学習指導案(細案)作成状況を重視し、出席状況、中間レポートも含めて、総合評価する。

教科書/テキスト

仏教概論 わかりやすい仏教』、曹洞宗宗務庁
現行『中学校学習指導要領』、現行『高等学校学習指導要領』
改正『中学校学習指導要領』、改正『高等学校学習指導要領』、改正『小学校学習指導要領』

参 考 書 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』（大法輪閣、1,600円）、「常用漢字表」（平成22年11月30日、内閣告示第2号）その他は授業中適宜指示、または、紹介する。

そ の 他 資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業。

履修コード	233102
科目名	宗教学概説
担当者名	川上 <small>かわかみ</small> 新二 <small>しんじ</small>

講義の到達目標(ねらい) 宗教を研究対象とする宗教学という学問の理解、世界の多くの人々に受け伝えられているさまざまな宗教についての理解、さらには既習の講座「仏教と人間」を踏まえて、駒沢大学がよってたつ仏教のさらなる理解、という三点を目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

以下の内容を実際の授業日数に配分して講義します。

1. 宗教学の理解：(1)宗教学とは、(2)宗教とは、(3)宗教の分類、(4)宗教の原初形態、(5)呪術と宗教、など。
2. 世界の宗教の理解：(1)ユダヤ教、(2)キリスト教、(3)イスラーム教、(4)ヒンズー教、(5)道教、(6)儒教、(7)神道、など。
3. 仏教のさらなる理解（とくにキリスト教との比較を通じて）：(1)実在観、(2)人間観、(3)世界観、(4)実践、など。

準 備 学 習

講義内容の整理を目的としたレポートで成績を評価しますので、日頃から講義の内容を十分に整理し、まとめておいてください。

成績評価の方法

数回（4～6回くらいを考えています）のレポート（講義内容を課題に応じて1200字以上でまとめる。字数および提出期限厳守。氏名、題名は字数に含めない。一行20字もしくは30字もしくは40字のワープロで作成するか、手書きの場合には原稿用紙で作成のこと。レポート用紙などへの手書きのものは受理しない）で評価します。課されたレポートのすべてを提出した場合が成績評価の対象になります。レポートの課題や提出期限は授業の中で指示します。

教科書／テキスト
参 考 書

プリントを配布します。
水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院
脇本平也『宗教学入門』講談社学術文庫

履修コード	305101・305201
科目名	宗教学概説
担当者名	須藤 <small>すどう</small> 寛人 <small>ひろと</small>

講義の到達目標(ねらい) 宗教学的視座を養うことが本講義の目的です。多くの日本人にとって、宗教は、必ずしも明確な形を持ったものではありません。しかし、人間や文化を理解することの、すべてではないにしても、その一部は宗教を理解することによって可能となるものであると考えられます。特に、現在の世界情勢は、宗教との関わり無しには、理解しがたいものがあります。本講義では、現代の国際関係を理解するためにも、諸宗教についての知識が不可欠であると思われるので、現代につながるようなかたちで、宗教をとらえていきたいと思えます。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス：成績評価について (2) 宗教と日本人 (3, 4) ユダヤ教：族長時代、ヘレニズム時代、ローマ時代以降 (5～8) キリスト教：イエス、初期教会、教会と王国、宗教改革から社会契約と資本主義へ (9, 10) イスラーム教：ムハンマドの教え教え、クルアーンとイスラーム法 (11～14) 仏教：釈迦の生涯、部派仏教の教え、大乘仏教の成立、大乘仏教の教え (15, 16) 儒教：孔子・孟子・朱子 (17, 18) 儒学と日本：江戸幕府と儒学、水戸学と明治維新 (19～29) 日本人と仏教：仏教以前、仏教伝来、古墳時代の終焉、御霊信仰、末法思想、僧兵、寺請制度、幕制の変遷、仏教的価値観の二元化と多様化、高度経済成長期の社会と仏教

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないでください。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中には着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

学期末のレポート95%、出欠状況5%として評価します。

教科書／テキスト
参 考 書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。
水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

教職課程
資格課程
科目

履修コード	232902・233002
科目名	宗教学概説
担当者名	矢野 ^{やの} 秀武 ^{ひでたけ}

講義の到達目標(ねらい)	<p>世界には様々な宗教があり、多様な思想・体験・集団・活動が見られる。また特定の集団には関わらないが宗教的と言える現象などもある。そして宗教は歴史・地理・政治・経済・社会・芸術・異文化理解など多様な分野にまたがるものである。さらに、自分は無宗教だと思っている人でも、なんらかの宗教的感性をもっていることは多い。</p> <p>そのような点を踏まえ、本講義は、宗教を多様な側面から捉え理解する能力を、身につけることを目指す。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>また、教職科目の一環として、人前で話すこと・伝えることについて経験を積むことも、めざす。</p> <p>前期では、まず授業内容やスケジュールについての概要を述べ(1~2)、その後、世界の諸宗教についての歴史と思想について学び(3~15)、宗教についての基礎知識と具体的なイメージを身につけることを目的とする。</p> <p>後期では、さらにこれらの諸宗教の思想や実践に見られる共通性と相違、あるいは自分たちの信念や慣習との異同等を、比較を通じて考える(16~30)。また、各受講者の課題発表も行う。</p>
履修上の留意点	<p>本講義は講師による講義だけではなく、各受講者による課題発表・質疑応答も行う。</p> <p>また、授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説するので、必ず出席すること。</p>
成績評価の方法 参 考 書	<p>出席と学習意欲(20%)、課題発表(40%)、試験(40%)を総合して評価を行なう。</p> <p>授業時に随時紹介する。</p>

履修コード	007102
科目名	宗教教育
担当者名	こやま かずのり 小山 一乘

講義の到達目標(ねらい)

用語「宗教教育」の教授概念には現今、宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派信仰教育、対宗教安全教育、宗教的寛容教育の五があり、論者は、先入観的に、いずれか一の義で解釈し、他は棄却してしまっているという傾向が重大問題としてある。当事態を解説・講義する。当事態の史的背景にある宗教教育改革を企図する対日米国占領政策のねらいに、米国流の宗教教育施策があったこと、また、日本国憲法20条の規定不備や教育基本法9条の補完規定の不徹底に起因する事後の紆余曲折事態が宗教教育論を迷走させた経緯を解説し講義をする。さらに新「教育基本法」の改正点について講義をする。その上で、あらためて「宗教の定義」の諸相を概観する。関係法規は宗教の定義を他に委ねている。

本講義は、決して、或る特定の宗教・宗派を価値ありとして判定して促進したり、または、価値なしと判定してそれを抑制したりするというそのような内容・方法を専らに考えるというような、とかくありがちないわゆる宗派信仰への導入をのみ考えるという狭義の宗教教育を構想する講義ではない。端的には白覚的寛容の態度育成の方途を構想する。種々の宗教と称されている現象事例を取り上げる。

具体的には、身振り・音声・文字等の各教材、マルチメディア等を用いて、様々な題材を取りあげる。いわゆる神仏習合を彷彿とさせる広義の伊勢音頭、各地の民謡、歌謡曲、唱歌、教え歌、演歌、浪曲、説話、写真、古典音楽、詩、書など様々なジャンルの現象を観る。日常の実際生活の深層・表層面で、宗教的事柄が隠れたカリキュラム又は顕れたカリキュラムとして、人間形成に関与している諸相を考察する。

予定は、前期では、(1～2回)用語「宗教教育」の教授概念5類型、(3～4回)宗教的情操教育の成立をめぐる対立的2見解、(5～6回)学校教育法にみえる用語考「目的-目標」、「判断力-批判力」、「選択-決定」、(7～8回)教育観の分類:「開発-注入」「本覚-始覚」、(9～10回)「宗教の様々な分類」、「宗教の定義集」、あなたの定義を考える端緒、(11回)日本国憲法・教育基本法・初期社会科学習指導要領の相互補完関係(旧教育基本法第9条立法制定審議の推移の検証)、(12～13回)対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実宗教教育と宗教科教育(教育職員免許法に規定)との差異検討(←だれでもの国語教育と、誰でもではない国語科教育との比較からの援用論)

後期は、(14回)命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)考、世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、(15回)比較法各国の宗教教育、(16回)これからの宗教教育の教授概念検討(不均衡是正)政策・法律論議「何を教えることができないのか」の禁止事項教授概念論議、「何を教えることができるのか」の肯定的事項、(17～18回)シェフラーの教授概念検討(意図的用法・成功的用法、行動的解釈・非-行動的解釈、事實的言明文・規範的言明文、(19～27回)宗教教育の指導計画(児童生徒の疑問態、国内外の種々の歌、種々の年中行事(節分、雛祭り、七夕など)、合格祈願、日常用語になった仏教用語(挨拶・会釈・我慢・玄関・工夫・覚悟・油断・娑婆等)、医療現場のターミナル・ケア等、通過儀礼(入学式、卒業式、入社式、成人式、結婚式、等)等考察、(28～29回)自由討議(これからの宗教教育のあり方)、(30回)まとめ

宗教教育という用語への偏見・先入観をいったんは払拭して欲しい。教場の一時的移動指示掲示に注意すること。宗教学、宗教学人類学等の関連授業科目を積極的に受講することを是非すすめた。レポート(夏季休暇後及び学年末提出、その他中間で適宜にレポート提出を求める)を基本に評価する。出席も尊重する。

教材は適宜プリントを配布する。

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』(大法輪閣、¥1,600)

講義形式で実施する。資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業にて。

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

教職課程
資格
科目

履修コード	075003
科目名	宗教人類学
担当名	佐藤 憲昭 <small>ととう のりあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な文化のひとつに数えられている憑霊(ひょうれい)文化を取り上げる。日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは、神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の考え方を学習した後に、日本を含むアジアの諸地域で生起している憑霊文化を取り上げ、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして、憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容／授業スケジュール 次のテーマのもとに具体的に考察する。
第1～2回 宗教人類学の学問的特徴、第3～4回 憑きもの研究と憑霊研究、第5～7回 憑霊研究とシャーマニズム研究、第8～10回 憑霊文化と脱魂文化、第11～13回 人間の憑霊と事物の憑霊、第14～16回 憑霊の連鎖現象、第17～21回 憑霊と民俗宗教・民俗仏教、第22～26回 憑霊型シャーマニズム、第27～29回 憑霊現象と社会組織、第30回 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点 出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法 学年末のレポート(2400字～2800字)で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、追試験は実施する。

教科書／テキスト 使用しない。

参考書 授業中に適宜紹介する。

履修コード	084501
科目名	生涯学習概論 I
担当名	豊田 千代子 <small>とよた ちよこ</small>

講義の到達目標(ねらい) この授業では、ユネスコやOECDなどの国際機関や日本における生涯教育・生涯学習について、理念や思想、歴史、制度、政策、子どもやおとなの発達を支える学習といったさまざまな点から検討し、それをとおして、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス、生涯教育・生涯学習とは (2～4) 生涯教育・生涯学習の国際的動向 (5～8) 日本における生涯学習政策の展開 (9～11) 生涯学習と学校計画 (12～14) 生涯学習と社会教育 (15) まとめ

履修上の留意点 資料を読んだりビデオを見た感想を話し合ったりするため、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法 レポートと出席状況により総合的に評価する。

教科書／テキスト 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

参考書 適宜紹介する。

履修コード	084601
科目名	生涯学習概論 II
担当名	豊田 千代子 <small>とよた ちよこ</small>

講義の到達目標(ねらい) この授業では、学校教育と社会教育について、それぞれ理念、思想、歴史、制度等を検討し、これらの教育における今日的課題を整理するとともに、子どもや若者やおとなを対象とした学習活動に着目し、学習者の成長や発達につながる学習プロセスの組織化の方法等について考察することを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス、生涯学習時代における学校教育・社会教育 (2～3) 学校教育の歴史と理念、制度の変遷 (4) 学校教育をめぐる今日的課題 (5) 子どもの成長・発達を支える学校教育実践 (6～8) 社会教育とは、社会教育の歴史、法、施設、形態・方法 (9) 社会教育をめぐる今日的課題 (10～14) 子ども、若者、おとなの成長・発達を支える社会教育実践 (15) まとめ

履修上の留意点 資料を読んだりビデオを見た感想を話し合ったりするため、授業への主体的、積極的な参加が望まれる。

成績評価の方法 レポートと出席状況により総合的に評価する。

教科書／テキスト 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

参考書 適宜紹介する。

履修コード	065422
科目名	障害者福祉論
担当者名	桐原 宏行 <small>きりはら ひろゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)

- ・障害の本質及び障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について理解する
- ・障害者福祉制度の発達過程について理解する
- ・相談援助活動において必要となる障害者自立支援法や障害者福祉に係る他の法制度について理解する

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回：本科目のねらい・進め方について
- 第2回：障害とは何か①（身体障害の理解）
- 第3回：障害とは何か②（知的障害・発達障害の理解）
- 第4回：障害者福祉の理念
- 第5回：障害の概念と定義
- 第6回：障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢
- 第7回：障害者福祉制度の発達過程
- 第8回：障害者基本法
- 第9回：障害者自立支援法①（制度移行）
- 第10回：障害者自立支援法②（制度解説1）
- 第11回：障害者自立支援法③（制度解説2）
- 第12回：障害者自立支援法④（制度解説3）
- 第13回：障害者福祉関連法の概要①（身体障害者福祉法，知的障害者福祉法）
- 第14回：障害者福祉関連法の概要②（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律，発達障害者支援法）
- 第15回：授業内試験

履修上の留意点

本科目は、社会福祉士法の改正により変更された科目である。平成21年度以降入学者（平成20年度以降の入学者で単位未修得者も含む）で社会福祉士受験資格取得予定者は履修しなければならない。なお、平成20年度以前の履修者で、同一名称科目「障害者福祉論（4単位科目）」をすでに履修し単位を取得した者は再履修できないが、法改正で科目内容が改正されており、本年度の社会福祉士国家試験から「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の科目で試験が実施されるため、その対策には十分注意する必要がある。

成績評価の方法
教科書／テキスト

履修者は、「社会福祉原論」及び「社会福祉援助技術総論」の単位を取得していることが望ましい。
授業内試験又はレポートの提出70%，出席点30%
福祉臨床シリーズ編集委員会編 日比野清,大熊信成,建部久美子責任編集、『社会福祉士シリーズ14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度』、弘文堂、2,625円 ISBN978-4-335-61084-4 C3347
YeStudyを活用します。

その他の

教職課程
資格科目

履修コード	113301
科目名	商業科教育法
担当者名	黒葛原 正展

講義の到達目標(ねらい)

高等学校商業科の教師を目指す学生が、商業教育に関する基礎的知識を学習すると共に、商業科の教師として備えておくべき指導方法・指導技術を習得する。

「教育とは」「商業教育とは」から「社会における商業の役割」、「商業教育の役割」まで学習し、講義と演習により、商業教育の専門家の養成と資質の向上を図る。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 商業教育の意義
2. 商業の活動と商業教育
3. 商業教育の草創
4. 商業教育の変遷（昭和20年まで）
5. 商業教育の変遷（昭和20年以降）
6. 前回学習指導要領の理解（総則）と学習指導要領の理解（商業）
7. 教育基本法の改訂と商業教育
8. 教育三法の改定と商業教育
9. 新学習指導要領の理解（総則）
10. 新学習指導要領の理解（商業）
11. 中央教育審議会答申「生きる力」とは
12. 平成22年度からの教育課程
13. 平成22年度からの商業教育
14. 商業各科目の指導目標と指導内容
15. 商業各科目の指導法・指導技術と評価
16. 年間指導計画と年間授業計画
17. 学習指導案の作成について
18. 教科書研究－1（必修科目、総合科目）
19. 教科書研究－2（簿記・会計科目、情報科目）
20. 新学習指導要領改訂による新科目の指導目標と指導内容
21. 新しい学力観と評価
22. 模擬授業案の作成について
23. プレゼンテーションと授業
24. 模擬授業
25. 模擬授業
26. 模擬授業と評価
27. 商業教育の成果と課題
28. 商業教育の展望
29. 商業科の教育実習
30. 教員採用試験に向けて

履修上の留意点

本講座は、商業科教師を目指す者が学ぶものである。単に単位を修得すれば良いものではなく、積極的に学習し、多くを吸収しようとする熱意が必要である。

本講座では、パソコンを使用するので、履修する前にワード、パワーポイントは操作できるようにしておくこと。

成績評価の方法

授業への参加意欲、態度、課題提出、模擬授業、授業内テストなどによって評価。定期試験、追試験はおこなわない。

教科書／テキスト

黒葛原正展、他 共著、「教職必修 新商業科教育法(改訂版)」(実教出版)

参 考 書

新簿記(実教出版)、ビジネス基礎(実教出版)、その他、必要に応じて紹介する。

そ の 他

授業は講義方式および演習方式、必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	087901
科目名	情報メディアの活用
担当者名	かきがわ しやうじ 笠川 昭治

講義の到達目標(ならい)

メディア・センターとしての機能を担う現代の学校図書館には、教員に対する情報や情報メディア活用の支援機能、情報活用能力育成のための教育を支援する機能が期待されている。このような機能・役割を果たすために、多様な情報メディアに関する知識やその運用に関する知識・技能を深めることが要求される。

講義の内容／
授業スケジュール

当日では、他の司書教諭講習各科目で取り上げられる事項も補いつつ、学校や学校図書館で用いられる情報メディアのうち、とりわけ新しいメディアを中心に、教授＝学習という観点からそれらの種類と特性、実際の活用法や事例等について学ぶ。さらには、情報メディアを活用するにあたり、学校や児童生徒が留意しなければならない問題点とその対処に関する知識の習得を目指す。

1. 情報教育と学校図書館 (1) - (2)
 - (1) 情報メディアとは何か
 - (2) 学校教育における情報メディアの意義とその活用
2. 情報メディアの特性と選択 (3) - (5)
 - (1) 情報メディアの種類
 - (2) 情報メディアの特性
 - (3) 情報メディアの選択
3. 情報メディアの利用 (6) - (11)
 - (1) インターネット
 - ① さまざまなサービスとその仕組み
 - ② 検索エンジンの活用
 - ③ OPACの活用
 - ④ 新聞・雑誌記事の検索
 - ⑤ その他
 - (2) 情報メディアを活用した学校図書館運営 (12) - (14)
 - ① パスファインダーの作成と活用法
 - ② LibraryNAVIの作成と活用
 - ③ 図書館クイズ
4. 情報メディアと児童生徒の保護・支援 (15)
 - (1) 情報メディアの活用と知的財産権
 - (2) 自己防衛(情報モラルと個人情報保護)
 - (3) 情報メディアに関わるトラブルとその対策

成績評価の方法
参 考 書

レポート、出席状況、平常点に基づいて行います。
根本彰監修『インターネット時代の学校図書館(司書・司書教諭のための「情報」入門)』東京電機大学出版局、2,400円、ISBN978-4501619701

教職課程
資格講座科目

履修コード	087801
科目名	情報メディアの活用
担当者名	みなもと しやうきゆう 源 昌久

講義の到達目標(ならい)
講義の内容／
授業スケジュール

学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る事を目的としている。
1) 本講義のオリエンテーション 2) 情報メディアの概念的フレーム・ワーク 3) ~ 5) 情報メディアの特性と選択 6) ~ 10) 情報検索とPC 10 ~ 14) 学校図書館と著作権 15) まとめ

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

PCの操作は習得しておいて下さい。
予習・復習をしっかりと行ってほしい。
平常点および試験の成績を併せて評価する。
出中功(ほか)編著『CD-ROMで学ぶ情報検索の演習 新訂3版』(日外アソシエーツ) 2300円
講義中に指示する。
必要に応じて、DVD、ビデオを活用する。

履修コード	086701
科目名	職業教育 I
担当者名	<small>しおかわ まさと</small> 塩川 正人

講義の到達目標(ねらい)

本授業の目的は「就職に役立つ授業」この一点で取り組みます。

日本経済は、未曾有の経済危機、そして皆さんの就職の危機です。

皆さんの素晴らしい学生生活も、就職は最後の大きなテーマです。

就職を成功するノウハウは「自己の確立」です。エントリーシートも志望動機も面接も「あなたはどうな人ですか」を厳しく求めてきます。

講義の内容／
授業スケジュール

職業教育は、教員・公務員・民間企業など、どの道を選ぶにも必須の「就職スキル」を、対話、グループ討議、自己分析、職業選択、書類作成、面接訓練などで体得します。
講師は就職コンサルタント。ゆえに人事・採用責任者の立場から、実践そのままの就職スキルを学生諸君に伝えます。

以下の内容を、対話を重視して取り組みます。

就活スキルは、学生生活を充実するスキルです。

学年を問わず、自己の未来開発として授業を展開します。

- 1 就職への準備とは何をするのか(第1週)
- 2 部活やアルバイトを就活でどう生かすか(第2週)
- 3 自己分析とは何か(第3週)
- 4 自己分析実習と討議(第4、5週)
- 5 職業選択のポイント①(第6週)
- 6 職種研究のポイント①(第7週)
- 7 キャリアプランと就活資料の作り方研究(第8、9週)
- 8 キャリアプランと就活資料の制作と討議(第10、11週)
- 9 キャリアプランと就活資料の制作と討議(第12、13週)
- 10 前期の全体のまとめ(第14、15週)

準備学習

事前学習

就職準備の授業です。

「この授業で就職を決める」という思いで参加してください。そのために

- ・政治、経済、社会の動きをつかみながら授業に参加してください。
- ・自分の意見を発表する場があります。

事後学習

・授業で得た要点は、パソコンに入力しておき、就活で使えるようにします。

・授業で行った「自己分析」や就活資料は毎週進化させ、自己形成に直結させます。

履修上の留意点

- 1 就職準備をするための資料の配布が多いです。資料を保存するバインダーを準備してください。
- 2 授業は少人数なので、話し合いやグループワーク、意見発表などがあります。自分の意見を発表する訓練の場として参加してください。

成績評価の方法

授業と課題研究への参加度を通して、総合的に評価します。

履修コード	086801
科目名	職業教育Ⅱ
担当者名	塩川 正人 <small>しおかわ まさと</small>

講義の到達目標(ねらい) 本授業の目的は前期に続いて「就職に役立つ授業」を継続して取り組みます。後期の特色は、就活に使う資料の作成です。前期に作成したキャリアプランを、自己形成のストーリーとして、さらに発展させます。個人別の就活カウンセリングも希望者に実施します。授業内容は、各種作成資料が、すべて就活にそのまま役立つ展開として発展します。2年生が受講する場合は、1年早い就活の模擬体験となります。

講義の内容／授業スケジュール

- 1 就職準備の本番へ、就活作戦の概要 (第1週)
- 2 職業選択のポイント② (第2週)
- 3 職種選択のポイント② (第3週)
- 4 エントリーシートの研究 (第4週)
- 5 エントリーシートを生かす自己紹介書とは (第5週)
- 6 自己紹介書の作成実習と個別添削 (第6週～8週)
- 7 エントリーシートの作成実習と添削 (第9・10週)
- 8 自己アピールの仕方と演習 (第11、12週)
- 9 面接訓練 (第13、14週)
- 10 全体のまとめ (第15週)

準備学習

事前準備
前期授業と同じです。
就職本番に向けて、キャリアセンターの資料や情報を十二分に活用しましょう。毎回自分で作成する資料が多くなります。しかし新しい自分発見の楽しい時間になります。

履修上の留意点

事後のまとめ
毎回得る情報をすべて「自分の資料」にするためパソコンに入力しておきます。就職準備を「自己創造活動」としてチャレンジし続けましょう！
1 後期は個別相談が多くなります。3限前の昼食時間を予定しています。
2 資料作成にパソコンは必須です。パワーポイントの練習をしておくことをお勧めします。

成績評価の方法

授業と課題研究への参加度を通して、総合的に評価します。

教職課程
資格講座
科目

履修コード	113801
科目名	職業指導
担当者名	洪 利志生 <small>こう りしお</small>

講義の到達目標(ねらい) ・職業指導と学校教育における進路指導についての考え方を確立する。
・生徒が自己の生き方を自覚し、自己の能力を発揮し、職業(進路)選択を決定できるように指導方法を学習する。

講義の内容／授業スケジュール

- 職業指導の意義 (1～15)
- ・職業と社会 (1～5)
 - ・職業指導の歴史 (6、7)
 - ・職業指導と職業教育 (8、9)
 - ・職業指導の定義 (10～12)
 - ・職業適性について (13～15)
- 学校教育における進路指導 (16～30)
- ・進路指導の基本的な考え方 (16、17)
 - ・進路指導における情報資料 (18)
 - ・進路指導と学校組織 (19～22)
 - ・進路適性について (23、24)
 - ・進路指導の計画と評価 (25～30)

成績評価の方法

出席状況・課題提出・レポート提出等で、総合的に評価する。

教科書／テキスト

プリント配布

参 考 書

授業中に適宜紹介

履修コード	065702
科目名	女性福祉論
担当者名	堀 千鶴子

講義の到達目標(ねらい) この講義では、ジェンダーの視点から女性福祉論を展開する。ジェンダーとは社会的・文化的に規定された性別であり、ジェンダーのアンバランスが歴史的にも女性の生活問題・生活困難の背景となっており、ジェンダーの視点に立つことは問題の理解に大きく寄与するものである。

講義の内容／授業スケジュール 講義では、特に婦人保護事業を中心とする。婦人保護事業を歴史的に把握すると共に、対象者の変化を理解し、現代的課題を明らかにすることから、女性福祉を考える。

1. ジェンダーの視点とは
ジェンダー・女性学・フェミニズム等の用語の登場の背景を理解し、社会福祉に導入する意味について理解する
2. 女性福祉の定義・対象理解
3. 「女性に対する暴力」とは
・定義、内容 ・取り組みの動向 ・ドメスティック・バイオレンス についての理解
4. 婦人保護事業の歴史
5. 婦人保護事業の動向

成績評価の方法 授業内レポート(10%)、授業内試験(20%)、夏期課題(30%)、期末レポート(40%)により総合的に評価を行う。

教科書／テキスト 林千代編著『女性福祉とは何か』(ミネルヴァ書房)2004年

参 考 書 講義内に紹介する。

履修コード	023001
科目名	書道科教育法
担当者名	那須 隆吉

講義の到達目標(ねらい) 本講ではまず言語教育、書道教育の意義及び目標と内容について述べ、文字教育、芸術教育に当たる教師としての自覚を促したい。書写書道教育の一貫性の上で、書写書道教育に関するあらゆる基礎的・基本的論理から始め、次第に高度なものへと学習する。

講義の内容／授業スケジュール 書道教育の歴史と専門的知識及び学習指導要領について理解を深める。教材研究の方法や、指導目標と効果的な指導案の立て方、授業の実践(模擬授業)等を通して教師としての指導力を養成したい。

授業計画

◎文字とその成立	◎書写指導の基本
第1回:言葉と文字	第17回:姿勢・執筆法について
第2回:漢字の歴史	第18回:用具用材とその取り扱い方
第3回:仮名の歴史	第19回:用筆法・運筆法
第4回:字体、書体、書風について	第20回:字形指導の方法
◎国語科における文字書写指導	第21回:筆順指導の意義と方法
第5回:書写書道教育の意義	第22回:点画の省略・連続性
第6回:文字指導の内容	◎芸術科書道の内容
第7回:書写書道教育の構造	第23回:学習指導要領について
第8回:書写書道教育の変遷1.書写教育	第24回:芸術科書道各科目の目標と内容
第9回:書写書道教育の変遷2.書道教育	◎書写、書道の実践
◎書写書道指導の方法	第25回:書の諸形式
第10回:年間指導計画と授業計画の立て方	第26回:五書体を古典によって理解する
第11回:年間指導過程について	第27回:臨書・創作について
第12回:学習指導案の作成	第28回:教職の実践に向けて1.模擬授業
1.漢字仮名交じりの書、楷書、行書、草書	第29回:教職の実践に向けて2.模擬授業
第13回:学習指導案の作成	第30回:教育実習に向けて
2.仮名、篆書、隸書、篆刻	
第14回:示範・板書・批評の意義と方法	
第15回:教育機器の活用	
第16回:評価と作品処理の方法	

成績評価の方法 授業への参加意欲、出席、課題提出、模擬授業、授業内テスト等により総合的に評価する。

教科書／テキスト 『大学書写書道教育』(第一法規出版)

参 考 書 『高等学校学習指導要領解説 芸術編』(教育芸術社)

履修コード	036901・037001
科目名	人文地理学概説
担当者名	なかむら こう 中村 剛

講義の到達目標(ねらい)	広義の人文地理学について、理論やモデルを用いて概説する。一方で、「人文地理学」さらには「地理学」が、我々の実生活（地域の社会・文化・自然）と深く関わっていることを強く意識した講義としたい。
講義の内容／授業スケジュール	1・2：人文地理学とは？（イントロ、自然地理学・地誌学との関係）、3・4：地図（地理学と地図、地図の歴史、地図の利用と今日的課題）、5・6：地理教育と教養地理（中学・高校における地理教育、地理的知識の効用）、7・8：自然（気候景観、人文地理学と「自然」との関わり）、9・10：農業（農業立地論、農業地域区分、文化としての農業）、11・12：鉱工業（鉱業分布、工業立地と工業地域）、13・14：貿易（食料・鉱産資源の輸出入、フェアトレード、南北貿易）、15・16：農村（都市を支える農村、過疎化、高齢化）、17・18：都市（都市とは何か、都市化、都市構造）、19・20：都市計画と土地利用（都市計画は何をしてきたか、都市計画法制度とその問題）、21・22：ツーリズム（ツーリズムの歴史、マストーリズムとオルタナティブツーリズム）、23・24：交通（縮小する世界、時間距離）、25・26：文化・国際理解（南北問題、国際理解教育）、27・28：環境問題と災害（温暖化と地球環境、成長と破壊）、29・30：まとめ（総括、試験）
準備学習	詳細については、第1回目の講義で説明する。 広く社会に興味・関心をもつこと、「なぜ?」「どうして?」と常日頃から考えることが、本講義の内容理解への入口となるはずである。さらには、新書程度でよいので関連する書籍を読み進めると、より講義内容を深めることが出来る。なにより、積極的に講義に“参加する”姿勢が重要である。
履修上の留意点	「人文地理学」さらには「地理学」を概説するこの講義に、強い興味・関心を持つ学生の受講を希望する。よって、出席状況や授業への参加態度も評価に大きく影響する。遅刻や途中退室、授業中の携帯電話やPCの利用は認めない。詳細は第1回目の講義で説明する。
成績評価の方法	前期・後期それぞれ試験を行う。この両試験を受験し、かつ出席時数（全講義時間数の2/3）をクリアしている者を成績評価の対象とする。成績評価は、試験、出席、授業中の小テスト、提出課題のすべてを総合して行う。出席は特に厳しく取り扱うこととする。出席時数が足りていても、試験の結果が悪ければ単位認定は出来ない。逆もまた同じである。評価は厳粛に行う。
教科書／テキスト	高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫・杉谷隆 編(2008)：『改訂新版 ジオグラフィー入門』古今書院 2,500円(税別) ISBN 978-4-7722-3118-3 高校用の「学校地図帳」を用意することが望ましい。
参考書その他	参考文献（書籍、論文等）は授業で紹介する。受講生諸君が手に取りやすいものを多く紹介する。授業はパワーポイントを利用して進める。また、YeStudyを利用して教材の提示を行うので、登録することを推奨する。詳細は、第1回目の講義で説明する。受け身の姿勢ではなく、積極的に講義に参加してほしい。

教職課程
資格履修科目

履修コード	304401
科目名	人文地理学概説
担当者名	わたなべ たくお 渡邊 盾夫

講義の到達目標(ねらい)	この講座は、教職科目である。受講者の皆さんが、教壇に立つ前に人文地理が何であるかを、自分自身で理解できるようにしておくことを目標として講義する。 この分野には、人文地理の取り組み方、農業、工業、人口、などさまざまな分野があるが、それぞれを説明し理解ができるようにすることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	前期に人文地理の考え方、研究方法、地域調査方法そして具体的項目として農業（農業人口の変化、農業問題など）、後期に人口（人口構成、日本の人口問題など）工業（日本の工業地域の形成など）を具体的な例を上げ、それぞれプリントを配布しながら講義をする。
準備学習	講義を欠席した者は、講義で配布したプリントがあるときは、後日必ずプリントを取りに来ること。 具体的なものとして農業では、日本は食糧自給率が先進諸国の中で非常に低い、人口では日本は少子化、世界では人口増加、宗教ではイスラム世界ではテロが横行しているなど、これらの理由は何であるのかを受講生がネットや新聞などを読み、考えるようにすることである。
履修上の留意点	人文地理をはじめ地理は、それぞれの地域にみられる人間活動を比較する学問である。農業問題や人口問題は、日本だけでなく、世界各地域に見られるものであるため、それぞれの問題が起こっている地域を地図帳で確認し、その地域の気候や地形などと民族や宗教もあわせて関心をもつことである。
成績評価の方法	年度末に定期試験（80％）を実施します。これに出席の様子（20％）を加えて評価する。特に出席は総実施数の2/3を必須とする。この割合を下回る場合は採点の対象にはなりません。 答案は、自分が記した内容が読む相手（生徒）に理解できる様に書いておくことが大切である。
教科書／テキスト	教科書・参考書については、特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布する。受講生は、講義中はノートを取り、配布プリントの中に各自で必要のことがらを加えること。あわせて関連する本を案内する。
参考書	浮田典良：人文地理学総論（朝倉書店）

履修コード	066522
科目名	心理学（福祉）
担当者名	<small>なかはし よしひろ</small> 高橋 良博

講義の到達目標(ねらい)

本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。

1. 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得、および日常生活と心の健康についての理解。
2. 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
3. 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 講義についてのオリエンテーション
2. 心理学の定義・心理学の領域・心理学研究法
3. 欲求・動機づけ
4. 感情・情動
5. 感覚・知覚・認知
6. 学習・記憶・思考
7. 知能・創造性
8. 人格
9. 適応と不適応
10. 発達段階と障害発達
11. 発達課題と高齢期
12. 発達の障害と発達援助
13. 心理的援助技術の概要(1)
14. 心理的援助技術の概要(2)
15. 試験

(上記の講義スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もある。)
履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛を保つこと。講義中、私語などの迷惑行為が日立つ場合、教場外への退出をもとめることもある。

履修上の留意点

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを得点化して総合的に評価を行う。評価される講義への出席回数は全講義回数^の3分の2以上を前提とする。

教科書／テキスト

福祉士養成講座編集委員会編 新社会福祉士養成講座2『心理学理論と心理学的支援—心理学』（中央法規）

参 考 書

講義中、指示する。

履修コード	324302
科目名	政治学原論
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂

講義の到達目標(ねらい)

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階(2835)にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

- A 政治学の課題と対象、および方法(1)
- B 政治の原理的究明
 - (1) 政治的なるもの
～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従
 - (2) 共同体的なるもの
～国家、社会、主権、法
 - (3) イデオロギー的なるもの
～イデオロギー、正義、自由、平等、人権(シティズンシップ)(2～15)
- C 政治の思想(史)的究明(16～18)
- D 政治の実体論的究明
 - (1) 制度論的究明
～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制
 - (2) 機能論的究明
～政党、圧力団体(19～30)

講義の内容／
授業スケジュール

成績評価の方法

試験による単位認定

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。

なお試験は通常の授業時間を利用して実施します。欠試者に対しては、レポートを課します。

※追試験は実施しません。

教科書／テキスト

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂)3,000円

大塚桂『政治哲学入門』(法律文化社)2,900円

参 考 書

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

履修コード	134801
科目名	政治学原論
担当者名	真下 英二

講義の到達目標(わらい)

この講義は教職科目として、政治学の基礎的なことからついて学んでいく。そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。

- (1) 政治の本質について考える
- (2～3) 権力とは何か
- (4～5) 近代国家と現代国家
- (6) 政治思想とイデオロギー
- (7) 「自由」の持つ意味
- (8～9) 民主主義について考える
- (10～11) 近代政治の基本原理
- (12) 議院内閣制と大統領制
- (13) 各国の政治制度
- (14～15) 現代国家と官僚制

後期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

- (16) 現代政治と政党システム
- (17) 圧力団体
- (18) 現代の政治過程
- (19) 選挙
- (20) 投票行動と政治意識
- (21) 現代の大衆社会
- (22) 政治的コミュニケーション
- (23～24) 現代社会における住民運動と政治参加
- (25～27) 日本の政治
- (28) 国際政治
- (29～30) 政治学の理論

準備学習
履修上の留意点

普段から、新聞や雑誌などに目を通し、時事問題に対する関心を持つことを期待したい。
この講義においては、政治学や社会科学全般に関する知識は必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての基礎的な知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法
教科書／テキスト

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。詳細については、講義中に指示する。
特に指定しない

参考書

加藤秀治郎『政治学 第2版』（芦書房）2006年
加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年
他は追って指示する。

履修コード	134701
科目名	政治学原論
担当者名	山崎 望

講義の到達目標(ねらい)	現代社会が直面している様々な問題について、政治がどのように対応することができるのか、考える。
講義の内容／授業スケジュール	概ね、以下の論点について順次、講義をしていきます 前期はまず身近なレベルの問題であるフェミニズムと経済をめぐる問題について政治学の観点から講義します。前期の終盤には国民国家をめぐる問題を扱います。 (1～6回) 現代世界の変容1・2、政治、権力、フェミニズム1・2 (7～10回) 格差社会論、グローバル経済と世界経済危機 自由主義論1・2 (福祉国家の変容) (11～12回) マルクス主義の再検討 (13～15回) 国民国家、同化主義、ナショナリズム 後期は一見、身近とは思えないようなグローバル化をめぐる問題がいかにかわし達の生活と関連しているのか、講義していきます。 (16・17回) 多文化主義、移民 (18～25回) グローバル政治論、「9.11」対米同時多発テロ以後のアメリカ 世界秩序の多極化、「イスラーム原理主義」 人道的介入とグローバル・テロリズム 地域主義1・2 (EUとアジア共同体) (26～30回) 自由民主主義の揺らぎ、新しい民主主義論1・2 市民社会論、国境を越える民主主義論
履修上の留意点	現代社会の変動を念頭に講義を行うので、日頃から新聞や雑誌を読む習慣を身につける事をお勧めします。
成績評価の方法	学年末の試験。ただし、病欠や公欠席などの正当な理由なくしてレスポンスカードの提出率が5割を切る場合、試験を受けても単位の取得は認めない)
教科書／テキスト	加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤藤彦1998『現代政治学』有斐閣アルマISBN4・641・12168
参考書	特になし。
その他	講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定。 講義の後半10分にレスポンスカードを配るので、質問や感想を書いて下さい。 翌週の講義の冒頭に簡単な応答を行います。

教職課程
資格講座

履修コード	006702
科目名	青少年指導演習
担当者名	西村 寛子

講義の到達目標(ねらい)	青少年への理解とその指導について、体験を通して実習を柱に学んでいく。その基となる基礎的な知識、学習と共に、人間関係の基となるコミュニケーションスキルが身に備わるよう、実習を通し取り組んでいく。
講義の内容／授業スケジュール	《前期》 1. 体験を通して学ぶ意味について 2. 青少年へのかかわり、指導とは－自らの体とところをほぐし、関わり易い環境づくりの実習 3. 実習を通して、自己理解を促進し指導・援助の基礎を学ぶ 4. 青少年期を発達的に概観して学ぶ。 《後期》 5. 話を聴く意味と実習 6. カウンセリングマインドを学ぶ－積極的関心や共感等について 7. 「私」のものがたりを理解していく 8. 事例を通して学ぶ－不登校、いじめ、反社会的行動等 9. まとめ
履修上の留意点	演習、実習を多く取り入れていく参加型の授業であるので、参加していく気持ちが重要である。毎回質問や感想を〔メモ用紙に〕記入提出してもらい、相互的な授業を行っていく。
成績評価の方法	出席状況、夏休み前、期末の年2回のレポート。
教科書／テキスト	必要な資料はプリントで配布する。
参考書	河合隼雄『カウンセリングの実践問題』(誠信書房) 河合隼雄『大人になることのむずかしさ』(岩波書店) 河合隼雄『昔話の深層』(福音館書店) 山下一夫『カウンセリングの知と心』(日本評論社)

履修コード	086101
科目名	青少年文化
担当者名	古関 <small>こせき</small> すま子 <small>すまこ</small>

講義の到達目標(わらい)

演劇や舞踊の持つ意味とはなんだろう。
いじめ、引きこもり、自殺など、現代の青少年の事件が起こるたびに、コミュニケーションのなさ、孤独の問題などが指摘される。体を動かし、お腹から声を出して、心と体の扉を開き深い感情を表現した時、自分は、人はどう変わるのだろうか。

講義の内容/
授業スケジュール

講義では古来、抑圧された集合的無意識の開放の場、祭、儀式として発展してきた演劇・舞踊の姿を学び、シェークスピア、歌舞伎、現代舞踊など古今東西の舞台芸術への知見を広げ、またその現代的意味を考える。講義は理論と実践の両面で進めます。

通年の講義で

- シェークスピア、歌舞伎などの演劇、舞踊を学ぶ。戯曲を読みセリフの心理的、歴史的意味を理解する。その一部の体験上演を行う。
- ビデオ鑑賞を行い鑑賞眼を養う。
- 身体感覚や表現力を高めるための、腹式呼吸・発声法・体を使った感情表現、ダンスの初歩などのレッスンを体験する。

これらと平行して

1)心理学や大脳生理学の基礎に触れ、意識と無意識の仕組み、心と体の関係などについて学ぶ。2)「集合的無意識のカタルシス」という演劇・舞踊の起源について学ぶ 3)現代の社会、教育と演劇・舞踊の関係について考察を深める。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

という作業を資料を用い、小レポートを書いてもらいながら進めます。
動ける服装で。積極的に楽しんでください。
出席日数。授業中の発表・レポート・実技の三つの総合点。
『ハムレット』(ハムレット著、福田恒存訳、新潮文庫)およびプリント。
授業中に指示するが多くはプリント。

履修コード	006602
科目名	青少年問題研究
担当者名	讃岐 真佐子

講義の到達目標(ねらい)

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶことを目的とする。現代は不応状態や問題が長引く傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型へ、さらに言語で訴えるよりも身体の症状として現す等、様々な変化が見られるように思う。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係を持ち、どのような人(大人)と出会うかが決定的に重要な意味をもつと思われる。この講義では、講師の約20年余にわたる臨床心理士としての経験と共に、この時期の青少年に起こり得る諸問題を、発達や事例に則して生き生きと学んでみたいと思う。

講義の内容
授業スケジュール

- (1) 導入：この一年間の講義の進め方
 - (2) 現代の青少年が抱える「諸問題」の特徴について
 - (3～4) カウンセリングの定義、及び「ことばの多義性」を巡って
 - (5～15) 様々な観点から、不登校、友人関係(いじめ)、少年非行などの各テーマ毎に、その概念や事例を中心に学んでいく
 - (16～21) この時期に生じ得るいくつかの症状(対人恐怖、ひきこもり、摂食障害など)について、事例やビデオ視聴などを通して具体的に学んでいく
 - (20～25) 知っておきたい思春期以降の心の状態に関する基礎知識
 - (26～30) 知っておきたい思春期以前の心の状態に関する基礎知識(いわゆる「発達障害」も含む)
- ・ただし上記内容は、その時の授業の流れや重点の置き方によって前後することもある。
・またこの授業では、今現在私たちが生きて暮らしているこの社会において起こっている、決して看過できない諸問題についても、ビデオ教材等を適宜視聴し、共に考える時間を持ちたいと思う。(たとえば昨年度は“高齢者の失踪”“子どもへの虐待”など)

履修上の留意点

授業は講義中心となるだろうが、その日の内容への感想や質問を毎回書いて提出してもらおう。そして必ず次回授業の最初に、前回の感想等で受講生全員で共有したい内容や、講師の心に残ったものを読み上げ(氏名は読まず、匿名性を保持する)、また質問などに適宜答えていきたいと思う。この毎回の作業を通して、受講生同士のフィード・バックも(間接的ではあるが)自ずと進んでいくように思う。また出席状況と共に、授業態度も重視する。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

- 出席状況、筆記試験、夏休みレポート、受講態度
必要な資料は適宜配布する。
- 岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』(岩波書店)
河合隼雄著『カウンセリングを語る(上下)』(講談社の+a文庫)
河合隼雄著『大人になることのむずかしさ』(岩波書店)
河合隼雄著『日本人の心のゆくえ』(岩波書店)
小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』心理臨床の実際2(金子書店)
季刊『仏教——特集癒し』No.31(法蔵館)

教職課程
資格講座
科目

履修コード	086401
科目名	成人学習論
担当名	荒井 隆 <small>あらい たかし</small>

講義の到達目標(ねらい)

生涯学習時代といわれる今日、私たちは成人学習の具体的な姿を身近に見られるようになりまし
た。しかし、大学生の立場からは成人学習の実感はずしも十分にもてないのではないかと思います。
講義では大人が学習する意義をはじめ成人学習の理論的な面と具体的な成人学習の実態にふれ、
皆さんが実感を伴って成人学習を理解できるようサポートします。特に具体的な成人学習の実態編
では、自分史、家庭教育論、識字という分野に焦点を当て、私の教育実践をふんだんに交えて臨場感
ある成人学習の実際に触れていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

第1～5回：子どもの学習と比較した成人の学習、成人学習の様々な姿、第6～15回：成人学習の
諸形態（学習の提供主体—行政・大学等公開講座・民間事業者・市民団体・企業内教育、成人学習の
奨励策—教育訓練給付・教育有給休暇・バウチャー制度）、第16～20回：成人の学習事例（1）～
自分史、第21～24回：成人の学習事例（2）～家庭教育論の系譜、第25～29回：成人の学習
事例（3）～文字を獲得する学習＝識字、第30回：成人の学習のあり方

準備学習

本授業は、成人学習の理論を深めるとともに、大人が学ぶ実際に受講生の皆さんが触れることを目指
しています。したがって、授業期間中は、ホームページの閲覧も良いですが、それだけでなく公民館
の事業参加や見学等により、できるだけ成人学習の実際に触れる機会を作れば、授業の効果は大き
くなると思います。

履修上の留意点

実践に基づく授業です。本からの理解と若干異なり、成人学習の現実から学ぶ方法を重視します。
学校教育とは趣きの異なる大人の学習の世界を知ることは、自らの生涯学習を考える糸口ともなり、
今後の人生にも役立ちます。

成績評価の方法

少人数の授業の利点を生かし、プレゼンテーションや対話を取り入れるなどの工夫をしますので、
コミュニケーション能力の向上が期待できます。受け身にならず、自分から積極的に準備学習をし
たり授業で発言するなどにより、期待以上の手応えを感じる授業となります。

教科書／テキスト

授業内試験、通年レポート、出席と授業態度（各3割）、夏季課題（1割）をもとに総合的に評価し
ます。

参 考 書
そ の 他

特に使用しません。
講義に関連する参考書を随時紹介します。
卒業後に生きて働く力を身につけることを目指します。

履修コード	079401・079901・080001
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当名	遠藤 司 <small>えんどう つかさ</small>

講義の到達目標(ねらい)

生徒指導、ならびに進路指導の名のもとに、現在の学校で様々な教育的営みが行われている。生徒の
成長を支える重要な関わりであるこれらの指導について、将来教職に就くことを目指している人間
として、その意味を改めて問い直し、無意識のうちに既にもっているであろう自らの生徒指導観、お
よび進路指導観をとらえ直した上で、より豊かに深めていくことがこの授業の目的である。

講義の内容／
授業スケジュール

1. ガイダンス1：生徒指導観を考えるための視点（その1）
2. ガイダンス2：生徒指導観を考えるための視点（その2）
3. 生徒指導の理論について学ぶ：概観
4. 生徒指導の理論について学ぶ：生徒指導の方法について
5. 生徒指導の理論について学ぶ：生徒理解について
6. 生徒指導の理論について学ぶ：まとめ
7. 問題行動について考える：概観
8. 問題行動について考える：いじめについて
9. 問題行動について考える：不登校について
10. 問題行動について考える：まとめ
11. 進路指導について考える：概観
12. 進路指導について考える：進路指導の方法について
13. 進路指導について考える：青年期について
14. 進路指導について考える：まとめ
15. 全体のまとめ

履修上の留意点

主体的・積極的に授業に参加すること。授業時に授業者により発せられる様々な問いに対して自分
の言葉で考えようとする。ほぼ毎回の授業で授業者の問いについて考えたことを書く機会を作
るが、それに対しては誠実に真剣に考え、自分の言葉で文章にすること。要するに、考えることを厭
わない学生の参加を望む。

成績評価の方法

授業期間内の試験またはレポート（50点）、および学期末のレポート（50点）により成績評価を行
う。なお、授業への参加の仕方の積極度、また、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場
合もある。

教科書／テキスト

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

履修コード	080101
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	川原 誠司

講義の到達目標(ねらい)

●生徒を指導するとはどういうことか、生徒指導を行っていく上で必要なことは何かを、様々なことの喩えを通して理解し、前提となる発達の知識を見通していく。その上で、多くの教員が困難を招く、指導の際のコミュニケーションのありよう（の問題）について理解する。

講義の内容／
授業スケジュール

●正式なスケジュールは、授業期間や受講生数が定まってから、下記のもの（予定）を調整していきますので、必ず授業時の指示に従ってください。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 生徒指導のイメージ〔喩え〕（1）
- 第3回 生徒指導のイメージ〔喩え〕（2）
- 第4回 生徒指導のイメージ〔喩え〕（3）
- 第5回 生徒指導に必要な発達の知識（1）
- 第6回 生徒指導に必要な発達の知識（2）
- 第7回 生徒指導に必要な発達の知識（3）
- 第8回 指導の際に生徒と対立するコミュニケーション上の問題（1）
- 第9回 指導の際に生徒と対立するコミュニケーション上の問題（2）
- 第10回 『教師学』からの教師－生徒コミュニケーションの検討（1）
- 第11回 『教師学』からの教師－生徒コミュニケーションの検討（2）
- 第12回 『教師学』からの教師－生徒コミュニケーションの検討（3）
- 第13回 『教師学』からの教師－生徒コミュニケーションの検討（4）
- 第14回 『教師学』からの教師－生徒コミュニケーションの検討（5）
- 第15回 まとめ

準備学習

●事前知識等は特に要求しません（標準的（？）な学力や思考力は求めますが）。それよりは授業を聴く姿勢と態度とを求めます。

履修上の留意点

●最初の授業で受講人数を把握して、できるだけ班編制を行う予定ですので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。講義形式だけにとどまらないようにさまざまな形態で授業を進めていくことを考えています。

●本授業はe-Learning (YeStudy) を用いて予習、復習を実施するので、その操作の意志があること。
●授業に出席すること、授業をしっかりと聴くことのみならず、班作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加すること。なお、携帯電話の使用は禁止しますのでカバンなどにしまってください（机に出したり、机の下で隠れて操作しないこと）。

成績評価の方法

●授業の最初に出席を兼ねた確認小課題を実施しますので、事前の指示に従ってください。

●「試験（持ち込みは一切不可）＋平常点等」を考えています。

●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。また、配点の比率については正式には授業を進めていく中で決定しますが、「試験：平常点等＝10：3～4」くらいを考えています。

教科書／テキスト

●特定の本一冊を使用する形はとらない予定です。しかし、毎週必要な文献を読んだり、調べてくる課題等が出ますので、何も読まなくてもよいということではありませんので、十分に注意してください。

参考書
その他

●必要なものがあれば、授業中に呈示します。

●多くの学生が後期の授業まで通年登録しているようです。しかし、後期で行う授業アンケートをみると、満足しない学生もいるようです。大変な授業と思うからでしょうか。「授業に出さえすれば教職単位は何とかなる」と思っている学生には決して向きませんので、履修登録の際には十分にご注意ください。

教職課程
資格講座
科目

履修コード	305801
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	慶野 遥香

講義の到達目標(ならい)	生徒指導は、生徒の人格を成長させ、個性を伸ばすことを目的に、学校教育活動のあらゆる営みを通じて行われる。この講義では、生徒理解に関する諸理論や発達の観点、教育現場での問題を取り上げながら、どのように生徒を理解し、かわることが望ましいかを、自分自身で、その場その場で考えていけるようになることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：イントロダクション、第2回～4回：生徒指導とは何か、第5回～7回：生徒の理解（思春期・青年期の心理的特質と発達課題、性格の心理学）、第8回：生徒指導の方法、第9回～10回：進路指導、第11回～第15回：学校現場の問題（学校現場における問題行動、不登校、いじめ）
準備学習 履修上の留意点	各回の授業内容の復習を行っておくこと。 教職課程であるため、出席は毎回とります。授業は講義形式が基本ですが、学生同士が話し合ったり、ワークをする時間も取り入れますので、積極的な参加を望みます。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	学期末試験（7割）とレポート（3割）を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。教科書は指定しません。 授業の中で、関連のある書籍を適宜紹介します。

履修コード	079301・079701・079801
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	佐藤 尚人

講義の到達目標(ならい)	教科の学習指導はもちろんのこと、教師には、生徒が抱える様々な問題への対応も求められます。生徒の理解やさまざまな問題における指導の方法、その際の注意点などについて講義していきます。中学校・高等学校での進路指導のポイントや具体的なやり取りについても見ていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回はじめに：本講義の説明・参加の際の注意事項、成績評価など 第2回・第3回生徒指導の基本的考え方：教師の役割や子どもの問題行動の理解 第4回～第9回子どもの理解と指導の手がかり：エリクソンの発達段階・課題の考え方を参考に 第10回・第11回具体的な問題行動を考える：不登校・いじめ・非行などの理解と対応 第12回・第13回問題行動への対応・指導の方法 第14回進路指導について考える 第15回まとめ：生徒指導において大切なこと
準備学習 履修上の留意点	今回の内容の説明と次回までの課題を、授業中に適宜指示します。 毎回出欠を確認し、欠席や遅刻が一定以上になった場合は評価の対象から除外します。受け身での受講ではなく、今回の授業内容について事前に調べたり、講義の内容を事後に確認するなどしてください。
成績評価の方法	出席状況が佳良（4回以上の欠席の場合は、原則として評価対象から除外します）で、評価対象となった受講者について、期末の筆記試験の点数をもとに評価します。ただし、発言や質問、事前学習など、授業への積極的な参加態度をプラスして最終的な評価を出します。
教科書／テキスト 参 考 書	使用しません。 特に指定しません。必要に応じて、講義の中で適宜紹介します。

履修コード	079501・079601
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	目良 秋子

講義の到達目標(ねらい)

生徒指導は学業、社会性、道徳性、進路などの諸領域の指導を統合するものと考えられます。学校教育活動においてこうした統合的な生徒指導は生徒の個性を尊重・伸張しつつ、社会的資質・行動を高めるといふ方向性を持って行われます。しかし、児童期・青年期は発達的に変化の大きい時期であると同時に、子どもたちの問題も複雑・個性性を伴っているため生徒指導に必要な生徒理解が困難な場合があります。そこで、この授業では児童期・青年期において重要と思われる自己意識の発達とアイデンティティの達成というテーマから生徒理解を深めます。また、進路選択は青年期における重要な課題であるため、指導上留意すべき点について最近の職業選択に関わる諸問題と合わせて講義を行う予定です。

講義の内容／
授業スケジュール

1回目：ガイダンス及び生徒指導論概説—生徒指導の意義について—
2～3回目：生徒指導論概説—生徒指導の諸側面について・生徒指導の歴史—
4回目：生徒理解の意義とその方法
5～8回目：児童期・青年期の自己の発達と適応およびアイデンティティの発達と危機
9～11回目：学校教育における生徒指導の現状と問題
12～13回目：進路指導概説—フリーター・ニートの現状と要因と進路選択からみた青年期の問題と留意点—
14回目：教師としての成長・発達とバーンアウト
15回目：総括

履修上の留意点

教職課程科目であるため出席は毎回とり、評価においても重視します。また、授業期間内に数回のレポート提出があります。

成績評価の方法

学期末試験（8割）と授業内レポート課題（2割）を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。

教科書／テキスト

必要に応じて資料を配布します。

参 考 書

授業で適宜紹介します。

そ の 他

授業は講義形式で行います。

履修コード	046912
科目名	西洋文化史
担当者名	田中 佳

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、ヨーロッパの歴史の中で文化にかかわるテーマを取り上げ、近年の文化史、社会史の成果に依りながら考察を加える。今年度、集中して扱うのは、美術館を中心とする美術と社会の問題である。ヨーロッパ史への多角的な理解を深めるばかりでなく、今日の社会・文化現象についての歴史的関心を養い、既存の概念やシステムを批判的に再検討するきっかけを提供することを目的とする。（前期）(1)イントロダクション (2～3)文化史の課題と方法 (4) アンシャン・レジームの美術と社会 (5) コレクションの形成・発展 (6) 市場の確立と流通—競売会の発展 (7) 展覧会の誕生 (8) 展覧会見学 (9)「美術書」の誕生と複製の制作 (10)「美術史」の形成 (11)「公衆」の台頭と批評の増大 (12～14) 習俗の涵養と美術 (15) 中間試験
（後期）(16～18) 美術館の起源 (19～20) パリ・ルーヴル美術館 (21) 美術館見学 (22～26) ヨーロッパの美術館の創設 (27) アメリカの美術館の創設 (28～29) 日本への美術館の「輸入」 (30) 総括
講義内容をふまえたうえで、自ら問題意識を持ち、考察を深めてほしい。

履修上の留意点

成績評価の方法

平常点(小テスト、提出物等を含む)：20%
中間試験：40%
期末試験：40%
により評価する。

教科書／テキスト

テキストはとくに指定しない。

参 考 書

授業内で随時紹介する。

履修コード	044202
科目名	世界史概説
担当者名	井村 行子

講義の到達目標(ねらい) 西洋史を中心に古代から現代までの世界史の概要を把握する

講義の内容／
授業スケジュール 第1回 世界史とは何か
第2回 古代オリエント
第3～5回 古代
第6～9回 中世
第10～14回 近世
第15回 前期試験
第16～21回 長い19世紀
第22回 ラテンアメリカ
第23～30回 短い20世紀

成績評価の方法 前期・後期の筆記試験の成績と授業内に行う小レポートを合わせて評価する

教科書／テキスト 『世界史B 改訂版 100テーマで見る世界の歴史』（清水書院）

履修コード	305001
科目名	世界史概説
担当者名	見城 光威

講義の到達目標(ねらい) 東アジア世界の歴史展開の概略を習得することを第一とする。が、その一方で教科書に見られる歴史叙述が必ずしも絶対なものではなく、多様な歴史観が存在することも会得する。そして、その延長として独自の史観を創出する素養を身につけることを最終の目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール 第1回 : 歴史を学ぶにあたって
第2～3回 : 中華文明の発展——夏殷周・春秋戦国——
第4～7回 : 統一国家の樹立——秦漢・三国・魏晉南北朝——
第8～14回 : 多民族国家の発展——唐宋元明清——
第15回 : 前期試験
第16回 : 清代後期——沈淪と覚醒——
第17～20回 : 中華民国——戦乱と建設——
第21～23回 : 新中国——摸索と発展——
第24～26回 : 朝鮮半島の歴史
第27～29回 : 東南アジアの歴史
第30回 : 後期試験

履修上の留意点 積極的な質問、およびディスカッションを望む。

成績評価の方法 前期・後期2回の試験で評価（出題は教科書を中心とする）

教科書／テキスト 歩平・劉小萌・李長莉著、鈴木博訳『若者に伝えたい 中国の歴史』2008年刊、明石書店、1800円
978-4-7503-2840-9、および随時補充プリントを配布。

履修コード	056502
科目名	世界史概説
担当者名	小林 惣八

講義の到達目標(ねらい) 当該科目は、教職科目と必修科目の二面性を持っている関係上専門的知識を要求しながらも基礎基本的な歴史の見方や考え方にも主眼を置く科目である。
「中国王朝史の終焉」に目標を設定し、1912年清朝宣統帝溥儀が退位するまでを中国側とヨーロッパ側両面から解き明かすことを狙いとする。

講義の内容／
授業スケジュール 第1回：本講義の概要、第2回～3回：中国史概観、第4回～12回：中国王朝史の歩み、
第13回～14回：ヨーロッパ古代史概観、第15回～16回：ヨーロッパ中世史概観、第17回～
22回ヨーロッパ近代史概観、第23回～ヨーロッパ諸国のアジアへの進出。

準備学習 講義終了後毎回レポート課題を課す。これは、課題処理によって歴史の歩みの前後関係をよりの確に把握するためのものです。

履修上の留意点 「継続は力なり」根気強く取り組む姿勢を求める。

成績評価の方法 前期・後期のレポート提出と試験・出欠状況の総合評価とする。

教科書／テキスト 特別定めないが、世界史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを勧める。

その他 出席を重視する。

履修コード	006102
科目名	禪美術
担当者名	<small>むらまつ てつみ</small> 村松 哲文

講義の到達目標(ねらい)	禪宗では、はじめ偶像を崇拝せず、自己の内面に仏性を悟ることを旨としていた。そのため仏像や仏画などが制作されることはなかったが、宋代になると僧侶たちが余暇に水墨画を描くようになり、これが宮廷の庇護を受けるなどして職業画家まで出現するようになる。描かれた題材は、山水・花鳥・祖師などで、これらを総称して禪絵画という。日本では、留学僧によって鎌倉時代に禪絵画が伝わり、ついには日本独自の水墨画を完成させた。
講義の内容／授業スケジュール	本講義では、絵画を中心に話を進めるが、彫刻や墨蹟、庭園などについても触れてゆきたい。そして、作品に見え隠れする制作者の宗教性と美意識を考察したい。 講義ガイダンスと宋代の社会と仏教(1～3)、北宋の絵画(4～7)、南宋の絵画(8～11)、元の絵画(12～15)、鎌倉時代の絵画(16～19)、室町時代の絵画(20～23)、枯山水の庭園(24～25)、頂相彫刻(26～28)、禪宗の建築と美意識(29～30)
準備学習	図書館に行き、禪美術関連の書籍を何冊か読んでおくと、講義内容が理解しやすいと思うので、時間のあるときには是非通読しておいてほしい。
履修上の留意点	講義内容を留めるのみならず、講義の際に映すスライドなどもしっかり観察すること。また美術館・博物館に行き、実物を観察する機会を多くつくること。
成績評価の方法	定期試験、出席率、レポートなどで総合的に評価する。
教科書／テキスト	プリントを配布する。
参考書	参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

履修コード	081501・306001
科目名	総合演習Ⅰ(環境・地域)
担当者名	<small>きたむら かずお</small> 北村 和夫

講義の到達目標(ねらい)	環境問題が現代社会のあり方の根本的な問い直しを迫っていることを理解するとともに、そうした考察を学校での環境教育に活かすにはどうしたら良いかを考える。
講義の内容／授業スケジュール	授業の概要 環境問題について現在何が問題になっているかを明らかにするとともに、過去の環境思想家が何を考えていたかを学び、環境問題に対する見方を豊かにする。その上で、それをどうしたら学校教育で具体化できるかを考える。 授業計画 第1回：オリエンテーション 第2回：環境問題で今何が問題とされているか 第3回：江戸の暮らし 第4回：近代社会と環境問題 第5回：南方熊楠 第6回：田中正造 第7回：レイチェル・カーソン 第8回：ヘンリー・ソロー 第9回：ディープ・エコロジー 第10回：未開社会の人々の環境論 第11回：環境教育の現状と問題点 第12回：エコロジカル・リテラシー 第13回：エントロピー 第14回：共生 第15回：まとめ
履修上の留意点	話の流れを全体として理解すること。
成績評価の方法	試験。いくつかのテーマについて、授業中話された内容をまとめるとともに、それについての自分の考察を書く。前半の正確さと後半の独自性を評価する。
教科書／テキスト	北村和夫『環境教育と学校の変革—ひとりの教師として何ができるか』(農山漁村文化協会)2000年 2,900円(税込) ISBN-4-540-99291-0、その他に授業中にたくさん紹介する。

履修コード	081601・306101
科目名	総合演習Ⅰ(環境・地域)
担当者名	<small>きたむら かずお</small> 北村 和夫

講義の到達目標(ねらい)	地域という視点が生活について考える上で不可欠であることを、多面的に考える。
講義の内容／授業スケジュール	現在、地域の衰退が問題となるとともに日常生活ではあまり地域を意識しないようになっているが、そうなった歴史を振り返るとともに、今後どのような可能性があるかを考える。 授業計画 第1回：オリエンテーション 第2回：国民国家の成立と地域 第3回：地方自治体の歴史 第4回：地域と学校Ⅰ(明治・大正) 第5回：地域と学校Ⅱ(昭和・平成) 第6回：高度経済成長 第7回：地域再生 第8回：地元学 第9回：有機農業 第10回：車社会 第11回：身体論Ⅰ(生物学的観点から) 第12回：身体論Ⅱ(社会科学的観点から) 第13回：景観 第14回：共同体論 第15回：まとめ
履修上の留意点	話の流れを全体として理解すること。
成績評価の方法	レポート。いくつかのテーマについて、授業中話された内容をまとめるとともに、それについての自分の考察を書く。前半については正確さ、後半については独自性を評価する。
参考書	結城登美雄『地元学からの出発』農文協 2009年 2600円+税、毎回何冊か紹介する。

履修コード	082101
科目名	総合演習Ⅱ（生活・人権）
担当者名	ひろさわ みさら 広沢 明

講義の到達目標(ならい)	本演習においては、「教育と法律」にかかわる諸課題についての分析・検討を通じて、現実には生起する教育問題に対する理解力を深めることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス及び分担決め 第2回：報告の準備 第3～14回：学生の報告と討論 第15回：講評およびレポート提出
履修上の留意点	「教育と法律」に関する諸問題の中から、各受講生が報告テーマを決め、報告・討論を行う形で演習を進める。教育問題に関心が深くかつ討論に積極的に参加する意欲のある学生の参加を希望する。第1回の授業で分担割りを決めるので、必ず出席すること。事前に連絡なく第1回目の授業を欠席したものは履修を認めない。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	平常点（出席・報告内容・発言等）及びレポート試験で評価する。 特に使用しない。 広沢明他『ガイドブック教育法』（三省堂）、『解説教育六法2011』（三省堂）、永井憲一編『憲法と教育人権』（日本評論社）、藤田英典編『誰のための「教育再生」か』（岩波書店）、米沢広一『憲法と教育15講（改訂版）』（北樹出版）、結城忠編『教育法規300の基礎知識』（明治図書）。
そ の 他	この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082201
科目名	総合演習Ⅱ（生活・人権）
担当者名	ひろさわ みさら 広沢 明

講義の到達目標(ならい)	本演習においては、「子どもの人権」にかかわる諸課題についての分析・検討を通じて、現実には生起する教育問題に対する理解力を深めることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス及び分担決め 第2回：報告の準備 第3～14回：学生の報告と討論 第15回：講評およびレポート提出
履修上の留意点	「子どもの人権」に関する諸問題の中から、各受講生が報告テーマを決め、報告・討論を行う形で演習を進める。教育問題に関心が深くかつ討論に積極的に参加する意欲のある学生の参加を希望する。第1回の授業で分担割りを決めるので、必ず出席すること。事前に連絡なく第1回目の授業を欠席したものは履修を認めない。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	平常点（出席・報告内容・発言等）及びレポート試験で評価する。 特に使用しない。 広沢明他『ガイドブック教育法』（三省堂）、『解説教育六法2011』（三省堂）、永井憲一編『憲法と教育人権』（日本評論社）、藤田英典編『誰のための「教育再生」か』（岩波書店）、米沢広一『憲法と教育15講（改訂版）』（北樹出版）、結城忠編『教育法規300の基礎知識』（明治図書）。
そ の 他	この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	081901・082001
科目名	総合演習Ⅲ（福祉・ボランティア）
担当者名	<small>のなか ひろとし</small> 野中 弘敏

講義の到達目標(ねらい)	本演習では、心理的困難を抱える人々への臨床心理学的援助の事例を通じて、これら困難の様相、またそこに生じた症状や苦痛の意味を当事者の経験に即して理解していく、という試みを、参加者と共に重ねていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) 本演習の内容と進め方に関するオリエンテーション (2) 構成的グループエンカウンター体験／事例報告担当の決定 (3) カウンセリング・心理療法の考え方 (4) 臨床心理学的アセスメントの体験的理解 (5～15) 概要・事例報告及びディスカッション (不登校・いじめ・軽度発達障害・非行・児童虐待・保護者への対応・不安障害・摂食障害・境界性人格・うつ・統合失調症)
履修上の留意点	初回は授業の進め方を詳しく説明します。各自の受講継続の判断のためにも必ず出席してください。 5回目以降は配布するテキストに即した事例報告及び話し合いを中心に進めます。報告は全参加者が最低1回担当します。参加者は各回終了までにコメントを書いて提出します。 参加者全員が各回のテキストを予め熟読した上で参加すること、そして授業の中では各自の経験も振り返りながら、真摯に読み、聴きいることを求めます。
成績評価の方法	事例報告の内容・各回の授業内課題・各回の討論への参加を基本に評価します。
教科書／テキスト	授業内でプリントを配布します。
参 考 書	随時紹介します。
そ の 他	参加人数にもよりますが、概ねいわゆる輪講形式となります。

履修コード	082301
科目名	総合演習Ⅳ（健康・人間）
担当者名	<small>やなぎほり すがこ</small> 柳堀 素雅子

講義の到達目標(ねらい)	人間は生と死の問題をどのように考えてきたのかを、さまざまな視点から考えていく。中心となるテーマは、日本の教育現場において生と死の問題はどのように教えられてきたのかを、自分の経験を基盤にして分析していく。自分の体験をもとに、実際の教育現場で役に立つような授業内容を追求していくことを目的とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	1回アメリカのデス・エデュケーション。2回ヨーロッパのデス・エデュケーション。3～4回日本の教育現場におけるデス・エデュケーションの状況を調べて報告する。5～6回日本のデス・エデュケーションの内容の検討。7回日本のデス・エデュケーションのあり方を探る。8～9回日本の戦争と教育の問題を歴史的に分析していく。10～11回日本の平和教育の状況を調べて報告する。12回日本の平和教育の状況を調べて報告する。13～14回参加者全員で討論と報告をし、結論を出す。15回まとめ。
履修上の留意点	自分で調べて討論に参加しなければならない。そのための学習努力をしてもらいたい。
成績評価の方法	人数が少ないので、レポート課題や出席日数、討論の状況などをすべて総合的に評価する。
教科書／テキスト	使用しない
参 考 書	授業中に必要に応じて紹介する。

履修コード	082401
科目名	総合演習Ⅳ（健康・人間）
担当者名	<small>やなぎはらひ すがこ</small> 柳埜 素雅子

講義の到達目標(ねらい)	バイオエシックスとキリスト教の関係を欧米の文献を中心に考察していく。1960年代にアメリカで始まったバイオエシックスは、キリスト教を背景にもつアメリカで独特の形で展開されていく。バイオエシックスは、ベトナム反戦運動、公民権運動などとともに、市民の権利獲得運動の一つとして始まった。「患者の権利」を主張して始まったバイオエシックスが、いかにキリスト教的死生観から離れていったのかを、思想的側面、社会的な側面から分析していく。最終的に、バイオエシックスは何のために存在するのかを考えることが、講義のねらいである。
講義の内容／ 授業スケジュール	1回バイオエシックス創立期の状況。2回～3回バイオエシックス創立期の研究者たちの考え方。4～5回バイオエシックスの問題に対する肯定的見解。6回バイオエシックスの問題に対する否定的見解。7～8回キリスト教とアメリカ社会について。9回バイオエシックスとキリスト教の関係。10回ヨーロッパにおけるバイオエシックスの状況。11～12回ヨーロッパにおけるバイオエシックスとキリスト教の関係。13回日本人はバイオエシックスをどう考えているか。14回日本人としてバイオエシックスとキリスト教の関係をどのように考えるか？。15回まとめ。
履修上の留意点	キリスト教については知識のある人もない人も、自分で調べてわからない点は質問して理解するように努力すること。医療の問題についても知識を得るように努力すること。
成績評価の方法	与えられたレポート課題の内容と討論の状況など、人数が少ないので、平常点も含めて評価します。欠席すればすぐにわかるので不可になります。
教科書／テキスト 参 考 書	使用しない 神田健次編『講座現代キリスト教倫理 1 生と死』（日本基督教団出版局）2750円プラス税 ISBN4-8184-0351-2 木村利人『いのちを考える』（日本評論社）2000円＋税 ISBN4-535-57671-8 木村利人『自分のいのちは自分で決める』（集英社）1500円＋税 ISBN4-08-781195-6 ホアン・マシア「脅かされるいのち」（オリエンズ宗教研究所）1600円プラス税 ISBN4-87232-031-xc0012
そ の 他	この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

教職課程
英語科目

履修コード	082811・082821
科目名	総合演習Ⅴ（国際理解・情報）
担当者名	<small>おおいし まさ いくこ</small> 大浜 幾久子

講義の到達目標(ねらい)	「平和のための教育は可能か」をめぐる、諸メディアからの情報を参考にしつつ、考えていく。そのことを通して、中学校・高等学校で「総合的な学習の時間」を担当する力量の形成をめざす。
講義の内容／ 授業スケジュール	はじめに、下記の2冊の参考書を読む。その後は、受講生自身が、「平和のための教育」につながる「総合的な学習」を個人または数人のグループで展開し、その成果を発表する。 第1回：インターネット上に公開されている「総合的な学習の時間」の実践記録を検索し、興味をひかれた実践記録のレジュメを作成。 第2・3回：『良心的兵役拒否の思想』を読む。①「平和」を考えるとときの「思想」の位置づけについて討論する。②総合学習における「思想」の位置づけを考える。 第4・5回：『15歳が受け継ぐ平和のバトン：祖父母に聞いた235の戦争体験』を読む。①自分の身の周りから総合学習を展開することについて討論する。②「情報」と「物語」の違いについて、討論する。 第6回：中学校または高等学校における「総合的な学習の時間」の指導実践を想定し、対象学年、期間、テーマ、学習の展開方法を選定する。 第7回：前回選んだテーマ等を発表し、必要、希望に応じ数人のグループをつくる。 第8～11回：個人またはグループで、「総合的な学習の時間」を展開する。①中学生・高校生のレベルを想定。②様々なメディアの特性に留意。③中間発表。感想、意見、情報交換。④プレゼンテーション準備。 第12～15回：各人またはグループによる「総合学習」の発表。パソコンのプレゼンテーションソフトを活用する。質疑応答、討論の時間もとる。 プレゼンテーションに向け、毎回、参考文献・資料を探すことが必要である。 必要に応じて、英語をはじめとする外国語の文献も読んでいく。 履修にあたっては、英語の学習を（できれば他の外国語の学習も）積極的に続けていく意思が明確であることが求められる。 出席状況と、学期末の個人またはグループの研究発表による。 指定なし。 阿部知二著『良心的兵役拒否の思想』（岩波新書）1969年 女子学院中学校『祖父母の戦争体験』編集委員会編『15歳が受け継ぐ平和のバトン：祖父母に聞いた235の戦争体験』（高文研）2004年
準備学習 履修上の留意点	
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	

履修コード	041102
科目名	第四紀学
担当者名	すずき たけのこ 鈴木 毅彦

講義の到達目標(ねらい)

第四紀とは最近約260万年間（2009年度に、それまでの約180万年前から260万年前へと、第四紀の開始を古くすることすることが正式に決定された）の地質時代をさす。この時代は、地形、気候、動植物、人類などが現在みられる姿となった時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは、人類の動向も含めた地球の将来予測につながる。本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での現象と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容／
授業スケジュール

講義前半では第四紀の各種基礎的概念を解説、後半では日本列島の第四紀の主要な現象のうち、地形発達、火山活動、第四紀地殻変動などに焦点をあてる。(1-2)第四紀の概要と学際科学としての第四紀学の特徴、(3)氷期の認定に関する歴史、(4)大陸氷床拡大の発達との証拠：ビデオを用いる、(5)氷河期と氷期の区別：新生代氷河期と第四紀の開始、(6-7)氷河性海面変化からわかる氷期・間氷期サイクル、第四紀海面変化の復元（日本列島および関東地方を例として、沖積層と更新世海成段丘）、(8-9)海洋底堆積物、酸素同位体比変化から復元される氷期・間氷期サイクル、(10)氷期・間氷期サイクルの原因とミランコビッチサイクル、(11)100-1000年スケールの急激な気候変動：D/Oサイクルと氷床コア研究、(12)地球上各域における第四紀の気候変化、(13-14)第四紀の古地磁気編年とレス編年、(15)数値年代と放射年代、(16-17)第四紀の火山活動、(18-20)火山噴火の多様性、(21-24)第四紀のテフロクロノロジー：原理、日本列島および関東地方における応用例、(25-28)第四紀地殻変動、活断層、山地形成、日本列島および関東地方における事例、(29-30)第四紀における自然環境と人類の歴史

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

講義中に高校等で使用する地図帳を用いることがあるので、常に持参してもらいたい。

主には前期末のレポートと後期末の筆記試験で評価する。追試験は実施しない。

教科書は特に指定しない

参考書として、日本第四紀学会編『デジタルブック 最新第四紀学』、町田ほか編『第四紀学』（朝倉書店）、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）、成瀬『第四紀学』（岩波書店）をあげる。それ以外は講義中に紹介する。

そ の 他

授業の方法：講義、なお時間等が許せば日帰りの野外巡検を行う予定である。

教職課程
資格講座
科目

履修コード	065902
科目名	地域福祉論
担当者名	川上 富雄

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、今日的な福祉理念の理解、およびそれを具現化した制度・事業・実践等に関する知識の獲得をはかり、地域福祉時代のソーシャルワーカーに求められるセンスの涵養をねらいとする。具体的な講義の柱は以下の通り。

- (1) 今日的な福祉理念と地域福祉の考え方に関する理解を深める。
- (2) 様々な地域福祉活動およびその推進方法に関する理解を深める
- (3) 地域自立生活を支える様々な制度に関する理解を深める。
- (4) 地域福祉を推進する様々な機関・施設・団体に関する理解を深める。

なお、講義は高度かつ実践的内容になるので、テキスト等の事前通読を必須とする。各自充分な予習をして講義に臨んでほしい。併せて、本科目は社会福祉士国家試験指定科目ということもあり、試験内容も考慮した水準の講義を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 地域福祉と生活問題～福祉制度と地域自立生活の狭間～
2. 今日の福祉理念と地域福祉の概念
3. 地域福祉の歴史
4. 地域社会の変容とコミュニティ／コミュニティ政策①
5. 地域社会の変容とコミュニティ／コミュニティ政策②
6. 社会福祉における住民・利用者参加の意義と課題
7. 住民・利用者参加活動の形態と組織①～コミュニティ型
8. 住民・利用者参加活動の形態と組織②～アソシエーション型
9. 住民・利用者参加活動の形態と組織③～コミュニティビジネス／社会的企業
10. NPO・ボランティア活動とその支援（ボランティアセンターの役割）
11. 社会福祉協議会の歴史・使命・活動・経営①
12. 社会福祉協議会の歴史・使命・活動・経営②
13. 社会福祉協議会の実践～地域を基盤としたソーシャルワーク①
14. 社会福祉協議会の実践～地域を基盤としたソーシャルワーク②
15. 在宅福祉サービスの歴史と現状および地域包括支援センターの誕生
16. 福祉情報化と福祉教育の推進
17. 地域福祉推進における国・地方自治体の役割・関係
18. 地域自立生活を支える仕組みⅠ～成年後見制度①
19. 地域自立生活を支える仕組みⅠ～成年後見制度②
20. 地域自立生活を支える仕組みⅡ～日常生活自立支援事業①
21. 地域自立生活を支える仕組みⅡ～日常生活自立支援事業②
22. 苦情解決システムと第三者評価事業
23. 福祉計画の系譜と地域福祉計画・地域福祉活動計画
24. 民生委員制度と民生委員活動①
25. 民生委員制度と民生委員活動②
26. 地域福祉における社会福祉施設の役割（施設の社会化）
27. 地域福祉を支える財源～公費・財団・共同募金
28. 利用者主体・地域自立生活を支える供給システムのあり方（トータルケアシステム）
29. 地域福祉と生活問題～福祉制度と地域自立生活の狭間～再考
30. まとめ

準備学習

テキストおよび参考図書を通読

履修上の留意点

地域福祉論は、他の分野論・各論系科目の横断科目的な性格が強い。児童・障害・高齢者・社会保険・生活保護分野等の制度や対象者像、利用の仕組み、施設やサービス等についての知識を前提として講義を進めるので、少なくとも2年次以降の履修が望ましい（できれば3年次履修を勧める）。他学部・他学科生で履修する学生は、『国民の福祉の動向』（厚生統計協会）や『厚生白書』などを熟読し、今日の社会問題や社会保障の枠組みに関する一定の理解を持って臨むこと。

成績評価の方法

前・後期末試験の成績に、研究発表・課題・レポート等を加味して判定する。講義への出席は期末試験受験の要件とするが、試験による知識・技術獲得など実質的な側面を強く評価する。期末試験の評価が成績評価の過半を占める。

教科書／テキスト

●社会福祉士養成講座編集委員会編『〔改訂〕新・社会福祉士養成講座⑨地域福祉の理論と方法』中央法規出版 2010

参考書

●山本主税・川上富雄『地域福祉新時代の社会福祉協議会』中央法規出版 2003
 岡村重夫『地域福祉論』光生館 1974／復刻版2009
 日本社会福祉士会編『新・社会福祉援助の共通基盤(下)』中央法規出版 2009
 井岡勉監修／牧里・山本編『住民主体の地域福祉論』法律文化社 2008
 大橋謙策・原田正樹編『地域福祉計画と地域福祉実践』万葉舎 2000
 小林雅彦編『社会福祉の新潮流⑤地域福祉論』学文社 2010
 その他、講義中に紹介する。

履修コード	039902
科目名	地形学
担当者名	<small>ひらい かつひろ</small> 平井 幸弘

講義の到達目標(ねらい)

私たちが今生きている社会において、ある「地域」を理解し、そこでの様々な開発や環境問題、あるいは災害などを的確に理解し、さらに適切な対応策を講じるためには、その場所がもっている自然的諸条件の特質を明らかにしておくことが、まず重要である。この講義では、そのような自然的諸条件のなかで、「地域」の場の条件となっている様々な地形について、地形発達史的側面（おもに前期）と地形環境誌的な側面（主に後期）の両方から理解し、様々な環境問題について学び、その解決策についても考えたい。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は、主として地形発達のバックグラウンドについて学ぶ。

第1回 イントロダクション:「日本三景」と地形学

第2回～第5回 気候変動

第6回～第9回 海水準変動

第10回～第12回 地殻変動

第13回～第15回 火山活動

後期は、前期で学んだことを踏まえて、関東平野の地形発達と地形誌について学ぶ。

第16回～第19回 利根川上流域の火山活動と地形発達

第20回～第23回 中流域の関東造盆地運動と平野の地形発達

第24回～第27回 下流沖積低地における海面変動と低地の地形発達

第28回～第30回 関東平野の環境問題とまとめ

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

とくに指定しない。

貝塚爽平ほか『日本の地形 4 関東・伊豆小笠原』（東大出版会）2000年

高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

履修上の留意点
成績評価の方法

教科書／テキスト

参 考 書

そ の 他

履修コード	037101
科目名	地誌学概説
担当者名	<small>かわもと とよかず</small> 川元 豊和

講義の到達目標(ねらい)

この授業では、アジアを事例地域として、地誌的な見方・考え方を身につけることを目的とします。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定しています。

（1～3）地誌的な見方・考え方について、（4～6）世界の人口-発展途上国における「人口爆発」とその収束-、（7～10）農業の発展-稲作における「緑の革命」を中心として-、（11～15）アジアの宗教-イスラームとヒンドゥー教を中心として-、（16～20）バングラデシュ農村における近年の農業の変化、（21～22）バングラデシュ農村における土地所有と小作制度、（23～26）半島マレーシアにおける多民族社会の形成、（27～28）半島マレーシアにおける地方都市の発展、（29～30）サラワク州におけるイバンの生活

履修上の留意点
成績評価の方法

高校時代で使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。

出席状況（授業回数の2/3以上、15%）及び9月末のレポート提出（15%）を前提とし、学年末の筆記試験（70%）と併せて総合的に評価します。

教科書は、特に定めずプリントを配布します。

授業内において、その都度紹介します。

講義形式。

教科書／テキスト

参 考 書

そ の 他

履修コード	304201
科目名	地誌学概説
担当者名	川元 豊和 <small>かわもと とよかず</small>

講義の到達目標(ねらい) この授業では、アジアを事例地域として、地誌的な見方・考え方を身につけることを目的とします。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定しています。

講義の内容／授業スケジュール (1～3) 地誌的な見方・考え方について、(4～6) 世界の人口-発展途上国における「人口爆発」とその収束-、(7～10) 農業の発展-稲作における「緑の革命」を中心として-、(11～15) アジアの宗教-イスラームとヒンドゥー教を中心として-、(16～20) バングラデシュ農村における近年の農業の変化、(21～22) バングラデシュ農村における土地所有と小作制度、(23～26) 半島マレーシアにおける多民族社会の形成、(27～28) 半島マレーシアにおける地方都市の発展、(29～30) サラワク州におけるイバンの生活

履修上の留意点 高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法 出席状況(授業回数の2/3以上、15%)および9月末のレポート提出(15%)を前提とし、学年末の筆記試験(または後期におけるレポート発表と12月末のレポート提出、70%)を併せて総合的に評価します。

教科書/テキスト 教科書は、特に定めずプリントを配布します。

参 考 書 授業内において、その都度紹介します。

そ の 他 講義形式。

履修コード	037301
科目名	地誌学概説
担当者名	山口 太郎 <small>やまぐち たろう</small>

講義の到達目標(ねらい) 地誌学は、「地域」を説明する地理学の一分野である。本講義では、風土・景観論に立脚して「地域」を読んだり、書いたりする方法を学ぶ。前期は景観論、後期は日本の風土性を中心に講義する。

講義の内容／授業スケジュール 次の項目を予定している。

(1)(2)地誌学とは、(3)地域(等質地域、結節地域)、(4)スケール、(5)空間、(6)場所のイメージ、(7)景観、(8)景観構成要素と視知覚特性、(9)(10)景観観察法、(11)景観行政、(12)景観法、(13)(14)地図表現、(15)前期予備日、(16)(17)日本の風土性(照葉樹林文化とブナ帯文化、日本の西と東)、(18)棚田の風景、(19)武蔵野の風景、(20)散居村の風景、(21)合掌造のある風景、(22)水辺のある町並み、(23)～(25)町家のある町並み(金沢、高岡、近江八幡)、(26)寺内町の町並み、(27)宿場町の町並み、(28)斜面都市の風景、(29)南国都市の風景、(30)試験

準備学習 日本各地の事例を紹介していくので、地図帳を用意するとよい(高校の時に利用したものでよい)。

履修上の留意点 毎回出席をとる。授業内の小レポートを科すことも多い。

成績評価の方法 平常点20点、夏のレポート40点、後期試験40点で採点する。

教科書/テキスト 特に定めない。

参 考 書 授業で紹介していく。

そ の 他 講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。

履修コード	037201
科目名	地誌学概説
担当者名	湯田 <small>ゆだ のり</small> ミノリ

講義の到達目標(ねらい)	インドネシア、特にジャカルタについて理解を深めることを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期はインドネシアの地理的位置、自然環境、民族構成とジャカルタの成立を、後期は主にジャカルタの産業、人口、都市居住等の問題を取り上げる。 (前期) ・地理的位置（インドネシアの範囲、地理的位置と自然・人文環境との関係） ・自然環境（地形、気候） ・多民族国家インドネシア成立の背景 ・植民地時代のジャカルタ ・インドネシア独立後ジャカルタの発展 (後期) ・ジャカルタ首都圏における経済発展と産業 ・ジャカルタにおける人口動態と就業構造の変動 ・カンボンと都市居住政策
履修上の留意点	参加者には、何らかの具体的な現象に注目した上で、様々な視点からの理解や判断を編み出す努力を期待したい。さらには、休暇等を利用して自主的に海外などを旅行してほしい。
成績評価の方法	年に4回試験を実施します（各25点）。また、この授業は出席が必須です。出席と試験の配点の割合は50% 50%となります。
教科書／テキスト	特に指定しない。
参 考 書	適宜紹介する。

履修コード	304301
科目名	地誌学概説
担当者名	渡邊 <small>わたなべ たてお</small> 盾夫

講義の到達目標(ねらい)	この講座は、教職科目である。受講する皆さんが教壇に立つ前に、自分自身で地誌学が何であるかを理解しておくことを目標として講義をする。
講義の内容／ 授業スケジュール	世界の国々は、さまざまな風土を持ちその風土に適応してさまざまな人間活動が行われている。これらの人間活動が似た環境なのになぜ異なった人間活動をしているのかを、自然・社会環境を通して総合的に見て、比較することができるようにすることを目標として講義する。
準 備 学 習	地誌は、ある場所を自然環境と社会環境の両面から見て考え比較する学問である。前期に自然環境の分野である地形や気候そして地形図などについて学習し、後期は、各大陸別に数ヶ国にわたって自然環境と社会環境を説明し、日本とそれぞれの国を比較する予定である。受講者は、必ず地図帳(古くても可)を持参すること(地理や地誌では、地図帳は必須である)。
履修上の留意点	現在多くの日本人が世界各国で活動している。その活動している場所はどの様な場所なのか、その自然環境(気候や地形など)や社会環境(産業や宗教など)を考えるように心がけるようにすることである。
成績評価の方法	現在、世界や日本では、どの様な自然現象(気候変動による早魃、洪水、砂漠化など)や社会現象(環境問題、人口問題、領土問題など)が、どこの国またはどの地域で起こっているのかをネット、新聞などをみて注目をしておくことである。
教科書／テキスト	年度末に定期試験(80%)を実施する。これに出席の様子や課題提出(20%)を加えて評価する。特に出席は実施数の2/3を必須とする。これ以下の出席の割合は採点の対象としません。答案は、受講生が記した内容を読んだ相手(生徒)が理解できるかどうか、を判断の基準とする。
参 考 書	教科書・参考書については、特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布する。講義中はノートを取り、配布プリントの中に各自で必要項目を加えること、あわせて関連する本を案内する予定である。休んだ時のプリントは後で渡邊の処にとりに来ること。 地理の完成：山川出版

履修コード	003902
科目名	中国仏教文化史
担当者名	程 正

講義の到達目標(ねらい) インドで成立した仏教は中国においてどんな軌跡を描きながら受容され、そして自らのすがたを変えながら中国人の宗教として展開していったのか。こうした問題を意識しつつ、講義を進めていきたい。

講義の内容／授業スケジュール ガイダンスを兼ねて、中国仏教文化のすがたとかたちについて考える(6~7回)。中国仏教史上における破仏、いわゆる「三武一宗」の法難について講義するとともに、『父母恩重経』をはじめとする中国で撰述された偽経も紹介し、これらの偽経の出現の文化史的意義を考える(15~16回)。仏典漢訳、写経、經典印刷、大蔵経の編纂など、いわゆる仏教經典の流布に促された仏教文化の発達について考える(7~8回)。

履修上の留意点 資料を沢山配布するので、専用のノート、あるいはファイルを用意すること。

成績評価の方法 夏休みの課題レポート(20%)、出席状況(20%)、期末試験(60%)を総合して評価する。

教科書／テキスト プリント配布。

参 考 書 授業中適宜指示する。

履修コード	233302
科目名	哲学概説
担当者名	久保 陽一

講義の到達目標(ねらい) 哲学は常識や科学と異なって、世界についてその全体像を問う学問であると同時に、世界の中で人間がいかに生きるべきか、人生の目標や意義を究明しようとするものでもある。我々は日常たえず意識しているとは限らないが、人生のふしおしでそのような根本的な問題につきあたらざるをえない。しかし、その問題に対して、一義的な正解が見つかるとは限らない。講義では、少なくとも、その問題を考える視野を広げることをめざす。

講義の内容／授業スケジュール 前期では、哲学とはどういう探求か、また東洋と西洋における哲学思想の歴史について概観を得るために、渡辺二郎「哲学入門」を読みながら、解説することにする。

履修上の留意点 後期では、一層特殊なテーマ(正義、歴史など)を取り扱うことにする。

成績評価の方法 色々な本を読み、自分でものごとを考え、文章でまとめるようにすること。

教科書／テキスト 出席数、試験(前期と年度末)、レポートなどによって評価する。

参 考 書 渡辺二郎「哲学入門」(日本放送出版協会)
久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)
久保陽一「生と認識」(知泉書館)

履修コード	305301
科目名	哲学概説
担当者名	小島 優子

講義の到達目標(ねらい) 講義では、まず古代・中世・近代哲学思想を通して、「知」とは何か、真理とは何か、善悪の判断基準について概念整理を行う。その上で、我々の実際の経験の中で哲学的な問題、例えば友人を助けるためであるならば嘘をついてもよいか、あるいは、どんな場合であっても嘘をつくのは悪いことであるのか、等について考える。さらに、善について多数の人の間で共通の了解を得ることはできるのか、あるいは善とはそれぞれの人によって異なるものであるのか、国際化社会の中で普遍主義と相対主義の問題はどのように捉えることができるか、考察する。

講義の内容／授業スケジュール 哲学とは何か、古代哲学における善と人間(ソクラテス、プラトン、アリストテレス)、中世における神と世界観、近代における科学と人間(ルネサンスの自然観、デカルト)、近代における人間と主体性の問題、近代における社会と国家、現代における多文化主義と国際化

成績評価の方法 中間試験と期末試験ならびに出席状況の総合点で評価する。

履修コード	233202
科目名	哲学概説
担当者名	<small>すえき やすひこ</small> 末木 恭彦

講義の到達目標(ねらい)

哲学とはいかなる学問か理解をはかる。哲学は西洋の独占物でない。西洋に啓発されてであるが、東洋にも独自の哲学の試みはなされている。本講義は、そのような東洋哲学を考察する。

講義の内容／
授業スケジュール

近代中国の哲学の試みの中から、馮友蘭の新理学を取りあげ、その著『新知言』を紹介する。
(1～2) 中国の近現代哲学の概観 (3～6) 馮友蘭の生涯 (7～10) 『新理学』概観 (11) 緒論 (12) 形而上学の方法を論ず (13) プラトンの弁証法 (14) スピノザの反観法 (15) 予備 (16) カントの批判法 (17) ウィーン学派の形而上学に対する見方 (18) 新理学の方法 (19) 分析命題を論ず (20) 約定説を論ず (21) 禅宗の方法 (22) 詩を論ず (25～27) 新理学の展開 (28～29) 質疑応答 (30) 予備ノートを確実にとる。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

学年末の試験、もしくはレポートによる。
『新知言』(講師の作成した抄訳をコピーして配布する)
『馮友蘭自伝』(吾妻重二訳) 全2冊、平凡社

履修コード	078301・078401・305601
科目名	道徳教育の研究
担当者名	<small>いのうえ まさる</small> 井上 勝

講義の到達目標(ねらい)

今日の学校教育の課題は「生きる力」をもった生徒の育成であり、その要となるのが「心の教育」、道徳教育である。「道徳の時間」は学級担任が担当するものであり、道徳教育の指導理論・方法を習得することはすべての教員にとって不可欠のことである。

講義の内容／
授業スケジュール

本講座では、学習指導要領に基づいて道徳教育の基本的な理論・方法について理解するとともに、「道徳の時間」の学習指導案を作成し、道徳の授業を担当できる実践的な指導力を習得することをねらいとする。

1. 道徳教育の意義と課題
2. 道徳教育の基本構造
3. 戦前の道徳教育とその問題点
4. 戦後の道徳教育とその課題
5. 学習指導要領と道徳教育
6. 道徳資料の内容分析と学習指導案 (1) 内容分析と主題設定
7. 道徳資料の内容分析と学習指導案 (2) 内容分析と指導過程
8. 内容分析と学習指導案の作成 (1) 「主として自分自身に関すること」
9. 内容分析と学習指導案の作成 (2) 「主として他の人とのかかわりに関すること」
10. 内容分析と学習指導案の作成 (3) 「主として自然や崇高なもののかかわりに関すること」
11. 内容分析と学習指導案の作成 (4) 「主として集団や社会のかかわりに関すること」
12. 模擬授業
13. 道徳授業の方法
14. 道徳教育の指導計画の作成、評価、他の教育活動との関連

履修上の留意点

道徳教育の基礎理論を学ぶと同時に、学習指導案の作成に重点を置き、直ちに「道徳の時間」の授業を担当できる指導力の養成をねらいとするので、授業への能動的な参加を望む。

成績評価の方法

次の2つの観点から総合的に評価する。尚、レポートは必ず2回提出する。

- ① 授業時の作業課題 (学習指導案等)
- ② レポート (2回)

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

文部科学省『中学校学習指導要領解説——道徳編——』(日本文教出版) 139円
金井肇『道徳授業の基本構造理論』(明治図書) 2,100円
授業中の飲食、携帯電話の使用、私語等の行為は厳禁するので、それに同意の上で受講すること。

履修コード	078101・078201
科目名	道徳教育の研究
担当者名	杉崎 洋一郎

講義の到達目標(ねらい)

道徳教育は、学校教育全体を通して行われるものです。道徳教育は、学習指導要領を基にして、「道徳の時間」をはじめとし、各教科・総合的な学習の時間・特別活動のそれぞれの特質に応じて適切な指導が行われなければなりません。文献等に基づく理論的な研究だけでなく、VTRによる授業視聴、学習指導案の作成等を通して、学校教育における実践に役立つ指導力を身につけさせることをねらいとしています。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 はじめに、総則、道徳とは
 - 2 道徳教育の基本的な在り方、道徳教育の目標
 - 3 道徳教育の変遷
 - 4 心の教育・道徳教育
 - 5 「道徳の時間」の指導内容 その1
 - 6 「道徳の時間」の指導内容 その2
 - 7 「道徳の時間」の指導の実際
 - 8 「道徳の時間」の学習指導案作成
 - 9 「道徳の時間」の授業視聴 その1
 - 10 「道徳の時間」の授業視聴 その2
 - 11 道徳教育と生活指導・特別活動
 - 12 道徳教育の評価
 - 13 自尊感情の育成
 - 14 「道徳の時間」における情報モラルの指導
 - 15 道徳教育の研究学習課題
- 定期試験

履修上の留意点

道徳教育における実践的指導力を身につけるために、授業後の感想の提出、学習指導案の作成等に積極的に取り組んでほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席状況、試験、学習指導案、授業における参加状況等を総合的に判断して評価します。教科書は特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。

参 考 書

必要に応じて紹介します。

教職課程
資格講座科目

履修コード	077901・078001
科目名	道徳教育の研究
担当者名	藤木 篤典

講義の到達目標(ねらい)

21世紀は「心の世紀」といわれているが、教育現場をはじめ「いじめ」などの不適切な現象がみられ、社会問題となっている。

学校教育では、社会生活の中で、主体的に自己実現をはかる「生きる力」の育成が課せられている。授業では、学習指導要領の「道徳」の趣旨にもとづき、道徳教育の内容・在り方や、指導力を身につけ、学習指導案の作成、指導方法などについて基本的課題を研究する。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 道徳教育の意義と歴史
- 2 道徳教育の変遷Ⅰ（戦前）
- 3 道徳教育の変遷Ⅱ（戦後）
- 4 道徳教員の復活と教育課程上の位置
- 5 道徳教育の目標Ⅰ（昭和33年～）
- 6 道徳教育の目標Ⅱ（昭和47年～）
- 7 道徳教育の目標Ⅲ（平成14年～）
- 8 道徳教育の目標Ⅳ（平成24年～）
- 9 「道徳」の指導案の作成Ⅰ（担任主導）
- 10 「道徳」の指導案の作成Ⅱ（生徒のアンケート等利用）
- 11 各教科と道徳
- 12 特別活動と道徳
- 13 総合的な学習の時間と道徳
- 14 道徳の評価
- 15 道徳教育の問題点と今後の課題

履修上の留意点

指導案の作成をはじめ、積極的に広い視野を養い、指導力を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験はしない。出席状況を重視し、学習指導案の作成等、総合的に評価する。

参 考 書

文部科学省『中学校学習指導要領解説——道徳編——』（財務省印刷局）260円

履修コード	016803
科目名	東洋思想史
担当者名	^{すえき やすひこ} 末木 恭彦

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国の伝統思想、特に儒教のあり様について理解を深めることを目指す。
直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文献(経)についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することとする。手掛りとしては、江戸時代の儒者荻生徂徠の『経史子要覽』を用いる。『経史子要覽』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深めていく。

(1) ガイダンス (2) 荻生徂徠について (3~5) 経総論 (6~9) 詩・書 (10~12) 礼記・易 (13) 春秋 (14~15) 予備 (16~18) 論語・孝経 (19) 経まとめ (20~21) 子総論 (22~23) 孟子 (24) 荀子 (25~27) 老荘列 (28) 子まとめ (29・30) 質疑応答

履修上の留意点

予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。

成績評価の方法

平常の受講態度と学年末レポートによる。(受講人数によっては、試験にすることもある。) 追試はしない。

教科書/テキスト
参 考 書

『経史子要覽』(コピーを配布する)
関口順『儒学のかたち』(東大出版会)

履修コード	087201・087301
科目名	読書と豊かな人間性
担当者名	^{まつお ふじお} 松尾 不二夫

講義の到達目標(ねらい)

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本と結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と責務を中心に、読書教育のあり方を考えることができるようにする。さらに、読書活動の一つである「読みきかせ」の技能を具体的に体得してもらう。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) ガイダンス (2) 読書の意義と目的
(3) 子どもの読書の実態と課題 (学校読書調査報告)
(4) 読書資料の種類と特性 (5・6) 子どもの発達段階と読書
(7・8) 学校教育の中の読書 (9) 読書への誘い(概容と計画)
(10~13) 子どもと本を結ぶために (14) 地域の関連施設等との連携
(15) 全体のまとめ

履修上の留意点

※演習(学生による読みきかせ)
講義回数の70%以上出席でき(詳しくはガイダンスで説明)、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。

教科書/テキスト
参 考 書

教育実習をする学生は実習校での学校図書館見学レポートを提出する。
特に指定しない。随時プリントを配布。
「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館学4 読書と豊かな人間性』
(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2236-0
講義・演習(読みきかせ)

そ の 他

この科目の受講は下記の1、2を修了してからが望ましい。
1、学校経営と学校図書館(前期)
2、学習指導と学校図書館(前期)

履修コード	079011・079111・305711
科目名	特別活動論
担当者名	<small>いのうえ まさる</small> 井上 勝

講義の到達目標(ねらい)

特別活動とは、学校の集団活動を通して生徒の個性の伸長と社会的資質の育成をねらいとする活動であり、具体的には学級・ホームルーム活動、学校行事、生徒会活動などである。特別活動の指導は教科指導以外のほとんどの領域・機能を含んでおり、このため、その指導は学級・ホームルーム担任の主要な職務と重なるものである。

本講座では、特別活動の基礎理論を理解するとともに、受講者の小中高校での学校生活のpositiveな体験を事例として取り上げ、事例研究を中心として具体的な指導の在り方や方法を理解し、学級・ホームルーム担任としての実践的指導力を習得することをねらいとする。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 特別活動の意義とその変遷
2. 特別活動の内容とその特質
3. 学級・ホームルーム活動の内容と指導
4. 学級・ホームルーム活動の指導の実際(事例研究)
5. 生徒会活動の内容と指導
6. 生徒会活動の指導の実際(事例研究)
7. 学校行事の内容と指導
8. 学校行事の指導の実際(事例研究)
9. クラブ・部活動の内容と指導
10. クラブ・部活動の指導の実際(事例研究)
11. 特別活動と生徒指導
12. 特別活動と教育相談、ガイダンス
13. 特別活動とボランティア活動
14. 特別活動の指導計画の作成、評価、まとめ

履修上の留意点

受講者の小中高校での特別活動のpositiveな体験を事例とする事例研究を中心にして授業を行うので、発表、討論等への積極的な参加を求める。

成績評価の方法

次の2つの観点から総合的に評価する。尚、レポートは2回必ず提出する。

1. 授業時の作業課題(事例研究等)

2. レポート(2回)

教科書/テキスト

次のどちらかを用意する。
文部科学省『中学校学習指導要領解説-特別活動編-』(ぎょうせい) 114円
文部科学省『高等学校学習指導要領解説-特別活動編-』(海文堂) 210円
その都度紹介する。

参 考 書
そ の 他

1. 授業は事例研究、受講者による事例発表に基づく、討論形式の授業を中心に行う。
2. 授業中の飲食、携帯電話の使用、私語等の行為は厳禁するので、それに同意の上で受講すること。

履修コード	078811・078911
科目名	特別活動論
担当者名	<small>すぎさき よういちろう</small> 杉崎 洋一郎

講義の到達目標(ねらい)

「特別活動」は「為すことによって学ぶ」といわれています。「生きる力」を育むためには、塾や予備校では教えることのできない特別活動の果たす役割は重要です。

この授業では、学習指導要領を基にして、「特別活動」の特質や、教育的意義、目標、内容及び指導方法等について、理論と実践の両面から講義します。「特別活動」は、特に実践的な面が重要ですから、活動内容や指導方法等に具体的な資料を活用して、教師としての「特別活動」の実践的な指導力を身につけることをねらいとしています。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 はじめに、教育基本法、学習指導要領、特別活動とは
- 2 特別活動の目標、特別活動の歴史的変遷
- 3 特別活動の教育的意義、特別活動の内容
- 4 学級（ホームルーム）活動の特質と内容、指導の実際
- 5 生徒会活動の特質と内容、部活動、ボランティア活動
- 6 学校行事の特質と内容
- 7 進路指導
- 8 横断的・総合的な学習
- 9 教育課題1 国際理解教育・帰国生徒教育
- 10 教育課題2 生徒指導上の諸問題（学級崩壊、不登校、いじめ等）
- 11 教育課題3 食育
- 12 特別活動の評価・学校評価
- 13 今後の課題と展望1
- 14 今後の課題と展望2
- 15 特別活動論学習課題
定期試験

履修上の留意点

特別活動における実践的な指導力を身につけるために、授業後の感想の提出、学習指導案の作成等に積極的に参加してほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 文 献

出席状況、試験、学習指導案、及び授業における参加状況等を総合的に判断して評価します。
教科書は特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。
必要に応じて紹介します。

履修コード	078611・078711
科目名	特別活動論
担当者名	藤木 篤典

講義の到達目標(ねらい) 特別活動は、知育のみを重視せず、バランスのとれた豊かな人間性を育む徳育を目指している。「いじめ」や不登校の問題をはじめ、国際化、情報化、科学技術の発展、環境問題への関心の高まり、高齢化・少子化のもと、集団活動をとおして、好ましい人間関係を築き、個人の自覚と責任ある態度を身につけることを目的としている。

特別活動の内容、指導原理、指導計画・方法について学び、実践的な指導力を養成することを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 特別活動の意義・目的、ガイダンスについて
- 2 特別教育活動の歴史的変遷
- 3 特別活動の歴史的変遷
- 4 特別活動の内容と他教科との関連
- 5 学級活動
- 6 ホームルーム活動
- 7 生徒会活動Ⅰ（文化部関係）
- 8 生徒会活動Ⅱ（体育部関係）
- 9 学校行事の意義と活用Ⅰ（文化部）
- 10 学校行事の意義と活用Ⅱ（体育部）
- 11 学校行事の意義と活用Ⅲ（修学旅行）
- 12 学校行事の意義と活用Ⅳ（防災・安全教育）
- 13 クラブ活動・部活動
- 14 ボランティア活動と地域との連携
- 15 特別活動の評価、課題と展望

履修上の留意点

特別活動の役割と内容を理解し、指導計画の作成や、指導内容・方法などについて、実践的な指導力を身につけてほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席状況、特に指導案作成に重点を置き総合的に判断し、評価する。
文部科学省『中学校学習指導要領解説——特別活動編——』（財務省印刷局）70円
文部科学省『高等学校学習指導要領解説——特別活動編——』（東山書房）126円

参 考 書

教師養成研究会 教職課程講座6『特別活動の理論と方法——改訂版——』江川ビン成編
(学芸図書株式会社) 1,260円

教職課程
資格科目

履修コード	044302
科目名	日本考古学概説
担当者名	酒井 清治

講義の到達目標(ねらい) 日本の考古学は発掘も膨大にあり日々新しい資料も蓄積されている。その資料はどのような意味があるのか、資料からどのようなことが分かるのか、日本の考古学の中に位置づけ考古学とは何かを理解してもらう。

講義の内容／
授業スケジュール

考古学の研究史、研究法および、遺跡・遺物を時代を追って取り上げ、日本考古学を時代史的に概観する。(1～2)考古学とは何か、(4～6)考古学の研究史、(7～10)資料解釈の研究法、(11～14)年代論、(15～18)旧石器時代、(19～22)縄文時代、(23～26)弥生時代、(27～30)古墳時代。前期は授業の初めに最新発掘資料の写真・図を見ながら考古学の理解を深めてもらう。

準 備 学 習

博物館や図書館で考古学資料を見ることにより、考古学の時代的特色を把握することができ、講義の内容を理解しやすいので実施して欲しい。

履修上の留意点

遅刻厳禁、私語厳禁。
定期試験とレポートで採点。平常点、出席状況も加味する。

成績評価の方法
教科書／テキスト

教科書は特にないが、授業で逐次資料を配付する。
安藤雅雄『考古学キーワード』（有斐閣）2100円 ISBN9784611058774
山岸良二『入門者のための考古学教室』（同成社）1900円 ISBN9784886213723C1021
鈴木公雄『考古学入門』（東大出版社）2940円 ISBN9784130230520

参 考 書

そ の 他

そのほか授業中に解説しながら紹介する。
講義の中でOHPを使用し、図や写真あるいは実物資料を利用し理解を深める。

履修コード	304801
科目名	日本史概説
担当者名	菅野 洋介

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、社会科教員になる上で最低必要な日本史に関する知識や考え方について学ぶものである。主に、日本史の流れを多角的にとらえることを主眼とする。また史料を紹介しながら、歴史研究の基本的な立場を示す。

講義の内容／
授業スケジュール

主に戦国時代から明治時代までを対象として、様々なテーマを取り上げ講義する。前期は歴史学のおかれた状況や様々な学説にふれながら、戦国時代から江戸時代半ばまでを中心に講義する。後期は前期の内容をふまえ、江戸時代後半から明治初期までを講義する。なお古代史や近代史についても補足的に取り上げる。

・前期

(1) 日本史研究の動向 (2) 時代区分をめぐる問題～日本近世史の自立～ (3) 織田信長の登場～戦国時代の終焉～ (4) 豊臣政権と惣無事 (5) 関ヶ原の合戦と近世国家 (6) 寛永期の諸課題 (7) 家綱政権と幕政～慶安の触書をめぐって～ (8) 綱吉政権の諸政策～生類憐れみの令を中心～ (9) 享保改革の地域政策～武蔵野新田の開発を中心に～ (10) 村請制と人々の生活～村の仕組み～ (11) 村請制と寺院・神社～宗教者の活動を中心に～ (12) 近世社会の転換～宝暦・天明期論をめぐって～ (13) 近世の文化と政治～政治文化論～

・後期

(1) 大政委任論の登場～松平定信の思考～ (2) 鎖国概念と近世の外交 (3) 化政文化の展開 (4) 天保改革の特質 (5) 海防問題の顕在化 (6) 江戸研究①～武家の生活～ (7) 江戸研究②～町人の生活～ (8) 日光山と近世社会 (9) 幕末政局の諸課題①～嘉永期から安政期まで～ (10) 幕末政局の諸課題②～文久期から慶応期まで～ (11) 戊辰戦争①～鳥羽伏見から会津戦争以前～ (12) 戊辰戦争②～会津戦争から箱館戦争まで～ (13) 近代国家の特徴 (14) まとめ

準備学習

高等学校の日本史教科書の内容を確認しておくこと。

履修上の留意点

授業中の私語をつつしむ。

成績評価の方法

出席・レポートで評価する。

教科書／テキスト

講義内容にあわせて随時紹介する。

履修コード	056402
科目名	日本史概説
担当者名	小泉 雅弘

講義の到達目標(ねらい)

近世から近代の日本の歴史について概説する。その際、政治・社会・文化・経済・外交などの関連性を重視したい。

講義の内容／
授業スケジュール

前期(1～15)では幕藩体制の成立から幕末期までを対象とし、近世国家の形成過程と解体について講義する。後期(16～30)では、明治維新を契機とする近代国民国家の成立、展開過程を取り扱う。

準備学習

授業中に紹介する文献を熟読すること。

履修上の留意点

歴史的事象を個別のものとして捉えるのではなく、広い視野で考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験で評価し、出席状況を加味する。

参考書

講義内容にあわせて随時紹介する。

履修コード	304901
科目名	日本史概説
担当者名	鈴木 雅晴

講義の到達目標(ねらい)

歴史学の目的と意義について講義を行ったうえで、古代から近現代にいたる日本の歴史の大きな流れをとらえ、各時代における歴史的事象について、当該期における政治・社会・経済状況などと関連づけながら理解することを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～3) 歴史学の目的と意義、(4～5) 日本文化の黎明と古代王権の成立、(6～8) 律令国家の成立と貴族政治の展開、(9～10) 武士の台頭と武家社会の形成、(11～12) 武家社会の展開と動乱、(13～15) 統一政権の樹立と幕藩制国家の確立、(16～18) 江戸時代の農村と人びとの暮らし、(19～21) 江戸時代の文化とその展開、(22～24) 幕藩体制の動揺と近代国家誕生への胎動、(25～26) 近代国家の成立と展開、(27～28) 立憲国家形成とその進展、(29～30) 資本主義の発展と世界大戦の勃発
日本史の知識の蓄積だけを目的とするのではなく、総合的な知識を動員して考究する姿勢を望む。年度末に行う定期試験によって評価する。なお、出席状況を参考にする。

履修上の留意点

教科書の指定はしない。適宜、必要な資料の配布をする。

成績評価の方法

講義の内容に応じて随時紹介する。

教科書／テキスト

参考書

履修コード	056302
科目名	日本史概説
担当者名	野尻 ^{のじり} かおる

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、歴史学、考古学を始めとする人文科学の研究を志す学生、または将来教職につくことを希望する学生に対し、下記の事項を通して、歴史を研究すること、または日本史を教授することの意義を理解し、基礎的な知識を身に付けることが目的である。講義に当たっては、古文書・記録・編纂物・金石文等の史料を中心に考古資料、絵画資料、民俗資料等を使用して進める。また、近世・近代を研究するに当たって必須の課題である身分差別の歴史もあわせて指導する。

講義の内容／
授業スケジュール

一、空間から見た近世近代〔都市とその近郊等を事例とする〕(1～6)。二、モノから見た近世近代〔石造物等を事例とする〕(7～12)。三、人から見た近世近代〔生と死等を事例とする〕(13～18)。四、絵画資料に現れた近世近代〔景観や年中行事等を例に〕(19～24)。五、社会組織から見た近世近代〔祭礼・講等を事例に〕(25～30)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

質問等の発言は歓迎するが私語は慎む事。

定期試験及び出席状況

講義資料を配布する。

『新版県史13 東京都の歴史』1997年(山川出版)、1,995円、978-4-634-32130-4、地方史研究協議会編『江戸・東京近郊の史的空間』2003年(雄山閣)、5,985円、ISBN 4-639-01825-8、メタ・アーケオロジー研究会『考古学リーダー3 近現代考古学の射程～今なぜ近現代を語るのか～』、2005年(六一書房)、ISBN4-947743-25-5、都市史研究会『年報 都市史研究』1～17、1993年～2010年、山川出版、3,880円、ISBN 4-634-61910-5、斎藤洋一・大石慎三郎講談社現代新書『身分差別社会の真実 - 新書・江戸時代(2)』1995年、(講談社)、735円、ISBN978-4-06-149258-5

その他の他

講義資料は原則として講義毎に配布する。欠席した分の資料は用意しないので注意の事。数回課題・アンケートを実施する。

履修コード	232702
科目名	日本宗教文化史
担当者名	小川 ^{おがわ} 順敬 ^{としゆき}

講義の到達目標(ねらい)

日本の他界観、生死観の変遷を考える。

われわれの文化は(われわれの文化ばかりではありませんが)自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生き、いかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。(現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。)

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事(祭礼や儀礼)、寺院行事、また物語、芸能などを題材(ビデオ等使用する予定)として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：この授業の進め方、第2～3回：日本人の靈魂観について、第4～5回：山岳信仰について、第6～10回：山岳信仰と地獄極楽、第11～15回：浄土信仰と臨終行儀について、第16～20回：来迎会の諸相、第21～25回：補陀洛渡海について、第26～28回：再び山岳信仰について、第29・30回：現代社会と他界

準備学習
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

配布する関連資料に必ず眼を通してください。

年度末レポートおよび出席状況で評価します。

教科書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。

参考書はその都度紹介することにした。

履修コード	004002
科目名	日本仏教文化史
担当者名	藤井 淳 <small>ふじい じゆん</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本における仏教の役割について、外国との関係および建築・美術や文学・風習など文化面に焦点を当てながら理解を深める。
講義の内容／ 授業スケジュール	(前期) 1 イントロダクション, 2 現代と日本仏教文化, 3 古墳時代・飛鳥時代, 4 白鳳時代, 5~6 奈良時代 (対外関係・東大寺と正倉院), 7~10 平安時代 (遣唐使と国風文化・源氏物語・平家納経・奥州平泉・総説), 11~14 鎌倉時代 (元寇と禅僧・総説), 15 前期総説 (後期) 16 視聴覚資料, 17 南北朝時代, 18~20 室町時代 (能・茶・建築), 21 神道と仏教 22 戦国時代, 23 安土桃山時代, 24 キリスト教と仏教, 25~26 江戸時代, 27 明治, 28 大正・昭和, 29 現代, 30 総説 以上は進行の日安であって、適宜前後することは了承されたい。なお日本史の授業ではなく、該当する時代の仏教文化に焦点を当てたものである。
準備学習	授業で該当する時代を、授業の前に参考書を含めて、ネットなどでも情報を積極的に集めることで知識を深めておくことで授業の内容がより血肉化するので予習を心がけること。
履修上の留意点	日本史に関する全般的な流れ(細かい知識は問わない)を前提として講義するので、日本史の知識が不十分なものは授業で該当する時代の『詳説日本史研究』(佐藤信編集、山川出版社、2500円)もしくは高校時代の日本史の教科書を読んで予習しておくこと。
成績評価の方法	出席状況を考慮しつつ、基本的には学年末の定期試験によって評価する。その他に仏教文化を実際に見聞した体験をレポートとして提出してもらう。
教科書／テキスト	資料集として『山川日本史総合図録』(笹山晴生、石井進 他、山川出版社、730円)を用いる。教科書は指定しないが以下の参考書を読んでおくこと。
参考書	松尾剛次『仏教入門』(岩波ジュニア新書、861円) 末木文美士『日本仏教史』(新潮文庫、620円)
その他	学生時代は能や文楽など日本の伝統芸能を約半額の料金で楽しめる時期である。公演などを授業中に適宜案内するが、受講者はそれらを積極的に鑑賞して伝統文化と現代の関わりについて考えてほしい。また急速に消え去りつつある地方の伝統文化についても時間に余裕のある大学生時代に大いに触れてほしい。

履修コード	047112
科目名	日本文化史
担当者名	廣瀬 良弘 <small>ひろせ りょうこう</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本文化の歴史が、当時の社会の生産の仕組みや政治・経済・宗教などと深く関わりあっていたことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを明らかにしていきたいと思います。そして、この日本文化は現代においても、多くは底流として、また、ときには、「日本の代表的な文化」として、存在しています。現代の文化と対比しながら、検討していきたいと思います。
講義の内容／ 授業スケジュール	日本文化の流れを概観し、民衆の躍動やその文化が顕著になってくる中世の文化を中心にその前後の文化にも注目しながら、文化の様相と特色について見ていきます。 ・日本文化史概観・中世文化史研究の動向(1, 2)・鎌倉仏教と文化(3~5)・禅宗と五山文化(6, 7)・南北朝から室町期の文化(8, 9)・北山文化の展開(10, 11)・東山文化とその基盤(12~15)・中世の職能民(16, 17)・連歌師の旅(18, 19)・戦国社会と宗教(18, 19)・戦国社会の駆込寺(20~22)・大名領国の文化(23, 24)・統一政権とその文化(25, 26)・近世文化史研究の動向と寛永文化(27~30)
履修上の留意点	講義の中に出てきた事項について、図書館の蔵書や辞書などで調べ直してみたり、現地に行ってみたりすることが必要です。また、日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持って下さい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめます。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施します。
成績評価の方法	定期試験の結果と授業の出欠を重視します。定期試験では一般論を回答しても正解とならないことが多いので注意して下さい。つまり授業に出席し、しっかりとしたノートができていないと合格点は取れません。
教科書／テキスト	とくに指定しません。必要な資料は随時コピーを配布します。
参考書	講義内容に関する博物館・研究所などを随時提示して行きます。

履修コード	017103
科目名	日本民俗学
担当者名	牧野 眞一 <small>まさの しんいち</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容／
授業スケジュール (1～2) 民俗学の多様性 (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～9) 食をめぐる民俗 (10～11) 村と町のなりたち (12～13) 若者と一人前 (14～15) 婚姻と出産・子育ての民俗 (16～17) 女性・子ども・老人の民俗 (18～20) 葬送儀礼と先祖祭祀 (21～22) 里と海・山のなりわい (23～25) 祭りと年中行事 (26～28) 民俗宗教の諸相 (29～30) 北海道民俗・沖縄民俗の特徴 夏期レポート及び小レポートを実施する予定。

履修上の留意点
成績評価の方法 学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書／テキスト 谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊 (八千代出版) 2,100円 (税込)、ISBN 4-8429-1405-X

参 考 書 講義内容を発展させるための参考文献は講義の中で紹介していきたい。

履修コード	056701
科目名	博物館学Ⅰ (概論)
担当者名	太田 喜美子 <small>わた きみこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 博物館の意義・歴史、学芸員の仕事などを理解してもらいながら学芸員を目指す心構えを固めていく。

博物館法の流れにそって、博物館の課題・学芸員の存在意義などの問題点についても考えていく。

講義の内容／
授業スケジュール (1～5) 博物館の目的・種類と機能

(6～10) 博物館の歴史

(11～15) 博物館の現状と課題

履修上の留意点 第1回目の授業で、本学における学芸員資格取得の手続き・方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法 新聞・ニュースなどに関心を持つこと。
教科書／テキスト 課題提出・試験・授業態度・出席による総合評価。
必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	056801
科目名	博物館学Ⅱ (資料論)
担当者名	岸上 興一郎 <small>かみがみ こういちろう</small>

講義の到達目標(ねらい) 博物館で扱う資料とは何であるのかを問う。

講義の内容／
授業スケジュール (1～2) 資料論の位置づけ、博物館の生い立ち (3～9) 博物館法という資料とは、ユネスコの勧告、希少動植物の保護、文化財保護法 (10) 公開承認施設に関する規定 (11) 文化財を支える用具・原材料の確保について (12～15) 博物館資料の分類、博物館資料の修復と遺跡復元事例、博物館の展示室・収蔵庫における保存環境について

履修上の留意点 資料のもつ基礎情報を学芸員として熟知し、いかに展示空間に動と静の知的世界を構築するかを考慮すること。

成績評価の方法 提出を求める課題と出席状況などを基本に評価します。

教科書／テキスト (財) 日本博物館協会編『博物館関係法令集』

参 考 書 必要に応じて関係資料を作成し配布する。

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』

(財) 日本博物館協会編 月刊「博物館研究」

履修コード	056901
科目名	博物館学Ⅲ（経営論・情報論）
担当者名	きしかみ こういちろう 岸上 興一郎

講義の到達目標(ねらい)	博物館は学芸職と事務職によって構成されている。その経営にあたっては、各個人の暗黙知、つまり各個人のもっている情報・知識の豊かさが結果を左右する。さらにはそれを言語化・明示化して組織内で共有し、有効活用することを形式知化という。ここを講義のポイントとする。この理論は博物館経営をより発展させる重要な鍵でもある。学芸員の経営関与を問う。
講義の内容／授業スケジュール	(1～2) 博物館経営と学芸員、博物館経営に観る「大学メンバーシップ」と利用料金 (3～6) 経営論の基礎—ひと、経営論の基礎—管理運営計画の策定—、指定管理者制度、予算の構成、教育普及活動 (7～12) 博物館における情報の基礎、公開情報と非公開情報、マルチメディア、著作権法、情報機器の取扱と倫理、博物館資料のデータベース化 (13～15) 報道機関の情報、イコム職業倫理規定
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト	予算の仕組みおよび博物館資料のもつ情報と、そのあつかいを理解すること。 提出を求める課題と出席状況などを基本に評価します。
参 考 書	(財) 日本博物館協会編『博物館関係法令集』 必要に応じて関係資料を作成し配布する。 各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』 (財) 日本博物館協会編 月刊「博物館研究」

履修コード	057001
科目名	博物館実習Ⅰ（館務）
担当者名	ゆあさ たかし 湯浅 隆・太田 喜美子・寺前 直人

講義の到達目標(ねらい)	博物館学講座の最終課程を担う科目です。 現場において先任者との協働のもとで、博物館の将来像を見据えた提言・行動ができるようにするため、必須とされる実務能力の基礎を修得します。
講義の内容／授業スケジュール	グループに分かれ、複数の担当教員のもと、さまざまな項目を同時並行して行ないます。 前期：(1～15) 実習館決定に伴う具体的な事前準備、学内における展示実習案の作成。 (8～13) 資料の実測や真撮影、歴史資料の取扱い、など。 夏期：館園における実習、学内催事におけるスタッフ経験。 後期：(16～24) 展示実習の準備・実施(11月後半～12月)。 (16～21、25～30) 館園実習経験の共有をとおし、さまざまな種類の博物館のありようを把握します。
準備学習	博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、博物館実習Ⅲの内容を正確に掴み、そのうえで当面する課題に自分なりの対峙の仕方をたえず考えてください。
履修上の留意点	実習科目であるため、課された課題すべてに参加することが原則として必要です。課される課題とは、配当された授業時間における出席、1ないし2週間の館園実習、課題を達成するための授業時間以外における活動などです。 事前のガイダンスに出席し履修を申し出たうえで所定の課題をこなした者、そして博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、博物館実習Ⅲの単位取得者のみ、履修が可能です。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	学芸員として要求される資質・能力の習得程度を、あらゆる角度からみて評価します。 特定のものは使用しません。 実習館が決ったら、その博物館の『要覧・年報』・ホームページを熟読してください。 この科目では、社会人としての行動を求めます。

履修コード	057101
科目名	博物館実習Ⅱ (収集)
担当者名	太田 喜美子・佐々木 真・國見 徹・久保田 昌希・熊本 史雄・瀧音 能之・中野 達哉

講義の到達目標(ねらい) 博物館活動の主たる3本柱のうち「博物館資料の収集」の方法を習得する。
人々が長い年月守り伝えてきた、有形無形の「物」が、実習を通して「物」から「博物館資料」へと変わっていく過程の一部分を学ぶ。
併せて、人々の思いを汲み取り、歴史を立体的にしていく。

講義の内容／
授業スケジュール 前期
・実習先決定。各担当教員の専門分野別に講義と実習。
・実習地の歴史・地名の由来、資料研究などの事前学習。
・写真撮影・資料整理などの実技。
後期(実習終了後)
・収集資料の整理・原稿作成などのまとめ。

履修上の留意点
成績評価の方法 実習は、9月末～10月末の間、各班6泊7日で実施予定。
今年度予定している実習は
1、長野県佐久市望月町での近世文書調査と周辺市町村の石仏調査
2、長野県飯田市周辺での石仏収集調査
第1回目の授業に必ず出席すること。
授業態度・実習評価・出席状況

履修コード	057201
科目名	博物館実習Ⅲ (見学)
担当者名	太田 喜美子・酒井 清治・松本 信道

講義の到達目標(ねらい) 博物館を、立地・建物・資料合せ、全体として捉える見学方法を学んでいく。
現役学芸員による解説と博物館関連科目で得た知識を深く理解し、自分なりの博物館観・学芸員観を常に更新していくこと。

講義の内容／
授業スケジュール A～Dの4組の場合(第1回目の授業で、組分け)
全組共通自由見学2回終了後
A・B組は、前期中の日曜日に4回、教員引率のもと、団体見学を行う。その後、自由見学を4回行い、計10館の見学をする。
C・D組は、後期の水曜日に4回、教員引率のもと団体見学を行う。その後、自由見学を4回行い、計10館の見学をする。

履修上の留意点
成績評価の方法 履修希望者は、第1回目の授業に必ず出席のこと
レポート点・実習・授業態度での評価

履修コード	017803
科目名	美術史概説
担当者名	北野 良枝

講義の到達目標(ねらい) 日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容／
授業スケジュール 前期 平安時代から室町時代の絵画
(1) ガイダンス
(2) 絵画に関する基礎知識
(3) ～ (5) 仏教絵画
(6) ～ (8) 絵巻物
(9) ～ (10) 肖像画
(11) ～ (15) 室町時代の水墨画
後期 室町末から江戸時代の絵画
(16) ～ (20) 狩野派
(21) ～ (24) 琳派
(25) ～ (26) 浮世絵
(27) ～ (28) 南蘋派と洋風画
(29) ～ (30) 江戸から明治へ

履修上の留意点
成績評価の方法 授業中の私語は厳禁。
学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	070801
科目名	福祉科教育法
担当者名	桐原 宏行

講義の到達目標(ならい)

本授業は、人権教育を含む福祉科教育の目的、福祉科の各科目の内容、授業計画、教材研究、授業の基本的指導技術等への理解を深め、福祉科教師としての資質の向上を目指すことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 導入(授業のすすめ方)
- 第2回 人権教育と福祉科教育の日標
- 第3回 教育課程の編成
- 第4回 学習指導要領の理解
- 第5回 時間割の編成
- 第6回 各科目の指導目標の理解
- 第7回 教科「福祉」における教育評価の視点
- 第8回 教科「福祉」における教育評価の方法
- 第9回 授業の組み立て方の理解
- 第10回 学習指導計画の構成
- 第11回 教材研究と開発・学習指導案の作成1(社会福祉基礎)
- 第12回 教材研究と開発・学習指導案の作成2(介護福祉基礎)
- 第13回 教材研究と開発・学習指導案の作成3(コミュニケーション技術)
- 第14回 教材研究と開発・学習指導案の作成4(生活支援技術)
- 第15回 教材研究と開発・学習指導案の作成5(介護過程)
- 第16回 教材研究と開発・学習指導案の作成6(介護総合演習)
- 第17回 教材研究と開発・学習指導案の作成7(介護実習)
- 第18回 教材研究と開発・学習指導案の作成8(こころとからだの理解)
- 第19回 教材研究と開発・学習指導案の作成9(福祉情報活用)
- 第20回 模擬授業1(社会福祉基礎)
- 第21回 模擬授業2(介護福祉基礎)
- 第22回 模擬授業3(コミュニケーション技術)
- 第23回 模擬授業4(生活支援技術)
- 第24回 模擬授業5(介護過程)
- 第25回 模擬授業6(介護総合演習)
- 第26回 模擬授業7(介護実習)
- 第27回 模擬授業8(こころとからだの理解)
- 第28回 模擬授業9(福祉情報活用)
- 第29回 模擬授業検討会
- 第30回 総括

履修上の留意点

この授業は福祉科教師を目指す上で不可欠な科目である。授業では、高校「福祉」の各科目について、各自が作成した授業指導案(教案)に沿って、ロールプレイによる模擬授業を実施し、それをもとに議論していくことを中心とするため、無断欠席は厳禁である。

成績評価の方法

教案の提出(50%)、模擬授業の実施(30%)、授業への出席状況及び授業態度(20%)による総合評価とする。

教科書／テキスト

桐原宏行編著、『福祉科教育法』、三和書籍、ISBN4-916037-63-4 C3036、2,400円+税

参 考 書

高等学校学習指導要領解説 福祉編、文部科学省

履修コード	006202
科目名	仏教美術
担当者名	村松 哲文

講義の到達目標(ねらい)

仏像の歴史について、信仰的な背景と照らし合わせながら概観する。本年度は、奈良と京都の寺院ごとに仏像を考察する。6世紀、我が国に伝来した仏教は瞬く間に日本に根付き、絢爛たる仏教文化を構築した。こうした中で、仏像の制作は時代を経るごとに発展していくが、様々な要因から仏像の表現は変化する。この変化の過程を各寺院で所蔵されている仏像を概観しながら、その特徴を把握していくことが本講義の目標である。

古代寺院の代表である法隆寺の仏像は、中国や朝鮮半島の影響を大きく受けて制作されている、その後平安時代になると平等院に代表される仏像のように日本独自の表現が確立する。こうした仏像表現の相違点について、スライドやDVDなどを用いて講義する。

また本講義では、仏像から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合I(3) 仏教と芸術」で講義し、鎌倉時代以降の絵画については「禅美術」で講義する。

講義の内容／
授業スケジュール

〔前期〕
仏像鑑賞の基礎 (1~3)、法隆寺 (4~8)、薬師寺 (9~11)、東大寺 (11~15)
〔後期〕

唐招提寺 (16~18)、大安寺 (19~21)、興福寺 (22~24)、東寺 (25~27)、浄瑠璃寺 (28~30)
以上は予定であり、関連する他の仏像について適時解説する。

準備学習
履修上の留意点

都内近郊の博物館・美術館に行き、多くの仏像を鑑賞すること。

美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。

プリントを配布する。

『かわいい、キレイ、かっこいい、たのしい仏像のみかた』(日本芸文社)、その他については講義中に紹介する。

履修コード	006302
科目名	仏教民俗学
担当者名	佐藤 憲昭

講義の到達目標(ねらい)

わが国で展開されている釈尊降誕会は、それ以前から存していた「春山入り」の行事と習合して、民衆のあいだに広く定着したと言われる。この例から知られるように、仏教がわが国に定着するに際しては、仏教と民俗とが習合している点に留意しておかなければならない。この講座では、仏教文化には教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあり、生活場面においては両者が提携し、複合化しているという事実を踏まえ、民俗仏教の意味と役割について教義仏教との関連のもとに考えてみたい。

次のテーマのもとに具体的に考察する。

第1~2回 仏教と民俗、第3~4回 宗教文化の捉え方、第5~6回 宗教的エリートとマス、第7~8回 日本人の宗教的志向性、第9~10回 教義仏教と民俗仏教、第11~12回 宗教的職能者の特質、第13~14回 教義仏教と民俗仏教とを媒介する僧侶の特質、第15~16回 仏教とアニミズム、第17~18回 「仏」と「ホトケ」と「ほとけ」、第19~20回 葬祭、第21~22回 供養、第23~24回 祈祷、第25~26回 釈尊降誕会・涅槃会、第27~28回 盂蘭盆会・彼岸会、第29回 点眼式、第30回 総括。

履修上の留意点

出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。この科目は4年生のみレポートを提出してもらう予定である。それは次の通りである。〔課題〕 仏教民俗学・宗教人類学に関する論文または書物を読み、その感想文を作成する。〔字数〕 2000字。〔提出先と時期〕 12月までの授業時に随時受けつける。〔その他〕 ワープロ作成可。なお、追試験を実施する。

教科書／テキスト
参考書

佐々木宏幹『仏力—生活仏教のダイナミズム—』春秋社

授業中に適宜紹介する。

履修コード	065202
科目名	保健福祉論
担当者名	山本 哲也

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、地域保健、地域福祉の実践に欠かすことのできない、保健・福祉の連携システムの概要と、同システムにおける保健・福祉従事者の役割を学び、そこでの福祉従事者の活動内容について理解することをねらいとする。

講義の内容／授業スケジュール 本講義では、保健・福祉の連携システムの実際について、事例をとおして学習していく。具体的には、まず、保健・福祉が連携して関わる必要のある事例を呈示する。次に、その事例の中に登場する用語等について概説する。また、事例に登場する対象者を理解する事、事例に関わる制度について知る事を目的に講義を行う。最後に、その事例対象者を支える保健・福祉の連携システムについて概説する。

準備学習 毎時間、次の時間の準備のための課題を課す。

履修上の留意点 講義のみでなく、各自が考え、学び、理解できるよう、各自の意見を問う内容を含む授業を行うので、そのつもりで受講すること。

成績評価の方法 出席状況、授業中のミニレポート、課題レポート及び試験の結果により総合的に評価する。

教科書／テキスト 必要に応じ、授業時に指定する。

参考書 必要に応じ、その都度指示する。

その他 ・30分以上の遅刻は入室を認めないので、そのつもりで受講すること。
・4年次生で、就職活動により欠席する場合も、特別な配慮はしないので、そのつもりで受講すること。

履修コード	017903
科目名	民間信仰論
担当者名	川上 新二

講義の到達目標(ねらい) 先ずは、先学たちが民間信仰を如何にとらえようとしてきたのかについて検討し、それを通じて民間信仰と呼ばれるものの様相を理解することに努めます。続いて、民間信仰を一般庶民、民衆の間で営まれる宗教文化ととらえて、韓国の古典文学や文献を通じて韓国の人々の信仰の様相を理解すること、また、我が国で見られる諸事例を通じて我が国の民間信仰の具体的な姿を理解することを目指します。

講義の内容／授業スケジュール 以下の内容を実際の授業日数に配分して講義します。

1. 民間信仰とは
2. 韓国での民間信仰の様相
3. 我が国での民間信仰の様相

準備学習 講義内容の整理を目的としたレポートで成績を評価しますので、日頃から講義の内容を十分に整理し、まとめておいてください。

成績評価の方法 数回(4~6回くらいを考えています)のレポート(講義内容を課題に応じて1200字以上でまとめる。字数および提出期限厳守。氏名、題名は字数に含めない。一行20字もしくは30字もしくは40字のワープロで作成するか、手書きの場合には原稿用紙で作成のこと。レポート用紙などへの手書きのものは受理しない)で評価します。課されたレポートをすべて提出した場合が成績評価の対象になります。レポートの課題や提出期限は授業の中で指示します。

教科書／テキスト 必要に応じてプリントを配布します(韓国の古典文学や文献を使用する場合には、日本語訳のものを使用します)。

参考書 授業で紹介します。

教職課程
資格講座
科目

履修コード	232802
科目名	民衆宗教成立史
担当者名	鈴木 一馨

講義の到達目標(ねらい)

民衆宗教は、世俗の中に生きるひとびとが既成宗教の体系にとらわれずに、そのさまざまな願望に応じたものごとを取り入れながら形成したものである。それがゆえに、無秩序で「いいがけんなもの」とイメージされやすいが、実はそうではなく、取り入れた要素を独自の論理で編成しオリジナリティ溢れる体系を作り上げている。

この講義では、日本の民衆宗教の形成と深く関係する陰陽道を探り上げ、前期に陰陽道の形成とそれを支える中国的宇宙論について基礎的な知識を講説し、後期はその基礎に立って陰陽道の実像と民衆宗教との関係について講説する。そして、両者を併せて民衆宗教の形成のされ方と、同時に自分達がどのように民衆宗教と関わっているのかについて説明できる能力を身に付けることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール

前期：Ⅰ. 陰陽道と「陰陽」の宇宙論

1. 「陰陽寮」と「陰陽道」(1～5)、2. 「陰陽」の理論と世界観(6～10)、3. 暦と世界の変化(11～15)

後期：Ⅱ. 陰陽道と民衆宗教

1. 平安貴族の日常と陰陽道(16～20)、2. 呪術者としての陰陽師(21～25)、3. 民衆宗教と陰陽道(26～30)

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとついて行けない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

期末試験を主たる材料とする。ただし、講義中の質問に対する返答や任意レポートなどによる点数の加算も行なう。また出欠状況や受講態度なども考慮する。

教科書／テキスト

鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』(講談社選書メチエ244、2002年)1,575円、

ISBN: 4062582449

参 考 書

林淳・小池淳一編『陰陽道の講義』(嵯峨野書院、2002年)3,150円、ISBN: 4782303610

高埜利彦編『民間に生きる宗教者』(吉川弘文館、2000年)2,940円、ISBN: 4642065512

教職課程
履修目標

履修コード	127803
科目名	民法Ⅰ
担当者名	熊谷 芝青

講義の到達目標(ねらい)

我々の日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひととおりの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面(これを規律する法が財産法)と種族保存を目的とする家族生活の面(これを規律する法が家族法)とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持つようにしたい。その結果、資格試験等の基礎力が養成されることを願っている。

講義の内容／授業スケジュール

前期(民法総則)

①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体(自然人) ④法人(社団法人、財団法人) ⑤権利の客体(物とは) ⑥法律行為(意思の欠缺、瑕疵ある意思表示)

⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑨時効(取得時効、消滅時効)

後期(物権法)

①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権

⑦担保物権(法定担保物権) ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保(譲渡担保、仮登記担保)

準備学習

指定教科書の該当頁を予習してくることが望ましいが、必要ではない。

履修上の留意点

法学の修得で大切なことは、繰り返すことである。したがって復習回数を多くすることが諸君の実力上昇につながると思っている。

当然のことであるが、受講中の飲食・携帯電話の使用は禁止であり、それに違反した場合、その時点で落第とする場合がある。

また板書を多用するので、ノートと筆記道具は必携である。

成績評価の方法

学年末の定期試験により評価する。

教科書／テキスト

我妻栄・有泉亨・川井健『民法』第三版①総則・物権(勁草書房)2200円

参 考 書

尾崎哲夫『はじめての民法総則』『はじめての物権法』『はじめての担保物権』(自由国民社)

履修コード	098302
科目名	民法 I
担当者名	竹中 ^{たけなか} 智香 ^{ちか}

講義の到達目標(ねらい)

民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では、第1編「総則」のうち「物権」の理解に必要な事項を概説した後、「物権の変動」について解説します。後期では、「総則」の残りの部分と、「物権」の一種である「担保物権」について説明します。

講義の内容／
授業スケジュール

[前期]

- (1) ガイダンス
- (2) 民法における個人
- (3) 権利能力
- (4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度～
- (5) 所有権の概念 [1] 所有権とは何か
- (6) 所有権の概念 [2] 所有権取得の方法
- (7) 所有権の効力 [1] 所有権にもとづく請求権
- (8) 所有権の効力 [2] 占有訴権
- (9) 契約とその効力 [1] 意思の欠缺
- (10) 契約とその効力 [2] 瑕疵ある意思表示
- (11) 契約にもとづく不動産の物権変動 [1] 総説
- (12) 契約にもとづく不動産の物権変動 [2] 民法177条の第三者
- (13) 契約にもとづく不動産の物権変動 [3] 契約の取消・解除と民法177条
- (14) 契約にもとづく動産の物権変動 [1] 動産をめぐる対抗問題
- (15) 契約にもとづく動産の物権変動 [2] 即時取得

[後期]

- (1) 法人 [1] 法人という考え方
- (2) 法人 [2] 法人の形態・機関・活動
- (3) 代理制度 [1] 総説
- (4) 代理制度 [2] 代理の基本的法律関係
- (5) 無権代理
- (6) 表見代理
- (7) 法律行為
- (8) 消滅時効
- (9) 取得時効
- (10) 抵当権
- (11) 先取特権
- (12) 留置権
- (13) 質権
- (14) 譲渡担保
- (15) 予備日

以上は、講義が30回行われた場合の予定である。

履修上の留意点

第1編の「総則」は民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、必ず教科書を購入して、講義の前に教科書を読むように心がけてください。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

学年末の定期試験の他、出席状況などの平常点も加味します。

山野日章夫『民法 総則・物権 [第4版]』(有斐閣)

六法 (コンパクトタイプのもの)

『法律学小辞典 [第4版]』(有斐閣)

履修コード	064902
科目名	リハビリテーション論
担当者名	佐藤 将朗

講義の到達目標(ならい)

リハビリテーション(rehabilitation)という言葉は「再び〇〇にふさわしい能力を身につける」という意味で用いられます。怪我や病氣、障害などのために日常生活だけでなく、学習、スポーツ、職業生活が機能していない場合、また精神的安定が得られていない場合に、これらを回復していくことの総称と言えます。社会の中で生きる全ての人々の権利や名誉が自分の意志に反して侵害されている場合に、これらを回復していくこととも考えられます。

講義の内容/
授業スケジュール

本講義では、まずリハビリテーションを医学的リハと社会的リハに大別して整理することから始め、リハビリの対象となる人々の個人的能力とこれらの人々を取り巻く環境との関連性について理解していきます。そして、最終的には本講義で学んだ知識を上台として、「リハビリテーションの哲学」というタイトルのもと、自分なりの考えをまとめていくことにします。

前期はリハビリテーションの定義(1)、障害及び加齢の概念(2-3)、医学的リハ(4)、社会的リハ(5-7)、障害の種類・程度別のリハビリテーション(8-12)、高齢者のリハビリテーション(13-14)、前期のまとめとしての課題作業(15)とする。

準備学習

後期はメディアの取り上げるリハビリテーション(1-3)、教育的リハの仕組みとその成功要因(4-5)、職業的リハの仕組みとその成功要因(6-7)、心理的リハの仕組みとその成功要因(8-9)、履修者の興味・関心に応じたリハビリテーションの今日的話題に関する討議(10-12)、「リハビリテーションの哲学」についての課題の整理(13-15)とする。

履修上の留意点

障害者問題、高齢者問題、リハビリテーションがキーワードとなる各種メディア情報(新聞、書籍、テレビ番組や映画などの作品、インターネットで公表されているものなど)を自分なりに整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法

「人に優しくするとはどのようなことか」、「人を支援するとはどのような意味があるか」、「人の道とは何か」といったいわゆる人道的視点について、科学的に思考できる人、あるいはそのような人物になりたいと思っている人に最適の授業だと考えます。

前期はまとめとして提出する課題(50%)、授業時の小課題(40%)、授業への参加意欲及び出席(10%)とする。

後期は最終的に提出する課題(80%)、授業時の小課題(10%)、授業への参加意欲及び出席(10%)とする。

教科書/テキスト
参考書
その他

これらによって得られた前・後期の成績を総合的に判断したものを全体の成績とする。特に指定しない。

講義中に随時指定する。

基本的に講義形式で進める。学習する内容によっては、履修者による発表や討論を行ってもら。また、ビデオ、DVD等の視聴を随時行う。

履修コード	233402
科目名	倫理学概説
担当者名	河谷 淳

講義の到達目標(ならい)

「大人であれば他人に危害(迷惑)を及ぼさない限り何を自己決定してもよい」という主張がしばしばなされることがある。だが、このような「他者危害(迷惑)の原則」はあくまでひとつの倫理的立場であるにすぎない。この是非を考えるにあたっては他の倫理的立場と併せて検討する必要がある。そこで本講義は次のような二段構えの構成を採る。前期は(a)西洋思想史における様々な倫理観を取り上げ現代との関係を考え、後期は(b)応用倫理とりわけ生命倫理の諸問題とそのアプローチを取り上げ私たちに身近なことから「倫理的に考える」とはどのようなことなのかを考えることにしたい。

講義の内容/
授業スケジュール

序論(1,2)、(A)西洋倫理思想史:徳倫理学:プラトン、アリストテレス、幸福な人とはどのような人か(3~7)、義務論:カント、定言命法としての道徳原則、なぜ嘘はいけないのか(8~11)、功利主義:ベンサム、ミル、「最大多数の最大幸福」(12~15)、(B)生命倫理を中心とした応用倫理の諸問題(生老病死をめぐる倫理):生命倫理序論(16,17)、インフォームド・コンセントをめぐる問題(18~20)、安楽死・尊厳死の是非をめぐる問題(21,22)、脳死と臓器移植をめぐる問題(23,24)、クローン技術のヒトへの適用の是非をめぐる問題(25~28)、まとめ:自己決定権をめぐる問題(29,30)

成績評価の方法

中間試験(前期最終授業日に実施)と期末試験(それぞれ40点満点)ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

履修コード	065522
科目名	老人福祉論
担当者名	とうじよう みつまさ 東條 光雅

講義の到達目標(ねらい)

少子高齢化社会の進展に伴い後期老年期人口が増加し、要介護高齢者の急増、家族介護の深刻化、高齢者虐待の多発など、高齢者やその家族に関わる様々な社会的問題が発生し、医療・年金・介護などの社会保険制度のあり方が大きな政治課題となっている。

本講義では、わが国における高齢化の現状と動向、高齢者や家族を取り巻く状況、これまでの高齢者対策や高齢者福祉制度の変遷、現行の高齢者保健福祉制度等について理解を深めてもらうとともに、今後の高齢者支援のあり方について論じてゆく。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 高齢者の心理・精神的理解
- 第2回 高齢者の身体的理解
- 第3回 高齢者の社会的理解
- 第4回 高齢化・高齢社会の定義とわが国における高齢化の現状
- 第5回 諸外国における高齢化の状況と少子高齢化の要因
- 第6回 高齢者を取り巻く諸問題
- 第7回 高齢者保健福祉の発展過程
- 第8回 高齢者保健福祉の現行法体系
- 第9回 老人福祉法
- 第10回 高齢者医療確保法
- 第11回 高齢者虐待防止法
- 第12回 高齢者を支援する組織と役割(1)
- 第13回 高齢者を支援する組織と役割(2)
- 第14回 高齢者を支援する組織と役割(3)
- 第15回 これからの高齢者支援

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらう。近年、受講生の私語や居眠りが目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

原則的には、3分の2以上の出席があれば定期試験を受けることができ、定期試験の成績によって評価する。

教科書/テキスト

『高齢者に対する支援と介護保険制度』、新社会福祉士養成講座第13巻、中央法規出版、2009年3月出版予定

参 考 書
そ の 他

『社会福祉小六法』、『厚生労働白書』、『国民の福祉の動向』など
講義はパワーポイントを使って行う

